

**2026年度
ILAC科目/市ヶ谷基礎科目・総合科目
200番台
講義概要(シラバス)**



法政大学

科目一覧

〔発行日：2026/5/1〕 最新版のシラバスは、法政大学Webシラバス (<https://syllabus.hosei.ac.jp/>) で確認してください。

凡例 その他属性

〈他〉：他学部公開科目	〈グ〉：グローバル・オープン科目
〈優〉：成績優秀者の他学部科目履修制度対象科目	〈実〉：実務経験のある教員による授業科目
〈S〉：サティフィケートプログラム_SDGs	〈ア〉：サティフィケートプログラム_アーバンデザイン
〈ダ〉：サティフィケートプログラム_ダイバーシティ	〈未〉：サティフィケートプログラム_未来教室
〈カ〉：サティフィケートプログラム_カーボンニュートラル	

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（英語分野）【E1806】 Intercultural Communication B [石原 紀子] 秋学期授業/Fall	1
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（英語分野）【E1807】 Intercultural Communication A [佐々木 一恵] 秋学期授業/Fall	2
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（英語分野）【E1808】 Intercultural Communication C [石原 紀子] 秋学期授業/Fall	4
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（英語分野）【E1809】 Intercultural Communication D [石原 紀子] 春学期授業/Spring	5
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E3253】 フランス語補講3 I [カレンス フィリップ] 春学期授業/Spring	7
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E3254】 フランス語補講3 II [カレンス フィリップ] 秋学期授業/Fall	9
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（諸外国語分野）【E3602】 Intercultural Communication E [STEVE CORBEIL] 秋学期授業/Fall	11
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（諸外国語分野）【E3603】 Intercultural Communication F [ル ルー 清野 ブレンダン] 春学期授業/Spring	12
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5337】 中国語補講3 I [渋井 君也] 春学期授業/Spring	14
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5338】 中国語補講3 II [渋井 君也] 秋学期授業/Fall	15
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5341】 中国語補講3 I [後藤 淳一] 春学期授業/Spring	16
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5342】 中国語補講3 II [後藤 淳一] 秋学期授業/Fall	17
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E6135】 スペイン語補講3 I [若林 大我] 春学期授業/Spring	18
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E6136】 スペイン語補講3 II [若林 大我] 秋学期授業/Fall	19
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F3303】 フランス語3-I（インテンシブ）[近江屋 志穂] 春学期授業/Spring	20
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F3304】 フランス語3-II（インテンシブ）[近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall	21
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F3313】 フランス語（3）I（インテンシブ）[近江屋 志穂] 春学期授業/Spring	22
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F3314】 フランス語（3）II（インテンシブ）[近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall	23
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F4005】 ロシア語（3）I [小西 昌隆] 春学期授業/Spring	24
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F4006】 ロシア語（3）II [小西 昌隆] 秋学期授業/Fall	25
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【F7222】 朝鮮語4 B-I（視聴覚）[新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	26
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【F7223】 朝鮮語4 B-II（視聴覚）[新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	27

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【F7224】 朝鮮語 5 A-I (講読) [荻野 優子] 春学期授業/Spring	28
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【F7225】 朝鮮語 5 A-II (講読) [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	29
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【F7226】 朝鮮語 5 B-I (表現法) [神谷 丹路] 春学期授業/Spring	30
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【F7227】 朝鮮語 5 B-II (表現法) [神谷 丹路] 秋学期授業/Fall	31
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【F7228】 朝鮮語 4 C-I (コミュニケーション) [吉良 佳奈江] 春学期授業/Spring	32
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【F7229】 朝鮮語 4 C-II (コミュニケーション) [吉良 佳奈江] 秋学期授業/Fall	34
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【F9102】 Natural Science A [宇野 真介] 秋学期授業/Fall	36
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【P0163】 Information Technology [斎藤 明] 春学期授業/Spring	38
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【P0633】 Career Development Skills [AMINE A ABBADIE] 春学期授業/Spring ...	40
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【P1303】 Humanities A [URBANOVA JANA] 春学期授業/Spring	41
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【P1305】 Humanities B [Richard.J.Burrows] 春学期授業/Spring	43
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【P2305】 Social Science B [GAEL BESSON] 春学期授業/Spring	44
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【P3605】 Natural Science B [西村 直美] 春学期授業/Spring	46
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群 (保健体育分野) 【P5801】 Health and Physical Education [武井 敦彦] 春学期授業/Spring	47
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0102】 情報処理演習II [吉岡 卓] 秋学期授業/Fall	49
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0104】 情報処理演習II [吉岡 卓] 秋学期授業/Fall	50
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0106】 情報処理演習II [吉岡 卓] 秋学期授業/Fall	51
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0108】 情報処理演習II [吉岡 卓] 秋学期授業/Fall	52
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0110】 情報処理演習II [中村 文隆] 秋学期授業/Fall	53
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0112】 情報処理演習II [中村 文隆] 秋学期授業/Fall	54
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0114】 情報処理演習II [河内谷 幸子] 秋学期授業/Fall	55
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0116】 情報処理演習II [岡嶋 裕史] 秋学期授業/Fall	57
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0118】 情報処理演習II [岡嶋 裕史] 秋学期授業/Fall	58
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0120】 情報処理演習II [重定 如彦] 秋学期授業/Fall	59
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0122】 情報処理演習II [重定 如彦] 秋学期授業/Fall	61
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0128】 情報処理演習II [河内谷 幸子] 秋学期授業/Fall	63
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0130】 情報処理演習II [河内谷 幸子] 秋学期授業/Fall	65
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0136】 情報処理演習II [名児耶 厚] 秋学期授業/Fall	67

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0138】 情報処理演習Ⅱ [名児耶 厚] 秋学期授業/Fall	68
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0140】 情報処理演習Ⅱ [名児耶 厚] 秋学期授業/Fall	69
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0142】 情報処理演習Ⅱ [名児耶 厚] 秋学期授業/Fall	70
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0144】 情報処理演習Ⅱ [星 善光] 秋学期授業/Fall	71
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0146】 情報処理演習Ⅱ [星 善光] 秋学期授業/Fall	72
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0503】 法政学の探究Ⅱ B [北口 由望] 春学期授業/Spring	73
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0504】 法政学の探究Ⅱ A [高柳 俊男、北口 由望] 秋学期授業/Fall	75
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1301】 日本文学と文化Ⅱ A [阿部 真弓] 春学期授業/Spring	77
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1302】 日本文学と文化Ⅱ B [阿部 真弓] 秋学期授業/Fall	78
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1303】 日本文学と文化Ⅱ C [中司 由起子] 春学期授業/Spring	79
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1304】 日本文学と文化Ⅱ D [中司 由起子] 秋学期授業/Fall	80
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1305】 日本文学と文化Ⅱ E [伊海 孝充] 春学期授業/Spring	81
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1306】 日本文学と文化Ⅱ F [伊海 孝充] 秋学期授業/Fall	82
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1307】 日本文学と文化Ⅱ G [榎本 正樹] 春学期授業/Spring	83
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1308】 日本文学と文化Ⅱ H [榎本 正樹] 秋学期授業/Fall	85
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1309】 外国文学と文化Ⅱ A [鈴木 正道] 春学期授業/Spring	87
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1310】 外国文学と文化Ⅱ B [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall	89
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1311】 外国文学と文化Ⅱ C [日原 傳] 春学期授業/Spring	91
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1312】 外国文学と文化Ⅱ D [日原 傳] 秋学期授業/Fall	92
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1313】 外国文学と文化Ⅱ E [大崎 さやの] 春学期授業/Spring	93
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1314】 外国文学と文化Ⅱ F [大崎 さやの] 秋学期授業/Fall	94
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1315】 文学と社会Ⅱ A [梶 裕史] 春学期授業/Spring	95
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1316】 文学と社会Ⅱ B [梶 裕史] 秋学期授業/Fall	97
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1319】 文学と社会Ⅱ C [白戸 満喜子] 春学期授業/Spring	99
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1320】 文学と社会Ⅱ D [白戸 満喜子] 秋学期授業/Fall	101
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1321】 文学と社会Ⅱ E [中澤 忠之] 春学期授業/Spring	103
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1322】 文学と社会Ⅱ F [中澤 忠之] 秋学期授業/Fall	104
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1323】 日本文学と文化Ⅱ G [榎本 正樹] 春学期授業/Spring	105

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1324】 日本文学と文化LH [榎本 正樹] 秋学期授業/Fall	107
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1325】 外国文学と文化LG [杉本 文四郎] 春学期授業/Spring	109
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1326】 外国文学と文化LH [小澤 央] 秋学期授業/Fall	111
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1362】 音声学L [副島 健作] 秋学期授業/Fall	112
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1385】 哲学LA [大西 正人] 春学期授業/Spring	113
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1386】 哲学LB [大西 正人] 秋学期授業/Fall	114
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1387】 哲学LA [白根 裕里枝] 春学期授業/Spring	116
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1388】 哲学LB [白根 裕里枝] 秋学期授業/Fall	117
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1389】 哲学LC [政井 啓子] 春学期授業/Spring	119
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1390】 哲学LD [鈴木 由加里] 秋学期授業/Fall	120
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1391】 倫理学LI [上田 瑞季] 春学期授業/Spring	122
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1392】 倫理学LII [上田 瑞季] 秋学期授業/Fall	123
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1393】 倫理学LI [佐藤 英明] 春学期授業/Spring	124
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1394】 倫理学LII [佐藤 英明] 秋学期授業/Fall	125
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1395】 倫理学LI [杉本 隆久] 春学期授業/Spring	126
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1396】 倫理学LII [杉本 隆久] 秋学期授業/Fall	128
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1397】 倫理学LI [伊藤 直樹] 春学期授業/Spring	130
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1398】 倫理学LII [伊藤 直樹] 秋学期授業/Fall	131
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1399】 倫理学LI [田島 樹里奈] 春学期授業/Spring	132
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1400】 倫理学LII [田島 樹里奈] 秋学期授業/Fall	134
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1401】 倫理学LI [森村 修] 春学期授業/Spring	136
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1402】 倫理学LII [森村 修] 秋学期授業/Fall	138
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1403】 倫理学LI [吉永 明弘] 春学期授業/Spring	140
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1404】 倫理学LII [吉永 明弘] 秋学期授業/Fall	141
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1411】 論理学LI [佐々木 護] 春学期授業/Spring	142
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1412】 論理学LII [佐々木 護] 秋学期授業/Fall	143
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1425】 東洋史LA [澁谷 由紀] 春学期授業/Spring	144
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【Q1426】 東洋史LB [澁谷 由紀] 秋学期授業/Fall	145

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1427】 東洋史L C [齋藤 勝]	
春学期授業/Spring	146
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1428】 東洋史L D [齋藤 勝]	
秋学期授業/Fall	147
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1437】 西洋史L A [内田 康太]	
春学期授業/Spring	148
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1438】 西洋史L B [皆川 卓]	
秋学期授業/Fall	149
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1439】 西洋史L C [渡辺 知]	
春学期授業/Spring	151
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1440】 西洋史L D [内川 勇海]	
秋学期授業/Fall	153
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1441】 日本史L I [森 朋久]	
春学期授業/Spring	154
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1442】 日本史L II [森 朋久]	
秋学期授業/Fall	155
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1443】 日本史L I [仁平 義孝]	
春学期授業/Spring	156
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1444】 日本史L II [仁平 義孝]	
秋学期授業/Fall	157
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1445】 日本史L I [貫井 裕恵]	
春学期授業/Spring	158
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1446】 日本史L II [貫井 裕恵]	
秋学期授業/Fall	159
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1447】 日本史L I [鈴木 多聞]	
春学期授業/Spring	160
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1448】 日本史L II [鈴木 多聞]	
秋学期授業/Fall	161
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1451】 宗教論L I [古澤 有峰]	
春学期授業/Spring	162
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1452】 宗教論L II [古澤 有峰]	
秋学期授業/Fall	163
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1471】 西洋史L E [竹下 和亮]	
春学期授業/Spring	164
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1472】 西洋史L F [内川 勇太]	
秋学期授業/Fall	165
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2321】 経済学L A [中平 千彦]	
春学期授業/Spring	166
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2322】 経済学L B [中平 千彦]	
秋学期授業/Fall	168
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2323】 経済学L A [山本 英子]	
春学期授業/Spring	170
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2324】 経済学L B [山本 英子]	
秋学期授業/Fall	171
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2325】 経済学L A [陳 文挙]	
春学期授業/Spring	172
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2326】 経済学L B [陳 文挙]	
秋学期授業/Fall	174
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2327】 経済学L A [小峯 敦]	
春学期授業/Spring	176
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2328】 経済学L B [小峯 敦]	
秋学期授業/Fall	178
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2341】 心理学L A [金子 楓]	
春学期授業/Spring	179
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2342】 心理学L B [金子 楓]	
秋学期授業/Fall	180

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2343】 心理学L A [金子 楓]	
春学期授業/Spring	181
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2344】 心理学L B [金子 楓]	
秋学期授業/Fall	182
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2351】 地理学L A [関戸 明子]	
春学期授業/Spring	183
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2352】 地理学L B [朝倉 槇人]	
秋学期授業/Fall	184
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2357】 地理学L A [関戸 明子]	
春学期授業/Spring	185
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2358】 地理学L B [朝倉 槇人]	
秋学期授業/Fall	186
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2359】 地理学L C [前川 明彦]	
春学期授業/Spring	187
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2360】 地理学L D [前川 明彦]	
秋学期授業/Fall	189
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2361】 社会学L A [松下 優一]	
春学期授業/Spring	191
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2362】 社会学L B [松下 優一]	
秋学期授業/Fall	192
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2363】 社会学L C [徐 玄九]	
春学期授業/Spring	193
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2364】 社会学L D [徐 玄九]	
秋学期授業/Fall	195
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2372】 政治学L B [木村 正俊]	
秋学期授業/Fall	196
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2373】 政治学L C [及川 智洋]	
春学期授業/Spring	197
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2374】 政治学L D [及川 智洋]	
秋学期授業/Fall	198
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2382】 文化人類学L [ベル 裕紀]	
秋学期授業/Fall	199
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2384】 文化人類学L [渡辺 浩平]	
秋学期授業/Fall	201
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2386】 文化人類学L [北原 卓也]	
秋学期授業/Fall	202
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2390】 文化人類学L [ベル 裕紀]	
秋学期授業/Fall	203
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2392】 文化人類学L [菊池 真理]	
秋学期授業/Fall	205
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2394】 文化人類学L [渡辺 浩平]	
秋学期授業/Fall	206
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2396】 文化人類学L [相田 豊]	
秋学期授業/Fall	207
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2398】 文化人類学L [菊池 真理]	
秋学期授業/Fall	209
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2400】 文化人類学L [松山 啓]	
秋学期授業/Fall	210
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2401】 社会思想L A [洪 貴義]	
春学期授業/Spring	211
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2402】 社会思想L B [洪 貴義]	
秋学期授業/Fall	212
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2403】 社会思想L A [林 嵩文]	
春学期授業/Spring	213
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2404】 社会思想L B [林 嵩文]	
秋学期授業/Fall	214

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野)【Q2411】 地理学L E [呉羽 正昭]	
春学期授業/Spring	215
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野)【Q2412】 地理学L F [加賀美 雅弘]	
春学期授業/Spring	216
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3201】 数学特講L A [安東 祐希]	
春学期授業/Spring	217
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3202】 数学特講L B [安東 祐希]	
秋学期授業/Fall	218
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3211】 発展数学L I [倉田 俊彦]	
春学期授業/Spring	219
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3212】 発展数学L II [倉田 俊彦]	
秋学期授業/Fall	220
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3213】 発展数学L I [倉田 俊彦]	
春学期授業/Spring	221
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3214】 発展数学L II [倉田 俊彦]	
秋学期授業/Fall	222
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3215】 発展数学L I [池田 宏一郎]	
春学期授業/Spring	223
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3216】 発展数学L II [池田 宏一郎]	
秋学期授業/Fall	224
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3221】 教養物理学L A [石川 壮一]	
春学期授業/Spring	225
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3222】 教養物理学L A [石川 壮一]	
秋学期授業/Fall	226
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3223】 教養物理学L B [吉田 智]	
春学期授業/Spring	227
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3224】 教養物理学L B [吉田 智]	
秋学期授業/Fall	228
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3225】 教養物理学L A [石川 壮一]	
秋学期授業/Fall	229
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3226】 教養物理学L C [井坂 政裕]	
春学期授業/Spring	230
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3231】 教養生物学L A [木原 章]	
春学期授業/Spring	232
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3232】 教養生物学L B [木原 章]	
秋学期授業/Fall	234
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3233】 教養生物学L A [木原 章]	
春学期授業/Spring	236
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3234】 教養生物学L B [木原 章]	
秋学期授業/Fall	238
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3241】 教養生物学L C [波平 昌一]	
春学期授業/Spring	240
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3242】 教養生物学L D [波平 昌一]	
秋学期授業/Fall	242
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3243】 教養生物学L C [波平 昌一]	
春学期授業/Spring	244
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3244】 教養生物学L D [波平 昌一]	
秋学期授業/Fall	246
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3261】 教養化学L A [向井 知大]	
春学期授業/Spring	248
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3263】 教養化学L B [向井 知大]	
春学期授業/Spring	249
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3264】 教養化学L B [西村 直美]	
秋学期授業/Fall	250
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野)【Q3266】 教養化学L A [伊藤 晋平]	
春学期授業/Spring	251

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群(自然分野)【Q3269】教養化学L E [向井 知大] 秋学期授業/Fall	252
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群(自然分野)【Q3270】教養化学L B [伊藤 晋平] 秋学期授業/Fall	253
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群(自然分野)【Q3271】科学論L A [安東 祐希] 春学期授業/Spring	254
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群(自然分野)【Q3272】科学論L B [安東 祐希] 秋学期授業/Fall	255
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群(自然分野)【Q3285】教養化学L A [伊藤 晋平] 春学期授業/Spring	256
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群(自然分野)【Q3286】教養化学L B [伊藤 晋平] 秋学期授業/Fall	257
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群(保健体育分野)【Q5451】健康の科学L A [笹井 浩行] 春学期授業/Spring	258
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群(保健体育分野)【Q5452】健康の科学L B [笹井 浩行] 秋学期授業/Fall	260
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群(保健体育分野)【Q5453】健康の科学L A [谷本 都栄] 春学期授業/Spring	262
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群(保健体育分野)【Q5454】健康の科学L B [谷本 都栄] 秋学期授業/Fall	263
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択] 外国語(英語・諸外国語)【R0801】入門英語(SS I) [小川 美穂子] 春学期授業/Spring	264
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択] 外国語(英語・諸外国語)【R0802】入門英語(SS I) II [小川 美穂子] 秋学期授業/Fall	266
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択] 外国語(英語・諸外国語)【R0803】入門英語(SS I) [須藤 祐二] 春学期授業/Spring	268
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択] 外国語(英語・諸外国語)【R0804】入門英語(SS I) II [須藤 祐二] 秋学期授業/Fall	269
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択] 外国語(英語・諸外国語)【R0805】入門英語(SS I) [鈴木 眞奈美] 春学期授業/Spring	270
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択] 外国語(英語・諸外国語)【R0806】入門英語(SS I) II [深谷 公宣] 秋学期授業/Fall	272
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択] 外国語(英語・諸外国語)【R0831】入門英語(SS I) [鈴木 理枝] 春学期授業/Spring	273
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択] 外国語(英語・諸外国語)【R0832】入門英語(SS I) II [鈴木 理枝] 秋学期授業/Fall	274
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択必修] 外国語(英語)【R2001】English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	275
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択必修] 外国語(英語)【R2002】English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	277
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択必修] 外国語(英語)【R2003】English 3 I [STEPHEN P MCINTYRE] 春学期授業/Spring	279
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択必修] 外国語(英語)【R2004】English 3 II [STEPHEN P MCINTYRE] 秋学期授業/Fall	282
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択必修] 外国語(英語)【R2005】English 3 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	285
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択必修] 外国語(英語)【R2006】English 3 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	286
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択必修] 外国語(英語)【R2007】English 3 I [小坂 恵理子] 春学期授業/Spring	287
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択必修] 外国語(英語)【R2008】English 3 II [小坂 恵理子] 秋学期授業/Fall	288
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択必修] 外国語(英語)【R2009】English 3 I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	289
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群[選択必修] 外国語(英語)【R2010】English 3 II [高井 美紀子] 秋学期授業/Fall	291

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2011】 English 3 I [山崎 暁子] 春学期授業/Spring	293
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2012】 English 3 II [山崎 暁子] 秋学期授業/Fall	295
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2013】 English 3 I [STEPHEN P MCINTYRE] 春学期授業/Spring	297
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2014】 English 3 II [STEPHEN P MCINTYRE] 秋学期授業/Fall	300
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2015】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	303
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2016】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	305
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2017】 English 3 I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	307
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2018】 English 3 II [高井 美紀子] 秋学期授業/Fall	309
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2019】 English 3 I [山崎 暁子] 春学期授業/Spring	311
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2020】 English 3 II [山崎 暁子] 秋学期授業/Fall	313
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2021】 English 3 I [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	315
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2022】 English 3 II [ROBIN F WEICHERT] 秋学期授業/Fall	317
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2023】 English 3 I [コートランド・デイビッド・スミス] 春学期授業/Spring	319
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2024】 English 3 II [コートランド・デイビッド・スミス] 秋学期授業/Fall	321
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2025】 English 3 I [ジョナサン・エイブル] 春学期授業/Spring	323
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2026】 English 3 II [ジョナサン・エイブル] 秋学期授業/Fall	324
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2027】 English 3 I [吉川 直澄] 春学期授業/Spring	325
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2028】 English 3 II [吉川 直澄] 秋学期授業/Fall	327
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2029】 English 3 I [大曲 陽子] 春学期授業/Spring	329
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2030】 English 3 II [大曲 陽子] 秋学期授業/Fall	331
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2031】 English 3 I [URBANOVÁ JANA] 春学期授業/Spring	333
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2032】 English 3 II [URBANOVÁ JANA] 秋学期授業/Fall	335
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2033】 English 3 I [利根川 真紀] 春学期授業/Spring	337
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2034】 English 3 II [利根川 真紀] 秋学期授業/Fall	338
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2035】 English 3 I [吉江 秀和] 春学期授業/Spring	339
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2036】 English 3 II [吉江 秀和] 秋学期授業/Fall	341
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2037】 English 3 I [飛田 英伸] 春学期授業/Spring	343
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2038】 English 3 II [飛田 英伸] 秋学期授業/Fall	344

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2039】 English 3 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	345
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2040】 English 3 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	346
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2041】 English 3 I [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	347
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2042】 English 3 II [ROBIN F WEICHERT] 秋学期授業/Fall	349
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2043】 English 3 I [コートランド・デイビッド・スミス] 春学期授業/Spring	351
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2044】 English 3 II [コートランド・デイビッド・スミス] 秋学期授業/Fall	353
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2045】 English 3 I [川 直澄] 春学期授業/Spring	355
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2046】 English 3 II [川 直澄] 秋学期授業/Fall	357
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2047】 English 3 I [B. 富士川 美紀] 春学期授業/Spring	359
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2048】 English 3 II [B. 富士川 美紀] 秋学期授業/Fall	361
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2049】 English 3 I [URBANOVÁ JANA] 春学期授業/Spring	363
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2050】 English 3 II [URBANOVÁ JANA] 秋学期授業/Fall	365
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2051】 English 3 I [利根川 真紀] 春学期授業/Spring	367
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2052】 English 3 II [利根川 真紀] 秋学期授業/Fall	368
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2053】 English 3 I [吉江 秀和] 春学期授業/Spring	369
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2054】 English 3 II [吉江 秀和] 秋学期授業/Fall	371
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2055】 English 3 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	373
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2056】 English 3 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	374
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2057】 English 3 I [田中 浩司] 春学期授業/Spring	375
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2058】 English 3 II [田中 浩司] 秋学期授業/Fall	377
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2059】 English 3 I [B. 富士川 美紀] 春学期授業/Spring	378
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2060】 English 3 II [B. 富士川 美紀] 秋学期授業/Fall	380
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2061】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	382
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2062】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	384
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2063】 English 3 I [青山 恵子] 春学期授業/Spring	386
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2064】 English 3 II [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	387
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2065】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	389
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2066】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	391

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2067】 English 3 I [ジョナサン・エイブル] 春学期授業/Spring	393
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2068】 English 3 II [石原 紀子] 秋学期授業/Fall	394
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2069】 English 3 I [URBANOVÁ JANA] 春学期授業/Spring	396
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2070】 English 3 II [URBANOVÁ JANA] 秋学期授業/Fall	398
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2071】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring	400
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2072】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall	401
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2073】 English 3 I [G ENC BURCU] 春学期授業/Spring	402
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2074】 English 3 II [G ENC BURCU] 秋学期授業/Fall	406
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2075】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring	409
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2076】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall	411
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2077】 English 3 I [小坂 恵理子] 春学期授業/Spring	413
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2078】 English 3 II [小坂 恵理子] 秋学期授業/Fall	414
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2079】 English 3 I [RICHARD WILCOX] 春学期授業/Spring	415
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2080】 English 3 II [RICHARD WILCOX] 秋学期授業/Fall	417
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2081】 English 3 I [ROBERT J SPIVAK] 春学期授業/Spring	419
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2082】 English 3 II [ROBERT J SPIVAK] 秋学期授業/Fall	421
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2083】 English 3 I [小田井 勝彦] 春学期授業/Spring	423
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2084】 English 3 II [小田井 勝彦] 秋学期授業/Fall	424
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2085】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	425
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2086】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	427
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2087】 English 3 I [森永 豊] 春学期授業/Spring	429
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2088】 English 3 II [森永 豊] 秋学期授業/Fall	431
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2089】 English 3 I [永田 喜文] 春学期授業/Spring	433
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2090】 English 3 II [永田 喜文] 秋学期授業/Fall	435
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2091】 English 3 I [TOBY TRAUB] 春学期授業/Spring	437
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2092】 English 3 II [TOBY TRAUB] 秋学期授業/Fall	439
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2093】 English 3 I [川澄 亜岐子] 春学期授業/Spring	441
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2094】 English 3 II [川澄 亜岐子] 秋学期授業/Fall	442

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2095】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	443
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2096】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	445
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2097】 English 3 I [須藤 祐二] 春学期授業/Spring	447
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2098】 English 3 II [須藤 祐二] 秋学期授業/Fall	448
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2099】 English 3 I [佐喜真 彩] 春学期授業/Spring	449
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2100】 English 3 II [佐喜真 彩] 秋学期授業/Fall	451
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2101】 English 3 I [青山 恵子] 春学期授業/Spring	453
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2102】 English 3 II [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	454
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2103】 English 3 I [ROBERT J SPIVAK] 春学期授業/Spring	455
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2104】 English 3 II [ROBERT J SPIVAK] 秋学期授業/Fall	457
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2105】 English 3 I [RICHARD WILCOX] 春学期授業/Spring	459
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2106】 English 3 II [RICHARD WILCOX] 秋学期授業/Fall	461
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2107】 English 3 I [小田井 勝彦] 春学期授業/Spring	463
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2108】 English 3 II [小田井 勝彦] 秋学期授業/Fall	464
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2109】 English 3 I [戸嶋 まゆみ] 春学期授業/Spring	465
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2110】 English 3 II [戸嶋 まゆみ] 秋学期授業/Fall	466
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2111】 English 3 I [佐藤 陽子] 春学期授業/Spring	467
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2112】 English 3 II [佐藤 陽子] 秋学期授業/Fall	469
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2113】 English 3 I [西尾 洋子] 春学期授業/Spring	471
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2114】 English 3 II [西尾 洋子] 秋学期授業/Fall	472
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2115】 English 3 I [森永 豊] 春学期授業/Spring	473
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2116】 English 3 II [森永 豊] 秋学期授業/Fall	475
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2117】 English 3 I [佐喜真 彩] 春学期授業/Spring	477
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2118】 English 3 II [佐喜真 彩] 秋学期授業/Fall	479
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2119】 English 3 I [永田 喜文] 春学期授業/Spring	481
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2120】 English 3 II [永田 喜文] 秋学期授業/Fall	483
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2121】 English 3 I [藤野 悠子] 春学期授業/Spring	485
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2122】 English 3 II [藤野 悠子] 秋学期授業/Fall	487

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2123】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring	489
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2124】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall	490
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2125】 English 3 I [K regg Johnston] 春学期授業/Spring	491
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2126】 English 3 II [K regg Johnston] 秋学期授業/Fall	493
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2127】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring	495
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2128】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall	497
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2129】 English 3 I [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	499
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2130】 English 3 II [宇治谷 義英] 秋学期授業/Fall	501
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2131】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring	503
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2132】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall	504
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2133】 English 3 I [K regg Johnston] 春学期授業/Spring	505
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2134】 English 3 II [K regg Johnston] 秋学期授業/Fall	506
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2135】 English 3 I [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	507
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2136】 English 3 II [宇治谷 義英] 秋学期授業/Fall	509
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2137】 English 3 I [川澄 亜岐子] 春学期授業/Spring	511
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2138】 English 3 II [川澄 亜岐子] 秋学期授業/Fall	512
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2139】 English 3 I [岩崎 博] 春学期授業/Spring	513
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2140】 English 3 II [岩崎 博] 秋学期授業/Fall	515
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2141】 English 3 I [D ANIEL G DUSZA] 春学期授業/Spring	517
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2142】 English 3 II [D ANIEL G DUSZA] 秋学期授業/Fall	519
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2143】 English 3 I [C HIA-WEI KANG] 春学期授業/Spring	521
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2144】 English 3 II [C HIA-WEI KANG] 秋学期授業/Fall	523
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2145】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	524
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2146】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	526
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2147】 English 3 I [G ENC BURCU] 春学期授業/Spring	528
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2148】 English 3 II [G ENC BURCU] 秋学期授業/Fall	531
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2149】 English 3 I [ジョナサン・エイブル] 春学期授業/Spring	534
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語)【R2150】 English 3 II [ジョナサン・エイブル] 秋学期授業/Fall	535

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2151】 English 3 I [余田 剛] 春学期授業/Spring	536
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2152】 English 3 II [余田 剛] 秋学期授業/Fall	537
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2153】 English 3 I [金谷 優子] 春学期授業/Spring	538
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2154】 English 3 II [金谷 優子] 秋学期授業/Fall	540
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2155】 English 3 I [須藤 祐二] 春学期授業/Spring	542
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2156】 English 3 II [須藤 祐二] 秋学期授業/Fall	544
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2157】 English 3 I [川澄 亜岐子] 春学期授業/Spring	546
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2158】 English 3 II [川澄 亜岐子] 秋学期授業/Fall	547
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2159】 English 3 I [岩崎 博] 春学期授業/Spring	548
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2160】 English 3 II [岩崎 博] 秋学期授業/Fall	550
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2161】 English 3 I [折笠 真美] 春学期授業/Spring	553
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2162】 English 3 II [折笠 真美] 秋学期授業/Fall	555
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2163】 English 3 I [T O B Y T R A U B] 春学期授業/Spring	557
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2164】 English 3 II [T O B Y T R A U B] 秋学期授業/Fall	559
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2165】 English 3 I [G E N C B U R C U] 春学期授業/Spring	561
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2166】 English 3 II [G E N C B U R C U] 秋学期授業/Fall	564
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2167】 English 3 I [S T E P H E N P M C I N T Y R E] 春学期授業/Spring	567
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2168】 English 3 II [S T E P H E N P M C I N T Y R E] 秋学期授業/Fall	570
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2169】 English 3 I [余田 剛] 春学期授業/Spring	573
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2170】 English 3 II [余田 剛] 秋学期授業/Fall	574
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2171】 English 3 I [金谷 優子] 春学期授業/Spring	575
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2172】 English 3 II [金谷 優子] 秋学期授業/Fall	577
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2173】 English 3 I [田口 清一] 春学期授業/Spring	579
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2174】 English 3 II [田口 清一] 秋学期授業/Fall	581
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2175】 English 3 I [須藤 祐二] 春学期授業/Spring	582
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2176】 English 3 II [須藤 祐二] 秋学期授業/Fall	584
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2177】 English 3 I [折笠 真美] 春学期授業/Spring	586
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（英語）【R2178】 English 3 II [折笠 真美] 秋学期授業/Fall	588

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2179】 English 3 I [野田 知子] 春学期授業/Spring	590
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2180】 English 3 II [野田 知子] 秋学期授業/Fall	592
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2181】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	594
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2182】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	596
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2183】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	598
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2184】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	600
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2185】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	602
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2186】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	604
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2187】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	606
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2188】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	608
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2192】 English 3 I [ALEC M ROSENBLIT] 春学期授業/Spring	610
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2193】 English 3 II [ALEC M ROSENBLIT] 秋学期授業/Fall	611
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2194】 English 3 I [ALEC M ROSENBLIT] 春学期授業/Spring	612
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2195】 English 3 II [ALEC M ROSENBLIT] 秋学期授業/Fall	613
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2201】 英語7 [北 文美子] 春学期授業/Spring	614
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2202】 英語7 [須藤 祐二] 春学期授業/Spring	615
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2203】 英語7 [中和 彩子] 春学期授業/Spring	616
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2204】 英語7 [鹿子嶋 由佳] 春学期授業/Spring	618
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2205】 英語7 [衣笠 正晃] 春学期授業/Spring	620
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2206】 英語7 [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	621
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2207】 英語7 [田中 邦佳] 春学期授業/Spring	623
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2208】 英語8 [JAMES O ESSEX] 春学期授業/Spring	624
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2209】 英語8 [JAMES D SHORT] 春学期授業/Spring	626
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2210】 英語8 [CHIA-WEI KANG] 春学期授業/Spring	628
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2211】 英語8 [JAMES D SHORT] 春学期授業/Spring	630
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2212】 英語8 [JUSTIN FALKUS] 春学期授業/Spring	632
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2213】 英語8 [DANIEL G DUSZA] 春学期授業/Spring	633
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2214】 英語8 [ウォルター・カズマー] 春学期授業/Spring	635

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2231】英語3 [北 文美子] 春学期授業/Spring	636
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2232】英語3 [北 文美子] 秋学期授業/Fall	637
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2233】英語3 [北 文美子] 春学期授業/Spring	638
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2234】英語3 [北 文美子] 秋学期授業/Fall	639
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2235】英語3 [竹内 晶子] 春学期授業/Spring	640
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2236】英語3 [野田 知子] 秋学期授業/Fall	641
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2237】英語3 [本間 章郎] 春学期授業/Spring	643
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2238】英語3 [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	645
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2239】英語3 [杉 亜希子] 春学期授業/Spring	647
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2240】英語3 [杉 亜希子] 秋学期授業/Fall	649
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2241】英語3 [深谷 公宣] 春学期授業/Spring	651
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(英語)【R2242】英語3 [深谷 公宣] 秋学期授業/Fall	652
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2301】英語オーラル・コミュニケーションⅠ [Robert Durham] 春学期授業/Spring	653
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2302】英語オーラル・コミュニケーションⅡ [Robert Durham] 秋学期授業/Fall	655
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2303】英語オーラル・コミュニケーションⅠ [CHRISTOPHER MASCHIO] 春学期授業/Spring	657
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2304】英語オーラル・コミュニケーションⅡ [CHRISTOPHER MASCHIO] 秋学期授業/Fall	658
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2351】ビジネス・イングリッシュⅠ [JOHN REILLY] 春学期授業/Spring	659
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2352】ビジネス・イングリッシュⅡ [JOHN REILLY] 秋学期授業/Fall	660
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2353】ビジネス・イングリッシュⅠ [LASSEGARD JAMES] 春学期授業/Spring	661
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2354】ビジネス・イングリッシュⅡ [LASSEGARD JAMES] 秋学期授業/Fall	662
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2381】English Reading and VocabularyⅠ [ウォルター・カズマー] 春学期授業/Spring	663
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2382】English Reading and VocabularyⅡ [ウォルター・カズマー] 秋学期授業/Fall	664
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2383】English Reading and VocabularyⅠ [ERIC J RITTER] 春学期授業/Spring	665
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2384】English Reading and VocabularyⅡ [ERIC J RITTER] 秋学期授業/Fall	666
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2391】English Academic WritingⅠ [PAUL K KALLENDER] 春学期授業/Spring	667
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2392】English Academic WritingⅡ [PAUL K KALLENDER] 秋学期授業/Fall	669
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2395】English Academic WritingⅠ [JUSTIN FALKUS] 春学期授業/Spring	671
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2396】English Academic WritingⅡ [JUSTIN FALKUS] 秋学期授業/Fall	672

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2401】 英語で学ぶ社会と文化Ⅰ [田中 邦佳] 春学期授業/Spring	673
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2402】 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ [田中 邦佳] 秋学期授業/Fall	675
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2403】 英語で学ぶ社会と文化Ⅰ [根本 怜奈] 春学期授業/Spring	677
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2404】 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ [根本 怜奈] 秋学期授業/Fall	678
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2405】 英語で学ぶ社会と文化Ⅰ [舟橋 美香] 春学期授業/Spring	680
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2406】 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ [舟橋 美香] 秋学期授業/Fall	682
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2407】 英語で学ぶ社会と文化Ⅰ [鈴木 博雄] 春学期授業/Spring	684
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2408】 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ [鈴木 博雄] 秋学期授業/Fall	685
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2409】 英語で学ぶ社会と文化Ⅰ [金谷 優子] 春学期授業/Spring	686
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2410】 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ [金谷 優子] 秋学期授業/Fall	688
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2411】 英語で学ぶ社会と文化Ⅰ [大曲 陽子] 春学期授業/Spring	690
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2412】 英語で学ぶ社会と文化Ⅱ [大曲 陽子] 秋学期授業/Fall	692
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2441】 English PresentationⅠ [NADER Jamelea] 春学期授業/Spring	694
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2442】 English PresentationⅡ [NADER Jamelea] 秋学期授業/Fall	696
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2443】 English PresentationⅠ [JOHN REILLY] 春学期授業/Spring	698
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2444】 English PresentationⅡ [JOHN REILLY] 秋学期授業/Fall	699
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2445】 English PresentationⅠ [コートランド・デイビッド・スミス] 春学期授業/Spring	700
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2446】 English PresentationⅡ [コートランド・デイビッド・スミス] 秋学期授業/Fall	702
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2451】 英語アカデミック・リーディングⅠ [岩崎 博] 春学期授業/Spring	704
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2452】 英語アカデミック・リーディングⅡ [岩崎 博] 秋学期授業/Fall	706
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2481】 英語検定試験対策Ⅰ [妻鹿 裕子] 春学期授業/Spring	708
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2482】 英語検定試験対策Ⅱ [妻鹿 裕子] 秋学期授業/Fall	709
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2483】 英語検定試験対策Ⅰ [青山 恵子] 春学期授業/Spring	710
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2484】 英語検定試験対策Ⅱ [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	711
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2485】 英語検定試験対策Ⅰ [小堀 洋] 春学期授業/Spring	712
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2486】 英語検定試験対策Ⅱ [小堀 洋] 秋学期授業/Fall	713
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2487】 英語検定試験対策Ⅰ [高橋 佳江] 春学期授業/Spring	714
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R2488】 英語検定試験対策Ⅱ [高橋 佳江] 秋学期授業/Fall	716

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2601】 Oral Communication I [PAUL K KALLENDER] 春学期授業/Spring	718
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2602】 Oral Communication II [PAUL K KALLENDER] 秋学期授業/Fall	720
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2603】 Oral Communication I [TIMOTHY B BETJEMAN] 春学期授業/Spring	722
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2604】 Oral Communication II [TIMOTHY B BETJEMAN] 秋学期授業/Fall	724
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2611】 English through Movies and Drama I [平野井 ちえ子] 春学期授業/Spring	726
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2612】 English through Movies and Drama II [平野井 ちえ子] 秋学期授業/Fall	727
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2613】 English through Movies and Drama I [舟橋 美香] 春学期授業/Spring	728
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2614】 English through Movies and Drama II [舟橋 美香] 秋学期授業/Fall	730
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2621】 TOEIC(R) I [平野井 ちえ子] 春学期授業/Spring	732
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2622】 TOEIC(R) II [平野井 ちえ子] 秋学期授業/Fall	733
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2623】 TOEIC(R) I [八代 華子] 春学期授業/Spring	734
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2624】 TOEIC(R) II [八代 華子] 秋学期授業/Fall	735
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2631】 英語検定試験対策 I [青山 恵子] 春学期授業/Spring	736
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2632】 英語検定試験対策 II [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	737
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2641】 Business Communication I [B . 富士川 美紀] 春学期授業/Spring	739
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2642】 Business Communication II [B . 富士川 美紀] 秋学期授業/Fall	741
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2651】 ニュース英語 I [小田井 勝彦] 春学期授業/Spring	743
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2652】 ニュース英語 II [小田井 勝彦] 秋学期授業/Fall	744
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2861】 English for Study Abroad I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	745
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2862】 English for Study Abroad II [TIMOTHY B BETJEMAN] 春学期授業/Spring	747
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4201】 ドイツ語3 I [D. ハイデンライヒ] 春学期授業/Spring	748
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4202】 ドイツ語3 II [D. ハイデンライヒ] 秋学期授業/Fall	749
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4203】 ドイツ語3 I [丸山 達也] 春学期授業/Spring	750
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4204】 ドイツ語3 II [丸山 達也] 秋学期授業/Fall	751
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4205】 ドイツ語3 I [JENS OSTWALD] 春学期授業/Spring	752
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4206】 ドイツ語3 II [JENS OSTWALD] 秋学期授業/Fall	753
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4211】 ドイツ語3 I [伊東 直美] 春学期授業/Spring	754
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4212】 ドイツ語3 II [伊東 直美] 秋学期授業/Fall	755

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4215】 ドイツ語3Ⅰ [保科 泰]	
春学期授業/Spring	756
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4216】 ドイツ語3Ⅱ [保科 泰]	
秋学期授業/Fall	757
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4217】 ドイツ語3Ⅰ [遠藤 浩介]	
春学期授業/Spring	758
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4218】 ドイツ語3Ⅱ [遠藤 浩介]	
秋学期授業/Fall	759
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4221】 ドイツ語3Ⅰ [大杉 千尋]	
春学期授業/Spring	760
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4222】 ドイツ語3Ⅱ [大杉 千尋]	
秋学期授業/Fall	761
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4223】 ドイツ語3Ⅰ [D. ハイ デンライヒ] 春学期授業/Spring	762
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4224】 ドイツ語3Ⅱ [D. ハイ デンライヒ] 秋学期授業/Fall	763
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4225】 ドイツ語3Ⅰ [丸山 達也]	
春学期授業/Spring	764
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4226】 ドイツ語3Ⅱ [丸山 達也]	
秋学期授業/Fall	765
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R4241】 ドイツ語4Ⅰ [遠藤 浩介] 春学期授業/Spring	766
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R4242】 ドイツ語4Ⅱ [遠藤 浩介] 秋学期授業/Fall	767
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R4243】 ドイツ語4Ⅰ [三ツ石 祐子] 春学期授業/Spring	768
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R4244】 ドイツ語4Ⅱ [三ツ石 祐子] 秋学期授業/Fall	770
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R4245】 ドイツ語4Ⅰ [保科 泰] 春学期授業/Spring	772
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R4246】 ドイツ語4Ⅱ [保科 泰] 秋学期授業/Fall	773
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4251】 ドイツ語(3)Ⅰ [JENS OSTWALD] 春学期授業/Spring	774
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4252】 ドイツ語(3)Ⅱ [JENS OSTWALD] 秋学期授業/Fall	775
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4261】 ドイツ語7 [林 志津江] 春 学期授業/Spring	776
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4262】 ドイツ語8 [小川 敦] 春 学期授業/Spring	778
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4271】 ドイツ語3-Ⅰ [岡本 雅克]	
春学期授業/Spring	779
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R4272】 ドイツ語3-Ⅱ [岡本 雅克]	
秋学期授業/Fall	780
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R4281】 ドイツ語コ ミュニケーションⅠ [JENS OSTWALD] 春学期授業/Spring	781
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R4282】 ドイツ語コ ミュニケーションⅡ [JENS OSTWALD] 秋学期授業/Fall	782
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R4283】 ドイツ語表現 法Ⅰ [Schmidt Ute] 春学期授業/Spring	783
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R4284】 ドイツ語表現 法Ⅱ [Schmidt Ute] 秋学期授業/Fall	784
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R4287】 SDGsで学 ぶドイツ語Ⅰ [上田 知夫] 春学期授業/Spring	785
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【R4295】 ドイツ語の世界LA [Schmidt Ute] 春学期授業/Spring	786

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（諸外国語分野）【R4296】 ドイツ語の世界LB [Schmidt Ute] 秋学期授業/Fall	787
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（諸外国語分野）【R4297】 ドイツの文化と社会 LA [小川 敦] 春学期授業/Spring	789
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（諸外国語分野）【R4298】 ドイツの文化と社会 LB [小川 敦] 秋学期授業/Fall	790
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5201】 フランス語3 I [コリンヌ ヴァリエンス] 春学期授業/Spring	791
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5202】 フランス語3 II [コリンヌ ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall	792
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5203】 フランス語3 I [中村 美 緒] 春学期授業/Spring	793
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5204】 フランス語3 II [中村 美 緒] 秋学期授業/Fall	794
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5205】 フランス語3 I [稲垣 正 久] 春学期授業/Spring	795
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5206】 フランス語3 II [稲垣 正 久] 秋学期授業/Fall	796
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5207】 フランス語3 I [柴田 恵 美] 春学期授業/Spring	797
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5208】 フランス語3 II [柴田 恵 美] 秋学期授業/Fall	799
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5209】 フランス語3 I [稲垣 正 久] 春学期授業/Spring	800
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5210】 フランス語3 II [稲垣 正 久] 秋学期授業/Fall	801
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5211】 フランス語3 I [ニコラ ガイヤール] 春学期授業/Spring	802
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5212】 フランス語3 II [ニコラ ガイヤール] 秋学期授業/Fall	803
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5213】 フランス語3 I [寺家村 博] 春学期授業/Spring	804
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5214】 フランス語3 II [寺家村 博] 秋学期授業/Fall	805
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5215】 フランス語3 I [石川 典 子] 春学期授業/Spring	806
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5216】 フランス語3 II [石川 典 子] 秋学期授業/Fall	807
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5219】 フランス語3 I [西川 純 子] 春学期授業/Spring	808
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5220】 フランス語3 II [西川 純 子] 秋学期授業/Fall	809
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5221】 フランス語3 I [石川 典 子] 春学期授業/Spring	810
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5222】 フランス語3 II [石川 典 子] 秋学期授業/Fall	811
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5223】 フランス語3 I (インテンシ ブ) [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring	812
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5224】 フランス語3 II (インテンシ ブ) [近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall	813
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R5243】 フランス語4 I [中村 美緒] 春学期授業/Spring	814
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R5244】 フランス語4 II [中村 美緒] 秋学期授業/Fall	815
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R5249】 フランス語4 I [鈴木 正道] 春学期授業/Spring	816

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R5250】 フランス語4Ⅱ [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall	818
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5251】 フランス語(3)Ⅰ [コリンヌ ヴァリエンス] 春学期授業/Spring	820
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5252】 フランス語(3)Ⅱ [コリンヌ ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall	821
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5257】 フランス語7 [岡村 民夫] 春学期授業/Spring	822
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5258】 フランス語8 [ル ルー 清野 ブレンダン] 春学期授業/Spring	823
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5261】 フランス語3-Ⅰ [西川 純子] 春学期授業/Spring	824
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R5262】 フランス語3-Ⅱ [西川 純子] 秋学期授業/Fall	825
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【R5271】 フランス語の世界ⅠA [廣松 勲] 春学期授業/Spring	826
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【R5272】 フランス語の世界ⅠB [廣松 勲] 秋学期授業/Fall	828
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R5273】 フランス語コミュニケーション(初級)Ⅰ [ニコラ ガイヤール] 春学期授業/Spring	830
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R5274】 フランス語コミュニケーション(初級)Ⅱ [ニコラ ガイヤール] 秋学期授業/Fall	831
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R5277】 フランス語視聴覚(初・中級)Ⅰ [廣松 勲] 春学期授業/Spring	832
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R5278】 フランス語視聴覚(初・中級)Ⅱ [南 玲子] 秋学期授業/Fall	834
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R5279】 時事フランス語Ⅰ [大中 一彌] 春学期授業/Spring	836
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R5280】 時事フランス語Ⅱ [大中 一彌] 秋学期授業/Fall	839
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R5285】 フランス語の発音レッスンⅠ [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring	842
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【R5291】 フランスの文化と社会ⅠA [鈴木 正道] 春学期授業/Spring	843
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【R5292】 フランスの文化と社会ⅠB [鈴木 正道] 秋学期授業/Fall	845
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【R5295】 フランス生活文化論ⅠA [梶谷 彩子] 春学期授業/Spring	847
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【R5296】 フランス生活文化論ⅠB [梶谷 彩子] 秋学期授業/Fall	849
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R6201】 ロシア語3Ⅰ [木部 敬] 春学期授業/Spring	851
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R6202】 ロシア語3Ⅱ [木部 敬] 秋学期授業/Fall	852
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R6203】 ロシア語3Ⅰ [小西 昌隆] 春学期授業/Spring	853
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R6204】 ロシア語3Ⅱ [小西 昌隆] 秋学期授業/Fall	854
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R6205】 ロシア語3Ⅰ [小西 昌隆] 春学期授業/Spring	855
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R6206】 ロシア語3Ⅱ [小西 昌隆] 秋学期授業/Fall	856
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R6211】 ロシア語4Ⅰ [木部 敬] 春学期授業/Spring	857
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R6212】 ロシア語4Ⅱ [木部 敬] 秋学期授業/Fall	858

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（諸外国語）【R6213】 ロシア語4 I [上野 理恵] 春学期授業/Spring	859
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語（諸外国語）【R6214】 ロシア語4 II [上野 理恵] 秋学期授業/Fall	860
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R6215】 ロシア語5 I [エレーナ 三神] 春学期授業/Spring	861
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R6216】 ロシア語5 II [エレーナ 三神] 秋学期授業/Fall	862
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R6221】 ロシア語7 [佐藤 千登勢] 春学期授業/Spring	863
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R6222】 ロシア語8 [上野 理恵] 春 学期授業/Spring	864
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R6231】 ロシア語3-I [小澤 裕之] 春学期授業/Spring	865
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R6232】 ロシア語3-II [小澤 裕之] 秋学期授業/Fall	866
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（諸外国語分野）【R6241】 ロシア語の世界L A [木部 敬] 春学期授業/Spring	867
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（諸外国語分野）【R6242】 ロシア語の世界L B [木部 敬] 秋学期授業/Fall	868
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（諸外国語分野）【R6243】 ロシアの文化と社会 L A [佐藤 千登勢] 春学期授業/Spring	870
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群（諸外国語分野）【R6244】 ロシアの文化と社会 L B [佐藤 千登勢] 秋学期授業/Fall	872
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R6245】 検定のロシ ア語A [佐藤 裕子] 春学期授業/Spring	874
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語（英語・諸外国語）【R6246】 検定のロシ ア語B [佐藤 裕子] 秋学期授業/Fall	875
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7301】 中国語3 I [陳 瀟瀟] 春 学期授業/Spring	876
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7302】 中国語3 II [陳 瀟瀟] 秋 学期授業/Fall	878
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7303】 中国語3 I [周 重雷] 春 学期授業/Spring	880
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7304】 中国語3 II [周 重雷] 秋 学期授業/Fall	881
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7305】 中国語3 I [劉 渴水] 春 学期授業/Spring	882
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7306】 中国語3 II [劉 渴水] 秋 学期授業/Fall	883
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7307】 中国語3 I [渋井 君也] 春学期授業/Spring	884
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7308】 中国語3 II [渋井 君也] 秋学期授業/Fall	885
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7309】 中国語3 I [青木 正子] 春学期授業/Spring	886
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7310】 中国語3 II [青木 正子] 秋学期授業/Fall	887
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7311】 中国語3 I [劉 渴水] 春 学期授業/Spring	888
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7312】 中国語3 II [劉 渴水] 秋 学期授業/Fall	889
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7315】 中国語3 I [桑島 道夫] 春学期授業/Spring	890
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7316】 中国語3 II [桑島 道夫] 秋学期授業/Fall	891

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7317】 中国語3Ⅰ [張 玉萍] 春学期授業/Spring	892
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7318】 中国語3Ⅱ [張 玉萍] 秋学期授業/Fall	893
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7319】 中国語3Ⅰ [木村 佳代子] 春学期授業/Spring	894
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7320】 中国語3Ⅱ [木村 佳代子] 秋学期授業/Fall	895
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7321】 中国語3Ⅰ [陳 瀟瀟] 春学期授業/Spring	896
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7322】 中国語3Ⅱ [陳 瀟瀟] 秋学期授業/Fall	898
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7323】 中国語3Ⅰ [木村 佳代子] 春学期授業/Spring	900
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7324】 中国語3Ⅱ [木村 佳代子] 秋学期授業/Fall	901
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7325】 中国語3Ⅰ [陳 瀟瀟] 春学期授業/Spring	902
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7326】 中国語3Ⅱ [陳 瀟瀟] 秋学期授業/Fall	904
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7327】 中国語3Ⅰ [耿 函] 春学期授業/Spring	906
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7328】 中国語3Ⅱ [耿 函] 秋学期授業/Fall	907
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7329】 中国語3Ⅰ [周 重雷] 春学期授業/Spring	908
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7330】 中国語3Ⅱ [周 重雷] 秋学期授業/Fall	909
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7331】 中国語3Ⅰ [張 玉萍] 春学期授業/Spring	910
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7332】 中国語3Ⅱ [張 玉萍] 秋学期授業/Fall	912
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7333】 中国語3Ⅰ [渋井 君也] 春学期授業/Spring	914
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7334】 中国語3Ⅱ [渋井 君也] 秋学期授業/Fall	915
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7335】 中国語3Ⅰ [猿渡 留理] 春学期授業/Spring	916
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7336】 中国語3Ⅱ [猿渡 留理] 秋学期授業/Fall	917
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7337】 中国語3Ⅰ [後藤 淳一] 春学期授業/Spring	918
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7338】 中国語3Ⅱ [後藤 淳一] 秋学期授業/Fall	919
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7339】 中国語3Ⅰ [三田村 圭子] 春学期授業/Spring	920
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7340】 中国語3Ⅱ [三田村 圭子] 秋学期授業/Fall	922
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7341】 中国語3Ⅰ [陳 瀟瀟] 春学期授業/Spring	924
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7342】 中国語3Ⅱ [陳 瀟瀟] 秋学期授業/Fall	926
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7345】 中国語3Ⅰ [李 維濤] 春学期授業/Spring	928
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7346】 中国語3Ⅱ [李 維濤] 秋学期授業/Fall	930

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7349】中国語3Ⅰ [祝 振媛] 春学期授業/Spring	932
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7350】中国語3Ⅱ [祝 振媛] 秋学期授業/Fall	934
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7353】中国語3Ⅰ [李 維濤] 春学期授業/Spring	936
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7354】中国語3Ⅱ [李 維濤] 秋学期授業/Fall	938
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7355】中国語3Ⅰ [李 維濤] 春学期授業/Spring	940
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7356】中国語3Ⅱ [李 維濤] 秋学期授業/Fall	942
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7371】中国語4Ⅰ [三田村 圭子] 春学期授業/Spring	944
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7372】中国語4Ⅱ [三田村 圭子] 秋学期授業/Fall	946
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7373】中国語4Ⅰ [葉会] 春学期授業/Spring	948
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7374】中国語4Ⅱ [葉会] 秋学期授業/Fall	949
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7375】中国語4Ⅰ [洪井 君也] 春学期授業/Spring	950
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7376】中国語4Ⅱ [洪井 君也] 秋学期授業/Fall	951
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7377】中国語4Ⅰ [余瀾] 春学期授業/Spring	952
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7378】中国語4Ⅱ [余瀾] 秋学期授業/Fall	953
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7379】中国語4Ⅰ [ショウ イクテイ] 春学期授業/Spring	954
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7380】中国語4Ⅱ [ショウ イクテイ] 秋学期授業/Fall	955
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7381】中国語4Ⅰ [祝振媛] 春学期授業/Spring	956
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7382】中国語4Ⅱ [祝振媛] 秋学期授業/Fall	958
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7383】中国語4Ⅰ [洪井 君也] 春学期授業/Spring	960
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7384】中国語4Ⅱ [洪井 君也] 秋学期授業/Fall	961
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7385】中国語(3)Ⅰ [耿 函] 春学期授業/Spring	962
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7386】中国語(3)Ⅱ [耿 函] 秋学期授業/Fall	963
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7387】中国語(3)Ⅰ [李 維濤] 春学期授業/Spring	964
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7388】中国語(3)Ⅱ [李 維濤] 秋学期授業/Fall	966
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7391】中国語7 [張 勝蘭] 春学期授業/Spring	968
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7392】中国語8 [鈴木 靖] 春学期授業/Spring	970
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7401】中国語3-Ⅰ [日原 傳] 春学期授業/Spring	971
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7402】中国語3-Ⅱ [日原 傳] 秋学期授業/Fall	972

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7403】 中国語3-I [大江 千晶]	
春学期授業/Spring	973
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7404】 中国語3-II [大江 千晶]	
秋学期授業/Fall	975
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7405】 中国語3-I [三田村 圭子]	
春学期授業/Spring	976
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7406】 中国語3-II [三田村 圭子]	
秋学期授業/Fall	978
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7407】 中国語3-I [葉 進] 春学	
期授業/Spring	980
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7408】 中国語3-II [葉 進] 秋学	
期授業/Fall	981
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野)【R7411】 中国語コミュニケー	
ション基礎Ⅰ [楊 心苗] 春学期授業/Spring	982
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野)【R7412】 中国語コミュニケー	
ション基礎Ⅱ [楊 心苗] 秋学期授業/Fall	983
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R7413】 中国語コミュ	
ニケーション初級Ⅰ [周 重雷] 春学期授業/Spring	984
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R7414】 中国語コミュ	
ニケーション初級Ⅱ [周 重雷] 秋学期授業/Fall	985
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語)【R7431】 中国語作文初	
級Ⅰ [渡辺 昭太] 春学期授業/Spring	986
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語)【R7432】 中国語作文初	
級Ⅱ [渡辺 昭太] 秋学期授業/Fall	987
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語)【R7433】 中国語視聴覚	
初級Ⅰ [劉 渴水] 春学期授業/Spring	988
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語)【R7434】 中国語視聴覚	
初級Ⅱ [劉 渴水] 秋学期授業/Fall	989
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R7437】 資格中国語	
初級Ⅰ [青木 正子] 春学期授業/Spring	990
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語)【R7438】 資格中国語	
初級Ⅱ [青木 正子] 秋学期授業/Fall	991
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野)【R7445】 中国語の世界L A	
[高柳 浩平] 春学期授業/Spring	992
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野)【R7446】 中国語の世界L B	
[高柳 浩平] 秋学期授業/Fall	993
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野)【R7447】 中国の文化と社会L	
A [山本 律] 春学期授業/Spring	994
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野)【R7448】 中国の文化と社会L	
B [山本 律] 秋学期授業/Fall	995
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野)【R7449】 中国の文化と社会L	
C [陳 瀟瀟] 春学期授業/Spring	996
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野)【R7450】 中国の文化と社会L	
D [陳 瀟瀟] 秋学期授業/Fall	998
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8201】 スペイン語3Ⅰ [若林 大	
我] 春学期授業/Spring	1000
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8202】 スペイン語3Ⅱ [若林 大	
我] 秋学期授業/Fall	1001
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8203】 スペイン語3Ⅰ [塩崎 公	
靖] 春学期授業/Spring	1002
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8204】 スペイン語3Ⅱ [塩崎 公	
靖] 秋学期授業/Fall	1003
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8207】 スペイン語3Ⅰ [塩崎 公	
靖] 春学期授業/Spring	1004
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8208】 スペイン語3Ⅱ [塩崎 公	
靖] 秋学期授業/Fall	1005

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8209】 スペイン語3Ⅰ [大貫 良史] 春学期授業/Spring	1006
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8210】 スペイン語3Ⅱ [大貫 良史] 秋学期授業/Fall	1007
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8211】 スペイン語3Ⅰ [コルメナロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring	1008
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8212】 スペイン語3Ⅱ [コルメナロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall	1009
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8213】 スペイン語3Ⅰ [岸下 卓史] 春学期授業/Spring	1010
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8214】 スペイン語3Ⅱ [岸下 卓史] 秋学期授業/Fall	1011
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8215】 スペイン語3Ⅰ [若林 大我] 春学期授業/Spring	1012
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8216】 スペイン語3Ⅱ [若林 大我] 秋学期授業/Fall	1013
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8217】 スペイン語3Ⅰ [塩崎 公靖] 春学期授業/Spring	1014
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8218】 スペイン語3Ⅱ [塩崎 公靖] 秋学期授業/Fall	1015
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8219】 スペイン語3Ⅰ [敦賀 公子] 春学期授業/Spring	1016
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8220】 スペイン語3Ⅱ [敦賀 公子] 秋学期授業/Fall	1017
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8221】 スペイン語3Ⅰ [長谷川悦夫] 春学期授業/Spring	1018
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8222】 スペイン語3Ⅱ [長谷川悦夫] 秋学期授業/Fall	1020
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8223】 スペイン語3Ⅰ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	1022
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8224】 スペイン語3Ⅱ [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	1023
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8225】 スペイン語3Ⅰ [大貫 良史] 春学期授業/Spring	1024
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8226】 スペイン語3Ⅱ [大貫 良史] 秋学期授業/Fall	1025
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8227】 スペイン語3Ⅰ [コルメナロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring	1026
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8228】 スペイン語3Ⅱ [コルメナロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall	1027
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8231】 スペイン語3Ⅰ [大貫 良史] 春学期授業/Spring	1028
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8232】 スペイン語3Ⅱ [大貫 良史] 秋学期授業/Fall	1029
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R8261】 スペイン語4Ⅰ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	1030
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R8262】 スペイン語4Ⅱ [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	1031
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R8263】 スペイン語4Ⅰ [鈴木 正士] 春学期授業/Spring	1032
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R8264】 スペイン語4Ⅱ [鈴木 正士] 秋学期授業/Fall	1033
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R8265】 スペイン語4Ⅰ [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring	1034
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R8266】 スペイン語4Ⅱ [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall	1035

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8271】 スペイン語(3)Ⅰ [塩崎公靖] 春学期授業/Spring	1036
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8272】 スペイン語(3)Ⅱ [塩崎公靖] 秋学期授業/Fall	1037
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8273】 スペイン語(3)Ⅰ [宮田絵津子] 春学期授業/Spring	1038
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8274】 スペイン語(3)Ⅱ [宮田絵津子] 秋学期授業/Fall	1039
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8281】 スペイン語7 [大西 亮] 春学期授業/Spring	1040
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8282】 スペイン語8 [佐々木 直美] 春学期授業/Spring	1041
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8291】 スペイン語3-Ⅰ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	1042
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8292】 スペイン語3-Ⅱ [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	1043
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8293】 スペイン語3-Ⅰ [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring	1044
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8294】 スペイン語3-Ⅱ [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall	1045
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8295】 スペイン語3-Ⅰ [CARMEN GARCIA] 春学期授業/Spring	1046
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8296】 スペイン語3-Ⅱ [CARMEN GARCIA] 秋学期授業/Fall	1047
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R8301】 スペイン語コミュニケーションⅠ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	1048
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R8302】 スペイン語コミュニケーションⅡ [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	1049
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R8303】 現代のスペイン語Ⅰ [大西 亮] 春学期授業/Spring	1050
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R8304】 現代のスペイン語Ⅱ [結城 健太郎] 秋学期授業/Fall	1051
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【R8305】 スペイン語の世界ⅠA [佐々木 直美] 春学期授業/Spring	1052
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【R8306】 スペイン語の世界ⅠB [佐々木 直美] 秋学期授業/Fall	1053
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9201】 朝鮮語3AⅠ [梁 禮先] 春学期授業/Spring	1054
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9202】 朝鮮語3AⅡ [梁 禮先] 秋学期授業/Fall	1056
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9203】 朝鮮語3AⅠ [梁 禮先] 春学期授業/Spring	1058
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9204】 朝鮮語3AⅡ [梁 禮先] 秋学期授業/Fall	1060
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9205】 朝鮮語3AⅠ [梁 禮先] 春学期授業/Spring	1062
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9206】 朝鮮語3AⅡ [梁 禮先] 秋学期授業/Fall	1064
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9221】 朝鮮語3BⅠ [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	1066
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9222】 朝鮮語3BⅡ [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	1067
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9223】 朝鮮語3BⅠ [荻野 優子] 春学期授業/Spring	1068
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9224】 朝鮮語3BⅡ [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	1069

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9225】朝鮮語3 B I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	1070
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9226】朝鮮語3 B II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	1071
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9227】朝鮮語3 B I [李 蕙臣] 春学期授業/Spring	1072
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9228】朝鮮語3 B II [李 蕙臣] 秋学期授業/Fall	1074
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9229】朝鮮語3 B I [河合 紀子] 春学期授業/Spring	1075
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9230】朝鮮語3 B II [河合 紀子] 秋学期授業/Fall	1076
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9231】朝鮮語3 B I [富所 明秀] 春学期授業/Spring	1077
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9232】朝鮮語3 B II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	1078
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9233】朝鮮語3 B I [富所 明秀] 春学期授業/Spring	1079
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9234】朝鮮語3 B II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	1080
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9235】朝鮮語3 B I [富所 明秀] 春学期授業/Spring	1081
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9236】朝鮮語3 B II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	1082
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9237】朝鮮語3 B I [富所 明秀] 春学期授業/Spring	1083
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9238】朝鮮語3 B II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	1084
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9239】朝鮮語3 B I [李 蕙臣] 春学期授業/Spring	1085
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9240】朝鮮語3 B II [李 蕙臣] 秋学期授業/Fall	1087
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R9241】朝鮮語4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring	1088
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R9242】朝鮮語4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall	1090
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R9243】朝鮮語4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring	1092
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R9244】朝鮮語4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall	1094
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R9245】朝鮮語4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring	1096
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R9246】朝鮮語4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall	1098
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9251】朝鮮語(3) I [富所 明秀] 春学期授業/Spring	1100
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9252】朝鮮語(3) II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	1101
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9261】朝鮮語7 [内山 政春] 春学期授業/Spring	1102
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9262】朝鮮語8 [高柳 俊男] 春学期授業/Spring	1104
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9271】朝鮮語3 - I [吉良 佳奈江] 春学期授業/Spring	1105
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9272】朝鮮語3 - II [吉良 佳奈江] 秋学期授業/Fall	1106

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9273】朝鮮語3-I [新谷 あゆり]	
春学期授業/Spring	1107
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9274】朝鮮語3-II [新谷 あゆり]	
秋学期授業/Fall	1108
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R9283】朝鮮語4 B I	
(視聴覚)[新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	1109
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R9284】朝鮮語4 B II	
(視聴覚)[新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	1110
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R9285】朝鮮語5 A	
I (講読)[荻野 優子] 春学期授業/Spring	1111
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R9286】朝鮮語5 A	
II (講読)[荻野 優子] 秋学期授業/Fall	1112
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R9287】朝鮮語5 B	
I (表現法)[神谷 丹路] 春学期授業/Spring	1113
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R9288】朝鮮語5 B	
II (表現法)[神谷 丹路] 秋学期授業/Fall	1114
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【R9289】朝鮮の文化と社会L	
A [梁 禮先] 春学期授業/Spring	1115
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【R9290】朝鮮の文化と社会L	
B [梁 禮先] 秋学期授業/Fall	1116
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R9291】朝鮮語4 C I	
(コミュニケーション)[吉良 佳奈江] 春学期授業/Spring	1117
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R9292】朝鮮語4 C II	
(コミュニケーション)[吉良 佳奈江] 秋学期授業/Fall	1119
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9311】朝鮮語3 B I [吉良 佳奈江]	
春学期授業/Spring	1121
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9312】朝鮮語3 B II [吉良 佳奈江]	
秋学期授業/Fall	1123
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9313】朝鮮語3 B I [富所 明秀]	
春学期授業/Spring	1124
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9314】朝鮮語3 B II [富所 明秀]	
秋学期授業/Fall	1125
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9315】朝鮮語3 B I [吉良 佳奈江]	
春学期授業/Spring	1126
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R9316】朝鮮語3 B II [吉良 佳奈江]	
秋学期授業/Fall	1128

LIN200LA (言語学 / Linguistics 200)

Intercultural Communication B 2017年度以降入学者

サブタイトル: Intercultural Understanding & Multicultural Identities

石原 紀子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木3/Thu.3

単位数: 2単位

定員制

グローバル・オープン科目として履修する場合、TOEFL iBT® 81以上 TOEFL iBT® 81 or equivalent is required as the Global Open Course.

その他属性: <グ>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

In today's globalization, we are increasingly required to interact internationally across cultural borders. Misunderstandings and conflicts are bound to occur, which calls for constructive dialogues and creative solutions. In this course, we will focus primarily on "invisible culture" to deepen your understanding of diversity in cultural orientations, values, behavior, and language uses. You will also reflect on your intercultural experiences and explore your multicultural identities while studying dynamic cultural dimensions.

【到達目標】

In this course, you will 1) cultivate your understanding of the relationships between culture and identity, 2) be able to analyze examples of and reasons for intercultural clashes and relate to others respectfully to come up with constructive solutions to intercultural issues and confusions, 3) be able to use concepts such as 'stereotypes,' 'generalizations,' 'othering,' and 'marginalization' in your analysis, 4) reflect on your intercultural experiences and multicultural mediation.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Before class you are required to work on reading and complete a reading quiz. In class you study relevant material, complete tasks in small groups, and share your discussions with the whole class. You are encouraged to actively participate in this problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will be provided for your written assignments and class presentations within a week.

This class involves a number of highly interactive activities. Only the first course meeting is scheduled online; any changes will be notified in Google Classroom.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction, course info, ice-breaking
2	What is culture?	Visible/invisible culture, 3Ps
3	3Ps of culture, Characteristics of culture	Perspectives of culture
4	Stereotypes and generalizations	Definitions and examples

5	Essentialization	Generalization and marginalization
6	Othering and marginalization	Case study discussion
7	Cultural diversity in academia and the workplace	Understanding diversity as an asset
8	Similarities and differences in cultural orientations-1	Analysis of cultural orientations (#1-3)
9	Similarities and differences in cultural orientations-2	Analysis of cultural orientations (#4-6)
10	Cultural case studies - 1	Analysis of use of time and group dynamics
11	Cultural case studies - 2	Application of Hofstede's and others' frameworks
12	Student-led discussions - 1	Intercultural case studies
13	Student-led discussions - 2	Intercultural case studies
14	Student-led discussions - 3, reflection	Intercultural case studies, Wrap-up discussion

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

You should complete assigned reading and/or writing before coming to class. Come ready to discuss the material with your classmates coming from different (sub)cultures.

According to the university guidelines, the preparation and review time of approximately four hours a week is recommended for this course.

【テキスト (教科書)】

Weekly readings will be made accessible through the course website (Google Classroom). Become familiar with this online resource to do your readings and submit your assignments. You are also expected to check your university email account daily to keep up with course announcements.

【参考書】

Resources related to the course content will be made available in Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Participation (20%)
- 2) Reading assignments and quizzes (50%)
- 3) Intercultural case study discussion (10%)
- 4) Final group paper (20%) (tentative breakdown)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Because this course is to be conducted in English, students must be competent speakers/writers of English (e.g., native or proficient with TOEFL® iBT 81 or above). International and Japanese students of any majors are welcome as long as they are interested in world languages. Students should view each other's languages and cultural experiences as assets to this course that contribute to the creation of a friendly and respectful learning community.

【学生が準備すべき機器他】

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone when you attend an online class on campus.

【その他の重要事項】

Depending on the pandemic (and other social) situations and your preferences, course delivery method may change. Please always check the announcements to be made in the Stream of the GC.

HIS200LA (史学/History 200)

Intercultural Communication A 2017年度以降入学者

サブタイトル: The History of Japan-U.S. Relations

佐々木 一恵

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木2/Thu.2

単位数: 2単位

定員制

グローバル・オープン科目として履修する場合、レベル3~4、TOEFL iBT® 44以上 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。 <https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required as the Global Open Course.

その他属性: <グ>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course explores topics in the history of Japan-U.S. relations from a global perspective. In recent years, global history has revealed complex interactions between goods, ideas, services, finance, and people across nation-states and regions. By incorporating the framework of global history, the course aims to reexamine the relationship between Japan and the U.S., paying particular attention to the interactions of individuals with different objectives and backgrounds in the Asia-Pacific region.

【到達目標】

At the end of this course, students will be able to:
Understand the historical development of Japan-U.S. relations from a global perspective.
Critically read and analyze both secondary scholarship and primary historical documents on Japan-U.S. relations, incorporating the framework of global history.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The first part of class focuses on providing students with a broad understanding of the background of the topic covered in the assigned readings. The class then engages in a discussion that allows students to share their insights and interpretations of the reading assignment. In the second half of the class, the focus shifts to a broader examination of the issues raised in the reading assignment. The class expands its scope to explore the implications, connections, and applications of the issues in a broader context. Class assignments (homework and presentation) will be peer-reviewed. The instructor will provide online feedback on exams.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	An overview of the course.

2	Whaling and the Meiji Restoration	Reading assignment: "Western Whalers in 1860s' Hakodate: How the Nantucket of the North Pacific Connected Restoration Era Japan to Global Flows"
3	The Pacific at the Crossroads 1	Reading assignment: "The Emergence of Japan on the Global Stage, 1895- 1908"
4	The Pacific at the Crossroads 2	Reading assignment: "Race, Language, and War in Two Cultures: World War II in Asia"
5	W.W.II and the Atomic Bomb	Reading assignment: "The Decision to Use the Atomic Bomb"
6	Competing Capitalism between the U.S. and Japan	Reading assignment: "Competing Capitalisms"
7	Consuming Japan in the 1980s U.S. 1	Reading assignment: "A Medium but Not a Message: The VCR and Cultural Globalization"
8	Consuming Japan in the 1980s U.S. 2	Reading assignment: "Authenticity in a Hybrid World: Sushi at the Crossroads of Cultural Globalization"
9	The Practice of Analyzing Primary Sources and a Quiz	The Assigned primary documents
10	Presentation 1	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 1 - Immigration
11	Presentation 2	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 2 - Diplomacy and Politics
12	Presentation 3	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 3 - Culture
13	Presentation 4	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 4 - Economics
14	Wrap up	Summary of the course

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to read assignments and be prepared for class discussions and presentations. University guidelines suggest that preparation and review should be four hours per week for a two-credit course.

【テキスト (教科書)】

There is no textbook for this course. All course materials are available online through the course website.

【参考書】

©Sebastian Conrad, What is Global History? (Princeton, NJ: Princeton University Press, 2017).

©Pedro Iacobelli, Danton Leary, Shinnosuke Takahashi, eds, Transnational Japan as History: Empire, Migration, and Social Movements (New York: Palgrave Macmillan, 2016).

©Robert Hellyer and Harald Fuess, The Meiji Restoration: Japan as a Global Nation (Cambridge: Cambridge University Press, 2020).

Brian McAllister Linn, Guardians of Empire: The U.S. Army and the Pacific, 1902- 1940 (Chapel Hill: University of North Carolina Press, 1997).

©Lon Kurashige ed., Pacific America: Histories of Transoceanic Crossings (University of Hawaii Press, 2017).

©Andrew C. McKevitt, Consuming Japan: Popular Culture and the Globalizing of 1980s America (Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2017).

【成績評価の方法と基準】

1. Class participation 30%
2. In-class primary document analysis quiz 10%
3. Presentation 30%
4. Primary document analysis essay 30%

Based on the grading criteria set by the instructor, students who successfully achieve 60% or more of the course goals will earn a passing grade.

As a general rule, if you are absent more than three times per semester, it will be difficult to receive credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

ICT devices such as laptops and tablets.

POL200LA (政治学 / Politics 200)

Intercultural Communication C 2017年度以降入学者

サブタイトル：Language, culture, globalization: Rapport-building strategies across Languages

石原 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

定員制

グローバル・オープン科目として履修する場合、TOEFL iBT® 81以上 TOEFL iBT® 81 or equivalent is required as the Global Open Course.

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Without cultural knowledge, language users may not fully understand the meaning of a message. Even with perfect grammar, we could completely offend our conversational partners without using language in a socially and culturally suitable manner. In this course, we will take a close look at the face-saving strategies used in several languages. We will also consider and discuss diverse cultural values and orientations that are closely connected to verbal and non-verbal behavior in various cultures. This enhanced linguistic and cultural awareness will help you become a more tactful and respectful user of your first and second languages and prepare you for effective intercultural communication.

【到達目標】

In this course, you will become able to 1) cultivate your understanding of the relationship between language form, meaning, and context, 2) become familiar with the notions of face and politeness, 3) collect and analyze authentic language samples to understand linguistic strategies and underlying cultural values, 4) understand the impact of microaggressions and develop strategies for responding to them, 5) become aware of rapport-building strategies to cope with technological affordances and constraints. The course will also provide an opportunity for you to reflect on intercultural misunderstandings and respectful communication strategies with which to relate to others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Before class you are required to work on reading and complete assignments. In class we study relevant material, complete tasks in small groups, and share your discussion with the whole class. You are encouraged to actively participate in this problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will be provided for your written assignments and class presentation within a week.

This class involves a number of highly interactive activities. Only the first course meeting is scheduled online; any changes will be notified in Google Classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction, course info, ice-breaking
2	Greetings	Analysis of authentic language data

3	Face and politeness	Positive and negative politeness
4	Giving and responding to compliments - 1	Linguistic aspects of compliments/responses
5	Giving and responding to compliments - 2	Cultural aspects of compliments/responses
6	Review discussion	Quiz and discussion
7	Refusals - 1	Language of refusals, data collection
8	Refusals - 2	Cultural similarities/ differences in refusals
9	Language analysis discussion and review	Review quiz and discussion
10	Microaggressions - basics	Definitions, types, and examples, discussion, reflective writing
11	Impact of microaggressions	Microaggressions in Japan, discussion, reflective writing
12	Responding to microaggressions	From a bystander to an ally, discussion, reflective writing
13	Microaggressions and power, globalization and technology	Sociohistorical view, reflective writing, final project preparation
14	Collaborative "chain" presentation, wrap-up	Student presentations, final reflection, course evaluation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You should complete assigned reading and/or writing before coming to class. Come ready to discuss the material with your classmates coming from different (sub)cultures.

According to the university guidelines, the preparation and review time of approximately four hours a week is recommended for this course.

【テキスト（教科書）】

Readings will be made accessible through the course website (Google Classroom). Become familiar with this online resource to read and complete your assignments before class. You are also expected to check your university email account daily to keep up with course announcements.

【参考書】

Resources related to the course content will be made available in Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Participation (20%)
- 2) Language analysis journal (16%)
- 3) Language analysis quizzes (30%)
- 4) Reflective writings (24%)
- 5) Final project (10%) (tentative percentages)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Because this course is to be conducted in English, students must be competent speakers/writers of English (e.g., native or proficient with TOEFL® iBT 81 or above). International and Japanese students of any majors are welcome as long as they are interested in world languages. Students should view each other's languages and cultural experiences as assets to this course that contribute to the creation of a friendly and respectful learning community.

【学生が準備すべき機器他】

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone when you attend an online class on campus.

LIN200LA (言語学 / Linguistics 200)

Intercultural Communication D 2017年度以降入学者

サブタイトル: Arts-Based Learning of Diversity, Equity, and Social Activism

石原 紀子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木3/Thu.3

単位数: 2単位

定員制

グローバル・オープン科目として履修する場合、TOEFL iBT® 81以上 TOEFL iBT® 81 or equivalent is required as the Global Open Course.

その他属性: <グ><ダ>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

In this course, we start by discussing how arts facilitate learning, especially of current social issues related to equity, diversity, and social inclusion in the globalized world today. You are invited to become part of this learning community sharing your cultural and social knowledge and experience while learning from others of all majors enrolled in this course. You will experience various forms of art incorporated into social activism calling for social and ecological justice. Through this experience, you will understand social, political, and historical backgrounds associated with the given activism. Your learning will be facilitated through the modeling by the instructor as well as through peer teaching. We will also collaboratively research, discuss, and learn about non-violent peace activists from various cultures and ethnic groups in the world. This will provide you with an opportunity to consider a method and option of acting and relating to others with respect, empathy, and compassion within and across cultural borders.

【到達目標】

In this course, you will: 1) understand and appreciate artistic expressions of equity, diversity, and inclusion, 2) understand social activism behind artistic expressions, and 3) participate in an arts-based approach to social justice issues. You will also reflect on your own reactions to issues of equity and diversity and consider how this learning may influence your values, identities, and worldview in relation to your major field of study and career choice.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Before class you are required to work on some reading assignments. In class we study new material, complete relevant tasks individually and in pairs or small groups, and share your discussion with the class. You are encouraged to actively participate in group work and problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will also be provided for your writing and oral presentations within a week of your assignment submissions.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, ice-breaking, What is social activism?
2	Understanding equity and diversity through arts	Considering relationship between art and social activism, Marshall Rosenberg
3	Poetry for social activism	Learning about social activism through poetry, Mother Teresa
4	Poetry for multicultural identities	Developing multicultural identities through poetry writing, Mahatma & Katurabai Gandhi
5	Film for art and social activism	Understanding film for art and social justice, Nelson Mandela
6	Stories/Story-telling for equity, diversity, and inclusion	Analyzing narratives for DEI, Mairead Corrigan McGuire & Betty Williams
7	Painting or photography as social activism	Considering peace and activism through paintings and photographs, H. H. The Dalai Lama
8	Music for art and social activism	Understanding social activism through music, Mothers of the Plaza de Mayo
9	Music for diversity, equity, and inclusion	Understanding DEI through music, Peter Benenson
10	Children's literature for social justice	Analyzing picture books for social justice education, Sister Chan Khong
11	Folk tales or cartoons for understanding social justice themes	Understanding social justice through folk tales or cartoons, social activist (TBA)
12	Novels for social and ecological justice	Understanding social/ecological justice through literature, Meena Keshwar Kamal
13	Documentaries for diversity, equity, and inclusion	Understanding DEI through documentary films, social activist (TBA)
14	Wrap-up and reflection	Reflection and your artistic expression

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

You should complete assigned reading and/or homework ahead of time and come to class ready for discussion. Review your lesson after class and complete reflective writing when assigned.

For your presentations, develop a peer teaching session on artistic expressions of diversity, equity, or inclusion issues (Micro Teaching) and creative multi-media talk on a social activist of your choice (Mini-Research presentation). Prepare a presentation and discussion appealing and engaging for your peers and rehearse it to be effective.

University guidelines suggest the preparation and review time of around four hours a week for a two-credit course.

【テキスト (教科書)】

Censor, Meera. (2011). Humanitarians for justice, nonviolence, and peace. San Bernadino, California.

【参考書】

Other readings will be distributed through the course website, Google Classroom. Handouts and resources related to the course content are to be provided in class or made available in Google Classroom as well.

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal assessment of your work at the end of the term. The grade on a late assignment may be lowered. You will be graded on:

- 1) Attendance and participation (20%)
- 2) Micro teaching and mini research presentations (50%)
- 4) Online reactive writing (16%)
- 5) Final reflection (14%)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Message to the course participants:

This is a course that requires you to share your ideas, knowledge, and experiences. You will meet interesting peers from various cultures and learn from working with them as well as the instructor. Be ready to interact with different peers each time.

This course is conducted in English. Students must be competent speakers of English (native or proficient with TOEFL® iBT 81+ or equivalent). If your scores are TOEFL® iBT 81 - 100, you can take this course but be ready to make a little more thorough preparation each week.

I expect international and Japanese students of all majors to work collaboratively despite their different cultural and linguistic backgrounds. Come with an open mind and learn from each other!

【学生が準備すべき機器他】

Become familiar with the course website to download readings and post your work. You are also expected to check your university email on a daily basis to keep up with course announcements.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語補講 3 I

2017年度以降入学者

カレンス フィリップ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金6/Fri.6

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このコースの主な目的は、1年生で学んだフランス語の基礎知識を復習し、さまざまな練習問題での応用を通じてそれを強化することです。これにより、言語の4つの能力を総合的に鍛えることができます。難易度に応じた段階的な進行により、学習者は自分の能力を無理なく発展させ、コミュニケーションでフランス語を最大限に活用できるようになります。

【到達目標】

第一の目標は次のポイントに重点を置きます。

1. フランス語の文法の知識を高め、色んな練習に通じて強化する。
2. フランス語の語彙や言い方を増やして、使えるようにする。
3. フランス語の日常会話をもっと聞き取れるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は基本的には対面で進めることを想定しています。初回授業時に、今後の進め方等についてガイダンスを行います。教科書の進行に従って進みます。

テーマに即した会話を聞き、語彙、文法を説明し、練習問題を繰り返す。

そして、ペアでロールプレーなどを行い、フランス語を磨く。さらに、フランスの文化、習慣などをコラムや資料を使って楽しく伝え、理解力を深める。

学生からの質問には授業時間内、または授業支援システムを通じてフィードバックしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Initiation 1,2 Se présenter (1) Salutations Nom nationalité Profession	挨拶する 自己紹介(1) 国籍 職業
2回	Leçon 1 Se présenter(2) Nom, profession, Lieu de domicile	自己紹介(2) 名前、 職業、 住んでいる所
3回目	Leçon 2 Demander la profession la nationalité Exprimer un souhait Dire quelle langue on parle(1)	職業と国籍を尋ねる やりたい職業を言う 何語を話すか言う(1)

4回目	Leçon 3 Questions sur quelqu'un Désigner quelque chose Dire quelle langue on parle (2)	人についてたずねる もの・ことを示す 何語を話すか言う(2)
5回目	Leçon 4 Goûts Nuancer Préférences	好きなものを言う 好き嫌いの程度 どちらが好きか言う
6回目	Leçon 5 Activités préférées Nuancer (degrés d'appréciation) Parler de ses envies	好きな行為 好き嫌いの程度 したいことについて話す
7回目	Révisions Test de mi-trimestre	復習、 中間テスト
8回目	Leçon 6 (1) Expliquer ses goûts Expliquer ses préférences Les adjectifs	好みを説明する 形容詞(1) どちらか理由を述べる
9回目	Leçon 6 (2) Décrire une personne Test de personnalité Les adjectifs (2)	人を描写する 形容詞(2)
10回目	Leçon 7 (1) Parler de soi âge, années d'études Les matières scolaires Les nombres de 11 à 59	自分について話す (年齢、学年) 科目について話す 数字(11から59まで)
11回目	Leçon 7 (2) Emploi du temps	時間の使い方 時間割
12回目	Leçon 8 Possession Appartenance Emprunter un objet	もっているものについて 所有を表す のを借りる
13回目	Révisions Test de fin de trimestre	復習 期末テスト
14回目	Correction du test Culture française	期末テストの返却 フランスの文化

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。毎回の予習・復習でやることは同じです。予習の段階では、知らない単語を確認し、完全にわからなくてもよいのでその課の文章を読み、意味を考えてくること。復習では、その日に学んだ点に関して、文法や構文のポイントを整理してください。

【テキスト（教科書）】

Spirale Nouvelle édition Méthode de français pour débutants +CD MP3
Edition : Hachette Auteurs : Gael Crépieux Philippe Callens
ISBN : 9789920180863

【参考書】

電子辞書、紙の辞書どちらでも良いですが、手元に用意しておくとう便利です。
授業の予習・復習にぜひ活用してください。

【成績評価の方法と基準】

1. 中間テスト・期末試験: 60 %
2. ミニテスト: 20%
3. 課題: 10%

4. 積極性・平常点：10 %

【学生の意見等からの気づき】

文法の習得を容易にするために、追加の練習問題が提供されます。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppiにある教材にアクセスするには、スマートフォンかパソコンが必要です。

【Outline (in English)】

The main goal of this course is to review the basic French concepts learned in the first year and to reinforce them by applying them in a variety of exercises that will work on the four language skills. A step-by-step progression based on levels of difficulty will allow learners to develop their abilities without difficulty in order to make the best use of their French in communication. Reviewing learned vocabulary, grammar and expressions about dialogues of the textbook will be a good method.

Grading will be decided based on in-class and out-class contribution (40%) and two term-examinations (60%).

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語補講 3 II

2017年度以降入学者

カレンス フィリップ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金6/Fri.6

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

先学期に引き続き、フランス語を聞き取り、理解し、話す力などの伸長に取り組みます。語彙と文法の知識を確認しながら、テキストに沿って授業を進めていきます。日常生活の場面に応じて生きたフランス語にふれることで、文法や語彙の知識を運用に結びつける方法を学んでいきましょう。

【到達目標】

第一の目標は次のポイントに重点を置きます。

1. フランス語の文法の知識を定着させる。
2. フランス語の語彙を増やす。
3. フランス語の文法の知識を使って、フランス語の文章を読み、聞き取ることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

対話を聞き、理解を確かめた後、話題の内容に関係がある文法、語彙、言い方などのいろいろな練習問題に取り組む授業です。最後に場面に応じてロールプレイを行います。学生からの質問には授業時間内に、または授業支援システムを通じてフィードバックしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction Leçon 9 (1) Explication sur un lieu Se renseigner sur un lieu	授業の紹介 場所について説明する 場所についての情報
第2回	Leçon 9 (2) Interroger sur un lieu situer un lieu Etes-vous francophile ?	場所についてたずねる フランス好きテスト
第3回	Leçon 10 (1) Activités quotidiennes Demander ce qu'on fait	日常行為 何をするかたずねる
第4回	Leçon 10 (2) Demander des précisions	詳しくきく

第5回	Leçon 11 (1) Activités de loisirs le sport Instruments de musique Les jeux	趣味・余暇について話す
第6回	Leçon 11 (2) Parler de ses habitudes	習慣について話す
第7回	Révisions Test	復習、 中間テスト
第8回	Leçon 12 (1) Parler de la famille Événements passés (1)	家族について話す 過去の出来事(1)
第9回	Leçon 12 (2) Événements passés (2)	過去の出来事(2)
第10回	Leçon 13 (1) Destinations Aller L'heure	行先 行く 時間
第11回	Leçon 13 (2) Dire où on est allé et donner des précisions	どこに行ったのか 詳しく話す
第12回	Leçon 14 Possibilité obligation Proposer une activité Interdiction	可能性 提案 禁止
第13回	Révisions Test final	復習 期末テスト
第14回	Correction du test Culture française	テスト返却 フランスの文化

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。毎回の予習・復習でやることは同じです。予習では、とにかく辞書を引いて、わからない単語を調べてきてください。復習では、授業で学んだことに関して、文法のポイントを整理してみてください。

【テキスト（教科書）】

Spirale Nouvelle édition Méthode de français pour débutants +CD MP3

Edition : Hachette Auteurs : Gael Crépieux Philippe Callens
ISBN : 9789920180863

【参考書】

電子辞書、紙の辞書どちらでも良いですが、手元に用意しておくことと便利です。
授業の予習・復習にぜひ活用してください。

【成績評価の方法と基準】

1. 中間テスト・期末試験: 60 %
 2. ミニテスト: 20%
 3. 課題: 10%
 4. 積極性・平常点: 10 %
- 毎回の授業での主体的な取り組み（予習・復習ができてきているかを含む）: 40 %、
期末試験: 60 %で、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

難しいポイントについては、さらに説明や練習問題が提供されます。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppiiにある教材にアクセスするには、スマートフォンかパソコンが必要です。

【Outline (in English)】

Following the 1st year program, this course is for students who have learned French for a year and half. In this class, students will strengthen their knowledge of basic grammar and vocabulary. At the end of the course, they will be able to understand more daily French conversation and develop communication ability. After each class meeting, students will be expected to spend one hour on this review. Reviewing learned expressions about dialogues of the textbook will be a good method.

Grading will be decided based on in-class and out-class contribution (40%) and term-end examination (60%).

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

Intercultural Communication E 2017年度以降入学者

サブタイトル：French culture and media

STEVE CORBEIL

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course will examine films, television, social media, advertising, and other media platforms to understand how they shape and reflect cultural interactions and societal trends. We'll emphasize real-world analysis and practical applications to understand better the role media plays in intercultural communication.

【到達目標】

This course investigates how media reflects and shapes cultural values, societal norms, and political realities. Students will explore the representation of different cultures, particularly the portrayal of French culture in global media, while examining the influence of racism and political factors on intercultural communication. Through media analyses and case studies, students will develop the critical thinking and media literacy skills necessary to interpret and navigate today's complex intercultural media environment.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Interactive lectures, media analysis, group discussions

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Intercultural Communication and Media	Course objectives, key concepts
2	Media as a Cultural Mirror and Shaper	Media and cultural values, French cinema's portrayal of French society
3	Language, Racism, and Communication Styles in Media	Comparing French and American media
4	Politics, Power, and Media Representation	The portrayal of political issues in French media
5	Stereotypes and Media Representation	French stereotypes in international media
6	Media Consumption Habits Across Cultures	Comparing how different cultures consume and engage with media (France, USA, Japan)

7	Advertising and Cultural Nuances	Analyzing French advertising campaigns and their cultural implications
8	French TV on Netflix – Part 1	Emily in Paris
9	French TV on Netflix – Part 2	Lupin
10	French TV on Netflix – Part 3	Future trends
11	Theoretical Perspectives – Achille Mbembe	Reading Achille Mbembe
12	Representation of French Culture in Japanese Media	Drops of God and other manga about French culture
13	French caricatures	Analyzing French caricatures
14	Recap and exam	Students questions and exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to engage with a range of assigned materials, including excerpts from primary texts by the authors studied in class, as well as critical articles that offer interpretive perspectives on these works. In addition, video content will be provided via YouTube, and students are required to watch these materials in advance of each session. Building on these readings and audiovisual materials, students will produce a series of short essays that demonstrate their understanding and critical engagement with the course content. In preparation for the final examination, students are also expected to acquire a solid grasp of key concepts, as well as essential factual knowledge related to French society and culture.

【テキスト（教科書）】

This class does not require a textbook.

【参考書】

Jane Jackson, *Introducing Language and Intercultural Communication*, Routledge, 2023.Ingrid Piller, *Intercultural Communication: A Critical Introduction*, Edinburgh University Press, 2017.Achille Mbembe, *Necropolitics*, Duke University Press Books, 2019.

【成績評価の方法と基準】

Participation: 30%

Readings and media analysis: 30%

Final exam: 40%

【学生の意見等からの気づき】

I did not receive comments from students asking for specific changes to the class.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

Intercultural Communication F 2017年度以降入学者

サブタイトル: The Creation of National Identities in Europe

ル ルー 清野 ブレンダン

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火3/Tue.3

単位数: 2単位

定員制

その他属性: <グ> <ダ>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course will mainly explore the issue of national identity in modern and contemporary Europe. The aim of this course is to study modern and contemporary history of Europe not in a general historical way, but through the prism of questions such as "What can define a people or a nation?" and "How were these peoples or nations created?" Particular emphasis will be placed on the relationship between the nation-state and language (i.e. "national language") in modern and contemporary Europe, and on France as a good example to answer the above questions.

【到達目標】

By the end of this course, students should be able to:

- understand and explain key concepts and ideas about national identity in modern and contemporary Europe;
- understand and explain key concepts and ideas about the creation of such identities;
- critically read and analyse academic readings on history;
- discuss their ideas on national identity in modern and contemporary Europe with others;
- deploy appropriate analytical tools to critically examine various historical or general materials.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The course consists of lectures, class discussions, group activities, and student presentations (depending on the number of enrolled students).

All work is carried out in English in class and that includes interaction between students and from students to the lecturer. Students will deal with reading various historical and academic texts as well as documents written in different languages, looking at visual documents such as pictures and diagrams, watching videos, then they will discuss these, try to answer questions, and apply strategies to solve problems.

The format of the course will be as interactive and participatory as possible, with the help of screened slides in order to explain important facts and/or concepts.

The key to success in this course is weekly preparation and review of the class content, and active participation during class discussion and group works, in order to build a common knowledge about national identity in modern and contemporary Europe.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	- Self-introductions - Overview of the syllabus - What is Europe? Where is Europe?
2	What is Europe?	Image of and stereotypes about Europe
3	Catalonia ①	The Catalan "problem"
4	Catalonia ②	The process of forming Catalonia
5	Catalonia ③	Languages in Catalonia and Spain
6	Catalonia ④	Catalonia and the "nation-state" / "nation-state" and the "imagined community"
7	18th century "Germany"	Herder and the "national language"
8	In search of a "national language"	Language situation in Europe
9	"One nation, one language"? ①	The process of formation of the French language ①: "When Languages Did Not Make Kingdoms"
10	"One nation, one language"? ②	The process of formation of the French language ②: Revolution and "national language"
11	Diffusion of the "national language" ①	France
12	Diffusion of the "national language" ②	England
13	Identifying the Ancestors ①	"Our ancestors the Gauls"
14	Identifying the Ancestors ②	France as a "melting pot"

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are required to read all the assignments (given in advance) and be ready for class discussions, group activities and presentations in class.

University guidelines suggest preparation and review should be around four hours a week for a two-credit course like this one.

【テキスト (教科書)】

There is no textbook to be bought for this class.

However, reading and viewing assignments will be made available in the reserve section of the library and/or uploaded to the course website on Hoppii (student information management system), and/or handed out in class.

【参考書】

"The Creation of National Identities, Europe, 18th – 20th Centuries"

Author: Anne-Marie Thiesse, Brill, 2022 (should be available as an e-book from Hosei Library)

【成績評価の方法と基準】

60% - Attendance, class participation, short tests (in class)

30% - Group and/or individual presentation (depending on the number of enrolled students)

10% - Homework, "preparation sheets", etc. (at home)

Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60% or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

* Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. Therefore, you will not be able to pass this course if you miss more than three classes. Moreover, full score for regular attendance is only given to those students attending all classes. Each absence will result in a 10% lowering of your final grade. If you are absent for any reason, you must contact the lecturer through e-mail and explain.

【学生の意見等からの気づき】

n/a (No particular comments made last year.)

【学生が準備すべき機器他】

Smartphones and other distracting devices are banned from this class, and no use of internet will be required in the classroom.

【その他の重要事項】

- The course will be given in English, therefore students are expected to have a basic knowledge of English at university level. However perfect English is NOT required to take this class (the lecturer does not use himself a perfect English). The will to develop your English skills and an interest in languages, history and historical texts is expected. When necessary, additional explanations (e.g. difficult terms) may be given in Japanese or other languages.
- Students being late more than 15 minutes for no valid reason will see their attendance grade lowered by 5% (i.e. 2 times late =1 absence).
- Depending on the number of enrolled students and on the rhythm of the class, the above schedule is subject to change.
- Please refrain from private conversations during class, but feel free to ask any questions you may have.
- Using automatic translation or AI to prepare for this class is not in your interest as you will not be able to use any device for group works, tests and presentations... Please rather try to read and understand the documents directly in their original language (mainly English).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講 3 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

中国語で会話ができるようになるための訓練を通じて、準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント（「目的語が主述句のとき」など3項目）の説明
2	第1課	「中国に行こう」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント（「逆接を表す“可是”」など3項目）の説明
4	第2課	「ウーロン茶を飲もう」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント（「疑問詞“怎么”」など3項目）の説明
6	第3課	「友だちをつくろう」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント（「副詞“就”」など2項目）の説明
9	第4課	「長城に登ろう」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント（「仮定を表す“要是”」など3項目）の説明
11	第5課	「漢字を覚えよう」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント（「又～又～」など3項目）の説明
13	第6課	「街を歩こう」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でペンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

竹島金吾監修、尹景華・竹島毅著『《新版》中国語さらなる一歩』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40％、中間試験30％、期末試験30％

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講3 II

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

中国語で会話ができるようになるための訓練を通して、準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「部分否定」など3項目）の説明
2	第7課	「中国映画を見よう」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など3項目）の説明
4	第8課	「シルクを買おう」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「強調表現」など2項目）の説明
6	第9課	「中華を食べよう」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「推測を表す“会”」など3項目）の説明
9	第10課	「太極拳を習おう」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「結果補語」など2項目）の説明
11	第11課	「水滸伝を楽しもう」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「介詞“把”」など2項目）の説明
13	第12課	「春節を過ごそう」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でペンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

竹島金吾監修、尹景華・竹島毅著『《新版》中国語さらなる一歩』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40％、中間試験30％、期末試験30％

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講3 I

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語を読む・書く・聞く・話すという4技能のレベルを高める。
- ・中国の文化や現在の社会状況について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	授業の進め方・方針の説明、初級事項の定着度テストなど
2	第1課 中国的早餐	新出単語の解説、語法要点（方向補語・連動文など）、「会話」の読解と解釈など
3	第1課 中国的早餐	新出単語の解説、「短文」の読解と解釈など
4	第1課 中国的早餐	練習問題の確認、新出単語の解説など
5	第2課 坐出租	「語法要点」（結果補語・仮定の表現など）、「会話」の読解と解釈、新出単語の解説など
6	第2課 坐出租	「短文」の読解と解釈、練習問題の確認など
7	第3課 "昂"的咖啡	新出単語の解説、「語法要点」（兼語文・"越来越～"など）、「会話」の読解と解釈など
8	第3課 "昂"的咖啡	新出単語の解説、「短文」の読解と解釈など
9	第3課 "昂"的咖啡	練習問題の確認、新出単語の解説など
10	第4課 AA制和AB制	「語法要点」（受身の表現・"吧"など）、「会話」の読解と解釈など
11	第4課 AA制和AB制	「短文」の読解と解釈、練習問題の確認など
12	第5課 拉肚子	新出単語の解説、「語法要点」（"是～的"構文・可能性を表す"会"など）、「会話」読解と解釈など

13	第5課 拉肚子	新出単語の解説、「短文」の読解と解釈、練習問題の確認など
14	春学期の学習のまとめと試験	春学期の学習内容のまとめ、期末試験など

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は音声ファイルを聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『中国語への道【準中級編】—浅きより深きへ—改訂新版』（内田慶市など、金星堂、2022、2300円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20%

期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Preparation is required. Before each lesson, check the meaning of the words, sentences, and example sentences that appear in each lesson. Also, listen to the attached CD many times and do the practice problems assigned as homework in advance. If you come across an unlearned word, be sure to look up the pinyin for each kanji and write it down. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours in total.

The method and criteria for grade evaluation are 20% for normal scores (mini tests) and 80% for final exams.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講 3 II

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語を読む・書く・聞く・話すという4技能のレベルを高める。
- ・中国の文化や現在の社会状況について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第6課 网☑	新出単語の解説、「語法要点」（不定の表現・“不是～，而是…”など）
2	第6課 网☑	「会話」の音読と解釈、新出単語の解説、「短文」の音読と解釈など
3	第6課 网☑ 第7課 "剩男"、"剩女"	練習問題の確認、新出単語の解説など
4	第7課 "剩男"、"剩女"	「語法要点」（“才”のニュアンス・“怎么”など）、「会話」の音読と解釈、
5	第7課 "剩男"、"剩女"	新出単語の解説、「短文」の読解と解釈、練習問題の確認など
6	第8課 大学生☑☑ 少打工，多学☑	新出単語の解説、「語法要点」（“一～就…”・離合詞など）など
7	第8課 大学生☑☑ 少打工，多学☑	「会話」の音読と解釈、新出単語の解説、「短文」の音読と解釈など
8	第8課 大学生☑☑ 少打工，多学☑ 第9課 表示感☑的☑☑	練習問題の確認、新出単語の解説など
9	第9課 表示感☑的☑☑	「語法要点」（「また」を表す“再”と“又”・二重目的語をとることのできる動詞など）、「会話」の音読と解釈、新出単語の解説など
10	第9課 表示感☑的☑☑	「短文」の音読と解釈、練習問題の確認など

11	第10課 年☑人的就☑☑	新出単語の解説、「語法要点」（“考”・存現文など）など
12	第10課 年☑人的就☑☑	「会話」の音読と解釈、新出単語の解説など
13	第10課 年☑人的就☑☑	「短文」の音読と解釈、練習問題の確認など
14	秋学期の学習のまとめと試験	秋学期の学習内容のまとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は音声ファイルを聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『中国語への道【準中級編】一浅きより深きへー改訂新版』（内田慶市など、金星堂、2022、2300円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。尚、秋学期から受講する者は、3月・4月の時点で指定テキストを購入し、前もって第5課までの内容を読んでノートにまとめておくこと。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20%

期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Preparation is required. Before each lesson, check the meaning of the words, sentences, and example sentences that appear in each lesson. Also, listen to the attached CD many times and do the practice problems assigned as homework in advance. If you come across an unlearned word, be sure to look up the pinyin for each kanji and write it down. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours in total. The method and criteria for grade evaluation are 20% for normal scores (mini tests) and 80% for final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語補講3 | 2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金6/Fri.6

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在形規則動詞	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在形規則活用の復習 (テキスト：第1課)
2	直説法現在形不規則動詞	直説法現在形不規則活用の復習 (テキスト：第1課、第2課)
3	目的格代名詞	目的格代名詞の復習 (テキスト：第3課)
4	gustar型動詞 関係代名詞que	gustar型動詞の復習 関係代名詞queの用法 (テキスト：第3課)
5	直説法点過去形規則動詞 直説法点過去形不規則動詞 (1)	直説法点過去形の活用の復習 (テキスト：第4課)
6	再帰動詞 seの受け身	再帰動詞の基本用法 再帰動詞を用いた受け身表現 (テキスト：第4課)
7	直説法点過去形不規則動詞(2)	直説法点過去形不規則活用の復習 (テキスト：第5課)

8	中間試験 過去分詞 直説法現在完了形	中間試験 過去分詞の作り方と用法 直説法現在完了形の復習 (テキスト：第5課)
9	直説法線過去形	直説法線過去形の復習 点過去形と線過去形の使い分け (テキスト：第6課)
10	無人称文 感嘆文	再帰動詞および3人称複数形を用いた無人称文の作り方 感嘆文の作り方 (テキスト：第6課)
11	直説法過去完了形	直説法過去完了形の意味と用法 (テキスト：第7課)
12	ser受動態	動詞serを用いた受け身表現 (テキスト：第7課)
13	春学期の復習	期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

西川喬『基礎から学ぼう！スペイン語 中級 (Aprendamos los fundamentos del idioma español: Curso intermedio)』(朝日出版)、2,300円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。
なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。
また本授業は定員制となっており、履修希望者は初回授業の前々日までにHoppiiで仮登録することとなっているが、例年この規定を守らない学生が多数見受けられる。割り当て教室の収容人数等の都合上、初回授業の前々日を過ぎて仮登録を行なった学生も結果として履修を認める可能性はあるが、その場合でも規定通り所定の期間内に仮登録を行なった学生との差別化のため、成績評価にあたって平常点部分を減点する措置をとる。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense

- Preterite past tense

- Past perfect tense

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)

- Mid-term exam (30%)

- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語補講3 II

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金6/Fri.6

単位数: 1単位

定員制

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の接続法現在形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、人間環境学部: DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の形態、進め方、評価方法の説明
	直説法未来形	直説法未来形の意味と用法
	直説法過去未来形	直説法過去未来形の意味と用法 (テキスト: 第2課、第8課)
2	不定詞 + 目的格代名詞	不定詞と目的格代名詞および再帰代名詞の連接 (テキスト: 第8課)
3	進行形	現在進行形、過去進行形、未来進行形の文の作り方 (テキスト: 第9課)
4	命令法	命令文の作り方 (テキスト: 第9課)
5	接続法現在形規則動詞	接続法の概念
	接続法現在形語幹母音変化動詞	接続法現在形の規則活用と語幹母音変化動詞 (テキスト: 第10課)
6	接続法現在形の命令用法	命令文で用いられる接続法現在形 (テキスト: 第10課)
7	接続法現在形不規則動詞	接続法現在形のその他の不規則活用 (テキスト: 第11課)

8	中間試験 接続法現在形の用法①	中間試験 接続法現在形の名詞節での用法 (テキスト: 第12課)
9	接続法現在形の用法②	接続法現在形の形容詞節での用法 (テキスト: 第13課)
10	現在分詞構文	現在分詞構文の意味と用法 (テキスト: 第13課)
11	接続法現在形の用法③	接続法現在形の副詞節での用法 (テキスト: 第14課)
12	接続法過去形	接続法過去形の活用と用法 (テキスト: 第14課)
13	秋学期の復習	期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

西川喬『基礎から学ぼう! スペイン語 中級 (Aprendamos los fundamentos del idioma español: Curso intermedio)』(朝日出版)、2,300円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。また本授業は定員制となっており、履修希望者は、春学期に開講される「スペイン語補講3I」の初回授業の前々日までにHoppiiで仮登録することとなっている。(秋学期の「スペイン語補講3II」についても、春学期に履修者を確定させる必要があるため。)しかしながら、例年この規定を守らない学生が多数見受けられる。割り当て教室の収容人数等の都合上、上記の期日を過ぎて仮登録を行なった学生も結果として履修を認める可能性はあるが、その場合でも規定通り所定の期間内に仮登録を行なった学生との差別化のため、成績評価にあたって平常点部分を減点する措置をとる。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood

- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)

- Mid-term exam (30%)

- Term-end exam (40%)

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語3-I（インテンシブ） 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・初級文法の知識を固めること。
- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を伸ばすこと。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験（仏検）3級レベル、DELTA A1～A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・テキストの各課は、2種類の会話文、内容の確認、並べかえ作文や聞き取り問題、文法説明で構成されています。文法の復習をしながら、会話文を読み、練習問題に取り組みます。
- ・課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 1	授業概要説明 倒置疑問文 前置詞と定冠詞の縮約
2	Leçon 1	TEXTE 1 読解 近接未来・近接過去 代名動詞①
3	Leçon 1 Leçon 2	TEXTE 2 読解 命令文
4	Leçon 2	TEXTE 1 読解 比較級
5	Leçon 2	TEXTE 2 読解 練習問題
6	Leçon 3	非人称構文① 中性代名詞①
7	Leçon 3	TEXTE 1 読解 関係代名詞①
8	Leçon 3 Leçon 4	TEXTE 2 読解 指示代名詞①
9	Leçon 4	TEXTE 1 読解 中性代名詞②
10	Leçon 4	TEXTE 2 読解 条件法現在
11	Leçon 5	代名動詞②
12	Leçon 5	TEXTE 1 読解 代名動詞③

13 Leçon 5

TEXTE 2 読解

半過去

14 期末試験

筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習と宿題を怠らないようにしてください。
- ・どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。
- ・本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・折方のぞみ・南玲子『あなたの国では？－フランス語で文化交流 C'est comment chez vous?』三修社、2026年（2,800円＋税）

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

文法の復習に傾きすぎないようにします。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

- ・「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が（「フランス語3 インテンシブ」の方が）進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。
- ・進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context. The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR. Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text. The overall grade in the class will be decided based on the following:
term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語3-II（インテンシブ） 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・初級文法の知識を固めること。
- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を伸ばすこと。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験（仏検）3級レベル、DELTA A1～A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・テキストの各課は、2種類の会話文、内容の確認、並べかえ作文や聞き取り問題、文法説明で構成されています。文法の復習をしながら、会話文を読み、練習問題に取り組みます。
- ・課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 6	疑問形容詞 補語人称代名詞
2	Leçon 6	TEXTE 1 読解 使役動詞
3	Leçon 6 Leçon 7	TEXTE 2 読解 非人称構文②
4	Leçon 7	受動態 TEXTE 1 読解
5	Leçon 7	TEXTE 2 読解 代名動詞④
6	Leçon 8	現在分詞① TEXTE 1 読解
7	Leçon 8	ジェロンディフ、数量表現
8	Leçon 8 Leçon 9	TEXTE 2 読解 指示代名詞②
9	Leçon 9	TEXTE 1 読解 強調構文
10	Leçon 9	時制の一致 TEXTE 2 読解
11	Leçon 10	部分冠詞 中性代名詞③
12	Leçon 10	TEXTE 1 読解 最上級
13	Leçon 10	TEXTE 2 読解
14	期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習と宿題を怠らないようにしてください。
- ・どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。
- ・本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・折方のぞみ・南玲子『あなたの国では？ーフランス語で文化交流 C'est comment chez vous?』三修社、2026年（2,800円＋税）

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

検定試験を意識して練習問題を行います。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

- ・「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が（「フランス語3 インテンシブ」の方が）進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。
- ・進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context. The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR. Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text. The overall grade in the class will be decided based on the following:
term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語（3）Ⅰ（インテンシブ） 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・初級文法の知識を固めること。
- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を伸ばすこと。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験（仏検）3級レベル、DELFI A1～A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・テキストの各課は、2種類の会話文、内容の確認、並べかえ作文や聞き取り問題、文法説明で構成されています。文法の復習をしながら、会話文を読み、練習問題に取り組みます。
- ・課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 1	授業概要説明 倒置疑問文 前置詞と定冠詞の縮約
2	Leçon 1	TEXTE 1 読解 近接未来・近接過去 代名動詞①
3	Leçon 1 Leçon 2	TEXTE 2 読解 命令文
4	Leçon 2	TEXTE 1 読解 比較級
5	Leçon 2	TEXTE 2 読解 練習問題
6	Leçon 3	非人称構文① 中性代名詞①
7	Leçon 3	TEXTE 1 読解 関係代名詞①
8	Leçon 3 Leçon 4	TEXTE 2 読解 指示代名詞①
9	Leçon 4	TEXTE 1 読解 中性代名詞②
10	Leçon 4	TEXTE 2 読解 条件法現在
11	Leçon 5	代名動詞②
12	Leçon 5	TEXTE 1 読解 代名動詞③

13 Leçon 5

TEXTE 2 読解

半過去

14 期末試験

筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習と宿題を怠らないようにしてください。
- ・どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。
- ・本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・折方のぞみ・南玲子『あなたの国では？－フランス語で文化交流 C'est comment chez vous?』三修社、2026年（2,800円＋税）

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

文法の復習に傾きすぎないようにします。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

- ・「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が（「フランス語3 インテンシブ」の方が）進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。
- ・進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context. The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR. Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text. The overall grade in the class will be decided based on the following:
term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語（3）Ⅱ（インテンシブ） 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・初級文法の知識を固めること。
- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を伸ばすこと。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験（仏検）3級レベル、DELTA A1～A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・テキストの各課は、2種類の会話文、内容の確認、並べかえ作文や聞き取り問題、文法説明で構成されています。文法の復習をしながら、会話文を読み、練習問題に取り組みます。
- ・課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 6	疑問形容詞 補語人称代名詞
2	Leçon 6	TEXTE 1 読解 使役動詞
3	Leçon 6 Leçon 7	TEXTE 2 読解 非人称構文②
4	Leçon 7	受動態 TEXTE 1 読解
5	Leçon 7	TEXTE 2 読解 代名動詞④
6	Leçon 8	現在分詞① TEXTE 1 読解
7	Leçon 8	ジェロンディフ、数量表現
8	Leçon 8 Leçon 9	TEXTE 2 読解 指示代名詞②
9	Leçon 9	TEXTE 1 読解 強調構文
10	Leçon 9	時制の一致 TEXTE 2 読解
11	Leçon 10	部分冠詞 中性代名詞③
12	Leçon 10	TEXTE 1 読解 最上級
13	Leçon 10	TEXTE 2 読解
14	期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習と宿題を怠らないようにしてください。
- ・どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声を聞き、発音練習をするようにしてください。
- ・本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・折方のぞみ・南玲子『あなたの国では？ーフランス語で文化交流 C'est comment chez vous?』三修社、2026年（2,800円＋税）

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

検定試験を意識して練習問題を行います。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

- ・「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が（「フランス語3 インテンシブ」の方が）進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。
- ・進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語(3) I

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次にロシア語を学んだ学生を対象とする授業です。ロシア語1と2で学んだ文法事項を復習してから、教科書にそって未習の文法事項を学びます。基礎文法をひととおり学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。

【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また知識の定着や習熟度の確認のために、適宜小テストを実施し、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	既習文法の確認と復習
2	動詞の体の用法①	動詞の完了体、完了体の練習
3	動詞の体の用法②	動詞の体を意識したテキストの読解
4	関係代名詞	関係代名詞の説明と練習
5	関係副詞	関係代名詞、関係副詞が含まれるテキストの読解
6	数詞を含む表現①	数詞と名詞の結びつきの説明、時間の表現
7	数詞を含む表現②	年齢と年月日の表現の練習
8	数詞を含む表現③	数詞が含まれるテキストの読解
9	形容詞、副詞の比較級	形容詞、副詞の比較級の用法
10	形容詞、副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級の用法
11	仮定法	仮定法の説明と用法
12	形容詞・副詞のまとめ	形容詞、副詞関連の総復習
13	まとめと練習	既習事項のまとめと練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が大切です。事前に新出単語を調べ、授業で学んだことを復習しましょう。格変化形は格変化表を繰り返し見て覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）40％、期末試験60％の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is more than one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60％、in class contribution: 40％ the foundations for reading and understanding Russian texts.

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語(3)Ⅱ

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。ロシア語の文章を構文を把握しながらじっくりと読んでいきます。その過程で、これまでに学んだ文法事項を確認し、さらに未習の文法事項を学びます。語彙を増やし読解力を身につけることによって、自分の力でロシア語の情報を得られるようになることを目指します。

【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明や練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。また知識の定着や習熟度の確認のために、適宜小テストを実施し、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期に学んだことの復習
2	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（格変化の復習）
3	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（関係代名詞の復習）
4	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（時間表現の復習）
5	運動の動詞の復習	文法解説と練習
6	運動の動詞と接頭辞	文法説明と練習
7	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（運動の動詞と接頭辞の復習）
8	副動詞、動詞の体の用法の復習	文法解説と練習
9	能動形動詞	文法解説と練習
10	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（能動形動詞の復習）
11	被動形動詞	文法解説と練習
12	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（被動形動詞の復習）
13	総復習	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくる。格変化の形は何度も復習して定着させましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語教員編）を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）40%、期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to increase vocabulary and reading skills in order to get information in Russian by ourselves.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is more than one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in class contribution: 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 B - I (視聴覚) 2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国人留学生との会話も行う予定。

【到達目標】

- 1 韓国の小説・ドラマ・歌・アナウンスなどの聞き取りを通し、音から朝鮮語を理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1 小説・ドラマの一場面を聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 語彙、文型を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
 あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
 なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 サランバンのお客さんとおモニ ①②	自己紹介・会話 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	サランバンのお客さんとおモニ ③④ シークレットガーデン1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	サランバンのお客さんとおモニ ⑤⑥ 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	サランバンのお客さんとおモニ ⑦⑧ シークレットガーデン2	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	サランバンのお客さんとおモニ ⑨⑩ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	サランバンのお客さんとおモニ ⑪⑫	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	サランバンのお客さんとおモニ ⑬⑭ シークレットガーデン3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	中間試験	単語 暗誦

9	サランバンのお客さんとおモニ ⑮⑯ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	サランバンのお客さんとおモニ ⑰⑱ 会話	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習 会話練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	サランバンのお客さんとおモニ ⑲⑳ シークレットガーデン4	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	サランバンのお客さんとおモニ 最終回 シークレットガーデン5	スクリプト聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験 フィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週、聞き取り・読解・暗記等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は各3時間を要する。

【テキスト（教科書）】

プリント配布

【参考書】

川口義一監修『耳から入る韓国語1』学研
 シークレットガーデン DVD

【成績評価の方法と基準】

平常点（参加度、積極性、課題）40%、テスト（単語・暗誦・会話）60%
 単語テストが50点以下の場合単位が出ない。
 4回以上の欠席で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が大変有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られればネイティブとの会話の時間を設けます。

【その他の重要事項】

課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 2年生～4年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語3より受講生のレベルが高くなる傾向があります。聞き取りとスクリプト翻訳がメインになるため朝鮮語の一定のレベルが要求されます。
 定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。
 この科目は「法（法律学科・政治学科）文営」でパターンB（朝鮮語週2コマ）を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定します。
 初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】**[Course outline and learning objectives]**

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 3hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 B-II (視聴覚) 2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国人留学生との会話も行う予定。

【到達目標】

- 1 韓国のドラマ・歌・アナウンス・スピーチなどの聞き取りを通し、音から理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・音読を行うことで自然で美しい発音をめざす。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
 どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
 に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1 ドラマ・ニュースなどを聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 文型・表現を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
 あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
 なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 自己紹介 華麗なる遺産 1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	華麗なる遺産 2 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	華麗なる遺産 3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	スピーチなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	華麗なる遺産 4	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	アナウンスなど	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	華麗なる遺産 5	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	中間試験	単語 暗唱

10	華麗なる遺産 6 会話	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習 会話練習
11	留学生との会話	ネイティブと会話
12	華麗なる遺産 7	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	華麗なる遺産 8	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験 フィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

スクリプト翻訳・単語暗記・音読・暗唱等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は合計3時間を要する。

【テキスト（教科書）】

プリント配布

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点（参加度、積極性、課題）40%、テスト（単語・暗誦・会話）60%

単語テストが50点以下の場合は、単位が出ない。

4回欠席の場合、単位が出ない。

【学生の意見等からの気づき】

留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も会話の時間を設ける予定です。

【その他の重要事項】

課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 2年生～4年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語3より受講生のレベルが高くなる傾向があります。聞き取りとスクリプト翻訳がメインになるため朝鮮語の一定のレベルが要求されます。
 定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。
 この科目は「法（法律学科・政治学科）文営」でパターンB（朝鮮語週2コマ）を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定します。
 初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】**[Course outline and learning objectives]**

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 3 hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation, Assignments 40%, Exam 60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)			9	随筆を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
朝鮮語 5 A- I (講読)			10	小説を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
荻野 優子			11	小説を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月4/Mon.4			12	小説を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
単位数：1単位			13	小説を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
定員制(30)			14	期末試験	試験、まとめと解説
その他属性：			【授業時間の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。		
新聞記事やエッセイ、小説などを読み、韓国の文化や社会への理解を深めていくとともに読解力のさらなる向上をはかります。			【テキスト（教科書）】		
【到達目標】			授業時にプリントを配布		
様々なジャンルの文章を読むことによって、さらなる語彙力の向上と読解力の強化を図ります。			【参考書】		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			「韓日辞典」小学館など		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1			【成績評価の方法と基準】		
【主な授業方法】			平常点：20％		
L 講義 /Lecture			課題、小テスト等：20％		
【授業の進め方と方法】			期末試験：60％		
テキストにそって授業を進めます。わからない単語等は調べて授業にのぞんでください。授業ではテキストの内容について翻訳・発表をしてもらい、文法事項の補足や参考訳、内容についての説明をします。			出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			【学生の意見等からの気づき】		
あり / Yes			ある程度長い文章を読んでいながら語感を磨き、原語で文章を味わう楽しさを感じてほしいと思います。		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			【その他の重要事項】		
なし / No			学生のレベルに合わせて内容を若干変更する場合があります。		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			【Outline (in English)】		
回	テーマ	内容	【授業の概要（Course outline）】		
1	オリエンテーション	・授業の進め方 ・レベルチェック ・自己紹介	By reading newspaper articles, essays, novels, etc. ,this class aims to deepen students' understanding of Korean culture and society and to improve their further reading comprehension.		
2	説明文を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説	【到達目標（Learning Objectives）】		
3	説明文を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説	This class aims to improve students' further vocabulary and reading comprehension by reading texts in a variety of genres.		
4	説明文を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説	【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】		
5	説明文を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説	Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.		
6	随筆を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説	【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】		
7	随筆を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説	Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).		
8	随筆を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説			

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）

朝鮮語 5 A-II（講読）

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新聞記事やエッセイ、小説などを読み、韓国の文化や社会への理解を深めていくとともに読解力のさらなる向上をはかります。

【到達目標】

様々なジャンルの文章を読むことによって、さらなる語彙力の向上と読解力の強化を図ります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語等は調べて授業にのぞんでください。授業ではテキストの内容について翻訳・発表をしてもらい、文法事項の補足や参考訳、内容についての説明をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方 ・自己紹介など
2	新聞記事を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
3	新聞記事を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
4	新聞記事を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
5	詩を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
6	詩を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
7	随筆を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
8	随筆を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説

9	随筆を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
10	小説を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
11	小説を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
12	小説を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
13	小説を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

ある程度長い文章を読んでいながら語感を磨き、原語で文章を味わう楽しさを感じてほしいと思います。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて内容を若干変更する場合があります。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

By reading newspaper articles, essays, novels, etc., this class aims to deepen students' understanding of Korean culture and society and to improve their further reading comprehension.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to improve students' further vocabulary and reading comprehension by reading texts in a variety of genres.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 B- I (表現法) 2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。

韓国の時事ニュースに触れ、時事単語、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。学生のレベルに合わせ、導入用に朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読み、伝統文化への理解も深めたりする。中級向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業の基本的な流れは、以下の通りである。毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をすることで、話すことに慣れていく。慣れてきたら、PPTを作成してプレゼンテーションの練習も随時していきたい。後半は昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「おひさまおつきさま」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「トラと干し柿」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』BTS、KPOP再燃するか。	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	『時事韓国語』韓国映画1000万人、	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	『時事韓国語』正月番組特集	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	『時事韓国語』南北合同チーム初登場	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』「シェアハウス人気」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』「無人化加速」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』「小1保護者10時出勤」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

11	『時事韓国語』「二つの母国語」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』「高齢者10人に1人認知症」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』「変わる採用試験場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、読み物課題を予習・復習すること。知らない単語を確認しておく。毎回、身近な話題について韓国語で話しますので、話題を準備すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点80%、プレゼンテーション20%。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80%.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 B-II (表現法)

2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解を深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をする。言葉がすぐ出てくるよう、とにかく話すことに慣れること。その後は、時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 『時事韓国語』 11「政府、原発新設 白紙化問題」	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	『時事韓国語』 12「はじめて呼ぶお 父さん、お母さん」、 13「国政の安定化、 協力と統合」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
3	『時事韓国語』 14「南北65年ぶり終 戦宣言」 15「気候変動とウミ ガメ」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
4	『時事韓国語』 16「日本の公衆ト イレ」 17「米朝70年の対立 に終止符」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
5	18「監視カメラ」 19「5G先取り競争」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
6	20「気象ニュース」 21「ヨイドの桜」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解

7	22「珍道犬」 23「仮想通貨」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
8	『時事韓国語』 24「変わる採用試験 現場」 25「不動産事情、ソ ウル、地方」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
9	『時事韓国語』 26「経済成長と就業 者の増加」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
10	『時事韓国語』 31「ワールドカップ 韓国サッカー旋風」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
11	『時事韓国語』 32「野球ニュース ロッテ5連勝中」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
12	『時事韓国語』 33「ニュース解説、 巨大な壁を打ち破っ た英雄」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
13	『時事韓国語』 34「ドラマの名所ソ ウル桂洞」 35「蚊を追ひ払う方 法、ご存知？」	会話、リスニング、リーディ ング、内容理解
14	36「そば粉パスタ、 干しだらのカルグ クス」 ●学習のまとめ	内容理解、プレゼンテーショ ン

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、身近な話題について、簡単な会話をしますので、話題を準備をしておくこと。毎回、課題の復習を十分すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点80%、プレゼンテーション20%。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80%.

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）	
朝鮮語 4 C - I（コミュニケーション）	2017年度以降入学者
吉良 佳奈江	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水2/Wed.2	
単位数：1単位	
定員制(30)	
2022年度までに「朝鮮語 3 C - I」の単位を修得済みの場合、履修不可	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、ハングル能力検定4級・3級の文法と語彙を取り入れ、身近な話題について繰り返し音読すること、正確な発音とコミュニケーション能力を伸ばしていきます。

【到達目標】

1年で学んだことの実践として、簡単なフレーズをパッと口に出せるように練習します。
身近な話題についての語彙を増やして文型を取り入れ、自分が話したい内容を伝えられるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。講師の体調などによりオンラインになる可能性があります。

授業の進め方は以下の通りです。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・ペアの学生と音読練習をして、授業内で発音のチェックをします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 第1課 自己紹介	授業の進め方など ～することになる ～して ～しようと思う ～けれど ～んですよ ～しようと思って ～しましょうか ～しますよ ～じゃないですか ～存在詞・動詞の現在連体形 ～動詞の過去連体形 ～したことがある、ない
2	第1課 自己紹介	
3	第2課 知人を紹介する	1,2課確認テスト 第3課 道案内 ～すれば ～（する）からです ～すればいい／ してはいけない
4	第2課 知人を紹介する	～だろう ～が／のに ～してから ～した後 ～した後に ～しに行きませんか ～しようと思って
5	1, 2課確認テスト 第3課 道案内	
6	第3課 道案内	
7	第4課 休日	

8	第4課 休日	～しなければならない ～（する）ことにする ～なので
9	3, 4課確認テスト 第5課 大学生活	3, 4課確認テスト ～ますか ～ます ～だからです （まだ）～していない ～（する）ことができる／できない ～してもいい／構わない
10	第5課 大学生活	～ですね ～（する）ことができそう ～してみたい
11	第6課 アルバイト	～しようかと思う ～したらいいな ～ではないかと思う
12	第6課 アルバイト	5,6課確認テスト 第7課 ショッピング ～ようだ ～だそう ～しなければならない
13	5,6課確認テスト 第7課 ショッピング	～しそうだ ～してみてもいい ～だから
14	第7課 ショッピング	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

名簿からリンクを送るので、指定されたグーグルクラスルームに登録してください。

毎回授業で扱う本文／会話文とその日本語訳をノートに書いてグーグルクラスルームで提出してください。手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。締め切り後の提出は2／3回分として算出します。

課題は次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写してくることを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『話してみよう韓国語 中級会話コース』

金京子著（白水社、2024）

購入ルートは問いませんが、書き込みがないことを確認して購入してください。

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。公欠の学生は書類を提出してください。

授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60％、授業の出席・参加度、課題提出40％を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は低めに換算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。
ハングルキーボードで入力できることが望ましい。

【その他の重要事項】

定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。この科目は「法（法律学科・政治学科）文営」でパターンB（朝鮮語週2コマ）を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定します。初回の授業には必ず出席してください。
座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。
授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

【Outline (in English)】

Outline

While reviewing what we learned in the first year, you will build up much vocabulary and grammar.

By reading aloud on familiar topics repeatedly, you will develop your communication skills.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to communicate what you want to talk about using fixed phrases and rich vocabulary on familiar topics.

Work to be done outside of class :

Students should send the task every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 20% of the class attendance and participation, and 20% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）	
朝鮮語 4 C-II（コミュニケーション）	2017年度以降入学者
吉良 佳奈江	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水2/Wed.2	
単位数：1単位	
定員制(30)	
2022年度までに「朝鮮語 3 C-II」の単位を修得済みの場合、履修不可	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、ハングル能力検定4級・3級の文法と語彙を取り入れ、身近な話題について繰り返し音読することで、正確な発音とコミュニケーション能力を伸ばしていきます。

【到達目標】

1年で学んだことの実践として、簡単なフレーズをパッと口に出せるように練習します。
身近な話題についての語彙を増やして文型を取り入れ、自分が話したい内容を伝えられるようになります

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。講師の体調などによりオンラインの可能性もあります。

授業の進め方は以下の通りです。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・ペアの学生と音読練習をして、授業内で発音のチェックをします。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課 旅行計画	～する前田 ～したほうがいい ～したらどうですか ～だからそうなのか ～しないでください ～してもいいでしょうか
2	第8課 旅行計画	～したりする ～（する）のに ～ようだ
3	第9課 一人暮らし	～するつもりだ ～してくれませんか ～してみたら
4	第9課 一人暮らし	8.9課確認テスト ～したようだ ～したら～でした ～してはいけない
5	8,9課確認テスト 第10課 風邪	～しましょう ～です ～しはしたけど ～しない？ ～しよう ～でなくてもいいよ
6	第10課 風邪	～よ、～ちゃん ～ではなく～にする ～にしてもよさそうだ
7	第11課 食事	
8	第11課 食事	

9	10, 11課確認テスト 第12課 大学祭	10, 11課確認テスト ～られそうになり ～（する）ことができる／できない ～しているところだ ～お～ください ～しなくちゃ ～しなければならなかったのに ～く／になる ～（する）には ～（する）しかない ～していただけますか ～しながら ～したり ～だと言う／そうだ ～するのをやめる ～（する）かもしれない ～しようと言う ～するのではなく
10	第12課 大学祭	
11	第13課 韓国語学習	
12	第13課 韓国語学習	
13	12.13課確認テスト 第14課 天気予報	
14	第14課 天気予報	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

名簿からリンクを送るので、指定されたグーグルクラスルームに登録してください。

毎回授業で扱う本文／会話文とその日本語訳をノートに書いてグーグルクラスルームで提出してください。手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。締め切り後の提出は2／3回分として算出します。

課題は次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写してくることを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『話してみよう韓国語 中級会話コース』

金京子著（白水社、2024）

購入ルートは問いませんが、書き込みがないことを確認して購入してください。

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。公欠の学生は書類を提出してください。

授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60％、授業の出席・参加度、課題提出40％を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は低めに換算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

【その他の重要事項】

定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。この科目は「法（法律学科・政治学科）文営」でパターンB（朝鮮語週2コマ）を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定します。初回の授業には必ず出席してください。

座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。

授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

【Outline (in English)】

Outline

While reviewing what we learned in the first year, you will build up much vocabulary and grammar.

By reading aloud on familiar topics repeatedly, you will develop your communication skills.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to communicate what you want to talk about using fixed phrases and rich vocabulary on familiar topics.

Work to be done outside of class :

Students should send the task every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 20% of the class attendance and participation, and 20% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

BIO200LA (その他の総合生物・生物学 / Biology 200)

Natural Science A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 真介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

定員制(30)

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Sustainability has come to be recognized as a common challenge for the human society, which is a manifestation of the severity of various problems we as a species are faced with. This course examines environmental issues from the viewpoint of sustainability by focusing mainly on agriculture to provide students with reference points in their own daily lives in relation to the course materials via food-related elements. By doing so, the course provides students with an opportunity to learn not only about scientific aspects of environmental issues but also about relevant social issues in an attempt to provide a holistic view of human impact on the global environment.

【到達目標】

This course is designed to teach about ecological and social issues. Therefore, the course objectives are: 1) to understand basic scientific concepts required to comprehend various environmental issues; 2) to understand social problems related to the environmental issues addressed in this course; and 3) to form personal perspective and opinion about the current state of human society by understanding the interrelated nature of the environmental and socioeconomic problems.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。経営学部：DP3、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The course is divided roughly into three parts. In the first part, students will learn about the basic features of ecosystem, biodiversity, and soil, in other words, the natural world that surrounds us and provides us with essential resources and services. The second part will focus on environmental issues related to agriculture (food production). Finally, the third part will mainly address socioeconomic aspects of relevant issues. The course will be taught mainly in a face-to-face lecture format; however, there will also be opportunities for students to actively participate in class through, for example, group work and discussion. In addition to in-class interactions, students will submit their opinions about/reactions to the materials presented in each class, and the instructor will give feedback/answer questions in the subsequent class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Era of multiple crises and sustainability	As an introduction to the course, the concept of sustainability will be discussed, and an overview will be given on the connection between food and environmental issues.
Week 2	Understanding ecosystem	Basic characteristics of ecosystem will be discussed from the viewpoints of structure, function and behavior as a system.
Week 3	What is biodiversity?	Basic characteristic of biodiversity will be discussed, and the reasons why its conservation is necessary will be considered.
Week 4	Soil environment	General features of soil environment will be described, and its importance as the foundation of natural environment will be discussed.
Week 5	Agricultural field as a habitat	Group work will be used to integrate the concepts learned in the previous lectures and apply them to ecological problem solving.
Week 6	Historical background and modernization of agriculture	An overview of historical development of agriculture will be given, and changes and achievements brought about by modernization will be discussed.
Week 7	Environmental impact of modern agriculture	Environmental impact of modern production method or "conventional agriculture" will be discussed.
Week 8	Environmental conservation in the case of conventional agriculture	Could food production and environmental conservation both be achieved? This question will be addressed from the perspective of conventional agriculture.
Week 9	Environmental conservation in the case of alternative agriculture	Could food production and environmental conservation both be achieved? This question will be addressed from the perspective of alternative agriculture.
Week 10	Agroecology	Agroecology will be discussed as a framework for achieving a sustainable food system.
Week 11	Livestock production and infectious diseases	The risk of zoonotic diseases will be discussed in relation to activities related to livestock production.
Week 12	Abundance and scarcity	Group work will be used to explore the complexity of the issue of hunger in the age of abundance.
Week 13	Localization and food system	The significance and importance of localized food production/supply system will be discussed.
Week 14	Thinking about solutions from the consumer side	Solutions for agriculture and food-related issues will be explored from the consumer side of food system.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to prepare for classes by thoroughly reading distributed materials and utilizing the online learning support system (WebClass) and also to review contents of individual lectures. Standard amounts of time to be spent for this purpose are two hours each for preparation and review.

【テキスト（教科書）】

None. Reading materials will be distributed as needed.

【参考書】

To be announced as needed.

【成績評価の方法と基準】

Student performance will be graded based on quizzes (40%), a final assignment (30%), and participation/in-class contribution (30%). Quizzes will be used to evaluate understanding of course materials (Course objectives 1 and 2). The final assignment will be an opportunity for students to demonstrate their understanding of the course materials by presenting their personal analysis/opinion about the current state of human society (Course objective 3). Participation will be used to evaluate student performance in each class and in-class activities.

【学生の意見等からの気づき】

Providing opportunities for students to interact with other students and exchange their opinions proved to be effective in enhancing their learning.

【学生が準備すべき機器他】

Students will need to have access to Hosei's e-learning system (WebClass). Online format may be used, as needed, and students are expected to prepare necessary devices in such a case.

【その他の重要事項】

There is an enrollment limit of 30 students. There will be selection, if the limit is exceeded, and, to be included in the selection, you will be required to pre-register for the course a few days before the semester begins. Additional information will be provided through WebClass, as needed.

【Outline (in English)】

[Course outline] Sustainability has come to be recognized as a common challenge for the human society, which is a manifestation of the severity of various problems we as a species are faced with. This course examines environmental issues from the viewpoint of sustainability by focusing mainly on agriculture to provide students with reference points in their own daily lives in relation to the course materials via food-related elements. By doing so, the course provides students with an opportunity to learn not only about scientific aspects of environmental issues but also about relevant social issues in an attempt to provide a holistic view of human impact on the global environment.

[Learning objectives] Objectives of the course are: to acquire basic scientific understanding of various environmental issues; to understand related social problems; and to develop a personal opinion/understanding about various problems the human species faces based on a holistic understanding of human impact on the global environment.

[Learning activities outside of classroom] In addition to attending classes, students are expected to review contents of individual lectures and thoroughly utilize distributed materials and the online learning support system (WebClass). Standard amounts of time to be spent for this purpose are two hours each for preparation and review.

[Grading criteria/policy] Final grade will be determined based on quizzes (40%), final assignment (30%), and participation/in-class contribution (30%).

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)			5	Array 3	You will learn various techniques concerning the use of arrays.
Information Technology			6	Function 1	You will learn the basics of functions. You will see the similarities and the differences between functions in mathematics and those in programming.
サブタイトル：			7	Function 2	You will learn how to write and use functions which return a value. They are similar to the functions in a mathematical sense.
斎藤 明			8	Function 3	You will learn how to write and use functions which do not return a value. You will understand that in a programming language, the word "function" is used in a sense broader than the counterpart in mathematics.
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水5/Wed.5			9	How to Use Functions	You will learn a technique to divide a whole program into meaningful small parts and convert them into functions.
単位数：2単位			10	Scope Rule	When you write a program, you declare a number of variables inside and outside of functions. You will learn which of them you can refer in a specific part of the program.
定員制			11	Application 1	You will learn how to draw a bar graph and a line chart using Processing.
その他属性：			12	Application 2	You will learn how to draw a general curve using Processing. A particular focus is put on drawing a parabola.
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			13	Application 3	You will learn how to color a general area in Processing. You will understand that it is achieved by drawing many line segments in a particular color.
Processing is a computer language which provides you with a beginner-friendly graphical environment. Aiming at those who have learned basic elements of Processing in the course "Elementary Information Technology", this course teaches you mid-level elements of Processing, which enable you to develop a sufficiently large software.			14	Exercises	You are required to solve various types problems on what you have learned in this course. The solutions to these problems are explained in the latter half of the class.
【到達目標】			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
In the course "Elementary Information Technology", you have learned how to use various types of variables as well as basic statements such as if, while and for statements. In this course, you will learn arrays, which can store more than one values, and functions, which integrate similar codes into one component. Both are essential elements when you develop a large-scale software. You will also learn basic techniques to write programs of good quality.			Homework is assigned in each class. You are required to finish it by the next class. Also the slides for the next class are available a couple of days in advance. You are required to browse them and grasp the image of the upcoming class. An estimated time for this work is 4 hours.		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			【テキスト（教科書）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP4、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1			None.		
【主な授業方法】			【参考書】		
S 演習/ゼミ/Seminar			None		
【授業の進め方と方法】			【成績評価の方法と基準】		
The class consists of a lecture and exercises. The lecture is delivered through slides. You are required to write short programs as exercises during the class. A homework is assigned at the end of the class, which you are required to finish by the next class.			Your are assessed from the following points.		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			The quality of the exercises you submit from 1st to 13th classes : 20%		
なし / No			The quality of the submitted homework : 40%		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			The quality of the exercises you submit in the last (14th.) class : 40%		
なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	Review of the basic grammar of Processing 1	You will review what you have learned in "Elementary Information Technology". We will focus on variables and conditional statements.			
2	Review of the basic grammar of Processing 2	You will review what you have learned in "Elementary Information Technology". We will focus on statements performing loops.			
3	Array 1	You will learn a type called an array. It will enable you to store multiple values under a common name.			
4	Array 2	You will learn two ways to declare an array, depending on whether you initialize it or not.			

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

None.

【その他の重要事項】

None

CAR200LA（キャリア教育 / Career education 200）

Career Development Skills 2017年度以降入学者

サブタイトル：

A M I N E A A B B A D I E

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This 14-week Career Development course introduces students to essential career planning strategies through weekly face-to-face sessions.

By the end of this course, students will be able to identify their personal strengths, interests, values, and career goals; set realistic and actionable objectives, and develop key professional and interpersonal skills.

【到達目標】

The primary goal of this course is to equip students with the knowledge, skills, and self-awareness needed to make informed career decisions and actively manage their career journey. Through self-assessment, practical skill-building, and exposure to real-world career strategies, students will gain the confidence and tools to set goals, pursue opportunities, and adapt to the changing job market with purpose and direction.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This course consists of lectures by the instructor, students' presentations and discussions. Students will occasionally work to create a worksheet during the class. All of the class activities will be conducted in English.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	OrientationOutline of the course	Introduction of instructor. Free discussion on "career" and career development Skills.
Week 2	Self-Assessment and Goal Setting	To help students understand their strengths, weaknesses, interests, and values.
Week 3	Skill Development	To assist students in identifying and developing key professional skills.
Week 4	Networking and Relationship Building	To teach effective networking strategies and relationship management.
Week 5	Resume Writing and Personal Branding	To guide students in creating impactful resumes and developing a strong personal brand.

Week 6	Job Search Strategies	To equip students with effective job search techniques.
Week 7	Interview Skills	To prepare students for job interviews.
Week 8	Negotiation and Decision Making	To improve negotiation skills and decision-making abilities.
Week 9	Career Advancement and Leadership	To assist in developing leadership skills and strategies for career advancement.
Week 10	Work-Life Balance and Wellness	To emphasize the importance of maintaining a healthy work-life balance.
Week 11	Future Trends and Adaptability	To prepare for future trends and the evolving job market.
Week 12	Career Advocacy	Learning how to effectively advocate for oneself in terms of career advancement, including asking for promotions, raises, or additional responsibilities.
Week 13	Guest Speaker	People who are active in various fields are invited to talk about their careers.
week 14	Recap	Recap of the key points. Encouragement to take charge of one's career development journey.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around four hours per week for two-credit course.

【テキスト（教科書）】

Handouts will be disseminated by the lecturer for each class.

【参考書】

References will be introduced in class.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be decided based on the following criteria:

- (1) Active class participation:60%
- (2) Final writing assignments:40%

Details will be explained during the first class.

Please note that students who miss 4 classes or more without justification cannot receive credit.

【学生の意見等からの気づき】

Based on feedback from previous students, the course has been updated to include more interactive group activities, real-world case studies, and practical exercises such as mock interviews and resume workshops.

ART200LA (芸術学 / Art studies 200)

Humanities A

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japanese Literature II

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course focuses on the major literary figures and their representative works of early modern, modern and contemporary Japanese literature. The works will be discussed with regard to the circumstances and background that shaped the authors' way of thinking. The course will also include a lesson introducing two significant works of medieval literature to shed light on one of the crucial concepts in Japanese culture - transience. There will also be a lesson introducing two major women poets of Okinawa.

【到達目標】

Goals:

1. To learn about the major literary figures of pre-modern, modern and contemporary Japanese literature
2. To gain an appreciation of the depth and atmosphere of their literary works as well as the beauty of the English translations

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This course is based on lectures by the instructor featuring the use of written and audio-visual materials. In addition, every student will be required to actively participate in class discussions, deliver a class presentation on a given topic, submit a short written summary of the presentation topic and an essay and complete a short written exam at the end of the semester. The topics for the presentation will be distributed at the beginning of the course.

Comments and explanation about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

This course is in principle a face-to-face course. However, some classes might be taught online on Zoom if necessary. In that case please see the Learning Management System for further instructions about how to join our Zoom session.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction to course; brief self-introduction; scheduling of presentations

2.	Transience in Japanese poetry	The concept of transience as portrayed in <i>Essays in Idleness</i> (Tsurezuregusa, written by Buddhist priest Kenkō) the <i>waka</i> anthology <i>A Hundred Poems by a Hundred Poets</i> (Hyakunin Isshu, compiled by Fujiwara no Teika)
3.	Haikai poetry	Transition from comic haikai poetry to the mastering of haiku; Matsuo Bashō; Hints for appreciating and writing haiku
4.	Poetry of Okinawa	Two women poets of Okinawa: Yoshiya Tsuru and Onna Nabe and their ryūka poems
5.	Literature of the floating world	The rising merchant society during the Edo period; stories of the floating world (ukiyo zōshi); Ihara Saikaku: <i>The Life of an Amorous Man</i> (Kōshoku Ichidai Otoko) and <i>Five Women who Loved Love</i> (Kōshoku Gonin Onna)
6.	Tales of the supernatural in pre-modern literature	Ueda Akinari and his <i>Tales of Moonlight and Rain</i> (Ugetsu Monogatari)
7.	Tales of the supernatural in modern literature	Akutagawa Ryūnosuke and the influence of <i>Japanese Tales from Times Past</i> (Konjaku Monogatari Shū); short stories <i>In a Grove</i> (Yabu no Naka) and <i>Rashōmon</i>
8.	The world of fantasy and reality of Miyazawa Kenji	Miyazawa Kenji: fantasy novel <i>Milky Way Railroad</i> (Ginga Tetsudō no Yoru), poem <i>Be not Defeated by the Rain</i> (Ame ni mo makezu)
9.	Modern novelists, Part 1	Natsume Sōseki: his life and literary works, particularly the novel <i>I Am a Cat</i> (Wagahai wa Neko de aru)
10.	Modern novelists, Part 2	Mishima Yukio (<i>Confessions of a Mask</i> ; <i>Kamen no Kokuhaku</i>)
11.	Modern novelists, Part 3	Tanizaki Junichirō and his works <i>The Key</i> (Kagi) and <i>In Praise of Shadows</i> (Inei Raisan)
12.	Modern novelists, Part 4	Nobel Prize winner Kawabata Yasunari and his masterpiece <i>Snow Country</i> (Yukiguni)
13.	Contemporary literature	Yoshimoto Banana and Haruki Murakami and their representative works
14.	Course wrap up	Submit short summary of presentation and essay; final written exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please prepare a short self-introduction for the first class. In addition, each student will be asked to deliver an oral presentation on a designated topic and to submit a short written summary of the presentation and essay at the end of the semester. Students are also expected to actively engage in class discussions and to revise all of the readings done in class, as they will form the basis for the discussions and questions on the final exam. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. (University regulations suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.)

【テキスト（教科書）】

No textbooks will be used. Handouts and reading materials on each lesson's topic together with the specified sources will be distributed by the lecturer through the Learning Management System.

【参考書】

Selected references:

Keene, Donald. *Appreciations of Japanese Culture*. Tokyo, New York & London: Kodansha International, Ltd., 1971. First paperback edition, 1981.

Keene, Donald. *World Within Walls – Japanese Literature of the Pre-Modern Era, 1600-1867*. New York: Holt, Rinehart and Winston, 1976.

Petersen, Gwen Boardman. *The Moon in the Water – Understanding Tanizaki, Kawabata and Mishima*. Honolulu: The University Press of Hawaii, 1979.

Further references related to the topic of each class will be provided by the lecturer.

【成績評価の方法と基準】

Class attendance and oral participation are expected; failure to participate in class will result in the subtraction of marks from the total. Grading criteria: oral presentation and written summary (50%); active participation in discussions, final examination and essay (50%).

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

【学生が準備すべき機器他】

Please check the Learning Management System for further instructions about the course.

ARSc200LA (地域研究 (北アメリカ) / Area studies(North America) 200)

Humanities B

2017年度以降入学者

サブタイトル：America in the 20th Century

Richard.J.Burrows

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Despite the rise of powers in Asia such as China & India, the US remains the pre-eminent global power and a key to understanding its prominence lies in an understanding of its rise as a superpower during the 20th century. Therefore, this course will focus on key political, economic & cultural developments during the latter half of that period, how they contributed to the rise of American power and continue to influence nations around the world, especially in Asia. Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter a new century.

【到達目標】

Through a variety of media, this course seeks to firstly, give students a thorough understanding of key events in the US from the end of World War I to the close of the century. In addition, students will be able to comprehend how those events impacted not only on the course of modern US history, but their wider effect throughout the world, especially in the Asia-Pacific region.

Weekly reading assignments will add to their vocabulary knowledge & comprehension skills while a presentation & a report will give students further practice in presenting concepts & ideas both in speech & on the page.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture、Z その他 / Other

【授業の進め方と方法】

Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter the 21st century. Furthermore, an audio-visual element will allow students to sharpen their listening skills and engage in comprehension activities.

Students will present on topics of their own choice, under the guidance of the instructor, and after each presentation, the student will receive private feedback, in addition to a grade & constructive evaluation. A semester report will also be required on a related theme.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Explanation	Course Introduction
Week 2	Course Assignments	Presentation Skills
Week 3	Innovation	1916 - The Wright Brothers

Week 4	Prohibition	The Valentine's Day Massacre
Week 5	America in World War II	The Attack on Pearl Harbor
Week 6	The Dawn of The Atomic Age	1945 - Bombing of Hiroshima
Week 7	The Fight Against Communism	1965 - 1973 - The Vietnam War
Week 8	The Civil Rights Movement	1968 - The Assassination of Martin Luther King
Week 9	A Divided Nation	1960s - The Anti-War Movement
Week 10	Civil Unrest & Violence	1963 - The Assassination of JFK
Week 11	Watergate	1974 - The End of Nixon
Week 12	The Space Race	1969 - The Apollo Landings
Week 13	Domestic Terrorism	1995 - The Oklahoma Bombing
Week 14	Course Review	The 20th Century Influence on the Present Day

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to make a presentation and submit a report on a relevant theme during the semester. In addition, regular reading assignments will be set with comprehension & vocabulary questions, which will require 4 hours each week. No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.

【テキスト (教科書)】

None, but students are required to download & prepare the required material before class.

【参考書】

An electronic or smart phone English dictionary, or dictionary app is required at every class

【成績評価の方法と基準】

Evaluation will be based on the following criteria:

Classwork & Participation - 20%

Homework - 20%

Presentation - 30%

In class timed report - 30%

In principle, no more than 3 absences are permitted

【学生の意見等からの気づき】

The semester report will be completed under test conditions in class time to combat the use of AI & translation software. Students will be given approximately 1 month to choose a topic (with the approval of the instructor) and to research the topic & gather notes for the timed exam.

【学生が準備すべき機器他】

Since all materials will be available online, students need to either download & print the necessary file, or download and have it ready on their laptop or tablet device, before the start of each class. In addition, students need to have access to a laptop in order to prepare their presentation.

A smartphone can ONLY be used as a dictionary, not to study course materials or submit homework

【その他の重要事項】

Please join this class if you have an interest in this topic, a desire to improve your English skills, and are willing to attend classes on a regular basis and submit all homework & other assignments on time.

POL200LA (政治学 / Politics 200)

Social Science B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

GAEL BESSON

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The purpose of this class is to allow students to read and understand a court decision in the field of fundamentals rights. Constitutional law is now a trans-disciplinary field that connects to every branch of law, whether it is family law, commercial law, penal law... At the core of it is the protection of fundamental rights.

But, even if one of the wonders of the Japanese legal system is to provide the texts of the great legal decisions in English, the vocabulary that the judge uses to make or justify his decision can look frightening for the non-specialist. The class will accompany the student in acquiring the tools to read and understand in English, some of the most important constitutional cases in Japan.

We will see the influence of French, German and US doctrines, and the very specific Japanese ones on Japanese constitutional law, compare with solutions in other countries, and see that, contrary to the idea that Japan is always a country of consensus, that there have been strong debates between Justice especially because some defend a very national concept of Law when the other want to promote human rights protection with the same standards as others countries do.

【到達目標】

By the end of the course, it is expected that students have acquired：

1. Specific vocabulary to be able to read legal decisions.
2. Overview of some of the most important cases in Japan.
3. A robust knowledge of the structural doctrines that ensure or limit fundamental rights protection.
4. How to write a synthesis and argumentative essay.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Classes consist of discussion, documents study, and lecture. Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by conducting a research on a subject of their choice that will result in a little essay that will be submitted at the end of the semester.

Use of AI tools is forbidden, but feedback by the professor will be given at the beginning and the end of the class (are sources reliable, is the problematic sound, how to organize your study schedule...) in order to accompany the students in their research and homework. Mail can be written to the professor anytime if the student doesn't want to ask in front of the other students.

Course contents will vary depending on the number of students' presentations to be performed in class.

A final test will check if the notions are understood.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	INTRODUCTION: PROBLEMS OF JUDICIAL GATEKEEPING	Explanation of the class, elements of the Japanese legal system, , presentation and choice of the research project.
2.	MODULE 1 - CONSTITUTIONAL PRINCIPLES INTRODUCED IN 1947	The principles of democracy, individualism, pacifism, liberalism and the welfare state, laicity (Sunagawa case; Tomabechi case : avoiding political issues.)
3.	MODULE 2 - FUNDAMENTAL CLAUSES AND INDIVIDUAL RIGHTS	Public welfare and equality clause (Lady Chatterley case, Parricide case)
4.	MODULE 3 - CLASSIFICATION OF RIGHTS	Vasak's generation of rights, Berlin's Negatives liberties and positives liberties
5.	MODULE 4 - A HIERARCHY OF RIGHTS ?	Personal, Economic, Social rights... (Asahi case, Ienaga case)
6.	MODULE 5 - THE COURT'S JURISDICTION	Concrete or abstract case (National Police Reserve Case)
7.	MODULE 6 - THE GUARANTEES OF THE JUDICIAL POWER	Independence and characteristics of the japanese judge. (Otsu, Date, Teranaishi)
8.	Research projects tutorial	Review in class of the research projects advancement and training for final exam.
9.	MODULE 7- THE LIMITS OF JURISDICTION	The political question, the divided society, objective litigation (Sunagawa case, Tomabechi case)
10.	MODULE 8 - ACCESS TO COURT	Disposability, Legal interest, Ripeness, Mootness (Naganuma nike case)
11.	MODULE 9 - THE SCOPE OF JUDICIAL REVIEW	Purpose, effect, application of fundamental rights (Reapportionment case, Mitsubishi resin case)
12.	MODULE 10 - THE LIMITS OF JUDICIAL REVIEW	Presumption of constitutionality and legislative / administrative discretion (Tamagushiryo case)
13.	MODULE 11 - THE RATIONALITY TESTS	The three kind of tests. (Sumiyoshi K.K case)
14.	Final test / Research report	Example of subjects : Woman and LGBT rights protection, Nature rights, workers rights ...

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

In addition to the research project to be presented in class, students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose. Around 4 hours a week.

Except in exceptional circumstances and notification to the Professor, attendance to each lesson is mandatory.

【テキスト（教科書）】

None. Historical and contemporary cases translations in English will be given to students.

【参考書】

- Shigenori MATSUI, The Constitution of Japan : A Contextual Analysis (Constitutional Systems of the World). 2011, Hart. ISBN 13 978-1841137926.

- Hiroshi ITOH, The Supreme Court and Benign Elite Democracy in Japan, 2020, Routledge, ISBN 13 : 978-0367602680.

- Kyoko INOUE, Macarthur's Japanese Constitution · A Linguistic and Cultural Study of Its Making, 1991, University of Chicago, ISBN-13 : 978-0226383910

【成績評価の方法と基準】

Participation in class (including homework, attendance and discussions): 25%

Research project: 25%

Final examination : 50%.

【学生の意見等からの気づき】

Course content has been reviewed and updated.

【学生が準備すべき機器他】

Pen, notebook, color pencils and an eraser..

【その他の重要事項】

Students can contact the instructor at: gael.besson.77@hosei.ac.jp

In accordance with Hosei University policies, this course will be held face-to-face.

BSC200LA (基礎化学 / Basic chemistry 200)

Natural Science B

2017年度以降入学者

サブタイトル：Environmental issues and solutions

西村 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

【到達目標】

The goal of this course is for students to lean environmental problems through chemistry. The objective 1) entirely environmental problems in the world; 2) to learn them you understand basic chemistry; 3) they think about solving the imminent problems by themselves.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students will be tested on their knowledge of chemistry at the beginning of the course, and the contents for the first three weeks of the course will be decided, based on the test results. After that, many different environmental problems are explained each week.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview of the course and explanation of some terminology.
2	Basic chemistry 1	Learning the chemical skills to study this course.
3	Basic chemistry 2	Learning the chemical skills to study this course.
4	Mini test-1	Review learning.
5	Environmental problems overview	Small topics of environmental problems.
6	Ozone depletion	Stratospheric air chemistry. Especially ozone holes.
7	Air pollution	Tropospheric air chemistry and effect of air pollution on our health.
8	Greenhouse effect	Climates change
9	Greenhouse effect-DVD	Watching DVD about climates change.

10	Mini test-2	Review learning.
11	Solid, toxic, and hazardous wastes	What do we do with the wastes?
12	Water pollution and water shortage	The basic chemistry of natural water.
13	Energy and fuels	Current energy system and alternative energy sources.
14	Final test	Overall review.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

After each class, students are expected to spend time understanding each topic.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

None. Reading materials will be distributed as needed.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Class participation (60%), mini-tests (20%), final examination (20%)

【学生の意見等からの気づき】

Students often say that chemistry is hard! I try to teach chemistry as clearly as possible.

【学生が準備すべき機器他】

none

【その他の重要事項】

none

HSS200LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200)

Health and Physical Education 2017年度以降入学者

サブタイトル：

武井 敦彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

【到達目標】

By the end of the course, students should be able to do the following:

1. Deepen understanding of the significance and role of physical activity from various perspectives.
2. Acquire the ability to use sports activities to establish a prosperous and healthy student and social life.
3. Acquire fundamental knowledge and develop attitudes that contribute to self-management.
4. To acquire the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others, which is considered to be extremely important for playing an active role in the real world after graduation.
5. Aim to acquire various skills that lead to the development of employment ability (ability to build relationships of trust, ability to act jointly, etc.).

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、E 実験/実習/実技 /Experiment

【授業の進め方と方法】

If the Method(s) are changed, we will announce the details of any changes.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecturer's instructions regarding assignments to be done after class and preparations for the next class.

This class comprises both lectures and practical lessons, and students are expected to learn and understand elementary health and physical education. Also, the class schedule may be changed due to exceptional circumstances and the university guidelines.

If too many students are registered for this class, we may have to select students to establish high-quality learning environments randomly. Further details of this will be announced through Hoppii or announced in the first session of the class.

At the beginning of class, feedback is given for the previous class using comments from submitted assignments (reaction papers, reports, etc.).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Introduction of the course, 1st Presentation (Lecture)
2	Physical Fitness Test	Implementing of the physical fitness test (Practical Lesson)
3	Learning the Sports Injury Management	Learning the basic principle of sports injury management(Lecture)
4	Learning the Warm-Ups	Learning the basic principle and implementing the proper warm-ups (Lecture & Practical Lesson)
5	Learning the Individual Sports 1	Building the relationship with classmates through badminton (Practical Lesson)
6	Learning the Individual Sports 2	Facilitating mutual understanding with classmates through badminton (Practical Lessons)
7	Strength & Conditioning 1	Learning the theory of strength and conditioning (Lecture &Practical Lesson)
8	Strength & Conditioning 2	Implementing and collecting the data of the strength and conditioning (Practical Lesson)
9	Learning the Team Sports 1	Building the relationship with classmates through the futsal (Practical Lesson)
10	Learning the Team Sports 2	Facilitating the mutual understanding with classmates through the volleyball (Practical Lesson)
11	Health &Fitness	Leaning and implementing the proper physical functional training to improve the QOL (quality of life) (Lecture & Practical Lesson)
12	Learning the Individual Sports 3	Building the relationship with classmates through table tennis (Practical Lesson)
13	Learning the Individual Sports 4	Facilitating mutual understanding with classmates through table tennis, 2nd Presentation (Practical Lesson)
14	Summarizing the Course	Overview of the course and compile a report (Lecture)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

This class's standard preparatory study and review time is 2 hours each. This class aims to understand that sports activities contribute to promoting physical and mental health and interpersonal relationships through lectures and practical training. Therefore, record the time spent on daily physical activity, meals, sleep time, etc., look back on the contents, and record the effects and future tasks. Also, get in the habit of looking at various sports-related information sent from TV, newspapers, the Web, etc. This work will deepen your understanding of the contents of this class.

【テキスト（教科書）】

No textbook will be used.

【参考書】

Reference books may be introduced as and if necessary.

【成績評価の方法と基準】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

1. Participation status for activities during class (Attendance rate/ Presentation/ Reaction paper) 60%.
2. Assignments / Reports 40%.

This grade evaluation method is used in principle, and students who have difficulty in regular activities will be treated and evaluated individually.

【学生の意見等からの気づき】

1. Students are expected to communicate and interact with other students from all over the world, so this class tries to create the opportunity to enhance communication skills through sports and physical activities, including individual and team sports.
2. Students are expected to learn and implement the proper physical training (strength and conditioning). This class provided the appropriate information regarding physical training and aimed to improve the knowledge and skills of physical training based on the evidence.

【学生が準備すべき機器他】

1. Students must bring their proper sportswear and shoes for practical lessons.
2. Students must bring their own personal computer or mobile device to create and submit assignments.

【その他の重要事項】

1. The order and content of each class can be changed/modified due to the number of participants, available facilities, special circumstances, and university guidelines.
2. This class will be held offline (face-to-face); therefore, please follow the university guidelines carefully when participating (e.g., sanitizing your hands before participating).
3. Students must inform the teacher of any issues, including health, before, during, and after class.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主にExcel2019（表計算ソフト）とPowerPoint2019（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。特に、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。授業ではExcelとPowerPointを使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「式で表現する力をつける」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では論理的な思考が身に付きます。後者ではプレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際のIDとパスワード（統合認証ID等）を必ず確認しておいてください。初心者者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は授業支援システム上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第02回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第03回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第04回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第05回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第06回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel のIF関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう

第07回	Power Point 導入	Microsoft PowerPointの基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第08回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPointの図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第09回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPointに動画を挿入する場合の注意や、Windowsにおける拡張子の扱いについて学習する
第10回	マイテンプレート	Microsoft PowerPointで、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第11回	スライドの作成	Microsoft PowerPointを用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第12回	スライドの発表	第11回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第13回	スライド発表時の諸注意と応用	第11回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第14回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使ったスライドは授業支援システムにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、レポート演習課題（80%）を総合して評価します。課題出題は3～4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course.

It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2019.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主にExcel2019（表計算ソフト）とPowerPoint2019（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。特に、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。授業ではExcelとPowerPointを使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「式で表現する力をつける」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では論理的な思考が身に付きます。後者ではプレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際のIDとパスワード（統合認証ID等）を必ず確認しておいてください。初心者者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は授業支援システム上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第02回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第03回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第04回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第05回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第06回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel のIF関数などを用いる事で、論理的思考をやる

第07回	Power Point 導入	Microsoft PowerPointの基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第08回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPointの図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第09回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPointに動画を挿入する場合の注意や、Windowsにおける拡張子の扱いについて学習する
第10回	マイテンプレート	Microsoft PowerPointで、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第11回	スライドの作成	Microsoft PowerPointを用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第12回	スライドの発表	第11回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第13回	スライド発表時の諸注意と応用	第11回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第14回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、レポート演習課題（80%）を総合して評価します。課題出題は3～4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course.

It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2019.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主にExcel2019（表計算ソフト）とPowerPoint2019（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。特に、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。授業ではExcelとPowerPointを使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「式で表現する力をつける」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では論理的な思考が身に付きます。後者ではプレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際のIDとパスワード（統合認証ID等）を必ず確認しておいてください。初心者者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は授業支援システム上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第02回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第03回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第04回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第05回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第06回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel のIF関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう

第07回	Power Point 導入	Microsoft PowerPointの基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第08回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPointの図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第09回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPointに動画を挿入する場合の注意や、Windowsにおける拡張子の扱いについて学習する
第10回	マイテンプレート	Microsoft PowerPointで、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第11回	スライドの作成	Microsoft PowerPointを用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第12回	スライドの発表	第11回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第13回	スライド発表時の諸注意と応用	第11回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第14回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、レポート演習課題（80%）を総合して評価します。課題出題は3～4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course.

It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2019.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主にExcel2019（表計算ソフト）とPowerPoint2019（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。特に、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。授業ではExcelとPowerPointを使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「式で表現する力をつける」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では論理的な思考が身に付きます。後者ではプレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際のIDとパスワード（統合認証ID等）を必ず確認しておいてください。初心者者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等は授業支援システム上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第02回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第03回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第04回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第05回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第06回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel のIF関数などを用いる事で、論理的思考をやる

第07回	Power Point 導入	Microsoft PowerPointの基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第08回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPointの図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第09回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPointに動画を挿入する場合の注意や、Windowsにおける拡張子の扱いについて学習する
第10回	マイテンプレート	Microsoft PowerPointで、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第11回	スライドの作成	Microsoft PowerPointを用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第12回	スライドの発表	第11回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第13回	スライド発表時の諸注意と応用	第11回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第14回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第4版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、レポート演習課題（80%）を総合して評価します。課題出題は3～4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course.

It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2019.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習IIでは、情報処理演習Iで学んだ内容を元に、ワードプロセッサと表計算ソフトの応用的な使い方、プレゼンテーション、インターネットといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業の前半は説明を行い、後半は課題実施と質疑応答、の進め方を基本とする。実習のある回は前半で課題の具体的な進め方を説明し、後半で各自課題を作成しながら質問などを受け付ける。座学の回は後半で各自フォームへの回答を作成する。

授業資料や課題の提出、質問などはGoogle Classroomを使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第5章 コンピューターとデータ(1)	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第2回	第5章 コンピューターとデータ(2)	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第3回	第6章 インターネットと電子メール	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組み、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第4回	第10章(4) エクセル4(練16-21)	数表からグラフを作成し、レイアウトを調整する方法について学ぶ
第5回	第10章(5) エクセル5(章1-4)	Excelについて学んだ内容を応用したスプレッドシートの作成実習を行う
第6回	第10章(6) エクセル6(章5)	特に難易度の高い章末問題5について集中的に解説する(進度により別内容もありうる)
第7回	第9章(4) ワード4(章2,4)	Wordについて学んだ内容を応用した総合的な文書作成の実習を行う。実習の時間配分上、章末問題を分割して実施する。

第8回	第9章(4) ワード4(章3,5)	Wordについて学んだ内容を応用した総合的な文書作成の実習を行う。実習の時間配分上、章末問題を分割して実施する。
第9回	第11章(1) パワーポイント(1)	パワーポイントの基本的な操作とプレゼンテーションの基本について学ぶ
第10回	第11章(2) パワーポイント(2)	応用的なパワーポイントスライドの作成実習を行う
第11回	第7章 World Wide Web	WWWの仕組みと利用方法、得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ
第12回	第8章 インターネットとメディアリテラシ	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽、フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピューターウィルス、コンピューター犯罪について学ぶ
第13回	RSA暗号	現代の暗号技術の基礎となっているRSA暗号について学ぶ
第14回	まとめと振り返り	情報処理演習IとIIを通してのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版までの「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

授業中の提出物(80%)と平常点(20%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。各自のノートパソコン等の持ち込みも認めます。

【その他の重要事項】

情報処理演習IIは春学期の情報処理演習Iとセットになる科目です。情報処理演習IIを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Iを受講して下さい。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習IIでは、情報処理演習Iで学んだ内容を元に、ワードプロセッサと表計算ソフトの応用的な使い方、プレゼンテーション、インターネットといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業の前半は説明を行い、後半は課題実施と質疑応答、の進め方を基本とする。実習のある回は前半で課題の具体的な進め方を説明し、後半で各自課題を作成しながら質問などを受け付ける。座学の回は後半で各自フォームへの回答を作成する。

授業資料や課題の提出、質問などはGoogle Classroomを使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第5章 コンピューターとデータ(1)	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第2回	第5章 コンピューターとデータ(2)	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第3回	第6章 インターネットと電子メール	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組み、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第4回	第10章(4) エクセル4(練16-21)	数表からグラフを作成し、レイアウトを調整する方法について学ぶ
第5回	第10章(5) エクセル5(章1-4)	Excelについて学んだ内容を応用したスプレッドシートの作成実習を行う
第6回	第10章(6) エクセル6(章5)	特に難易度の高い章末問題5について集中的に解説する(進度により別内容もありうる)
第7回	第9章(4) ワード4(章2,4)	Wordについて学んだ内容を応用した総合的な文書作成の実習を行う。実習の時間配分上、章末問題を分割して実施する。

第8回	第9章(4) ワード4(章3,5)	Wordについて学んだ内容を応用した総合的な文書作成の実習を行う。実習の時間配分上、章末問題を分割して実施する。
第9回	第11章(1) パワーポイント(1)	パワーポイントの基本的な操作とプレゼンテーションの基本について学ぶ
第10回	第11章(2) パワーポイント(2)	応用的なパワーポイントスライドの作成実習を行う
第11回	第7章 World Wide Web	WWWの仕組みと利用方法、得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ
第12回	第8章 インターネットとメディアリテラシ	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽、フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピューターウィルス、コンピューター犯罪について学ぶ
第13回	RSA暗号	現代の暗号技術の基礎となっているRSA暗号について学ぶ
第14回	まとめと振り返り	情報処理演習IとIIを通してのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版までの「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

授業中の提出物(80%)と平常点(20%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。各自のノートパソコン等の持ち込みも認めます。

【その他の重要事項】

情報処理演習IIは春学期の情報処理演習Iとセットになる科目です。情報処理演習IIを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Iを受講して下さい。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ/Seminar

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I (春学期科目) と同じタイミングで4月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされますが、数回オンライン授業の日があります。対面／オンラインのスケジュールはこのシラバスから変更になる可能性があります。授業の前日に必ず学習支援システム Hoppii から「WebClass」の記載を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

対面授業では、ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。
2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT 時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	python プログラミング	プログラミング言語 python の使い方を学ぶ。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ[第3版]

著者：重定如彦・河内谷幸子 共著

出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoomが使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅰ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

★★授業の前日には必ず学習支援システムを読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

岡嶋 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシを身につけることも目標とします。

【到達目標】

大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。**Excel**の応用レベルを修了し、実務で困らない運用ができる水準に到達します。**PowerPoint**についても、グラフィカルな機能を中心に学習します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ/Seminar

【授業の進め方と方法】

1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは授業中に行います。

なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用2	高度な関数
3	表計算ソフト応用3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト5	スライドショーと特殊効果の追加

- 13 プログラミング初歩、足し算ゲームなどの簡単なプログラムもしくはデータ グラミング、もしくはデータベース ベースソフトの操作
(受講者のスキルによって決定します)
- 14 期末試験 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

【参考書】

実習情報リテラシ（サイエンス社）

Microsoft Excel 応用 セミナーテキスト（日経BP社）など

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、期末試験70%を合わせた成績により評価します。

平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。すべての講義への出席が前提です。

期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】

I・IIがセットになっている講義ですが、II期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主に**Excel**の関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

【その他の重要事項】

教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。

okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003440_ja.html

教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心に話します。

【Outline (in English)】

This course is intended for students who have completed "Information Processing Exercises I" or possess equivalent basic skills. The aim of this course is to learn more effective ways to express information and to master the operational and applied skills of major applications likely to be used in the professional world. Another objective is to cultivate the literacy needed to flexibly adapt to new technologies and applications that may emerge in the future.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

岡嶋 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシーを身につけることも目標とします。

【到達目標】

大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。**Excel**の応用レベルを修了し、実務で困らない運用ができる水準に到達します。**PowerPoint**についても、グラフィカルな機能を中心に学習します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ/Seminar

【授業の進め方と方法】

1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは授業中に行います。

なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用2	高度な関数
3	表計算ソフト応用3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト5	スライドショーと特殊効果の追加

- 13 プログラミング初歩、足し算ゲームなどの簡単なプログラムもしくはデータ グラミング、もしくはデータベース ベースソフトの操作
(受講者のスキルによって決定します)
- 14 期末試験 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

【参考書】

実習情報リテラシー (サイエンス社)

Microsoft Excel 応用 セミナーテキスト (日経BP社) など

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、期末試験70%を合わせた成績により評価します。

平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。すべての講義への出席が前提です。

期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】

I・IIがセットになっている講義ですが、II期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主に**Excel**の関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

【その他の重要事項】

教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。
okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003440_ja.html

教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話します。

【Outline (in English)】

This course is intended for students who have completed "Information Processing Exercises I" or possess equivalent basic skills. The aim of this course is to learn more effective ways to express information and to master the operational and applied skills of major applications likely to be used in the professional world. Another objective is to cultivate the literacy needed to flexibly adapt to new technologies and applications that may emerge in the future.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習IIでは、情報処理演習Iで学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ

第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。
また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。
なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」

平常点10%、レポート70%、タッチタイピングのテスト20%

「評価基準」

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。

レポートは内容および表現の適切さを評価します。

タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報処理演習IIは春学期の情報処理演習Iとセットになる科目です。情報処理演習IIを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Iを受講して下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

Each student is expected to prepare and review the textbook before and after the class.

If assignments are given, do them in time for the deadline, and submit them according to the instructions on the learning support system.

It is also recommended to do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Distribution.

10% of ordinary points, 70% of reports, 20% of touch typing test
Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will be graded on the amount and accuracy of the typed text.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習IIでは、情報処理演習Iで学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ

第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。
また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。
なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第4版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第3版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 11やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

「配分」

平常点10%、レポート70%、タッチタイピングのテスト20%

「評価基準」

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。

レポートは内容および表現の適切さを評価します。

タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報処理演習IIは春学期の情報処理演習Iとセットになる科目です。情報処理演習IIを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Iを受講して下さい。

生成AIを補助的に利用することは認めるが、生成のみを利用したレポート課題の提出は認めない。詳しくは授業内で指示する。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

Each student is expected to prepare and review the textbook before and after the class.

If assignments are given, do them in time for the deadline, and submit them according to the instructions on the learning support system.

It is also recommended to do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Distribution.

10% of ordinary points, 70% of reports, 20% of touch typing test
Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will be graded on the amount and accuracy of the typed text.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド(<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>)を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ/Seminar

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習I(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされますが、数回オンライン授業の日があります。対面／オンラインのスケジュールはこのシラバスから変更になる可能性があります。授業の前日に必ず学習支援システム Hoppii から「WebClass」の記載を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

対面授業では、ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。
2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	python プログラミング	プログラミング言語 python の使い方を学ぶ。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ[第3版]

著者：重定如彦・河内谷幸子 共著

出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoomが使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅰ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

★★授業の前日には必ず学習支援システムを読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I (春学期科目) と同じタイミングで4月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされますが、数回オンライン授業の日があります。対面／オンラインのスケジュールはこのシラバスから変更になる可能性があります。授業の前日に必ず学習支援システム Hoppii から「WebClass」の記載を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

対面授業では、ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。
2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT 時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	python プログラミング	プログラミング言語 python の使い方を学ぶ。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ[第3版]

著者：重定如彦・河内谷幸子 共著

出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoomが使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅰ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

★★授業の前日には必ず学習支援システムを読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習からその後の社会まで、必要とされるICT関連や情報技術・知識の習得を深め、さらなる情報利活用へとつなげることを目指します。PC操作の演習を中心に、情報の収集や表現・活用・分析、集計・データ処理について習得します。

【到達目標】

事務作業等を想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。さらに応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

PC操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	確認と復習	これまでの確認と復習
第3回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第4回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第5回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第6回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第7回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第8回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第9回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第10回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第11回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第12回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第13回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第14回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ【第4版】、重定如彦・河内谷幸子、サイエンス社、¥2,000＋税。

実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

情報処理・リテラシー関連の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それらに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

演習に対して苦手感をもってしまう人もいるため、授業時の実演や丁寧な説明や資料の充実から習得・理解へとつなげていきたいと考えています。合わせて意見を聞ける機会も広げて改善へとつなげたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器（PC）を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習からその後の社会まで、必要とされるICT関連や情報技術・知識の習得を深め、さらなる情報利活用へとつなげることを目指します。PC操作の演習を中心に、情報の収集や表現・活用・分析、集計・データ処理について習得します。

【到達目標】

事務作業等を想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。さらに応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

PC操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	確認と復習	これまでの確認と復習
第3回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第4回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第5回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第6回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第7回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第8回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第9回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第10回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第11回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第12回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第13回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第14回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ【第4版】、重定如彦・河内谷幸子、サイエンス社、¥2,000＋税。

実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

情報処理・リテラシー関連の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それらに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

演習に対して苦手感をもってしまう人もいるため、授業時の実演や丁寧な説明や資料の充実から習得・理解へとつなげていきたいと考えています。合わせて意見を聞ける機会も広げて改善へとつなげたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器（PC）を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習からその後の社会まで、必要とされるICT関連や情報技術・知識の習得を深め、さらなる情報利活用へとつなげることを目指します。PC操作の演習を中心に、情報の収集や表現・活用・分析、集計・データ処理について習得します。

【到達目標】

事務作業等を想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。さらに応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

PC操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	確認と復習	これまでの確認と復習
第3回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第4回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第5回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第6回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第7回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第8回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第9回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第10回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第11回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第12回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第13回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第14回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ【第4版】、重定如彦・河内谷幸子、サイエンス社、¥2,000＋税。

実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

情報処理・リテラシー関連の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それらに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

演習に対して苦手感をもってしまいう人もいるため、授業時の実演や丁寧な説明や資料の充実から習得・理解へとつなげていきたいと考えています。合わせて意見を聞ける機会も広げて改善へとつなげたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器（PC）を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制(50)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学での学習からその後の社会まで、必要とされるICT関連や情報技術・知識の習得を深め、さらなる情報利活用へとつなげることを目指します。PC操作の演習を中心に、情報の収集や表現・活用・分析、集計・データ処理について習得します。

【到達目標】

事務作業等を想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。さらに応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

PC操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	確認と復習	これまでの確認と復習
第3回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第4回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第5回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第6回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第7回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第8回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第9回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第10回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第11回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第12回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第13回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第14回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ【第4版】、重定如彦・河内谷幸子、サイエンス社、¥2,000＋税。

実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

情報処理・リテラシー関連の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それらに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

演習に対して苦手感をもってしまいう人もいるため、授業時の実演や丁寧な説明や資料の充実から習得・理解へとつなげていきたいと考えています。合わせて意見を聞ける機会も広げて改善へとつなげたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器（PC）を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

星 善光

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制(26)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報処理演習 I に引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

【到達目標】

一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、JavaScript、PHP を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

情報処理演習 I と同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Microsoft Excel の基礎／計算式・関数・書式	Microsoft Excel の基礎を学ぶ。Excel で利用する計算式・関数・書式を学ぶ。
第2回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excel のページレイアウトやデータツールを学ぶ。
第3回	グラフ	Microsoft Excel のグラフ作成機能を学ぶ。
第4回	外部データの処理	Microsoft Excel を用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第5回	CEATEC 見学	日本を代表するテクノロジー展示会である CEATEC を見学して ICT 技術の最先端を学ぶ。
第6回	VBA	Microsoft Excel 用 Visual Basic for Application (VBA) の機能を学ぶ。
第7回	課題発表会	情報処理演習 I で作成したプレゼンテーション資料を用いた発表会を開催する。
第8回	アプリケーションソフトウェア③	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学び、統計解析に役立つ R の機能を体験する。
第9回	コンピュータネットワークとセキュリティの基礎	コンピュータネットワーク及びセキュリティの基礎知識を学ぶ。

第10回	コンピュータの未来	コンピュータの進歩や未来の応用について学び、グループディスカッションを通じて理解を深める。
第11回	HTML の基礎 / JavaScript とスタイルシート	HTML を用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。JavaScript とスタイルシートの基礎を学ぶ。
第12回	PHP の基礎	HTML 自動生成に役立つ PHP 言語についての基礎を学ぶ。
第13回	AI の基礎	機械学習、生成 AI 等についての基礎を学ぶ。
第14回	まとめ	講義内容をまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。

【参考書】

「実習情報リテラシ[第4版]」重定如彦・河内谷幸子共著、サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

課題（80%）、小テスト（20%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

演習室のパソコンを利用します。

【Outline (in English)】

You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively. You learn about web development related languages such as HTML, JavaScript, PHP and learn about network structure too.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習 II

2017年度以降入学者

星 善光

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

定員制(26)

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報処理演習 I に引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

【到達目標】

一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、JavaScript、PHP を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

情報処理演習 I と同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Microsoft Excel の基礎／計算式・関数・書式	Microsoft Excel の基礎を学ぶ。Excel で利用する計算式・関数・書式を学ぶ。
第2回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excel のページレイアウトやデータツールを学ぶ。
第3回	グラフ	Microsoft Excel のグラフ作成機能を学ぶ。
第4回	外部データの処理	Microsoft Excel を用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第5回	CEATEC 見学	日本を代表するテクノロジー展示会である CEATEC を見学して ICT 技術の最先端を学ぶ。
第6回	VBA	Microsoft Excel 用 Visual Basic for Application (VBA) の機能を学ぶ。
第7回	課題発表会	情報処理演習 I で作成したプレゼンテーション資料を用いた発表会を開催する。
第8回	アプリケーションソフトウェア③	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学び、統計解析に役立つ R の機能を体験する。
第9回	コンピュータネットワークとセキュリティの基礎	コンピュータネットワーク及びセキュリティの基礎知識を学ぶ。

第10回	コンピュータの未来	コンピュータの進歩や未来の応用について学び、グループディスカッションを通じて理解を深める。
第11回	HTML の基礎 / JavaScript とスタイルシート	HTML を用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。JavaScript とスタイルシートの基礎を学ぶ。
第12回	PHP の基礎	HTML 自動生成に役立つ PHP 言語についての基礎を学ぶ。
第13回	AI の基礎	機械学習、生成 AI 等についての基礎を学ぶ。
第14回	まとめ	講義内容をまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。

【参考書】

「実習情報リテラシ[第4版]」重定如彦・河内谷幸子共著、サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

課題（80%）、小テスト（20%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

演習室のパソコンを利用します。

【Outline (in English)】

You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively. You learn about web development related languages such as HTML, JavaScript, PHP and learn about network structure too.

IDN200LA (アイデンティティ教育 / Identity studies 200)

法政学の探究 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：Hosei Studies LB

北口 由望

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では「大学と地域」をテーマに、法政大学の歴史と文化に焦点をあてます。法政大学はなぜ市ヶ谷にあるのか、なぜ多摩や小金井にもキャンパスがあるのか。法政大学に通う学生として抱く疑問や関心について、日本近現代史や大学史などの学問的な観点から検証します。具体的なテーマとして、大学創立の地・東京神田、市ヶ谷キャンパスとその周辺（外濠・神楽坂）の歴史と文化、鉄道と郊外型キャンパスの形成、グラウンドと法政スポーツの隆盛、付属校の成り立ち、北軽井沢法政大学村と岩波文化などを挙げるができます。法政大学の歴史を通して、日本の近現代や大学の在り方を捉え直す機会となるでしょう。

また、HOSEI ミュージアムの展示コンテンツやデジタルアーカイブをはじめ、様々な資料から「法政学」を探究し、実践的な試みとして、ミュージアムでの小規模な発表会開催も検討します。

【到達目標】

1. 法政大学の歴史はもちろんのこと、日本近現代史や大学の歴史に関する基礎的な知識を得ることができます。
2. 身近なテーマを学問的な「問い」へと発展させる視野を養います。
3. 調査研究の前提となるテーマ設定の具体化や各種資料の調査方法・読解方法について学ぶことができます。
4. 演習形式が中心となるため、各学部の専門ゼミ履修への準備になります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業計画に則り、講義形式と演習形式を組み合わせで進めます。第4回ではHOSEI ミュージアムで見学調査を行い、第7回では市ヶ谷キャンパスとその周辺地域を歩き、現在の大学と地域について議論します。なお、受講生は授業内で報告（1回）を行う必要があります。報告（発表）や質問、リアクションペーパー等に対するフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	本授業の目標、スケジュール等を説明します。
第2回	法政大学の歴史－東京法学社創立から戦前期まで－	法律学校時代から戦争の時代に至るまで、法政大学の歴史を主に「地域」の観点から振り返ります。
第3回	法政大学の歴史－戦後復興から現在まで－	戦後復興から現在に至るまで、法政大学の歴史を主に「地域」の観点から振り返ります。

第4回	HOSEI ミュージアムでの学び	HOSEI ミュージアムを訪問し、展示内容から法政大学に関わる様々なテーマについて知見を得ます。
第5回	デジタルアーカイブの使い方を学ぶ	HOSEI ミュージアム・デジタルアーカイブをはじめ、各種デジタルアーカイブの使用方法を学びます。
第6回	テーマ設定方法と報告の基礎を学ぶ	「問い」の立て方、テーマ設定の方法をはじめ、レジュメの作成やプレゼンテーション方法など、報告の基礎を学びます。
第7回	市ヶ谷キャンパスとその周辺を歩く	市ヶ谷キャンパスと、その周辺を歩き、現在の大学と地域について議論します。
第8回	法政大学草創期に関するテーマ設定と資料紹介	法政大学創立の地である東京神田や創立者の出身地について、科目担当者とともにテーマ設定を行います。
第9回	市ヶ谷キャンパスとその周辺に関するテーマ設定と資料紹介	市ヶ谷キャンパスと、外濠や神楽坂といった周辺地域について、科目担当者とともにテーマ設定を行います。
第10回	その他、大学ゆかりの地域に関するテーマ設定と資料紹介	多摩／小金井キャンパスや付属校、中野／川崎グラウンド、北軽井沢法政大学村など、大学ゆかりの地域について、科目担当者とともにテーマ設定を行います。
第11回	法政大学草創期をテーマとした報告	法政大学創立の地である東京神田や創立者の出身地について、受講者の報告を行います。
第12回	市ヶ谷キャンパスとその周辺をテーマとした報告	市ヶ谷キャンパス、そして外濠や神楽坂といった周辺地域について、受講者の報告を行います。
第13回	その他、大学ゆかりの地域をテーマとした報告	多摩／小金井キャンパスや付属校、中野／川崎グラウンド、北軽井沢法政大学村など、大学ゆかりの地域について、受講者の報告を行います。
第14回	映像上映と総括	HOSEI ミュージアムの映像シリーズ「法政大学の歴史・文化・個性」を鑑賞し、科目担当者による総括を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前学習では、HOSEI ミュージアムに展示されているコンテンツ、同デジタルアーカイブの調査や授業内で紹介された文献の読解を行います。復習では、毎回科目担当者が配布した資料とHoppiiにアップロードされた資料を読み直します。

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用せず、毎回、科目担当者が資料を配布します。

【参考書】

『法政大学八十年史』（1961年）、『法政大学百年史』（1980年）、『法政大学と戦後五〇年』（2004年）、『法律学の夜明けと法政大学』（1992年）、『都市と大学－法政大学から東京を見る〈増補改訂版〉』（2023年）、『法政大学と戦後80年－戦争と向き合い、平和を求める－』（2025年）、『HOSEI ミュージアム紀要』（2021年～2026年）

【成績評価の方法と基準】

平常点と授業内の報告（各50％）にて判断します。

【学生の意見等からの気づき】

学部を超えた交流の機会となるよう、受講者が自由に発言できる「場」を形成したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

報告用のPCなどの機器は科目担当者が用意します。

【その他の重要事項】

関連科目「大学を知ろう <法政学>への招待」で学んだ内容を前提としますので、同科目の既修者か、それと同等の前提知識を得てから受講してください。後者の場合、大学公式HPに掲載されている「HOSEI MUSEUM」が参考になります。

【Outline (in English)】

This course explores the history and culture of Hosei University with the theme of "Universities and the Region.". We examine questions and interests in student life from an academic perspective. Students will learn the modern and contemporary history of Japan, the history of Universities through the history of Hosei University.

Please refer to the documents mentioned by the lecturer in the class. Also, please make use of the newly opened HOSEI Museum and Digital Archives for preparation and review. As a practical experiment, we will also consider holding a small exhibition.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Usual performance score: 50%、Classroom presentations: 50%

IDN200LA（アイデンティティ教育 / Identity studies 200）		2	世界を知りつくした 本学の祖 箕作麟祥	本学の前身である和仏法律学校 初代校長の箕作麟祥は、明治期 の有数の啓蒙家であった。彼は、 洋学を学んで、西洋の法律や歴史 を日本に紹介し、日本の「民権」 のために活躍した。彼の仕 事を振り返り、そこから学ぶもの を探りたい。（南塚信吾）
法政学の探究 L A		2017年度以降入学者		
サブタイトル：人物で知る法政大学史				
高柳 俊男、北口 由望				
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金 5/Fri.5 単位数：2単位				
その他属性：〈優〉				
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 この授業は、「大学を知ろう <法政学>への招待」（旧科目名「法政学への招待」）をすでに受講し、法政大学が経てきた150年近い歴史と現状について一通りの理解をもつ学生を主対象にして、法政大学についてより深く考える発展科目として設置されました。 「大学を知ろう <法政学>への招待」における学習を前提に、本授業では、法政大学で教えた教員や、学んだ学生を具体的に取り上げます。教員の場合なら、その人物が法政大学でどういう教育研究に携わったのか、そのことで本学や社会の発展にいかに関与できたのか、などを追います。卒業生の場合なら、本学で何を学んだのか、あるいは学んだことをその後の本人の人生や、社会に向けてどう役立てたか、などについて探究することになるでしょう。 法政大学ゆかりの特定の人物を詳しく追うことで、「自由と進歩」の理念や、時代のフロントランナー養成を掲げる本学の歴史と現在を、より具体的に理解できるようになるはずです。				
【到達目標】 本学の経てきた道を、具体的な人物に即して、実証的・実感的に把握できることを目指します。時代の大きな流れの中で、本学ゆかりのその人物が何に興味をもち、どんな活動をし、何を目指し、何に悩んだかなどを、受講生個々人の知性と感性で感じられるようにします。それを、自分の学生生活や将来像へとつなげて考える契機を得よう努めます。				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1				
【主な授業方法】 L 講義 /Lecture				
【授業の進め方と方法】 科目責任者の教員2名が毎回同席し、授業をコーディネートします。講義は、各回のテーマに最適な本学内外の講師陣（科目責任者を含む）が、分担して担当します。 授業の最後に毎回、リアクションペーパーに感想や質問を書いてもらいます。それに対する講義担当者のコメントを入れた「授業通信」を作成し、次週の冒頭で解説するなど、参加型・双方向型授業になるよう努めます。 対面を基本としますが、講師の都合等により他の形式で行う回が生じた場合は、事前にお知らせします。				
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし / No				
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容	9	城戸幡太郎、波多野完治、宮原誠一、乾孝～生涯学習の時代を切り拓いた人々
1	導入	この授業の狙いや、全体の構成について説明する。 あわせて、本学の経てきた歴史の概略を、映像も使いながら復習する。（科目責任者=高柳俊男、北口由望）		戦前の法政大学高等師範部教授の城戸幡太郎、波多野完治、宮原誠一らは、本学を舞台に教育科学研究会や保育問題研究会を組織したが、そのねらいは現場の教員と研究者とが共同して教育実践を研究することにあった。キャリアデザイン学部へと引き継がれるこの伝統を明らかにしたい。（笹川孝一）

10	「女性である前にまず人間であれ」 野上弥生子と法政大学	日本を代表する作家野上弥生子。法政大学女子高等学校名誉校長もつとめた弥生子は、同校の生徒たちに「女性である前にまず人間であれ」という言葉をのこした。弥生子の思想と人物像を探るとともに、その日記に記された法政大学の逸話を紹介する。(古俣達郎)
11	校舎と建築学科の礎を築いた建築家 大江宏	法政大学の幾つもの校舎を設計し、また教育者として建築学科の礎を築いた建築家・大江宏(1913～89年)。残された建築と資料を参照しながら、その思想と足跡に迫る。(藤本貴子)
12	高度経済成長と戦後思想の変容－藤田省三の射程	「焼け跡・闇市」の原風景から出発した日本の「戦後」は、政治的安定化と経済的繁栄とともに劇的に変わって行く。そのなかで行われた戦後思想の変容について、思想家藤田省三(1927-2003)の議論を中心に考察する。(趙星銀)
13	法政スポーツの伝統を探る	法政スポーツは100年以上の歴史をもつ。HOSEIミュージアムで開催された展示「HOSEIスポーツの原点」をもとに、その歴史と伝統を振り返る。(北口由望)
14	学生の目と教員の目から見る法政大学	学生として本学で学び、のちに本学で教えるに至った方を授業にお招きし、2つの立場から見た法政大学について体験的に語っていただき、授業全体のまとめとする。(根崎光男、明田川融)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の講師が授業内で言及した文献は、積極的に参照してください。また、2020年に開館したHOSEIミュージアムの展示、および同ミュージアムデジタルアーカイブ (<https://museum.hosei.ac.jp/archives/Users/Top>)には、授業で取り上げた人物や事象に関するコンテンツが豊富に含まれていますので、準備学習・復習に活用してください。

その他、授業に関連する特別展示などが学内外で開催される場合には、随時お知らせしますので、極力足を運んでみましょう。

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストはありません。毎回の講義担当者が適宜、プリント配付やパワーポイント提示を行います。それらを基本的に、学習支援システム上にアップします。

【参考書】

各講義担当者が、その都度お知らせします。

本学の歴史を通史的にまとめた書籍には、『法政大学1880-2000：そのあゆみと展望』のほか、『法政大学参拾年史』『法政大学八十年史』『法政大学百年史』『法政大学と戦後五〇年』などがあります。図書館などで適宜参照してください。

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーに反映された授業に取り組む姿勢 40%、学期末のレポート 60%を基準にして、総合的に評価します。受講者数によっては若干の変更があるかもしれませんが、その場合は授業の場（もしくは学習支援システム上）でお知らせします。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とします。

なお、レポートの作成に際しては、典拠となる文献に必ず当たり、実証的な内容になるよう心がけてください。

【学生の意見等からの気づき】

法政大学の経てきた歴史や、その中で的人物について、ただ賛美するような授業ではありません。あくまでも実証的・学術的でありながら、同時に本学で学ぶ自分自身の生き方の参考になるような、意義ある授業を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

とくにありません。学習支援システムを積極的に活用します。

【その他の重要事項】

上述のように、本科目は「大学を知ろう <法政学>への招待」の上位科目として設置されました。したがって、本来は同科目を履修した人を受講者に想定していますが、受講していない人を拒むものではありません。未修の方は、上記した参考書などを参照に、自分なりに基礎知識を得て、授業についていけるよう努めてください。

なお、現在3つある「法政学」科目の見直しが大学によって進められており、いまの形式での授業は今年度が最後となる可能性が大了。

【Outline (in English)】

This intermediate class aims to explore the history and the spirit of Hosei University, by following the achievements and personality of several specific individuals.

Please refer to the documents mentioned by the lecturer in the class. Also, please make use of the newly opened HOSEI Museum and Digital Archives for preparation and review.

Final grade will be calculated according to the following process. Reaction papers for each class 40%, and term-end report 60%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

阿部 真弓

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、『源氏物語』を絵画化して絵巻物に仕立てた『源氏物語絵巻』（国宝）について、講義します。

この絵巻は院政期に作られたと考えられていますが、そうすると、『源氏物語』が成立した平安時代中期から100年余りしか経っていない作品ということになります。『源氏物語絵巻』を読み解くことによって、『源氏物語』の作者紫式部が生きていた時代に近い時代に生きる人々が『源氏物語』をどのように解釈していたかがわかります。さらに推測することが許されるなら、紫式部が脳裏に思い描いていた『源氏物語』に近い世界が『源氏物語絵巻』として描かれている可能性があるのです。

当授業では、絵巻の鑑賞方法等について解説した後、『源氏物語絵巻』のほか、種々の源氏絵、また現代のマンガ等も紹介しながら、『源氏物語』がどのように解釈され、絵画化されてきたかについて考察していきます。

『源氏物語絵巻』を学ぶことを通し、日本の古典文学や美術に関する理解を深めます。

【到達目標】

- ①絵巻に関する基礎的な知識を習得する。
- ②『国宝 源氏物語絵巻』の特質を理解する。
- ③平安時代の人々が『源氏物語』をどのように解釈し、イメージしたかについて理解する。
- ④現代に至るまで、『源氏物語』がどのように絵画化されてきたか、源氏絵の様相を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使い、講義形式で授業を行います。

授業のはじめに、学習支援システムにアップロードされた受講生からの質問や意見を取り上げてフィードバックし、前回授業の振り返りを行います。

『源氏物語』に興味はあるけれど、古典文学の解釈は苦手」という人も多いと思いますので、時間の許す範囲で『源氏物語』のあらすじを解説し、現代語訳を記載したプリントを用いて、古典文学の読解が苦手な人にも配慮しつつ、授業を進めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要
第2回	絵巻とは(1)	絵巻の歴史について
第3回	絵巻とは(2)	絵巻に見られる技法、絵巻の鑑賞方法について
第4回	『源氏物語絵巻』(1)	『源氏物語絵巻』概説
第5回	『源氏物語』第一部概説	『源氏物語』第一部の解説
第6回	『源氏物語絵巻』(2)	『源氏物語絵巻』蓬生巻について

第7回	『源氏物語』第二部概説	『源氏物語』第二部の解説およびあらすじ
第8回	『源氏物語絵巻』(3)	『源氏物語絵巻』 柏木巻（一）について
第9回	『源氏物語絵巻』(4)	『源氏物語絵巻』 柏木巻（三）について
第10回	『源氏物語絵巻』(5)	『源氏物語絵巻』 横笛巻について
第11回	『源氏物語絵巻』(6)	『源氏物語絵巻』 鈴虫巻（二）について
第12回	『源氏物語絵巻』(7)	『源氏物語絵巻』 御法巻について
第13回	『源氏物語絵巻』(8)	『源氏物語絵巻』の制作・伝来について
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

授業内容を復習し、理解した上で、次の授業に臨むようにしてください。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

参考文献は授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート（70%）、平常点（30%）によって評価します。レポートは【到達目標】①～④に照らして採点します。また平常点については、毎回、学習支援システムに提出してもらう課題によって、授業の理解度を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントのスライドのプリントアウトにノートを取ってもらう形を継続します。学習支援システムにアップロードされた質問やコメントは、次週の講義でできる限り紹介・回答し、疑問点を残さないようにしていきます。

【Outline (in English)】

This course deals with *The Tale of Genji illustrated Scrolls*(源氏物語絵巻, designated a National Treasure) and the other works(including Manga) painted *The Tale of Genji*.

The aim of this course is to help students acquire an understanding of Japanese classical literature and art.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report : 70%, Short reports : 30%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

阿部 真弓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代においては、小説がテレビドラマ化・映画化されたり、漫画がアニメ化・ゲーム化・ミュージカル化されたりする等、1つのコンテンツが複数のメディアに展開されるメディアミックスの事例が多く見られますが、実は古典文学の世界においても、類似の現象を見て取ることができます。

そうした例として、当授業では安珍・清姫伝説として知られる、道成寺にまつわる説話をとりあげ、講義します。

この説話は、説話集に書き留められたり、絵巻に仕立てられたりしたほか、能や歌舞伎など芸能へも広がりをを見せていきます。たとえば、2025年に公開され話題となった映画『国宝』で、主人公たちが踊った『二人道成寺』もそうした演目の一つです。

(「【主題歌 MV】 映画『国宝』 | 主題歌「Luminance」原摩利彦 feat. 井口 理 (King Gnu)」 <https://www.youtube.com/watch?v=cr5FkeMj8kU>)

当授業では、道成寺にまつわる説話が複数のメディアにどのように展開されていったのか、そして人々にどのように享受されたのかについて、日本の古典文学や古典芸能に関する理解を深めながら、考察していきます。

【到達目標】

- ①説話文学の特質について理解する。
- ②絵巻に関する基礎的な知識を習得する。
- ③能、歌舞伎など古典芸能に関する基礎的な知識を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使い、講義します。授業のはじめに、学習支援システムにアップロードされた受講生からの質問や意見を取り上げてフィードバックし、前回授業の振り返りを行います。現代語訳を記載したプリントを用いる等、古典文学の読解が苦手な人に配慮しつつ、授業を進めます。また、古典芸能を鑑賞する際のポイントについても、解説していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要
第2回	説話について	説話文学に関する解説
第3回	道成寺にまつわる説話	説話集に収められた道成寺説話
第4回	絵巻について	絵巻の鑑賞方法に関する解説
第5回	道成寺縁起絵巻(1)	『道成寺縁起絵巻』鑑賞
第6回	道成寺縁起絵巻(2)	『道成寺縁起絵巻』解説
第7回	道成寺縁起絵巻(3)	熊野信仰について
第8回	道成寺縁起絵巻(4)	『道成寺縁起絵巻』の異本について

第9回	能について	能の歴史・鑑賞の仕方に関する解説
第10回	能『道成寺』(1)	能『道成寺』を読む
第11回	能『道成寺』(2)	能『道成寺』解説
第12回	能『道成寺』(3)	能『道成寺』鑑賞
第13回	道成寺物について	歌舞伎舞踊『京鹿子娘道成寺』『二人道成寺』について
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
授業内容を復習し、理解した上で、次の授業に臨んでください。

【テキスト（教科書）】

適宜、プリントを配布します。

【参考書】

参考文献は授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期末締切のレポート（70%）、平常点（30%）によって評価します。レポートは【到達目標】①～③に照らして採点します。また平常点については、毎回、学習支援システムに提出された課題によって、授業の理解度を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

授業に関する質問やコメントは、次以降の講義でできる限り紹介・回答し、疑問点を残さないようにしていきます。
また、できるだけ動画等視聴覚資料を用い、伝統芸能のおもしろさを学んでもらうようにします。

【Outline (in English)】

This course deals with the legends surrounding Dojoji Temple, the picture scrolls *Dojoji Engi* and the Noh program *Dojoji*.

The aim of this course is to help students acquire an understanding of Japanese classical literature and art and performing arts.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report : 70%, Short reports : 30%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中司 由起子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

かつて日本では「変体仮名・くずし字」という文字が使われていました。本講義では変体仮名・くずし字を正確に読み取る力を習得することを目的とします。特に変体仮名を中心に学びます。変体仮名・くずし字は日本文学や文化を深く理解するうえで欠かせないものです。変体仮名・くずし字がわかると、古典文学のみならず近代の作家たちの手書き原稿や手紙を読んだり、史料・古文書を解読でき、作品が成立した時代や楽しまれた時代へ直接アクセスできます。初めて学ぶ学生が多いと思われますが、基礎からていねいに解説していきます。

【到達目標】

- ① 変体仮名・くずし字を正確に読むことができる。
- ② 変体仮名・くずし字で書かれた内容を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の講義では、講師による解説の後に問題を解き、答え合わせをします。これを繰り返すことで、変体仮名・くずし字を覚えていきます。毎回、宿題に取り組み、次の講義時に答え合わせをしてフィードバックをおこないます。

教材にする作品は、できるだけ皆さんが知っているようなものを取りあげます。

小テスト・中間テスト・期末テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	変体仮名・くずし字を学ぶ意義や、変体仮名と字母の関係など、基本的な解説を学びます。
2	百人一首①	百人一首の前半を中心とした、有名な和歌を教材に変体仮名を読みます。
3	百人一首②	和歌とその解釈を教材に変体仮名を読みます（主に前半所収分）。
4	小学校唱歌	明治時代の教科書を教材に変体仮名を読みます。
5	小テスト・江戸時代の作品	小テストをします。江戸時代に出版された作品（豆腐百珍など）を教材に変体仮名を読みます。
6	御伽草子①	『浦島太郎』を読みます。
7	御伽草子②	『鉢かつぎ』を読みます。
8	仮名草子	『伊曾保物語』『蟻と蟬の事』を中心に読みます。
9	『平家物語』	『平家物語』『奈須与市』を中心に読みます。

10	中間テスト・江戸時代の作品	中間テストをします。江戸時代に出版された作品を教材に変体仮名を読みます（草双紙など）。
11	『枕草子』	『枕草子』一～五段を中心に読みます。
12	『徒然草』	『徒然草』序段・五十二段を中心に読みます。
13	『源氏物語』	『源氏物語』『夕顔』の有名な場面を読みます。
14	まとめ・期末テスト	これまでの内容をまとめ、習得度をはかる期末テストをします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【準備】 次回講義で扱う問題を解きます。

【復習】 毎回の講義内で示される宿題を解きます。

展覧会などに足を運び、くずし字で書かれた展示品や史料などを鑑賞し、読み解いてみてください。

【テキスト（教科書）】

伊地知鐵男編『増補改訂 仮名変体集』新典社、385円。このテキストは変体仮名を解読するための手引きとなります。必ず用意してください。

教材は講義時に資料を配布します。

【参考書】

児玉幸多編『くずし字用例辞典 普及版』近藤出版社、1981年（図書館の参考図書にあります）

そのほか、講義時に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

課題への取り組み 10%

小テスト 10%

中間テスト 30%

期末テスト 50%

【学生の意見等からの気づき】

本年度はできるだけシラバスに沿う予定ですが、受講者の習得度に合わせて教材にとりあげる作品を変更する場合があります。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with Hentaigana(anomalous cursive syllabary), Kuzushi-ji(character written in a cursive style). It enhances the development of students' skill in reading of Hentaigana and Kuzushi-ji.

【Learning Objectives】

The goals of this course is to reading Hentaigana, Kuzushi-ji accurately.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Preparation: Solve the problems to be covered in the next lecture.

Review: Students will solve the problems given in each lecture.

【Grading Criteria /Policy】

Work on assignments 10%.

Short test 10%.

Midterm test 30%.

Final test 50%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)	
日本文学と文化 L D	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
中司 由起子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金 1/Fri.1	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

かつて日本では「変体仮名・くずし字」という文字が使われていました。本講義では変体仮名・くずし字を正確に読み取る力を習得することを目的とします。特に変体仮名を中心に学びます。変体仮名・くずし字は日本文学や文化を深く理解するうえで欠かせないものです。変体仮名・くずし字がわかると、古典文学のみならず近代の作家たちの手書き原稿や手紙を読んだり、史料・古文書を解読でき、作品が成立した時代や楽しまれた時代へ直接アクセスできます。初めて学ぶ学生が多いと思われますが、基礎からていねいに解説していきます。

【到達目標】

- ① 変体仮名・くずし字を正確に読むことができる。
- ② 変体仮名・くずし字で書かれた内容を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の講義では、講師による解説の後に問題を解き、答え合わせをします。これを繰り返すことで、変体仮名・くずし字を覚えていきます。毎回、宿題に取り組み、次の講義時に答え合わせをしてフィードバックをおこないます。教材にする作品は、できるだけ皆さんが知っているようなものを取りあげます。

小テスト・中間テスト・期末テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	変体仮名・くずし字を学ぶ意義や、変体仮名と字母の関係など基本的な事項を学びます。
2	百人一首①	百人一首の後半に所収された有名な和歌を教材にして変体仮名を読みます。
3	百人一首②	和歌とその解説を教材にして変体仮名を読みます（主に後半の歌）。
4	小学校唱歌	明治時代の教科書を教材に変体仮名を読みます。
5	小テスト・江戸時代の作品	小テストをします。江戸時代に出版された作品（草双紙など）を教材に変体仮名を読みます。
6	御伽草子①	『一寸法師』を読みます。
7	御伽草子②	『酒吞童子』を読みます。
8	仮名草子	『伊曾保物語』『鳩と蟻の事』などを读みます。
9	『平家物語』	『平家物語』『敦盛最期』などを读みます。

10	中間テスト・江戸時代の作品	中間テストをします。江戸時代に出版された作品（豆腐百珍など）を教材に変体仮名を読みます。
11	『枕草子』	『枕草子』一段・六四～六六段等の章段を読みます。
12	『徒然草』	『徒然草』序段・五十五段などの有名な章段を読みます。
13	『源氏物語』	『源氏物語』『葵』の有名な場面を読みます。
14	まとめ・期末テスト	これまでの内容を振り返り、習得度をはかる期末テストをします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【準備】 次回講義で扱う問題を解きます。

【復習】 毎回の講義内で示される宿題を解きます。

展覧会などに足を運び、くずし字で書かれた展示品や史料などを鑑賞し、読み解いてみてください。

【テキスト（教科書）】

伊地知鐵男編『増補改訂 仮名変体集』新典社、385円。本テキストは、変体仮名を解読するための手引きとなります。必ず用意してください。

問題は、講義時に紙の資料を配布します。

【参考書】

児玉幸多編『くずし字用例辞典 普及版』近藤出版社、1981年（図書館の参考図書にあります）
そのほか、講義時に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

課題への取り組み 10パーセント

小テスト 10パーセント

中間テスト 30パーセント

期末テスト 50パーセント

【学生の意見等からの気づき】

本年度はできるだけシラバスに沿う予定ですが、受講者の習得度に合わせて取り上げる作品を変更する場合があります。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with Hentaigana(anomalous cursive syllabary), Kuzushi-ji(character written in a cursive style). It enhances the development of students' skill in reading of Hentaigana and Kuzushi-ji.

【Learning Objectives】

The goals of this course is to reading Hentaigana, Kuzushi-ji accurately.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Preparation: Solve the problems to be covered in the next lecture.

Review: Students will solve the problems given in each lecture.

【Grading Criteria /Policy】

Work on assignments 10%.

Short test 10%.

Midterm test 30%.

Final test 50%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：

伊海 孝充

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、古典芸能の「能楽（能と狂言）」を中心に、鬼の芸能について学んでいく。鬼は日本の芸能と密接な関係にある素材であり、「鬼」という言葉で包含できないほどの多様な特質がある。それらの芸能を多様性を考えつつ、「鬼」とは何かを追究する。

【到達目標】

本講義では、以下の2つを目標とする。

- ①能と狂言を中心に日本の芸能の基本を理解する。
- ②「鬼」の特徴を自分自身で解釈できる。

この目標の達成状況を、最終レポートで測定する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は対面、講義形式で進める。舞台芸術の授業であるため、テキストを読むだけでなく、視聴覚資料も多用する。また、受講者のほとんどが、古典芸能に馴染みがないはずである。毎回、コメントカードを配布し、それに授業内容に関する疑問点を書いてもらう。それに対する回答は、適宜授業冒頭で行なうので、積極的に意見を出してほしい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	鬼と芸能概略
第2回	鬼のイメージ	桃太郎の話を中心に
第3回	「鬼」に関する略史	鬼の種類
第4回	日本の古典芸能	能の基本知識を中心に
第5回	退治される鬼①	能《大江山》
第6回	退治される鬼②	羅生門の鬼
第7回	地獄の鬼①	地獄の視覚化
第8回	地獄の鬼②	絵解きなど
第9回	鬼となった人①	世阿弥の鬼の理論
第10回	鬼となった人②	能《道成寺》
第11回	春来る鬼①	狂言《節分》
第12回	春来る鬼②	来訪神の芸能
第13回	心の鬼	安達原の鬼女伝説
第14回	総括	春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。実際能楽堂まで行き、生の舞台を鑑賞してほしい。公演は授業内で紹介する。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布する。

【参考書】

授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

出席状況及びコメントカードの評価 70%。学期末レポート 30%。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく動画を見る時間を多く作り、複数映像がある場合は、比較もおこないたい。

【Outline (in English)】

Course Outline: In this lecture, we will study the concept of the Oni in Japanese classical performing arts.

Learning Objectives: The goal of this course is to acquire fundamental knowledge of Japanese classical performing arts and to present my own perspective on the characteristics of oni.

Learning Activities Outside of the Classroom: Students will be expected to go to see performances of Noh, Kyogen, and other classical performing arts. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on reaction papers (70%), and a term-end report (30%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：

伊海 孝充

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、古典芸能の中のメロドラマについて学んでいく。「メロドラマ」という言葉には、通俗的、芸術性が希薄、といったマイナスイメージがあるが、古くから多くの物語・芸能の中に息づいてきたモチーフの一つである。そのメロドラマの歴史を様々な芸能を通して分析していく。

【到達目標】

本講義では、以下の2つを目標とする。

- ①能と狂言を中心に日本の芸能の基本を理解できる。
 - ②「メロドラマ」の歴史を理解し、その劇的効果を自身で分析できる。
- この目標の達成状況を、最終レポートで測定する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は対面、講義形式で進める。舞台芸術の授業であるため、テキストを読むだけでなく、視聴覚資料も多用する。また、受講者のほとんどが、古典芸能に馴染みがないはずである。毎回、コメントカードを配布し、それに授業内容に関する疑問点を書いてもらう。それに対する回答は、適宜授業冒頭で行なうので、積極的に意見を出してほしい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイドダンス	「メロドラマ」とは
第2回	メロドラマの評価	メロドラマ研究史
第3回	宗教と恋愛	仏教における唱導
第4回	源満仲の物語	身替り譚の歴史
第5回	物狂能について①	離別再会譚の歴史
第6回	物狂能について②	離別再会譚の展開
第7回	霊験能の背景	神仏奇瑞譚の展開
第8回	判官物の芸能①	判官最良の成立
第9回	判官物の芸能②	義経伝承と芸能
第10回	曾我物の芸能①	敵討ち譚の歴史
第11回	曾我物の芸能②	中世から近世の芸能へ
第12回	説経節	「山椒太夫」を中心に
第13回	近松門左衛門の人形浄瑠璃	「世話物」について
第14回	総括	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。実際能楽堂まで行き、生の舞台を鑑賞してほしい。公演は授業内で紹介する。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布する。

【参考書】

授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

出席状況及びコメントカードの評価 70%。学期末レポート 30%。

【学生の意見等からの気づき】

はじめて古典芸能を学ぶ受講者のために基礎的な知識から学ぶ。

【Outline (in English)】

Course Outline: In this lecture, we will study the History of Melodrama in Japanese Classical Performing Arts.

Learning Objectives: The goal of this course is to acquire fundamental knowledge of Japanese classical performing arts and to present my own perspective on the dramatic effect of melodrama.

Learning Activities Outside of the Classroom: Students will be expected to go to see performances of Noh, Kyogen, and other classical performing arts. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on reaction papers (70%), and a term-end report (30%).

LIT200LA（文学 / Literature 200）

日本文学と文化LG

2017年度以降入学者

サブタイトル：宮崎駿の文学世界

榎本 正樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アニメーションは、日本が誇るエンタメであり、コンテンツであり、文化遺産です。アニメーション制作の現場からは数多くのクリエイターが生みだされましたが、その中でも宮崎駿の存在は突出しています。アニメーションを普段鑑賞しない人でも、これまでの人生の中で宮崎作品との出会いの機会があったはずです。

宮崎アニメは日本だけでなく、世界中に多くのファンを持ち、国内外の重要な賞を数多く受賞しています。宮崎作品の広がり、たとえば『千と千尋の神隠し』の舞台化（2022年に日本で初演、2024年はロンドン公演、25年は上海公演、26年は韓国公演）や、ピリー・アイリッシュが『千と千尋の神隠し』にインスパイアされて制作した楽曲"CHIHIO"（2024年）などに見てとることができます。宮崎監督がアニメーションの世界に入ったのは、1960年代です。アニメーターとして研鑽を積み重ねながら、原画や脚本や画面構成を担当する中で、NHKの長編テレビアニメ『未来少年コナン』（1978年）で初めて監督として仕事をします。本授業では、『未来少年コナン』に始まる宮崎駿の全監督作品について、それぞれ作品分析を行いながら、宮崎監督が各作品で何をテーマにどのような世界を描こうとしたのか検証するとともに、宮崎監督の思想の深まりに注目していきたいと思います。

誰もが日常的に親しんできた宮崎監督のアニメーション作品を、いま一度新たな視点で読み直してみると、これまで気づけなかった問題系や、登場人物の相関関係、ストーリーの奥深さ、物語上のたぐらみ、そして宮崎作品の根底にある文学性に気づくことになるはずです。

宮崎監督の全作品を辿る旅を通して、皆さんと一緒に宮崎監督とその作品の新たなイメージに到達したいと考えています。

【到達目標】

映像作品であるアニメーションをシーンやカットごとに解説する技術を身につけ、アニメ固有の表現方法やギミックや物語構造などについて、自分の力で読み解き、考察し、論述する力の獲得を目指します。

関連資料を参照し、他者の意見や論考に目を通し、作品の背景にある文化的、社会的、民俗的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業はプレゼンテーション（資料提示）と講義をあわせた形で行います。宮崎監督作品を初期から最新作まで、重要なシーンを観覧しながら、解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのは、シーンを構成する一つひとつの短いカットです。カットは継起的な物語を構成する最小の「部品」ですが、同時にクリエイターの「世界そのものの純粋な視線」が投影されています。

その意味で、作品の基礎であり設計図ともいえる絵コンテの存在が大きくなるでしょう。絵コンテを出発点に最終的な作品に仕上がるまでには、多くの制作プロセスがあります。アニメーションの制作現場でどのようなことが行われているのか、そうした点にも注目していきたいと思います。さらに宮崎監督自身の言葉、関連資料の紹介、他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。

授業内容に関する一般的な質問は、メール（eno@mar.email.ne.jp）で受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	宮崎駿、その人と作品について
2	『未来少年コナン』	理想郷を求めてさまよう人々の群像劇
3	『ルパン三世 カリオストロの城』	「城」のイメージに潜む権力構造
4	『風の谷のナウシカ』	終末世界に重ねられる神話世界
5	『天空の城ラピュタ』	活劇形式の中で描かれる、少年少女のイメージの継承と発展
6	『となりのトトロ』	トトロという「他者」との出会いと、その意味
7	『魔女の宅急便』	「少女」と「猫」のいる魔法世界
8	『紅の豚』	「世情」に抗う主人公の決意と行動
9	『もののけ姫』	神と人、自然と文化が交錯し衝突する大群像劇
10	『千と千尋の神隠し』	「行きて帰るし物語」に宿る根源的な力
11	『ハウルの動く城』	「城」と「魔法」に彩られた世界の造形と継承
12	『崖の上のポニョ』	異種交流譚としての読み解き
13	『風立ちぬ』	「戦争」を描くということ
14	『君たちはどう生きるか』	宮崎作品の集大成をどう読むか

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宮崎監督作品のほとんどは鑑賞済みと思いますが、もし未鑑賞のものがあれば、時間がある時に観ておくようにしてください。その際、ただ受動的に消費するのではなく、作品について積極的に考え、書いたり話したりする習慣をつけましょう。

授業で取り上げる映像作品を鑑賞する中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を適宜行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。

【参考書】

参考書は膨大に存在するので、授業時その都度紹介します。大学図書館などを利用して、各自参考資料を参看するようにしてください。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100％）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業で取りあげた宮崎駿監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。

詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

これまで宮崎作品に触れる機会が少なかった学生にも、理解しやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

アニメーションや映像表現、現代日本文学、同時代の表現全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト (<http://enmt.jp>) で確認できます。

X (@enmt) での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Animation is Japan's proud source of content and cultural heritage. Numerous creators have emerged from the field of animation production, but Hayao Miyazaki stands out among them. Even those who do not usually watch animation must have seen Miyazaki's works at some point in their lives. He has many fans not only in Japan but also around the world, and has received many important national and international awards.

In this class, we will attempt to analyze all of Hayao Miyazaki's works, while examining what themes and what kind of world he tried to depict in each of his films, as well as focusing on the depth of his philosophy.

【Learning Objectives】

The goal of this course is for students to acquire the skills to analytically decipher Hayao Miyazaki's animations as a visual works, scene by scene, and to be able to discuss in their own words the unique expression methods and narrative structure of animation.

【Learning activities outside of classroom】

When watching animations, develop the habit of objectively writing and talking about the details of the story in your own words, rather than just passively watching the animation films. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one or more of Miyazaki's works discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop your own argument in your own words about the work you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化LH

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代日本文学と映像表現

榎本 正樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を解説を加えながら観賞しつつ、原作小説を講読していきます。2025年に劇場公開された以下の12作品の中から6～7作品を選んで取りあげます。小説（文学表現）と映画（映像表現）を比較対照し、分析を行うことで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現方法について考えを深めるとともに、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を深く読む力の獲得を目指します。

＊

筒井康隆『敵』（吉田大八監督）

榆周平『サンセット・サンライズ』（岸善幸監督）

馳星周『少年と犬』（瀬々敬久監督）

吉田修一『国宝』（李相日監督）

辻村深月『この夏の星を見る』（山元環監督）

真藤順丈『宝島』（大友啓史監督）

新海誠『秒速5センチメートル』（奥山由之監督）

西尾潤『愚か者の身分』（永田琴監督）

金原ひとみ『ミーツ・ザ・ワールド』（松居大悟監督）

呉勝浩『爆弾』（永井聡監督）

柚月裕子『盤上の向日葵』（熊澤尚人監督）

村田沙耶香『消滅世界』（川村誠監督）

＊作品の配列は劇場公開日順です。

【到達目標】

現代日本文学を代表する多様なジャンル（純文学、エンターテインメント、社会小説、ミステリなど）の小説を読む経験を重ねることで、複雑な言語構成体としてのテキストから様々な要素を抽出し、整理し、分析し、自分の言葉で批評的なアウトプットができるようになります。

加えて、個人、社会、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式をとります。原作小説を講読し、作品分析を行った後、映画の一部を解説を加えながら観賞します。同一の物語内容を含む言語メディアである小説と映像メディアである映画を比較検証することによって、情報提示、叙述、人物設定、時間構成、プロット構成など、表現上の相違点を明らかにしていきます。履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、それぞれの作品について深く思考し、自分の考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業は進めていきます。授業内容に関する一般的な質問は、メール（eno@mar.email.ne.jp）で受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンス授業
2	原作小説の講読(1)	原作小説の講読・分析・考察
3	映画観賞と解説(1)	原作の映画鑑賞と解説・考察
4	原作小説の講読(2)	原作小説の講読・分析・考察
5	映画観賞と解説(2)	原作の映画鑑賞と解説・考察
6	原作小説の講読(3)	原作小説の講読・分析・考察
7	映画観賞と解説(3)	原作の映画鑑賞と解説・考察
8	原作小説の講読(4)	原作小説の講読・分析・考察
9	映画観賞と解説(4)	原作の映画鑑賞と解説・考察
10	原作小説の講読(5)	原作小説の講読・分析・考察
11	映画観賞と解説(5)	原作の映画鑑賞と解説・考察
12	原作小説の講読(6)	原作小説の講読・分析・考察
13	映画観賞と解説(6)	原作の映画鑑賞と解説・考察
14	秋学期授業のまとめ	秋学期授業のまとめ&レポート提出について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握したい人は、小説を読んだ上で授業に臨んでください。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外に読み直し観賞し直し、作品の理解を深めるよう努めてください。レポート提出のための事前準備として、自分がレポートの対象として選んだ作品を精読した上で、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を適宜行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で扱う予定の作品の文庫本。

- ・筒井康隆『敵』（新潮文庫）
- ・榆周平『サンセット・サンライズ』（講談社文庫）
- ・馳星周『少年と犬』（文春文庫）
- ・吉田修一『国宝』（朝日文庫）
- ・辻村深月『この夏の星を見る』（角川文庫）
- ・真藤順丈『宝島』（講談社文庫）
- ・新海誠『秒速5センチメートル』（角川文庫）
- ・西尾潤『愚か者の身分』（徳間文庫）
- ・金原ひとみ『ミーツ・ザ・ワールド』（集英社文庫）
- ・呉勝浩『爆弾』（講談社文庫）
- ・柚月裕子『盤上の向日葵』（中公文庫）
- ・村田沙耶香『消滅世界』（河出文庫）

【参考書】

必要な資料はプリントで配付します。

参考書・参考文献は、教室で指示します。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100％）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業でとりあげた小説の中から一作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ小説について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

現代日本文学になじみのない学生にもわかりやすい言葉で、解説と考察を行うよう心がけます。

【その他の重要事項】

現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（<http://enmt.jp>）で確認できます。

X（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

We read the original novel after having watched movie works that filmized as "Contemporary Japanese literature". I select from the following 6 or 7 works in 2025.

We compare movie expression with the literature expression including the same story contents, we are analyzing peculiar expressin words and movies.

【Learning Objectives】

We will read through the original novels after watching films based on contemporary Japanese literature. We plan to highlight the following 6 or 7 titles after carefully selecting from the works released in 2025.

By comparing and analyzing literary expressions and visual expressions of the same story events, we will deepen our thoughts about specific expressions and techniques of the book and film media. Our aim to acquire the ability to read novels from the perspective of what is literature-specific expression.

【Learning activities outside of classroom】

Although the class will be conducted in a manner that can be understood without having read the original novel beforehand, it is best to read the novel in order to grasp the content of the story and the relationships between the characters.

Students are encouraged to re-read and re-watch the novels and films discussed in class outside of class to deepen their understanding of the works. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one of the novels discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop a "theory" in your own words about the novel you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA（文学 / Literature 200）

外国文学と文化 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：西洋文学と音楽

鈴木 正道

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、西洋の文学、特に音楽とかかわりの深い作品を扱います。音声や文字という記号の表現である文学と、直接感性に訴える音の連なりである音楽は、元来切っても切れない関係にあります。「詩」は「うたふ」ものであり、かつて物語は韻律をとめない楽器にのせて語られました。

春学期では、ミュージカルの名作として愛され続けている『レ・ミゼラブル』を、原作を参照しつつ分析します。さらに最も人気の高いオペラの一つである『カルメン』を扱います。次にシェイクスピアの名高い『ロミオとジュリエット』を取り上げます。この作品は様々な作曲家により音楽化されています。さらにこの現代への翻案として創られたミュージカル『ウエストサイド物語』を扱います。

【到達目標】

芸術作品を観賞しつつ、批評、分析し、それを表現する手法を学びます。

「文学」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、さまざまな知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けることは大切でしょう。

この授業を履修することで、出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識と表現力や探求力を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教材や資料は学習支援システムに載せます。

まずは19世紀中ごろにユゴーによって書かれた長大な小説『レ・ミゼラブル』を概観したうえで、ミュージカルやテレビドラマ版を鑑賞し、分析します。次にほぼ同時期にメリメによって書かれた中編小説をもとに創られたオペラ『カルメン』を扱います。それから16世紀末にシェイクスピアによって創られた演劇『ロミオとジュリエット』を概観し、鍵となる場面を詳しく検討します。そのうえで音楽家によるさまざまな作品を鑑賞し、分析します。さらに『ロミオとジュリエット』の現代への翻案として創られたミュージカル『ウエストサイド物語』の映画版（1961年）を、『ロミオとジュリエット』とのかかわりを含めて鑑賞し、分析します。2021年にスピルバーグ監督による映画が公開されました。この授業では主に1961年の映画版に沿いながら、2021年版もところどころ参照します。時代も背景も異なる状況で書かれた物語にも、シェイクスピアの名高い作品の扱う普遍的なテーマが生きていることを見ます。

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムを通して出していただきます。やはり学習支援システムによりお返しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『レ・ミゼラブル』1 そもそもこれはどのような作品か	ヴィクトル・ユーゴー：ロマン主義運動の総帥 小説『レ・ミゼラブル』
2	『レ・ミゼラブル』2 ぶつかる二人の主要人物	ミュージカル： ジャン・ヴァルジャンとジャヴェール
3	『レ・ミゼラブル』3 ハッピーエンドのカップルと二人の「もう一人」	コゼットとマリウス エポニヌという存在 ジャン・ヴァルジャンという存在
4	『レ・ミゼラブル』4 フランス語版のドラマ	フランスのテレビ局製作：ジェラルド・ドパルデュー主演
5	『カルメン』1 小説とオペラ	原作は中編小説。書いたのはフランスの役人。 オペラを作曲したのはフランス人ビゼー。 序曲と冒頭 「ハバネラ」 「ミカエラの歌」 Femme fatale（運命の／致命的な女） VS 清純派 「アルカラの竜騎兵」：ロマの踊りが圧巻 歌手も踊る（と言うよりも踊れない歌手はお呼びでない）： 「鈴を打ち鳴らす」 「闘牛士の歌」 「行進曲」 最終場面：中の祝祭と外の破局 ウィリアム・シェイクスピアの戯曲：元ネタと著作権という考え方 映画版：ゼフィレリ監督 1968年 冒頭とバルコニーの場面
6	『カルメン』2 フランスにとつての、スペインという「お隣の」異郷	
7	『カルメン』3 闘牛場の外で	
8	『ロミオとジュリエット』1 誰もが聞いたことはあるあの作家、あの作品、 誰もが見たことのあるあの場面	
9	『ロミオとジュリエット』2 どう描くか、演出による違い	決闘の場面 最終場面 ゼフィレリ版とルールマン版（1966年）
10	『ロミオとジュリエット』3 バレエ：セリフがないシェイクスピア演劇	セルゲイ・プロコフィエフのバレエ音楽 冒頭 「騎士たちの踊り」 （シンセサイザーなどによるELP版） 決闘の場面／最終場面
11	『ロミオとジュリエット』4 原作と最後が大きく違うオペラ	シャルル・グノーのオペラ： 冒頭とバルコニーの場面 決闘の場面 最終場面
12	『ウエストサイド物語』1 誰もが見たことのあるあの振り付け	現代への翻案 『ロミオとジュリエット』との比較： 登場人物と設定の共通点と違い ジャズの表現：裏拍； 冒頭場面 "Tonight" "America"（The Niceによる編曲）

13	『ウエストサイド 物語』2 移民グループの対立	悪魔の？ 魅惑の？ 減5度（増4 度）C-F# 決闘場面 "Cool"
14	『ウエストサイド 物語』3 どこが、そしてなぜ 「原作」と異なるのか	最終場面 永遠のテーマ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

扱われる作品の原作をあらかじめ読んでおいて下さい。さらにAVライブラリなどで借りて映像作品をみておくといいかと思えます。またインターネットで視聴できるものは私のほうからも紹介しますが、皆さんも独自にいろいろ探してみてください。

1-4: 原作の小説『レ・ミゼラブル』を読む。主要登場人物についてまとめる。映画版やドラマ版を選んで視聴する。

5-7: 原作の小説『カルメン』を読む。オペラ版を選んで視聴する。

8-11: 原作の演劇『ロミオとジュリエット』を読む。映画版やバレエ版を選んで視聴する。

12-14: 映画版を視聴する。舞台版を選んで視聴する。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

決まった教科書はありません。資料、教材を学習支援システムでお配りします。

【参考書】

【参考書 / References】

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書1603.

『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書C164

『悪文の構造』千早耿一郎 ちくま学芸文庫 C0180

『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書0924A

他にも随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムを通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

課題の趣旨が伝わりにくいことがあったようです。わかりやすく示すようにします。

【Outline (in English)】

This course deals with occidental literature, especially works adapted for music. Literature, which expresses its objects by signs, and music, which appeals to sentiments by way of sequences of sounds, are closely related to each other. Stories were, in effect, once sung accompanied by musical instruments. The works dealt with in this class during the spring term will be:

"Les Misérables" (musical), "Carmen"(opera), "Romeo and Juliet" (movie, ballet and opera), "West Side Story" (musical).

Through this course students are expected to get knowledge to appreciate analytically and critically literary and musical works.

Students should read beforehand relevant works. They need also to submit an assignment after having studied each work. They must spend in total four hours on these tasks.

Final grade will be calculated according to the total score of their assignments (100%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：西洋文学と音楽

鈴木 正道

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続いて、西洋の文学、特に音楽とかかわりの深い作品を扱います。モーツァルトとサリエリのライヴァル関係を描いた演劇および映画『アマデウス』を軸に、モーツァルトの『フィガロの結婚』、『ドン・ジョヴァンニ』、サリエリの『タラール』といったオペラ、モリエールの『ドン・ジュアン』などの戯曲を分析します。その次に、ミュージカルとして人気を博しているルルー原作の『オペラ座の怪人』を扱います。

【到達目標】

芸術作品を観賞しつつ、批評、分析し、それを表現する手法を学びます。

「文学」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、さまざまな知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けることは大切でしょう。

この授業を履修することで、出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識と表現力や探求力を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教材や資料は学習支援システムに載せます。

秋学期には、イギリスの劇作家ピーター・シェファアの『アマデウス』（1979年）を軸に、その中に登場するヨーロッパの17世紀から18世紀の音楽作品、またそれにちなむ文学作品を扱います。『アマデウス』は1984年に作者自身が脚色して映画化されて多くの人々に評価されたので、知っている方も多いことでしょう。まず、この作品の概要を見渡し、それからこの作品の中に登場する音楽、その原作となった文学作品を概観し、分析します。分析の方法論も学びます。次に扱う『オペラ座の怪人』は20世紀の初めにフランスのミステリー作家ガストン・ルルーによって発表された小説作品で、何度も映画化されていますが、今では英語によるミュージカルで人気を博しています。美と醜、歴史的な建物に潜む謎など、ある意味では定番の数々のテーマを分析します。

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムを通して出していただきます。やはり学習支援システムによりお返しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明、	演劇と映画；「神に愛されたる『アマデウス』とは
		者」の物語

2	『アマデウス』 衝撃の出会い	モーツァルトとサリエリのライヴァル関係
3	『フィガロの結婚』1 原作者はどんな人か オペラへの翻案	ボーマルシェの戯曲：政治的な意味合い ダ・ポンテの台本とモーツァルトのオペラ： 序曲と冒頭
4	『フィガロの結婚』2 ケルビーノというトリックスター	「自分で自分がわからない」「もう飛ぶまいぞこの蝶々」 映画『アマデウス』におけるサリエリの行進曲の変奏
5	『フィガロの結婚』3 モーツァルトによる譜面と『アマデウス』版	第2幕の最終場面の7重唱 結婚式の場面 第3幕の山場と急転換 第4幕のどんでん返し 最終場面
6	『タラール』とはどんな作品か	ボーマルシェ自身が台本を書いたサリエリのオペラは当時のお手本オペラ
7	ドン・ファン伝説 モリエールの『ドン・ジュアン』1 唯物論者にして快楽主義者？ もしくは求道者？	女たらしの伝説 無神論を支持する誘惑者？ モリエールの演劇：フランス古典主義の時代 冒頭の場面 貧者との対話の場面
8	『ドン・ジュアン』2 父親という法、掟	騎士隊長の像 亡霊 晩餐 最終場面
9	オペラ『ドン・ジョヴァンニ』1 グロテスク：おぞましくも滑稽	ダ・ポンテの台本とモーツァルトのオペラ： 序曲 「女のリスト」
10	『ドン・ジョヴァンニ』2 超自然現象をどう演出するか	村の娘の誘惑 騎士隊長の像
11	『ドン・ジョヴァンニ』3 再び『アマデウス』 歴史上の謎をどう演出するか	晩餐 最終場面のさまざまな演出： 映画『アマデウス』版とロゼー版 精神分析：科学か20世紀の骨相学か 『アマデウス』の最終場面
12	『オペラ座の怪人』1 これはオペラではない、オペラ劇場を舞台とした作品。	原作者のガストン・ルルーとは？ 小説『オペラ座の怪人』 2004年の映画版ミュージカル
13	『オペラ座の怪人』2 読み手／観客を惹きつける設定	ミュージカル： 人気スターと新進の歌手、 謎と恐怖
14	『オペラ座の怪人』3 捕り物という定番クライマックスと余韻を残す最終場面	ミュージカル： 表の二枚目と裏のヒーロー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

扱われる作品の原作をあらかじめ読んでおいて下さい。さらにAVライブラリなどで借りて映像作品をみておくといいかと思います。またインターネットで視聴できるものは私のほうからも紹介しますが、皆さんも独自にいろいろ探してみてください。

1-2：原作の演劇を読む。

3-5：原作の演劇を読む。オペラ版を選んで視聴する。

6：サリエリについて調べる。

7-10：ドン・ファンの伝説について調べる。モリエールの『ドン・ジュアン』を読む。オペラ『ドン・ジョヴァンニ』を選んで視聴する。

11：モーツァルトの晩年について調べる。

12-14：原作の小説を読む。映画版、ミュージカル版を選んで視聴する。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定した教科書はありません。学習支援システムを通して資料などを配ります。

【参考書】

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書1603.

『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書C164

『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書0924A

『悪文の構造』千早耿一郎 ちくま学芸文庫 C0180

他にも随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムを通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

課題の趣旨が伝わりにくいことがあったようです。わかりやすく示すようにします。

【Outline (in English)】

As in the spring semester, this course deals with occidental literature, especially works adapted for music.

The works dealt with during the fall term will be : "The Marriage of Figaro", "Tarare", "Don Giovanni" (opera works presented in Peter Shaffer's "Amadeus", which will be also treated in this course); "Le Fantôme de l'opéra", one of the most popular musicals, based on a mystery written by a French writer, Gaston Leroux.

Through this course students are expected to get knowledge to appreciate analytically and critically literary and musical works.

Students should read beforehand relevant works. They need also to submit an assignment after having studied each work.

They must spend in total four hours on these tasks.

Final grade will be calculated according to the total score of their assignments (100%).

LIT200LA（文学 / Literature 200）

外国文学と文化 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：漢詩を作る

日原 傳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者に漢詩の実作を指導する授業です。最初に漢詩の中でも最も厳格な規則に基づく「近体詩」の作り方について解説します。その上で漢詩（七言絶句）の実作に挑み、「近体詩」の規則についての理解を深めます。実作の参考になるように、実作と並行して四季の風物を詠じた漢詩（歳時詩）を季節に沿って鑑賞します。

【到達目標】

- ・漢詩の読解・創作に必要な基本的知識の習得を目指す。
- ・近体詩の規則を理解し、それに従って漢詩の実作をする。
- ・日本の古典文学の世界で大きな位置を占める「漢文学」の存在を再認識する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

開講時から五回ほどを使って、漢詩の歴史、さまざまな詩形、漢文のルール、近体詩の規則について説明する。その後は漢詩の実作指導を中心に据える。実作の参考になるように、一回ごとに異なるテーマを設け、毎回数首の漢詩を鑑賞する。日本人の作った漢詩もできるだけ紹介したい。日本の先人が中国に起源をもつ「漢詩」という定型詩と取り組み、各自の思いを表現していったことを知ってほしい。※第1回目から対面授業をする予定ですが、状況によってオンライン授業に移行する可能性もあります。授業方法を変更する場合は、学習支援システムでその都度提示します。※提出課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	漢詩の詩形、古体詩と近体詩、歳時詩について、／梅の詩鑑賞	漢詩の歴史、さまざまな詩形、古体詩と近体詩の説明。「歳時詩」「二十四節気」の説明。／林逋「山園小梅」などを鑑賞。
第2回	近体詩の格律①／桜の詩鑑賞	正岡子規「聞子規」を例に作詩法を解説。平仄図式・押韻の説明。二四不同二六対の説明。／藤井竹外「芳野」などを鑑賞。
第3回	近体詩の格律②／春の詩鑑賞	反法・粘法の説明。いくつかの禁忌（下三連、孤平、冒韻、同字の重複）について。／杜牧「江南春」などを鑑賞。
第4回	漢文のルール①／晩春の詩鑑賞	和習を避ける。動詞・形容詞・副詞の用法／白居易「三月三十日題慈恩寺」、呉錫麒「送春」などを鑑賞。

第5回	漢文のルール②／ほととぎすの詩鑑賞	前置詞・助動詞の用法。「有」「無」の用法／杜甫「子規」、嵯崎波響「聞鵲」などを鑑賞。
第6回	牡丹・薔薇・石榴の詩鑑賞／実作指導	皮日休「牡丹」、石川丈山「白牡丹」、高駢「山亭夏日」、柏木如亭「石榴」などを鑑賞。／実作（七言一句を作る）
第7回	山行の詩鑑賞／実作指導	王安石「鍾山」、広瀬淡窓「彦山」などを鑑賞。／実作（七言二句を作る）
第8回	梅雨の詩鑑賞／実作指導	趙師秀「約客」、篠崎小竹「梅雨」などを鑑賞。／実作（七言絶句を作る）
第9回	蓮の花の詩鑑賞／実作指導	白居易「池上」、菅茶山「夏日雜詩」などを鑑賞。／実作
第10回	螢・蟬・蠅・蚊の詩鑑賞／実作指導	杜甫「螢火」、北條霞亭「観螢」、蘇軾「溪陰堂」、韓愈「雜詩」などを鑑賞。／実作
第11回	苦熱・避暑・昼寝の詩鑑賞／実作指導	柳宗元「夏昼偶作」、袁枚「銷夏」、野田笛浦「昌平橋納涼」などを鑑賞。／実作
第12回	夏の江村・舟行・滝の詩鑑賞／実作指導	杜甫「江村」、李白「望廬山瀑布」などを鑑賞。／実作
第13回	夕立の詩鑑賞／実作指導	蘇軾「六月二十七日、望湖樓醉書」、大窪詩仏「急雨」などを鑑賞。／実作
第14回	授業の総まとめと期末試験	筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

漢詩関連の書籍を読み、漢詩に親しむ。
本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

担当作成の資料を配布する。

【参考書】

石川忠久『漢詩を作る』（大修館書店）
石川忠久『漢詩の稽古』（大修館書店）
石川忠久監修『漢詩創作のための詩語集』（大修館書店）
鷲野正明『初めての漢詩創作』（白帝社）
鈴木健一編『漢文のルール』（笠間書院）
小川環樹『唐詩概説』（岩波文庫）
前野直彬『唐詩選』全三冊（岩波文庫）
村上哲見『三体詩』全四冊（朝日文庫）
目加田誠『唐詩三百首』全三冊（平凡社）
山田勝美『中国名詩鑑賞辞典』（角川書店）
猪口篤志『日本漢詩鑑賞辞典』（角川書店）
石川忠久『漢詩鑑賞事典』（講談社学術文庫）
石川忠久『日本人の漢詩 風雅の過去へ』（大修館書店）
石川忠久『漢詩をよむ 春の詩100選』
同『漢詩をよむ 夏の詩100選』
同『漢詩をよむ 秋の詩100選』
同『漢詩をよむ 冬の詩100選』（以上、NHK出版）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・授業中に作って提出する漢詩の実作）50％
期末試験またはそれに代わる最終レポート 50％

【学生の意見等からの気づき】

実作指導の時間を多くとれるように工夫する。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to write Chinese poems. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Term-end examination (or Term-end report) : 50%, Short reports : 50%

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：『唐詩選画本』を読む

日原 傳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

江戸時代に日本で刊行された『唐詩選画本』をテキストとして唐詩を読む。『唐詩選画本』は絵と詩の本文、その書き下し文、日本語による解説文によって構成されている。はじめに『唐詩選画本』を含む唐詩のテキストについて概説する。以後は五言絶句から始めて徐々に長い詩に進むかたちで具体的な作品を鑑賞してゆく。「歳時詩」「辺塞詩」「閨怨詩」「唱酬詩」「詠物詩」「詠史詩」といった漢詩のテーマについても折をみて解説を加えるつもりである。なお、『唐詩選画本』の書き下し文、解説文は「変体仮名」で記されているので、変体仮名を読む訓練にもなるであろう。

【到達目標】

- ・中国古典文学の基盤をなす考え方を知るとともに漢詩の読解に必要な基本的知識の習得を目指す。
- ・変体仮名に慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式。第一回目の授業で、漢詩の歴史、さまざまな詩形、近体詩の規則について概説する。第二回目の授業では「変体仮名」について説明した上で、『唐詩選画本』の具体的な作品を鑑賞する。第三回目以降の授業は作品鑑賞が中心になる。日本の先人が中国に起源をもつ「漢詩」という定型詩をどのように読み解いていたかを具体的に知ってほしい。

※第1回目から対面授業をする予定ですが、状況によってオンライン授業に移行する可能性もあります。授業方法を変更する場合は、学習支援システムでその都度提示します。

※提出課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	漢詩の形式について。	漢詩の形式の解説。『全唐詩』唐詩のテキストについて
第2回	鑑賞（五言絶句）	『三体詩』『唐詩選』『唐詩三百首』『唐詩選画本』等の説明。
第3回	鑑賞（五言絶句）	賀知章「題袁氏別業」
第4回	鑑賞（五言絶句）	駱賓王「易水送別」
第5回	鑑賞（五言絶句）	李白「静夜思」、王維「班婕妤」
第6回	鑑賞（七言絶句）	王勃「蜀中九日」
第7回	鑑賞（七言絶句）	王翰「涼州詞」
第8回	鑑賞（七言絶句）	李白「峨眉山月歌」、王昌齡「閨怨」
第9回	鑑賞（五言律詩）	杜甫「旅夜書懷」
第10回	鑑賞（五言律詩）	張謂「同王徵君洞庭有懷」
第11回	鑑賞（七言律詩）	崔顥「黃鶴樓」
第12回	鑑賞（五言古詩）	李白「子夜吳歌」
第13回	鑑賞（七言古詩）	杜甫「貧交行」

第13回 鑑賞（七言古詩） 劉廷芝「代悲白頭翁」
第14回 授業の総まとめと期 筆記試験、まとめと解説
末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

漢詩関連の書籍を読み、漢詩に親しむ。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

担当者がプリントを用意する。

【参考書】

前野直彬注解『唐詩選』全三冊（岩波文庫）
村上哲見『三体詩』全四冊（朝日文庫）
目加田誠『唐詩三百首』全三冊（平凡社）
山田勝美『中国名詩鑑賞辞典』（角川書店）
猪口篤志『日本名詩鑑賞辞典』（角川書店）
石川忠久『漢詩鑑賞事典』（講談社学術文庫）
小川環樹『唐詩概説』（岩波文庫）
石川忠久『漢詩をよむ 春の詩100選』
同『漢詩をよむ 夏の詩100選』
同『漢詩をよむ 秋の詩100選』
同『漢詩をよむ 冬の詩100選』（以上、NHK出版）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・リアクションペーパー）50%
期末試験またはそれに代わる最終レポート 50%

【学生の意見等からの気づき】

変体仮名を読む訓練の時間を多くとれるように工夫する。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to appreciate Chinese poems. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Term-end examination (or Term-end report) : 50%, Short reports : 50%

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：イタリア・オペラに親しむ (1)

大崎 さやの

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

オペラは16世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。日本では比較的馴染みが薄いオペラですが、特にイタリア・オペラはありふれた内容のものが多く、肩肘張って見るような難しいものでは決してありません。楽しみながらヨーロッパ文化の神髄であるオペラに親しんでいきましょう。

【到達目標】

イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

オペラの誕生したルネサンスから18世紀までのオペラを講義形式で扱います。プリントのほか、視聴覚教材を用います。また毎回課題を提出してもらいます。フィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	イントロダクション ルネサンスの舞台芸術 (1)	授業紹介 ルネサンスと宮廷音楽劇
②	ルネサンスの舞台芸術 (2)	コンメディア・デッラルテとマドリガル・コメディ
③	オペラの誕生	カメラータ・フィオレンティーナとオペラの誕生
④	初期のオペラ (1)	モンテヴェルディ作曲、ストリッジョ台本のオペラ《オルフェオ》
⑤	初期のオペラ (2)	《オルフェオ》と古代の神話
⑥	初期のオペラ (3)	ヴェネツィアにおけるオペラの隆盛とカストラート
⑦	オペラ・ブッフファの誕生	オペラ・ブッフファとオペラ・セーリア
⑧	オペラ・セーリア (1)	ヘンデル作曲のオペラ作品
⑨	オペラ・セーリア (2)	ヘンデル作曲、アイム台本《ジュリオ・チェザレ》
⑩	オペラ・セーリア (3)	《ジュリオ・チェザレ》と史実のユリウス・カエサル
⑪	オペラ・セーリアの改革 (1)	オペラ・セーリアの改革とメタスタジオ

⑫	オペラ・セーリアの改革 (2)	グルック作曲、カルツァピージ台本のオペラ《オルフェオとエウリディーチェ》
⑬	オペラ・セーリアの改革 (3)	オペラ史におけるオルフェオの変遷
⑭	授業のまとめ	オペラの誕生から18世紀前半までのオペラ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。教科書は使用しません。

【参考書】

授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（コメントシート等の課題提出、授業への参加度）（約60％）と期末試験（対面で実施、約40％）により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい授業をこころがけます。

【その他の重要事項】

・映像でオペラ作品を鑑賞し、それについてのコメントを提出してもらいますので、出席は欠かせません。コメントシート記入用の筆記用具を持参してください。
・日頃から読書をしたり文章を書いたりして、書く力を磨いてください。近年提出物に漢字の誤りが多く見られますが、読み書きの訓練が足りていない証拠です。高校時代までに磨いてこなかった人は、授業以外の時間も読書に努め、正しい漢字が書けるようにしておいてください。

【Outline (in English)】

Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Students will be graded on the basis of their normal scores (including assignments submitted on time) (60%) and the final test (40%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：イタリア・オペラに親しむ (2)

大崎 さやの

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

オペラは16世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。外国文学と文化Fでは、春学期の外国文学と文化Eに引き続き、18世紀後半から19世紀にかけての爛熟期のイタリア・オペラを扱います。

【到達目標】

イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業では18世紀から20世紀にかけてのイタリア・オペラを扱います。配布プリントの他、視聴覚教材を用います。また毎回課題を提出してもらいます。フィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	イントロダクション オペラ・セーリアと オペラ・ブッフ	18世紀までのオペラの簡単な歴史とオペラ・ブッフについて
②	古典派オペラ (1)	ボーマルシェの喜劇『たわけた一日、あるいはフィガロの結婚』とディドロの市民劇理論
③	古典派オペラ (2)	モーツァルト作曲、ダ・ポンテ台本のオペラ《フィガロの結婚》作品解説
④	古典派オペラ (3)	《フィガロの結婚》に見られる啓蒙思想
⑤	古典派オペラ (4)	フェミニズムと《フィガロの結婚》
⑥	ロマン派オペラ (1)	ドニゼッティ作曲、ロマーニ台本《愛の妙薬》作品解説
⑦	ロマン派オペラ (2)	ロマン主義と《愛の妙薬》
⑧	ロマン派オペラ (3)	《愛の妙薬》に見られる民衆の姿
⑨	ロマン派オペラ (4)	作曲家ヴェルディとリソルジメント
⑩	ロマン派オペラ (5)	ヴェルディ作曲、ピアヴェ台本《リゴレット》作品解説
⑪	ロマン派オペラ (6)	《リゴレット》に見られる差別と偏見
⑫	ヴェリズモ・オペラ (1)	自然主義からヴェリズモ（真実主義）へ：ヴェルガ作『カヴァレリア・ルスティカーナ』

- ⑬ ヴェリズモ・オペラ (2) マスカーニ作曲、タルジオーニニトッツェッティ、メナッシ台本のオペラ《カヴァレリア・ルスティカーナ》
- ⑭ 授業のまとめ 18世紀後半から20世紀のオペラ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。教科書は使用しません。

【参考書】

授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（コメントシート等の課題提出、授業への参加度）（60％）と期末試験（対面で実施、40％）により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

分り易い授業を心がけます。

【その他の重要事項】

オペラを映像で見て、毎回コメントシートを提出してもらいますので、欠かさず出席してください。コメントシート記入用の筆記用具を用意してください。近年漢字を正しく書けない人が増えています。普段から読書をして文章を書き、漢字を覚えてください。紙とペン（または鉛筆）で文章を書く習慣を身につけてください。

【Outline (in English)】

Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Students will be graded on the basis of their normal scores (including assignments submitted on time) (about 60%) and the final test (about 40%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

梶 裕史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「民俗」（民間伝承）とは、ある地域社会、特定のコミュニティのごくふつうの人々の暮らしの中で集団的に形づくられ、時代を超えて伝えられてきた暮らし方や心の持ち方を指します。「地域（ローカル）」の範囲は、小さくは一つの集落、大きくは世界（グローバル）の中の日本という「地域」といったように、さまざま設定できます。この授業では世界の中の日本、という視野のもと、こうした「民間伝承」を研究対象とする「民俗学」を採り入れた日本文学研究の世界を、『万葉集』『古事記』『日本書紀』『風土記』『古今和歌集』『源氏物語』等、主として上代・中古の文学の中から事例を選んで紹介します。民俗学的な日本文学研究とは、個々の作者・作品の個性や創意、時代性を超えて、現代の私たちの心の底にまで伝わっていると考えられるような集団の心性を、残された言語表現を通じて探ろうとするものである、といえるでしょう。このような性格のため、「個」（一作者や作品）の芸術性の追究といったことを期待する人には、不向きと思われるます。

【到達目標】

- ・一般的な文学研究に比べて、民俗学的に文学を見る方法の特色・意義を知り、視野を広げられること。
- ・科目名が示すように、人文科学と社会科学の融合領域を扱う分野に触れ、学際的なアプローチの一例を学べること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教室対面を基本とする、ふつうの講義形式です。小説の構成に喩えれば、テーマに沿って2～3回で完結する例題を並べていく「短編小説集」のような構成と思って下さい。毎回、授業の要点を確認する簡単な小テスト（選択問題5問、授業後3日以内に回答）と、授業の感想を200字以上で書くリアクションペーパー（提出は学習支援システムへ、授業後3日以内）を課します。小テストは期限後に学習支援システムに掲示する正答をみて各自答え合わせしてください。感想の講評は随時授業のなかで行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	民俗学的な日本文学研究について、概説
第2回	桜の文学と民俗（1）	季節感と古典文学との関わり、またその源流と考えられる民俗について
第3回	桜の文学と民俗（2）	前回の続きとまとめ
第4回	「女歌」の特色と源流（1）	男女の恋の贈答歌における女性の歌の特色と、その源と考えられる「歌垣」の習俗について

第5回	「女歌」の特色と源流（2）	前回の続きとまとめ
第6回	恋歌の虚構性	万葉集・額田王の蒲生野の恋歌を例に
第7回	古代女性の巫女的性格と文学（1）	古代女性の「神」に仕える役割と古典文学、歴史との関係
第8回	古代女性の巫女的性格と文学（2）	前回の続き
第9回	古代女性の巫女的性格と文学（3）	前回の続きとまとめ
第10回	「恋（こひ）」の生活と靈魂信仰（1）	「魂乞い」・名前の民俗ほか、和歌や物語から恋愛に関わる靈魂信仰（生命観）を探る
第11回	「恋（こひ）」の生活と靈魂信仰（2）	前回の続きとまとめ
第12回	「誕生」「成人」——年齢通過儀礼と文学（1）	昔の日本人にとっての「誕生」「成人」の意義と文学への反映
第13回	「誕生」「成人」——年齢通過儀礼と文学（2）	前回の続きとまとめ
第14回	総括として	例題を総復習し、授業の到達目標を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

古典文学に高校までの授業のイメージを持たずに、現代語訳でもいいので、日頃からその世界に親しんでほしいと思います。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

不要。学習支援システムに掲載する資料教材をもって代えます。

【参考書】

授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

およそ、期末試験50％、毎回の小テスト＋リアクションペーパー50％の予定。詳細は初回授業までに学習支援システムにてお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】

授業教材が、欠席した時もあとで読めば凡そ分かるような、解説付きのオンデマンド対応パワーポイントであるため、復習の際に要点が掴みやすく、画像も豊富に入っているので親しみやすい、という感想が多かったです。ただし、オンデマンド型教材だと「出席しなくてもあとで読めば内容がわかる」と、教室授業に欠席がちになるデメリットもあるため、昨年度から出席替わりのリアクションペーパー（ないしは小レポート）を毎回課すことにしています。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

学習支援システムへの仮登録者が授業初回までに320名を超える場合は、抽選を実施します。抽選は初回授業後2日間以内に志望理由を提出し、それをもとに300名以内に選抜して、第2回の授業までに受講許可者をお知らせできるようにする予定です。

【Outline (in English)】

【Outline (in English)】

Theme: Japanese literature and folklore

"Folk" (folklore) refers to the way of life and mindset that has been collectively formed in the lives of ordinary people in a certain community or a specific community and has been passed down through the ages, increase. The range of "region (local)" can be set in various ways, such as one village for small and Japan in the world (global) for large. In this class, from the perspective of Japan in the world, the world of Japanese literature research that incorporates "folklore" that targets such "folklore" will be discussed in "Manyoshu," "Kojiki," and "Nihonshoki." We will introduce examples mainly from the literature of the upper generation and used, such as "Fudoki", "Kokin Wakashu", and "Genji Monogatari". Folklore Japanese literature research transcends the individuality, creativity, and timeliness of individual authors and works, and is the bottom of our hearts today.

Folklore Japanese literature research leaves behind a collective spirit that is thought to be transmitted to the bottom of our hearts today, transcending the individuality, creativity, and timeliness of individual authors and works. It can be said that it is an attempt to explore through the linguistic expressions that have been made. Because of this personality, it seems unsuitable for those who expect to pursue the artistry of "individuals" (one author or work).

Goal

This lecture aims at the following two goals

- ・ Compared to general literary research, students can broaden your horizons by learning about the characteristics and significance of folklore-based methods of viewing literature.
- ・ As the subject name indicates, students can learn an example of an interdisciplinary approach by touching on fields dealing with the integrated area of the humanities and social sciences.

Work to be done outside of class

The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. I would like you to become familiar with the world on a daily basis, as you can use a modern translation without having the image of a class up to high school in classical literature.

Grading criteria

The final exam will make up 50%, and each quiz + reaction paper will make up the other 50%. Details will be provided on the learning support system before the first class.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

梶 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ（副題）：日本文学と民俗

梶「文学と社会LA」と同じです。ただし具体的な内容は「授業計画」に記す通り、異なります。Aよりも「民俗」（＝民間伝承）の部分に重点を置いた内容になります。「文学」発生の母胎としての性格を未だによく保持しており、日本文学の「古代性」を考える上で重要なヒントになるとされる沖縄離島の祭事・信仰をクローズアップして紹介する回が多くなり、時間があればそれを材料に、伝統文化を活かした持続可能な地域形成に祭事や言語伝承が果たす役割なども考察したいと思っています。

【到達目標】

- ・一般的な文学研究に比べて、民俗学的に文学を見る方法の特色・意義を知り、視野を広げられること。
- ・科目名が示すように、人文科学と社会科学の融合領域を扱う分野に触れ、学際的なアプローチの一例を学べること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教室での対面授業を基本とする、ふつうの講義形式です。小説の構成に喩えれば、テーマに沿って2～3回で完結する例題を並べていく「短編小説集」のような構成と思って下さい。

毎回、授業の要点を確認する選択問題5問の小テストと、授業の感想を200字以上で書くリアクションペーパーを課します。ともに学習支援システムへ、授業後3日以内に提出してもらいます。小テストの正答は期限後に学習支援システムに掲載し、各自確認してもらいます。感想の講評は授業内で随時口頭で行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	日本文学の民俗学的な見方について、概説
第2回	季節行事と文学（1）	具体例として、古典文学における七夕と、七夕関連行事・民俗について
第3回	季節行事と文学（2）	日本固有のタナバタ説話について／2回のまとめ
第4回	古代文学に表現された異郷「妣（はは）の国」（1）	古事記の用例をめぐって、語の意味・由来、背景に考えられる民族移動・渡来の歴史など
第5回	古代文学に表現された異郷「妣（はは）の国」（2）	別視点：「異族結婚」が多かった時代の記憶の反映／2回のまとめ
第6回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」（1）	万葉集・記紀・風土記などに見える用例（浦島伝説等）／明・暗両面性

第7回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」（2）	比較事例として、沖縄・奄美等の来訪神の祭事を紹介：「ニライカナイ」の心象
第8回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」（3）	明暗両面性の由来の考察（日本の「神」とは何か）－自然観・祖霊観念との関わりなど
第9回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」（4）	トコヨからの来訪者／まとめ
第10回	「貴種流離譚」（1）	神（またはそれに近い高貴な存在）がさすらう物語の類型をめぐって
第11回	「貴種流離譚」（2）	古代的な生命観・霊魂信仰や異郷意識（他界観念）との関わり／2回のまとめ
第12回	「神話」が生きる島（1）	祭事・信仰などに古代的要素が残っている日本の離島の例を紹介
第13回	「神話」が生きる島（2）	前回の続き
第14回	総括の授業と授業内試験	話してきた例題のポイントを振り返ったあと、まとめのテストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

古典文学と「民俗」との関連を知ることをきっかけに、地域の伝統行事を見学することなども奨励します。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

不要。学習支援システムに掲載するスライド教材をもって替えます。

【参考書】

授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

およそ、期末試験50%。毎回の小テスト＋リアクションペーパー50%。詳細は初回授業までに学習支援システムにてお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】

春学期の「LA」の授業と同様、文章の説明入りのオンデマンド対応のスライド教材であるため、体調不良で教室授業に出られない場合でも自宅で自習できることへの評価のほか、伝統祭事についての豊富な動画で実感を持てたという声もありました。ただし春学期の授業同様、オンデマンド型教材だと、教室授業への出席意欲についてはデメリットにはたらく場合もあるため、昨年度から毎回、リアクションペーパーないしは小レポートを課しています。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

学習支援システムへの仮登録者が授業初回までに320名を超える場合は、抽選を実施します。抽選は初回授業後2日間以内に志望理由を提出し、それをもとに300名以内に選抜して、第2回の授業までに受講許可者をお知らせできるようにする予定です。

【Outline (in English)】

Theme: Japanese literature and folklore

This class is same as "Literature and Society LA" by Kaji. However, the specific content is different as described in the "Class Plan". The content focuses on the "folk" (=folklore) part rather than A. A close-up introduction to the festivals and beliefs of the remote islands of Okinawa, which still retains the character of the mother of "literature" and is considered to be an important hint when considering the "ancientity" of Japanese literature. If I have more time, I would like to consider the role of festivals and linguistic tradition in the sustainable regional formation that make use of traditional culture.

Goal

This lecture aims at the following two goals

- ・ Compared to general literary research, students can broaden your horizons by learning about the characteristics and significance of folklore-based methods of viewing literature.

- As the subject name indicates, students can learn an example of an interdisciplinary approach by touching on fields dealing with the integrated area of the humanities and social sciences.

Work to be done outside of class

The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. We also encourage you to visit traditional events in the area by learning about the relationship between classical literature and "folklore".

Grading criteria

The final exam will make up 50%, and each quiz + reaction paper will make up the other 50%. Details will be provided on the learning support system before the first class.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：江戸の印刷・出版物

白戸 満喜子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では江戸時代の文学作品『御存商売物』を通読します。作品を通して江戸の出版文化の多様性に触れていきます。江戸という地域・時代に暮らした人々が手にしていた、読んでいた、眼にしていた、時には聴いていたさまざまなメディアを、実際に読んだり聴いたりすることで江戸を体感します。

【到達目標】

江戸時代の特徴的な文化や慣習・感覚をテキスト『御存商売物』を通じて理解することが目標。
くずし字（変体仮名）で書かれた簡単な出版・印刷物を判読できるようになることがもう一つの目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業は『御存商売物』という江戸時代の印刷・出版物を人物になぞらえた作品を通読しながら講義を行います。あわせて作品の中に登場人物として描かれている印刷・出版物を読解する演習形式を取り入れます。意匠絵本（デザイン集）・暦など、簡単な読み物の翻字（くずし字を現代仮名遣いに変えること）のノウハウを解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・江戸時代の文学について ・テキスト『御存商売物』について
2	テキスト『御存商売物』の解説	・外国人から見た江戸 ・日本の書物 ・江戸後期の文学作品 ・江戸の出版
3	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の紋様 ・大坂と江戸
4	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の人気小説 ・江戸の食べ物
5	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の絵画 ・江戸時代までの紙 ・江戸の流行歌
6	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・「見立（みたて）」という表現 ・小道具と物語の関係 ・絵と文の関係を読み取る
7	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の慣習 ・江戸の街並み

8	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の繁華街「吉原」 ・浮世絵と鑑賞の基礎知識
9	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・現在と異なる暦 ・江戸の教養を支えた書物
10	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の土産物 ・江戸時代の夫婦喧嘩
11	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の占い ・江戸のおまじない
12	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の学問書 ・江戸時代の情報伝達
13	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸時代の流行り廃り ・江戸の刑罰
14	授業のまとめ	・江戸時代の豊かな出版文化

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中に随時、レポートに関する情報を話しますので、その情報を参考にしながら江戸に関する知識を広げて下さい。
くずし字の読解に必要な資料（配布プリント）は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。くずし字読解の準備として2時間、復習に2時間、計4時間を必要とします。

【テキスト（教科書）】

授業中にプリントを配布し、学習支援システム(WebClass)でも公開します。

【参考書】

くずし字読解のための参考文献は以下の2冊ですが、読解に必要なプリントは授業中に配布し、学習支援システム(WebClass)でも公開します。
・笠間影印叢刊行会『字典かな』笠間書院
・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

【成績評価の方法と基準】

レポート40% 筆記試験（最後の授業時に一回）40% 平常点（授業への取り組み・発言）20% として評価します。
詳細は開講時にお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】

「高校までは学んでこなかった、非常に興味深い内容だった」「くずし字の読解は暗号解読のようで面白い」という感想が寄せられています。古典文学でもなく、現在の小説とも異なる、江戸の大人の娯楽と教養を『御存商売物』という作品を通じて楽しんで下さい。

【学生が準備すべき機器他】

授業における「AIくずし字認識アプリ」の使用を推奨しています。インストール可能な機器（スマートフォンなど）と空き容量を準備してください。

【その他の重要事項】

履修者が教室定員を超過した場合は抽選を行います。抽選結果は開講前に学習支援システム(WebClass)で発表します。

【Outline (in English)】

In this class, we read through the literary work "Gozonji-no-shobaimono" in the Edo Period. Through the work we can touch on the diversity of Edo's publishing culture. You will experience Edo by actually reading and listening to various media that people were living in in the region & the era of Edo. Sometimes you can listen the audible media.

The main goal of this course is to understand the characteristic culture, customs, and sensations of the Edo period through the textbook "Gozonji-no-shobaimono".

Another goal is to be able to read simple publications and printed matter written in cursive script (Hentaigana).

Bring the materials (distributed prints) necessary for reading the cursive script every time, and read them before class. It takes 2 hours to prepare for reading comprehension and 2 hours to review, for a total of 4 hours.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Short reports 40 %, Term-end examination 40 %, in class
contribution 20 %

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：江戸の絵入り本で読む百人一首

白戸 満喜子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

浮世絵が添えられた絵本『錦百人一首あづま織』（国立国会図書館所蔵）<https://dl.ndl.go.jp/pid/2533227> を受講生全員で分担し、読解・解釈をします。最近では競技としての知名度が上がってきた百人一首が、いつ、どのようにして成立し、また現在まで人々に愛されてきたのか。江戸時代の人々が楽しんだ百人一首を読み解き、和歌の解釈と描かれた歌人について学んでいきます。

【到達目標】

くずし字で書かれた和歌（ひらかなの部分とその字母）を判読し、解釈することが各受講生の目標です。

各自の担当する和歌について、1：字母を確認しながら翻字をする、2：解釈（意味や技法）する、という2点から考察・発表をし、『錦百人一首あづま織』という絵本の成立を理解し、和歌の知識を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業前半は百人一首と『錦百人一首あづま織』に関連する講義を行います。後半は受講生がそれぞれ分担する和歌についての翻字・解釈を各週で順番に発表します。受講生はそれぞれの和歌に対する読解・解釈を準備し意見交換をします。授業時間内に翻字と字母の正解を示し、和歌の解釈に対するまとめをします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 百人一首とは何か くずし字読解の方法と解釈	テキスト『錦百人一首あづま織』の発表順番決定
2	テキスト『錦百人一首あづま織』の構成について解説	テキストに関する講義
3	テキスト『錦百人一首あづま織』の読解方法	テキストの翻字・解釈の具体的な方法・内容
4	勅撰和歌集に関する講義1および受講者による発表1回目	・勅撰和歌集とは何か：八代集 ・担当者による発表
5	勅撰和歌集に関する講義2および受講者による発表2回目	・勅撰和歌集にまつわる逸話 ・担当者による発表
6	歌合に関する講義1および受講者による発表3回目	・歌合とは何か ・担当者による発表

7	歌合に関する講義2および受講者による発表4回目	・歌合に賭けた歌人たち ・担当者による発表
8	歌道に関する講義および受講者による発表5回目	・歌道とは何かー和歌の変化 ・担当者による発表
9	百人一首の中世写本に関する講義および受講者による発表6回目	・中世における百人一首 ・担当者による発表
10	百人一首の近世写本に関する講義および受講者による発表7回目	・手で書き写された百人一首：近世の写本 ・担当者による発表
11	百人一首版本に関する講義1および受講者による発表8回目	・印刷された百人一首 ・担当者による発表
12	百人一首版本に関する講義2および受講者による発表9回目	・浮世絵と百人一首 ・担当者による発表
13	百人一首版本に関する講義3および受講者による発表10	・百人一首とかるた ・担当者による発表
14	テキスト『錦百人一首あづま織』のまとめ	教員による全体の解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

履修者にはこちらから発表分担となる和歌を指定します。受講生は各自が分担する和歌の翻字と読解・解釈を指定日までに提出してください。分担以外の和歌については、それぞれ読解しておいてください。各自の読解に基づいて発表内容に対する意見交換をします。くずし字の読解に必要な資料（配布プリント）は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。テキストのくずし字読解として2時間、授業で扱った和歌の字母確認・復習に2時間を毎回必要とします。

【テキスト（教科書）】

『錦百人一首あづま織』（国立国会図書館所蔵）<https://dl.ndl.go.jp/pid/2533227>

【参考書】

くずし字を読むための参考文献は以下の2冊ですが、読解用のプリントは教材にアップロードします。文学と社会LC既習者は同じプリントになります。

・笠間影印叢刊行会『字典かな』笠間書院

・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

【成績評価の方法と基準】

分担発表の内容30％ 平常点（授業内での意見や取り組み態度）40％ 期末レポート30％ として評価します。分担する和歌の翻字と読解・解釈の未提出、発表内容に関する意見交換がない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

「江戸時代の文字を翻字すること、和歌の内容や背景を学ぶこと、どちらも謎解きのようで楽しかった」という感想が寄せられています。くずし字の読解は、昔の日本人たちと時空を越えたコミュニケーションをするようなもので、語学習得に似ている部分があります。外国語学習とは異なる独特の達成感を味わって下さい。

【学生が準備すべき機器他】

授業における「AIくずし字認識アプリ」の使用を推奨しています。インストール可能な機器（スマートフォンなど）と空き容量を準備してください。

【その他の重要事項】

関連部分があるので文学と社会LCを履修していることが望ましいものの、前向きな性格・柔軟な思考・気合などのどれかがあれば秋学期のみの履修も可能です。履修者が教室定員を超過した場合は抽選を行います。抽選結果は開講前に学習支援システム(WebClass)で発表します。

【Outline (in English)】

In this class, we read the original book of "Nishiki Hyakunin Isshu Azuma Ori" <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227> with ukiyo-e. Hyakunin Isshu has been loved by people, and recently it has gained recognition as a sport. We will read Hyakunin Isshu which was made in the Edo period, and learn about the interpretation of waka and the singer drawn.

The main goal of this lesson is to read and interpret waka (the hirakana part and its character) written in cursive script.

About the waka poems that each person is in charge of

1: Transliterate while checking the character

2: Interpret (meaning and technique),

We will consider and present from these two points, understand the formation of the text, and deepen our knowledge of waka.

Students will be assigned a waka poem to be shared by the instructor. Students are requested to submit the transliteration, reading comprehension, and interpretation of the waka poems that they share by the designated date. Please read each of the waka poems other than the division. We will exchange opinions on the content of the presentation based on each person's reading comprehension.

Bring the materials (distributed prints) necessary for reading the cursive script every time and read them before class. It takes 2 hours to read the text and 2 hours to check and review the waka characters used in the class.

Final grade will be calculated according to the following process
Responsible part report (30%), in-class contribution (40%), and term-end examination (30%)

However, if there is no transliteration of the shared waka poem, unsubmitted reading comprehension / interpretation, and no exchange of opinions regarding the content of the presentation, it will not be evaluated.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中澤 忠之

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

小説を読むとき、私たちはどんなところを重視するでしょう。たとえば、泣けるかどうかとか、感情移入できるかどうか、とかいったところでしょうか。実際、これまで中学校や高校の現国の授業では、主人公の心情を素直に読み取るトレーニングを受けてきたはずですが、しかし、小説の書き方・読み方は一様ではありません。この講義は、小説の書き方・読み方には多様性があることを知り（夏目漱石とライトノベルを優劣関係ではなく多様性の一つとして捉えること）、それを身に付ける土台作りとなるでしょう。そのためにはまず、小説の成り立ちをおさらいすることからはじめます。そして文学史にしたがって、小説の書き方・読み方が変化し、新たな書き方・読み方の発見が文学史を豊かに形成してきたことを確認します。戦前の文学史がメインですが、最近の文学史にも積極的にふれます。マンガや映画、美術など、文学に隣接するジャンルにもしばしば言及したい。

【到達目標】

創作物を単に主観的に受容するのではなく、対象化して評価する技術と教養を身に付け、作品受容の許容範囲が広がることを目指します。文学に関心がある学生はもちろん、ポップカルチャーやサブカルチャーのジャンルに関心がある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

配布する資料をもとに講義するスタイルです。

必要に応じてリアクションペーパーを書いてもらいます（3回程度）。授業中・授業後の質問やリアクションペーパーにおける有意義なコメントは授業内で紹介し、今後の授業に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第2回	現在の文学が置かれた状況	最近の文学事情を、他のジャンルとの関係から明らかにする。
第3回	文学作品の読み方	文学の仕組みを解説して、高校時代までの読み方を相対化する。
第4回	近代文学の誕生①	言文一致（いわゆる近代日本語）を中心に、近代文学が形になったプロセスを解説。言文一致形成の全体像を確認する。
第5回	近代文学の誕生②	言文一致形成の初期（明治10から20年代）の状況 작품을参照しながら確認する。
第6回	近代文学の誕生③	言文一致形成の後期（明治30から40年代）の状況 작품을参照しながら確認する。

第7回	文学史第1期（明治20～40年の文学）	リアリズム（写実主義）は近代に確立した表現法だが、そのリアリズムが確立した時代の表現パターンを解説。
第8回	文学史第2期（大正時代の文学）	私小説がはやった時代の表現パターンを解説。文学における自己表現を問題にしたい。
第9回	文学史第3期（1920年代）①	社会が大衆化したモダニズムの時代の表現パターンを解説。
第10回	文学史第3期（1920年代）②	具体的な文学作品を参照する。
第11回	文学史第4期（1930年代）①	文学表現が成熟した時代の表現パターンを解説。現代の表現とも関係させる。
第12回	文学史第4期（1930年代）②	具体的な文学作品を参照する。
第13回	現在の文学との接点	過去の文学を参照することで現代文学の読み書きにいかに応用できるのかを考察する。
第14回	まとめと試験	これまでの講義の総括。今後の現代文学の読み方についても触れる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

少しでも文学作品に触れてください。しかし闇雲に読むのではなく、ジャンルを意識しながら読むことをおすすめします。ジャンルが分からなければ、大きめの本屋に行って書棚がどういう配置になっているのか、どういう本が収まっているのかを確認してみるのもよいです。たとえば、映画をよく観る人はアマブラの作品列がどういうジャンル区分に従っているのかよくわかっているはず。アイドルグループのファンは、素人目には同じように見える顔が、それぞれ個性を持ち、ジャンル分けできることを知っているはず。文学も同じです。

小説を全く読まない人は、まず『ノルウェイの森』（村上春樹）と『時をかける少女』（筒井康隆）と『涼宮ハルヒの憂鬱』（谷川流）の3冊を読み比べてみてください。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

随時プリントを配布します。

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

最後の試験が評価の主要な対象となります。3回予定のリアクションペーパー（400字程度）も評価したい。評価の割合は最後の試験が70%、リアクションペーパーを30%とします。

【学生の意見等からの気づき】

基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるころではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。

【Outline (in English)】

【Course outline and Learning objectives】

This lecture aims to give techniques and cultures to read novels, using the work of modern Japanese literature.

How to write and read novels is not single. In this lecture, you can learn that diversity exists in how to write and read novels. Let's begin by reviewing the origins of the novel. And according to the history of literature, We confirm that the way of writing and reading the novel has changed.

【Learning activities outside of classroom】

Please try reading literary works for about 4 hours per week. I recommend reading while being aware of the genre. If you don't know the genre, check the shelves in the bookstore.

【Grading Criteria /Policy】

The final report is the main subject of evaluation. I also want to evaluate the short reports (about 400 characters) for each session. The evaluation rate is 70% for the final report and 30% for short reports.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中澤 忠之

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

普段何気なく読んでいる小説が、きわめて政治的で社会的なものであるということを考えたことがあるでしょうか。文学作品は、人畜無害な単なるフィクションではありません。ときに世の中の差別や偏見を生み出し助長するものであり、特定の個人や集団を傷つけるものでもあります。あるいはまた、社会秩序を乱すとして批判される過激な暴力や性表現も無視できないでしょう。もちろんその一方で、社会の差別や偏見と戦ってきた歴史も、文学にはあります。文学作品における、こういった政治的かつ社会的な側面を、本講義では取り上げます。素材は性表現と差別表現がメインです。メディア環境が激変している昨今の事情に対応させて、取り上げる表現は文学のみならず、映画やマンガなど多岐にわたる予定です。現在進行形の話題も積極的に扱います。

【到達目標】

これまでなんとなくイメージしてきた表現の自由や表現の暴力性といった概念を、法規制や表現史を通して具体的に捉えられる教養の獲得を到達目標とします。文学に関心がある学生のみならず、法律等社会の制度設計に関心のある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

配布する資料をもとに講義するスタイルです。必要に応じてリアクションペーパーを書いてもらいます（3回程度）。授業中・授業後の質問やリアクションペーパーにおける有意義なコメントは授業内で紹介し、今後の授業に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第2回	文学が置かれた社会状況	表現規制の最近の動向を解説。
第3回	性表現・暴力表現と規制①	性・暴力表現とその規制の歴史を振り返る。
第4回	性表現・暴力表現と規制②	「わいせつ罪」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第5回	性表現・暴力表現と規制③	「青少年保護」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第6回	性表現・暴力表現と規制④	「児童ポルノ」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第7回	性表現・暴力表現と規制⑤	ネット社会における性・暴力表現について解説する。
第8回	差別表現と規制①	差別表現とその規制の概要を解説する。

第9回	差別表現と規制②	差別の仕組みを知るために、具体的な作品を参照する。
第10回	差別表現と規制③	戦後の日本における差別の歴史を振り返る。
第11回	差別表現と規制④	差別には複数のパターンがあるので、それらを分節化して解説する。
第12回	差別表現と規制⑤	差別表現とその規制の現在。特にネット社会における差別表現（Metoo運動など）を考える。
第13回	差別表現と規制⑥	最近話題になる嫌韓・嫌中的な「ヘイトスピーチ」について考察する。
第14回	まとめと試験	これまでの講義の総括。表現の自由とその規制の社会的バランスを考える。 また、補足として、著作権やプライバシーの問題から表現の社会性にも言及したい。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

まず何より活字や映像作品に触れてください。そして、表現規制の話は常時ニュースになるので、そのつど気にかけて、新聞やウェブでの議論に触れてほしい。たとえば、昨今話題になっている性表現なり差別表現に対する規制強化の動き、あるいはネット上で盛んに行われている著作物の無断コピーや二次創作等について考えてみるのもよいでしょう。
ここ数年は、美術家の性的な表現物がわいせつ罪に問われたり、また差別的なヘイトスピーチがメディアで盛んに取り扱われています。文学作品にとらわれず、こういった表現にかかわる社会的問題に注目してください。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

随時プリントを配布します。

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

最後の試験が評価の主要な対象となります。3回予定のリアクションペーパー（400字程度）も評価したい。評価の割合は最後の試験が70%、リアクションペーパーを30%とします。

【学生の意見等からの気づき】

基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるころではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。
映像を積極的に導入し、時事的な話題も取り入れました。

【Outline (in English)】

【Course outline】 【Learning objectives】

The novel has a very political and social part. Literary works are not mere fiction. They sometimes produce discrimination and prejudice of the world, and they also hurt certain individuals and groups. Or you can not ignore radical violence or sexual expression that is criticized as disturbing the social order.

On the other hand, literature also has a history of fighting social discrimination and prejudice. This lecture will cover these political and social aspects of literary works. Sexual expression and discrimination are the main material.

Our goal is to acquire a culture that allows us to understand topics such as freedom of expression and violence of expression through legal regulations and the history of expression.

【Learning activities outside of classroom】

Please spend about 4 hours per week reading literary works and watching video works. And since the topic of freedom of expression and expression regulation is always news, please contact the discussion in newspapers and the web.

【Grading Criteria /Policy】

The final report is the main subject of evaluation. I also want to evaluate the short reports (about 400 characters) for each session. The evaluation rate is 70% for the final report and 30% for short reports.

LIT200LA（文学 / Literature 200）

日本文学と文化LG

2017年度以降入学者

サブタイトル：宮崎駿の文学世界

榎本 正樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アニメーションは、日本が誇るエンタメであり、コンテンツであり、文化遺産です。アニメーション制作の現場からは数多くのクリエイターが生みだされましたが、その中でも宮崎駿の存在は突出しています。アニメーションを普段鑑賞しない人でも、これまでの人生の中で宮崎作品との出会いの機会があったはずで

す。宮崎アニメは日本だけでなく、世界中に多くのファンを持ち、国内外の重要な賞を数多く受賞しています。宮崎作品の広がり、たとえば『千と千尋の神隠し』の舞台化（2022年に日本で初演、2024年はロンドン公演、25年は上海公演、26年は韓国公演）や、ピリー・アイリッシュが『千と千尋の神隠し』にインスパイアされて制作した楽曲"CHIHIO"（2024年）などに見てとることができます。宮崎監督がアニメーションの世界に入ったのは、1960年代です。アニメーターとして研鑽を積み重ねながら、原画や脚本や画面構成を担当する中で、NHKの長編テレビアニメ『未来少年コナン』（1978年）で初めて監督として仕事をします。本授業では、『未来少年コナン』に始まる宮崎駿の全監督作品について、それぞれ作品分析を行いながら、宮崎監督が各作品で何をテーマにどのような世界を描こうとしたのか検証するとともに、宮崎監督の思想の深まりに注目していきたいと思います。

誰もが日常的に親しんできた宮崎監督のアニメーション作品を、いま一度新たな視点で読み直してみると、これまで気づけなかった問題系や、登場人物の相関関係、ストーリーの奥深さ、物語上のたぐらみ、そして宮崎作品の根底にある文学性に気づくことになるはずです。

宮崎監督の全作品を辿る旅を通して、皆さんと一緒に宮崎監督とその作品の新たなイメージに到達したいと考えています。

【到達目標】

映像作品であるアニメーションをシーンやカットごとに解説する技術を身につけ、アニメ固有の表現方法やギミックや物語構造などについて、自分の力で読み解き、考察し、論述する力の獲得を目指します。

関連資料を参照し、他者の意見や論考に目を通し、作品の背景にある文化的、社会的、民俗的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

授業はプレゼンテーション（資料提示）と講義をあわせた形で行います。宮崎監督作品を初期から最新作まで、重要なシーンを観覧しながら、解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのは、シーンを構成する一つひとつの短いカットです。カットは継起的な物語を構成する最小の「部品」ですが、同時にクリエイターの「世界そのものの純粋な視線」が投影されています。

その意味で、作品の基礎であり設計図ともいえる絵コンテの存在が大きくなるでしょう。絵コンテを出発点に最終的な作品に仕上がるまでには、多くの制作プロセスがあります。アニメーションの制作現場でどのようなことが行われているのか、そうした点にも注目していきたいと思います。さらに宮崎監督自身の言葉、関連資料の紹介、他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。

授業内容に関する一般的な質問は、メール（eno@mar.email.ne.jp）で受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	宮崎駿、その人と作品について
2	『未来少年コナン』	理想郷を求めてさまよう人々の群像劇
3	『ルパン三世 カリオストロの城』	「城」のイメージに潜む権力構造
4	『風の谷のナウシカ』	終末世界に重ねられる神話世界
5	『天空の城ラピュタ』	活劇形式の中で描かれる、少年少女のイメージの継承と発展
6	『となりのトトロ』	トトロという「他者」との出会いと、その意味
7	『魔女の宅急便』	「少女」と「猫」のいる魔法世界
8	『紅の豚』	「世情」に抗う主人公の決意と行動
9	『もののけ姫』	神と人、自然と文化が交錯し衝突する大群像劇
10	『千と千尋の神隠し』	「行きて帰るし物語」に宿る根源的な力
11	『ハウルの動く城』	「城」と「魔法」に彩られた世界の造形と継承
12	『崖の上のポニョ』	異種交流譚としての読み解き
13	『風立ちぬ』	「戦争」を描くということ
14	『君たちはどう生きるか』	宮崎作品の集大成をどう読むか

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宮崎監督作品のほとんどは鑑賞済みと思いますが、もし未鑑賞のものがあれば、時間がある時に観ておくようにしてください。その際、ただ受動的に消費するのではなく、作品について積極的に考え、書いたり話したりする習慣をつけましょう。

授業で取り上げる映像作品を鑑賞する中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を適宜行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。

【参考書】

参考書は膨大に存在するので、授業時その都度紹介します。大学図書館などを利用して、各自参考資料を参看するようにしてください。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100％）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業で取りあげた宮崎駿監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。

詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

これまで宮崎作品に触れる機会が少なかった学生にも、理解しやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

アニメーションや映像表現、現代日本文学、同時代の表現全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト (<http://enmt.jp>) で確認できます。

X (@enmt) での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Animation is Japan's proud source of content and cultural heritage. Numerous creators have emerged from the field of animation production, but Hayao Miyazaki stands out among them. Even those who do not usually watch animation must have seen Miyazaki's works at some point in their lives. He has many fans not only in Japan but also around the world, and has received many important national and international awards.

In this class, we will attempt to analyze all of Hayao Miyazaki's works, while examining what themes and what kind of world he tried to depict in each of his films, as well as focusing on the depth of his philosophy.

【Learning Objectives】

The goal of this course is for students to acquire the skills to analytically decipher Hayao Miyazaki's animations as a visual works, scene by scene, and to be able to discuss in their own words the unique expression methods and narrative structure of animation.

【Learning activities outside of classroom】

When watching animations, develop the habit of objectively writing and talking about the details of the story in your own words, rather than just passively watching the animation films. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one or more of Miyazaki's works discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop your own argument in your own words about the work you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA（文学 / Literature 200）

日本文学と文化LH

2017年度以降入学者

サブタイトル：現在日本文学と映像表現

榎本 正樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を解説を加えながら観賞しつつ、原作小説を講読していきます。2025年に劇場公開された以下の12作品の中から6～7作品を選んで取りあげます。小説（文学表現）と映画（映像表現）を比較対照し、分析を行うことで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現方法について考えを深めるとともに、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を深く読む力の獲得を目指します。

＊

筒井康隆『敵』（吉田大八監督）

榆周平『サンセット・サンライズ』（岸善幸監督）

馳星周『少年と犬』（瀬々敬久監督）

吉田修一『国宝』（李相日監督）

辻村深月『この夏の星を見る』（山元環監督）

真藤順丈『宝島』（大友啓史監督）

新海誠『秒速5センチメートル』（奥山由之監督）

西尾潤『愚か者の身分』（永田琴監督）

金原ひとみ『ミーツ・ザ・ワールド』（松居大悟監督）

呉勝浩『爆弾』（永井聡監督）

柚月裕子『盤上の向日葵』（熊澤尚人監督）

村田沙耶香『消滅世界』（川村誠監督）

＊作品の配列は劇場公開日順です。

【到達目標】

現代日本文学を代表する多様なジャンル（純文学、エンターテインメント、社会小説、ミステリなど）の小説を読む経験を重ねることで、複雑な言語構成体としてのテキストから様々な要素を抽出し、整理し、分析し、自分の言葉で批評的なアウトプットができるようになります。

加えて、個人、社会、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式をとります。原作小説を講読し、作品分析を行った後、映画の一部を解説を加えながら観賞します。同一の物語内容を含む言語メディアである小説と映像メディアである映画を比較検証することによって、情報提示、叙述、人物設定、時間構成、プロット構成など、表現上の相違点を明らかにしていきます。

履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、それぞれの作品について深く思考し、自分の考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。

小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業は進めていきます。

授業内容に関する一般的な質問は、メール（eno@mar.email.ne.jp）で受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンス授業
2	原作小説の講読(1)	原作小説の講読・分析・考察
3	映画観賞と解説(1)	原作の映画鑑賞と解説・考察
4	原作小説の講読(2)	原作小説の講読・分析・考察
5	映画観賞と解説(2)	原作の映画鑑賞と解説・考察
6	原作小説の講読(3)	原作小説の講読・分析・考察
7	映画観賞と解説(3)	原作の映画鑑賞と解説・考察
8	原作小説の講読(4)	原作小説の講読・分析・考察
9	映画観賞と解説(4)	原作の映画鑑賞と解説・考察
10	原作小説の講読(5)	原作小説の講読・分析・考察
11	映画観賞と解説(5)	原作の映画鑑賞と解説・考察
12	原作小説の講読(6)	原作小説の講読・分析・考察
13	映画観賞と解説(6)	原作の映画鑑賞と解説・考察
14	秋学期授業のまとめ	秋学期授業のまとめ&レポート提出について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握したい人は、小説を読んだ上で授業に臨んでください。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外に読み直し観賞し直し、作品の理解を深めるよう努めてください。レポート提出のための事前準備として、自分がレポートの対象として選んだ作品を精読した上で、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を適宜行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で扱う予定の作品の文庫本。

- ・筒井康隆『敵』（新潮文庫）
- ・榆周平『サンセット・サンライズ』（講談社文庫）
- ・馳星周『少年と犬』（文春文庫）
- ・吉田修一『国宝』（朝日文庫）
- ・辻村深月『この夏の星を見る』（角川文庫）
- ・真藤順丈『宝島』（講談社文庫）
- ・新海誠『秒速5センチメートル』（角川文庫）
- ・西尾潤『愚か者の身分』（徳間文庫）
- ・金原ひとみ『ミーツ・ザ・ワールド』（集英社文庫）
- ・呉勝浩『爆弾』（講談社文庫）
- ・柚月裕子『盤上の向日葵』（中公文庫）
- ・村田沙耶香『消滅世界』（河出文庫）

【参考書】

必要な資料はプリントで配付します。

参考書・参考文献は、教室で指示します。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100％）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業でとりあげた小説の中から一作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ小説について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

現代日本文学になじみのない学生にもわかりやすい言葉で、解説と考察を行うよう心がけます。

【その他の重要事項】

現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（<http://enmt.jp>）で確認できます。

X（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

We read the original novel after having watched movie works that filmized as "Contemporary Japanese literature". I select from the following 6 or 7 works in 2025.

We compare movie expression with the literature expression including the same story contents, we are analyzing peculiar expressin words and movies.

【Learning Objectives】

We will read through the original novels after watching films based on contemporary Japanese literature. We plan to highlight the following 6 or 7 titles after carefully selecting from the works released in 2025.

By comparing and analyzing literary expressions and visual expressions of the same story events, we will deepen our thoughts about specific expressions and techniques of the book and film media. Our aim to acquire the ability to read novels from the perspective of what is literature-specific expression.

【Learning activities outside of classroom】

Although the class will be conducted in a manner that can be understood without having read the original novel beforehand, it is best to read the novel in order to grasp the content of the story and the relationships between the characters.

Students are encouraged to re-read and re-watch the novels and films discussed in class outside of class to deepen their understanding of the works. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one of the novels discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop a "theory" in your own words about the novel you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L G

2017年度以降入学者

サブタイトル：

杉本 文四郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

2000年代以降に文学研究の大きな潮流となった「世界文学」についての概論的な講義科目です。文学に馴染みのない受講者も想定し、文学とは何か、文学作品をどのように読み解くことができるか、「世界文学」は従来の世界文学（＝世界の多様な地域の読むべき文学）とどのように差異化されるか、といった基本的なことから始めます。

近年の「世界文学」論の盛り上がり背景には、それが比較文学や社会学や翻訳論など複数の分野とかかわる新しい領域であることに加え、単一の国や言語や文化にとらわれない複合的なアイデンティティを生きる経験の重要性を多くの人が認識していることがあると考えられます。

このような理解に基づき、本授業では広大な「世界文学」の領野の一端をいくつかの重要な観点から概観します。受講者は一方的に講義を聞くだけでなく、関連する資料を読んで自分なりの考えを深め、授業最終日に任意の文学作品について「世界文学」の観点から論じるレポートを書いてもらいます。

【到達目標】

- (1) 「世界文学」に関連する理論や「世界文学」と交差する諸問題についての基本的知識を習得する
- (2) 「世界文学」に関する知識を土台として、文学作品の世界性を書き言葉で論じることができる
- (3) 辞書や和訳を参照しつつも、参考資料の抜粋を原文で読める英語力をつける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義/Lecture

【授業の進め方と方法】

原則的に講義形式で進めます。学習支援システム上で配布する資料やレジュメを授業準備として読むことを指示したうえで、授業内でグループディスカッションの時間をとる場合があります。

毎回の授業後にはレスポンスを提出してもらい、次回授業の冒頭で講評します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	「世界文学」とは何か	授業概要の説明ののち、カザノヴァ、モレッティ、ダムロッシュらの「世界文学」論を概説する。
第2回	「世界文学」を支えるものの	「世界文学」の理論的把握に向けてウォーラーステイン、ブルデュー、スピヴァクの理論について基礎知識を習得する。
第3回	イギリス文学とグローバリゼーション (1)	19世紀頃までのイギリス文学を通して「世界文学」がどのように生まれてきたかについて一定の理解を得ることを目指す。
第4回	イギリス文学とグローバリゼーション (2)	ジーン・リース「あの人たちが本を焼いた日」を主に参照しつつ20世紀以降の英語文学の「世界文学」性を確認する。
第5回	英語の覇権と翻訳不可能性の問題	アプターの言う英語の覇権や翻訳不可能性の問題からグギ・ワ・ジョングやクツツエーらの試みを照らし出す。
第6回	越境する文学的想像力	「世界文学」論を先取りした国民国家論を補助線とし、ゴンブローヴィチやラフカディオ・ハーンなどの亡命文学・移民文学を読み解く。
第7回	講義前半のまとめ	第1回から第6回までの内容をまとめ、補足をおこなう。
第8回	世界に開かれた日本文学 (1)	ドナルド・キーンからピーター・マクミランまで日本文学がどのように英語圏に紹介されてきたかを概観する。

第9回	世界に開かれた日本文学 (2)	間テクスト性やウォルコウィッツの言う「生まれつき翻訳」の概念を手掛かりに大江健三郎や村上春樹ら戦後日本文学の担い手の世界に対する意識を跡付ける。
第10回	ポストアポカリプスの文学を読む	ベケット、クラスナホルカイ、多和田葉子の作品の抜粋を通して「世界文学」の重要テーマへの理解を深める。
第11回	文学のディスロケーション	テヘランで『ロリータ』を読む試み、サラエボで『ゴドーを待ちながら』を、トロントで『やってきたゴドー』を上演する試みについて知る。
第12回	越境する言葉——文学の(新しい)媒体	和合亮一やボブ・ディランなどを例に、SNSの言葉やポピュラー音楽の歌詞を、世界を流通する文学の媒体として捉える。
第13回	講義後半のまとめ	第8回から第12回までの内容をまとめ、補足をおこなう。
第14回	期末試験／まとめ	期末レポートを書く。授業全体のまとめ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業後に学習支援システム上でレスポンスの提出を求めるほか、授業前の準備学習として資料やレジュメを読んでくことを求める場合があります。予習・復習は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

資料およびレジュメを学習支援システム上で配布します。

【参考書】

- ・レベッカ・L・ウォルコウィッツ著『生まれつき翻訳——世界文学時代の現代小説』佐藤元状・吉田恭子監訳、田尻芳樹・秦邦生訳、松籟社、2022年
- ・パスカル・カザノヴァ著『世界文学空間——文学資本と文学革命』岩切正一郎訳、藤原書店、2002年
- ・G・C・スピヴァク著『ある学問の死——惑星思考の比較文学へ』上村忠男・鈴木聡訳、みすず書房、2004年
- ・スーザン・ソントガク著『サラエボで、ゴドーを待ちながら』富山太佳夫訳、みすず書房、2012年
- ・デイヴィッド・ダムロッシュ著『世界文学とは何か？』秋草俊一郎・奥彩子・桐山大介・小松真帆・平塚隼介・山辺弦訳、国書刊行会、2011年
- ・アーザル・ナフィシー著『テヘランでロリータを読む』市川恵里訳、河出文庫、2021年
- ・西川長夫著『[増補] 国境の越え方』平凡社ライブラリー、2001年
- ・福岡亮大著『世界文学のアーキテクチャ』PLANETS、2025年
- ・ビエール・ブルデュー、ジャン＝クロード・パスロン著『再生産——教育・社会・文化』宮島喬訳、藤原書店、1991年
- ・ピーター・J・マクミラン著『謎とき百人一首一和歌から見える日本文化のふしぎ——新潮選書、2009年
- ・フランコ・モレッティ著『遠読——〈世界文学システム〉への挑戦』秋草俊一郎・今井亮一・落合一樹・高橋知之訳、みすず書房、2016年
- ・ジーン・リース著『あの人たちが本を焼いた日——ジーン・リース短篇集』西崎憲編・安藤しを・磯田沙円子・櫻尾千穂・加藤靖・小平慧・笹原桃子・沢山英理子・獅子麻衣子訳、亜紀書房、2022年
- ・Emily Apter, *Against World Literature: On the Politics of Untranslatability*, Verso, 2013.
- ・Aamir Mufti, *Forget English!: Orientalisms and World Literatures*, Harvard UP, 2016.

【成績評価の方法と基準】

・授業態度、レスポンスなどの課題、ディスカッションへの貢献度：50%

・期末試験：50%

以上を合計し、60%以上を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度は授業担当者が変更となったため、学生の意見等に基づく改善点はありません。

【その他の重要事項】

単位認定には全授業回数の3分の2以上の出席が必要ですが、期末レポートを充実させるために全ての回に出席することを推奨します。なお、20分以上の遅刻は欠席扱いとします。

【Outline (in English)】

This is an introductory lecture course on World Literature, which has become a major trend in literary studies since the 2000s. Anticipating students unfamiliar with literature, it begins with fundamentals: what literature is, and how World Literature differs from traditional world literature.

The recent surge in interest in World Literature can be attributed to its status as a new interdisciplinary field engaging with comparative literature, sociology, translation studies, and other disciplines, as well as a growing recognition among many people of the importance of experiences shaped by complex identities, unbound by a single nation, language, or culture.

Based on this understanding, this course will survey a portion of the vast field of World Literature from several key perspectives. Students will not merely listen to lectures passively but will actively deepen their thinking by reading relevant materials. On the final day of the course, they will write a report discussing a literary work of their choice from the perspective of World Literature.

In addition to requiring responses to be submitted via the learning support system after each class, you may be asked to read materials or handouts as preparatory work before class.

Preparation and review should each take approximately 2 hours.

Your overall grade will be decided based on the following.

- Class participation, assignments, and contribution to discussions: 50%
- Final exam: 50%

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L H

2017年度以降入学者

サブタイトル：

小澤 央

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英文学をはじめとする世界文学の重要なテーマのひとつ、ユートピア（ディストピアを含む）と関連の深い有名な20世紀後半以降の文学作品を、政治的・文化的文脈に位置づけながら解釈する。帝国主義、実存主義、フェミニズム、ポストヒューマニズムといった、今日でも重要な意義を持つ諸問題との関係で分析する。ユートピアというテーマの持つ可能性や限界についても議論する。

ユートピア文学の知識や文学解釈の基本を身につけ、英文読解力を伸ばすことが目的である。

【到達目標】

この授業を履修することで、学生は

- ・ユートピアというテーマとの関係で文学史を概観できる
- ・作品と関連する政治的・文化的問題について基本的知識を習得する
- ・辞書や和訳を参照しながらも、ユートピア文学の抜粋を原文で読める英語力をつける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

原則的に講義形式で進める。映像資料も適宜取り入れる。リアクション・ペーパーなどを提出してもらい、授業の冒頭で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ユートピアとは何か、20世紀後半以降のユートピア文学史の概観
第2回	監視社会と大衆文化(1)	Bradbury, <i>Fahrenheit 451</i> 前半
第3回	監視社会と大衆文化(2)	Bradbury, <i>Fahrenheit 451</i> 後半
第4回	帝国主義と無人島(1)	Golding, <i>Lord of the Flies</i> 前半
第5回	帝国主義と無人島(2)	Golding, <i>Lord of the Flies</i> 後半
第6回	前半の講義のまとめ	総括と補足
第7回	実存主義と自由(1)	安部公房『砂の女』前半
第8回	実存主義と自由(2)	安部公房『砂の女』後半
第9回	フェミニズムと生殖(1)	Atwood, <i>The Handmaid's Tale</i> 前半
第10回	フェミニズムと生殖(2)	Atwood, <i>The Handmaid's Tale</i> 後半
第11回	ポストヒューマニズムとAI(1)	Ishiguro, <i>Klara and the Sun</i> 前半
第12回	ポストヒューマニズムとAI(2)	Ishiguro, <i>Klara and the Sun</i> 後半
第13回	後半の講義のまとめ	総括と補足
第14回	期末試験と今学期のまとめ	今後の研究についての示唆

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回予め指示された資料（レジュメなど）を読むこと、リアクション・ペーパーなどを提出することが求められる。さらに、和訳でも構わないので、授業で扱う作品をできるだけ多く自身で読み通すことが望ましい。

予習・復習は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

授業のレジュメ

【参考書】

- ・授業で扱う文学作品
- ・グレゴリー・クレイズ著、『ユートピアの歴史』、巽孝之監訳、小畑拓也訳、東洋書林、2013年
- ・川端香男里著、『ユートピアの幻想』、講談社学術文庫、1993年
- ・John Carey, ed., *The Faber Book of Utopias*, Faber and Faber, 1999.
- ・Gregory Claeys, ed., *The Cambridge Companion to Utopian Literature*, Cambridge UP, 2010.
- ・Matthew Leggatt, ed., *Wastelands and Wonderlands: Utopias and Dystopias in Film and Literature*, SUNY Press, 2026.

・Laura Nicosia and James F. Nicosia, eds., *Critical Insights: Sidekicks in Literature*, Salem Press, 2026.

・Alice Bailey Cheylan and André-Alain Morello, eds., *Huxley, ce méconnu*, Edizioni Effigi, 2025.

【成績評価の方法と基準】

- ・リアクション・ペーパーなどの課題、授業に取り組む姿勢、議論への貢献度：30%
- ・期末試験：70%

【学生の意見等からの気づき】

映像資料を活かした授業運営をより充実させていく。

【Outline (in English)】

In this course, students are expected to interpret utopian literature in relation to political and cultural contexts, such as imperialism, existentialism, feminism and posthumanism. The goals of this course are to survey the history of utopian literature, learn the basics of interpretation of literature and improve English reading comprehension. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. The final grade will be calculated according to the following process: performance in class activities (30%) and term-end examination (70%).

LIN200LA (言語学 / Linguistics 200)

音声学Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

副島 健作

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「言語」は、音声の形式という表現面と意味の形式という内容面が結びついた言語記号が単位であるようなシステムであり、このシステムの解明を対象とする学問分野は「言語学」と呼ばれています。この「言語」の表現面である「音声を使ったコミュニケーション」のあらゆる側面を研究するのが音の科学、すなわち「音声学」です。

音そのものがある特定のイメージを喚起する現象を「音象徴」といいます。この授業では、音象徴という現象を題材に、「音声学」をできるだけ分かりやすく解説することを目指します。

【到達目標】

1. ヒトが音声を使って話すときに何が起きているか、個々の音（子音・母音）とその連続を発音するしくみを理解する。
2. 音がどのような音響振動として現れるか、阻害音、共鳴音、圧力変化などの概念から理解する。
3. 音象徴の例を通して、母音や濁音の調音と音響を理解する。
4. 身近な音象徴の例を自ら発見し、分析する方法を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

まず「言語学」は言語をどういうものとして見ているかを概説し、表現面の形式である「音韻」が実質である「音声」によって実現されているという発想に慣れ、「音象徴」と呼ばれる現象の分析に入ります。具体的には、音声がある振る舞いをする時に「なぜそのような振る舞いをするのか」を、音声学で必要になる概念や道具立てを使って分析・研究・理解していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入 1	言語とは
2	導入 2	音声とは
3	優しい音、ツンツンした音	どこでどのように発音するか
4	阻害音、共鳴音、圧力変化	阻害音、共鳴音の物理学的な定義
5	大きな音、小さい音	母音と「大きさのイメージ」
6	母音の調音と音響	母音の発音の仕方
7	濁音と向かい合う	聞き取ってみる 調音してみる
8	濁音の調音と音響	有声音と無声音の発音の仕方の違いとイメージ
9	その他の音象徴	音象徴の具体例の「音声学」の概念による理解
10	音象徴研究の実例	音象徴研究の例

11	音象徴・音声学とその関連分野	より広い視点から音象徴・音声学を考える
12	気になる音象徴についての発表 1	受講生が自ら音象徴について調べたことを発表 1
13	気になる音象徴についての発表 2	受講生が自ら音象徴について調べたことを発表 2
14	最終試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

音声学はスポーツと同じです。できない発音があっても、訓練すればだれでもできるようになります。発音するしくみを理解し、再現できるように努めてください。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

決まったテキストを使う予定はありません。

【参考書】

川原繁人 (2017) 『「あ」は「い」より大きい!?』 ひつじ書房

川原繁人 (2018) 『ビジュアル発音が』 三省堂

J.C. キャットフォード, 竹林滋 ほか (訳) (2006) 『実践音声学入門』大修館書店

国際音声学会 (編), 竹林滋・神山孝夫 (訳) (2003) 『国際音声記号ガイドブック－国際音声学会案内－』大修館書店

【成績評価の方法と基準】

課題：20%

平常点：20%

発表：20%

期末試験：40%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Language is a system of linguistic symbols that combines the expressive aspect of the form of speech with the content aspect of the form of meaning. The academic field that focuses on the clarification of this system is called "linguistics". The science of sound, or phonetics, studies all aspects of communication using speech, the expressive aspect of language.

The phenomenon in which sound itself evokes a certain image is called "sound symbolism". In this class, we aim to explain phonetics as clearly as possible using the phenomenon of sound symbolism as a subject.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. To understand what happens when humans speak using speech sounds, and how individual sounds (consonants and vowels) and their sequences are pronounced.
2. To understand how sounds appear as acoustic vibrations, based on concepts such as inhibitory sounds, resonant sounds, and pressure changes.
3. To understand the articulation and acoustics of vowels and murmurs through examples of sound symbols.
4. To learn how to discover and analyze examples of familiar sound symbols.

【Learning activities outside of classroom】

Phonetics is just like sports. Even if you can't pronounce something, you can learn to do it with practice. Please try to understand the mechanism of pronunciation and try to reproduce it.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 40%, Presentation: 20%, Assignments : 20%, in class contribution: 20%

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

大西 正人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

2024年度までに「哲学 L I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義は、人間とは何か、その本質に哲学的に迫ろうとする哲学の人間論です。

たとえば最初に見る哲学者プラトンは、人間には万人共通の普遍的な本質があると言います。つまりそれによって初めて人間が人間であることができる「万人に共通なもの」があると言います。それは何でしょうか？それは幸福になりたいという願いです。自分が幸せになることへの欲求です。そして自分を幸せにしてくれる（くれそうな）《よきもの》に対する愛です。どんなにすねたり斜に構えて見せようと、本当は幸せになりたいと願っているんだというこの本質は人間である限り誰にも否定できないというのです。ただしプラトンのこの議論には、自分の幸せと他者の幸せのつながりを考える共同体主義的な含みがあることにも注意しなければなりません。人間は独りぼっちでは幸せになれないと考えられています。子の幸せを願う親の幸せなどを考えてみるとわかるように、人間の真の幸せは他者の幸せを通じて実現されるような共同的本性を持つと考えられています。

講義ではこのように、それぞれの哲学者が何を人間の本質的な性格として考えているか、を哲学的人間論として取り出していきます。

【到達目標】

到達目標は、受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにすることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。毎週授業内で、その回の内容について問うグーグルフォーム上の小テストを行う。小テストはその採点結果が模範解答付きで次の授業までに返され、さらに次の授業で解説される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学とは？
2	プラトン(1)	「イデアの萌芽」としての人間存在
3	プラトン(2)	『饗宴』 アリストファネスの話
4	プラトン(3)	『饗宴』 ソクラテスの話
5	西田幾多郎(1)	『善の研究』 - 「知即愛」の命題
6	西田幾多郎(2)	「主客合一」としての人間存在
7	和辻哲郎(1)	『倫理学』 - 「間柄」としての人間存在
8	和辻哲郎(2)	「矛盾の統一」としての人間存在
9	和辻哲郎(3)	『風土』 - 「風土」のうちに己を見出す人間存在

10	和辻哲郎(4)	主体としての風土
11	ブーバー(1)	『我と汝』
12	ブーバー(2)	「汝」としての世界
13	ブーバー(3)	ブーバー:我と汝の芸術論
14	哲学LAのまとめ	哲学のふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義で取り上げられ、その一部が教材プリントとして授業内でも配布される下記の文献は、すべて岩波文庫で入手できるので、学生は、授業計画に合わせてこれらの文献を読むことが推奨される。

プラトン『饗宴』、西田幾多郎『善の研究』、和辻哲郎『倫理学』(一)、和辻哲郎『風土』、マルティン・ブーバー『我と汝・対話』

復習として、返却された前回の小テストの模範解答をチェックし、間違えた箇所があればその点を中心にノートやプリントを振り返り、特に疑問などは次の時間に質問できるようにしておくこと。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

こちらでプリントを用意します。

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点100%で評価。

【学生の意見等からの気づき】

毎回行っている前回小テストの解説を工夫し、これまでの復習や定着がより効率的にできるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

グーグルフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PCが望ましい。

【その他の重要事項】

ノートをとることが大切です。

【Outline (in English)】

This lecture is a philosophical anthropology that seeks to philosophically explore the essence of what it means to be human.

For example, Plato, the first philosopher we examine, states that humans possess a universal essence common to all. In other words, he asserts there exists a “commonality among all” that is essential for humans to be human. What is this? — It is the desire to be happy. It is the desire to be happy oneself. And it is the love for the “good things” that make (or seem to make) one happy. Plato argues that this essence — the fact that deep down, no matter how sulky or cynical one may appear, everyone truly desires happiness — cannot be denied by anyone who is human. However, it is important to note that Plato’s argument also carries a communitarian implication, considering the connection between one’s own happiness and the happiness of others. It is believed that humans cannot be happy alone. As can be seen when considering the happiness of parents who wish for their children’s happiness, true human happiness is thought to possess a communal nature, realized through the happiness of others.

In this lecture, we will thus extract what each philosopher considers to be the essential character of humanity as philosophical anthropology.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

大西 正人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

2024年度までに「哲学 L II」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

万学の父ともいわれるアリストテレス流の考えによれば哲学は他の個別の学問と違って、その対象は経済だけとか物理だけとか単に個別の領域や次元の原理にすぎないのではなく、万物（あらゆるもの）の存在の原理の探求である。しかしこうした考えかたは、特に近代になって専門的な学問が発展してくれば非科学的な大風呂敷だとして評判が悪い。そんな大風呂敷を広げているから哲学は、いつまでも学問全体の土台となるべき共通の原理ひとつ見つけれられないのだ、唯物論的だったり観念論的だったり、自然主義的だったり反自然主義的だったり、その他もろもろの対立に引き裂かれ支離滅裂となり、学問として成り立たないありさまではないかというわけである。しかしこの講義では、やはり哲学にも共通の土台となる原理があるのだという見方を伝えたい。その原理とは、哲学が探求しようとするような万物の存在に対してはもはや外部は存在しない、存在以外のものは無であるという存在論である。そしてそのように外がない存在そのものに対しては、有限なものに対してのように外からの強制や破壊は起こりえない、だから存在のあり方は存在それ自身に由来し存在そのものは自己形成的であるという自己形成的存在論である。講義ではこうした自己形成的存在論がさまざまな対立的な哲学諸体系を生み出す共通の土台として垣間見えるのだという観点で哲学の歴史をふりかえる。

【到達目標】

受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。毎週授業内で、その回の内容について問うグーグルフォーム上の小テストを行う。小テストはその採点結果が模範解答付きで次の授業までに返され、さらに次の授業で解説される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学LBへの導入
2	哲学の基本的性格(1)	今西錦司(1)生命的自然観－自己形成的世界観の前哨として
3	哲学の基本的性格(2)	今西錦司(2)生命的自然観－自己形成的世界観の前哨として その2
4	哲学の根本原理(1)	アリストテレス(1)自己形成的世界観としての形而上学
5	哲学の根本原理(2)	アリストテレス(2)自己形成的世界観としての形而上学 その2

6	近代哲学の原理(1)	デカルト(1)自己形成的世界観の展開としての近代哲学 近代化の原理としての主観客観二元論
7	近代哲学の原理(2)	デカルト(2)デカルトの近代的 세계観
8	近代哲学の原理(3)	デカルト(3)近代的主客二元論
9	近代哲学の原理(4)	デカルト(4)「近代的分裂」の予告としての近代的主客二元論
10	近代哲学の原理(5)	合理論と経験論「近代化」と「近代的分裂」の原理としての主客二元論 近代哲学の分裂－合理論と経験論
11	近代哲学の発展(1)	カントとヘーゲル(1)カントによる近代哲学の分裂克服の試み
12	近代哲学の発展(2)	カントとヘーゲル(2)カントのアンチノミー論
13	近代哲学の発展(3)	カントとヘーゲル(3)ヘーゲルの弁証法的世界観
14	近代哲学の発展(4)	カントとヘーゲル(4)ヘーゲルの弁証法的世界観その2

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義で扱われる下記の文献などは事前に読むことが推奨される。今西錦司『生物の世界』、アリストテレス『形而上学』、デカルト『省察』復習として、返却された前回の小テストの模範解答をチェックし、間違えた箇所があればその点を中心にノートやプリントを振り返り、特に疑問などは次の時間に質問できるようにしておくこと。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

こちらでプリントを用意します。

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

原則、授業中に行われる上記小テストの合計点100%で評価。

【学生の意見等からの気づき】

毎回行っている前回小テストの解説を工夫し、これまでの復習や定着がより効率的にできるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

グーグルフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PCが望ましい。

【その他の重要事項】

ノートをとることが大切です。

【Outline (in English)】

According to the Aristotelian school of thought, also known as the father of all sciences, philosophy is different from other individual sciences in that its subject is not merely the principle of an individual domain or dimension, such as economics alone or physics alone, but the search for the principle of the being of all things (everything). However, this way of thinking has a bad reputation as unscientific big talk, especially in modern times when specialized studies have developed. According to this modern view, it is because of this grandiose big talk that philosophy has never been able to find a common principle that should be the basis of the entire discipline, and it has become torn apart by various conflicts such as materialism versus idealism, naturalism versus anti-naturalism and so forth, and has become incoherent, making it unsustainable as a science. However, in this lecture, I would like to convey the view that philosophy also has a principle that is the common ground for all philosophies. This principle is the ontology, which states that there is no outside to the being of all things, which philosophy seeks to explore, and that anything other than being is nothing. And for such a being that has no outside, there can be no coercion from the outside or external destruction, as there is for finite things. Therefore, the way of being is derived from the being itself, and the being itself is self-forming. In the lecture, I will review the history of philosophy from the viewpoint that this self-formation ontology can be glimpsed as the common ground that gives rise to various opposing philosophical systems.

PHL200LA（哲学 / Philosophy 200）	
哲学 L A	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
白根 裕里枝	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：木4/Thu.4
単位数：2単位	
2024年度までに「哲学LⅠ」の単位を修得済みの場合、履修不可	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学という難しいという印象があるかもしれないが、何も特別のことではない。私たちは生きてゆく上で、常に様々な行為を選んで、様々な幸せを目指しているが、善く生きて幸福になるためには、よりよく、正しく考えること、つまり哲学が必要なのである。人間の尊厳は考えるということにある。誰もが、正しく考えるために、哲学を学ぶことが必要なのである。哲学はあらゆる学問の基礎である。学生は、何を学ぶにしても、哲学がその根本に関わることを知るだろう。さらには他の学問、とりわけ、今日、絶大なる信頼を持ってその地位の確立されている近代科学のあり方を振り返ることで、哲学の重要性も再確認できるだろう。その上で、哲学を学ぶことで、私たちが幸せによく生きるためにはどうしたらよいかを考えてみたい。哲学とは、本来、学ぶものではなく、自分で考えるものなのだから。

【到達目標】

この授業では西洋の哲学の基礎を学ぶ。哲学は古代ギリシアに誕生した。どのような考えのもとで、哲学が生まれたのか、その後、どのような変遷を辿ったのか、そもそも哲学が問題としたことは何であるのか、古代ギリシアの源流から探りたい。

哲学LAでは、哲学の源である古代ギリシア哲学に遡って、哲学とは何か、その根本的な特徴を捉えた上で、哲学はその他の学問や科学とはどう異なるのか、また、なぜ哲学が必要とされるのかなどを探ってみたい。学生は、まずはオーソドックスな哲学の基礎を学ぶことで、哲学のそもそもの誕生の現場を知ることができる。それは学問の誕生の場でもあるから、すべての学問を学ぶ上での基本的な見取り図を手に入れることができるだろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】
L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

今年度、この講義は、対面授業とオンライン授業を隔週で交互に行う予定です。どちらの場合も授業は基本的にプリントを用いた講義形式である。哲学者たちの生き方をめぐるエピソードなども交えながら、オーソドックスな哲学の考え方をわかりやすく講義してゆく。補助資料によって著名な哲学者たちの言葉に直接に触れることで、理解を深めてゆきたい。できるだけ、わかりやすい授業を目指す。オンラインの回は課題の提出を重視する。課題のコメントの提出によって、自分の考えを確認する機会にもなるだろう。課題やコメントへのフィードバックは、対面授業の初めに行う予定。なお、教室収容定員を超過した場合は抽選を行うので、人数確認のために、履修を予定している人は第一回目までに（仮）登録するように。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	序論	No.1,授業の概略、足の裏に影はあるか？

2	哲学とは何か	No.2,「哲学」という語の由来、用例～ペリクレスの演説
3	哲学の誕生	No.3,「哲学」という語の用例2～知ることを欲する
4	哲学の出発点1	No.4,無知の自覚と愛知,ソクラテスの死と哲学（歴史的背景）
5	哲学の出発点2	No.5,無知の自覚と愛知
6	哲学の出発点3	No.6,『ソクラテスの弁明』を読む
7	その他の出発点	No.7,その他の出発点、驚き、懐疑、絶望…
8	哲学とは何か・まとめ1	No.8,愛の3つの対象と知への愛
9	哲学とは何か・まとめ2	No.9,知への愛、学期末レポート1提出
10	哲学と科学1	No.10,知についての考察
11	哲学と科学2	No.11,部分と全体、現象と本質・法則と原理、仮説性の自覚と原理の探究
12	哲学と科学3	No.12,分析と反省、知るものと知られるもの、薔薇の木に…
13	哲学と科学4	No.13,事実と価値、手段と目的、対象の知と主体知、哲学と科学の相補性
14	哲学と科学、まとめ	学期末レポート2提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げた著作を、実際に手に取って読んでみる。本授業の準備・復習時間、並びに毎回の課題の提出準備は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

受講者は、下記を必ず読むこと。
『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書、1966年、¥ 814

【参考書】

『西洋哲学史 古代・中世編―フィロソフィアの源流と伝統』内山 勝利、中川 純男、ミネルヴァ書房
『哲学の歴史』1～5、中央公論新社
『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

毎回の課題の提出などの平常点（40％）と、学期末試験（レポート）（60％）によって評価する。学期末のレポートは、授業で扱った内容について自分の考えを書くという論述形式である。オンラインの場合、酷似したレポートはどちらも減点の対象とする。

★AIについては、AIを用いた記述はもちろん、AIを自分の文章の修正に用いることも、疑わしい場合を含めて一切認めないので、AIを利用しないように注意すること。毎回、自分の言葉で書くこと。

【学生の意見等からの気づき】

難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴らしさをじっくり伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。対面授業の場合、授業中の私語には厳しく対処し、板書の写メ、スマホも禁止してゆく。

【学生が準備すべき機器他】

オンラインの場合は、「学習支援」を通じて、資料の配布や課題の提出などを行うので、できるだけパソコンで「学習支援」を見たり、課題を提出したりすることが望ましい。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to sciences.

At the end of the course, students are expected to understand much better what philosophy is through the knowledge about the origins of Western philosophy.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end report: 60%, Short reports: 40% and in-class contribution.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

白根 裕里枝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

2024年度までに「哲学 L II」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学LBでは、「III. 哲学と宗教」、「IV. 哲学と幸福」について考察する。宗教というと嫌いだとか怖いと思う人もいるかも知れないが、ユダヤ教、イスラム教、キリスト教はどれも同じ神を信じながら、今日、様々な問題を引き起こしているのも事実である。まずは、その思想と歴史的事実をよりよく知ることが重要である。宗教の成立過程を見ることで、宗教の思索の持つ素晴らしい面や意義を知ることができ、また逆に、その問題点や危険性を知ることでもできるだろう。哲学の観点から、今日における宗教の問題を考え、哲学の意義を再考してみたい。

他方で、哲学は人間の真の幸福を探求する。幸福、つまり、善き生とは何か。われわれは誰もが幸福になりたいと願っているが、たとえば、科学だけで、あるいは、宗教によって、幸福になれるのだろうか？ 幸福になるには何よりも哲学が必要である。幸福になるための条件とは何であり、そもそも幸福とは何なのだろうか。哲学の観点から幸福について考えてみたい。

【到達目標】

西洋の文化や思想、芸術に大きな影響を与えてきたキリスト教だが、その教義の形成にはギリシア哲学が大きな影響を与えてきた。学生は、哲学との対比を通して、キリスト教やその他の宗教について、付かず離れずに見る視点を確保することができるだろう。偉大な宗教は、人間の弱さ、惨めさをとことん見つめようとする。哲学は、人間の知の可能性を可能な限り追求する。「信じる」とことと「知る」とこととの緊張関係において、哲学と宗教の接点を考えてみたい。

また、幸福とは何か？ どうしたらわれわれは幸福な生を送ることができるのか？ 古代ギリシア・ローマの幸福論をみることで、私たちの幸福について考え直してみたい。幸福になるには、よく知ることがいかに大事か、真の幸福の鍵が哲学にあることが理解されるだろう。愚かさこそが、私たちの不幸の原因なのだから。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

今年度、この講義は、対面授業とオンライン授業を隔週で交互に行う予定です。どちらの場合も授業は基本的にプリントを用いた講義形式で進める。まずは、哲学と宗教の根本的相違点である知と信の問題に触れる。その上で、ユダヤ教、キリスト教、ギリシア哲学者たちの神観などについて、補助プリントなども用いて概要を把握した上で、哲学と宗教との関わりについて考えたい。また、哲学者たちの生き方をめぐるエピソードなども交えながら、幸福をめぐる哲学を考えてゆく。できるだけ、わかりやすい授業を目指す。

オンラインの回は課題の提出を重視する。課題のコメントの提出によって、自分の考えを確認する機会にもなるだろう。課題やコメントへのフィードバックは、対面授業の初めに行う予定です。なるべく哲学LAから取るようにして下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	序・哲学とは何か？、復習	No.1, 哲学と科学と宗教の関係
2	哲学と宗教の相違点	No.2, 知の立場と信の立場
3	ユダヤ人とユダヤ教 1	No.3, ユダヤ人とは
4	ユダヤ人とユダヤ教 2	No.4, 旧約聖書とメソポタミア
5	キリスト教とは	No.5, キリスト教——愛の宗教
6	ギリシア哲学とキリスト教	No.6, 知と信の葛藤
7	現代における宗教の存在理由	No.7, 人間知性の偉大さとその限界
8	宗教心の源泉	No.8, パスカールとアウグスティヌス・自由意志と悪の問題
9	哲学と宗教、まとめ	No.9, 自力と他力——人間の強さと弱さについて, 学期末レポート 1 提出
10	哲学と幸福（善き生） 1	No.10, 幸福論——哲学とよき生, 幸福は知による
11	哲学と幸福（善き生） 2	No.11, 意志の弱さと選択の問題、無知と不幸
12	哲学と幸福（善き生） 3	No.12, 正義と幸福、善と快——ソクラテスの場合
13	哲学と幸福（善き生） 4	No.13, カリクレス説、ソクラテスの後継者たち
14	まとめと解説	学期末レポート 2 提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で触れて、興味を持った哲学者の著作を、自分で手に取って読んでみて下さい。本授業の準備・復習時間、並びに毎回の課題の提出準備は、各々2時間程度を標準とします。

【テキスト（教科書）】

受講者は、下記を必ず読むこと。

『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書、1966年、¥ 814

【参考書】

『西洋哲学史 古代・中世編—フィロソフィアの源流と伝統』

内山 勝利、中川 純男著、ミネルヴァ書房

『哲学の歴史』1～5、中央公論新社

『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

毎回の課題の提出などの平常点（40％）と、学期末試験（レポート）（60％）によって評価する。毎回の課題を提出済みであること。学期末試験のレポートは、授業で扱った内容について自分の考えを書くという論述形式である。

★ AI については、AI を用いた記述はもちろん、AI を自分の文章の修正に用いることも、疑わしい場合を含めて一切認めないで不合格とするので、AI を利用しないように注意すること。毎回、自分の言葉で書くこと。酷似したレポートはすべて減点の対象とする。AI を用いたと疑われる場合は証拠を挙げてしつこく追求するので覚悟すること。

【学生の意見等からの気づき】

難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、じっくり楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴らしさを伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。対面授業の場合、授業中の私語には厳しく対処し、板書の写メ、スマホも禁止してゆく。オンラインの場合、酷似したレポートはどちらも減点の対象とする。

【学生が準備すべき機器他】

オンラインの場合は、「学習支援」を通じて、資料の配布や課題の提出などを行うので、できるだけパソコンで「学習支援」を見たり、課題を提出したりできることが望ましい。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to religion. And also this course introduces the philosophical theory of eudaemonics (happiness) to students taking this course.

At the end of the course students will be able to understand the difference between philosophy and religion and find in what point the clear distinction should be made between them. Students, what is more important, will be able to find the key to understanding of happiness.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end report: 60%, Short reports: 40% and in-class contribution.

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

哲学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：社会思想史

政井 啓子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期では、ヨーロッパ社会思想史における、古代ギリシャから近世までの基本的な諸思想を学びます。

「社会思想史」は、「人間と社会共同体との関係はどうあるべきか」という問題についての人類の探求の歴史です。

古代ギリシャから近世まで、哲学者たちは「自然本来の恒常不変な秩序」を探求していました。この「恒常不変な秩序」とは、人間にとって変更不可能なものであり、人間社会での、真偽・正不正・美醜善悪などを区別するための基盤となるものでもあります。探究の仕方は、知性主義あるいは感覚経験重視など、哲学者によって異なり、また「人間に認識可能な恒常不変な秩序というものは無い」という相対主義や懐疑主義思想もあります。このような探究に基づいて、哲学者たちは多様な世界観と人間観を提示し、そして様々な望ましい社会のあり方を考えました。

本授業では古典にふれながら、順序正しく考えることの大切さ、常識や教科書的な通説とされる事柄を疑うということの重要性など、学生が人間の思考活動の豊かさを実感して、さらに自分の考えを具体的な表現で論理的に説明できるようになることを目指します。

【到達目標】

- (1) 学生が、古典思想を学ぶことを通して、論理的な思考法と、「恒常不変な秩序」についての諸研究を理解する。
- (2) 学生が、現代社会の諸問題についての冷静な分析力や判断力を養い、自分の考えをできるだけ明確にし、文章として表現できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は講義形式です。毎回、授業のレジュメと資料を配布し、それを元に解説します。

受講生には、授業後にリアクションペーパー（質問・感想・意見）を提出してもらい、次回の授業でそのいくつかを匿名で紹介し、コメントします。学期中に小レポートを提出してもらいます（3～5回の予定）。期末レポートは、最終授業後1週間以内に、学習支援システムから提出してもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の概説	古代から近世までの思想の流れ。 授業の進め方の説明
第2回	アテネ民主政時代の思想	「自然本来の秩序」と「人間社会の法」
第3回	プロタゴラスの思想 （人間は万物の尺度である）	民主政と道徳的相対主義
第4回	ソクラテスの思想	「愛知の精神」と「無知の自覚」

第5回 プラトンのイデア論 「同一不変であるもの」

第6回 プラトンの国家観 「理想国」と民主政

第7回 アリストテレスの思想 人間の幸福と社会共同体

第8回 ヘレニズム時代の思想 政治的自由の喪失と個人主義思想

第9回 ルネサンスの思想と科学革命 古代哲学の復興と「自然」の探究

第10回 デカルトの思想 「私は考える、ゆえに私は在る」
自然学（自然科学）の基礎付け
「科学」と「技術」と「社会制度」

第11回 自然科学の発展 「社会契約説」

第12回 自然法思想

第13回 道徳哲学の2潮流 利己主義と利他主義

第14回 モラルセンス説の展開 ヒュームとアダム・スミスの思想

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回授業で配布する資料および授業内で紹介する文献を読んで、準備と復習をしてください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

『社会思想史』（法政大学通信教育部 発行）。プラトンやアリストテレスやデカルトなどの哲学者の著作、その他の参考文献は授業内で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業内容の理解度と上記「到達目標」の達成度によって評価します。大体の目安として、平常点（リアクションペーパー）30%、小レポート20%、期末レポート50%です。

【学生の意見等からの気づき】

配布資料を工夫し、授業内容をより理解しやすく伝えるよう努めます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course introduces some fundamental thoughts in the history of European social thought from ancient Greece to the early modern period, to students taking this course. From ancient Greece to the early modern period, philosophers sought "the constant and unchanging order of nature." This unchangeable order of nature is also the basis for discriminating between right and wrong, good and evil, etc. in human society. Through such quests, philosophers expressed diverse opinions about the world and human beings, and devised various ideal social systems.

(Learning Objectives)

(1) The goals of this course are for students to understand logical thinking, and recognize researches on "constant and unchanging order", by learning classical philosophy.

(2) At the end of this course, students are expected to be able to calmly analyze various problems in modern society, clarify their thoughts and express them in logical sentences.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Short reports: 25%, Reaction papers: 25%

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 由加里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義の目的は、社会思想としての「フェミニズム」について考察することである。現代の日本社会において、ジェンダー格差が問題にされることは多い。メディアの報道で世界経済フォーラムによるジェンダーギャップ指数のランキングなどを目にすることもある。「フェミニズム」は女性解放とジェンダー平等の実現を課題にしてきた社会運動であり、社会思想の一つである。本講義では、「フェミニズム」の歴史的意義と現代的価値について学び、現代社会に存在する具体的な問題、性暴力、セクシュアル・ハラスメントなどに対する考察と分析、対象方法などを考えることを目的としている。また、ジェンダー概念によって開かれた問題、性的マイノリティの権利問題などについても考察研究する予定である。

【到達目標】

社会思想に関する基本的な歴史を踏まえつつ、社会思想としての「フェミニズム」について論じられるようになることが本授業の目的である。歴史的な事象や現在世界および日本社会で起こっていることについての的確な情報の把握、学問的分析を行い、感情論ではない自分なりの見解を正しい知識の基づいて文章化できるようになることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は、PowerPointを使った講義と映像資料などを活用し、ディスカッションとレポート（リアクションペーパー）作成によって構成される。レポートは、大学の「課題」提出システムを使ったデジタルでの提出を予定している。リアクションペーパーについては、講義内で講評し特に優れたものについては、授業中に匿名で紹介する予定である。資料などはプリントアウトしたものを教室で配布予定。

また、コロナ禍が収束せず、対面授業が不可能な場合は、以下のような形で講義形式になる。

【遠隔授業の場合】

PowerPoint ファイルに動画を載せた動画やインターネット上の動画視聴と課題によって、構成される。質問などについては、授業時間中に文字チャットで対応。Google のシステム、ハングアウトを利用。課題は、Hoppii のシステムを利用し個別に採点して返却。こちらへの参加は、大学から与えられているメールアドレスでの参加をすること。

「学習支援システムガイド」の「お知らせ」から、授業動画、参照動画へのリンク先を指示する。教材のところから、各自レジュメ、資料などをダウンロードして学習に役立てること。

動画の視聴可能期間は、1週間。課題提出も1週間後に設定予定。オンデマンドなので、動画は何度でも視聴可能。質問や文字チャットによる意見交換（自由参加）は、水曜日4限の授業時間中に行う。課題提出をもって、出席とする。

なお、授業計画内容は学生の理解度などによって前後したり別のものに差し替えられる可能性がある。「学習支援システム」のお知らせを毎回確認して欲しい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業説明及び社会思想とフェミニズムの関係について。	課題提出の方法、成績評価の認定、レポートのレベルや採点基準の説明。 簡単に講義全体のテーマについての説明を行う。課題の出題あり。
第2回	社会思想とはどのような学問か？（概論）	社会思想史という学問の歴史と対象領域についての基礎的なことについての講義を行う。
第3回	フェミニズムの歴史①	フェミニズム前史から第一波フェミニズムの成立まで。フランス革命から婦人参政権運動。
第4回	フェミニズムの歴史②	社会運動としての「フェミニズム」から第二波フェミニズム成立について歴史的経緯を学ぶ。
第5回	第二波フェミニズムの問題射程と現代社会	婦人参政権獲得後の「フェミニズム」の課題について学ぶ。アメリカとフランスの事例について。
第6回	日本におけるフェミニズム	「ウーマンリブ」とは何であったのか？ 第二波フェミニズムの日本への影響について。
第7回	フェミニズムとジェンダー概念	ジェンダー概念の意味と歴史的経緯を学ぶ
第8回	ジェンダーに対する社会的理解と誤解	日本の社会において「ジェンダー」という言葉がどのように使われてきたかを学ぶ。
第9回	「ジェンダー」概念によって開かれた問題①	ジェンダー・アイデンティティについて学ぶ
第10回	「ジェンダー」概念によって開かれた問題②	性的指向について学ぶ。いわゆる「LGBT」問題について考察する。
第11回	ジェンダー差別という問題設定	社会的不平等論と現代の日本社会について学ぶ
第12回	性暴力について	性暴力被害とはどのような「被害」であるのかを分析する。可能ならば動画の紹介をする。
第13回	社会問題としてのセクシュアル・ハラスメント	セクハラ問題の現状と分析
第14回	ジェンダー論とフェミニズムについて	フェミニズムは過去の社会思想なのかを問い直す。参考資料としての動画視聴と最終課題の提示。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考文献、資料などを読み、どの知識が不足しているのかを確認し、各自補足すること。参考文献、参考資料などを読み込んでおいてほしい。

授業後については、授業時間内では十分な形で各種の資料を紹介出来ない。できる範囲で映像資料を視聴したり、配布された文章資料などの読解をすすめる努力をしてもらいたい。授業内で配布された参考文献リストなどに目を通し、学習を深めておこう。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

担当教員が作成した授業レジュメ、デジタルデータは学習支援システム「教材」フォルダにPDFファイルもしくはjpgファイルの形でアップロードする。

【参考書】

『フェミニズム ワードマップ』江原 由美子（編集）、金井 淑子（編集）新曜社（1997/09）
『フェミニズムの歴史』ジャン・ラボー著 加藤康子訳新評論（1987/10）

『現代日本女性史ーフェミニズムを軸として』 鹿野政直 有斐閣 (2004/07)

『女性解放思想史 ちくま学芸文庫』 水田珠枝 筑摩書房 (1994/05)

『フェミニズム (思考のフロンティア)』 竹村和子 岩波書店 (2000/10/20)

その他授業時、レジュメなどで参考文献を紹介する。

【成績評価の方法と基準】

「学習支援システム」で出題されるレポート課題をすべてを提出することが必須である。提出されたレポート課題の内容から到達目標の達成度合いを判断して成績を評価をする。

レポートの評価は、課題提出の回数×取得点数/10＝総合点数→100点換算

として点数化

レポートもしくはテストは各回10点満点

＊課題の回数は学生の理解度と授業進度によって変わる。課題については授業時に詳細を発表するので、欠席した場合は各自情報を集めること。

レポート80% 平常点20%

【学生の意見等からの気づき】

定員未満の人数での教場利用だったが、多少息苦しさを感じた。人数が多いため細部に目が行き届かず、いねむりやサボりに対する配慮が難しかった。まじめに授業に取り組めるように環境面やコミュニケーションにあり方に配慮したいと思う。

【学生が準備すべき機器他】

課題の提出に「学習支援システム」を利用するのでレポート提出、文字チャットに耐えうる情報機器及び通信環境が必要。

【その他の重要事項】

この講義では、セクシュアリティについて語ることが多い。特に、第十二講、第十三講では、「性暴力」がテーマになる。PTSD、フラッシュバックなどを引き起こす可能性がある。心身の健康を考えて、受講を検討して欲しい。

【Outline (in English)】

The purpose of this lecture is to consider "feminism" as social thought. "Feminism" is a social movement, a social movement that has been a subject of the realization of liberation of women and gender equality. This lecture aims to learn about the historical importance and contemporary value of "feminism", to consider and analyze concrete problems existing in contemporary society.

[Learning Objectives]

At the end of the course, students are expected to be able to gain knowledge about feminism as a social thought and write essays on modern gender issues.

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to read references and materials to see what knowledge they lack and supplement themselves.

[Grading Criteria /Policies]

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports : 80%、in class contribution: 20%

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

上田 瑞季

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、応用倫理学の一分野であるビジネス倫理学 (business ethics) を学ぶ。その結果として、各学生が人生において重大なモラル・ジレンマ、倫理的ジレンマに対峙した際に、いかに対応すべきかを検討できるようになることを目指す。

【到達目標】

- (1) ビジネスと倫理（学）の関係を自分なりに説明できる
- (2) 同一の物事・事柄に対して、多角的に把握かつ思考することができる
- (3) 功利主義・義務論・徳倫理学のそれぞれの理論的立場から事例を説明できる
- (4) ビジネスパーソンとしての良識・思考力・判断力を養う

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 授業形態：対面・講義形式（ただし、発言を求めることがある）
- 授業の進め方：講義＋小課題＋ディスカッション
- フィードバック：授業冒頭で、前回提出された小課題からいくつか取り上げる予定。
- 授業の課題：原則として、毎回課す予定。授業で取り上げた問題に対して、小課題を提出してもらう。思考を促し、自らの考えを言語化するスキルの向上を目的とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	本授業の概要・狙い・進め方・倫理学の重要性などを確認する
第2回	ビジネス倫理学とは何か	ビジネス倫理学とは何かを学ぶ
第3回	理論①：功利主義	ベンサム功利主義を学び、その視点から具体的な事例を考えてみる
第4回	理論②：義務論	カント倫理学を学び、その視点から具体的な事例を考えてみる
第5回	理論③：徳倫理学	アリストテレスおよび現代の徳倫理学を学び、その視点から具体的な事例を考えてみる
第6回	理論④：正義論	ロールズの正義論を学び、その視点から具体的な事例を考えてみる
第7回	理論⑤：ケアの倫理	ギリガンのケアの倫理を学び、その視点から具体的な事例を考えてみる
第8回	理論の振り返り・ピアレビュー	これまで学んだ理論を振り返りつつ、中間レポートを提出前に学生間で相互批評する

第9回	理論⑥：企業の社会的責任論	ストックホルダー理論・ステークホルダー理論について学ぶ
第10回	働くこと①：ブルシット・ジョブ	ブルシット・ジョブとは何かを学ぶ
第11回	働くこと②：ブラックバイト・グレーバイト・闇バイト	ブラックバイト・グレーバイト・闇バイトのもつ倫理的問題について考える
第12回	応用①：内部告発・公益通報	三大理論を用いて、内部告発の問題について考える
第13回	応用②：長時間労働	三大理論を用いて、長時間労働の問題について考える
第14回	まとめ・試験	これまでの授業を振り返り、理解を深める（授業内試験を予定）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業の復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

ジョセフ・R. デジャルダン『ビジネス倫理学入門』（文京学院大学グローバル・カリキュラム研究会訳）、文京学院大学総合研究所、2014年。
梅津光弘『ビジネスの倫理学』、丸善出版、2002年。
高浦康有・藤野真也（編）『理論とケースで学ぶ企業倫理入門』、白桃書房、2022年。
中谷常二（編）『ビジネス倫理学読本』、見洋書房、2012年。
トム・L. ピーチャム&ノーマン・E. ボウイ（編）『企業倫理学』、見洋書房、第1巻（2004年）～第4巻（2017年）。
佐藤方宣（編）『ビジネス倫理の論じ方』、ナカニシヤ出版、2009年。
田中朋弘・柘植尚則（編）『ビジネス倫理学 哲学的アプローチ』ナカニシヤ出版、2004年 など

【成績評価の方法と基準】

小課題などの平常点（20％）＋中間レポート（40％）＋期末試験またはレポート（40％）。
この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標60％以上に達した場合を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

・最初は文章が書けなくて小課題に取り組むのが大変だったが、続けていくうちに論理的に文章を書けるようになったという声が多かった。毎回小課題が課される授業だと思って履修していただきたい。
・グループワークやディスカッションのおかげで、同じ問題に対して他の学生がどのように考えているかを学べたというフィードバックが多かったため、引き続きその時間を設けていきたい。
・私語する学生が少なく、集中しやすい授業だったという声が多数あった。今年度もそのような授業運営・雰囲気作りを心掛けたい。

【学生が準備すべき機器他】

授業コードを使って、事前に学習支援システムに登録すること。

【その他の重要事項】

学生の要望や状況により、シラバスの内容が一部前後したり変更したりする場合があります。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on business ethics, a branch of applied ethics, and learn the basic concepts of ethics. The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics, and to be able to consider how to respond when you face with a serious moral dilemma (ethical paradox or moral dilemma) in your life. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following.
Short reports:20, Midterm report:40, Term-end examination:40.

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学 L II

2017年度以降入学者

サブタイトル：

上田 瑞季

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、応用倫理学の一分野である未来倫理（future ethics / Zukunftsethik）を学ぶ。その結果として、私たち現代世代が来たる未来世代に対して、どのような「道徳的責任」を担っているのかを検討できるようになることを目指す。

【到達目標】

- (1) 未来と倫理（学）の関係を自分なりに説明することができる
- (2) 同一の物事・事柄に対して、多角的に把握かつ思考することができる
- (3) 倫理学の理論的立場から事例を説明できる
- (4) 私たちが担っている未来世代への「道徳的責任」について考えることができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 授業形態：対面・講義形式（ただし、発言を求めることがある）
- 授業の進め方：講義＋小課題＋ディスカッション
- フィードバック：授業冒頭で、前回提出された小課題からいくつか取り上げる予定。
- 授業の課題：原則として、毎回課す予定。授業で取り上げた問題に対して、小課題を提出してもらう。思考を促し、自らの考えを言語化するスキルの向上を目的とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	本授業の概要・狙い・進め方・倫理学の重要性などを確認する
第2回	未来倫理とは何か	未来倫理・世代間倫理について考える
第3回	理論①：功利主義	パーフィットの功利主義を理解する
第4回	理論②：正義論	ロールズの正義論を理解する
第5回	理論③：ケアの倫理	ギリガンのケアの倫理を理解する
第6回	理論④：責任原理	ヨナスの責任原理を理解する
第7回	理論⑤：討議倫理	アーペルの討議倫理を理解する
第8回	理論⑥：共同体主義	デ・シャリートの共同体主義を理解する
第9回	理論の振り返り・ビ アレビュー	これまで学んだ理論を振り返りつつ、中間レポートを提出前に学生間で相互批評する
第10回	理論⑦：反出生主義	ベネターの反出生主義を理解する
第11回	事例①：気候変動	これまで学んだ理論を用いて、気候変動の問題について考える

第12回	事例②：放射性廃棄物処理	これまで学んだ理論を用いて、放射性廃棄物処理の問題について考える
第13回	事例③：ゲノム編集	これまで学んだ理論を用いて、ゲノム編集の問題について考える
第14回	まとめ・試験	これまでの授業を振り返り、理解を深める（授業内試験を予定）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業の復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

ハンス・ヨナス『責任という原理—科学技術文明のための倫理学の試み』、東信堂、2010年。
キルステン・マイヤー『未来への負債：世代間倫理の哲学』、人文書院、2025年。
戸谷洋志『未来倫理』、集英社新書、2023年。
戸谷洋志『ハンス・ヨナス 未来への責任』、慶応義塾大学出版会、2021年。
戸谷洋志『ハンス・ヨナスの哲学』、角川ソフィア文庫、2022年 など

【成績評価の方法と基準】

小課題などの平常点（20％）＋中間レポート（40％）＋期末試験またはレポート（40％）。
この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標60％以上に達した場合を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

・最初は文章が書けなくて小課題に取り組むのが大変だったが、続けていくうちに論理的に文章を書けるようになったという声が多かった。毎回小課題が課される授業だと思って履修していただきたい。
・グループワークやディスカッションのおかげで、同じ問題に対して他の学生がどのように考えているかを学べたというフィードバックが多かったため、引き続きその時間を設けていきたい。
・私語する学生が少なく、集中しやすい授業だったという声が多数あった。今年度もそのような授業運営・雰囲気作りを心掛けたい。

【学生が準備すべき機器他】

授業コードを使って、事前に学習支援システムに登録すること。

【その他の重要事項】

学生の要望や状況により、シラバスの内容が一部前後したり変更したりする場合があります。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on ethics of/for the future, a branch of applied ethics, and learn the basic concepts of ethics. The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics, and to be able to consider moral responsibility we take for future generations.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:20, Midterm report:40, Term-end examination:40.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 英明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義では、おもに人の生命誕生に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学ぶ。

【到達目標】

いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自ら思索を深めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回リアクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

大学の行動方針レベルが1の場合は、オンライン授業と対面授業を併用する。レベルが2となった場合は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	倫理学の基本概念	倫理学とはどのようなことを研究対象とする学問なのか、倫理学全般に関して説明する。
第2回	規範倫理学・記述倫理学・メタ倫理学	倫理学の3つのレベルについて、その概要を説明する。
第3回	バイオエシックスの誕生	1970年代に米国においてバイオエシックスが誕生した背景を解説する。
第4回	バイオエシックスの諸問題	バイオエシックスにおいて取り扱われるテーマを解説する。
第5回	倫理的価値としての生命	生命や健康は価値あるものとされているが、それはいかなる理由からかを考える。
第6回	生命の誕生と人工妊娠中絶の問題	生殖に関する生命倫理問題を考察する。
第7回	人口抑制と環境問題	生殖に関する生命倫理問題と人口問題や環境問題との関係を考察する。
第8回	「自然」とは何か	倫理問題を考えるうえで「自然」という概念がいかなる意味を持つのかを解説する。
第9回	優生思想	優秀な子孫を残し劣った子孫の出生を防止するという「優生思想」に関する問題を解説する。

第10回	社会ダーウィニズムと人種主義	優生思想と社会ダーウィニズムとの関係を解説し、ナチズムにおける位置づけを考察する。
第11回	人工授精と体外受精	具体的な生殖医療における生命倫理問題を概観する。
第12回	ウォーノック報告と自由主義	英国のウォーノック報告の基本的考え方を解説し、生命倫理学における自由主義について考察する。
第13回	凍結保存の倫理的意味	配偶子や受精卵の凍結保存の持つ意味とそれによってもたらされる倫理的問題を考察する。
第14回	まとめ ※別途期末レポートを提出	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。またプリントやノートを用いて授業内容について復習し、自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストとして今井道夫『生命倫理学入門 [第5版]』（産業図書）を使用し、他に資料を配付する。

【参考書】

授業内で提示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内小テスト（70％） 期末レポート（30％）

【学生の意見等からの気づき】

受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning the birth of people and learn the basic concepts of ethics.

The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics and to deepen your thoughts through specific bioethical issues. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:70,Term-end examination:30.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学 L II

2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 英明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義では、おもに人の死に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学ぶ。

【到達目標】

いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自らの思索を深めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回リアクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	倫理的観点から見た「人の死」	人の死とはどのようなことかをあらためて生命倫理学の視点から考察する。
第2回	脳死に関する倫理的諸問題	脳死とはどのような状態かを確認し、生命倫理学においてどのような問題を孕んでいるのかを概観する。
第3回	臓器移植と功利主義	臓器移植という医療が、功利主義的な考え方によってどのように正当化されるかを具体的に考察する。
第4回	功利主義の問題	功利主義とはどのような考え方を確認し、その問題点を明らかにする。
第5回	義務論と目的論	功利主義を義務論と対比し、義務論的な考え方について概観する。
第6回	幸福加算の可能性	「最大多数の最大幸福」を原則とする功利主義が前提とする幸福計算の可能性について考察する。
第7回	社会的コンセンサスの倫理的意味	合意形成の可能性について倫理的視点から考察する。
第8回	安楽死・尊厳死・自然死	安楽死とはどのようなことかを解説し、安楽死に関する生命倫理問題を概観する。
第9回	生命の質	安楽死容認の根拠とされる考え方を考察する。

第10回	パターナリズム	自律原理に基づく医療とは対置されるパターナリズムの内容とその問題点を明らかにする。
第11回	自己決定の問題	安楽死の根拠とされる自律原理に関わる問題を明らかにする。
第12回	「判断能力」の有無	自己決定権行使の前提となる「判断能力」について、その内容を考察するとともに、問題とされる具体的事例を考察する。
第13回	「人格」概念	人間とはいかなる存在かをパーソン論の観点から考察する。
第14回	まとめ ※別途期末レポートを提出	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。また授業内容について復習し、自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストとして今井道夫『生命倫理学入門 [第5版]』（産業図書）を使用し、他に資料を配付する。

【参考書】

授業内で提示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内小テスト（70％） 期末レポート（30％）

【学生の意見等からの気づき】

受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning human death and learn basic concepts of ethics.

The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics and to deepen your thoughts through specific bioethical issues. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:70,Term-end examination:30.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代思想の倫理

杉本 隆久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業の目的は、いわゆる「現代思想」と総称される思想的潮流（実存主義、構造主義、ポスト構造主義、現象学など）を、単なる理論史として理解するのではなく、そこに伏在している倫理的問題系を析出し、現代社会における生のあり方・他者との関係・責任の条件を批判的に問い直すことである。

とりわけ、本授業では、規範や価値を直接的に提示しない思想が、いかなる仕方で倫理的含意を孕み、また同時にいかなる倫理的困難や危険性を抱え込んでいるのかを検討することを通じて、「倫理とは何か」という問いそのものを再定義することを目指す。

こうした目的を通じて、本授業では現代社会における多様な倫理的諸問題に対してどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるようにする。

倫理学 L I では、まず現代思想に影響を与えた思想やその源流に位置付けられる思想に焦点を当てることから始め、その後、現代思想の思想的潮流に分け入っていく。具体的には、現代思想に影響を与えたスピノザの『エチカ』、ヘーゲルの倫理思想、そして現代思想の源流に数え上げ得られるマルクスの思想、ニーチェの「生の哲学」、ソシュールの「一般言語学講義」など現代思想に影響を与えた諸学説を倫理的観点から取り上げる。

【到達目標】

この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理的に考察することを目指します。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目指します。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は、講義形式の授業です。原則対面授業を行います。ただし、「オンライン授業による教育効果が高い場合」の条件に該当する授業回に限り、全授業回の半数を超えない範囲（7回以下）で、オンライン授業を実施する場合もあります。

授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、毎回の授業課題を提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。

なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、学習支援システムより通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	現代思想の倫理	授業ガイダンスを行う。また、現代思想とそこに垣間見える倫理的問題についての概説も行う。
第2回	現代思想への影響 (1)：スピノザの倫理学 (1)	現代思想、とりわけポストモダンの哲学者ドゥルーズに影響を与えたスピノザの『倫理学』について「感情」という観点から検討する。
第3回	現代思想への影響 (1)：スピノザの倫理学 (2)	現代思想、とりわけポストモダンの哲学者ドゥルーズに影響を与えたスピノザの『倫理学』について「心身並行論」という観点から検討する。
第4回	現代思想への影響 (1)：スピノザの倫理学 (3)	現代思想、とりわけポストモダンの哲学者ドゥルーズに影響を与えたスピノザの『倫理学』について「心身並行論」という観点から検討する。
第5回	現代思想への影響 (1)：スピノザの倫理学 (4)	現代思想、とりわけポストモダンの哲学者ドゥルーズに影響を与えたスピノザの『倫理学』について「一義性」という観点から検討する。
第6回	現代思想への影響 (1)：スピノザの倫理学 (5)	現代思想、とりわけポストモダンの哲学者ドゥルーズに影響を与えたスピノザの『倫理学』について「自由」という観点から検討する。
第7回	現代思想への影響 (2)：ヘーゲルの倫理学 (1)	現代思想に影響を与えたヘーゲルの倫理思想をについて、とりわけ道徳性と人倫の総合・有和という観点から検討する。
第8回	現代思想への影響 (2)：ヘーゲルの倫理学 (2)	現代思想に影響を与えたヘーゲルの倫理思想をコジェーヴによるヘーゲル講義（『ヘーゲル読解入門』）を通じて検討する。
第9回	現代思想の源流 (1)：マルクスの唯物史観とマルクス主義	現代思想の源流の一人に数え上げられるマルクスの唯物史観とマルクス主義について倫理的観点から検討する。
第10回	現代思想の源流 (2)：ニーチェの「生の哲学」(1)	現代思想の源流の一人に数え上げられるニーチェの「生の哲学」について「遠近法主義」という観点から検討する。
第11回	現代思想の源流 (2)：ニーチェの「生の哲学」(2)	現代思想の源流の一人に数え上げられるニーチェの「生の哲学」について「力への意志」という観点から検討する。
第12回	現代思想の源流 (3)：ソシュールの「一般言語学講義」	現代思想の源流の一人に数え上げられるソシュールの「一般言語学講義」について倫理的観点から検討する。
第13回	ポパーの批判的合理主義	20世紀の哲学者カール・ポパーの哲学について倫理的観点から検討する。
第14回	ハイデガーと書かれなかった倫理学	ハイデガーの哲学、とりわけ存在論や技術論から読み取れる倫理思想について検討する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨んでください。

受講後は、不明点を理解できたかどうか復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にテキストは使用しません。授業のテーマに関係する資料を共有します。

【参考書】

- ・リチャード・バーンスタイン著『手すりなき思考』（産業図書）
- ・ハーバート・スピーゲルバーグ著『現象学運動』（上・下）（世界書院）
- ・エリック・アリエズ著『ブックマップ 現代フランス哲学』（松籟社）
- ・ヴァンサン・デコンブ『知の最前線 現代フランス哲学』（TBSブリタニカ）

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に、学習支援システム上から毎回の授業課題を提出してもらう。また期末にレポートを提出してもらいます。以上の2点を総合して評価します。

評価の比率は、課題60%、期末レポート40%とします。

【学生の意見等からの気づき】

一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。また毎回の授業課題を活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

【学生が準備すべき機器他】

授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては学習支援システムより通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【その他の重要事項】

積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたいです。

倫理学LⅡも併せて受講することが望ましいです。

【Outline (in English)】

The objective of this course is not merely to understand the intellectual currents collectively known as "Contemporary Thought" (such as existentialism, structuralism, post-structuralism, and phenomenology) as a simple history of theory. Rather, it aims to extract the latent ethical problematics within these movements and critically re-examine the mode of existence in modern society, relationships with the Other, and the conditions of responsibility.

In particular, by examining how ideologies that do not explicitly present norms or values carry ethical implications — and what ethical difficulties or dangers they simultaneously entail — this course seeks to redefine the very question of "what is ethics." Through these objectives, the course enables each student to consider, from their own perspective, how to address the diverse ethical issues present in contemporary society.

In Ethics LI, we will begin by focusing on the thoughts that influenced or are positioned at the origins of contemporary thought, before delving into its various intellectual currents. Specifically, we will examine, from an ethical perspective, influential theories such as Spinoza's Ethics, Hegel's ethical thought, and the foundational works of Marx, Nietzsche's "Philosophy of Life," and Saussure's Course in General Linguistics.

In this class, we aim to ethically consider how we, who live in the present age, should live as one person in the global information society.

Study times outside classroom is 1 hour for preparatory study and 1 hour for review.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Report : 40%、Short reports : 60%

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)		
倫理学 L II		2017年度以降入学者
サブタイトル：現代思想の倫理		
杉本 隆久		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月3/Mon.3 単位数：2単位 その他属性：〈優〉		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 本授業の目的は、いわゆる「現代思想」と総称される思想的潮流（実存主義、構造主義、ポスト構造主義、現象学など）を、単なる理論史として理解するのではなく、そこに伏在している倫理的問題系を析出し、現代社会における生のあり方・他者との関係・責任の条件を批判的に問い直すことである。 とりわけ、本授業では、規範や価値を直接的に提示しない思想が、いかなる仕方でも倫理的含意を孕み、また同時にいかなる倫理的困難や危険性を抱え込んでいるのかを検討することを通じて、「倫理とは何か」という問いそのものを再定義することを目指す。 こうした目的を通じて、本授業では現代社会における多様な倫理的諸問題に対してどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるようにする。 倫理学L IIでは、実存主義、身体現象学、構造主義、ポストモダンの思想における倫理的問題を検討する。具体的には、サルトル、メルロ＝ポンティ、レヴィ＝ストロース、フーコー、デリダ、ドゥルーズ、ガタリ、ランシエールらの哲学を倫理的観点から取り上げる。 【到達目標】 この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理的に考察することを目指す。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目標とします。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とします。 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1 【主な授業方法】 L 講義 /Lecture 【授業の進め方と方法】 この授業は、講義形式の授業です。原則対面授業を行います。ただし、「オンライン授業による教育効果が高い場合」の条件に該当する授業回に限り、全授業回の半数を超えない範囲（7回以下）で、オンライン授業を実施する場合もあります。 授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、毎回の授業課題を提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。 なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、学習支援システムより通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No 【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
第2回	サルトルの『倫理学ノート』	サルトルの『倫理学ノート』における倫理思想を検討する。
第3回	メルロ＝ポンティの『ヒューマニズムとテロル』	メルロ＝ポンティの『ヒューマニズムとテロル』における倫理思想を検討する。
第4回	メルロ＝ポンティの『見えるものと見えないもの』	メルロ＝ポンティの『見えるものと見えないもの』における倫理思想を検討する。
第5回	レヴィ＝ストロースと『野生の思考』	レヴィ＝ストロースの構造主義の思想における倫理的問題を検討する。
第6回	フーコーと『知の考古学』	フーコーの言説論と権力論における倫理的問題を検討する。
第7回	フーコーと『生権力』	フーコーの生権力における倫理的問題を検討する。
第8回	デリダと倫理的転回(1)	デリダの哲学における正義、欲待、友愛、赦し、贈与、責任などの概念を倫理的側面から検討する。
第9回	デリダと倫理的転回(2)	デリダの哲学における正義、欲待、友愛、赦し、贈与、責任などの概念を倫理的側面から検討する。
第10回	ドゥルーズと内在の哲学(1)	ドゥルーズの内在の哲学における倫理的問題を検討する。
第11回	ドゥルーズと内在の哲学(2)	ドゥルーズの内在の哲学における倫理的問題を検討する。
第12回	ガタリと「エコゾフィー」	ガタリのエコゾフィーにおける倫理思想を検討する。
第13回	ランシエールと「不和」	ランシエールの「不和」における倫理的問題を検討する。
第14回	リングスの身体とアフェクト（情動）	リングスの身体とアフェクト（情動）の議論における倫理思想を検討する。
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 事前に配布した資料を読み、分らなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨んでください。 受講後は、不明点を理解できたかどうか復習してください。 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。 【テキスト（教科書）】 基本的にテキストは使用しません。授業のテーマに関係する資料を共有します。 【参考書】 ・リチャード・バーンスタイン著『手すりなき思考』（産業図書） ・ハーバート・スピーゲルバーク著『現象学運動』（上・下）（世界書院） ・エリック・アリエズ著『ブックマップ 現代フランス哲学』（松籟社） ・ヴァンサン・デコンブ『知の最前線 現代フランス哲学』（TBSブリタニカ） 【成績評価の方法と基準】 毎回の授業後に、学習支援システム上から毎回の授業課題を提出してもらう。また期末にレポートを提出してもらいます。以上の2点を総合して評価します。 評価の比率は、課題60%、期末レポート40%とします。 【学生の意見等からの気づき】 一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。また毎回の授業課題を活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。 【学生が準備すべき機器他】 授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては学習支援システムより通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。 【その他の重要事項】 積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたいです。 倫理学L I も併せて受講することが望ましいです。		
第1回	現代思想の倫理	授業ガイダンスを行う。また、現代思想とそこに垣間見える倫理的問題についての概説も行う。

【Outline (in English)】

The objective of this course is not merely to understand the intellectual currents collectively known as "Contemporary Thought" (such as existentialism, structuralism, post-structuralism, and phenomenology) as a simple history of theory. Rather, it aims to extract the latent ethical problematics within these movements and critically re-examine the mode of existence in modern society, relationships with the Other, and the conditions of responsibility.

In particular, by examining how ideologies that do not explicitly present norms or values carry ethical implications — and what ethical difficulties or dangers they simultaneously entail— this course seeks to redefine the very question of "what is ethics." Through these objectives, the course enables each student to consider, from their own perspective, how to address the diverse ethical issues present in contemporary society.

In Ethics L II, we examine ethical issues within the frameworks of existentialism, body phenomenology, structuralism, and postmodernism. Specifically, we explore the philosophies of Sartre, Merleau-Ponty, Lévi-Strauss, Foucault, Derrida, Deleuze, Guattari, and Rancière from an ethical perspective.

In this class, we aim to ethically consider how we, who live in the present age, should live as one person in the global information society.

Study times outside classroom is 1 hour for preparatory study and 1 hour for review.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Report : 40%、Short reports : 60%

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

伊藤 直樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということを問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。

私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

【到達目標】

講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のテストにおいて、それを行なってもらう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

対面授業で行う。資料を配付し、それに沿って講義をする。講義終了後、コメントカードを書いてもらう。次回の授業では、最初にそのコメントカードに対してリアクションしながら復習をして、当日の内容に入ってゆく。このパターンで授業を進める。

哲学部の学生はもとより、その他の学部学科の学生でも理解できるような講義内容で進める。

「他者論」という、言わば「応用問題」的な講義内容であるが、哲学・倫理学の基本問題にも適切にふれる。

「哲学対話」を取り入れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに；問題設定	単位取得方法、および講義の概要についての説明；他者という問題。なぜ「他者」が問題なのか。
第2回	前提としての哲学、倫理学（その1）	哲学とはなにか
第3回	前提としての哲学、倫理学（その2）	哲学とはなにか、倫理学とは何か、他者論という問題
第4回	デカルトの他者論（その1）	デカルト哲学の紹介
第5回	デカルトの他者論（その2）	デカルトの他者論（コギト、神の存在証明）
第6回	フッサールの他者論（その1）	フッサール哲学の紹介
第7回	フッサールの他者論（その2）	フッサールの他者論へ 間主観性・共現前という問題
第8回	ディルタイの他者論（その1）	ディルタイの思想の紹介
第9回	ディルタイの他者論（その2）	ディルタイの解釈学

第10回	ディルタイの他者論（その3）	ディルタイの他者論
第11回	サルトルの他者論（その1）	サルトル哲学の紹介
第12回	サルトルの他者論（その2）	サルトルの他者論（対他存在について）
第13回	サルトルの他者論（その3）	サルトル的他者論から見た人間存在の諸相
第14回	レポートについての説明	レポートの書き方、内容について説明します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

【参考書】

参考文献等は、そのつどの講義で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

出席は、授業形態に関わらず2／3以上参加してください。

学期末のレポート（65％）と授業への積極的な貢献度〔コメントカードの記述など〕（35％）によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回コメントペーパーを書いてもらい、授業冒頭でそれに応答をします。

コメントペーパーを見ていると、4月のはじめに書かれたものと最後の講義時に書いているコメントペーパーでは、ずいぶん内容が変わってきている印象をもちます。

「L」の付いている授業なので、内容は発展的で、やや高度な場合もあります。受講のさい、その点は注意してください。

同教員の「倫理学 L II」のシラバス末尾に、学生の講義に関する感想を記した。本講義に続く内容のものである。参照されたい。

【Outline (in English)】

This course deals with the relation between self and the Other. Specifically, we inquire will analyze the concept of the Other. By taking this course, students acquire an understanding of the knowledge about the significance of the Other in ethics. Students will submit comments on the class content after attending the lecture. These comments will be used to review the previous class. Final grade will be calculated according to the following process term-end report (65%), and in-class contribution (35%)

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学 L II

2017年度以降入学者

サブタイトル：

伊藤 直樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということを問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。

私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

【到達目標】

講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のテストにおいて、それを行なってもらう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

まず、他者論の問題設定の発生を明らかにして、そのうえで、サルトル、和辻哲郎、M・ブーバー、E・レヴィナスなどが、その問題をどのように考えているかを見てゆく。

基本的に講義形式を取るが、内容に応じて映像資料なども用いる。また、受講者からの質問、コメントをもとに、それに答えるかたちで講義内容を補足してゆく。

2回ほど「哲学対話」を取り入れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	単位取得方法、および講義の概要についての説明
第2回	問題設定	他者という問題（デカルト、カント、フッサールの問題設定）
第3回	和辻哲郎の倫理学（その1）	和辻哲郎という人物、「面とペルソナ」について
第4回	和辻哲郎の倫理学（その2）	和辻倫理学の主要論点（個と全体、二人共同体）
第5回	和辻哲郎の倫理学（その3）	和辻倫理学の問題点
第6回	M・ブーバーの思想（その1）	ブーバーという人物、「わたし-きみ」「わたし-それ」
第7回	M・ブーバーの思想（その2）	ブーバーの人間観
第8回	M・ブーバーの思想（その3）	ブーバーの思想の問題点、E・レヴィナスによる批判
第9回	ハイデガーの他者論（その1）	ハイデガー哲学の紹介
第10回	ハイデガーの他者論（その2）	顧慮の気遣い、本来的な他者
第11回	E・レヴィナスの他者論（その1）	レヴィナス哲学の紹介

第12回 E・レヴィナスの他者論（顔、他者）者論（その2）

第13回 アーレントの他者論

第14回 レポートについての説明 レポートのテーマ、書き方についての説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

【参考書】

参考文献等は、そのつどの講義で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

出席は、授業形態に関わらず2/3以上参加してください。

学期末のレポート（70%）と授業への積極的な貢献度［コメントカードの記述など］（30%）によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回コメントペーパーを書いてもらい、授業冒頭でそれに応答をします。

コメントペーパーを見ていると、9月のはじめに書かれたものと最後の講義時に書いているコメントペーパーでは、ずいぶん内容が変わってきている印象をもちます。

「L」の付いている授業なので、内容は発展的で、やや高度な場合があります。受講のさい、その点に注意してください。

昨年度の受講生に、講義の感想を書いてもらいました。紹介します。スライドや授業資料が非常に丁寧で、先生の語りも、身近で身近な例から出発するのだけれど、いつのまにか「他者とは何か」という抽象的な問いまで連れていかれるように、すごく面白かった。後期からの受講でしたが非常に学びになりました。（英文・1年）

授業の途中で、内容に関する先生の体験談が挟まることで、講義を楽しく聞くことができました。

他者論に初めてふれましたが、灯台下暗しのような議題でありつつ、何度か考えたことのあることであったため、様々な学生の意見を知ることが楽しかったです。（経戦・2年）

先生が雑談も踏まえながら、わかりやすい例を出してくれるため、とっつきにくい内容でも楽しく授業を受けることができました。ディスカッションも数回あり、本に載っている哲学者だけでなく、授業を受けている学生皆が哲学者となって意見交換ができて興味深かった。（法律・1年）

【Outline (in English)】

This course deals with the relation between self and the Other. Specifically, we inquire will analyze the concept of the Other. By taking this course, students acquire an understanding of the knowledge about the significance of the Other in ethics. Students will submit comments on the class content after attending the lecture. These comments will be used to review the previous class. Final grade will be calculated according to the following process term-end report (70%), and in-class contribution (30%).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：「生」と「死」を考える

田島 樹里奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）(life)とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業では、「幸福とは何か」を出発点としながら、人間の生/死、人格、医療（技術）に焦点を当てながら、私たち人間とはどのような存在であるかをじっくり倫理的な視点から考え直していきたい。現代では、自然界に生まれた生命に科学技術が介入することは当たり前であるが、人工授精・体外受精、デザイナーベビー、人工妊娠中絶、臓器移植、延命治療など、現代社会でよく耳にするこれらの人工的な生命操作は、自然の摂理という観点から見れば反自然的な行為と言える。だからと言って、私たちは簡単に善悪の判断を下すことはできない。日々の日常生活のうちには、こうした論理や合理性だけでは解決し難い問題がたくさんある。

「いのち」の問題は、私たちが生きていく中で、いずれどこかで関わる身近な問題であり、避けては通ることのできない重要な問題である。本授業では、具体的な事例や現代的な問題を取り上げながら、命（生と死）・医療・科学技術などについて、今一度考え直すきっかけを提供し、共に考えていきたい。

【到達目標】

- ① 生命、死、存在、医療、QOLなどの言葉を相互に関連づけながら思考する力を身につける。
 - ② 生命倫理学の多様な価値観を学ぶことで、様々な立場の考え方を多角的に把握する力を身につける。
 - ③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。
- 本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持てることを最終的な目標としている。

(1) Acquire the ability to think about life, death, existence, medical care, QOL, and other terms while relating them to each other.

(2) By learning the various values of bioethics, students will acquire the ability to grasp the ideas of various positions from multiple perspectives.

(3) Learn how to construct academic theories, and acquire the ability to academically analyze their own awareness of issues. The ultimate goal of this class is not only to acquire knowledge of bioethics, but also to cultivate a broader perspective and deep thinking skills as an individual.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたり、リアクションペーパーなどを用いながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。

◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。

＊ 講義

＊ 毎回、授業後にコメントシートを提出。

＊ 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。

→ これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになって考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	生命倫理学とは？ 生命に科学技術が介入することの意味
第2回	バイオエシックスの成立(1)	善く生きるとは 近代的自由の成立と人権概念
第3回	バイオエシックスの成立(2)	アメリカにおける社会的・政治的背景 社会変動と幸福感の変化
第4回	幸福とは何か	「幸福」はどのように決まるか？
第5回	功利主義(1)：幸福は計算可能か	「最大多数の最大幸福」 平等の原理は存在するか？
第6回	功利主義(2)：個人の自由と社会道徳	個人の幸福追求と社会の幸福追求 「生命の質」か「生命の尊厳」か
第7回	人間の生命と人格	エンゲルハートの人格概念 胎児に人格はあるか？
第8回	優生思想と人工妊娠中絶	優生保護法と母体保護法 人工妊娠中絶は殺人か？
第9回	中絶問題と女性の権利	中絶問題の歴史 米国で揺れ動く中絶権利
第10回	命は誰のものか	医療とパターナリズム 患者の権利と医師の義務
第11回	医療と倫理	医学者たちの人体実験
第12回	伝える義務と知る権利	医療とインフォームド・コンセント 情報開示と自己決定権
第13回	尊厳死/安楽死とは	安楽死を考える 私たちに死ぬ権利はあるのか
第14回	医療の倫理と法	医療技術の進歩と医療現場 医療事故と医療過誤

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみる。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

Review each class carefully. In particular, you are expected to research and think in-depth about any questions you notice or have in the class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

今井道夫『生命倫理学入門（5版）』産業図書、2024年。
中村元『構造倫理講座III 〈生命〉の倫理』春秋社、2021年。
伏木信治『生命倫理と医療倫理：改訂4版』金芳堂、2020年。

【成績評価の方法と基準】

毎授業ごとのリアクションペーパー（60%）、期末試験またはレポート（40%）

リアクションペーパーの提出をもって出席扱いとしますが、ただ提出しているだけの人は評価対象とならない場合があります。主体的に考えながら受講することを重視しています。（リアクションペーパーは、レポートのような大変なものではありません。受講して各自で考えたことを毎回書いてもらうことにより、考える力を養い、自分の考えを文字化する訓練のために行っています）

Reaction papers for each class (60%), final exam or report (40%)

Submission of reaction papers will count as attendance, but those who just submit them may not be evaluated. In this course, the emphasis is on taking the class while thinking proactively.(The reaction paper is not as hard as a report, but is designed to develop your ability to think and to train you to put your thoughts into words by asking you to write what you have thought about each time you take the course.)

【学生の意見等からの気づき】

基礎から学ぶので、倫理学を受けたことのない人でも関心を持って受講することで、少しずつ理解でき、視野が広がってくると思います。また、受講者のコメントシートを紹介することで、同世代の人たちの色々な考え方を知ることができ、良い刺激になると思います。

Even if you are new to the subject of ethics, don't worry because you can gradually deepen your understanding and get used to it in each class. (Basically, this class is for first-time students)

【その他の重要事項】

受講生の希望や状況に応じて、シラバスの内容が前後したり、多少変更する場合があります。

＊ 真面目に受講したい人にとって迷惑になる行為（私語・遅刻の常習など）は、注意や減点の対象になります。基本的には楽しく授業をしたいので、メリハリを付けられない人は、本授業の受講はご遠慮願います。

【Outline (in English)】

This course is an introduction and survey course in Bioethics. The purpose of this course is introduce students to bioethics through critical thinking contemporary issues. Through this course, students will be given not only the knowledge and comprehension of relationship between biotechnology and ethics, but also the opportunity to focus on their life and death. Students will first be introduced the history of ethics, foundational theories in bioethics, and the basic concepts and theoretical framework of bioethics.

Topics will include: what is happiness, health-care, responsibility, system of value, informed consent, death and dying, and the issue of beginning of life(on abortion, designer baby, prenatal testing etc.).

Through this course, students will be able to think carefully and to express their own views more clearly through their own positions on bioethical/ medical issues.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学 L II

2017年度以降入学者

サブタイトル：〈いのち〉と科学を考える

田島 樹里奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）(life)とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業の後半では、宗教の視点から生命倫理を考察することにより、様々な宗教的思想を背景にした死生観と生命倫理観を学んでいく。そもそも宗教は生死と密接に関わり、それぞれの仕方で「あの世／この世」「現世／来世」を語ってきた。本授業ではこれら全てを網羅することはできないが、私たちが今・ここで生きることの意義や、死や死後を考察するための手掛かりとして、それぞれの宗教的思想の意義を検討していきたい。

倫理学という学問領域は、私たちの日常生活や生きること・死ぬことに直接関わる部分を含んでいる。それゆえ本授業を通じて、受講生各自が関心を持ったテーマに対して、積極的にアプローチをすることで、それぞれの興味・関心を深めていながら、死生観や生命観を構築し、さらに倫理的な問題意識を持って学問的に掘り下げてもらいたい。

以上の観点をもって、受講生各自が本授業を通して、私たち人間とはどのような存在であるか、生きるとは、死ぬとはどういうことなのかをじっくり倫理的な視点から考え直していくきっかけを提供し、共に考えていきたい。

【到達目標】

- ① 生命、死、人格、医学、宗教などの言葉を、自分の頭の中で相互に関連づけながら思考する力を身につける。
 - ② 多様な生命の在り方や、宗教的思想を背景とした多様な価値観を学ぶことで、様々な立場から生命倫理を考える力を身につける。
 - ③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。
- 本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持てることを最終的な目標としている。

1) Acquire the ability to think about life, death, personality, medicine, religion, and other terms while relating them to each other in one's mind.

2) To acquire the ability to think about bioethics from various perspectives by learning about various ways of life and various values based on religious thought.

(3) Learn how to construct academic theories, and acquire the ability to academically analyze their own awareness of the issues.

The ultimate goal of this class is not only to acquire knowledge of bioethics, but also to cultivate a broader perspective and deep thinking ability as an individual.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたりしながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。

◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。

＊ 講義

＊ 毎回、授業後にコメントシートを提出。

＊ 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。

→ これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになって考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	生命倫理学とは バイオエシックスの成立
第2回	生命の誕生と倫理(1)	日本人の生命倫理観の変化 生殖医療とは
第3回	生命の誕生と倫理(2)	生殖技術の発展と拡大 人工授精の歴史と現状
第4回	生命の誕生と生殖医療	不妊治療の実態 性教育不足による社会問題化
第5回	生殖技術の倫理(1)	代理母の在り方 出自を知る権利
第6回	生殖技術の倫理(2)	精子バンク問題とインターネット取引
第7回	遺伝子と生命倫理(1)	再生医療とクローン技術 「全能性」とは
第8回	遺伝子と生命倫理(2)	遺伝子とDNA デザイナーベビーとは
第9回	遺伝子と生命倫理(3)	遺伝子組み換えとゲノム編集
第10回	ジェンダーと生命倫理(1)	ジェンダー概念と社会変容 「家族」のあり方を再考する
第11回	ジェンダーと生命倫理(2)	性転換手術と医療倫理 自然界の性転換と人工的性転換の問題
第12回	宗教と生命倫理(1)	「宗教」とは 宗教的価値観と倫理的判断
第13回	宗教と生命倫理(2)	神道における死後観と人間観 臓器移植問題の捉え方
第14回	宗教と生命倫理(3)	ヒンドゥー教の死生観

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみる。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

Review each class carefully. In particular, you are expected to research and think in-depth about any questions you notice or have in the class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

今井道夫『生命倫理学入門（5版）』産業図書、2024年。

中村元『構造倫理講座III 〈生命〉の倫理』春秋社、2021年。

伏木信治『生命倫理と医療倫理：改訂4版』金芳堂、2020年。

小松美彦、土井健司編『宗教と生命倫理』ナカニシヤ出版、2005年。

【成績評価の方法と基準】

毎授業ごとのリアクションペーパー（60%）、期末試験またはレポート（40%）

リアクションペーパーの提出をもって出席扱いとしますが、ただ提出しているだけの人は評価対象とならない場合があります。主体的に考えながら受講することを重視しています。（リアクションペーパーは、レポートのような大変なものではありません。受講して各自で考えたことを毎回書いてもらうことにより、考える力を養い、自分の考えを文字化する訓練のために行っています）

Reaction papers for each class (60%), final exam or report (40%)

Submission of reaction papers will count as attendance, but those who just submit them may not be evaluated. In this course, the emphasis is on taking the class while thinking proactively.(The reaction paper is not as hard as a report, but is designed to develop your ability to think and to train you to put your thoughts into words by asking you to write what you have thought about each time you take the course.)

【学生の意見等からの気づき】

倫理学L1から継続して受講すると理解しやすく、知識も深まります。
(倫理学L2を受講した後に、次年度の倫理学L1を受講することも可能です。)

It is recommended that students take Ethics LI before taking this course for better understanding.

We do not recommend this course to those who just want to get credits. This class should be taken by anyone who is willing to learn properly as a university student.

【その他の重要事項】

受講生の希望や状況に応じて、シラバスの内容が前後したり、多少変更する場合があります。

＊ 真面目に受講したい人にとって迷惑になる行為（私語・遅刻の常習など）は、注意や減点の対象になります。基本的には楽しく授業をしたいので、メリハリを付けられない人は、本授業の受講はご遠慮願います。

【Outline (in English)】

This course is intended to develop student's understanding of ethical issues of bioethics and medical care. Especially, this course will focus upon major bioethical issues which related to artificial insemination, genetic testing and human right. In addition, the second half of this course, we will explore various ethical problems within several religious traditions. Through comparison of bioethical perspectives on selected themes, students will be able to recognize the interconnections between bioethical issues and religious system. This course will help students to develop the ability to analyze diverse perspective and to recognize the importance of ethical considerations.

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

森村 修

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

《授業の概要》

2020年から2023年にかけて、新型コロナウイルス感染の爆発的流行（パンデミック pandemic）に、全世界が巻き込まれた。確かに、一時期の爆発的流行は収まり、2025年現在では、確かに新型コロナウイルスに対して、「普通の感染症」のレベルまで終息した。その一方で、やはりコロナ感染の後遺症で苦しむ人は存在する。感染症といえば、若者を中心に「性感染症」、特に「梅毒」が飛躍的に感染を拡大させている。社会がますます多様化し、グローバルな交流が拡大し、個人レベルも社会レベルも倫理観やモラル（道徳性）に対する意識が希薄になった可能性も否定できない。ある意味で、私たちの社会の「道徳性」の弱さが露呈し、個人主義的というよりも利己主義的な個人の倫理観や社会道徳の意味などが問われているように思われる。自己中心的な価値観に基づくあまり、誰もが自分以外の他者に対して〈優しくない〉雰囲気を出しているといえよう。

こうした観点を含めて、本授業では、「ケアの倫理学」という立場から、「自己をケアすること」・「他者をケアすること」から出発し、いかに社会や国家だけでなく、世界や地球全体を守り、ケアするかという大きな問いにまで視野を広げていく。

そこで本授業では、自分の個人的な行為が、見ず知らずの多数の人に影響を与えかねない現代社会の倫理性の問題を、「ケア」という角度から哲学的・倫理的に分析する。

《授業の目的》

本科目は、1980年代に始まった比較的新しい「ケアの倫理学」を学んでいく科目である。「ケアの倫理」では、「ケアとは何か」、「誰が誰をケアするのか」、「グローバル・エシックスにおけるケアとは何か」などの様々な問いを検討することを通じて、「ケア」という概念が私たちが生きている現場で必要不可欠な概念であることを明らかにする。また、「他者をケアすることの意味」や「自己へのケアの必要性」を考察することの重要性を学んでいく。

さらに「グローバル社会におけるケアの意味」、「正義の倫理」と「ケアの倫理」との対比を考察しながら、「愛とケア」に重点を置く、新しい「愛とケアのグローバル倫理」を構築することが、本授業の最終的なテーマである。

【到達目標】

- (1)「倫理学」という学問について、近隣諸学（哲学、法学、宗教学、政治学など）との違いを説明することができる。
- (2)「応用倫理学」のなかで、「生命倫理学」と「ケアの倫理学」との異同について比較することができる。
- (3)「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べることができる。
- (4)「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義/Lecture

【授業の進め方と方法】

【授業の方法】

基本的に、授業は「講義形式」で行う。場合によっては、リアクションペーパーを用いて、受講生の皆さんと討論することも考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・履修上の注意 ・「ケアの倫理」についての概要説明
2	第1章 生きることの倫理①	・生きることの質（QOL）
3	第1章 生きることの倫理②	・健康であることの意味
4	第1章 生きることの倫理③	・死ぬことの意味
5	第1章 生きることの倫理④	・死に立ち会うこと
6	第1章 生きることの倫理⑤	・ベットロス
7	第1章 生きることの倫理⑥	・死への準備教育（Death Education）
8	第2章 「ケア」の倫理①	・「ケア」の思想①——メイヤロフ『ケアの本質』
9	第2章 「ケア」の倫理②	・「ケア」の思想②——ギリガン『もう一つの声で』
10	第2章 「ケア」の倫理③	・〈心〉が傷ついた人のケア
11	第2章 「ケア」の倫理④	・スピリチュアルケア（spiritual care）——〈いたみ〉を分かち合うこと
12	第3章 支え合うことの倫理	・ケア意識の発達
13	第3章 支え合うことの倫理	・ケアする人を支えるために
14	まとめ	・「自己へのケア」から「他者へのケア」へ、そして「支え合いとしてのケア」へ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で触れたことについて、様々な書籍、雑誌、新聞やインターネットで確認し、自分の知識を増やすように心がけること。倫理学は、生き方に関わる学問である。座学では何も身につかない。積極的に、倫理的な問題を考え、自ら主体的に学ぶように日頃から気をつける必要がある。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

- ・森村修『ケアの倫理』（大修館書店、2000年）
- ・森村修『ケアの形而上学』（大修館書店、2020年）
- ・キャロル・ギリガン『もうひとつの声で——心理学の理論とケアの倫理』（風行社、2022）
- ・Virginia Held, *The Ethics of Care: Personal, Political, and Global*, Oxford University Press, 2006.

【参考書】

竹田純郎・伊坂青司・森秀樹編『生と死の現在——家庭・学校・地域のなかのデス・エデュケーション』（ナカニシヤ出版、2002年）

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーなど（30%）と期末試験（70%）によって、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

・リアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

ビデオ、DVDなどAV機器を用いる場合がある。

【その他の重要事項】

「ケアの倫理」は、単に授業ですわっていれば自然と身につくものではない。自らの主体的な実践を伴わない「ケア」や「〈癒しと救い〉」は、単なる「絵に描いた餅」でしかなく、生きるためには何の役にも立たない。受講生各自が、自らの日々の生活のなかで、「ケアとは何か」「何をケアするのか」「ケアするためには何が必要なのか」「ケアとは何をしなければならないことなのか」などという問いを自らに問いかけ、それに答える努力を欠かさないようにしてもらいたい。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

In this course, we examine the question "What is care?" from the perspective of "Global Ethics of Care and Justice". At that time, in this subject, we will consider the problem of care labor by examining the specific question of "who cares who". In addition, we will ask the contemporary significance of the previously controversial issue of the conflict between care and justice. From there, the aim of this course is to help students examine the question of what is care ethics in global ethics in the 21st century from various angles.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to describe the differences between ethics of justice and ethics of care in detail and to understand the concept of care comprehensively.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the term-end examination (70%), and in-class contribution(30 %).

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：ケアの形而上学——「ケアの倫理」を超えて

森村 修

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

《授業の概要》

2020年から2023年にかけて、新型コロナウイルス感染の爆発的流行（パンデミック pandemic）に、全世界が巻き込まれた。確かに、一時期の爆発的流行は収まり、2025年現在では、確かに新型コロナウイルスに対して、「普通の感染症」のレベルまで終息した。その一方で、やはりコロナ感染の後遺症で苦しむ人は存在する。感染症といえば、若者を中心に「性感染症」、特に「梅毒」が飛躍的に感染を拡大させている。社会がますます多様化し、グローバルな交流が拡大し、個人レベルも社会レベルも倫理観やモラル（道徳性）に対する意識が希薄になった可能性も否定できない。ある意味で、私たちの社会の「道徳性」の弱さが露呈し、個人主義というよりも利己主義的な個人の倫理観や社会道徳の意味などが問われているように思われる。自己中心的な価値観に基づくあまり、誰もが自分以外の他者に対して〈優しくない〉雰囲気を出しているといえよう。

こうした観点を含めて、本授業では、「ケアの倫理学」という立場から、「自己をケアすること」・「他者をケアすること」から出発し、いかに社会や国家だけでなく、世界や地球全体を守り、ケアするかという大きな問いにまで視野を広げていく。

そこで本授業では、自分の個人的な行為が、見ず知らずの多数の人に影響を与えかねない現代社会の倫理性の問題を、「ケア」という角度から哲学的・倫理的に分析する。

《授業の目的》

本科目は、1980年代に始まった比較的新しい「ケアの倫理学」を学んでいく科目である。「ケアの倫理」では、「ケアとは何か」、「誰が誰をケアするのか」、「グローバル・エシックスにおけるケアとは何か」などの様々な問いを検討することを通じて、「ケア」という概念が私たちが生きている現場で必要不可欠な概念であることを明らかにする。また、「他者をケアすることの意味」や「自己へのケアの必要性」を考察することの重要性を学んでいく。

さらに「グローバル社会におけるケアの意味」、「正義の倫理」と「ケアの倫理」との対比を考察しながら、「愛とケア」に重点を置く、新しい「愛とケアのグローバル倫理」を構築することが、本授業の最終的なテーマである。

【到達目標】

- (1)「倫理学」という学問について、近隣諸学（哲学、法学、宗教学、政治学など）との違いを説明することができる。
- (2)「応用倫理学」のなかで、「生命倫理学」と「ケアの倫理学」との異同について比較することができる。
- (3)「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べることができる。
- (4)「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義/Lecture

【授業の進め方と方法】

【授業の方法】

基本的に、授業は「講義形式」で行う。場合によっては、リアクションペーパーを用いて、受講生の皆さんと討論することも考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・受講上の注意 ・「ケアの倫理」入門
2	第1章 暴力被害者のケア①	・〈生き残ること〉と〈生き延びること〉 ・「こども虐待」という〈社会・政治的暴力〉
3	第1章 暴力被害者のケア②	・「新たな傷つきし者」の出現——「社会・政治的トラウマ」の問題 ・〈情動を抱える生〉の〈ケアの倫理〉
4	第2章 「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実①	・哲学的課題としての「認知症」 ・「認知症」が問いかけるもの
5	第2章 「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実②	・「社会的疾患」としての「認知症」 ・「認知症」における〈こころ〉と脳
6	第2章 「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実③	・認知症ケアの倫理
7	第3章 〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理①	・「孤独死」の現在 ・「ひとりて死ぬこと」の意味
8	第3章 〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理②	・「何も共有していない者たちの共同体」の倫理 ・〈他者としての死者〉を抱えて〈生き延びる〉こと
9	第3章 〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理③	・アボリアの経験 ・喪の倫理
10	第4章 〈からだ〉と〈ことば〉のケア倫理①	・〈からだ〉という問題圏 ・東洋の心身論の試み
11	第4章 〈からだ〉と〈ことば〉のケア倫理②	・富士御杖の思想 ・〈身〉と〈言〉 ・〈身〉と〈こころ〉 ・「言霊」の〈力〉
12	第5章 「生存の美学」としてのケア①	・アウトサイダーとアーと・セラピー ・ヘンリー・ダーガーの世界
13	第5章 「生存の美学」としてのケア②	・他者への配慮 ・レベッカ・ブラウンの「贈与」
14	第5章 「生存の美学」としてのケア③	・デヴィッド・グレーバーの価値論について ・贈与としてのケア

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

森村修『ケアの形而上学』、大修館書店、2020年

【参考書】

森村修『ケアの倫理』、大修館書店、2000年

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパー（30％）と期末試験あるいはレポート（70％）によって、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

・リアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の場合には、インターネットなどの必要な設備が必要である。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

In this course, we examine the question "What is care?" from the perspective of "Global Ethics of Care and Justice". At that time, in this subject, we will consider the problem of care labor by examining the specific question of "who cares who". In addition, we will ask the contemporary significance of the previously controversial issue of the conflict between care and justice. From there, the aim of this course is to help students examine the question of what is care ethics in global ethics in the 21st century from various angles.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to describe the differences between ethics of justice and ethics of care in detail and to understand the concept of care comprehensively.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the term-end examination (70%), and in-class contribution(30 %).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

吉永 明弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

倫理学の基礎知識を学び、応用倫理学の内容に親しむとともに、具体的な倫理問題について議論する。

【到達目標】

倫理学の基本的な考え方や主要な理論（功利主義、義務論、徳倫理学、社会契約論、正義論）および応用倫理学の内容を把握し、それをもとに具体的な倫理問題について議論することができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式で行うが、受講者どうして議論する時間もとる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	倫理学を学ぶ意味	なぜ倫理学を学ぶ必要があるのかについて説明する
2	倫理学の三大理論（1） 功利主義	ミルの自由論を基軸に功利主義について説明する
3	倫理学の三大理論（2） 義務論	カントの倫理学の概要を紹介する
4	倫理学の三大理論（3） 徳倫理学	アリストテレスと現代の徳倫理学の概要を紹介する
5	倫理学と政治哲学（1） 社会契約論	ホブズ、ロック、ルソーらの社会契約論を概説する
6	倫理学と政治哲学（2） 正義論	ロールズ、ノージック、サンデルらの正義論を紹介する
7	中間チェックテスト	ここまでの内容を確認する
8	応用倫理学（1）生命倫理学	医師・患者関係、インフォームドコンセントを中心に説明する
9	応用倫理学（2）生命倫理学	脳死と臓器移植、安楽死、優生思想について説明する
10	応用倫理学（3）ビジネス倫理学	内部告発を中心に説明する
11	対話型講義（1）災害時の倫理	東日本大震災の事例から災害時の倫理について議論する
12	対話型講義（2）21世紀の労働倫理	IT・AIの時代がもたらす新たな労働倫理について議論する
13	対話型講義（3）21世紀の教育	IT・AIの時代の教育のあり方について議論する

14 最終チェックテスト 授業内容の理解度を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書と参考文献を読むこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

吉永明弘・寺本剛編『環境倫理学』昭和堂、2020年の第1章から第3章。

およびプリントを配布する。

【参考書】

加藤尚武『現代倫理学入門』講談社学術文庫、1997年
新田孝彦『入門講義 倫理学の視座』世界思想社、2000年
宇都宮芳明『倫理学入門』ちくま学芸文庫、2019年
川本隆史『現代倫理学の冒険』創文社、1994年
國分功一郎『近代政治哲学』ちくま新書、2015年
児玉聡『功利と直観』勁草書房、2010年
梅津光弘『ビジネスの倫理学』丸善、2002年

【成績評価の方法と基準】

中間チェックテスト（40%）、最終チェックテスト（60%）。
場合によりレポートの提出を求める。

【学生の意見等からの気づき】

学生から意見がありませんでした。

【Outline (in English)】

This course deals with ethics and applied ethics. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following, midterm exam:40%,final exam:60%.

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

吉永 明弘

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

環境倫理学の基本的文献の内容を紹介する。このなかから各自の興味のある文献を読み、レポートを書いてもらう。

【到達目標】

環境倫理学の基本的文献の内容を把握し、それをもとに現実の環境問題に対する自分なりの構えをもつことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。適宜、ディスカッションを取り入れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	この授業の進め方を説明する
2	環境倫理学概論	応用倫理学の中の環境倫理学の位置づけについて説明する
3	欧米の環境倫理	欧米の環境倫理について紹介する
4	グローバルな環境倫理	グローバルな環境倫理について紹介する
5	ローカルな環境倫理	ローカルな環境倫理について紹介する
6	科学技術の倫理	科学技術の倫理について紹介する
7	公害と環境正義	公害と環境正義について紹介する
8	動物倫理	動物倫理について紹介する
9	生物多様性と倫理	生物多様性と倫理に関する議論を紹介する
10	中間チェックテスト	ここまでの内容を理解しているか確認する
11	場所論と風土論	場所論と風土論について紹介する
12	景観保全と観光	景観保全と観光に関する議論を紹介する
13	都市の環境倫理	都市の環境倫理の構想を紹介する
14	最終チェックテスト	授業内容の理解度を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書のなかで紹介している文献を読むこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

吉永明弘『都市の環境倫理 増補改訂版』勁草書房、2025年

【参考書】

吉永明弘・福永真弓編『未来の環境倫理学』勁草書房、2018年
吉永明弘・寺本剛編『環境倫理学』昭和堂、2020年
吉永明弘『はじめて学ぶ環境倫理』ちくまプリマー新書、2021年

【成績評価の方法と基準】

中間チェックテスト（20%）、最終チェックテスト（20%）。
期末にレポートの提出を求める（60%）。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの意見がありません。

【Outline (in English)】

This course deals with environmental ethics. At the end of the course, students are expected to get an overview on ethics and applied ethics. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following, midterm exam:20%, final exam:20%, book review:60%.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

論理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：論理的読解のトレーニング

佐々木 護

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論点が明確で、筋の通った議論や文章は「論理的」と言われます。この授業では、分野を問わず多様な文章を論理的に把握し、それを吟味検討したうえで、自分の見解を論理的に表現する訓練を行います。論理的読解力や論述力を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上で大いに役立つはずです。

【到達目標】

本授業の到達目標は以下の2点です。

- (1) 新聞記事や新書レベルの文章を読み、そこから論証構造を抽出し、内容をよく理解した上で、的確な要約を行うことができる。
- (2) 上記の文章を吟味検討し、自分の見解を論理的に展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

授業前半は講義形式ですが、後半は問題演習とその検討が中心となります。そのため、受講者には主体的な参加を求めます。また、論述力の向上を図るため、定期的に小論文を作成する回を設けます。提出された答案は添削・評価のうえ、翌日に返却・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス／論理学とは	論理学には分析論と弁証術の2つの流れがあることを理解する。
第2回	論理的説明と論証	トールミン・モデルなどを参照しつつ、論理的な説明には、根拠の提示が不可欠であることを理解する。
第3回	論理的読解と論証	論理的読解には、文章全体を論証と捉え、結論とそれを支える根拠を見きわめることが有効であることを理解する。
第4回	論証の構造	論証図の作成を通じて、論証構造を的確に把握する仕方を身につける。
第5回	要約の技法	文章から論証構造を取り出し、それを軸に要約する技法を身につける。
第6回	隠れた前提	論証を論理的に理解するには、隠れた前提を自覚的に取り出すことが必要な場合があることを理解する。
第7回	論証の評価（1）	論証の適切さや妥当性を評価するにあたって着目すべきポイントを理解する。

第8回	論証の評価（2）	論証を検討する仕方を実践的に身につける。
第9回	誤った論法（誤謬）	論証の誤りの代表的なパターンを理解する。
第10回	論証への反論（1）	現代の社会問題に関連した論証に対する反論を作成する。
第11回	論証への反論（2）	前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。
第12回	文章読解と見解論述（1）	現代の社会問題に関連した文章を読み、それに対する見解論述を作成する。
第13回	文章読解と見解論述（2）	前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。
第14回	試験日	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

準備学習：これまでの配布資料に目を通しておいてください。

復習：講義内容に関連した課題が課されますのでそれに取り組んでください。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006年）

渡邊雅子『論理的思考とは何か』（岩波新書、2024年）

【成績評価の方法と基準】

通常回の課題成績（50％）および最終回の試験の成績（50％）で評価します。

試験の評価基準については、授業中に何度か実施する課題の評価基準を参考にしてください。

【学生の意見等からの気づき】

「他の学生の答案を見て、意見や表現方法を学ぶことができたのが良かった」「文章を読むときにどういうところに気をつければよいか分かってきた」「授業を通して、少しずつ自分の文章力がついてきたと実感した」などの感想がありました。

今まで文章を書く機会の少なかった受講者の場合、最初は小論文作成に時間がかかり、難しく感じることもあるようです。しかし、書き続けるうちに徐々に慣れていきますので、その点についてあまり心配する必要はありません。

【Outline (in English)】

We call a reasonable argument as "logical". In this course, we will practice to logically read various texts regardless of the field, examine them, and express your own view logically. If you acquire the ability of logical reading and argumentation, it will be useful for your future academic activities and social life. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. Grading will be evaluated based on the results of regular assignments (50%) and the final exam (50%).

The objectives of this course are twofold:

1. To enable students to extract logical structures from texts such as newspaper articles and non-fiction books, and to produce precise summaries based on a thorough understanding of the content.
2. To critically examine the aforementioned texts and develop one's own arguments in a logical manner.

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

論理学 L II

2017年度以降入学者

サブタイトル：批判的思考のトレーニング

佐々木 護

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

批判的思考（クリティカル・シンキング）教育の一環として、複数の視点から仮説を立てたり、対立する意見も視野に入れつつ望ましい問題解決策を見出す訓練を行います。自分が自明とする考えからいったん距離を置き、異なる他者の考えにも目を向ける態度を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上でも大いに役立つはずです。

【到達目標】

本授業の到達目標は以下の2点です。

- (1) 統計資料などを手がかりに仮説を立て、それに基づく解決策を提示することができる。
- (2) 与えられたテーマに関して、対立する意見も視野に入れつつ、説得力ある見解論述を展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業前半は講義形式ですが、後半は問題演習とその検討が中心となります。そのため、受講者には主体的な参加を求めます。また、論述力の向上を図るため、定期的に小論文を作成する回を設けます。提出された答案は添削・評価のうえ、翌日に返却・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス／推論の分類	演繹、帰納、仮説推量という推論の3つのタイプを概観する。
第2回	演繹と仮説推量	演繹と仮説推量の関連性と相違点を理解したうえで、新たな発想やアイデアを導く上で仮説推量が果たす意義を押さえる。
第3回	統計資料の分析と仮説推量	統計資料の分析の基本を理解し、資料からどのような仮説を立てることができるかを考える。
第4回	相関関係と因果関係	2つの現象の間に何らかの関係が認められる場合に、どんな仮説が立てられるのかを理解する。
第5回	原因分析と対策提言	ある仮説に基づくならば、どのような対策が必要かを考える。仮説が異なれば、必要な対策も大きく異なることを理解する。
第6回	価値前提	それぞれの論証がどのような価値判断や価値基準を前提としているかに注目することで、議論の争点を整理する仕方を身につける。
第7回	対策提言の評価（1）	現代の社会問題に関連した論証に対する検討を行う。

第8回	対策提言の評価（2）	前回作成答案を基に、発展的検討を行う。
第9回	立論・批判・異論（1）	対立する意見を視野に入れつつ、それに対する批判や異論を展開する仕方を身につける。
第10回	立論・批判・異論（2）	批判と異論の違いを見きわめる。
第11回	立論・批判・異論（3）	あるテーマに対し、立論・批判・異論から構成される小論文を作成する。
第12回	立論・批判・異論（4）	前回作成答案を基に、発展的検討を行う。
第13回	誤った二分法・両論併記	二分法が陥りがちな罠を理解する。
第14回	試験日	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

準備学習：これまでの配布資料に目を通しておいください。日々の政治・経済・社会に関するニュースもチェックしておきましょう。
復習：講義内容に関連した課題が課されますのでそれに取り組んでください。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006年）

渡邊雅子『論理的思考とは何か』（岩波新書、2024年）

【成績評価の方法と基準】

通常回の課題成績（50％）および最終回の試験の成績（50％）で評価します。

試験の評価基準については、授業中に何度か実施する課題の評価基準を参考にしてください。

【学生の意見等からの気づき】

「文章の書き方などを学べたことはもちろん、毎回の授業や課題においてテーマとなる社会問題について考え文章にすることが、自分の意見を持つ大変いい機会となった」「ただ論理の立て方を学ぶだけではなく時事を用いて学ぶことができて大変勉強になった」などの感想がありました。

テーマに関連したアウトプットを繰り返す授業形式を通して、考えて書く力がアップしたと感じる受講者が多かったようです。

【Outline (in English)】

As part of the critical thinking education, we will make hypotheses from multiple perspectives, and practice to find solutions while taking into account the opposite opinion. If you learn how to think critically, you will be of great help in your future academic activities and social life. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. Grading will be evaluated based on the results of regular assignments (50%) and the final exam (50%).

This course aims to help students achieve the following two goals:

1. Formulate hypotheses based on statistical data and other evidentiary materials, and propose viable solutions derived from those hypotheses.
2. Develop persuasive arguments on a given theme by critically considering opposing viewpoints and integrating them into a logical discourse.

HIS200LA (史学/History 200)

東洋史 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：東南アジア史 (1)

澁谷 由紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、先史時代から現代までの東南アジア通史を学びます。授業を通じて東南アジア史の主な特徴を理解し、それを基盤として現代の東南アジアに関する様々な問題について自ら探求する力を養うことを目的とします。

【到達目標】

- ・東南アジアの地理と歴史にかかわる基本的な事項を知ること
- ・東南アジア史の特徴を理解すること
- ・現代東南アジアの諸問題に関して自らの見解を述べる力をつけること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- (1) 各時代、各地域の特徴を、関連する世界遺産 (文化遺産) や、現代東南アジア諸国の諸問題について、映像資料等を用いて紹介しながら、解説します。
- (2) 課題は、主として、授業内で取り上げた内容に関連する文献の講読です。
- (3) リアクションペーパー、課題については、個別にコメントをお返しするか、提出していただいた内容の一部を (匿名で) とりあげ、授業の中でご紹介します。この授業では、グループディスカッション、ディベートは実施しません。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	「東南アジア」概念の成立	東南アジアの地域認識
第2回	東南アジア地域の地理的概観	生態的背景
第3回	青銅器文化と初期国家の形成	先史時代から9世紀
第4回	中世国家の展開	10～14世紀
第5回	交易の時代前期	15～16世紀前半
第6回	交易の時代後期	16世紀前半～17世紀
第7回	近世国家群の展開と再編	18～19世紀前半
第8回	植民地支配の進展	19世紀後半
第9回	東南アジア経済の再編成	19世紀後半～1930年代①
第10回	ナショナリズムの勃興	19世紀後半～1930年代②
第11回	第二次世界大戦と東南アジア諸国の独立	1940年代～1950年代
第12回	冷戦への主体的対応	1950年代半ば～1970年代半ば
第13回	経済発展・ASEAN10・民主化	1970年代半ば～1990年代

第14回 まとめ

ふりかえり

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業内で示される課題 (主として文献講読) に取り組み、原則として次回授業開始時までに提出してください。本授業の準備・復習時間は、1回あたり4時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用しません。

【参考書】

古田元夫『東南アジア史10講』(岩波新書, 新赤版 1883) 2021年、岩波書店
石井米雄・桜井由躬雄編『東南アジア史①大陸部』1999年、山川出版社
池端雪浦編『東南アジア史②島嶼部』1999年、山川出版社
その他の参考文献は授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

課題 (40%)・期末試験 (60%)。期末試験は論述式です。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

課題配布時と課題提出時に「学習支援システム (WebClass)」を使用します。

【その他の重要事項】

- (1) 本科目の履修に際し、事前に履修すべき科目はありません。
- (2) 2026年度秋学期「東洋史 L B」と別内容です。春学期・秋学期合わせての履修は任意です。

【Outline (in English)】

This course explores the entire span of Southeast Asian history, from prehistoric times to the present day. At the end of this course, students will understand major themes in the historical analysis of Southeast Asian history. Students are required to make a thorough review, mainly by completing assignments. Your study time will be more than four hours for a class. Your final grade will be calculated according to the following process: In-class writing assignments (40%) and term-end examination (60%).

HIS200LA (史学/History 200)

東洋史L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：東南アジア史 (2)

澁谷 由紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、先史時代から現代までのベトナム社会の形成過程をたどり、ベトナム近現代史の基本的な流れを理解することを目指します。授業を通じてベトナム史の主な特徴を理解し、それを基盤として現代のベトナムに関する様々な問題について自ら探求する力を養うことを目的とします。

【到達目標】

- ・ベトナムの地理と歴史、文化にかかわる基本的な事項を知ること
- ・ベトナム史の特徴を理解すること
- ・ベトナムの諸問題に関して自らの見解を述べる力をつけること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- (1) 各時代の特徴を、自然景観、文化遺産、絵画、写真等の映像資料等を用いて紹介しながら、解説します。
- (2) 課題は、主として、授業内で取り上げた内容に関連する文献の講読です。
- (3) リアクションペーパー、課題については、個別にコメントをお返しするか、提出していただいた内容の一部を（匿名で）とりあげ、授業の中でご紹介します。この授業では、グループディスカッション、ディベートは実施しません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ベトナムの地理
第2回	ベトナム諸地域の形成 (1)	紅河の世界（初期国家の成立、北属期、大越国の誕生）
第3回	ベトナム諸地域の形成 (2)	南シナ海とメコン川の世界（チャム人のクニ、扶南）
第4回	ベトナム諸地域の形成 (3)	亜熱帯のなかの中国文明（陳朝～）
第5回	世界のなかのベトナム (1)	ベトナム世界の成立（交易の時代～阮朝）
第6回	世界のなかのベトナム (2)	植民地下のベトナム (1) 19世紀末まで
第7回	世界のなかのベトナム (3)	植民地下のベトナム (2) 20世紀前半
第8回	世界のなかのベトナム (4)	第一次インドシナ戦争
第9回	戦場から市場へ (1)	第二次インドシナ戦争（ベトナム戦争）
第10回	戦場から市場へ (2)	17度線の南をめぐる
第11回	戦場から市場へ (3)	社会主義の建設とドイモイ
第12回	現代 (1)	経済発展と政治
第13回	現代 (2)	現代ベトナム社会における歴史（文化遺産・公的な歴史）

第14回 まとめ

ふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（主として文献講読）に取り組み、原則として次回授業開始時までに提出してください。本授業の準備・復習時間は、1回につき4時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

古田元夫, 2017. 『ベトナムの基礎知識』 めこん.

【成績評価の方法と基準】

課題（40%）・期末試験（60%）。期末試験は論述式です。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

課題配布時と課題提出時に「学習支援システム（WebClass）」を使用します。

【その他の重要事項】

- (1) 本科目の履修に際し、事前に履修すべき科目はありません。
- (2) 2026年度秋学期「東洋史L A」と別内容です。春学期・秋学期合わせての履修は任意です。

【Outline (in English)】

This course explores Vitenamse history. By the end of this course, students will understand the basic trajectory of Vietnamese history, tracing the formation of Vietnamese society from prehistoric times to the present day. Students are required to make a thorough review, mainly by completing assignments. Your study time will be more than four hours for a class. Evaluations will be based on their submitted assignments (40%) and term-end examination (60%).

HIS200LA（史学/History 200）

東洋史LC

2017年度以降入学者

サブタイトル：

齋藤 勝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

台湾の歴史と現在

歴史の学習を通じて台湾への理解を深め、日本・中国との関わりについて考えていく。

【到達目標】

歴史を辿りながら、現在の台湾が抱える国際問題、政治問題、民族問題の根源を理解し、その歴史の当事者の一人であった日本人の責任についても認識を深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式で行っていきます。台湾の歴史について通史的に講ずるとともに、現代の台湾を描いた映画を通して台湾への理解を深めていく。課題等に対するフィードバックは授業中もしくは学習支援システムにより行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	台湾と日本	日台関係と台湾人の日本人観
第2回	台湾の現勢	台湾の民族構成と経済
第3回	先史時代と大航海時代	原住民とオランダ支配
第4回	清朝と台湾	鄭氏政権から清朝の支配へ
第5回	日本の台湾支配(1)	日清戦争から前期武官総督時代
第6回	日本の台湾支配(2)	文官総督時代から終戦まで
第7回	国民党の支配へ	光復から二・二八事件
第8回	台湾人と支配者達(1)	『悲情城市』と二・二八事件(1)
第9回	台湾人と支配者達(2)	『悲情城市』と二・二八事件(2)
第10回	蒋介石の時代	台湾の中華民国化
第11回	蔣経国の時代	台湾の孤立と転換
第12回	李登輝の時代	台湾の民主化と台湾化
第13回	陳水扁の時代	台湾の分裂
第14回	馬英九～蔡英文の時代	台湾の現在と中国

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。プリントによって事前に知識を深めてきてもらいます。

【テキスト（教科書）】

特になし。

授業に必要な資料は配布しますが、配布方法は履修者数を見て考えます。

【参考書】

随時、紹介していきます。

【成績評価の方法と基準】

レポート（もしくは期末試験）100%

講義で扱ったテーマについて論述してもらいます。講義の内容の理解とまとめ方を評価の対象にするつもりです。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【Outline (in English)】

Course outline: Students will survey the history of Taiwan.

Learning objectives: At the end of the course, students are expected to consider how history have affected the life of people in Taiwan.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end report or test(100%)

HIS200LA（史学/History 200）

東洋史LD

2017年度以降入学者

サブタイトル：

齋藤 勝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

唐宋時代の歴史

中国の歴史における大きな転換期の一つと考えられている唐朝から宋朝までの歴史を概観し、中国の社会・経済の変化と周辺民族の動向が中国の歴史にどのような影響を与えていったかについて考える。

【到達目標】

唐宋変革期と言われる時代において、中国世界の有り様、社会の構造、経済形態が、周辺民族との関係の中でいかに変遷してきたかについての理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式で行っていきます。質問等は授業後に受けつけます。課題等に対するフィードバックは授業中もしくは学習支援システムにより行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	中国史の時代区分	中国史の時代区分をめぐる議論
第2回	唐宋の変革	内藤湖南の唐宋変革論
第3回	唐の建国	唐の建国に至る歴史とその支配層
第4回	唐の土地・税制度①	均田制・租庸調制
第5回	唐の土地・税制度②	荘園・両税法
第6回	藩鎮と唐末の反乱	藩鎮の成立と拡大、唐末の反乱との関係
第7回	五代十国	五代十国時代の展開
第8回	遼と西夏	五代から宋初の北辺民族の動向
第9回	宋の建国	宋の建国に至る歴史と文治主義
第10回	宋の社会と経済	宋代の社会・経済の特質と問題点
第11回	王安石の新法	王安石の新法とその背景
第12回	金と北宋の滅亡	金の建国と強化、北宋における党争、北宋の滅亡
第13回	モンゴル	モンゴルの強化とその影響
第14回	南宋	南宋の建国とその滅亡

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

指定した参考文献等による準備学習・復習。

【テキスト（教科書）】

特になし。

授業に必要な資料は配布しますが、配布方法は履修者数を見て考えます。

【参考書】

随時、紹介していきます。

【成績評価の方法と基準】

レポート100%（授業内テスト等に変更する場合があります）

講義で扱ったテーマについて論述してもらいます。講義の内容の理解とまとめ方を評価の対象にするつもりです。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

Course outline: Students will survey the history from the Tang dynasty to the Song dynasty.

Learning objectives: At the end of the course, students are expected to consider how Chinese history had been influenced by changes of its society and economy and the trend of different ethnic groups living in the North.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading criteria/policy: Term-end report or test(100%)

HIS200LA（史学/History 200）

西洋史 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

内田 康太

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

古代地中海世界に成立した諸国家のうち、アテナイ民主政とローマ共和政の国制について概説する。個々に独立した分析だけではなく、両者の比較という方法でそれぞれの特徴を把握することにより、歴史研究における比較史の有用性も学ぶ。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下のとおり。

- ・アテナイ民主政とローマ共和政の国制について基礎的知識を習得する。
- ・両者の国制について、類似点と相違点を説明できる。
- ・両者の国制を比較することの意義を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行うが、授業時間内に質疑応答の機会を設ける。さらに、授業終了後に毎回リアクションペーパーを提出してもらうことで、受講生の理解度、関心事項、疑問点等を確認しながら授業を進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	国制について考える
第2回	アテナイ民主政の歴史	アテナイ民主政の誕生から終焉まで
第3回	アテナイ民主政の国制（1）	参政権
第4回	アテナイ民主政の国制（2）	投票
第5回	アテナイ民主政の国制（3）	民会
第6回	アテナイ民主政の国制（4）	役人・公職者
第7回	アテナイ民主政の国制（5）	裁判
第8回	ローマ共和政の歴史	ローマ共和政の誕生から終焉まで
第9回	ローマ共和政の国制（1）	参政権
第10回	ローマ共和政の国制（2）	投票
第11回	ローマ共和政の国制（3）	民会
第12回	ローマ共和政の国制（4）	役人・公職者
第13回	ローマ共和政の国制（5）	裁判

第14回 試験・まとめと解説 到達度の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。参考書として挙げた書籍などを用いて、自主的に学習することが求められる。

【テキスト（教科書）】

特になし。担当教員が作成したレジュメ・資料を配布する。

【参考書】

橋場弦『古代ギリシアの民主政』、岩波新書、2022年。
島田誠『世界史リブレット3 古代ローマの市民社会』、山川出版社、1997年。

【成績評価の方法と基準】

期末の筆記試験（80％）

リアクションペーパーや質問等、授業への積極的参加度（20％）

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパー等を利用して積極的に質疑応答の機会を設けることにより、受講生の関心に沿った情報を提供するとともに、授業全体への理解も深まるよう配慮する。

【Outline (in English)】

Course outline: This course outlines the constitution of the Athenian democracy and the Roman republic. Not only analyzing them individually but also comparing each other to identify their characteristics, it also helps students learn the usefulness of comparative history.

Learning Objectives: The followings are the goals of this course.

- Students are able to acquire fundamental knowledge concerning the constitution of the Athenian democracy and the Roman republic.
- Students are able to explain similarities and differences between them.
- Students are able to understand the significance of comparing them each other.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. They are required to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves.

Grading Criteria: Grading will be decided based on term-end examination (80%) and in-class contribution (20%).

HIS200LA（史学 / History 200）

西洋史 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

皆川 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

800年以上ものあいだ西中欧を統合していた「神聖ローマ帝国」の仕組みとその発展を学びます。神聖ローマ帝国は帝国を構成する群小国が皇帝の権威に依存しつつ、人々の生活に必要な実際の政治を行っていくという、奇妙な政治構造をしていました。そのため皇帝は人々を精神的に満たす文化をカトリック教会やルネサンス都市から得、群小国がそれを使って人々の納得を得つつ、実際の政治を行っていました。本講義では最初に神聖ローマ帝国の概要を紹介したあと、こうした社会からどのような技術や価値観、美意識や生まれ、独創的なアイデアが考え出され、遺産として後代の世界に伝えられたかを学びます。

【到達目標】

本授業の目的は、近代国民国家という形にならなかった神聖ローマ帝国という政治的共同体を、当時の歴史的文脈の中において考察し、時代の制約の中で生み出された効果と限界を分析的に理解することです。そこから先に何を学べるかは、受講者の積極的な取り組み次第です。中学歴史分野や高校世界史で学んだことの意味をより批判的に理解できるよう、授業の中に多くのヒントを示しておきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

スライドとプリントによる系統的なスタイルでの講義形式を中心にを行います。単元の終了毎（原則として対面ですが、オンライン回にせざるを得ない場合はその都度）に、オンライン掲示による小テストを実施し、到達度を測ります。対面による質問は随時受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	神聖ローマ帝国の遺産	世界史の難問「神聖ローマ帝国」が、現在の社会を支える多くの遺産を残していることを紹介するとともに、その過去及び現在の評価を論じ、両者の間にあるギャップと問題の所在を把握します。
第2回	神聖ローマ帝国の成り立ち（1）－統率を欠いた巨大帝国	中世の中欧に出現し、キリスト教による世界支配を掲げた権威と武力の集団が、社会の発展を捉えた地方政権に分裂すると共に、それらが新たな危機に直面するまでを紹介します。
第3回	神聖ローマ帝国の成り立ち（2）－協力する体制の発展	帝国から誕生した大小の地方政権が、共同の課題を解決するために結束し、それを維持するための制度を作り出していく過程を説明します。

第4回	神聖ローマ帝国の成り立ち（3）－滅んだものと受け継がれたもの	帝国を構成する地方政権が国家としての成熟を果たし、それを支える近代思想を受け入れたことを見届けた神聖ローマ帝国が、役割を終えて消えていく過程と、その遺産を論じます。
第5回	ルネサンス文化と帝国の文明化	親分子分関係から地方政権の連合として再出発した15～16世紀の神聖ローマ帝国が、その絆となる価値としてルネサンス文化を受け入れ、活用する過程を紹介します。
第6回	宗派対立と三十年戦争	ルネサンスの根底にある「神」の解釈を巡って神聖ローマの構成国が二つに分断され、激しい宗教戦争を引き起こす過程を論じ、それがいかなる結果をもたらしたのかを考えます。
第7回	皇帝と領邦君主のパロック戦略	回復した平和を維持するため、宗派を超越した価値観が求められる中、帝国の統治者たちが「パロック文化」を取り入れ、人々を「紀律化」していく経緯を説明します。オンラインの方法については教場で指示します。
第8回	領邦君主の神聖ローマ帝国	神聖ローマ帝国を支えた地方政権の中で、もっとも重要な役割を果たした「領邦君主」の領国統治の仕組みを、代表的な領国について紹介します。
第9回	ドイツ文化のまほろば－帝国自由都市の世界	政治勢力としては小さいものの、神聖ローマの統治のアイデアや経済力、文化を供給した自治都市「帝国自由都市」の発展と、帝国におけるその役割を論じます。
第10回	帝国を支えるイタリア人	皇帝の領国オーストリアとイタリアは、近代の経緯で今でもわだかまりが残るほど緊張を伴う関係ですが、実は帝国を支える上で非常に深い協力関係にあった事実に焦点を当てます。
第11回	裁かれる国－神聖ローマ帝国の裁判所	神聖ローマの領邦君主や帝国自由都市は、それぞれ国としての性格を持つ一方、皇帝を担いだ平和共同体としての性格も持っていました。その平和と権利を支えた帝国裁判所の活動を紹介します。
第12回	帝国と科学－グレゴリウス暦の導入を巡って	他の西欧諸国と同様、近世の神聖ローマ帝国も宗教教義と経験合理主義の綱引きの場でした。西欧各国を悩ました暦の導入を巡る論争の行方に、帝国における「科学」の誕生を読み取ります。
第13回	教育の帝国	中世神聖ローマのアルプス以北の地域は、イタリアやフランスに遠く及ばない教育後進国でした。それが近世に急速に挽回し、教育先進国と呼ばれるまでに成長した経緯とその背景を分析します。
第14回	まとめ－神聖ローマ帝国と国家連合のヨーロッパが生み出せるもの	近世の神聖ローマ帝国が、集権化する同時期の周辺諸国とは正反対の方法で、同水準の生活と秩序を人々に保証したこと、それは歴史の中でどう評価されるかを、第1回の問題提起を振り返りながらまとめます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・事前に配布されるプリントは必ず授業前に読み、大まかな内容は頭に入れておきます（毎回1時間）。
- ・授業前に参考書やネットを通じて、始めて知る言葉、名前しか知らない言葉について一通り調べ、プリントにメモをします（毎回1時間）。
- ・授業終了後、授業中に分からなかった点について、自分で調べたり教員に質問します（毎回2時間）。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。（配布プリントがその機能を担います）

【参考書】

- ・草光俊雄・甚野尚志編著『ヨーロッパの歴史Ⅰ－ヨーロッパ史の視点と方法』放送大学教育振興会 2015
- ・成瀬治・山田欣吾・木村靖二編『ドイツ史〈1〉先史～1648年（山川世界歴史大系）』山川出版社 1997
- ・成瀬治・山田欣吾・木村靖二編『ドイツ史〈2〉1648～1890年（山川世界歴史大系）』山川出版社 1996
- ・斎藤寛海編『イタリア史〈2〉中世・近世（山川世界歴史大系）』山川出版社 2021
- ・三佐川亮宏『オットー大帝－辺境の戦士から「神聖ローマ帝国」樹立者』中央公論新社 2023
- ・池谷文夫『神聖ローマ帝国－ドイツ王が支配した帝国』刀水書房 2019
- ・ピーター・H・ウィルソン『神聖ローマ帝国 1495-1806』岩波書店 2005
- ・江村洋『中世最後の騎士－皇帝マクシミリアン1世伝』中央公論社 1989
- ・アルブレヒト・デューラー（前川誠郎訳）『自伝と書簡』岩波書店 2009
- ・ペーター・ブリックレ（服部良久訳）『ドイツの臣民』ミネルヴァ書房 1990
- ・河野淳『ハプスブルクとオスマン帝国－歴史を変えた〈政治〉の発明』講談社 2010
- ・永田諒一『宗教改革の真実－カトリックとプロテスタントの社会史』講談社 2004
- ・山本文彦『神聖ローマ帝国－「弱体なる帝国」の実像』中央公論新社 2024
- ・ヴェロニカ・C・ウェッジウッド（瀬原義生訳）『ドイツ300年戦争』刀水書房 2003
- ・エンゲルハルト・ヴァイグル（三島憲一他訳）『啓蒙の都市周遊』岩波書店 1997
- ・マックス・フォン・バーン（飯塚信雄他訳）『ドイツ十八世紀の文化と社会』三修社 1997
- ・W・H・ブリュフォード（上西川原章訳）『十八世紀のドイツ－ゲテ時代代の社会的背景』三修社 1981
- ・今野元『フランス革命と神聖ローマ帝国の試煉－大宰相ダールベルクの帝国愛国主義』岩波書店 2019

【成績評価の方法と基準】

- ・評価は平常点（30%）、単元毎の小テスト（20%）、期末レポート（50%）を総合して評価します。
- ・神聖ローマ帝国の発展を系統的に説明することができ【第1評価プロセス：単元毎の小テスト20%に照応】、授業で学んだ知識を用いて、自分なりに神聖ローマ帝国の歴史をヨーロッパ史の中に批判的に位置づけ、その影響について論じることができること【第2評価プロセス：期末レポート50%に対応】、が基準となります。

【学生の意見等からの気づき】

- ・シラバスの予定に対し若干遅れた部分があり、時間配分に心がける。
- ・受講者の予備知識の差が大きいため、反転学習的な試みを導入したい。
- ・他の歴史の照応現象との比較から論じることが、分かりやすいということであるので、今後も工夫しつつ維持する。
- ・学生が小テストやレポートにAIを使用するようになったため、成果物がそのまま学生の理解を反映しなくなっている。AI使用を前提とし、成果物をリアクションペーパーなどと照合し、学生の思考の足跡をも平常点に反映する。また自ら問いを立てる能力を計測できるよう、小テストや期末レポートの内容を工夫する。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

This course will explore the structure and development of the Holy Roman Empire, which unified Western and Central Europe for over 800 years. The Holy Roman Empire had a unique political structure, with the various small states that made up the empire relying on the authority of the emperor while simultaneously conducting practical governmental affairs necessary for people's lives. The emperor thus gained spiritually fulfilling culture from the Catholic Church and Renaissance cities, and the smaller states used this to gain people's support and conduct practical governmental affairs.

(Learning Objectives)

This course will begin with an overview of the Holy Roman Empire, and then explore the technologies, values, aesthetic sense, origins, and creative ideas that emerged from this society and were passed down to future generations as a legacy.

(Learning activities outside of classroom)

- Be sure to read the handouts distributed in advance before class and have a general understanding of their content (1 hour each time).

- Before class, look up any unfamiliar words or names that you are encountering for the first time through reference books or the internet, and take notes on the handouts (1 hour each time).

- After class, investigate things you didn't understand during the lesson on your own or ask the instructor for clarification (2 hours each time).

(Grading Criteria/Policy)

- ・Grades are based on a combination of regular attendance and participation (30%), quizzes for each unit (20%), and the final report (50%).

- ・The criteria are that students can systematically explain the development of the Holy Roman Empire [corresponding to the first assessment process: quizzes for each unit, 20%], and that they can use the knowledge gained in class to critically position the history of the Holy Roman Empire within European history and discuss its impact [corresponding to the second assessment process: final report, 50%].

HIS200LA (史学/History 200)

西洋史 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺 知

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

18世紀後半から20世紀にかけてのイギリスの歴史を講じます。近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。この授業では、こうしたイギリス帝国の多様なあり方を見ていくこととします。

【到達目標】

ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義を行います。リアクションペーパー等でのコメント、質問は随時授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業内容の紹介	18世紀から20世紀にかけてのイギリスの歴史の流れを概観します。
第2回	二重革命の時代 1	産業革命の特徴とそれがイギリスの政治、経済、社会に与えた影響を検討します。
第3回	二重革命の時代 2	フランス革命がイギリスにどのような影響を与えたか検討します。
第4回	帝国の再編 1	二重革命の時代は、イギリスの帝国が第一帝国から第二帝国へと再編された時期でもありました。その再編の過程を奴隷貿易の廃止問題を中心に説明します。
第5回	帝国の再編 2	二重革命の時代は、イギリスの帝国が第一帝国から第二帝国へと再編された時期でもありました。その再編の過程をインドの植民地化を中心に説明します。
第6回	ミドル・クラス	二重革命の影響で、イギリスではミドル・クラスが台頭してきます。このミドル・クラスの特徴を「リスpekタビリティ」という言葉をキーワードに検討します。

第7回	ミドル・クラスのジェントルマン化	台頭してきたミドル・クラス層が従来の支配者層であるジェントルマンと融合していく過程を検討します。
第8回	労働者階級	ジェントルマンとミドル・クラスが19世紀のイギリスの繁栄の恩恵を受けたのに対し、労働者階級の大多数はその恩恵から排除されていました。労働者階級を取り巻く状況を説明します。
第9回	アイルランド移民	労働者階級の中でも最下層を形成したのがアイルランドからの移民でした。アイルランド移民を切り口にアイルランド、スコットランド、イングランドの地域の問題を検討します。
第10回	「怠惰な女性」と「善良な女性」 1	19世紀のイギリスにおいて女性たちがどのようなことを求められていたのか「怠惰な女性」と「善良な女性」をキーワードに検討します。
第11回	「怠惰な女性」と「善良な女性」 2	19世紀のイギリスにおいて女性たちがどのようなことを求められていたのか「怠惰な女性」と「善良な女性」をキーワードに、引き続き、検討します。
第12回	帝国主義の時代	1870年代以降のイギリスの経済、社会について概観します。
第13回	社会帝国主義	イギリスの国内問題の解決の場として帝国の果たす役割がこの時期大きくなったことを検討します。
第14回	試験・まとめと解説	18世紀から20世紀にかけてのイギリスの歴史がどのような特徴を持ち、イギリス帝国の諸地域に対してどのような影響を与えたのか、また、帝国の諸地域からどのような影響を受けたのか総括します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に使用しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点20%、学期末の試験80%）。

【学生の意見等からの気づき】

視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline (in English)】

< Course outline >

British History from the 18th century to the 20th century
In this lecture, the formation of the British Empire and the influence of the empire on Britain and her dependencies will be discussed.

< Learning objectives >

- 1) Students are able to acquire basic knowledge about modern and contemporary British history
- 2) Students are able to understand British history in view of its interaction with the rest of the world.
- 3) Students are able to learn diverse perspectives in history.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books and learn by themselves.

< Grading policy >

Class participation and assignments: 20% Final examination:
80%

HIS200LA（史学/History 200）

西洋史LD

2017年度以降入学者

サブタイトル：古代アテナイ民主政の成立と発展

内川 勇海

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

古代アテナイ（紀元前5～4世紀）で実践された民主政治について、主に制度面に注目しながら、その成立と発展を概観する。歴史的なものの見方、考え方に留意しながらアテナイ民主政の具体的な仕組みを学ぶ。

【到達目標】

- ・アテナイ民主政の具体的な仕組みを理解できる。
- ・歴史的な知識を深めるだけでなく、常に現代の民主主義国家との比較の視点を持って過去を理解する姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。ただし、リアクションペーパーを積極的に活用するなど、受講生の主体的な参加を求める。課題や質問に対しては、授業の内容や目的に照らして有益なものを抽出したうえで、次の授業までにフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	本講義の内容と目標について説明する。
第2回	古代ギリシアの歴史概観	古代アテナイに焦点を合わせる前に、古代ギリシアの通史について、高校世界史の復習も兼ねて概観する。
第3回	史料について	歴史学で用いる史料について概説する。
第4回	アテナイ民主政概観	アテナイの民主政が、どのような組織や機関からなるのか、その概要を説明する。
第5回	500人評議会（1）	アテナイ民主政の主要機関であり、主に行政的機能を担った500人評議会について説明する。
第6回	500人評議会（2）	前回に引き続き500人評議会について説明する。
第7回	民会（1）	主要機関の一つであり、アテナイ市民団の意思決定機関である民会について説明する。
第8回	民会（2）	前回に引き続き民会について説明する。
第9回	公職者（役人）	公職者（役人）の組織や役割について説明する。
第10回	民衆法廷（1）	アテナイの主要法廷であり、司法だけでなく政治的機能も担った民衆法廷について説明する。

第11回	民衆法廷（2）	引き続き民衆法廷について説明する。
第12回	その他の機関（アレオパゴス評議会・立法委員会など）	アテナイ民主政を支えたそれ以外の機関について説明する。
第13回	殺人法廷	アテナイにおいて特殊な位置を占めた殺人法および殺人訴訟について説明する。
第14回	全体のまとめ	半年間の講義内容をまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。以下に掲げる参考書などを自主的に読み、授業で扱う内容についての理解を深める。また、授業で用いる資料について宿題が課される場合もある。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。毎週講義資料を学習支援システムで共有する。印刷するかパソコンなど資料を表示できる機器を持参すること。

【参考書】

伊藤貞夫『古代ギリシアの歴史』（講談社学術文庫、2004年）
橋場弦『民主主義の源流』（講談社学術文庫、2016年）
橋場弦『古代ギリシアの民主政』（岩波新書、2022年）
橋場弦、國方栄二訳『アテナイ人の国制；著作断片集』（岩波書店、2014年）
長谷川岳夫【編著】『はじめて学ぶ西洋古代史』（ミネルヴァ書房、2022年）
その他講義中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業参加度、課題への取り組み方など）：50%
- ・出席管理は厳格に行う。
- ・期末レポート：50%

【学生の意見等からの気づき】

写真や動画の活用を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

特にないが、講義中のパソコンやタブレットなどの使用は可能。

【Outline (in English)】

< Course outline > This course explores ancient Athenian history, particularly focusing on the development of democracy in the 5th and 4th century BC.

< Learning objectives > 1) Students are able to acquire basic knowledge about ancient Athenian history . 2) Students are able to acquire a wider perspective on democratic nations.

< Learning activities outside of classroom > Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy > Class participation and assignments: 50%, essay: 50%

HIS200LA（史学/History 200）

日本史Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

森 朋久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：日本の耕地と集落（村）の史的展開

日本の歴史のうち、日本の原風景、伝統的な景観であり、主に耕地と集落で成り立つ、村（ムラ）の歴史について、各時代の政治と経済を背景としながら、通史的に学習することができる。特に、現在の市町村の基盤となる村が成立する、近世・近代が重点となる。耕地と集落は、棚田に代表されるように、人間と自然との共同作品で、文化的景観として近年注目されている。世界的に優良なその景観は、世界遺産の選定項目となり、日本でも優良な景観は、文化財保護法、農林水産業の重要文化的景観に選定されており、文化財としての意義がある。授業では前提として、日本史研究の基礎資料である歴史資料（古文書）を読み、その重要性を理解するとともに、耕地や集落が文化財としてどのような意義があるのかを学ぶことができる。（学問分野：日本史、日本地域史、日本村落史、環境歴史学、文化財学）

【到達目標】

日本史研究の基礎資料である歴史資料（古文書）や耕地と集落の文化財的な意義を踏まえ、日本の農林水産業の地域基礎単位である村（ムラ）に関する通史的な学習を通し、教科書的な理解を越え日本史に対する新たな歴史観と問題意識を形成することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は、対面授業の講義形式で行う。なお、変更が生じた場合は、速やかに対面授業の場合および「ポータルサイト・時間割・講義内情報」機能を用いて連絡する。各回の授業は主として適宜配信または配布した資料により、シラバス通りに進める。授業内レポート提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	日本史における耕地と集落の意義 日本史研究の基礎
第2回	日本史学入門	歴史資料の提示、解説、歴史資料の内容解説、背景
第3回	文化財保護法と耕地と集落	文化財・重要文化的景観からみた村（耕地と集落）
第4回	弥生・古墳時代の村	縄文・弥生移行期、弥生・古墳時代の耕地と集落
第5回	古代の政治と経済	古代の村と領主支配との関係
第6回	古代の村	古代の開発、条里と村、荘園と村、初期武士団の村
第7回	中世の政治と経済	中世の村と領主支配との関係
第8回	中世の村	村の景観、惣村と在家、開発と経営、近世の村との関係

第9回	近世の村の景観	村の基本構成要素、様々な村のかたち
第10回	近世の村の機能	村で作成される様々な文書、ムラの運営
第11回	幕藩領主の農政と近世の村（1）	近世中期までの領主財政と年貢収奪
第12回	幕藩領主の農政と近世の村（2）	吉宗政権の年貢増徴策と新田開発、土地政策
第13回	近代の村	地租改正、戸長制、大区小区制、地方三新法、地方改良運動と村
第14回	現代の村	農地改革、昭和の市町村合併と村、高度成長下の耕地と集落

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

〈1〉準備学習：あらかじめ配信または配布した資料を一読、一覧しておくこと。各授業の時代背景を、日本史年表で調べておくことが望ましい。

〈2〉復習：日本各地の地名が出てくるので、馴染みがない地名は地名辞典などで調べておくこと。授業内レポートに備えて、授業の内容を各回まとめておくこと。

〈3〉本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めない。適宜配信・配布した資料に沿って授業を行う。

【参考書】

〈1〉『村の語る日本の歴史 古代・中世編』、『村の語る日本の歴史 近世編①』、『村の語る日本の歴史 近世編②』木村礎著（1983年 そしえて）

〈2〉『日本の農業150年 1850～2000年』暉峻衆三編著（2003年 有斐閣）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小レポート・リアクションペーパー 30％）と期末レポート（70％）で、評価を決める。

授業内レポートは授業内容の理解度に応じて、また期末レポートは課題に対する豊富な内容に応じて評価する。

リアクションペーパーは、履修者の手書きとする。

適宜出席確認を実施する。規定以上の欠席者は、単位修得はできないので、注意のこと。

【学生の意見等からの気づき】

オンデマンド授業資料（音声付属）を利用する場合は、形式的になる説明部分に関しては、口頭で追加の情報資源を伝える予定である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with the historical explores the features of the Japanese village society from the perspective of people's life and an abundant historical and geographic image.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to understand the historical features of the Japanese village society.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report : 70%、Short class reports : 30%.

HIS200LA（史学/History 200）

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

森 朋久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：江戸時代転換期における政治・経済・社会

日本の江戸時代の歴史のうち、おもに転換期となる享保改革期から田沼政治期の政治・経済・社会（農村・都市）について、地域環境の変化に留意しながら学ぶことができる。具体的には、最近の成果を取り入れながら、一般的に知られているこの時期の諸事象と諸政策が歴史上どのような意義をもつのかを理解することを学習・教育目標とする。また、江戸時代における地域の諸相や地域基礎単位であり、町人や武家の生業生活の場である「都市」および農民の生産生活の場である「村」に注目しながら、日本近世史を学ぶことができる。（学問分野：日本近世史、日本地域史、日本都市史、日本都市近郊農村史）

【到達目標】

江戸時代研究の重要な情報資源である近世文書や江戸時代の政治（幕政・藩政）・経済・社会（都市江戸および江戸近郊・周辺農村）に関する学習などを通し、教科書的な理解を越え当該期に対する新たな歴史観と問題意識を形成することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義/Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は、対面授業の講義形式で行うことを基本とする。なお、変更が生じた場合は、速やかに対面授業の場および「ポータルサイト・時間割・講義内情報」機能を用いて連絡する。各回の授業は、主として資料の配信または配付によりシラバス通りに進める。授業内レポート提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

近年、大河ドラマの主役となった、徳川家康、その妻子（築山殿・松平信康など）も話題とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の内容と進め方についての説明
第2回	吉宗政権の成立	家康～吉宗の時代推移と地域 吉宗政権の性格
第3回	行政機構の改革と法令の整備	老中制度及び勘定所機構の整備 法令集の編さん
第4回	享保改革期の農政	農政の特徴
第5回	都市政策の前提	都市江戸の成立と河川 武家屋敷の展開
第6回	都市政策の展開	江戸の防火政策 経済政策 風俗・出版統制
第7回	田沼政権の成立	家重政権時代の意次 意次権力の拡大

第8回	通貨制度の改革	江戸時代の通貨の特徴 田沼政権発行の貨幣
第9回	間接税の導入	百姓一揆と財政窮乏策 株仲間の役割
第10回	幕政と藩政（1）	幕府の銅貿易と秋田藩の産銅政策
第11回	幕政と藩政（2）	幕府の通貨政策と秋田藩の銭鑄造
第12回	江戸近郊の地域史	江戸の青物市場 江戸近郊農村における蔬菜生産と下肥流通
第13回	江戸周辺の地域史	利根川の歴史と流域住民の共生
第14回	日本通史、地域史における享保改革・田沼政治期の意義	享保改革・田沼政権期はなぜ転換期と呼ばれるのか、江戸と近郊・周辺地域との関係は如何なるものなのかを、総体的に考えていきます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

常にノートを整理し、配信または配布した資料などを改めて読みなおすなど、次回に備えるようにしてもらいたい。なお、本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは指定しない。適宜資料を配信・配布する。

【参考書】

〈1〉『幕藩体制の展開と動揺 上（日本歴史大系10）』井上光貞ほか著（山川出版社）

〈2〉『大江戸歴史の風景』加藤貴編著（山川出版社）

その他、参考となる文献は、講義の中で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小レポート・リアクションペーパー 30%）と期末レポート（70%）で、評価を決める。授業内レポートは授業内容の理解度に応じて、また期末レポートは課題に対する豊富な内容に応じて評価する。

リアクションペーパーは、履修者の手書きとする。

適宜出席確認を実施する。規定以上の欠席者は、単位修得はできないので、注意のこと。

【学生の意見等からの気づき】

授業で利用する資料を、対面授業教室のみではなく、オンラインでの配布を求める意見があり、これを実行する予定である。

関東に関わる歴史事象の紹介が近年好評だったので、今年度も引き続きこれを行う予定である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with the historical explores the administration, the economy and the society of Japan in the early modern period including the social system of Edo and its surrounding areas.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to understand the economy and the society of Japan in the early modern period.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report : 70%、Short class reports : 30%、

HIS200LA（史学/History 200）

日本史Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

仁平 義孝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

鎌倉時代の幕府政治史について、幕府内部で繰り返された内紛と、幕府の政治意志決定のあり方を中心に、関連する史料を読みながら検討していく。

【到達目標】

鎌倉幕府政治史の流れを理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。講義資料を学習支援システムにて配布するので、受講生は各自でプリントアウトして受講すること。第2回以降の対面授業では出席をとる。学期内と学期末にレポートを提出してもらう。レポートは2回とも期限内に提出することが必須となる。学期内に課すレポートについては、最終授業で解説する。

質問は授業終了後や、学習支援システムの掲示板などで受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明。
2	源頼朝執政期の幕府政治(1)	寿永2年10月宣旨、文治勅許など。
3	源頼朝執政期の幕府政治(2)	頼朝上洛、建久7年の政変、頼朝執政期の評定など。
4	将軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治(1)	比企氏事件、頼家・実朝期の評定など。
5	将軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治(2)	和田合戦、承久の乱、政子期の評定など。
6	執権北条泰時・経時期の幕府政治(1)	伊賀氏事件、宇津宮辻子幕府移転など。
7	執権北条泰時・経時期の幕府政治(2)	評定、御成敗式目など。
8	執権北条泰時・経時期の幕府政治(3)	経時の訴訟制度改革など。
9	執権北条時頼・長時期の幕府政治(1)	寛元の政変、宝治合戦など。
10	執権北条時頼・長時期の幕府政治(2)	引付設置、得宗時頼など。
11	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治(1)	引付廃止・再設置、寄合、二月騒動など。
12	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治(2)	霜月騒動、平禅門の乱など。

- 13 得宗北条時宗・貞時・貞時の訴訟制度改革、貞時・高時期の幕府政治(3) 時期の評定・寄合など。
- 14 まとめ 授業内容のまとめと学期内レポートの解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書や授業時に紹介する文献を読む。

本授業の準備・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

なし。講義資料を学習支援システムにて配布する。

【参考書】

本郷恵子『京・鎌倉 ふたつの王権』（小学館、2008年）
川合 康『源平の内乱と公武政権』（吉川弘文館、2009年）
小林一岳『元寇と南北朝の動乱』（吉川弘文館、2009年）
近藤成一『鎌倉幕府と朝廷』（岩波新書、2016年）
その他、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期内レポート（45%）、学期末レポート（45%）、平常点（10%）。

【学生の意見等からの気づき】

講義資料のわかりにくい表現を改める。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course studies political history of the Kamakura Shogunate.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquisition of the study method of the Kamakura era.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria/Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

mid-term report:45%, term-end report:45%, in class contribution:10%

HIS200LA（史学/History 200）

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

仁平 義孝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

鎌倉幕府の基本法である『御成敗式目』を読む。その内容は多岐にわたるが、ここでは罪と罰や訴訟手続きに関する条文を中心に読み、鎌倉幕府法の特徴を考えていく。

【到達目標】

鎌倉幕府法の特徴を理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。講義資料を学習支援システムにて配布するので、受講生は各自でプリントアウトして受講すること。第2回以降の対面授業では出席をとる。

学期内と学期末にレポートを提出してもらう。レポートは2回とも期限内に提出することが必須となる。学期内に課すレポートについては、最終授業で解説する。

質問は授業終了後や、学習支援システムの掲示板などで受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	『御成敗式目』について(1)	『御成敗式目』制定の目的などの解説。
2	『御成敗式目』について(2)	『御成敗式目』の条文構成などの解説。
3	『御成敗式目』第9条	謀叛の罪について。
4	『御成敗式目』第10条	殺害・刃傷の罪について。
5	『御成敗式目』第11条	夫の罪科の妻への縁坐について。
6	『御成敗式目』第21・24条	離婚・再婚と女性所領について。
7	『御成敗式目』第12条	悪口の罪について。
8	『御成敗式目』第13・14条	殺人の罪および地頭代の罪について。
9	『御成敗式目』第15条	謀書の罪について。
10	『御成敗式目』第33条	強盗・窃盗・放火の罪について。
11	『御成敗式目』第34条	密懐の罪について。
12	『御成敗式目』第51条	問状狼藉について。
13	『御成敗式目』第35条	召文違背の罪について。
14	まとめ	授業内容のまとめと学期内レポートの解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書や授業時に紹介する文献を読む。

本授業の準備・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

なし。講義資料を学習支援システムにて配布する。

【参考書】

『中世政治社会思想 上』（日本思想大系21、岩波書店、1972年）
佐藤雄基『御成敗式目』（中公新書、2023年）
神野潔・佐藤雄基編『御成敗式目ハンドブック』（吉川弘文館、2024年）
その他、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期内レポート（45%）、学期末レポート（45%）、平常点（10%）。

【学生の意見等からの気づき】

講義資料のわかりにくい表現を改める。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course studies law of the Kamakura shogunate.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquisition of the study method of the Kamakura era.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria/Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

mid-term report:45%, term-end report:45%, in class contribution:10%

HIS200LA (史学 / History 200)		
日本史Ⅰ	2017年度以降入学者	
サブタイトル：		
貫井 裕恵		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月5/Mon.5		
単位数：2単位		
その他属性：〈優〉		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
ユネスコ「世界の記憶」に採択されている国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を学びます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいかに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。		
日本の歴史・文化について広く学び、社会人になっても生きる教養を身につけましょう。		
＊日本史ⅠⅡもあわせて受講することを強く推奨します。		
【到達目標】		
・「東寺百合文書」を通じて、日本中世社会への理解を深める。		
・歴史史料から歴史像を浮かび上がらせる醍醐味を味わう。		
・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。		
・文化財のもつ多様な価値とさまざまな見方を学ぶ。		
・くずし字に親しみ、解読できるようになる。		
・国際社会において日本の歴史文化や文化財の魅力を説明できるようになる。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1		
【主な授業方法】		
L 講義 /Lecture		
【授業の進め方と方法】		
基本的に対面授業で実施しますが、大学の方針に従い、適宜柔軟に対応します。学習支援システムを通じてお知らせします。		
毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに応答するかたちで復習を行います。		
授業期間内に、文化財関連の研究所・美術館・博物館へ見学に行ってください、感想の提出を求めます。上記のレビューシート同様に、授業内で共有します。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の目的と課題、評価方法などの説明
2	歴史学の流れと日本中世史	歴史学の発展と、そのなかでの日本中世史研究の大きな流れを学ぶ
3	中世社会と東寺	日本中世社会の構造と、そのなかでの東寺の位置づけなど、本授業のおおまかな流れや前提となる知識を学ぶ
4	東寺百合文書について	東寺百合文書の特質と採択されているユネスコ「世界の記憶」について学ぶ
5	寺院組織	東寺をはじめとする中世寺院の組織と構造を学ぶ
6	史料管理（アーカイブズ）	中世寺院における史料管理のありかたを学ぶ
7	芸能	能・狂言の淵源となった、中世寺院周辺で行われた様々な芸能を学ぶ
8	喫茶文化	中世寺院における僧侶や民間における喫茶文化を学ぶ
9	寺誌・縁起	寺院における歴史叙述のありかたを学ぶ
10	絵巻	『弘法大師行状絵巻』など寺院における絵巻作成の背景や利用方法などを学ぶ
11	荘園の構造・荘園絵図の世界	中世荘園制社会について学び、荘園絵図も紹介しつつ、中世社会の諸問題を学ぶ
12	文化財を守り伝える	文化財が現代まで守り伝えられてきた意義を学ぶ
13	現代社会と歴史学研究	現代社会において歴史学を学ぶ意義を学び、受講者と討論する
14	まとめ	受講者の質疑応答とレポート内容の報告会および講評、本講義のまとめ
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。		
【テキスト（教科書）】		
適宜配布します。		
【参考書】		
・佐藤進一『新版 古文書学入門』法政大学出版局、2003年		
・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998年		
【成績評価の方法と基準】		
レポート60％、平常点40％で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。		
【学生の意見等からの気づき】		
毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。		
【学生が準備すべき機器他】		
特になし		
【その他の重要事項】		
・日本史ⅠⅡもあわせて受講することを強く推奨します。		
・日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとおくお待ちしております。		
・高校で日本史を学んでいなくても、受講に支障はありません。		
・日本の歴史と文化、文化財の魅力を自分の言葉で海外に発信できるようにしましょう。		
【Outline (in English)】		
【Course outline】The Outline of this class is learning of the medieval history of Japan. 【Learning Objectives】The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan. 【Learning activities outside of classroom】You spend 2hours preparing and reviewing each class. You learn broadly about Japanese history and culture and acquire the knowledge you need to become a member of society. 【Grading Criteria /Policy】You need to hand over review sheets each class and reports last class.		

HIS200LA（史学/History 200）

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

貫井 裕恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ユネスコ世界記憶遺産に採択された国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を身につけます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいまに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。日本の歴史・文化について広く学び、社会人になっても生きる教養を身につけましょう。
＊日本史Ⅱもあわせて受講することを強く推奨します。同授業の発展的内容になります。

【到達目標】

- ・「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深める。
- ・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
- ・歴史史料から歴史像を浮かび上がらせる醍醐味を味わう。
- ・文化財のもつ多様な価値と読み解き方を学ぶ。
- ・くずし字に親しみ、解読できるようになる。
- ・国際社会において日本の歴史文化や文化財の魅力を説明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に対面授業で実施しますが、大学の方針に従い、適宜柔軟に対応します。学習支援システムを通じてお知らせします。毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに応答するかたちで復習を行います。授業期間内に、美術館・博物館へ見学に行ってください、感想の提出を求めます。上記のレビューシート同様に、授業内で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の概要や評価方法を知る
2	歴史学と日本中世史	日本における歴史学の流れと、中世史の歩みを学ぶ
3	寺院史料論	中世寺院における史料（聖教・古文書等）とその社会について学ぶ
4	寺院史料と東寺百合文書	中世寺院における史料群の形成と伝来を概観し、東寺百合文書の特徴を探る
5	中世寺院・東寺の誕生	古代から鎌倉初期に至る東寺の歴史を学ぶ

6	鎌倉幕府と東寺	建久年間の文覚上人による東寺復興事業や蒙古襲来をとりあげながら、寺院と武家の関わりを学ぶ
7	本末相論	鎌倉中～末期における東大寺・醍醐寺の本末相論との関わりに焦点をあてながら、同時期の東寺の宗教環境を学ぶ
8	アーカイブズの形成と伝来	中世寺院における文書・聖教群の形成と管理のありかたを学ぶ
9	東寺領荘園の展開	鎌倉末期から南北朝期にかけて拡充した東寺領荘園とその展開を学ぶ
10	東寺の伽藍修造事業	東寺大勧進職が推進した室町期における修造事業について学ぶ
11	弘法大師信仰の展開	東寺御影堂を中心に展開した弘法大師信仰とその社会的意義を学ぶ
12	寺院の芸能	古典芸能に通じる、室町期に発達した寺院における芸能について学ぶ
13	応仁・文明の乱	応仁・文明の乱という大乱に際して、人びとがどのように対応したのかを学ぶ
14	まとめ	現代社会において歴史学研究成果たす役割を学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・使用テキストは事前に予習しておく。（各回2時間程度。予習の仕方については教場で説明します。）
- ・プリントやノートを用いた復習を行う。（各回2時間程度。復習の仕方については教場で説明します。）
- ・本授業の最終にレポートをまとめて提出する。（テーマや執筆方法については、教場でお伝えします。）

【テキスト（教科書）】

適宜配布します。

【参考書】

- ・佐藤進一『新版 古文書学入門』法政大学出版局、2003年
 - ・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998年
- このほか、授業の進行状況に応じてお伝えします。

【成績評価の方法と基準】

レポート60%、平常点40%で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

【学生の意見等からの気づき】

毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

- ・日本史Ⅱもあわせて受講することを強く推奨します。
- ・日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとくにお待ちしております。
- ・高校で日本史を学んでいなくても、受講に支障はありません。
- ・日本の歴史と文化、文化財の魅力を自分の言葉で海外に発信できるようにしましょう。

【Outline (in English)】

【Course outline】The Outline of this class is learning of the medieval history of Japan. 【Learning Objectives】The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan. 【Learning activities outside of classroom】You spend 2hours preparing and reviewing each class. You learn broadly about Japanese history and culture and acquire the knowledge you need to become a member of society. 【Grading Criteria/Policy】You need to hand over review sheets each class and reports last class.

HIS200LA (史学/History 200)

日本史Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 多間

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は日本近代史（政治史、社会史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデータを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】

日本近代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義においては、双方向的やりとりを重視する。課題の中で優秀な小レポートについては、その都度、授業内において取り上げ、講評を行う。また、授業の最後に寄せられたコメントについても、次週の授業において取り上げる。新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、内容に若干の変更を伴うこともある。オンライン、対面授業等などの実施予定にともなう、各回の授業計画の変更については、本講義の開始日に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本近代史を考える	日本近代史の見方や解釈について、先行研究の論点を整理し、考察を深める。
2	空襲と国民	空襲の残した爪痕について「戦後」も含めて考察する。
3	日本近代史の中の病気	「流感」やその他の病気が、日本近代史に与えた社会的影響について考える。
4	明治憲法と戦前の日本	いわゆる明治憲法体制の形成と崩壊について考える。
5	皇族と戦前の日本	皇族たちの近代史について考える。
6	第一次世界大戦と日本	近年の研究動向をふまえ、100年以上前の戦争の記憶について考える。
7	皇族と三種の神器	三種の神器や賢所、宮中の制度などについて考える。
8	満洲事変と日本外交	「満洲事変」が日本の国内政治をどのように変容させたのかについて考える。
9	戦争と捕虜	「捕虜」「俘虜」などの定義などについて考える。
10	二・二六事件と陸軍	二・二六事件とその思想的背景について考える。

11	日独伊三国同盟と重臣	いわゆる「三国同盟」について、当時の史料を読みながら、この問題について考察を深める。また、同盟理論についても考察を深める。
12	「アジア・太平洋戦争」の時代	戦前の朝鮮・台湾・アジアとの関係について考える。
13	シベリア抑留と日ソ関係	近衛文隆や宇野宗佑、三波春夫など、多くの人が抑留されました。抑留中に歌われた音楽やナヴォイ劇場にまつわる言説についても取り上げます。
14	原爆投下について考える	原爆投下についての論争などについて整理し「戦後」の問題も考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

開講時に指示する。

【参考書】

開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（各回のコメント）30%
簡単な小レポート（複数回）50%
テスト 20%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

(Learning Objectives) Students will acquire a basic understanding of modern Japanese history while also learning how to write short essays.

(Learning activities outside of classroom)

Preparation time: 2 hours per class

Review time: 2 hours per class

(Grading Criteria /Policy)

Short reports 50%

Class participation (weekly comments) 30%

Final test 20%

HIS200LA (史学/History 200)

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 多聞

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は日本現代史（政治史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデータを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】

日本現代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義においては、双方向的やりとりを重視する。課題の中で優秀な小レポートについては、その都度、授業内において取り上げ、講評を行う。また、授業の最後に寄せられたコメントについても、次週の授業において取り上げる。新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、内容に若干の変更を伴うこともある。オンライン、対面授業等などの実施予定にともなう、各回の授業計画の変更については、本講義の開始日に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本現代史について考える	「戦前」と「戦後」について考えます。
2	老病死の「終戦史」	「病氣」「身体」といった要因が政治に与えた影響を考える。
3	日露戦争と鈴木貫太郎	近年の研究動向をふまえ、日露戦争のインパクトについて考える。
4	真珠湾攻撃と日米戦争	2021年の80周年にあたってのメディアや記憶について考える。
5	新憲法の制定過程	日本国憲法の制定過程について概観します。
6	東条英機と「東京裁判」	国際政治の文脈から「東京裁判」を考えます。
7	昭和天皇と平沼騏一郎	平沼騏一郎とその政治グループの位置づけについて考えます。
8	55年体制の成立と岸信介	岸信介とその政治グループの位置づけについて考えます。
9	占領政策の転換と吉田茂	吉田茂とその政治グループの位置づけについて考えます。
10	風化する戦争体験と「五感」	五感を歴史学の文脈で語ることは難しいです。空襲警報の音や、戦争における「匂い」などについて考えます。

11	政治とシンボル	「国家」「陸軍」「海軍」は見えてなくても、シンボルは目に見えます。国旗、軍旗、軍艦、日本刀、石碑、いろいろなものについて考えてみたいと思います。
12	日中国交正常化と高度成長	戦後の日中・日台関係について概観します。
13	冷戦の終結と日米関係	日米関係を長期的視点から考察します。
14	21世紀の日本外交 相互理解にむけて	日本の内政と外交がどのような関連性を持っているのかを理解します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

開講時に指示する。

【参考書】

開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（各回のコメント） 30%
小レポート（複数回） 50%
テスト 20%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

(Learning Objectives) Students will acquire a basic understanding of modern Japanese history while also learning how to write short essays.

(Learning activities outside of classroom)

Preparation time: 2 hours per class

Review time: 2 hours per class

(Grading Criteria /Policy)

Short reports 50%

Class participation (weekly comments) 30%

Final test 20%

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

宗教論 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

古澤 有峰

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

グローバルな視点から、宗教の社会貢献や中立性、利他等について再考する。

【到達目標】

国際社会の中の宗教をめぐる課題や問題点（宗教の社会貢献や公共における宗教的中立性など）について、具体例の検証などを通じて学習・理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式。教科書は使用せず、配布資料に沿って授業を進めていく。初回レポートおよび中間レポートの提出を求める。コメントに対するフィードバックは資料配信によって行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	導入	「宗教」を取り巻く諸問題について、国際社会の中の宗教という観点から再考する
2	理論編	宗教・中立・公共性—講義理解のための“理論入門”
3	国際社会の中の宗教 ①災害支援は誰のためか（1）	赤十字の思想と実践を例に
4	国際社会の中の宗教 ①災害支援は誰のためか（2）	阪神大震災を例に
5	国際社会の中の宗教 ①災害支援は誰のためか（3）	東日本大震災を例に
6	国際社会の中の宗教 ②あなたのからだは誰のものか（1）	中絶論争を例に
7	国際社会の中の宗教 ②あなたのからだは誰のものか（2）	臓器移植を例に
8	国際社会の中の宗教 ②あなたのからだは誰のものか（3）	終末期医療を例に
9	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（1）	心と魂のケア、その課題と問題点

10	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（2）	スピリチュアルケアの功罪：理念と実際
11	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（3）	スピリチュアルケアの功罪：歴史的背景
12	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（4）	スピリチュアルケアの功罪：中立性をめぐって
13	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（5）	音楽と癒しを例に
14	まとめ	全体を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。配布資料やノート、指示される参考書を使って授業内容をよく理解するよう努め、わからない点があれば質問すること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

授業で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度が40%、最終レポートが60%。前者は初回レポートと中間レポートの内容、後者は上記「到達目標」がどの程度達成されているかによって評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の興味関心や理解度に配慮した授業を心がける。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course deals with religions' contributions, neutrality, and altruism towards society from a global standpoint. (Learning Objectives) The goals of this course are deepen learning and understanding of issues and problems surrounding religion in the international community (such as the contribution of religion to society and religious neutrality in the public sphere) through examination of specific examples. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to make an effort to understand the contents of the class using the handouts, notes, and reference books provided, and to ask questions if there are any points that are not clear. (Grading Criteria /Policies) Grading will be decided based on the initial and mid-term reports(40%) and term-end report (60%).

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

宗教論Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

古澤 有峰

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：2単位

この授業は「Web 履修抽選対象授業」です。履修ガイド (<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/rishuguide2026/>) を確認のうえ、情報システムから期間内にエントリーしてください。

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ジェンダーの視点からキリスト教と宗教を捉えなおす。

【到達目標】

理論と実際の両方を検証する事を通じて、ジェンダーとキリスト教および宗教をめぐる問題や課題について学習・理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義/Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式。教科書は使用せず、配布資料に沿って授業を進めていく。初回レポートおよび中間レポートの提出を求める。コメントに対するフィードバックは資料配信によって行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	導入	ジェンダーの視点からキリスト教と宗教を捉えなおす
2	基礎知識編	ジェンダーの視点からキリスト教における「聖書」「神」を再考する
3	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた性的マイノリティ (1)	世界における宗教の歴史的動向と、キリスト教における性的マイノリティ
4	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた性的マイノリティ (2)	ジェンダーの定義と歴史的背景
5	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた性的マイノリティ (3)	ライフヒストリーから考える
6	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた生命倫理 (1)	キリスト教の体系化の歴史と中絶論争
7	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた生命倫理 (2)	脳死・臓器移植・生殖医療・再生医療
8	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた生命倫理 (3)	看取り・終末期医療

9	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア (1)	心と魂のケア、その課題と問題点
10	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア (2)	スピリチュアルケアの功罪：理念と実際
11	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア (3)	スピリチュアルケアの功罪：歴史的背景
12	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア (4)	スピリチュアルケアの功罪：中立性をめぐって
13	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア (5)	音楽と癒しを例に
14	まとめ	全体を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。配布資料やノート、指示される参考書を使って授業内容をよく理解するよう努め、わからない点があれば質問すること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

授業で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度が40%、最終レポートが60%。前者は初回レポートと中間レポートの内容、後者は上記「到達目標」がどの程度達成されているかによって評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の興味関心や理解度に配慮した授業を心がける。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course deals with Christianity and religion from the perspective of gender. (Learning Objectives) The goals of this course are deepen learning and understanding of issues and problems surrounding Christianity and religion from the perspective of gender through examination of specific examples. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to make an effort to understand the contents of the class using the handouts, notes, and reference books provided, and to ask questions if there are any points that are not clear. (Grading Criteria /Policies) Grading will be decided based on the initial and mid-term reports(40%) and term-end report (60%).

HIS200LA（史学/History 200）	
西洋史 L E	2017年度以降入学者
サブタイトル：	
竹下 和亮	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月5/Mon.5	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

西洋は世界の様々な地域の一つであるに過ぎないが、同時に、いま私たちが生きる世界の形成にあたって極めて大きな役割を果たしてきた。本講義ではその両面をみすえた上で、とくに中世以降の西洋の歴史の流れ、基本的な歴史用語を解説する。今学期は、とくにスペインとポルトガルに焦点を当てる予定である。

【到達目標】

スペインとポルトガルの歴史に関する基礎的な知識を習得し、他の地域の歴史と比較したときの独自の特徴と、その後の世界史の形成に果たした役割を理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

王家の系図や年表を詳細に検討しながら講義をします。適宜グループディスカッションが入る予定です。質問は授業内、授業終了後などでいつでも受け付けます。課題等のフィードバックは授業内で行います。授業の内容と日程は、受講の関心等により多少変更されることもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	スペイン史及びポルトガル史の諸問題とイベリア半島の諸地域
第2回	中世カスティーリャ連合王国I	カスティーリャ連合王国の成立とレコンキスタ
第3回	中世カスティーリャ連合王国II	カスティーリャ連合王国の発展
第4回	中世アラゴン連合王国I	アラゴン連合王国の成立とレコンキスタ
第5回	中世アラゴン連合王国II	アラゴン地中海帝国の形成
第6回	カトリック両王の時代	イサベルとフェルナンドの「スペイン」統治
第7回	ハプスブルク朝からブルボン朝へ	スペイン帝国の形成と衰退
第8回	ポルトガルの歴史	ポルトガルの誕生から現在まで
第9回	スペイン帝国の諸相	ラテンアメリカの歴史的展開
第10回	近代国家の誕生	アンシアン・レジームの解体と自由主義改革
第11回	近代国家の進展	王政復古体制からスペイン内戦まで
第12回	フランコ独裁体制	帝国と独裁の時代から多様性の社会へ
第13回	第二次世界大戦後の世界	戦後国際秩序におけるスペイン、ポルトガル及びラテンアメリカ

第14回 試験及びまとめ 期末試験と総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

立石博高『スペイン史10講』岩波書店、2021年

【参考書】

立石博高編『スペイン・ポルトガル史〈上〉〈下〉』山川出版社、2022年
関哲行・立石博高・中塚次郎編『世界歴史大系スペイン史〈1〉〈2〉』山川出版社、2008年

立石博高監訳、竹下和亮・内村俊太・久木正雄訳『スペインの歴史』明石書店、2014年

J・H・エリオット（立石博高・竹下和亮訳）『歴史ができるまで』岩波書店、2017年

クリشان・クマー（立石博高・竹下和亮訳）『帝国』岩波書店、2024年

【成績評価の方法と基準】

平常点（40％）、試験（60％）。ただし、授業出席は単位修得の前提条件となります。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

Europe is only a part of the world just like any other regions on the earth; however, we can't deny its considerable contributions to the formation of the present world. By focusing on these aspects of Europe, this course will lecture on the general flow of its history, from the Medieval Age onwards, and the basic terminology for the historical research. Students will acquire basic knowledge of Spanish and Portuguese history and will be able to understand its distinctive characteristics in comparison with the histories of other regions, as well as the role it played in shaping subsequent world history. Standard preparation and review time for this course is two hours each. When readings are distributed, students are expected to read them in advance. Grades will be based on class participation (40%) and the examination (60%). Attendance at in-person sessions is a prerequisite for earning course credit.

HIS200LA (史学/History 200)

西洋史 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：

内川 勇太

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中世ヨーロッパにまつわる主要なフィクションをとりあげ、それらが流布した原因および実際に起きたことについて、1次史料に基づいて考察する。

【到達目標】

中世ヨーロッパ史に関するフィクションが訂正される過程を体験することで、史料批判に基づく歴史学の研究手法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。毎回終了後にリアクションペーパーを提出してもらい、全体に共有すべき質問等は次回の授業冒頭において取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要
第2回	まえがき・イントロダクション・訳者あとがき	教科書の概要、ヨーロッパ、北米、日本における中世主義
第3回	第1章 中世は暗黒時代だった	中世ヨーロッパに対する全般的なイメージ
第4回	第2章 中世の人々は地球は平らだと思っていた	中世ヨーロッパにおける世界認識
第5回	第3章 農民は風呂に入ることがなく、腐った肉を食べていた	中世ヨーロッパの衛生
第6回	第4章 人々は紀元千年を恐れていた	中世ヨーロッパにおけるキリスト教の終末思想
第7回	第5章 中世の戦争は馬に乗った騎士が戦っていた	中世ヨーロッパの戦争・戦闘技術
第8回	第6章 中世の教会は科学を抑圧していた	中世ヨーロッパにおける信仰と科学の関係
第9回	第7章 一二二二年、何千人もの子どもたちが十字軍遠征に出立し、そして死んだ	中世ヨーロッパの教皇権と子ども十字軍
第10回	第8章 ヨハンナという名の女教皇がいた	中世ヨーロッパの女性と教皇権
第11回	第9章 中世の医学は迷信にすぎなかった	中世ヨーロッパの医学と迷信

第12回	第10章 中世の人々は魔女を信じ、火あぶりにした	中世ヨーロッパの魔女、魔法使い、魔術と異端
第13回	第11章 ベスト医師のマスクと「バラのまわりを輪になって」は黒死病から生まれた	中世ヨーロッパにおける疫病
第14回	番外編 アングロ＝サクソン期イングランドでは七王国の王がブリテンの覇者になろうと互いに争っていた	七王国概念とブリテンの覇者概念に基づくアングロ＝サクソン期イングランド理解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書の予習、授業内容の復習を合わせて毎回4時間以上の予習・復習を行う。

【テキスト（教科書）】

ウィンストン・ブラック 著/大貫 俊夫 監訳『中世ヨーロッパ：ファクトとフィクション』平凡社 2021

【参考書】

適宜授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート(70%)、毎回のリアクションペーパー(30%)で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

参考資料のアクセシビリティを改善する必要を感じた。

【Outline (in English)】

Course outline:Featuring popular fictions or myths on Medieval Europe, this course aims to outline the reason and the way of their development, and present the historical facts based on primary sources.

Learning Objectives:By experiencing the process of fictions on Medieval Europe being corrected, students will learn the method of History based on source criticism.

Learning activities outside of classroom:reading of the textbook before and after each class

Grading Criteria/Policy:Report(70%), Reaction Papers(30%)

ECN200LA（経済学 / Economics 200）	
経済学 L A	2017年度以降入学者
サブタイトル：ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎を学ぶ	
中平 千彦	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金2/Fri.2	
単位数：2単位	
その他属性：〈他〉〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義は、春学期開講『経済学 LA』（担当:中平）です。この講義で学んだ内容は、秋学期開講『経済学 LB』（担当:中平）に接続されます。

春学期開講『経済学 LA』では、学部基礎レベルの「ミクロ（マイクロ）経済学」と「マクロ経済学」を担当教員がコンパクトに解説し、受講生にそれらの要点を速習してもらうことを目指します。

受講生の皆さんは、「経済学」に対してどのような印象を持っているでしょうか？ 経済学は、我々の形成する社会で観察される、経済主体の活動や相互依存関係によって導かれた多様な経済問題を分析し、その中に存在する経済法則を究明することによって、望ましい社会的経済厚生を研究する学問です。あるいは、希少性を有する財・サービスの最適な選択と配分を、相互に競合する目的を考慮しながら決定し、また、その決定を行うための方法を研究する学問です。

【到達目標】

- ・ミクロ（マイクロ）経済学とマクロ経済学の理論的基礎を説明できるようになる。
- ・ミクロ（マイクロ）経済学とマクロ経済学に関する基本的問題を、社会科学的に思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】 L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

経済理論を大別すると、「ミクロ（マイクロ）経済学」と「マクロ経済学」の2つになります。「ミクロ（マイクロ）経済学」は、個々の経済主体における最適化された行動を前提に、市場における経済主体間の相互関係、資源配分と所得分配の決定における市場機構の役割などを分析する、あるいは、いくつかの代表的な公理に依拠した最適化行動に基づき、個から市場、そして経済全体へとアプローチする研究分野です。一方、「マクロ経済学」は、消費者部門における消費、企業部門における投資と生産物供給、政府部門における財政支出と貨幣供給、貿易バランス、そして、それらの相互連関によって決定される国民所得、インフレーションと失業、景気変動などに着目し、経済全体についての集計変数における均衡水準と決定経路を分析する研究分野です。これらの2分野は相互補完的な関係にあります。例えば、「ミクロ（マイクロ）経済学」において、個々の経済主体の最適な行動がマクロ経済にいかなる影響を与えるかを分析するには、「マクロ経済学」の理論が必要となります。また、「現代マクロ経済学」にとって「マクロ経済学のミクロ（マイクロ）的基礎」は不可欠な要素となっています。

この講義では「ミクロ（マイクロ）経済学」と「マクロ経済学」の基礎理論を学びますが、講義時間に余裕があれば、「ミクロ（マイクロ）経済学」の理論と現実との関係、また、マクロ経済学や公共政策学のミクロ（マイクロ）的基礎などのトピックも採り入れたいと思っています。

我々には、講義回数14回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よくミクロ（マイクロ）経済学とマクロ経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力します。また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	経済学の基本問題と経済システム	経済学の基本問題と市場の仕組み、経済システム
第02回	消費者と生産者の行動 (I)	選好と効用関数、需要関数
第03回	消費者と生産者の行動 (II)	生産技術と費用関数 (I)
第04回	消費者と生産者の行動 (III)	生産技術と費用関数 (2)、供給関数
第05回	市場均衡 (I)	完全競争市場と調整過程、余剰と比較静学
第06回	市場均衡 (II)	部分均衡と一般均衡、独占市場と独占的競争市場

第07回	経済厚生	市場の失敗、パレート効率性、厚生経済学の基本定理
第08回	国民所得分析の基礎	SNA、マクロ経済指標
第09回	消費関数	消費と消費関数
第10回	投資関数	投資と投資関数
第11回	有効需要と乗数理論	有効需要の原理、乗数効果
第12回	IS・LM曲線と総需要曲線・総供給曲線	IS曲線・LM曲線および総需要曲線・総供給曲線による経済分析
第13回	インフレ需要曲線	インフレ需要曲線による経済分析
第14回	インフレ供給曲線	インフレ供給曲線による経済分析

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
- ・受講後に講義ノートとテキストによって講義内容を復習してください。また、必要に応じて予習を行ってください。

【テキスト（教科書）】

- ・塩澤修平(著) (2011)『基礎コース 経済学(第2版)』新世社。

【参考書】

- ・浅田統一郎(著) (2022)『マクロ経済学基礎講義(第4版)』中央経済社。
- ・浅田統一郎(著) (2017)『ミクロ経済学の基礎(第2版)』中央経済社。
- ・アセモグル、ダロン／レイブソン、デヴィッド／リスト、ジョン(著)、岩本康志(監訳)、岩本千晴(訳) (2020)『入門経済学』東洋経済新報社。
- ・井堀利宏(著) (2021)『入門経済学(第4版)』新世社。
- ・クルーグマン、ポール／ウェルス、ロビン(著)、大山道広/石橋次/塩澤修平/白井義晶/大東一郎/玉田康成/蓮田守弘(訳) (2025)『クルーグマン 入門経済学』東洋経済新報社。
- ・スティグリッツ、ジョセフ・E. /ウォルシュ、カール・E. (著)、薮下史郎/秋山太郎/磯川靖浩/大阿久博/木立力/宮田亮/清野一治(訳) (2012)『スティグリッツ入門経済学(第4版)』東洋経済新報社。
- ・福岡正夫(著) (2008)『ゼミナール経済学入門(第4版)』日本経済新聞出版社。
- ・マンキュー、N. グレゴリー(著)、片桐満/篠潤之助/溝口哲郎(訳) (2025)『マンキュー入門経済学(第4版)』センゲージ・ラーニング。
- ・Bade, Robin and Michael Parkin (2022) *Foundation of Economics* (9th ed.)(global edition, pap.), Pearson.
- ・Hirshleifer, Jack, Glazer, Amihai and David Hirshleifer (2005) *Price Theory and Applications: Decisions, Markets, and Information* (7th ed.)(pap.), Cambridge Univ. Press.
- ・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien (2018) *Essentials of Economics* (6th ed.), Pearson.
- ・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien (2024) *Economics* (9th ed., Global ed.), Pearson.
- ・Krugman, Paul and Robin Wells (2024) *Essentials of Economics* (7th ed.), Worth Publishers.
- ・Landsburg, Steven E. (2024) *Price Theory and Applications* (10th ed.)(pap.), World Scientific Publishing.
- ・Mankiw, Gregory N. (2026) *Essentials of Economics* (11th ed.)(pap), Cengage Learning.
- ・Mateer, Dirk, Coppock, Lee, and Brian O'Roark (2026) *Essentials of Economics* (3rd ed.), W. W. Norton & Company.
- ・Schiller, Bradley R., Gebhardt, Karen, and Christopher D. Blake, (2025) *Essentials of Economics* (13th ed.)(pap), McGraw-Hill Education.
- ・Sloman, John and Dean Garratt (2023) *Essentials of Economics* (9th ed.)(pap), Pearson Education Limited.

【成績評価の方法と基準】

- ・[定期試験点(90%)＋平常点(10%)＝総合点(100%)]の評点配分で成績が決定されます。
- ・単位認定には規定数以上の出席が必要です。
- ・公式行事の参加や疾病などによるやむを得ない欠席は、原則として出席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

- ・受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

【学生が準備すべき機器他】

- ・特別な指定はありません。

【その他の重要事項】

- ・出席確認を行いますので注意してください。
- ・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。
- ・本講義の趣旨は、アカデミックな経済学の基礎理論を平易に解説することですが、公務員、国税専門官、公認会計士、不動産鑑定士、中小企業診断士、ファイナンシャル・プランナーなどの、各種資格・就職試験で経済学を受験科目として選択する受講生にも配慮した解説を行います。

【オフィス・アワー】

- ・講義終了後、または、相談により個別の日程を設定。

【関連科目】

- ・秋学期のリベラルアーツ科目『経済学 LB』（担当：中平）、また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。

【Outline (in English)】

【Course outline】

* This course is designed to provide the student with an opportunity to understand the basic theory of microeconomics and macroeconomics. Generally, economic theory broadly divided into two parts - microeconomics and macroeconomics. Microeconomics focuses on decision making at the individual level, while macroeconomics studies the economy as a whole.

* This course is a comprehensive guide on how to get started with microeconomics and macroeconomics.

【Learning Objectives】

* Through this course, the students will be able to:

- explain the basic theories of microeconomics and macroeconomics;
- think and express basic issues of economics from the aspect of social science.

【Learning activities outside of classroom】

* Students will have normally 2 hours of preparation and review for each class.

* Students are expected to prepare for a class and to review what was learned in each class by the textbook or the lecture note as necessary.

【Grading Criteria/Policy】

*Final examination(90%) + Active Participation(10%) = Evaluation Score(100 %).

*Students must meet the minimum attendance requirements to get course credits.

*Absence due to unavoidable circumstances is regarded as equivalent to attendance in general.

ECN200LA（経済学 / Economics 200）		
経済学 L B		2017年度以降入学者
サブタイトル：観光経済学の基礎を学ぶ		
中平 千彦		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金2/Fri.2		
単位数：2単位		
その他属性：〈他〉〈優〉		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
本講義では、応用経済学の一分野としての「観光経済学」を学びます。観光経済学のトピックの中で、特に基本的フレームワークを形成する主要な項目を、ミクロ(マイクロ)経済学とマクロ経済学の理論に立脚して理解することを目指します。		
【到達目標】		
・観光経済学の基礎的事項を説明できるようになる。 ・観光経済学に関する基本的問題をミクロ(マイクロ)・マクロ経済学理論に基づいて思考・表現することができるようになる。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1		
【主な授業方法】		
L 講義 /Lecture		
【授業の進め方と方法】		
観光経済学は、経済学理論に基づき、また、経済学の関連領域に属する学問を包含し、広義の観光活動を分析する、応用経済学の一種と位置付けられるものです。さらに、現代における広義の観光経済学は、観光客の支出決定、観光市場の構造、観光行動における意思決定、観光企業間の連携、観光による外貨発生効果と範囲、観光資源の貢献可能性、観光政策などを包括的に研究する分野となっています。		
本講義では、観光の現状と課題、観光統計、投資理論、消費理論、消費者行動と観光、観光需要、観光サービス供給、観光市場の機能、観光市場の失敗、経済成長と観光、世界遺産と観光、我が国の観光と課題などの項目を学びます。なお、必要に応じて、公共経済学などの知識を補充し、学習内容の拡充を試みます。		
我々には、講義回数14回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よく観光経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力します。また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
なし / No		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし / No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
第01回	観光の現状と課題、SNAと観光統計(1)	観光のもたらす課題、SNAの概念と観光統計
第02回	SNAと観光統計(2)	SNAの基本構造、サテライト勘定の意義と分類
第03回	観光市場の機能	市場需要曲線と市場供給曲線、市場均衡と市場調整、観光財・サービスの価格決定メカニズム
第04回	消費理論と観光(1)	消費と消費関数、消費関数における短期と長期
第05回	消費理論と観光(2)	消費決定の仮説、観光消費の性質
第06回	投資理論と観光(1)	投資と投資の決定要因、限界効率と投資判断
第07回	投資理論と観光(2)	投資の限界効率表と投資量の決定
第08回	消費者行動と観光(1)	消費者行動と需要曲線、観光サービスの対象と選択
第09回	消費者行動と観光(2)、観光需要	観光需要と弾力性、観光需要の実際
第10回	観光サービス供給	観光サービス供給、観光市場の構造
第11回	観光市場の失敗	市場の失敗と観光分析
第12回	公共財とコモンプール財	公共財、コモンプール財と資源の過剰利用
第13回	観光成長と観光	インバウンド市場とアウトバウンド市場、観光発展の将来
第14回	世界遺産とエコツーリズム、観光の課題	世界遺産の基礎知識、エコツーリズムの事例と課題
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。 ・受講後に講義ノートとテキストによって講義内容を復習してください。また、必要に応じて予習を行ってください。		
【テキスト（教科書）】		
・中平千彦／数田雅弘(編著)『観光経済学の基礎講義』九州大学出版会、2017年。		
【参考書】		
・麻生憲一(編著)(2025)『観光経済論』原書房。 ・M.T.シンクレア／M.スタブラー(著)、小沢健市(監訳)(2001)『観光の経済学』学文社。 ・ジェームズ・マック(著)、瀧口／藤井(監訳)(2005)『観光経済学入門』日本評論社。 ・スティープン・J. ページ(著)、木谷／松下／図師(訳)(2001)『交通と観光の経済学』日本経済評論社。 ・A.ブル(著)、諸江／吉岡／菊池／小沢／原田／池田／和久井(訳)(1998)『旅行・観光の経済学』文化書房博文社。 ・山内／山本／山崎／川口(編)(2022)『観光経済学：理論とデータで学ぶ』有斐閣。 ・Bull, Adrian (1995) <i>The Economics of Travel and Tourism</i> (2nd revised ed.), Longman. ・Dwyer, Larry, Forsyth, Peter, and Wayne Dwyer (2020) <i>Tourism Economics and Policy</i> (2nd ed.), Channel View Books. ・Hall, C. Michael and Allan M. Williams (2019) <i>Tourism and Innovation</i> (2nd ed.), Routledge. ・Stabler, Mike J., Papatheodorou, Andreas., and M. Thea Sinclair (2009), <i>The Economics of Tourism</i> (2nd ed.), Routledge. ・Sullivan, Charlotte (ed.)(2016) <i>Leisure and Tourism Economics</i> , Ingram Pub Services. ・Tribe, John (2020) <i>The Economics of Recreation, Leisure and Tourism</i> (6th ed.), Routledge. ・Vanhove, Norbert (2026) <i>The Economics of Tourism Destinations : Theory and Practice</i> (5th ed.), Routledge. ・Chen, Yong (2021) <i>Economics of Tourism and Hospitality : A Micro Approach</i> , Routledge.		
【成績評価の方法と基準】		
・[定期試験点(90%)＋平常点(10%)＝総合点(100%)]の評点配分で成績が決定されます。 ・単位認定には規定数以上の出席が必要です。 ・公式行事の参加や疾病などによるやむを得ない欠席は、原則として出席扱いとします。		
【学生の意見等からの気づき】		
・受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。		
【学生が準備すべき機器他】		
・特別な指定はありません。		
【その他の重要事項】		
・出席確認を行いますので注意してください。 ・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。		
【オフィス・アワー】		
・講義終了後、または、相談により個別の日程を設定。		
【関連科目】		
・春学期のリベラルアーツ科目『経済学LA』（担当：中平）、また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。		
【Outline (in English)】		
【Course outline】		
*The aim of the course is to provide students with an opportunity to gain and enhance the knowledge of tourism economics. Namely, this course is designed to provide a basic understanding of the scientific approaches to economics of tourism, particularly in the field of economic theory.		

*In this course, you will learn how the microeconomics and macroeconomics are applied to the analysis of tourism.

【Learning Objectives】

*Through this course, the students will be able to:

- explain the fundamental problems of tourism economics;
- think and express basic issues of tourism economics from the aspect of microeconomics and macroeconomics.

【Learning activities outside of classroom】

* Students will have normally 2 hours of preparation and review for each class.

* Students are expected to prepare for a class and to review what was learned in each class by the textbook or the lecture note as necessary.

【Grading Criteria/Policy】

*Final examination(90%)+ Active Participation(10%)= Evaluation Score(100 %).

*Students must meet the minimum attendance requirements to get course credits.

*Absence due to unavoidable circumstances is regarded as equivalent to attendance in general.

ECN200LA（経済学 / Economics 200）

経済学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

山本 英子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1
単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉〈未〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、歴史の中で経済学がどのように生成されてきたかということに焦点を当てながら、経済学的思考を学んでいきます。春学期のこの経済学LAでは、西洋的思想の源流となる古代ギリシャから19世紀までの経済思想と、そこから徐々に導き出された理論を理解できるように進めます。例えば18世紀のアダム・スミスが何を批判し何を主張していたのか、そこに至るまでにどのような思想的変遷があったのか、など、歴史上の主要な学者たちが継承してきた議論のプロセスを時系列に追体験していくことによって、経済学の役割や意義を考えられるようになることをめざします。

【到達目標】

社会が発展する歴史的过程の中で経済思想や理論が生成されてきたこと理解することによって経済的思考を習得し、経済活動に対して各自で考えて判断できるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

履修者の理解の定着のため、授業内容に関するリアクションペーパーを毎回提出してもらい、次の授業時に前回の授業で提出されたリアクションペーパーの優れていた点や問題点等を示して、全体に対してフィードバックを行います。履修者は授業の要点を配布資料にしっかり書き込みながら授業に臨み、授業内容の理解に努めましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	・歴史的視点から見る経済学についての解説
第2回	重商主義に至るまでの経済思想	・古代ギリシャの議論：アリストテレス ・中世の経済思想：アキナス ・イングランドの重商主義：マン、ペティ、ロック
第3回	重商主義とその影響	・フランスの重商主義：コルベール ・三大バブル
第4回	18世紀の商業社会と重農主義	・自由主義の芽生え：マンデヴィル ・商業社会論と啓蒙：ヒューム ・重農主義：ケネー
第5回	18世紀の古典派経済学（1）	・A・スミス『道徳感情論』から『国富論』へ
第6回	18世紀の古典派経済学（2）	・A・スミス『国富論』①分業、価値論、見えざる手、資本蓄積
第7回	18世紀の古典派経済学（3）	A・スミス『国富論』②重商主義批判、貿易、自由主義、植民地問題

第8回	19世紀初頭の諸学説	・ベンサム：功利主義 ・マルサス：人口論
第9回	19世紀の古典派経済学	・リカード：投下労働価値説、差額地代論、比較優位 ・J.S.ミル：生産分配峻別論、賃金基金説、質的功利主義
第10回	第一次産業革命の影響	・社会主義思想の萌芽 ・オウエン、リスト
第11回	マルクスの経済学	・弁証法的唯物論、剰余価値と搾取
第12回	第二次産業革命の影響	・大衆消費社会 ・ヴェーバー：資本主義観、マルクス批判
第13回	新古典派経済学	・限界革命：ジェヴォンズ、メンガー、ワルラス
第14回	黎明期から19世紀までの総括	・春学期に学んだ内容についての授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

毎回の授業で配布する資料をテキストとします。
欠席者のために毎回授業後に学習支援システムにも掲載します。

【参考書】

必要に応じて授業で提示します。

【成績評価の方法と基準】

第2回から第13回のリアクションペーパーでの理解度（3%×12回：36%）と、第14回の授業内試験の得点（64%）によって評価します。第14回に行う授業内試験は「第2回から第13回の配布資料のみ持込可」で行います。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更により特にありません。

【その他の重要事項】

経済学LAが前編、経済学Bが後編となっているので、通年での履修が望ましいですが、一方だけの受講も可能です。

【Outline (in English)】

This course focuses on how economics emerged throughout history while studying economic thinking. In the spring semester, students will progress through economic thought from ancient Greece — the source of Western ideas — through the 19th century, gaining an understanding of the theories gradually derived from it.

The goal of this course is to acquire economic thinking by understanding how economic ideas and theories have been generated within historical processes.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be determined based on short reports (36%) and on in-class exam (64%).

ECN200LA（経済学 / Economics 200）

経済学L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

山本 英子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉〈未〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、歴史の中で経済学がどのように洗練されてきたかということに焦点を当てながら、経済学的思考を学んでいきます。秋学期のこの経済学L Bでは、春学期の内容に続く19世紀後半から今日に至る経済政策の推移と関連させながら、ミクロ・マクロ経済学理論の基礎を学修します。例えば20世紀のJ・M・ケインズが何を批判して彼の経済学が生まれ大きく支持されたのか、それがその後どのような主張と対峙したのか、など、主要な学者たちの理論の背景、影響、そして転換を、激動の歴史的事象とともに時系列に追体験していくことによって、経済学のダイナミズムを実感できるようになることをめざします。

【到達目標】

経済学の基礎的知識とその発展のプロセスを理解することによって、経済学的思考を習得し、現実の経済活動や経済政策に対して各自で考えて判断できるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

履修者の理解の定着のため、授業内容に関するリアクションペーパーを毎回提出してもらい、次の授業時に前回の授業で提出されたリアクションペーパーの優れていた点や問題点等を示して、全体に対してフィードバックを行います。履修者は授業の要点を配布資料にしっかり書き込みながら授業に臨み、授業内容の理解に努めましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	・19世紀～20世紀の経済学的展望
第2回	新古典派経済学	・マーシャル ・20世紀諸初頭の諸学派 ・厚生経済学：ピグー
第3回	ミクロ経済学（1）	消費者行動
第4回	ミクロ経済学（2）	生産者行動
第5回	ミクロ経済学（3）	最適な資源配分
第6回	マクロ経済学（1）	国民所得と国内総生産
第7回	マクロ経済学（2）	財政政策
第8回	マクロ経済学（3）	金融政策
第9回	ケインズの経済学（1）	古典派経済学批判、雇用理論、有効需要
第10回	ケインズの経済学（2）	乗数理論、資本理論、利子理論、IS-LM分析
第11回	新古典派総合	・2つの経済成長理論の対立
第12回	資本主義観の変容	・シュンペーター：新結合、創造的破壊、管理資本主義

第13回	新自由主義の経済学と21世紀の経済状況	・ハイエク：社会主義経済計算論争、自生的秩序 ・フリードマン：マネタリズム、新自由主義
第14回	19世紀～20世紀の経済学の総括	・秋学期に学んだ内容についての授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

毎回の授業で配布する資料をテキストとします。
欠席者のために毎回授業後に学習支援システムにも掲載します。

【参考書】

必要に応じて授業で提示します。

【成績評価の方法と基準】

第2回から第13回のリアクションペーパーでの理解度（3%×12回：36%）と、第14回の授業内試験の得点（64%）によって評価します。第14回に行う授業内試験は「第2回から第13回の配布資料のみ持込可」で行います。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更により特にありません。

【その他の重要事項】

経済学LAが前編、経済学Bが後編となっているので、通年での履修が望ましいですが、一方だけの受講も可能です。

【Outline (in English)】

This course focuses on how economics has developed throughout history while studying economic thinking. In the fall semester, students will learn the basic theories of microeconomics and macroeconomics, linking them to the evolution of economic policy from the late 19th century to the present day.

The goal of this course is to acquire economic thinking by understanding how economic ideas and theories have been generated within historical processes.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be determined based on short reports (36%) and on in-class exam (64%).

ECN200LA（経済学 / Economics 200）

経済学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：東アジア経済論

陳 文挙

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

21はアジアの時代だと言われている。特に、中国や東南アジア新興国の台頭によって東アジア地域の存在感は増している。東アジア経済の発展は世界情勢の影響を受ける一方、世界に与える影響も大きくなっている。

本講義は東アジア経済の発展研究を目標とする。その中で、経済発展の基礎理論を学習しながら、東アジア経済発展の歴史、過程、最近の動向について経済学やリベラルアーツの視点から研究する。また、本講義は最新の国際政治経済情報を取り入れることもあり、授業を通じて学生諸君の考察力、分析力、危機対応力を向上させる。

【到達目標】

現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について立体的な視点から考察する力が必要になる。当該授業を聴講して、学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。特に、トランプ米大統領の再登場による世界の地政学は新しい局面を迎え、混沌化が増す世界、そして東アジア地域に関するリスクのヘッジ方、危機対応型思考力を鍛える学習ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1, 大学の授業計画に従って対面式で開講するが、事情によってまたデジタル社会適合のためオンライン（Zoom方式）の開講もある。但し、オンライン授業の場合は事前に学習支援システムを通じて知らせする。
- 2, 一回の講義で基本的に1つの話題を中心に議論、展開、解明、まとめる。
- 3, 情報化時代のニーズに応えるために図表や統計資料、事例学習も多用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業紹介	東アジア経済入門基礎、講義概要、成績評価等説明
2	現代経済社会の仕組み	家計、企業、政府；資本、労働、技術進歩；市場の原理；経済成長と経済発展の原動力分析
3	東アジア経済近代化の始まり	商業とシルクロード、産業革命、国際貿易と植民地の歴史、アヘン戦争
4	日中近代工業化歴史比較研究	清王朝近代化の失敗と日本明治維新ならびに日本近代化成功の比較分析
5	国際貿易とグローバル化の形成	アダム・スミスの絶対優位性仮説とリカードの比較優位性仮説の検証

6	農業の発展と人口問題	マルサスの人口論と「マルサスの罠」
7	中間進捗状況確認	前半復習、「機会費用」、経済発展と人口の両面性問題
8	農業の発展と様々な制約	「豊作貧乏」現象と需要の価格弾力性
9	東アジア地域の工業化と労働移動	都市化とインフォーマル部門、スラム街の形成
10	東アジア地域の工業化と国際化	「輸入代替」政策の失敗から「輸出振興」政策の成功まで
11	東アジア地域の産業移転	ベティ・クラークの法則と「雁行形態」、「産業移転」、「世界の工場」の背景と実態
12	経済成長と所得格差	クズネッツの「逆U字仮説」から「エレファントカーブ」まで
13	さまざまな格差と計測	ジニ係数の意義、計算の仕方、経済格差検証
14	まとめ：東アジア地域経済統合の行方は	半期の復習、まとめ、期末レポート作成要領説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。
講義内容に応じて宿題として課題レポートを完成する。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

なし。

【参考書】

『アジア経済とは何か—躍進のダイナミズムと日本の活路』、後藤健太（著）、中公新書。
『アジア経済論』、小林尚朗、山本博史、矢野修一、春日尚雄（著、編集）、文真堂。
『東アジアの論理—日中韓の歴史から読み解く』、岡本隆司（著）、中公新書。

【成績評価の方法と基準】

- 1、授業参加（出席）状況（20%）
 - 2、リアクションペーパーや課題、宿題の提出状況（60%）
 - 3、期末レポートの完成状況（20%）
- などによって総合的に評価する。
ただし、各項目の配分など詳しくは、初回の授業時に確認、説明する。

【学生の意見等からの気づき】

- 1、学生皆さんの関心事、質問等についてよく聞く、確認する。
- 2、課題や質問に対してできるだけ早く対応する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。
ただし、学習支援システムの活用、オンライン（Zoom方式）学習環境の確保などを事前にしておく。

【その他の重要事項】

秋期『経済学LB：中国経済入門』の継続履修を推奨。

【Outline (in English)】

The 21st century is widely regarded as the Asian century. In particular, the presence of the East Asian region has been growing significantly due to the rise of China and Southeast Asian nations. While the economic development of East Asia is influenced by global affairs, its own impact on the world has also become substantial.

This course aims to study the economic development of East Asia. Students will learn the fundamental theories of economic development while examining the history, processes, and recent trends of East Asian economies from the perspectives of economics and liberal arts. Furthermore, by incorporating the latest information on international political economy, this course seeks to enhance students' critical thinking, analytical skills, and crisis management capabilities.

【Learning Objectives】

This lecture will help to improve students' ability of analyzing regional economy about its variability and complexity in east-Asia from various viewpoints.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, you should be expected to spend four hours in preparing/ reviewing to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

You overall grade in the class will be decided based on the following:

- 1, in-class contribution (20%)
- 2, Reaction paper or homework (60%)
- 3, Term-end report (20%)

ECN200LA（経済学 / Economics 200）

経済学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：中国経済論

陳 文挙

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

2022年に中国の経済規模（名目GDP）は日本の4倍より大きく、アメリカの7割に相当するようになった。中国と日本とは近隣であり、東アジア地域の政治安定、経済発展、安全保障などにおいて重要な役割を担っている。

本講義では「経済学LA」に続き、アヘン戦争以降の中国近現代史、社会主義建設、計画経済から「改革・開放」を経て社会主義市場経済への移行、そして「世界工場」から「世界の市場」への経済発展について研究し、中国の真の姿を明らかにする。

現在、日中関係はとても困難な時期に入っており、中国を知ることが重要なリベラルアーツの1つになる。この講義を通じて、中国に対する観察力、分析力が高められる。

【到達目標】

現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について、特に世界第2位の経済規模を持つ中国の経済動向について立体的な視点から考察することによって学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1, 大学の授業計画に従って対面式で開講するが、事情によってまたデジタル社会適合のためオンライン（Zoom方式）の開講もある。但し、オンライン授業の場合は事前に学習支援システムを通じて知らせする。

2, 一回の講義で基本的に1つの話題を中心に議論、展開、解明、まとめる。

3, 情報化時代のニーズに応えるために図表や統計資料、事例学習も多用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業紹介	中国経済の基礎、講義概要、中国最新経済情報、成績評価等
2	中国近代史①	アヘン戦争から太平天国、日清戦争、辛亥革命、日中戦争、国共内戦
3	中国近代史②	中国共産党の誕生、武力闘争から政権の奪取、中国人民共和国の樹立
4	朝鮮戦争と社会主義国家建設	戦後処理と冷戦、朝鮮戦争と日中両国に与える影響：ソ連の対中経済援助と日本の「朝鮮特需」
5	計画経済期の中国経済と政治	社会主義経済大実験：大躍進、人民公社と文化大革命

6	計画経済の行き詰まりと改革開放の始まり	貧しい農民たちの「下剋上」と郷鎮企業の発展：「世界の工場」礎の形成
7	企業改革と日本の役割	中国の改革開放を支える日本人割
8	中間進捗状況確認	中国の企業改革：「効率」か「平等」か
9	企業改革と工業の発展	世界最大白物家電メーカーハイアール（Haier）社の事例研究
10	世界の工場と労働移動	世界工場と世界サプライチェーンの真実
11	中国の技術革新とニュービジネスの拡大	ネット通販、スマホ決済、EVシフト、AI開発競争など
12	中国の経済発展と格差問題	ジニ係数と格差の測り方、中国経済格差の実態と最新動向
13	中国経済展望	トランプ関税2.0、米中「貿易戦争」、世界のデカップリング、中国の現状と未来
14	復習とまとめ	期末レポート作成要領、成績評価再確認など

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。
講義内容に応じて課題、宿題もあり、期末にはレポートの提出がある。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定なし

【参考書】

『現代中国経済』（新版）、丸川知雄、有斐閣アルマ。
『幸福な監視国家・中国』、梶谷懐・高口康太、NHK出版新書。
『中国S級B級論 一発展途上と最先端が混在する国』、高口康太・伊藤聖他著、さくら舎。

【成績評価の方法と基準】

1, 授業参加（出席）状況（20%）
2, リアクションペーパーや課題の提出状況（60%）
3, 期末レポートの完成状況（20%）
などによって総合的に評価する。
ただし、各項目の配分など詳しくは、初回の授業時に確認、説明する。

【学生の意見等からの気づき】

1, 学生皆さんの関心事、意見などをよく聞く、確認する。
2, 課題や質問等に対してできるだけ早く対応する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。
ただし、学習支援システムの活用、オンライン（Zoom方式）学習環境の確保などを事前にしておく。

【その他の重要事項】

1, 前期の『経済学LA：東アジア経済論』とセットにして履修してもらいたいが、必要条件ではありません。
2, 中国経済の話題が中心だが、政治、歴史、文化、社会、企業経営等の話もあり、興味があればぜひ履修していただきたい。

【Outline (in English)】

In 2022, China's economic scale (nominal GDP) exceeded four times that of Japan, reaching approximately 70% of that of the United States. As neighboring nations, China and Japan play crucial roles in the political stability, economic development, and security of the East Asian region.

Following "Economics LA," this course examines China's modern and contemporary history since the Opium War. We will study the nation's trajectory from the construction of socialism and the planned economy to the transition to a "socialist market economy" through "Reform and Opening-up," and its evolution from the "World's Factory" to the "World's Market." Through these lectures, we aim to clarify the true state of the Chinese economy.

Today, Japan-China relations have entered an exceptionally challenging period, making the understanding of China an essential component of liberal arts. This course is designed to enhance students' observational and analytical skills regarding China.

【Learning Objectives)】

This lecture will help to improve students' ability of analyzing China economy about its variability and complexity from various viewpoints.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, you should be expected to spend four hours in preparing/ reviewing to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

You overall grade in the class will be decided based on the following:

- 1, in-class contribution (20%)
- 2, Reaction paper or homework (60%)
- 3, Term-end report (20%)

ECN200LA（経済学 / Economics 200）

経済学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：経済学の歴史から現代を見る

小峯 敦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学Lでは「経済学的思考とは何か」という一点に集中し、歴史的・思想的・理論的・政策的という多角的な視点からこの問題に接近します。前期LAでは「過去の経済学者の苦闘から、現代の経済問題・社会問題を考える」をテーマにします。なぜ金持ちと貧乏人がいるのか。失業や低所得は自己責任なのか。転売や金貸しになぜ嫌悪感が付きまとうのか。意外にも、経済学者は単にカネの亡者や利己的な人間像ではなく、社会全体の幸福（＝厚生）について多くの見解を示してきたのです。この授業では、経済学の見取り図を提供することによって、個人と社会の関係を経済という観点から見ることの重要性を喚起します。

【到達目標】

「経済学的思考とは何か」という問題に、自分なりの回答を導き出せることを、この授業の究極的な目標とします。その題材として、本授業では、「経済学の歴史から現代を見る」に関して、過去や現在の経済学者・経済思想家がどのような前提・発想・解決策を提示していたのか、ある程度の理解を深めることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書の章立てに沿って進みます。適宜、映像教材を用いて理解を深めたいと思います。基本的には過去から現在へと説明が進みますが、学生の注意を喚起するために、現在の話題（LGBTQ、アメリカ大統領選、イギリスのEU離脱など）を含めて説明を補うつもりです。典型的な質問に対しては、次回冒頭で回答する場合があります。グループ討議や発表タイムをときおり混ぜて、討論や発表の技法も学ぶこともあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション～経済学的思考とは何か	授業のルール説明、教科書や参考書の紹介（教科書：第1章）
2	全体の概観～経済学の歴史から；古代の経済問題	金儲け・商売は民主主義を危うくするか？（教科書：第2章）プラトン、アリストテレス
3	経済の発見～中世の経済問題	金儲けはなぜ非道德的なのか？信用・バブル・利子・利潤（教科書：第2章）トマス・アクイナス
4	社会契約説の三巨人～民主主義から資本主義へ	経済はゼロサムゲームか、プラスサムか？（教科書：第3章）ホップズ、ロック、ルソー
5	スミス以前の経済把握～科学精神、重農主義・重商主義	貿易黒字は悪か？ 自然に任せるとは何か？（教科書：第3章）ベーコン、ケネー

6	経済学の生誕～アダム・スミスの利己心と共感	経済はどのように成長するのか？ 人間らしい金儲けとは？（教科書：第5章）
7	経済論争の時代～ナポレオン戦争以後のイギリス	日銀はインフレを抑制できるか？ 「穏和な貿易」とは？（教科書：第6章）マルサス、リカード
8	資本主義か社会主義か～J.S. ミルとマルクス	社会を変革して、人間は幸せになれるのか？（教科書：第7・9章）
9	限界革命～身分から契約へ、経済理論の刷新	欲望を肯定して良いのか？（教科書第10章）ジェヴォンズ、ワルラス、メンガー
10	ケインズ革命～失業と貨幣	大恐慌を抜け出す手段は？（教科書第12章）
11	孤高の経済学者（1）～シュンペーター、ハイエク	イノベーションとは何か？ 自生的秩序とは？（教科書：第13章）
12	孤高の経済学者（2）～ガルブレイス、都留重人	広告が欲望を左右できるのか？ 科学を戦争目的に使うべきか？（教科書：第13章）
13	経済学の現代的発展～1930年代からの精緻化	現代の経済学の特徴は何か？ どのように発展してきたのか？（教科書：第14章）
14	まとめ（経済学の歴史）理解度小テスト	振り返り；チェックテスト（教科書：第15章）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
・簡単なリアクションペーパーを授業内に（または授業の課題として、学習支援システムを通じて）提出します。

【テキスト（教科書）】

・小峯敦（2021）『経済学史』ミネルヴァ書房。
<https://www.minervashobo.co.jp/book/b573123.html>

【参考書】

・小峯敦編（2024）『福祉の経済思想家たち【第三版】』ナカニシヤ出版。（福祉社会論Aの教科書）
<https://www.nakanishiya.co.jp/book/b10134458.html>
・小峯敦編（2020）『戦争と平和の経済思想』見洋書房。（経済学LBの教科書）
<https://www.koyoshobo.co.jp/book/b506947.html>

【成績評価の方法と基準】

- （1）平常点：40％
（2）理解度小テスト：60％
（1）平常点は、リアクションペーパーの内容および提出回数、提供スライドや教科書を参照して確認できる課題の内容および提出回数、その他授業への参加度合い等によって定めます。
（2）理解度小テスト（第14回を予定）は、マークセンズ（択一式）8割、記述式2割を標準として、簡単なチェックテストとなります。自筆メモ（A4オモテ・ウラ1枚）が持ち込み可能です。
（3）レポート、および定期試験は行いません。

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーの解析を行い（テキストマイニングによって、匿名処理し、単語の出現頻度や共起関係を図表にする）、学生の理解度把握に努めます。また、優れたコメント、代表的な質問などについて、機会をもうけて授業中に匿名で公表し、他の学生がどのような意見・質問・コメントを持っているのか、披露することもあります。

【学生が準備すべき機器他】

資料をダウンロードできる機器があれば良いでしょう。また、レポート作成にはパソコンの使用が便利です。

【その他の重要事項】

「経済学的思考とは何か」という問題を考えるため、社会科学系だけでなく、人文系・自然科学系を学ぶ多くの学生に受講してほしいと思います。思想・歴史・理論・政策と幅広く網羅するために、公務員試験を目指す学生や教職課程の学生にも有用です。教科書・参考書が重なるため、経済学LA・経済学LBをセットで受講すると便利であり、さらに理解が広がります。

【Outline (in English)】

In Economics L, we will concentrate on a single point, "What is economic thinking?". We will also approach this question from multiple perspectives: historical, ideological, theoretical, and policy-oriented. The first-semester LA course takes as its theme: "Considering contemporary economic and social problems through the struggles of past economists." Why do rich and poor people exist? Are unemployment and low income solely the individual's responsibility? Why is there persistent aversion to reselling and money lending? Surprisingly, economists have not merely portrayed people as money-grubbers or selfish individuals; they have offered numerous perspectives on the welfare of society as a whole. This course aims to provide an overview of economics, thereby highlighting the importance of examining the relationship between the individual and society from an economic viewpoint.

ECN200LA（経済学 / Economics 200）

経済学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：戦争と平和の経済思想

小峯 敦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学Lでは「経済学的思考とは何か」という一点に集中し、歴史的・思想的・理論的・政策的という多角的な視点からこの問題に接近します。後期LBでは「戦争と平和の経済思想」を取り上げます。過去から現在にかけて、世の中には戦争・紛争が溢れています。同時に、その原因や解決策を模索する学問的営みも多いのです。この授業では、経済学の立場や経済の観点から、この問題をどのように考えられてきたか／考えるべきかを学びます。

【到達目標】

「経済学的思考とは何か」という問題に、自分なりの回答を導き出せることを、この授業の究極的な目標とします。その題材として、本授業では、「戦争と平和」に関して、過去や現在の経済学者・経済思想家がどのような前提・発想・解決策を提示していたのか、ある程度の理解を深めることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書の章立てに沿って進みます。適宜、映像教材を用いて理解を深めたいと思います。基本的には過去から現在へと説明が進みますが、学生の注意を喚起するために、現在の話題（露ウ戦争、パレスチナ紛争）を含めて説明を補うつもりです。典型的な質問に対しては、次回冒頭で回答する場合があります。学生の希望があれば、グループ討議や発表タイムを混ぜても良いです。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション～経済学的思考とは何か	授業のルール説明、教科書や参考書の紹介
2	全体の概観～経済学の歴史から戦争と平和を扱う	経済学の浸透は国際紛争の軽減に貢献しうるか（教科書・序章）
3	近代国家と戦争	重商主義、主権国家、経済学の生成（教科書・第1章）
4	アダム・スミスにおける国防と経済	『国富論』、商業の発展、自由の確立（教科書・第2章）
5	古典派経済学と戦争～リカード、マルサス、ミル	平和的な分業（比較生産費説）、植民地経営（人口問題）、黒人問題
6	エッジワースの契約モデルと戦争	限界革命による経済学の刷新、価格交渉（教科書・第3章）
7	ヴェブレンの平和連盟構想	アメリカ異端派の現状分析、国際連盟の誕生（教科書・第4章）
8	戦後構想における経済助言者の役割（1）	ケインズ～ベヴァリッジ体制とは何か、伝記的アプローチ（教科書・第5章）

9	戦後構想における経済助言者の役割（2）	福祉国家の誕生、連邦主義、国際連合の誕生（教科書・第5章）
10	ミュルダールにおける戦争と平和（1）	福祉国家から福祉社会へ、累積的因果関係、南北問題（教科書・第6章）
11	ミュルダールにおける戦争と平和（2）	スウェーデンモデルとは何か、国際平和研究所（教科書・第6章）
12	冷戦期以降の戦争と経済思想	シューマッハー、ガルブレイス、ボールディング（教科書・第7章）
13	帝国主義・総力戦と日本の経済学者	石橋湛山、新渡戸稲造（教科書・第8章）
14	全体のまとめ～経済学の歴史から戦争と平和を扱う	経済学の浸透は国際紛争の軽減に貢献しうるか（教科書・終章）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
・簡単なリアクションペーパーを授業内に（または授業の課題として、学習支援システムを通じて）提出します。

【テキスト（教科書）】

小峯敦編（2020）『戦争と平和の経済思想』晃洋書房。
<https://www.koyoshobo.co.jp/book/b506947.html>

【参考書】

・小峯敦編（2025）『福祉の経済思想家たち【三版】』ナカニシヤ出版。（福祉社会論Aの教科書）
<https://www.nakanishiya.co.jp/book/b134734.html>
・小峯敦（2021）『経済学史』ミネルヴァ書房。（経済学LAの教科書）
<https://www.minervashobo.co.jp/book/b573123.html>

【成績評価の方法と基準】

（1）平常点：40%

（2）理解度小テスト：60%

（1）平常点は、リアクションペーパーの内容および提出回数、提供スライドや教科書を参照して確認できる課題の提出回数、その他授業への参加度合い等によって定めます。

（2）理解度小テスト（第14回を予定）は、マークセンス（択一式）8割、記述式2割を標準として、簡単なチェックテストとなります。自筆メモ（A4オモテ・ウラ1枚）が持ち込み可能です。

（3）レポート、および定期試験は行いません。

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーの解析を行い（テキストマイニングによって、匿名処理し、単語の出現頻度や共起関係を図表にする）、学生の理解度把握に努めます。また、優れたコメント、代表的な質問などについて、機会をもうけて授業中に匿名で公表し、他の学生がどのような意見・質問・コメントを持っているのか、披露することもあります。

【学生が準備すべき機器他】

資料をダウンロードできる機器があれば良いでしょう。また、レポート作成にはパソコンの使用が便利です。

【その他の重要事項】

「経済学的思考とは何か」という問題を考えるため、社会科学系だけでなく、人文系・自然科学系を学ぶ多くの学生に受講してほしいと思います。思想・歴史・理論・政策と幅広く網羅するために、公務員試験を受ける学生や教職課程の学生にも有用なはずで、教科書・参考書が重なるため、経済学LA・経済学LBをセットで受講すると便利であり、さらに理解が広がります。

【Outline (in English)】

In Economics L, we will concentrate on a single point, "What is economic thought?". We will also approach this question from multiple perspectives: historical, ideological, theoretical, and policy. In the second semester, we will take up "War and Peace in the History of Economic Thought". From the past to the present, the world is full of wars and conflicts. At the same time, there are many academic endeavors that search for their causes and solutions. In this class, students will learn how this issue has been/should be considered from the standpoint of economics and the economy.

PSY200LA (心理学 / Psychology 200)

心理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

金子 楓

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、人が生まれてから死に至るまでの心身の変化である発達について、発達の基本的な考え方や原理について紹介した後に、各段階における発達の特徴について、特に人間関係と社会性を中心に学習する。あわせて、人が生まれてから死に至るまでに生じ得る心理臨床的な課題とその支援について考察する。

【到達目標】

人が生まれてから死に至るまでの各発達段階における基礎的な知識を身につけることができる。
自分自身や周囲の人について、授業で学習した内容をもとに理解を深め、適応的に生きていくための知識を身につけることを目標とする。
具体的には、心理学LAで、人間関係と社会性を中心に、生涯発達の観点から人の発達について理解することを目標とする。また、心理学LBでは、生涯で生じ得る心理臨床的な課題に対する支援方法について、実際にふまえながら学ぶ。そのため、心理学LAと心理学LBを連続履修することが望ましく、通年で受講することで、人の発達について理解したうえで、理想の生き方や老い方について考え、発達臨床的な問題に取り組む力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は、基本的にはパワーポイントを用いた講義で行い、適宜、視聴覚教材を使用する。

授業では、授業毎にリアクションペーパーの提出、授業内容に応じて演習問題への取り組みを求める。リアクションペーパーや演習問題への取り組みへのフィードバックは、当日の講義内または翌週の講義内で行う。

本授業は、対面形式で実施するが、状況に応じてオンライン授業を実施する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要説明
第2回	発達心理学とは何か	発達の規定要因／発達段階理論
第3回	人間関係の発達①	乳児期の人間関係 乳児と人とのかわり／愛着形成
第4回	人間関係の発達②	幼児期の人間関係 仲間関係の発達／他者を理解する能力の発達
第5回	人間関係の発達③	児童期の人間関係 小学校における仲間関係／児童の攻撃行動
第6回	人間関係の発達④	青年期の人間関係 青年期の親子関係／ソーシャルサポート

第7回	社会性の発達①	社会性とは何か／ソーシャルスキル
第8回	社会性の発達②	向社会性の発達
第9回	社会性の発達③	道徳性の発達
第10回	社会性の発達④	コミュニケーションの発達
第11回	定型発達と非定型発達	発達障害とその支援
第12回	成人期の発達	キャリアの発達／職業生活の中での発達
第13回	高齢期の発達	サクセスフル・エイジングと幸福感
第14回	試験・まとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。
心理学に関する知識をただ覚えるのではなく、自分自身や周囲の人、環境など実生活と照らし合わせて、授業内容について熟考する。

【テキスト（教科書）】

適宜、配布資料を使用。配布資料はすべて学習支援システムにアップする。

【参考書】

『はじめて学ぶ乳幼児の心理 こころの育ちと発達の支援』（桜井茂男編、有斐閣アルマ、2006年）
『たのしく学べる最新発達心理学 乳幼児から中学生までの心と体の育ち』（桜井茂男編、図書文化社、2010年）
その他、授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（50％）、授業内で実施する演習問題（30％）、リアクションペーパー（20％）

【学生の意見等からの気づき】

授業改善アンケートでは、下記のようなコメントがありました。
今後も、学生のみなさんが実践的に学べるよう講義を行っていきます。
・スライドにイラストや動画が活用されており、理解が深まりやすかった。
・講義形式だけでなく、アンケートや問いかけなど参加型の要素があり、主体的に学べた。
・他の学生の意見を共有しながら学べたため、多様な考えに触れて思考を深められた。
・心理学が初めてでも分かりやすく、人生の流れに沿った構成で自分の経験と結びつけて学べた。
・説明が聞き取りやすく論理的で、心理士としての実践的な話も学びになった。
また、具体的な要望として、質問への回答を文字化するなど、後から確認できる仕組みが欲しい、内容をより発展的にしてほしいといったコメントがありました。質問への回答は文字化することで、内容は講義に実践経験の話を含めることで対応していきます。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・演習問題の提出等のために学習支援システム等を利用する。

【Outline (in English)】

This course introduces the basic concepts and principles of development, the characteristics of development at each stage. In addition, we will consider the psychological and clinical issues that can arise from birth to death and the support for them.

The goal is to deepen understanding of oneself and those around them based on the content learned in class, and to acquire knowledge for living adaptively.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Term-end examination: 50%, Short reports: 20%, in class contribution: 30%

PSY200LA（心理学 / Psychology 200）

心理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

金子 楓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、人が生まれてから死に至るまでの心身の変化である発達について、発達の基本的な考え方や原理について紹介した後に、各段階における発達の特徴について、特に人間関係と社会性を中心に学習する。あわせて、人が生まれてから死に至るまでに生じ得る心理臨床的な課題とその支援について考察する。

【到達目標】

人が生まれてから死に至るまでの各発達段階における基礎的な知識を身につけることができる。

自分自身や周囲の人について、授業で学習した内容をもとに理解を深め、適応的に生きていくための知識を身につけることを目標とする。具体的には、心理学LAで、人間関係と社会性を中心に、生涯発達の観点から人間の発達について理解することを目標とする。また、心理学LBでは、生涯で生じ得る心理臨床的な課題に対する支援方法について、実際にふまえながら学ぶ。そのため、心理学LAと心理学LBを連続履修することが望ましく、通年で受講することで、人の発達について理解したうえで、理想の生き方や老い方について考え、発達臨床的な問題に取り組む力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の前半は、主にテキストを使用してワークに取り組む。授業の後半は、視聴覚教材を使用して、実践したワークへの理解を深める。授業では、授業毎にリアクションペーパーの提出を求める。リアクションペーパーへのフィードバックは、翌週の講義内で行う。本授業は、対面形式で実施するが、状況に応じてオンライン授業を実施する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要説明
第2回	認知行動療法とは	認知行動療法の基本的な考え方
第3回	認知の歪みに気づく①	できごとの振り返り 気持ちへの点数づけ 心のつぶやきと気分の関連
第4回	認知の歪みに気づく②	心のつぶやきの検証 心のつぶやきの書き換え 心のイメージの修正
第5回	認知の歪みに気づく③	トリプル・カラム 葉っぱのトレーニング シアター鑑賞トレーニング 呼吸法
第6回	行動を変える①	気分と活動のモニタリング 気分と行動の関連 気分の変化チェック

第7回	行動を変える②	先延ばし行動の克服 自分を変えるチャレンジ
第8回	行動を変える③	アクションプラン アクションプランの検証 やってみたいことリスト
第9回	心のルールからの解放①	生き方のルール マイルールの検証 ルールのデメリット・メリット
第10回	心のルールからの解放②	心の新ルール 新ルールの証拠
第11回	心のルールからの解放③	人生で大切なことの言語化 気持ちのコントロール マインドフルネス
第12回	認知行動療法の実際①	認知行動療法に関する映像視聴
第13回	認知行動療法の実際②	認知行動療法の事例の紹介
第14回	試験・まとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『心がスッと軽くなる認知行動療法ノート』（福井至・貝谷久宣著、ナツメ社、2015年）必ず、使用する。

【参考書】

『子どもと若者のための認知行動療法ワークブック 上手に考え、気分はスッキリ』（ポール・スタラード著、下山晴彦監訳、金剛出版、2006年）その他、適宜授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（40%）、授業内で実施するワークへの取り組み（40%）、リアクションペーパー（20%）

【学生の意見等からの気づき】

授業改善アンケートでは、下記のようなコメントがありました。今後も、学生のみなさんが実践的に学べるよう講義を行っていきます。
・ストレス対処法、マインドフルネスを教科書を使用して実践することで、自分自身の生活に役立つ授業だった、自分と向き合う時間になった
・講義後半で、実際の取り組みや事例を知れることでイメージがしやすかった
・初学者でも安心して学べた
また、具体的な要望として、スライドを増やして内容をより具体的にしてほしい、授業後すぐの感想提出が負担になっているといったコメントがありました。教科書の内容をパワーポイントを使用してまとめることで、より具体的な説明をできればと思います。リアクションペーパーの提出期限は講義日当日中としていましたが、今後は負担を軽減した運営を行いたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・ワーク課題の提出等のために学習支援システム等を利用する。

【Outline (in English)】

This course introduces the basic concepts and principles of development, the characteristics of development at each stage. In addition, we will consider the psychological and clinical issues that can arise from birth to death and the support for them.

The goal is to deepen understanding of oneself and those around them based on the content learned in class, and to acquire knowledge for living adaptively.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Term-end examination: 30%, Short reports: 20%, in class contribution: 50%

PSY200LA (心理学 / Psychology 200)

心理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

金子 楓

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、人が生まれてから死に至るまでの心身の変化である発達について、発達の基本的な考え方や原理について紹介した後に、各段階における発達の特徴について、特に人間関係と社会性を中心に学習する。あわせて、人が生まれてから死に至るまでに生じ得る心理臨床的な課題とその支援について考察する。

【到達目標】

人が生まれてから死に至るまでの各発達段階における基礎的な知識を身につけることができる。
自分自身や周囲の人について、授業で学習した内容をもとに理解を深め、適応的に生きていくための知識を身につけることを目標とする。
具体的には、心理学LAで、人間関係と社会性を中心に、生涯発達の観点から人の発達について理解することを目標とする。また、心理学LBでは、生涯で生じ得る心理臨床的な課題に対する支援方法について、実際にふまえながら学ぶ。そのため、心理学LAと心理学LBを連続履修することが望ましく、通年で受講することで、人の発達について理解したうえで、理想の生き方や老い方について考え、発達臨床的な問題に取り組む力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は、基本的にはパワーポイントを用いた講義で行い、適宜、視聴覚教材を使用する。

授業では、授業毎にリアクションペーパーの提出、授業内容に応じて演習問題への取り組みを求める。リアクションペーパーや演習問題への取り組みへのフィードバックは、当日の講義内または翌週の講義内で行う。

本授業は、対面形式で実施するが、状況に応じてオンライン授業を実施する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要説明
第2回	発達心理学とは何か	発達の規定要因／発達段階理論
第3回	人間関係の発達①	乳児期の人間関係 乳児と人とのかわり／愛着形成
第4回	人間関係の発達②	幼児期の人間関係 仲間関係の発達／他者を理解する能力の発達
第5回	人間関係の発達③	児童期の人間関係 小学校における仲間関係／児童の攻撃行動
第6回	人間関係の発達④	青年期の人間関係 青年期の親子関係／ソーシャルサポート

第7回	社会性の発達①	社会性とは何か／ソーシャルスキル
第8回	社会性の発達②	向社会性の発達
第9回	社会性の発達③	道徳性の発達
第10回	社会性の発達④	コミュニケーションの発達
第11回	定型発達と非定型発達	発達障害とその支援
第12回	成人期の発達	キャリアの発達／職業生活の中での発達
第13回	高齢期の発達	サクセスフル・エイジングと幸福感
第14回	試験・まとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。
心理学に関する知識をただ覚えるのではなく、自分自身や周囲の人、環境など実生活と照らし合わせて、授業内容について熟考する。

【テキスト（教科書）】

適宜、配布資料を使用。配布資料はすべて学習支援システムにアップする。

【参考書】

『はじめて学ぶ乳幼児の心理 こころの育ちと発達の支援』（桜井茂男編、有斐閣アルマ、2006年）
『たのしく学べる最新発達心理学 乳幼児から中学生までの心と体の育ち』（桜井茂男編、図書文化社、2010年）
その他、授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（50％）、授業内で実施する演習問題（30％）、リアクションペーパー（20％）

【学生の意見等からの気づき】

授業改善アンケートでは、下記のようなコメントがありました。
今後も、学生のみなさんが実践的に学べるよう講義を行っていきます。
・スライドにイラストや動画が活用されており、理解が深まりやすかった。
・講義形式だけでなく、アンケートや問いかけなど参加型の要素があり、主体的に学べた。
・他の学生の意見を共有しながら学べたため、多様な考えに触れて思考を深められた。
・心理学が初めてでも分かりやすく、人生の流れに沿った構成で自分の経験と結びつけて学べた。
・説明が聞き取りやすく論理的で、心理士としての実践的な話も学びになった。
また、具体的な要望として、質問への回答を文字化するなど、後から確認できる仕組みが欲しい、内容をより発展的にしてほしいといったコメントがありました。質問への回答は文字化することで、内容は講義に実践経験の話を含めることで対応していきます。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・演習問題の提出等のために学習支援システム等を利用する。

【Outline (in English)】

This course introduces the basic concepts and principles of development, the characteristics of development at each stage. In addition, we will consider the psychological and clinical issues that can arise from birth to death and the support for them.

The goal is to deepen understanding of oneself and those around them based on the content learned in class, and to acquire knowledge for living adaptively.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Term-end examination: 50%, Short reports: 20%, in class contribution: 30%

PSY200LA（心理学 / Psychology 200）

心理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

金子 楓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、人が生まれてから死に至るまでの心身の変化である発達について、発達の基本的な考え方や原理について紹介した後に、各段階における発達の特徴について、特に人間関係と社会性を中心に学習する。あわせて、人が生まれてから死に至るまでに生じ得る心理臨床的な課題とその支援について考察する。

【到達目標】

人が生まれてから死に至るまでの各発達段階における基礎的な知識を身につけることができる。

自分自身や周囲の人について、授業で学習した内容をもとに理解を深め、適応的に生きていくための知識を身につけることを目標とする。具体的には、心理学LAで、人間関係と社会性を中心に、生涯発達の観点から人間の発達について理解することを目標とする。また、心理学LBでは、生涯で生じ得る心理臨床的な課題に対する支援方法について、実際にふまえながら学ぶ。そのため、心理学LAと心理学LBを連続履修することが望ましく、通年で受講することで、人の発達について理解したうえで、理想の生き方や老い方について考え、発達臨床的な問題に取り組む力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の前半は、主にテキストを使用してワークに取り組む。授業の後半は、視聴覚教材を使用して、実践したワークへの理解を深める。授業では、授業毎にリアクションペーパーの提出を求める。リアクションペーパーへのフィードバックは、翌週の講義内で行う。本授業は、対面形式で実施するが、状況に応じてオンライン授業を実施する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要説明
第2回	認知行動療法とは	認知行動療法の基本的な考え方
第3回	認知の歪みに気づく①	できごとの振り返り 気持ちへの点数づけ 心のつぶやきと気分の関連
第4回	認知の歪みに気づく②	心のつぶやきの検証 心のつぶやきの書き換え 心のイメージの修正
第5回	認知の歪みに気づく③	トリプル・カラム 葉っぱのトレーニング シアター鑑賞トレーニング 呼吸法
第6回	行動を変える①	気分と活動のモニタリング 気分と行動の関連 気分の変化チェック

第7回	行動を変える②	先延ばし行動の克服 自分を変えるチャレンジ
第8回	行動を変える③	アクションプラン アクションプランの検証 やってみたいことリスト
第9回	心のルールからの解放①	生き方のルール マイルールの検証 ルールのデメリット・メリット
第10回	心のルールからの解放②	心の新ルール 新ルールの証拠
第11回	心のルールからの解放③	人生で大切なことの言語化 気持ちのコントロール マインドフルネス
第12回	認知行動療法の実際①	認知行動療法に関する映像視聴
第13回	認知行動療法の実際②	認知行動療法の事例の紹介
第14回	試験・まとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『心がスッと軽くなる認知行動療法ノート』
（福井至・貝谷久宣著、ナツメ社、2015年）
必ず、使用する。

【参考書】

『子どもと若者のための認知行動療法ワークブック 上手に考え、気分はスッキリ』
（ポール・スタラード著、下山晴彦監訳、金剛出版、2006年）
その他、適宜授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（40%）、授業内で実施するワークへの取り組み（40%）、リアクションペーパー（20%）

【学生の意見等からの気づき】

授業改善アンケートでは、下記のようなコメントがありました。今後も、学生のみなさんが実践的に学べるよう講義を行っていきます。
・ストレス対処法、マインドフルネスを教科書を使用して実践することで、自分自身の生活に役立つ授業だった、自分と向き合う時間になった
・講義後半で、実際の取り組みや事例を知れることでイメージがしやすかった
・初学者でも安心して学べた
また、具体的な要望として、スライドを増やして内容をより具体的にしてほしい、授業後すぐの感想提出が負担になっているといったコメントがありました。教科書の内容をパワーポイントを使用してまとめることで、より具体的な説明をできればと思います。リアクションペーパーの提出期限は講義日当日中としていましたが、今後は負担を軽減した運営を行いたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・ワーク課題の提出等のために学習支援システム等を利用する。

【Outline (in English)】

This course introduces the basic concepts and principles of development, the characteristics of development at each stage. In addition, we will consider the psychological and clinical issues that can arise from birth to death and the support for them.

The goal is to deepen understanding of oneself and those around them based on the content learned in class, and to acquire knowledge for living adaptively.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Term-end examination: 30%, Short reports: 20%, in class contribution: 50%

GEO200LA（地理学 / Geography 200）

地理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

関戸 明子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、歴史地理学研究の具体的な事例を検討しながら、その研究手法について学ぶ。地域の歴史的な形成過程を考察するとともに、多様なメディアを活用して、地域社会の諸相を捉えていきたい。

【到達目標】

歴史地理学のアプローチの仕方を理解し、地域に関する地理的な知識を深めること。

地域の歴史的な形成過程について、多角的・多面的に捉える視点を養うこと。

地域を比較する地理学的なアプローチによって、課題を考察できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使用した講義を主体とし、資料の読解などの演習も組み合わせて進める。

授業資料の配布や課題・コメントの提出は、授業支援システムを使用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	歴史地理学とは	歴史地理学序説、古代中世の日本図
2	近世の国絵図・伊能図	近世における日本図の系譜
3	京都の都市プランの変容	古代から近世にかけての京都の景観
4	城下町の類型と特色(1)	城下町の類型と江戸・大坂
5	城下町の類型と特色(2)	北関東の城下町の特徴
6	近世の旅と名所図会	近世の街道と旅に関する情報
7	近代における旅行文化	鉄道の整備と東京の名所案内
8	温泉地の地域的展開(1)	鳥瞰図・紀行文からみた草津
9	温泉地の地域的展開(2)	鳥瞰図・紀行文からみた熱海と伊香保
10	温泉地の地域的展開(3)	観光コンテストと温泉地の動向
11	鳥瞰図に描かれた観光地	吉田初三郎の鳥瞰図の特色と場所イメージ
12	山岳の風景観と近代的な登山	絵はがきにみる名勝のイメージ
13	山村の生業と秘境イメージ	焼畑の実態、秘境イメージの形成

14 試験・まとめと解説 授業内容のまとめ、試験の実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は4時間を標準とする。

配付資料とノートを授業後に読み返し、図表の内容や重要なポイントが理解できたかを確認すること。毎時間の課題に取り組み提出すること。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

関戸明子（2007）『近代ツーリズムと温泉』ナカニシヤ出版

中西僚太郎・関戸明子編（2008）『近代日本の視覚的経験』ナカニシヤ出版

関戸明子（2018）『草津温泉の社会史』青弓社

このほか、関係する文献を授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

この講義の目標に達したかどうかを筆記試験と平常点で評価する。第14回のまとめに実施する試験50%、毎時の課題・コメント（50%）毎時の課題の未提出が5回を超えた場合には、単位を認定しません。未提出4回以内でも、期末試験とあわせて60点以上にならないこともあります。

【学生の意見等からの気づき】

前の授業の課題についての解説を毎時行います。

【学生が準備すべき機器他】

授業時間にデジタル・アーカイブにアクセスしたり、資料のPDFや絵図などの画像データを検討したりします。各自、ノートパソコン・タブレットを持参してください。

【Outline (in English)】

(Course outline) In this course, we will learn about the research method while examining concrete examples of historical geography research.

(Learning Objectives) At the end of the course, students are expected to understand characteristics of historic landscapes in Japan.

(Learning activities outside of classroom) Students will be expected to spend 4 hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy) examination: 50%, and in class contribution: 50%

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

朝倉 慎人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

東京大都市圏をはじめ、身近な地域でみられる地理的事象が、「なぜそこで」、「なぜそのようなかたちで」展開してきたのかを論理的に考察する。

【到達目標】

日常生活で目にする地理的事象を地理学の視点から論理的に説明する力を習得し、現代社会の諸問題を多角的に分析できるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で資料を配布し、講義を行う。毎回の授業でリアクションペーパーないしは小課題の提出を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	日常生活の中で訪れるさまざまな場所を事例に、地理学的な見方・捉え方の特徴を大まかに理解する
第2回	都心地区の機能分化	東京の都心地区を事例に、都心地区の機能分化とその背景を考察する
第3回	鉄道会社と郊外化	私鉄による沿線開発を事例に、東京大都市圏における初期の郊外開発の特徴を考察する
第4回	ニュータウンの建設と変容	ニュータウンや団地を事例に、東京大都市圏における大規模住宅開発の特徴を考察する
第5回	インナーシティ問題の都市間比較	国内外の事例と比較して、東京のインナーシティ問題の特徴を考察する
第6回	都市の再生	地方都市の事例に注目して、中心市街地再生の意義と可能性を考察する
第7回	小売業の業態別立地特性	さまざまな小売業の業態別立地特性を考察する
第8回	工業の立地変化	国内の工場開設・閉鎖を事例に、経済のグローバル化と工業の関係を考察する
第9回	周辺型経済と農村	都市との関係に注目して、国内の農村の地域問題を考察する
第10回	農村における地域づくりの実践	国内の農村でみられる地域づくりの実践を理解する
第11回	地域文化と真正性	真正性をめぐる議論に注目し、地域文化なるものを検討する

第12回	観光空間の生産	観光空間を文化論的視点から理解する
第13回	生活空間の観光化と地域社会	日常空間の観光資源化に注目して、ホストの実践と観光空間の関係を考える
第14回	まとめ	講義内容を振り返り、まとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布資料やノートを整理し、わからない用語を調べるとともに、興味を持った参考文献を入手して目を通すこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しない。毎回の授業で資料を配布する。

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート（50%）と授業内課題（リアクションペーパーないしは小レポート）（50%）によって成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This course logically considers various geographical phenomena observed in Japan. At the end of the course, students are expected to discuss a wide range of regional and global issues from a geographical perspective. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end reports (50%), short reports and minute papers (50%).

GEO200LA（地理学 / Geography 200）

地理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

関戸 明子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、歴史地理学研究の具体的な事例を検討しながら、その研究手法について学ぶ。地域の歴史的な形成過程を考察するとともに、多様なメディアを活用して、地域社会の諸相を捉えていきたい。

【到達目標】

歴史地理学のアプローチの仕方を理解し、地域に関する地理的な知識を深めること。

地域の歴史的な形成過程について、多角的・多面的に捉える視点を養うこと。

地域を比較する地理学的なアプローチによって、課題を考察できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使用した講義を主体とし、資料の読解などの演習も組み合わせて進める。

授業資料の配布や課題・コメントの提出は、授業支援システムを使用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	歴史地理学とは	歴史地理学序説、古代中世の日本図
2	近世の国絵図・伊能図	近世における日本図の系譜
3	京都の都市プランの変容	古代から近世にかけての京都の景観
4	城下町の類型と特色(1)	城下町の類型と江戸・大坂
5	城下町の類型と特色(2)	北関東の城下町の特徴
6	近世の旅と名所図会	近世の街道と旅に関する情報
7	近代における旅行文化	鉄道の整備と東京の名所案内
8	温泉地の地域的展開(1)	鳥瞰図・紀行文からみた草津
9	温泉地の地域的展開(2)	鳥瞰図・紀行文からみた熱海と伊香保
10	温泉地の地域的展開(3)	観光コンテストと温泉地の動向
11	鳥瞰図に描かれた観光地	吉田初三郎の鳥瞰図の特色と場所イメージ
12	山岳の風景観と近代的な登山	絵はがきにみる名勝のイメージ
13	山村の生業と秘境イメージ	焼畑の実態、秘境イメージの形成

14 試験・まとめと解説 授業内容のまとめ、試験の実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は4時間を標準とする。

配付資料とノートを授業後に読み返し、図表の内容や重要なポイントが理解できたかを確認すること。毎時間の課題に取り組み提出すること。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

関戸明子（2007）『近代ツーリズムと温泉』ナカニシヤ出版

中西僚太郎・関戸明子編（2008）『近代日本の視覚的経験』ナカニシヤ出版

関戸明子（2018）『草津温泉の社会史』青弓社

このほか、関係する文献を授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

この講義の目標に達したかどうかを筆記試験と平常点で評価する。第14回のまとめに実施する試験50%、毎時間の課題・コメント(50%) 毎時の課題の未提出が5回を超えた場合には、単位を認定しません。未提出4回以内でも、期末試験とあわせて60点以上にならないこともあります。

【学生の意見等からの気づき】

前の授業の課題についての解説を毎時行います。

【学生が準備すべき機器他】

授業時間にデジタル・アーカイブにアクセスしたり、資料のPDFや絵図などの画像データを検討したりします。各自、ノートパソコン・タブレットを持参してください。

【Outline (in English)】

(Course outline) In this course, we will learn about the research method while examining concrete examples of historical geography research.

(Learning Objectives) At the end of the course, students are expected to understand characteristics of historic landscapes in Japan.

(Learning activities outside of classroom) Students will be expected to spend 4 hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy) examination: 50%, and in class contribution: 50%

GEO200LA（地理学 / Geography 200）

地理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

朝倉 慎人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

東京大都市圏をはじめ、身近な地域でみられる地理的事象が、「なぜそこで」、「なぜそのようなかたちで」展開してきたのかを論理的に考察する。

【到達目標】

日常生活で目にする地理的事象を地理学の視点から論理的に説明する力を習得し、現代社会の諸問題を多角的に分析できるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で資料を配布し、講義を行う。毎回の授業でリアクションペーパーないしは小課題の提出を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	日常生活の中で訪れるさまざまな場所を事例に、地理学的な見方・捉え方の特徴を大まかに理解する
第2回	都心地区の機能分化	東京の都心地区を事例に、都心地区の機能分化とその背景を考察する
第3回	鉄道会社と郊外化	私鉄による沿線開発を事例に、東京大都市圏における初期の郊外開発の特徴を考察する
第4回	ニュータウンの建設と変容	ニュータウンや団地を事例に、東京大都市圏における大規模住宅開発の特徴を考察する
第5回	インナーシティ問題の都市間比較	国内外の事例と比較して、東京のインナーシティ問題の特徴を考察する
第6回	都市の再生	地方都市の事例に注目して、中心市街地再生の意義と可能性を考察する
第7回	小売業の業態別立地特性	さまざまな小売業の業態別立地特性を考察する
第8回	工業の立地変化	国内の工場開設・閉鎖を事例に、経済のグローバル化と工業の関係を考察する
第9回	周辺型経済と農村	都市との関係に注目して、国内の農村の地域問題を考察する
第10回	農村における地域づくりの実践	国内の農村でみられる地域づくりの実践を理解する
第11回	地域文化と真正性	真正性をめぐる議論に注目し、地域文化なるものを検討する

第12回	観光空間の生産	観光空間を文化論的視点から理解する
第13回	生活空間の観光化と地域社会	日常空間の観光資源化に注目して、ホストの実践と観光空間の関係を考える
第14回	まとめ	講義内容を振り返り、まとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布資料やノートを整理し、わからない用語を調べるとともに、興味を持った参考文献を入手して目を通すこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しない。毎回の授業で資料を配布する。

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート（50%）と授業内課題（リアクションペーパーないしは小レポート）（50%）によって成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This course logically considers various geographical phenomena observed in Japan. At the end of the course, students are expected to discuss a wide range of regional and global issues from a geographical perspective. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end reports (50%), short reports and minute papers (50%).

GEO200LA（地理学 / Geography 200）

地理学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：グローバル社会を考える地理学

前川 明彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

地理学の特性として、俯瞰的に物事を分析できる可能性を有していると思います。それは、学問体系が文理融合かつミクロ、マクロ的に学際化・専門化しているからです。この講義はグローバリゼーションの現代社会の課題を身近に捉え、地理学で考察することが目的です。例えば格差の課題はその背景となる地域社会の変化を産業や経済、政治などからも再考せねばならないと考えるからです。このため、近年、産業がどのように進展し、大都市が生まれ、21世紀には情報・IT革命（今のAIも含めて）とともに、産業の分業や深化、DXなどから、消費・競争社会の中心たる都市も巨大化、深化しています。また居住する人々には新たな格差が生じ地域格差も生じています。近年、政治、経済、環境、社会が大きく変容していることは皆さんでも気がついているでしょう。この講義では、こうしたグローバル社会の課題などを、地理学のさまざまな分野を通して総合的・俯瞰的に分析し、理解を深めていきます。

【到達目標】

身近な問題や課題を論理的に自らみつけ分析することを到達目標としたい。さらに、その背景や要因などを多様な考え方や地理学的思考やロジックで考え、解決の方向性に活用できることを目指したい。日本もやっと給与が上がりつつあるとはいえ、一方で余裕が社会の指標の1つに食品関係に費やす割合を表すエンゼル係数がります。昨年約45年ぶりに約28以上になり、他国を圧倒した家計消費になりつつあります。また、円安傾向は海外から見ると格安日本とさえ思われています。こうした背景には、競争社会でゆとりがなくなってきた世界や日本が見えてきます。また、生成AIの急激な進展などでエネルギー問題や社会変化が見え始めています。今後のAI時代において皆さんはどうすべきでしょうか。問題の解決には知識だけでなく自分の目でみつけ、考え応用するという必要性が突きつけられている気がします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本講義は対面授業の予定です。この授業が自分のプラスになるかは自分次第かもしれません。近年、世界や日本は様々な課題が顕在化、表面化しました。こうしたマクロ的な課題や問題を学際的、地理学的視点から考えていきます。一方的な授業ではなく、基本的には「動画映像＋講義＋GD・GD」になりますが、毎回のALは無理かもしれません。教科書はありませんが、授業資料等はWebclassにアップしますので、授業前に、ダウンロードしてください。また、中間Rは簡易的な都市フィールドワークの基礎として東京の都心部を予定しています。生成AIは大学の方針に準拠して使用可、うまくできるように。ほか添付ファイルなどを参考にしてください。世界の大きな変化から授業計画の一部が変更や順番の変更がある場合もあります。

授業開始日までに、内容の詳細や要点を動画等でまとめて授業支援システムに上げておきたいと思います。必ず確認してください。（仮登録すれば見れるようにしておきます）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	地域とは、グローバルとは何かを身近なことから考える
2	グローバリゼーション・21世紀	最近、顕在化した世界や日本の課題を概観してみよう。
3	グローバル化と産業	産業や都市はどう発展してきたか 大量生産社会と経済成長をUNIQLOから考えよう。
4	21世紀のボーダレス化と地域社会	21世紀社会の変貌
5	世界から遅れた日本	GAFAM・国際分業・市場先進国か 様々な分野で遅れ始め、安い、動けなくなった日本社会
6	世界の課題を日本から見る1	若者の格差・貧困と地域社会
7	世界の課題を日本から見る2	ブラックバイト・闇バイト
8	世界の課題を日本から見る3	子ども・女性の格差・貧困と連鎖 社会的弱者
9	グローバリゼーションの課題1	雇用とジェンダー、少子高齢化・若い女性はなぜ大都市へ 少子高齢化日本
10	グローバリゼーションの課題2	AI/第4次産業革命と格差社会…立地や仕事が変わることに気がついてますか
11	グローバリゼーションの課題3	データやデータの重要性に気がついてますか。WHAT？
12	グローバリゼーションの課題4	AI/MATSUKO
13	グローバリゼーションの課題5	アジア、アフリカのリープフ
14	まとめと解説	ログと日本 多様性の重要さ
		環境か経済か カーボンニュートラルで産業が生まれるか
		分断と共生 欧米の分断やウクライナ問題などから考えてみよう
		世界や日本の課題を自ら考え、解決方向性を&最終Rの説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

近年、世界は大きく変わってきていることに気がついてますか。昨年は世界的な選挙イヤーでしたが、アメリカ大統領が変わるだけで世界は大きく変化しています。政治や経済が社会に与えていることを身近に考えてください。普段から何事にも興味・関心を持ち、最初の一步を踏み出してください。内外のことを特定のネットサイトだけでなく新聞、TV、ネットなどで調べ知識化し、自ら問題を考え応用できるようにしてください。一見何気なしに見ていることも、普段歩いている大学の往復や自宅界隈で新たな発見をしてみてください。また、レポートなどで経験してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にはないが、授業資料等はwebclassにアップしますので、授業前にはダウンロードなどしてください。

【参考書】

授業時やWebclassなどに指示

【成績評価の方法と基準】

原則的には、期末レポート（50%）、平常点（50%）を考えています。詳細に関しては最初の授業やwebclassの最初のバワポなどで確認してください。

【学生の意見等からの気づき】

世界が大きく変化しているのは皆さんも気がついていると思います。昨今、実社会でよく聞くのが、「論理的に考えたり、教わると、応用がききシュミレーションにも役立つのに・・・」という話です。ネット社会の発展から切り取り文章や映像が氾濫してきていますが、その結果、多様性ということを重視する人が少なくなり、その場で単に聞き、覚える人が増えているような気がします。このことは、皆さんも気が付いていて、同じことを何回も聞く、考えようとしなないといった意見も出てきています。いわば、コミュニケーションの重要性が問われています。

また、多様性やジェンダーを否定する流れから競争社会、格差が進展する可能性もあります。画一化や均一性はイノベーションを生み出しにくいことはすでに明らかになっています。

このため、この講義では多様な意見や考え方を経験するという視点をもとに、授業を居場所としてコミュニティの重要性をフルに発揮する方向性でのGDやレポートなどでの簡易的フィールドワークは行ってきました。大半の学生には好評でした。授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。対面授業ですから、授業を居場所としてコミュニティの重要性をフル活用するためにもGD・GWなどを試みたいと思います。そして、授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。

【学生が準備すべき機器他】

テキストはありませんが、基本教材（パワポ形式）や授出席などでWebclassのシステム等や映像を活用するため、授業時にスマホだけでなく、パソコン等はできたらお願いしたい。ほかの科目も予想されるが、WEB授業等に係るものは用意されたほうが・・・

生成AIに関しては大学の方針に準拠して使用し、習熟してみてください。なお、授業開始日までに、内容の詳細や要点を動画等でまとめてWebclassシステムに上げておきたいと思います。必ず確認してください。（仮登録すれば見れるようにします）

【その他の重要事項】

世界で分断や格差が生じています。多様性やジェンダーを否定する流れから競争社会、格差が進展する可能性もあります。画一化や均一性はイノベーションを生み出しにくいことはすでに明らかになっています。こうした視点からもコミュニケーションの重要性が問われています。毎回は無理ですが簡単なGD/GWを考えています。多様な考え方や視野の広がりなどを期待していますので、出会いも含めてみんなで楽しみましょう。

地理学が苦手な人や大学デビューも含めて1人参加でも例年大丈夫です。一方的な授業は教員は楽ですが避けたいのでみんなでALも楽しみましょう。秋学期の地理学LDと合わせて受講することを勧めたい。通年でなくとも構わないが、先に春学期のLCでの問題意識や問題の発見を基礎や理論を理解し、秋学期のLDで知識の応用を目指し、課題解決型講義の方向をともに目指したい。学生の授業アシスタントも予定していますので相談してみてください。

【Outline (in English)】

Course outline: Geography, I believe, has the distinctive ability to analyze and interpret phenomena from a broad, overarching perspective. This is because the discipline integrates both the humanities and the sciences, and has become increasingly interdisciplinary and specialized across micro- and macro-level domains.

The purpose of this course is to examine the challenges of our rapidly changing globalized world through a geographical lens, bringing these issues closer to students' everyday experiences. For example, why has Japan's economic growth stagnated, leading to what is often called the "lost three decades"? These questions are closely connected to dramatic global shifts in politics, economics, and society.

Similarly, widening global inequalities and the transformations occurring within regional societies around the world suggest that it is time to reconsider these issues. With the information and IT revolution of the 21st century—including today's AI—industrial specialization, global division of labor, and digital transformation (DX) have accelerated. As a result, cities and regional communities, which form the core of consumer and competitive societies, have undergone significant change and further complexity. People living in these places now face new forms of inequality and emerging regional challenges.

This course aims to approach these developments from a comprehensive, panoramic viewpoint, analyzing and reflecting on them through various subfields of geography.

Learning activities outside of classroom: Total is 4 hours

Grading Criteria: Term-end exam: 80% Contribution to class: 20%

GEO200LA（地理学 / Geography 200）

地理学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：21世紀の都市・地域を考える地理学

前川 明彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この科目は、21世紀以降の世界を都市や地域を中心に地理学ロジックを活かして課題や解決策をともに考えます。具体的には都市や地域の再生論などを考え、学際的かつ俯瞰的な視点や論理的思考の重要性を考えたい。前半で世界や日本の都市を中心にDXなどの進展から変化する都市、地域社会の変化を政治・経済、社会的側面を中心に地理学的な視点から考えます。後半は日本の都市・地域社会の課題解決を中心にネットワーク、コミュニティなどの視点から方法論などを再検討します。そこから学生自身が多様性のある社会の実現を模索、検討できることを目的としています。地理学を骨子に、アクティブに一緒に考えることを目指します。

【到達目標】

学生が自らの考えをもち行動し、将来的には世界の地域社会の課題を解決する一員になることを到達目標にしている。秋学期のこの講義では、世界的な地域のも視点を広げ、問題意識や相違点や共通点などを見つけ、課題を解決方向へと踏み出したい。このため、新たな世界的な課題を前半で、後半 都市・地域再生を主なテーマとし、学生が、地域社会に関連するコミュニティデザインやソーシャルビジネスなどから、多様性のある様々な問題解決の方向性を示せることを到達目標としたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

対面授業の利点を如何にいかすかが問われます。地域再生を軸とした解決方法の事例紹介だけならオンデマンドで十分かもしれませんが。多様な意見や価値観の認識、コミュニケーションスキル等のためにも皆さんと考えていきたいと思います。初めての受講でも心配ありません。教材等は授業支援システムを使う予定です。進め方の基本は「映像＋講義＋GDなど」を考えています。授業アシスタントの人も予定していますので、不安な場合は相談してみてください。なお、生成AIは使用可。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	将来の日本は・・・ 今後の日本を考える AIの判断する2050の日本・・・なぜTOKYOだけが大きく豊かになるのか
2	都市再考1	都市内部の格差 経済格差と地域社会構造
3	都市再考2	移民、外国人との共生、地域社会構造
4	地方再生1 世界の地方再生は	世界的な地方再生の形

5	地方再生2	インバウンドの都市集中とオーバーツーリズム
6	都市再生1	終わりのない再開発
7	都市再生2	AKIBAというコミュニティと場の重要性
8	都市再生3	イタリア、シエナとコミュニティ
9	都市・地域再生1	失敗から学ぶ コンパクト・スーパーシティの試み
10	都市・地域再生2	クラスター集積と分散は可能なのか なぜ産業が地方では無理なのだろう、半導体 AI
11	都市・地域再生3	情報発信と人と呼ぶとは
12	都市・地域再生4	関係人口と地域へのかかわり かた コミュニティ再考
13	都市・地域再生5	スタートアップとソーシャル キャピタル論
14	まとめと解説	今後の日本を考える

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ネットやニュースなどから多様な考え方を学んでください。問題をどう解決するかは、さまざまな方法があり、必ずしも1つの方法が正解ではありません。日本はどんどん世界から遅れ始めていることに気が付いていますか。将来の自分が想像できますか、自ら考え、行動する意欲を常に持ち、失敗を恐れずむしろ失敗から学び、前向きになる自分を想像してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にはない 教材関係はWebclassでパワポで原則アップしますので、ダウンロードしてください。

【参考書】

授業時に指示

【成績評価の方法と基準】

期末のレポート試験（50%）、授業の平常点（50%）で総合的に評価する予定でいる。状況により変更の場合などもあり得るかもしれません。

、

【学生の意見等からの気づき】

簡易的フィールドワーク対象である、各自の自由な世界でも有名な某地域調査は好評でした。こうしたリアルな実体験はネット社会ではまだまだ見て経験できないことです。コミュニケーションの重要性や多様性を知るためのGD/GWも楽しんでくれたようです。授業を居場所としてコミュニティの重要性をフル活用するためにもGD・GWなどを試みた結果、秋から参加で心配していた学生もいました。周りの協力もあって心配はありませんでした。今年度も、授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。

【学生が準備すべき機器他】

スマホよりはパソコン使用を慣れてください。このため、この授業以外のためにも大学からの貸し出しなどは積極的に申し込んでください。授業支援システム等をかなり利用するので仕様の仕方等に習熟してほしい。また、生成AIに関しては大学の方針に準拠して使用し、習熟してみてください。

【その他の重要事項】

秋から受講でも心配ありません。授業開始日までに、内容の詳細や要点をまとめて授業支援システムに上げておきたいと思います。必ず確認してください。（仮登録すれば見れるようにします）大学デビューのつもりで新たな柔軟な思考を持ちたいなどの人、1人でも参加したい人も歓迎します。対面授業形式の利点や今後の将来に活かすためにGD・GWなどもします。多様性を考えたり、視野の相違などが目的ですが知り合いを創るためにも楽しみましょう。授業アシスタントの人を予定していますので、1年生などはさまざまな相談をしてみてください。楽かどうかは皆さん次第です。能登半島の災害や世界的課題を考えると、知識だけではなく自ら考え行動することが必要な気がします。

【Outline (in English)】

This course explores the world of the 21st century by focusing on cities and regions, using geographical logic to examine challenges and potential solutions together. We will specifically consider topics such as urban and regional revitalization, emphasizing the importance of interdisciplinary and comprehensive perspectives, as well as logical thinking.

In the first half of the course, we will focus on cities in Japan and around the world, examining how digital transformation (DX) and other developments are reshaping urban and regional societies. These changes will be analyzed from geographical perspectives, with particular attention to political, economic, and social dimensions. In the second half, we will shift our focus to problem-solving in Japanese cities and regional communities. We will reexamine methodologies through the lenses of networks, communities, and other frameworks. The goal is to enable students to explore and consider how to realize a more diverse and inclusive society.

Learning activities outside of classroom: Total is 4 hours

Grading Criteria: Term-end exam: 50% Contribution to class: 50%

SOC200LA (社会学 / Sociology 200)

社会学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：文化の社会学

松下 優一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、文化を社会学的な観点から分析・考察するための理論や方法について学ぶ。まずは文化社会学のオーソドックスな概念について具体的に応用しながら理解を深め、そのうえで現代文化を成り立たせている諸条件にかんする主要な研究について学んでいく。これにより、文化を社会学するのに役立つ基本的な視座・着眼点の獲得を目指す。

【到達目標】

- ・文化を社会学的に考察するのに役立つ理論、基本的な着眼点や問題設定などについて理解できる。
- ・作品（あるいは作家の営み、生産・流通・受容のメカニズムなど）の具体的な特徴を捉え、その社会的文脈性を考察することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に配布資料を用いて講義形式で進める。毎回のテーマに関するリアクションペーパーないし課題の提出を課す。提出物へのフィードバックは、次回授業の冒頭やまとめの回でいくつかピックアップする形で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	文化社会学へのイントロダクション
第2回	遊戯	井上俊『遊びの社会学』を中心に
第3回	欲望	作田啓一『個人主義の運命』を中心に
第4回	記号	R・バルト「神話作用」を中心に
第5回	表象とイデオロギー	マルクス主義的アプローチの系譜
第6回	文化テキストの分析（1）	『君の名は。』を取り上げ、分析・考察を試みる
第7回	文化テキストの分析（2）	『シン・ゴジラ』を取り上げ、分析・考察を試みる
第8回	文化テキストの分析（3）	『この世界の片隅に』を取り上げ、分析・考察を試みる
第9回	文化テキストの分析（4）	『コンビニ人間』を取り上げ、分析・考察を試みる
第10回	メディア文化	ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」を中心に
第11回	文化と卓越化	ブルデュー『ディスタンクシオン』および『芸術の規則』について
第12回	受容と流用	カルチュラルスタディーズの展開

第13回 コンヴァージェンス・カルチャー 参加型文化の時代

第14回 まとめ

授業の振り返りと補足、および課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。課題に取り組むとともに、授業で紹介するテキストや作品を熟読・鑑賞し、自分なりに理解を深めてください。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。

【参考書】

- ・井上俊／長谷正人編『文化社会学入門』（ミネルヴァ書房、2010年）
- ・栗谷佳司／太田健二編『表現文化の社会学入門』（ミネルヴァ書房、2019年）

【成績評価の方法と基準】

各回の提出物（50％）＋期末レポート（50％）
記述の具体性・独自性・妥当性などにより評価する。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の反応を見る限り概ね好評であった。今後も研鑽を重ねたい。

【学生が準備すべき機器他】

授業資料は基本的に学習支援システムで配布予定です。閲覧可能な機器をご持参ください。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course introduces students to the key concepts in sociology of culture and to the ways of thinking about culture in the contemporary world.

[Learning Objectives] By the end of the course, students should be able to do the followings:

- understand key concepts in cultural theory and fundamental approaches of the sociology of culture.
- analyze artworks (artists, cultural production/distribution/reception, and so on) in its social context.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policy] Grading will be decided based on Term-end report(50%) and Short reports(50%).

SOC200LA (社会学 / Sociology 200)

社会学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代社会論

松下 優一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、社会学分野での主要な現代社会論を学ぶとともに、現代日本社会に生起する諸々の社会現象について考える。個別・具体的な現象について、歴史的・構造的な視野をもって複層的に捉えつつ、分析・考察を深めるための社会学的想像力を養う。

【到達目標】

- ・基本的な現代社会の理論について理解し、具体的な事象に応用し、考察できる。
- ・現代社会において生起する具体的な事象を取り上げ、社会学的に分析・考察できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に配布資料を用いた講義形式で進める。リアクションペーパー（ないし各回の内容に関する課題）の提出を課す。フィードバックは、次回授業冒頭やまとめの回にて、いくつかの答案をピックアップする形で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要説明など
第2回	リスク社会論	ベックのリスク社会論の要点と応用
第3回	消費社会論	「〇〇消費」から考える現代社会
第4回	格差社会論	「新しい貧困」をめぐる問題を中心に。
第5回	監視社会論	管理／監視の技術から考える現代社会
第6回	情報社会論	情報技術と社会の関係をどう捉えるか
第7回	再帰的近代化論	ギデنزのモダニティ論を中心に
第8回	現代社会とノスタルジア	『ALWAYS三丁目の夕日』から考える
第9回	ポスト・トゥルース	陰謀論の時代へ？
第10回	排除型社会	包摂型社会から排除型社会へ
第11回	心理主義化	高度化する自己コントロールと人格崇拜について
第12回	コンプライアンス社会	フラット化する社会と文化について
第13回	アフター・コロナ	コロナ禍から考える現代日本社会
第14回	まとめ	授業の振り返りと補足

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。各回のテーマに沿った具体的事例の収集、考察、まとめに取り組んでください。

【テキスト（教科書）】

特に使用しない。

【参考書】

本田由紀編『現代社会論—社会学で探る私たちの生き方』（有斐閣、2015年）

【成績評価の方法と基準】

各回の提出物（50％）＋期末レポート（50％）
記述の具体性・妥当性・独自性などを基準に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の反応をみる限り、概ね好評であった。今後も研鑽を重ねていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

授業資料は原則として学習支援システムにて配布予定です。閲覧可能な機器を持参してください。

【Outline (in English)】

[Course outline]

This course introduces students to the key concepts of contemporary social theories and to the ways of thinking about current social changes.

[Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- understand basic approaches and theoretical arguments of contemporary social theories.
- think about social issues (cultural phenomena and so on) in contemporary context.

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policy]

Grading will be decided based on Term-end report (50%) and Short reports (50%) .

SOC200LA (社会学 / Sociology 200)

社会学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：政治と社会における「問題の発見」

徐 玄九

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

授業では政治と社会に関わる様々な事例を取り上げながら、政治と社会を動かしている原理を理解するとともに隠れている問題の発見に努める。できるだけ具体的な事例を取り上げながら基本的な概念や理論を学び、これらをもとに社会や政治、広くは時代の問題に気づき、その意味を理解し、その解決に向けて考える力を付けることを目指す。問題解決能力は問題を発見する能力とそれを解決する能力に区分できる。問題解決能力の中心は「問題の発見」にある。診断ができなければ治療することもできない医者のように、多くの領域において「問題解決」の主題は「問題の発見」である。この「問題の発見」こそが創造的な問題解決の出発点である。

【到達目標】

- ・基本的な概念や理論を論理的に発表、論述することができる。
- ・具体的な社会現象を複数の概念や理論を駆使して論理的に説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的で身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料（PDF ファイル）はHoppiiで配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックはHoppiiを通じて行う予定である。
- ・プレゼンテーショングループワークの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要および受講時の注意点、成績評価の方法
2	基礎概念の理解	C.W・ミルズ『社会学的想像力』を手がかりに社会学の基礎概念を学ぶ
3	「問題の発見」	政治と社会における「問題の発見」の練習として「宝くじ」の歴史と機能、昔話「ウサギとカメの競争」を手がかりにルールや制度が不公平な側面を内包していることを確認する。
4	政策決定と利益	「問題の発見」の実践として、薬害事件を扱ったドキュメンタリー映画『薬に病むークロロキン網膜症』（小池征人監督、1980）の一部視聴と解説

5	社会的暴力と個人の身体	前回の授業内容の理解を深めるために市村弘正「社会的失明の時代」の一部講読と討論
6	スティグマと社会的統制	社会的スティグマを学ぶための予備的考察として、芥川龍之介「桃太郎」、H・S・ベッカー『アウトサイダーズ』の一部講読
7	スティグマの政治社会学	E・ゴフマン『スティグマの社会学』とS・フェデリーチ『キャリバンと魔女』の一部講読と討論
8	差別と偏見について	ドキュメンタリー映画『人間の街ー大阪・被差別部落』（小池征人監督、1986年）の一部視聴と解説
9	差別と解放について	前回の授業内容の理解を深めるために市村弘正「人間の場所」の一部講読と討論
10	感情と法の関係について	M・ヌスバウム『感情と法』（第2章「嫌悪感と私たちの動物的身体」）の一部講読
11	感情の政治社会学の理解	M・ホルクハイマー、T・アドルノ『啓蒙の弁証法』（「V 反ユダヤ主義の諸要素」）の一部講読と討論
12	個人の選択と社会的選別について	国鉄分割民営化の過程で労働者たちの置かれた状況を描いたドキュメンタリー映画『日本鉄道員物語1987』（小池征人監督、1987）の一部視聴と解説
13	権力と自由の関係について	前回の授業内容の理解を深めるために市村弘正「選択と選別の間」の一部講読
14	期末テストおよび総括	期末テスト（60分）、講評・まとめ（40分）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、参考文献の抜粋）を用いる。

【参考書】

- ・市村弘正・杉田敦（2005）『社会の喪失』中公新書。
- ・杉田敦（2009）『政治への想像力』岩波書店。
- ・マーサ・ヌスバウム（2010）『感情と法ー現代アメリカ社会の政治的リベラリズム』（河野哲也監訳）慶應義塾大学出版会。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50%）、平常点（50%）[リアクションペーパー20%＋プレゼンテーショングループワーク30%]

詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点：以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点：以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点：授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点：不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

8-10点：授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-7点：不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4点：最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In the class, students take up various cases related to politics and society and try to understand the principles that drive politics and society and discover hidden problems. Through these efforts, we aim to become more aware of social, political and, more broadly, contemporary issues, understand their meaning, and develop the ability to think about solutions. Problem solving ability can be divided into the ability to discover a problem and the ability to solve it. The center of problem-solving ability lies in "finding a problem.". In many areas, the subject of "problem solving" is "finding a problem," as in a doctor who cannot be treated without being diagnosed. This "discovery of problems" is the starting point for creative problem solving.

(Learning Objectives)

- You can discover the principles and problems that drive politics and society.

- You can logically present and describe problems you find in your own words. (Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

- Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance. • 2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (20%) and participation in biweekly group discussions (30%).

SOC200LA (社会学 / Sociology 200)

社会学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：自由の最大化と暴力の最小化

徐 玄九

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自由の最大化と暴力の最小化をテーマに国家の本質、機能、市民の役割などについて学ぶ。具体的には、マックス・ウェーバーによって定義された支配と服従、国家などの概念を手掛かりに、歴史上登場した国家論の変遷と共に「市民」や政治制度の「民主主義」に関する理論を取り上げる。これらを通して受講者自らの「国家」と「市民」、「民主主義」に関する見解と比較してみることで、自らの考え方を少しでも明瞭にすることが目的である。

【到達目標】

- ・国家論の変遷を歴史的な文脈で説明できる。
- ・市民の自由と権利の意義と限界を受講生の経験を踏まえて具体的に説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的に身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料（PDF ファイル）はHoppiiで配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックはHoppiiを通じて行う予定である。
- ・プレゼンテーショングループワークの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要および受講時の注意点、成績評価の方法
2	基礎概念の理解	マックス・ウェーバー『職業としての政治』を手がかりに基礎概念を学ぶ
3	統治術の変化	「誰が統治すべきか」から「如何に統治すべきか」へ
4	国家主義国家論	トマス・ホブズ『リヴァイアサン』の一部講読
5	自由主義国家論（政治的な側面から）	ジョン・ロック『統治二論』の一部講読と討論
6	自由主義国家論（経済的な側面から）	アダム・スミス『道徳感情論』と『国富論』の一部講読と討論
7	自由と平等をめぐるルソーの立場	ルソー『人間不平等起源論』、『社会契約論』の一部講読
8	階級国家論、国家消滅論	カール・マルクス『共産党宣言』の一部講読
9	自由と平等を求めた革命と現実	ジョージ・オーウェル『動物農場』や社会主義国家の没落の歴史を事例に

10	大衆社会論	オルテガ・イ・ガセット『大衆の反逆』、エリック・フロム『自由からの逃走』の一部講読と討論
11	全体主義について	ハンナ・アーレント、丸山眞男、藤田省三の分析を学ぶ
12	民主主義について	杉田敦『デモクラシーの論じ方』、同『境界線の政治学』の一部講読
13	市民の役割について	宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』の一部講読と討論
14	期末テストおよび総括	期末テスト（60分）、講評・まとめ（40分）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、配布資料（レジュメ、参考文献の抜粋）を用いる。

【参考書】

マックス・ウェーバー（1919＝2018）野口雅弘訳「仕事としての政治」『仕事としての学問・仕事としての政治』講談社。
加藤秀治郎・岩渕美克（2013）『政治社会学 第5版』一藝社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50%）、平常点（50%）[リアクションペーパー20%＋プレゼンテーショングループワーク30%]

詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点：以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点：以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点：授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点：不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

8-10点：授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5-7点：不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1-4点：最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

Learn about the nature, function, and role of the nation. Specifically, this paper takes up the theory on "democracy" of "citizen" and political system as well as the transition of state theory which has appeared in history, taking into consideration the concepts of rule, obedience and nation defined by Max Weber. The purpose of this study is to clarify the students' views by comparing them with their own views on "nation," "citizen," and "democracy". (Learning Objectives)

・The basic concepts of political sociology can be logically presented and discussed in one's own words.

・The transition of the theory of nation in modern times can be understood in the historical context.

・To enhance sociological understanding of political conflicts. (Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson. ・Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance. ・2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature. (Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (20%) and participation in biweekly group discussions (30%).

POL200LA (政治学 / Politics 200)

政治学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：音楽と政治

木村 正俊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：ボブ・ディランと政治

ボブ・ディランとUS政治の関係について考察する。

ボブ・ディランとUS政治の関係について考察することによって現代政治に関する見方を養うことを目指します。

【到達目標】

WW I 以降のUSの政治と社会についての基本的知識を得ること。

音楽を通して政治について考えるようになること。

ボブ・ディランの信仰を考察することによって、ユダヤ教とキリスト教についての基本的な知識を得ることと、宗教と政治の関係について理解すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。

交通事情や天候その他の理由でオンライン（Zoom）のみの授業になる時があります。

ただし初回はオンラインのみで授業を行います。

授業の初めに、前回授業時の個別質問に対する回答を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
# 1	Intro.	講義の概要とやり方について
# 2	戦間期のフォークミュージック	フォークミュージックと政治の交錯
# 3	本当のフォークミュージックの追求	ローマックス親子とレッド・ベリー
# 4	プロテスト・フォークミュージックの登場	ウディ・ガスリーを中心に
# 5	マッカーシズムとフォーク・リヴァイバル	ビート・シガーを中心に
# 6	古くて奇妙なアメリカ	ハリー・スミスとコラージュの政治学
# 7	ボブ・ディランの登場	プロテスト・フォークミュージックの政治学
# 8	1965年	USのニュー・レフトとボブ・ディラン
# 9	ビート・ジェネレーション	文学による政治の変容
#10	カウンターカルチャー	カウンターカルチャーの時代とその後
#11	The Basement Tapes	Bob Dylan の「古くて奇妙なアメリカ」あるいは「見えない共和国」

# 12	Slow Train Coming	Bob Dylan の改宗とUSの政治と社会
# 13	Things Have Changed.	終末論とUSの政治と社会
#14	Outro.	秋学期の講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回配布するプリントを授業の前に目を通し、授業後に復習する。紹介された参考文献を読む。

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布する。

【参考書】

湯浅学『ボブ・ディラン ロックの精霊』（岩波新書、2013年）

北中正和『ボブ・ディラン』（新潮新書、2023年）

他の文献・音源・映像は、必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業の内容に関するレポートで評価。

小テスト 20%、期末レポート 80%

出席は当然であるが、欠席に由来する不利益に関しては何の対応もしません。

【学生の意見等からの気づき】

ポピュラー・ミュージックやロックについての授業ではないことに注意してください。

洋楽についての知識がなくてもかまいませんが、興味・関心を持っていることは必要です。

授業時間外の質問はメールで対応します。

必要であれば個別にZOOMによるミーティングを行います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる機器。

映像・音楽を視聴できる機器。

【その他の重要事項】

ボブ・ディランや「洋楽」についての知識がなくても受講可能です。政治や音楽に関する基本的知識は学生によって差があるので、すべてを授業で提供できません。そこでわからないことや知らないことは教員に尋ねる、あるいは、自分で文献やネットで調べるようにしてください。

大学における講義、シラバスの内容、予習・復習に2時間を要することなどに関して興味のある人は、佐藤郁哉『大学改革の迷走』（ちくま新書、2019年）を参照してください。

【Outline (in English)】

Theme: Bob Dylan and Politics

【Course outline】

This course deals with the political world of Bob Dylan.

【Learning Objectives】

The fundamental aim of this course is to acquire lens through which contemporary politics can be viewed by considering the political world of Bob Dylan.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

To acquire basic knowledge of politics and society of the United States since the Second World War

To acquire basic knowledge of Judaism and Christianity and to understand relationships between politics and religion by considering the religious belief of Bob Dylan.

【Learning activities outside of classroom】

Read the prints distributed each time before class and review after class.

Read references.

Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to short reports(20%) and term-end report(80%).

POL200LA (政治学 / Politics 200)

政治学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：政治とメディア

及川 智洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

メディア（主に情報伝達媒体）の変化が民主主義政治にどのように影響してきたか、その歴史的な推移を学び、われわれが主権者としてメディアをどのように利用すべきかを考察する。

【到達目標】

民主主義政治の基本とその中のメディアの役割およびメディアごとの特性を理解し説明できる。同じく、政治分野における情報の信頼性を判断する基準について理解し説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

対面の講義形式で行い、テーマによって適宜、グループ討論などの意見交換を実施する。都合によりオンライン、オンデマンドにする場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	あなたは誰を信じますか？	日々流れてくる情報はどこまで信用できるのか。メディア（情報媒体）が政治的判断に及ぼす影響
2	民主政治における報道・言論の自由	三権分立（特に司法の独立）と言論の自由が民主政治の要件。世論に基づく政治
3	事実と議論	民主政治の本質は事実をもとに話し合うこと。では事実とは何か？
4	大衆と公衆	政治的な「大衆とエリート」の関係。民主主義の担い手として期待される「公衆」だが・・・
5	メディアの情報革命	活版印刷術と活字による情報の第一革命。アナログ技術の開発による第二革命。政治への影響
6	戦後民主主義とマスメディア	第二次世界大戦後の民主政治、特に高度経済成長期に新聞が果たした役割
7	公権力監視と調査報道	新聞による公権力監視と問題点、調査報道が現実政治に対して大きな影響を与えた例
8	「テレポリティクス」と政権交代	1980年代から90年代、テレビの影響力が政治的にも拡大、活字メディアを凌駕
9	インターネット登場とマスメディアの退潮	20世紀末、第三の情報革命＝インターネット、デジタル化と、デジタル・デモクラシーへの期待

10	ソーシャルメディアの時代	21世紀、スマートフォンの登場とデジタル革命の深化、利便性と問題点
11	ポピュリズムと政治的分極化	民主政治の不安定化、感情の政治、極右勢力の台頭、ソーシャルメディアの影響は？
12	アイデンティティ政治をめぐる対立	少数派の格差は正をめぐる左右の政治路線の対立とメディアの影響
13	メディア・リテラシーの必要性	メディアの多様化・情報過剰の時代に、情報の信頼性を吟味し分析能力を高めるには
14	政治とメディア・21世紀の問い	これまでの授業の主な内容を振り返り、政治とメディアの未来を展望する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備、復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

川出良枝・谷口将紀（編）『政治学』（第2版）（東京大学出版会、2022年）2200円＋税

岩崎正洋（編）『18歳からはじめる現代政治学』（法律文化社、2025年）2300円＋税

谷口将紀『政治とマスメディア』（東京大学出版会、2015年）3000円＋税

外岡秀俊『発信力の育て方』（河出書房新社、2015年）1300円＋税

鳥海不二夫・山本龍彦『デジタル空間とどう向き合うか』（日経プレミアシリーズ、2022年）、900円＋税

【成績評価の方法と基準】

学期末に論述式の筆記試験を実施する（評価75％）。その前に数回程度、小課題およびアンケートを行うほか、授業内の発言や意見の積極性などを加味して平常点（同25％）とする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規開講の授業のため、なし。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の場合にzoom等に対応できる情報機器

【Outline (in English)】

The aim of this course is to study the relationship between politics and media. Students are required to examine the history of democracy and the development of media as part of their assignments. The goals of this course are to understand the role of media in democracy and to develop media literacy.

POL200LA (政治学 / Politics 200)	
政治学 L D	2017年度以降入学者
サブタイトル：文学と政治	
及川 智洋	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月5/Mon.5	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

代表的な文学作品に描かれた政治の姿と、その時代による変化を学び、文学者たちに政治が及ぼした影響、また文学作品が大衆と政治に及ぼした影響力について考察する。

【到達目標】

代表的な文学作品に表れた政治の影響について、理解し説明できる。また国内外の現代政治についての大きな知識を持ち基本的な構図を説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

原則として対面による講義形式で行い、テーマにより適宜、グループ討論などの意見交換を実施する。都合によりオンライン・オンデマンドで実施する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文学者たちが描いた政治の風景	総論・その時代の知性は、政治をどのように描いてきたか
2	明治政府と夏目漱石、森鷗外	漱石『私の個人主義』、鷗外『舞姫』などの作品を政治的に読み解き、比較する
3	石川啄木と大逆事件	啄木『時代閉塞の状況』、芥川龍之介『河童』を政治的に読み解き、比較する
4	プロレタリア文学の隆盛と挫折	小林多喜二『蟹工船』、宮本顕治『敗北の文学』などを通じて黎明期の左翼運動について学ぶ
5	文学者と戦争協力	石川達三『生きてゐる兵隊』、シンボジウム『近代の超克』などを通じて、戦時中の総動員体制と文学の役割について学ぶ
6	敗戦と左翼文学の復活	文芸誌『近代文学』グループの活動と、野間宏『真空地帯』大岡昇平『野火』に描かれた「戦争の実像」を学ぶ
7	60年安保と文学者たち	柴田翔『されどわれらが日々』にみる、抵抗と左翼運動について学ぶ
8	70年安保と三島由紀夫	三島の『憂国』『文化防衛論』ほかに見る右翼性、庄司薫『さよなら怪傑黒頭巾』に描かれた全共闘世代の姿について学ぶ

9	「内向の世代」と政治離れ	村上龍『限りなく透明に近いブルー』外岡秀俊『北帰行』などの新感覚に表れた、政治との距離について学ぶ
10	SF・近未来小説と政治	ジョージ・オーウェル『1984』などの作品と全体主義批判のメッセージについて学ぶ
11	国民作家・司馬遼太郎と松本清張の政治性	政治史として描かれた『翔ぶが如く』『坂の上の雲』、また松本清張『日本の黒い霧』の政治的影響力について考察する
12	ノーベル文学賞にみる政治的な潮流	ノーベル賞作家の地理的分布と国際政治的な側面を読み解く。
13	日本人作家とノーベル文学賞	日本人受賞者である川端康成と大江健三郎、対照的なその政治選好と「時代の子」としての文学者について考察する
14	授業のまとめ＝政治と文学を再検討する	過去13回の授業の主な内容を振り返り、総括する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

川出良枝・谷口将紀（編）『政治学』（第2版）（東京大学出版会、2022年）2200円＋税

岩崎正洋（編）『18歳からはじめる現代政治学』（法律文化社、2025年）2300円＋税

授業で取り上げる文学作品については、適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

学期末に筆記試験を実施する（評価は75％）。その他、数回程度の小課題およびアンケートを行うほか、発言や意見の積極性などを加味して平常点（同25％）とする。

【学生の意見等からの気づき】

科目初年度のため、なし。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になった場合 zoom 等に対応できる情報機器

【Outline (in English)】

The aim of this course is to study the portrayal of politics in representative literary works and how it has changed over time, as well as to examine the influence of politics on writers. The goals of this course are to understand how political contexts shape representative literary works.

CUA200LA（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200）			第三回	暴力の人類学	暴力や戦争を扱った人類学的な研究を取りあげ、集団の境界や関係について、考察を深めていく。
文化人類学 L			2017年度以降入学者		
サブタイトル：			第四回	ことばと政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
ベル 裕紀			第五回	技術と産業の人類学	企業は労働力とモノやサービスの流通の結節点であり、様々な技術が折り重なった複合体として捉えることができる。この授業では人類学における産業および技術の研究を概観しながら、ネットワークとしての産業を捉える視点を提示する。
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水3/Wed.3			第六回	機械の人類学	人類学における科学技術社会論、特にアクターネットワーク理論で著名なラトゥールの「純化」と「翻訳」「媒介」をめぐる議論を参照しながら、自然と人間と機械をめぐる近代的な認識論について理解を深める。
単位数：2単位			第七回	都市人類学	その上で動く道具としての機械と製品のオーナーシップに関する議論を参照しながら、機械をめぐる人類学的な研究を概観していく。
その他属性：〈優〉			第八回	国民国家とナショナリズム	都市人類学において発展したネットワーク論や都市における集団形成の意味とその形式について学習する。
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			第九回	グローバル化の人類学	A.ゲルナーやB.アンダーソンなどの国民国家をめぐる代表的な議論を学習する。
我々が生きる社会を特徴づける、近代という時代が生み出した政治システムとしての国民国家や人権イデオロギー、労働集約型の産業、統治技法としての人口の管理、あるいはケアと教育のための全制的施設といったテーマについて、様々な対象を取り上げて、人類学的な研究を参照しながら考えていく。それを通じて現代社会についてのみならず、人類学的な社会の見方についてより深い理解に到達することを目的とする。			第十回	社会運動論と人類学	人類学のみならず、社会科学におけるグローバル化の理論を概観した上で、グローバル化という現象を政治人類学の文脈に沿って理解する。
【到達目標】			第十一回	人権と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
学生は、授業で取り上げた人類学的な考え方や理論を理解するのみならず、様々な事象について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができるようになる。また、そうした学習を通じて、現代社会に対する理解も今まで以上に深めることになる。			第十二回	難民の人類学	1945年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			第十三回	移住民のコミュニティと国境管理	難民という存在をH.アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1			第十四回	まとめ	第十回に引き続き、移住をテーマに学習する。東アジアでは、移民がホスト社会に定着し、永住につながるような受け入れ方ではなく、在留期間と活動に制限を加え、定着しないような形で労働力移入政策を取ることが一般的である。この講義ではその特徴と、その下での移住労働者たちの活動について紹介する。
【主な授業方法】					文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
講義を基本とするが、受講者の積極的な参加を期待する。授業後に毎回リアクションペーパーの提出を課し、次の回の冒頭で可能な限り紹介し、授業内容に反映させる。					
また授業に臨むにあたり、比較的短い文章を読んでくるなどの予習課題を課す。受講者には積極的な発言を期待する。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
なし / No					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
第一回	人類学の射程	人類学は「未開社会」と呼ばれた国家を持たない社会を含む、非西欧社会を対象として発展してきた。しかし、これら古典期の研究は、近代国家や西欧との接触の事実を捨象した形で「伝統」や「文化」を抽出し、それらを本質化してきたと80年代以降、鋭く批判されてきた。現在の人類学は、こうした批判の上に存在する。こうした人類学の歴史を踏まえつつ、同時代を眼差す視点を提示する。			
第二回	贈与と交換の政治経済	D. グレーバーや小田亮の贈与をめぐる議論を手掛かりに、シェアリングや贈与、市場交換、再分配というモノやサービスの流通を「負い目」という観点から捉えなおす。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね2時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

【テキスト（教科書）】

なし。毎回の授業で、事前に学習支援システムを通じて講義レジュメを配布する。

【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート50%、毎回のリアクションペーパー42%、授業への参加度8%で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の授業の内容に関する課題を出す。必要に応じて授業の冒頭に学生の回答を紹介し、応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【学生が準備すべき機器他】

提出物は学習支援システムを通じて提出してもらうつもりである。

【Outline (in English)】

【Outline and Goal】

This course introduce students several anthropological perspectives on modern society, such as Nation-states as a political system, human rights as a modern ideology, population control as technology of governance, and total institutions for educations and health care. Students should understand modern societies as well as anthropological perspectives on societies in general, through this course.

【Requirements】

Students are expected to study about 2 hours for a week for preparation and review of classes. Each students will submit written comments on contents of each lectures(45%) and be expected to oral comments on class(5%), as well. The final writing assignment is also required for confirm students achieve the goal of this course(50%).

CUA200LA（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200）

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺 浩平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界には私たちにはいっけん不思議に思える多様な宗教実践がある。この授業では、世界各地の多様な宗教実践の事例や、宗教実践を理解するための概念を紹介しながら、「宗教的なもの」について人類学的に考察する。また、私たちの日常生活の様々な側面から宗教を考える。それらを通じて、多様な宗教実践と自身の日常的な体験の間の連続性をとらえる。

【到達目標】

宗教人類学の基本的な視座を習得し、宗教実践の多様性と類似性をとらえる方法を身につける。
世界各地の事例を知り、別の生き方の可能性を想像する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式。学習支援システムを利用して資料を配布する。
毎回の授業でリアクションペーパーの提出を課す。毎回の授業のはじめに、リアクションペーパーのコメントや質問等に応答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方と評価方法について説明
第2回	人類学とは	宗教を人類学的に考える方法
第3回	呪術	日常生活と呪術の密接なつながり
第4回	アニミズム	アニミズムと自然
第5回	シャーマニズム	自と他
第6回	マルチモーダル人類学	民族誌と映像
第7回	コスモポリティクス	開発と宗教的なもの
第8回	身体①	モノと宗教的なもの
第9回	身体②	音と集合的沸騰
第10回	身体③	身体感覚と霊的経験
第11回	アメリカ先住民ナヴァホの宗教実践①	経済と宗教的なもの
第12回	アメリカ先住民ナヴァホの宗教実践②	国家と宗教的なもの
第13回	アメリカ先住民ナヴァホの宗教実践③	医療と宗教的なもの
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げられる事例の詳細を調べることで理解を深める。
人類学の概念を用いて身の回りの出来事を解釈する。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めない。授業内で資料を配布する。

【参考書】

毎回の授業で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業内課題（40%）と期末レポート（60%）をもとに評価する。60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習のための参考書・文献・資料情報を充実させる。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】

授業計画は、受講生の関心に応じて変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

There is a wide variety of religious practices that seem strange to us at first glance. This course aims to help students understand the continuity between various religious practices and daily experiences. This course discusses "the religious" from an anthropological perspective, introducing examples of diverse religious practices and concepts for understanding religious practices. At the end of the course, students are expected to acquire a fundamental perspective of anthropology of religion. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours reading reference materials. Grading will be decided based on the term-end report (60%) and in-class contribution (short reports) (40%).

CUA200LA（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200）

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：

北原 卓也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は、文化人類学で扱われるトピックの中でも、我々の生活に密接な医療、スポーツ、観光といったトピックについて考える。講義の後半ではオセアニアという地域に焦点をあて、地域を軸に文化的な事象をみていく。

講義を通じて、普段何気なく接している事柄を新たな視点から捉えられるようになることを目指す。

【到達目標】

本講義の到達目標は下記の通り。

- (1)文化人類学で扱われるトピックについて理解する。
- (2)他者の文化との比較から自身の「あたりまえ」を認識し言語化する。
- (3)自身の「あたりまえ」にとらわれない新たな視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は、以下の授業計画に基づき対面で行います。

授業は可能な限りインタラクティブに進めるため、指名して発言を求めることがあります。

教員の説明に加えて、映像を視聴することで理解を深める場合もあります。

また、本科目では自身の考えを言語化することを目的としているため、毎回異なるお題に応じたコメントシートの提出を求めます。提出されたコメントシートは次回授業の冒頭でいくつか紹介します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション ：講義の目的と概要	授業の進め方や目的について確認した後、担当教員の研究フィールドの紹介や文化人類学という学問分野について説明する
2	医療	医療を文化の視点から捉えられるようになる
3	スポーツ	スポーツを文化の視点から捉えられるようになる
4	観光	文化現象としての観光を理解する
5	贈与	贈与という行為について身近な事例と世界の事例を比較しながら理解する
6	開発	開発と文化をめぐる諸問題について考察する視点を得る
7	中間のまとめ	これまでの講義の理解度を確認するため課題に取り組む

8	オセアニアの人類学 1：オセアニアとはどこか	オセアニアの地理と歴史について概観し、各地域の文化の背景を理解する
9	オセアニアの人類学 2：タトゥーを入れる人々	身体変工についてポリネシア地域で見られるタトゥー文化の事例から理解する
10	オセアニアの人類学 3：移動する人々	オセアニアからの移民について理解する
11	オセアニアの人類学 4：ニュージーランドと映画	ニュージーランドの映画の事例から、文化の表象について理解する
12	オセアニアの人類学 5：トンガ王国の祝祭	祝祭についてトンガ王国の戴冠式の事例から理解する
13	オセアニアの人類学 6：現地の声を聞く	これまでの授業を踏まえてオセアニア出身のゲストスピーカーから話を聞く
14	まとめと確認（試験）	今期のまとめとして教場試験を行います

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の準備として、指定する文献や配布するプリントまたは映像作品に目を通しておくこと。授業後は配布するレジュメを復習し、内容をきちんと理解しておくこと。1回の授業につき、準備・復習は各3時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。必要に応じてレジュメや資料を配布します。

【参考書】

『自分のあたりまえを切り崩す文化人類学入門』、箕曲在弘、大和書房、2024年。

『太平洋諸島の歴史を知るための60章-日本とのかかわり』石森大地・丹羽典生(編)、明石書店、2019年。

『よくわかる文化人類学』、綾部恒雄・桑山敬己(編)、ミネルヴァ書房、2010年。

『オセアニア史』山本真鳥(編)、山川出版会、2000年。

『オセアニアの人類学-海外移住・民主化・伝統の政治』須藤健一、風響社、2008年。

【成績評価の方法と基準】

中間のまとめ：30%、期末試験（またはレポート）：30%、平常点（コメントシート）：40%

2/3以上の出席で評価対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

他の履修生のコメントシートが気になるという声があったので、復習を兼ねて毎回授業の冒頭に前回のコメントシートの内容を振り返る時間を設ける。

【Outline (in English)】

In this course, students will learn about topics in Cultural Anthropology that are closely related to our daily lives, such as the medical field, sports, and tourism. In the second half of the course, students will focus on the region of Oceania and study cultures from a regional point of view.

The goals of this course are:

- (1) to understand the main topics of Cultural Anthropology
- (2) to compare cultures and explain differences between your own culture and other cultures
- (3) to gain new perspectives

Before and after each class meeting, students are expected to spend three hours studying the course content.

The final grade will be calculated as follows: mid-term exam (30%), term-end examination or report (40%), and in-class contribution through comment sheets submitted after each class (30%).

CUA200LA（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200）			第三回	暴力の人類学	暴力や戦争を扱った人類学的な研究を取りあげ、集団の境界や関係について、考察を深めていく。
文化人類学 L			2017年度以降入学者		
サブタイトル：			第四回	ことばと政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
ベル 裕紀			第五回	技術と産業の人類学	企業は労働力とモノやサービスの流通の結節点であり、様々な技術が折り重なった複合体として捉えることができる。この授業では人類学における産業および技術の研究を概観しながら、ネットワークとしての産業を捉える視点を提示する。
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水 4/Wed.4			第六回	機械の人類学	人類学における科学技術社会論、特にアクターネットワーク理論で著名なラトゥールの「純化」と「翻訳」「媒介」をめぐる議論を参照しながら、自然と人間と機械をめぐる近代的な認識論について理解を深める。
単位数：2単位			第七回	都市人類学	その上で動く道具としての機械と製品のオーナーシップに関する議論を参照しながら、機械をめぐる人類学的な研究を概観していく。
その他属性：〈優〉			第八回	国民国家とナショナリズム	都市人類学において発展したネットワーク論や都市における集団形成の意味とその形式について学習する。
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			第九回	グローバル化の人類学	A.ゲルナーやB.アンダーソンなどの国民国家をめぐる代表的な議論を学習する。
我々が生きる社会を特徴づける、近代という時代が生み出した政治システムとしての国民国家や人権イデオロギー、労働集約型の産業、統治技法としての人口の管理、あるいはケアと教育のための全制的施設といったテーマについて、様々な対象を取り上げて、人類学的な研究を参照しながら考えていく。それを通じて現代社会についてのみならず、人類学的な社会の見方についてより深い理解に到達することを目的とする。			第十回	社会運動論と人類学	人類学のみならず、社会科学におけるグローバル化の理論を概観した上で、グローバル化という現象を政治人類学の文脈に沿って理解する。
【到達目標】			第十一回	人権と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
学生は、授業で取り上げた人類学的な考え方や理論を理解するのみならず、様々な事象について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができるようになる。また、そうした学習を通じて、現代社会に対する理解も今まで以上に深めることになる。			第十二回	難民の人類学	1945年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			第十三回	移住民のコミュニティと国境管理	難民という存在をH.アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1			第十四回	まとめ	第十回に引き続き、移住をテーマに学習する。東アジアでは、移民がホスト社会に定着し、永住につながるような受け入れ方ではなく、在留期間と活動に制限を加え、定着しないような形で労働力移入政策を取ることが一般的である。この講義ではその特徴と、その下での移住労働者たちの活動について紹介する。
【主な授業方法】					文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
講義を基本とするが、受講者の積極的な参加を期待する。授業後に毎回リアクションペーパーの提出を課し、次の回の冒頭で可能な限り紹介し、授業内容に反映させる。					
また授業に臨むにあたり、比較的短い文章を読んでもくるなどの予習課題を課す。受講者には積極的な発言を期待する。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
なし / No					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
第一回	人類学の射程	人類学は「未開社会」と呼ばれた国家を持たない社会を含む、非西欧社会を対象として発展してきた。しかし、これら古典期の研究は、近代国家や西欧との接触の事実を捨象した形で「伝統」や「文化」を抽出し、それらを本質化してきたと80年代以降、鋭く批判されてきた。現在の人類学は、こうした批判の上に存在する。こうした人類学の歴史を踏まえつつ、同時代を眼差す視点を提示する。			
第二回	贈与と交換の政治経済	D.グレーバーや小田亮の贈与をめぐる議論を手掛かりに、シェアリングや贈与、市場交換、再分配というモノやサービスの流通を「負い目」という観点から捉えなおす。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね2時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

【テキスト（教科書）】

なし。毎回の授業で、事前に学習支援システムを通じて講義レジュメを配布する。

【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート50%、毎回のリアクションペーパー42%、授業への参加度8%で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の授業の内容に関する課題を出す。必要に応じて授業の冒頭に学生の回答を紹介し、応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【学生が準備すべき機器他】

提出物は学習支援システムを通じて提出してもらうつもりである。

【Outline (in English)】

【Outline and Goal】

This course introduce students several anthropological perspectives on modern society, such as Nation-states as a political system, human rights as a modern ideology, population control as technology of governance, and total institutions for educations and health care. Students should understand modern societies as well as anthropological perspectives on societies in general, through this course.

【Requirements】

Students are expected to study about 2 hours for a week for preparation and review of classes. Each students will submit written comments on contents of each lectures(45%) and be expected to oral comments on class(5%), as well. The final writing assignment is also required for confirm students achieve the goal of this course(50%).

CUA200LA（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200）

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：

菊池 真理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人は死をどのようなものと捉え、それにいかに向き合ってきたか。どのように死者を悼み、新たな関係性に置かれた自分を生きようとしてきたか。本授業では、死と悲嘆・喪に関する人類学的研究を概観しながら主要な理論や概念について学ぶとともに、世界の諸地域に見られる、死の観念、葬送儀礼、喪の様式の多様性を把握する。また、現代社会における死や看取りのあり方、追悼・哀悼をめぐる諸問題について、人類学的な視点から考える力を養う。死別の経験が、生き残った者の甦生の萌芽を宿していることを学ぶ。

【到達目標】

- ・死や悲嘆・喪をめぐる人々の多様な実践について、人類学的に理解することができる。
- ・現代社会における死や悲嘆・喪に関する問題について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・講義を基本とする。
- ・必要に応じて映像資料なども用いながら、理解を深める。
- ・毎回の授業後には、リアクションペーパーの提出をしていただく。提出されたリアクションペーパーは、次回授業の冒頭でいくつか紹介しながら、フィードバックを行う。
- ・授業に臨む前に、事前に指示した課題文献を読むなど、予習課題を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業概要などの確認、担当教員の研究フィールドの紹介
第2回	死と喪の人類学説史 I（～1980年代）	デュルケム的な構造機能主義を反映した、初期の人類学的研究
第3回	死と喪の人類学説史 II（1990年代～）	個人的な経験としての死別、既存の宗教的・文化的な喪の方法が適用し難い死、生者による死者への応答としての喪
第4回	死の観念	世界各地の様々な死の観念
第5回	葬送儀礼	世界各地の様々な葬送・埋葬の儀礼
第6回	悲嘆と喪	死者を悼むこと
第7回	中間のまとめ	前半の講義の理解度の確認を兼ねて、関連する民族誌を読み解く課題に取り組む
第8回	現代社会における死	自然災害や紛争などによる大量死や、脳死、孤独死など
第9回	看取り・死とケア	看取りと死をめぐるケアの実践・文化

第10回	（エスノ・）ナショナルな追悼実践	国家や共同体による追悼実践
第11回	人々の哀悼実践	日々の暮らしのなかの哀悼実践
第12回	異形の死と向き合う	遺体が見つからないような、既存の喪の方法を用いることが困難な死（者）とどう向き合うか痛／悼むことと書くこと
第13回	文化人類学者と喪失経験	
第14回	まとめ	授業内容のふり返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習：事前に指示された課題文献を読み、理解したことや疑問点などをまとめる。
- ・復習：授業内で紹介する参考文献を各自の関心に応じて読み進めながら、授業の理解を深める。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

- ・特に指定しない。
- ・原則、事前に講義レジュメを配布する。
- ・必要に応じて、関連する文献を紹介し、学習支援システムを通じて資料を配布する。

【参考書】

授業内で適宜紹介するが、参考になるものを以下に挙げる。

- ・内堀基光、山下晋司1986『死の人類学』弘文堂。
- ・北村毅2009『死者たちの戦後誌—沖縄戦跡をめぐる人々の記憶』御茶の水書房。
- ・川村邦光2013『弔い論』青弓社。
- ・デヴィッド・サドナウ1992『病院でつくられる死』岩田啓靖・志村哲郎・山田富秋（共訳）せりか書房。
- ・野田正彰1992『喪の途上にて』岩波書店。
- ・P.メトカーフ、R.ハンティントン1996『死の儀礼：葬送習俗の人類学的研究〔第二版〕』池上良正、池上富美子（訳）未来社。
- ・Rosaldo, R. 2014. The Day of Shelly's Death: The Poetry and Ethnography of Grief. Durham & London: Duke University Press.

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（40％）：リアクションペーパー、中間のまとめの課題等。
- ・学期末レポート（60％）：未提出の場合、原則E評価とする。

【学生の意見等からの気づき】

受講にあたって、文化人類学の基本的な考え方や方法論についての理解が必要となります。文化人類学の科目を受講したことがない学生さんを含め、事前に指定する課題文献に目を通しておいて下さい。初日の授業内でも短い概説を行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】

講義レジュメ・関連資料の配布、課題等の提出は、学習支援システムを通じて行う予定。

【その他の重要事項】

- ・学期末レポートが未提出の場合、原則E判定とする。
- ・対面をオンラインで同時配信するハイフレックス型授業は実施しない。
- ・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は、授業内もしくは学習支援システムで周知する。

【Outline (in English)】

The aim of this course introduces the Anthropology of Death, Mourning and Burial. The goal of this course is to learn anthropological theories and concepts about death, and the rituals of mourning and the forms of burial. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final report: 60%(in case of no submission would be E grade), in class contribution:40%.

CUA200LA（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200）

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺 浩平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界には私たちにはいっけん不思議に思える多様な宗教実践がある。この授業では、世界各地の多様な宗教実践の事例や、宗教実践を理解するための概念を紹介しながら、「宗教的なもの」について人類学的に考察する。また、私たちの日常生活の様々な側面から宗教を考える。それらを通じて、多様な宗教実践と自身の日常的な体験の間の連続性をとらえる。

【到達目標】

宗教人類学の基本的な視座を習得し、宗教実践の多様性と類似性をとらえる方法を身につける。
世界各地の事例を知り、別の生き方の可能性を想像する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式。学習支援システムを利用して資料を配布する。
毎回の授業でリアクションペーパーの提出を課す。毎回の授業のはじめに、リアクションペーパーのコメントや質問等に応答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方と評価方法について説明
第2回	人類学とは	宗教を人類学的に考える方法
第3回	呪術	日常生活と呪術の密接なつながり
第4回	アニミズム	アニミズムと自然
第5回	シャーマニズム	自と他
第6回	マルチモーダル人類学	民族誌と映像
第7回	コスモポリティクス	開発と宗教的なもの
第8回	身体①	モノと宗教的なもの
第9回	身体②	音と集合的沸騰
第10回	身体③	身体感覚と霊的経験
第11回	アメリカ先住民ナヴァホの宗教実践①	経済と宗教的なもの
第12回	アメリカ先住民ナヴァホの宗教実践②	国家と宗教的なもの
第13回	アメリカ先住民ナヴァホの宗教実践③	医療と宗教的なもの
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げられる事例の詳細を調べることで理解を深める。
人類学の概念を用いて身の回りの出来事を解釈する。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めない。授業内で資料を配布する。

【参考書】

毎回の授業で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業内課題（40%）と期末レポート（60%）をもとに評価する。60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習のための参考書・文献・資料情報を充実させる。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】

授業計画は、受講生の関心に応じて変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

There is a wide variety of religious practices that seem strange to us at first glance. This course aims to help students understand the continuity between various religious practices and daily experiences. This course discusses "the religious" from an anthropological perspective, introducing examples of diverse religious practices and concepts for understanding religious practices. At the end of the course, students are expected to acquire a fundamental perspective of anthropology of religion. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours reading reference materials. Grading will be decided based on the term-end report (60%) and in-class contribution (short reports) (40%).

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル:

相田 豊

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金2/Fri.2

単位数: 2単位

その他属性: <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

わたしたちが暮らす日本から、ちょうど地球の反対側に位置するラテンアメリカ。日常生活ではあまりなじみのない世界かもしれませんが、そこにはびっくりするほど多様で、面白い生活を営んでいる人々がいます。

この授業では、彼ら、ラテンアメリカの人びとの暮らしを国別に見ていくことで、彼らがしている生活はどのようなものか、彼らから学ぶことができることは何か、一緒に考えていきます。

【到達目標】

- 1) 世界は広く、驚くほど多様な文化があることを実感を持って理解すること。
- 2) 異文化の人について、生活者の目線から理解できるようになること。
- 3) 日本ではなじみが薄いラテンアメリカ地域の文化や社会について基本となる知識を身につけること。
- 4) グループワークなどを通じて、他者とともに学ぶ経験を積み、その能力を向上させること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1) 授業では、まず冒頭に前回授業の内容確認のために小テストを行います。
- 2) その後、その日のテーマとなっている国の概要を、あらかじめ決めた履修者のグループから発表してもらいます。
- 3) その後、教員からテーマとなっている国の人々の生活を知る手がかりとなるようなトピックを紹介しします。
- 4) 提示されたトピックについて理解を深めるため、ディスカッションや、クイズ、ワークショップなどから2〜3個程度のグループワークを行います。
- 5) 最後にまとめを行います。

※履修者のコメントや質問等については授業内で適宜取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス: 異文化理解の方法とは何か?	この授業の概要を説明するとともに、異文化理解の方法について講義を行います。
2	ラテンアメリカの概要を知る: 世界最初の「グローバル」化	ラテンアメリカの概要について「グローバル」をキーワードに解説します。
3	食からラテンアメリカを知る: 多様な人々が住む世界	ラテンアメリカの人々について「食」をキーワードに解説します。

4	ペルー: 浮島を作った暮らしから学ぶ	ペルーのチチカカ湖で生きる人々の生活について、日本の生活との比較を交えながら想像することを試みます。
5	ボリビア: 精霊たちと暮らす方法	ボリビアのアンデス地域における精霊信仰について、日本の生活との比較を交えながら想像することを試みます。
6	メキシコ: 「落書き」で世界を表現する①	メキシコにおけるグラフィティや壁画の実践について文化的背景を考えつつ学びます。
7	メキシコ: 「落書き」で世界を表現する②	メキシコにおけるグラフィティや壁画の実践について実際に壁画制作をしながら考えます。
8	キューバ: 革命ってどんなもの? ①	革命後のキューバに生きる人の生活について理解した上で、政治と日常の関係について議論します。
9	キューバ: 革命ってどんなもの? ②	キューバのドキュメンタリー映画を鑑賞して、政治と日常の関係について議論します。
10	ブラジル: 熱帯雨林の生活を想像する	ブラジルのアマゾン地域における人と動物の関係について学びつつ、その関係性を想像してみます。
11	アルゼンチン: 海を渡った「ニホンジン」と彼らの挑戦	アルゼンチンに渡った日本人について知るとともに、その足跡を次世代につなげるための方法を考えます。また次回授業に向けて準備をします。
12	日本: 日本のラテンアメリカ人を訪ねて	ラテンアメリカから日本に来た方をゲストとして招き、講演を行います。
13	レポート課題の執筆計画を立てる	期末レポートの執筆計画を立て、グループで話し合います。
14	まとめ: 世界は広い、そして多様である	授業の内容を再び「多様性」や「生活」などといったキーワードから振り返ります。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 1) 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
- 2) コメントペーパーを授業後に毎回提出する必要があります。また、毎回の授業冒頭で、前回の授業内容についての小テストを行うので、復習が求められます。
- 3) 授業では、グループごとに国の基本情報を調べて発表することになるので、相応の負担があることを理解しておいてください。

【テキスト (教科書)】

教科書は必要としません。

【参考書】

授業内に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

コメントペーパー 25% (各回の授業後に200字以上のコメントをLMSを通じて提出)

小テスト 25% (各回の授業冒頭で前回授業の内容について小テストを実施)

授業内グループ発表 20% (グループごとに国の基本情報を調べて発表)

期末レポート 30% (選択した国の生活について3000字程度のレポートを提出)

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

1) 授業中にWordを使うことがあるので、PC・タブレット等を用意し、Wordのアプリをダウンロードしておいてください。

2) 本授業の受講に際して、文化人類学・ラテンアメリカ地域についての事前知識は必要ありませんが、レポート作成に必要な基本技能はあらかじめ身につけている必要があります。

【その他の重要事項】

- 1) 本授業は、グループワークや自主研究を中心にしたアクティブラーニング型の講義となるので、この点を理解した上で履修してください。
- 2) 授業では、グループごとに国の基本情報を調べて発表することになるので、相応の負担があることを理解しておいてください。
- 3) 履修生が多い場合、課題についての個別のフィードバックは行えない場合があります。また、授業成果物については、教育に活かすため、今回／今後の授業で他の履修生と共有される場合があります。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

Latin America lies on the opposite side of the world from Japan, making it a region that may feel unfamiliar. However, it is home to a fascinating and diverse range of cultures and lifestyles.

This course explores everyday life in different Latin American countries. By learning about their customs and experiences, students will gain insights into how people live in this region and what we can learn from them.

【Learning Objectives】

By the end of this course, students will:

- Develop an appreciation for the vast cultural diversity of the world.
- Learn to understand other cultures from the perspective of everyday life.
- Acquire foundational knowledge about Latin American societies and cultures.
- Improve their ability to learn collaboratively through group work.

【Course Format】

Each class follows this structure:

- A short quiz reviewing the previous session.
- A student group presentation on the country of the day.
- A lecture introducing key aspects of daily life in that country.
- Interactive activities such as discussions, quizzes, or workshops.
- A summary and closing discussion.

【Learning Activities Outside of Classroom】

Expect about two hours of preparation and review per session.

A short reflection paper (comment paper) is required after each class.

Weekly quizzes will test knowledge of previous sessions.

Students will conduct research and present on assigned countries in groups.

【Grading Criteria】

- Comment Papers: 25% (200+ words submitted via LMS after each class)
- Quizzes: 25% (weekly short tests on past lessons)
- Group Presentation: 20% (research and presentation on a country)
- Final Report: 30% (approximately three A4 pages on daily life in a selected country)

CUA200LA（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200）

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：

菊池 真理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人は死をどのようなものと捉え、それにいかに向き合ってきたか。どのように死者を悼み、新たな関係性に置かれた自分を生きようとしてきたか。本授業では、死と悲嘆・喪に関する人類学的研究を概観しながら主要な理論や概念について学ぶとともに、世界の諸地域に見られる、死の観念、葬送儀礼、喪の様式の多様性を把握する。また、現代社会における死や看取りのあり方、追悼・哀悼をめぐる諸問題について、人類学的な視点から考える力を養う。死別の経験が、生き残った者の甦生の萌芽を宿していることを学ぶ。

【到達目標】

- ・死や悲嘆・喪をめぐる人々の多様な実践について、人類学的に理解することができる。
- ・現代社会における死や悲嘆・喪に関する問題について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・講義を基本とする。
- ・必要に応じて映像資料なども用いながら、理解を深める。
- ・毎回の授業後には、リアクションペーパーの提出をしていただく。提出されたリアクションペーパーは、次回授業の冒頭でいくつか紹介しながら、フィードバックを行う。
- ・授業に臨む前に、事前に指示した課題文献を読むなど、予習課題を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業概要などの確認、担当教員の研究フィールドの紹介
第2回	死と喪の人類学説史 I（～1980年代）	デュルケム的な構造機能主義を反映した、初期の人類学的研究
第3回	死と喪の人類学説史 II（1990年代～）	個人的な経験としての死別、既存の宗教的・文化的な喪の方法が適用し難い死、生者による死者への応答としての喪
第4回	死の観念	世界各地の様々な死の観念
第5回	葬送儀礼	世界各地の様々な葬送・埋葬の儀礼
第6回	悲嘆と喪	死者を悼むこと
第7回	中間のまとめ	前半の講義の理解度の確認を兼ねて、関連する民族誌を読み解く課題に取り組む
第8回	現代社会における死	自然災害や紛争などによる大量死や、脳死、孤独死など
第9回	看取り・死とケア	看取りと死をめぐるとケアの実践・文化

第10回	（エスノ・）ナショナルな追悼実践	国家や共同体による追悼実践
第11回	人々の哀悼実践	日々の暮らしのなかの哀悼実践
第12回	異形の死と向き合う	遺体が見つからないような、既存の喪の方法を用いることが困難な死（者）とどう向き合うか痛／悼むことと書くこと
第13回	文化人類学者と喪失経験	
第14回	まとめ	授業内容のふり返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習：事前に指示された課題文献を読み、理解したことや疑問点などをまとめる。
- ・復習：授業内で紹介する参考文献を各自の関心に応じて読み進めながら、授業の理解を深める。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

- ・特に指定しない。
- ・原則、事前に講義レジュメを配布する。
- ・必要に応じて、関連する文献を紹介し、学習支援システムを通じて資料を配布する。

【参考書】

授業内で適宜紹介するが、参考になるものを以下に挙げる。

- ・内堀基光、山下晋司1986『死の人類学』弘文堂。
- ・北村毅2009『死者たちの戦後誌—沖縄戦跡をめぐる人々の記憶』御茶の水書房。
- ・川村邦光2013『弔い論』青弓社。
- ・デヴィッド・サドナウ1992『病院でつくられる死』岩田啓靖・志村哲郎・山田富秋（共訳）せりか書房。
- ・野田正彰1992『喪の途上にて』岩波書店。
- ・P.メトカーフ、R.ハンティントン1996『死の儀礼：葬送習俗の人類学的研究〔第二版〕』池上良正、池上富美子（訳）未来社。
- ・Rosaldo, R. 2014. The Day of Shelly's Death: The Poetry and Ethnography of Grief. Durham & London: Duke University Press.

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（40％）：リアクションペーパー、中間のまとめの課題等。
- ・学期末レポート（60％）：未提出の場合、原則E評価とする。

【学生の意見等からの気づき】

受講にあたって、文化人類学の基本的な考え方や方法論についての理解が必要となります。文化人類学の科目を受講したことがない学生さんを含め、事前に指定する課題文献に目を通しておいて下さい。初日の授業内でも短い概説を行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】

講義レジュメ・関連資料の配布、課題等の提出は、学習支援システムを通じて行う予定。

【その他の重要事項】

- ・学期末レポートが未提出の場合、原則E判定とする。
- ・対面をオンラインで同時配信するハイフレックス型授業は実施しない。
- ・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は、授業内もしくは学習支援システムで周知する。

【Outline (in English)】

The aim of this course introduces the Anthropology of Death, Mourning and Burial. The goal of this course is to learn anthropological theories and concepts about death, and the rituals of mourning and the forms of burial. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final report: 60%(in case of no submission would be E grade), in class contribution:40%.

CUA200LA（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200）

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：身体と社会

松山 啓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

19世紀後半～20世紀初頭に確立した文化人類学は、フィールドワークを通じて、世界の諸地域を調査・研究し、人間の文化や社会の複雑性や普遍性を探究する学問として発展してきました。

20世紀前半までの文化研究においては、生物医学的な身体を前提とし、その背後にある諸々の文化的・社会的事象の意味や精神を探るという認識論的な枠組が自明とされていたなかで、20世紀後半以降からそれらの前提を見直す動きが本格的に始まりました。そして社会において身体が果たす役割を主題化し、社会的・実践的に構成される「生きた身体」をとらえ直す文化研究が注目されるようになりました。

他方で、本授業のテーマである日本固有の伝統文化とされる「大相撲」は、農耕儀礼などにみられる神事としての役割や、祭礼に用いられる大衆文化といった娯楽芸能、さらに近代以降は、運動競技・スポーツといった特徴が見出される多義的な身体実践といえます。そこから照らし出されるのは、複雑な歴史的背景をもつ相撲のなかで醸成されてきた、自然と文化の領域を媒介する力士の身体の融通無碍な有様です。

本授業では、相撲/力士の独特な身体性に着目しつつ、自然と社会のあわいから「身体」をとらえ直す人類学の現代的な議論と結びつけて、身体と社会のかかわりについて考えます。

【到達目標】

- ①身体と社会のかかわりについて、人類学的な視点から理解することができる。
- ②授業で取り扱う内容について、自らの経験や身近な事例に引きつけて考えることができる。
- ③上記の①②について、自らの言葉で説明したり、文章として表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

パワーポイントによる講義形式の授業を基本とします。ただし、授業の内容をより深く理解するために、毎授業後のコメントペーパーの提出、グループディスカッションの実施を設定します。また、授業の前後に文献の購読を課すことがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	身体研究の展開について
第2回	身体と社会	
第2回	フランス社会学派の身体研究	人類学的な身体研究の萌芽について
第3回	規律権力から生政治へ	生をめぐる権力の変容について
第4回	身体化とハビトゥス	ブルデューの社会理論について

第5回	第1回～第4回までの小括とディスカッション	第1回～第4回までの内容についてのディスカッション
第6回	映像作品から学ぶ大相撲の世界	映画「辛抱」の鑑賞
第7回	実践共同体と学習	正統的周辺参加と徒弟制度について
第8回	稽古の身体性	稽古の思想と学習について
第9回	スポーツにおける身体文化	ボクシングジムの身体形成について
第10回	第6回～第9回までの小括とディスカッション	第6回～第9回までの内容についてのディスカッション
第11回	記憶装置としての身体	身体が多様な社会的役割について
第12回	日常生活における身体	名もなき実践と戦術について
第13回	メトニミーと身体	換喩の秩序にまつわる身体性について
第14回	関係論的な身体観	関係的かつ生成的な身体論へ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業内で示される課題に取り組み、授業内容の整理および理解を深めること。

【テキスト（教科書）】

教科書を使用しない

【参考書】

岸上伸啓（編）. 2018. 『はじめて学ぶ文化人類学』ミネルヴァ書房。
松村圭一郎; 中川理; 石井美保（編）. 2019. 『文化人類学の思考法』世界思想社。

【成績評価の方法と基準】

平常点 40%

コメントペーパーの内容、グループワークやディスカッションを通じた他の学習者への貢献度から評価します。

レポート課題 60%

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【その他の重要事項】

- ・本科目は、春学期に開講される関連科目とあわせて履修することを推奨します。
- ・回ごとの進捗状況により、内容や順序を変更する可能性があります。
- ・本科目では、コメントペーパーおよびレポートの作成にあたっては、生成AIの使用を認めません。

【Outline (in English)】

Cultural anthropology has been defined as a discipline that explores human “society” and “culture” through fieldwork investigating and researching various regional communities around the world.

Until the mid-20th century, cultural studies operated within an epistemological framework that took the biomedical body as a given, seeking to uncover the meaning and spirit behind various cultural and social phenomena. However, from the latter half of the 20th century onward, a movement to reexamine these premises began in earnest.

Consequently, cultural studies that thematized the role the body plays in society and re-examined the “living body” as socially and practically constituted gained attention.

This course focuses on the unique physicality of sumo/sumo wrestlers, linking it to contemporary anthropological discussions that re-examine the “body” from the intersection of nature and society, to consider the relationship between the body and society.

SOS200LA (その他の社会科学 / Social science 200)

社会思想 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

洪 貴義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学びます。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この3ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在です。この授業では3ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティのありかた、その詩や文学、映画や音楽、芸能などの作品世界を学びます。

【到達目標】

テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる
 テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる
 テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

対面授業の講義形態で授業を行います。受講生は各授業とも疑問、コメントなどのリアクションをする必要があり、それに対して授業時に応答していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、学ぶ内容、学ぶ方法、成績評価の方法などについてガイダンスを行います
2	導入	在日朝鮮人という存在
3	発生	日本の近代と在日朝鮮人の発生
4	定着化	定着化と二世の誕生
5	運動	さまざまな運動
6	コミュニティ	朝鮮人コミュニティの変容
7	強制動員	戦時下の在日朝鮮人
8	戦後	占領政策
9	帰国	帰国運動
10	二世（1）	二世たちの挑戦
11	二世（2）	転換期の思想と文化
12	グローバル化（1）	多民族化する日本社会
13	グローバル化（2）	国民の論理を超えて
14	まとめ	在日朝鮮人と日本の進む道

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回ごとに指定するテキスト数十ページを事前に読んでおくことと授業の理解の助けになります。本授業の準備学習・復習時間は、各1～2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に説明します。

【参考書】

授業中に説明します。

【成績評価の方法と基準】

授業後に学習支援システムに提出する授業レビュー10回分を平常点として50%の成績評価を行います。評価基準としては、各回の授業ごとに、主題を理解し、その内容を自らの言葉によってレビューしていることとします。

さらに学期末の期末レポートを残りの50パーセントとし、合計100%として成績評価を行います。期末レポートは指定するテキストを読み、それをレポートすることとします。

毎週の授業レビューと期末レポートの両者を提出する必要があります。

【学生の意見等からの気づき】

授業の中で、前回の授業に対する受講生のコメントなどを紹介することで授業の理解が深まるので、このような相乗効果が起こるよう、授業中に実践していきます。

【Outline (in English)】

This course introduces the history and cultures of the Korean residents in Japan to students taking this course. They are also called Korean minority in Japan or ZAINICHI in Japanese. The aim of this course is to guide students acquire an understanding of the modern history of ZAINICHI Koreans and a variety of their identities ,poetry,literature,movies,music,and some other cultural works.

SOS200LA（その他の社会科学 / Social science 200）

社会思想 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

洪 貴義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学ぶことを目的とする。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この3ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在である。この授業では3ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかたを様々な社会思想と関連させて学ぶことを目的としている。

【到達目標】

テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる。

テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる。

在日朝鮮人の在り方を現代思想の視点から理解することができる。
テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行う。各回の授業を進めるごとに毎回コメントを提出してもらい、それに対して授業の中でフィードバックしていく。（基本的には対面授業だが、特別な事情が生じた場合のみオンライン授業を行うこともある。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、進め方、受講の仕方、成績評価の方法などについて説明
2	導入（1）	在日朝鮮人という存在
3	導入（2）	歴史的背景
4	在日一世とは何か	植民地朝鮮から日本へ
5	在日二世とは何か	日本での定住化、二世論の誕生
6	金時鐘（キム・シジョン）を読む	朝鮮と日本に生きる（1）
7	金時鐘を読む（2）	朝鮮と日本に生きる（2）
8	ベネディクト・アンダーソン（1）	「想像の共同体」とは何か（1）
9	ベネディクト・アンダーソン（2）	「想像の共同体」とは何か（2）
10	フランツ・カフカを読む（1）	カフカと在日朝鮮人の共通平面を考える
11	フランツ・カフカを読む（2）	カフカという小説家の意味

12 フランツ・カフカを カフカ作品を読解する
読む
(3)

13 「在日三世のカフカ」 在日の意味とカフカの作品世界
とは何か（1） をめぐって（1）

14 「在日三世のカフカ」 在日の意味とカフカの作品世界
とは何か（2） をめぐって（2）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。具体的には準備学習としてテキストの指定した箇所を事前に読んでおくこと、また復習としては講義内容を振り返り、参考文献を読み進めるなどのことができる。

【テキスト（教科書）】

第1回のガイダンス時に説明する。

【参考書】

その他の参考資料については授業中に指定、配布する。

【成績評価の方法と基準】

各授業後に提出してもらった授業レビューシート10回分を（50％）とし、さらに期末レポート1回分を（50％）とし、合わせて100パーセントとして成績評価を行う。この両者を提出することで成績評価を行う。評価の基準としては授業内容を正確に理解していること、その理解内容を自分の言葉で表現できていることとする。

【学生の意見等からの気づき】

各回の授業レビューを翌週に紹介することで受講生の理解が深まることが分かっているためこの授業でもそれを行います。

【Outline (in English)】

This class aims to learn about the history and culture of Koreans in Japan. In this class, students will learn about the identity of Koreans in Japan and the world of works such as poetry, literature, movies, music, and performing arts, based on the modern history of Korea and Japan relation.

The standard time for preparation and review for taking classes is two hours each. Specifically, it is possible to read the specified parts of the text in advance as preparation study, and to review the lecture contents and read the reference materials as review.

Grades will be evaluated based on 10 comments (50%) submitted after each class, plus one final report (50%).

SOS200LA（その他の社会科学 / Social science 200）

社会思想 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

林 嵩文

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、18世紀ドイツの哲学者イマヌエル・カントの著作『永遠平和のために』を丹念に読解することを目指します。この著作は国際平和論の古典としてよく知られていますが、その内容は平和論だけに尽きるものではありません。カントはこの著作で、自由とは何か、国家とは何か、法とは何か、政治と道德の関係をどうあるべきかといった原理的な問題に対する独自の解答を提示しています。そのロジックを紐解いていくと同時に批判的に思考していくことがこの授業の目的です。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りです。

- (1) 抽象的な思想体系を具体的な事例に適用して説明できるようになる。
- (2) 特定の著作の背景をなしている思想史的議論の蓄積を知ること、社会思想・政治思想の全体の流れを説明できるようになる。
- (3) 授業で得た知識を用いて、国際平和にまつわる様々な問題を分析し、それらに対する自分の立場を説明・表現できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。ただし、毎回コメントカードを提出していただき、その次の授業でそのコメントについてのレスポンスを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義全体の概要および成績評価についての説明
第2回	『永遠平和のために』の背景	時代背景とカント哲学の概要
第3回	『永遠平和のために』第1章①	平和とは何か、他国の併合の禁止
第4回	『永遠平和のために』第1章②	常備軍廃止、戦時国債発行の禁止
第5回	『永遠平和のために』第1章③	内政不干涉、戦争における卑劣な行為の禁止
第6回	『永遠平和のために』第2章①	カントにおける共和主義
第7回	『永遠平和のために』第2章②	国際法の基礎としての「平和連合」
第8回	『永遠平和のために』第2章③	世界市民法と植民地主義
第9回	『永遠平和のために』補説	カントの歴史観
第10回	『永遠平和のために』付録1①	道德とは何か

第11回	『永遠平和のために』付録1②	道德にかなった政治はいかなるものか
第12回	『永遠平和のために』付録2①	法の公表性と抵抗権の否定
第13回	『永遠平和のために』付録2②	法の公表性と戦争の権利
第14回	まとめと課題説明	講義全体のまとめとレポート課題の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。予習・復習については、(1) 教科書の指定した範囲を熟読し、(2) 毎回の講義後にその内容についてコメントカードを執筆・提出すること。

【テキスト（教科書）】

カント『永遠平和のために』宇都宮芳明訳（改版）、岩波書店（岩波文庫）、2009年。

【参考書】

講義内で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加（受講態度とコメントカード、30%）と期末課題（レポート、70%）で成績を評価します。なお、講義内での不要な私語がなされる場合、期末課題の提出を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

学生の授業内容への関心を高めるため、レジュメやスライドをより分かりやすいものに改善いたします。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用するための情報機器（パソコン、スマートフォン、タブレット）を準備してください。

【その他の重要事項】

授業に関連する質問は、授業後もしくは初回授業で案内するメールアドレスで受け付けます。

【Outline (in English)】

The course aims to read critically "Zum ewigen Frieden", written by Immanuel Kant. Students will get clues to think about central issues of society and politics, for example freedom, state, right, and the relation of politics and moral.

SOS200LA（その他の社会科学 / Social science 200）

社会思想 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

林 嵩文

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、18世紀フランスの哲学者ジャン＝ジャック・ルソーの著作『社会契約論』を丹念に読解することを目指します。この著作は民主主義論あるいは民主主義論の古典としてよく知られていますが、その内容は単なる政治制度論ではありません。ルソーはこの著作で、独自の人間観を前提としたうえで、その人間同士が「正しい」秩序を作り上げるためにはどのような仕掛けが必要なのかを徹底的に考察しています。そのロジックを紐解いていくと同時に批判的に思考していくことがこの授業の目的です。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りです。

- (1) 抽象的な思想体系を具体的な事例に適用して説明できるようになる。
- (2) 特定の著作の背景をなしている思想史的議論の蓄積を知ること、社会思想・政治思想の全体の流れを説明できるようになる。
- (3) 授業で得た知識を用いて、民主主義の制度化にまつわる様々な問題を分析し、それらに対する自分の立場を説明・表現できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。ただし、毎回コメントカードを提出していただき、その次の授業でそのコメントについてのレスポンスを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義全体の概要および成績評価についての説明
第2回	『社会契約論』の背景	時代背景とルソーの思想の概要
第3回	『社会契約論』1.1～1.6	社会契約の概念
第4回	『社会契約論』1.7～1.9	社会契約のメリット
第5回	『社会契約論』2.1～2.6	一般意志、主権、法の概念
第6回	『社会契約論』2.7	「立法者」とは何か
第7回	『社会契約論』2.8～2.12	法律の種類と人民の性質
第8回	『社会契約論』3.1～3.3	政府の概念
第9回	『社会契約論』3.4～3.10	政府の種類とその良し悪しを決める基準
第10回	『社会契約論』3.11～3.18	主権を維持する手段、および代表制の否定
第11回	『社会契約論』4.1～4.3	投票について

第12回	『社会契約論』4.4～4.7	共和政ローマとルソーの政治思想
第13回	『社会契約論』4.8	社会の基礎としての「市民宗教」
第14回	まとめと課題説明	講義全体のまとめとレポート課題の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。予習・復習については、(1) 教科書の指定した範囲を熟読し、(2) 毎回の講義後にその内容についてコメントカードを執筆・提出すること。

【テキスト（教科書）】

ルソー『社会契約論』桑原武夫・前川貞次郎訳、岩波書店（岩波文庫）、1954年。

【参考書】

講義内で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加（受講態度とコメントカード、30%）と期末課題（レポート、70%）で成績を評価します。なお、講義内での不要な私語がなされる場合、期末課題の提出を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

学生の授業内容への関心を高めるため、レジュメやスライドをより分かりやすいものに改善いたします。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用するための情報機器（パソコン、スマートフォン、タブレット）を準備してください。

【その他の重要事項】

授業に関連する質問は、授業後もしくは初回授業で案内するメールアドレスで受け付けます。

【Outline (in English)】

The course aims to read critically "Du contract social", written by Jean-Jacques Rousseau. Students will get clues to think about central issues of society and politics, for example freedom, citizen, popular sovereignty, representation.

GEO200LA（地理学 / Geography 200）

地理学 L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：

呉羽 正昭

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

受講生は、観光・ツーリズムに関する地理学の一般的概念を学びます。観光地理学を理解するために必要な諸概念（観光・ツーリズムの概念や構造など）、さまざまな地域スケールでツーリズムに関する特徴について理解します。また、ツーリズムの時間的・地域的展開みられる諸特徴と問題点、将来の課題について、日本における具体的な地域事例とともに理解します。

【到達目標】

この授業は、観光の概念および観光地理学の方法論を習得すること、環境と観光・ツーリズムとの関係について、日本におけるツーリズムの地域的特徴について理解することを目標とします。ツーリズムやさらにそれを取り巻く生活・文化に関する地域的特色の理解を通じて、広い視野で現代社会を主体的に考察する視点を獲得することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式です。理解を深めてもらうために、リアクションペーパーを活用します。予習課題と当該回の理解度を問う課題のまともに使用するとともに、講義内容に関する質問も記入してもらい、不明点を次回以降の講義で説明することを通じて理解度を確認していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義テーマの概説
第2回	観光・ツーリズムの概念 —観光やツーリズムとは何か？	観光やツーリズムとは何かを解説します
第3回	観光・ツーリズムの構造 —観光・ツーリズムの要素と構造	観光・ツーリズムの要素や構造を解説します
第4回	観光地理学の概念 —概念および方法論	観光地理学の概念および方法論を解説します
第5回	観光地域の変容プロセス —モデルの解説	モデルに基づいて観光地域の変容プロセスを解説します
第6回	観光・ツーリズムの変遷 —古代～マスツーリズム時代～新しいツーリズムの出現	ツーリズムの変遷について解説します
第7回	エコツーリズムの発展プロセス	エコツーリズムの発展プロセスを解説します

第8回	エコツーリズムの特徴と展望 —西表島や屋久島などにおけるエコツーリズム	西表島や屋久島などの事例をもとにエコツーリズムの特徴や課題を解説します
第9回	日本の避暑ツーリズムの地域的展開	避暑の地域的展開に関して解説します
第10回	日本の湯治・温泉ツーリズムの地域的展開	湯治・温泉ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第11回	日本のルール・ツーリズムの地域的展開	ルール・ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第12回	日本のスキー・ツーリズムの地域的展開 —明治期～高度経済成長期	明治期から高度経済成長期までのスキー・ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第13回	日本のスキー・ツーリズムの地域的展開 —バブル期以降	バブル期以降のスキー・ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第14回	まとめ	全体のまとめと総括をします

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義中に教員から示された次回講義のトピックに関する課題について、授業外に既存文献やインターネットなどで自ら調べます。この予習課題の内容は次回講義の最初にリアクションペーパーにまとめます。講義後、リアクションペーパー記載内容が講義説明の中でどのように位置づけられるのかなどを自己確認します。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。授業中の説明で使用する図表が印刷された資料を配布します。参考文献は講義の中でトピックに応じて随時紹介します。

【参考書】

岡本伸之編 2001『観光学入門』有斐閣。
溝尾良隆編 2009『観光学の基礎』原書房。
(財)日本交通公社編 2004『観光読本第2版』東洋経済新報社。
真板昭夫・石森秀三・海津ゆりえ編 2011『エコツーリズムを学ぶ人のために』世界思想社。
ピアス, D. 著, 内藤嘉昭訳 2001『現代観光地理学』明石書店。
江口信清・藤巻正己編 2011『観光研究レファレンスデータベース』ナカニシヤ出版。
呉羽正昭 2017『スキーリゾートの発展プロセス：日本とオーストラリアの比較研究』二宮書店。
矢ヶ崎典隆・山下清海・加賀美雅弘編 2018『グローバリゼーション 縮小する世界』朝倉書店。

【成績評価の方法と基準】

この講義の目標に達したかどうかを期末試験と平常点で評価します。期末試験の評価割合は全体の60%です。リアクションペーパーに記載された毎時間の講義内容の理解度を問う小課題と次回の講義内容に関する予習課題の内容をそれぞれ点数化し、両者を合わせて平常点（評価割合は全体の40%）とします。

【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントのスライド進行の速さについて注意します。

【Outline (in English)】

Students can study basic concept of geography related to tourism. Students can understand various concepts necessary for understanding geography of tourism (concepts and structures of tourism and sightseeing, etc.) and features related to tourism on various regional scales. In addition, Students learn various features, problems and future challenges of tourism that encompasses it, while understanding specific regional examples in Japan.

At the end of the course, students are expected to understand the methodology of tourism geography and the regional characteristics of tourism in Japan.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination: 60% and Short reports: 40%.

GEO200LA（地理学 / Geography 200）

地理学 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：

加賀美 雅弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義はヨーロッパの地理的特徴を主に景観に着目して考察する。前半では、EUの拡大とともに変化するヨーロッパの地域的特性を、EU全体及びいくつかの国境地域に関して検討する。また後半では、ヨーロッパが個性ある諸地域からなることを、都市の街並みの形成と維持に着目して考察する。

【到達目標】

到達目標は以下の3点である。

- ① 歴史的背景を踏まえた地域理解の重要性を認識し、ヨーロッパを多角的にとらえることができる。
- ② 少数民族集団についての理解を深め、マイノリティ集団が直面する問題への関心を高めることができる。
- ③ 国家や地域の関係を多面的にとらえ、外国地域を理解するための総合的な視点を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行われる。基本的にはパワーポイントを使用し、配布資料とあわせて講義内容の理解をはかる。また、毎時間に課すリアクションペーパーで学習内容の理解度を確認し、その総括を次の授業で解説する。また、出された質問に対する回答も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の全体像および進め方を説明する。
第2回	EUによるヨーロッパ統合（1）	EUの形成と拡大によって進められている地域統合について考える。
第3回	EUによるヨーロッパ統合（2）	EUの拡大によって深刻化している地域問題について考える。
第4回	EUによるヨーロッパ統合（3）	EUの拡大によって深刻化している地域統合の課題について考える。
第5回	EU域内の国境（1）	フランスとドイツの国境が変更を繰り返してきた歴史とその影響について考える。
第6回	EU域内の国境（2）	フランスとドイツの国境がEU域内で開放された影響について考える。
第7回	EU域内の国境（3）	東ヨーロッパの国境の歴史的経緯と現在の課題について考える。
第8回	中間まとめ（試験を含む）	統合が進むヨーロッパの国境と地域の変化についての理解を確認する。

第9回	ヨーロッパの都市の構造	旧市街を中心にしたヨーロッパの都市構造について考える。
第10回	ヨーロッパにおける街並みの形成と維持	19世紀以来の都市における街並みの形成と整備の特徴について考える。
第11回	ヨーロッパにおける街並みの復元	都市において維持・復元される街並みの特徴とその意義について考える。
第12回	ヨーロッパの外国人の街並み	増加する外国人の街並みとその意義について考える。
第13回	ヨーロッパにおける街並みをもたない人々	固有の街並みをもたないロマの問題と今後の展望について考える。
第14回	最終まとめ（試験を含む）	授業内容を整理し、ヨーロッパの街並みと国民、社会との関わりについての理解を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習として、参考書を読んで内容を整理しておく。復習として、授業で学んだ内容をテキストを読み直してまとめる作業を行う。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。

【参考書】

『国境で読み解くヨーロッパー境界の地理紀行』 加賀美雅弘著、朝倉書店、3000円

【成績評価の方法と基準】

第8回の中間まとめに実施する試験33%、第14回の最終まとめに実施する試験：33%、授業中に課すリアクションペーパーの内容：34%

【学生の意見等からの気づき】

授業内で行うリアクションペーパーに授業に関する質問や意見を記載することによって、その内容をできるだけ次の授業に反映させる。

【Outline (in English)】

This lecture examines the geographical features of Europe, mainly focusing on the landscape. In the first half, we will examine the regional characteristics of Europe that change with the expansion of the EU with regard to the EU as a whole and some border areas. In the second half, we will consider that Europe is composed of unique regions, focusing on the formation and maintenance of urban landscapes. The goal of this lecture is the following three points. (1) You will be able to recognize the importance of understanding regions based on their historical background and understand Europe from multiple perspectives. (2) You will be able to deepen your understanding of ethnic minority groups and increase your interest in the issues they face. (3) You will be able to understand the relationships between nations and regions from multiple perspectives and acquire a comprehensive perspective for understanding foreign regions. Your overall grade in the class will be decided based on the following, examinations taken in the 8th class (33%) and in the last class (33%), and reaction paper in every class (34%).

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

数学特講 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

安東 祐希

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

線型代数学－大人のための鶴亀算その1

線型（形）代数学の基礎を学ぶ。線型代数学は、微分積分学と並び、数学の基礎を成し、社会科学などを含めて様々な分野で応用されている。データサイエンスにおいても重要な役割を持つ。

線型代数学を標語的にはツルカメ算の一般化と表現できる。鶴と亀あわせて10匹いて足は全部で26本、それぞれ何匹いるのか、というあの鶴亀算である。全部亀だったら足が40本のはずで…などと考えると小学生でもできる。

次に、頭が二つで足は五本、翼が二つの竜Aがいたとして、鶴と亀と竜Aをあわせて頭は9、足は25、翼は8だったらどうか。これも中学生なら連立一次方程式を解いてそれぞれ何匹いるかわかる。では、竜Bは頭三つ、足八本、翼四つとして、鶴と亀と竜Bをあわせて頭は17、足は48、翼は20の場合は。さっきと同じことだ、と思うかもしれないが、違うのである。さっきより少々難しい。何が違うのか、どのように解くことができるのか、線型代数学を学ぶと、図形的な把握のもとに理解することができる。

この春期授業では、線型代数の基本的な道具である行列と行列式に関し、計算方法を学んでゆく。

【到達目標】

- ・行列の定義を理解し、行列演算に関する計算ができる。
- ・行列式の定義を理解し、行列式に関する計算ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回、授業中にいくつかの例題を解く。例題を考える際、わからない点などは積極的に質問してほしい。なお、内容を理解するためには、自ら問題練習に取り組むことが重要である。また、授業のはじめには前回の復習問題を解く時間があり、その解答は解説に従って自己添削のうえ、授業内レポートとして提出をする。（「課題」である授業内レポートは、次の授業時間に個別返却することで「フィードバック」する。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	線型代数の第一歩	鶴亀算
第2回	ベクトルとは	数ベクトルの定義と演算
第3回	ベクトルと図形	一次結合の図形的解釈
第4回	行列とは	行列の定義と演算
第5回	行列演算の性質	線型性

第6回	行列の意味するもの	線型写像と表現行列
第7回	行列演算の再考	線型写像の合成写像
第8回	行列の逆演算	逆行列の定義
第9回	簡単な行列式	低次の行列式
第10回	行列式の性質	多重線型性、交代性、正規性
第11回	行列式の性質再考	行列式の一意性
第12回	一般の行列式	行列式の定義の拡張
第13回	行列式計算の実際	行展開、列展開
第14回	半期のまとめ	総復習の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。なお、予復習時間の標準は4時間である。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

線型代数（線形代数）に関する書籍は実に沢山あり、おそらくそのいずれもが本授業の参考となるものと思う。次の三つはそれらの中の例である。

- ・松坂和夫『線型代数入門』（岩波書店）1980年、新装版2018年
- ・川久保勝夫『線形代数学』（日本評論社）1999年、新装版2010年
- ・H. アントン [山下純一 訳]『アントンのやさしい線型代数』（現代数学社）1980年、新装版2020年

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を授業内レポート（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

質問に答える時間をより多くとれるようにしたい。

【その他の重要事項】

秋期科目「数学特講 L B」の予備知識となる内容を含む。

【Outline (in English)】

[Course outline]

This course deals with basic concepts and tools of linear algebra, especially matrices and determinants.

[Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to do calculations on matrices and determinants.

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to do exercises with many sheets of paper. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policies]

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (60%) and quizzes in class (40%).

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

数学特講 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

安東 祐希

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

線型代数学－大人のための鶴亀算その2

線型（形）代数学の基礎を学ぶ。線型代数学は、微分積分学と並び、数学の基礎を成し、社会科学などを含めて様々な分野で応用されている。データサイエンスにおいても重要な役割を持つ。

線型代数学を標語的にはツルカメ算の一般化と表現できる。鶴と亀あわせて10匹いて足は全部で26本、それぞれ何匹いるのか、というあの鶴亀算である。全部亀だったら足が40本のはずで…などと考えれば小学生でもできる。

次に、頭が二つで足は五本、翼が二つの竜Aがいたとして、鶴と亀と竜Aをあわせて頭は9、足は25、翼は8だったらどうか。これも中学生なら連立一次方程式を解いてそれぞれ何匹いるかわかる。では、竜Bは頭三つ、足八本、翼四つとして、鶴と亀と竜Bをあわせて頭は17、足は48、翼は20の場合は。さっきと同じことだ、と思うかもしれないが、違うのである。さっきより少々難しい。何が違うのか、どのように解くことができるのか、線型代数学を学ぶと、図形的な把握のもとに理解することができる。

この秋期授業では、連立一次方程式の線型代数による一般の解法や、線型空間の理論を学んでゆく。

【到達目標】

- ・階数の定義を理解し、連立一次方程式を一般に解くことができる。
- ・線型写像の定義を理解し、固有値・固有ベクトルを計算できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回、授業中にいくつかの例題を解く。例題を考える際、わからない点などは積極的に質問してほしい。なお、内容を理解するためには、自ら問題練習に取り組むことが重要である。また、授業のはじめには前回の復習問題を解く時間があり、その解答は解説に従って自己添削のうえ、授業内レポートとして提出をする。（「課題」である授業内レポートは、次の授業時間に個別返却することで「フィードバック」する。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	鶴亀算再考	クラメールの方法
第2回	正方行列の分析	余因子行列の定義
第3回	逆行列の計算	余因子行列の性質
第4回	余因子行列再考	行列式の展開の応用
第5回	行列の基本変形	階段行列

第6回	基本変形再考	基本変形と連立一次方程式
第7回	基本変形の応用	連立一次方程式の解法
第8回	行列の階数とは	階数と基本変形
第9回	階数再考	階数と一次独立性
第10回	基本変形の行列表現	基本行列
第11回	逆行列再考	基本変形と逆行列
第12回	線型写像の構造	次元定理
第13回	線型写像を見やすく	固有値・固有ベクトル
第14回	半期のまとめ	総復習の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。なお、予復習時間の標準は4時間である。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

線型代数（線形代数）に関する書籍は実に沢山あり、おそらくそのいずれもが本授業の参考となるものと思う。次の三つはそれらの中の例である。

- ・松坂和夫『線型代数入門』（岩波書店）1980年、新装版2018年
- ・川久保勝夫『線形代数学』（日本評論社）1999年、新装版2010年
- ・H. アントン [山下純一 訳]『アントンのやさしい線型代数』（現代数学社）1980年、新装版2020年

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を授業内レポート（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

質問に答える時間をより多くとれるようにしたい。

【その他の重要事項】

春期科目「数学特講 L A」で扱う内容を既知として授業を進める。

【Outline (in English)】

[Course outline]

This course deals with basic concepts and tools of linear algebra, especially linear equations and linear mappings.

[Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to solve linear equations and eigenvalue problems.

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to do exercises with many sheets of paper. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policies]

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (60%) and quizzes in class (40%).

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（1変数関数の微積分）～

さまざまな社会現象が1変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】

いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	微分の導入1	導関数と曲線の傾き
第03回	微分の導入2	直線によるグラフの近似
第04回	微分の導入3	ニュートン法
第05回	関数の形式と微分1	合成関数の微分
第06回	関数の形式と微分2	陰関数と微分
第07回	関数の形式と微分3	媒介変数表示と微分
第08回	高階導関数1	2階導関数と曲線のしなり
第09回	高階導関数2	放物線によるグラフの近似
第10回	高階導関数3	マクローリン展開
第11回	高階導関数4	社会科学への応用例
第12回	積分1	積分と微分の関係
第13回	積分2	積分と面積の関係
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。で、履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学I・II」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of single variable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of single variable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（2変数関数の微分）～

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に2変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはずである。

【到達目標】

与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるものが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	空間の数学 1	空間ベクトルの基礎
第03回	空間の数学 2	2変数の1次式と平面
第04回	偏微分 1	偏微分とその意味
第05回	偏微分 2	偏導関数の計算
第06回	偏微分 3	全微分と接平面
第07回	偏微分 4	社会科学での活用事例
第08回	極値の計算 1	2階偏導関数
第09回	極値の計算 2	2変数関数の極値計算
第10回	極値の計算 3	公務員試験の問題例
第11回	極値の計算 4	制約条件付きの極値問題
第12回	データサイエンスへの応用例 1	データの傾向を学習して予想する
第13回	データサイエンスへの応用例 2	4次元データを見える化する
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of multivariable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of multivariable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（1変数関数の微積分）～

さまざまな社会現象が1変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】

いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	微分の導入1	導関数と曲線の傾き
第03回	微分の導入2	直線によるグラフの近似
第04回	微分の導入3	ニュートン法
第05回	関数の形式と微分1	合成関数の微分
第06回	関数の形式と微分2	陰関数と微分
第07回	関数の形式と微分3	媒介変数表示と微分
第08回	高階導関数1	2階導関数と曲線のしなり
第09回	高階導関数2	放物線によるグラフの近似
第10回	高階導関数3	マクローリン展開
第11回	高階導関数4	社会科学への応用例
第12回	積分1	積分と微分の関係
第13回	積分2	積分と面積の関係
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。で、履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of single variable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of single variable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（2変数関数の微分）～

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に2変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはずである。

【到達目標】

与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	空間の数学 1	空間ベクトルの基礎
第03回	空間の数学 2	2変数の1次式と平面
第04回	偏微分 1	偏微分とその意味
第05回	偏微分 2	偏導関数の計算
第06回	偏微分 3	全微分と接平面
第07回	偏微分 4	社会科学での活用事例
第08回	極値の計算 1	2階偏導関数
第09回	極値の計算 2	2変数関数の極値計算
第10回	極値の計算 3	公務員試験の問題例
第11回	極値の計算 4	制約条件付きの極値問題
第12回	データサイエンスへの応用例 1	データの傾向を学習して予想する
第13回	データサイエンスへの応用例 2	4次元データを見える化する
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of multivariable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of multivariable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

池田 宏一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（1変数関数の微積分）～

さまざまな社会現象が1変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】

いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。また、2変数関数の微分を扱う秋学期科目「発展数学Ⅱ」を履修する際に必要となる手法を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみることを求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	微分1	微分の定義と基本性質
第3回	微分2	積の微分、商の微分、合成関数の微分
第4回	微分3	陰関数の微分
第5回	微分4	曲線の傾きと極値
第6回	微分の応用1	曲線の凹凸と変曲点
第7回	微分の応用2	テイラー展開
第8回	微分の応用3	マクローリン展開
第9回	微分の応用4	近似計算
第10回	積分1	定積分と不定積分
第11回	積分2	リーマン積分
第12回	積分3	微分積分法の基本定理
第13回	積分の応用1	図形の面積
第14回	積分の応用2	立体の体積

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」の教科書である、藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)は参考になる。さらに学習する際は、微積分学を主題とした書物であれば参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

この科目を履修するためには、「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of single variable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of single variable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 80%, Short reports 20%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

池田 宏一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（2変数関数の微分）～

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に2変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはすである。

【到達目標】

与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみることを求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	授業概要の説明
第2回	2変数関数1	2変数関数とは
第3回	2変数関数2	曲面のグラフの描き方
第4回	2変数関数3	曲面のグラフの調べ方
第5回	偏微分1	偏微分とは
第6回	偏微分2	曲面の傾き
第7回	偏微分3	偏導関数の計算
第8回	偏微分4	合成関数の微分
第9回	偏微分5	全微分と近似値
第10回	偏微分の応用1	極値問題
第11回	偏微分の応用2	陰関数の微分法
第12回	偏微分の応用3	条件付極値問題
第13回	重積分1	重積分とは
第14回	重積分2	体積

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。例題などは印刷したものを学習支援システムで配布する。

【参考書】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」の教科書である、藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版(2011)は参考になる。さらに学習する際は、微積分学を主題とした書物であれば参考となる。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80％）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】

この科目を履修するためには、「発展数学Ⅰ」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of multivariable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of multivariable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives. [Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 80%, Short reports 20%.

PHY200LA (物理学 / Physics 200)

教養物理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：宇宙と地球

石川 壮一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようなになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	各回の講義概要について
第2回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史について
第3回	我々の住む地球(1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第4回	我々の住む地球(2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第5回	我々の住む地球(3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第6回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第7回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第8回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第9回	星の一生と元素合成(1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第10回	星の一生と元素合成(2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第11回	太陽系(1)	太陽系のあらまし
第12回	太陽系(2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第13回	太陽系(3)	誕生後の地球で起こったこと
第14回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。また、別途提示する小テスト問題を解いておくこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
- （その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。

配分は、平常点を30%、期末試験の結果を70%とする

【学生の意見等からの気づき】

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY200LA (物理学 / Physics 200)

教養物理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：宇宙と地球

石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようなになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	各回の講義概要について
第2回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史について
第3回	我々の住む地球(1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第4回	我々の住む地球(2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第5回	我々の住む地球(3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第6回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第7回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第8回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第9回	星の一生と元素合成(1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第10回	星の一生と元素合成(2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第11回	太陽系(1)	太陽系のあらまし
第12回	太陽系(2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第13回	太陽系(3)	誕生後の地球で起こったこと
第14回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。また、別途提示する小テスト問題を解いておくこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
- （その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。
配分は、平常点を30%、期末試験の結果を70%とする

【学生の意見等からの気づき】

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY200LA (物理学 / Physics 200)

教養物理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

吉田 智

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ、最新の研究も合わせて紹介します。更に、社会や他の分野に与えた影響についても紹介をし、物理学と社会とのかかわりについて理解を深めることを目的としています。

【到達目標】

単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	講義全体について紹介する。
第2回	万有引力：ガリレオ研究	ガリレオ・ガリレイの研究について紹介する。
第3回	万有引力：ケプラーの研究	ヨハネス・ケプラーの研究について紹介する。
第4回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディッシュの研究についても紹介する。
第5回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第6回	宇宙：太陽系	第5回に関連して、地球を含めた太陽系の天体について紹介する。
第7回	宇宙：アポロ計画	アポロ計画を中心に、当時の宇宙開発について紹介する。
第8回	宇宙：スペースシャトルと国際宇宙ステーション	スペースシャトル、更には国際宇宙ステーションを含めた現在の宇宙開発について紹介する。
第9回	宇宙：冥王星探査	冥王星・エッジワースカイパーベルト天体探査について紹介する。
第10回	宇宙：彗星・小惑星探査	地球上の生命はどこから来たのか。小惑星・彗星探査等について紹介する。
第11回	ラジウム：原子核	原子核について簡単に紹介する。

第12回	ラジウム：マリ・キュリーの研究	マリ・キュリーたちの研究について紹介する。
第13回	ラジウム：ラジウム狂詩曲	ラジウム発見による当時の騒動、社会に与えた影響について紹介する。
第14回	ラジウム：原子核の応用について	マリ・キュリーが目指した応用等について紹介する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておく必要があります。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料を配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題 (70%) と期末レポート (30%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline (in English)】

This course introduces the gravitation, the universe, and the radium with historical episodes. In this course, goals are not only to deepen the knowledge about physics but also to acquire the ability to judge various scientific phenomena by yourself. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end report (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY200LA (物理学 / Physics 200)

教養物理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

吉田 智

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ、最新の研究も合わせて紹介します。更に、社会や他の分野に与えた影響についても紹介をし、物理学と社会とのかかわりについて理解を深めることを目的としています。

【到達目標】

単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	講義全体について紹介する。
第2回	万有引力：ガリレオ研究	ガリレオ・ガリレイの研究について紹介する。
第3回	万有引力：ケプラーの研究	ヨハネス・ケプラーの研究について紹介する。
第4回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディッシュの研究についても紹介する。
第5回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第6回	宇宙：太陽系	第5回に関連して、地球を含めた太陽系の天体について紹介する。
第7回	宇宙：アポロ計画	アポロ計画を中心に、当時の宇宙開発について紹介する。
第8回	宇宙：スペースシャトルと国際宇宙ステーション	スペースシャトル、更には国際宇宙ステーションを含めた現在の宇宙開発について紹介する。
第9回	宇宙：冥王星探査	冥王星・エッジワースカイパーベルト天体探査について紹介する。
第10回	宇宙：彗星・小惑星探査	地球上の生命はどこから来たのか。小惑星・彗星探査等について紹介する。
第11回	ラジウム：原子核	原子核について簡単に紹介する。

第12回	ラジウム：マリ・キュリーの研究	マリ・キュリーたちの研究について紹介する。
第13回	ラジウム：ラジウム狂詩曲	ラジウム発見による当時の騒動、社会に与えた影響について紹介する。
第14回	ラジウム：原子核の応用について	マリ・キュリーが目指した応用等について紹介する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておく必要があります。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料を配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題 (70%) と期末レポート (30%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline (in English)】

This course introduces the gravitation, the universe, and the radium with historical episodes. In this course, goals are not only to deepen the knowledge about physics but also to acquire the ability to judge various scientific phenomena by yourself. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end report (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY200LA (物理学 / Physics 200)

教養物理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：宇宙と地球

石川 壮一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようなになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	各回の講義概要について
第2回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史について
第3回	我々の住む地球(1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第4回	我々の住む地球(2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第5回	我々の住む地球(3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第6回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第7回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第8回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第9回	星の一生と元素合成(1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第10回	星の一生と元素合成(2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第11回	太陽系(1)	太陽系のあらまし
第12回	太陽系(2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第13回	太陽系(3)	誕生後の地球で起こったこと
第14回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。また、別途提示する小テスト問題を解いておくこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
- （その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。

配分は、平常点を30%、期末試験の結果を70%とする

【学生の意見等からの気づき】

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY200LA (物理学 / Physics 200)	
教養物理学 L C	2017年度以降入学者
サブタイトル：放射線の性質と利用	
井坂 政裕	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金5/Fri.5	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

放射線は我々の身近に存在している。自然界では、放射線は宇宙から降り注いでいるだけでなく、地殻や大気、さらには食品中にも放射線を出す物質がごく微量ながら含まれている。また、放射線は、社会において広く利用されている。例えば医学では、放射線の性質を利用したがんの治療などが代表例である。他にも様々なところで放射線は利用されており、放射線を理解することは、現代の科学技術を理解する上でも非常に重要である。一方、放射線と聞くと、人体への影響を心配するかも知れない。人体にどのような影響があり、どのようにコントロールすれば良いのか。それを理解するためにも、放射線の性質を科学的に理解することが重要である。本授業を通して、学生は、現代物理学の知見に基づいて放射線を理解するとともに、放射線や関連する物理学の知見やそれに基づく技術が社会においてどのように利用されているのかを理解する。

【到達目標】

- ・放射線がどのような性質を持つのか、その発生原理とともに理解できる。
- ・がんの粒子線・放射線治療といった医学での具体例をはじめ、放射線の利用例や関連技術について、その原理を放射線の性質と関連付けて理解することができる。
- ・原子力発電や近年研究が進められている核融合発電などの原理を、物理学の知識に基づいて理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

スライドを使用した講義形式で行う。

学期中に数回程度、授業内容に関する選択式問題の小テストを、学習支援システム上で実施する。小テストの解説や講評は、第14回授業で実施する。

講義では、高校で物理を履修していなくても理解できるよう平易に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序章	放射線とは何か説明するとともに、授業内容の概観を示す。
第2回	放射線を見る	動画または実験デモンストレーションによって、霧箱による放射線の観察例を示し、その原理を解説する。また、身近な放射線の例を紹介するとともに、放射線がどのように生体に影響を与えるのかを説明する。
第3回	物理学の基礎知識（1）	放射線を学ぶ上で必要な物理学の基礎知識として、力学の基礎について解説する。

第4回	物理学の基礎知識（2）	放射線を学ぶ上で必要な物理学の基礎知識として、光の性質について解説する。
第5回	原子の構造	原子がどのような構造を持つのか解説する。
第6回	X線の発生	これまでの内容を踏まえ、X線の発生原理を解説する。
第7回	原子核	原子核の性質や構造について解説する。
第8回	放射性崩壊	原子核の崩壊と、それによる放射線の発生機構について解説する。
第9回	特殊相対論と質量エネルギー	放射線を学ぶ上で必要な知識として特殊相対論の概略を紹介するとともに、質量エネルギーについて解説する。
第10回	放射線が物質に当たると何が起るか？（1）	主に電子や陽子などの電荷をもつ粒子が物質に入射すると何が起るのかを解説する。さらに、それを利用したガンの粒子線治療や放射線治療の原理を紹介する。
第11回	放射線が物質に当たると何が起るか？（2）	主にX線やγ線、中性子線が物質に入射したときに何が起るのかを解説する。
第12回	原子炉	原子炉の原理や原子炉内で起こる核反応について解説するとともに、それを利用した原子力発電の原理を説明する。
第13回	核融合発電に向けて	近年実用化に向けた研究が進められている核融合発電について、その原理や現状について解説する。
第14回	まとめと試験	全体のまとめを行うとともに、期末試験を実施する。また、学期中に実施した小テストの講評や解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・身の回りの自然現象や科学・技術に関連するニュースに関心を持つこと。
- ・授業内容と関連する自然現象や科学技術などの具体例が何か考えること。
- ・配付資料などをもとに、各回の学習内容の復習を行うこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の成績(70%)と平常点(30%)で評価する。期末試験では、授業中に配付した資料やノート、メモなどの参照を可とする。平常点については、学期中に数回実施する小テストの提出状況により評価する。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい説明を心がけます。

【Outline (in English)】

Course outline: This course introduces basic knowledge of the radiation physics. It also helps students acquire understand how to use the radiation and the related techniques in modern society.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the following:

- ・ Explain properties of radiation and radiation sources
- ・ Explain the principles of radiation-related technology
- ・ Explain the principle and utilization of nuclear reactor

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on term-end exam (70%) and usual performance score (30%).

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）

教養生物学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：脳科学

木原 章

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「脳は脳を理解できるか」そんなスローガンで脳科学は始まりました。人間の脳に対して、その構造的な特徴から本質に迫ろうとする神経科学的な手法と、行動の解析からその本質に迫ろうとする心理学的な方法が有りました。「脳科学」の出現によって、その境界が見えにくくなっています。本授業では、学生が主に神経科学的なアプローチで人間の脳のしくみを理解することを目指します。その結果、学生は単なる「神経回路」から、どのように「意識」が発生するかを学び、我々の行動がどれだけ「意識」によってコントロールされているのか考察してもらいます。

【到達目標】

学生は脳の活動を神経科学的に理解した上で、脳科学で問題とされている「意識」について理解できるレベルを目指します。また、毎回の授業を要約する作業を通じて、単に授業内容を理解するだけでなく、それを文章として発信できる文章作成能力の習得も目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に対面方式で行う予定です。板書による解説と、関連ビデオ・参考文献の紹介を通じた事例の提示を行いながら授業を進めます。Web 掲示板を設定し、そこでの質問等へのフィードバックは、授業内で、または学習支援システム Hoppii を通じて行う予定です。なを、授業中の私語を防止するために、私語については厳罰化を行っています。詳しくは成績評価の項目をご覧ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	脳科学の「やさしい問題」と「てごわい問題」	脳科学では何が解決できて、何が解決できないのか？ 問題提起します。
第2回	脳の基本単位・神経細胞	脳神経系の基本単位である、神経細胞（ニューロン）について解説します。
第3回	神経回路と行動	下等動物の行動は、神経回路の解明によって説明できる事を解説します。
第4回	シナプス	神経回路のスイッチとしてのシナプスの働きを説明します。
第5回	動物の本能行動	神経回路が働いた結果、行動が現れます。ここでは、昆虫などが行う本能的な行動について解説します。
第6回	ヒトの神経回路と脳	人間の神経回路の特徴について学びます。
第7回	経験から学ぶしくみ	小脳における手続き学習について学びます。

第8回	経験を記憶するしくみ	海馬における記憶のしくみについて学びます。
第9回	大脳の働き	大脳の働きを調べる方法と、その結果判明した結果について学びます。
第10回	マインドリーディングとサイボーグ技術	脳の働きから「意識」を知ることが可能なのか？ また、その情報を利用して機械を動かすことができるのか？ 脳からの情報摘出技術について、解説します。
第11回	感覚世界	脳には感覚世界が広がっています。その感覚世界では、多くの錯覚が生じます。その錯覚から、大脳における総合的な判断について学びます。
第12回	「てごわい問題」	神経科学では解明できない「てごわい問題」として、意識について様々な研究事例を示します。
第13回	意識と身体	「意識」とはどこにあるのか？ この哲学的な命題について考えます。
第14回	神経回路の自己複製能力	脳に蓄えられた情報（神経回路）が、世代を超えて複製・伝搬するしくみについて解説します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は無し。

【参考書】

授業で紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

授業要約 200 字 x 14 回提出で 100 % 採点します。
授業要約 (200 字要約) のまとめ方は第 1 回目の授業で説明します
それに従って毎回一週間以内に授業要約を H O P P I I に提出して頂きます。
授業中に私語の注意を受けた場合は、「C」以下の評価とします。二度目の注意を受けた場合には「D」評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は本年度から始まるので、学生の意見は未だ出ていません。他の授業の経験から、私語の厳罰化について好評を得ているので、今後とも続ける予定です。

【Outline (in English)】
(Course outline)

“Can the brain understand the brain?” This slogan marked the beginning of neuroscience. Approaches to understanding the human brain included neuroscientific methods that sought to grasp its essence through structural characteristics, and psychological methods that sought to grasp its essence through behavioral analysis. The emergence of “neuroscience” has blurred these boundaries. This course aims for students to understand the mechanisms of the human brain primarily through a neuroscientific approach. As a result, students will learn how ‘consciousness’ arises from mere “neural circuits” and will be encouraged to consider how much our behavior is controlled by “consciousness.”

(Learning Objectives)

We aim to understand consciousness — a longstanding problem in neuroscience — by first gaining a neuroscientific understanding of brain activity. Furthermore, through the task of summarizing each class session, we also aim to develop the ability to communicate this knowledge in writing, moving beyond mere comprehension of the lecture content.

(Learning activities outside of classroom)

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

(Grading Criteria /Policies)

Class Summary: 200 characters x 14 submissions will be graded at 100%.

The method for writing the Class Summary (200-character summary) will be explained in the first class.

Following that method, you must submit your Class Summary to HOPPI within one week after each class.

If you are cautioned for talking during class, you will receive a grade of “C” or lower. A second caution will result in a “D” grade.

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）	
教養生物学 L B	2017年度以降入学者
サブタイトル：マクロ系の生物学	
木原 章	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火4/Tue.4	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「マクロ系の生物学」とは複数の要因が関係し合うことで起きる生命現象を取り上げて説明する授業です。生物学では、生命現象の原因を突き止めるため、体を解体して各組織の役割を突き止め、その組織を構成している細胞を明らかにし、その細胞の性質を決める遺伝子を解明するといったマイクロ（微小）な構成要素に向けた研究を行ってきました。その一方で、構成要素の個々の性質だけでは説明できない多くの生命現象が有る事をご紹介します、その原因が複数の要素を含む系（マクロ系）に存在することをご紹介します。本授業で学生は、多細胞生物が体を作り上げる仕組みやアリの大群がとんでもない能力を発揮する仕組みまで、従来の微生物学では説明できなかった生命現象について、「マクロ系」として理解するための知識を学ぶことになります。

【到達目標】

本授業の到達目標は2つ有ります。第一に、学生がマクロ系の生命現象を学ぶことで「生物学」の基礎知識を身につけることです。第二に、学生には論理的思考力と文章力を身につけてもらいます。授業計画に従って、課題をこなしているうちに、論理的思考と文章力が身につくように授業計画は組み立てられています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】
L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に対面方式で行う予定です。板書による解説と、関連ビデオ・参考文献の紹介を通じた事例の提示を行いながら授業を進めます。本授業では、関連する視聴覚教材を得にくいので、主として参考図書の紹介に時間をかける予定です。WEB掲示板を設定し、そこでの質問等へのフィードバックは、授業内で、または学習支援システムHoppiiを通じて行う予定です。なを、授業中の私語を防止するために、私語については厳罰化を行っています。詳しくは成績評価の項目をご覧ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	生物学のはじまり	ギリシア哲学から始まる生物学の歴史をひもときながら、現代の機械論的生物学に至った経緯を紹介します。
②	生物機械論	18世紀以降、物理学や化学の進歩につれて、生命現象を物理化学的に解き明かそうとする試みが行われました。
③	生物制御論	実際にパーツがどの様に生命活動を作り上げているかを研究する中で、神経系の仕組みが明らかになってきました。

④	生命と熱力学	物理学者のシュレジンガーは執筆した著書「生命とは何か」で、生命活動の熱力学的な矛盾を「負のエントロピー」という概念で説明しました。
⑤	遺伝情報とは	メンデルが提唱した遺伝子はタンパク質の構造を決めるDNAの塩基配列であることが判明しました。
⑥	生命と情報論	生物は体を作り上げるために遺伝子だけでは無い様々な情報を作り出しています。
⑦	進化論	ダーウィン進化論の基本は、進化は偶然起きる変異と、その結果生存率が高まることの繰り返しで起きるとしたことです。
⑧	共進化	進化は、元々環境との相互作用によって起こります。その相互関係が特定の2種に絞られまると、双方の影響が強くなることで進化を加速させ極めて特殊な種間関係ができあがる場合が有ります。
⑨	群知能	生物が増殖することで自然と群れを作る事になります。群れには、単独では出来ない様々な能力を持つことが出来ます。
⑩	発生生物学	たった一つの細胞から極めて複雑な生き物が作り上げられる過程を「発生」と呼びます。
⑪	再生現象	一つの細胞から手順を追って作り上げられた体の構造が損傷したとき、どの様に回復できるのでしょうか？
⑫	意識とコンピュータ	意識は人間だけに存在する物なのでしょうか？ 過大な生き物にも意識があるように思えます。
⑬	生氣論	ドリーシェは19世紀の終わりにウニの卵の分割実験から、生氣論を唱えました。
⑭	まとめ	授業を通じて論じてきたマクロシステムの特徴について、まとめます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は無し。

【参考書】
授業で紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

授業要約200字x14回提出で100%採点します。授業要約（200字要約）のまとめ方は第1回目の授業で説明します。それに従って毎回一週間以内に授業要約をHOPPIIに提出して頂きます。授業中に私語の注意を受けた場合は、「C」以下の評価とします。二度目の注意を受けた場合には「D」評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は本年度から始まるので、学生の意見は未だ出ていません。他の授業の経験から、私語の厳罰化について好評を得ているので、今後とも続ける予定です。

【Outline (in English)】
(Course outline)

“Biology of Macrosystems” is a course that examines and explains biological phenomena arising from the interaction of multiple factors. In biology, to uncover the causes of life phenomena, research has traditionally focused on microscopic components: dissecting organisms to determine the role of each tissue, identifying the cells that compose those tissues, and elucidating the genes that determine the properties of those cells. This course introduces the existence of numerous biological phenomena that cannot be explained solely by the individual properties of these components, demonstrating that their causes reside within systems encompassing multiple elements (macrosystems). Students will learn the knowledge necessary to understand these biological phenomena — ranging from the mechanisms by which multicellular organisms construct their bodies to the mechanisms enabling massive ant colonies to exhibit extraordinary capabilities — as “macrosystems,” phenomena previously unexplained by traditional microscopic biology.

(Learning Objectives)

This course has two primary objectives. First, to acquire foundational knowledge of “biology” by studying life phenomena at the macrosystem level. Second, to develop logical thinking skills and writing abilities. The course plan is structured so that logical thinking and writing skills are cultivated through completing assignments according to the schedule.

(Learning activities outside of classroom)

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

(Grading Criteria /Policies)

Class Summary: 200 characters x 14 submissions will be graded at 100%.

The method for writing the Class Summary (200-character summary) will be explained in the first class.

Following that method, you must submit your Class Summary to HOPPI within one week after each class.

If you are cautioned for talking during class, you will receive a grade of “C” or lower. A second caution will result in a “D” grade.

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）

教養生物学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：脳科学

木原 章

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「脳は脳を理解できるか」そんなスローガンで脳科学は始まりました。人間の脳に対して、その構造的な特徴から本質に迫ろうとする神経科学的な手法と、行動の解析からその本質に迫ろうとする心理学的な方法が有りました。「脳科学」の出現によって、その境界が見えにくくなっています。本授業では、学生が主に神経科学的なアプローチで人間の脳のしくみを理解することを目指します。その結果、学生は単なる「神経回路」から、どのように「意識」が発生するかを学び、我々の行動がどれだけ「意識」によってコントロールされているのか考察してもらいます。

【到達目標】

学生は脳の活動を神経科学的に理解した上で、脳科学で問題とされている「意識」について理解できるレベルを目指します。また、毎回の授業を要約する作業を通じて、単に授業内容を理解するだけでなく、それを文章として発信できる文章作成能力の習得も目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に対面方式で行う予定です。板書による解説と、関連ビデオ・参考文献の紹介を通じた事例の提示を行いながら授業を進めます。Web 掲示板を設定し、そこでの質問等へのフィードバックは、授業内で、または学習支援システム Hoppii を通じて行う予定です。なを、授業中の私語を防止するために、私語については厳罰化を行っています。詳しくは成績評価の項目をご覧ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	脳科学の「やさしい問題」と「てごわい問題」	脳科学では何が解決できて、何が解決できないのか？ 問題提起します。
第2回	脳の基本単位・神経細胞	脳神経系の基本単位である、神経細胞（ニューロン）について解説します。
第3回	神経回路と行動	下等動物の行動は、神経回路の解明によって説明できる事を解説します。
第4回	シナプス	神経回路のスイッチとしてのシナプスの働きを説明します。
第5回	動物の本能行動	神経回路が働いた結果、行動が現れます。ここでは、昆虫などが行う本能的な行動について解説します。
第6回	ヒトの神経回路と脳	人間の神経回路の特徴について学びます。
第7回	経験から学ぶしくみ	小脳における手続き学習について学びます。

第8回	経験を記憶するしくみ	海馬における記憶のしくみについて学びます。
第9回	大脳の働き	大脳の働きを調べる方法と、その結果判明した結果について学びます。
第10回	マインドリーディングとサイボーグ技術	脳の働きから「意識」を知ることが可能なのか？ また、その情報を利用して機械を動かすことができるのか？ 脳からの情報摘出技術について、解説します。
第11回	感覚世界	脳には感覚世界が広がっています。その感覚世界では、多くの錯覚が生じます。その錯覚から、大脳における総合的な判断について学びます。
第12回	「てごわい問題」	神経科学では解明できない「てごわい問題」として、意識について様々な研究事例を示します。
第13回	意識と身体	「意識」とはどこにあるのか？ この哲学的な命題について考えます。
第14回	神経回路の自己複製能力	脳に蓄えられた情報（神経回路）が、世代を超えて複製・伝搬するしくみについて解説します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は無し。

【参考書】

授業で紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

授業要約 200 字 x 14 回提出で 100 % 採点します。
授業要約 (200 字要約) のまとめ方は第 1 回目の授業で説明します
それに従って毎回一週間以内に授業要約を H O P P I I に提出して頂きます。
授業中に私語の注意を受けた場合は、「C」以下の評価とします。二度目の注意を受けた場合には「D」評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は本年度から始まるので、学生の意見は未だ出ていません。他の授業の経験から、私語の厳罰化について好評を得ているので、今後とも続ける予定です。

【Outline (in English)】
(Course outline)

“Can the brain understand the brain?” This slogan marked the beginning of neuroscience. Approaches to understanding the human brain included neuroscientific methods that sought to grasp its essence through structural characteristics, and psychological methods that sought to grasp its essence through behavioral analysis. The emergence of “neuroscience” has blurred these boundaries. This course aims for students to understand the mechanisms of the human brain primarily through a neuroscientific approach. As a result, students will learn how ‘consciousness’ arises from mere “neural circuits” and will be encouraged to consider how much our behavior is controlled by “consciousness.”

(Learning Objectives)

We aim to understand consciousness — a longstanding problem in neuroscience — by first gaining a neuroscientific understanding of brain activity. Furthermore, through the task of summarizing each class session, we also aim to develop the ability to communicate this knowledge in writing, moving beyond mere comprehension of the lecture content.

(Learning activities outside of classroom)

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

(Grading Criteria /Policies)

Class Summary: 200 characters x 14 submissions will be graded at 100%.

The method for writing the Class Summary (200-character summary) will be explained in the first class.

Following that method, you must submit your Class Summary to HOPPI within one week after each class.

If you are cautioned for talking during class, you will receive a grade of “C” or lower. A second caution will result in a “D” grade.

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）	
教養生物学 L B	2017年度以降入学者
サブタイトル：マクロ系の生物学	
木原 章	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火5/Tue.5	
単位数：2単位	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「マクロ系の生物学」とは複数の要因が関係し合うことで起きる生命現象を取り上げて説明する授業です。生物学では、生命現象の原因を突き止めるため、体を解体して各組織の役割を突き止め、その組織を構成している細胞を明らかにし、その細胞の性質を決める遺伝子を解明するといったマイクロ（微小）な構成要素に向けた研究を行ってきました。その一方で、構成要素の個々の性質だけでは説明できない多くの生命現象が有る事をご紹介し、その原因が複数の要素を含む系（マクロ系）に存在することをご紹介します。本授業で学生は、多細胞生物が体を作り上げる仕組みやアリの大群がとんでもない能力を発揮する仕組みまで、従来の微生物学では説明できなかった生命現象について、「マクロ系」として理解するための知識を学ぶことになります。

【到達目標】

本授業の到達目標は2つ有ります。第一に、学生がマクロ系の生命現象を学ぶことで「生物学」の基礎知識を身につけることです。第二に、学生には論理的思考力と文章力を身につけてもらいます。授業計画に従って、課題をこなしているうちに、論理的思考と文章力が身につくように授業計画は組み立てられています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】
L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に対面方式で行う予定です。板書による解説と、関連ビデオ・参考文献の紹介を通じた事例の提示を行いながら授業を進めます。本授業では、関連する視聴覚教材を得にくいので、主として参考図書の紹介に時間をかける予定です。WEB掲示板を設定し、そこでの質問等へのフィードバックは、授業内で、または学習支援システムHoppiiを通じて行う予定です。なを、授業中の私語を防止するために、私語については厳罰化を行っています。詳しくは成績評価の項目をご覧ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	生物学のはじまり	ギリシア哲学から始まる生物学の歴史をひもときながら、現代の機械論的生物学に至った経緯を紹介します。
②	生物機械論	18世紀以降、物理学や化学の進歩につれて、生命現象を物理化学的に解き明かそうとする試みが行われました。
③	生物制御論	実際にパーツがどの様に生命活動を作り上げているかを研究する中で、神経系の仕組みが明らかになってきました。

④	生命と熱力学	物理学者のシュレジンガーは執筆した著書「生命とは何か」で、生命活動の熱力学的な矛盾を「負のエントロピー」という概念で説明しました。
⑤	遺伝情報とは	メンデルが提唱した遺伝子はタンパク質の構造を決めるDNAの塩基配列であることが判明しました。
⑥	生命と情報論	生物は体を作り上げるために遺伝子だけでは無い様々な情報を作り出しています。
⑦	進化論	ダーウィン進化論の基本は、進化は偶然起きる変異と、その結果生存率が高まることの繰り返しで起きるとしたことです。
⑧	共進化	進化は、元々環境との相互作用によって起こります。その相互関係が特定の2種に絞られまると、双方の影響が強くなることで進化を加速させ極めて特殊な種間関係ができあがる場合が有ります。
⑨	群知能	生物が増殖することで自然と群れを作る事になります。群れには、単独では出来ない様々な能力を持つことが出来ます。
⑩	発生生物学	たった一つの細胞から極めて複雑な生き物が作り上げられる過程を「発生」と呼びます。
⑪	再生現象	一つの細胞から手順を追って作り上げられた体の構造が損傷したとき、どの様に回復できるのでしょうか？
⑫	意識とコンピュータ	意識は人間だけに存在する物なのでしょうか？ 過大な生き物にも意識があるように思えます。
⑬	生氣論	ドリーシェは19世紀の終わりにウニの卵の分割実験から、生氣論を唱えました。
⑭	まとめ	授業を通じて論じてきたマクロシステムの特徴について、まとめます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は無し。

【参考書】
授業で紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

授業要約200字x14回提出で100%採点します。授業要約（200字要約）のまとめ方は第1回目の授業で説明します。それに従って毎回一週間以内に授業要約をHOPPIIに提出して頂きます。授業中に私語の注意を受けた場合は、「C」以下の評価とします。二度目の注意を受けた場合には「D」評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

本授業は本年度から始まるので、学生の意見は未だ出ていません。他の授業の経験から、私語の厳罰化について好評を得ているので、今後とも続ける予定です。

【Outline (in English)】
(Course outline)

“Biology of Macrosystems” is a course that examines and explains biological phenomena arising from the interaction of multiple factors. In biology, to uncover the causes of life phenomena, research has traditionally focused on microscopic components: dissecting organisms to determine the role of each tissue, identifying the cells that compose those tissues, and elucidating the genes that determine the properties of those cells. This course introduces the existence of numerous biological phenomena that cannot be explained solely by the individual properties of these components, demonstrating that their causes reside within systems encompassing multiple elements (macrosystems). Students will learn the knowledge necessary to understand these biological phenomena — ranging from the mechanisms by which multicellular organisms construct their bodies to the mechanisms enabling massive ant colonies to exhibit extraordinary capabilities — as “macrosystems,” phenomena previously unexplained by traditional microscopic biology.

(Learning Objectives)

This course has two primary objectives. First, to acquire foundational knowledge of “biology” by studying life phenomena at the macrosystem level. Second, to develop logical thinking skills and writing abilities. The course plan is structured so that logical thinking and writing skills are cultivated through completing assignments according to the schedule.

(Learning activities outside of classroom)

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

(Grading Criteria /Policies)

Class Summary: 200 characters x 14 submissions will be graded at 100%.

The method for writing the Class Summary (200-character summary) will be explained in the first class.

Following that method, you must submit your Class Summary to HOPPI within one week after each class.

If you are cautioned for talking during class, you will receive a grade of “C” or lower. A second caution will result in a “D” grade.

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200） 教養生物学 L C 2017年度以降入学者 サブタイトル：エピジェネティクス（後成遺伝学）：「命のコード」をどう使うか 波平 昌一 開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水4/Wed.4 単位数：2単位 その他属性：〈優〉				
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 この授業は、「同じ遺伝子をもつ細胞が、なぜ異なる性質をもつか」という問いを出発点に、生命が環境や経験に応じてどのように変化するかを、「エピジェネティクス（後成遺伝学）」という視点から考えることを目的として展開します。私たちの体をつくるすべての細胞は同じDNAをもっていますが、実際には神経細胞や筋肉細胞など、まったく異なる働きを示します。つまり、同じ「命のコード」（DNAに書き込まれた情報）をもっている、どの部分がいつ・どこで・どれくらい使われるかによって、細胞の性質が変わるということです。本授業では、DNAや遺伝子発現、クロマチン構造などの基本的な考え方を手がかりに、遺伝子の働きがどのように調節されているのかを見ていきます。さらに、細胞分化、脳の機能、老化、病気といった生命現象がエピジェネティクスとどのように結びついているのかを取り上げ、生命が固定された設計図ではなく、環境や時間の影響を受けながら変化する動的なシステムであることを考えていきます。				
【到達目標】 本授業を通じて学生は、DNAの配列そのものが変わる場合と、DNAの配列は同じでも遺伝子の「使われ方」が変わる場合とを区別できるようになります。また、遺伝子が「いつ・どこで・どれくらい」働くかが調節されることで、細胞の性質が保たれたり変化したりする仕組みをイメージできるようになります。さらに、発生・成長・老化・病気などの例を通して、日常で耳にする「体質」「ストレス」「生活習慣」「リスク」といった言葉を、根拠に基づいて整理して捉えられるようになります。				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1				
【主な授業方法】 L 講義 /Lecture				
【授業の進め方と方法】 基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進めます。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指します。授業に関する質問やコメントがあれば、課題と同時に提出してください。課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。				
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし / No				
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
第1回	テーマ ガイダンスとエピジェネティクス概説 — 本講義の問いと全体像	内容 本講義の中心となる問い「同じ遺伝子をもつ細胞が、なぜ違う性質を示すのか」を提示し、授業の進め方・評価・到達点を共有したうえで、エピジェネティクスが現代の生命科学で重視される理由を概説します。	第2回 DNA・遺伝子・染色体 — 遺伝情報の基本構造	DNA・遺伝子・染色体（ゲノム）について整理し、遺伝情報が細胞内でどのように体系的に保管されているかを概説します。DNA上の情報がRNAを経てタンパク質の働きへとつながる流れ（転写・翻訳）を示し、「遺伝子がいつ・どの程度働くか」という調節が生命現象を左右することを概説します。
第3回			第3回 転写・翻訳と遺伝子発現 — 情報が働きになるまで	発生や分化をめぐる研究の流れの中で、エピジェネティクスという考え方がどのように形成され発展してきたかを、歴史とともに概説します。
第4回			第4回 遺伝学（ジェネティクス）とは何か — 遺伝学の考え方と境界	可逆性（戻りうる）と安定性（保たれる）という二つの性質を軸に、細胞が一度得た状態を一定期間維持する「記憶」をどのように捉えるかを概説します。DNAが折りたたまれて収納される構造（クロマチン）に着目し、物理的な配置が遺伝子の働きやすさを左右することについて概説します。
第5回			第5回 「第2の遺伝」はなぜ提案されたのか — 学説の背景と発展	ヒストン修飾やDNAメチル化といった化学的な「目印」が、遺伝子の働き方を調節し、細胞の性質やふるまいに影響しうることを例とともに概説します。
第6回			第6回 エピジェネティクスの基本概念 — 可逆性・安定性・記憶	同じDNAをもつ細胞が神経や筋肉などへ分かれていく過程を取り上げ、遺伝子の使い分けと状態の固定が分化を支えるというしくみを概説します。
第7回			第7回 クロマチン構造 — DNAが収納される意味	栄養・ストレス・ホルモン・代謝などの条件が細胞の状態にどのように影響するかを取り上げ、環境への応答が長期的に残りうることにについて概説します。
第8回			第8回 ヒストン修飾とDNAメチル化 — エピジェネティクスのしくみ	脳の機能、老化、がんを具体例に、エピジェネティクスの変化が健康と病気の両方に関わりうる点を概説します。
第9回			第9回 細胞分化とエピジェネティクス — なぜ同じDNAから多様な細胞が生まれるのか	同じ遺伝子でも「父由来か母由来か」によって働き方が変わる「刷り込み」（ゲノムインプリンティング）を紹介し、哺乳類の発生が「二人分の情報」を求める理由を手がかりに、遺伝子の使われ方に潜むもう一段深い層を概説します。
第10回			第10回 環境・経験・生理状態とエピジェネティクス — 「外界」は遺伝子の働き方をどう変えるか	遺伝子の使われ方に介入する研究とその医療応用の可能性を概観するとともに、倫理的・社会的な論点（安全性、公平性、規制など）も概説します。
第11回			第11回 脳・老化・疾患とエピジェネティクス — 記憶からがんまで	全体を総括して、DNA配列の違いで説明できることと遺伝子の使われ方で説明できることの関係を整理し、生命を条件に応じて働き方が変わるシステムとして捉える視点を概説します。
第12回			第12回 「二人分の情報」を要求する哺乳類の謎 — ゲノムインプリンティング	
第13回			第13回 エピジェネティクスの操作と応用 — 介入する生命科学	
第14回			第14回 エピジェネティクスが示す「遺伝子の使われ方」の科学 — 総括	
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。				

授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して解答するように心がけてください。

授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習した上で翌週の授業に臨むようにしてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業の最後に課題を出します。10-13回の課題の評価点で成績評価を行います（100%）。1回の課題は10点満点とし、10-13回分を合計して120-140点満点で評価点となります。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

Course outline :

This course introduces epigenetics as a way to understand why cells with the same DNA can develop different properties and functions. Using the idea of a “life code” (genetic information written in DNA), we explore how gene activity can change depending on context — when, where, and how strongly genes are used — without altering the DNA sequence itself. The course covers core concepts such as gene expression and chromatin regulation, and connects them to examples including cell differentiation, brain function, aging, and disease. Through these topics, students will view life not as a fixed blueprint but as a dynamic system shaped by time and environment.

Learning objectives:

At the end of the course, students are expected to:

- ・ distinguish changes caused by DNA sequence differences from changes in how genes are regulated without altering the sequence;
- ・ understand, at a conceptual level, how chromatin, histone modifications, and DNA methylation can regulate the timing, location, and strength of gene activity and help stabilize cellular states (“memory”);
- ・ interpret everyday terms such as “constitution,” “stress,” “lifestyle,” and “risk” using scientific reasoning and evidence;
- ・ evaluate the possibilities and limitations of epigenetics in medical and societal applications, and organize their own views on related ethical issues.

Learning activities outside of classroom

Students are expected to spend about two hours on preparation and about two hours on review for each class session. For any assignments given in class, students should complete them after thoroughly reviewing the lecture content.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade will be determined solely by end-of-class assignments (100%). Assignments will be given at the end of each class, and 10 – 13 assignments will be graded. Each assignment is worth 10 points, and the final score will be the total of these assignments (maximum: 120 – 140 points, depending on the number of assignments).

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200） 教養生物学 L D 2017年度以降入学者 サブタイトル：幹細胞生物学：からだをつくり、守り、立て直す科学 波平 昌一 開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水4/Wed.4 単位数：2単位 その他属性：〈優〉		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 この授業は、「ひとつの細胞から、なぜ多様な細胞や組織が生まれるのか」という問いを軸に、生命の発生と再生のしくみを幹細胞の視点から考えることを目的として展開します。私たちの体は約200種類の細胞から成り立っていますが、それらはすべて受精卵という一つの細胞に由来しています。本授業では、細胞の分裂や分化、発生の過程をたどりながら、幹細胞がどのようにして体を形づくり、維持しているのかを見ていきます。 ES細胞 や iPS細胞 、体性幹細胞などの例を通して、幹細胞がもつ可能性と限界について考えるとともに、幹細胞を取り巻く微小環境（ニッチ）やエピジェネティクスとの関係にも触れます。さらに、再生医療や脳研究などの最新の話題を通して、幹細胞研究が社会や医療にもたらす意義と課題について考察します。		
【到達目標】 本授業を通じて学生は、からだがどのように作られ、傷ついた組織がどのように回復しうのかを、幹細胞という視点から捉えられるようになります。また、幹細胞研究に関する代表的な話題（iPS細胞、再生、クローン、臓器モデルなど）について、何が期待され、何に限界があるのかを根拠に基づいて整理できるようになります。あわせて、関連する倫理的・社会的な論点（安全性、公平性、ルール作りなど）を事実にも基づいて考え、日常の情報を主体的に読み解けるようになります。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1		
【主な授業方法】 L 講義 /Lecture		
【授業の進め方と方法】 基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進めます。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指します。授業に関する質問やコメントがあれば、課題と同時に提出して下さい。課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし / No		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスと幹細胞生物学概説 — 本講義の問いと全体像	本講義の中心となる問い「細胞はどのように自分を保ち、別の細胞へ変化するのか」を提示し、授業の進め方・評価・到達点を共有したうえで、幹細胞生物学が発生・再生・医療・倫理へつながる学問であることを概説します。
第2回	細胞とは何か — 生命の単位としての細胞	細胞を生命の基本単位として捉え、細胞が増える（分裂）、状態を保つ（維持）、失われる（死）という基本的なふるまいを軸に、以後の講義の基礎を概説します。
第3回	発生とは何か — 一つの受精卵から身体ができるまで	受精卵から身体が形づくられる過程を、時間の流れと秩序という視点で整理し、細胞が増えるだけでなく配置され役割分担していくことが発生の核心である点を概説します。
第4回	細胞分化 — 同じDNAから異なる細胞が生まれるしくみ	同じ遺伝情報をもつ細胞が異なる性質を獲得する「分化」を扱い、変化が段階的に進み戻りにくくなる側面を「エピジェネティクス」とも結びつけて概説します。
第5回	幹細胞とは何か — 自己複製と分化能	幹細胞を「自分を保ちながら、別の細胞を生み出せる」細胞として定義し、一般的な細胞との違いと誤解されやすい点を概説します。
第6回	幹細胞研究の歴史 — 発見から学問へ	血液の研究などを手がかりに、幹細胞という考え方がどのように確立され、発生研究や医療と結びつきながら発展してきたかを概説します。
第7回	幹細胞の多様性 — ES細胞・iPS細胞・体性幹細胞	ES細胞・iPS細胞・体性幹細胞を比較し、由来や性質、適した研究・応用の場面の違いを整理しつつ、その可能性と限界を概説します。
第8回	ニッチ（微小環境） — 幹細胞のいるところ	幹細胞が周囲の細胞や環境とセットで保たれていることに注目し、居場所（ニッチ／微小環境）が維持・増殖・分化のバランスを左右するという考え方を概説します。
第9回	幹細胞とエピジェネティクス — 運命を記憶するしくみ	幹細胞が未分化な状態を保つことや、分化が進むと戻りにくくなることを手がかりに、遺伝子の使われ方が細胞の状態を支えるという視点を概説します。
第10回	脳と幹細胞 — 神経幹細胞が担う「支え」のしくみ	神経幹細胞や神経新生を例に、「大人」の脳に残る限定的な更新・修復のしくみを整理し、脳の維持や適応を支える一要素となっていることについて概説します。
第11回	再生の生物学 — 自然に学び、医療へつなぐ	自然界に見られる再生や組織修復の多様なしくみを概観し、幹細胞だけでなく複数の戦略によって再生が成り立ちうる点と、その知見が医療へつながることについて概説します。
第12回	クローンとは何か — 1つの細胞から個体が生まれる条件	クローンの基本概念を整理し、「同じDNA＝同じ個体」ではない理由を発生の視点から考えつつ、細胞の「初期化」の難しさを示す生命の条件と倫理的論点を概説します。
第13回	オルガノイド — 「ミニ臓器」がひらく研究と医療の未来	幹細胞から臓器に近い構造を作るオルガノイドの考え方を整理し、研究や医療への応用可能性と、再現性・成熟度などの課題および倫理的論点を概説します。

第14回 幹細胞が示す「可能性」の科学 ― 総括

幹細胞を「可能性を内包しながら状態を保つ細胞」として再整理し、発生・再生・老化を統合的に捉える視点と、遺伝子の使われ方の調節という観点を踏まえた全体像を概説します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して解答するように心がけてください。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習した上で翌週の授業に臨むようにしてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業の最後に課題を出します。10-13回の課題の評価点で成績評価を行います（100%）。1回の課題は10点満点とし、10-13回分を合計して120-140点満点で評価点となります。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

Course outline :

This course explores how a single cell can give rise to diverse cell types and tissues, introducing development and regeneration from the perspective of stem cells. By following key processes such as cell division, differentiation, and embryonic development, students will learn how stem cells contribute to building and maintaining the body. The course also introduces major stem cell types (ES cells, iPS cells, and adult stem cells), highlighting both their potential and limitations, and discusses how stem cells are regulated by their microenvironment (the niche) and epigenetic mechanisms. Current topics such as regenerative medicine and brain research are used to consider the scientific, medical, and societal significance of stem cell research.

Learning objectives:

At the end of the course, students are expected to:

- ・ understand, at a conceptual level, how stem cells relate to development, tissue maintenance, and regeneration;
- ・ organize key ideas about ES/iPS/adult stem cells, organoids, and cloning, including what they can and cannot achieve, based on scientific evidence;
- ・ consider ethical and social issues surrounding advanced stem cell research and regenerative medicine (e.g., safety, consent, equity, and regulation) using both facts and personal values;
- ・ critically interpret everyday information and public discussions about stem cell technologies with attention to evidence and limitations.

Learning activities outside of classroom

Students are expected to spend about two hours on preparation and about two hours on review for each class session. For any assignments given in class, students should complete them after thoroughly reviewing the lecture content.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade will be determined solely by end-of-class assignments (100%). Assignments will be given at the end of each class, and 10 – 13 assignments will be graded. Each assignment is worth 10 points, and the final score will be the total of these assignments (maximum: 120 – 140 points, depending on the number of assignments).

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）		
教養生物学 L C 2017年度以降入学者		
サブタイトル：エピジェネティクス（後成遺伝学）：「命のコード」をどう使うか		
波平 昌一		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水5/Wed.5 単位数：2単位 その他属性：〈優〉		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 この授業は、「同じ遺伝子をもつ細胞が、なぜ異なる性質をもつか」という問いを出発点に、生命が環境や経験に応じてどのように変化するかを、「エピジェネティクス（後成遺伝学）」という視点から考えることを目的として展開します。私たちの体をつくるすべての細胞は同じDNAをもっていますが、実際には神経細胞や筋肉細胞など、まったく異なる働きを示します。つまり、同じ「命のコード」（DNAに書き込まれた情報）をもっている、どの部分がいつ・どこで・どれくらい使われるかによって、細胞の性質が変わるということです。本授業では、DNAや遺伝子発現、クロマチン構造などの基本的な考え方を手がかりに、遺伝子の働きがどのように調節されているのかを見ていきます。さらに、細胞分化、脳の機能、老化、病気といった生命現象がエピジェネティクスとどのように結びついているのかを取り上げ、生命が固定された設計図ではなく、環境や時間の影響を受けながら変化する動的なシステムであることを考えていきます。		
【到達目標】 本授業を通じて学生は、DNAの配列そのものが変わる場合と、DNAの配列は同じでも遺伝子の「使われ方」が変わる場合とを区別できるようになります。また、遺伝子が「いつ・どこで・どれくらい」働くかが調節されることで、細胞の性質が保たれたり変化したりする仕組みをイメージできるようになります。さらに、発生・成長・老化・病気などの例を通して、日常で耳にする「体質」「ストレス」「生活習慣」「リスク」といった言葉を、根拠に基づいて整理して捉えられるようになります。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1		
【主な授業方法】 L 講義 /Lecture		
【授業の進め方と方法】 基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進めます。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指します。授業に関する質問やコメントがあれば、課題と同時に提出してください。課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし / No		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
第1回	テーマ ガイダンスとエピジェネティクス概説 — 本講義の問いと全体像	内容 本講義の中心となる問い「同じ遺伝子をもつ細胞が、なぜ違う性質を示すのか」を提示し、授業の進め方・評価・到達点を共有したうえで、エピジェネティクスが現代の生命科学で重視される理由を概説します。
第2回	DNA・遺伝子・染色体 — 遺伝情報の基本構造	DNA・遺伝子・染色体（ゲノム）について整理し、遺伝情報が細胞内でどのように体系的に保管されているかを概説します。
第3回	転写・翻訳と遺伝子発現 — 情報が働きになるまで	DNA上の情報がRNAを経てタンパク質の働きへとつながる流れ（転写・翻訳）を示し、「遺伝子がいつ・どの程度働くか」という調節が生命現象を左右することを概説します。
第4回	遺伝学（ジェネティクス）とは何か — 遺伝学の考え方と境界	遺伝学（ジェネティクス）が性質や病気をどのように説明してきたかをたどり、DNA配列の違いだけでは説明が難しい現象があることを概説します。
第5回	「第2の遺伝」はなぜ提案されたのか — 学説の背景と発展	発生や分化をめぐる研究の流れの中で、エピジェネティクスという考え方がどのように形成され発展してきたかを、歴史とともに概説します。
第6回	エピジェネティクスの基本概念 — 可逆性・安定性・記憶	可逆性（戻りうる）と安定性（保たれる）という二つの性質を軸に、細胞が一度得た状態を一定期間維持する「記憶」をどのように捉えるかを概説します。
第7回	クロマチン構造 — DNAが収納される意味	DNAが折りたたまれて収納される構造（クロマチン）に着目し、物理的な配置が遺伝子の働きやすさを左右することについて概説します。
第8回	ヒストン修飾とDNAメチル化 — エピジェネティクスのしくみ	ヒストン修飾やDNAメチル化といった化学的な「目印」が、遺伝子の働き方を調節し、細胞の性質やふるまいに影響しうることを例とともに概説します。
第9回	細胞分化とエピジェネティクス — なぜ同じDNAから多様な細胞が生まれるのか	同じDNAをもつ細胞が神経や筋肉などへ分かれていく過程を取り上げ、遺伝子の使い分けと状態の固定が分化を支えるというしくみを概説します。
第10回	環境・経験・生理状態とエピジェネティクス — 「外界」は遺伝子の働き方をどう変えるか	栄養・ストレス・ホルモン・代謝などの条件が細胞の状態にどのように影響するかを取り上げ、環境への応答が長期的に残りうることにについて概説します。
第11回	脳・老化・疾患とエピジェネティクス — 記憶からがんまで	脳の機能、老化、がんを具体例に、エピジェネティクスの変化が健康と病気の両方に関わりうる点を概説します。
第12回	「二人分の情報」を要求する哺乳類の謎 — ゲノムインプリンティング	同じ遺伝子でも「父由来か母由来か」によって働き方が変わる「刷り込み」（ゲノムインプリンティング）を紹介し、哺乳類の発生が「二人分の情報」を求める理由を手がかりに、遺伝子の使われ方に潜むもう一段深い層を概説します。
第13回	エピジェネティクスの操作と応用 — 介入する生命科学	遺伝子の使われ方に介入する研究とその医療応用の可能性を概観するとともに、倫理的・社会的な論点（安全性、公平性、規制など）も概説します。
第14回	エピジェネティクスが示す「遺伝子の使われ方」の科学 — 総括	全体を総括して、DNA配列の違いで説明できることと遺伝子の使われ方で説明できることの関係を整理し、生命を条件に応じて働き方が変わるシステムとして捉える視点を概説します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して解答するように心がけてください。

授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習した上で翌週の授業に臨むようにしてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業の最後に課題を出します。10-13回の課題の評価点で成績評価を行います（100%）。1回の課題は10点満点とし、10-13回分を合計して120-140点満点で評価点となります。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

Course outline :

This course introduces epigenetics as a way to understand why cells with the same DNA can develop different properties and functions. Using the idea of a “life code” (genetic information written in DNA), we explore how gene activity can change depending on context — when, where, and how strongly genes are used — without altering the DNA sequence itself. The course covers core concepts such as gene expression and chromatin regulation, and connects them to examples including cell differentiation, brain function, aging, and disease. Through these topics, students will view life not as a fixed blueprint but as a dynamic system shaped by time and environment.

Learning objectives:

At the end of the course, students are expected to:

- ・ distinguish changes caused by DNA sequence differences from changes in how genes are regulated without altering the sequence;
- ・ understand, at a conceptual level, how chromatin, histone modifications, and DNA methylation can regulate the timing, location, and strength of gene activity and help stabilize cellular states (“memory”);
- ・ interpret everyday terms such as “constitution,” “stress,” “lifestyle,” and “risk” using scientific reasoning and evidence;
- ・ evaluate the possibilities and limitations of epigenetics in medical and societal applications, and organize their own views on related ethical issues.

Learning activities outside of classroom

Students are expected to spend about two hours on preparation and about two hours on review for each class session. For any assignments given in class, students should complete them after thoroughly reviewing the lecture content.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade will be determined solely by end-of-class assignments (100%). Assignments will be given at the end of each class, and 10 – 13 assignments will be graded. Each assignment is worth 10 points, and the final score will be the total of these assignments (maximum: 120 – 140 points, depending on the number of assignments).

BIO200LA（その他の総合生物・生物学 / Biology 200）

教養生物学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：幹細胞生物学：からだをつくり、守り、立て直す科学

波平 昌一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、「ひとつの細胞から、なぜ多様な細胞や組織が生まれるのか」という問いを軸に、生命の発生と再生のしくみを幹細胞の視点から考えることを目的として展開します。私たちの体は約200種類の細胞から成り立っていますが、それらはすべて受精卵という一つの細胞に由来しています。本授業では、細胞の分裂や分化、発生の過程をたどりながら、幹細胞がどのようにして体を形づくり、維持しているのかを見ていきます。ES細胞やiPS細胞、体性幹細胞などの例を通して、幹細胞がもつ可能性と限界について考えるとともに、幹細胞を取り巻く微小環境（ニッチ）やエピジェネティクスとの関係にも触れます。さらに、再生医療や脳研究などの最新の話題を通して、幹細胞研究が社会や医療にもたらす意義と課題について考察します。

【到達目標】

本授業を通じて学生は、からだがどのように作られ、傷ついた組織がどのように回復しうのかを、幹細胞という視点から捉えられるようになります。また、幹細胞研究に関する代表的な話題（iPS細胞、再生、クローン、臓器モデルなど）について、何が期待され、何に限界があるのかを根拠に基づいて整理できるようになります。あわせて、関連する倫理的・社会的な論点（安全性、公平性、ルール作りなど）を事実にも基づいて考え、日常の情報を主体的に読み解けるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進めます。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指します。授業に関する質問やコメントがあれば、課題と同時に提出して下さい。課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスと幹細胞生物学概説 — 本講義の問いと全体像	本講義の中心となる問い「細胞はどのように自分を保ち、別の細胞へ変化するのか」を提示し、授業の進め方・評価・到達点を共有したうえで、幹細胞生物学が発生・再生・医療・倫理へつながる学問であることを概説します。

第2回	細胞とは何か — 生命の単位としての細胞	細胞を生命の基本単位として捉え、細胞が増える（分裂）、状態を保つ（維持）、失われる（死）という基本的なふるまいを軸に、以後の講義の基礎を概説します。
第3回	発生とは何か — 一つの受精卵から身体ができるまで	受精卵から身体が形づくられる過程を、時間の流れと秩序という視点で整理し、細胞が増えるだけでなく配置され役割分担していくことが発生の核心である点を概説します。
第4回	細胞分化 — 同じDNAから異なる細胞が生まれるしくみ	同じ遺伝情報をもつ細胞が異なる性質を獲得する「分化」を扱い、変化が段階的に進み戻りにくくなる側面を「エピジェネティクス」とも結びつけて概説します。
第5回	幹細胞とは何か — 自己複製と分化能	幹細胞を「自分を保ちながら、別の細胞を生み出せる」細胞として定義し、一般的な細胞との違いと誤解されやすい点を概説します。
第6回	幹細胞研究の歴史 — 発見から学問へ	血液の研究などを手がかりに、幹細胞という考え方がどのように確立され、発生研究や医療と結びつきながら発展してきたかを概説します。
第7回	幹細胞の多様性 — ES細胞・iPS細胞・体性幹細胞	ES細胞・iPS細胞・体性幹細胞を比較し、由来や性質、適した研究・応用の場面の違いを整理しつつ、その可能性と限界を概説します。
第8回	ニッチ（微小環境） — 幹細胞のいるところ	幹細胞が周囲の細胞や環境とセットで保たれていることに注目し、居場所（ニッチ／微小環境）が維持・増殖・分化のバランスを左右するという考え方を概説します。
第9回	幹細胞とエピジェネティクス — 運命を記憶するしくみ	幹細胞が未分化な状態を保つことや、分化が進むと戻りにくくなることを手がかりに、遺伝子の使われ方が細胞の状態を支えるという視点を概説します。
第10回	脳と幹細胞 — 神経幹細胞が担う「支え」のしくみ	神経幹細胞や神経新生を例に、「大人」の脳に残る限定的な更新・修復のしくみを整理し、脳の維持や適応を支える一要素となっていることについて概説します。
第11回	再生の生物学 — 自然に学び、医療へつなぐ	自然界に見られる再生や組織修復の多様なしくみを概観し、幹細胞だけでなく複数の戦略によって再生が成り立ちうる点と、その知見が医療へつながることについて概説します。
第12回	クローンとは何か — 1つの細胞から個体が生まれる条件	クローンの基本概念を整理し、「同じDNA＝同じ個体」ではない理由を発生の視点から考えつつ、細胞の「初期化」の難しさが示す生命の条件と倫理的論点を概説します。
第13回	オルガノイド — 「ミニ臓器」がひらく研究と医療の未来	幹細胞から臓器に近い構造を作るオルガノイドの考え方を整理し、研究や医療への応用可能性と、再現性・成熟度などの課題および倫理的論点を概説します。

第14回 幹細胞が示す「可能性」の科学 ― 総括

幹細胞を「可能性を内包しながら状態を保つ細胞」として再整理し、発生・再生・老化を統合的に捉える視点と、遺伝子の使われ方の調節という観点を踏まえた全体像を概説します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して解答するように心がけて下さい。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習した上で翌週の授業に臨むようにしてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業の最後に課題を出します。10-13回の課題の評価点で成績評価を行います（100%）。1回の課題は10点満点とし、10-13回分を合計して120-140点満点で評価点となります。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

Course outline :

This course explores how a single cell can give rise to diverse cell types and tissues, introducing development and regeneration from the perspective of stem cells. By following key processes such as cell division, differentiation, and embryonic development, students will learn how stem cells contribute to building and maintaining the body. The course also introduces major stem cell types (ES cells, iPS cells, and adult stem cells), highlighting both their potential and limitations, and discusses how stem cells are regulated by their microenvironment (the niche) and epigenetic mechanisms. Current topics such as regenerative medicine and brain research are used to consider the scientific, medical, and societal significance of stem cell research.

Learning objectives:

At the end of the course, students are expected to:

- ・ understand, at a conceptual level, how stem cells relate to development, tissue maintenance, and regeneration;
- ・ organize key ideas about ES/iPS/adult stem cells, organoids, and cloning, including what they can and cannot achieve, based on scientific evidence;
- ・ consider ethical and social issues surrounding advanced stem cell research and regenerative medicine (e.g., safety, consent, equity, and regulation) using both facts and personal values;
- ・ critically interpret everyday information and public discussions about stem cell technologies with attention to evidence and limitations.

Learning activities outside of classroom

Students are expected to spend about two hours on preparation and about two hours on review for each class session. For any assignments given in class, students should complete them after thoroughly reviewing the lecture content.

Grading Criteria /Policies

Your overall grade will be determined solely by end-of-class assignments (100%). Assignments will be given at the end of each class, and 10 – 13 assignments will be graded. Each assignment is worth 10 points, and the final score will be the total of these assignments (maximum: 120 – 140 points, depending on the number of assignments).

CHM200LA（その他の化学 / Chemistry 200）

教養化学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：エネルギーの科学

向井 知大

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

物質の変化には、エネルギーの出入りが伴います。社会や生命はこれらを上手に利用することで活動しています。エネルギーを題材にして身の回りの現象や物質について理解を深め、現在の我々の生活を支えている技術に対する興味を持って下さい。

【到達目標】

エネルギーについて原子核や電子の振る舞いをもとに理解し、科学的な思考で物事を説明する能力を高めることを目標とします。エネルギー問題に関する近年の話題について、自分なりの考察ができるようになることを目標にして下さい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

資料をプロジェクタで投影して解説していきます。投影する資料と簡単な解説文のpdfファイルを授業支援システムにアップロードする予定です。

高校などにおける理系科目の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。

授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義計画と概要についての説明。
第2回	エネルギーの基礎	エネルギーの定義や単位、エネルギー変換についての概説。
第3回	電子の発見	ふたつの原子を結びつける電子の働きについて。
第4回	電子と電気	電磁誘導と発電機の仕組みについて。
第5回	同位体と原子の壊変	原子核の壊変と放射線について。
第6回	原子力発電	核分裂連鎖反応について。
第7回	原子爆弾と核融合	ウラン濃縮や臨界について。
第8回	光と電子のエネルギー	電磁波の性質と光量子仮説について。
第9回	化学結合のエネルギー	化学結合が形成されるしくみと、物質の持つエネルギーについて。
第10回	有機化合物	炭素原子を含む化学物質の構造。
第11回	エネルギー物質	燃焼によって発生するエネルギーと、爆薬の化学構造、爆発事故について。
第12回	燃料電池	水素分子と酸素分子から得られるエネルギーについて。
第13回	元素の循環	物質変化に伴うエネルギーの吸収と放出について。

第14回 まとめ

これまでの内容の復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍やWeb検索などで調査してみてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。授業毎に資料を配布します。

【参考書】

使用しません。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに毎回5問程度の正誤問題などを出題します。この成績を平常点とします(配分40%)。期末試験の結果(配分60%)と平常点をあわせて成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

化学の学習に不安を持つ学生のために、高校の学習範囲を予備知識として必要としない内容を心掛けています。また、高校で理系科目を多く履修した人も気づきが得られるように、なるべく身の回りの現象を題材にしています。

【Outline (in English)】

This course introduces fundamental principles of familiar natural phenomena. The goals of this course are to understand about energy and to improve your scientific literacy.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：環境の科学

向井 知大

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

環境問題の解決には、その原因となる材料や燃料の使用規制が提案されます。しかし、現在の我々の豊かな生活は、これらに支えられている側面もあります。この授業では、現在の生活を支える科学技術に対する理解を深め、環境問題の原因とその解決のために必要な科学技術について学んでいきます。

【到達目標】

自然現象や環境問題について原子や分子のレベルで理解し、科学的な思考で物事を説明する能力を高めることを目標とします。また、自然科学そのものに対する興味関心を高めることも目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

資料をプロジェクトで投影して解説していきます。投影する資料は授業支援システムで配布する予定です。高校などにおける自然科学系科目の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	講義概要、授業の進め方など	この講義の概要と、これからの授業の進め方、注意点等について説明します。
第2回	日本の過去の公害事例	明治から現代までの環境問題について。
第3回	化学の基礎	原子の結合と、有機化合物の構造、性質について。
第4回	触媒	化学反応を促進する触媒の原理について。
第5回	排ガスの清浄化	汚染物質を分解する仕組みについて。
第6回	触媒の活用	優れた機能を持つ材料や燃料、肥料などを作るための触媒について。
第7回	温室効果ガス	二酸化炭素やその他気体の温室効果のメカニズムについて。
第8回	二酸化炭素の利用	二酸化炭素の回収とその利用について。
第9回	高分子	天然の高分子と人工高分子について。
第10回	海洋プラスチック問題	プラスチックごみやマイクロプラスチックの問題点について。
第11回	バイオプラスチック	自然界で分解されやすいプラスチックの構造と機能について。

第12回	原子力発電	核分裂反応で生じる放射性物質について。
第13回	放射線と生体	放射線の種類や生体に及ぼす影響について。
第14回	まとめ	全般的な振り返りを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍やweb検索などで調査してみてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に使いません、毎週資料を学習支援システム上で配布します。

【参考書】

気になるキーワードを図書館やWebで検索してみてください。必要に応じて授業内で紹介することも可能です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに毎回5問程度の正誤問題とまとめを出題します。この成績を平常点とします(配分40%)。期末試験の結果(配分60%)と平常点をあわせて成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

現象の原理を理解するには化学は必須ですが、その範囲は限定し、身近なものを例に挙げるよう気をつけています。

【Outline (in English)】

This course introduces the principles of the science and technology that support our current life. By the end of the course, students should be able to understand the causes of environmental issues and the scientific technologies necessary to resolve them.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

CHM200LA（その他の化学 / Chemistry 200）

教養化学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：環境の科学

西村 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現在、地球は様々な問題に直面しています。例えば気候変動、エネルギー問題、環境汚染などです。これらの問題を解決するには、その問題点をメカニズムから理解することが大切です。そのためには基本的な化学の理解が必須となります。本講座は身近な問題を考え、自分で判断できることを最終目的としますが、まずはこれに必須な化学の知識を身につけてもらうことを目的とします。

【到達目標】

身近な問題を考え、自分で判断できることを最終目的とします。授業では主に問題提起を行い、化学的なメカニズムを示します。最終的に、その解決策を自分の頭で考えてもらうことを目的としています。テストはそのような意図で作成します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

始めの2回は基本的な化学を学びます。その後は様々なトピックを取り上げて化学的な見地から説明する予定です。授業の合間にQRコードを読み取ってもらう形式のクイズを出します。

また、毎回授業後に提出してもらっている課題に対して、皆で共有すべきものは授業中にまとめてコメントを返答しています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
No.1	イントロダクション	授業の進め方の説明。
No.2	化学基礎1	これからの講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.3	化学基礎2	これからの講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.4	小テスト	これまでの学習を振り返る
No.5	環境問題-概要	これまでの質問回答。環境問題概要とプラネタリーバウンダリーについて
No.6	環境問題-オゾン層破壊と大気汚染	気体が関係する環境問題について
No.7	環境問題-温室効果	温室効果ガスとは何か、またその環境に対する影響
No.8	環境問題-水質汚染	水の汚染と水の浄化
No.9	環境問題-ごみ問題	ごみ問題とリサイクル
No.10	小テスト	これまでの学習を振り返る
No.11	身近な化学-エネルギー	現在と未来のエネルギー生産法に関して
No.12	身近な化学-洗剤と添加物	洗剤の成分と使い方の注意。食品に含まれている各種添加物の化学
No.13	身近な化学-化粧品	化粧品の成分、有効成分の化学成分

No.14 テスト

最終テスト

試験範囲は化学基礎を含む全授業範囲です。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習する必要はありません。授業後に興味を持った内容を自分で調べて学習した内容の理解を深めてもらいたいと思っています。この復習に2時間程度充てることが望ましいです。それを授業後のレポートとして提出してください。

【テキスト（教科書）】

ありません。必要に応じて資料となるPDFファイルをHoppiiにUPします。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

授業中に出す課題(20%)、授業後のレポート(40%)、2回の小テスト(20%)、最終テスト(20%)を総合的に評価します。授業中に出す課題は出欠確認の意味を含めています。成績は、「どれだけ自分の頭で考えているのか」を評価しています。テストの成績だけで成績は決まりません。

【学生の意見等からの気づき】

「私たち文系なので、わかりやすく教えてください」とコメントいただくので、わかりやすく、急がずに授業を進めていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業中にQRコードを読み取ってもらいますので、スマホなどのQRコードが読み取れるデバイスを持参してください。

【その他の重要事項】

希望者が多かった場合、抽選を行う予定です。

【Outline (in English)】

Today, the world faces a wide range of problems. For example, climate change, energy problems and environmental pollution. To solve these problems, it is important to understand them from their mechanisms. For this, an understanding of basic chemistry is essential. The ultimate aim of this course is to enable students to think about familiar problems and make their own decisions, but the first aim is to give them the chemical knowledge that is essential for this.

At the beginning, you will be tested on how much chemical knowledge you have, and the results will determine the content of the first three weeks of the class. Thereafter, a variety of topics will be covered and explained from a chemical perspective. In between classes, there will be a quiz in the form of a QR code to be scanned.

Grading will be based on a combination of in-class assignments (20%), after-class reports (40%), two quizzes (20%) and a final test (20%). Assignments given in class include the meaning of attendance confirmation.

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：エネルギーの科学

伊藤 晋平

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

産業革命以降、科学技術の進歩に伴い人類は物質及びエネルギーを利用し、繁栄してきた。一方で、地球規模で環境問題を引き起こしている。この講義では、エネルギーに関連する環境問題、特に地球温暖化及び原子力を取り扱い、なぜ科学的に問題が起こるのか、解決するために何をすべきかを考察・議論できるようになることが目的です。そのためには基本的な化学の理解が必須となりますので、関連する化学の知識を理解することも同時に目的となります。

【到達目標】

- 1, 原子・分子・物質の性質・化学量論について化学的に説明できる。
- 2, 原子力発電・温室効果・エネルギーの性質について科学的に説明できる。
- 3, エネルギーに関する環境問題について、その科学的要因や社会的要因を考察できる。
- 4, エネルギーに関する環境問題について、自身の意見を説明し、他者の意見を踏まえながら議論できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は、資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。毎回、練習問題を課しますので、それらを通してより理解が深めてください。また、授業の前半では化学的知識に関する問題を、後半では、環境問題に関連したグループディスカッションを演習として行います。演習のフィードバックは、学習支援システムを介して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業計画と学習の仕方について講義する。
第2回	化学の基礎（1）	物質の基本単位である原子・分子について学習する。
第3回	化学の基礎（2）	物質の種類・性質について学習する。
第4回	化学の基礎（3）	化学量論（物質質量）について学習する。
第5回	化学の基礎（4）	化学反応・化学反応式および熱について学習する。
第6回	化学の基礎（5）	放射性同位体・放射線・半減期など原子核反応について学習する。
第7回	まとめ（1）	これまで学んだ化学的事項についてテストとまとめを行う。

第8回	エネルギーと人類	現代文明で大きな役割を果たしてきたエネルギーについて学習する。
第9回	地球温暖化（1）	地球温暖化の科学的原因について学習する。
第10回	地球温暖化（2）	地球温暖化の影響・これからの予測を学習する。
第11回	原子力発電（1）	原子力発電所について科学的に学習する。
第12回	原子力発電（2）	原子力発電特に、放射性廃棄物の処理について学習する。
第13回	まとめ（2）	日本の今後のエネルギー利用について考える。
第14回	期末テスト	本授業のまとめおよびテストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行ってください。

【テキスト（教科書）】

高校で化学を選択しなかった学生は、下記の書籍を必ず購入してください。

書名：物質科学の基礎としての化学入門

著者名：大学の基礎化学教育研究会

出版社：学術図書出版

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。

書名：環境の科学

著者名：中田昌宏、笠嶋義夫

出版者名：三共出版

【成績評価の方法と基準】

授業中の毎回の演習 50%

テスト（2回） 50%

合計 100%

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用します。PCやタブレット端末等、必要な機器を準備しておく必要があります。

【Outline (in English)】

[Course outline]

The purpose is to address environmental issues related to energy—particularly global warming and nuclear power—and to develop the ability to examine why these problems occur from a scientific perspective and what should be done to solve them. To achieve this, a basic understanding of chemistry is essential, so gaining an understanding of the relevant chemical knowledge is also an objective.

[Learning Objectives]

1.At the end of the course, students are expected to the properties of atoms, molecules, and substances, as well as stoichiometry, from a chemical perspective.

2.At the end of the course, students are expected to nuclear power generation, the greenhouse effect, and the properties of energy from a scientific perspective.

3.At the end of the course, students are expected to examine the scientific and social factors underlying environmental issues related to energy.

4.At the end of the course, students are expected to explain one's own views on energy-related environmental issues and engage in discussion while considering the opinions of others.

[Learning activities outside of classroom]

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content

[Grading Criteria /Policy]

test 50% Short reports 50%

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：薬の科学

向井 知大

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

先史時代から人類は様々な植物から薬効を見出し、痛みや苦しみを軽減してきました。現代の薬は分子レベルで設計、開発されています。様々な薬の開発は、人類の寿命を大きく伸ばし、医学の発展に大きく寄与してきました。この授業では、薬とはどのようなものか、人体にどのような働きをするのか、薬はどのように開発されるかなど、薬の原理について有機化学を用いて紹介していきます。

【到達目標】

薬の働きについての学習を通して、タンパク質や低分子有機化合物の構造式を身近なものにし、有機化合物の性質を左右する構造的特徴について理解することを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

資料をプロジェクトで投影して解説していきます。投影する資料と簡単な解説文を授業支援システムにアップロードする予定です。高校での理系科目の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義計画と概要、学習方法について説明。
第2回	薬の歴史	古代から現代までの薬、薬を作ることができるようになったきっかけについて。
第3回	有機化学の基礎	有機化合物の構造や性質について。
第4回	DNAとタンパク質	アミノ酸の化学構造と、タンパク質やDNAの立体構造について。
第5回	酵素と代謝	タンパク質や炭水化物などを分解、合成する酵素について。
第6回	栄養の化学	ビタミンの働きについて。
第7回	生活習慣病の薬	糖尿病と脂質異常症の薬について。
第8回	抗炎症薬①	非ステロイド薬とステロイド薬の作用機序について。
第9回	抗炎症薬②	花粉症などアレルギーの薬、抗ヒスタミン薬の分子設計と、副作用改善について。
第10回	抗菌薬	抗生物質と化学療法薬が病原細菌に強く作用する機序について。

第11回	抗ウイルス薬	インフルエンザやエイズ、新型コロナウイルスの特徴と、その薬について。
第12回	抗がん薬	様々な抗がん薬の働きと、副作用を軽減する試みについて。
第13回	抗うつ薬と危険ドラッグ	脳で働く生体物質や薬の働きについて。
第14回	まとめ	これまでの内容の復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍やweb検索などで調査してみてください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。授業で使用する資料を授業支援システムで配布します。

【参考書】

使用しません。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに毎回5問程度の正誤問題と簡単なまとめを出題します。この成績を平常点とします(配分40%)。期末試験の結果(配分60%)と平常点をあわせて成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

高校で化学を履修していることを前提にはしていません。しかし、薬の理解には化学だけでなく理系全般の幅広い知識を必要とするため、難しく感じる内容も含まれると思います。そのため、発展的な内容を話す場合は、最低限理解して欲しい内容とはっきり区別するようにしています。また、高校で理系科目を多く履修した人も気づきが得られるように、服用する機会の多い薬や、最近認可された薬も題材にしています。質問は学習支援システムでも受け付けていますが、授業中にも時間を取るようにする予定です。

【Outline (in English)】

Pharmaceutics has extended the human lifespan and has greatly contributed to the development of medical science. This course introduces the basic principles of medical supplies using organic chemistry.

The goals of this course are to understand about organic compounds and to improve your scientific literacy.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：環境の科学

伊藤 晋平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

産業革命以降、科学技術の進歩に伴い人類は物質及びエネルギーを利用し、繁栄してきた。一方で、地球規模で環境問題を引き起こしている。この講義では、物質に関連する環境問題、特にオゾン層の破壊、水俣病等を取り扱い、なぜ科学的に問題が起こるのか、解決するために何をすべきかを考察・議論できるようになることが目的です。そのためには基本的な化学の理解が必須となりますので、関連する化学の知識を理解することも同時に目的となります。

【到達目標】

- 1, 原子の電子配置・物質の結合の特徴・光の性質および光反応について化学的に説明できる。
- 2, オゾン層の破壊・水俣病・薬害について科学的に説明できる。
- 3, 物質に関する環境問題について、その科学的要因や社会的要因を考察できる。
- 4, 物質に関する環境問題について、自身の意見を説明し、他者の意見を踏まえながら議論できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は、資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。毎回、練習問題を課しますので、それらを通してより理解が深めてください。また、授業の前半では化学的知識に関する問題を、後半では、環境問題に関連したグループディスカッションを演習として行います。演習のフィードバックは、学習支援システムを介して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業計画と学習の仕方について講義する。
第2回	化学の基礎（1）	教養化学LAで学習した物質・原子・化学量論の復習を行う。
第3回	化学の基礎（2）	原子の電子配置について学習する。
第4回	化学の基礎（3）	化学結合（金属・イオン結晶）について学習する。
第5回	化学の基礎（4）	化学結合（分子・共有結晶）について学習する。
第6回	化学の基礎（5）	光・光反応・色と物質について学習する。
第7回	まとめ（1）	これまで学んだ化学的事項についてテストとまとめを行う。

第8回	オゾン層の破壊（1）	オゾン層の破壊の科学的原因について学習する。
第9回	オゾン層の破壊（2）	オゾン層の破壊の影響・経過・社会的要因を学習する。
第10回	水俣病（1）	水俣病の科学的原因について学習する。
第11回	水俣病（2）	水俣病の影響・経過・社会的要因を学習する。
第12回	薬害と汚染物質（1）	薬害（サリドマイド）や環境汚染物質について要因・各国の対応について学習する。
第13回	まとめ（2）	人類の物質の利用についてどのようにすればよいのかをみなさんで考える。
第14回	期末テスト	本授業のまとめおよびテストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行ってください。

【テキスト（教科書）】

高校で化学を選択しなかった学生は、下記の書籍を必ず購入してください。

書名：物質科学の基礎としての化学入門

著者名：大学の基礎化学教育研究会

出版社：学術図書出版

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。

書名：環境の科学

著者名：中田昌宏、笠嶋義夫

出版者名：三共出版

【成績評価の方法と基準】

授業中の毎回の演習 50%

テスト（2回） 50%

合計 100%

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用します。PCやタブレット端末等、必要な機器を準備しておく必要があります。

【Outline (in English)】

[Course outline]

The purpose is to address environmental issues related to ozone layer problem and minamata disease to develop the ability to examine why these problems occur from a scientific perspective and what should be done to solve them. To achieve this, a basic understanding of chemistry is essential, so gaining an understanding of the relevant chemical knowledge is also an objective.

[Learning Objectives]

1.At the end of the course, students are expected to the properties of atoms, molecules, and substances, as well as stoichiometry, from a chemical perspective.

2.At the end of the course, students are expected to ozone layer, minamata disease, and drug disaster from a scientific perspective.

3.At the end of the course, students are expected to examine the scientific and social factors underlying environmental issues related to material.

4.At the end of the course, students are expected to explain one's own views on material-related environmental issues and engage in discussion while considering the opinions of others.

[Learning activities outside of classroom]

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content

[Grading Criteria /Policy]

test 50% Short reports 50%

SHS200LA（科学社会学・科学技術史 / Sociology/History of science and technology 200）

科学論 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

安東 祐希

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

ILAC科目としての定員は25名

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「極限」について学ぶ。例をひとつ考えよう。9分の1を小数で表してみると、実際に1割る9を計算して、0.1111...となる。つまり $1/9=0.1111...$ である。この両辺をそれぞれ9倍すると、 $1=0.9999...$ となるが、これは成り立つのだろうか。0.9999...は1に限りなく近づいてゆくにしても、1そのものではないように思える。いくら近づいても1にはならず、この式は成り立たないのでは。といった疑問を持つかもしれない。この春学期科目では、極限の概念が数学的にどのように定義されるのか、またそこから何を示せるか、学んでゆく。

【到達目標】

次のような疑問に対して答えることができる。

・「限りなく近づく」とはどういうことか。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回、授業中にいくつかの例題を解く。例題を考える際、わからない点などは積極的に質問してほしい。なお、内容を理解するためには、自ら問題練習に取り組むことが重要である。また、授業のはじめには前回の復習問題を解く時間があり、その解答は解説に従って自己添削のうえ、授業内レポートとして提出をする。（「課題」である授業内レポートは、次の授業時間に個別返却することで「フィードバック」する。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	限りなく近づく？	春学期の概要説明
第2回	動いてゆく「数」	数列の定義
第3回	大きくなる、小さくなる	単調数列
第4回	範囲がある	有界数列
第5回	限りなく近づく（再考）	ε -N論法
第6回	0.9999...	小数表現
第7回	$0.9999...=1$	有理数列と極限值
第8回	$1.4142...=?$	実数
第9回	数列の一般化	実数値関数
第10回	関数値の極限	ε - δ 論法
第11回	つながったグラフ	連続関数
第12回	平面上で近づく	2変数関数の極限
第13回	関数の列	各点収束と一様収束
第14回	春学期のまとめ	総復習の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。なお、予復習時間の標準は4時間である。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

授業は自己完結する形で進むので、参考書は特に必要とされるわけではない。なお、さらに学習する際は、例えば次にあげる書籍などが参考となる。

・高木貞治『定本 解析概論』（岩波書店）2010年〔改訂第3版 1961年〕
・宮島静雄『 ε - δ 論法と数学の基礎』（近代科学社）2024年

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を授業内レポート（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

質問しやすい授業環境としたい。

【Outline (in English)】

[Course outline]

This course deals with the mathematical notion "limit", especially the limit of sequences and that of functions.

[Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to answer the following questions:

-How can we define "convergence" in mathematics?

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to do exercises with many sheets of paper. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policies]

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (60%) and quizzes in class (40%).

SHS200LA（科学社会学・科学技術史 / Sociology/History of science and technology 200）

科学論 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

安東 祐希

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

ILAC科目としての定員は25名

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「構造」について学ぶ。ここでいう構造とは、集合すなわちモノの集まりに演算を定義して得られる数学的構造である。例えば犬、猿、雉、桃からなる集合に、演算「足す（+）」を、犬+猿は雉、犬+雉は桃などと定めて作ってゆることができる。数学的構造は、文化人類学における構造の考察にも用いられた。実際、レヴィ＝ストロースとアンドレ・ヴェイユとの対話が知られている。この秋学期科目では、「群」とよばれる数学的構造を学び、構造とは何かについて理解することを目指す。

【到達目標】

群論に現われる基本的定理のいくつかを証明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回、授業中にいくつかの例題を解く。例題を考える際、わからない点などは積極的に質問してほしい。なお、内容を理解するためには、自ら問題練習に取り組むことが重要である。また、授業のはじめには前回の復習問題を解く時間があり、その解答は解説に従って自己添削のうえ、授業内レポートとして提出をする。（「課題」である授業内レポートは、次の授業時間に個別返却することで「フィードバック」する。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ここでの「構造」	秋学期の概要説明
第2回	モノと作用	集合と演算
第3回	あみだくじ	群の例
第4回	割ったときの余り	剰余系
第5回	カッコの付け方	結合律
第6回	イチと割り算	単位元と逆元
第7回	重要な構造	群の定義
第8回	一対一対応	置換
第9回	一対一対応たちの構造	置換群
第10回	一部で閉じる	部分群
第11回	作り出せる範囲	生成元
第12回	あみだくじ再考	互換
第13回	『親族の基本構造』から	置換群の応用
第14回	秋学期のまとめ	総復習の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。なお、予復習時間の標準は4時間である。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

授業は自己完結する形で進むので、参考書は特に必要とされるわけではない。なお、さらに学習する際は、例えば次にあげる書籍などが参考となる。

・原隆『手を動かしてまなぶ 群論』（裳華房）2024年
・クロード・レヴィ＝ストロース（福井和美 [訳]）『親族の基本構造』（青弓社）2000年

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60％）において、また、演習問題への取り組み具合を授業内レポート（40％）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

質問しやすい授業環境としたい。

【Outline (in English)】

[Course outline]

This course deals with a mathematical structure called "group".

[Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to prove some elementary theorems in group theory.

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to do exercises with many sheets of paper. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policies]

Final grade will be calculated according to the following process:
Term-end examination (60%) and quizzes in class (40%).

CHM200LA（その他の化学 / Chemistry 200）

教養化学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：エネルギーの科学

伊藤 晋平

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

産業革命以降、科学技術の進歩に伴い人類は物質及びエネルギーを利用し、繁栄してきた。一方で、地球規模で環境問題を引き起こしている。この講義では、エネルギーに関連する環境問題、特に地球温暖化及び原子力を取り扱い、なぜ科学的に問題が起こるのか、解決するために何をすべきかを考察・議論できるようになることが目的です。そのためには基本的な化学の理解が必須となりますので、関連する化学の知識を理解することも同時に目的となります。

【到達目標】

- 1, 原子・分子・物質の性質・化学量論について化学的に説明できる。
- 2, 原子力発電・温室効果・エネルギーの性質について科学的に説明できる。
- 3, エネルギーに関する環境問題について、その科学的要因や社会的要因を考察できる。
- 4, エネルギーに関する環境問題について、自身の意見を説明し、他者の意見を踏まえながら議論できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は、資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。毎回、練習問題を課しますので、それらを通してより理解が深めてください。また、授業の前半では化学的知識に関する問題を、後半では、環境問題に関連したグループディスカッションを演習として行います。演習のフィードバックは、学習支援システムを介して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業計画と学習の仕方について講義する。
第2回	化学の基礎（1）	物質の基本単位である原子・分子について学習する。
第3回	化学の基礎（2）	物質の種類・性質について学習する。
第4回	化学の基礎（3）	化学量論（物質質量）について学習する。
第5回	化学の基礎（4）	化学反応・化学反応式および熱について学習する。
第6回	化学の基礎（5）	放射性同位体・放射線・半減期など原子核反応について学習する。
第7回	まとめ（1）	これまで学んだ化学的事項についてテストとまとめを行う。

第8回	エネルギーと人類	現代文明で大きな役割を果たしてきたエネルギーについて学習する。
第9回	地球温暖化（1）	地球温暖化の科学的原因について学習する。
第10回	地球温暖化（2）	地球温暖化の影響・これからの予測を学習する。
第11回	原子力発電（1）	原子力発電所について科学的に学習する。
第12回	原子力発電（2）	原子力発電特に、放射性廃棄物の処理について学習する。
第13回	まとめ（2）	日本の今後のエネルギー利用について考える。
第14回	期末テスト	本授業のまとめおよびテストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行ってください。

【テキスト（教科書）】

高校で化学を選択しなかった学生は、下記の書籍を必ず購入してください。

書名：物質科学の基礎としての化学入門

著者名：大学の基礎化学教育研究会

出版社：学術図書出版

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。

書名：環境の科学

著者名：中田昌宏、笠嶋義夫

出版者名：三共出版

【成績評価の方法と基準】

授業中の毎回の演習 50%

テスト（2回） 50%

合計 100%

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用します。PCやタブレット端末等、必要な機器を準備しておく必要があります。

【Outline (in English)】

[Course outline]

The purpose is to address environmental issues related to energy—particularly global warming and nuclear power—and to develop the ability to examine why these problems occur from a scientific perspective and what should be done to solve them. To achieve this, a basic understanding of chemistry is essential, so gaining an understanding of the relevant chemical knowledge is also an objective.

[Learning Objectives]

1.At the end of the course, students are expected to the properties of atoms, molecules, and substances, as well as stoichiometry, from a chemical perspective.

2.At the end of the course, students are expected to nuclear power generation, the greenhouse effect, and the properties of energy from a scientific perspective.

3.At the end of the course, students are expected to examine the scientific and social factors underlying environmental issues related to energy.

4.At the end of the course, students are expected to explain one's own views on energy-related environmental issues and engage in discussion while considering the opinions of others.

[Learning activities outside of classroom]

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content

[Grading Criteria /Policy]

test 50% Short reports 50%

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：環境の科学

伊藤 晋平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

産業革命以降、科学技術の進歩に伴い人類は物質及びエネルギーを利用し、繁栄してきた。一方で、地球規模で環境問題を引き起こしている。この講義では、物質に関連する環境問題、特にオゾン層の破壊、水俣病等を取り扱い、なぜ科学的に問題が起こるのか、解決するために何をすべきかを考察・議論できるようになることが目的です。そのためには基本的な化学の理解が必須となりますので、関連する化学の知識を理解することも同時に目的となります。

【到達目標】

- 1, 原子の電子配置・物質の結合の特徴・光の性質および光反応について化学的に説明できる。
- 2, オゾン層の破壊・水俣病・薬害について科学的に説明できる。
- 3, 物質に関する環境問題について、その科学的要因や社会的要因を考察できる。
- 4, 物質に関する環境問題について、自身の意見を説明し、他者の意見を踏まえながら議論できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は、資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。毎回、練習問題を課しますので、それらを通してより理解が深めてください。また、授業の前半では化学的知識に関する問題を、後半では、環境問題に関連したグループディスカッションを演習として行います。演習のフィードバックは、学習支援システムを介して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業計画と学習の仕方について講義する。
第2回	化学の基礎（1）	教養化学LAで学習した物質・原子・化学量論の復習を行う。
第3回	化学の基礎（2）	原子の電子配置について学習する。
第4回	化学の基礎（3）	化学結合（金属・イオン結晶）について学習する。
第5回	化学の基礎（4）	化学結合（分子・共有結晶）について学習する。
第6回	化学の基礎（5）	光・光反応・色と物質について学習する。
第7回	まとめ（1）	これまで学んだ化学的事項についてテストとまとめを行う。

第8回	オゾン層の破壊（1）	オゾン層の破壊の科学的原因について学習する。
第9回	オゾン層の破壊（2）	オゾン層の破壊の影響・経過・社会的要因を学習する。
第10回	水俣病（1）	水俣病の科学的原因について学習する。
第11回	水俣病（2）	水俣病の影響・経過・社会的要因を学習する。
第12回	薬害と汚染物質（1）	薬害（サリドマイド）や環境汚染物質について要因・各国の対応について学習する。
第13回	まとめ（2）	人類の物質の利用についてどのようにすればよいのかをみなさんで考える。
第14回	期末テスト	本授業のまとめおよびテストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行ってください。

【テキスト（教科書）】

高校で化学を選択しなかった学生は、下記の書籍を必ず購入してください。

書名：物質科学の基礎としての化学入門

著者名：大学の基礎化学教育研究会

出版社：学術図書出版

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。

書名：環境の科学

著者名：中田昌宏、笠嶋義夫

出版者名：三共出版

【成績評価の方法と基準】

授業中の毎回の演習 50%

テスト（2回） 50%

合計 100%

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用します。PCやタブレット端末等、必要な機器を準備しておく必要があります。

【Outline (in English)】

[Course outline]

The purpose is to address environmental issues related to ozone layer problem and minamata disease to develop the ability to examine why these problems occur from a scientific perspective and what should be done to solve them. To achieve this, a basic understanding of chemistry is essential, so gaining an understanding of the relevant chemical knowledge is also an objective.

[Learning Objectives]

1.At the end of the course, students are expected to the properties of atoms, molecules, and substances, as well as stoichiometry, from a chemical perspective.

2.At the end of the course, students are expected to ozone layer, minamata disease, and drug disaster from a scientific perspective.

3.At the end of the course, students are expected to examine the scientific and social factors underlying environmental issues related to material.

4.At the end of the course, students are expected to explain one's own views on material-related environmental issues and engage in discussion while considering the opinions of others.

[Learning activities outside of classroom]

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content

[Grading Criteria /Policy]

test 50% Short reports 50%

HSS200LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200）		
健康の科学 L A		2017年度以降入学者
サブタイトル：Health Sciences LA		
笹井 浩行		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月4/Mon.4		
単位数：2単位		
その他属性：〈優〉		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 大学生は、不健康な食習慣、身体活動不足、長時間の座位行動、睡眠の質の低下、過度の飲酒、喫煙、薬物使用など、多様な健康リスクに直面している。これらの行動は、将来の生活習慣病やメンタルヘルス不調の基盤となり得るだけでなく、現在の学業成績や生活の質にも影響を及ぼす。本授業では、健康を単なる「病気でない状態」としてではなく、身体的・精神的・社会的側面を含む包括的概念として捉え、科学的根拠に基づいて理解することを目的とする。 具体的には、食事、身体活動、体重管理、睡眠、メンタルヘルス、アルコール、喫煙、薬物といった主要テーマについて、疫学的知見や基礎概念（エネルギー収支、METs等）を学び、自身の生活習慣を客観的に定量的に捉える視点を養う。また、座位行動やヘルスリテラシーなど、現代社会特有の健康課題についても扱い、日常生活に応用可能な知識と実践力を身につける。 さらに、本授業では、マスメディアやインターネット上に氾濫する健康情報の中から信頼性の高い情報を選別し、統計や研究結果を批判的に読み解く力を育成する。健康に関する論文や記事を要約し、論理的に発表する活動を通して、科学的思考力および表現力の向上も目指す。 本授業の最終的な目的は、健康に関する知識の習得にとどまらず、科学的根拠に基づいて自己の行動を振り返り、将来にわたり主体的に健康を管理できる態度と能力を涵養することである。 【到達目標】 本授業を修了した学生は、以下を達成できる。 1. 健康の概念および主要な生活習慣（食事、身体活動、睡眠など）と健康との関連を説明できる。 2. 大学生に多い健康リスク（アルコール、喫煙、薬物、性行動など）の影響を理解し、適切に説明できる。 3. エネルギー収支やMETsなどの基礎概念を用いて、自身の生活習慣を科学的に捉えることができる。 4. メディアやインターネット上の健康情報の信頼性を評価し、適切に解釈できる。 5. 健康に関する論文や記事の内容を要約し、論理的に発表できる。 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1 【主な授業方法】 L 講義 /Lecture 【授業の進め方と方法】 講義に加え、学生自身による生活習慣の振り返りや発表を織り交ぜて進める。発表に対しては、その場での教員、学生による議論を通じてフィードバックを行う。 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No 【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
2	大学生生活における健康リスク	大学生世代にみられる主な健康リスクや課題について概説する。
3	健康的な食生活	食事摂取基準、三大栄養素・微量栄養素、PFC バランス、日本版食事バランスガイドについて学ぶ。
4	運動と身体活動	運動および身体活動の定義、総エネルギー消費量とその構成要素、メッツ（METs）の概念を理解する。
5	座位行動	座位行動の定義、健康への悪影響、および座位時間を減らすための方策について学ぶ。
6	体重管理	過体重・肥満の健康リスク、エネルギー制限の基本原則、減量および体重維持の方法について理解する。
7	睡眠	適切な睡眠時間、睡眠パターンの測定方法、睡眠の質と健康との関連、および良好な睡眠のための実践的な方法を学ぶ。
8	メンタルヘルス	代表的な精神疾患、自殺予防、ストレスマネジメントについて扱う。
9	アルコール摂取	アルコールと健康の関係、適量飲酒の考え方、および一気飲み
10	喫煙	喫煙の健康影響、喫煙形態、受動喫煙、およびたばこ対策について学ぶ。
11	薬物乱用	違法薬物や危険ドラッグの種類、薬物乱用および依存の問題について扱う。
12	ヘルスリテラシー	健康情報の読み解き方、およびインターネット上の情報を適切に検索・評価する方法について学ぶ。
13	最終発表 1	学生が人の健康に関連する論文や記事を選び、その内容について発表する。
14	最終発表 2	学生が人の健康に関連する論文や記事を選び、その内容について発表する。
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 本授業における準備学習および復習時間は、それぞれ2時間を標準とする。授業で取り上げる健康に関するトピックについては、あらかじめ新聞記事やニュース等を探して読み、理解を深めること。また、スマートフォン等を活用して自身の生活習慣を記録・振り返り、その内容を他者に分かりやすく伝える発表資料を作成する宿題を課す。 【テキスト（教科書）】 特になし。適宜、資料を配布する。 【参考書】 特になし。 【成績評価の方法と基準】 平常点40%、宿題30%、最終プレゼンテーションまたはレポート30%。 【学生の意見等からの気づき】 授業内容は、学生の意見や理解度に応じて微調整する場合があります。 【学生が準備すべき機器他】 スマートフォンを活用して自身の生活習慣を記録・振り返り、その内容を他者に分かりやすく伝える発表資料を作成する宿題を課します。そのため、スマートフォンおよびPowerPoint等のプレゼンテーションソフトが必要です。 【その他の重要事項】 授業への積極的な参加を強く推奨します。 【Outline (in English)】 【Course Outline】		
回	テーマ	内容
1	オリエンテーションと健康の定義	本授業の概要および成績評価方法を説明し、世界保健機関（WHO）による健康の定義について学ぶ。

University students are often exposed to various health risks, including poor nutritional habits, physical inactivity, prolonged sedentary behavior, sleep deprivation, and substance use. This course introduces the scientific foundations of health promotion and examines the impact of lifestyle behaviors on both physical and mental well-being. Students will explore core concepts such as energy balance, metabolic equivalents (METs), weight management, sleep hygiene, and health literacy. Furthermore, the course emphasizes the development of critical thinking skills to evaluate health information from media and digital sources, enabling students to apply evidence-based knowledge to their daily lives.

【Learning Objectives】

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Define the multifaceted concept of health and explain the correlation between lifestyle behaviors and long-term health outcomes.
- 2) Identify prevalent health risks within the university population and assess their physiological and psychological consequences.
- 3) Utilize quantitative and qualitative tools (e.g., energy balance equations, METs) to analyze personal lifestyle data.
- 4) Critically appraise the credibility of health-related information found in popular media and academic literature.
- 5) Communicate health research findings through structured presentations and logical discourse.

【Learning Activities Outside of Classroom】

Students are expected to dedicate approximately two hours each to weekly preparation and review.

Preparation: Reading assigned articles or analyzing media coverage related to upcoming lecture topics.

Reflection & Data Collection: Tracking personal lifestyle behaviors using digital tools and preparing data-driven observations for class discussion.

Review: Synthesizing lecture materials and refining presentation content to demonstrate comprehensive understanding.

【Grading Criteria / Policy】

Final grades will be determined based on the following:

-Class Participation and Engagement: 40%

-Assignments: 30% (Including lifestyle tracking logs and preparatory tasks)

-Final Assessment: 30% (Individual presentation or comprehensive written report)

Note: Active participation, critical thinking, and the ability to clearly communicate health-related information are essential for achieving a high grade.

HSS200LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200）		
健康の科学 L B		2017年度以降入学者
サブタイトル：Health Sciences LB		
笹井 浩行		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月4/Mon.4		
単位数：2単位		
その他属性：〈優〉		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 大学生は、不健康な食習慣、身体活動不足、長時間の座位行動、睡眠の質の低下、過度の飲酒、喫煙、薬物使用など、多様な健康リスクに直面している。これらの行動は、将来の生活習慣病やメンタルヘルス不調の基盤となり得るだけでなく、現在の学業成績や生活の質にも影響を及ぼす。本授業では、健康を単なる「病気でない状態」としてではなく、身体的・精神的・社会的側面を含む包括的概念として捉え、科学的根拠に基づいて理解することを目的とする。 具体的には、食事、身体活動、体重管理、睡眠、メンタルヘルス、アルコール、喫煙、薬物といった主要テーマについて、疫学的知見や基礎概念（エネルギー収支、METs等）を学び、自身の生活習慣を客観的に定量的に捉える視点を養う。また、座位行動やヘルスリテラシーなど、現代社会特有の健康課題についても扱い、日常生活に応用可能な知識と実践力を身につける。 さらに、本授業では、マスメディアやインターネット上に氾濫する健康情報の中から信頼性の高い情報を選別し、統計や研究結果を批判的に読み解く力を育成する。健康に関する論文や記事を要約し、論理的に発表する活動を通して、科学的思考力および表現力の向上も目指す。 本授業の最終的な目的は、健康に関する知識の習得にとどまらず、科学的根拠に基づいて自己の行動を振り返り、将来にわたり主体的に健康を管理できる態度と能力を涵養することである。 【到達目標】 本授業を修了した学生は、以下を達成できる。 1. 健康の概念および主要な生活習慣（食事、身体活動、睡眠など）と健康との関連を説明できる。 2. 大学生に多い健康リスク（アルコール、喫煙、薬物、性行動など）の影響を理解し、適切に説明できる。 3. エネルギー収支やMETsなどの基礎概念を用いて、自身の生活習慣を科学的に捉えることができる。 4. メディアやインターネット上の健康情報の信頼性を評価し、適切に解釈できる。 5. 健康に関する論文や記事の内容を要約し、論理的に発表できる。 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1 【主な授業方法】 L 講義 /Lecture 【授業の進め方と方法】 講義に加え、学生自身による生活習慣の振り返りや発表を織り交ぜて進める。発表に対しては、その場での教員、学生による議論を通じてフィードバックを行う。 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No 【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
2	大学生生活における健康リスク	大学生世代にみられる主な健康リスクや課題について概説する。
3	健康的な食生活	食事摂取基準、三大栄養素・微量栄養素、PFC バランス、日本版食事バランスガイドについて学ぶ。
4	運動と身体活動	運動および身体活動の定義、総エネルギー消費量とその構成要素、メッツ（METs）の概念を理解する。
5	座位行動	座位行動の定義、健康への悪影響、および座位時間を減らすための方策について学ぶ。
6	体重管理	過体重・肥満の健康リスク、エネルギー制限の基本原則、減量および体重維持の方法について理解する。
7	睡眠	適切な睡眠時間、睡眠パターンの測定方法、睡眠の質と健康との関連、および良好な睡眠のための実践的な方法を学ぶ。
8	メンタルヘルス	代表的な精神疾患、自殺予防、ストレスマネジメントについて扱う。
9	アルコール摂取	アルコールと健康の関係、適量飲酒の考え方、および一気飲み
10	喫煙	喫煙の健康影響、喫煙形態、受動喫煙、およびたばこ対策について学ぶ。
11	薬物乱用	違法薬物や危険ドラッグの種類、薬物乱用および依存の問題について扱う。
12	ヘルスリテラシー	健康情報の読み解き方、およびインターネット上の情報を適切に検索・評価する方法について学ぶ。
13	最終発表 1	学生が人の健康に関連する論文や記事を選び、その内容について発表する。
14	最終発表 2	学生が人の健康に関連する論文や記事を選び、その内容について発表する。
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 本授業における準備学習および復習時間は、それぞれ2時間を標準とする。授業で取り上げる健康に関するトピックについては、あらかじめ新聞記事やニュース等を探して読み、理解を深めること。また、スマートフォン等を活用して自身の生活習慣を記録・振り返り、その内容を他者に分かりやすく伝える発表資料を作成する宿題を課す。 【テキスト（教科書）】 特になし。適宜、資料を配布する。 【参考書】 特になし。 【成績評価の方法と基準】 平常点40%、宿題30%、最終プレゼンテーションまたはレポート30%。 【学生の意見等からの気づき】 授業内容は、学生の意見や理解度に応じて微調整する場合があります。 【学生が準備すべき機器他】 スマートフォンを活用して自身の生活習慣を記録・振り返り、その内容を他者に分かりやすく伝える発表資料を作成する宿題を課します。そのため、スマートフォンおよびPowerPoint等のプレゼンテーションソフトが必要です。 【その他の重要事項】 授業への積極的な参加を強く推奨します。 【Outline (in English)】 【Course Outline】		
回	テーマ	内容
1	オリエンテーションと健康の定義	本授業の概要および成績評価方法を説明し、世界保健機関（WHO）による健康の定義について学ぶ。

University students are often exposed to various health risks, including poor nutritional habits, physical inactivity, prolonged sedentary behavior, sleep deprivation, and substance use. This course introduces the scientific foundations of health promotion and examines the impact of lifestyle behaviors on both physical and mental well-being. Students will explore core concepts such as energy balance, metabolic equivalents (METs), weight management, sleep hygiene, and health literacy. Furthermore, the course emphasizes the development of critical thinking skills to evaluate health information from media and digital sources, enabling students to apply evidence-based knowledge to their daily lives.

【Learning Objectives】

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Define the multifaceted concept of health and explain the correlation between lifestyle behaviors and long-term health outcomes.
- 2) Identify prevalent health risks within the university population and assess their physiological and psychological consequences.
- 3) Utilize quantitative and qualitative tools (e.g., energy balance equations, METs) to analyze personal lifestyle data.
- 4) Critically appraise the credibility of health-related information found in popular media and academic literature.
- 5) Communicate health research findings through structured presentations and logical discourse.

【Learning Activities Outside of Classroom】

Students are expected to dedicate approximately two hours each to weekly preparation and review.

Preparation: Reading assigned articles or analyzing media coverage related to upcoming lecture topics.

Reflection & Data Collection: Tracking personal lifestyle behaviors using digital tools and preparing data-driven observations for class discussion.

Review: Synthesizing lecture materials and refining presentation content to demonstrate comprehensive understanding.

【Grading Criteria / Policy】

Final grades will be determined based on the following:

-Class Participation and Engagement: 40%

-Assignments: 30% (Including lifestyle tracking logs and preparatory tasks)

-Final Assessment: 30% (Individual presentation or comprehensive written report)

Note: Active participation, critical thinking, and the ability to clearly communicate health-related information are essential for achieving a high grade.

HSS200LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200）

健康の科学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

谷本 都栄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人生100年時代を迎え人々の生き方が多様化する中で、身体的な健康だけでなく、生きがいや人間の尊厳をも含めた包括的健康、ウェルビーイングの視点が重要になってきている。本講義では、バイオ・サイコ・ソーシャル・ヘルスに関わる様々なトピックスから個人の健康や社会の健康について考え、ライフスキルとしてウェルネスの確立に向けて自ら実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】

- ・健康の概念や健康観の変遷から、健康とは何かについて理解を深める。
- ・ウェルビーイングの視点から、自己の生活の質や地域の課題について考える。
- ・個人及び社会におけるウェルネスの確立に向けて主体的に行動できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・オリジナルテキストや各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
- ・セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
- ・毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第2回	健康観・健康概念の多様化	世界における健康観・健康概念がどのように多様化してきたかについて理解を深める。
第3回	日本における健康観の変遷	日本における健康観・健康概念の変遷について、時代背景を踏まえて理解を深める。
第4回	ホリスティック・ヘルス、ウェルビーイングとは	包括的健康、ウェルビーイングの視点から現代人の心身の健康について考える。
第5回	心身の健康度チェック	自己の身体的・精神的・社会的ストレス状況について主観的・客観的に把握する。
第6回	ストレス特性とストレス対処	自己のストレス特性を知り、ストレス対処のスキルについて学ぶ。
第7回	セルフマネジメント	パーソナリティや行動パターンとストレスの関係、セルフマネジメントについて学ぶ。

第8回	ストレスマネジメント実践編	日常生活で実践しやすいストレスマネジメントの方法について学ぶ。
第9回	メンタルヘルス、心の病	子ども、青少年、働く世代のメンタルヘルス、心の病の予防について学ぶ。
第10回	日本人の生活と健康課題	日本人の生活と健康課題、超高齢社会におけるウェルビーイングについて考える。
第11回	0次予防、健康のための環境づくり	0次予防、健康のための環境づくりの考え方、実践事例について学ぶ。
第12回	ライフサイクルと健康	ライフサイクル、各ライフステージにおける健康課題について理解を深める。
第13回	ライフスタイルと健康	ライフコース、ライフスタイルの多様化とワークライフバランスについて考える。
第14回	まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各2時間を標準とする。
- ・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

- ・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】

- ・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（ワークシート、リアクションペーパー）75%
- ・期末レポート25%

【学生の意見等からの気づき】

- ・各種資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
- ・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
- ・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline (in English)】

【Course outline】

With the 100-Year Life, a life-course has become increasingly dynamic and diversified. Regarding the quality of individual lives, not only physical health but also perspective of holistic health including "ikigai" and human dignity is becoming an important concept. Health Sciences for ways of living is based on the biopsychosocial model, which posits that biological, psychological and social well-being are interactive.

【Learning Objectives】

The program has the following objectives.

- 1.Students deepen their understanding of the field of Health Sciences of body, mind, and spirit.
- 2.Students learn basic theory and specific issues of biopsychosocial health.
- 3.Students put into practice for health promotion in their life and community.

【Learning activities outside of classroom】

- 1.Get information on current health issues from newspapers and news
- 2.Read books related to what you learned in class

【Grading Criteria /Policy】

- ・ Normal points (worksheets, reaction paper) 75%
- ・ Term-end report 25%

HSS200LA（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200）

健康の科学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

谷本 都栄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

健康はいきいきと生きていくための資源であり、自ら健康をコントロールし、改善していくことは重要なライフスキルである。本講義では、ヘルスプロモーションの視点から、栄養・運動・休養に関わる基礎的知識、健康的な生活習慣や環境づくりについて学び、各自の生活における意識の向上、具体的な実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】

- ・栄養・運動・休養に関わる基礎的知識を身に付け、自己の生活習慣を見直す。
- ・健康的なライフスタイルを意識して、学んだことを日々の生活に活かす。
- ・個人や社会のウェルビーイングについて考え、行動する機会をつくる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・オリジナルテキストや各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
- ・セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
- ・毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第2回	生活習慣・健康度チェック	チェックシートにより自己の生活習慣や健康度を確認する。
第3回	健康的なウエイトコントロール	適正体重やボディイメージを知り、健康的なウエイトコントロールについて学ぶ。
第4回	エネルギー必要量と摂取量	エネルギー必要量と摂取量を算出してエネルギー収支を確認する。
第5回	食生活のセルフチェック	食事バランスガイドにより食生活を振り返り、改善点を意識する。
第6回	食と健康	スポーツ栄養、サプリメント、食の安全等のトピックから、食と健康について理解を深める。
第7回	食と環境	食にまつわる健康や地域の課題、環境問題について、具体的事例から考える。

第8回	運動・スポーツの意義と役割	現代社会における運動・スポーツの重要性について理解を深める。
第9回	運動・スポーツによるトレーニング効果	人間の身体の特徴、運動・スポーツによるトレーニング効果について学ぶ。
第10回	健康的な運動習慣	自己の適切な運動量と運動内容を知り、運動習慣の改善点を意識する。
第11回	生活習慣病の予防	メタボリックシンドローム、生活習慣病とその予防について学ぶ。
第12回	生体リズムと健康	生体リズムとそのしくみ、健康的な睡眠について理解を深める。
第13回	ウェルエイジング	加齢による心身の変化を知り、老いをどう生きるかについて考える。
第14回	まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各2時間を標準とする。
- ・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

- ・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】

- ・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（ワークシート、リアクションペーパー）75%
- ・期末レポート25%

【学生の意見等からの気づき】

- ・各種資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
- ・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
- ・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Health promotion is the process of enabling people to increase control over, and to improve, their health. It moves beyond a focus on individual behaviour towards a wide range of social and environmental interventions. (WHO) The aim of this course is to maintain a healthy body and mind as life skill improving a quality of life. Developing healthy habits are needed not only to keep your life long but enhance your happiness and vitality.

【Learning Objectives】

The program has the following objectives.

- 1.Students learn foundational knowledge and skills required for healthy lifestyle.
- 2.Students put into practice for health promotion in their life.

【Learning activities outside of classroom】

- 1.Get information on current health issues from newspapers and news
- 2.Read books related to what you learned in class

【Grading Criteria /Policy】

- ・ Normal points (worksheets, reaction paper) 75%
- ・ Term-end report 25%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) I 2017年度以降入学者

小川 美穂子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制(48)

レベル共通 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は英語の基礎力に不安を持つ学生を対象とし、基本的な英文法の復習を中心に、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングを総合的に強化します。単なる知識の習得にとどまらず、ペアワーク等を通じて自分の考えを英語で発信する経験を積み、将来のキャリア形成の土台となる実践的な英語力の基礎を築くことを目的とします。また、毎回の演習を通じて、英語学習に対する自信と意欲を育みます。

【到達目標】

1. 基礎英文法を理解し、正しく活用できる。
2. 日常生活やビジネスの基礎となる語彙を身につける。
3. 短い英文の構造を正確に把握し、必要な情報を聞き取る力を養う。
4. ペアワーク等のインタラクティブな活動を通じ、英語で表現することに慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本講義は対面でのテキストを使用した演習中心に進めます。講義は基本的に日本語で実施しますが、徐々に英語でのやり取りも増やしていきます。

授業は参加型ですので、積極的な授業参加及び発言を求めます。クラス全体での学習、ペアやグループでの学習、個人ワーク等を必要に応じて組み合わせ学生同士の学び合いを促進します。授業内アクティビティや練習に対してのフィードバックは、教員が授業内で行います。

定期的に文法・語彙小テストを実施し、必要に応じて課題提出を行います。小テストや課題についても学生同士の相互フィードバックおよび授業内または学習支援システムを通じて教員による個別フィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明 英語アクティビティ
第2回	Unit 1	Be動詞 自己紹介
第3回	Unit 2	一般動詞 日常生活の表現
第4回	Unit 3	小テスト① 一般動詞 日米文化の違い
第5回	Unit 4	人称代名詞 家族についての表現

第6回	Unit 5	小テスト② Wh疑問文 疑問文でクイズ作成 過去形 過去の経験についての表現
第7回	Unit 6	小テスト③ 現在完了形 (継続) 過去から継続している経験についての表現
第8回	Unit 7	現在完了形 (経験・完了) 「～したことがある」表現
第9回	Unit 8	小テスト④ 進行形 習慣的活動についての表現
第10回	Unit 9	未来形 夏休みの計画を立てる
第11回	Unit 10	助動詞 許可・依頼の表現
第12回	Unit 11	復習アクティビティ 小テスト⑤
第13回	Unit 1～11復習	試験、まとめと解説
第14回	期末試験	

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習：次の範囲の語彙を辞書で調べ、練習問題を解いておくこと。
分からない文法などはメモにまとめておくこと。

復習：授業で学んだ語彙・表現・文法を復習しておくこと。

その他、必要に応じて前時に指示します。

【テキスト (教科書)】

山本 厚子 / 大須賀 直子 / 真野 千佳子 / 岡本 京子 / Benedict Rowlett 著

『コミュニケーションのためのベーシック・グラマー - 最新版 - / Living Grammar -New Edition-』(2021年、成美堂) 2,200円 (税込)
ISBN: 9784791972272

【参考書】

授業内で適宜資料を配布

【成績評価の方法と基準】

期末試験：40%

小テスト：20%

平常点 (授業参加態度、提出課題など)：40%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム、ZOOM、PC/タブレット

【その他の重要事項】

1. 受講を希望する学生は必ず第1回目の授業 (オンライン) に出席してください。

2. 授業に関する重要なお知らせは、学習支援システムを通じて行います。定期的にチェックする習慣をつけてください。

3. 指定の教科書を必ず購入し、毎回の授業に持参してください。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course helps students build confidence in basic English by reviewing grammar and vocabulary while strengthening all four skills. It emphasizes practical communication through interactive pair work to establish a foundation for future careers. Through regular exercises, students will develop motivation and a positive attitude toward English learning.
(Learning Objectives)

1. Understand and apply basic English grammar correctly.
2. Acquire essential vocabulary for daily life and basic business contexts.
3. Comprehend short sentence structures and identify key information through listening.

4. Communicate and express ideas comfortably through interactive activities such as pair work.

(Learning activities outside of classroom)

University guidelines suggest that preparation and review should be around one hour in total for this course.

Preparation: Students are expected to read the relevant sections of the textbook and complete vocabulary exercises before each class.

Review: Students should review the vocabulary, expressions, and writing techniques covered in each lesson. Further instructions will be provided in class as necessary.

(Grading Criteria /Policy)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Final examination: 40%

Unit quizzes: 20%

Class contribution (including participation and assignments): 40%

Attendance Policy: In principle, students who are absent 4 or more times will not be eligible to receive credit for the course.

Arriving more than 30 minutes late will be counted as an absence, and three instances of lateness will be treated as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) II

2017年度以降入学者

小川 美穂子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制(48)

レベル共通 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は英語の基礎力に不安を持つ学生を対象とし、基本的な英文法の復習を中心に、語彙、リーディング、リスニング、スピーキングを総合的に強化します。前期に引き続き、学んだ基礎知識をベースに、知っている単語や基本的な文法を使い自分のことや身近な話題を短い文章で表現できることを目標とします。特に後期では学んだ英語を実際に「使う」経験を重視し、短いプレゼンテーションを行います。これにより、英語での発信力を養うとともに、人前で話す自信と能動的に学ぶ意欲を育みます。

【到達目標】

1. 基礎英文法を理解し、正しく活用できる。
2. 日常生活やビジネスの基礎となる語彙を身につける。
3. 短い英文の構造を正確に把握し、必要な情報を聞き取る力を養う。
4. ペアワーク等のインタラクティブな活動を通じ、英語で表現することに慣れる。
5. 身近なトピックについて、学んだ語彙と文法を用いて短い発表を行うことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本講義は対面でのテキストを使用した演習中心に進めます。講義は基本的に日本語で実施しますが、徐々に英語でのやり取りも増やしていきます。

授業は参加型ですので、積極的な授業参加及び発言を求めます。クラス全体での学習、ペアやグループでの学習、個人ワーク等を必要に応じて組み合わせ学生同士の学び合いを促進します。授業内アクティビティや練習、プレゼンテーションに対してのフィードバックは、教員が授業内で行います。プレゼンテーション後には、教員からのアドバイスを加え、学生同士による相互フィードバック (ピア・レビュー) を取り入れ、学び合いを促進します定期的に文法・語彙小テストを実施し、必要に応じて課題提出を行います。小テストや課題についても学生同士の相互フィードバックおよび授業内または学習支援システムを通じて教員による個別フィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明
第2回	Unit 12	前期の復習アクティビティ 助動詞 義務・必要・推量についての表現
第3回	Unit 13	接続詞 重文を用いた文章を組み立てる
第4回	Unit 14	小テスト① 受動態

第5回	Unit 15	頻度を表す副詞 頻度についての表現 小テスト②
第6回	Unit 16	形容詞 感情を表す表現 比較 比較についての表現 小テスト③
第7回	Unit 17	前置詞 時間、場所、位置関係についての表現
第8回	Unit 18	接続詞 時や理由、譲歩、条件についての表現 小テスト④
第9回	Unit 19	不定詞と動名詞 ことわざ 関係詞 人、物事、場所について詳細を加える表現 仮定法 「もし〜なら」の表現 小テスト⑤
第10回	Unit 20	復習アクティビティ 試験、まとめと解説
第11回	Unit 21	
第12回	Unit 22	
第13回	Unit 12～22 復習	
第14回	期末試験	

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

予習：次回の範囲の語彙を辞書で調べ、練習問題を解いておくこと。
分からない文法などはメモにまとめておくこと。

復習：授業で学んだ語彙・表現・文法を復習しておくこと。

その他、必要に応じて前時に指示します。

【テキスト (教科書)】

山本 厚子 / 大須賀 直子 / 真野 千佳子 / 岡本 京子 / Benedict Rowlett 著

『コミュニケーションのためのベーシック・グラマー - 最新版 - / Living Grammar - New Edition -』(2021年、成美堂) 2,200円 (税込)
ISBN: 9784791972272

【参考書】

授業内で適宜資料を配布

【成績評価の方法と基準】

期末試験：40%

小テスト：20%

プレゼンテーション：10%

平常点 (授業参加態度、提出課題など)：30%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム、ZOOM、PC/タブレット

【その他の重要事項】

1. 受講を希望する学生は必ず第1回目の授業 (オンライン) に出席してください。
2. 授業に関する重要なお知らせは、学習支援システムを通じて行います。定期的にチェックする習慣をつけてください。
3. 指定の教科書を必ず購入し、毎回の授業に持参してください。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course helps students build confidence in basic English by reviewing grammar and vocabulary while strengthening all four skills. Building on the previous semester, students will practice expressing personal and familiar topics in short sentences. The course emphasizes practical application through a short presentation to develop communication skills, public speaking confidence, and proactive learning motivation. (Learning Objectives)

1. Understand and apply basic English grammar correctly.
2. Acquire essential vocabulary for daily life and basic business contexts.
3. Comprehend short sentence structures and identify key information through listening.
4. Communicate and express ideas comfortably through interactive activities such as pair work.
5. Make a short presentation on personal and familiar topics.
(Learning activities outside of classroom)

University guidelines suggest that preparation and review should be around one hour in total for this course.

Preparation: Students are expected to read the relevant sections of the textbook and complete vocabulary exercises before each class.

Review: Students should review the vocabulary, expressions, and writing techniques covered in each lesson. Further instructions will be provided in class as necessary.

(Grading Criteria /Policy)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Final examination: 40%

Unit quizzes: 20%

Short presentation: 10%

Class contribution (including participation and assignments): 30%

Attendance Policy: In principle, students who are absent 4 or more times will not be eligible to receive credit for the course. Arriving more than 30 minutes late will be counted as an absence, and three instances of lateness will be treated as one absence.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) I

2017年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制(48)

レベル共通（各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/）

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SSIの学生のなかで、英語を苦手とする学生が英語の基本文法や表現を習得することを目的とする。英語のレベルは基礎的なものから始めるが、徐々にさまざまな場面で使用可能な表現の習得を目指す。

【到達目標】

受講生は英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介など、身の回りの日常会話のための表現を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストの演習と解説を行う。その後、テキストのテーマの発展問題を行うこともある。さらに、口頭表現に養うための演習を行う。受講生には積極的に演習を行うことが求められる。予習よりは復習に力を注ぐこと。

提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

授業方法の変更等の重要な連絡はHoppiiで行う。授業日の朝にHoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	春学期の授業の進め方を紹介する。必要であれば、受講者の選抜をする
第2回	Unit1-1	Unit1の前半を演習する
第3回	Unit1-2	Unit1の後半を演習する
第4回	Unit2-1	Unit2の前半を演習する
第5回	Unit2-2	Unit2の後半を演習する
第6回	Unit3-1	Unit3の前半を演習する
第7回	Unit3-2	Unit3の後半を演習する
第8回	Unit4-1	Unit4の前半を演習する
第9回	Unit4-2	Unit4の後半を演習する
第10回	Unit5-1	Unit5の前半を演習する
第11回	Unit5-2	Unit5の後半を演習する
第12回	Unit6-1	Unit6の前半を演習する
第13回	Unit6-2	Unit6の後半を演習する
第14回	春学期のまとめ	春学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテキストの範囲について予習の指示を出すので、それを行って授業に出席すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

English Contrasts

Robert Hickling 著、金星堂

英和・和英辞書を必ず持参すること

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験50%、授業時の応答や参加度50%。

4回以上欠席した者は成績評価の対象から外れる。遅刻2回を欠席1回に換算する。

授業に出ていても、授業に積極的に参加しない受講生は出席として認めない。

授業中は、パソコン、スマートフォン、タブレット、携帯電話等の使用を固く禁じる。

【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき、受講生の英語のレベルに合わせてながら進度を調節する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 This course is designed for SSI students. It introduces fundamental English grammar and vocabulary, beginning with essential phrases and words used in daily communication.

【Learning Objectives】

The primary goal of this course is for students to acquire foundational English skills.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Before each class, students are expected to read the assigned part of the textbook. A minimum of one hour of preparation is required for each session.

【Grading Criteria】

Term-End Examination: 50%, In-Class Participation: 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) II

2017年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制(48)

レベル共通 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

SSIの学生のうち英語を苦手とする学生に、英語の基本から解説と演習を行う。春学期よりも多少難しい文法項目まで範囲に収め、基礎的な英語の運用能力の習得を目指す。

【到達目標】

受講生は英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介だけでなく、時制や適切な語句の選択等などを通じて、春学期よりも多少高い英語表現能力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストの演習と解説を行う。その後、テキストのテーマの発展問題を行うこともある。さらに、口頭表現に養うための演習を行う。受講生には積極的に演習を行うことが求められる。復習を重視する。提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。授業方法の変更等の重要な連絡は Hoppii で行う。授業日の朝に Hoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の振り返り	春学期に学んだ文法項目等の再確認を行う
第2回	Unit7-1	Unit7の前半を演習する
第3回	Unit7-2	Unit7の後半を演習する
第4回	Unit8-1	Unit8の前半を演習する
第5回	Unit8-2	Unit8の後半を演習する
第6回	Unit9-1	Unit9の前半を演習する
第7回	Unit9-2	Unit9の後半を演習する
第8回	Unit10-1	Unit10の前半を演習する
第9回	Unit10-2	Unit10の後半を演習する
第10回	Unit11-1	Unit11の前半を演習する
第11回	Unit11-2	Unit11の後半を演習する
第12回	Unit12-1	Unit12の前半を演習する
第13回	Unit12-2	Unit12の後半を演習する
第14回	秋学期のまとめ	秋学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業で扱うテキストの範囲について予習の指示を出すので、それを行って授業に出席すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

English Contrasts

Robert Hickling 著、金星堂

英和・和英辞書を必ず持参すること

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験50%、授業時の応答や参加度50%。

4回以上欠席した者は成績評価の対象から外れる。遅刻2回を欠席1回に換算する。

授業に出ていても、授業に積極的に参加しない受講生は出席と認めないことがある。

授業中は、パソコン、スマートフォン、タブレット、携帯電話等の使用を固く禁じる。

【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき、受講生の英語のレベルに合わせてながら進度を調節する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 This course is designed for SSI students. It introduces fundamental English grammar and vocabulary, beginning with essential phrases and words used in daily communication.

【Learning Objectives】

The primary goal of this course is for students to acquire these foundational English skills.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Before each class, students are expected to read the assigned part of the textbook. A minimum of one hour of preparation is required for each session.

【Grading Criteria】

Term-End Examination: 50%, In-Class Participation: 50%

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) I

2017年度以降入学者

鈴木 真奈美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制(48)

レベル共通 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は6つあります。1) 基本的英語文法の習得、2) 英語で日常会話を行う練習、3) 英語で自分の考えを表現する練習、4) 簡単な英文を読む練習、5) 統合的な英語学習、6) 英語学習を通して自らの人生を振り返り、将来について考察すること。

【到達目標】

この授業では、以下の目標到達を目指します。1) 基本的英語文法の習得、2) 英語で日常会話を行うこと、3) 英語で話したり、書いたりして自分の考えを表現できること、4) 簡単な英文を読むこと、5) 英語のスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングを統合的に学習すること、6) 英語学習を通して自らの人生を振り返り将来について考察すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業では、身近な題材を用いて基本的英語文法を学習しながら、英語で表現(スピーキング・ライティング)する練習を行います。簡単な英文を読む練習もします。ペアワークやグループワークを通じて共同学習を行います。授業は日本語で行いますが、徐々に英語でコミュニケーションする機会を増やしていきますので、積極的な授業の参加が求められます。授業ではより良い学習環境の構築・楽しく英語を学習することを目指します。また課題へのフィードバックは授業内、あるいは各個人の提出課題にフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の紹介 担当教員の紹介 自己紹介の準備
2	スピーキング：自己紹介 ライティング・スピーキング：今学期の目標設定	英語で自己紹介をします。 今学期の目標を英語で設定し、発表します。
3	品詞について (1)	英語の品詞とくに名詞、動詞、形容詞、副詞について学習します。
4	品詞について (2)、5 W 1 H	品詞の復習 疑問詞を使った疑問文
5	文型について (第1、2文型)	第1文型、第2文型の学習 (be, become, feelを用いた文の学習)
6	プレゼンテーション準備	効果的なプレゼンテーションに関して学習します。 プレゼンテーションの準備をします。

7	プレゼンテーション (1)	プレゼンテーションをします。
8	プレゼンテーション (2)	プレゼンテーションをします。
9	プレゼンテーション (3)	プレゼンテーションをします。
10	プレゼンテーション (4)	プレゼンテーションをします。
11	文型について (第3文型・第4文型)	第1文型、第2文型の復習 第3文型、第4文型の学習 (give, teach, tell, send, show, buyを用いた文の学習)
12	文型について (第5文型)	第1～第4文型の復習 第5文型の学習 (call, name, makeを用いた文の学習)
13	名詞句、形容詞句、副詞句、名詞節、形容詞節、副詞節について リーディングの練習	名詞句、形容詞句、副詞句、名詞節、形容詞節、副詞節の学習 簡単な英文を読む練習
14	全体の復習 リフレクション	今学期の復習をします。 今学期の学習を振り返り、夏季休暇中、来学期の目標を設定します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業外では以下の学習が求められます。

1) 課題を行い、提出期限に提出すること

2) 英語番組を定期的に視聴すること

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

適宜資料を配布します。

【参考書】

英和辞典、和英辞典

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、課題 (10%)、プレゼンテーション (30%)、期末テスト (40%)

*各学期欠席4回以上の場合は、原則として単位修得は認められません。またプレゼンテーションを行わなかった場合、定期試験を受けなかった場合も単位修得は認められません。

【学生の意見等からの気づき】

適宜みなさんの御希望を伺いながら授業を進めていきたいと思えます。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii, Zoom, WORD, PowerPointを使用します。
コンピュータ、USBも使用します。

【その他の重要事項】

- 1) 積極的に授業に参加することが求められます。
- 2) マナーを守り、協力して授業に参加することが求められます。
- 3) 課題の提出期限を遵守することが求められます。
- 4) 授業に欠席する場合は、担当教員に必ず連絡することが必要です。
- 5) 受講希望者は、必ず最初のオンラインの授業に参加して下さい。

【Outline (in English)】

[Course outline] You will learn English to achieve these six goals: 1) to acquire basic English grammar; 2) to have daily conversation in English; 3) to express your thoughts through speaking and writing in English; 4) to read simple English sentences; 5) to learn English holistically and 6) to reflect on your life and plan for your future career through learning English.

[Learning Objectives] You will try to achieve these six goals in this English class: 1) to acquire basic English grammar; 2) to have daily conversation in English; 3) to express your thoughts through speaking and writing in English; 4) to read simple English sentences; 5) to learn English holistically and 6) to reflect on your life and plan for your future career through learning English.

[Learning activities outside of classroom] You are expected: 1) to do assignments, submit them, and meet the deadline; 2) to watch or listen to an English program regularly/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria/Policy] class participation (20%), assignments (10%), presentation (30%), and final examination (40%)

*If you have four absences per semester without permission, do not make a presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)			8	Unit8	SMILE ・代名詞の弱形 ・従属節
入門英語(SSI) II			9	Unit9	IF ・接続詞の弱形 ・疑問詞
深谷 公宣			10	Unit10	BECAUSE ・リンキングの復習 ・to 不定詞
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 木3/Thu.3 単位数: 1単位 定員制(48) レベル共通 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/) その他属性:			11	Unit11	EVERY BREATH YOU TAKE ・韻 ・S+V+Oの文型 (他動詞)
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 基礎的な語彙・文法・発音の規則を振り返りながら、英文理解・表現のスキルを伸長させます。			12	Unit12	WHAT A WONDERFUL WORLD ・前置詞の弱形 ・S+V+O+Cの文型 (知覚動詞)
【到達目標】 学期の終わりにまでに次のことができるようになるのが目標です。 ・辞書を引き、単語の意味だけでなく品詞や用法を理解することができる。 ・基本的な文法の知識に基づき、英文を読むことができる。 ・簡単な英語で自分の考えを書くことができる。			13	Unit13	A SONG FOR YOU ・短縮形 ・現在完了形
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2			14	Unit14	THAT'S WHAT FRIENDS ARE FOR ・総合復習
【主な授業方法】 L 講義 /Lecture			【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】 ・授業で示された演習課題に取り組んでください。 ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.		
【授業の進め方と方法】 ・授業形態: 教科書に沿って演習・解説をします。また、その単元で扱う内容に関連する文化的な話題について紹介します。 ・授業内課題: 授業内容に関する設問を記載したプリントに解答し、提出してもらいます。 ・レポート課題: 学期末に、英語で書かれた任意の楽曲について調べるレポート課題を出します。 ・フィードバック方法: 提出物は添削・コメントのうえ、返却します。			【テキスト (教科書)】 『Learn English through Jazz and Pops (ジャズとポップスで学ぶ大学英語)』 糸井江美 / 林千代 / 加納伸也 編著、金星堂、2400円 (税別)。		
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施)】 あり / Yes			【参考書】 授業の中で指示します。		
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし / No			【成績評価の方法と基準】 ・平常点: 40% ・授業内課題: 30% ・レポート課題: 30% ・4回以上欠席した受講生は単位取得を認めません。		
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face			【学生の意見等からの気づき】 特になし。		
回	テーマ	内容	【Outline (in English)】 [Course outline] Students will improve their English understanding and expression skills, by reviewing basic phonics, grammar and vocabulary. [Learning Objectives] By the end of this course, students will be an active English learner who tries to look up a dictionary to understand not only the meaning of a word, but also its collocation, and uses the skills they acquired for reading, listening and writing. [Learning activities outside of the classroom] Preparation for exercises in the textbook. [Grading Criteria/Policy] Class participation (40%), in-class assignments (30%), and final paper (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.		
1	ガイダンス Unit1	FLY ME TO THE MOON ・リンキング [子音+母音] ・命令文			
2	Unit2	WHEN YOU WISH UPON A STAR ・弱形と強形 ・形容詞			
3	Unit3	AUTUMN LEAVES ・リンキング [同じ音・似た音] ・名詞の複数形			
4	Unit4	MISTY ・冠詞の弱形 ・現在進行形			
5	Unit5	I LEFT MY HEART IN SAN FRANCISCO ・リズム ・助動詞			
6	Unit6	THE NEARNESS OF YOU ・リンキング [子音+[j]の音] ・副詞			
7	Unit7	ALL OF ME ・助動詞の弱形 ・否定文			

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) I

2017年度以降入学者

鈴木 理枝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制(48)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、英語の基礎力に自信のない学生を対象にしています。基礎文法力、語彙力、リスニング力、会話力を身につけ、社会で利用できる実践力を身につけることを目的としています。

【到達目標】

総合的な英語基礎力を身につける。

- (1) 基礎文法力を身につける
- (2) 基礎読解力を身につける
- (3) リスニング力、日常会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に演習授業になります。ペアワーク中心に進めます。英語が苦手な学生が、英語をまず好きになってもらうように双方向の楽しい授業を心がけます。授業内での課題、発表後、毎回アドバイスする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・自己紹介ゲーム	授業内容、授業の進め方、成績のつけ方、出欠について説明する。自己紹介ゲームをする。
2	Unit 1 ① Pleased to Meet You! At a party	Parts of Speech 日常生活で使用される英語表現を身につける
3	Unit 1 ② Pleased to Meet You! At a party	Parts of Speech 通訳演習・発表
4	Unit 2 ① By Air or Surface Mail?	The Constituent Parts of Sentences 日常生活で使用される英語表現を身につける
5	Unit 2 ② By Air or Surface Mail?	The Constituent Parts of Sentences 通訳演習・発表
6	Unit 3 ① What's the Trouble?	Sentence Patterns ① 日常会話で使用される英語表現を身につける。
7	Unit 3 ② What's the Trouble?	Sentence Patterns ① 通訳演習・発表
8	Unit 4 ① Why? Tell Me the Reason.	Sentence Patterns ② 日常生活で使用される英語表現を身につける
9	Unit 4 ② Why? Tell Me the Reason.	Sentence Patterns ② 通訳演習・発表

10	Unit 5 ① We're Sorry for the Inconvenience	Tense ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
11	Unit 5 ② We're Sorry for the Inconvenience	Tense ② 通訳演習・発表
12	Unit 6 ① I haven't had an Opportunity	Progressive Form/Perfect Tense ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
13	Unit 6 ② I haven't had an Opportunity	Progressive Form/Perfect Tense ② 通訳演習・発表
14	期末試験	まとめ・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習：分からない語彙、訳があれば辞書を引き予習しておくこと。CDを聞き、発音を確認しておくこと。練習問題を予習しておくこと。

復習：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト（教科書）】

『Building English Essentials』「伝えるための英語力」Toshio Kimura, Rie Suzuki, Yoshie Isobe, Rie Owaku, Reika Kokufukata, 南雲堂、2017, 980円+税、ISBN978-4-523-17836-1

【参考書】

履修者に応じて、授業内で必要な場合は、参考書を指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：50%

平常点：50%（授業への参加度、態度、発表、小テスト）

評価の基準

- (1) 基礎文法力、語彙力が身についているか
 - (2) リスニング力が身についているか
 - (3) 読解力が身についているか
- 欠席4回以上で、単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。また、英語が苦手な学生に対して、楽しい授業を心掛ける。

【Outline (in English)】

This class is for students who are not confident in their basic English proficiency. Acquire basic grammar, vocabulary, and listening skills, and acquire practical skills that can be used in society.

Goal: Acquire comprehensive basic English

- (1) Acquire basic grammar skills
- (2) Acquire basic reading comprehension
- (3) Acquire listening skills and daily English conversation

Preparatory learning
For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review

Review that what you learned in class.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria/Policy

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria

- (1) Understanding the contents
- (2) Acquire the daily English Conversation
- (3) Acquire listening skills and interpretation

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) II

2017年度以降入学者

鈴木 理枝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制(48)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、この授業では、基礎的な英語に自信のない学生を対象にしています。基礎文法力、語彙力、リスニング力、会話力を身につけ、社会で使える実践力を身につけます。発表中心の授業になります。

【到達目標】

総合的な英語基礎力を身につける。

- (1) 基礎文法力を身につける
- (2) 基礎読解力を身につける
- (3) リスニング力、日常会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に演習授業になります。各学生は予習をして授業に臨むことを原則とします。文法の解説、語彙力、リスニング力向上のための訓練を行い、実践力を身につけていきます。発表後、毎回アドバイスする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・Unit 7 ① Sightseeing in Kamakura	Passive Voice/Active Voice ① 日常生活で使われる英語表現を身につける
2	Unit 7 ② Sightseeing in Kamakura	Passive Voice/Active Voice ② 通訳演習・発表
3	Unit 8 ① You should ask Koji	Auxiliary Verbs ① 日常生活で使われる英語表現を身につける
4	Unit 8 ② You should ask Koji	Auxiliary Verbs ② 通訳演習・発表
5	Unit 9 ① Are you busy tomorrow morning?	Infinitives ① 日常生活で使われる英語表現を身につける
6	Unit 9 ② Are you busy tomorrow morning?	Infinitives ② 通訳演習・発表
7	Unit 10 ① I'd like to check in.	Participles ① 日常生活で使われる英語表現を身につける
8	Unit 10 ② I'd like to check in.	Participles ② 通訳演習・発表
9	Unit 11 ① Have you tried looking online?	Gerunds ① 日常生活で使われる英語表現を身につける

10	Unit 11 ② Have you tried looking on line?	Gerunds ② 通訳演習・発表
11	Unit 12 ① I'd like a smaller one	Comparatives ① 日常生活で使われる英語表現を身につける
12	Unit 13 ② Are you ready to order?	Relative Pronouns 日常生活で使われる英語表現を身につける
13	Unit 14 Walk eight blocks, and you'll see it on your right	Relative Adverbs 通訳演習・発表
14	期末試験	まとめ・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習：分からない語彙、訳があれば辞書を引き予習しておくこと。CDを聞き、発音を確認しておくこと。練習問題を予習しておくこと。

復習：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト（教科書）】

『Building English Essentials』「伝えるための英語力」Toshio Kimura, Rie Suzuki, Yoshie Isobe, Rie Owaku, Reika Kokufukata, 南雲堂、2017, 980円+税、ISBN978-4-523-17836-1

【参考書】

学生のレベルや状況を鑑みて、授業内で指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：50%

平常点：50% (授業への参加度、態度、発表、小テスト)

評価の基準

- (1) 基礎文法力、語彙力が身についているか
 - (2) リスニング力が身についているか
 - (3) 読解力が身についているか
- 欠席4回以上で単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。

【Outline (in English)】

This class is for students who are not confident in their basic English proficiency. Acquire basic grammar, vocabulary, and listening skills, and acquire practical skills that can be used in society.

Goal: Acquire comprehensive basis English

- (1) Acquire basic grammar skills
- (2) Acquire basic reading comprehension
- (3) Acquire listening skills and daily conversation skills

Preparatory learning

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review

Review that what you learned in class.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria/Policy

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria

- (1) Understanding the contents
- (2) Acquire the daily English Conversation
- (3) Acquire listening skills and interpretation

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading, listening, and/or writing homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. Important information will be distributed via HOPPIL, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc in class and via email as needed. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPIL.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW, brainstorming on Topic 1, homework, Q & A

3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A
4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Story of my name, group discussion (3) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Unplanned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Conversation, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentation on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Vocabulary quiz 4, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Vocabulary quiz 4, conversation, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentation on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPIL.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

Students enjoyed communicating with each other in English, made friends, and developed a sense of community through many group activities. They also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will conduct research on current issues and critically evaluate the reading and audio-visual materials by paying attention to the style and the source.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc in class and via email as needed. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, discussion on Topic 1 (1), homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, Current Issue 1	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (2) on Topic 1

4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, Current Issue 1	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (3) on Topic 1, homework, Q & A
5	Unplanned speech, Current Issue 1, preparing for Presentation 1	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Vocabulary Quiz 3, unplanned speech, Current Issue 2	Vocabulary Quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Vocabulary Quiz 4, unplanned speech, Current Issue 2	Vocabulary Quiz 4, conversation, basics of essay writing (2), group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
10	Unplanned speech, basics of essay writing (1), Current Issue 2	Conversation, basics of essay writing (1), group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, basics of essay writing (2), Current preparing for Presentation 2	Conversation, basics of essay writing (2), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, essay writing	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, essay writing, recap of the semester, student feedback	Conversation, share & discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

Students enjoyed communicating with each other in English, made friends, and developed a sense of community through many group activities. They also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Japan in the Modern World (Migration, Work, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月3/Mon.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Through reading, listening, and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge, and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and the influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading, and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee-related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Thinking about work, migration, and movement in Japan through English language media. Introduce yourself, and mention one thing that you think of when you hear the word "economic migrant". Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading diary. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading diary.
Week 2	Economic Migrants in Sales and Marketing	Unit 1 Sales Can Be Like Acting Complete exercises in the textbook. Watch the video of the Tommy Lee Jones interview. Write down some impressions that you have of famous Hollywood stars like Tommy Lee Jones who appear in commercials in Japan. Share these ideas in discussions in pairs. Homework: Reading and reading diary.
Week 3	Economic migrants.	Economic migrants. People like David White (from Unit One) can be classified as economic migrants however they are usually not referred to as such. Others who migrate for work are called economic migrants and may be even considered to be a "social problem". Based on materials in class and students' research, discuss the various types of "economic migrants" living and working in Japan. Prepare a short presentation on what kind of work would suite you. Would you move abroad to work? Homework: Reading on undocumented migrants.

Week 4	Reading Article 1 Reading article on migrant workers in Japan.	Students will be introduced to vocabulary in English for thinking about migration. This will include key words such as “undocumented” or “irregular” migrants, who are often referred to as “Illegal” migrants in the media and by governments and government bureaucracies.	Week 11	Reading Task 3	Readings an article related to students’ own presentation.
Week 5	Air Travel Tourism: A world that is open and accessible?	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey) Exercises from the textbook. Homework: Reading and reading diary.	Week 12	Presentation Workshop	You will have time to continue preparing your presentations. You will have the opportunity to talk to each other about your presentations and ask your teacher for help with content and English expression.
Week 6	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey)	Exercises from the textbook. Continued. Homework: Reading on immigration detention.	Week 13	Student Presentations part 1.	First group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Week 7	Reading Task 2 Air Travel Passports, Refugees, and Immigration Detention	Many of the migrant workers introduced in the textbook are from “Western” countries such as Italy or the UK. But migrants and refugees can face problems with immigration control. We will look at articles about people detained in immigration detention including the situation of a person from Turkey living in Japan.	Week 14	Student presentations part 2.	Second group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Week 8	Research workshop: Learning about a topic through essay writing.	Choose a topic you want to present on as a power-point presentation. Think about the title, introduction, the details for the body, and your conclusion. Think about the sources that you can use to write your presentation. Start thinking about the images you can use for your presentation. You will start preparing your presentation and also get feed back from the instructor online after submitting a draft. You will then continue to edit the presentation before presenting it in week 13 or 14.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 Materials that will be used in this class will be provided throughout the course by the instructor. Please make sure you have a A4 folder to keep these resources in one places. 教科書に代替する教材資料は授業を通して配布する。資料を整理するためにA4 フォルダを購入すること。 【参考書】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker &John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search “Penguin reader” on the library search. Oxford Bookworms etc (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) *Search “Oxford Bookworms” on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., &White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann. 【成績評価の方法と基準】 1. Class Participation and Reading (Keeping a reading record) 20%		
Week 9	Unit 5: Migrant Workers in the Service Sector	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Exercises from the textbook: Providing good service and marketing. Homework: Reading and reading diary.			
Week 10	Unit 5: Migrants Workers in Japan	Unit 5: Migrants Workers Exploitation in Japan Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Continued Reading task: Article about technical trainees working in Japan. Homework: Reading on Migrant Workers in Japan.			

- ・ In-class reading and listening comprehension, discussions based on the text book and other materials.
- ・ Choosing and reading books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading record of all the books and articles you have read in English during the semester.

2. Various reading in-class and homework assignments. Reading the articles handed to you in class and taking notes on those articles to help with comprehension and class discussion

30%

a. Reading article on migrant workers in Japan.10%

b. Reading article on immigration detention.10%

c. Reading an article related to students' own presentation. 10%

3. Major assignment: research and presentation 50%

Research Topic Work Sheet 10%

References for presentation (work sheet and bibliography in slides)10 %

Final Presentation (10 slides x 20 second presentation + references slide) 30%

(Oral presentation, content of presentation, slides, general effort 20% Your comments listening to other students and comments on your presentation by others 10%)

You will complete a work sheet including a bibliography which you will hand in separately in person or online. The information that you prepare in the work sheet that you will complete for homework and in class will then be what you base your final presentation on.

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

● A4 folder to keep all hand outs and learning resources organized for this class.

● Additional resources for writing (dictionaries etc).

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or laptop if it helps with their learning.

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the World (People, Movement, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in English 3 I.

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi). There will be verbal feedback given directly to every student following their presentation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Course syllabus explained. Introduce yourself. Tell the class about something interesting or fun that you did while you were on summer vacation (study, student association activities, hobbies etc.) Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading record. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading record.
Lesson 2	The migration of ideas through translation.	Textbook Unit 4 Translating is more than words. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 3	The migration of ideas through translation (continued)	Focusing on the translation of Japanese Manga and Anime into English Speaking Practice: Exploring different interests Reading Passage: Why Learn Japanese. Reading Comprehension /Your Opinions. Homework: Reading and reading diary. Reading on Palestine and it's Japanese translation.
Lesson 4	Reading Task 1 Translation and learning about Palestine	We will look at articles and parts of books written in English about topics such as Israel-Palestine, genocide of Jewish people, and writing in English by people in Gaza. We will also read an article about the ongoing genocide in Gaza. Homework: Practice reading articles shown in class. Also go and find a TV program that you think might be fun in English and watch it in English. Reading and reading diary.
Lesson 5	Textbook- Unit 6: Toast Your Success!	Japanese Companies selling products overseas Homework: Reading and reading diary.
Lesson 6	Unit 6 Think global act local.	Japanese Companies selling products overseas Homework: Read article on migration and crime.

Lesson 7	Reading Task 2: Migration and Crime	The movement of people and the movement of different ways of living: how does this impact society? Reading article on the topic: Does migration lead to an increase in crime? Homework: Hand out worksheets on research for final presentation.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. You will need to set aside time to research for your presentations and to read the articles given to you during class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
Lesson 8	Research workshop: Learning about a topic through essay writing.	Choose a topic you want to present on as a power-point presentation. Think about the title, introduction, the details for the body, and your conclusion. Think about the sources that you can use to write your presentation. Start thinking about the images you can use for your presentation. You will start preparing your presentation and also get feedback from the instructor online after submitting a draft. You will then continue to edit the presentation before presenting it in week 13 or 14.	【テキスト（教科書）】 Materials that will be used in this class will be provided throughout the course by the instructor. Please make sure you have a A4 folder to keep these resources in one place. 教科書に代替する教材資料は授業を通して配布する。資料を整理するためにA4ファルダを購入すること。 【参考書】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search "Penguin reader" on the library search. Oxford Bookworms etc (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) *Search "Oxford Bookworms" on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.
Lesson 9	Unit 8: Build a Happy Life!	Life of a European Architect in Japan from Text book	English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/
Lesson 10	Build a Happy Life continued.	Life of a European Architect in Japan Homework: Reading on border control construction such as walls and fences.	英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.
Lesson 11	Reading Task 3	Reading an article related to students' own presentation.	【成績評価の方法と基準】
Lesson 12	Presentation Workshop	You will have time to continue preparing your presentations. You will have the opportunity to talk to each other about your presentations and ask your teacher for help with content and English expression.	1. Class Participation and Reading (Keeping a reading record) 20% ・ In-class reading and listening comprehension, discussions based on the text book and other materials. ・ Choosing and reading books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading record of all the books and articles you have read in English during the semester.
Lesson 13	Student Presentations part 1.	First group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!	2. Various reading in-class and homework assignments. Reading the articles handed to you in class and taking notes on those articles to help with comprehension and class discussion 30% a. Reading article on genocide in Gaza and other books on Palestine 10% b. Reading article on immigration and crime. 10% c. Reading an article related to students' own presentation. 10%
Lesson 14	Student presentations part 2.	Second group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!	3. Major assignment: research and presentation 50% Research Topic Work Sheet 10% References for presentation (work sheet and bibliography in slides) 10 % Final Presentation (10 slides x 20 second presentation + references slide) 30% (Oral presentation, content of presentation, slides, general effort 20% Your comments listening to other students and comments on your presentation by others 10%) You will complete a work sheet including a bibliography which you will hand in separately in person or online. The information that you prepare in the work sheet that you will complete for homework and in class will then be what you base your final presentation on.

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

● A4 folder to keep all hand outs and learning resources organized for this class.

● Additional resources for writing (dictionaries etc).

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or laptop if it helps with their learning.

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

The purpose of English 3 is to further develop students' English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：ニュースで見る今日の日本社会

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今日の日本の論点に関するニュースを通して現代日本に關しての表現を学び、同時に英語の技能(Writing, Reading, Listening, Speaking)を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

テキストを辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

フィードバックは授業内に行う

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からはhoppiiを通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Chapter1	Chapter1の語彙と精読
3	Chapter1	精読の続きと章末の問題
4	Chapter1&2	Chapter1の小テストとChapter2の語彙と精読
5	Chapter2	精読の続きと章末の問題
6	Chapter2&3	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
7	Chapter3	精読の続きと章末の問題
8	Chapter3&4	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
9	Chapter4	精読の続きと章末の問題
10	Chapter4&5	Chapter4の小テストとChapter5の語彙と精読
11	Chapter5	精読の続きと章末の問題
12	Chapter5&6	Chapter5の小テストとChapter6の語彙と精読
13	Chapter6	精読の続きと章末の問題
14	Chapter6	Chapter6の小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

JAPAN QUEST

from NHK WORLD-JAPAN's NEWSLINE

映像で学ぶ NHKワールドが発信する日本

米山明日香 編著

金星堂 2025年 2700円（税別）

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト70%

授業中の問題演習等30%

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA（英語 / English language education 200）	
English 3 II	2017年度以降入学者
サブタイトル：ニュースで見る今日の日本社会	
吉田 季実子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月3/Mon.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストを通して現代日本に関しての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引ながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。
現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。
精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。
課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする
フィードバックは授業内に行う
なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppel を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter7	Chapter7 の語彙と精読
2	Chapter7	精読の続きと章末の問題
3	Chapter7&8	Chapter7 の小テストと Chapter8 の語彙と精読
4	Chapter8	精読の続きと章末の問題
5	chapter8&9	Chapter8 の小テストと Chapter9 の語彙と精読
6	Chapter9	精読の続きと章末の問題
7	Chapter9&10	Chapter9 の小テストと Chapter10 の語彙と精読
8	Chapter10	精読の続きと章末の問題
9	chapter10&11	Chapter10 の小テストと Chapter11 の語彙と精読
10	Chapter11	精読の続きと章末の問題
11	Cahpter11&12	Chapter11 の小テストと Chapter12 の語彙と精読
12	Chapter12	精読の続きと章末の問題
13	Chapter12&13	Chapter12 の小テストと Chapter13 の語彙と精読
14	Chapter13	精読の続きと章末の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

JAPAN QUEST
from NHK WORLD-JAPAN's NEWSLINE
映像で学ぶ NHK ワールドが発信する日本
米山明日香 編著
金星堂 2025年 2700円（税別）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%
授業中の問題演習等 30%
各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする
題材に関連する事柄を適宜紹介する

【学生が準備すべき機器他】

辞書、オンライン授業実施時は対応機材

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture. The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Intercultural Perspectives of the English-Speaking World

小坂 恵理子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Intercultural Perspectivesのテキストを通して、語彙力、リスニング力、読解力を向上を目指す。また、英語の発音を改善し、パラグラフライティングおよびエッセイライティングの基礎を強化するとともに、多様なスタイルについて理解を深める。

【到達目標】

役に立つような英語運用能力を習得することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

- ①各Unitで使用される難解な語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②各Unitの内容の要約・あるいは自分の意見のまとめ、短いレポートの作成、口頭発表などを行う。
- ③各Unitと関連したリスニングを効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ④予習をしていることを前提に授業を進めていく。
- ⑤授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Session	Orientation	① Orientation
1	Unit 1 Families	② Unit 1
Session	Unit 1 cont.	① vocabulary/listening quiz
2		② group activity
Session	Unit 2	① vocabulary/listening
3	Relationships	② reading
Session	Unit 2	① vocabulary/listening quiz
4	Relationships, cont.	② group activity
Session	Unit 3 Education	① vocabulary/listening
5		② reading
Session	Unit 3 Education,	① vocabulary/listening quiz
6	cont.	② group activity
Session	Mid-term exam	① Mid-term exam
7		② Summary and feedback
Session	Unit 4 Mental	① vocabulary/listening
8	Health	② reading
Session	Unit 4 Mental	① vocabulary/listening quiz
9	Health, cont.	② group activity
Session	Unit 5 Aging	① vocabulary/listening
10		② reading
Session	Unit 5 Aging, cont.	① vocabulary/listening quiz
11		② group activity
Session	Unit 6 Welfare	① vocabulary/listening
12		② reading
Session	Unit 6 Welfare,	① vocabulary/listening quiz
13	cont.	② group activity

Session Final exam

14

① Final exam

② Summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Ana Sofia Hofmeyr, Intercultural Perspectives: An EAP Course for Global Competence, Kinseido, 2026.

ISBN: 978-4-7647-4248-2

【参考書】

This will be announced in class.

【成績評価の方法と基準】

Active participation 20%, midterm and finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To make our class meaningful, it's important for students and the instructor to communicate openly and work together.

【Outline (in English)】

Through our use of the Intercultural Perspectives textbook, we will strengthen vocabulary, listening, and reading skills. We will also refine speaking, pronunciation, and both paragraph-level and long-form writing through exposure to a variety of writing styles.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Intercultural Perspectives of the English-Speaking World

小坂 恵理子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Intercultural Perspectivesのテキストを通して、語彙力、リスニング力、読解力を向上を目指す。また、英語の発音を改善し、パラグラフライティングおよびエッセイライティングの基礎を強化するとともに、多様なスタイルについて理解を深める。

【到達目標】

役に立つような英語運用能力を習得することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

- ①各Unitで使用される難解な語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②各Unitの内容の要約・あるいは自分の意見のまとめ、短いレポートの作成、口頭発表などを行う。
- ③各Unitと関連したリスニングを効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ④予習をしていることを前提に授業を進めていく。
- ⑤授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Session 1	Unit 7 Migration	① Listening and vocabulary ② Reading and analyses
Session 2	Unit 7 Migration, cont.	① Vocabulary and listening quiz ② Group work
Session 3	Unit 8 Work-life Balance	① Listening and vocabulary ② Reading and analyses
Session 4	Unit 8 Work-life Balance, cont.	① Vocabulary and listening quiz ② Group work
Session 5	Unit 9 Media	① Listening and vocabulary ② Reading and analyses
Session 6	Unit 9 Media, cont.	① Vocabulary and listening quiz ② Group work
Session 7	Mid-term exam	① Mid-term exam ② Summary and feedback
Session 8	Unit 10 Privacy	① Listening and vocabulary ② Reading and analyses
Session 9	Unit 10 Privacy, cont.	① Vocabulary and listening quiz ② Group work
Session 10	Unit 11 Cyberbullying	① Listening and vocabulary ② Reading and analyses

Session 11 Unit 11 Cyberbully, cont. ① Vocabulary and listening quiz
② Group work

Session 12 Unit 12 Artificial Intelligence ① Listening and vocabulary
② Reading and analyses

Session 13 Unit 12 Artificial Intelligence, cont. ① Vocabulary and listening quiz
② Group work

Session 14 Final exam ① Final exam
② Summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Ana Sofia Hofmeyr, Intercultural Perspectives: An EAP Course for Global Competence, Kinseido, 2026.

ISBN: 978-4-7647-4248-2

【参考書】

This will be announced in class.

【成績評価の方法と基準】

Active participation20%, midterm and finals20%, homework 20%, quizzes20%, recitations and group work20%.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To make our class meaningful, it's important for students and the instructor to communicate openly and work together.

【Outline (in English)】

Through our use of the Intercultural Perspectives textbook, we will strengthen vocabulary, listening, and reading skills. We will also refine speaking, pronunciation, and both paragraph-level and long-form writing through exposure to a variety of writing styles.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英米の歴史的建造物を通して英語を知る

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業を履修する学生は、イギリスとアメリカの象徴的・歴史的ランドマークについて学びながら英語の4技能を強化することを目指します。本授業で取り上げるランドマークとは、橋や超高層ビル、博物館や美術館などの人口建造物が中心で、これらの人口建造物の比較を通して両国の歴史・成り立ちを探ります。また、イギリス英語とアメリカ英語の発音、語彙、表現の違いを通して、多様性に富む英語の世界に触れることで、奥行きのある英語理解を目指します。経済や文化を通じて世界に大きな影響を与え続けているイギリスとアメリカの「特別な関係」を、その歴史的モニュメントを題材に探りながら、英語という言語が今日国際社会で果たす大きな役割やその精神的背景を理解し、英語学習のインセンティブを高めることが本授業の狙いです。

【到達目標】

本授業を通して学生は、英語の4技能をバランスよく高めます。具体的には以下の能力を身に付けることを目指します。

- ①派生語の知識を通して語彙力を増強し、ハイレベルな（アカデミズムやジャーナリズムの）英文を読みこなす能力。
- ②標準的なイギリス英語、アメリカ英語を聞き取るリスニング力。
- ③テーマに沿った内容で英語で正確な文章を書く英文ライティング能力。
- ④テーマに沿って英語でプレゼンテーションを行うリサーチ能力、英語発信力。
- ⑤プレゼンテーションにおいて英語で質疑応答をする基本的なスピーキング力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は、演習形式で進めます。1つのテーマを2回の授業で進めていきます。1回目の授業はインプット（リスニング、リーディング、ヴォキャブラリー）を中心に学習し、2回目の授業はアウトプット（ライティング、スピーキング、プレゼンテーション）を中心に学習します。これらのアクティビティのフィードバックはすべて授業時間内に行います。レポート課題については、授業支援システムを通じて提出し、フィードバックも授業支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期ガイダンス	春学期の授業の方針説明
第2回	Unit1 Beginnings(UK)①	リスニング、リーディング
第3回	Unit1 Beginnings(UK)②	ライティング、プレゼンテーション①
第4回	Unit1 Beginnings(USA)①	リスニング、リーディング

第5回	Unit1 Beginnings(USA)②	ライティング、プレゼンテーション②
第6回	Unit2 Bridges(UK)①	リスニング、リーディング
第7回	Unit2 Bridges(UK)②	ライティング、プレゼンテーション③
第8回	Unit2 Bridges(USA)①	リスニング、リーディング
第9回	Unit2 Bridges(USA)②	ライティング、プレゼンテーション④
第10回	Unit3 Libraries(UK)①	リスニング、リーディング
第11回	Unit3 Libraries(UK)②	ライティング、プレゼンテーション⑤
第12回	Unit3 Libraries(USA)①	リスニング、リーディング
第13回	Unit3 Libraries(USA)②	ライティング、プレゼンテーション⑥
第14回	春学期の総括	春学期の学習のまとめ、講評、レポート指示等

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習として、各テーマの1回目の授業前に、英語リーディング文章に目を通し、大まかな内容を理解したうえで授業に臨んでください。分からない語は事前に辞書等で調べておいてください。各テーマの2回目の授業前には、自分が担当するプレゼンテーションの準備を行ってください。

復習として、授業時に指示された課題を授業支援システムを通じて提出してください。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】British and American Cultural Landmarks: A Comparison

【著者名】マヌエラ・アントニウ、山田龍

【出版社】南雲堂

【出版年】2026年

【価格】2640円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

リーディング、リスニング演習貢献度：30%

プレゼンテーション：30%

通常課題：20%

学期末レポート：20%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始20分以上過ぎて教室にきた場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の秋学期の授業では、学期末プレゼンテーションに十分な授業回数を割けず、英語での質疑応答を十分に行えなかった。学生からも、短い時間での質疑応答は難しいとの意見が出た。したがって今年度は全授業のうち約半分をプレゼンテーションに充てて、しっかりと指導を行う。特に、英語での質疑応答に十分な時間を割けるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業と最終回の授業はオンライン授業（Zoom 授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve their English proficiency, through learning about significant landmarks in the UK and the USA. The landmarks picked up in this course are mostly human-made structures such as bridges, libraries, skyscrapers, museums, etc. Students explore the historical backgrounds of both countries through these landmarks. Moreover, this course aims to help students acquire deeper understanding of English by being exposed to the diverse world of English, through learning the difference between British English and American English in pronunciation, vocabulary, expressions, etc. The goal of this course is to enhance students' incentives to develop their English ability by understanding the importance of the English language in the global community, which is formed by "the special relationship" between these two countries that continues to have a strong influence on the world today.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Also, students will be expected to prepare for presentation before the student presentation session. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

In class contribution: 30%, presentation: 30%, assignments: 20%, term-end report: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英米の歴史的建造物を通して英語を知る

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業を履修する学生は、イギリスとアメリカの象徴的・歴史的ランドマークについて学びながら英語の4技能を強化することを目指します。本授業で取り上げるランドマークとは、橋や超高層ビル、博物館や美術館などの人口建造物が中心で、これらの人口建造物の比較を通して両国の歴史・成り立ちを探ります。また、イギリス英語とアメリカ英語の発音、語彙、表現の違いを通して、多様性に富む英語の世界に触れることで、奥行きのある英語理解を目指します。経済や文化を通じて世界に大きな影響を与え続けているイギリスとアメリカの「特別な関係」を、その歴史的モニュメントを題材に探りながら、英語という言語が今日国際社会で果たす大きな役割やその歴史的背景を理解し、英語学習のインセンティブを高めることが本授業の狙いです。

【到達目標】

本授業を通して学生は、英語の4技能をバランスよく高めます。具体的には以下の能力を身に付けることを目指します。

- ①派生語の知識を通して語彙力を増強し、ハイレベルな（アカデミズムやジャーナリズムの）英文を読みこなす能力。
- ②標準的なイギリス英語、アメリカ英語を聞き取るリスニング力。
- ③テーマに沿った内容で英語で正確な文章を書く英文ライティング能力。
- ④テーマに沿って英語でプレゼンテーションを行うリサーチ能力、英語発信力。
- ⑤プレゼンテーションにおいて英語で質疑応答をする基本的なスピーキング力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は、演習形式で進めます。1つのテーマを2回の授業で進めていきます。1回目の授業はインプット（リスニング、リーディング、ヴォキャブラリー）を中心に学習し、2回目の授業はアウトプット（ライティング、スピーキング、プレゼンテーション）を中心に学習します。これらのアクティビティのフィードバックはすべて授業時間内に行います。レポート課題については、授業支援システムを通じて提出し、フィードバックも授業支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	秋学期ガイダンス	秋学期の授業の方針説明
第2回	Unit4 Skyscrapers (UK) ①	リスニング、リーディング
第3回	Unit4 Skyscrapers (UK) ②	ライティング、プレゼンテーション①

第4回	Unit4 Skyscrapers (USA) ①	リスニング、リーディング
第5回	Unit4 Skyscrapers (USA) ②	ライティング、プレゼンテーション②
第6回	Unit5 Museums (UK)①	リスニング、リーディング
第7回	Unit5 Museums (UK)②	ライティング、プレゼンテーション③
第8回	Unit5 Museums (USA)①	リスニング、リーディング
第9回	Unit5 Museums (USA)②	ライティング、プレゼンテーション④
第10回	Unit6 Unique Features (UK)①	リスニング、リーディング
第11回	Unit6 Unique Features (UK)②	ライティング、プレゼンテーション⑤
第12回	Unit6 Unique Features (USA)①	リスニング、リーディング
第13回	Unit6 Unique Features (USA)②	ライティング、プレゼンテーション⑥
第14回	秋学期の総括	秋学期の学習のまとめ、講評、レポート指示等

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習として、各テーマの1回目の授業前に、英語リーディング文章に目を通し、大まかな内容を理解したうえで授業に臨んでください。分からない語は事前に辞書等で調べておいてください。各テーマの2回目の授業前には、自分が担当するプレゼンテーションの準備を行ってください。

復習として、授業時に指示された課題を授業支援システムを通じて提出してください。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】British and American Cultural Landmarks: A Comparison

【著者名】マヌエラ・アントニウ、山田龍

【出版社】南雲堂

【出版年】2026年

【価格】2640円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

リーディング、リスニング演習貢献度：30%

プレゼンテーション：30%

通常課題：20%

学期末レポート：20%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始20分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の秋学期の授業では、学期末プレゼンテーションに十分な授業回数を割けず、英語での質疑応答を十分に行えなかった。学生からも、短い時間での質疑応答は難しいとの意見が出た。したがって今年度は全授業のうち約半分をプレゼンテーションに充てて、しっかりと指導を行う。特に、英語での質疑応答に十分な時間を割けるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業と最終回の授業はオンライン授業（Zoom授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve their English proficiency, through learning about significant landmarks in the UK and the USA. The landmarks picked up in this course are mostly human-made structures such as bridges, libraries, skyscrapers, museums, etc. Students explore the historical backgrounds of both countries through these landmarks. Moreover, this course aims to help students acquire deeper understanding of English by being exposed to the diverse world of English, through learning the difference between British English and American English in pronunciation, vocabulary, expressions, etc. The goal of this course is to enhance students' incentives to develop their English ability by understanding the importance of the English language in the global community, which is formed by "the special relationship" between these two countries that continues to have a strong influence on the world today.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Also, students will be expected to prepare for presentation before the student presentation session. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

In class contribution: 30%, presentation: 30%, assignments: 20%, term-end report: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1とEnglish 2で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに発展させる。また、この4技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

動画に基づいて構成されたテキストから、「政策」に関連するユニットを扱う。動画を通して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。

学習支援システムのテスト機能で定期的に予習問題を出題し、授業では事前に配布するワークシートを使ってグループディスカッションをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について説明、受講者の自己紹介
第2回	Unit 11: Four-Day Workweek Won't Happen Overnight (1)	前半のリスニング、読解
第3回	Unit 11: Four-Day Workweek Won't Happen Overnight (2)	後半のリスニング、読解
第4回	Unit 11: Four-Day Workweek Won't Happen Overnight (3)	スピーキング
第5回	パラグラフとは	パラグラフの構造

第6回	Unit 11: Four-Day Workweek Won't Happen Overnight (4)	ライティング、発表
第7回	Unit 5: Restaurant Dedicated to Immigration Reform (1)	前半のリスニング、読解
第8回	Unit 5: Restaurant Dedicated to Immigration Reform (2)	後半のリスニング、読解
第9回	Unit 14: Mangrove Planting in Pakistan (1)	前半のリスニング、読解
第10回	Unit 14: Mangrove Planting in Pakistan (2)	後半のリスニング、読解
第11回	Unit 12: Federal Funding Freeze Impacts Agriculture (1)	前半のリスニング、読解
第12回	Unit 12: Federal Funding Freeze Impacts Agriculture (2)	後半のリスニング、読解
第13回	Unit 12: Federal Funding Freeze Impacts Agriculture (3)	スピーキング
第14回	Unit 12: Federal Funding Freeze Impacts Agriculture (4)	ライティング、発表（期末試験・解説）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される予習問題に解答する。
- ・学習支援システム上で配布するワークシートの指示に従ってディスカッションの準備をする。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト（教科書）】

Vital Voices 3（松柏社、2026年、2800円＋税）

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点20％、予習10％、課題30％、期末試験40％

欠席が4回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用し、グループワークにGoogle Documentを使用する。

また、必要に応じてZoomを使う可能性がある。Zoomになった際は、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。

学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届く。個別の連絡をする場合もあるので、メールを随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have watched a video clip or read a short article and submitted an online test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments (30%) and final test (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1とEnglish 2で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに発展させる。また、この4技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

動画に基づいて構成されたテキストから、「共同体」に関連するユニットを扱う。動画と文章を通して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。

学習支援システムのテスト機能で定期的に予習問題を出題し、授業では事前に配布するワークシートを使ってグループディスカッションをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について確認する プレゼンテーション導入 前半のリスニング、読解
第2回	Unit 2: Black Creatives and the Fashion Industry (1)	
第3回	Unit 2: Black Creatives and the Fashion Industry (2)	後半のリスニング、読解
第4回	Unit 2: Black Creatives and the Fashion Industry (3)	スピーキング

第5回	Unit 2: Black Creatives and the Fashion Industry (4)	ライティング、発表
第6回	Unit 3: Rising Sea Levels Threatens the Seychelles (1)	前半のリスニング、読解
第7回	Unit 3: Rising Sea Levels Threatens the Seychelles (2)	後半のリスニング、読解
第8回	"The Wife's Story"	短編小説の読解
第9回	Unit 10: Wartime Struggle to Save Libraries in Ukraine (1)	前半のリスニング、読解
第10回	Unit 10: Wartime Struggle to Save Libraries in Ukraine (2)	後半のリスニング、読解
第11回	Unit 10: Wartime Struggle to Save Libraries in Ukraine (3)	スピーキング
第12回	Unit 13: Little Arabia (1)	リスニング（前半）、スピーキング
第13回	Unit 13: Little Arabia (2)	リスニング（後半）、スピーキング
第14回	Unit 13: Little Arabia (3)	ライティング、発表（期末試験・解説）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される予習問題に解答する。
- ・学習支援システム上で配布するワークシートの指示に従ってディスカッションの準備をする。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト（教科書）】

Vital Voices 3（松柏社、2026年、2800円＋税）

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点20％、予習10％、課題30％、期末試験40％

欠席が4回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用し、グループワークにGoogle Documentを使用する。
また、必要に応じてZoomを使う可能性がある。Zoomになった際は、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。

学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届く。個別の連絡をする場合もあるので、メールを随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have watched a video clip or read a short article and submitted an online test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments & presentations (30%) and final test (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Current Affairs (Migration and Work in the Modern World)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Through reading, listening, and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge, and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and the influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading, and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee-related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Thinking about work, migration, and movement in Japan through English language media. Introduce yourself, and mention one thing that you think of when you hear the word "economic migrant". Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading diary. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading diary.
Week 2	Economic Migrants in Sales and Marketing	Unit 1 Sales Can Be Like Acting Complete exercises in the textbook. Watch the video of the Tommy Lee Jones interview. Write down some impressions that you have of famous Hollywood stars like Tommy Lee Jones who appear in commercials in Japan. Share these ideas in discussions in pairs. Homework: Reading and reading diary.
Week 3	Economic migrants.	Economic migrants. People like David White (from Unit One) can be classified as economic migrants however they are usually not referred to as such. Others who migrate for work are called economic migrants and may be even considered to be a "social problem". Based on materials in class and students' research, discuss the various types of "economic migrants" living and working in Japan. Prepare a short presentation on what kind of work would suite you. Would you move abroad to work? Homework: Reading on undocumented migrants.

Week 4	Reading Article 1 Reading article on migrant workers in Japan.	Students will be introduced to vocabulary in English for thinking about migration. This will include key words such as “undocumented” or “irregular” migrants, who are often referred to as “Illegal” migrants in the media and by governments and government bureaucracies.	Week 11	Reading Task 3	Readings an article related to students’ own presentation.
Week 5	Air Travel Tourism: A world that is open and accessible?	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey) Exercises from the textbook. Homework: Reading and reading diary.	Week 12	Presentation Workshop	You will have time to continue preparing your presentations. You will have the opportunity to talk to each other about your presentations and ask your teacher for help with content and English expression.
Week 6	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey)	Exercises from the textbook. Continued. Homework: Reading on immigration detention.	Week 13	Student Presentations part 1.	First group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Week 7	Reading Task 2 Air Travel Passports, Refugees, and Immigration Detention	Many of the migrant workers introduced in the textbook are from “Western” countries such as Italy or the UK. But migrants and refugees can face problems with immigration control. We will look at articles about people detained in immigration detention including the situation of a person from Turkey living in Japan.	Week 14	Student presentations part 2.	Second group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Week 8	Research workshop: Learning about a topic through essay writing.	Choose a topic you want to present on as a power-point presentation. Think about the title, introduction, the details for the body, and your conclusion. Think about the sources that you can use to write your presentation. Start thinking about the images you can use for your presentation. You will start preparing your presentation and also get feed back from the instructor online after submitting a draft. You will then continue to edit the presentation before presenting it in week 13 or 14.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 Materials that will be used in this class will be provided throughout the course by the instructor. Please make sure you have a A4 folder to keep these resources in one places. 教科書に代替する教材資料は授業を通して配布する。資料を整理するためにA4 フォルダを購入すること。 【参考書】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search “Penguin reader” on the library search. Oxford Bookworms etc (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) *Search “Oxford Bookworms” on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann. 【成績評価の方法と基準】 1. Class Participation and Reading (Keeping a reading record) 20%		
Week 9	Unit 5: Migrant Workers in the Service Sector	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Exercises from the textbook: Providing good service and marketing. Homework: Reading and reading diary.			
Week 10	Unit 5: Migrants Workers in Japan	Unit 5: Migrants Workers Exploitation in Japan Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Continued Reading task: Article about technical trainees working in Japan. Homework: Reading on Migrant Workers in Japan.			

- ・ In-class reading and listening comprehension, discussions based on the text book and other materials.
- ・ Choosing and reading books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading record of all the books and articles you have read in English during the semester.

2. Various reading in-class and homework assignments. Reading the articles handed to you in class and taking notes on those articles to help with comprehension and class discussion

30%

a. Reading article on migrant workers in Japan.10%

b. Reading article on immigration detention.10%

c. Reading an article related to students' own presentation. 10%

3. Major assignment: research and presentation 50%

Research Topic Work Sheet 10%

References for presentation (work sheet and bibliography in slides)10 %

Final Presentation (10 slides x 20 second presentation + references slide) 30%

(Oral presentation, content of presentation, slides, general effort 20% Your comments listening to other students and comments on your presentation by others 10%)

You will complete a work sheet including a bibliography which you will hand in separately in person or online. The information that you prepare in the work sheet that you will complete for homework and in class will then be what you base your final presentation on.

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

● A4 folder to keep all hand outs and learning resources organized for this class.

● Additional resources for writing (dictionaries etc).

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or laptop if it helps with their learning.

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

The purpose of English 3 is to further develop students' English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading, and writing skills.

This course is for second-year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs (Migration and Work in the Modern World)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group.

This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi). There will be verbal feedback given directly to every student following their presentation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Course syllabus explained. Introduce yourself. Tell the class about something interesting or fun that you did while you were on summer vacation (study, student association activities, hobbies etc.) Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading record. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading record.
Lesson 2	The migration of ideas through translation.	Textbook Unit 4 Translating is more than words. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 3	The migration of ideas through translation (continued)	Focusing on the translation of Japanese Manga and Anime into English Speaking Practice: Exploring different interests Reading Passage: Why Learn Japanese. Reading Comprehension /Your Opinions. Homework: Reading and reading diary. Reading on Palestine and it's Japanese translation.

Lesson 4	Reading Task 1 Translation and learning about Palestine	We will look at articles and parts of books written in English about topics such as Israel-Palestine, genocide of Jewish people, and writing in English by people in Gaza. We will also read an article about the ongoing genocide in Gaza. Homework: Practice reading articles shown in class. Also go and find a TV program that you think might be fun in English and watch it in English. Reading and reading diary.
Lesson 5	Textbook- Unit 6: Toast Your Success!	Japanese Companies selling products overseas Homework: Reading and reading diary.
Lesson 6	Unit 6 Think global act local.	Japanese Companies selling products overseas Homework: Read article on migration and crime.
Lesson 7	Reading Task 2: Migration and Crime	The movement of people and the movement of different ways of living: how does this impact society? Reading article on the topic: Does migration lead to an increase in crime? Homework: Hand out worksheets on research for final presentation.
Lesson 8	Research workshop: Learning about a topic through essay writing.	Choose a topic you want to present on as a power-point presentation. Think about the title, introduction, the details for the body, and your conclusion. Think about the sources that you can use to write your presentation. Start thinking about the images you can use for your presentation. You will start preparing your presentation and also get feedback from the instructor online after submitting a draft. You will then continue to edit the presentation before presenting it in week 13 or 14.
Lesson 9	Unit 8: Build a Happy Life!	Life of a European Architect in Japan from Text book
Lesson 10	Build a Happy Life continued.	Life of a European Architect in Japan Homework: Reading on border control construction such as walls and fences.
Lesson 11	Reading Task 3	Reading an article related to students' own presentation.
Lesson 12	Presentation Workshop	You will have time to continue preparing your presentations. You will have the opportunity to talk to each other about your presentations and ask your teacher for help with content and English expression.

Lesson 13	Student Presentations part 1.	First group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Lesson 14	Student presentations part 2.	Second group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations.

Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. You will need to set aside time to research for your presentations and to read the articles given to you during class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials that will be used in this class will be provided throughout the course by the instructor. Please make sure you have a A4 folder to keep these resources in one place.

教科書に代替する教材資料は授業を通して配布する。資料を整理するためにA4 フォルダを購入すること。

【参考書】

Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals

Alice Gordenker & John Rucynski

Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550,

Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from)

Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin

*Search "Penguin reader" on the library search.

Oxford Bookworms etc (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from)

*Search "Oxford Bookworms" on the library search.

English to English dictionary: <https://dictionary.cambridge.org/>

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon.

Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

【成績評価の方法と基準】

1. Class Participation and Reading (Keeping a reading record) 20%

- In-class reading and listening comprehension, discussions based on the text book and other materials.

- Choosing and reading books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading record of all the books and articles you have read in English during the semester.

2. Various reading in-class and homework assignments. Reading the articles handed to you in class and taking notes on those articles to help with comprehension and class discussion

30%

a. Reading article on genocide in Gaza and other books on Palestine 10%

b. Reading article on immigration and crime. 10%

c. Reading an article related to students' own presentation. 10%

3. Major assignment: research and presentation 50%

Research Topic Work Sheet 10%

References for presentation (work sheet and bibliography in slides)10 %

Final Presentation (10 slides x 20 second presentation + references slide) 30%

(Oral presentation, content of presentation, slides, general effort 20% Your comments listening to other students and comments on your presentation by others 10%)

You will complete a work sheet including a bibliography which you will hand in separately in person or online. The information that you prepare in the work sheet that you will complete for homework and in class will then be what you base your final presentation on.

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

● A4 folder to keep all hand outs and learning resources organized for this class.

● Additional resources for writing (dictionaries etc).

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or laptop if it helps with their learning.

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

The purpose of English 3 is to further develop students' English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading, listening, and/or writing homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. Important information will be distributed via HOPPIL, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc in class and via email as needed. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPIL.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW, brainstorming on Topic 1, homework, Q & A

3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A
4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Planned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Story of my name, group discussion (3) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Unplanned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Conversation, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentation on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Vocabulary quiz 4, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Vocabulary quiz 4, conversation, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentation on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPIL.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

Students enjoyed communicating with each other in English, made friends, and developed a sense of community through many group activities. They also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】

- 1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
- 2) Students will conduct research on current issues and critically evaluate the reading and audio-visual materials by paying attention to the style and the source.
- 3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This is a learner-centred course. Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc in class and via email as needed. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, discussion on Topic 1 (1), homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, Current Issue 1	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (2) on Topic 1

4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, Current Issue 1	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (3) on Topic 1, homework, Q & A
5	Unplanned speech, Current Issue 1, preparing for Presentation 1	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Vocabulary Quiz 3, unplanned speech, Current Issue 2	Vocabulary Quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Vocabulary Quiz 4, unplanned speech, Current Issue 2	Vocabulary Quiz 4, conversation, basics of essay writing (2), group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
10	Unplanned speech, basics of essay writing (1), Current Issue 2	Conversation, basics of essay writing (1), group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, basics of essay writing (2), Current preparing for Presentation 2	Conversation, basics of essay writing (2), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, essay writing	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, essay writing, recap of the semester, student feedback	Conversation, share & discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

【参考書】

Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

Students enjoyed communicating with each other in English, made friends, and developed a sense of community through many group activities. They also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英米の歴史的建造物を通して英語を知る

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業を履修する学生は、イギリスとアメリカの象徴的・歴史的ランドマークについて学びながら英語の4技能を強化することを目指します。本授業で取り上げるランドマークとは、橋や超高層ビル、博物館や美術館などの人口建造物が中心で、これらの人口建造物の比較を通して両国の歴史・成り立ちを探ります。また、イギリス英語とアメリカ英語の発音、語彙、表現の違いを通して、多様性に富む英語の世界に触れることで、奥行きのある英語理解を目指します。経済や文化を通じて世界に大きな影響を与え続けているイギリスとアメリカの「特別な関係」を、その歴史的モニュメントを題材に探りながら、英語という言語が今日国際社会で果たす大きな役割やその精神的背景を理解し、英語学習のインセンティブを高めることが本授業の狙いです。

【到達目標】

本授業を通して学生は、英語の4技能をバランスよく高めます。具体的には以下の能力を身に付けることを目指します。

- ①派生語の知識を通して語彙力を増強し、ハイレベルな（アカデミズムやジャーナリズムの）英文を読みこなす能力。
- ②標準的なイギリス英語、アメリカ英語を聞き取るリスニング力。
- ③テーマに沿った内容で英語で正確な文章を書く英文ライティング能力。
- ④テーマに沿って英語でプレゼンテーションを行うリサーチ能力、英語発信力。
- ⑤プレゼンテーションにおいて英語で質疑応答をする基本的なスピーキング力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は、演習形式で進めます。1つのテーマを2回の授業で進めていきます。1回目の授業はインプット（リスニング、リーディング、ヴォキャブラリー）を中心に学習し、2回目の授業はアウトプット（ライティング、スピーキング、プレゼンテーション）を中心に学習します。これらのアクティビティのフィードバックはすべて授業時間内に行います。レポート課題については、授業支援システムを通じて提出し、フィードバックも授業支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期ガイダンス	春学期の授業の方針説明
第2回	Unit1 Beginnings(UK)①	リスニング、リーディング
第3回	Unit1 Beginnings(UK)②	ライティング、プレゼンテーション①
第4回	Unit1 Beginnings(USA)①	リスニング、リーディング

第5回	Unit1 Beginnings(USA)②	ライティング、プレゼンテーション②
第6回	Unit2 Bridges(UK)①	リスニング、リーディング
第7回	Unit2 Bridges(UK)②	ライティング、プレゼンテーション③
第8回	Unit2 Bridges(USA)①	リスニング、リーディング
第9回	Unit2 Bridges(USA)②	ライティング、プレゼンテーション④
第10回	Unit3 Libraries(UK)①	リスニング、リーディング
第11回	Unit3 Libraries(UK)②	ライティング、プレゼンテーション⑤
第12回	Unit3 Libraries(USA)①	リスニング、リーディング
第13回	Unit3 Libraries(USA)②	ライティング、プレゼンテーション⑥
第14回	春学期の総括	春学期の学習のまとめ、講評、レポート指示等

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習として、各テーマの1回目の授業前に、英語リーディング文章に目を通し、大まかな内容を理解したうえで授業に臨んでください。分からない語は事前に辞書等で調べておいてください。各テーマの2回目の授業前には、自分が担当するプレゼンテーションの準備を行ってください。

復習として、授業時に指示された課題を授業支援システムを通じて提出してください。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】British and American Cultural Landmarks: A Comparison

【著者名】マヌエラ・アントニウ、山田龍

【出版社】南雲堂

【出版年】2026年

【価格】2640円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

リーディング、リスニング演習貢献度：30%

プレゼンテーション：30%

通常課題：20%

学期末レポート：20%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始20分以上過ぎて教室にきた場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の秋学期の授業では、学期末プレゼンテーションに十分な授業回数を割けず、英語での質疑応答を十分に行えなかった。学生からも、短い時間での質疑応答は難しいとの意見が出た。したがって今年度は全授業のうち約半分をプレゼンテーションに充てて、しっかりと指導を行う。特に、英語での質疑応答に十分な時間を割けるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業と最終回の授業はオンライン授業（Zoom 授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve their English proficiency, through learning about significant landmarks in the UK and the USA. The landmarks picked up in this course are mostly human-made structures such as bridges, libraries, skyscrapers, museums, etc. Students explore the historical backgrounds of both countries through these landmarks. Moreover, this course aims to help students acquire deeper understanding of English by being exposed to the diverse world of English, through learning the difference between British English and American English in pronunciation, vocabulary, expressions, etc. The goal of this course is to enhance students' incentives to develop their English ability by understanding the importance of the English language in the global community, which is formed by "the special relationship" between these two countries that continues to have a strong influence on the world today.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Also, students will be expected to prepare for presentation before the student presentation session. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

In class contribution: 30%, presentation: 30%, assignments: 20%, term-end report: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英米の歴史的建造物を通して英語を知る

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業を履修する学生は、イギリスとアメリカの象徴的・歴史的ランドマークについて学びながら英語の4技能を強化することを目指します。本授業で取り上げるランドマークとは、橋や超高層ビル、博物館や美術館などの人口建造物が中心で、これらの人口建造物の比較を通して両国の歴史・成り立ちを探ります。また、イギリス英語とアメリカ英語の発音、語彙、表現の違いを通して、多様性に富む英語の世界に触れることで、奥行きのある英語理解を目指します。経済や文化を通じて世界に大きな影響を与え続けているイギリスとアメリカの「特別な関係」を、その歴史的モニュメントを題材に探りながら、英語という言語が今日国際社会で果たす大きな役割やその歴史的背景を理解し、英語学習のインセンティブを高めることが本授業の狙いです。

【到達目標】

本授業を通して学生は、英語の4技能をバランスよく高めます。具体的には以下の能力を身に付けることを目指します。

- ①派生語の知識を通して語彙力を増強し、ハイレベルな（アカデミズムやジャーナリズムの）英文を読みこなす能力。
- ②標準的なイギリス英語、アメリカ英語を聞き取るリスニング力。
- ③テーマに沿った内容で英語で正確な文章を書く英文ライティング能力。
- ④テーマに沿って英語でプレゼンテーションを行うリサーチ能力、英語発信力。
- ⑤プレゼンテーションにおいて英語で質疑応答をする基本的なスピーキング力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は、演習形式で進めます。1つのテーマを2回の授業で進めていきます。1回目の授業はインプット（リスニング、リーディング、ヴォキャブラリー）を中心に学習し、2回目の授業はアウトプット（ライティング、スピーキング、プレゼンテーション）を中心に学習します。これらのアクティビティのフィードバックはすべて授業時間内に行います。レポート課題については、授業支援システムを通じて提出し、フィードバックも授業支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	秋学期ガイダンス	秋学期の授業の方針説明
第2回	Unit4 Skyscrapers (UK) ①	リスニング、リーディング
第3回	Unit4 Skyscrapers (UK) ②	ライティング、プレゼンテーション①

第4回	Unit4 Skyscrapers (USA) ①	リスニング、リーディング
第5回	Unit4 Skyscrapers (USA) ②	ライティング、プレゼンテーション②
第6回	Unit5 Museums (UK)①	リスニング、リーディング
第7回	Unit5 Museums (UK)②	ライティング、プレゼンテーション③
第8回	Unit5 Museums (USA)①	リスニング、リーディング
第9回	Unit5 Museums (USA)②	ライティング、プレゼンテーション④
第10回	Unit6 Unique Features (UK)①	リスニング、リーディング
第11回	Unit6 Unique Features (UK)②	ライティング、プレゼンテーション⑤
第12回	Unit6 Unique Features (USA)①	リスニング、リーディング
第13回	Unit6 Unique Features (USA)②	ライティング、プレゼンテーション⑥
第14回	秋学期の総括	秋学期の学習のまとめ、講評、レポート指示等

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習として、各テーマの1回目の授業前に、英語リーディング文章に目を通し、大まかな内容を理解したうえで授業に臨んでください。分からない語は事前に辞書等で調べておいてください。各テーマの2回目の授業前には、自分が担当するプレゼンテーションの準備を行ってください。復習として、授業時に指示された課題を授業支援システムを通じて提出してください。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】British and American Cultural Landmarks: A Comparison

【著者名】マヌエラ・アントニウ、山田龍

【出版社】南雲堂

【出版年】2026年

【価格】2640円

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の通り評価します。

リーディング、リスニング演習貢献度：30%

プレゼンテーション：30%

通常課題：20%

学期末レポート：20%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始20分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の秋学期の授業では、学期末プレゼンテーションに十分な授業回数を割けず、英語での質疑応答を十分に行えなかった。学生からも、短い時間での質疑応答は難しいとの意見が出た。したがって今年度は全授業のうち約半分をプレゼンテーションに充てて、しっかりと指導を行う。特に、英語での質疑応答に十分な時間を割けるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業と最終回の授業はオンライン授業（Zoom授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。

また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【その他の重要事項】

特になし

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve their English proficiency, through learning about significant landmarks in the UK and the USA. The landmarks picked up in this course are mostly human-made structures such as bridges, libraries, skyscrapers, museums, etc. Students explore the historical backgrounds of both countries through these landmarks. Moreover, this course aims to help students acquire deeper understanding of English by being exposed to the diverse world of English, through learning the difference between British English and American English in pronunciation, vocabulary, expressions, etc. The goal of this course is to enhance students' incentives to develop their English ability by understanding the importance of the English language in the global community, which is formed by "the special relationship" between these two countries that continues to have a strong influence on the world today.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Also, students will be expected to prepare for presentation before the student presentation session. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

In class contribution: 30%, presentation: 30%, assignments: 20%, term-end report: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1とEnglish 2で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに発展させる。また、この4技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

動画に基づいて構成されたテキストから、「政策」に関連するユニットを扱う。動画を通して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。

学習支援システムのテスト機能で定期的に予習問題を出題し、授業では事前に配布するワークシートを使ってグループディスカッションをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について説明、受講者の自己紹介
第2回	Unit 11: Four-Day Workweek Won't Happen Overnight (1)	前半のリスニング、読解
第3回	Unit 11: Four-Day Workweek Won't Happen Overnight (2)	後半のリスニング、読解
第4回	Unit 11: Four-Day Workweek Won't Happen Overnight (3)	スピーキング
第5回	パラグラフとは	パラグラフの構造

第6回	Unit 11: Four-Day Workweek Won't Happen Overnight (4)	ライティング、発表
第7回	Unit 5: Restaurant Dedicated to Immigration Reform (1)	前半のリスニング、読解
第8回	Unit 5: Restaurant Dedicated to Immigration Reform (2)	後半のリスニング、読解
第9回	Unit 14: Mangrove Planting in Pakistan (1)	前半のリスニング、読解
第10回	Unit 14: Mangrove Planting in Pakistan (2)	後半のリスニング、読解
第11回	Unit 12: Federal Funding Freeze Impacts Agriculture (1)	前半のリスニング、読解
第12回	Unit 12: Federal Funding Freeze Impacts Agriculture (2)	後半のリスニング、読解
第13回	Unit 12: Federal Funding Freeze Impacts Agriculture (3)	スピーキング
第14回	Unit 12: Federal Funding Freeze Impacts Agriculture (4)	ライティング、発表（期末試験・解説）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される予習問題に解答する。
- ・学習支援システム上で配布するワークシートの指示に従ってディスカッションの準備をする。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト（教科書）】

Vital Voices 3（松柏社、2026年、2800円＋税）

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、予習10%、課題30%、期末試験40%

欠席が4回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用し、グループワークにGoogle Documentを使用する。

また、必要に応じてZoomを使う可能性がある。Zoomになった際は、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。

学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届く。個別の連絡をする場合もあるので、メールを随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have watched a video clip or read a short article and submitted an online test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments (30%) and final test (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の世界における日本

山崎 暁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1とEnglish 2で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに発展させる。また、この4技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

動画に基づいて構成されたテキストから、「共同体」に関連するユニットを扱う。動画と文章を通して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。

学習支援システムのテスト機能で定期的に予習問題を出題し、授業では事前に配布するワークシートを使ってグループディスカッションをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について確認する プレゼンテーション導入 前半のリスニング、読解
第2回	Unit 2: Black Creatives and the Fashion Industry (1)	
第3回	Unit 2: Black Creatives and the Fashion Industry (2)	後半のリスニング、読解
第4回	Unit 2: Black Creatives and the Fashion Industry (3)	スピーキング

第5回	Unit 2: Black Creatives and the Fashion Industry (4)	ライティング、発表
第6回	Unit 3: Rising Sea Levels Threatens the Seychelles (1)	前半のリスニング、読解
第7回	Unit 3: Rising Sea Levels Threatens the Seychelles (2)	後半のリスニング、読解
第8回	"The Wife's Story"	短編小説の読解
第9回	Unit 10: Wartime Struggle to Save Libraries in Ukraine (1)	前半のリスニング、読解
第10回	Unit 10: Wartime Struggle to Save Libraries in Ukraine (2)	後半のリスニング、読解
第11回	Unit 10: Wartime Struggle to Save Libraries in Ukraine (3)	スピーキング
第12回	Unit 13: Little Arabia (1)	リスニング（前半）、スピーキング
第13回	Unit 13: Little Arabia (2)	リスニング（後半）、スピーキング
第14回	Unit 13: Little Arabia (3)	ライティング、発表（期末試験・解説）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される予習問題に解答する。
- ・学習支援システム上で配布するワークシートの指示に従ってディスカッションの準備をする。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト（教科書）】

Vital Voices 3（松柏社、2026年、2800円＋税）

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点20％、予習10％、課題30％、期末試験40％

欠席が4回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用し、グループワークにGoogle Documentを使用する。
また、必要に応じてZoomを使う可能性がある。Zoomになった際は、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。

学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届く。個別の連絡をする場合もあるので、メールを随時チェックすること。

【Outline (in English)】

[Course outline]

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have watched a video clip or read a short article and submitted an online test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments & presentations (30%) and final test (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Discussing Contemporary Global Issues

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course develops students' English language skills through the exploration of contemporary global issues. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English.

本授業では、現代社会の様々な問題について英語で考え、議論することを通じて、総合的な英語力の向上を目指します。情報を分析し、自分の意見を効果的に表現する力を養います。

【到達目標】

Students will:

- Develop critical thinking skills through analysis of contemporary global issues
- Learn to express opinions logically in English
- Improve comprehension of authentic English materials on social topics
- Build confidence in discussing various global topics
- Expand vocabulary related to current affairs and social issues

到達目標：

- 批判的思考力を養う
- 英語で論理的に意見を表現する
- 社会問題に関する語彙力を高める
- ディスカッションに自信を持つ

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Classes will include:

- Listening exercises on contemporary topics
- Reading comprehension and vocabulary development
- Reading and discussing charts and statistics
- Group discussions and research activities
- Oral presentations

Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Course overview, textbook introduction
2	Unit 2: AI and Human Beings	Listening, vocabulary, introduction
3	Unit 2: AI and Human Beings	Reading, key phrases, sharing thoughts
4	Unit 9: The Middle East Conflict	Listening, vocabulary, introduction
5	Unit 9: The Middle East Conflict	Reading, key phrases, sharing thoughts

6	Unit 5: Japanese Morality	Listening, vocabulary, introduction
7	Unit 5: Japanese Morality	Reading, key phrases, sharing thoughts
8	Unit 8: Human Rights: LGBTQ+	Listening, vocabulary, introduction
9	Unit 8: Human Rights: LGBTQ+	Reading, key phrases, sharing thoughts
10	Unit 11: Tourism in Japan	Listening, vocabulary, introduction
11	Unit 11: Tourism in Japan	Reading, key phrases, sharing thoughts
12	Final Presentations I	Student presentations
13	Final Presentations II	Student presentations
14	Final Presentations III & Course Reflection	Presentations and review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students should:

- Review class materials and vocabulary
- Prepare for discussions by researching topics
- Practice presentation skills
- Complete extensive reading assignments

University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Miyako Nakaya, Miyuki Yukita, Masaru Yamazaki, Bill Benfield.

CLIL: Discuss the Changing World 3. Tokyo: Seibido, 2025.

ISBN 978-4-7919-7340-8 (¥ 2,750 税込 / ¥ 2,500 + 税)

【参考書】

Extensive Reading Materials / 多読教材:

The university library offers a wide selection of graded readers suitable for self-study. See: <https://hosei.libguides.com/tadoku>
図書館では自習用の多読教材（グレーデッド・リーダー）を多数所蔵しています。

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on:

- Class participation and discussion: 40%
- Final presentation: 50%
- Extensive reading (reading log completion): 10%

Note: In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

原則として、各学期欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

A new textbook (CLIL: Discuss the Changing World 3) is being used this year. Changes in some of the course contents and the pacing may occur depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students.

今年度は新しい教科書（CLIL: Discuss the Changing World 3）を使用します。学生の習熟度に応じて、授業内容やペースを調整することがあります。学生からのフィードバックを歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

- Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Active participation in English is expected (積極的な英語の使用が期待されます)
- The instructor may modify some of the course topics and the pacing of contents according to students' needs and interests.
- 担当教員は、学生のニーズや関心に応じて、トピックや進度を調整することがあります。

【Outline (in English)】

This course develops students' English language skills through the exploration of contemporary global issues. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information, interpret data, and express opinions effectively in English. The course aims to build on skills gained from English 1&2 and further enhance students' English language proficiency to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss their own ideas on social topics.

Course activities include listening and reading comprehension on contemporary topics, vocabulary development, reading and discussing charts and statistics, group discussions and research activities, and oral presentations. Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

Students are expected to prepare for class by reviewing materials, completing assigned readings, and practicing presentation skills. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for this one-credit course.

Grades will be based on class participation and discussion (40%), extensive reading (reading log completion) (10%), and a final presentation (50%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Critical Thinking and Contemporary Issues

ROBIN F WEICHERT

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course develops students' English language skills through the exploration of contemporary global issues. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English.

本授業では、現代社会の様々な問題について英語で考え、議論することを通じて、総合的な英語力の向上を目指します。情報を分析し、自分の意見を効果的に表現する力を養います。

【到達目標】

Students will:

- Develop critical thinking skills through analysis of contemporary global issues
- Learn to express opinions logically in English
- Improve comprehension of authentic English materials on social topics
- Build confidence in discussing various global topics
- Expand vocabulary related to current affairs and social issues

到達目標：

- 批判的思考力を養う
- 英語で論理的に意見を表現する
- 社会問題に関する語彙力を高める
- ディスカッションに自信を持つ

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Classes will include:

- Listening exercises on contemporary topics
- Reading comprehension and vocabulary development
- Reading and discussing charts and statistics
- Group discussions and research activities
- Oral presentations

Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Semester overview, review of skills
2	Unit 1: Population Pyramids	Listening, vocabulary, introduction
3	Unit 1: Population Pyramids	Reading, key phrases, sharing thoughts
4	Unit 4: Combating Biases	Listening, vocabulary, introduction
5	Unit 4: Combating Biases	Reading, key phrases, sharing thoughts
6	Unit 6: Eating Habits	Listening, vocabulary, introduction

7	Unit 6: Eating Habits	Reading, key phrases, sharing thoughts
8	Unit 12: Poverty and Monetary Society	Listening, vocabulary, introduction
9	Unit 12: Poverty and Monetary Society	Reading, key phrases, sharing thoughts
10	Unit 14: Disaster-related Deaths	Listening, vocabulary, introduction
11	Unit 14: Disaster-related Deaths	Reading, key phrases, sharing thoughts
12	Final Presentations I	Student presentations
13	Final Presentations II	Student presentations
14	Final Presentations III & Course Reflection	Presentations and review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students should:

- Review class materials and vocabulary
- Prepare for discussions by researching topics
- Practice presentation skills
- Complete extensive reading assignments

University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Miyako Nakaya, Miyuki Yukita, Masaru Yamazaki, Bill Benfield.

CLIL: Discuss the Changing World 3. Tokyo: Seibido, 2025.

ISBN 978-4-7919-7340-8 (¥ 2,750 税込 / ¥ 2,500 + 税)

【参考書】

Extensive Reading Materials / 多読教材:

The university library offers a wide selection of graded readers suitable for self-study. See: <https://hosei.libguides.com/tadoku>
図書館では自習用の多読教材（グレーデッド・リーダー）を多数所蔵しています。

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on:

- Class participation and discussion: 40%
- Final presentation: 50%
- Extensive reading (reading log completion): 10%

Note: In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

原則として、各学期欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

A new textbook (CLIL: Discuss the Changing World 3) is being used this year. Changes in some of the course contents and the pacing may occur depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students.

今年度は新しい教科書（CLIL: Discuss the Changing World 3）を使用します。学生の習熟度に応じて、授業内容やペースを調整することがあります。学生からのフィードバックを歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

- Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Active participation in English is expected (積極的な英語の使用が期待されます)
- The instructor may modify some of the course topics and the pacing of contents according to students' needs and interests.
- 担当教員は、学生のニーズや関心に応じて、トピックや進度を調整することがあります。

【Outline (in English)】

This course develops students' English language skills through the exploration of contemporary global issues. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information, interpret data, and express opinions effectively in English. The course aims to build on skills gained from English 1&2 and further enhance students' English language proficiency to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss their own ideas on social topics.

Course activities include listening and reading comprehension on contemporary topics, vocabulary development, reading and discussing charts and statistics, group discussions and research activities, and oral presentations. Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

Students are expected to prepare for class by reviewing materials, completing assigned readings, and practicing presentation skills. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for this one-credit course.

Grades will be based on class participation and discussion (40%), extensive reading (reading log completion) (10%), and a final presentation (50%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Instructor will also provide feedback to students in class and by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/L1	Getting started
2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigration/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
13	Threats to world peace/Nuclear weapons. HW/None	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
14	Review	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: International Relations/Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Instructor will also provide feedback to students in class and by email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automation/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14. Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia. The
homework listening recordings can be streamed or downloaded
from <http://groups.yahoo.com/group/aief56/> Students will
have to create a yahoo.com email address, join the group,
and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2
Listening'.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation,
25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work,
25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class
sessions may disqualify students from obtaining credit for the
course. Lateness exceeding 15 minutes without justification
will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing,
grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English for the real world.

ジョナサン・エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects. All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is provided throughout.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.

9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See references.

【参考書】

NHK/NHK Educational

Japan Times

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II 2017年度以降入学者

サブタイトル: English for the real world

ジョナサン・エイブル

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is provided throughout.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.

9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.
11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Social issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate. (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。) University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. See References.

【参考書】

NHK/NHK Educational.

Japan Times.

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA (英語 / English language education 200)			第2回	Unit 1. A Fortunate Accident	前回のフィードバック・課題レポートの指示: コミュニケーションにおいてどんなことが「アイス・ブレイカー」となるのか学習します。
English 3 I			第3回	Unit 2. Britain's Best Ride	前回のフィードバック・課題レポートの指示: ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
サブタイトル: Introduction to British life & culture			第4回	Unit 3. The Meaning of Bond	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
吉川 直澄			第5回	Unit 4. The Changing High Street	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 月4/Mon.4			第6回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	前回のフィードバック・課題レポートの指示: イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。
単位数: 1単位			第7回	マンガ・アニメの中のイギリス	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 英語資料の理解と分析、英訳されたコンテンツ(『黒執事』・『魔法使いの嫁』・『絢爛たるグランドセーヌ』)の中で描かれるイギリス像を考察します。但しインターネット上のコンテンツの状況により教材を変更せざる得ない場合があります。
その他属性:			第8回	Unit 6. Expressive Expressions	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 日英のイディオムを比較します。
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			第9回	Unit 7. A Woman of Some Importance	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 現国王チャールズIII世の母、エリザベスII世の文化的アイコンとしての役割と今後のイギリス王室のあり方について考えます。
English 1とEnglish 2で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探究し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、顕著で大きな文化的な差異、微妙で小さな差異に注目し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。			第10回	Unit 8. Shakespeare Lives On	前回のフィードバック・課題レポートの指示: シェイクスピアが英語の日常表現に与えた影響について、さらに現代の文化産業としてのシェイクスピアの意義について調べてみましょう。
【到達目標】			第11回	マンガとマイノリティ	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 英語資料の精読と理解、マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文とドキュメンタリー映画『Future is Mine: アイヌ、私の声』(2020)と共に考察します。
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。			第12回	アニメとシンパシーとエンパシー	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 英語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』(A Silent Voice)をアメリカ映画Coda (2022)と比較しながら考察します。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			第13回	復習課題と学期末課題レポートの説明	前回のフィードバック・課題レポートの指示: これまでの課題の復習・まとめを行い、学期末レポート課題の説明をします。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1			第14回	学期末文法・語彙確認テスト/学期末レポートの提示/まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示し、提出期限をお知らせします。
【主な授業方法】					
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド(資料型)を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から(匿名で)実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。					
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face					
回	テーマ	内容			
第1回	ガイダンス/課題の提示	授業テーマの確認と授業方法の説明を行い、第1回課題を提示します。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。学生の皆さんは教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。学生の皆さんは英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】

Realise Britain, Colin Joyce, 金星堂, 2014年, 1800円, ISBN978-4-7647-3982-6.

【参考書】

Nicole Coolidge Rousmaiere, (2019) Manga マンガ, London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポートの提出(45%)、学期末レポート課題の提出(20%)、学期末に行う文法・語彙確認テスト(30%)と授業への積極的な参加・貢献(5%)を総合して評価します。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとします。総合評価には授業への出席・積極的な参加と貢献も含まれます。授業の欠席が4回以上ある方、未提出課題が5回以上になった方は原則として単位習得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用します。

【その他の重要事項】

指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講者には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることを銘記してください。それが単位習得のための最善策です。授業終了後に質問等を受け付けます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 20%, final term test: 30% and in-class contribution: 5%

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Introduction to British life & culture

吉川 直澄

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1とEnglish 2で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、EU離脱以降のイギリスを巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド(資料型)を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から(匿名で)実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	学期末レポート課題のフィードバックと第1回レポート課題の指示	春学期の学期末レポート課題の全体に対するフィードバックを行い、問題点があれば指摘し、解説します。第1回レポート課題を指示します。
第2回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるでしょうか。

第3回	Unit 10. A Complicated Country	前回のフィードバック・レポート課題の指示: イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第4回	Unit 11. The Quite Fab Four	前回のフィードバック・レポート課題の指示: ビートルズについて調べてみましょう。
第5回	Unit 12. A Vulgar Custom	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第6回	The Establishment: The Boys in Blue	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、オーウェン・ジョーンズの著作 The Establishment (2015)の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』(2000)を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第7回	The Establishment: Scrounging off the State	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』(2019)を鑑賞します。
第8回	The Establishment: Foreword to the Paperback Edition	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として移民問題を扱った2つのイギリス映画『ベッカムに恋して』(2002)と『エンババ・オブ・ライト』(2022)を鑑賞します。
第9回	Unit 13. The "Invention" of Sport	前回のフィードバック・レポート課題の指示: イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第10回	Unit 14 Changing Classes	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 階級制度について学びます。
第11回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 文化的アイコンとしてのスピットファイアについて考察します。バトルオブブリテンについて調べてみましょう。
第12回	Film as a complex site of cultural representation	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 教科書でこれまで議論されてきた様々な論点と本講義で取り上げたイギリス映画との関連性について考察します。
第13回	復習とまとめ、学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 教科書のまとめと第13回レポート課題の指示、それから学期末レポート課題の説明をします。
第14回	学期末文法・語彙確認テスト/学期末レポートの提示/まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示します。提出期限を指示します。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。学生の皆さんは教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。学生の皆さんは英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】

春学期のテキストを引き続き使用します。

【参考書】

Owen, Jones. The Establishment, London: Penguin (2015).
Oakland, John. British Civilization an Introduction, Routledge (2020). ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポートの提出(45%)、学期末レポート課題(20%)、学期末に実施する文法・語彙確認テスト(30%)と授業への積極的な参加・貢献(5%)を総合して評価を行います。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。毎回の課題レポートを提出していれば、問題は無いと思いますが、欠席が4回以上ある場合、5回以上未提出課題がある場合は、原則として、単位習得の資格を失います。勿論、秋学期の学習内容を総括する学期末レポート課題の提出もお忘れなく。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用します。

【その他の重要事項】

指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講者には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることを銘記してください。それが単位習得のための最善策です。授業終了後に質問等を受け付けます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Post-Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 20%, final term test: 30% and in-class contribution: 5%

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English 3 I	2017年度以降入学者
サブタイトル: 英語圏の文化と社会: 世界遺産から見た世界の事情	
大曲 陽子	
開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 月4/Mon.4	
単位数: 1単位	
その他属性:	

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Exploring World Heritage on DVD IIを教材として、世界の文化遺産および自然遺産、その保護に関する内容を、DVDの美しい映像を交えながら理解していく。
6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に付けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に付けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業 (授業動画を配信するオンデマンド型) とする。

ほぼ2回の授業で1つのUnitを学習する。1回目の授業では授業動画とDVDを視聴し、各自Mini-quizzes, Previewing DVD viewing 1を完成させ、配布のAnswer sheetに解答してHoppiiを通して締め切り日までに提出する。2回目の授業 (対面) では、全員がDVDを視聴していることを前提に内容理解を行い、テキスト後半のExerciseを学習する。

Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

前期授業で扱うUnitは Unit 1,3,4,5,6,7とする。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時はOpen LMSを通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMSを通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	時事問題プリント教材
2	Unit 1 Return of the Wilderness: Yellowstone National Park	オンデマンド型 授業動画とDVDを視聴する。 事前にMini-Quiz Previewing, DVD viewing 1を完成させてから授業動画を視聴する。 課題を提出する。
3	Unit 1 Return of the Wilderness: Yellowstone National Park	後半のテキストのexerciseを解きながら内容を理解し、グループワークで意見をまとめる。

4	Unit 3 Adriatic Beauty : Venice and Its Lagoon	オンデマンド型 授業動画とDVDを視聴する。 事前にMini-Quiz Previewing, DVD viewing 1を完成させてから授業動画を視聴する。 課題を提出する。
5	Unit 3 Adriatic Beauty : Venice and Its Lagoon	Unit 1 語彙小テスト 後半のテキストのexerciseを解きながら内容を理解し、グループワークで意見をまとめる。
6	Unit 4 The Miracle of an Angel: Mont-Saint Michel and Its Bay	オンデマンド型 授業動画とDVDを視聴する。 事前にMini-Quiz Previewing, DVD viewing 1を完成させてから授業動画を視聴する。 課題を提出する。
7	Unit 4 The Miracle of an Angel: Mont-Saint Michel and Its Bay	Unit 3 語彙小テスト 後半のテキストのexerciseを解きながら内容を理解し、グループワークで意見をまとめる。
8	Unit 5 The Remembrance of That Day : The Hiroshima Peace Memorial	オンデマンド型 授業動画とDVDを視聴する。 事前にMini-Quiz Previewing, DVD viewing 1を完成させてから授業動画を視聴する。 課題を提出する。
9	Unit 5 The Remembrance of That Day : The Hiroshima Peace Memorial	Unit 4 語彙小テスト 後半のテキストのexerciseを解きながら内容を理解し、グループワークで意見をまとめる。
10	Unit 6 Witness to the Chosen Dynasty : Changdeokkung Palace Complex	オンデマンド型 授業動画とDVDを視聴する。 事前にMini-Quiz Previewing, DVD viewing 1を完成させてから授業動画を視聴する。 課題を提出する。
11	Unit 6 Witness to the Chosen Dynasty : Changdeokkung Palace Complex	Unit 5 語彙小テスト 後半のテキストのexerciseを解きながら内容を理解し、グループワークで意見をまとめる。
12	Unit 7 500 years of Glory : The Pyramids from Giza to Dahshur	オンデマンド型 授業動画とDVDを視聴する。 事前にMini-Quiz Previewing, DVD viewing 1を完成させてから授業動画を視聴する。 課題を提出する。
13	Unit 7 500 years of Glory : The Pyramids from Giza to Dahshur	Unit 6 語彙小テスト 後半のテキストのexerciseを解きながら内容を理解し、グループワークで意見をまとめる。
14	これまでのまとめと 期末試験	これまでのまとめと期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画を配信するオンデマンド型授業では、DVDおよび授業動画を視聴し、語彙やDVDのfirst viewingを行い、指定の課題を締め切り日までに提出する。採点し返却される。
対面授業の際にはDVDの内容が理解されているとして内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

【テキスト (教科書)】

Exploring World Heritage on DVD II
DVDでめぐる世界遺産 II
成美堂 2,400円+税

【参考書】

特になし

辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド型授業時 課題提出 10% . . .

Examples は採点する。1点×10問＝10点

(Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●小テスト 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定 . . . 毎回Answer Sheet の回答欄が全て記載されている(空欄の内容全て解答している)、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

Unitに関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声 スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation through the World Cultural and Natural Heritage, which adopted by the UNESCO in 1972. The textbook DVD provides students a vivid visual introduction.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading , writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom 】

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【 Grading Criteria 】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英語圏の文化と社会: 世界遺産から見た世界の事情

大曲 陽子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Exploring World Heritage on DVD IIを教材として、世界の文化遺産および自然遺産、その保護に関する内容を、DVDの美しい映像を交えながら理解していく。

6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に付けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業 (授業動画を配信するオンデマンド型) とする。

ほぼ2回の授業で1つのUnitを学習する。1回目の授業では授業動画とDVDを視聴し、各自Mini-quizzes, Previewing DVD viewing 1を完成させ、配布のAnswer sheetに解答してHoppiiを通して締め切り日までに提出する。2回目の授業 (対面) では、全員がDVDを視聴していることを前提に内容理解を行い、テキスト後半のExerciseを学習する。

Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

後期授業で扱うUnitは Unit 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14とする。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時はOpen LMSを通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMSを通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Warming Up	時事問題プリント教材
2	Unit 8 Wonders of Evolution : Galapagos Island(Ecuador)	オンデマンド型 授業動画とDVDを視聴する。 事前にMini-Quiz Previewing, DVD viewing 1を完成させて から授業動画を視聴する。 課題を提出する。
3	Unit 8 Wonders of Evolution : Galapagos Island(Ecuador)	後半のテキストのexerciseを解 きながら内容を理解し、グルー プワークで意見をまとめる。

4	Unit 9 Taught by Nature : Works of Antoni Gaudi	オンデマンド型 授業動画とDVDを視聴する。 事前にMini-Quiz Previewing, DVD viewing 1を完成させて から授業動画を視聴する。 課題を提出する。
5	Unit 9 Taught by Nature : Works of Antoni Gaudi	Unit 8 語彙小テスト 後半のテキストのexerciseを解 きながら内容を理解し、グルー プワークで意見をまとめる。
6	Unit11 Muslim and Christian Artistic Heritage : Istanbul	オンデマンド型 授業動画とDVDを視聴する。 事前にMini-Quiz Previewing, DVD viewing 1を完成させて から授業動画を視聴する。 課題を提出する。
7	Unit11 Muslim and Christian Artistic Heritage : Istanbul	Unit 9 語彙小テスト 後半のテキストのexerciseを解 きながら内容を理解し、グルー プワークで意見をまとめる。
8	Unit12 Magnificent National Monument: Cologne Cathedral	オンデマンド型 授業動画とDVDを視聴する。 事前にMini-Quiz Previewing, DVD viewing 1を完成させて から授業動画を視聴する。 課題を提出する。
9	Unit12 Magnificent National Monument: Cologne Cathedral	Unit 11 語彙小テスト 後半のテキストのexerciseを解 きながら内容を理解し、グルー プワークで意見をまとめる。
10	Unit13 Memories of a Court Musician : Hue Monuments	オンデマンド型 授業動画とDVDを視聴する。 事前にMini-Quiz Previewing, DVD viewing 1を完成させて から授業動画を視聴する。 課題を提出する。
11	Unit13 Memories of a Court Musician : Hue Monuments	Unit 12 語彙小テスト 後半のテキストのexerciseを解 きながら内容を理解し、グルー プワークで意見をまとめる。
12	Unit 14 Glorious History : Westminster Palace and Abbey	オンデマンド型 授業動画とDVDを視聴する。 事前にMini-Quiz Previewing, DVD viewing 1を完成させて から授業動画を視聴する。 課題を提出する。
13	Unit 14 Glorious History : Westminster Palace and Abbey	Unit 13 語彙小テスト 後半のテキストのexerciseを解 きながら内容を理解し、グルー プワークで意見をまとめる。
14	これまでのまとめと 期末試験	これまでのまとめと期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画を配信するオンデマンド型授業では、DVDおよび授業動画を視聴し、語彙やDVDのfirst viewingを行い、指定の課題を締め切り日までに提出する。採点し返却される。

対面授業の際にはDVDの内容が理解されているとして内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

【テキスト (教科書)】

Exploring World Heritage on DVD II
DVDでめぐる世界遺産 II
成美堂 2,400円+税

【参考書】

特になし。
辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Examples
は採点する。1点×10問＝10点 (Answer
Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)
●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

＊欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

＊オンライン授業の出欠規定・・・毎回Answer Sheet の回答欄が
全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定
された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出
席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

Unit に関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声
をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用する
か、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understand-
ing the international situation through the World Cultural and
Natural Heritage, which adopted by the UNESCO in 1972. The
textbook DVD provides students a vivid visual introduction.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency,
critical thinking and social skills through listening, reading ,
writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom 】

Before each class meeting, students will be expected to spend
one hour to understand the course content and have read the
relevant chapter and completed the assignments.

【 Grading Criteria 】

Your overall grade in the class will be decided based on the
following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べる事ができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる

2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける

3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）

2) 発表（プレゼンテーション練習）

3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。ここでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Protecting the environment - Introduction to the topic	Listening and speaking exercise: talking about the environment; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous

Week 3	Endangered animals	Reading with comprehension; Learning new vocabulary; Writing summary of the paragraphs
Week 4	TED Talk about protecting vultures; Group activity	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Group activity: Which animal to save?
Week 5	Key points for expressing one's opinion in speaking and writing	Key points for effective discussion; Learning how to express and write one's opinion logically
Week 6	Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 7	Importance of genealogy	Reading exercise: A passion for genealogy; Learning new vocabulary; Writing a short essay on changing perceptions
Week 8	TED Talk and discussion about interconnectedness	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the meaning of interconnectedness
Week 9	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2
Week 10	Inspiring people	Listening and speaking exercise: talking about world's famous and inspirational people; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 11	Your role model	Reading about inspiration; Learning new vocabulary; Writing about an inspiring person
Week 12	TED Talk and discussion about the importance of pursuing one's dreams	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of pursuing one's dreams
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations and discussions.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split (with Spark Access + e-Book), Cengage Learning, 2017. ISBN:979-8-214-33391-5

【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

- Active participation in class: 20%

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionaryも必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べる事ができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる

2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける

3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）

2) 発表（プレゼンテーション練習）

3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Global stories	Listening and speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses

Week 3	Different literary genres	Reading about different books, Writing exercise: writing a book review
Week 4	TED Talk and discussion about global literature	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of literature
Week 5	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting
Week 6	Key points on giving effective presentations	Explaining requirements for presentation No. 2; Instructions on how to prepare and give an effective presentation
Week 7	Music genres - introduction	Listening and speaking: talking about music and different genres; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 8	Effects of music on human brain	Reading about how music effects our brain; Learning new vocabulary; Pair activity: interview about musical preferences
Week 9	TED Talk and discussion about the importance of music	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of music
Week 10	Design - important features: shapes and colours	Listening and speaking: talking about design and its features; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 11	Symbols of a city	Reading about Chicago flag; Learning new vocabulary, Homework: exercises from workbook
Week 12	TED Talk and group activity: the importance of good design and communication	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Group activity: designing and promoting a flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on a chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split (with Spark Access + e-Book), Cengage Learning, 2017. ISBN:979-8-214-33391-5

【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete writing assignments and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.)

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、1年次に習得した4技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、新聞記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。効果的なプレゼンテーションになるよう工夫したり、根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2回目	家族 ①	<i>The New York Times</i> ビデオクリップとスクリプト
3回目	家族 ②	Lesson 12: Good Question
4回目	家族 ③	関連資料、ディスカッション
5回目	銃規制 ①	Lesson 11: "Don't Shoot"
6回目	銃規制 ②	<i>The Japan Times</i> 記事
7回目	銃規制 ③	関連資料、ライティング
8回目	新聞記事	各自が探した記事の提出、内容確認、プレゼン準備
9回目	食生活、健康 ①	Lesson 2: A Spreading Problem
10回目	食生活、健康 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
11回目	記事のプレゼンテーション (1-8)	クラスメートへのフィードバック (プレゼン方法と記事内容)
12回目	記事のプレゼンテーション (9-17)	振り返り、クラスメートへのフィードバック
13回目	記事のプレゼンテーション (18-24)	クラスメートへのフィードバック、効果的な英語プレゼンのまとめ

14回目 食生活、健康 ③ 関連資料、リスニング

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提にして進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン(記事)から内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

【テキスト (教科書)】

『U.S.A. Update (いま、アメリカを読む)』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業への取り組み、小テストなど) 70%、プレゼンテーション課題関連 30%。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will search independently for an interesting article on a current topic in American life found in English newspapers and then will give a presentation on it. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (70%) and presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、新聞記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。なお、春学期の終わりに詳しく説明しますが、夏休み中に洋書を一冊読んでおいてください。秋学期の授業で、読んだ本について各自がプレゼンテーションを行ないます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明、効果的なプレゼンテーションの準備
2回目	裁判制度 ①	Lesson 14: And Justice for All
3回目	裁判制度 ②	<i>The New York Times</i> 記事
4回目	裁判制度 ③	関連資料、ディスカッション
5回目	ブック・パッセージ	パッセージの内容確認、プレゼン練習
6回目	移民、人種、ホリデイ①	Lesson 3: Juneteenth
7回目	移民、人種、ホリデイ②	Lesson 7: Illegal
8回目	移民、人種、ホリデイ③	関連資料、ライティング
9回目	ブック・プレゼンテーション(1~8)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとクラスメートへのレスポンス
10回目	ブック・プレゼンテーション(9~17)	振り返り、夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス
11回目	ブック・プレゼンテーション(18~24)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス、効果的なプレゼンのまとめ

12回目	環境問題、地域的多様性 ①	Lesson 6: A New York State of Mind
13回目	環境問題、地域的多様性 ②	関連資料、リスニング
14回目	期末テストと秋学期のまとめ	秋学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、クラスメートが選んだパッセージにもすべて目を通して課題を提出します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update (いま、アメリカを読む)』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み、小テストなど）50%、プレゼンテーション課題関連 20%、期末テスト 30%。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will give a 5-minute presentation on an English book of his or her own choice. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (50%), presentations (20%), and a final exam (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：日本に関するさまざまなニュース

吉江 秀和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本に関連するさまざまなトピックを扱った『映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】NHK NEWSLINE Special Edition』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1とEnglish 2で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキスト『映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】NHK NEWSLINE Special Edition』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

授業の進め方などについての質問や意見を学期内で数回配布するリアクションペーパーに書いてもらい、回収後にそれらのコメントへの返答をおこないます。各チャプターの確認テスト等のフィードバックはテスト返却時におこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Unit 1	イチローの8番で

3	Unit 2	節約観光列車－おもてなしの工夫
4	Unit 3	1型糖尿病患者を救いたい
5	テキスト以外の英文 講読①	日本の文化に関する英文の講読、 リスニング
6	テキスト以外の英文 講読②	日本の社会に関する英文の講読、 リスニング
7	プレゼンテーション	Unit 1～Unit 3に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Unit 4	飼料高騰にライ麦
9	Unit 5	ウクライナ避難者に寄り添う
10	Unit 6	横田滋さんの活動とレガシー
11	Unit 7	英語を始めた被爆者
12	テキスト以外の英文 講読③	日本の政治に関する英文の講読、 リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Unit 4～Unit 7に関連するトピックによるプレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてくてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

山崎達朗、Stella M. Yamazaki 編『映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】NHK NEWSLINE Special Edition』金星堂、2026年、2,800円＋税 978-4-7647-4239-0

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのか分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのかを示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading stories and doing exercises in the textbook “NHK NEWSLINE Special Edition”, which consists of 15 topics about Japan culture, students learn how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本に関するさまざまなニュース

吉江 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本に関連するさまざまなトピックを扱った『映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】NHK NEWSLINE Special Edition』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1とEnglish 2で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキスト『映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】NHK NEWSLINE Special Edition』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

授業の進め方などについての質問や意見を学期内で数回配布するリアクションペーパーに書いてもらい、回収後にそれらのコメントへの返答をおこないます。各チャプターの確認テスト等のフィードバックはテスト返却時におこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8	知られざる北斎の魅力
2	Unit 9	宇宙開発ボードゲーム
3	Unit 10	モンティ先生を偲んで
4	Unit 11	18歳選挙―若者の意識改革へ

5	テキスト以外の英文 講読①	日本の文化に関する英文の講読、 リスニング
6	テキスト以外の英文 講読②	日本の社会に関する英文の講読、 リスニング
7	プレゼンテーション	Unit 8～Unit 11に関連する トピックによるプレゼンテー ション
8	Unit 12	筑前琵琶―イタリア人職人の思 い
9	Unit 13	日韓の架け橋になりたい
10	Unit 14	タンザニアリケジョ来日
11	Unit 15	人種差別をなくす
12	テキスト以外の英文 講読③	日本の政治に関する英文の講読、 リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期 末試験で確認します。試験・ま とめと解説
14	プレゼンテーション	Unit 12～Unit 15に関連する トピックによるプレゼンテー ション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

山崎達朗、Stella M. Yamazaki 編『映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】NHK NEWSLINE Special Edition』金屋堂、2026年、2,800円＋税 978-4-7647-4239-0

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かっていたりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのかが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading stories and doing exercises in the textbook “NHK NEWSLINE Special Edition”, which consists of 15 topics about Japan culture, students learn how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏から見た日本

飛田 英伸

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の文化について書かれた英文を読み、英語でディスカッションすることを通して、「読む、聞く、話す、書く」の4つの技能を向上させるとともに、グローバルな視点から日本の文化を捉え、自らの意見を発信できるようになる。

【到達目標】

- ・1分程度のプレゼンテーションを英語でできるようになる。
- ・簡単な表現を用いて英語でやり取りができるようになる。
- ・論理的でわかりやすい英語の文章を書けるようになる。
- ・コロケーションを意識した言葉の選択ができるようになる。
- ・複数のパラグラフから成る文章の構造を理解できるようになる。
- ・複雑な構造の文を理解できるようになる。
- ・ネイティブの発話スピードに慣れ、おおまかに聞き取ることができるようになる。
- ・英語での情報収集ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業ではリーディング、リスニング、スピーキング、語彙・文法の確認を行う。

2回目の授業ではスピーキング、ライティングを行う。また、担当者を決めて1分程度の小発表を行う。

いずれの授業でも英語で発言したり、グループワークをしたりする機会を多く設ける。

課題へのフィードバックを学習支援システムを通して行う。また、作文は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、自己紹介
2	Unit 1: Japanese Cultural Invasion	リーディング、リスニング、スピーキング、語彙、文法
3	Unit 1: Japanese Cultural Invasion	小発表、リスニング、スピーキング、ライティング
4	Unit 2: Emoji	リーディング、リスニング、スピーキング、語彙、文法
5	Unit 2: Emoji	小発表、リスニング、スピーキング、ライティング
6	Unit 4: Pet Obsession	リーディング、リスニング、スピーキング、語彙、文法
7	Unit 4: Pet Obsession	小発表、リスニング、スピーキング、ライティング
8	Unit 5: Silver Japan	リーディング、リスニング、スピーキング、語彙、文法

9	Unit 5: Silver Japan	小発表、リスニング、スピーキング、ライティング
10	Unit 6: Changing Gender Roles	リーディング、リスニング、スピーキング、語彙、文法
11	Unit 6: Changing Gender Roles	小発表、リスニング、スピーキング、ライティング
12	Unit 7: Maternity Harassment	リーディング、リスニング、スピーキング、語彙、文法
13	Unit 7: Maternity Harassment	小発表、リスニング、スピーキング、ライティング
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

[予習]

1. テキストを読み、問題に答える。（1週目）

2. わからない単語や表現を調べる。

3. 小発表の準備をする。（2週目）

[復習]

1. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。

2. リスニングの動画を見直す。

3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Portraits of Japan (Paul Stapleton & Atsuko Uemura, Cengage Learning, ¥ 2,150)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%

平常点（予習、スピーキング、小発表、作文、受講態度）60%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

間違えやすいポイントについて解説する時間を増やす。

受講者同士でディスカッションする時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。

プレゼンテーションではパワーポイントを使用する。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの部分的な使用（例えば、英語での言い方を調べる）は禁止しないが、使用した場合はどこに用いたのかを必ず申告すること。また、その結果が信用できるものなのかを必ず検証し、検証の過程と結果についても申告すること。

レポートや作文をすべて生成AIによって作成することは禁止する。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through reading and discussing Japanese Popular culture in English, students will deepen their understanding about Japanese culture in a global context, while improving their skills to communicate in English.

The goals of this course are to acquire skills for expressing ideas in English and improve ability for getting information in English.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments.

Grading will be decided based on a term-end exam (40%) and in class contribution including assignment submissions (60%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏から見た日本

飛田 英伸

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の文化について書かれた英文を読み、英語でディスカッションすることを通して、「読む、聞く、話す、書く」の4つの技能を向上させるとともに、グローバルな視点から日本の文化を捉え、自らの意見を発信できるようになる。

【到達目標】

- ・1分程度のプレゼンテーションを英語でできるようになる。
- ・簡単な表現を用いて英語でやり取りができるようになる。
- ・論理的でわかりやすい英語の文章を書けるようになる。
- ・コロケーションを意識した言葉の選択ができるようになる。
- ・複数のパラグラフから成る文章の構造を理解できるようになる。
- ・複雑な構造の文を理解できるようになる。
- ・ネイティブの発話スピードに慣れ、おおまかに聞き取ることができるようになる。
- ・英語での情報収集ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業ではリスニング、スピーキング、リーディングを行う。

2回目の授業ではスピーキング、リーディング、ライティングを行う。また、担当者を決めて1分程度の小発表を行う。

いずれの授業でも英語で発言したり、グループワークをしたりする機会を多く設ける。

課題へのフィードバックを学習支援システムを通して行う。また、作文は添削して返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、春学期の復習
2	Unit 8: Digital Youth	リーディング、リスニング、スピーキング、語彙、文法
3	Unit 8: Digital Youth	小発表、リスニング、スピーキング、ライティング
4	Unit 9: Japan's Peaceful Poor	リーディング、リスニング、スピーキング、語彙、文法
5	Unit 9: Japan's Peaceful Poor	小発表、リスニング、スピーキング、ライティング
6	Unit 10: The Idol-Making Machine	リーディング、リスニング、スピーキング、語彙、文法
7	Unit 10: The Idol-Making Machine	小発表、リスニング、スピーキング、ライティング
8	Unit 11: Japanese Hospitality	リーディング、リスニング、スピーキング、語彙、文法

9	Unit 11: Japanese Hospitality	小発表、リスニング、スピーキング、ライティング
10	Unit 12: Shrinking Cities	リーディング、リスニング、スピーキング、語彙、文法
11	Unit 12: Shrinking Cities	小発表、リスニング、スピーキング、ライティング
12	Unit 13: Student Power	リーディング、リスニング、スピーキング、語彙、文法
13	Unit 13: Student Power	小発表、リスニング、スピーキング、ライティング
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

[予習]

1. テキストを読み、問題に答える。（1週目）

2. わからない単語や表現を調べる。

3. 小発表の準備をする。（2週目）

[復習]

1. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。

2. リスニングの動画を見直す。

3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Portraits of Japan (Paul Stapleton & Atsuko Uemura, Cengage Learning, ¥ 2,150)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末試験 40%

平常点（予習、スピーキング、小発表、作文、受講態度）60%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

間違えやすいポイントについて解説する時間を増やす。

受講者同士でディスカッションする時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子辞書可）。

プレゼンテーションではパワーポイントを使用する。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの部分的な使用（例えば、英語での言い方を調べる）は禁止しないが、使用した場合はどこに用いたのかを必ず申告すること。また、その結果が信用できるものなのかを必ず検証し、検証の過程と結果についても申告すること。

レポートや作文をすべて生成AIによって作成することは禁止する。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用の可能性が極めて高いと判断される場合も同様に処理することがある。

【Outline (in English)】

Through reading and discussing Japanese Popular culture in English, students will deepen their understanding about Japanese culture in a global context, while improving their skills to communicate in English.

The goals of this course are to acquire skills for expressing ideas in English and improve ability for getting information in English.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments.

Grading will be decided based on a term-end exam (40%) and in class contribution including assignment submissions (60%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：ニュースで見る今日の日本社会

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今日の日本の論点に関するニュースを通して現代日本に關しての表現を学び、同時に英語の技能(Writing, Reading, Listening, Speaking)を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

テキストを辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

フィードバックは授業内に行う

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からはhoppiiを通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Chapter1	Chapter1の語彙と精読
3	Chapter1	精読の続きと章末の問題
4	Chapter1&2	Chapter1の小テストとChapter2の語彙と精読
5	Chapter2	精読の続きと章末の問題
6	Chapter2&3	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
7	Chapter3	精読の続きと章末の問題
8	Chapter3&4	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
9	Chapter4	精読の続きと章末の問題
10	Chapter4&5	Chapter4の小テストとChapter5の語彙と精読
11	Chapter5	精読の続きと章末の問題
12	Chapter5&6	Chapter5の小テストとChapter6の語彙と精読
13	Chapter6	精読の続きと章末の問題
14	Chapter6	Chapter6の小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

JAPAN QUEST

from NHK WORLD-JAPAN's NEWSLINE

映像で学ぶ NHKワールドが発信する日本

米山明日香 編著

金星堂 2025年 2700円（税別）

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト70%

授業中の問題演習等30%

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English 3 II	2017年度以降入学者
サブタイトル：ニュースで見る今日の日本社会	
吉田 季実子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月4/Mon.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストを通して現代日本に関しての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引ながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。
現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。
精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。
課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする
フィードバックは授業内に行う
なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppel を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter7	Chapter7 の語彙と精読
2	Chapter7	精読の続きと章末の問題
3	Chapter7&8	Chapter7 の小テストと Chapter8 の語彙と精読
4	Chapter8	精読の続きと章末の問題
5	chapter8&9	Chapter8 の小テストと Chapter9 の語彙と精読
6	Chapter9	精読の続きと章末の問題
7	Chapter9&10	Chapter9 の小テストと Chapter10 の語彙と精読
8	Chapter10	精読の続きと章末の問題
9	chapter10&11	Chapter10 の小テストと Chapter11 の語彙と精読
10	Chapter11	精読の続きと章末の問題
11	Cahpter11&12	Chapter11 の小テストと Chapter12 の語彙と精読
12	Chapter12	精読の続きと章末の問題
13	Chapter12&13	Chapter12 の小テストと Chapter13 の語彙と精読
14	Chapter13	精読の続きと章末の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

JAPAN QUEST
from NHK WORLD-JAPAN's NEWSLINE
映像で学ぶ NHK ワールドが発信する日本
米山明日香 編著
金星堂 2025年 2700円（税別）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%
授業中の問題演習等 30%
各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする
題材に関連する事柄を適宜紹介する

【学生が準備すべき機器他】

辞書、オンライン授業実施時は対応機材

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture. The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Critical Thinking and Contemporary Issues

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course develops students' English language skills through the exploration of contemporary global issues. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English.

本授業では、現代社会の様々な問題について英語で考え、議論することを通じて、総合的な英語力の向上を目指します。情報を分析し、自分の意見を効果的に表現する力を養います。

【到達目標】

Students will:

- Develop critical thinking skills through analysis of contemporary global issues
- Learn to express opinions logically in English
- Improve comprehension of authentic English materials on social topics

- Build confidence in discussing various global topics
- Expand vocabulary related to current affairs and social issues

到達目標：

- 批判的思考力を養う
- 英語で論理的に意見を表現する
- 社会問題に関する語彙力を高める
- ディスカッションに自信を持つ

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Classes will include:

- Listening exercises on contemporary topics
- Reading comprehension and vocabulary development
- Reading and discussing charts and statistics
- Group discussions and research activities
- Oral presentations

Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Course overview, textbook introduction
2	Unit 2: AI and Human Beings	Listening, vocabulary, introduction
3	Unit 2: AI and Human Beings	Reading, key phrases, sharing thoughts
4	Unit 9: The Middle East Conflict	Listening, vocabulary, introduction
5	Unit 9: The Middle East Conflict	Reading, key phrases, sharing thoughts

6	Unit 5: Japanese Morality	Listening, vocabulary, introduction
7	Unit 5: Japanese Morality	Reading, key phrases, sharing thoughts
8	Unit 8: Human Rights: LGBTQ+	Listening, vocabulary, introduction
9	Unit 8: Human Rights: LGBTQ+	Reading, key phrases, sharing thoughts
10	Unit 11: Tourism in Japan	Listening, vocabulary, introduction
11	Unit 11: Tourism in Japan	Reading, key phrases, sharing thoughts
12	Final Presentations I	Student presentations
13	Final Presentations II	Student presentations
14	Final Presentations III & Course Reflection	Presentations and review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students should:

- Review class materials and vocabulary
- Prepare for discussions by researching topics
- Practice presentation skills
- Complete extensive reading assignments

University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Miyako Nakaya, Miyuki Yukita, Masaru Yamazaki, Bill Benfield.

CLIL: Discuss the Changing World 3. Tokyo: Seibido, 2025.

ISBN 978-4-7919-7340-8 (¥ 2,750 税込 / ¥ 2,500 + 税)

【参考書】

Extensive Reading Materials / 多読教材:

The university library offers a wide selection of graded readers suitable for self-study. See: <https://hosei.libguides.com/tadoku>
図書館では自習用の多読教材（グレーデッド・リーダー）を多数所蔵しています。

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on:

- Class participation and discussion: 40%
- Final presentation: 50%
- Extensive reading (reading log completion): 10%

Note: In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

原則として、各学期欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

A new textbook (CLIL: Discuss the Changing World 3) is being used this year. Changes in some of the course contents and the pacing may occur depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students. 今年度は新しい教科書（CLIL: Discuss the Changing World 3）を使用します。学生の習熟度に応じて、授業内容やペースを調整することがあります。学生からのフィードバックを歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

- Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Active participation in English is expected (積極的な英語の使用が期待されます)
- The instructor may modify some of the course topics and the pacing of contents according to students' needs and interests.
- 担当教員は、学生のニーズや関心に応じて、トピックや進度を調整することがあります。

【Outline (in English)】

This course develops students' English language skills through the exploration of contemporary global issues. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information, interpret data, and express opinions effectively in English. The course aims to build on skills gained from English 1&2 and further enhance students' English language proficiency to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss their own ideas on social topics.

Course activities include listening and reading comprehension on contemporary topics, vocabulary development, reading and discussing charts and statistics, group discussions and research activities, and oral presentations. Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

Students are expected to prepare for class by reviewing materials, completing assigned readings, and practicing presentation skills. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for this one-credit course.

Grades will be based on class participation and discussion (40%), extensive reading (reading log completion) (10%), and a final presentation (50%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Critical Thinking and Contemporary Issues

ROBIN F WEICHERT

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course develops students' English language skills through the exploration of contemporary global issues. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English.

本授業では、現代社会の様々な問題について英語で考え、議論することを通じて、総合的な英語力の向上を目指します。情報を分析し、自分の意見を効果的に表現する力を養います。

【到達目標】

Students will:

- Develop critical thinking skills through analysis of contemporary global issues
- Learn to express opinions logically in English
- Improve comprehension of authentic English materials on social topics
- Build confidence in discussing various global topics
- Expand vocabulary related to current affairs and social issues

到達目標：

- 批判的思考力を養う
- 英語で論理的に意見を表現する
- 社会問題に関する語彙力を高める
- ディスカッションに自信を持つ

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Classes will include:

- Listening exercises on contemporary topics
- Reading comprehension and vocabulary development
- Reading and discussing charts and statistics
- Group discussions and research activities
- Oral presentations

Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Semester overview, review of skills
2	Unit 1: Population Pyramids	Listening, vocabulary, introduction
3	Unit 1: Population Pyramids	Reading, key phrases, sharing thoughts
4	Unit 4: Combating Biases	Listening, vocabulary, introduction
5	Unit 4: Combating Biases	Reading, key phrases, sharing thoughts

6	Unit 6: Eating Habits	Listening, vocabulary, introduction
7	Unit 6: Eating Habits	Reading, key phrases, sharing thoughts
8	Unit 12: Poverty and Monetary Society	Listening, vocabulary, introduction
9	Unit 12: Poverty and Monetary Society	Reading, key phrases, sharing thoughts
10	Unit 14: Disaster-related Deaths	Listening, vocabulary, introduction
11	Unit 14: Disaster-related Deaths	Reading, key phrases, sharing thoughts
12	Final Presentations I	Student presentations
13	Final Presentations II	Student presentations
14	Final Presentations III & Course Reflection	Presentations and review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students should:

- Review class materials and vocabulary
- Prepare for discussions by researching topics
- Practice presentation skills
- Complete extensive reading assignments

University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for a one-credit course.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Miyako Nakaya, Miyuki Yukita, Masaru Yamazaki, Bill Benfield.

CLIL: Discuss the Changing World 3. Tokyo: Seibido, 2025.

ISBN 978-4-7919-7340-8 (¥ 2,750 税込 / ¥ 2,500 + 税)

【参考書】

Extensive Reading Materials / 多読教材:

The university library offers a wide selection of graded readers suitable for self-study. See: <https://hosei.libguides.com/tadoku>
図書館では自習用の多読教材（グレーデッド・リーダー）を多数所蔵しています。

【成績評価の方法と基準】

Grades will be based on:

- Class participation and discussion: 40%
- Final presentation: 50%
- Extensive reading (reading log completion): 10%

Note: In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

原則として、各学期欠席が4回以上の場合、単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

A new textbook (CLIL: Discuss the Changing World 3) is being used this year. Changes in some of the course contents and the pacing may occur depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students. 今年度は新しい教科書（CLIL: Discuss the Changing World 3）を使用します。学生の習熟度に応じて、授業内容やペースを調整することがあります。学生からのフィードバックを歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

- Students must bring their textbook to every class (教科書を必ず持参してください)

【その他の重要事項】

- Active participation in English is expected (積極的な英語の使用が期待されます)
- The instructor may modify some of the course topics and the pacing of contents according to students' needs and interests.

- 担当教員は、学生のニーズや関心に応じて、トピックや進度を調整することがあります。

【Outline (in English)】

This course develops students' English language skills through the exploration of contemporary global issues. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information, interpret data, and express opinions effectively in English. The course aims to build on skills gained from English 1&2 and further enhance students' English language proficiency to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss their own ideas on social topics.

Course activities include listening and reading comprehension on contemporary topics, vocabulary development, reading and discussing charts and statistics, group discussions and research activities, and oral presentations. Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

Students are expected to prepare for class by reviewing materials, completing assigned readings, and practicing presentation skills. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for this one-credit course.

Grades will be based on class participation and discussion (40%), extensive reading (reading log completion) (10%), and a final presentation (50%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Instructor will also provide feedback to students in class and by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/L1	Getting started
2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigration/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
13	Threats to world peace/Nuclear weapons. HW/None	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
14	Review	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: International Relations/Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月5/Mon.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Instructor will also provide feedback to students in class and by email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automation/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14. Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia. The
homework listening recordings can be streamed or downloaded
from <http://groups.yahoo.com/group/aief56/> Students will
have to create a yahoo.com email address, join the group,
and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2
Listening'.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation,
25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work,
25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class
sessions may disqualify students from obtaining credit for the
course. Lateness exceeding 15 minutes without justification
will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing,
grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA (英語 / English language education 200)			第2回	Unit 1. A Fortunate Accident	前回のフィードバック・課題レポートの指示: コミュニケーションにおいてどんなことが「アイス・ブレイカー」となるのか学習します。
English 3 I			第3回	Unit 2. Britain's Best Ride	前回のフィードバック・課題レポートの指示: ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
サブタイトル: Introduction to British life & culture			第4回	Unit 3. The Meaning of Bond	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
吉川 直澄			第5回	Unit 4. The Changing High Street	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 月5/Mon.5			第6回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	前回のフィードバック・課題レポートの指示: イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。
単位数: 1単位			第7回	マンガ・アニメの中のイギリス	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 英語資料の理解と分析、英訳されたコンテンツ(『黒執事』・『魔法使いの嫁』・『絢爛たるグランドセーヌ』)の中で描かれるイギリス像を考察します。但しインターネット上のコンテンツの状況により教材を変更せざる得ない場合があります。
その他属性:			第8回	Unit 6. Expressive Expressions	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 日英のイディオムを比較します。
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			第9回	Unit 7. A Woman of Some Importance	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 現国王チャールズIII世の母、エリザベスII世の文化的アイコンとしての役割と今後のイギリス王室のあり方について考えます。
English 1とEnglish 2で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探究し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、顕著で大きな文化的な差異、微妙で小さな差異に注目し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。			第10回	Unit 8. Shakespeare Lives On	前回のフィードバック・課題レポートの指示: シェイクスピアが英語の日常表現に与えた影響について、さらに現代の文化産業としてのシェイクスピアの意義について調べてみましょう。
【到達目標】			第11回	マンガとマイノリティ	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 英語資料の精読と理解、マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文とドキュメンタリー映画『Future is Mine: アイヌ、私の声』(2020)と共に考察します。
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。			第12回	アニメとシンパシーとエンパシー	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 英語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』(A Silent Voice)をアメリカ映画Coda (2022)と比較しながら考察します。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			第13回	復習課題と学期末課題レポートの説明	前回のフィードバック・課題レポートの指示: これまでの課題の復習・まとめを行い、学期末レポート課題の説明をします。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1			第14回	学期末文法・語彙確認テスト/学期末レポートの提示/まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示し、提出期限をお知らせします。
【主な授業方法】					
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド(資料型)を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から(匿名で)実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。					
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face					
回	テーマ	内容			
第1回	ガイダンス/課題の提示	授業テーマの確認と授業方法の説明を行い、第1回課題を提示します。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。学生の皆さんは教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。学生の皆さんは英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】

Realise Britain, Colin Joyce, 金星堂, 2014年, 1800円, ISBN978-4-7647-3982-6.

【参考書】

Nicole Coolidge Rousmaiere, (2019) Manga マンガ, London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポートの提出(45%)、学期末レポート課題の提出(20%)、学期末に行う文法・語彙確認テスト(30%)と授業への積極的な参加・貢献(5%)を総合して評価します。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとします。総合評価には授業への出席・積極的な参加と貢献も含まれます。授業の欠席が4回以上ある方、未提出課題が5回以上になった方は原則として単位習得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用します。

【その他の重要事項】

指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講者には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることを銘記してください。それが単位習得のための最善策です。授業終了後に質問等を受け付けます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 20%, final term test: 30% and in-class contribution: 5%

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Introduction to British life & culture

吉川 直澄

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月5/Mon.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1とEnglish 2で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、EU離脱以降のイギリスを巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド(資料型)を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から(匿名で)実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	学期末レポート課題のフィードバックと第1回レポート課題の指示	春学期の学期末レポート課題の全体に対するフィードバックを行い、問題点があれば指摘し、解説します。第1回レポート課題を指示します。
第2回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるでしょうか。

第3回	Unit 10. A Complicated Country	前回のフィードバック・レポート課題の指示: イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第4回	Unit 11. The Quite Fab Four	前回のフィードバック・レポート課題の指示: ビートルズについて調べてみましょう。
第5回	Unit 12. A Vulgar Custom	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第6回	The Establishment: The Boys in Blue	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、オーウェン・ジョーンズの著作 The Establishment (2015)の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』(2000)を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第7回	The Establishment: Scrounging off the State	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』(2019)を鑑賞します。
第8回	The Establishment: Foreword to the Paperback Edition	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として移民問題を扱った2つのイギリス映画『ベッカムに恋して』(2002)と『エンババ・オブ・ライト』(2022)を鑑賞します。
第9回	Unit 13. The "Invention" of Sport	前回のフィードバック・レポート課題の指示: イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第10回	Unit 14 Changing Classes	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 階級制度について学びます。
第11回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 文化的アイコンとしてのスピットファイアについて考察します。バトルオブブリテンについて調べてみましょう。
第12回	Film as a complex site of cultural representation	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 教科書でこれまで議論されてきた様々な論点と本講義で取り上げたイギリス映画との関連性について考察します。
第13回	復習とまとめ、学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 教科書のまとめと第13回レポート課題の指示、それから学期末レポート課題の説明をします。
第14回	学期末文法・語彙確認テスト/学期末レポートの提示/まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示します。提出期限を指示します。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。学生の皆さんは教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。学生の皆さんは英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】

春学期のテキストを引き続き使用します。

【参考書】

Owen, Jones. The Establishment, London: Penguin (2015).
Oakland, John. British Civilization an Introduction, Routledge (2020). ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポートの提出(45%)、学期末レポート課題(20%)、学期末に実施する文法・語彙確認テスト(30%)と授業への積極的な参加・貢献(5%)を総合して評価を行います。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。毎回の課題レポートを提出していれば、問題は無いと思いますが、欠席が4回以上ある場合、5回以上未提出課題がある場合は、原則として、単位習得の資格を失います。勿論、秋学期の学習内容を総括する学期末レポート課題の提出もお忘れなく。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用します。

【その他の重要事項】

指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講者には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることを銘記してください。それが単位習得のための最善策です。授業終了後に質問等を受け付けます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Post-Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 20%, final term test: 30% and in-class contribution: 5%

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：「英語で学ぶ、イギリスの文化と社会」

B ．富士川 美紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、これまでに培ってきた英語の四技能（読む・聞く・書く・話す）を統合的に活用し、国際語としての英語を通じて世界の多様な文化や社会への理解を深めることを目的とする。授業では、さまざまなテーマに関する英語教材を扱い、その内容理解に加えて、背景にある文化的・社会的文脈を考察する。

これらの学習を通じて、異文化を理解・尊重する姿勢を養うとともに、自らの文化や価値観を世界的な文脈の中で相対化する力を育成する。また、英語教材の内容をよく理解し、多角的な視点から考えを整理した上で、ディスカッションやライティングなどを通じて、英語で自分の意見を発信する能力の向上を目指す。

【到達目標】

本授業では、学生が英語で書かれたさまざまなテーマの教材を理解し、内容だけでなく背景にある文化や社会的文脈を考察できること、自分の文化や価値観を国際的な視点から相対化して考えられること、自分の考えを整理し、英語で論理的に表現できること、そしてディスカッションやグループ活動を通じて多様な文化について理解し、尊重する姿勢を示せることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

本授業では、講義とディスカッション・グループワークを組み合わせ進めます。授業内では、『British News Update 8 (BBC)』を教材として、イギリスの時事ニュースや文化・社会に関する内容を取り上げます。この教材に含まれるDVD付きリスニングを活用し、リスニングスキルと時事英語の理解を深めます。また、背景にある文化的・社会的文脈を考察し、異文化理解を促進します。

授業では、ディスカッションやショートライティングを通じて、英語で自分の考えを整理し、発信する力を養います。また、プレゼンテーションでは学生が興味のあるテーマを選び、調査・発表することで、発表スキルに加え、多角的に考察する力や、情報を分析し自分の考えを形成する力を高めます。

フィードバック方法としては、ディスカッションやプレゼンテーション後に簡単なフィードバックを行い、レポートや課題については個別にコメントを提供します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	Orientation and Ice-breaking	授業の進め方や評価方法を説明し、クラスの雰囲気作りのためのアイスブレイク活動を行います。
第2回目	A Roman Basilica in Ancient London ①	ロンドンの古代遺跡を紹介し、歴史的背景と現代への影響を理解します。

第3回目	A Roman Basilica in Ancient London ②	ディスカッションや簡単な文章作成を通して、Unitの内容をさらに深めます。
第4回目	Children's Garden in the Chelsea Flower Show ①	子ども専用の庭園を通して、創造性や環境教育の意義を考察します。
第5回目	Children's Garden in the Chelsea Flower Show ②	グループで意見を交換し、短い発表形式で自分の考えを共有します。
第6回目	StreetVet for Happy Pets ①	ホームレスのペットに獣医のケアを提供する取り組みを学び、社会的支援の重要性を考えます。倫理的側面を議論し、文章で意見をまとめます。
第7回目	StreetVet for Happy Pets ②	壁画による地域活性化を題材に、芸術とコミュニティの関わりを理解します。
第8回目	Murals Bring Vitality to the Town ①	意見文作成やグループディスカッションを通して、自分の考えを整理します。
第9回目	Murals Bring Vitality to the Town ②	異常気象が動植物や生活に及ぼす影響を理解し、環境問題について考えます。
第10回目	Coping with the Changing Weather ①	ディスカッションや意見文作成を通して理解を深めます。
第11回目	Coping with the Changing Weather ②	教育や医療の現場を題材に、制度や社会的課題を理解します。
第12回目	It's A-Level Results Day! / A Bleak Report on the Health Service ①	意見交換や短い発表を行い考えを整理した後、これまで学んだ単語の小テストを実施します。
第13回目	It's A-Level Results Day! / A Bleak Report on the Health Service ②	前期で学んだテーマや興味を持ったイギリスの時事ニュースについて、グループで調べ、日本との比較と自分たちの意見を盛り込んで発表します。
第14回目	Group Presentation	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業では、授業前後の学習を通じて理解を深めることを重視します。授業前には、各Unitの教科書や関連文献を読み、重要語彙や表現に目を通しておくことで、授業内容の理解を高めます。また、授業内で行う演習問題や課題（意見文作成、ディスカッション用質問、レポートなど）に対応するため、必要に応じて予習を行ってください。授業後には、学んだ内容を整理し、ノートまとめや復習を行うことで理解を定着させます。さらに、Vocabulary Quizやグループプレゼンテーションに向けて、単語の復習や情報収集を行うことも求められます。授業内外での学習を通じて、学生は英語で考え、表現する力を段階的に養うことができます。標準的な準備・復習時間は合わせて1時間程度を目安としてください。

【テキスト（教科書）】

教科書：British News Update 8 (BBC) 映像で学ぶ イギリス公共放送の最新ニュース 8

著者：Timothy Knowles / 田中みんね / 中村美帆子 / 馬上紗矢香 編著

出版社：金星堂

出版年：2026

価格：¥3,000 (税込 ¥3,300)

【参考書】

・BBC Learning English (オンライン無料)

【成績評価の方法と基準】

本授業の成績は100点満点で評価し、60点以上で合格とします。評価は授業での学習到達度や課題への取り組みを総合的に判断して行います。

評価の内訳は以下の通りです。

平常点・課題提出物 (40%)

出席や授業参加、ディスカッションでの貢献、課題・レポート提出を総合評価

評価の観点：積極性、理解度、論理性、異文化に関する考察の深さ
Vocabulary Quiz（単語テスト）（20％）

各ユニットで学習した語彙の理解度を測定

評価の観点：語彙の正確な意味の把握と文章での適切な使用

グループプレゼンテーション（40％）

学生が興味のあるテーマを選び、グループで調べて発表

評価の観点：協力、情報整理力、論理性、発表スキル、質疑応答への対応

重要事項

単位修得には課題提出や小テストの受験が必須

欠席4回以上は原則として単位を修得できません

ディスカッションやグループ活動への積極的な参加も成績に反映されます

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規担当科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

＜この授業の実施形態＞ 基本は対面授業で行います。ただし、何かやも得ない状況があった場合にはライブ配信型の **Google Meet** でオンライン授業を行う場合もあるかもしれません。また、課題提出、先生からのお知らせなどオンラインの学習支援システムを使う予定ですので、毎回必ず確認するようにして下さい。詳細は4月の第一回目の授業で説明します。

【その他の重要事項】

この科目は、英語教育、TESOL、時事英語、ビジネス英語、リスニング・スピーキング・ライティング・リーディングを含む多岐にわたる分野で実務経験を有する教員が担当します。英語圏でのESLクラスの実践授業研修を含むこれらの経験を活かし、授業では、イギリスの文化と社会に関するテーマを扱います。学生は、英語資料の読解、異文化理解、ディスカッション、レポート作成を通じて、英語力を高め、同時に異文化や社会的背景に対する理解を深めます。また、授業内での英語での意見交換やプレゼンテーションのスキル向上にも重点を置き、実践的な英語力を養うことを目指します。

【Outline (in English)】

This course aims to develop students' ability to use the four language skills — reading, listening, writing, and speaking — in an integrated way, while deepening their understanding of British culture and society, and broadening their global perspective. Through the use of British News Update 8, students will explore contemporary issues in the UK, including topics related to politics, social life, culture, and more, all through English-language materials.

In addition to understanding the content of the news articles, students will analyze the cultural and social contexts behind these issues, cultivating a deeper awareness of British society and its global connections. Students will engage with current events and consider multiple viewpoints, comparing and contrasting British cultural perspectives with their own.

The course also aims to help students organize their thoughts, express their ideas clearly, and enhance their ability to communicate effectively in English. Through discussions and writing activities, students will refine their language skills and build confidence in expressing their opinions on both British-specific and global issues.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：「英語で学ぶ、イギリスの文化と社会」

B ．富士川 美紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、これまでに培ってきた英語の四技能（読む・聞く・書く・話す）を統合的に活用し、国際語としての英語を通じて世界の多様な文化や社会への理解を深めることを目的とする。授業では、さまざまなテーマに関する英語教材を扱い、その内容理解に加えて、背景にある文化的・社会的文脈を考察する。これらの学習を通じて、異文化を理解・尊重する姿勢を養うとともに、自らの文化や価値観を世界的な文脈の中で相対化する力を育成する。また、英語教材の内容をよく理解し、多角的な視点から考えを整理した上で、ディスカッションやライティングなどを通じて、英語で自分の意見を発信する能力の向上を目指す。

【到達目標】

本授業では、学生が英語で書かれたさまざまなテーマの教材を理解し、内容だけでなく背景にある文化や社会的文脈を考察できること、自分の文化や価値観を国際的な視点から相対化して考えられること、自分の考えを整理し、英語で論理的に表現できること、そしてディスカッションやグループ活動を通じて多様な文化について理解し、尊重する姿勢を示せることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

本授業では、講義とディスカッション・グループワークを組み合わせ進めます。授業内では、『British News Update 8 (BBC)』を教材として、イギリスの時事ニュースや文化・社会に関する内容を取り上げます。この教材に含まれるDVD付きリスニングを活用し、リスニングスキルと時事英語の理解を深めます。また、背景にある文化的・社会的文脈を考察し、異文化理解を促進します。授業では、ディスカッションやショートライティングを通じて、英語で自分の意見を整理し、発信する力を養います。また、プレゼンテーションでは学生が興味のあるテーマを選び、調査・発表することで、発表スキルに加え、多角的に考察する力や、情報を分析し自分の考えを形成する力を高めます。フィードバック方法としては、ディスカッションやプレゼンテーション後に簡単なフィードバックを行い、レポートや課題については個別にコメントを提供します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	Orientation and Summer Topic Sharing	授業の進め方や評価方法を確認し、夏休み中に特に興味を持ったニュースやトピックについて話し合い、クラス内で共有します。
第2回目	Immigration Continues to Rise ①	移民政策の変化を理解し、社会・文化への影響について考察します。

第3回目	Immigration Continues to Rise ②	グループディスカッションや簡単な発表を通して、内容を深めます。
第4回目	News Debate: Environmental Issues / Education and Society ①	環境問題や教育・社会問題をテーマにディベートを行い、自分の意見を英語で発信する練習をします。
第5回目	News Debate: Environmental Issues / Education and Society ②	引き続きディベートや意見交換を行い、論理的思考力を養います。
第6回目	News Presentation: Health and Technology ①	医療やAIに関するテーマで短いスピーチを作成します。
第7回目	News Presentation: Health and Technology ②	作成したスピーチを発表し、内容理解を深め、表現力を高めます。
第8回目	Cultural Comparison: Traditions and Modern Life ①	伝統と現代生活の比較を行い、自文化との違いを考察します。
第9回目	Cultural Comparison: Traditions and Modern Life ② / Case Study: Community Projects	コミュニティプロジェクトを題材に、分析と意見交換を行います。
第10回目	Writing Workshop: Opinion Essays	英語で自分の意見をまとめる練習を行い、文章表現力を向上させます。
第11回目	Vocabulary Quiz	後期で学んだ単語の理解度を確認する小テストを実施します。
第12回目	Presentation	興味を持ったイギリスの時事ニュースについて、調べた内容、日本との比較、自分たちの意見を盛り込んで発表します。
第13回目	Presentation の続き	興味を持ったイギリスの時事ニュースについて、調べた内容、日本との比較、自分たちの意見を盛り込んで発表します。
第14回目	Peer Feedback and Course Wrap-up	発表やディスカッションを振り返り、学びを整理し、英語で意見を発信する力の成長を確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業では、授業前後の学習を通じて理解を深めることを重視します。授業前には、各Unitの教科書や関連文献を読み、重要語彙や表現に目を通しておくことで、授業内容の理解を高めます。また、授業内で行う演習問題や課題（意見文作成、ディスカッション用質問、レポートなど）に対応するため、必要に応じて予習を行ってください。授業後には、学んだ内容を整理し、ノートまとめや復習を行うことで理解を定着させます。さらに、Vocabulary Quizやグループプレゼンテーションに向けて、単語の復習や情報収集を行うことも求められます。授業内外での学習を通じて、学生は英語で考え、表現する力を段階的に養うことができます。標準的な準備・復習時間は合わせて1時間程度を目安としてください。

【テキスト（教科書）】

教科書：British News Update 8 (BBC) 映像で学ぶ イギリス公共放送の最新ニュース 8

著者：Timothy Knowles / 田中みんね / 中村美帆子 / 馬上紗矢香 編著

出版社：金星堂

出版年：2026

価格：¥3,000 (税込 ¥3,300)

【参考書】

・BBC Learning English (オンライン無料)

【成績評価の方法と基準】

本授業の成績は100点満点で評価し、60点以上で合格とします。評価は授業での学習到達度や課題への取り組みを総合的に判断して行います。

評価の内訳は以下の通りです。

平常点・課題提出物（40％）

出席や授業参加、ディスカッションでの貢献、課題・レポート提出を総合評価

評価の観点：積極性、理解度、論理性、異文化に関する考察の深さ
Vocabulary Quiz（単語テスト）（20％）

各ユニットで学習した語彙の理解度を測定

評価の観点：語彙の正確な意味の把握と文章での適切な使用

グループプレゼンテーション（40％）

学生が興味のあるテーマを選び、グループで調べて発表

評価の観点：協力、情報整理力、論理性、発表スキル、質疑応答への対応

重要事項

単位修得には課題提出や小テストの受験が必須

欠席4回以上は原則として単位を修得できません

ディスカッションやグループ活動への積極的な参加も成績に反映されます

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規担当科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

＜この授業の実施形態＞ 基本は対面授業で行います。ただし、何かやも得ない状況があった場合にはライブ配信型のGoogle Meetでオンライン授業を行う場合もあるかもしれません。また、課題提出、先生からのお知らせなどオンラインの学習支援システムを使う予定ですので、毎回必ず確認するようにして下さい。詳細は4月の第一回目の授業で説明します。

【その他の重要事項】

この科目は、英語教育、TESOL、時事英語、ビジネス英語、リスニング・スピーキング・ライティング・リーディングを含む多岐にわたる分野で実務経験を有する教員が担当します。英語圏でのESLクラスの実践授業研修を含むこれらの経験を活かし、授業では、イギリスの文化と社会に関するテーマを扱います。学生は、英語資料の読解、異文化理解、ディスカッション、レポート作成を通じて、英語力を高め、同時に異文化や社会的背景に対する理解を深めます。また、授業内での英語での意見交換やプレゼンテーションのスキル向上にも重点を置き、実践的な英語力を養うことを目指します。

【Outline (in English)】

This course aims to develop students' ability to use the four language skills — reading, listening, writing, and speaking — in an integrated way, while deepening their understanding of British culture and society, and broadening their global perspective. Through the use of British News Update 8, students will explore contemporary issues in the UK, including topics related to politics, social life, culture, and more, all through English-language materials.

In addition to understanding the content of the news articles, students will analyze the cultural and social contexts behind these issues, cultivating a deeper awareness of British society and its global connections. Students will engage with current events and consider multiple viewpoints, comparing and contrasting British cultural perspectives with their own.

The course also aims to help students organize their thoughts, express their ideas clearly, and enhance their ability to communicate effectively in English. Through discussions and writing activities, students will refine their language skills and build confidence in expressing their opinions on both British-specific and global issues.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べる事ができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる

2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける

3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）

2) 発表（プレゼンテーション練習）

3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Protecting the environment - Introduction to the topic	Listening and speaking exercise: talking about the environment; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous

Week 3	Endangered animals	Reading with comprehension; Learning new vocabulary; Writing summary of the paragraphs
Week 4	TED Talk about protecting vultures; Group activity	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Group activity: Which animal to save?
Week 5	Key points for expressing one's opinion in speaking and writing	Key points for effective discussion; Learning how to express and write one's opinion logically
Week 6	Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 7	Importance of genealogy	Reading exercise: A passion for genealogy; Learning new vocabulary; Writing a short essay on changing perceptions
Week 8	TED Talk and discussion about interconnectedness	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the meaning of interconnectedness
Week 9	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2
Week 10	Inspiring people	Listening and speaking exercise: talking about world's famous and inspirational people; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 11	Your role model	Reading about inspiration; Learning new vocabulary; Writing about an inspiring person
Week 12	TED Talk and discussion about the importance of pursuing one's dreams	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of pursuing one's dreams
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations and discussions.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split (with Spark Access + e-Book), Cengage Learning, 2017. ISBN:979-8-214-33391-5

【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

- Active participation in class: 20%

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionaryも必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

【Course outline】Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【Learning Objectives】This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group& pair work and through delivering presentations.

【(Learning activities outside of classroom)】Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations and discussions.

【Grading Criteria/Policy】

- Active participation in class: 20%
- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べる事ができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる

2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける

3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）

2) 発表（プレゼンテーション練習）

3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Global stories	Listening and speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses

Week 3	Different literary genres	Reading about different books, Writing exercise: writing a book review
Week 4	TED Talk and discussion about global literature	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of literature
Week 5	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting
Week 6	Key points on giving effective presentations	Explaining requirements for presentation No. 2; Instructions on how to prepare and give an effective presentation
Week 7	Music genres - introduction	Listening and speaking: talking about music and different genres; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 8	Effects of music on human brain	Reading about how music affects our brain; Learning new vocabulary; Pair activity: interview about musical preferences
Week 9	TED Talk and discussion about the importance of music	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of music
Week 10	Design - important features: shapes and colours	Listening and speaking: talking about design and its features; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 11	Symbols of a city	Reading about Chicago flag; Learning new vocabulary, Homework: exercises from workbook
Week 12	TED Talk and group activity: the importance of good design and communication	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Group activity: designing and promoting a flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on a chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split (with Spark Access + e-Book), Cengage Learning, 2017. ISBN:979-8-214-33391-5

【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete writing assignments and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course)

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

【Course outline】 Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【Learning Objectives】 This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group& pair work and through delivering presentations.

【(Learning activities outside of classroom)】 Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations and discussions.

【Grading Criteria/Policy】

- Active participation in class: 20%

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月5/Mon.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、1年次に習得した4技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、新聞記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。効果的なプレゼンテーションになるよう工夫したり、根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2回目	家族 ①	<i>The New York Times</i> ビデオクリップとスクリプト
3回目	家族 ②	Lesson 12: Good Question
4回目	家族 ③	関連資料、ディスカッション
5回目	銃規制 ①	Lesson 11: "Don't Shoot"
6回目	銃規制 ②	<i>The Japan Times</i> 記事
7回目	銃規制 ③	関連資料、ライティング
8回目	新聞記事	各自が探した記事の提出、内容確認、プレゼン準備
9回目	食生活、健康 ①	Lesson 2: A Spreading Problem
10回目	食生活、健康 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
11回目	記事のプレゼンテーション (1-8)	クラスメートへのフィードバック (プレゼン方法と記事内容)
12回目	記事のプレゼンテーション (9-17)	振り返り、クラスメートへのフィードバック
13回目	記事のプレゼンテーション (18-24)	クラスメートへのフィードバック、効果的な英語プレゼンのまとめ

14回目 食生活、健康 ③ 関連資料、リスニング

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提にして進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン(記事)から内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

【テキスト (教科書)】

『U.S.A. Update (いま、アメリカを読む)』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業への取り組み、小テストなど) 70%、プレゼンテーション課題関連 30%。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will search independently for an interesting article on a current topic in American life found in English newspapers and then will give a presentation on it. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (70%) and presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、新聞記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。なお、春学期の終わりに詳しく説明しますが、夏休み中に洋書を一冊読んでおいてください。秋学期の授業で、読んだ本について各自がプレゼンテーションを行ないます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明、効果的なプレゼンテーションの準備
2回目	裁判制度 ①	Lesson 14: And Justice for All
3回目	裁判制度 ②	<i>The New York Times</i> 記事
4回目	裁判制度 ③	関連資料、ディスカッション
5回目	ブック・パッセージ	パッセージの内容確認、プレゼン練習
6回目	移民、人種、ホリデイ ①	Lesson 3: Juneteenth
7回目	移民、人種、ホリデイ ②	Lesson 7: Illegal
8回目	移民、人種、ホリデイ ③	関連資料、ライティング
9回目	ブック・プレゼンテーション(1~8)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとクラスメートへのレスポンス
10回目	ブック・プレゼンテーション(9~17)	振り返り、夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス
11回目	ブック・プレゼンテーション(18~24)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス、効果的なプレゼンのまとめ

12回目	環境問題、地域的多様性 ①	Lesson 6: A New York State of Mind
13回目	環境問題、地域的多様性 ②	関連資料、リスニング
14回目	期末テストと秋学期のまとめ	秋学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、クラスメートが選んだパッセージにもすべて目を通して課題を提出します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update (いま、アメリカを読む)』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への取り組み、小テストなど）50%、プレゼンテーション課題関連 20%、期末テスト 30%。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will give a 5-minute presentation on an English book of his or her own choice. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (50%), presentations (20%), and a final exam (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：日本に関するさまざまなニュース

吉江 秀和

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本に関連するさまざまなトピックを扱った『映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】NHK NEWSLINE Special Edition』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1とEnglish 2で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキスト『映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】NHK NEWSLINE Special Edition』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

授業の進め方などについての質問や意見を学期内で数回配布するリアクションペーパーに書いてもらい、回収後にそれらのコメントへの返答をおこないます。各チャプターの確認テスト等のフィードバックはテスト返却時におこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Unit 1	イチローの8番で

3	Unit 2	節約観光列車－おもてなしの工夫
4	Unit 3	1型糖尿病患者を救いたい
5	テキスト以外の英文 講読①	日本の文化に関する英文の講読、 リスニング
6	テキスト以外の英文 講読②	日本の社会に関する英文の講読、 リスニング
7	プレゼンテーション	Unit 1～Unit 3に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Unit 4	飼料高騰にライ麦
9	Unit 5	ウクライナ避難者に寄り添う
10	Unit 6	横田滋さんの活動とレガシー
11	Unit 7	英語を始めた被爆者
12	テキスト以外の英文 講読③	日本の政治に関する英文の講読、 リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Unit 4～Unit 7に関連するトピックによるプレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

山崎達朗、Stella M. Yamazaki 編『映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】NHK NEWSLINE Special Edition』金星堂、2026年、2,800円＋税 978-4-7647-4239-0

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのか分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのかが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading stories and doing exercises in the textbook “NHK NEWSLINE Special Edition”, which consists of 15 topics about Japan culture, students learn how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本に関するさまざまなニュース

吉江 秀和

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本に関連するさまざまなトピックを扱った『映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】NHK NEWSLINE Special Edition』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1とEnglish 2で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキスト『映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】NHK NEWSLINE Special Edition』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

授業の進め方などについての質問や意見を学期内で数回配布するリアクションペーパーに書いてもらい、回収後にそれらのコメントへの返答をおこないます。各チャプターの確認テスト等のフィードバックはテスト返却時におこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8	知られざる北斎の魅力
2	Unit 9	宇宙開発ボードゲーム
3	Unit 10	モンティ先生を偲んで
4	Unit 11	18歳選挙―若者の意識改革へ

5	テキスト以外の英文 講読①	日本の文化に関する英文の講読、 リスニング
6	テキスト以外の英文 講読②	日本の社会に関する英文の講読、 リスニング
7	プレゼンテーション	Unit 8～Unit 11に関連する トピックによるプレゼンテー ション
8	Unit 12	筑前琵琶―イタリア人職人の思 い
9	Unit 13	日韓の架け橋になりたい
10	Unit 14	タンザニアリケジョ来日
11	Unit 15	人種差別をなくす
12	テキスト以外の英文 講読③	日本の政治に関する英文の講読、 リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期 末試験で確認します。試験・ま とめと解説
14	プレゼンテーション	Unit 12～Unit 15に関連する トピックによるプレゼンテー ション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

山崎達朗、Stella M. Yamazaki 編『映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】NHK NEWSLINE Special Edition』金屋堂、2026年、2,800円＋税 978-4-7647-4239-0

【参考書】

必要の際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験（40%）から総合的に評価。欠席が4回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください（主要な動詞がどの文型をとるのかが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです）。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Reading stories and doing exercises in the textbook “NHK NEWSLINE Special Edition”, which consists of 15 topics about Japan culture, students learn how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：ニュースで見る今日の日本社会

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今日の日本の論点に関するニュースを通して現代日本に關しての表現を学び、同時に英語の技能(Writing, Reading, Listening, Speaking)を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

テキストを辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

フィードバックは授業内に行う

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からはhoppiiを通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Chapter1	Chapter1の語彙と精読
3	Chapter1	精読の続きと章末の問題
4	Chapter1&2	Chapter1の小テストとChapter2の語彙と精読
5	Chapter2	精読の続きと章末の問題
6	Chapter2&3	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
7	Chapter3	精読の続きと章末の問題
8	Chapter3&4	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
9	Chapter4	精読の続きと章末の問題
10	Chapter4&5	Chapter4の小テストとChapter5の語彙と精読
11	Chapter5	精読の続きと章末の問題
12	Chapter5&6	Chapter5の小テストとChapter6の語彙と精読
13	Chapter6	精読の続きと章末の問題
14	Chapter6	Chapter6の小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

JAPAN QUEST

from NHK WORLD-JAPAN's NEWSLINE

映像で学ぶ NHKワールドが発信する日本

米山明日香 編著

金星堂 2025年 2700円（税別）

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト70%

授業中の問題演習等30%

各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II2017年度以降入学者

サブタイトル：ニュースで見る今日の日本社会

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5
単位数：1単位
その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストを通して現代日本に関しての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引ながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。
現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。
精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。
課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする
フィードバックは授業内に行う
なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppel を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter7	Chapter7 の語彙と精読
2	Chapter7	精読の続きと章末の問題
3	Chapter7&8	Chapter7 の小テストとChapter8 の語彙と精読
4	Chapter8	精読の続きと章末の問題
5	chapter8&9	Chapter8 の小テストとChapter9 の語彙と精読
6	Chapter9	精読の続きと章末の問題
7	Chapter9&10	Chapter9 の小テストとChapter10 の語彙と精読
8	Chapter10	精読の続きと章末の問題
9	chapter10&11	Chapter10 の小テストとChapter11 の語彙と精読
10	Chapter11	精読の続きと章末の問題
11	Cahpter11&12	Chapter11 の小テストとChapter12 の語彙と精読
12	Chapter12	精読の続きと章末の問題
13	Chapter12&13	Chapter12 の小テストとChapter13 の語彙と精読
14	Chapter13	精読の続きと章末の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところに適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

JAPAN QUEST
from NHK WORLD-JAPAN's NEWSLINE
映像で学ぶ NHK ワールドが発信する日本
米山明日香 編著
金星堂 2025年 2700円（税別）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%
授業中の問題演習等 30%
各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする
題材に関連する事柄を適宜紹介する

【学生が準備すべき機器他】

辞書、オンライン授業実施時は対応機材

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture. The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)			English 3 I			2017年度以降入学者		
サブタイトル：世界の中の日本 (Japan in the World)			田中 浩司			開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月5/Mon.5 単位数：1単位 その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			本授業を通じて、学生はテキストを中心に、音声教材等を効果的に活用しながら、英語を通じて世界における日本文化への理解を深めるとともに、世界における日本の役割や日本人の活躍・位置づけについて学ぶ。また、1学年までに身に付けた英語の基礎を再確認・定着させ、英語の4技能（読む・聞く・話す・書く）の総合的な向上を目指す。			第5回 Chapter 3 前章の復習小テスト & Chapter 3 Japanese Seasonal Charms: The Bewotching Beauty of Kimono 日本の風物詩ー着物の魅力（テキストのリーディング・リスニング・問題解答）		
【到達目標】			・ TOEIC レベルの文法事項の基礎を理解する。 ・ TOEIC レベルの語彙の基礎を身につける。 ・ 英文の要旨を把握できる、基礎力を身につける。 ・ リスニング能力・英語の発音の向上。			第6回 Chapter 3 Chapter 3 Japanese Seasonal Charms: The Bewotching Beauty of Kimono 日本の風物詩ー着物の魅力（テキストのリーディング及びシャドーイング）		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			第7回 Chapter 4 前章の復習小テスト Chapter 4 Japanese High-Quality Technology 高品質の日本テクノロジー(テキストのリーディング・リスニング・問題解答)		
【主な授業方法】			L 講義 /Lecture			第8回 Chapter 4 Chapter 4 Japanese High-Quality Technology 高品質の日本テクノロジー（テキストのリーディング及びシャドーイング）		
【授業の進め方と方法】			授業はテキストを中心に進め、CDなどの音声教材を用いながら、Reading及びListeningの活動を行う。特に音読については重点的に行う。各章の終わりには、Shadowingを繰り返し行い、必要に応じて、学んだ内容やそれに対する自分の考えを英語で簡単な文章にまとめたり、ディスカッション行う。また、学生の状況に応じて、教科書の進度を調整したり、プリント等の補助教材を用いたりすることもある。課題については点検・採点后に返却し、コメントをする。			第9回 Chapter 5 前章の復習小テスト Chapter 5 Healthy and Colorful Japanese Cuisine 健康にいい、色鮮やかな日本食（テキストのリーディング・リスニング・問題解答）		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			あり / Yes			第10回 Chapter 5 Chapter 5 Healthy and Colorful Japanese Cuisine 健康にいい、色鮮やかな日本食（テキストのリーディング及びシャドーイング）		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			なし / No			第11回 Chapter 6 前章の復習小テスト Chapter 6 Destruction and Creation: Japanese Stage Art 破壊と創造ー日本舞台芸術（テキストのリーディング・リスニング・問題解答）		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			回 テーマ 内容			第12回 Chapter 6 Capter 6 Destruction and Creation: Japanese Stage Art 破壊と創造ー日本舞台芸術（テキストのリーディング及びシャドーイング）		
第1回	ガイダンス & Chapter 1	授業の進め方等の確認 Chapter 1 The Spirit of Japanese Hospitality おもてなしの心（テキストのリーディング・リスニング・問題解答）	第13回 Chapter 6 & これまでのまとめ・解説			前章の復習小テスト Chapter 1 ~6までの復習		
第2回	Chapter 1	Chapter 1 The Spirit of Japanese Hospitality おもてなしの心（テキストのリーディング及びシャドーイング）	第14回 Chapter 1~6の試験			Chapter 1~6までの復習テストを行う		
第3回	Chapter 2	前章の復習小テスト Chaoter 2 Superb! Tokyo Skytree 東京スカイツリーの秘密（テキストのリーディング・リスニング・問題解答）	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】			準備学習としては、テキストで扱う英文に目を通し、知らない語彙を調べてながら文意を理解しておくこと。授業後の復習としては、語彙、表現等を復習し、復習小テストに備えるほか、何度も本文の音読を繰り返すこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。		
第4回	Chapter 2	Chapter 2 Superb! Tokyo Skytree 東京スカイツリーの秘密（テキストのリーディング及びリスニング）	【テキスト（教科書）】			Kinuyo Koikawa, Kentaro Yamada, David Farnell, Motoko Yakushiji 著 Let's Introduce Japanese Culture! (日本文化を世界に！ー日本の伝統文化からポップカルチャーまで) 英宝社, 2014年, 定価2090円		
			【参考書】			英和・和英辞典（『ジーニアス英和・和英辞典』（大修館）、英英辞典（『ロングマン現代英英辞典』（OUP）		
			【成績評価の方法と基準】			平常点（授業への参加度・小テスト等）60%、期末試験40%で評価。30分以上の遅刻は欠席とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなす。欠席が4回以上の場合は、成績評価の対象から外すので注意すること。		
			【学生の意見等からの気づき】			特になし。		

【Outline (in English)】

Through this course, students will deepen their understanding of Japanese culture in a global context by making effective use of the textbook as well as audio materials and other resources. They will also learn about Japan's role in the world and the contributions and position of Japanese people in the international community. In addition, the course aims to review and consolidate the fundamental English skills acquired up to the first year, while promoting the comprehensive development of the four English skills: reading, listening, speaking, and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English 3 II	2017年度以降入学者
サブタイトル：世界の中の日本 (Japan in the World)	
田中 浩司	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月5/Mon.5	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業を通じて、学生はテキストを中心に、音声教材等を効果的に活用しながら、英語を通じて世界における日本文化への理解を深めるとともに、世界における日本の役割や日本人の活躍・位置づけについて学ぶ。また、1学年までに身に付けた英語の基礎を再確認・定着させ、英語の4技能（読む・聞く・話す・書く）の総合的な向上を目指す。

【到達目標】

- ・TOEICレベルの文法事項の基礎を理解する。
- ・TOEICレベルの語彙の基礎を身につける。
- ・英文の要旨を把握できる、基礎力を身につける。
- ・英語のリスニング能力・生成能力・発音の向上。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業はテキストを中心に進め、CDなどの音声教材を用いながら、英語を読む・聞く活動を行う。特に音読については重点的に行う。各章の終わりには、学んだ内容やそれに対する自分の考えを英語で簡単な文章にまとめたり、必要に応じてディスカッション行う。課題については点検・採点後に返却し、コメントをする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Chapter 7	Chapter 7 Hospitality and Peace in Japanese Robots 平和とおもてなしの日本ロボット（リスニング・テキストの問題解答・解説）
第2回	Chapter 7	Chapter 7 Hospitality and Peace in Japanese Robots 平和とおもてなしの日本ロボット（テキストのリーディング・シャドーイング）
第3回	Chapter 8	前章の復習小テスト Chapter 8 Samurai Spirit サムライ（リスニング・テキストの問題解答・解説）
第4回	Chapter 8	Chapter 8 Chapter 8 Samurai Spirit サムライ（テキストのリーディング・シャドーイング）
第5回	Chapter 9	前章の復習小テスト Chapter 9 Anime: A Japanese Power 日本のソフトパワーとなったアニメ（リスニング・テキストの問題解答・解説）

第6回	Chapter 9	Chapter 9 Anime: A Japanese Power 日本のソフトパワーとなったアニメ（テキストのリーディング・シャドーイング）
第7回	Chapter 10	前章の復習小テスト Chapter 10 Hot Springs: Let's Become Healthy and Beautiful! 温泉で美人に！（リスニング・テキストの問題解答・解説）
第8回	Chapter 10	Chapter 10 Chapter 10 Hot Springs: Let's Become Healthy and Beautiful! 温泉で美人に！（テキストのリーディング・シャドーイング）
第9回	Chapter 11	前章の復習小テスト Chapter 11 Tranwuility and Dynamism in Competitive Calligraphy 静謐と躍動ー書道甲子園（リスニング・テキストの問題解答・解説）
第10回	Chapter 11	Chapter 11 Tranwuility and Dynamism in Competitive Calligraphy 静謐と躍動ー書道甲子園（テキストのリーディング・シャドーイング）
第11回	Chapter 12	前章の復習小テスト Chapter 12 Kawaii Going Global 世界に広がるカワイイ（リスニング・テキストの問題解答・解説）
第12回	Chapter 12	Chapter 12 Kawaii Going Global 世界に広がるカワイイ（テキストのリーディング・シャドーイング）
第13回	Chapter 7～12のまとめ	前章の復習小テスト Chapter 7～12のまとめ
第14回	Chapter 7～12の試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習としては、テキストで扱う英文に目を通し、知らない語彙を調べてながら文意を理解しておくこと。授業後の復習としては、語彙、表現等を復習し、復習小テストに備えるほか、何度も本文の音読を繰り返すこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Kinuyo Koikawa, Kentaro Yamada, David Farnell, Motoko Yakushiji 著, Let's Introduce Japanese Culture! (日本文化を世界に！ー日本の伝統文化からポップカルチャーまで) 英宝社, 2014年, 定価2090円（税込み）

【参考書】

英和・和英辞典（『ジーニアス英和・和英辞典』（大修館）
英英辞典（『ロングマン現代英英辞典』（OUP）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への参加度・小テスト等）60%、期末試験40%で評価。30分以上の遅刻は欠席とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなす。欠席が4回以上の場合は、成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

Through this course, students will deepen their understanding of Japanese culture in a global context by making effective use of the textbook as well as audio materials and other resources. They will also learn about Japan's role in the world and the contributions and position of Japanese people in the international community. In addition, the course aims to review and consolidate the fundamental English skills acquired up to the first year, while promoting the comprehensive development of the four English skills: reading, listening, speaking, and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：「英語で学ぶ、イギリスの文化と社会」

B ． 富士川 美紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、英語の四技能（読む・聞く・書く・話す）を統合的に学び、英語を使って異なる文化や社会について理解を深めることを目的としています。授業では、さまざまな英語の教材を使い、内容を理解するだけでなく、そこに関連する文化や社会的背景についても考えます。

授業を通して、異文化を理解し尊重する姿勢を育み、同時に自分の文化や価値観を広い視野で見つめ直す力を身につけます。さらに、英語を使って自分の考えや意見を整理し、ディスカッションやライティングを通じて自信を持って表現できるようになることを目指します。

【到達目標】

本授業の終了時に、学生はイギリスの文化、社会、芸術、科学などの基本的な側面について理解できるようになり、英語を通じてイギリスの文化と自分の文化を比較し、違いや共通点を理解する力を身につけます。また、ディスカッションやライティングを通じて、簡単な英語で自分の意見を伝える力を高め、英語の簡単な資料を読み、内容を理解し、文化や社会的背景を基本的に考察できるようになります。さらに、学生は自分の考えを英語で表現することに自信を持ち、積極的に英語を使う姿勢を養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

本授業は、講義と演習を中心に進め、英語の四技能（読む・聞く・書く・話す）を統合的に活用しながら、英語圏、特にイギリスの文化や社会について学ぶ。教科書 *Aspects of British Culture: Academic Approaches* (真実のイギリス) を使用し、文化、社会、芸術、科学などの各テーマを扱う。

授業では、教科書の英文を読み、語彙や表現を確認しながら内容理解を行う。その後、教科書に付随する音声教材を用いたリスニング活動を行い、英語の音や表現への理解を深める。

演習では、ペアや小グループでのディスカッションや意見交換を行い、教科書の内容や文化的背景について自分の考えを英語で表現する練習を行う。また、テーマに関連して考察する活動を取り入れ、学生が主体的に考える学習活動を行うことで、異文化と自文化の共通点や違いについて理解を深める。

さらに、授業内容に関連した短いライティング課題やリアクションペーパーを課し、学んだ内容や自分の意見を文章で整理する力を養う。提出された課題については、授業内での全体講評や簡単なコメントによるフィードバックを行い、表現や内容理解の向上につなげる。これらの活動を通じて、英語を用いたコミュニケーション能力を養うとともに、異文化を理解し尊重する姿勢を育み、広い視野で物事を捉える力を養う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	Orientation and Ice Breaking Activity	授業の目的、進め方、評価方法についてのガイダンスと、学生同士の交流を深めるためのアイスブレイキングアクティビティを行います。
第2回目	The Country of Diversity	イギリスが多文化社会である背景とその多様性について学びます。イギリスにおける人々の違いを理解します。
第3回目	England, Wales, Scotland, and Northern Ireland	イギリスを構成する国々（イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランド）の違いや歴史を学び、各地域の特色を理解します。
第4回目	The Power of the Commonwealth	コモンウェルス（英連邦）という国際的な組織の歴史とその影響力を学びます。
第5回目	The Birth of Cultural Studies in the UK	イギリスにおける文化研究の誕生と発展について学び、社会学的な視点からイギリス社会を捉えます。
第6回目	The Languages of the UK	イギリスで話される主要な言語（英語、ウェールズ語、スコットランド語、ゲール語など）とその社会的役割について学びます。
第7回目	The Development of Journalism in the UK	イギリスにおけるジャーナリズムの発展と、それが社会や政治に与えた影響について学びます。
第8回目	The Vessel of Worldwide Art and Culture	イギリスが世界の芸術と文化に与えた影響を学び、音楽、映画、文学などの分野を掘り下げます。
第9回目	The Relationship between Japan and the UK	日本とイギリスの歴史的な関係や現代の交流について学び、両国の文化の違いと共通点を比較します。
第10回目	The Role of Language in Communication	言語がコミュニケーションに与える影響を学び、言語の多様性とその重要性を理解します。
第11回目	British Media and Public Opinion	イギリスのメディアの役割と、その影響が公衆の意見にどのように反映されるかを学びます。
第12回目	British Arts and Global Influence	イギリスの芸術（音楽、映画、演劇など）の世界的な影響力と、イギリス文化がどのように輸出されているかを学びます。
第13回目	Vocabulary Test	前期で学んだ単語や表現を確認する単語テストを行います。復習のため、簡単な練習問題やクイズ形式で学習内容を再確認します。
第14回目	Final Presentation	学生が選んだイギリスの文化や社会に関連するテーマについて、簡潔に英語でプレゼンテーションを行います。授業の総括として、学生同士でフィードバックを行い、学期末の学びを振り返ります。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各回1時間を標準とします。学生は、授業で取り上げる内容に関連するテキストを事前に読んだり、予習として簡単な演習問題に取り組んだりします。これにより、授業中に行うディスカッションやアクティビティにスムーズに参加できるようになります。

授業後は、学んだ単語やフレーズを復習し、重要なポイントを確認します。特に、授業で紹介された新しい単語や表現は、定期的に復習することが大切です。また、授業内で出された課題（レポートや練習問題など）に取り組み、学んだ内容を実際に使うことで理解を深めます。

さらに、次回の授業で扱うテーマを簡単に予習することも推奨されます。授業内容を事前に少し調べることで、より自信を持って授業に臨むことができます。語彙テストに向けては、これまで学んだ語彙を復習し、記憶に定着させるよう心がけましょう。

【テキスト（教科書）】

教科書：Aspects of British Culture Academic Approaches 真実のイギリス

文化、社会、芸術そして科学

著者：原田範行 / Andrew Houwen / 森田彰 著

出版社：金星堂

出版年：2022

価格：¥2,000 (税込 ¥2,200)

【参考書】

・『English Grammar in Use (Beginner)』

著者: Raymond Murphy

出版社: Cambridge University Press

・『Oxford Picture Dictionary』

出版社: Oxford University Press

【成績評価の方法と基準】

・平常点 (40%)

授業への積極的な参加や提出された課題の完成度。

・単語テスト (30%)

学んだ語彙に関するテストの成績。

・プレゼンテーション (30%)

最終プレゼンテーションの内容、発表準備、英語表現の適切さ。

重要事項

単位修得には課題提出や小テストの受験が必須

欠席4回以上は原則として単位を修得できません

ディスカッションやグループ活動への積極的な参加も成績に反映されます

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規担当科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

＜この授業の実施形態＞ 基本は対面授業で行います。ただし、何かやも得ない状況があった場合にはライブ配信型のGoogle Meetでオンライン授業を行う場合もあるかもしれません。また、課題提出、先生からのお知らせなどオンラインの学習支援システムを使う予定ですので、毎回必ず確認するようにして下さい。詳細は4月の第一回目の授業で説明します。

【その他の重要事項】

この科目は、英語教育、TESOL、時事英語、ビジネス英語、リスニング・スピーキング・ライティング・リーディングを含む多岐にわたる分野で実務経験を有する教員が担当します。英語圏でのESLクラスの実践授業研修を含むこれらの経験を活かし、授業では、イギリスの文化と社会に関するテーマを扱います。学生は、英語資料の読解、異文化理解、ディスカッション、レポート作成を通じて、英語力を高め、同時に異文化や社会的背景に対する理解を深めます。また、授業内での英語での意見交換やプレゼンテーションのスキル向上にも重点を置き、実践的な英語力を養うことを目指します。

【Outline (in English)】

This course aims to integrate the four key language skills — reading, listening, writing, and speaking — while helping students deepen their understanding of diverse cultures and societies, with a particular focus on British culture. The course will use the textbook Aspects of British Culture: Academic Approaches to explore various aspects of British society, including culture, social issues, arts, and science. Throughout the course, students will not only focus on understanding the content but also examine the cultural, social, and historical contexts behind British life. This will enable them to compare and contrast British culture with their own, fostering a deeper appreciation for both similarities and differences.

By the end of the course, students will have developed an understanding of key aspects of British culture and society and will be able to discuss these topics confidently in English. Students will engage in discussions, writing exercises, and presentations to practice expressing their ideas and opinions, thus enhancing their ability to communicate effectively in English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：「英語で学ぶ、イギリスの文化と社会」

B ． 富士川 美紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、英語の四技能（読む・聞く・書く・話す）を統合的に学び、英語を使って異なる文化や社会について理解を深めることを目的としています。授業では、さまざまな英語の教材を使い、内容を理解するだけでなく、そこに関連する文化や社会的背景についても考えます。

授業を通して、異文化を理解し尊重する姿勢を育み、同時に自分の文化や価値観を広い視野で見つめ直す力を身につけます。さらに、英語を使って自分の考えや意見を整理し、ディスカッションやライティングを通じて自信を持って表現できるようになることを目指します。

【到達目標】

本授業の終了時に、学生はイギリスの文化、社会、芸術、科学などの基本的な側面について理解できるようになり、英語を通じてイギリスの文化と自分の文化を比較し、違いや共通点を理解する力を身につけます。また、ディスカッションやライティングを通じて、簡単な英語で自分の意見を伝える力を高め、英語の簡単な資料を読み、内容を理解し、文化や社会的背景を基本的に考察できるようになります。さらに、学生は自分の考えを英語で表現することに自信を持ち、積極的に英語を使う姿勢を養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

本授業は、講義と演習を中心に進め、英語の四技能（読む・聞く・書く・話す）を統合的に活用しながら、英語圏、特にイギリスの文化や社会について学ぶ。教科書 *Aspects of British Culture: Academic Approaches* (真実のイギリス) を使用し、文化、社会、芸術、科学などの各テーマを扱う。

授業では、教科書の英文を読み、語彙や表現を確認しながら内容理解を行う。その後、教科書に付随する音声教材を用いたリスニング活動を行い、英語の音や表現への理解を深める。

演習では、ペアや小グループでのディスカッションや意見交換を行い、教科書の内容や文化的背景について自分の考えを英語で表現する練習を行う。また、テーマに関連して考察する活動を取り入れ、学生が主体的に考える学習活動を行うことで、異文化と自文化の共通点や違いについて理解を深める。

さらに、授業内容に関連した短いライティング課題やリアクションペーパーを課し、学んだ内容や自分の意見を文章で整理する力を養う。提出された課題については、授業内での全体講評や簡単なコメントによるフィードバックを行い、表現や内容理解の向上につなげる。これらの活動を通じて、英語を用いたコミュニケーション能力を養うとともに、異文化を理解し尊重する姿勢を育み、広い視野で物事を捉える力を養う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	Guidance and Summer Topic Share	前期の学びを振り返り、夏休みのトピック共有を通じて学生の考えを発表し合います。
第2回目	The History of British Democracy	イギリスの民主主義の歴史とその発展過程を学び、議会制度や選挙の重要性を理解します。
第3回目	The British Debate about the Economy	イギリスの経済に関する議論（貧困、富裕層、社会保障など）を学び、その社会的影響を考察します。
第4回目	With or Without God: The Development of the Natural Sciences	イギリスにおける自然科学の発展と、それが宗教とどう関わったかを学びます。
第5回目	The Country of Satire	イギリスの風刺文化と、それが社会や政治にどのような影響を与えたかを学びます。
第6回目	Nature and British People	イギリスの自然環境と人々の関係について学び、イギリス人の自然観を考察します。
第7回目	An Oxbridge Education	オックスフォード大学とケンブリッジ大学（オックスブリッジ）の教育制度とその歴史的背景を学びます。
第8回目	British Community Life	イギリスのコミュニティ生活について学び、地域社会や人々のつながりの重要性を理解します。
第9回目	The British Legal System	イギリスの法制度の特徴と、それが社会に与える影響を学びます。
第10回目	The British Social Welfare System	イギリスの社会福祉制度の歴史と現状を学び、社会保障の役割について考察します。
第11回目	The British Political System	イギリスの政治システムと、その特徴について学び、政治と社会のつながりを理解します。
第12回目	The Role of the Monarchy in Modern Britain	現代のイギリスにおける王室の役割とその影響について学びます。
第13回目	Vocabulary Test and Presentation Preparation	後期の学習内容に関する単語テストを行います。その後、学生が興味を持ったイギリス文化や社会について自由にプレゼンテーションを準備します。
第14回目	Final Presentation	学生が選んだイギリスの文化や社会についてのテーマでプレゼンテーションを行います。授業の総括として、学生同士でフィードバックを行い、学期末の学びを振り返ります。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各回1時間を標準とします。学生は、授業で取り上げる内容に関連するテキストを事前に読んだり、予習として簡単な演習問題に取り組んだりします。これにより、授業中に行うディスカッションやアクティビティにスムーズに参加できるようになります。

授業後は、学んだ単語やフレーズを復習し、重要なポイントを確認します。特に、授業で紹介された新しい単語や表現は、定期的に復習することが大切です。また、授業内で出された課題（レポートや練習問題など）に取り組み、学んだ内容を実際に使うことで理解を深めます。

さらに、次の授業で扱うテーマを簡単に予習することも推奨されます。授業内容を事前に少し調べることで、より自信を持って授業に臨むことができます。語彙テストに向けては、これまで学んだ語彙を復習し、記憶に定着させるよう心がけましょう。

【テキスト（教科書）】

教科書：Aspects of British Culture Academic Approaches 真実のイギリス

文化、社会、芸術そして科学

著者：原田範行 / Andrew Houwen / 森田彰 著

出版社：金星堂

出版年：2022

価格：¥2,000 (税込 ¥2,200)

【参考書】

・『English Grammar in Use (Beginner)』

著者: Raymond Murphy

出版社: Cambridge University Press

・『Oxford Picture Dictionary』

出版社: Oxford University Press

【成績評価の方法と基準】

・平常点 (40%)

授業への積極的な参加や提出された課題の完成度。

・単語テスト (30%)

学んだ語彙に関するテストの成績。

・プレゼンテーション (30%)

最終プレゼンテーションの内容、発表準備、英語表現の適切さ。

重要事項

単位修得には課題提出や小テストの受験が必須

欠席4回以上は原則として単位を修得できません

ディスカッションやグループ活動への積極的な参加も成績に反映されます

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規担当科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

＜この授業の実施形態＞ 基本は対面授業で行います。ただし、何かやも得ない状況があった場合にはライブ配信型のGoogle Meetでオンライン授業を行う場合もあるかもしれません。また、課題提出、先生からのお知らせなどオンラインの学習支援システムを使う予定ですので、毎回必ず確認するようにして下さい。詳細は4月の第一回目の授業で説明します。

【その他の重要事項】

この科目は、英語教育、TESOL、時事英語、ビジネス英語、リスニング・スピーキング・ライティング・リーディングを含む多岐にわたる分野で実務経験を有する教員が担当します。英語圏でのESLクラスの実践授業研修を含むこれらの経験を活かし、授業では、イギリスの文化と社会に関するテーマを扱います。学生は、英語資料の読解、異文化理解、ディスカッション、レポート作成を通じて、英語力を高め、同時に異文化や社会的背景に対する理解を深めます。また、授業内での英語での意見交換やプレゼンテーションのスキル向上にも重点を置き、実践的な英語力を養うことを目指します。

【Outline (in English)】

This course aims to integrate the four key language skills — reading, listening, writing, and speaking — while helping students deepen their understanding of diverse cultures and societies, with a particular focus on British culture. The course will use the textbook *Aspects of British Culture: Academic Approaches* to explore various aspects of British society, including culture, social issues, arts, and science. Throughout the course, students will not only focus on understanding the content but also examine the cultural, social, and historical contexts behind British life. This will enable them to compare and contrast British culture with their own, fostering a deeper appreciation for both similarities and differences.

By the end of the course, students will have developed an understanding of key aspects of British culture and society and will be able to discuss these topics confidently in English. Students will engage in discussions, writing exercises, and presentations to practice expressing their ideas and opinions, thus enhancing their ability to communicate effectively in English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)		3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
English 3 I				
サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World				
猪俣 佳瑞美		4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 月4/Mon.4 単位数: 1単位				
その他属性:				
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】		5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。		6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
【到達目標】		7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
講義の到達目標は、以下である。		8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。				
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。				
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。				
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。				
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】		9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1		10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
【主な授業方法】				
L 講義 /Lecture				
【授業の進め方と方法】		11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。		12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】				
あり / Yes				
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】				
なし / No				
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など		
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。		

13	プレゼンテーション 1	指定されたテーマで書きあげた原稿をもとに、各自がクラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション 2 総括	全体発表の2回目。 最後に学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% レポート課題20%。遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II					
サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World					
猪俣 佳瑞美					
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 月4/Mon.4			4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数: 1単位					
その他属性:					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しんでいる「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
【到達目標】			7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
講義の到達目標は、以下である。			8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。					
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。			9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			11	プレゼンテーション準備と確認	12、13回の講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。			12	プレゼンテーション1	テーマに沿って各自が書き上げた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			13	プレゼンテーション2	クラス全体に発表する2回目。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1			14	更なる英語学習へ総括と振り返り	秋学期に実施したトレーニング方法などを再度確認し学びを総括。各自が英語学習に対する将来的な課題を明らかにする。
【主な授業方法】					
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。					
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認			
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% レポート課題20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Technology and the world of tomorrow

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことにあります (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。技術革新がどのような社会変革をもたらす可能性があるのかについて学び考えていきます。

【到達目標】

1. 音読が適切にできるようになること
2. テキストの内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだトピックについての解説と意見を英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の進め方：

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
 - (2) Listening: listening to mini-talks and global news
 - (3) Writing: summary and paragraph writing
 - (4) Speaking: preparation for presentation
- Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (授業は演習形式で行います。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/	1.Orientation オリエンテーション
2	Learning to use dictionaries #1/Chapter 1: Universal Basic Income #1	1.Learning to use English-Japanese dictionaries #1 2.Paragraph reading the first paragraph of Chapter 1
3	Chapter 1: Universal Basic Income #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
4	Chapter 1: Universal Basic Income #3	1.Structure Practice 2.Listening Challenges
5	Why Do We Need Universal Basic Income?	1.Thinking more about Universal Basic Income 2.Exchange your ideas
6	Chapter 3: Facial Recognition #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
7	Chapter 3: Facial Recognition #2	1.Structure Practice 2.Listening Challenges

8	Learning to use dictionaries #2/Chapter 3: Facial Recognition #3	1.Learning to use English-Japanese dictionaries and English-English dictionaries #2 2.Summarize author's idea 3.Understanding of the Passage
9	Facial Recognition:Its Advantages and Disadvantages	1.Thinking more about facial recognition 2.Exchange your ideas
10	Chapter 4: Automated Transportation #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
11	Chapter 4: Automated Transportation #2	1.Structure Practice 2.Listening Challenges
12	Chapter 4: Automated Transportation #3	1.Summarize author's idea 2.Understanding of the Passage
13	Automated Transportation:Its Advantages and Disadvantages	1.Thinking more about an autonomous vehicle 2.Exchange your ideas
14	Review and Test	Final Test 学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

- 1.James M. Vardaman, Considering Tomorrow: 15 Changes to Prepare for (『変わりゆく世界：明日の世界を考える 15 のトピック』, 音羽書房鶴見書店, 2022年) ￥ 1,900 + 税
- 2.配布プリント

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (春学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make this course exciting. みなさんの熱心な参加により授業の質が高まっていくのを実感しました。本年度もよい授業を一緒に作り上げていきましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (Both English-Japanese dictionary and English-English dictionary are necessary)

【Outline (in English)】

This is a content-based English learning class focusing on potential social changes caused by technological developments. Students will also develop reading, listening, speaking and writing skills. The goal is for students to be able to read aloud fluently and to write a well-organized paragraph about their own opinions. You will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Technology and the world of tomorrow

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

技術革新がどのような社会変革をもたらす可能性があるのかについて学び考えます。English 3 I に引き続き「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。

【到達目標】

- 1 音読が適切にできるようになること
- 2 学んだトピックについての意見のやりとりを正確に聞き取ることができるようになること
- 3 学んだトピックについての解説と意見を論理的に英語で表現できるようにすること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
 - (2) Listening: listening to mini-talks and global news
 - (3) Writing: summary and paragraph writing
 - (4) Speaking: preparation for presentation
- Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/ Chapter 9: Endless Education: Learning for a Lifetime #1	1 Explaining the course of this semester 2 Reading and listening practices
2	Chapter 9: Endless Education: Learning for a Lifetime #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Reading aloud
3	Chapter 9: Endless Education: Learning for a Lifetime #3	1.Structure Practice 2.Listening Challenges 3.Summarizing the Passage
4	What Kind of Education Do We Need Now?	1.Thinking more about education for the future 2.Presenting your ideas
5	Chapter 10: Drones that Patrol, Deliver, and Teach #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Reading aloud

6	Chapter 10: Drones that Patrol, Deliver, and Teach #2	1.Structure Practice 2.Listening Challenges 3.Summarizing the Passage
7	Drone and War #1	1.Paragraph reading 2.Understanding the issue 3.Reading aloud
8	Drone and War #2	1.Thinking more about the issue 2.Presenting your ideas
9	Chapter 12: Artificial Intelligence: Decision Making by Human s and the Competition #1	1.Structure Practice 2.Listening Challenges 3.Reading aloud
10	Chapter 12: Artificial Intelligence: Decision Making by Human s and the Competition #2	1.Structure Practice 2.Listening Challenges 3.Summarizing the Passage
11	Chapter 12: Artificial Intelligence: Decision Making by Human s and the Competition #3	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Summarizing the Passage
12	Artificial Intelligence:Its Advantages and Disadvantages	1.Understanding advantages and disadvantages of AI
13	Meaningful Human Control over Autonomous Systems	1.Exchange your ideas 2.Writing your ideas
14	Review &Test	Final Test 学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業 1 回あたり 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening, or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

- 1.James M. Vardaman, Considering Tomorrow: 15 Changes to Prepare for (『変わりゆく世界：明日の世界を考える 15 のトピック』, 音羽書房鶴見書店, 2022 年) ￥ 1,900 + 税
- 2.配布プリント

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)
Home assignment (30%)
In-class contribution (20%)
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (秋学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' encouragement will keep you motivated.
語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらさらなるレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム
Electric dictionary (Both English-Japanese dictionary and English-English dictionary are necessary)

【Outline (in English)】

This English course is designed to improve the four skills of reading, listening, speaking and writing while learning about potential social changes caused by cutting-edge technological developments. The goal is for students to be able to read aloud fluently, to accurately listen to discussions on a given topic and to write well-structured paragraphs expressing their own opinions on the topic. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
English 3 I					
サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World					
猪俣 佳瑞美			4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 月5/Mon.5					
単位数: 1単位					
その他属性:					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
【到達目標】			7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
講義の到達目標は、以下である。			8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。			10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1					
【主な授業方法】					
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。					
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など			
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。			

13	プレゼンテーション 1	指定されたテーマで書きあげた原稿をもとに、各自がクラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション 2 総括	全体発表の2回目。 最後に学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% レポート課題20%。遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II					
サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World					
猪俣 佳瑞美					
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 月5/Mon.5			4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数: 1単位					
その他属性:					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しんでいる「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
【到達目標】			7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
講義の到達目標は、以下である。			8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。			10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			11	プレゼンテーション準備と確認	12、13回の講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			12	プレゼンテーション1	テーマに沿って各自が書き上げた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。			13	プレゼンテーション2	クラス全体に発表する2回目。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			14	更なる英語学習へ総括と振り返り	秋学期に実施したトレーニング方法などを再度確認し学びを総括。各自が英語学習に対する将来的な課題を明らかにする。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1					
【主な授業方法】					
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。					
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認			
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% レポート課題20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English for the real world

ジョナサン・エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects. All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is provided throughout.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.

9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See references.

【参考書】

NHK/NHK Educational

Japan Times

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs: Arts-Based Learning of Social Activism in the World

石原 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

While exercising the four skills of listening, speaking, reading, and writing in English in an integrated manner, you will be exposed to artistic expressions of social activism in the world. You will learn the language presented in the works as well as the messages conveyed through the activism and its social, historical, and political backgrounds. You will also have a chance to consider the relationship between art and social activism, namely, the role that various forms of art play in maintaining, restoring, or enhancing social justice in the world.

【到達目標】

This course is designed to develop your English proficiency further as you learn about various cultural and social practices of the world. You will also learn to think critically about important issues that surround us today and develop the ability to effectively express your own ideas, feelings, and opinions in in-person and online settings. The main goal is communication, not translation or accuracy. You will become aware of some issues related to human rights and able to express your ideas and questions about them in English. You will also gain an enhanced understanding of global cultures.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In class you will have a chance to appreciate artistic expressions of social messages. You will also be asked to exchange your ideas and emotions and discuss relevant issues in pairs or small groups. You will also give presentations about your chosen humanitarian activist(s). You are encouraged to actively participate in the task/problem-based learning (TBL/PBL) and group work. Oral feedback will be provided in interaction throughout the course. Written feedback will be offered for your reflective writing and class presentations within a week of submission.

This class involves a number of highly interactive activities. In order to learn to communicate multimodally, that is, to communicate effectively online as well as in person, we will alternate between face to face (F2F) and Zoom course meetings. Please be prepared to use your webcam throughout the online class and participate actively at all times.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, getting to know each other
2	Poetry, Marshall Rosenberg	Social issues in poetry, Nonviolent communication
3	Poetry, Mother Teresa	Developing language identities through poetry, service to the humanity

4	Poetry or film, social activist (TBA, to be announced)	Social justice in poetry or film
5	Story-telling, Mahatma & Kasturabai Gandhi	Human rights through narratives, peace and justice in India
6	Paintings or photographs	Ssocial activism in fine arts or photography
7	Films, Mairead Corrigan McGuire& Betty Williams	Social activism in film, peace and justice in Northern Ireland
8	Music, Nelson Mandela	Social activism in music, social justice in South Africa
9	Children's literature, social activist (TBA)	Social justice education in picture books
10	Cartoon, Peter Benenson	Social justice in cartoon, Amnesty International
11	Special lesson on fast fashion	Mass production, mass destruction, ill working conditions in Southeast Asia
12	Novels, Sister Chang Khong	Environmental justice in literature
13	Documentary film, Mothers of the Plaza de Mayo	Social activism in (documentary) film, peace and justice in Argentina
14	Expression of your social activism, wrap-up	Your choice of social activists, reflection and the future, course evaluation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You must finish assigned reading or listening tasks and other creative assignments before coming to class. As you will be discussing your ideas, reactions, and questions, you are expected to become familiar with the topic of the week and come ready for discussion. Work before and after the class for at least one hour each week.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Censor, Meera. (2011). Humanitarians for justice, nonviolence, and peace. San Bernadino, California.

Purchase a copy of this textbook in the Sanseido bookstore on campus.

【参考書】

Meera Censor website: <https://www.meeracensor.com/>

The Center for Nonviolent Communication: <https://www.cnvc.org/>

Amnesty International: <https://www.amnesty.org/en/>

Amnesty International in Japanese: <https://www.amnesty.or.jp/>

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Attendance and participation (20%)*
- 2) Presentation on a social activist (25%)
- 3) Peer teaching/discussion (25%)
- 4) Reflective writing (15%)
- 5) Final paper (15%)

* Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Most students have very little opportunity to use English outside of class. In order to maximize the chance, this class will be taught as much as possible in English. It's all right to make mistakes; focus on communication! Participate actively and express your ideas openly.

【学生が準備すべき機器他】

Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone when you attend an online class on campus.

【Outline (in English)】

While exercising the four skills of listening, speaking, reading, and writing in English in an integrated manner, you will be exposed to artistic expressions of social activism in the world. You will learn the language presented in the works as well as the messages conveyed through the activism and its social, historical, and political backgrounds. You will also have a chance to discuss online and offline the relationship between art and social activism, namely, the role that various forms of art play in maintaining, restoring, or enhancing social justice in the world. Feedback will be provided in interaction throughout the course and for your reflective writing and class presentations within a week of submission. Your work will be assessed through participation, group and individual presentations, and reflective writings.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金3/Fri.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group & pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English. Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, delivering a presentation and practicing parrotting. They will be given the opportunity to converse on a variety of topics related to each unit and to present their own ideas. There will also be regular listening and reading exercises, as well as writing assignments based on the topics discussed in class.

Comments, feedback, explanations about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Protecting the environment - Introduction to the topic	Listening and speaking exercise: talking about the environment; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous
Week 3	Endangered animals	Reading with comprehension; Learning new vocabulary; Writing summary of the paragraphs

Week 4	TED Talk about protecting cultures; Group activity	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Group activity: Which animal to save?
Week 5	Key points for expressing one's opinion in speaking and writing	Key points for effective discussion; Learning how to express and write one's opinion logically
Week 6	Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 7	Importance of genealogy	Reading exercise: A passion for genealogy; Learning new vocabulary; Writing a short essay on changing perceptions
Week 8	TED Talk and discussion about interconnectedness	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the meaning of interconnectedness
Week 9	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parrotting; Explaining requirements for presentation No. 2
Week 10	Inspiring people	Listening and speaking exercise: talking about world's famous and inspirational people; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 11	Your role model	Reading about inspiration; Learning new vocabulary; Writing about an inspiring person
Week 12	TED Talk and discussion about the importance of pursuing one's dreams	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of pursuing one's dreams
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split (with Spark Access + e-Book), Cengage Learning, 2017. ISBN:979-8-214-33391-5

【参考書】

English to English dictionary: <https://dictionary.cambridge.org/>
Further references will be provided by the instructor during the class.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, prepare presentations, complete writing assignments and homework and pass the final test.

- Active participation in class: 20%
- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook
- Dictionary (online English-English dictionary will be introduced and used in class)
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【その他の重要事項】

The content of lessons may differ from the syllabus depending on the needs and language level of the students taking this class.

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金3/Fri.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group & pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English. Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, delivering a presentation and practicing parroting. They will be given the opportunity to converse on a variety of topics related to each unit and to present their own ideas. There will also be regular listening and reading exercises, as well as writing assignments based on the topics discussed in class.

Comments, feedback, explanations about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Global stories	Listening and speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 3	Different literary genres	Reading about different books, Writing exercise: writing a book review
Week 4	TED Talk and discussion about global literature	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of literature

Week 5	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting
Week 6	Key points on giving effective presentations	Explaining requirements for presentation No. 2; Topic: Reading and presenting a book (English/American/World literature); Instructions on how to prepare and give an effective presentation
Week 7	Music genres - introduction	Listening and speaking: talking about music and different genres; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 8	Effects of music on human brain	Reading about how music affects our brain; Learning new vocabulary; Pair activity: interview about musical preferences
Week 9	TED Talk and discussion about the importance of music	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of music
Week 10	Design - important features: shapes and colours	Listening and speaking: talking about design and its features; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 11	Symbols of a city	Reading about Chicago flag; Learning new vocabulary, Homework: exercises from workbook
Week 12	TED Talk and group activity: the importance of good design and communication	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Group activity: designing and promoting a flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 (Book presentation)
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split (with Spark Access + e-Book), Cengage Learning, 2017. ISBN:979-8-214-33391-5

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>
Further references will be provided by the instructor during the class.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, prepare presentations, complete writing assignments and homework and pass the final test.

- Active participation in class: 20%
- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

● Textbook

● Dictionary (online English-English dictionary will be introduced and used in class)

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【その他の重要事項】

The content of lessons may differ from the syllabus depending on the needs and language level of the students taking this class.

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Aspects of the English Speaking World

Robert D. Hinton

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金3/Fri.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report

Week 8	Menchie's	Writing about favorite fast food outlet
Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

GENC BURCU

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course aims to help students enhance their analytical reading skills and speaking fluency through exposure to content on culture and society from the English speaking world. Students will read and analyze texts that explore present-day cultural and societal concerns as commonly viewed by English speakers. They will identify key arguments, perspectives, and underlying themes within these texts. Through guided reading exercises, structured discussions, and response activities, students will build their ability to interpret the selected texts and express well-supported opinions. In addition, writing tasks and listening exercises will be incorporated to complement these activities and reinforce overall language proficiency. By the end of the course, students will be better equipped to form independent viewpoints and engage critically with present-day issues in English.

【到達目標】

- ・ Develop critical and analytical reading skills to interpret and evaluate texts
- ・ Enhance comprehension and discussion abilities through engagement with contemporary cultural or social issues
- ・ Strengthen vocabulary and sentence organization understanding for greater fluency in reading
- ・ Foster independent thinking and the ability to express well-formed opinions for a higher level of verbal communication

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This course employs a structured yet interactive approach to cultivate analytical reading skills and speaking fluency. Guided reading exercises are used to provide students with essential skills for interpretation of a text and its analysis for discussion in English. A combination of instructor-led analysis and student-centered discussions will be benefitted to reinforce comprehension and critical thinking. Students will also be required to give individual presentations and complete some writing tasks, such as paragraphs and short essays, to express their ideas in a more organized way. Attained knowledge in vocabulary and grammar will be used by students to complete all key assignments with success. Learning will be supported through teacher feedback which will be provided verbally and/or in written form depending on the task.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Orientation & Introduction to Consumerism	On the first lesson day, course guidance will be provided and students will become familiar with class rules and requirements. Following this, they will be introduced to the main course subject through a lecture on history of consumerism. By the end of the lesson day, students will start developing preliminary ideas about the course and key concepts in consumerism theory.
2	Consumption & Creating Spectacles	On this lesson day, students will start reading the first assigned article of the term. For a warm-up, students will first engage in a discussion on the main topic. Following this, they will make a detailed reading of the article and answer questions in pairs or groups. Important terms will be also revised after an initial exploration of the article content. Lastly, before the lesson day ends, presentation schedule for the term will be announced. Students are expected to give a short presentation on the topics decided by the instructor. The goal is to add more depth to subjects in exploration.
3	Spectacled World of Objects & Souvenirs	On this lesson day, students will give presentations on the selected topics. The aim is to better understand how we create spectacles through consumption. While the examples from the article will continue serving as a guide for exploration of the subject, a class discussion following each presentation will add depth to the developed ideas through raised questions. To reinforce learning, students will also listen to another lecture about history of consumerism and value creation in different eras will be the focus.

4	How to Write Long Essays & Quiz #1	The lesson day will start with a quiz to assess student knowledge on the learned subjects. Students will be provided with multiple choice questions as well as written ones to demonstrate their understanding of consumerism. Following this, a lecture on academic essay structure will be given. Students will review the basics of academic essays and practice on the topic. The goal is to help students write a long essay in argumentative style, which will be their final assignment for this course.	7	Forms: What Are They? & How Do We Consume Them?	On this lesson day, a lecture on forms which are fundamental to art-making will be given. The goal is to help students develop a foundational understanding of forms and their overall significance for us. At the start of the lesson, students will be presented with essential background information. They will then expand on the subject by addressing the following key questions: Do we observe forms only in art? How else do we make use of them? Are we consuming them ethically or becoming misguided consumers? To answer these questions effectively, students will observe selected art works in groups and then revisit relevant article(s) explored in the previous classes.
5	Why Art and Consumption Together?	On this lesson day, students will start reading another article on consumerism. Through this article, they will engage in a discussion on consumption and art. Students will question why art remains a need for many. The goal is to find a good response to this important question from different perspectives and understand consumerism more. In addition, before the lesson day ends, students will have a group work to exchange ideas and choose a topic for their long essays. Until the next class, they are expected to produce some work for in-class discussion and feedback.	8	How to Write with Better Style & Quiz #2	The lesson day will begin with a quiz to assess student knowledge on consumption and art relation. Students will be provided with multiple-choice and written questions to demonstrate understanding on the learned subject. Following this, students will be given a lecture on academic essays. They will learn how they can write in English by following a more academic language and style. This will give them a chance to improve some of the pronoun inconsistency and other unity issues commonly found in their writings.
6	Student Presentations & Peer Reviews	The lesson day will begin with student presentations on design and art. Students will question what makes art essential and how it differs from design. The goal is to insightfully reveal the impacts of consumerism on our livelihood. Presentations will be followed by peer reviews. During the peer review task, students will work in groups to give feedback to one another and revise their writings. Teacher will also join groups and provide support.			

9	What Is Lithography? & Why Does It Matter?	On this lesson day, students will give presentations on Fredric Jameson and Andy Warhol to start talking about wrong consumption. After the presentations, a new article on a related subject will be introduced. Students will work in groups and answer the given questions. To support understanding and add depth to the class discussion, students will also watch a short video and learn how a work of lithography is produced. Lastly, before the lesson day ends, students will be given a chance to observe some representative works of lithography and exchange ideas on their significance. In the next lesson, they will compare lithography to silk-screen printing of Warhol to talk about consumerism more.	12	What Did William Morris Teach Us About Design?	On this lesson day, students will start reading a new article on William Morris. The goal is to develop better perspective on the previously discussed subject (i.e., differences between art and design) and ensure that learning has taken place. Students will observe the selected designs of Morris for a discussion on the subject. Then, they will compare his designs to those of Warhol to reveal characteristics that give Morris' designs an art value. In this way, students will argue for correct form use which avoids transference of wrong kind.
10	Lithography vs. Silk-Screen Printing	On this lesson day, students will continue their discussion on lithography by comparing this art form to silk-screen printing of Warhol. For this purpose, students will first watch a short video on silk-screen print production to understand how silk-screen prints are made. Then, they will exchange views to list similarities and differences between the two art forms. Based on their observations, students will draw conclusions about how forms are abused or used productively. Are we establishing wrong hierarchies through form abuse? This question will find an answer on this lesson day.	13	Course Review & Quiz #4	On this lesson day, students will read a new article on consumerism to review the important details from the course. As part of the course review and reading practice, students will be provided with a set of questions to analyze the article. These questions will also serve as the term's last quiz. After completing the quiz, students will discuss their responses and exchange views. Ideas from this discussion will help students to summarize the term and understand why good art matters for avoiding wrong consumption in various aspects of life.
11	Peer Reviews & Quiz #3	The lesson day will begin with a quiz to assess student knowledge on the covered subjects within the last two weeks. As before, students will be provided with multiple-choice and written questions to demonstrate knowledge. This will be followed by a peer review session to revise writings and provide feedback. For peer reviews, students will work in groups and exchange opinions. Teacher will also make sure to join each group to support discussion and revision of writings. Lastly, before the lesson day ends, a lecture on Fredric Jameson will be given to provide the rest for all and wrap up the discussion on the subject.	14	Final Day & Last Round of Presentations	On the last lesson day, students will give their final presentations. In this round of the presentations, students will give a speech on their long essays to share ideas for a final time in the Spring.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required. All materials will be provided by the course instructor.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://www.nytimes.com/>

<https://www.washingtonpost.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/>

<https://www.bbc.com/news>

<https://www.theguardian.com>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 20%

Presentations: 30%

Quizzes: 10%

Final Assignment: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【Outline (in English)】

This course aims to help students enhance their analytical reading skills and speaking fluency through exposure to content on culture and society from the English speaking world. Students will read and analyze texts that explore present-day cultural and societal concerns as commonly viewed by English speakers. They will identify key arguments, perspectives, and underlying themes within these texts. Through guided reading exercises, structured discussions, and response activities, students will build their ability to interpret the selected texts and express well-supported opinions. In addition, writing tasks and listening exercises will be incorporated to complement these activities and reinforce overall language proficiency. By the end of the course, students will be better equipped to form independent viewpoints and engage critically with present-day issues in English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：

GENC BURCU

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The Autumn term builds on the foundation established in the Spring and aims to further strengthen English proficiency across all four key areas. However, as in the Spring, supporting fluency in reading remains the primary goal. The theme of consumption will be re-examined, this time with a focus on zeitgeist and narrativization to encourage a deeper understanding. To provide context for this examination, students will be assigned texts which relate to environment and architecture. These readings are expected to reinforce key ideas and learning outcomes of the Spring term.

【到達目標】

- * Reinforce overall language comprehension by exploring contemporary cultural and social topics
- * Improve critical reading and analytical skills to assess and interpret texts effectively
- * Expand vocabulary and refine sentence structure awareness to improve reading fluency
- * Encourage independent thought and articulate expression for more effective verbal and written communication

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This course employs a structured yet interactive approach to cultivate analytical reading skills and speaking fluency. Guided reading exercises are used to provide students with essential skills for interpretation of a text and its analysis for discussion in English. A combination of instructor-led analysis and student-centered discussions will be benefitted to reinforce comprehension and critical thinking. Students will also be required to give individual presentations and complete some writing tasks, such as paragraphs and short essays, to express their ideas in a more organized way. Attained knowledge in vocabulary and grammar will be used by students to complete all key assignments with success. Learning will be supported through teacher feedback which will be provided verbally and/or in written form depending on the task.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Orientation & Introduction to the Autumn Term	On the first lesson day, students will receive course guidance along with an overview of class rules and requirements. This will be followed by a brief review of the Spring term topics. To assess their readiness for the Autumn term, students will take a diagnostic quiz. Additionally, the presentation schedule for the Autumn term will be announced.
2	What's Zeitgeist? Why Does it Matter?	On this lesson day, students will start reading the first assigned article of the term. For a warm-up, students will first engage in a discussion on the main topic. Following this, they will make a detailed reading of the article and answer questions in pairs or groups. The goal is to understand what zeitgeist is and why it is crucial with regard to wrong consumption. During the lesson day, students will be also encouraged to establish a link between zeitgeist and form-making for various purposes.
3	Consumption & Environmental Issues: Toward A Global Crisis?	On this lesson day, students will give presentations on environmental issues and second-hand clothing. The primary goal is to examine how these topics relate to our wrong consumption habits and to explore the role of zeitgeist in shaping these habits. After the presentations, a brief lecture will summarize the key concepts and terms to ensure that all essential points are thoroughly covered for the day. Lastly, before the lesson day ends, writing assignment details will be provided. Until the next class, students are required to choose a topic from the list or come up with their own topic for their long essays.

4	Consumption & Environmental Issues: Is There a Solution?	The lesson day will begin with a discussion session for long essay writing. Students will exchange ideas and share their findings with their group members. This will help them to assess if they have developed well-rounded ideas and decide what else remains to be done. Afterward, students will engage in reading a new article to build more knowledge on zeitgeist and consumption relation. They will work in groups or pairs to explore the key points of the article and exchange opinions. “Can zeitgeist also help us with sustainable production?” will be answered.	7	Modernism & Le Corbusier: What Was the Ideal Design for Le Corbusier?	On this lesson day, students will start reading a new article which explores Le Corbusier's approach to urban housing. As before, students will work in pairs or groups to analyze the assigned article for preliminary ideas. Following this, they will engage in a discussion to examine the subject in greater depth. What was the ideal design for Le Corbusier? How does this ideal relate to our understanding of ethical consumption? These questions will find an answer in this lesson.
5	Argumentative Essays: How to Write Them	The lesson day will start with a quiz to assess student knowledge on the covered subjects. Students will be provided with multiple choice questions as well as written ones. After the correct answers are reviewed, students will listen to a lecture on argumentative essays. The lecture will focus on argumentative essay organization and cover all other essential aspects. To reinforce learning and highlight effective language use in argument-building, a sample essay analysis will be also included in this lecture.	8	Form Follows Function & Modular Housing	The lesson day will begin with student presentations. The goal is to talk about modular housing which is an outcome of modernist movements in architecture. To provide context, students will first give a speech about the Bauhaus movement and its ideals. Then, the International Style movement will be shortly revisited for the same purpose. These will be followed by presentations on the concept and characteristics of modular housing. How did modular housing shape modern housing? Was it solely for mass production? Or, did it offer any broader architectural and social benefits? These questions will be opened to class discussion.
6	Consumption & Architecture: What Has Modernism Taught Us?	The lesson day will start with student presentations. The goal is to begin exploring the zeitgeist and consumption relation with a focus on architecture and its main goals. Students will give a speech about the history of modern architecture and its core principles as well as a major architectural movement named ‘the International Style.’ Afterward, the lesson will continue with peer reviews. During the peer review task, students will work in groups to read each other's work and give feedback. Teacher will also join each group and provide support throughout the task.	9	Citations: Direct Quotes and Paraphrases & Quiz #3	This lesson day will begin with a quiz to re-assess students' understanding of consumption and zeitgeist relation based on the most recent learning. Following this, a lecture on citations will be given by the instructor. Students will review direct quotes and paraphrases. They will be provided with examples and practice questions. The entire lesson day will be dedicated to this subject.

10	Modernism & Louis Kahn: Why Did Zeitgeist Matter for Kahn?	On this lesson day, two presentations will be given. The first student will give a speech which reminds the core principles of modernist architecture to classmates. The goal is to situate Louis Kahn within the modernist tradition. Then, another student will expand on the subject and give a presentation which reveals Kahn's proficient use of zeitgeist in his designs. Ideas from these presentations will be later benefitted to read and analyze an article on Kahn's use of zeitgeist. Why did zeitgeist matter for Louis Kahn? What goal did he have in mind?	13	Course Review & Quiz #4	On this lesson day, students will have a review quiz to revise all covered subjects. Students will be provided with a variety of questions, such as multiple-choice, true/false questions to reflective prompts to demonstrate knowledge and assess learning. Why do forms matter? Can zeitgeist itself be considered a form? How do different kinds of forms influence our ability to create — whether in productive or unproductive ways? Through the review quiz, these questions will be revisited to wrap up the term and examine the role of forms in preventing misguided consumption one last time.
11	Modernism & Frank Lloyd Wright: What Did We Learn from Wright?	The lesson day will begin with presentations introducing Wright and his architectural style. Afterward, students will engage with an article to deepen their understanding of Wright's "organic architecture" and exchange opinions. For a more dynamic class discussion and more perspective on the subject at hand, students will revisit the selected designs of Wright and note key observations in bullet points. They will then share notes and impressions with classmates. All of this will contribute to understand Wright's modernist style and its significance in relation to the main course theme.	14	Final Day & Last Round of Presentations	On this lesson day, students will give their last presentations for the term. In this round of presentations, students will give a speech on their long essays to share ideas for a final time in the Autumn.
12	References & Peer Review	The lesson day will start with a peer review session to revise the produced works. Students will be provided with a checklist to give feedback to each other and improve their writings. As before, the teacher will join each group and help students address the most important issues in their works. Following this, reference writing will be practiced and students will start writing reference entries in APA style. Teacher will walk around and check the lists to make sure that all entries are written correctly and plagiarism is avoided. Lastly, students will be reminded to complete their final draft submissions on the course system as a Word document attachment until midnight on this day.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 No textbook is required. All materials will be provided by the course instructor. 【参考書】 Students are required to consult dictionaries and other materials provided by the instructor to complete their weekly course preparations. 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 20% Presentations: 30% Quizzes: 10% Final Assignment: 40% More than 3 absences will result in automatic failure of the course. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【Outline (in English)】 The Autumn term builds on the foundation established in the Spring and aims to further strengthen English proficiency across all four key areas. However, as in the Spring, supporting fluency in reading remains the primary goal. The theme of consumption will be re-examined, this time with a focus on zeitgeist and narrativization to encourage a deeper understanding. To provide context for this examination, students will be assigned texts which relate to environment and architecture. These readings are expected to reinforce key ideas and learning outcomes of the Spring term.		

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English 3I Spring 2026, Friday, Period 3

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor.

Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] Introductions, in smoothly, natural, friendly English. News video #1/TED Talk video #1.	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第3回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.

第4回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第5回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #3, part 1.
第6回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talks, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第7回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第8回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第9回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第10回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第11回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第12回	News or TED Talk video #5, part 2./ Review & practice (for the Exam) of topics studied and discussed during the Spring semester.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Review & practice (for the Exam) of topics studied and discussed during the Spring semester.
第13回	SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Spring semester.	SPEAKING Exam, re: topics studied and discussed during the Spring semester.
第14回	Discussion of correct Exam answers...and of students' plans for the Summer Break.	Students will find out exam answers; and will be invited to discuss (in English) their plans for the Summer Break.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...&ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

{+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype &Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; &please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/ have a fever/ coughing/ sneezing: please STAY HOME &recover. (Please DON'T bring Cold/ Influenza/ Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/ sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' &good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...&ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【Outline (in English)】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: English 3II FALL 2026, Friday, Period 3 (R2026)

Robert Durham

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金3/Fri.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor.

Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	[All SCHEDULE items are tentative...&might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] "How was your Summer Break?" [Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.

第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第3回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第4回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第5回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第6回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第7回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第8回	"The Seven W's": (Questions about Who...? /What...? /When...? /Where...? /Why...? /Which...? /How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".
第9回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...&to explain them in spoken English.
第10回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第11回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.
第12回	Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christmas/ OhShoGatsu plans.	Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.

- 第13回 SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Fall semester. Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
- 第14回 "How was your OhShoGatsu?" + Students will be asked to speak about their Winter Break plans. Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...&ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo

{+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, Lclasscstarts,saTonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/ have a fever/ coughing/ sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/ Influenza/ Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/ sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...&ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【—】

—

【Outline (in English)】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Intercultural Perspectives of the English-Speaking World

小坂 恵理子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Intercultural Perspectivesのテキストを通して、語彙力、リスニング力、読解力を向上を目指す。また、英語の発音を改善し、パラグラフライティングおよびエッセイライティングの基礎を強化するとともに、多様なスタイルについて理解を深める。

【到達目標】

役に立つような英語運用能力を習得することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

- ①各Unitで使用される難解な語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②各Unitの内容の要約・あるいは自分の意見のまとめ、短いレポートの作成、口頭発表などを行う。
- ③各Unitと関連したリスニングを効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ④予習をしていることを前提に授業を進めていく。
- ⑤授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Session	Orientation	① Orientation
1	Unit 1 Families	② Unit 1
Session	Unit 1 Families	① vocabulary/listening quiz
2	cont.	② group activity
Session	Unit 2	① vocabulary/listening
3	Relationships	② reading
Session	Unit 2	① vocabulary/listening quiz
4	Relationships, cont.	② group activity
Session	Unit 3 Education	① vocabulary/listening
5		② reading
Session	Unit 3 Education,	① vocabulary/listening quiz
6	cont.	② group activity
Session	Mid-term exam	① Mid-term exam
7		② Summary and feedback
Session	Unit 4 Mental	① vocabulary/listening
8	Health	② reading
Session	Unit 4 Mental	① vocabulary/listening quiz
9	Health, cont.	② group activity
Session	Unit 5 Aging	① vocabulary/listening
10		② reading
Session	Unit 5 Aging, cont.	① vocabulary/listening quiz
11		② group activity
Session	Unit 6 Welfare	① vocabulary/listening
12		② reading
Session	Unit 6 Welfare,	① vocabulary/listening quiz
13	cont.	② group activity

Session Final exam

14

① Final exam

② Summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Ana Sofia Hofmeyr, Intercultural Perspectives: An EAP Course for Global Competence, Kinseido, 2026.

ISBN: 978-4-7647-4248-2

【参考書】

This will be announced in class.

【成績評価の方法と基準】

Active participation 20%, midterm and finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To make our class meaningful, it's important for students and the instructor to communicate openly and work together.

【Outline (in English)】

Through our use of the Intercultural Perspectives textbook, we will strengthen vocabulary, listening, and reading skills. We will also refine speaking, pronunciation, and both paragraph-level and long-form writing through exposure to a variety of writing styles.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Intercultural Perspectives of the English-Speaking World

小坂 恵理子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Intercultural Perspectivesのテキストを通して、語彙力、リスニング力、読解力を向上を目指す。また、英語の発音を改善し、パラグラフライティングおよびエッセイライティングの基礎を強化するとともに、多様なスタイルについて理解を深める。

【到達目標】

役に立つような英語運用能力を習得することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

- ①各Unitで使用される難解な語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②各Unitの内容の要約・あるいは自分の意見のまとめ、短いレポートの作成、口頭発表などを行う。
- ③各Unitと関連したリスニングを効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ④予習をしていることを前提に授業を進めていく。
- ⑤授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Session 1	Unit 7 Migration	① Listening and vocabulary ② Reading and analyses
Session 2	Unit 7 Migration, cont.	① Vocabulary and listening quiz ② Group work
Session 3	Unit 8 Work-life Balance	① Listening and vocabulary ② Reading and analyses
Session 4	Unit 8 Work-life Balance, cont.	① Vocabulary and listening quiz ② Group work
Session 5	Unit 9 Media	① Listening and vocabulary ② Reading and analyses
Session 6	Unit 9 Media, cont.	① Vocabulary and listening quiz ② Group work
Session 7	Mid-term exam	① Mid-term exam ② Summary and feedback
Session 8	Unit 10 Privacy	① Listening and vocabulary ② Reading and analyses
Session 9	Unit 10 Privacy, cont.	① Vocabulary and listening quiz ② Group work
Session 10	Unit 11 Cyberbullying	① Listening and vocabulary ② Reading and analyses

Session 11 Unit 11 Cyberbully, cont. ① Vocabulary and listening quiz
② Group work

Session 12 Unit 12 Artificial Intelligence ① Listening and vocabulary
② Reading and analyses

Session 13 Unit 12 Artificial Intelligence, cont. ① Vocabulary and listening quiz
② Group work

Session 14 Final exam ① Final exam
② Summary and feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Ana Sofia Hofmeyr, Intercultural Perspectives: An EAP Course for Global Competence, Kinseido, 2026.

ISBN: 978-4-7647-4248-2

【参考書】

This will be announced in class.

【成績評価の方法と基準】

Active participation20%, midterm and finals20%, homework 20%, quizzes20%, recitations and group work20%.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

To make our class meaningful, it's important for students and the instructor to communicate openly and work together.

【Outline (in English)】

Through our use of the Intercultural Perspectives textbook, we will strengthen vocabulary, listening, and reading skills. We will also refine speaking, pronunciation, and both paragraph-level and long-form writing through exposure to a variety of writing styles.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Media and Culture

RICHARD WILCOX

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水4/Wed.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

English 3/1: Media and Culture.

In Person Class.

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q &A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

Feedback about student performance: I will give students feedback and helpful comments both personally during the class, in grades written on assignments they have done and I have returned to them and in personal consultations during the class if they request my help. I am always happy to answer student questions!

Richard Wilcox

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: Physical fitness	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts;
2	Asking questions; Topic: Blood types	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	Giving opinion; Topic: Dreams	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	Debating topics; Topic: Speed dating	GR Discussion; Written Test on Textbook
5	Narratives; Topic: Pets in Japan	Return test results; GR 2; ECP Handouts: Unit 5
6	Describing things; Topic: Stress	GR 2; ECP Handouts: Unit 6
7	Ecology; Topic: Listening and taking note_	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
8	Problems and Solutions: Topic: Fast food	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
9	Comparisons; Topic: Shopping trends	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
10	Discussions; Topic: Women and work	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
11	Group organization; Topic: Student choice	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
12	Presentations; Topic: Course related topics	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups) Student Q &A
13	Choice of test topics	GR Discussion; Written Test on Textbook
14	Student peer review and feedback	Course Review

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト (教科書)】

Life Topics (Advanced), by Shimaoka and Berman, Nan Un-do, ISBN 9784523177517

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;

Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

The teacher will respond to questions in class from students or by email. I will check your reports, papers or projects to help you to write better quality work.

【学生の意見等からの気づき】

Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Understanding Life Issues

RICHARD WILCOX

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

English 3/ II: Understanding Life Issues.

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

Feedback about student performance: I will give students feedback and helpful comments both personally during the class, in grades written on assignments they have done and I have returned to them and in personal consultations during the class if they request my help. I am always happy to answer student questions!

Richard Wilcox

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: The Internet	Journal; ECP Handouts; Text Unit 9 Women and Work
2	Asking questions; Topic: Kawaii	Journal; ECP Handouts; Text Unit 10 The Internet
3	Giving opinion; Topic: Dressing Casually	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11 Kawaii
4	Debating topics: Topic: World happiness	18. ECP Handouts; Unit 12; Homework: Read "Fukushima" DVD transcript; Write report for pages 1 - 4
5	Listening and taking notes 1; Topic: Environment	Watch "Fukushima" (20 min); Discussion; Homework: Write report 5 - 8
6	Observing and taking notes; Topic: Technology	Watch "Fukushima" (21 - 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	Summarizing Opinions; Topic: Energy issues	Watch "Fukushima" (41 - 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	Narratives; Topic: The right to die	Journal; ECP Handouts; Unit 13 Same Sex Marriage
9	Describing things; Topic: Pet cloning	Journal; ECP Handouts; Unit 14 World Happiness
10	Choice of test topics	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	Problems and Solutions / Comparisons; Topic: Lecture on powerpoint techniques	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	Course Review	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced), by Shimaoka and Berman, Nan Un-do,
ISBN 9784523177517

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjust lessons according to student interest.

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：TedTalks and Printed Media

ROBERT J SPIVAK

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語3は、英語1と2で得たスキルと知識を基に、さまざまなトピックについて考え、意見を交換する機会を学生に提供することを目的としています。そのためにこのコースでは、学生は英語を使って、さまざまな観点からテクノロジー、エンターテインメント、デザインの新しい展開について学びます。また時事トピックを通じて時事問題を学び、さまざまな情報を取り入れて意見を交換します。さらに上記を達成するために必要な基本的英語スキルを訓練します。

【到達目標】

Students will read authentic texts and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English reading, writing, listening and speaking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will read a passage from a newspaper/magazine article or watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by reading, listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the reading selections and TED Talk themes, discuss, write papers, and make presentations synthesizing their views on the content studied. Feedback on class assignments will be provided orally as well as through HOPPI.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
One.	Introduction	Introduction to the course. Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.
2	Interdisciplinary. Unit 1A: Inspired Leadership / Magazine-style article	Getting the main ideas. Identifying supporting ideas. Understanding references. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement
Three.	Interdisciplinary. Unit 1B: How to Start a Movement	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Evaluating information. Reflecting on own experience. Synthesizing information
4	Conservation. Unit 2A: Trouble for the Air Plants / Scientific article	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
5	Conservation. Unit 2B: Conserving the Canopy	Understanding main ideas and key details. Recognizing purpose. Recognizing supporting evidence. Inferring reasons. Synthesizing information.
6	Health / innovations. Unit 3A: Big Problems, Simple Solutions. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Understanding visuals. Making inferences. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion.
7	Health / innovations. Unit 3B: A Warm Embrace that Saves Lives.	Understanding main ideas and key details. Identifying solutions. Visualizing a process. Predicting solutions. Synthesizing information. Interpreting a statement.
8	Sociology / technology. Unit 4A: Is Gaming Good for You? Research report.	Getting the main ideas. Understanding key details. Analyzing pros and cons. Understanding data. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.
9	Sociology / Technology. Unit 4B: Gaming Can Make a Better World.	Understanding main ideas and key details. Summarizing. Recognizing tone and message. Inferring statements. Reflecting on own experience. Evaluating information
10	Psychology / Education. Unit 5A: Engaging Learners.	Getting the main ideas. Understanding key details. Identifying supporting ideas with evidence. Finding similarities and differences. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.

11	Psychology / Education. Unit 5B: The Key to Success? Grit.	Understanding main ideas. Understanding overall message. Understanding terms. Summarizing the talk. Evaluating information. Synthesizing information. Reflecting on own experience.
12	Theme chosen by class. Newspaper Article.	Getting the main ideas. Identifying supporting ideas. Making inferences. Getting meaning from context.
13	Theme chosen by class. TedTalk.	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Summarizing. Recognizing purpose.
14	Final Test. Summarizing text / talks from media in small groups.	Summarizing. Giving opinions. Synthesizing information. Evaluating information. Reflecting on own experience.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Tasks will include exercises from the textbook, reading summarizing newspaper and magazine articles, watching TedTalks and summarizing the content.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Level 2. Robin Longshaw, Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates, Ingrid Wisniewska, Jessica Williams

National Geographic Learning/Cengage.

ISBN: 9781305265707, ¥ 3,388.

【参考書】

English Dictionary

【成績評価の方法と基準】

Attendance/Participation: 25

Presentation: 25

Homework (written summaries): 25

Final Test: 25

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

I will be communicating with students through Hosei's LMS "Hoppii."

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：TedTalks and Printed Media

ROBERT J SPIVAK

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語3-IIは、春学期に開講された英語3-Iの続きです。英語3は、英語1と2で習得したスキルと知識を基に、英語を使ってさまざまなトピックについて考え、意見を交換する機会を学生に提供することを目的としています。このコースでは英語を使って、あらゆる観点からテクノロジー、エンターテインメント、デザインの新しい展開について学びます。またさまざまな時事問題を学び、情報を取り入れて意見を交換します。さらに上記を達成するために必要な基本的な英語スキルを訓練します。

【到達目標】

Student will read and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English reading, writing, listening and reading skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will read a brief passage or watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the text or Talk will be explored followed by listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the texts and TED Talk themes, discuss, write papers, and make presentations synthesizing their views on the content studied. Feedback on assignments will be done orally and through HOPPI.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
One.	Introduction	Introduction to the course. Review of Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.
2	Food/Health. Unit 6A: Food Revolution. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Identifying problems and solutions. Understanding infographics. Getting meaning from context. Applying information. Reflecting on own experience.
3	Food/Health. Unit 6B: Teach Every Child About Food.	Understanding main ideas and key details. Inferring meaning. Evaluating information. Reflecting on own experience.
4	Behavior/ Psychology. Unit 7A. Power Poses. Research Report.	Getting the main ideas and details. Recognizing text structure. Getting meaning from context. Analyzing statements. Reflecting on own experience.
5	Behavior/ Psychology. Unit 7B: Your Body Language Shapes Who You Are.	Understanding main ideas and key details. Recognizing sequence. Identifying purpose. Summarizing. Reflecting on own experience. Inferring statements. Reasoning ideas.
6	Energy/ Engineering. Unit 8A: Kite Power. News Report.	Getting the main ideas. Scanning for specific information. Making comparisons. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion. Reflecting on possible solutions.
7	Energy/ Engineering. Unit 8B: How I Harnessed the Wind,	Understanding main ideas. Visualizing a process. Understanding causes and effects. Inferring meaning. Synthesizing information.
8	Engineering/ Art. Unit 9A: Thinking in Pictures. Biographical article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Inferring meaning in statements. Reflecting on possibilities.
9	Engineering/ Art. Unit 9B: Deep Sea Diving in a Wheelchair.	Understanding main ideas and key details. Recognizing tone and message. Inferring meaning. Comparing information.
10	Statistics/ Economics. Unit 10A: Information is Beautiful. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Understanding infographics. Getting meaning from context. Inferring meaning in statements. Reflecting on own experience.
11	Statistics/ Economics. Unit 10B: The Beauty of Data Visualization.	Understanding main ideas and key details. Analyzing information. Reflecting on own experience. Interpreting a speaker's statement.

12	Theme chosen by class. Newspaper Article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
13	Theme chosen by class. TedTalk.	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Evaluating information. Reflecting on own experience. Synthesizing information
14	Final Test. Summarizing text/talks from media in small groups.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Tasks will include exercises from the textbook, reading summarizing newspaper and magazine articles, watching TedTalks and summarizing the content.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Level 2. Robin Longshaw, Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates, Ingrid Wisniewska, Jessica Williams

National Geographic Learning/Cengage.

ISBN: 9781305265707, ¥ 3,388.

【参考書】

English Dictionary

【成績評価の方法と基準】

Attendance/Participation: 25

Presentation: 25

Homework (written summaries): 25

Final Test: 25

In principle, no more than 3 absences are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

I will be communicating with students through Hosei's LMS "Hoppii."

【Outline (in English)】

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：変動する現代社会の様相

小田井 勝彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸ばし、現代社会の諸相を扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まずは各章の話題に即した動画を視聴、そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、ハンドアウトを使用して読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方、教科書、評価方法などについて説明。
2	Unit 1 No Phones, No Apps, No Likes < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 1の本文の前半を読解します。
3	Unit 1 No Phones, No Apps, No Likes < 読解と Exercises>	Unit 1の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
4	Unit 2 Disappearing Languages < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 2の本文の前半を読解します。
5	Unit 2 Disappearing Languages < 読解と Exercises>	Unit 2の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
6	Unit 3 Can We Communicate with Animals? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 3の本文の前半を読解します。

7	Unit 3 Can We Communicate with Animals? < 読解と Exercises>	Unit 3の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
8	中間テストと解説	Unit 1～3を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
9	Unit 4 Escape From Burnout < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 4の本文の前半を読解します。
10	Unit 4 Escape From Burnout < 読解と Exercises>	Unit 4の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
11	Unit 5 Bringing Middle Eastern Beer to New York < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 5の本文の前半を読解します。
12	Chapter 5 Bringing Middle Eastern Beer to New York < 読解と Exercises>	Unit 5の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
13	総復習	これまでの総復習をします
14	期末テストと解説	Unit 4～5を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読んでハンドアウトの各問題に解答する。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Kyoko Horieほか『Stories of the World We Live In』（金星堂、2024）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。（遅刻は欠席0.5回として扱います）

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in English. In order to attain the goal, students read short essays about modern society. Listening practice and grammar exercise will also be conducted.

[Learning Objectives]

1. Students can listen to English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for listening to English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about modern society.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria / Policy]

- ・ mid-term test 40%
- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：変動する現代社会の様相

小田井 勝彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の諸相を扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まずは各章の話題に即した動画を視聴、そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、ハンドアウトを使用して読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 6 The Runner Who Took a Stand < 動画視聴と読解 >	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 6の本文の前半を読解します。
2	Unit 6 The Runner Who Took a Stand < 読解と Exercises >	Unit 6の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
3	Unit 7 Reshaping the Values of Beauty < 動画視聴と読解 >	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 7の本文の前半を読解します。
4	Unit 7 Reshaping the Values of Beauty < 読解と Exercises >	Unit 7の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
5	Unit 8 A Social Media Minefield < 動画視聴と読解 >	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 8の本文の前半を読解します。
6	Unit 8 A Social Media Minefield < 読解と Exercises >	Unit 8の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。

7	中間テストと解説	Unit 6～8を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
8	Unit 9 A Boy's Selfless Wish < 動画視聴と読解 >	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 9の本文の前半を読解します。
9	Unit 9 A Boy's Selfless Wish < 読解と Exercises >	Unit 9の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
10	Unit 10 In Search of Freedom < 動画視聴と読解 >	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 10の本文の前半を読解します。
11	Unit 10 In Search of Freedom < 読解と Exercises >	Unit 10の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
12	Unit 11 Global Warming Solutions from the Past < 動画視聴と読解 >	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 11の本文の前半を読解します。
13	Unit 11 Global Warming Solutions from the Past < 読解と Exercises >	Unit 11の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
14	期末テストと解説	Unit 9～11を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読みハンドアウトの各問題に解答する。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Kyoko Horieほか『Stories of the World We Live In』（金星堂、2024）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。（遅刻は欠席0.5回として扱います）

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in English. In order to attain the goal, students read short essays about modern society. Listening practice and grammar exercise will also be conducted.

[Learning Objectives]

1. Students can listen to English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for listening to English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about modern society.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria / Policy]

- ・ mid-term test 40%
- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English 1 と 2 で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion** や **group presentation** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッションやプレゼンテーションを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

「学習者中心型」の授業で、いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および必要に応じてメールで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や **presentations** へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, brainstorming on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A

4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題をきちんとこなすこと、単語の豆テストや **discussion** や **presentations** の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

市販の教科書はありませんが、英語で書かれた教材（授業のスライドを含む）と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加: 25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations: 40%

注意事項: 授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】

ペア、グループ・ワーク が多い communicative な授業だったため、英会話が楽しかった、友達ができた、トピックが興味深かった、discussion や presentation の練習が非常にためになった、という声を多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】

プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水4/Wed.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3II では、English 3I で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion**、**group presentation** そして **essay** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイ (小論文) を通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

「学習者中心型」の授業で、いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。課題等のお知らせの配信には **HOPPII** (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や **presentations** へのフィードバックは、授業および **HOPPII** で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1
4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (1), homework, Q & A

5	Unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Conversation, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 4, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Vocabulary quiz 4, conversation, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
10	Unplanned speech, basics of essay writing (2), discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, basics of essay writing (2), group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回出される宿題をきちんとこなすこと、単語の豆テストや **discussion** や **presentations** の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしないとい他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

市販の教科書はありませんが、英語で書かれた教材 (授業のスライドを含む) と関連情報は授業支援システム **Hoppii** から配信されます。

【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加: 25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations & an essay: 40%

注意事項: 授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】

ペア、グループ・ワーク が多い **communicative** な授業だったため、英会話が楽しかった、友達ができた、トピックが興味深かった、**discussion** や **presentation** の練習が非常にためになった、という声を多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】

プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：共通言語としての音楽文化

森永 豊

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

名曲やポップスなど、親しみやすい日本語と英語の歌を題材にして、邦楽と洋楽を鑑賞しながら日本語詞の英訳、英詞の和訳、および歌の解釈をする。曲に対して抱く自分のストーリーを英語で表現する。概して、総合的な英語力（四技能）を伸ばすことが目標となる。またこの授業では、歌を通して日本語と英語の奥行きを感じることができる。もしも音楽が好きならば、英語の歌をじっくり鑑賞する機会にもなる。きっと意味がわからないまま耳に入ってくる英語の明るい曲も、歌詞を読解してみるとそこに意外な暗さがある。授業で取り上げる各曲の深い鑑賞を通じて、海の向こうにも同じ人生があり、あなたの人生によく似た苦楽があることが実感できるはずだ。

【到達目標】

- ・英語の歌詞を聞き取ることができる
- ・英語の歌詞から文章を再構成し、和訳を与えることができる。
- ・シンガロングの発想に基づいて、曲のストーリーを描くことができる。
- ・簡単な曲の場合、リズムに乗せて正しい英語の発音で歌うことができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

最大授業3回で英語の歌一曲に取り組む。学期の最後にプレゼンテーションを行う。それに向けてスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内および Google Classroom というクラス管理システム上で個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績は Google Classroom で個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Google や講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明	・授業の概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	日本語の歌 (Official 髭男 dismiss - Pretender)	・小テスト（予備日） ・歌の解釈

3	日本語の歌 (Official 髭男 dismiss - Pretender)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1
4	英語の歌1 (The Beatles - Norwegian Wood)	・歌詞を文に再構成する
5	英語の歌1 (The Beatles - Norwegian Wood)	・歌詞の和訳 ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	英語の歌1 (The Beatles - Norwegian Wood)	・歌の解釈
7	英語の歌2 (Mei Simones - I Can Do What I Want)	・歌詞を文に再構成する ・プレゼンテーション課題のグループ構成を発表 ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	英語の歌2 (Mei Simones - I Can Do What I Want)	・歌詞の和訳
9	英語の歌2 (Mei Simones - I Can Do What I Want)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション 課題	・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成）
11	プレゼンテーション 課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・単語テスト ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション 課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習）
13	プレゼンテーション 課題	・スクリプト・スライドの提出 ・プレゼンテーション本番1 ・英語での質疑応答
14	プレゼンテーション 課題	・プレゼンテーション本番2 ・英語での質疑応答 ・投票用紙提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定した英語の曲の予習、あるいは宿題の取り組みを前提にして進める。各曲は Google Classroom 上にアップロードされているリンクから聴くことができる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 一大学生のためのトピック別必修英単語一』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。 <http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード 大学出版局、2008年、4700円（税別）

【成績評価の方法と基準】

- ・スピーキング課題（英語か日本語の歌を自分で選び、授業での取り組みを参考にこれを解釈する。解釈した結果を英語で表現する。）35%
- ・授業内のパフォーマンス（歌詞を文章に再構築して、和訳して読解し、解釈を英語で発表するまでの一連の作業）30%
- ・ディクテーション課題 25%
- ・単語テスト 10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールはGoogle Classroomである。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザはFirefox、Google Chrome、Safariを推奨。Internet Explorerは非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

The learning material in the class is songs with English lyrics. You will listen to them carefully, translate their lyrics and interpret the songs. Since any good pop tunes have some depth (e.g. bright tunes actually have dark or philosophical themes.), throughout this class you will be experiencing the culture and life of individuals in the English-speaking world.

Objectives

- Ability to listen to English lyrics of the songs
- Ability to reconstruct them into sentences and to translate them
- Ability to interpret the songs
- Ability to sing easy ones with appropriate English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each song contains lyrics (of course!); you are required to reconstruct them into sentences and to translate them. Also, you are asked to interpret the song and to dig deep into it in terms of your (imagined or real) story. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 35%
- Performances in a class 30%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：共通言語としての音楽文化

森永 豊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

名曲やポップスなど、親しみやすい日本語と英語の歌を題材にして、邦楽と洋楽を鑑賞しながら日本語詞の英訳、英詞の和訳、および歌の解釈をする。曲に対して抱く自分のストーリーを英語で表現する。概して、総合的な英語力（四技能）を伸ばすことが目標となる。またこの授業では、歌を通して日本語と英語の奥行きを感じることができる。もしも音楽が好きならば、英語の歌をじっくり鑑賞する機会にもなる。きっと意味がわからないまま耳に入ってくる英語の明るい曲も、歌詞を読解してみるとそこに意外な暗さがある。授業で取り上げる各曲の深い鑑賞を通じて、海の向こうにも同じ人生があり、あなたの人生によく似た苦楽があることが実感できるはずだ。

【到達目標】

- ・英語の歌詞を聞き取ることができる
- ・英語の歌詞から文章を再構成し、和訳を与えることができる。
- ・シンガロングの発想に基づいて、曲のストーリーを描くことができる。
- ・簡単な曲の場合、リズムに乗せて正しい英語の発音で歌うことができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

最大授業3回で英語の歌一曲に取り組む。学期の最後にプレゼンテーションを行う。それに向けてスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内および Google Classroom というクラス管理システム上で個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績は Google Classroom で個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Google や講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明	・授業の概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	日本語の歌 (Ryuichi Sakamoto - 美貌の青空)	・小テスト（予備日） ・歌の解釈

3	日本語の歌 (Ryuichi Sakamoto - 美貌の青空)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1
4	英語の歌1 (John Mayer - Stop This Train)	・歌詞を文に再構成する
5	英語の歌1 (John Mayer - Stop This Train)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	英語の歌1 (John Mayer - Stop This Train)	・歌の解釈
7	英語の歌2 (Jacob Collier, Mahalia, Ty Dolla \$ign - All I Need)	・歌詞を文に再構成する ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	英語の歌2 (Jacob Collier, Mahalia, Ty Dolla \$ign - All I Need)	・文に再構成した歌詞の和訳
9	英語の歌2 (Jacob Collier, Mahalia, Ty Dolla \$ign - All I Need)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成）
11	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・単語テスト ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習）
13	プレゼンテーション課題	・スクリプト・スライドの提出 ・プレゼンテーション本番1 ・英語での質疑応答
14	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番2・英語での質疑応答・投票用紙提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定した英語の曲の予習、あるいは宿題の取り組みを前提に進める。各曲は Google Classroom 上にアップロードされているリンクから聴くことができる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 一大学生のためのトピック別必修英単語一』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード 大学出版局、2008年、4700円（税別）

【成績評価の方法と基準】

- ・スピーキング課題（英語か日本語の歌を自分で選び、授業での取り組みを参考にこれを解釈する。解釈した結果を英語で表現する。）35%
- ・授業内のパフォーマンス（歌詞を文章に再構築して、和訳して読解し、解釈を英語で発表するまでの一連の作業）30%
- ・ディクテーション課題 25%
- ・単語テスト 10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールはGoogle Classroomである。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザはFirefox、Google Chrome、Safariを推奨。Internet Explorerは非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

The learning material in the class is songs with English lyrics. You will listen to them carefully, translate their lyrics and interpret the songs. Since any good pop tunes have some depth (e.g. bright tunes actually have dark or philosophical themes.), throughout this class you will be experiencing the culture and life of individuals in the English-speaking world.

Objectives

- Ability to listen to English lyrics of the songs
- Ability to reconstruct them into sentences and to translate them
- Ability to interpret the songs
- Ability to sing easy ones with appropriate English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each song contains lyrics (of course!); you are required to reconstruct them into sentences and to translate them. Also, you are asked to interpret the song and to dig deep into it in terms of your (imagined or real) story. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 35%
- Performances in a class 30%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本文化の表現を英字新聞を通じて学ぶ

永田 喜文

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

外国語で表現するためには、日本語を訳（特に直訳）したのでは通じないことは誰もが知っているところです。それは英語も例外ではありません。所謂「使える」「通じる」英語を身に着けるための最も近道は、ネイティブが使う表現を暗記し、それを状況や場面（所謂TPO）にあうように選び、適宜変更することです。そのために日本文化について書かれた英字新聞の記事をテキストに、様々な文章パターンを学び(input)、同時にそのパターンを使用していかに日本文化を表現するか(output)を学びます。四技能を伸ばしつつ、「使える」表現を身に着けることがこの授業のテーマとなります。

【到達目標】

以下の3点を最終目標とします。

- ①日本文化を紹介する英字新聞の記事が読め、どのようにして外国文化を英語で表現するかを学ぶことができる。
- ②英字新聞の朗読や英語のニュースを聴いて理解できる。
- ③日本文化を学んだ表現を十分に活用して、相応しい英語でnative speakersに日本文化を紹介できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

日本文化を紹介した英字新聞にある生の英語を、「意識的に」「問題意識を常にもちながら」読むことで、そこから得た情報（フレーズ、文章スタイル、文法、段落の形式なども含む）を活用する方法を学びます。そのために、paraphrasingやpattern practiceといった基本的な練習も取り入れて学びます。場合によっては視覚的に表現方法の学習を助ける目的で、ニュースなどの映像資料も使います。ほぼ毎回、授業後には課題が出ます。課題は締め切りまでにHoppiを通じて提出してもらいます。課題などのフィードバックはhoppiを通じて、もしくは、教室で随時行います。リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、更なる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Guidance	春学期使用の教科書と授業計画について。
第2回	メディア英語の読み方・書き方	英字新聞を題材にmass media独特な英語表現の基本を学ぶ
第3回	見出しの特徴と読み方	独自のルールを多く持つ英字新聞の見出しの読み方を学ぶ
第4回	Unit 1 Japanese Sushi Students Aim for a Job Overseas	Close Up/ Punch Line/ Word Check/ Daily News

第5回	Unit 1 Japanese Sushi Students Aim for a Job Overseas ②	Let's Read/ TOEIC Reading Exercises/ Toieic Listening Exercises/ Effective Writing of News Stories
第6回	Unit 2 Japan's Leadership Merry-Go-Round	Close Up/ Punch Line/ Word Check/ Daily News
第7回	Unit 2 Japan's Leadership Merry-Go-Round ②	Let's Read/ TOEIC Reading Exercises/ Toieic Listening Exercises/ Effective Writing of News Stories
第8回	Unit 3 Sumo's Ties to Japan Underworld Go Beyond Limits	Close Up/ Punch Line/ Word Check/ Daily News
第9回	Unit 3 Sumo's Ties to Japan Underworld Go Beyond Limits ②	Let's Read/ TOEIC Reading Exercises/ Toieic Listening Exercises/ Effective Writing of News Stories
第10回	Unit 4 Japan Retreats With Release of Chinese Boat Captain	Close Up/ Punch Line/ Word Check/ Daily News
第11回	Unit 4 Japan Retreats With Release of Chinese Boat Captain ②	Let's Read/ TOEIC Reading Exercises/ Toieic Listening Exercises/ Effective Writing of News Stories
第12回	Unit 5 Centenarians 'Missing' Ahead of Japanese Day Honouring Elderly	Close Up/ Punch Line/ Word Check/ Daily News
第13回	Unit 5 Centenarians 'Missing' Ahead of Japanese Day Honouring Elderly ②	Let's Read/ TOEIC Reading Exercises/ Toieic Listening Exercises/ Effective Writing of News Stories
第14回	総括	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業前にHoppiを確認すること。配布資料はすべてHoppiを通じて配布します。なお、対面／オンラインを問わず、配布資料は必ず印刷しておくこと。印刷していない場合は、欠席となります。単語、熟語などをあらかじめ調べておく。複雑な文章の場合には訳を書きだす。また日本文化を表現するために、単語やフレーズなどをピックアップしておく。予習は必須。していない場合は準備学習ができていないとして、減点となる。各課共通だが、①Close Up（日本語）/ Punch Lineは授業前に熟読し、記事の背景を把握しておく。②Word Checkは予習の段階でやっておく。③TOEIC Reading ExercisesはTOEIC Part 7対策の練習問題です。予習の段階で、答を出しておく。④Effective Writing of News Storiesでは英語による表現方法を学ぶ。復習はこれらを整理し、問題点などを整理する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

著者 竹村 日出夫、松本 利秋、永田 喜文『The World Watches Japan 世界から見た日本』 出版年月日 2012/04/01 ISBN : 9784523177036 定価 本体1,900円＋税

【参考書】

各課の内容に応じて、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（30%）、平常点（小テスト、レポート、プレゼン、授業内外提出物、授業に取り組む姿勢、準備学習など）（70%）から総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

いつも新しいことに挑戦するという意識を共有したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

対面の際には授業中にHoppiにアクセス可能な機材（ノートパソコン、スマートフォンなど）を必ず携帯してください（授業中の発言などは全てHoppiを通じて行います）。

【その他の重要事項】

春学期は5月になってもテキストを購入しない学生には単位を与えない場合がある。

辞書は必ず携帯すること。本型、電子辞書の形は問わないが、スマートフォンやタブレットなどのオンライン辞書の使用は禁ずる。また、授業で指示されたこと以外のスマートフォンの使用に対しては厳しく処置する。意欲的に学習しないもの（発言拒否、提出物の未提出、授業態度不良）などには厳しく対処する。減点の場合もある。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to acquire "useful" English expressions in different scenes. First, we will learn various English expressions (sentence patterns) through the articles on Japanese culture from English Newspapers to show Japanese culture 【Input】. Next, we will learn how to change these sentences properly to show what Japanese culture is like; in other words, we will learn how to use these 'sentence patterns' in order to express our culture in English 【output】.

Learning activities outside of classroom: before each class, you have to look up words and phrases from the textbook in your dictionary at least. You don't always have to translate your textbook into Japanese but you have to read through the passage.

After the class, you have to sort out what you learnt in the class. In almost every class you will be given an assignment and you are expected to submit it through Hoppi by each deadline. You are expected to spend one hour and more on preparing and reviewing each class.

Grading Criteria /Policy: class activities (incl. quizzes and assignments)×70%+final examination×30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本文化の表現を英字新聞を通じて学ぶ

永田 喜文

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期で学んだことを生かし、さらにその先に進めるために、よりヴァリエーションに富んだ日本文化について書かれた英字新聞の記事をテキストに、様々な文章パターンを学び(input)、同時にそのパターンを使用していかに日本文化を表現するか(output)を学びます。四技能を伸ばしつつ、「使える」表現を身に着けることがこの授業のテーマとなります。

【到達目標】

以下の3点を最終目標とします。

- ①日本文化を紹介する英字新聞の記事が読め、どのようにして外国文化を英語で表現するかを春学期以上に学ぶことができる。
- ②英字新聞の朗読や英語のニュースを聴いて理解できる。
- ③日本文化を学んだ表現を十分に活用して、より相応しい英語で native speakers に日本文化を紹介できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

日本文化を紹介した英字新聞にある生の英語を、「意識的に」「問題意識を常にもちながら」読むことで、そこから得た情報（フレーズ、文章スタイル、文法、段落の形式なども含む）を活用する方法を学びます。そのために、paraphrasingやpattern practiceといった基本的な練習も取り入れて学びます。場合によっては視覚的に表現方法の学習を助ける目的で、ニュースなどの映像資料も使います。ほぼ毎回、授業後には課題が出ます。課題は締め切りまでにHoppiを通じて提出してもらいます。課題などのフィードバックはHoppiを通じて、もしくは、教室で随時行います。リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、更なる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Guidance	春学期使用の教科書と授業計画について。
第2回	見出しの特徴と読み方②	英字新聞を題材に独自のルールを多く持つ英字新聞の見出しの読み方を学ぶ
第3回	Unit 6 Spirits, Gods and Pastel Paints: The Weird World of Master Animator Hayao Miyazaki	Close Up/ Punch Line/ Word Check/ Daily News

第4回	Unit 6 Spirits, Gods and Pastel Paints: The Weird World of Master Animator Hayao Miyazaki ②	Let's Read/ TOEIC Reading Exercises/ Toieic Listening Exercises/ Effective Writing of News Stories
第5回	Unit 7 Oscar and the Dolphins: Coming to a Japanese Cinema?	Close Up/ Punch Line/ Word Check/ Daily News
第6回	Unit 7 Oscar and the Dolphins: Coming to a Japanese Cinema? ②	Let's Read/ TOEIC Reading Exercises/ Toieic Listening Exercises/ Effective Writing of News Stories
第7回	Unit 8 Japan: One Week on and Struggle to Cool Nuclear Plant Continues	Close Up/ Punch Line/ Word Check/ Daily News
第8回	Unit 8 Japan: One Week on and Struggle to Cool Nuclear Plant Continues ②	Let's Read
第9回	Unit 8 Japan: One Week on and Struggle to Cool Nuclear Plant Continues ③	Let's Read/ TOEIC Reading Exercises/ Toieic Listening Exercises/ Effective Writing of News Stories
第10回	Unit 15 Japan: Russian President Visit to Isle Regrettable	Close Up/ Punch Line/ Word Check/ Daily News
第11回	Unit 15 Japan Recalls Ambassador to Moscow Over Islands Row	Let's Read/ TOEIC Reading Exercises/ Toieic Listening Exercises/ Effective Writing of News Stories
第12回	Unit 16 Japan, SA Toast Century at Tea Ceremony	Close Up/ Punch Line/ Word Check/ Daily News
第13回	Unit 16 Japan, SA Toast Century at Tea Ceremony②	Let's Read/ TOEIC Reading Exercises/ Toieic Listening Exercises/ Effective Writing of News Stories
第14回	総括	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業前にHoppiを確認すること。配布資料はすべてHoppiを通じて配布します。なお、対面／オンラインを問わず、配布資料は必ず印刷しておくこと。印刷していない場合は、欠席となります。単語、熟語などをあらかじめ調べておく。複雑な文章の場合には訳を書きだす。また日本文化を表現するために、単語やフレーズなどをピックアップしておく。予習は必須。していない場合は準備学習ができていないとして、減点となる。各課共通だが、①Close Up（日本語）/ Punch Lineは授業前に熟読し、記事の背景を把握しておく。②Word Checkは予習の段階でやっておく。③TOEIC Reading ExercisesはTOEIC Part 7対策の練習問題です。予習の段階で、答を出しておく。④Effective Writing of News Storiesでは英語による表現方法を学ぶ。復習はこれらを整理し、問題点などを整理する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

著者 竹村 日出夫、松本 利秋、永田 喜文『The World Watches Japan 世界から見た日本』 出版年月日 2012/04/01 ISBN : 9784523177036

定価 本体1,900円＋税

【参考書】

各課の内容に応じて、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（30%）、平常点（小テスト、レポート、プレゼン、授業内外提出物、授業に取り組む姿勢、準備学習など）（70%）から総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

いつも新しいことに挑戦するという意識を共有したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

対面の際には授業中にHoppiにアクセス可能な機材（ノートパソコン、スマートフォンなど）を必ず携帯してください（授業中の発言などは全てHoppiを通じて行います）。

【その他の重要事項】

秋学期は9月になってもテキストを購入しない学生には単位を与えない場合がある。

辞書は必ず携帯すること。本型、電子辞書の形は問わないが、スマートフォンやタブレットなどのオンライン辞書の使用は禁ずる。また、授業で指示されたこと以外のスマートフォンの使用に対しては厳しく処置する。意欲的に学習しないもの（発言拒否、提出物の未提出、授業態度不良）などには厳しく対処する。減点の場合もある。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to acquire "useful" English expressions in varied scenes. First, we will learn various English expressions (sentence patterns) through English Newspapers to show Japanese culture 【Input】. Next, we will learn how to change these sentences properly to show what Japanese culture is like; in other words, we will learn how to use these 'sentence patterns' in order to express our culture in English 【output】.

Learning activities outside of classroom: before each class, you have to look up words and phrases from the textbook in your dictionary at least. You don't always have to translate your textbook into Japanese but you have to read through the passage.

After the class, you have to sort out what you learnt in the class. In almost every class you will be given an assignment and you are expected to submit it through Hoppi by each deadline. You are expected to spend one hour and more on preparing and reviewing each class.

Grading Criteria /Policy: class activities (incl. quizzes and assignments)×70%+final examination×30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
English 3 I					
サブタイトル：English in Global Contexts					
TOBY TRAUB					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金3/Fri.3					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 Learning English for communicating in a global society.			4	The Way we Live Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
【到達目標】 This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学 部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、 経営学部：DP1			5	Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
【主な授業方法】 L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】 Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities. Feedback is obtained through quiz scores.			6	Unit 2 Political Refugees Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 あり / Yes					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			7	Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
回	テーマ	内容			
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities			
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..	8	Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

9	Unit 3: Seize the day Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	http://www.bbc.com/news https://news.google.com/news/ 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 30% Quizzes, writing assignments, reading assignments presentations: 70% Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course. Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade. There is usually a quiz in every lesson. If you miss the quiz, you miss the points.
10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【学生が準備すべき機器他】 Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary. Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt or other AI tools on an assignment will result in a zero for the assignment and possible disciplinary action by the university. Plagiarism is never ok.
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	【その他の重要事項】 This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course. This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment.
12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment. Tips for the Quiz	【Outline (in English)】 This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Quiz Song lesson	
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete a writing assignment and/or study for a quiz every week in preparation for class. This writing assignment will usually require research. Students should expect to spend at least two hours on homework/studying outside of class, on average. Some weeks will be more, and some weeks will be less.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
<https://japantoday.com/>
<https://www.japantimes.co.jp/news/>
<https://www.yahoo.com/news/>

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English in Global Contexts

TOBY TRAUB

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ/Seminar

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities. Feedback is obtained through quiz scores.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back	What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.
2	Homelessness Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..

3	Art and War Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
4	Human Compassion Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Is telling lies bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Immigration good, or bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	How neighborhoods happen. Introduce big presentation. Create teams. Go over expectations.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
8	Rules versus freedom Presentation topics due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.

9	Japan surveillance state. Outline of presentations due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity. Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Preparations will include, but are not limited to a writing assignment almost every week, study for quizzes, prepare for presentation, and etc.

Students will spend a bare minimum of two hours a week homework outside of class, some weeks will be more, and some will be less.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Quizzes, writing assignments, reading assignments, presentations: 70%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

There is a quiz in almost every lesson. If you miss the quiz, you miss the points.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK).

Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary.

Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt or other AI tools on an assignment will result in a zero for the assignment and possible disciplinary action by the university. Plagiarism is never ok.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

【Outline (in English)】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：旅する英語

川澄 亜岐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4つの英語の運用能力（reading, listening, writing, speaking）を用いて英語を学びます。世界の様々な国の伝統や文化について書かれた英文を通して、異文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。春学期は、自分の意見を英語でわかりやすく伝えたり、相手の意見を理解したりすることを目指します。

【到達目標】

1. 様々な国の伝統や文化についての英文を読み、要点を英語で説明できるようになる。
2. 様々な国の伝統や文化についての英文を読み、自分の意見や考えを英語で説明できるようになる。
3. 英語の視聴覚教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は、教員による講義と学生によるプレゼンテーションを軸に、グループを取り入れるなどして対面形式で行います。提出された課題へのフィードバックは、個別またはクラス全体に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Unit 1: reading	Chinese Food Overseas in America and Japan
3	Unit 1: discussion	Usual way of eating unique to the country
4	Unit 2: reading	The Emerald Isle
5	Unit 2: discussion	Richness of nature
6	Unit 3: reading	Witches of Romania
7	Unit 3: discussion	Culture unique to the country
8	Unit 4: reading	Copying with Population Decline in Hungary
9	Unit 4: discussion	Fertility decline and aging issues
10	Unit 5: reading	Working Women in Saudi Arabia
11	Unit 5: discussion	Working lifestyle reform
12	Unit 6: reading	Traditional Pacific Islander Life
13	Unit 6: discussion	Self-sufficient lifestyle
14	Course review and quiz	学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前にテキストを読んで予習をしてから授業に出席してください。また、授業後の復習として、教科書にある読解の問題に取り組んでください。詳細は、初回授業で説明します。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students are expected to read the passage in advance and answer comprehensive questions in the textbook after the lesson. Detailed information will be given on the first lesson.

【テキスト（教科書）】

Alexander Farrell, Reading Traveler 2: Broader Views (Shohakusha, 2026)

ISBN: 978-4-7754-5007-9 2,600円＋税

【参考書】

適宜、授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点 50%
- (小テスト20%、授業中の活動への参加30%)
- 学期末課題 50%
- * 4回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は本授業を担当していないため、とくになし。

【Outline (in English)】

In this course, students will read various articles about the traditions and cultures of other nations. Learning about global social issues such as gender, education, environmental problems, students will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. By taking part in activities in class, students will develop their own critical thinking skills.

Through the course, students will be able to:

- grasp the main ideas of the passages
- express their opinions in English on topics raised in the passage
- understand the points of audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each lesson. Preparation is designed to take about one hour. In addition to preparation, students will be asked to write assignments.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

- quiz20%,
- class participation 30%,
- final assignment 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：旅する英語

川澄 亜岐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4つの英語の運用能力（reading, listening, writing, speaking）を用いて英語を学びます。世界の様々な国の伝統や文化について書かれた英文を通して、異文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。春学期は、自分の意見を英語でわかりやすく伝えたり、相手の意見を理解したりすることを目指します。

【到達目標】

1. 様々な国の伝統や文化についての英文を読み、要点を英語で説明できるようになる。
2. 様々な国の伝統や文化についての英文を読み、自分の意見や考えを英語で説明できるようになる。
3. 英語の視聴覚教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は、教員による講義と学生によるプレゼンテーションを軸に、グループを取り入れるなどして対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Unit 7: reading	Taipei's Night Markets
3	Unit 7: discussion	Interaction with different cultures
4	Unit 8: reading	The Greatest Rugby Rivalry
5	Unit 8: discussion	Passion for sports
6	Unit 9: reading	The Goonies
7	Unit 9: discussion	Joy of movies
8	Unit 10: reading	Women's Education in Afghanistan
9	Unit 10: discussion	Education issues
10	Unit 11: reading	Agricultural Air Pollution
11	Unit 11: discussion	Effects of global warming on crops
12	Unit 12: reading	Matryoshka Dolls
13	Unit 12: discussion	Handmade quality
14	Course review and quiz	学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前にテキストを読んで予習をしてから授業に出席してください。また、授業後の復習として、教科書にある読解の問題に取り組んでください。詳細は、初回授業で説明します。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students are expected to read the passage in advance and answer comprehensive questions in the textbook after the lesson. Detailed information will be given on the first lesson.

【テキスト（教科書）】

Alexander Farrell, Reading Traveler 2: Broader Views (Shohakusha, 2026)

ISBN: 978-4-7754-5007-9 2,600円＋税

【参考書】

適宜、授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点 50%
- (小テスト、授業中の活動への参加、提出物など)
- 学期末課題 50%
- * 4回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

グループワークを通して、自分とは異なる意見に触れることができ、視野が広がったという声をいただいています。

【Outline (in English)】

In this course, students will read various articles about the traditions and cultures of other nations. Learning about global social issues such as gender, education, environmental problems, students will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. By taking part in activities in class, students will develop their own critical thinking skills.

Through the course, students will be able to:

- grasp the main ideas of the passages
- express their opinions in English on topics raised in the passage
- understand the points of audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each lesson. Preparation is designed to take about one hour. In addition to preparation, students will be asked to write assignments.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

- quiz 20%,
- class participation 30%,
- final assignment 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
English 3 I					
サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World					
猪俣 佳瑞美			4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 金3/Fri.3					
単位数: 1単位					
その他属性:					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
【到達目標】			7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
講義の到達目標は、以下である。			8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。			10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1					
【主な授業方法】					
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。					
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など			
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。			

13	プレゼンテーション 1	指定されたテーマで書きあげた 原稿をもとに、各自がクラス全 体に発表する1回目。全学生が リスナーとして、フォームを利用 してコメントする。
14	プレゼンテーション 2	全体発表の2回目。 最後に学びを総括する。
	総括	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% レポート課題20%。遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II					
サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World					
猪俣 佳瑞美					
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 金3/Fri.3			4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数: 1単位					
その他属性:					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しんでいる「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
【到達目標】			7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
講義の到達目標は、以下である。			8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。			10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			11	プレゼンテーション準備と確認	12、13回の講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			12	プレゼンテーション 1	テーマに沿って各自が書き上げた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			13	プレゼンテーション 2	クラス全体に発表する2回目。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1			14	更なる英語学習へ総括と振り返り	秋学期に実施したトレーニング方法などを再度確認し学びを総括。各自が英語学習に対する将来的な課題を明らかにする。
【主な授業方法】					
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。					
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認			
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% レポート課題20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：NHKニュースで現代社会を考察する

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に習得した4技能の英語運用能力に基づき、NHKで報道されたさまざまなニュースを題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。

【到達目標】

受講生は簡単な英語記事やニュースであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。

受講生は発信された内容を英語でまとめ、論点を批判的にくみ取りながら、自分の意見を口頭または文書で述べられるようにする。現代のさまざまな事象について学び、批判的な自分なりの考えを構築する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

受講生のレベルに合わせてながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回の授業に、リーディング、ライティング、スピーキングなどの技能の演習を割り当てる。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。ディスカッションの回では、英語表現や構文の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。ライティングの指導機会を作り、そこで確認したルールに従ってレポートを提出してもらう。

提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

基本的に対面で授業を行う。ただし、感染症対策や外気温とマスクの関係などを鑑みて、適切な授業環境を確保するためにオンライン授業をすることがある。

授業方法の変更はHoppiiで周知する。そのため、受講生は授業日の朝にHoppiiを確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業のテーマの確認と授業方法の説明
2	Unit 1 のニュース映像の理解とリスニング演習	現代の英語教育の試みについてのニュースから学ぶ
3	Unit 1 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	現代の英語教育についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
4	Unit 2 のニュース映像の理解とリスニング演習	火災後の首里城と高校生ボランティアについてのニュースから学ぶ
5	Unit 2 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	火災後の首里城と高校生ボランティアについての記事を読み解く。リスニング演習を行う

6	Unit 3 のニュース映像の理解とリスニング演習	環境に優しいレジ袋の開発についてのニュースから学ぶ
7	Unit 3 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	環境に優しいレジ袋の開発についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
8	Unit 4 のニュース映像の理解とリスニング演習	省人化ロボットと食品産業についてのニュースから学ぶ
9	Unit 4 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	省人化ロボットと食品産業についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
10	Unit 5 のニュース映像の理解とリスニング演習	公共衛生施設についてのニュースから学ぶ
11	Unit 5 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	公共衛生施設についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
12	ディスカッション	Unit 1～5 の英語で書かれた設題について、自分の意見を口頭で述べる練習をする
13	ライティング演習	第12回で述べた意見をエッセイ・ライティングの形式でまとめる
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。あらかじめ辞書を使って読み解き、分からないところを明確にしてから授業に参加すること。

本授業の準備学習・復習時間は合計で1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

NHK NEWSLINE— Special Edition

(映像で学ぶ NHK 英語ニュースが伝える日本【特別編】)

山崎達朗、Stella M. Yamazaki 著、金星堂

必ず英和・和英辞書を持参すること。

PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、スピーキングとライティングの課題25%、授業の参加度合25%。4回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点がある。

授業中、パソコン、スマートフォン、タブレットの使用を固く禁じる。違反した場合には大きく減点する。

【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき映像資料を積極的に用いる。

【Outline (in English)】

【Course Outline】Based on the English proficiency developed in the first year and by using various NHK English news as educational material, students improve their English proficiency to comprehend information and present their critical opinions.

【Learning Objectives】At the end of the course, students are expected to issue their opinions in English after reading articles about cultural or social issues.

【Learning activities outside of classroom】Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (50%), speaking and writing tasks (25%), and in-class contribution (25%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：NHKニュースで現代社会を考察する

須藤 祐二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に習得した4技能の英語運用能力に基づき、NHKで報道されたさまざまなニュースを題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。

【到達目標】

受講生は簡単な英語記事やニュースであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。

受講生は発信された内容を英語でまとめ、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を口頭または文書で述べられるようにする。

現代のさまざまな事象について学び、批判的な自分なりの考えを構築する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回の授業にリーディング、ライティング、スピーキングなどの技能の演習を割り当てる。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。ディスカッションの回では、英語表現や構文の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。ライティングの指導機会を作り、そこで確認したルールに従って、レポートを提出してもらう。

提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。

基本的に対面で授業を行う。ただし、感染症対策や外気温とマスクの関係などを鑑みて、適切な授業環境を確保するためにオンラインで授業をすることがある。

授業方法の変更は授業支援システム (Hoppii) で周知する。そのため、受講生は授業日の朝にHoppiiを確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習と秋学期の授業の概要説明	春学期に学んだことの振り返りを行い、秋学期の授業でなにを学ぶかを説明する
2	Unit 6 のニュース映像の理解とリスニング演習	テレワーク時代の働き方についてのニュースから学ぶ
3	Unit 6 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	テレワーク時代の働き方についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
4	Unit 7 のニュース映像の理解とリスニング演習	語学学校と地方活性化についてのニュースから学ぶ
5	Unit 7 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	語学学校と地方活性化についての記事を読み解く。リスニング演習を行う

6	Unit 8 のニュース映像の理解とリスニング演習	草の根運動についてのニュースから学ぶ
7	Unit 8 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	草の根運動についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
8	Unit 9 のニュース映像の理解とリスニング演習	地方発の造形芸術についてのニュースから学ぶ
9	Unit 9 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	地方発の造形芸術についての記事を読み解く。リスニング演習を行う
10	Unit10 のニュース映像の理解とリスニング演習	宇宙開発とボードゲームについてのニュースから学ぶ
11	Unit10 のニュースのスク립トの速読とリスニング演習	宇宙開発とボードゲームについての記事を読み解く。リスニング演習を行う
12	ディスカッション	Unit 6～10の設題について、自分の意見を口頭で英語を使って述べる練習をする
13	ライティング演習	第12回で述べた意見をエッセイ・ライティングの形式でまとめる
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。あらかじめ辞書を使って読み解き、分からないところを明確にしてから授業に参加すること。

本授業の準備学習・復習時間は合計で1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

NHK Newline-Special Edition（映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本（特別編））山崎達朗、Stella M. Yamazaki 著、金星堂 必ず英和・和英辞書を持参すること。

PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50 %、スピーキングとライティングの課題 25 %、授業の参加度合 25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点がある。

授業中、パソコン、スマートフォン、タブレットの使用を固く禁じる。違反した場合には大きく減点する。

【学生の意見等からの気づき】

ひきつづき、映像資料を積極的に活用する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】Based on the English proficiency developed in the first year and by using various NHK English news as educational material, students improve their English proficiency to comprehend information and present their critical opinions.

【Learning Objectives】At the end of the course, students are expected to issue their opinions in English after reading articles about cultural or social issues.

【Learning activities outside of classroom】Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (50%), speaking and writing tasks (25%), and in-class contribution (25%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会

佐喜真 彩

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3では、English 1・2で修得した英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）を基盤に、アメリカの文化と社会を題材として総合的な英語運用能力をさらに発展させます。English 3では、English 1・2で修得した英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）を基盤に、アメリカの文化と社会を題材として総合的な英語運用能力をさらに発展させます。授業では、教科書『American Vibes: People, Places and Perspectives』を用い、アメリカの地域・人々・生活を扱うリーディングと、様々な話者のインタビュー映像を通して学習します。地域差や社会的背景に目を向けながら、多様な英語使用に触れ、内容理解と実践的な英語運用能力の向上を目指します。具体的には、語彙・表現の確認、映像視聴を通じたリスニング課題、リーディング理解に加え、内容に基づく意見交換や短い発信活動（要約・コメント・発表）を行います。これにより、アメリカ社会における文化的多様性への理解を深めると同時に、情報を読み取り、聞き取り、整理し、自分の考えを英語で適切に伝える力の向上を目指します。

【到達目標】

授業終了時に、受講者は以下を達成することを目指します。

1. アメリカの文化・社会に関する英文（教科書レベル）を読み、要点を整理して説明できる。
2. アメリカ各地域の多様な英語話者による映像・音声を聞き、主要情報を把握できる。
3. 扱ったトピックについて、根拠を示しながら自分の意見を英語で述べ、簡単な質疑応答ができる。
4. 異文化間コミュニケーションにおける言語的・文化的差異（話し方・価値観・前提）を理解し、相手に配慮した表現を選べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方】

基本的に教科書『American Vibes: People, Places and Perspectives』に沿って進めます。各回は概ね、①語彙・表現の確認、②映像視聴とリスニング課題、③リーディング（内容理解・要点整理）、④ペア／グループでの意見交換・ミニ発信（要約、コメント、短い発表）で構成します。必要に応じて補助教材を用い、地域やテーマへの理解を深めます。

【フィードバック方法】

毎回、授業で扱うリーディング内容に関する予習課題（Hoppii提出）を課し、理解度や疑問点を確認します。提出された質問・コメントは原則として次回授業で取り上げ、重要事項は全体で共有します。加えて、小テストや発表には簡単な講評を行い、次回以降の学習につなげます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め、授業の説明、ウォームアップ.
2	Chapter1-1 Boston, Massachusetts	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
3	Chapter1-2 Boston, Massachusetts	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
4	Chapter2-1 Maine	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
5	Chapter2-2 Maine	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
6	Chapter3-1 New York City1	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
7	Chapter3-2 New York City1	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
8	Chapter4-1 New York City2	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
9	Chapter4-2 New York City2	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
10	Chapter5-1 Washington, D.C.	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
11	Chapter5-2 Washington, D.C.	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
12	学生によるプレゼン1	学生による口頭発表、リーディング
13	学生によるプレゼン2	学生による口頭発表、リーディング
14	試験・まとめと解説	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

- ・（予習）授業内で示された課題に取り組んでください。
- ・（復習）テキストの映像を繰り返し視聴してください。

【テキスト（教科書）】

『American Vibes: People, Places and Perspectives』金星堂、2020年。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社、1999）、および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法：

以下の項目の合計点（100点満点）により評価を行います。

- ・平常点（予習課題の提出状況および授業への参加度）：40%
- ・小テストおよび口頭発表：20%
- ・期末試験：40%

※出席に関する注意事項：

各学期において欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位の修得を認めません。

遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

- ・積極的な授業参加を促すため、毎回ペア／グループワークを取り入れ、意見交換や短い発信活動を行います。
- ・「単語や表現は知っているが聞き取れない」という課題に対応するため、リスニングのポイント（音の連結・脱落・強勢など）を確認し、シャドーイング等の反復練習の方法を伝えます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・辞書を必ず持参してください。
- ・課題提出や配布資料のデータの共有等のために学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】

■ Course outline

In English 3, students will further develop their integrated English skills — reading, listening, writing, and speaking — building on what they learned in English 1 and 2, through the study of U.S. culture and society. Using the course textbook *American Vibes: People, Places and Perspectives*, students will explore readings and interview-based video materials featuring diverse regions, people, and everyday life in the United States. While paying attention to regional differences and social contexts, students will engage with a variety of Englishes used by different speakers.

Class activities include vocabulary and expression work, listening tasks based on video materials, reading comprehension, and interactive tasks such as discussions and short output activities (summaries, comments, and presentations). Through these practices, students will deepen their understanding of cultural diversity in American society and strengthen their ability to gather, interpret, and organize information, and to express their own ideas clearly and appropriately in English.

■ Learning Objectives

By the end of the course, students are expected to achieve the following outcomes:

1. Read textbook-level English texts on U.S. culture and society, identify key points, and explain them in an organized manner.
2. Understand audio/video materials featuring diverse English speakers from different regions of the United States and grasp the main information.
3. Present their opinions on course topics in English with supporting reasons and respond to simple questions and answers.
4. Recognize linguistic and cultural differences in intercultural communication (e.g., speaking styles, values, and assumptions) and choose expressions that show consideration for others.

■ Learning activities outside of classroom

Students are expected to spend approximately two hours per week on preparation and review for this course.

- ・ Preparation: Complete the assigned tasks indicated in class.
- ・ Review: Watch the textbook's video materials repeatedly to reinforce comprehension.

■ Grading Criteria/ Policy

Assessment

Students will be evaluated based on the total score out of 100 points, as follows:

- ・ Class performance (40%): submission of preparation assignments and active participation in class
- ・ Quizzes and oral presentations (20%)
- ・ Final exam (40%)

*Attendance Policy

As a general rule, students who are absent four times or more in a semester will not receive credit for the course.

Late arrival is permitted only if the student enters the classroom within 20 minutes of the start of class. Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会

佐喜真 彩

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3では、English 1・2で修得した英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）を基盤に、アメリカの文化と社会を題材として総合的な英語運用能力をさらに発展させます。授業では、教科書『American Vibes: People, Places and Perspectives』を用い、アメリカの地域・人々・生活を扱うリーディングと、様々な話者のインタビュー映像を通して学習します。地域差や社会的背景に目を向けながら、多様な英語使用に触れ、内容理解と実践的な英語運用能力の向上を目指します。

具体的には、語彙・表現の確認、映像視聴を通じたリスニング課題、リーディング理解に加え、内容に基づく意見交換や短い発信活動（要約・コメント・発表）を行います。これにより、アメリカ社会における文化的多様性への理解を深めると同時に、情報を読み取り、聞き取り、整理し、自分の考えを英語で適切に伝える力の向上を目指します。

【到達目標】

授業終了時に、受講者は以下を達成することを目指します。

1. アメリカの文化・社会に関する英文（教科書レベル）を読み、要点を整理して説明できる。
2. アメリカ各地域の多様な英語話者による映像・音声を聞き、主要情報を把握できる。
3. 扱ったトピックについて、根拠を示しながら自分の意見を英語で述べ、簡単な質疑応答ができる。
4. 異文化間コミュニケーションにおける言語的・文化的差異（話し方・価値観・前提）を理解し、相手に配慮した表現を選べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方】

基本的に教科書『American Vibes: People, Places and Perspectives』に沿って進めます。各回は概ね、①語彙・表現の確認、②映像視聴とリスニング課題、③リーディング（内容理解・要点整理）、④ペア／グループでの意見交換・ミニ発信（要約、コメント、短い発表）で構成します。必要に応じて補助教材を用い、地域やテーマへの理解を深めます。

【フィードバック方法】

毎回、授業で扱うリーディング内容に関する予習課題（Hoppii提出）を課し、理解度や疑問点を確認します。提出された質問・コメントは原則として次回授業で取り上げ、重要事項は全体で共有します。加えて、小テストや発表には簡単な講評を行い、次回以降の学習につなげます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	席決め、授業の説明、ウォームアップ。

2	Chapter6-1 Charleston, South Carolina	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
3	Chapter6-1 Charleston, South Carolina	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
4	Chapter7-1 Savannah, Georgia	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
5	Chapter7-2 Savannah, Georgia	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
6	Chapter9-1 Austin, Texas	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
7	Chapter9-2 Austin, Texas	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
8	Chapter10-1 Saint Jo, Texas	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
9	Chapter10-2 Saint Jo, Texas	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
10	Chapter11-1 Santa Fe, New Mexico	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
11	Chapter11-1 Santa Fe, New Mexico	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
12	学生によるプレゼン1	学生による口頭発表、リーディング
13	学生によるプレゼン2	学生による口頭発表、リーディング
14	試験・まとめと解説	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

- ・（予習）授業内で示された課題に取り組んでください。
- ・（復習）テキストの映像を繰り返し視聴してください。

【テキスト（教科書）】

『American Vibes: People, Places and Perspectives』金星堂、2020年。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社、1999）、および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法：

以下の項目の合計点（100点満点）により評価を行います。

- ・平常点（予習課題の提出状況および授業への参加度）：40%
- ・小テストおよび口頭発表：20%
- ・期末試験：40%

※出席に関する注意事項：

各学期において欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位の修得を認めません。

遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

- ・積極的な授業参加を促すため、毎回ペア／グループワークを取り入れ、意見交換や短い発信活動を行います。
- ・「単語や表現は知っているが聞き取れない」という課題に対応するため、リスニングのポイント（音の連結・脱落・強勢など）を確認し、シャドーイング等の反復練習の方法を伝えます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・辞書を必ず持参してください。
- ・課題提出や配布資料のデータの共有等のために学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】

In English 3, students will further develop their integrated English skills — reading, listening, writing, and speaking — building on what they learned in English 1 and 2, through the study of U.S. culture and society. Using the course textbook *American Vibes: People, Places and Perspectives*, students will explore readings and interview-based video materials featuring diverse regions, people, and everyday life in the United States. While paying attention to regional differences and social contexts, students will engage with a variety of Englishes used by different speakers.

Class activities include vocabulary and expression work, listening tasks based on video materials, reading comprehension, and interactive tasks such as discussions and short output activities (summaries, comments, and presentations). Through these practices, students will deepen their understanding of cultural diversity in American society and strengthen their ability to gather, interpret, and organize information, and to express their own ideas clearly and appropriately in English.

■ Learning Objectives

By the end of the course, students are expected to achieve the following outcomes:

1. Read textbook-level English texts on U.S. culture and society, identify key points, and explain them in an organized manner.
2. Understand audio/video materials featuring diverse English speakers from different regions of the United States and grasp the main information.
3. Present their opinions on course topics in English with supporting reasons and respond to simple questions and answers.
4. Recognize linguistic and cultural differences in intercultural communication (e.g., speaking styles, values, and assumptions) and choose expressions that show consideration for others.

■ Learning activities outside of classroom

Students are expected to spend approximately two hours per week on preparation and review for this course.

- Preparation: Complete the assigned tasks indicated in class.
- Review: Watch the textbook's video materials repeatedly to reinforce comprehension.

■ Grading Criteria/ Policy

Assessment

Students will be evaluated based on the total score out of 100 points, as follows:

- Class performance (40%): submission of preparation assignments and active participation in class
- Quizzes and oral presentations (20%)
- Final exam (40%)

***Attendance Policy**

As a general rule, students who are absent four times or more in a semester will not receive credit for the course.

Late arrival is permitted only if the student enters the classroom within 20 minutes of the start of class. Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues and Japan

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことにあります (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。現在の日本が直面する様々な課題と将来の展望について学び考えます。

【到達目標】

1. 音読が適切にできるようになること
2. テキストの内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだトピックについての解説と意見を英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
 - (2) Listening: listening to mini-talks and global news
 - (3) Writing: summary and paragraph writing
 - (4) Speaking: preparation for presentation
- Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人 年齢 #1	1. Orientation オリエンテー ション 2. Reading the first paragraph of Chapter 2
2	Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年 齢 #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
3	Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年 齢 #3	1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
4	Human Rights 人権 #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
5	Human Rights 人権 #2	1.Paragraph reading 2.Understanding why human rights are important
6	Human Rights 人権 #3	1.Thinking more about human rights 2.Exchange your ideas

7	Gender Equality 男 女格差 #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
8	Gender Equality 男 女格差 #2	1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
9	Gender Equality 男 女格差 #3	1.Learning more about gender inequality 2.Summarize the passage
10	Gender Equality 男 女格差 #4	1.Thinking more about the topic 2.Exchange your ideas
11	Freedom of Speech and Its Implications 言論の 自由とその影響 #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
12	Freedom of Speech and Its Implications 言論の 自由とその影響 #2	1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
13	Freedom of Speech and Its Implications 言論の 自由とその影響 #3	1.Thinking about Freedom of Speech and Hate Speech 2.Exchange your ideas
14	Review & Test	Final Test 学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

1 Weekly reading, listening or writing home assignments

2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

1. James M. Vardaman, Japan's Dilemmas and Solutions: 15 Topics You Need to Consider (『考えよう日本の論点15』, 音羽書房鶴見書店, 2023年) ¥ 2,000 + 税

2. 配布プリント

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (40%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (春学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make this course exciting. みなさんの熱心な参加により授業の質が高まっていくのを実感しました。本年度もよい授業を一緒に作り上げていきましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This is a content-based English learning class focusing on social issues in Japan from a global perspective. Students will also develop reading, listening, speaking and writing skills. The goal is for students to be able to read aloud fluently and to write a well-organized paragraph about their own opinions. You will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (40%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues and Japan

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本が直面する課題をグローバルな視点から学び考えます。English 3 Iに引き続き「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。

【到達目標】

- 1 音読が適切にできるようになること
- 2 学んだトピックについての意見のやりとりを正確に聞き取ることができるようになること
- 3 学んだトピックについての解説と意見を論理的に英語で表現できるようにすること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
 - (2) Listening: listening to mini-talks and global news
 - (3) Writing: summary and paragraph writing
 - (4) Speaking: preparation for presentation
- Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/ Should Nuclear Power Dependency Be Halted? 原発依 存 #1	1 Explaining the course of this semester 2 Reading and listening paragraph of Chapter 7
2	Should Nuclear Power Dependency Be Halted? 原発依 存 #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
3	Should Nuclear Power Dependency Be Halted? 原発依 存 #3	1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
4	Should Nuclear Power Dependency Be Halted? 原発依 存 #4	1.Thinking more about Nuclear Power 2.Exchange your ideas
5	Refugee Status 難 民認定 #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check

6	Refugee Status 難 民認定 #2	1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
7	Refugee Status 難 民認定 #3	1.Thinking more about refugee issues 2.Exchange your ideas
8	Does Dedication Require Overtime? 仕事への献身#1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
9	Does Dedication Require Overtime? 仕事への献身#2	1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
10	Does Dedication Require Overtime? 仕事への献身#3	1.Thinking more about work-life balance 2.Exchange your ideas
11	Heading to the Country 地方移住 #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
12	Heading to the Country 地方移住 #2	1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
13	Heading to the Country 地方移住 #3	1.Thinking more about life and values
14	Review & Test	Final Test 学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening, or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

1. James M. Vardaman, Japan's Dilemmas and Solutions: 15 Topics You Need to Consider (『考えよう日本の論点15』, 音羽書房鶴見書店, 2023年) ¥ 2,000 + 税
2. 配布プリント

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (40%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (秋学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' encouragement will keep you motivated.

語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらさらなるレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This English course is designed to improve the four skills of reading, listening, speaking and writing while learning about Japan in the international community. The goal is for students to be able to read aloud fluently, to accurately listen to discussions on a given topic and to write well-structured paragraphs expressing their own opinions on the topic. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (40%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：TedTalks and Printed Media

ROBERT J SPIVAK

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語3は、英語1と2で得たスキルと知識を基に、さまざまなトピックについて考え、意見を交換する機会を学生に提供することを目的としています。そのためにこのコースでは、学生は英語を使って、さまざまな観点からテクノロジー、エンターテインメント、デザインの新しい展開について学びます。また時事トピックを通じて時事問題を学び、さまざまな情報を取り入れて意見を交換します。さらに上記を達成するために必要な基本的英語スキルを訓練します。

【到達目標】

Students will read authentic texts and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will read a passage from a newspaper/magazine article or watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by reading, listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the reading selections and TED Talk themes, discuss, write papers, and make presentations synthesizing their views on the content studied. Feedback on assignments will be given orally and through HOPPI.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
One.	Introduction	Introduction to the course. Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.
2	Introduction to the course. Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.	Getting the main ideas. Identifying supporting ideas. Understanding references. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
Three	Interdisciplinary. Unit 1B: How to Start a Movement	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Evaluating information. Reflecting on own experience. Synthesizing information
4	Conservation. Unit 2A: Trouble for the Air Plants / Scientific article	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
5	Conservation. Unit 2B: Conserving the Canopy	Understanding main ideas and key details. Recognizing purpose. Recognizing supporting evidence. Inferring reasons. Synthesizing information.
6	Health / innovations. Unit 3A: Big Problems, Simple Solutions. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Understanding visuals. Making inferences. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion.
7	Health / innovations. Unit 3B. A Warm Embrace that Saves Lives.	Getting the main ideas. Understanding key details. Understanding visuals. Making inferences. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion.
8	Sociology / technology. Unit 4A: Is Gaming Good for You? Research report.	Getting the main ideas. Understanding key details. Analyzing pros and cons. Understanding data. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.
9	Sociology / Technology. Unit 4B: Gaming Can Make a Better World.	Getting the main ideas. Understanding key details. Analyzing pros and cons. Understanding data. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.
10	Psychology / Education. Unit 5A: Engaging Learners.	Getting the mail ideas. Understanding key details. supporting ideas with evidence. Finding similarities and differences. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.

11	Psychology / Education. Unit 5B: The Key to Success? Grit.	Understanding main ideas. Understanding overall message. Understanding terms. Summarizing the talk. Evaluating information. Synthesizing information. Reflecting on own experience.
12	Theme chosen by class. Newspaper Article.	Getting the main ideas. Identifying supporting ideas. Making inferences. Getting meaning from context.
13	Theme chosen by class. TedTalk.	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Summarizing. Recognizing purpose.
14	Final Test. Summarizing text / talks from media in small groups.	Summarizing. Giving opinions. Synthesizing information. Evaluating information. Reflecting on own experience.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Tasks will include exercises from the textbook, reading summarizing newspaper and magazine articles, watching TedTalks and summarizing the content.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Level 2. Robin Longshaw, Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates, Ingrid Wisniewska, Jessica Williams

National Geographic Learning/Cengage.

ISBN: 9781305265707, ¥ 3,388.

【参考書】

English Dictionary

【成績評価の方法と基準】

Attendance/Participation: 25%

Presentation: 25%

Homework (written summaries): 25%

Final Test: 25%

In principle, no more than 3 absences are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

I will be communicating with students through Hosei's LMS "Hoppii."

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)			2	Food/Health. Unit 6A: Food Revolution. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Identifying problems and solutions. Understanding infographics. Getting meaning from context. Applying information. Reflecting on own experience.
English 3 II					
サブタイトル：TedTalks and Printed Media					
ROBERT J SPIVAK			three	Food/Health. Unit 6B: Teach Every Child About Food.	Understanding main ideas and key details. Inferring meaning. Evaluating information. Reflecting on own experience.
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水5/Wed.5			4	Behavior/ Psychology. Unit 7A. Power Poses. Research Report.	Getting the main ideas and details. Recognizing text structure. Getting meaning from context. Analyzing statements. Reflecting on own experience.
単位数：1単位			5	Behavior/ Psychology. Unit 7B: Your Body Language Shapes Who You Are.	Understanding main ideas and key details. Recognizing sequence. Identifying purpose. Summarizing. Reflecting on own experience. Inferring statements. Reasoning ideas.
その他属性：			6	Energy/ Engineering. Unit 8A: Kite Power. News Report	Getting the main ideas. Scanning for specific information. Making comparisons. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion. Reflecting on possible solutions.
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			7	Energy/ Engineering. Unit 8B: How I Harnessed the Wind,	Visualizing a process. Understanding causes and effects. Inferring meaning. Synthesizing information.
英語3-IIは、春学期に開講された英語3-Iの続きです。英語3は、英語1と2で習得したスキルと知識を基に、英語を使ってさまざまなトピックについて考え、意見を交換する機会を学生に提供することを目的としています。このコースでは英語を使って、あらゆる観点からテクノロジー、エンターテインメント、デザインの新しい展開について学びます。またさまざまな時事問題を学び、情報を取り入れて意見を交換します。さらに上記を達成するために必要な基本的な英語スキルを訓練します。			8	Engineering/ Art. Unit 9A: Thinking in Pictures. Biographical article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Inferring meaning in statements. Reflecting on possibilities.
【到達目標】			9	Engineering/ Art. Unit 9B: Deep Sea Diving in a Wheelchair.	Understanding main ideas and key details. Recognizing tone and message. Inferring meaning. Comparing information.
Student will read and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.			10	Statistics/ Economics. Unit 10A: Information is Beautiful. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Understanding infographics. Getting meaning from context. Inferring meaning in statements. Reflecting on own experience.
Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.			11	Statistics/ Economics. Unit 10B: The Beauty of Data Visualization.	Understanding main ideas and key details. Analyzing information. Reflecting on own experience. Interpreting a speaker's statement.
Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.			12	Theme chosen by class. Newspaper Article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
【主な授業方法】					
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
Student will read and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.					
Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.					
Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills. Feedback on assignments will be given orally and through HOPPI.					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
one	Introduction	Introduction to the course. Review of Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.			

13	Theme chosen by class. TedTalk.	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Evaluating information. Reflecting on own experience. Synthesizing information
14	Final Test. Summarizing text/talks from media in small groups.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Tasks will include exercises from the textbook, reading summarizing newspaper and magazine articles, watching TedTalks and summarizing the content.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Level 2. Robin Longshaw, Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates, Ingrid Wisniewska, Jessica Williams

National Geographic Learning/Cengage.

ISBN: 9781305265707, ¥ 3,388.

【参考書】

English Dictionary

【成績評価の方法と基準】

Attendance/Participation: 25

Presentation: 25

Homework (written summaries): 25

Final Test: 25

In principle, no more than 3 absences are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

I will be communicating with students through Hosei's LMS "Hoppii."

【Outline (in English)】

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the World

RICHARD WILCOX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

English 3/1: Media and Culture.

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

Feedback about student performance: I will give students feedback and helpful comments both personally during the class, in grades written on assignments they have done and I have returned to them and in personal consultations during the class if they request my help. I am always happy to answer student questions!

Richard Wilcox

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: Physical fitness	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts; Text Unit 1
2	Asking questions; Topic: Blood types	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	Giving opinion; Topic: Dreams	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	Debating topics; Topic: Speed dating	GR; ECP Handouts; Unit 4
5	Narratives; Topic: Pets in Japan	GR Discussion; Written Test on Textbook
6	Describing things; Topic: Stress	Return test results; GR 2; ECP Handouts; Unit 5
7	Ecology; Topic: Listening and taking notes	GR 2; ECP Handouts; Unit 6
8	Problems and Solutions; Topic: Fast food	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
9	Comparisons; Topic: Shopping trends	Queen of the Sun (30 - 60 min.); Discussion
10	Discussions; Topic: Women and work	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
11	Group organization; Topic: Student choice	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
12	Presentations; Topic: Course related topics	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
13	Choice of test topics	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
14	Student peer review and feedback	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced), by Shimaoka and Berman, Nan Un-do, ISBN 9784523177517

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;

Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the World

RICHARD WILCOX

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

English 3/II: Understanding Life Issues.

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

Feedback about student performance: I will give students feedback and helpful comments both personally during the class, in grades written on assignments they have done and I have returned to them and in personal consultations during the class if they request my help. I am always happy to answer student questions!

Richard Wilcox

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: The Internet	Journal; ECP Handouts; Text Unit 9 Women and Work
2	Asking questions; Topic: Kawaii	Journal; ECP Handouts; Text Unit 10 The Internet
3	Giving opinion; Topic: Dressing Casually	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11 Kawaii
4	Debating topics: Topic: World happiness	18. ECP Handouts; Unit 12; Homework: Read "Fukushima" DVD transcript; Write report for pages 1 - 4
5	Listening and taking notes 1; Topic: Environment	Watch "Fukushima" (20 min); Discussion; Homework: Write report 5 - 8
6	Observing and taking notes; Topic: Technology	Watch "Fukushima" (21 - 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	Summarizing Opinions; Topic: Energy issues	Watch "Fukushima" (41 - 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	Narratives; Topic: The right to die	Journal; ECP Handouts; Unit 13 Same Sex Marriage
9	Describing things; Topic: Pet cloning	Journal; ECP Handouts; Unit 14 World Happiness
10	Choice of test topics	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	Problems and Solutions / Comparisons; Topic: Lecture on powerpoint techniques	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	Course Review	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced), by Shimaoka and Berman, Nan Un-do,
ISBN 9784523177517

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjust lessons according to student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：変動する現代社会の様相

小田井 勝彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸ばし、現代社会の諸相を扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まずは各章の話題に即した動画を視聴、そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、ハンドアウトを使用して読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方、教科書、評価方法などについて説明。
2	Unit 1 No Phones, No Apps, No Likes < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 1の本文の前半を読解します。
3	Unit 1 No Phones, No Apps, No Likes < 読解と Exercises>	Unit 1の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
4	Unit 2 Disappearing Languages < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 2の本文の前半を読解します。
5	Unit 2 Disappearing Languages < 読解と Exercises>	Unit 2の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
6	Unit 3 Can We Communicate with Animals? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 3の本文の前半を読解します。

7	Unit 3 Can We Communicate with Animals? < 読解と Exercises>	Unit 3の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
8	中間テストと解説	Unit 1～3を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
9	Unit 4 Escape From Burnout < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 4の本文の前半を読解します。
10	Unit 4 Escape From Burnout < 読解と Exercises>	Unit 4の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
11	Unit 5 Bringing Middle Eastern Beer to New York < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 5の本文の前半を読解します。
12	Chapter 5 Bringing Middle Eastern Beer to New York < 読解と Exercises>	Unit 5の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
13	総復習	これまでの総復習をします
14	期末テストと解説	Unit 4～5を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読んでハンドアウトの各問題に解答する。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Kyoko Horieほか『Stories of the World We Live In』（金星堂、2024）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。（遅刻は欠席0.5回として扱います）

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in English. In order to attain the goal, students read short essays about modern society. Listening practice and grammar exercise will also be conducted.

[Learning Objectives]

1. Students can listen to English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for listening to English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about modern society.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria / Policy]

- ・ mid-term test 40%
- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：変動する現代社会の様相

小田井 勝彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の諸相を扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まずは各章の話題に即した動画を視聴、そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、ハンドアウトを使用して読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 6 The Runner Who Took a Stand < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 6の本文の前半を読解します。
2	Unit 6 The Runner Who Took a Stand < 読解とExercises >	Unit 6の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
3	Unit 7 Reshaping the Values of Beauty < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 7の本文の前半を読解します。
4	Unit 7 Reshaping the Values of Beauty < 読解とExercises >	Unit 7の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
5	Unit 8 A Social Media Minefield < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 8の本文の前半を読解します。
6	Unit 8 A Social Media Minefield < 読解とExercises >	Unit 8の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。

7	中間テストと解説	Unit 6～8を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
8	Unit 9 A Boy's Selfless Wish < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 9の本文の前半を読解します。
9	Unit 9 A Boy's Selfless Wish < 読解とExercises >	Unit 9の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
10	Unit 10 In Search of Freedom < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 10の本文の前半を読解します。
11	Unit 10 In Search of Freedom < 読解とExercises >	Unit 10の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
12	Unit 11 Global Warming Solutions from the Past < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 11の本文の前半を読解します。
13	Unit 11 Global Warming Solutions from the Past < 読解とExercises >	Unit 11の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
14	期末テストと解説	Unit 9～11を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読みハンドアウトの各問題に解答する。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Kyoko Horieほか『Stories of the World We Live In』（金星堂、2024）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。（遅刻は欠席0.5回として扱います）

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in English. In order to attain the goal, students read short essays about modern society. Listening practice and grammar exercise will also be conducted.

[Learning Objectives]

1. Students can listen to English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for listening to English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about modern society.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria / Policy]

- ・ mid-term test 40%
- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の中での日本の歴史

戸嶋 まゆみ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講座では、日本の歴史について知り、日本について英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。本授業では、「4技能」（英語を読み、聞き、書き、話す）の学習を行います。

【到達目標】

日本についてより深く知り、特に日本の歴史について英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストを読み、得た知識の発表を個人及びグループで行います。グループ・ワーク及びグループ・プレゼンテーションを英語と日本語を用いて行い、アウトプットのトレーニングをします。課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはオンライン等を用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	ガイダンス
第2講	発音練習	発音練習
第3講	Chapter 1,1-2 The Jomon Period	日本列島と縄文時代について
第4講	Chapter 1,3-5 The Yayoi Period	弥生時代について
第5講	Chapter 1,10-12	大化の改新等について
第6講	Chapter 1,16-18	平安時代について
第7講	Chapter 2,19-22	武士の時代について
第8講	Chapter 2,23-31	鎌倉幕府、室町幕府について
第9講	Chapter 3, 40-61	江戸時代
第10講	プレゼンテーション1	プレゼンテーション1
第11講	プレゼンテーション2	プレゼンテーション2
第12講	プレゼンテーション3	プレゼンテーション3
復習	復習	復習
総括	総括	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

○予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

○本授業の準備・復習時間は、毎週1時間を標準とします

【テキスト（教科書）】

英語対訳で読む日本の歴史、中西康裕監修、株式会社実業之日本社、2023年、ISBN 978-4-408-42128-5

【参考書】

辞書等

【成績評価の方法と基準】

授業内の発言等(20%)、グループ・プレゼンテーション(40%)、内容ごとの小テスト(40%)の総合点で評価します。尚、欠席が4回以上になった者は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

クラス人数が比較的多い場合は、一人一人の発言の機会が少ないという意見がでます。積極的な参加をしてもらえるような采配をするつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【その他の重要事項】

プレゼンテーションでは、グループ性と原稿なしでの英語での発言が求められます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students ability in English reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to know well about Japanese History through English.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 20%, Presentations: 40%, Term-end examination: 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の中での日本の歴史

戸嶋 まゆみ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講座では、日本の歴史について知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。「4技能」（英語を読み、聞き、書き、話す）の学習を行います。

【到達目標】

日本についてより深く知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストを読み、得た知識の発表を個人及びグループで行います。グループ・ワーク及びグループ・プレゼンテーションを行い、アウトプットのトレーニングをします。課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはオンライン等を用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	ガイダンス
第2講	発音練習	発音練習
第3講	Writing練習	夏休みの出来事を英語で書く
第4講	Chapter 4,62-67	近代史、明治維新まで
第5講	Chapter 4,68-78	近代の戦争
第6講	Chapter 4,79-90	二つの大戦
第7講	Chapter 5,91-94	戦後の日本
第8講	Chapter 5,95-98	現代の日本
第9講	テキストの復習	「今、ここで」私たちは何をし、何を考えるのか
第10講	プレゼンテーション4	プレゼンテーション4
第11講	プレゼンテーション5	プレゼンテーション5
第12講	プレゼンテーション6	プレゼンテーション6
復習	復習	復習
総括	総括	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

○予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

○本授業の準備・復習時間は、1時間を標準とします

【テキスト（教科書）】

英語対訳で読む日本の歴史、中西康裕監修、株式会社実業之日本社、2023年、ISBN 978-4-408-42128-5

【参考書】

辞書等

【成績評価の方法と基準】

授業内の発言等(20%)、グループ・プレゼンテーション(40%)、内容ごとの小テスト(40%)の総合点で評価します。尚、欠席が4回以上になった者は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

クラス人数が比較的多い場合は、一人一人の発言の機会が少ないという意見がでます。積極的な参加をしてもらえるような采配をするつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【その他の重要事項】

プレゼンテーションでは、グループ性と一人1分程度かつ原稿なしでの英語での発言が求められます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students ability in English reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to know well about Japanese History through English.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 20%, Presentations: 40%, Term-end examination: 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English 1 と 2 で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion** や **group presentation** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッションやプレゼンテーションを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

「学習者中心型」の授業で、いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および必要に応じてメールで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や **presentations** へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other, course descriptions, Q & A	Communicative activities, course descriptions, plans for the semester, homework, Q & A
2	Basics of oral communication, planned speech, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, brainstorming on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, basics of group discussion, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1, homework, Q & A

4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Story of my name, group discussion (2) on Topic 1, homework, Q & A
5	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), basics of group presentation (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of group presentation (1), homework, Q & A
6	Planned speech, basics of group presentation (2), preparing for Presentation 1	Show & Tell 2, basics of group presentation (2), preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
8	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on Presentation 1, comprehension check on Topic 2 material, homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3), basics of group presentation (3)	Conversation, group discussion on Topic 2 (3), basics of group presentation (3), homework, Q & A
12	Unplanned speech, basics of group presentation (4), preparing for Presentation 2	Conversation, basics of group presentation (4), preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
14	Unplanned speech, feedback on Presentation 2, recap of the semester & student feedback	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回出される宿題をきちんとこなすこと、単語の豆テストや **discussion** や **presentations** の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

市販の教科書はありませんが、英語で書かれた教材（授業のスライドを含む）と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加: 25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations: 40%

注意事項: 授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】

ペア、グループ・ワーク が多い communicative な授業だったため、英会話が楽しかった、友達ができた、トピックが興味深かった、discussion や presentation の練習が非常にためになった、という声を多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】

プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Current Issues in the English-Speaking World

佐藤 陽子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水5/Wed.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3II では、English 3I で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、**group discussion**、**group presentation** そして **essay** の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】

- 1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
- 2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
- 3) ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイ (小論文) を通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

「学習者中心型」の授業で、いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて **group discussion** を行い、結果を **group presentation** として発表します。授業の雰囲気は **informal & friendly** です。課題等のお知らせの配信には **HOPPII** (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や **presentations** へのフィードバックは、授業および **HOPPII** で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester, homework, Q & A
2	Planned speech 1, understanding Current Issue 1	Show & Tell 1, comprehension check on reading material on Topic 1, homework, Q & A
3	Vocabulary quiz 1, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz 1, conversation, group discussion (1) on Topic 1
4	Vocabulary quiz 2, unplanned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (1)	Vocabulary quiz 2, conversation, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (1), homework, Q & A

5	Unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Conversation, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1, homework, Q & A
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1, homework, Q & A
7	Unplanned speech, feedback on Presentation 1, brainstorming on Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, 2, brainstorming on Topic 2, homework, Q & A
8	Vocabulary quiz 3, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Vocabulary quiz 3, conversation, group discussion on Topic 2 (1), homework, Q & A
9	Vocabulary quiz 4, unplanned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Vocabulary quiz 4, conversation, group discussion on Topic 2 (2), homework, Q & A
10	Unplanned speech, basics of essay writing (2), discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, basics of essay writing (2), group discussion on Topic 2 (3), homework, Q & A
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2, homework, Q & A
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2, homework, Q & A
13	Feedback on Presentation 2, discussing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts, homework, Q & A
14	Unplanned speech, discussing essay drafts, recap of the semester, student feedback	Conversation, discuss essay drafts, recap of the semester, student feedback, homework, Q & A

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回出される宿題をきちんとこなすこと、単語の豆テストや **discussion** や **presentations** の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

市販の教科書はありませんが、英語で書かれた教材 (授業のスライドを含む) と関連情報は授業支援システム **HoppII** から配信されます。

【参考書】

みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】

成績は以下の基準で評価されます。

授業への積極的参加: 25%

宿題と単語の豆テスト: 35%

Presentations & an essay: 40%

注意事項: 授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】

ペア、グループ・ワーク が多い **communicative** な授業だったため、英会話が楽しかった、友達ができた、トピックが興味深かった、**discussion** や **presentation** の練習が非常にためになった、という声を多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】

プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline (in English)】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 25%

Homework and quizzes: 35%

Presentations & an essay: 40%

Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

LANe200LA（英語 / English language education 200）

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：BBCを観て聴いて考える現代社会

西尾 洋子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

海外の英語ニュースや映画、インタビューなど、生きた躍動感に満ちたオーセンティックな素材を生で聞き取り理解できるリスニング&リーディング・スキルを養うこととその方法の習得を目指す。さらには時事問題への興味も深め、発信能力へつなげたい。

【到達目標】

ニュース英語素材を用いて、総合的な4技能の向上を目指す。リスニング、リーディングを通して時々刻々と変化する社会情勢を英語で的確に把握し、考える素地を身につけると共に、スピーキングやライティング活動を通して発展的に英語で表現、発信する力を養いたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

主にBBCのニュースを編集したCD付属のテキストを用い、視聴覚機器を利用して段階的にタスクをこなしながら、英語4技能を高めていく。教科書付属の映像動画をフル活用して、授業外でも繰り返し視聴すると有効である。教科書に加え、折々に新聞記事や映画の一場面やインタビュー、演説などを取り入れ、多様な素材に触れていく予定。リアクションペーパーや課題等については、主に翌週の授業内でフィードバックや解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と計画説明
第2回	ニュース英語への導入	ニュースを効果的に理解するためのリスニングメソッド
第3回	Unit 1 Roman Basilica	現代に蘇る
第4回	Unit 1 Ancient London	ロンドンの古代遺跡
第5回	Unit 2 Children's Garden	子供専用
第6回	Unit 2 Chelsea Flower Show	秘密の花園
第7回	Unit 3 Street Vet	路上ペットに獣医ケア
第8回	Movie based Listening	Hollywood Dialog
第9回	Unit 4 Murals Bring Vitality	壁画で町おこし
第10回	Latest News Article	最新の英字新聞から
第11回	Unit 5 Changing Weather	異常気象と動植物
第12回	Unit 6 A-Level Results Day	大学入試

第13回 Review

まとめと復習

第14回 学期末試験

テスト(まとめと解説)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語句の下調べ、付属の音声教材を使ってリスニング、シャドーイング、リピーティング、ニュースの背景や予備知識への発展的学習。本授業の準備学習・復習時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『British News Update 8』2026年度版（kinseido）

【参考書】

授業時に適宜指示します。大学生が使用するのに適した辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50%）と学期末試験(50%)をあわせて総合評価。

毎回の授業時にエクササイズを通した小テストを行う。

平常点（授業への真摯な取り組み、積極的な参加、貢献度）を重視。各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更により、当欄のフィードバックは来期以降になります。

【その他の重要事項】

意欲と好奇心をもって臨んでください。とりあげる素材は無機質な英語ではなく、面白く手ごたえのあるテーマが満載です。多少難しくても挑戦しがいい教材。英語習得トレーニングの様々なメソッドを学びながら、現代社会の問題を考え視野を広げる契機も獲得してほしいと思います。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This class aims to provide interesting, topical and stimulating content through BBC news.

【Learning Objectives】 The view of this class is to improve English proficiency, reading, listening, speaking, writing skills of intermediate-level students.

【Learning activities outside of classroom】 Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text.

【Grading Criteria /Policy】 The final grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, Performance and Contribution in class: 50%

LANe200LA（英語 / English language education 200）	
English 3 II	2017年度以降入学者
サブタイトル：BBCを観て聴いて考える現代社会	
西尾 洋子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水5/Wed.5	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

海外の英語ニュースや映画、インタビューなど、生きた躍動感に満ちたオーセンティックな素材を生で聞き取り理解できる、リスニング&リーディングスキルを養うこととその方法の習得を目指す。さらには時事問題への興味も深め、発信能力へつなげたい。

【到達目標】

ニュース英語素材を用いて、総合的な4技能の向上を目指す。リスニング、リーディングを通して時々刻々と変化する社会情勢を英語で的確に把握し、考える素地を身につけると共に、スピーキングやライティング活動を通して発展的に英語で表現、発信する力を養いたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

主にBBCのニュースを編集したCD付属のテキストを用い、視聴覚機器を利用して段階的にタスクをこなしながら、英語4技能を高めていく。教科書付属の映像動画をフル活用して、授業外でも繰り返し視聴すると有効である。折々に映画の一場面やインタビュー、演説などを取り入れ、多様な素材に触れていく予定。リアクションペーパーや課題等については、主に翌週の授業内でフィードバックや解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と計画説明

第2回	ニュース英語への導入	ニュースを効果的に理解するためのリスニングメソッド
第3回	Unit 7 Health Service (1)	医療現場(1)
第4回	Unit 7 Health Service (2)	医療現場(2)
第5回	Unit 8 Farm for Girls (1)	農場と女性の友情(1)
第6回	Unit 8 Farm for Girls(2)	農場と女性の友情(2)
第7回	Unit 9 Apprenticeship in Stained Glass	大学で伝える伝統芸能
第8回	Movie based Listening	Hollywood Dialog
第9回	Unit 12 Bus Service	公共交通サービス向上
第10回	Unit 13 Price of University	英国の大学授業料
第11回	News Paper Reading	最新の英字新聞を読む

第12回	Review	まとめと復習
第13回	Presentation	表現活動
第14回	学期末試験	テスト(まとめと解説)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語句の下調べ、付属の音声教材を使ってリスニング、シャドーイング、リピーティング、ニュースの背景や予備知識への発展的学習。本授業の準備学習・復習時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『British News Update 8』2026年度版（Kinseido）

【参考書】

授業時に適宜指示します。大学生が使用するのに適した辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50%）と学期末試験（50%）をあわせて総合評価。毎回の授業時にエクササイズを通した小テストを行う。平常点（授業への真摯な取り組み、積極的な参加、貢献度）を重視。各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更により、当欄のフィードバックは来期以降になります。

【その他の重要事項】

とりあげる素材は無機質な英語ではなく、面白く手ごたえのあるテーマが満載です。多少難しくても挑戦しがいのある教材。リスニング・トレーニングの様々なメソッドを学びながら、現代社会の問題を考え視野を広げる契機も獲得してほしいと思います。意欲と好奇心をもって臨んでください。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This class aims to provide students with a global view to see the world today through BBC English news.

【Learning Objectives】 The view of this class is to improve English proficiency, mainly listening skill of intermediate-level students along with improving reading, writing, speaking skills and critical thinking.

【Learning activities outside of classroom】 Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text.

【Grading Criteria /Policy】 The final grade in the class will be decided based on the following :

Term-end examination: 50%, Performance and Contribution in class : 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：共通言語としての音楽文化

森永 豊

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

名曲やポップスなど、親しみやすい日本語と英語の歌を題材にして、邦楽と洋楽を鑑賞しながら日本語詞の英訳、英詞の和訳、および歌の解釈をする。曲に対して抱く自分のストーリーを英語で表現する。概して、総合的な英語力（四技能）を伸ばすことが目標となる。またこの授業では、歌を通して日本語と英語の奥行きを感じることができる。もしも音楽が好きならば、英語の歌をじっくり鑑賞する機会にもなる。きっと意味がわからないまま耳に入ってくる英語の明るい曲も、歌詞を読解してみるとそこに意外な暗さがある。授業で取り上げる各曲の深い鑑賞を通じて、海の向こうにも同じ人生があり、あなたの人生によく似た苦楽があることが実感できるはずだ。

【到達目標】

- ・英語の歌詞を聞き取ることができる
- ・英語の歌詞から文章を再構成し、和訳を与えることができる。
- ・シンガロングの発想に基づいて、曲のストーリーを描くことができる。
- ・簡単な曲の場合、リズムに乗せて正しい英語の発音で歌うことができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

最大授業3回で英語の歌一曲に取り組む。学期の最後にプレゼンテーションを行う。それに向けてスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内および Google Classroom というクラス管理システム上で個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績は Google Classroom で個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Google や講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明	・授業の概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	日本語の歌 (Official 髭男 dism - Pretender)	・小テスト（予備日） ・歌の解釈

3	日本語の歌 (Official 髭男 dism - Pretender)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1
4	英語の歌1 (The Beatles - Norwegian Wood)	・歌詞を文に再構成する
5	英語の歌1 (The Beatles - Norwegian Wood)	・歌詞の和訳 ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	英語の歌1 (The Beatles - Norwegian Wood)	・歌の解釈
7	英語の歌2 (Mei Simones - I Can Do What I Want)	・歌詞を文に再構成する ・プレゼンテーション課題のグループ構成を発表 ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	英語の歌2 (Mei Simones - I Can Do What I Want)	・歌詞の和訳
9	英語の歌2 (Mei Simones - I Can Do What I Want)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成）
11	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・単語テスト ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習）
13	プレゼンテーション課題	・スクリプト・スライドの提出 ・プレゼンテーション本番1 ・英語での質疑応答
14	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番2 ・英語での質疑応答 ・投票用紙提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定した英語の曲の予習、あるいは宿題の取り組みを前提に進める。各曲は Google Classroom 上にアップロードされているリンクから聴くことができる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 一大学生のためのトピック別必修英単語一』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。 <http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード 大学出版局、2008年、4700円（税別）

【成績評価の方法と基準】

- ・スピーキング課題（英語か日本語の歌を自分で選び、授業での取り組みを参考にこれを解釈する。解釈した結果を英語で表現する。）35%
- ・授業内のパフォーマンス（歌詞を文章に再構築して、和訳して読解し、解釈を英語で発表するまでの一連の作業）30%
- ・ディクテーション課題 25%
- ・単語テスト 10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールはGoogle Classroomである。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザはFirefox、Google Chrome、Safariを推奨。Internet Explorerは非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

The learning material in the class is songs with English lyrics. You will listen to them carefully, translate their lyrics and interpret the songs. Since any good pop tunes have some depth (e.g. bright tunes actually have dark or philosophical themes.), throughout this class you will be experiencing the culture and life of individuals in the English-speaking world.

Objectives

- Ability to listen to English lyrics of the songs
- Ability to reconstruct them into sentences and to translate them
- Ability to interpret the songs
- Ability to sing easy ones with appropriate English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each song contains lyrics (of course!); you are required to reconstruct them into sentences and to translate them. Also, you are asked to interpret the song and to dig deep into it in terms of your (imagined or real) story. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 35%
- Performances in a class 30%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：共通言語としての音楽文化

森永 豊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

名曲やポップスなど、親しみやすい日本語と英語の歌を題材にして、邦楽と洋楽を鑑賞しながら日本語詞の英訳、英詞の和訳、および歌の解釈をする。曲に対して抱く自分のストーリーを英語で表現する。概して、総合的な英語力（四技能）を伸ばすことが目標となる。またこの授業では、歌を通して日本語と英語の奥行きを感じることができる。もしも音楽が好きならば、英語の歌をじっくり鑑賞する機会にもなる。きっと意味がわからないまま耳に入ってくる英語の明るい曲も、歌詞を読解してみるとそこに意外な暗さがある。授業で取り上げる各曲の深い鑑賞を通じて、海の向こうにも同じ人生があり、あなたの人生によく似た苦楽があることが実感できるはずだ。

【到達目標】

- ・英語の歌詞を聞き取ることができる
- ・英語の歌詞から文章を再構成し、和訳を与えることができる。
- ・シンガロングの発想に基づいて、曲のストーリーを描くことができる。
- ・簡単な曲の場合、リズムに乗せて正しい英語の発音で歌うことができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

最大授業3回で英語の歌一曲に取り組む。学期の最後にプレゼンテーションを行う。それに向けてスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内および Google Classroom というクラス管理システム上で個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績は Google Classroom で個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Google や講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明	・授業の概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	日本語の歌 (Ryuichi Sakamoto - 美貌の青空)	・小テスト（予備日） ・歌の解釈

3	日本語の歌 (Ryuichi Sakamoto - 美貌の青空)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1
4	英語の歌1 (John Mayer - Stop This Train)	・歌詞を文に再構成する
5	英語の歌1 (John Mayer - Stop This Train)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	英語の歌1 (John Mayer - Stop This Train)	・歌の解釈
7	英語の歌2 (Jacob Collier, Mahalia, Ty Dolla \$ign - All I Need)	・歌詞を文に再構成する ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	英語の歌2 (Jacob Collier, Mahalia, Ty Dolla \$ign - All I Need)	・文に再構成した歌詞の和訳
9	英語の歌2 (Jacob Collier, Mahalia, Ty Dolla \$ign - All I Need)	・歌の解釈 ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成）
11	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・単語テスト ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習）
13	プレゼンテーション課題	・スクリプト・スライドの提出 ・プレゼンテーション本番1 ・英語での質疑応答
14	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番2・英語での質疑応答・投票用紙提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定した英語の曲の予習、あるいは宿題の取り組みを前提に進める。各曲は Google Classroom 上にアップロードされているリンクから聴くことができる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 一大学生のためのトピック別必修英単語一』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード 大学出版局、2008年、4700円（税別）

【成績評価の方法と基準】

- ・スピーキング課題（英語か日本語の歌を自分で選び、授業での取り組みを参考にこれを解釈する。解釈した結果を英語で表現する。）35%
- ・授業内のパフォーマンス（歌詞を文章に再構築して、和訳して読解し、解釈を英語で発表するまでの一連の作業）30%
- ・ディクテーション課題 25%
- ・単語テスト 10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールはGoogle Classroomである。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザはFirefox、Google Chrome、Safariを推奨。Internet Explorerは非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

The learning material in the class is songs with English lyrics. You will listen to them carefully, translate their lyrics and interpret the songs. Since any good pop tunes have some depth (e.g. bright tunes actually have dark or philosophical themes.), throughout this class you will be experiencing the culture and life of individuals in the English-speaking world.

Objectives

- Ability to listen to English lyrics of the songs
- Ability to reconstruct them into sentences and to translate them
- Ability to interpret the songs
- Ability to sing easy ones with appropriate English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each song contains lyrics (of course!); you are required to reconstruct them into sentences and to translate them. Also, you are asked to interpret the song and to dig deep into it in terms of your (imagined or real) story. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 35%
- Performances in a class 30%
- Dictation assignments 25%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会

佐喜真 彩

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3では、English 1・2で修得した英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）を基盤に、アメリカの文化と社会を題材として総合的な英語運用能力をさらに発展させます。授業では、教科書『American Vibes: People, Places and Perspectives』を用い、アメリカの地域・人々・生活を扱うリーディングと、様々な話者のインタビュー映像を通して学習します。地域差や社会的背景に目を向けながら、多様な英語使用に触れ、内容理解と実践的な英語運用能力の向上を目指します。

具体的には、語彙・表現の確認、映像視聴を通じたリスニング課題、リーディング理解に加え、内容に基づく意見交換や短い発信活動（要約・コメント・発表）を行います。これにより、アメリカ社会における文化的多様性への理解を深めると同時に、情報を読み取り、聞き取り、整理し、自分の考えを英語で適切に伝える力の向上を目指します。

【到達目標】

授業終了時に、受講者は以下を達成することを目標とします。

1. アメリカの文化・社会に関する英文（教科書レベル）を読み、要点を整理して説明できる。
2. アメリカ各地域の多様な英語話者による映像・音声を聞き、主要情報を把握できる。
3. 扱ったトピックについて、根拠を示しながら自分の意見を英語で述べ、簡単な質疑応答ができる。
4. 異文化間コミュニケーションにおける言語的・文化的差異（話し方・価値観・前提）を理解し、相手に配慮した表現を選べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方】

基本的に教科書『American Vibes: People, Places and Perspectives』に沿って進めます。各回は概ね、①語彙・表現の確認、②映像視聴とリスニング課題、③リーディング（内容理解・要点整理）、④ペア／グループでの意見交換・ミニ発信（要約、コメント、短い発表）で構成します。必要に応じて補助教材を用い、地域やテーマへの理解を深めます。

【フィードバック方法】

毎回、授業で扱うリーディング内容に関する予習課題（Hoppii提出）を課し、理解度や疑問点を確認します。提出された質問・コメントは原則として次回授業で取り上げ、重要事項は全体で共有します。加えて、小テストや発表には簡単な講評を行い、次回以降の学習につなげます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	席決め、授業の説明、ウォームアップ。

2	Chapter1-1 Boston, Massachusetts	語彙・表現、ビデオタスク1、 リーディング1
3	Chapter1-2 Boston, Massachusetts	ビデオタスク2、リーディング 2、英語で意見交換
4	Chapter2-1 Maine1	語彙・表現、ビデオタスク1、 リーディング1
5	Chapter2-2 Maine2	ビデオタスク2、リーディング 2、英語で意見交換
6	Chapter3-1 New York City1	語彙・表現、ビデオタスク1、 リーディング1
7	Chapter3-2 New York City1	ビデオタスク2、リーディング 2、英語で意見交換
8	Chapter4-1 New York City2	語彙・表現、ビデオタスク1、 リーディング1
9	Chapter4-2 New York City2	ビデオタスク2、リーディング 2、英語で意見交換
10	Chapter5-1 Washington, D.C.	語彙・表現、ビデオタスク1、 リーディング1
11	Chapter5-2 Washington, D.C.	ビデオタスク2、リーディング 2、英語で意見交換
12	学生によるプレゼン 1	学生による口頭発表、リーディ ング
13	学生によるプレゼン 2	学生による口頭発表、リーディ ング
14	試験・まとめと解説	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

- ・（予習）授業内で示された課題に取り組んでください。
- ・（復習）テキストの映像を繰り返し視聴してください。

【テキスト（教科書）】

『American Vibes: People, Places and Perspectives』金星堂、2020年。

【参考書】

必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法：

以下の項目の合計点（100点満点）により評価を行います。

- ・平常点（予習課題の提出状況および授業への参加度）：40%
- ・小テストおよび口頭発表：20%
- ・期末試験：40%

※出席に関する注意事項：

各学期において欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位の修得を認めません。

遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

- ・積極的な授業参加を促すため、毎回ペア／グループワークを取り入れ、意見交換や短い発信活動を行います。
- ・「単語や表現は知っているが聞き取れない」という課題に対応するため、リスニングのポイント（音の連結・脱落・強勢など）を確認し、シャドーイング等の反復練習の方法を伝えます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・辞書を必ず持参してください。
- ・課題提出や配布資料のデータの共有等のために学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】

■ Course outline

In English 3, students will further develop their integrated English skills — reading, listening, writing, and speaking — building on what they learned in English 1 and 2, through the study of U.S. culture and society. Using the course textbook *American Vibes: People, Places and Perspectives*, students will explore readings and interview-based video materials featuring diverse regions, people, and everyday life in the United States. While paying attention to regional differences and social contexts, students will engage with a variety of Englishes used by different speakers.

Class activities include vocabulary and expression work, listening tasks based on video materials, reading comprehension, and interactive tasks such as discussions and short output activities (summaries, comments, and presentations). Through these practices, students will deepen their understanding of cultural diversity in American society and strengthen their ability to gather, interpret, and organize information, and to express their own ideas clearly and appropriately in English.

■ Learning Objectives

By the end of the course, students are expected to achieve the following outcomes:

1. Read textbook-level English texts on U.S. culture and society, identify key points, and explain them in an organized manner.
2. Understand audio/video materials featuring diverse English speakers from different regions of the United States and grasp the main information.
3. Present their opinions on course topics in English with supporting reasons and respond to simple questions and answers.
4. Recognize linguistic and cultural differences in intercultural communication (e.g., speaking styles, values, and assumptions) and choose expressions that show consideration for others.

■ Learning activities outside of classroom

Students are expected to spend approximately two hours per week on preparation and review for this course.

- ・ Preparation: Complete the assigned tasks indicated in class.
- ・ Review: Watch the textbook's video materials repeatedly to reinforce comprehension.

■ Grading Criteria/ Policy

Assessment

Students will be evaluated based on the total score out of 100 points, as follows:

- ・ Class performance (40%): submission of preparation assignments and active participation in class
- ・ Quizzes and oral presentations (20%)
- ・ Final exam (40%)

*Attendance Policy

As a general rule, students who are absent four times or more in a semester will not receive credit for the course.

Late arrival is permitted only if the student enters the classroom within 20 minutes of the start of class. Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会

佐喜真 彩

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3では、English 1・2で修得した英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）を基盤に、アメリカの文化と社会を題材として総合的な英語運用能力をさらに発展させます。授業では、教科書『American Vibes: People, Places and Perspectives』を用い、アメリカの地域・人々・生活を扱うリーディングと、様々な話者のインタビュー映像を通して学習します。地域差や社会的背景に目を向けながら、多様な英語使用に触れ、内容理解と実践的な英語運用能力の向上を目指します。

具体的には、語彙・表現の確認、映像視聴を通じたリスニング課題、リーディング理解に加え、内容に基づく意見交換や短い発信活動（要約・コメント・発表）を行います。これにより、アメリカ社会における文化的多様性への理解を深めると同時に、情報を読み取り、聞き取り、整理し、自分の考えを英語で適切に伝える力の向上を目指します。

【到達目標】

授業終了時に、受講者は以下を達成することを目指します。

1. アメリカの文化・社会に関する英文（教科書レベル）を読み、要点を整理して説明できる。
2. アメリカ各地域の多様な英語話者による映像・音声を聞き、主要情報を把握できる。
3. 扱ったトピックについて、根拠を示しながら自分の意見を英語で述べ、簡単な質疑応答ができる。
4. 異文化間コミュニケーションにおける言語的・文化的差異（話し方・価値観・前提）を理解し、相手に配慮した表現を選べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方】

基本的に教科書『American Vibes: People, Places and Perspectives』に沿って進めます。各回は概ね、①語彙・表現の確認、②映像視聴とリスニング課題、③リーディング（内容理解・要点整理）、④ペア／グループでの意見交換・ミニ発信（要約、コメント、短い発表）で構成します。必要に応じて補助教材を用い、地域やテーマへの理解を深めます。

【フィードバック方法】

毎回、授業で扱うリーディング内容に関する予習課題（Hoppii提出）を課し、理解度や疑問点を確認します。提出された質問・コメントは原則として次回授業で取り上げ、重要事項は全体で共有します。加えて、小テストや発表には簡単な講評を行い、次回以降の学習につなげます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	席決め、授業の説明、ウォームアップ。

2	Chapter6-1 Charleston, South Carolina	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
3	Chapter6-2 Charleston, South Carolina	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
4	Chapter7-1 Savannah, Georgia	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
5	Chapter7-2 Savannah, Georgia	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
6	Chapter9-1 Austin, Texas	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
7	Chapter9-2 Austin, Texas	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
8	Chapter10-1 Saint Jo, Texas	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
9	Chapter10-2 Saint Jo, Texas	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
10	Chapter11-1 Santa Fe, New Mexico	語彙・表現、ビデオタスク1、リーディング1
11	Chapter11-2 Santa Fe, New Mexico	ビデオタスク2、リーディング2、英語で意見交換
12	学生によるプレゼン1	学生による口頭発表、リーディング
13	学生によるプレゼン2	学生による口頭発表、リーディング
14	試験・まとめと解説	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

- ・（予習）授業内で示された課題に取り組んでください。
- ・（復習）テキストの映像を繰り返し視聴してください。

【テキスト（教科書）】

『American Vibes: People, Places and Perspectives』金星堂、2020年。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社、1999）、および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法：

以下の項目の合計点（100点満点）により評価を行います。

- ・平常点（予習課題の提出状況および授業への参加度）：40%
- ・小テストおよび口頭発表：20%
- ・期末試験：40%

※出席に関する注意事項：

各学期において欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位の修得を認めません。

遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

・積極的な授業参加を促すため、毎回ペア／グループワークを取り入れ、意見交換や短い発信活動を行います。

・「単語や表現は知っているが聞き取れない」という課題に対応するため、リスニングのポイント（音の連結・脱落・強勢など）を確認し、シャドーイング等の反復練習の方法を伝えます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・辞書を必ず持参してください。
- ・課題提出や配布資料のデータの共有等のために学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】

■ Course outline

In English 3, students will further develop their integrated English skills — reading, listening, writing, and speaking — building on what they learned in English 1 and 2, through the study of U.S. culture and society. Using the course textbook *American Vibes: People, Places and Perspectives*, students will explore readings and interview-based video materials featuring diverse regions, people, and everyday life in the United States. While paying attention to regional differences and social contexts, students will engage with a variety of Englishes used by different speakers.

Class activities include vocabulary and expression work, listening tasks based on video materials, reading comprehension, and interactive tasks such as discussions and short output activities (summaries, comments, and presentations). Through these practices, students will deepen their understanding of cultural diversity in American society and strengthen their ability to gather, interpret, and organize information, and to express their own ideas clearly and appropriately in English.

■ Learning Objectives

By the end of the course, students are expected to achieve the following outcomes:

1. Read textbook-level English texts on U.S. culture and society, identify key points, and explain them in an organized manner.
2. Understand audio/video materials featuring diverse English speakers from different regions of the United States and grasp the main information.
3. Present their opinions on course topics in English with supporting reasons and respond to simple questions and answers.
4. Recognize linguistic and cultural differences in intercultural communication (e.g., speaking styles, values, and assumptions) and choose expressions that show consideration for others.

■ Learning activities outside of classroom

Students are expected to spend approximately two hours per week on preparation and review for this course.

- ・ Preparation: Complete the assigned tasks indicated in class.
- ・ Review: Watch the textbook's video materials repeatedly to reinforce comprehension.

■ Grading Criteria/ Policy

Assessment

Students will be evaluated based on the total score out of 100 points, as follows:

- ・ Class performance (40%): submission of preparation assignments and active participation in class
- ・ Quizzes and oral presentations (20%)
- ・ Final exam (40%)

*Attendance Policy

As a general rule, students who are absent four times or more in a semester will not receive credit for the course.

Late arrival is permitted only if the student enters the classroom within 20 minutes of the start of class. Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：J-Pop Cultureを英語で表現

永田 喜文

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

外国語で表現するためには、日本語を訳（特に直訳）したのでは通じないことは誰もが知っているところです。それは英語も例外ではありません。所謂「使える」「通じる」英語を身に着けるための最も近道は、ネイティブが使う表現を暗記し、それを状況や場面（所謂TPO）にあうように選び、適宜変更することです。そのためにJ-Pop culture（日本のポップカルチャー）について書かれたネット上の平易な記事をテキストに、様々な文章パターンを学び(input)、同時にそのパターンを使用していかに日本文化を表現するか(output)を学びます。四技能を伸ばしつつ、「使える」表現を身に着けることがこの授業のテーマとなります。

【到達目標】

以下の3点を最終目標とします。

- ①J-Pop culture(日本のポップカルチャー)を紹介する記事が読め、どのようにして外国文化を英語で表現するかを学ぶことができる。
- ②記事の朗読や英語の動画を聴いて理解できる。
- ③J-Pop culture(日本のポップカルチャー)を学んだ表現を十分に活用して、相応しい英語でnative speakersに日本文化を紹介できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

日本文化を紹介した生の英語を、「意識的に」「問題意識を常にもちながら」読むことで、そこから得た情報（フレーズ、文章スタイル、文法、段落の形式なども含む）を活用する方法を学びます。そのために、paraphrasingやpattern practiceといった基本的な練習も取り入れて学びます。場合によっては視覚的に表現方法の学習を助ける目的で、ニュースなどの映像資料も使います。

ほぼ毎回、授業後には課題が出ます。課題は締め切りまでにHoppiを通じて提出してもらいます。課題などのフィードバックはHoppiを通じて、もしくは、教室で随時行います。

リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、更なる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Guidance	春学期使用の教科書と授業計画について。
第2回	Pattern Practice	Pattern Practiceのやり方を実践を通じて学びます
第3回	Tips for Listening	リスニングのコツ（初級）を前もって学びます
第4回	Unit 1: Learning Japanese from Scratch and My Love for Japanese Culture	"1. Seize the Situation 2. Let's Talk! 3. Vocabulary Building A 4. Paragraph Reading A Focus on Grammar assignments"

第5回	Unit 1: Learning Japanese from Scratch and My Love for Japanese Culture ②	"5. Vocabulary Building B 6. Paragraph Reading B 7. Listening assignments"
第6回	Unit 2: Manga 101 — Basic Walk-through of the Manga World ②	"1. Seize the Situation 2. Let's Talk! 3. Vocabulary Building A 4. Paragraph Reading A Focus on Grammar assignments"
第7回	Unit 2: Manga 101 — Basic Walk-through of the Manga World ②	"5. Vocabulary Building B 6. Paragraph Reading B 7. Listening assignments"
第8回	Review	Review of Class 2&3, Unit 1 &2
第9回	Unit 3: Kawaii — Japan's "Soft Power"	"1. Seize the Situation 2. Let's Talk! 3. Vocabulary Building A 4. Paragraph Reading A Focus on Grammar assignments"
第10回	Unit 3: Kawaii — Japan's "Soft Power"②	"5. Vocabulary Building B 6. Paragraph Reading B 7. Listening assignments"
第11回	Unit 4: About Anime and Censorship	"1. Seize the Situation 2. Let's Talk! 3. Vocabulary Building A 4. Paragraph Reading A Focus on Grammar assignments"
第12回	Unit 4: About Anime and Censorship ②	"5. Vocabulary Building B 6. Paragraph Reading B 7. Listening assignments"
第13回	Review of later half	Review of Unit 3 nad 4
第14回	総括	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業前にHoppiを確認すること。配布資料はすべてHoppiを通じて配布します。なお、対面／オンラインを問わず、配布資料は必ず印刷しておくこと。印刷していない場合は、欠席となります。単語、熟語などをあらかじめ調べておく。複雑な文章の場合には訳を書きだす。また日本文化を表現するために、単語やフレーズなどをピックアップしておく。予習は必須。していない場合は準備学習ができていないとして、減点となる。

各課共通だが、①Close Up（日本語）/ Punch Lineは授業前に熟読し、記事の背景を把握しておく。②Word Checkは予習の段階でやっておく。③TOEIC Reading ExercisesはTOEIC Part 7対策の練習問題です。予習の段階で、答を出しておく。④Effective Writing of News Storiesでは英語による表現方法を学ぶ。復習はこれらを整理し、問題点などを整理する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

内田 均 編著/ 永田喜文 編著ほか 『ポップカルチャーで日本を表現 J-Pop Culture on the Net』 発行日 2015/04/10 ISBN978-4-384-33452-4 C1082
定価 本体2,300円＋税

【参考書】

各課の内容に応じて、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（30%）、平常点（小テスト、レポート、プレゼン、授業内外提出物、授業に取り組む姿勢、準備学習など）（70%）から総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

いつも新しいことに挑戦するという意識を共有したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

対面の際には授業中にHoppiにアクセス可能な機材（ノートパソコン、スマートフォンなど）を必ず携帯してください（授業中の発言などは全てHoppiを通じて行います）。

【その他の重要事項】

春学期は5月になってもテキストを購入しない学生には単位を与えない場合がある。

辞書は必ず携帯すること。本型、電子辞書の形は問わないが、スマートフォンやタブレットなどのオンライン辞書の使用は禁ずる。また、授業で指示されたこと以外のスマートフォンの使用に対しては厳しく処置する。意欲的に学習しないもの（発言拒否、提出物の未提出、授業態度不良）などには厳しく対処する。減点の場合もある。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to acquire "useful" English expressions in different scenes. First, we will learn various English expressions (sentence patterns) through English articles on Japanese pop-culture to show Japanese culture

【Input】. Next, we will learn how to change these sentences properly to show what Japanese [popular] culture is like; in other words, we will learn how to use these 'sentence patterns' in order to express our [popular] culture in English 【output】. Learning activities outside of classroom: before each class, you have to look up words and phrases from the textbook in your dictionary at least. You don't always have to translate your textbook into Japanese but you have to read through the passage.

After the class, you have to sort out what you learnt in the class. In almost every class you will be given an assignment and you are expected to submit it through Hoppi by each deadline. You are expected to spend one hour and more on preparing and reviewing each class.

Grading Criteria /Policy: class activities (incl. quizzes and assignments)×70%+final examination×30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：J-Pop Cultureを英語で表現

永田 喜文

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に学んだことを基礎に、J-Pop culture（日本のポップカルチャー）について書かれたネット上の平易な記事をテキストに、より様々な文章パターンを学び(input)、同時にそのパターンを使用していかに日本文化を表現するか(output)を学びます。四技能を伸ばしつつ、「使える」表現を身に着けることがこの授業のテーマとなります。

【到達目標】

以下の3点を最終目標とします。

- ① J-Pop culture(日本のポップカルチャー)を紹介する記事が読め、どのようにして外国文化を英語で表現するかを学ぶことができる。
- ② 記事の朗読や英語の動画を聴いて理解できる。
- ③ J-Pop culture(日本のポップカルチャー)を学んだ表現を十分に活用して、相応しい英語でnative speakersに日本文化を紹介できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

日本文化を紹介した生の英語を、「意識的に」「問題意識を常にもちながら」読むことで、そこから得た情報（フレーズ、文章スタイル、文法、段落の形式なども含む）を活用する方法を学びます。そのために、paraphrasingやpattern practiceといった基本的な練習も取り入れて学びます。場合によっては視覚的に表現方法の学習を助ける目的で、ニュースなどの映像資料も使います。

ほぼ毎回、授業後には課題が出ます。課題は締め切りまでにHoppiを通じて提出してもらいます。課題などのフィードバックはhoppiを通じて、もしくは、教室で随時行います。

リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、更なる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Guidance	秋学期使用の教科書と授業計画について。
第2回	Listening Tips ①	Listeningのコツ（実践編）を学びます
第3回	Listening Tips ②	TOEICのリスニングに特化したコツを学びます
第4回	Unit 5 In Japan, Food Can Be Almost Too Cute to Eat	"1. Seize the Situation 2. Let's Talk! 3. Vocabulary Building A 4. Paragraph Reading A Focus on Grammar assignments"

第5回	Unit 5 In Japan, Food Can Be Almost Too Cute to Eat ②	"5. Vocabulary Building B 6. Paragraph Reading B 7. Listening assignments"
第6回	Unit 6 Fake Food Japanese Style That Looks Good Enough to Eat ②	"1. Seize the Situation 2. Let's Talk! 3. Vocabulary Building A 4. Paragraph Reading A Focus on Grammar assignments"
第7回	Unit 6 Fake Food Japanese Style That Looks Good Enough to Eat ②	"5. Vocabulary Building B 6. Paragraph Reading B 7. Listening assignments"
第8回	Review	Review of Class 2&3, Unit 5 &6
第9回	Unit 7 Japan's Most Dangerous Game — Rock, Paper, Scissors ②	"1. Seize the Situation 2. Let's Talk! 3. Vocabulary Building A 4. Paragraph Reading A Focus on Grammar assignments"
第10回	Unit 7 Japan's Most Dangerous Game — Rock, Paper, Scissors ②	"5. Vocabulary Building B 6. Paragraph Reading B 7. Listening assignments"
第11回	Unit 8 Japanese Comedy — What's So Funny? ②	"1. Seize the Situation 2. Let's Talk! 3. Vocabulary Building A 4. Paragraph Reading A Focus on Grammar assignments"
第12回	Unit 8 Japanese Comedy — What's So Funny? ②	"5. Vocabulary Building B 6. Paragraph Reading B 7. Listening assignments"
第13回	Review of later half	Review of Unit 7 nad 8
第14回	総括	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業前にHoppiを確認すること。配布資料はすべてHoppiを通じて配布します。なお、対面／オンラインを問わず、配布資料は必ず印刷しておくこと。印刷していない場合は、欠席となります。単語、熟語などをあらかじめ調べておく。複雑な文章の場合には訳を書きだす。また日本文化を表現するために、単語やフレーズなどをピックアップしておく。予習は必須。していない場合は準備学習ができていないとして、減点となる。

各課共通だが、①Close Up（日本語）/ Punch Lineは授業前に熟読し、記事の背景を把握しておく。②Word Checkは予習の段階でやっておく。③TOEIC Reading ExercisesはTOEIC Part 7対策の練習問題です。予習の段階で、答を出しておく。④Effective Writing of News Storiesでは英語による表現方法を学ぶ。

復習はこれらを整理し、問題点などを整理する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

内田 均 編著/ 永田喜文 編著ほか 『ポップカルチャーで日本を表現 J-Pop Culture on the Net』 発行日 2015/04/10 ISBN978-4-384-33452-4 C1082

定価 本体2,300円＋税

【参考書】

各課の内容に応じて、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験（30%）、平常点（小テスト、レポート、プレゼン、授業内外提出物、授業に取り組む姿勢、準備学習など）（70%）から総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

いつも新しいことに挑戦するという意識を共有したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

対面の際には授業中にHoppiにアクセス可能な機材（ノートパソコン、スマートフォンなど）を必ず携帯してください（授業中の発言などは全てHoppiを通じて行います）。

【その他の重要事項】

秋学期は10月になってもテキストを購入しない学生には単位を与えない場合がある。

辞書は必ず携帯すること。本型、電子辞書の形は問わないが、スマートフォンやタブレットなどのオンライン辞書の使用は禁ずる。また、授業で指示されたこと以外のスマートフォンの使用に対しては厳しく処置する。意欲的に学習しないもの（発言拒否、提出物の未提出、授業態度不良）などには厳しく対処する。減点の場合もある。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to acquire "useful" English expressions in different scenes. First, we will learn various English expressions (sentence patterns) through English articles on J Pop-culture to show Japanese culture 【Input】.Next, we will learn how to change these sentences properly to show what Japanese [popular] culture is like; in other words, we will learn how to use these 'sentence patterns' in order to express our [popular] culture in English 【output】 .

Learning activities outside of classroom: before each class, you have to look up words and phrases from the textbook in your dictionary at least. You don't always have to translate your textbook into Japanese but you have to read through the passage.

After the class, you have to sort out what you learnt in the class. In almost every class you will be given an assignment and you are expected to submit it through Hoppi by each deadline. You are expected to spend one hour and more on preparing and reviewing each class.

Grading Criteria /Policy: class activities (incl. quizzes and assignments)×70%+final examination×30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Current Affairs: Critical Explorations of Diversity, Equity, and Inclusion

藤野 悠子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

In many parts of the world today, diversity, equity, and inclusion (DEI) have become ubiquitous but also often contentious. Many of you who are of traditional college age and part of Generation Z have most likely grown up knowing about diversity in schools and in society in general, but perhaps have not delved into what exactly diversity, equity, and inclusion mean, especially in contexts outside of their own countries of upbringing.

In this class, while honing all four English language skills – listening, speaking, reading, and writing – in an integrated manner, students will learn the basics of DEI through a book published in 2021 that is written by and intended mainly for Americans. This means that students will learn about DEI in the context of the United States until around 2020, but they will also get to examine their own identities and compare and contrast the ideas in the readings with the state of affairs in Japan. Finally, students will have a chance to explore how they can critically engage with DEI in their lives as students and beyond.

【到達目標】

The main learning goals of this course are to:

- 1) Acquire basic knowledge of diversity, equity, and inclusion (DEI), and gain an enhanced understanding of the differences and similarities across societies and cultures.
- 2) Practice analytical and critical thinking skills in relation to DEI and the society and world we live in today.
- 3) Develop English proficiency further in listening, speaking, reading, and writing, including the ability to effectively and thoughtfully express ideas and feelings, ask questions, and form opinions.
- 4) Become more confident doing research and presentation in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

As students in this class, you will have a chance to familiarize yourselves with the core components of diversity, equity, and inclusion (DEI) through critically reading the assigned book. You will sort through your own reactions to the readings and formulate them into reflective writings. You will exchange ideas and reflections in pairs and small groups, and also have opportunities for group work in class. You will do some research on a specific topic outside of class and give a short presentation. Oral feedback will be provided in interactions throughout the course, and written feedback will be offered to your writings and presentation.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, getting to know each other, ground rules for the class
2	Understanding Yourself: Chapters 1-2	Chapter 1 Who Am I? Chapter 2 What is My Culture?
3	Understanding Yourself: Chapters 3-4	Chapter 3 Who are My People? Chapter 4 What are My Values?
4	Understanding Yourself: Chapters 5-6	Chapter 5 How do I Define Myself? Chapter 6 I'm Not Biased! (Am I?)
5	Understanding Yourself: Chapters 7-8	Chapter 7 My Stereotypes Chapter 8 My Worldview
6	Understanding Diversity: Chapters 9-10	Chapter 9 What is Diversity? Chapter 10 Why Diversity Matters
7	Understanding Diversity: Chapters 11-12	Chapter 11 Equality vs. Equity Chapter 12 What is Inclusion?
8	Student Presentations #1 and Feedback	First half of class will give their short presentations on specific topics of their choice
9	Understanding Others: Chapter 13	Chapter 13 Understanding Diversity of Race and Ethnicity
10	Understanding Others: Chapter 14	Chapter 14 Understanding Diversity of Gender
11	Understanding Others: Chapter 15	Chapter 15 Understanding Diversity of Sexual Orientation
12	Understanding Others: Chapter 16	Chapter 15 Understanding Diversity of Nationality/Immigration Status
13	Student Presentations #2, Feedback, and Wrap-Up	Second half of class will give their short presentations on specific topics of their choice. Wrapping up the term in preparation for the final exam.
14	Final Exam	In-class final exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

You must finish the assigned reading tasks before coming to class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Lisa D. Jenkins and Jennifer P. Wisdom (2021). Millennials' Guide to Diversity, Equity & Inclusion: What No One Ever Told You About The Importance of Diversity, Equity, and Inclusion. Winding Pathway Books.

【参考書】

More details on how the following references can be used to enhance your learning will be shared in class.

PBS NewsHour <https://www.pbs.org/newshour/>

NPR News <https://www.npr.org/sections/news/>

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Attendance and participation (20%)*
- 2) Reflective writings (30%)
- 3) Short presentation (20%)
- 4) Final Exam (30%)

*Regular attendance is essential in order to benefit from this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods per term except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor is teaching this class for the first time this year and has not received any student comments in previous years.
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

In many parts of the world today, diversity, equity, and inclusion (DEI) have become ubiquitous but also often contentious. Many of you who are of traditional college age and part of Generation Z have most likely grown up knowing about diversity in schools and in society in general, but perhaps have not delved into what exactly diversity, equity, and inclusion mean, especially in contexts outside of their own countries of upbringing.

In this class, while honing all four English language skills – listening, speaking, reading, and writing – in an integrated manner, students will learn the basics of DEI through a book published in 2021 that is written by and intended mainly for Americans. This means that students will learn about DEI in the context of the United States until around 2020, but they will also get to examine their own identities and compare and contrast the ideas in the readings with the state of affairs in Japan. Finally, students will have a chance to explore how they can critically engage with DEI in their lives as students and beyond.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Current Affairs: Critical Explorations of Diversity, Equity, and Inclusion

藤野 悠子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is a continuation of "English 3 I: Current Affairs: Critical Explorations of Diversity, Equity, and Inclusion" from the previous term.

In many parts of the world today, diversity, equity, and inclusion (DEI) have become ubiquitous but also often contentious. Many of you who are of traditional college age and part of Generation Z have most likely grown up knowing about diversity in schools and in society in general, but perhaps have not delved into what exactly diversity, equity, and inclusion mean, especially in contexts outside of their own countries of upbringing.

In this class, while honing all four English language skills – listening, speaking, reading, and writing – in an integrated manner, students will learn the basics of DEI through a book published in 2021 that is written by and intended mainly for Americans. This means that students will learn about DEI in the context of the United States until around 2020, but they will also get to examine their own identities and compare and contrast the ideas in the readings with the state of affairs in Japan. Finally, students will have a chance to explore how they can critically engage with DEI in their lives as students and beyond.

【到達目標】

The main learning goals of this course are to:

- 1) Acquire basic knowledge of diversity, equity, and inclusion (DEI), and gain an enhanced understanding of the differences and similarities across societies and cultures.
- 2) Practice analytical and critical thinking skills in relation to DEI and the society and world we live in today.
- 3) Develop English proficiency further in listening, speaking, reading, and writing, including the ability to effectively and thoughtfully express ideas and feelings, ask questions, and form opinions.
- 4) Become more confident doing research and presentation in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

As students in this class, you will have a chance to familiarize yourselves with the core components of diversity, equity, and inclusion (DEI) through critically reading the assigned book. You will sort through your own reactions to the readings and formulate them into reflective writings. You will exchange ideas and reflections in pairs and small groups, and also have opportunities for group work in class. You will do some research on a specific topic outside of class and give a short presentation. Oral feedback will be provided in interactions throughout the course, and written feedback will be offered to your writings and presentation.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Re-Introduction Understanding Others: Chapter 17	Reviewing the ground rules for the class. Chapter 17 Understanding Diversity of Disability
2	Understanding Others: Chapter 18	Chapter 18 Understanding Diversity of Religion & Worldviews
3	Understanding Others: Chapter 19	Chapter 19 Understanding Diversity of Poverty and Wealth Inequality
4	Understanding Others: Chapter 20	Chapter 20 Understanding Diversity of Age
5	Understanding Others: Chapter 21	Chapter 21 Privilege
6	Understanding Others: Chapters 22-23	Chapter 22 Intersectionality Chapter 23 A guide to -isms
7	Student Presentations #1 and Feedback	First half of class will give their short presentations on specific topics of their choice
8	Making Our Way in the World: Chapters 24-25	Chapter 24 Being Mindful Chapter 25 Being and Ally and an Advocate
9	Making Our Way in the World: Chapters 26-27	Chapter 26 Pre-judgements and Prejudices Chapter 27 Intentional Communication
10	Making Our Way in the World: Chapters 28-29	Chapter 28 What Is My Body Saying? Chapter 29 How to Apologize and Mean It
11	How to Change the World: Chapters 30-31	Chapter 30 Building Belonging Chapter 31 Building Bridges
12	How to Change the World: Chapters 32-33	Chapter 32 Communicating for Change Chapter 33 Communicating for Growth
13	Student Presentations #2, Feedback, and Wrap-Up	Second half of class will give their short presentations on specific topics of their choice. Wrapping up the term in preparation for the final exam.
14	Final Exam	In-class final exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

You must finish the assigned reading tasks before coming to class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Lisa D. Jenkins and Jennifer P. Wisdom (2021). Millennials' Guide to Diversity, Equity & Inclusion: What No One Ever Told You About The Importance of Diversity, Equity, and Inclusion. Winding Pathway Books.

【参考書】

More details on how the following references can be used to enhance your learning will be shared in class.
PBS NewsHour <https://www.pbs.org/newshour/>
NPR News <https://www.npr.org/sections/news/>

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:

- 1) Attendance and participation (20%)*
- 2) Reflective writings (30%)
- 3) Short presentation (20%)
- 4) Final Exam (30%)

*Regular attendance is essential in order to benefit from this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods per term except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor is teaching this class for the first time this year and has not received any student comments in previous years. 本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

This course is a continuation of "English 3 I:Current Affairs: Critical Explorations of Diversity, Equity, and Inclusion" from the previous term.

In many parts of the world today, diversity, equity, and inclusion (DEI) have become ubiquitous but also often contentious. Many of you who are of traditional college age and part of Generation Z have most likely grown up knowing about diversity in schools and in society in general, but perhaps have not delved into what exactly diversity, equity, and inclusion mean, especially in contexts outside of their own countries of upbringing.

In this class, while honing all four English language skills – listening, speaking, reading, and writing – in an integrated manner, students will learn the basics of DEI through a book published in 2021 that is written by and intended mainly for Americans. This means that students will learn about DEI in the context of the United States until around 2020, but they will also get to examine their own identities and compare and contrast the ideas in the readings with the state of affairs in Japan. Finally, students will have a chance to explore how they can critically engage with DEI in their lives as students and beyond.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Aspects of the English Speaking World

Robert D. Hinton

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report

Week 8	Menchie's	Writing about favorite fast food outlet
Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Aspects of the English-Speaking World

K r e g g J o h n s t o n

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

【到達目標】

Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course. Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 1 Embrace stress	Vocabulary and listening development Introduction of Google Classroom for course
Week 2	Reading: The stressed-out generation TED talks: How to make stress your friend	Involving the audience Gerund/infinitives
Week 3	Quiz chapter 1 Chapter 2 Media influences	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: Superheros as role models TED talks: How movies teach manhood	Relative clauses Effect of Media Knowing your audience
Week 5	Quiz chapter 2 Ch 3 Development	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: The economics of happiness TED talks: Global population growth	Describing goals and ambitions Adding points to an explanation Present perfect simple/continuous

Week 7	Quiz chapter 3 Presentation: Favorite fictional character/Wealth distribution in a country	Presentations on Favorite fictional character/Wealth distribution in a country
Week 8	Ch 4 Secrets & lies	Vocabulary and listening development
Week 9	Reading: Lies we need to tell TED talks: How to spot a liar	Collocations Giving examples Modals of deduction & speculation
Week 10	Quiz chapter 4 Ch 5 To the edge	Vocabulary and listening development
Week 11	Reading: Magic man TED talks: How I held my breath for 17 minutes	Time expressions Stating challenges and successes Explaining technical words
Week 12	Quiz chapter 5 Ch 6 Money matters	Vocabulary and listening development
Week 13	Reading: Giving something back TED talks: Giving away wealth	Collocations Listening for main ideas Phrasal verbs Authenticity
Week 14	Quiz chapter 6 Presentation: Explaining a significant achievement	Presentation: Explain your most significant achievement

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト (教科書)】

Dummet, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

【参考書】

www.vocabularysize.com

<https://quizlet.com/KreggJ/folders>

<https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/>

【成績評価の方法と基準】

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

* In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on discussion and presentation skills.

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms as it relates to aspects of the English speaking world.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Further develop knowledge and skills gained in English 1 & 2 classes.
- Develop critical thinking skills on important current issues.
- More effectively integrate usage of the four skill areas (reading, listening, speaking, and writing) in a variety of English communication situations

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Aspects of the English-Speaking World

K r e g g J o h n s t o n

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

【到達目標】

Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 7 Medical frontiers	Vocabulary and listening development
Week 2	Reading: Just press print TED talks: Problem of prosthetic limbs	Modals of probability Signpost language Body movement & gestures
Week 3	Quiz chapter 7 Chapter 8 Life decisions	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: The defining decade TED talks: Why the 30's is not the new 20's	Future perfect/future perfect progressive Listing for opinions Describing milestones
Week 5	Quiz chapter 8 Ch 9 Technology & innovation	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: Drones TED talks: Robots that can fly and cooperate	Clues from context 1st & 2nd conditional Referring to visuals Debating
Week 7	Quiz chapter 9 Presentation: Robotic surgery: for or against	Presentations whether robotic surgery should be allowed

Week 8	Ch 10 Connections	Vocabulary and listening development
Week 9	Reading: The lost art of listening TED talks: 5 ways to listen better	Reported speech Identifying cause & effect Summarizing with acronyms
Week 10	Quiz chapter 10 Ch 11 Life in the slow lane	Vocabulary and listening development
Week 11	Reading: Your brain on nature TED talks: Cloudy w/ a chance of joy	Articles & quantifiers Repeating main ideas Showing enthusiasm
Week 12	Quiz chapter 11 Ch 12 Make yourself heard	Vocabulary and listening development
Week 13	Reading: Whistle blowers TED talks: Dare to disagree	3rd & mixed conditionals Listen for stressed words Using pauses
Week 14	Quiz chapter 12 Presentation: A vacation spot where people can slow down and enjoy nature	Presentation on a place where people can slow down and enjoy nature

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト (教科書)】

Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

【参考書】

www.vocabularysize.com

https://quizlet.com/KreggJ/folders

https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/

【成績評価の方法と基準】

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

* Students must attend class regularly in order to pass. Excessive absences and tardiness will result in failure of the course

In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on discussion and presentation skills.

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms as it relates to aspects of the English speaking world.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Further develop knowledge and skills gained in English 1 & 2 classes.
- Develop critical thinking skills on important current issues.
- More effectively integrate usage of the four skill areas (reading, listening, speaking, and writing) in a variety of English communication situations

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Modern English Speaking & Listening Communication Skills (English 3I R2127)

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	[All SCHEDULE items are tentative...&might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] Introductions, in smoothly, natural, friendly English. News video #1/TED Talk video #1.	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.

第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第3回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans. Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2. Speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued). Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #3, part 1. Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第4回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	
第5回	"How are you?"	
第6回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.	
第7回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic. Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第8回	News or TED Talk video #4, part 1.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video. Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第9回	News or TED Talk video #4, part 2.	
第10回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	
第11回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (&give opinions about) that video, in smooth, spoken English. Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (&give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Review for the Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第12回	News or TED Talk video #5, part 2./ Review of Exam topics studied and discussed during the Spring semester.	
第13回	Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Spring semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第14回	Students will be asked to speak about their Summer Break plans.	Students will speak about their future Summer Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); in-class performance (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF 3.0 ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo

{+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/ have a fever/ coughing/ sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/ Influenza/ Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/ sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【-】

—

【Outline (in English)】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Modern English Speaking & Listening Communication Skills (English 3II R2128)

Robert Durham

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor.

Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	*[All SCHEDULE items are tentative...&might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] "How was your Summer Break?"[Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.

第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第3回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第4回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第5回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第6回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第7回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第8回	"The Seven W's": (Questions about Who...? /What...? /When...? /Where...? /Why...? /Which...? /How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".
第9回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...&to explain them in spoken English.
第10回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第11回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.
第12回	Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christmas/ OhShoGatsu plans.	Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.

- 第13回 SPEAKING exam, Speaking exam. Students will re: topics studied be asked to reply, in smooth and discussed spoken English, to questions during the Fall semester. about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
- 第14回 "How was your Students will speak about their OhShoGatsu?" + recent OhShoGatsu Students will be activities...and about their asked to speak about future Winter Break plans. their Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF 3.0 ABSENCES IS ALLOWED...&ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to every class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo

{+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/ have a fever/ coughing/ sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/ Influenza/ Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/ sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...&ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【-】

—

【Outline (in English)】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界から見た日本，日本から見た世界

宇治谷 義英

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力を更に深めます。またこれら4技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュースメディアにおける日本についての情報を読み、聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読，学生による特定のトピックについての発表，英作文，ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答，コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	授業の説明，ウォームアップ。
2	"Everyone in Japan will be called Sato by 2531 unless marriage law changed, says professor" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
3	"The Guardian view on smartphones and children: a compelling case for action" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。

4	"Japan to allow divorced parents to share custody of children" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
6	"The Guardian view on the cost of a cashless society: the most vulnerable will pay" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
7	これまでの確認，議論	議論と確認テスト
8	"Tokyo battles surge of destructive raccoons that went from pet to pest" (<i>The Guardian Tokyo battles surge of destructive raccoons that went from pet to pest</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
10	"The Guardian view on culture: fight for the arts in our era of austerity" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"The Guardian view on the rule of law in Hong Kong: the verdict of foreign judges is damning" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"The Guardian view on the right to fail in the arts: a principle that must be upheld" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語，表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備，そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

扱う記事の入手方法（URL等）は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999）, および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表に対するフィードバックにも重点を置きたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how Japan is viewed from outside through US or UK media and try to express their own opinion in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be at least one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界から見た日本、日本から見た世界

宇治谷 義英

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力を更に深めます。またこれら4技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、春学期に続いて、英米のニュースメディアにおける日本についての情報を読み、聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	"I couldn't say no' anger grows over topless medical exams in Japan schools" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
2	"The Guardian view on the teacher shortage: flexibility and career breaks could help" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。

3	"Japanese man who spent 46 years on death row cleared of murders" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
4	"The Guardian view on Israel and the UN: undermining a vital institution" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
6	"The Guardian view on the return of President Trump: a bleak day for America and the world" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
7	これまでの確認、議論	議論と確認テスト
8	"The Guardian view on a showtrial in Hong Kong: a new authoritarian low" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
10	"Hatsune Miku has a special part in my heart" (<i>The Guardian</i>) (前半) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"The Guardian view on a new wave of biographical films: creative risks that redefine history" (<i>The Guardian</i>) (後半) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"Why it costs 37 cents to make Japan's bullet trains run on time" (<i>The Financial Times</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

扱う記事の入手方法（URL等）は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社、1999）、および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表に対するフィードバックにも重点を置きたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how Japan is viewed from outside through US or UK media and try to express their own opinion in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be at least one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: American Business Culture - Undercover Boss

Robert D. Hinton

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report

Week 8	Menchie's	Writing about favorite fast food outlet
Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：American Business Culture - Undercover Boss

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Influential people and ideas and their impact on Japan

K r e g g J o h n s t o n

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in other cultures and their impact on Japan.

【到達目標】

Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The course will utilize pair work and group work for discussion activities.

There will be regular homework periodic quizzes on material studied.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class whenever possible and will be distributed through Google Classroom.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Course	Course expectations
	Introduction	Partner interviews & intros
	Ice breakers	Language assessment
Week 2	Unit 1: Making a difference	Giving help
	vocabulary	Expressing Wishes and beliefs
	Listening	Present vs past continuous
	Language focus	
Week 3	Unit 1: Reading	Food mission
	Ted talk	Life lessons
Week 4	Unit 1: discussion	"Impactful people in Japan"
		Present & discuss
Week 5	Quiz: unit 1	Quiz
	Unit 2: Trends	Vocabulary : change
Week 6	Unit 2: listening	Confirmation of ideas
	Language focus	Future forms/ predictions
	Reading	Identifying trends
Week 7	Unit 2: Ted talk	Starting a movement
	Discussion	Trend predictions
Week 8	Quiz: Unit 2	Quiz
	Unit 3: Improving lives	Vocabulary of healthcare
Week 9	Unit 3: listening	Stating benefits of situations
	Language focus	Cause/ effect expressions
	Reading	Alzheimer's challenge

Week 10	Unit 3: Ted talk	Health-care invention
	Discussion	Finding solutions to problems
Week 11	Quiz: Unit 3	Quiz
	Unit 4 Technology & Design	Describing features
Week 12	Unit 4: Listening	Listing expressions
	Language focus	Comparison
	Reading	Website - large scale
Week 13	Unit 4: Ted talk	Website design
	Discussion	Evaluate website design
Week 14	Quiz unit 4	Quiz
	Course wrap - up	Course wrap - up

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト (教科書)】

Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 3, Cengage Learning, ISBN: 979-8-214-33387-8

【参考書】

www.vocabularysize.com

https://quizlet.com/KreggJ/folders

https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/

【成績評価の方法と基準】

Homework 25%

Class participation 10%

Quizzes/Tests 50%

In-class performance 15%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

* Students must attend class regularly in order to pass. Excessive absences and tardiness will result in failure of the course

【学生の意見等からの気づき】

1st time teaching this course

【Outline (in English)】

Students will learn about issues facing cultures around the world and will develop their ability to form and express their own opinions on these topics and react to the opinions of others.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Influential people and ideas and their impact on Japan

K r e g g J o h n s t o n

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in other cultures and their impact on Japan.

【到達目標】

Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The course will utilize pair work and group work for discussion activities.

There will be regular homework periodic quizzes on material studied.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class whenever possible and will be distributed through Google Classroom.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Ice breakers Review	Accomplishments over summer Review discussion Preview unit 5
Week 2	Unit 5: Community builders Vocabulary Listening Language focus	Community building phrases Question/ answer intonation Simple past vs present perfect
Week 3	Unit 5: Reading Ted talk	Barefoot college Painting to transform
Week 4	Unit 5: Discussion/ interview	Improving neighborhoods in Japan
Week 5	Quiz: Unit 5 Unit 6: Clear communication Vocabulary	Quiz communication collocations
Week 6	Unit 6: Listening Language focus Reading	Speaker preferences Gerund & infinitive objects Communication in digital age
Week 7	Unit 6: Ted talk Discussion	Talk nerdy Explaining Japanese topics of interest

Week 8	Quiz: Unit 6 Unit 7: Identity	Quiz Vocabulary and expressions of identity
Week 9	Unit 6: Listening Language focus Reading	Multicultural experiences Present perfect progressive Global movement
Week 10	Unit 7: Ted talk Discussion	Where is home? Determination of identity
Week 11	Quiz: unit 7 Unit 8: Transportation solutions	Quiz Vocabulary: transportation solutions
Week 12	Unit 8: Listening Language focus Reading	Frequency expressions Expressions of possibility and prediction Unique commutes.
Week 13	Unit 8: Ted talk Discussion	A skateboard with a boot New transportation ideas
Week 14	Quiz 8 Course wrap up	Quiz Finishing up

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト (教科書)】

Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 3, Cengage Learning, ISBN: 979-8-214-33387-8

【参考書】

www.vocabularysize.com

https://quizlet.com/KreggJ/folders

https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/

【成績評価の方法と基準】

Homework 25%

Class participation 10%

Quizzes/Tests 50%

In-class performance 15%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

* Students must attend class regularly in order to pass. Excessive absences and tardiness will result in failure of the course

【学生の意見等からの気づき】

1st time teaching this course

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on "WebClass", the University's Learning Management System.

【Outline (in English)】

Students will learn about issues facing cultures around the world and will develop their ability to form and express their own opinions on these topics and react to the opinions of others.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英語で考える現代社会

宇治谷 義英

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力を更に深めます。またこれら4技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュース記事を読み、またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英語作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

(フィードバック方法について) リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め、授業の説明、ウォームアップ。
2	"The Guardian view on lifting lockdown: we need cohesion, not division" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
3	"Brewers furious at 'nanny state' plan to put calorie count on beer in pubs" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。

4	"The Guardian view on football's failed super league: hit back hard" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
6	"Church to consider removing or altering slavery monuments" (<i>The Observer</i>) (1) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
7	"Church to consider removing or altering slavery monuments" (<i>The Observer</i>) (2) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
8	"The Guardian view on declining birthrates: there may be trouble ahead" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
10	"The Guardian view on inflation: the revival that's nothing like the 1970s" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"The Guardian view on the super-rich: a billion reasons for a wealthy tax" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"Being the Queen sure has its ups and downs..." (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	学生による発表。ニュース英語のリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

扱う記事の入手方法 (URLなど) は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999）, および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聞き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英語で考える現代社会

宇治谷 義英

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力を更に深めます。またこれら4技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュース記事を読み、またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英語作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

(フィードバック方法について) リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め, 授業の説明, ウォームアップ.
2	"The Times view on the Covid winter strategy: Familiar Plan" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
3	"Political gestures can be inspiring. But let's not mistake them for victory" (<i>The Guardian</i>) (前半) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.

4	"Political gestures can be inspiring. But let's not mistake them for victory" (<i>The Guardian</i>) (後半) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
5	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
6	"The Times view on the Senate investigation into the social media giant: Two Facedbook" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
7	"The Guardian view on sexual abuse and the Catholic church: contrition is not enough" (<i>The Guardian</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
8	"The Times view on social media anonymity: David's Law" (<i>The Times</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
9	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
10	"Why the witch-hunt victims of early modern Britain have come back to haunt us" (<i>The Observer</i>) (前半) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
11	"Why the witch-hunt victims of early modern Britain have come back to haunt us" (<i>The Observer</i>) (後半) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
12	"Last rites rights of condemned around the world" (<i>BBC</i>) (記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
13	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

扱う記事の入手方法（URLなど）は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社、1999）、および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聞き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be at least one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：旅する英語

川澄 亜岐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4つの英語の運用能力（reading, listening, writing, speaking）を用いて英語を学びます。世界の様々な国の伝統や文化について書かれた英文を通して、異文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。春学期は、自分の意見を英語でわかりやすく伝えたり、相手の意見を理解したりすることを目指します。

【到達目標】

1. 様々な国の伝統や文化についての英文を読み、要点を英語で説明できるようになる。
2. 様々な国の伝統や文化についての英文を読み、自分の意見や考えを英語で説明できるようになる。
3. 英語の視聴覚教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は、教員による講義と学生によるプレゼンテーションを軸に、グループを取り入れるなどして対面形式で行います。提出された課題へのフィードバックは、個別またはクラス全体に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Unit 1: reading	Chinese Food Overseas in America and Japan
3	Unit 1: discussion	Usual way of eating unique to the country
4	Unit 2: reading	The Emerald Isle
5	Unit 2: discussion	Richness of nature
6	Unit 3: reading	Witches of Romania
7	Unit 3: discussion	Culture unique to the country
8	Unit 4: reading	Copying with Population Decline in Hungary
9	Unit 4: discussion	Fertility decline and aging issues
10	Unit 5: reading	Working Women in Saudi Arabia
11	Unit 5: discussion	Working lifestyle reform
12	Unit 6: reading	Traditional Pacific Islander Life
13	Unit 6: discussion	Self-sufficient lifestyle
14	Course review and quiz	学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前にテキストを読んで予習をしてから授業に出席してください。また、授業後の復習として、教科書にある読解の問題に取り組んでください。詳細は初回授業で説明します。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students are expected to read the passage in advance and answer comprehensive questions in the textbook after the lesson. Detailed information will be given on the first lesson.

【テキスト（教科書）】

Alexander Farrell, Reading Traveler 2: Broader Views (Shohakusha, 2026)

ISBN: 978-4-7754-5007-9 2,600円＋税

【参考書】

適宜、授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点 50%

(小テスト、授業中の活動への参加、提出物など)

- 学期末課題 50%

* 4回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は本授業を担当していないため、とくになし。

【Outline (in English)】

In this course, students will read various articles about the traditions and cultures of other nations. Learning about global social issues such as gender, education, environmental problems, students will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. By taking part in activities in class, students will develop their own critical thinking skills.

Through the course, students will be able to:

- grasp the main ideas of the passages

- express their opinions in English on topics raised in the passage

- understand the points of audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each lesson. Preparation is designed to take about one hour. In addition to preparation, students will be asked to write assignments.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

- quiz 20%,

- class participation 30%,

- final assignment 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：旅する英語

川澄 亜岐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4つの英語の運用能力（reading, listening, writing, speaking）を用いて英語を学びます。世界の様々な国の伝統や文化について書かれた英文を通して、異文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。春学期は、自分の意見を英語でわかりやすく伝えたり、相手の意見を理解したりすることを目指します。

【到達目標】

1. 様々な国の伝統や文化についての英文を読み、要点を英語で説明できるようになる。
2. 様々な国の伝統や文化についての英文を読み、自分の意見や考えを英語で説明できるようになる。
3. 英語の視聴覚教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は、教員による講義と学生によるプレゼンテーションを軸に、グループを取り入れるなどして対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Unit 7: reading	Taipei's Night Markets
3	Unit 7: discussion	Interaction with different cultures
4	Unit 8: reading	The Greatest Rugby Rivalry
5	Unit 8: discussion	Passion for sports
6	Unit 9: reading	The Goonies
7	Unit 9: discussion	Joy of movies
8	Unit 10: reading	Women's Education in Afghanistan
9	Unit 10: discussion	Education issues
10	Unit 11: reading	Agricultural Air Pollution
11	Unit 11: discussion	Effects of global warming on crops
12	Unit 12: reading	Matryoshka Dolls
13	Unit 12: discussion	Handmade quality
14	Course review and quiz	学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前にテキストを読んで予習をしてから授業に出席してください。また、授業後の復習として、教科書にある読解の問題に取り組んでください。詳細は初回授業で説明します。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students are expected to read the passage in advance and answer comprehensive questions in the textbook after the lesson. Detailed information will be given on the first lesson.

【テキスト（教科書）】

Alexander Farrell, Reading Traveler 2: Broader Views (Shohakusha, 2026)

ISBN: 978-4-7754-5007-9 2,600円＋税

【参考書】

適宜、授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点 50%
- (小テスト、授業中の活動への参加、提出物など)
- 学期末課題 50%
- * 4回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

グループワークを通して、自分とは異なる意見に触れることができ、視野が広がったという声をいただいています。

【Outline (in English)】

In this course, students will read various articles about the traditions and cultures of other nations. Learning about global social issues such as gender, education, environmental problems, students will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. By taking part in activities in class, students will develop their own critical thinking skills.

Through the course, students will be able to:

- grasp the main ideas of the passages
- express their opinions in English on topics raised in the passage
- understand the points of audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each lesson. Preparation is designed to take about one hour. In addition to preparation, students will be asked to write assignments.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

- class participation and quiz 50%,
- final assignment 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏（主にアメリカ）の文化・社会における
現代の諸問題

岩崎 博

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語圏（主にアメリカ）の文化・社会的問題を扱うニュース・ストーリーとニュース映像を教材に使い、読み、聴き、話し、書くという4技能を総合的に身につけることを目標とする。英文エッセイを読み、ニュース映像を聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。アメリカを表象する様々な情報を批判的に受容することによって、主にアメリカ的なものに対する自分の立場を明らかにして自らの考えを発信できるようにしたい。また、第二次トランプ政権とともに大きく変貌した、あるいは変貌して行くアメリカの姿を考察する。

【到達目標】

基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
パラグラフ・リーディングができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
4パラグラフからなるエッセイを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英和辞典が適切に使えるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

①リーディング

テキストのエッセイのパラグラフ構造に注目してパラグラフ・リーディングする。学生は理解した内容を口頭で発表する。

②スピーキング

エッセイの内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。

③ライティング

学期中に一度、学習した内容から好きなトピックを選び、4パラグラフから成るエッセイを作成する。

④リスニング

テキストの音声教材またはニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。

⑤フィードバック

リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセイに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業説明の後、各自英語で自己紹介する

2	Unit 1 Pressure to Please を読む (1) 人は他人の求めに対して何故ノーとは言えないのかについて考察する	アメリカ社会でも、他人の依頼にノーと言えない傾向があるが、それはなぜか？ 主にアメリカ社会と日本社会における人間関係の違いを通して、その要因を理解する。 論理的なエッセイの構造を学び、トピックセンテンスを中心としてパラグラフの内容を簡潔に説明する技法を学ぶ。
3	Unit 1 Pressure to Please を読む (2) 人は他人の求めに対して何故ノーとは言えないのかについて議論する	読了後、各自エッセイに対する意見を発表し、ノーと言えない原因について英語で議論する。アメリカで頻発する学校での銃乱射事件を扱うニュース映像を見てリスニング演習を行う。 音声面では [θ] と [ð] の発音の仕方を習得する。日本語のサ行ザ行による代用をやめ正しい音を発音できるようにする。シャドーイングを実践する。
4	Unit 3 Marketing Genius を読む (1) あるオーストリア企業の成長戦略を考察する	Red Bullはどのようにして短期間で世界第三位の飲料メーカーになったのか、その成功の要因である戦略を探る。 エッセイ全体のトピックと各パラグラフの関連を理解する。
5	Unit 3 Marketing Genius を読む (2) あるオーストリア企業の成長戦略について議論する	読了後、各自エッセイに対する意見を発表し、マーケティング戦略の重要性について議論する。パラグラフが主題文、指示文、結論文から成ることを理解し、実際の英文の中でその構造を確認する。 トランプ米大統領の不法移民取り締まり強化に反対するデモが拡大したことを伝えるニュース映像を見てリスニング演習を行う。 音声面では [f] と [v] の発音の仕方を習得したのちシャドーイングを実践することによりリスニング能力を高める。
6	Unit 5 Long Weekends を読む (1) 昨今欧米で導入が進んでいる週4日労働制について考察する	イギリスで実施された調査に基づき、週4日労働制がイギリスではどのように受け止められているのかを知る。 英文パラグラフが、基本的に主題文、指示文、結論文という構造を持つことを、テキストの英文の中で確認する。
7	Unit 5 Long Weekends を読む (2) 昨今欧米で導入が進んでいる週4日労働制について議論する	エッセイの内容を理解した上で、週4日労働制の利点と欠点について各自意見を述べ、英語で議論する。 アメリカで野生のクマが引き起こす問題を伝えるニュース映像を見てリスニング演習を行う。 音声面では破裂音 [p] [t][k] の発音の仕方を習得する。破裂音に伴う息の強さが日本語と比較して桁違いに強いことをよく理解し、発音の際強い息を出せるように練習する。 シャドーイングを実践しリスニング能力を高める。

8	自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (1) エッセイの構造を学ぶ	4パラグラフからなるエッセイの構造を学習する。各パラグラフの役割と構成を学ぶ。エッセイプラン表の作成法を学ぶ。
9	自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (2) 辞書の活用法を学ぶ	作成したエッセイプラン表の内容をペアの相手に説明し、相手からフィードバックをもらいプラン表を完成させる。英和・和英辞典、シソーラス、コロケーション・ディクショナリー、ネット上の辞書など、英語を書く際に有効なそれぞれの辞書を使う意義と活用法を徹底的に学習する。授業中に、ネット上で使えるシソーラスなどの辞書を実際に使ってみる。
10	自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (3) 論理的な展開を理解する	論理的な誤りを含むエッセイの例を複数読んで、どう訂正すれば論理的に正しい展開になるのか考察する。特に、導入の主張と各パラグラフのトピックの論理的整合性、また各パラグラフのトピックとその支持文の関連性の重要性を学ぶ。アメリカにおける野生生物絶滅の問題とそれに対する取り組みを伝えるニュース映像を見て、リスニング演習を行う。関係代名詞・副詞など、弱い音を聞き取る術を学習する。
11	Unit 6 Tourism を読む (1) オーバーツーリズムが引き起こす問題と対策を考察する。	オーバーツーリズムに対する欧米諸国の対応を知り、その解決策について考慮する。パラグラフにおける主題文と支持文を区別しメイン・アイデアを理解する。
12	Unit 6 Tourism を読む (2) オーバーツーリズムが引き起こす問題と対策について議論する	エッセイ読了後、オーバーツーリズムの問題を理解した上で、日本のオーバーツーリズムの現状と対応について英語で議論する。第二次世界大戦中に日系アメリカ人が強制収容所に収監された事実を伝えるニュース映像を見て、リスニングの演習を行う。音声面では [s] [z] の発音の仕方を習得する。日本語の[ス][ズ]の音とは息の強さにおいて全く異なることを認識し、強く長く息を吐き出して発音できるようにする。
13	試験	シャドーイングを実践する 春学期にテキストで学習した内容に試験を実施する。 授業内で扱った映像ニュースの理解をテストする。
14	提出したエッセイのフィードバック	添削しコメントを添えてエッセイを返却する。 このフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。 また、添削・コメントを参考にエッセイを書き直し再度提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で8時間は必要。
リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。

リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。
記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるよう準備する。

春学期に一度4パラグラフからなるエッセイを作成する。

【テキスト（教科書）】

Dave Rear 著、『Our World, Our Stories』、成美堂

【参考書】

特に無し。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、レポート・スピーチ・試験60パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。

一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていく。

4回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。

原則的に遅刻は認めない。

オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。

【学生の意見等からの気づき】

アウトプットの比重を高めたい。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をする、スマホを操作し続けるなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is designed to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing through the use of a textbook and news videos on topics related to mainly American culture and society. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English. Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learn after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏（主にアメリカ）文化・社会における現代の諸問題

岩崎 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語圏（主にアメリカ）の文化・社会的問題を扱うニュース・ストーリーとニュース映像を教材に使い、読み、聴き、話し、書くという4技能を総合的に身につけることを目標とする。英文エッセイを読み、ニュース映像を聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。アメリカを表象する様々な情報を批判的に受容することによって、アメリカ的なものに対する自分の立場を明らかにして自らの考えを発信できるようにしたい。また、第二次トランプ政権とともに大きく変貌した、あるいは変貌して行くアメリカの姿を考察する。

【到達目標】

基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
パラグラフ・リーディングができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
4パラグラフからなるエッセイを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英和辞典が適切に使えるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

①リーディング

テキストのエッセイのパラグラフ構造に注目してパラグラフ・リーディングする。学生は理解した内容を口頭で発表する。

②スピーキング

エッセイの内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。

③ライティング

学期中に一度、学習した内容から好きなトピックを選び、4パラグラフから成るエッセイを作成する。

④リスニング

テキストの音声教材またはニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。

⑤フィードバック

リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセイに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	映像ニュースを見る 日系を含めたアジア系アメリカ人に対する襲撃が増加している現状を知る	アメリカでは未だに人種間の対立や人種差別が存在し、コロナなどの危機的な状況になると、差別が顕在化することを知る。ニュース映像を見て大まかな内容を理解した上で、スクリプトの穴埋めを行う。 解答・解説の際聞き取りにくい音や英語特有の音に注意を向け発音を練習する。 [h]の発音の仕方を習得する。息の強さにおいて日本語の[ハ]行の音とは全く異なることに留意する。 シャドーイングを実践する。再度映像を見る。 ニュースの各パラグラフの内容に関して、ペアの相手に英語で質問をする。 ニュースが伝える内容に関して批判的に英語で議論する。
2	Unit 11 Left or Right を読む (1) 新聞・テレビなどのマスメディアによる報道の偏向を考察する	メディアによる偏向報道がなぜ起きるのか、アメリカの現状を通してその理由を理解する。主論文を支持する文にも、さらにその詳細を示す文があることを知る。
3	Unit 11 Left or Right を読む (2) 新聞・テレビなどのマスメディアによる報道の偏向について議論する	このエッセイを読み終えたのち、アメリカとの比較において日本のメディアはどうか、さらにソーシャルメディアはどうか考察し英語で議論する。アメリカ先住民の現状を伝えるニュース映像を見てリスニング演習を行う。 音声面では[ʃ] [tʃ] [dʃ]の発音の仕方を習得する。発音に際し強く長く息を吐き出せるよう努力する。 シャドーイングを実践する。
4	Unit 13 Digital Town Square を読む (1) X の影響力について考察する	X (旧Twitter)が政治的に大きな影響力を持っていることについて、プラス面、マイナス面の双方から考察する。 主論文の内容に対して支持文が納得のいく論拠を与えているかどうか判断し、その判断の理由を自分の言葉で説明する。
5	Unit 13 Digital Town Square を読む (2) X の影響力について考察する	このエッセイを読み終えたのち、Xの影響力の大きさについてペアを組んで英語で話し合う。 #Me Too運動のきっかけとなった、映画プロデューサーのワインスタインによる女性に対する暴行事件を伝えるニュース映像を見て、リスニング演習を行う。 音声面では[r]の発音の仕方を習得する。 シャドーイングを実践する
6	関係代名詞を完全に理解する	リーディング・ライティング能力向上のため関係代名詞と関係副詞を学習する。プリントの演習を通して両者の完全理解を目指す。 とくに、関係代名詞の名詞的性質と関係副詞の副詞的性質を認識することによって両者の違いを明確に理解する。

- 7 Unit 14 For Love Not Moneyを読む (1) ハリウッド映画産業の闇を考察する
- 8 Unit 14 For Love Not Moneyを読む (1) ハリウッド映画産業の闇を考察する
- 9 Unit 15 Entertainment Empireを読む (1) ディズニーの成功の要因を考察する
- 10 Unit 15 Entertainment Empireを読む (2) ディズニーのアメリカ的なものを理解する
- 11 因果を論じる英文エッセイの書き方を学ぶ
- 12 if節のない仮定法を学習する
- 13 試験
- 14 提出したエッセイのフィードバック
- ハリウッドで映画産業に従事する労働者の問題を通して、映画産業の闇を考察する。
パラグラフの内容を説明する際に、支持文の内容を簡潔に列挙することを実践する。
このエッセイを読み終えたのち、ハリウッドが象徴するアメリカンドリームについて考察し英語で話し合う。
アメリカの「ドンロー主義」に対するイギリスの対応を伝えるニュース映像を見てリスニング演習を行う。
音声面では[n],[m]の発音の仕方を習得する。
デズニーがどのようにして世界一のエンタメ企業に成長したのか、創始者であるウォルト・ディズニーの幼少期に遡りその成功の要因を考察する。
既知情報を頼りにパラグラフ間の関連を理解する術を学ぶ。
ディズニー成功の背後に、ウォルト・ディズニーが幼少期を過ごした、20世紀初頭のアメリカ中西部的な価値観があることを理解する。
イギリスが中国との関係を深めていることを伝えるニュース映像を見てリスニング演習を行う。
音声面では[w]の音を習得する。
前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。
4パラグラフからなる因果を論じるエッセイの構造を学習する。
各パラグラフの役割と構成を復習する。
エッセイプラン表の作成法を復習する。
英和・和英辞典、シソーラス、コロケーション・ディクショナリー、ネット上の辞書など、英語を書く際に有効なそれぞれの辞書を使う意義と活用法を徹底的に復習する。
授業中に、ネット上で使えるシソーラスなどの辞書を実際に引いて見る。
つながりの言葉の有効性を確認する。
様々な文学作品から集めたif節のない仮定法の具体的な用例を経験することによって、仮定法の完全理解を目指す。
秋学期にテキストで学んだ内容について試験を実施する。
秋学期に映像ニュースで学習した内容について試験を実施する。
添削しコメントを添えてエッセイを返却する。
このフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。
また、添削・コメントを参考にエッセイを書き直し再度提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で8時間は必要。
リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。

リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。
記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるよう準備する。

秋学期に一度4パラグラフからなるエッセイを作成する。

【テキスト（教科書）】

Dave Rear 著、『Our World, Our Stories』、成美堂

【参考書】

特に無し。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、レポート・スピーチ・試験60パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。

一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていく。

4回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。

原則的に遅刻は認めない。

オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークによる演習を増やす。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is designed to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing through the use of a textbook and news videos on topics related to mainly American culture and society. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English. Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learn after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Critical Thinking and Finding Truth about Contemporary Issues

DANIEL G DUSZA

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金3/Fri.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course develops students' English language skills through the analysis of contemporary issues and the practice of critical thinking. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English.

【到達目標】

Students will:

- Develop critical thinking skills through analysis of contemporary issues
- Learn to express opinions logically in English
- Improve comprehension of authentic English materials
- Build confidence in discussing various topics
- Expand vocabulary related to current affairs

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Classes will include:

- Critical thinking skill practice
- Listening and reading comprehension
- Vocabulary development
- Group discussions
- Writing exercises

Feedback on presentations, assignments, and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction & Unit 1: "What Did We Owe Each Other?"	The Critical Stance
2	Unit 1 continued	The Critical Stance in practice
3	Unit 2: "Is Judgement Necessary?"	Looking at Causes and Effects
4	Unit 2 continued	Looking at Causes and Effects
5	Unit 3: "The Lesser of Two Evils"	Logical Analysis
6	Unit 3 continued	Logical Analysis
7	Presentation Workshop	Presentation skills and preparation
8	Unit 4: "Little White Lies"	Making Inferences

9	Unit 5: "What Is the Truth?"	Evaluating Information
10	Unit 6: "Hot, Dry, and Crowded"	Conducting Secondary Research
11	Unit 7: "AI Has You, Yuki"	Using Evidence to Support a Position
12	Final Presentations I	Student presentations
13	Final Presentations II	Student presentations
14	Final Presentations III & Course Reflection	Presentations and review

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students should:

- Review class materials
- Prepare for discussions
- Practice presentation skills

As supplementary reading practice, students are encouraged to engage in extensive reading using graded readers from the university library (<https://hosei.libguides.com/tadoku>). Students should aim to read at least one book every two weeks, keeping a simple reading log with titles and brief personal reactions. University guidelines suggest that preparation and review should take about an hour per week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Textbook is not required. Handouts and materials will be provided through Google Classroom.

【参考書】

Elwood, J. & Hood, M. (2025). The Critical Thinker — 15 Essential Skills for Critical Thinking. Tokyo: Cengage Learning K.K. ISBN: 9784863124349

Foresman, G. A., Fosl, P. S., & Watson, J. C. (2016). The critical thinking toolkit. John Wiley & Sons. ISBN: 9781118981993 (ebook)

Youtube, TEDTalks, Voom

【成績評価の方法と基準】

Grades are determined as follows:

Class preparation and participation (60%)

Final presentation (40%)

In principle, up to three(3) absences per semester are permitted. Absences should not impact collaboration or participation.

Late assignments will be penalized by 10% per day.

You can expect a satisfactory grade if you complete all the classwork, homework, and essays on time.

Passing Grade Thresholds (Credit is awarded)

S(100% - 90%)

A(89 - 80%)

B(79 - 70%)

C(69 - 60%)

Non-passing Grades (no credit awarded)

D(59% and below)

E(Incomplete)

【学生の意見等からの気づき】

These textbooks are being used for the first time. Changes to some course content and pacing may be necessary depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students.

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring a portable device for connecting to the Internet and the lesson material on Google Classroom. The device must be able to connect to the Internet, edit Google Docs, and upload data to Google Classroom. These apps should be installed before classes start. A laptop, surface, or a tablet PC is suitable; smartphones are unsuitable. Students with extenuating circumstances should first consult with the instructor.

【その他の重要事項】

Preparation and active participation in English is expected (積極的な英語の使用が期待されます). In general, all classes are held face-to-face so students can discuss problems and solutions together with the instructor. Students may contact the lecturer anytime via Email for assistance. Any sign of breaches of academic integrity will be detected and corrected. Delays will incur a 10% late submission penalty per day.

【Outline (in English)】

This course develops students' English language skills through the analysis of contemporary issues and the practice of critical thinking. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English. The course aims to build on skills gained from English 1 and 2 and further enhance students' English language proficiency to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss their own ideas.

Course activities include practice of critical thinking skills, listening and reading comprehension, vocabulary development, group discussions, and writing exercises. Feedback on presentations, assignments, and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

Students are expected to prepare for class by reviewing materials, completing assigned readings, and practicing presentation skills. University guidelines suggest that preparation and review should take about an hour per week for a one-credit course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Critical Thinking and Discourse Analysis of Contemporary Issues

DANIEL G DUSZA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course develops students' English language skills through the analysis of contemporary issues and the practice of critical thinking. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English.

【到達目標】

Students will:

- Develop critical thinking skills through analysis of contemporary issues
- Learn to express opinions logically in English
- Improve comprehension of authentic English materials
- Build confidence in discussing various topics
- Expand vocabulary related to current affairs

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Classes will include:

- Critical thinking skill practice
- Listening and reading comprehension
- Vocabulary development
- Group discussions
- Writing exercises

Feedback on presentations, assignments, and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8: "Cancel Culture"	Detecting Bias
2	Unit 9: "The Food We Eat: Back to Nature?"	Being Impartial
3	Unit 10: "Should We Build It If We Can?"	Finding Strengths and Weaknesses in Arguments
4	Unit 11: "Does Technology Make Us Happier?"	Debate
5	Unit 12: "A Future Without Work"	Imagining the Future
6	Unit 13: "Global Citizenship and Open Borders"	Logical Fallacies
7	Presentation Workshop	Presentation skills and preparation

8	Unit 14: "Screen Time: How Does It Affect Our Relationships?"	The Straw Man Fallacy
9	Unit 15: "The Stories We Tell"	The Ad Hominem Fallacy and Appeal to Authority Fallacy
10	Critical Thinking Integration	Skill integration
11	Presentation Preparation	Final preparation
12	Final Presentations I	Student presentations
13	Final Presentations II	Student presentations
14	Final Presentations III & Course Conclusion	Presentations and review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students should:

- Review class materials
- Prepare for discussions
- Practice presentation skills

As supplementary reading practice, students are encouraged to engage in extensive reading using graded readers from the university library (<https://hosei.libguides.com/tadoku>). Students should aim to read at least one book every two weeks, keeping a simple reading log with titles and brief personal reactions. University guidelines suggest that preparation and review should take about an hour per week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Textbook is not required. Handouts and materials will be provided through Google Classroom.

【参考書】

Elwood, J. & Hood, M. (2025). The Critical Thinker — 15 Essential Skills for Critical Thinking. Tokyo: Cengage Learning K.K. ISBN: 9784863124349

Foresman, G. A., Fosl, P. S., & Watson, J. C. (2016). The critical thinking toolkit. John Wiley & Sons. ISBN: 9781118981993 (ebook)

Youtube, TEDTalks, Voom

【成績評価の方法と基準】

Grades are determined as follows:

Class preparation and participation (60%)

Final presentation (40%)

In principle, up to three(3) absences per semester are permitted. Absences should not impact collaboration or participation.

Late assignments will be penalized by 10% per day.

You can expect a satisfactory grade if you complete all the classwork, homework, and essays on time.

Passing Grade Thresholds (Credit is awarded)

S(100% - 90%)

A(89 - 80%)

B(79 - 70%)

C(69 - 60%)

Non-passing Grades (no credit awarded)

D(59% and below)

E(Incomplete)

【学生の意見等からの気づき】

These textbooks are being used for the first time. Changes to some course content and pacing may be necessary depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students.

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring a portable device for connecting to the Internet and the lesson material on Google Classroom. The device must be able to connect to the Internet, edit Google Docs, and upload data to Google Classroom. These apps should be installed before classes start. A laptop, surface, or a tablet PC is suitable; smartphones are unsuitable. Students with extenuating circumstances should first consult with the instructor.

【その他の重要事項】

Preparation and active participation in English is expected (積極的な英語の使用が期待されます). In general, all classes are held face-to-face so students can discuss problems and solutions together with the instructor. Students may contact the lecturer anytime via Email for assistance. Any sign of breaches of academic integrity will be detected and corrected. Delays will incur a 10% late submission penalty per day.

【Outline (in English)】

This course develops students' English language skills through the analysis of contemporary issues and the practice of critical thinking. Students will enhance their reading, writing, listening, and speaking abilities while learning to analyze information and express opinions effectively in English. The course aims to build on skills gained from English 1 and 2 and further enhance students' English language proficiency to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss their own ideas.

Course activities include practice of critical thinking skills, listening and reading comprehension, vocabulary development, group discussions, and writing exercises. Feedback on presentations, assignments, and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

Students are expected to prepare for class by reviewing materials, completing assigned readings, and practicing presentation skills. University guidelines suggest preparation and review should take around an hour a week for this one-credit course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Perspectives on Global Topics

CHIA-WEI KANG

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 is a required four-skills course for second-year students. The materials and activities are designed to help students explore a variety of cultural and social practices from around the world while reflecting on their own society in a global context. Through reading and listening to diverse themes and topics in English, students will develop critical thinking skills and learn to express their ideas and opinions through discussions, presentations, and writing.

【到達目標】

The goals of this course are for students to:

1. Acquire and apply strategic listening skills to improve comprehension.
2. Expand their knowledge of vocabulary and common expressions.
3. Develop speaking skills and practice new expressions through communicative activities.
4. Learn how to use skimming and scanning to identify main ideas and supporting details.
5. Become familiar with expressing ideas effectively through writing tasks and assignments.
6. Develop greater independence as language learners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The instructor will foster a “safe” learning environment in which students can share their perspectives and make an effort to understand those of others without fear of judgment. The overall atmosphere of the class is informal and supportive. Students will take part in a variety of activities that integrate reading, writing, listening, and speaking.

During group discussions, students are expected to listen carefully to one another and engage in active conversation. When presenting, students should make use of appropriate audiovisual aids.

In terms of feedback, the instructor will provide oral comments during in-class activities and discussions. For presentations and written assignments, students will receive grading rubrics together with written feedback from the instructor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Course Orientation/Unit 1 Family Connections	Course Orientation/ Listening and Speaking

Lesson 2	Unit 1 Family Connections	Reading and Discussion
Lesson 3	Unit 1 Family Connections	Ted Talk and Presentation Skills
Lesson 4	Unit 3 Our Shared Planet	Listening and Speaking
Lesson 5	Unit 3 Our Shared Planet	Reading and Discussion
Lesson 6	Unit 3 Our Shared Planet	Ted Talk and Presentation Skills
Lesson 7	Unit 4 Stories and Storytelling	Listening and Speaking
Lesson 8	Unit 4 Stories and Storytelling	Reading and Discussion
Lesson 9	Unit 4 Stories and Storytelling	Ted Talk and Presentation Skills
Lesson 10	Unit 5 Across Cultures	Listening and Speaking
Lesson 11	Unit 5 Across Cultures	Reading and Discussion
Lesson 12	Unit 5 Across Cultures	Ted Talk and Presentation Skills
Lesson 13	Presentation Task	Presentation Task
Lesson 14	Final In-Class Writing	Final In-Class Writing

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines recommend approximately one hour per week for preparation and review in a one-credit course. Accordingly, students are expected to complete homework assignments (including listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.

【テキスト（教科書）】

Keynote 2 2nd Edition

Publisher: Cengage Learning

ISBN: 9780357960516

【参考書】

Bring your dictionary to class. (Either paper or electronic dictionary is acceptable.)

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 20%

Four Quizzes: 40% (10% each)

One Presentation: 15%

One In-Class Writing: 15%

One Final Review Task: 10%

Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Most students have very little opportunity to use English outside of class. In order to maximize the chance, this class will be taught in English. It's all right to make mistakes; focus on communication! Participate actively and express your ideas openly.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use presentation software (e.g., PowerPoint or Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word or Google Docs). Important course information will be distributed via HOPPII.

【Outline (in English)】

English 3 is a required four-skills course for second-year students. The materials and activities are designed to help students explore a variety of cultural and social practices from around the world while reflecting on their own society in a global context. Through reading and listening to diverse themes and topics in English, students will develop critical thinking skills and learn to express their ideas and opinions through discussions, presentations, and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Perspectives on Global Topics

CHIA-WEI KANG

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 is a required four-skills course for second-year students. The materials and activities are designed to help students explore a variety of cultural and social practices from around the world while reflecting on their own society in a global context. Through reading and listening to diverse themes and topics in English, students will develop critical thinking skills and learn to express their ideas and opinions through discussions, presentations, and writing.

【到達目標】

The goals of this course are for students to:

1. Acquire and apply strategic listening skills to improve comprehension.
2. Expand their knowledge of vocabulary and common expressions.
3. Develop speaking skills and practice new expressions through communicative activities.
4. Learn how to use skimming and scanning to identify main ideas and supporting details.
5. Become familiar with expressing ideas effectively through writing tasks and assignments.
6. Develop greater independence as language learners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The instructor will foster a “safe” learning environment in which students can share their perspectives and make an effort to understand those of others without fear of judgment. The overall atmosphere of the class is informal and supportive. Students will take part in a variety of activities that integrate reading, writing, listening, and speaking.

During group discussions, students are expected to listen carefully to one another and engage in active conversation. When presenting, students should make use of appropriate audiovisual aids.

In terms of feedback, the instructor will provide oral comments during in-class activities and discussions. For presentations and written assignments, students will receive grading rubrics together with written feedback from the instructor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Unit 6 Inspired	Listening and Speaking
Lesson 2	Unit 6 Inspired	Reading and Discussion
Lesson 3	Unit 6 Inspired	Ted Talk and Presentation Skills

Lesson 4	Unit 8 Lifestyle Choices	Listening and Speaking
Lesson 5	Unit 8 Lifestyle Choices	Reading and Discussion
Lesson 6	Unit 8 Lifestyle Choices	Ted Talk and Presentation Skills
Lesson 7	Unit 9 Sports and Games	Listening and Speaking
Lesson 8	Unit 9 Sports and Games	Reading and Discussion
Lesson 9	Unit 9 Sports and Games	Ted Talk and Presentation Skills
Lesson 10	Unit 10 Curiosity and Discovery	Listening and Speaking
Lesson 11	Unit 10 Curiosity and Discovery	Reading and Discussion
Lesson 12	Unit 10 Curiosity and Discovery	Ted Talk and Presentation Skills
Lesson 13	Presentation Task	Presentation Task
Lesson 14	Final In-Class Writing	Final In-Class Writing

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines recommend approximately one hour per week for preparation and review in a one-credit course. Accordingly, students are expected to complete homework assignments (including listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.

【テキスト（教科書）】

Keynote 2 2nd Edition

Publisher: Cengage Learning

ISBN: 9780357960516

【参考書】

Bring your dictionary to class. (Either paper or electronic dictionary is acceptable.)

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 20%

Four Quizzes: 40% (10% each)

One Presentation: 15%

One In-Class Writing: 15%

One Final Review Task: 10%

Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Most students have very little opportunity to use English outside of class. In order to maximize the chance, this class will be taught in English. It's all right to make mistakes; focus on communication! Participate actively and express your ideas openly.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use presentation software (e.g., PowerPoint or Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word or Google Docs). Important course information will be distributed via HOPPII.

【Outline (in English)】

English 3 is a required four-skills course for second-year students. The materials and activities are designed to help students explore a variety of cultural and social practices from around the world while reflecting on their own society in a global context. Through reading and listening to diverse themes and topics in English, students will develop critical thinking skills and learn to express their ideas and opinions through discussions, presentations, and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	News Story 1: MLB's Dugout Mugs: A Home Run Idea	リスニング及び内容理解
第3回	News Story 1: MLB's Dugout Mugs: A Home Run Idea	読解及び問題演習
第4回	News Story 2: Meta Ends Fact-Checking	リスニング及び内容理解
第5回	News Story 2: Meta Ends Fact-Checking	読解及び問題演習

第6回	News Story 3: Lung Donation	リスニング及び内容理解
第7回	News Story 3: Lung Donation	読解及び問題演習
第8回	News Story 4: A Return From Russian Prison	リスニング及び内容理解
第9回	News Story 4: A Return From Russian Prison	読解及び問題演習
第10回	News Story 5: New Dinosaur Discovery	リスニング及び内容理解
第11回	News Story 5: New Dinosaur Discovery	読解及び問題演習
第12回	News Story 6: Protecting Ecuador's Amazon	リスニング及び内容理解
第13回	News Story 6: Protecting Ecuador's Amazon	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

ABC Newsroom 4（映像で学ぶABC放送のニュース英語 4）
山根繁他著 金星堂 2026年 3200円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業では、英語の聞き取りに時間を多く割くことを意識しておこないました。今年度も、授業の進度の許す限り、できるだけ時間を割きながら授業を進めていきたいと思っています。授業の中ではなかなか受講生一人一人に合わせて時間を取ることは難しいので、授業外で聞き取りの練習に取り組むように促したいと思っています。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through ABC news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But ABC news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	News Story 7: Extinct Dire Wolf Returns	リスニング及び内容理解
第3回	News Story 7: Extinct Dire Wolf Returns	読解及び問題演習
第4回	News Story 8: Alcohol Cancer Warning	リスニング及び内容理解
第5回	News Story 8: Alcohol Cancer Warning	読解及び問題演習

第6回	News Story 9: Mary's Irish Scones Go Viral	リスニング及び内容理解
第7回	News Story 9: Mary's Irish Scones Go Viral	読解及び問題演習
第8回	News Story 10: Thousands in Need	リスニング及び内容理解
第9回	News Story 10: Thousands in Need	読解及び問題演習
第10回	News Story 11: Security Tight for Super Bowl LIX	リスニング及び内容理解
第11回	News Story 11: Security Tight for Super Bowl LIX	読解及び問題演習
第12回	News Story 12: Egg Shortages	リスニング及び内容理解
第13回	News Story 12: Egg Shortages	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

ABC Newsroom 4（映像で学ぶABC放送のニュース英語 4）
山根繁他著 金星堂 2026年 3200円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

感染症などの蔓延により、状況によってはオンライン授業を行なう場合があります。オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業では、英語の聞き取りに時間を多く割くことを意識しておこないました。今年度も、授業の進度の許す限り、できるだけ時間を割きながら授業を進めていきたいと思っています。授業の中ではなかなか受講生一人一人に合わせて時間を取ることは難しいので、授業外で聞き取りの練習に取り組むように促したいと思っています。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through ABC news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But ABC news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English for Global Awareness: Enhancing Language Skills through Current Affairs

GENC BURCU

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to enhance all four language skills. However, it particularly provides students with essential reading skills for critical analysis through engagement with reading materials which examine social, economic, and political issues from the English speaking world. By cultivating knowledge on the socioeconomic and political landscape of other cultures, students will not only enhance reading skills but also develop a broader perspective, allowing them to grasp the gist of the ideas they encounter in daily news and contemporary discourse more effectively.

【到達目標】

- * Develop reading skills for critical analysis and discussion
- * Cultivate awareness of social, economic, and political concerns from a different cultural perspective
- * Reinforce language skills in all four key areas - reading, listening, speaking, and writing
- * Expand vocabulary and strengthen practical grammar application for language acquisition

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This course primarily uses a textbook to develop level-specific language skills across all four key areas: reading, writing, listening, and speaking. To deepen understanding and reinforce learning, students engage with selected news articles from reputable sources, using them as a basis for discussion. Group work is incorporated to ensure active participation and encourage collaborative learning. Additionally, students complete writing tasks, such as short paragraphs and reflective responses, to develop their ability to express ideas in a clear and organized manner. Through a combination of structured lessons, interactive discussions, and written exercises, the course fosters both linguistic proficiency and critical engagement with contemporary topics. To support learning, feedback is provided on all tasks either verbally or in written form as needed.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 3 I Spring Term	Students will be introduced to the course. Course guidelines will be overviewed together. After students get to know each other, they will start working on the selected unit from the textbook. For a warm-up, they will have some discussion on the main theme ideas in small groups. To support the group discussions, excerpts from news articles will be additionally provided. This will add more depth to the discussions being developed and more ideas will follow.
2	What Impacts Our Environment & Fragile Forests	On this lesson day, students will start reading the assigned passage from the textbook. They will make a detailed analysis in groups and complete all related activities. Following this, a class discussion will be made on the topic for exchange and evaluation of developed ideas. Before the end of the lesson day, students will also write a well-developed paragraph on an environmental problem after they briefly practice giving evidence and describing facts. Writings will be collected and marked.
3	Climate Change & Our Fragile Forests	The lesson day will start with teacher feedback on the collected writings. On the day, students will also start reading a new passage which is adapted from a recently published news article. The goal is to provide students with more chances for an exposure to present-day issues on the unit's main theme and development of individual views. Lastly, before the lesson day ends, students will receive guidance on their presentation projects. All students are required to give a presentation at least once during the Spring term, and the requirements will be explained in detail in this lesson.

4	A Hero in the Jungle & Issues to be Solved	Students will start the lesson day with a vocabulary quiz. Correct answers will be reviewed together after the task is complete. The purpose is to ensure that key vocabulary is acquired. Following this, students will watch a TED video which exposes to viewers a pressing environmental issue affecting the rainforests of Costa Rica. The video content will be watched both for activity completion and exchange of ideas on the topic. To achieve both goals with success, students will first engage in a focused listening task and identify key ideas as well as important details. Then, they will be asked to pay attention to tone and attitude of the speaker for an in-depth discussion.	7	What About Simple Solutions? & Are They Really Effective?	Reading passage which is about the important issues facing the developing world will be covered on the day. Students will make a detailed reading of the passage and answer questions on key ideas and supporting details. They will be also asked to work in pairs or small groups to brainstorm about other crucial problems — this time, from around the world — and list them in bullet points. Following these, students will review cause & effect language markers and write a well-developed paragraph which explains an issue of their choice. At the end of the day, writings will be submitted for feedback & grading.
5	Bright Ideas & New Answers	The lesson day will start with presentations. Those who are assigned with the task will give their presentation which is around 5 or 6 minutes to talk about an environmental issue. Following this, final thoughts on environmental problems will be shared and important points from the unit will be summarized. If any time remains, students will briefly review redundancy & relative pronouns to better understand some of the inconsistencies in their previously submitted paragraphs and learn how to avoid them.	8	Migration: An Important Driver of Development or Challenge Maker?	The lesson day will start with teacher feedback on the writings. Students will be given ample opportunities to ask questions and make some improvements on their works. Following this, they will read a news article about immigration and understand what makes immigration essential for the world development despite the associated challenges. Afterward, to develop more perspective on the subject, students will work together and prepare a group work. They are expected to discuss a specific challenge in detail. Therefore, googling relevant information and data for support of ideas is essential in this task. Lastly, each group will share their ideas and findings with classmates before the end of the lesson day.
6	Needs of Others & Are There Solutions?	At the start of this lesson day, the new unit theme will be introduced. Students will first listen to a short talk on the most essential needs of the developing world. Then, they will read excerpts from news articles to deepen their understanding and exchange ideas freely. By the end of the lesson, they will be prepared for the reading passage analysis, which will take place in the next class. Also, if any activities from the previous lesson remain unfinished, time will be allocated to complete them in this lesson.	9	Education: How Has It Evolved Over The Last Ten Years?	The lesson day will start with a quiz to assess students' understanding of the essential vocabulary covered since the start of the term. After the quiz, students will begin working on a new unit which focuses on education. First, they will have some discussion on the subject by reading excerpts from news articles and exchanging ideas. The goal is to briefly highlight some of the most significant educational issues of the present age. Following this, students will read the assigned textbook's passage and answer questions for more perspective.

10	Face-to-Face and Online Education: Which One Suits You The Most?	The lesson day will start with a new reading material on education. Students will read a news article which compares face-to-face classes to online learning. After reading the article and answering comprehension questions, students will write a well-developed paragraph on the topic by applying comparison language. In this task, students will be also required to highlight a key advantage of one teaching method over the other one. As before, students will review the essential language markers and complete a short practice activity before the actual writing task begins in class.	13	Final Round of Presentations & Review	The lesson day will start with student presentations. Those who are assigned for the day are expected to give an individual presentation. The presentation topics should be about education and relate to aspects covered in classes. After the presentations, students will get ready for the final exam. Important language topics and vocabulary will be reviewed through short practice activities. Lastly, guidance on the final exam will be provided before the class ends.
11	Educational Issues: A lack of Motivation & What Motivates us to Study?	The lesson day will begin with feedback on the written works. During the feedback session, students will briefly review task-relevant connectors and linking words once again to refine their writing. Following this, they will be given time to ask questions and make additional improvements. Afterward, students will complete the final reading task of the term. They will read and analyze one more news article which explores the root causes of motivation issues in learning. During this reading task, students will work in groups and answer comprehension questions for a discussion. As before, they will share their ideas and findings with other classmates for a more lively class discussion on the subject.	14	Final Exam	On the last lesson day, final exam of the term will be conducted. This will bring the Spring term to an end.
12	Education & Success: What's the Key?	The lesson day will focus on listening practice, with students completing two key tasks. First, they will watch the assigned textbook's video content and take notes for key information. Afterward, students will shortly exchange ideas to check comprehension. Then, students will watch the video again to complete fill-in-the-blank activities to grasp more specific details. Lastly, before the task is finished, students will discuss additional factors that contribute to success in learning. Is grit the only major contributor?	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ¥ 2840 Additional articles will also be provided by the instructor in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://news.google.com/news/ 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 30% Presentations: 25% Writing assignments: 10% Final Exam: 35% More than 3 absences will result in failure from the course. 【学生の意見等からの気づき】 Students would like to build up more vocabulary. This will be achieved through additional articles whose vocabulary level is slightly higher than the textbook provided by the instructor. 【学生が準備すべき機器他】 No need for equipment preparation. However, students might be occasionally asked to bring their laptops, or notepads to the class for some activities. 【Outline (in English)】 This course is designed to enhance all four language skills. However, it particularly provides students with essential reading skills for critical analysis through engagement with reading materials which examine social, economic, and political issues from the English speaking world. By cultivating knowledge on the socioeconomic and political landscape of other cultures, students will not only enhance reading skills but also develop a broader perspective, allowing them to grasp the gist of the ideas they encounter in daily news and contemporary discourse more effectively.		

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: English for Global Awareness: Enhancing Language Skills through Current Affairs

GENC BURCU

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The Autumn term classes build upon the skills developed in the Spring and continue to support students' English proficiency across all four key areas. As in the Spring, the focus will be on developing fluency in reading. Students will engage with texts that examine social, economic, and political issues in the English-speaking world. By exploring these topics, students will gain insight into key societal concerns, strengthening their ability to interpret and evaluate ideas in news articles and other contemporary texts. By the end of the course, they will be better equipped to analyze complex written materials and engage thoughtfully with current global issues.

【到達目標】

- * Strengthen proficiency in all four core language skills
- * Enhance reading skills for critical analysis and effective discussion
- * Foster understanding of social, economic, and political issues from a cross-cultural viewpoint
- * Broaden vocabulary and improve practical grammar usage to support language learning.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The approach will remain consistent in the Autumn term, further building on the targeted skills. Students will continue to use the same textbook, which will be supplemented with carefully selected news articles from reputable sources to enhance skill development across all areas. The course requirements will largely stay the same, with an emphasis on active class participation and group work to foster linguistic proficiency and critical engagement with contemporary topics. Additionally, students will complete short writing assignments, similar to those in the Spring term, contributing to the achievement of the course's learning outcomes. Lastly, feedback will be provided on all tasks in verbal and/or written form as in the previous term.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to the Autumn Term Classes	Students will be introduced to the course. Rules & requirements will be overviewed together. Afterward, students will start working on the designated unit from the textbook. To start, students will engage in a group discussion to develop ideas on the main unit theme. To enrich class discussion and deepen analysis, students will be also provided with various excerpts from news articles on food-related diseases and associated issues. This will make students ready for the next class' reading and writing tasks.
2	What is a Food Revolution?	On this lesson day, students will start reading the assigned passage from the textbook. They will make a detailed analysis in groups and complete all related activities. Following this, a short class discussion will be made on the topic for exchange and evaluation of developed ideas. After completing reading passage analysis and discussion, students will be asked to write a well-developed paragraph on a food-related issue by applying cause & effect language. For preparation, students will briefly review key vocabulary and essential language markers from the Spring term, with a particular focus on connectors. Lastly, writings will be collected for feedback and assessment at the end of the day.
3	Hunger Strikes. But, What About a Solution?	The lesson day will begin with teacher feedback on the collected writings. Following the feedback, students will start reading a news article which explores the major contributors to the global food crisis. The goal of the week is to engage students with the present-day issues on the unit's main theme while encouraging them to expand their perspectives beyond the textbook content. Before the lesson day ends, students will be also provided with essential guidance on giving presentations. Requirements of the task will be explained in detail, and the schedule will be announced.

4	Food Education & Why It Matters	Students will start the lesson day with a vocabulary quiz. This will provide them with a chance to assess their understanding of the key vocabulary learned thus far. Once the task is complete, correct answers will be revealed to clarify doubts and allow review where needed. Afterward, students will watch a TED video which exposes an ongoing problem about food served at schools. The video content will be watched both for activity completion and exchange of ideas on the topic. To complete all successfully, students will first engage in a focused listening task and identify key ideas as well as specific information. Then, they will be asked to take notes on the speaker's tone and attitude to support an in-depth discussion of the important points from the video.	7	Body Language & Its Impact on Our Lives	On this lesson day, students will read the assigned textbook's reading passage and answer questions for comprehension. They will gain more insight into the role body language plays in shaping our perceptions of confidence and success. Afterward, they will start preparing for the day's writing task. They will be provided with some discussion questions to brainstorm for more ideas about language and success relation. Following this, students will review argumentation language and write a well-developed paragraph on one of the discussed questions. Writings will be submitted at the end of the day.
5	Food Campaigns & How to Raise Awareness across the World	The lesson day will start with presentations. Those who are assigned for the day will give a presentation which is around 5-6 minutes and talk about a food-related problem or a closely associated issue. If time permits, students will also engage in additional instructor-prepared activities for a practice session. They will complete activities on a selected language topic, which will be determined after the instructor reviews students' writings submitted at the end of lesson 2.	8	Language Barrier Many Immigrants Deal With	The lesson day will begin with teacher feedback on the writings. During the feedback session, students will be given a chance to ask questions and address specific issues in their writings. Afterward, they will read a news article about language barriers facing immigrant family children in schools. They will answer comprehension questions and then collaborate for a group work. In groups, students will analyze other challenges which are rooted in language barriers and propose solutions. Throughout this task, students are allowed to google relevant information and data for support of ideas. Lastly, each group will be asked to share their ideas and findings with classmates before the end of the lesson day.
6	Success Stories & Body Language	At the start of this lesson day, the new unit theme will be introduced. Students will first listen to a TED talk about body language and its impact on success. Afterward, they will read excerpts from reliable research and newspaper publications to deepen their understanding of the theme and participate in an open class discussion. By the end of the day, they will be ready for the next week's reading passage analysis.	9	Energy Builders & Energy Production	The lesson day will start with a vocabulary quiz. Students will answer questions to assess their knowledge on the attained vocabulary from the previous unit. After the quiz, the new unit theme will be introduced through some excerpts from news articles. This will give students a chance to become familiar with some of the most significant issues concerning use of energy and production methods at present. Following this, students will read the assigned textbook's reading passage and answer questions for comprehension and exchange of opinions.

10	Global Issues in Energy Use	The lesson day will start with a new reading material on energy. Students will read a news article which analyzes the major impacts of sanctions on Russia's energy export. After reading the article and answering comprehension questions, students will write a well-developed paragraph on the topic by applying comparison language and highlighting one significant consequence. For this writing task, students will be also taught to read graphs and explain data from such content.	13	Final Round of Presentations & Review	The lesson will begin with student presentations. Those who are assigned for the day are expected to give an individual presentation. The presentation topics have to be about issues which pertain to energy and should also relate to aspects covered in classes. Following this, learned grammar and vocabulary will be practiced through short activities. Guidance on the final exam will be also provided before the lesson ends.
11	Global Issues in Energy Use II	The lesson day will start with teacher feedback on the writings. Students will ask questions and improve the highlighted errors. Afterward, they will engage in reading a news article which covers the major causes of today's energy issues. During this reading task, students will work in groups and answer comprehension questions for a class discussion. As before, all groups will aim to expand discussion and propose solutions for the raised article issue(s). Additionally, groups will be required to justify their views by providing reasonable facts and other evidence from the assigned article as well as other sources. All will shortly present their findings to the class before the lesson ends.	14	Final Exam	On the last lesson day, final exam of the term will be conducted. This will bring the Autumn term to an end.
12	Harnessing the Wind	This lesson day will focus on listening practice. Students will complete two key tasks. First, they will watch the assigned video from the textbook and take notes on key points. Afterward, students will briefly exchange ideas to check their comprehension. Following this, they will watch the video again, this time completing fill-in-the-blank activities to grasp more specific details. Lastly, before the task is finished, students will discuss what feeds our curiosity and propels us to invent.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ¥ 2840 Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://www.theguardian.com/international 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 30% Presentations: 25% Writing assignments: 10% Final Exam: 35% More than 3 absences will result in failure from the course. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【Outline (in English)】 The Autumn term classes build upon the skills developed in the Spring and continue to support students' English proficiency across all four key areas. As in the Spring, the focus will be on developing fluency in reading. Students will engage with texts that examine social, economic, and political issues in the English-speaking world. By exploring these topics, students will gain insight into key societal concerns, strengthening their ability to interpret and evaluate ideas in news articles and other contemporary texts. By the end of the course, they will be better equipped to analyze complex written materials and engage thoughtfully with current global issues.		

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：English for the real world

ジョナサン・エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects. All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is provided throughout.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.

9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See references.

【参考書】

NHK/NHK Educational
Japan Times
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: English for the real world

ジョナサン・エイブル

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is provided throughout.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.

9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.
11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Social issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate. (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。) University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. See References.

【参考書】

NHK/NHK Educational.

Japan Times.

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA（英語 / English language education 200）	
English 3 I	2017年度以降入学者
サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会	
余田 剛	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金 4/Fri.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBSで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に付けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1とEnglish2で学んだことをベースとして、英語の4技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

AIで仕事がなくなるか、ロボットと人間の共存は可能か、地球温暖化を食い止めるための植樹活動、といったテーマをめぐる現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストは、各Unitがニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキストUnit2前半	リスニング、リーディング
3	テキストUnit2後半	リーディング、ライティング
4	テキストUnit5前半	リスニング、リーディング
5	テキストUnit5後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）

8	テキストUnit6前半	リスニング、リーディング
9	テキストUnit6後半	リーディング、ライティング
10	テキストUnit8前半	リスニング、リーディング
11	テキストUnit8後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web動画を各自で観て穴埋めをして完成させうえて、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 7, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2025年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験（あるいはレポート）の成績（40%）、プレゼンテーション（20%）、授業参加度（40%）とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBSで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に付けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1とEnglish2で学んだことをベースとして、英語の4技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

教育におけるChatGPTの影響、日本の老舗ビジネスの極意、静寂を守る環境活動家たち、といったテーマをめぐる現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストは、各Unitがニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキストUnit9前半	リスニング、リーディング
3	テキストUnit9後半	リーディング、ライティング
4	テキストUnit10前半	リスニング、リーディング
5	テキストUnit10後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）

8	テキストUnit14前半	リスニング、リーディング
9	テキストUnit14後半	リーディング、ライティング
10	テキストUnit15前半	リスニング、リーディング
11	テキストUnit15後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web動画を各自で観て穴埋めをして完成させうえて、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくこと。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 7, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2025年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験（あるいはレポート）の成績（40%）、プレゼンテーション（20%）、授業参加度（40%）とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえるよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：TED Talks で知る現代社会：英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

また、授業資料は、学習支援システムを通じて配布します。

[第一部]第2週 Topic: Interdisciplinary第5週 Topic: Business/Leadership第8週 Topic: Life Science第11週 Topic: Sociology/Fashion

[第二部]第3週：TED TALK by Matt Cutts：Try Something New for 30 dayshttps://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第6週：TED TALK by Tom Wujec：Build a Towerhttps://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第9週：TED TALK by David Gallo：Underwater Astonishmentshttps://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第12週：TED TALK by Jessi Arrington：Wearing Nothing Newhttps://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

[第三部]：各Unitテストと自己表現 第4,7,10,13週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一週	Introduction	What is TED?
第二週	Unit 1: Life Changes	Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第3週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第4週	Review Unit 1	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第5週	Unit 2: Team Power	Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第6週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Academic Skills: Understanding stages in a process, ...ets.
第7週	Review Unit 2	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第8週	Unit 3: Ocean Wonders	Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/referents
第9週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第10週	Review Unit 3	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第11週	Unit 4: What We Wear	Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process
第12週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Academic Skills: Recognizing point of view
第13週	Review Unit 4	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第14週	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED Talkをインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheetに記入しておく。

復習：checksheetに記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5 その他、プリント配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および unit quiz）40％、課題30％、期末テスト30％

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Ims2025.

[Overall Objectives]

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand speeches without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a speech
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

Grading criteria for this course will be based on the following:

Class participation 40% (class activities + unit quizzes)
/ assignment 20 % / final test 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：TED Talks で知る現代社会：英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期同様に本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、Unit終了毎に提出し、フィードバックを受けます。

また、授業資料は、学習支援システムを通じて配布します。

[第一部] 第2週 Topic: Architecture and Design 第5週 Topic: Conservation/ Engineering 第8週 Topic: Visual Arts/ Sociology
[第二部] 第3週: TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Un- expected Places https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja 第6週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja 第9週: TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ... https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja
[第三部]: 各 Unit テストと自己表現 第4,7,10,11,12,13 週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	Introduction	授業進行、テキスト、評価方法についての説明
第2週	Unit6: Building Solutions	Topic:Architecture and Design Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第3週	Unit6: Building Solutions	TED TALK by Iwan Baan Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第4週	Unit6: Review	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第5週	Unit 7: Roads to Fame	Topic:Communication/ Sociology Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第6週	Unit 7: Roads to Fame	TED TALK by Kevin Allocca
第7週	Unit 7: Review	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第8週	Unit 9: Community Voices	Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第9週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Academic Skills: Understanding main ideas and key details/making predictions,...etc.
第10週	Unit 9: REview	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第11週	Your favorite TED talk	Finding your own favorite TED talk
第12週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第13週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第14週	試験・まとめと解説	Final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED Talkをインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheetに記入しておく。
復習：checksheetに記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5 その他、参考資料配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および unit quiz）40%、課題30%、期末テスト30%

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く持ちます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Ims2025.

[Overall Objectives]

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand speeches without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a speech
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation 40% (class activities + unit quizzes)
/ assignment 20 % / final test 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの地域から文化を学ぶ

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に習得した4技能の英語運用能力に基づき、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信することを目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】

受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書に頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
 受講生は情報を適切に受け取り、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
 世界に大きな影響力をもつアメリカについて学び、特に地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回にリーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）などの技能の演習を割り当てる。リーディングの回では、語彙力の養成や構文の理解を重視するとともに、日本語で内容をまとめることを学生に求める。ライティングやプレゼンテーションでは英語表現の習得だけでなく、適切な構成の使用にも目を向ける。
 提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。
 授業方法の変更等の重要な連絡はHoppiiで行う。授業日の朝にHoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
 あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
 なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業計画と授業方法の説明
2	Chapter1 (Boston)	Bostonの歴史を学び、現代のこの都市についてのリスニング演習を行う
3	Chapter2 (Maine)	Maineの文化についてのエッセイの速読とリスニング演習をする。リスニング演習を行う
4	Chapter3 (New York City1)	New York市の歴史を学び、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
5	Chapter4 (New York City2)	New York市の地域ごとの多様性を学び、スピーキングの演習を行う
6	Chapter5 (Washington,D.C)	連邦政治の舞台としてのワシントンD.Cについて書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う

7	Chapter6 (Charleston)の速読とリスニング演習	南北戦争について学び、リスニング演習を行う
8	Chapter7 (Savannah)の速読とリスニング演習	南部文化の特徴を学び、リスニング演習を行う
9	ライティングの課題作成	身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本の特徴的な文化の紹介文を英語で書く 紹介文は提出する
10	Chapter8 (Oswege)の精読とスピーキング演習	アメリカの典型的なsmall townの社会について学び、スピーキング演習を行う 紹介文の返却日
11	プレゼンテーション (1)	(第1班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
12	プレゼンテーション (2)	(第2班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
13	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について学生間で講評し、自分の意見を英語でまとめて書く
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションは、事前に原稿を修正および暗記をした上で行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

American Vibes: People, Places and Perspectives. (Todd Rucynski 他著、金星堂)
 必ず英和・和英辞書を持参すること。
 授業中、パソコン、タブレット、スマートフォン等を使用することを固く禁止する。違反した場合には大きく減点する。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、ライティングの課題25%、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25%。4回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

引き続き、映像資料を積極的に使用する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】Building upon the English proficiency developed in the first year, this course enhances students' ability to comprehend English-language articles and express critical opinions. Using the cultural and social characteristics of various U.S. states and major cities as educational materials, students will further refine their reading and analytical skills. Additionally, they will be required to present their perspectives on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

【Learning Objectives】

Students will be able to read simple English texts with a reasonable degree of accuracy without relying heavily on a dictionary.

Students will develop the ability to process information effectively, critically identify key arguments, and express their own opinions in English.

Students will gain an understanding of the United States as a globally influential nation, with a particular focus on the cultural and social diversity of different regions.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Students are required to prepare by reviewing the assigned sections of the textbook and any distributed materials in advance. For presentations, students must revise and memorize their scripts beforehand.

【Grading Criteria/Policy】

Final Exam: 50%, Writing Assignments: 25%, and Class Participation (including speaking and presentations): 25%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの地域から文化を学ぶ

須藤 祐二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、1年次に習得した4技能の英語運用能力に基づいて、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信することを目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】

受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書に頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
受講生は情報を適切に受け取り、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
世界に大きな影響力をもつアメリカについて学び、特に地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回にリーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）などの技能の演習を割り当てる。リーディングの回では、語彙力の養成や構文の理解を重視するとともに、日本語で内容をまとめることを学生に求める。ライティングやプレゼンテーションでは英語表現の習得だけでなく、適切な構成の使用にも目を向ける。
提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。
授業方法の変更等の重要な連絡はHoppiiで行う。授業日の朝にHoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習と秋学期の授業の概要説明	春学期に学習内容の振り返りを行い、秋学期の授業でなにを学ぶかを説明する
2	Chapter9 (Austin)	Austinの文化的特徴についての速読とリスニング演習 紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
3	Chapter10 (Saint Jo, Texas)の速読とスピーキング演習	カウボーイ文化の紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
4	Chapter11 (Santa Fe, New Mexico)の精読とスピーキング演習	Santa Feの歴史についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
5	Chapter12(Arizona)の精読とスピーキング演習	アメリカ文化における Route 66の意義についての記事を読み、スピーキングの演習を行う

6	Chapter 13(Los Angeles 1)の精読とリスニング演習	ハリウッドについて書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う
7	Chapter 14(Los Angeles 2)の速読とリスニング演習	Los Angelesの多様な食文化について学び、リスニング演習を行う
8	ライティングの課題作成	身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本の特徴的な文化の紹介文を英語で書く 紹介文は提出する
9	Chapter 15(Seattle)	Seattleのコーヒー文化について学び、スピーキング演習を行う
10	プレゼンテーション (1)	(第1班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
11	プレゼンテーション (2)	(第2班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
12	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について日本語で意見交換を行い、自分の意見を英語でまとめて書く
13	アメリカのニュース記事の精読とスピーキング演習	与えられた記事を読み、自分の意見を英語で述べる
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションは、事前に原稿を修正および暗記をした上で行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

American Vibes: People, Places and Perspectives. (Todd Rucynski 他著、金星堂)

必ず英和・和英辞書を持参すること。

PC、タブレット、スマートフォン等を授業中に使用することは固く禁止する。違反した場合には大きく減点する。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、ライティングの課題25%、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25%。4回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

授業中、パソコン、タブレット、スマートフォン等を使用することを固く禁止する。違反した場合には大きく減点する。

【学生の意見等からの気づき】

引き続き、映像資料を積極的に使用する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】Building upon the English proficiency developed in the first year, this course enhances students' ability to comprehend English-language articles and express critical opinions. Using the cultural and social characteristics of various U.S. states and major cities as educational materials, students will further refine their reading and analytical skills. Additionally, they will be required to present their perspectives on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

【Learning Objectives】

Students will be able to read simple English texts with a reasonable degree of accuracy without relying heavily on a dictionary.

Students will develop the ability to process information effectively, critically identify key arguments, and express their own opinions in English.

Students will gain an understanding of the United States as a globally influential nation, with a particular focus on the cultural and social diversity of different regions.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Students are required to prepare by reviewing the assigned sections of the textbook and any distributed materials in advance. For presentations, students must revise and memorize their scripts beforehand.

【Grading Criteria/Policy】

Final Exam: 50%, Writing Assignments: 25%, and Class Participation (including speaking and presentations): 25%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：旅する英語

川澄 亜岐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4つの英語の運用能力（reading, listening, writing, speaking）を用いて英語を学びます。世界の様々な国の伝統や文化について書かれた英文を通して、異文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。春学期は、自分の意見を英語でわかりやすく伝えたり、相手の意見を理解したりすることを目指します。

【到達目標】

1. 様々な国の伝統や文化についての英文を読み、要点を英語で説明できるようになる。
2. 様々な国の伝統や文化についての英文を読み、自分の意見や考えを英語で説明できるようになる。
3. 英語の視聴覚教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は、教員による講義と学生によるプレゼンテーションを軸に、グループを取り入れるなどして対面形式で行います。提出された課題へのフィードバックは、個別またはクラス全体に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Unit 1: reading	Chinese Food Overseas in America and Japan
3	Unit 1: discussion	Usual way of eating unique to the country
4	Unit 2: reading	The Emerald Isle
5	Unit 2: discussion	Richness of nature
6	Unit 3: reading	Witches of Romania
7	Unit 3: discussion	Culture unique to the country
8	Unit 4: reading	Copying with Population Decline in Hungary
9	Unit 4: discussion	Fertility decline and aging issues
10	Unit 5: reading	Working Women in Saudi Arabia
11	Unit 5: discussion	Working lifestyle reform
12	Unit 6: reading	Traditional Pacific Islander Life
13	Unit 6: discussion	Self-sufficient lifestyle
14	Course review and quiz	学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。詳細は、初回授業で説明します。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Alexander Farrell, Reading Traveler 2: Broader Views (Shohakusha, 2026)

ISBN: 978-4-7754-5007-9 2,600円＋税

【参考書】

適宜、授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点 50%
- (小テスト、授業中の活動への参加、提出物など)
- 学期末課題 50%
- * 4回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は本授業を担当していないため、とくになし。

【Outline (in English)】

In this course, students will read various articles about the traditions and cultures of other nations. Learning about global social issues such as gender, education, environmental problems, students will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. By taking part in activities in class, students will develop their own critical thinking skills.

Through the course, students will be able to:

- grasp the main ideas of the passages
- express their opinions in English on topics raised in the passage
- understand the points of audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each lesson. Preparation is designed to take about one hour. In addition to preparation, students will be asked to write assignments.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

- quiz 20%,
- class participation 30%,
- final assignment 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：旅する英語

川澄 亜岐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4つの英語の運用能力（reading, listening, writing, speaking）を用いて英語を学びます。世界の様々な国の伝統や文化について書かれた英文を通して、異文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。春学期は、自分の意見を英語でわかりやすく伝えたり、相手の意見を理解したりすることを目指します。

【到達目標】

1. 様々な国の伝統や文化についての英文を読み、要点を英語で説明できるようになる。
2. 様々な国の伝統や文化についての英文を読み、自分の意見や考えを英語で説明できるようになる。
3. 英語の視聴覚教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は、教員による講義と学生によるプレゼンテーションを軸に、グループを取り入れるなどして対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Unit 7: reading	Taipei's Night Markets
3	Unit 7: discussion	Interaction with different cultures
4	Unit 8: reading	The Greatest Rugby Rivalry
5	Unit 8: discussion	Passion for sports
6	Unit 9: reading	The Goonies
7	Unit 9: discussion	Joy of movies
8	Unit 10: reading	Women's Education in Afghanistan
9	Unit 10: discussion	Education issues
10	Unit 11: reading	Agricultural Air Pollution
11	Unit 11: discussion	Effects of global warming on crops
12	Unit 12: reading	Matryoshka Dolls
13	Unit 12: discussion	Handmade quality
14	Course review and quiz	学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。詳細は、初回授業で説明します。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Alexander Farrell, Reading Traveler 2: Broader Views (Shohakusha, 2026)

ISBN: 978-4-7754-5007-9 2,600円＋税

【参考書】

適宜、授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点 50%
- (小テスト、授業中の活動への参加、提出物など)
- 学期末課題 50%
- * 4回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

グループワークを通して、自分とは異なる意見に触れることができ、視野が広がったという声をいただいています。

【Outline (in English)】

In this course, students will read various articles about the traditions and cultures of other nations. Learning about global social issues such as gender, education, environmental problems, students will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. By taking part in activities in class, students will develop their own critical thinking skills.

Through the course, students will be able to:

- grasp the main ideas of the passages
- express their opinions in English on topics raised in the passage
- understand the points of audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each lesson. Preparation is designed to take about one hour. In addition to preparation, students will be asked to write assignments.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

- quiz 20%,
- class participation 30%,
- final assignment 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 I		2017年度以降入学者
サブタイトル: 世界の中の日本		
岩崎 博		
開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 金4/Fri.4		
単位数: 1単位		
その他属性:		
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 日本あるいは日米比較を扱うエッセイ、ニュース・ストーリー、ニュース映像を教材に使い、読み、聴き、話し、書くという4技能を総合的に身につけることを目標とする。英文エッセイを読み、ニュース映像を聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。日本を表象する様々な情報を批判的に受容することによって、日本的なものに対する自分の立場を明らかにして自らの考えを発信できるようにしたい。		
【到達目標】 基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。 英語らしい発音ができるようになる。 パラグラフ・リーディングができるようになる。 自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。 4パラグラフからなるエッセーを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。 英和辞典が適切に使えるようになる。 英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1		
【主な授業方法】 L 講義 /Lecture		
【授業の進め方と方法】 ①リーディング テキストのエッセイのパラグラフ構造に注目してパラグラフ・リーディングする。学生は理解した内容を口頭で発表する。 ②スピーキング エッセイの内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。 ③ライティング 学期中に一度、学習した内容から好きなトピックを選び、4パラグラフから成るエッセーを作成する。 ④リスニング テキストの音声教材またはニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。 ⑤フィードバック リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセーに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。		
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】 あり / Yes		
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし / No		
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業説明の後、各自英語で自己紹介する

2	Unit 2 Which Class Style Is More Effective, Face to Face or Online ? (1)	オンライン授業と対面式授業の比較をトピックにする英語会話の音声を読み、双方の代表的な長所を理解する。[f] [v] の発音を習得する。その際リスニングの学習法、パラレル音読・シャドーイングの原理と方法を学び、それを実践する。また、相手に発言を繰り返してほしい場合の表現を学ぶ。
3	Unit 2 Which Class Style Is More Effective, Face to Face or Online ? (2)	オンライン授業と対面式授業を比較するプレゼンテーションを聞きながら英語でメモを取り、そのメモを参考にして理解した内容を英語で簡潔に要約する。
4	Unit 9 Should Japan Ban the Sale of Pets? (1)	3人1組になって対面式授業とオンライン授業のどちらが良いか賛否に分かれて英語で議論する。日本の教育を扱った英語ニュースを読み、理解した内容を英語で要約する練習をする。さらにペアを組んで、感想を英語で話し合う。
5	Unit 9 Should Japan Ban the Sale of Pets? (2)	ペット販売の是非を話し合う英語会話の音声を読み、その問題点を理解する。音声面では [θ] と [ð] の発音の仕方を習得する。シャドーイングを実践する。また、途中で議論に加わる時の表現を学ぶ。
6	Unit 10 Should Japan Introduce a Four-day Workweek? (1)	ペット販売の問題点を指摘するプレゼンを聞きながら英語でメモを取り、そのメモを参考にして理解した内容を英語で簡潔に要約する。
		3人1組になってペット販売の賛否について議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。
		愛玩動物との関連で、野生動物と人間の関係を扱う映像ニュースを見てリスニング演習を行う。どうして人に懐いたクマが殺されなくてはならなかったのか、どうして知床では「餌やりがクマを殺す」のかを理會し、人間と野生動物の関係のあるべき姿について英語で議論する。
		週休3日になった場合の問題点について話し合う英会話音声を聞いて、リスニング演習を行う。音声面では /θ/ , /v/ の音を発音できるように習得し、シャドーイングを実践することによりリスニング能力を高める。また、誤解を解く時の表現を学ぶ。
		労働日数短縮の長所と短所に関するプレゼンを聞きながら英語でメモを取り、そのメモを参考に理解した内容を英語で簡潔に要約する。

- 7 Unit 10 Should Japan Introduce a Four-day Workweek? (2)
日本は労働日数を減らすべきか議論
- 8 Unit 11 Should Children's video Game Time Be Limited by Law? (1)
日本で子供のゲーム時間を法律で規制すべきか考察する
- 9 Unit 11 Should Children's video Game Time Be Limited by Law? (2)
日本で子供のゲーム時間を法律で規制すべきか議論する
- 10 自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (1)
エッセイの構造を学ぶ
- 11 自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (2)
辞書の活用法を学ぶ
- 12 自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (3)
論理的な展開を理解する
- 3人1組になって労働日数を減らすべきか英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。
日本における過労死を扱うニュースストーリーを読み、その内容を英語で簡潔に要約したのち、理解した内容について英語で意見を言い合う。
エッセイ内で地球温暖化解決のため政府が行うべき政策の「基準」を提示されているが、その妥当性を考察する。
リスニングでは [s] [z] の発音の仕方を習得する。日本語の [ス][ズ] の音とは息の強さにおいて全く異なることを認識し、強く長く息を吐き出して発音できるようにする。
シャドーイングを実践する。
子供のゲーム時間規制に賛成・反対の立場をとる男女の英会話を聞き、その代表的な意見を理解する。発音では / [æ] [ʌ] [ə] の発音の仕方を習得し、シャドーイングを実践する。また、見聞きした情報を客観的に伝えるとき英語表現を学ぶ。
子供のゲーム時間規制に関する賛否両論を紹介するプレゼンを聞きながら英語でメモを取り、そのメモを参考にして理解した内容を英語で簡潔に要約する。
3人1組になってゲーム時間を規制すべきか賛否に分かれて英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。
ゲームの問題をあつかう英語新聞記事を読んで、理解した内容を英語で簡潔に要約したのち、要約したものをクラスの前で発表する。さらに、理解した内容についてペアを組んで英語で議論する。
4パラグラフからなるエッセイの構造を学習する。
各パラグラフの役割と構成を学ぶ。
エッセイプラン表の作成法を学ぶ。
作成したエッセイプラン表の内容をペアの相手に説明し、相手からフィードバックをもらいプラン表を完成させる。
英和・和英辞典、シソーラス、コロケーション・ディクショナリー、ネット上の辞書など、英語を書く際に有効な辞書を使う意義と活用法を学習する。
授業中に、ネット上で使えるシソーラスなどの辞書を実際に使ってみる。
論理的な誤りを含むエッセイの例を複数読んで、どう訂正すれば論理的に正しい展開になるのか考察する。
特に、導入の主張と各パラグラフのトピックの論理的整合性、また各パラグラフのトピックとその支持文の関連性の重要性を学ぶ。

- 13 シャドーイング・リスニング試験 テキストの所定箇所のシャドーイングと、リスニング試験を行う。
- 14 提出したエッセイのフィードバック 添削しコメントを添えてエッセイを返却する。
このフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。
また、添削・コメントを参考にエッセイを書き直し再度提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で8時間は必要。
リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。
リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。
記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるように準備する。
春学期に一度4パラフラフからなるエッセイを作成する。

【テキスト（教科書）】

飯野厚他、『Voice Your Opinion』、金星堂

【参考書】

特に無し。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、レポート・スピーチ・試験60パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。
一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていく。
4回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。
原則的に遅刻は認めない。
オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。

【学生の意見等からの気づき】

アウトプットの比重を高めたい。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をする、スマホを操作し続けるなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is designed to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing through the use of a textbook and news videos on topics related to Japanese culture and society. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make pronouncements about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English. Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learned after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中の日本

岩崎 博

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本あるいは日米比較を扱うエッセイ、ニュース・ストーリー、ニュース映像を教材に使い、読み、聴き、話し、書くという4技能を総合的に身につけることを目標とする。英文エッセイを読み、ニュース映像を聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。日本を表象する様々な情報を批判的に受容することによって、日本的なものに対する自分の立場を明らかにして自らの考えを発信できるようにしたい。

【到達目標】

基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
パラグラフ・リーディングができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
4パラグラフからなるエッセーを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英和辞典が適切に使えるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ①リーディング
テキストのエッセイのパラグラフ構造に注目してパラグラフ・リーディングする。学生は理解した内容を口頭で発表する。
- ②スピーキング
エッセイの内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。
- ③ライティング
学期中に一度、学習した内容から好きなトピックを選び、4パラグラフから成るエッセーを作成する。
- ④リスニング
テキストの音声教材またはニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。
- ⑤フィードバック
リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセーに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	映像ニュースを見る 第二次世界大戦中、 日系アメリカ人が人 種的偏見により財産 を剥奪され収容所に 強制収監された、ア メリカの負の歴史を、 収監された日系米人 の孫である記者の目 を通して振り返る。	ニュース映像を見て大まかな内容を理解した上で、スクリプトの穴埋めを行う。 解答・解説の際聞き取りにくい音や英語特有の音に注意を向け発音を練習する。 [h] の発音の仕方を習得する。息の強さにおいて日本語の[ハ]行の音とは全く異なることに留意する。シャドーイングを実践する。 ニュースの各パラグラフの内容に関して、ペアを組んで英語で質問をする。 ニュースが伝える内容に関して批判的に英語で議論する。 キャッシュレス決済導入に関して賛否にわかれる英会話を聞いて、リスニング演習を行う。[w]の音の特徴と発音の仕方を学び、発音できるよう練習する。論点を対比・比較する時の表現を学ぶ。 日本が世界的に見てキャッシュレス決済の導入が極端に遅れている現状を報告するプレゼンを聞きながらメモを取り、そのメモを参考に理解した内容を英語で発表する。
2	Unit 12 Should Cashless Payment Be Promoted Further in Japan? (1) キャッシュレス決済 導入の是非を考察する	3人1組になってキャッシュレス決済導入の是非をめぐる英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。 日本がキャッシュレス決済後進国であることを伝える英語新聞記事を読んで、理解した内容を英語で簡潔に要約したのち、要約したものをクラスの前で発表する。さらに、理解した内容についてペアを組んで英語で議論する。
3	Unit 12 Should Cashless Payment Be Promoted Further in Japan? (2) キャッシュレス決済 導入の是非を議論する	ソーシャルメディア会社による投稿内容の検閲の是非をめぐる英語会話を聞いてリスニング演習を行う。[n][m][ŋ]の音の特徴と発音の仕方を理解し、発音できるようにする。また、相手に反論する時の表現を学ぶ。 ソーシャルメディア会社による投稿内容検閲の利点・欠点の双方を論じるプレゼンを聞いてメモを取り、そのメモを参考に理解した内容を簡潔な英語で表現する練習をする。
4	Unit 13 Should Social Media Companies Censor Their Platforms? (1) 日本でソーシャルメ ディア運営企業は投 稿内容を検閲すべき かについて考察する	

5	Unit 13 Should Social Media Companies Censor Their Platforms? (2) 日本でソーシャルメディア会社は投稿内容を検閲すべきかについて議論する	3人1組になって、ソーシャルメディア運営企業は投稿内容を検閲すべきか英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。 トランプ氏が大統領に就任するとすぐ、大手ソーシャルメディア企業のメタはトランプ大統領からの圧力に屈服する形でファクトチェックを廃止すると発表している。このようにソーシャルメディア企業は虚偽情報やヘイトスピーチを許容する方向に向かっている。この実情を伝える英語ニュース映像を見て、日本におけるソーシャルメディア上の投稿に対して規制を設けるべきか議論する。	10	Unit 15 Should Public Baths and Hot Spring Accept People with Tattoos? (1) タトゥー受け入れの是非を考察する	タトゥーを受け入れるべきか否かをめぐる英語会話を聞いてリスニング演習を行う。Dark Lと呼ばれる、次に母音が続かない [l] の音の特徴と発音法を学習しこの音の発音を習得する。 結論・まとめを述べる時の表現を学ぶ。 タトゥー受け入れに対する賛成意見と反対意見の双方を比較・対照する英語のプレゼンを聞いてその問題点を理解する。英語を聞きながらメモを取り、そのメモを参考にして理解した内容を簡潔な英語で表現する練習をする。
6	関係代名詞を完全に理解する	リーディング・ライティング能力向上のため関係代名詞と関係副詞を学習する。プリントの演習を通して両者の完全理解を目指す。 とくに、関係代名詞の名詞的性質と関係副詞の副詞的性質を認識することによって両者の違いを明確に理解する。	11	Unit 15 Should Public Baths and Hot Spring Accept People with Tattoos? (2) タトゥー受け入れの是非を議論する	3人1組になって、日本はタトゥーを受け入れるべきか英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。日本のタトゥー受け入れ問題を論じる英字新聞記事を読んで、理解した内容を簡単な英語で要約する練習をする。内容について英語で意見を言い合う。
7	Unit 14 Should Japan Invest More in Space Development? (1) 日本は宇宙開発に もっと投資すべきかどうかについて考察する	宇宙開発投資をめぐる問題について話し合う英語の会話を聞いてリスニング演習をする。破裂音[p] [t] [k]の特徴と発音の仕方を学びそれを習得する。推論・仮定を表明する時の表現を学ぶ。宇宙開発投資の長所短所を論じるプレゼンを聞いてその問題点を理解する。聞きながらメモを取り、そのメモを参考にして理解した内容を簡潔な英語で発言する練習をする。	12	if節のない仮定法を学習する	様々な文学作品から集めたif節のない仮定法の具体的な用例を経験することによって、仮定法の完全理解を目指す。
8	Unit 14 Should Japan Invest More in Space Development? (2) 日本は宇宙開発に もっと投資すべきかどうかについて議論する	3人1組になって、日本は宇宙開発に もっと投資すべきか英語で議論する。指名された1組が、みんなの前で議論を披露する。日本の宇宙開発の実情を伝える英字新聞記事を読んで、理解した内容を簡単な英語で要約する練習をする。内容について英語で意見を言い合う。	13	リスニング・シャドーイングのテスト	テキストの指定箇所のリスニングとシャドーイングの試験を行う。
9	因果を論じる英文エッセイの書き方を学ぶ	4パラグラフからなる因果を論じるエッセイの構造を学習する。各パラグラフの役割と構成を復習する。 エッセイプラン表の作成法を復習する。 英和・和英辞典、シソーラス、コロケーション・ディクショナリー、ネット上の辞書など、英語を書く際に有効なそれぞれの辞書を使う意義と活用法を復習する。 授業中に、ネット上で使えるシソーラスなどの辞書を実際に引いてみる。 つなぎの言葉の有効性を確認する。	14	提出したエッセイのフィードバック	添削しコメントを添えてエッセイのフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。 また、添削・コメントを参考にエッセイを書き直し再度提出する。
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で8時間は必要。 リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。 リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。 記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるよう準備する。 秋学期に一度4パラグラフからなるエッセイを作成する。 【テキスト（教科書）】 飯野厚他、『Voice Your Opinion』、金星堂 【参考書】 特に無し。 【成績評価の方法と基準】 授業参加40パーセント、レポート・スピーチ・試験60パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。 一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていく。 4回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。 原則的に遅刻は認めない。 オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。 【学生の意見等からの気づき】 ペアワークによる演習を増やす。					

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learn after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This content-based course utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce four skills to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) read and discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to write summaries in an organized and logical manner.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to further develop four skills.
- (f) be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: Hitmaker	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 2: Budget Train Gives Rich Rewards	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 3: Lifesaver for Type 1 Diabetes Patients	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Unit 4: Think Globally, Graze Locally	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 5: Japanese Family Steps Up to Support Evacuee	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 6: Advocate for Abduction Issue Remembered	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 7: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 8: A New View of Hokusai	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
11	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Project (Prepare for Presentation 3)	Rehearse Presentation Speech
13	Group Presentation	Presentation
14	Review / Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2026). NHK Newline Special Edition - 映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4239-0 (¥2800 +税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quiz and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など - 防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based course and aims to help students further develop their four English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This content-based course utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce four skills to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) read and discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to write summaries in an organized and logical manner.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to further develop four skills.
- (f) be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 8: A New View of Hokusai	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 9: Space Development Board Game	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 10: In Memory of Monty	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Unit 11: Engaging Youth in Politics	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 12: Artisan from Abroad Protects Tradition	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 13: Building a Bridge to Share a Son's Dream	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 14: Tanzanian Students Discover Japan	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 15: Teaching about Black Lives Matter	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
11	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Project (Prepare for Presentation 3)	Rehearse Presentation Speech
13	Group Presentation	Presentation
14	Review / Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes. 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2026). NHK Newline Special Edition - 映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4239-0 (¥2800 + 税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quiz and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分まで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など- 防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based and aims to help students further develop their four English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
English 3 I					
サブタイトル：English in Global Contexts					
TOBY TRAUB					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金5/Fri.5					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 Learning English for communicating in a global society.			4	The Way we Live Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
【到達目標】 This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学 部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、 経営学部：DP1			5	Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
【主な授業方法】 S 演習/ゼミ/Seminar					
【授業の進め方と方法】 Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities. Feedback will be obtained through quiz scores.			6	Unit 2 Political Refugees Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 あり / Yes					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			7	Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
回	テーマ	内容			
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities			
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..	8	Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

9	Unit 3: Seize the day Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://news.google.com/news/ 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 30% Quizzes, writing assignments, reading assignments, and presentations: 70% Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course. Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade. There will be a quiz in almost every class. If you miss the quiz, you miss the points. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【学生が準備すべき機器他】 Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary. Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt or other AI tools on an assignment will result in a zero for the assignment and possible disciplinary action by the university. Plagiarism is never ok. 【その他の重要事項】 This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course. This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment. 【Outline (in English)】 This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.
10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	
12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment. Tips for the Quiz	
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Quiz Song lesson	
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete a writing assignment and/or study for a quiz every week in preparation for class. This writing assignment will usually require research.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. However, this is not at all realistic for a language course, and, at times, you will need to spend considerably more time.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class.

However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English in Global Contexts

TOBY TRAUB

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ/Seminar

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities. Feedback is obtained through quiz grades.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Welcome back	What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.
2	Homelessness Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..

3	Art and War Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
4	Human Compassion Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Is telling lies bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Immigration good, or bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	How neighborhoods happen. Introduce big presentation. Create teams. Go over expectations.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
8	Rules versus freedom Presentation topics due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.

9	Japan surveillance state. Outline of presentations due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity.Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Preparations will include, but are not limited to a writing assignment almost every week, study for quizzes, prepare for presentation, and etc.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. However, this is not at all realistic for a language course, and, at times, you will need to spend considerably more time.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Quizzes, writing assignments, reading assignments, and presentations:70%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

There is a quiz almost every week. If you miss it, you miss the points.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK).

Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary.

Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt or other AI tools on an assignment will result in a zero for the assignment and possible disciplinary action by the university. Plagiarism is never ok.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

【Outline (in English)】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

GENC BURCU

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to enhance all four language skills. However, it particularly provides students with essential reading skills for critical analysis through engagement with reading materials which examine social, economic, and political issues from the English speaking world. By cultivating knowledge on the socioeconomic and political landscape of other cultures, students will not only enhance reading skills but also develop a broader perspective, allowing them to grasp the gist of the ideas they encounter in daily news and contemporary discourse more effectively.

【到達目標】

- * Develop reading skills for critical analysis and discussion
- * Cultivate awareness of social, economic, and political concerns from a different cultural perspective
- * Reinforce language skills in all four key areas - reading, listening, speaking, and writing
- * Expand vocabulary and strengthen practical grammar application for language acquisition

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This course primarily uses a textbook to develop level-specific language skills across all four key areas: reading, writing, listening, and speaking. To deepen understanding and reinforce learning, students engage with selected news articles from reputable sources, using them as a basis for discussion. Group work is incorporated to ensure active participation and encourage collaborative learning. Additionally, students complete writing tasks, such as short paragraphs and reflective responses, to develop their ability to express ideas in a clear and organized manner. Through a combination of structured lessons, interactive discussions, and written exercises, the course fosters both linguistic proficiency and critical engagement with contemporary topics. To support learning, feedback is provided on all tasks either verbally or in written form as needed.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 3 I Spring Term	Students will be introduced to the course. Course guidelines will be overviewed together. After students get to know each other, they will start working on the selected unit from the textbook. For a warm-up, they will have some discussion on the main theme ideas in small groups. To support the group discussions, excerpts from news articles will be additionally provided. This will add more depth to the discussions being developed and more ideas will follow.
2	What Impacts Our Environment & Fragile Forests	On this lesson day, students will start reading the assigned passage from the textbook. They will make a detailed analysis in groups and complete all related activities. Following this, a class discussion will be made on the topic for exchange and evaluation of developed ideas. Before the end of the lesson day, students will also write a well-developed paragraph on an environmental problem after they briefly practice giving evidence and describing facts. Writings will be collected and marked.
3	Climate Change & Our Fragile Forests	The lesson day will start with teacher feedback on the collected writings. On the day, students will also start reading a new passage which is adapted from a recently published news article. The goal is to provide students with more chances for an exposure to present-day issues on the unit's main theme and development of individual views. Lastly, before the lesson day ends, students will receive guidance on their presentation projects. All students are required to give a presentation at least once during the Spring term, and the requirements will be explained in detail in this lesson.

4	A Hero in the Jungle & Issues to be Solved	Students will start the lesson day with a vocabulary quiz. Correct answers will be reviewed together after the task is complete. The purpose is to ensure that key vocabulary is acquired. Following this, students will watch a TED video which exposes to viewers a pressing environmental issue affecting the rainforests of Costa Rica. The video content will be watched both for activity completion and exchange of ideas on the topic. To achieve both goals with success, students will first engage in a focused listening task and identify key ideas as well as important details. Then, they will be asked to pay attention to tone and attitude of the speaker for an in-depth discussion.	7	What About Simple Solutions? & Are They Really Effective?	Reading passage which is about the important issues facing the developing world will be covered on the day. Students will make a detailed reading of the passage and answer questions on key ideas and supporting details. They will be also asked to work in pairs or small groups to brainstorm about other crucial problems — this time, from around the world — and list them in bullet points. Following these, students will review cause & effect language markers and write a well-developed paragraph which explains an issue of their choice. At the end of the day, writings will be submitted for feedback & grading.
5	Bright Ideas & New Answers	The lesson day will start with presentations. Those who are assigned with the task will give their presentation which is around 5 or 6 minutes to talk about an environmental issue. Following this, final thoughts on environmental problems will be shared and important points from the unit will be summarized. If any time remains, students will briefly review redundancy & relative pronouns to better understand some of the inconsistencies in their previously submitted paragraphs and learn how to avoid them.	8	Immigration: An Important Driver of Development or Challenge Maker?	The lesson day will start with teacher feedback on the writings. Students will be given ample opportunities to ask questions and make some improvements on their works. Following this, they will read a news article about immigration and understand what makes immigration essential for the world development despite the associated challenges. Afterward, to develop more perspective on the subject, students will work together and prepare a group work. They are expected to discuss a specific challenge in detail. Therefore, googling relevant information and data for support of ideas is essential in this task. Lastly, each group will share their ideas and findings with classmates before the end of the lesson day.
6	Needs of Others & Are There Solutions?	At the start of this lesson day, the new unit theme will be introduced. Students will first listen to a short talk on the most essential needs of the developing world. Then, they will read excerpts from news articles to deepen their understanding and exchange ideas freely. By the end of the lesson, they will be prepared for the reading passage analysis, which will take place in the next class. Also, if any activities from the previous lesson remain unfinished, time will be allocated to complete them in this lesson.	9	Education: How Has It Evolved Over The Last Ten Years?	The lesson day will start with a quiz to assess students' understanding of the essential vocabulary covered since the start of the term. After the quiz, students will begin working on a new unit which focuses on education. First, they will have some discussion on the subject by reading excerpts from news articles and exchanging ideas. The goal is to briefly highlight some of the most significant educational issues of the present age. Following this, students will read the assigned textbook's passage and answer questions for more perspective.

10	Face-to-Face and Online Education: Which One Suits You The Most?	The lesson day will start with a new reading material on education. Students will read a news article which compares face-to-face classes to online learning. After reading the article and answering comprehension questions, students will write a well-developed paragraph on the topic by applying comparison language. In this task, students will be also required to highlight a key advantage of one teaching method over the other one. As before, students will review the essential language markers and complete a short practice activity before the actual writing task begins in class.	13	Final Round of Presentations & Review	The lesson day will start with student presentations. Those who are assigned for the day are expected to give an individual presentation. The presentation topics should be about education and relate to aspects covered in classes. After the presentations, students will get ready for the final exam. Important language topics and vocabulary will be reviewed through short practice activities. Lastly, guidance on the final exam will be provided before the class ends.
11	Educational Issues: What Motivates us to Study?	The lesson day will begin with feedback on the written works. During the feedback session, students will briefly review task-relevant connectors and linking words once again to refine their writing. Following this, they will be given time to ask questions and make additional improvements. Afterward, students will complete the final reading task of the term. They will read and analyze one more news article which explores the root causes of motivation issues in learning. During this reading task, students will work in groups and answer comprehension questions for a discussion. As before, they will share their ideas and findings with other classmates for a more lively class discussion on the subject.	14	Final Exam	On the last lesson day, final exam of the term will be conducted. This will bring the Spring term to an end.
12	Education & Success: What's the Key?	The lesson day will focus on listening practice, with students completing two key tasks. First, they will watch the assigned textbook's video content and take notes for key information. Afterward, students will shortly exchange ideas to check comprehension. Then, students will watch the video again to complete fill-in-the-blank activities to grasp more specific details. Lastly, before the task is finished, students will discuss additional factors that contribute to success in learning. Is grit the only major contributor?	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ¥ 2840 Additional articles will also be provided by the instructor in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://news.google.com/news/ 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 30% Presentations: 25% Writing assignments: 10% Final Exam: 35% More than 3 absences will result in failure from the course. 【学生の意見等からの気づき】 Students would like to build up more vocabulary. This will be achieved through additional articles whose vocabulary level is slightly higher than the textbook provided by the instructor. 【学生が準備すべき機器他】 No need for equipment preparation. However, students might be occasionally asked to bring their laptops, or notepads to the class for some activities. 【Outline (in English)】 This course is designed to enhance all four language skills. However, it particularly provides students with essential reading skills for critical analysis through engagement with reading materials which examine social, economic, and political issues from the English speaking world. By cultivating knowledge on the socioeconomic and political landscape of other cultures, students will not only enhance reading skills but also develop a broader perspective, allowing them to grasp the gist of the ideas they encounter in daily news and contemporary discourse more effectively.		

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：

GENC BURCU

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

The Autumn term classes build upon the skills developed in the Spring and continue to support students' English proficiency across all four key areas. As in the Spring, the focus will be on developing fluency in reading. Students will engage with texts that examine social, economic, and political issues in the English-speaking world. By exploring these topics, students will gain insight into key societal concerns, strengthening their ability to interpret and evaluate ideas in news articles and other contemporary texts. By the end of the course, they will be better equipped to analyze complex written materials and engage thoughtfully with current global issues.

【到達目標】

- * Strengthen proficiency in all four core language skills
- * Enhance reading skills for critical analysis and effective discussion
- * Foster understanding of social, economic, and political issues from a cross-cultural viewpoint
- * Broaden vocabulary and improve practical grammar usage to support language learning.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The approach will remain consistent in the Autumn term, further building on the targeted skills. Students will continue to use the same textbook, which will be supplemented with carefully selected news articles from reputable sources to enhance skill development across all areas. The course requirements will largely stay the same, with an emphasis on active class participation and group work to foster linguistic proficiency and critical engagement with contemporary topics. Additionally, students will complete short writing assignments, similar to those in the Spring term, contributing to the achievement of the course's learning outcomes. Lastly, feedback will be provided on all tasks in verbal and/or written form as in the previous term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to the Autumn Term Classes	Students will be introduced to the course. Rules & requirements will be overviewed together. Afterward, students will start working on the designated unit from the textbook. To start, students will engage in a group discussion to develop ideas on the main unit theme. To enrich class discussion and deepen analysis, students will be also provided with various excerpts from news articles on food-related diseases and associated issues. This will make students ready for the next class' reading and writing tasks.
2	What is a Food Revolution?	On this lesson day, students will start reading the assigned passage from the textbook. They will make a detailed analysis in groups and complete all related activities. Following this, a short class discussion will be made on the topic for exchange and evaluation of developed ideas. After completing reading passage analysis and discussion, students will be asked to write a well-developed paragraph on a food-related issue by applying cause & effect language. For preparation, students will briefly review key vocabulary and essential language markers from the Spring term, with a particular focus on connectors. Lastly, writings will be collected for feedback and assessment at the end of the day.
3	Hunger Strikes. But, What About a Solution?	The lesson day will begin with teacher feedback on the collected writings. Following the feedback, students will start reading a news article which explores the major contributors to the global food crisis. The goal of the week is to engage students with the present-day issues on the unit's main theme while encouraging them to expand their perspectives beyond the textbook content. Before the lesson day ends, students will be also provided with essential guidance on giving presentations. Requirements of the task will be explained in detail, and the schedule will be announced.

4	Food Education & Why It Matters	Students will start the lesson day with a vocabulary quiz. This will provide them with a chance to assess their understanding of the key vocabulary learned thus far. Once the task is complete, correct answers will be revealed to clarify doubts and allow review where needed. Afterward, students will watch a TED video which exposes an ongoing problem about food served at schools. The video content will be watched both for activity completion and exchange of ideas on the topic. To complete all successfully, students will first engage in a focused listening task and identify key ideas as well as specific information. Then, they will be asked to take notes on the speaker's tone and attitude to support an in-depth discussion of the important points from the video.	7	Body Language & Its Impact on Our Lives	On this lesson day, students will read the assigned textbook's reading passage and answer questions for comprehension. They will gain more insight into the role body language plays in shaping our perceptions of confidence and success. Afterward, they will start preparing for the day's writing task. They will be provided with some discussion questions to brainstorm for more ideas about language and success relation. Following this, students will review argumentation language and write a well-developed paragraph on one of the discussed questions. Writings will be submitted at the end of the day.
5	Food Campaigns & How to Raise Awareness across the World	The lesson day will start with presentations. Those who are assigned for the day will give a presentation which is around 5-6 minutes and talk about a food-related problem or a closely associated issue. If time permits, students will also engage in additional instructor-prepared activities for a practice session. They will complete activities on a selected language topic, which will be determined after the instructor reviews students' writings submitted at the end of lesson 2.	8	Language Barrier Many Immigrants Deal With	The lesson day will begin with teacher feedback on the writings. During the feedback session, students will be given a chance to ask questions and address specific issues in their writings. Afterward, they will read a news article about language barriers facing immigrant family children in schools. They will answer comprehension questions and then collaborate for a group work. In groups, students will analyze other challenges which are rooted in language barriers and propose solutions. Throughout this task, students are allowed to google relevant information and data for support of ideas. Lastly, each group will be asked to share their ideas and findings with classmates before the end of the lesson day.
6	Success Stories & Body Language	At the start of this lesson day, the new unit theme will be introduced. Students will first listen to a TED talk about body language and its impact on success. Afterward, they will read excerpts from reliable research and newspaper publications to deepen their understanding of the theme and participate in an open class discussion. By the end of the day, they will be ready for the next week's reading passage analysis.	9	Energy Builders & Energy Production	The lesson day will start with a vocabulary quiz. Students will answer questions to assess their knowledge on the attained vocabulary from the previous unit. After the quiz, the new unit theme will be introduced through some excerpts from news articles. This will give students a chance to become familiar with some of the most significant issues concerning use of energy and production methods at present. Following this, students will read the assigned textbook's reading passage and answer questions for comprehension and exchange of opinions.

10	Global Issues in Energy Use	The lesson day will start with a new reading material on energy. Students will read a news article which analyzes the major impacts of sanctions on Russia's energy export. After reading the article and answering comprehension questions, students will write a well-developed paragraph on the topic by applying comparison language and highlighting one significant consequence. For this writing task, students will be also taught to read graphs and explain data from such content.	13	Final Round of Presentations & Review	The lesson will begin with student presentations. Those who are assigned for the day are expected to give an individual presentation. The presentation topics have to be about issues which pertain to energy and should also relate to aspects covered in classes. Following this, learned grammar and vocabulary will be practiced through short activities. Guidance on the final exam will be also provided before the lesson ends.
11	Global Issues in Energy Use II	The lesson day will start with teacher feedback on the writings. Students will ask questions and improve the highlighted errors. Afterward, they will engage in reading a news article which covers the major causes of today's energy issues. During this reading task, students will work in groups and answer comprehension questions for a class discussion. As before, all groups will aim to expand discussion and propose solutions for the raised article issue(s). Additionally, groups will be required to justify their views by providing reasonable facts and other evidence from the assigned article as well as other sources. All will shortly present their findings to the class before the lesson ends.	14	Final Exam	On the last lesson day, final exam of the term will be conducted. This will bring the Autumn term to an end.
12	Harnessing the Wind	This lesson day will focus on listening practice. Students will complete two key tasks. First, they will watch the assigned video from the textbook and take notes on key points. Afterward, students will briefly exchange ideas to check their comprehension. Following this, they will watch the video again, this time completing fill-in-the-blank activities to grasp more specific details. Lastly, before the task is finished, students will discuss what feeds our curiosity and propels us to invent.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ¥ 2840 Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class. 【参考書】 These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments. https://japantoday.com/ https://www.japantimes.co.jp/news/ https://www.yahoo.com/news/ http://www.bbc.com/news https://www.theguardian.com/international 【成績評価の方法と基準】 Class participation: 30% Presentations: 25% Writing assignments: 10% Final Exam: 35% More than 3 absences will result in failure from the course. 【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【Outline (in English)】 The Autumn term classes build upon the skills developed in the Spring and continue to support students' English proficiency across all four key areas. As in the Spring, the focus will be on developing fluency in reading. Students will engage with texts that examine social, economic, and political issues in the English-speaking world. By exploring these topics, students will gain insight into key societal concerns, strengthening their ability to interpret and evaluate ideas in news articles and other contemporary texts. By the end of the course, they will be better equipped to analyze complex written materials and engage thoughtfully with current global issues.		

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Japan in the Modern World (Migration, Work, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Through reading, listening, and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge, and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and the influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading, and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee-related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Thinking about work, migration, and movement in Japan through English language media. Introduce yourself, and mention one thing that you think of when you hear the word "economic migrant". Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading diary. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading diary.
Week 2	Economic Migrants in Sales and Marketing	Unit 1 Sales Can Be Like Acting Complete exercises in the textbook. Watch the video of the Tommy Lee Jones interview. Write down some impressions that you have of famous Hollywood stars like Tommy Lee Jones who appear in commercials in Japan. Share these ideas in discussions in pairs. Homework: Reading and reading diary.
Week 3	Economic migrants.	Economic migrants. People like David White (from Unit One) can be classified as economic migrants however they are usually not referred to as such. Others who migrate for work are called economic migrants and may be even considered to be a "social problem". Based on materials in class and students' research, discuss the various types of "economic migrants" living and working in Japan. Prepare a short presentation on what kind of work would suite you. Would you move abroad to work? Homework: Reading on undocumented migrants.

Week 4	Reading Article 1 Reading article on migrant workers in Japan.	Students will be introduced to vocabulary in English for thinking about migration. This will include key words such as “undocumented” or “irregular” migrants, who are often referred to as “Illegal” migrants in the media and by governments and government bureaucracies.	Week 11	Reading Task 3	Readings an article related to students’ own presentation.
Week 5	Air Travel Tourism: A world that is open and accessible?	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey) Exercises from the textbook. Homework: Reading and reading diary.	Week 12	Presentation Workshop	You will have time to continue preparing your presentations. You will have the opportunity to talk to each other about your presentations and ask your teacher for help with content and English expression.
Week 6	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey)	Exercises from the textbook. Continued. Homework: Reading on immigration detention.	Week 13	Student Presentations part 1.	First group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Week 7	Reading Task 2 Air Travel Passports, Refugees, and Immigration Detention	Many of the migrant workers introduced in the textbook are from “Western” countries such as Italy or the UK. But migrants and refugees can face problems with immigration control. We will look at articles about people detained in immigration detention including the situation of a person from Turkey living in Japan.	Week 14	Student presentations part 2.	Second group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!
Week 8	Research workshop: Learning about a topic through essay writing.	Choose a topic you want to present on as a power-point presentation. Think about the title, introduction, the details for the body, and your conclusion. Think about the sources that you can use to write your presentation. Start thinking about the images you can use for your presentation. You will start preparing your presentation and also get feed back from the instructor online after submitting a draft. You will then continue to edit the presentation before presenting it in week 13 or 14.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 Materials that will be used in this class will be provided throughout the course by the instructor. Please make sure you have a A4 folder to keep these resources in one places. 教科書に代替する教材資料は授業を通して配布する。資料を整理するためにA4 フォルダを購入すること。 【参考書】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search “Penguin reader” on the library search. Oxford Bookworms etc (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) *Search “Oxford Bookworms” on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann. 【成績評価の方法と基準】 1. Class Participation and Reading (Keeping a reading record) 20%		
Week 9	Unit 5: Migrant Workers in the Service Sector	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Exercises from the textbook: Providing good service and marketing. Homework: Reading and reading diary.			
Week 10	Unit 5: Migrants Workers in Japan	Unit 5: Migrants Workers Exploitation in Japan Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Continued Reading task: Article about technical trainees working in Japan. Homework: Reading on Migrant Workers in Japan.			

- ・ In-class reading and listening comprehension, discussions based on the text book and other materials.
- ・ Choosing and reading books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading record of all the books and articles you have read in English during the semester.

2. Various reading in-class and homework assignments. Reading the articles handed to you in class and taking notes on those articles to help with comprehension and class discussion

30%

a. Reading article on migrant workers in Japan.10%

b. Reading article on immigration detention.10%

c. Reading an article related to students' own presentation. 10%

3. Major assignment: research and presentation 50%

Research Topic Work Sheet 10%

References for presentation (work sheet and bibliography in slides)10 %

Final Presentation (10 slides x 20 second presentation + references slide) 30%

(Oral presentation, content of presentation, slides, general effort 20% Your comments listening to other students and comments on your presentation by others 10%)

You will complete a work sheet including a bibliography which you will hand in separately in person or online. The information that you prepare in the work sheet that you will complete for homework and in class will then be what you base your final presentation on.

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

● A4 folder to keep all hand outs and learning resources organized for this class.

● Additional resources for writing (dictionaries etc).

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or laptop if it helps with their learning.

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the Modern World (Migration, Work, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in English 3 I.

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi). There will be verbal feedback given directly to every student following their presentation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Course syllabus explained. Introduce yourself. Tell the class about something interesting or fun that you did while you were on summer vacation (study, student association activities, hobbies etc.) Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading record. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading record.
Lesson 2	The migration of ideas through translation.	Textbook Unit 4 Translating is more than words. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 3	The migration of ideas through translation (continued)	Focusing on the translation of Japanese Manga and Anime into English Speaking Practice: Exploring different interests Reading Passage: Why Learn Japanese. Reading Comprehension /Your Opinions. Homework: Reading and reading diary. Reading on Palestine and it's Japanese translation.
Lesson 4	Reading Task 1 Translation and learning about Palestine	We will look at articles and parts of books written in English about topics such as Israel-Palestine, genocide of Jewish people, and writing in English by people in Gaza. We will also read an article about the ongoing genocide in Gaza. Homework: Practice reading articles shown in class. Also go and find a TV program that you think might be fun in English and watch it in English. Reading and reading diary.
Lesson 5	Textbook- Unit 6: Toast Your Success!	Japanese Companies selling products overseas Homework: Reading and reading diary.
Lesson 6	Unit 6 Think global act local.	Japanese Companies selling products overseas Homework: Read article on migration and crime.

Lesson 7	Reading Task 2: Migration and Crime	The movement of people and the movement of different ways of living: how does this impact society? Reading article on the topic: Does migration lead to an increase in crime? Homework: Hand out worksheets on research for final presentation.	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. You will need to set aside time to research for your presentations and to read the articles given to you during class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
Lesson 8	Research workshop: Learning about a topic through essay writing.	Choose a topic you want to present on as a power-point presentation. Think about the title, introduction, the details for the body, and your conclusion. Think about the sources that you can use to write your presentation. Start thinking about the images you can use for your presentation. You will start preparing your presentation and also get feedback from the instructor online after submitting a draft. You will then continue to edit the presentation before presenting it in week 13 or 14.	【テキスト（教科書）】 Materials that will be used in this class will be provided throughout the course by the instructor. Please make sure you have a A4 folder to keep these resources in one place. 教科書に代替する教材資料は授業を通して配布する。資料を整理するためにA4 フォルダを購入すること。 【参考書】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search "Penguin reader" on the library search. Oxford Bookworms etc (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) *Search "Oxford Bookworms" on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.
Lesson 9	Unit 8: Build a Happy Life!	Life of a European Architect in Japan from Text book	English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/
Lesson 10	Build a Happy Life continued.	Life of a European Architect in Japan Homework: Reading on border control construction such as walls and fences.	英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.
Lesson 11	Reading Task 3	Reading an article related to students' own presentation.	【成績評価の方法と基準】
Lesson 12	Presentation Workshop	You will have time to continue preparing your presentations. You will have the opportunity to talk to each other about your presentations and ask your teacher for help with content and English expression.	1. Class Participation and Reading (Keeping a reading record) 20% ・ In-class reading and listening comprehension, discussions based on the text book and other materials. ・ Choosing and reading books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading record of all the books and articles you have read in English during the semester.
Lesson 13	Student Presentations part 1.	First group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!	2. Various reading in-class and homework assignments. Reading the articles handed to you in class and taking notes on those articles to help with comprehension and class discussion 30% a. Reading article on genocide in Gaza and other books on Palestine 10% b. Reading article on immigration and crime. 10% c. Reading an article related to students' own presentation. 10%
Lesson 14	Student presentations part 2.	Second group of students will present their work. Other students will write comments on the presentations. Students not presenting will be required to write comments regarding all the speakers and hand in their comments at the end of the class, so make sure you pay attention!	3. Major assignment: research and presentation 50% Research Topic Work Sheet 10% References for presentation (work sheet and bibliography in slides) 10 % Final Presentation (10 slides x 20 second presentation + references slide) 30% (Oral presentation, content of presentation, slides, general effort 20% Your comments listening to other students and comments on your presentation by others 10%) You will complete a work sheet including a bibliography which you will hand in separately in person or online. The information that you prepare in the work sheet that you will complete for homework and in class will then be what you base your final presentation on.

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

● A4 folder to keep all hand outs and learning resources organized for this class.

● Additional resources for writing (dictionaries etc).

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or laptop if it helps with their learning.

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBSで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に付けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1とEnglish2で学んだことをベースとして、英語の4技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

AIで仕事がなくなるか、ロボットと人間の共存は可能か、地球温暖化を食い止めるための植樹活動、といったテーマをめぐる現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストは、各Unitがニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキストUnit2前半	リスニング、リーディング
3	テキストUnit2後半	リーディング、ライティング
4	テキストUnit5前半	リスニング、リーディング
5	テキストUnit5後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）

8	テキストUnit6前半	リスニング、リーディング
9	テキストUnit6後半	リーディング、ライティング
10	テキストUnit8前半	リスニング、リーディング
11	テキストUnit8後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web動画を各自で観て穴埋めをして完成させうえて、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくこと。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 7, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2025 年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験（あるいはレポート）の成績（40%）、プレゼンテーション（20%）、授業参加度（40%）とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえるよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 II		2017年度以降入学者
サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会		
余田 剛		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金5/Fri.5		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBSで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に付けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1とEnglish2で学んだことをベースとして、英語の4技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

教育におけるChatGPTの影響、日本の老舗ビジネスの極意、静寂を守る環境活動家たち、といったテーマをめぐる現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストは、各Unitがニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキストUnit9前半	リスニング、リーディング
3	テキストUnit9後半	リーディング、ライティング
4	テキストUnit10前半	リスニング、リーディング
5	テキストUnit10後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）

8	テキストUnit14前半	リスニング、リーディング
9	テキストUnit14後半	リーディング、ライティング
10	テキストUnit15前半	リスニング、リーディング
11	テキストUnit15後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web動画を各自で観て穴埋めをして完成させうえて、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくこと。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 7, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2025 年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験（あるいはレポート）の成績（40%）、プレゼンテーション（20%）、授業参加度（40%）とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：TED Talks で知る現代社会：英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

また、授業資料は、学習支援システムを通じて配布します。

[第一部]第2週 Topic: Interdisciplinary第5週 Topic: Business/Leadership第8週 Topic: Life Science第11週 Topic: Sociology/Fashion

[第二部]第3週：TED TALK by Matt Cutts：Try Something New for 30 dayshttps://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第6週：TED TALK by Tom Wujec：Build a Towerhttps://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第9週：TED TALK by David Gallo：Underwater Astonishmentshttps://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第12週：TED TALK by Jessi Arrington：Wearing Nothing Newhttps://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

[第三部]：各Unitテストと自己表現 第4,7,10,13週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一週	Introduction	What is TED?
第二週	Unit 1: Life Changes	Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第3週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第4週	Review Unit 1	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第5週	Unit 2: Team Power	Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第6週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Academic Skills: Understanding stages in a process, ...ets.
第7週	Review Unit 2	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第8週	Unit 3: Ocean Wonders	Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/referents
第9週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第10週	Review Unit 3	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第11週	Unit 4: What We Wear	Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process
第12週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Academic Skills: Recognizing point of view
第13週	Review Unit 4	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第14週	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED Talkをインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheetに記入しておく。

復習：checksheetに記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5 その他、プリント配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および unit quiz）40％、課題30％、期末テスト30％

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Ims2025.

[Overall Objectives]

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand speeches without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a speech
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

Grading criteria for this course will be based on the following:

Class participation 40% (class activities + unit quizzes)
/ assignment 20 % / final test 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: TED Talks で知る現代社会: 英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期同様本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能: 読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第2部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、Unit終了毎に提出し、フィードバックを受けます。

また、授業資料は、学習支援システムを通じて配布します。

[第一部] 第2週 Topic: Architecture and Design 第5週 Topic: Conservation/ Engineering 第8週 Topic: Visual Arts/ Sociology
[第二部] 第3週: TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Un- expected Places https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja 第6週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja 第9週: TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ... https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja
[第三部]: 各 Unit テストと自己表現 第4,7,10,11,12,13 週

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	Introduction	授業進行、テキスト、評価方法についての説明
第2週	Unit6: Building Solutions	Topic:Architecture and Design Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第3週	Unit6: Building Solutions	TED TALK by Iwan Baan Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第4週	Unit6: Review	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第5週	Unit 7: Roads to Fame	Topic:Communication/ Sociology Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第6週	Unit 7: Roads to Fame	TED TALK by Kevin Allocca
第7週	Unit 7: Review	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第8週	Unit 9: Community Voices	Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第9週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Academic Skills: Understanding main ideas and key details/making predictions,...etc.
第10週	Unit 9: REview	Review Test Research &Presentation Checksheet 回収
第11週	Your favorite TED talk	Finding your own favorite TED talk
第12週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第13週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第14週	試験・まとめと解説	Final test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

準備学習: 学生は、各Unitで扱うTED Talkをインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheetに記入しておく。
復習: checksheetに記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題: 授業で扱ったTED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5 その他、参考資料配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準: 授業参加度 (授業内での発言および unit quiz) 40%、課題30%、期末テスト30%

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く持ちます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Ims2025.

[Overall Objectives]

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand speeches without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a speech
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation 40% (class activities + unit quizzes)
/ assignment 20 % / final test 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: イギリスの歴史と伝統 (British History and Tradition)

田口 清一

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English3では、English1とEnglish2で身に付けた英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)を更に深めることを目的とする、また、この4技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めてゆく。

【到達目標】

＊知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
 ＊英文の内容と文脈を常に考えながら、批判的に読む習慣を身に付ける。
 ＊日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
 ＊文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるようになる。
 ＊知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
 ＊英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

各Chapterにおいて、本文の読解、リスニング、ライティング(センテンス・レヴェル)、スピーキングはテキストに沿って行ない、ライティング(補充問題とパラグラフ・レヴェル)に関しては別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・背景知識(一般教養)が三位一体となった精読を行い、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めてゆく。年間を通して、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

課題の提示と提出は「学習支援システム」を通して行い、各回の課題に対し、授業(対面又はオンライン)での解説によってフィードバックを行う。最終回には春学期全体の講評も行う。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	年間の授業についての説明
第2回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理(可算と不可算)
第3回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理(冠詞と限定詞)
第4回	Chapter1(ケルト時代のイギリス)①	読解、リスニング、スピーキング
第5回	Chapter1(ケルト時代のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第6回	Chapter1(ケルト時代のイギリス)③ Chapter2(ローマ時代のイギリス)①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング

第7回	Chapter2(ローマ時代のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第8回	Chapter2(ローマ時代のイギリス)③	リスニング、ライティング
第9回	Chapter3(アングロ・サクソン時代のイギリス)①	読解、リスニング、スピーキング
第10回	Chapter3(アングロ・サクソン時代のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第11回	Chapter3(アングロ・サクソン時代イギリス)③ Chapter4(ノルマン人による征服)①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第12回	Chapter4(ノルマン人による征服)②	読解、リスニング、スピーキング
第13回	chapter4(ノルマン人による征服)③	リスニング、ライティング
第14回	学期末の課題 学期末の講評	パラグラフレヴェルのライティング 春学期の課題の総評とまとめ

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

各回の授業と課題に対するしっかりした予習・復習が必須である。本文演習においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べること。問題演習(ライティング)においては必ず自分の解答を用意して臨み、解説によって自ら添削すること。各回の授業のポイントは必ず次回までに復習しておくこと。

尚、本授業の準備学習・復習時間は合わせて最低1時間を標準とする。

【テキスト(教科書)】

Facets of Britain(珠玉の英国) 朝日出版社

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書(体系的にある程度詳しく記述されたもの)を最低一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

期末試験は行わず、「平常点」50%、「課題の出来」50%で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。

尚、原則として、欠席又は未提出の課題が4回以上ある場合は単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識が身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も広い観点からの英語力を高められるような授業にしたい。

【その他の重要事項】

年間を通してのレヴェル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

【Outline (in English)】

[Course Outline]

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

[Learning Objectives]

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

[Learning Activities Outside of Classroom]

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

[Grading Criteria]

Each student's final grade will be decided, based on his or her overall class contribution marks(50%) and the results of the required assignments(50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: イギリスの歴史と伝統 (British History and Tradition)

田口 清一

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English3では、English1とEnglish2で身に付けた英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)を更に深めることを目的とする。また、この4技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めてゆく。

【到達目標】

- * 知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
- * 英文の内容と文脈を常に考えながら、批判的に読む習慣を身に付ける。
- * 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- * 文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるようになる。
- * 知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
- * 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

各Chapterにおいて、本文の読解、リスニング、ライティング(センテンス・レヴェル)、スピーキングはテキストに沿って行い、ライティング(補充問題とパラグラフ・レヴェル)は別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・背景知識(一般教養)が三位一体となった精読を行い、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めてゆく。年間を通して、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

課題の提示と提出は「学習支援システム」を通して行い、各回の課題に対し、授業(対面又はオンライン)での解説によってフィードバックを行う。最終回には年間を通しての総評も行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	日本語と英語の相違	文圧縮(名詞構文)
第2回	日本語と英語の相違	人称代名詞
第3回	Chapter5(中世のイギリス)①	読解、リスニング、スピーキング
第4回	Chapter5(中世のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第5回	Chapter5(中世のイギリス)③	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
	Chapter6(キリスト教の到来)①	
第6回	Chapter6(キリスト教の到来)②	読解、リスニング、スピーキング
第7回	Chapter6(キリスト教の到来)③	リスニング、ライティング
第8回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体)①	読解、リスニング、スピーキング

第9回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体)②	読解、リスニング、スピーキング
第10回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体)③	リスニング、ライティング 読解、リスニング、スピーキング
	Chapter8(産業革命)①	
第11回	Chapter8(産業革命)②	読解、リスニング、スピーキング
第12回	Chapter8(産業革命)③	リスニング、ライティング
第13回	年間の仕上げの課題	Writing an Essay
第14回	今年度の総括	年間の課題に対する総評とまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各回の授業と課題に対するしっかりした予習・復習が必須である。本文読解においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べる。問題演習(ライティング)においては必ず自分の解答を用意して臨み、解説によって自ら添削すること。各回の授業のポイントは必ず次回までに復習しておくこと。

尚、本授業の準備学習・復習時間は合わせて最低1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

Facets of Britain(珠玉の英国) 朝日出版社

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書(体系的にある程度詳しく記述されたもの)を一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

期末試験は行わず、「平常点」50%、「課題の出来」50%で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。秋学期は春学期からの習熟度も考慮に入れる。

尚、原則として、欠席又は未提出の課題が4回以上ある場合は単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識が身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も幅広い観点から英語力を高められるような授業にしたい。

【その他の重要事項】

年間を通してのレヴェル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

【Outline (in English)】

[Course Outline]

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

[Learning Objectives]

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

[Learning Activities Outside of Classroom]

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

[Grading Criteria]

Each student's final grade will be decided, based on his or her overall class contribution marks(50%) and the results of the required assignments(50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの地域から文化を学ぶ

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に習得した4技能の英語運用能力に基づき、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信することを目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】

受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書に頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
 受講生は情報を適切に受け取り、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
 世界に大きな影響力をもつアメリカについて学び、特に地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回にリーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）などの技能の演習を割り当てる。リーディングの回では、語彙力の養成や構文の理解を重視するとともに、日本語で内容をまとめることを学生に求める。ライティングやプレゼンテーションでは英語表現の習得だけでなく、適切な構成の使用にも目を向ける。
 提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」（Hoppii）で行う。
 授業方法の変更等の重要な連絡はHoppiiで行う。授業日の朝にHoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
 あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
 なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業計画と授業方法の説明
2	Chapter1 (Boston)	Bostonの歴史を学び、現代のこの都市についてのリスニング演習を行う
3	Chapter2 (Maine)	Maineの文化についてのエッセイを読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
4	Chapter3 (New York City1)	New York市の歴史を学び、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
5	Chapter4 (New York City2)	New York市の地域ごとの多様性を学び、スピーキングの演習を行う
6	Chapter5 (Washington,D.C)	連邦政治の舞台としてのワシントンD.Cについて書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う

7	Chapter6 (Charleston)の速読とリスニング演習	南北戦争について学び、リスニング演習を行う
8	Chapter7 (Savannah)の速読とリスニング演習	南部文化の特徴を学び、リスニング演習を行う
9	ライティングの課題作成	身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本の特徴的な文化の紹介文を英語で書く 紹介文は提出する
10	Chapter8 (Oswege)の精読とスピーキング演習	アメリカの典型的なsmall townの社会について学び、スピーキング演習を行う 紹介文の返却日
11	プレゼンテーション (1)	(第1班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
12	プレゼンテーション (2)	(第2班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
13	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について学生間で講評し、自分の意見を英語でまとめて書く
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションは、事前に原稿を修正および暗記をした上で行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

American Vibes: People, Places and Perspectives. (Todd Rucynski 他著、金星堂)
 必ず英和・和英辞書を持参すること。
 授業中、パソコン、タブレット、スマートフォン等を使用することを固く禁止する。違反した場合には大きく減点する。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、ライティングの課題25%、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25%。4回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。
 授業中、パソコン、スマートフォン、タブレットの使用を固く禁じる。違反した場合には大きく減点する。

【学生の意見等からの気づき】

引き続き、映像資料を積極的に使用する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】Building upon the English proficiency developed in the first year, this course enhances students' ability to comprehend English-language articles and express critical opinions. Using the cultural and social characteristics of various U.S. states and major cities as educational materials, students will further refine their reading and analytical skills. Additionally, they will be required to present their perspectives on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

【Learning Objectives】

Students will be able to read simple English texts with a reasonable degree of accuracy without relying heavily on a dictionary.

Students will develop the ability to process information effectively, critically identify key arguments, and express their own opinions in English.

Students will gain an understanding of the United States as a globally influential nation, with a particular focus on the cultural and social diversity of different regions.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Students are required to prepare by reviewing the assigned sections of the textbook and any distributed materials in advance. For presentations, students must revise and memorize their scripts beforehand.

【Grading Criteria/Policy】

Final Exam: 50%, Writing Assignments: 25%, and Class Participation (including speaking and presentations): 25%

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English 3 II	2017年度以降入学者
サブタイトル：アメリカの地域から文化を学ぶ	
須藤 祐二	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金5/Fri.5	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、1年次に習得した4技能の英語運用能力に基づいて、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信することを目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】

受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書に頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
受講生は情報を適切に受け取り、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
世界に大きな影響力をもつアメリカについて学び、特に地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

ウォーム・アップとしてリスニングを行う。各回にリーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）などの技能の演習を割り当てる。リーディングの回では、語彙力の養成や構文の理解を重視するとともに、日本語で内容をまとめることを学生に求める。ライティングやプレゼンテーションでは英語表現の習得だけでなく、適切な構成の使用にも目を向ける。
提出された課題のフィードバックは授業中および「学習支援システム」(Hoppii)で行う。
授業方法の変更等の重要な連絡はHoppiiで行う。授業日の朝にHoppiiを確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習と秋学期の授業の概要説明	春学期に学習内容の振り返りを行い、秋学期の授業でなにを学ぶかを説明する
2	Chapter9 (Austin)	Austinの文化的特徴についての速読とリスニング演習 紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
3	Chapter10 (Saint Jo, Texas)の速読とスピーキング演習	カウボーイ文化の紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
4	Chapter11 (Santa Fe, New Mexico)の精読とスピーキング演習	Santa Feの歴史についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
5	Chapter12(Arizona)の精読とスピーキング演習	アメリカ文化における Route 66の意義についての記事を読み、スピーキングの演習を行う

6	Chapter 13(Los Angeles 1)の精読とリスニング演習	ハリウッドについて書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う
7	Chapter 14(Los Angeles 2)の速読とリスニング演習	Los Angelesの多様な食文化について学び、リスニング演習を行う
8	ライティングの課題作成	身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本の特徴的な文化の紹介文を英語で書く 紹介文は提出する
9	Chapter 15(Seattle)	Seattleのコーヒー文化について学び、スピーキング演習を行う
10	プレゼンテーション (1)	(第1班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
11	プレゼンテーション (2)	(第2班) 紹介文を修正した上で、その原稿を憶えてプレゼンテーションをする。他の学生は講評を行う リスニング演習をする
12	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について日本語で意見交換を行い、自分の意見を英語でまとめて書く
13	アメリカのニュース記事の精読とスピーキング演習	与えられた記事を読み、自分の意見を英語で述べる
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションは、事前に原稿を修正および暗記をした上で行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

American Vibes: People, Places and Perspectives. (Todd Rucynski 他著、金星堂)

必ず英和・和英辞書を持参すること。

PC、タブレット、スマートフォン等を授業中に使用することは固く禁止する。違反した場合には大きく減点する。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、ライティングの課題25%、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25%。4回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

授業中、パソコン、タブレット、スマートフォン等を使用することを固く禁止する。違反した場合には大きく減点する。

【学生の意見等からの気づき】

引き続き、映像資料を積極的に使用する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】Building upon the English proficiency developed in the first year, this course enhances students' ability to comprehend English-language articles and express critical opinions. Using the cultural and social characteristics of various U.S. states and major cities as educational materials, students will further refine their reading and analytical skills. Additionally, they will be required to present their perspectives on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

【Learning Objectives】

Students will be able to read simple English texts with a reasonable degree of accuracy without relying heavily on a dictionary.

Students will develop the ability to process information effectively, critically identify key arguments, and express their own opinions in English.

Students will gain an understanding of the United States as a globally influential nation, with a particular focus on the cultural and social diversity of different regions.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Students are required to prepare by reviewing the assigned sections of the textbook and any distributed materials in advance. For presentations, students must revise and memorize their scripts beforehand.

【Grading Criteria/Policy】

Final Exam: 50%, Writing Assignments: 25%, and Class Participation (including speaking and presentations): 25%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This content-based course utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce four skills to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) read and discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to write summaries in an organized and logical manner.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to further develop four skills.
- (f) be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: Hitmaker	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 2: Budget Train Gives Rich Rewards	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 3: Lifesaver for Type 1 Diabetes Patients	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Unit 4: Think Globally, Graze Locally	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 5: Japanese Family Steps Up to Support Evacuee	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 6: Advocate for Abduction Issue Remembered	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 7: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 8: A New View of Hokusai	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
11	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Project (Prepare for Presentation 3)	Rehearse Presentation Speech
13	Group Presentation	Presentation
14	Review / Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2026). NHK Newline Special Edition - 映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4239-0 (¥2800 +税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quiz and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など- 防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based course and aims to help students further develop their four English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This content-based course utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce four skills to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) read and discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- (a) be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- (b) be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- (c) be able to write summaries in an organized and logical manner.
- (d) be able to give presentations on topics of their choice.
- (e) be able to further develop four skills.
- (f) be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 8: A New View of Hokusai	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 9: Space Development Board Game	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 10: In Memory of Monty	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Unit 11: Engaging Youth in Politics	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 12: Artisan from Abroad Protects Tradition	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 13: Building a Bridge to Share a Son's Dream	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 14: Tanzanian Students Discover Japan	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 15: Teaching about Black Lives Matter	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
11	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Project (Prepare for Presentation 3)	Rehearse Presentation Speech
13	Group Presentation	Presentation
14	Review / Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2026). NHK Newline Special Edition - 映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本【特別編】. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4239-0 (¥2800 + 税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quiz and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分まで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。遅刻の場合は、授業開始時の語彙テストは受けられません。課題提出は時間厳守です。期限を過ぎた課題は評価対象外です。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など- 防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based and aims to help students further develop their four English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English 3 I		2017年度以降入学者
サブタイトル：世界から見た日本文化		
野田 知子		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金5/Fri.5		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本文化に関連する様々なトピックを扱った教科書をもとに学習し、様々な視点から日本や日本文化についての理解を深める。映像の視聴を通してリスニング力を鍛えるとともに、関連する英文を読むことで語彙力・読解力を高めること、また英文の構造や発音の学習、アウトプット活動などに取り組むことで、1年次に学んだ「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能を包括的に高めていくことを目的とする。英語圏だけでなく様々な国の人々が話す英語に触れることで、ELF(English as a Lingua Franca)としての英語の重要性について理解し、日本の事象について発信できる力を養う。

【到達目標】

テキストなどの聴解や読解、アウトプット活動等を通して以下の内容を目標とする。

- ①国際語としての英語を通して、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力を身につける。
- ②多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力を身につける。
- ③英文を理解するための構文を意識して、意味のまとまりとして英文を捉える力を身につける。
- ④英文を繰り返し聞いたり音読したりすることで、リスニング力やスピーキング力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

WEB動画の視聴を通して、日本文化に関する多様な視点への理解を深めます。教科書のウォームアップやディスカッション・クエスチョンに基づき、ペアワークやグループワークで意見を表現する活動を行うため、事前にWEB動画を視聴し、内容を十分に理解したうえで、自身の考えを整理しておくことが求められます。各授業後には振り返り課題を課し、提出内容には個別にフィードバックを行います。また、次回授業において内容をクラス全体で共有し、理解をさらに深めます。さらに、前週の学習内容に関する小テストを実施し、正答率の低い問題や重要事項については補足説明を行い、全体でフィードバックを共有します。テーマに関する理解を深め、自らの意見を発信する機会として、グループおよび個人による計2回のプレゼンテーションを実施します。相互評価および自己評価を取り入れ、授業内で適切なフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の概要説明、ガイダンス、導入活動
2	Unit 1	Long-Established Businesses-老舗
3	Unit 2	Uniforms-制服、小テスト

4	Unit 3	Volunteer Work-ボランティア、小テスト
5	Unit 1 3に関する英文購読	小テスト、日本文化に関する英文読解、リスニング
6	プレゼンテーションガイドライン	ガイドライン説明・テーマ設定・調査・発表準備
7	プレゼンテーション1（グループ）	グループ発表・Peer Feedback
8	Unit 4	High-Tech Living (Automobiles)-ハイテク生活（自動運転）
9	Unit 5	Japanese Tableware-和食器、小テスト
10	Unit 6	Homemakers of Japan-主婦、小テスト
11	Unit 1 3に関する英文購読	小テスト、日本文化に関する英文読解、リスニング
12	まとめテスト	まとめテスト、プレゼンテーションガイドライン説明・テーマ設定・調査・発表準備
13	プレゼンテーション2（個人）	発表・Peer Feedback
14	プレゼンテーション2（個人）	発表・Peer Feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

・予習（準備学習）：事前にWEB動画を視聴し、教科書の問題を解いて内容理解をしておく。また教科書のウォームアップやディスカッションクエスチョンをもとに自分の意見をまとめておくこと。
・復習：語彙・文法事項・本文やビデオの内容を復習し、振り返りを記載すること。

【テキスト（教科書）】

津田晶子、金志佳代子、Christopher Valvona. (2019). 『Discovering Cool Japan / 発掘! かわいいニッポン: 異文化理解から日本文化発信へ』. 成美堂. (2,750円)

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- ①小テスト 30%
- ②プレゼンテーション 30% (15% * 2)
- ③まとめテスト 15%
- ④振り返り 15%
- ⑤主体的に学修に取り組む態度 10%

授業への積極的な参加が重要です。欠席が4回以上の場合は原則として単位修得を認めません。(30分を超えた遅刻は1回の欠席とみなします。) 遅刻・早退は減点の対象となります。また、課題不提出・発表不実施の場合、評価・単位修得に大きく影響します。

【学生の意見等からの気づき】

今年度初めて担当のため、特になし。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配布・課題提出などには、学習支援システム、Google Classroom等を使用します。状況に応じてlaptop computer等を持参してください。

辞書（電子または紙媒体）を持参してください。

【その他の重要事項】

・授業中のアクティビティやディスカッションへの積極的な参加が求められます。
・授業中の発言や課題の記述に人権侵害・差別的発言などの著しく公正性を欠いた言動、剽窃等が見られる場合には、減点や厳重注意の対象とします。

【Outline (in English)】

This course aims to deepen students' understanding of Japan and its cultures from multiple perspectives. Students will watch authentic videos in which people from various countries discuss Japanese culture, read selected materials, participate in a range of output-based activities, and deliver presentations about Japanese culture in English. Through these activities, they will develop their four English skills: listening, speaking, reading, and writing. In addition, by engaging with English spoken by both native and non-native speakers, students will enhance their awareness of the role of English as a lingua franca in global communication.

Students are required to engage in independent learning outside the classroom. As pre-class preparation, they must watch the assigned online videos and prepare responses to discussion questions. After each session, they are expected to write reflective journals and study for quizzes as post-class tasks.

Assessment will be based on the following components: quizzes (30%), presentations (30%), final examination (15%), reflective journals (15%), and proactive engagement in class activities (10%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界から見た日本文化

野田 知子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本文化に関連する様々なトピックを扱った教科書をもとに学習し、様々な視点から日本や日本文化についての理解を深める。映像の視聴を通してリスニング力を鍛えるとともに、関連する英文を読むことで語彙力・読解力を高めること、また英文の構造や発音の学習、アウトプット活動などに取り組むことで、1年次に学んだ「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能を包括的に高めていくことを目的とする。英語圏だけでなく様々な国の人々が話す英語に触れることで、ELF(English as a Lingua Franca)としての英語の重要性について理解し、日本の事象について発信できる力を養う。

【到達目標】

テキストなどの聴解や読解、アウトプット活動等を通して以下の内容を目標とする。

- ①国際語としての英語を通して、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力を身につける。
- ②多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力を身につける。
- ③英文を理解するための構文を意識して、意味のまとまりとして英文を捉える力を身につける。
- ④英文を繰り返し聞いたり音読したりすることで、リスニング力やスピーキング力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

WEB動画の視聴を通して、日本文化に関する多様な視点への理解を深めます。教科書のウォームアップやディスカッション・クエスチョンに基づき、ペアワークやグループワークで意見を表現する活動を行うため、事前にWEB動画を視聴し、内容を十分に理解したうえで、自身の考えを整理しておくことが求められます。各授業後には振り返り課題を課し、提出内容には個別にフィードバックを行います。また、次回授業において内容をクラス全体で共有し、理解をさらに深めます。さらに、前週の学習内容に関する小テストを実施し、正答率の低い問題や重要事項については補足説明を行い、全体でフィードバックを共有します。テーマに関する理解を深め、自らの意見を発信する機会として、グループおよび個人による計2回のプレゼンテーションを実施します。相互評価および自己評価を取り入れ、授業内で適切なフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の概要説明、ガイダンス、導入活動、
2	Unit 7	Seafood-海の幸
3	Unit 8	Voice Actors-声優、小テスト
4	Unit 9	Japanized Foreign Dishes-和製料理、小テスト

5	Unit 7 9に関する英文購読	小テスト、日本文化に関する英文読解、リスニング
6	プレゼンテーションガイドライン	ガイドライン説明・テーマ設定・調査・発表準備
7	プレゼンテーション1（グループ）	グループ発表・Peer Feedback
8	Unit 10	Bags-かばん
9	Unit 11	Senior Citizens (Medical Checkups)-シニア、小テスト
10	Unit 12	Money-お金、小テスト
11	Unit 13	Monkeys-猿、小テスト
12	まとめテスト	テスト、プレゼンテーションガイドライン説明・テーマ設定・調査・発表準備
13	プレゼンテーション2（個人）	発表・Peer Feedback
14	プレゼンテーション2（個人）	発表・Peer Feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

・予習（準備学習）：事前にWEB動画を視聴し、教科書の問題を解いて内容理解をしておく。また教科書のウォームアップやディスカッションクエスチョンをもとに自分の意見をまとめておくこと。
・復習：語彙・文法事項・本文やビデオの内容を復習し、振り返りを記載すること。

【テキスト（教科書）】

津田晶子, 金志佳代子, Christopher Valvona. (2019). 『Discovering Cool Japan / 発掘! かわいイニッポン: 異文化理解から日本文化発信へ』, 成美堂, (2,750円)

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- ①小テスト 30%
- ②プレゼンテーション 30% (15%×2)
- ③まとめテスト 15%
- ④振り返り 15%
- ⑤主体的に学修に取り組む態度 10%

授業への積極的な参加が重要です。欠席が4回以上の場合は原則として単位修得を認めません。(30分を超えた遅刻は1回の欠席とみなします。) 遅刻・早退は減点の対象となります。また、課題不提出・発表不実施の場合、評価・単位修得に大きく影響します。

【学生の意見等からの気づき】

今年度初めて担当のため、特になし。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配布・課題提出などには、学習支援システム、Google Classroom等を使用します。状況に応じてlaptop computer等を持参してください。

辞書（電子または紙媒体）を持参してください。

【その他の重要事項】

- ・授業中のアクティビティやディスカッションへの積極的な参加が求められます。
- ・授業中の発言や課題の記述に人権侵害・差別的発言などの著しく公正性を欠いた言動、剽窃等が見られる場合には、減点や厳重注意の対象とします。

【Outline (in English)】

This course aims to deepen students' understanding of Japan and its cultures from multiple perspectives. Students will watch authentic videos in which people from various countries discuss Japanese culture, read selected materials, participate in a range of output-based activities, and deliver presentations about Japanese culture in English. Through these activities, they will develop their four English skills: listening, speaking, reading, and writing. In addition, by engaging with English spoken by both native and non-native speakers, students will enhance their awareness of the role of English as a lingua franca in global communication.

Students are required to engage in independent learning outside the classroom. As pre-class preparation, they must watch the assigned online videos and prepare responses to discussion questions. After each session, they are expected to write reflective journals and study for quizzes as post-class tasks.

Assessment will be based on the following components: quizzes (30%), presentations (30%), final examination (15%), reflective journals (15%), and proactive engagement in class activities (10%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 1: Language Lessons	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 1: Language Lessons	読解及び問題演習
第4回	Unit 2: US Consumers Waste Food	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 2: US Consumers Waste Food	読解及び問題演習
第6回	Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game	リスニング及び内容理解

第7回	Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game	読解及び問題演習
第8回	Unit 4: Adulting Classes for Millennials	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 4: Adulting Classes for Millennials	読解及び問題演習
第10回	Unit 5: Is Your Bottled Water Safe?	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 5: Is Your Bottled Water Safe?	読解及び問題演習
第12回	Unit 6: Sleepless in Japan	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 6: Sleepless in Japan	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやってほしい内容を示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 5 (CBS ニュースブレイク 5)

熊井信弘他著 成美堂 2021年 2400円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業では、英語の聞き取りに時間を多く割くことを意識しておこないました。今年度も、授業の進度の許す限り、できるだけ時間を割きながら授業を進めていきたいと思っています。授業の中ではなかなか受講生一人一人に合わせた時間を取ることは難しいので、授業外で聞き取りの練習に取り組むように促したいと思っています。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 7: Alarming New Climate Report	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 7: Alarming New Climate Report	読解及び問題演習
第4回	Unit 8: Cracking the Dress Code: #Ku Too Movement	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 8: Cracking the Dress Code: #Ku Too Movement	読解及び問題演習

第6回	Unit 9: Grammar Table Lady Offers Advice	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 9: Grammar Table Lady Offers Advice	読解及び問題演習
第8回	Unit 10: Halloween Treats For Kids with Disabilities	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 10: Halloween Treats For Kids with Disabilities	読解及び問題演習
第10回	Unit 11: A Tax on Tourism?	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 11: A Tax on Tourism?	読解及び問題演習
第12回	Unit 12: Japan Really Loves Kit Kat Bars	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 12: Japan Really Loves Kit Kat Bars	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやってほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 5 (CBSニュースブレイク 5)

熊井信弘他著 成美堂 2021年 2400円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

感染症などの蔓延により、状況によってはオンライン授業を行なう場合があります。オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業では、英語の聞き取りに時間を多く割くことを意識しておこないました。今年度も、授業の進度の許す限り、できるだけ時間を割きながら授業を進めていきたいと思っています。授業の中ではなかなか受講生一人一人に合わせて時間を取ることは難しいので、授業外で聞き取りの練習に取り組むように促したいと思っています。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)		3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
English 3 I				
サブタイトル：身近なテーマから英語で発信				
猪俣 佳瑞美		4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金4/Fri.4 単位数：1単位 その他属性：				
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。		6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
【到達目標】		7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
講義の到達目標は、以下である。		8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。				
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。				
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。				
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。				
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
【主な授業方法】				
L 講義 /Lecture				
【授業の進め方と方法】		11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。		12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】				
あり / Yes				
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】				
なし / No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など		
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。		

13	プレゼンテーション 1	テーマに沿って書きあげた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション 2	クラス全体に発表する2回目。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% レポート課題20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II					
サブタイトル: 身近なテーマから英語で発信					
猪俣 佳瑞美					
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 金4/Fri.4			4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数: 1単位					
その他属性:					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
【到達目標】			7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
講義の到達目標は、以下である。			8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。			10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			11	プレゼンテーション準備と確認	12、13回の講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			12	プレゼンテーション1	テーマに沿って各自が書き上げた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。			13	プレゼンテーション2	クラス全体に発表する2回目。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			14	更なる英語学習へ総括と振り返り	秋学期に実施したトレーニング方法などを再度確認し学びを総括。各自が英語学習に対する将来的な課題を明らかにする。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1					
【主な授業方法】					
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。					
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認			
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% レポート課題20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)		3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
English 3 I				
サブタイトル：身近なテーマから英語で発信				
猪俣 佳瑞美		4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金5/Fri.5				
単位数：1単位				
その他属性：				
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。		6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
【到達目標】		7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
講義の到達目標は、以下である。		8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。		9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。		10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。		11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。		12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】				
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1				
【主な授業方法】				
L 講義 /Lecture				
【授業の進め方と方法】				
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。				
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】				
あり / Yes				
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】				
なし / No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など		
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。		

13	プレゼンテーション 1	テーマに沿って書きあげた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション 2	クラス全体に発表する2回目。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% レポート課題20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II					
サブタイトル: 身近なテーマから英語で発信					
猪俣 佳瑞美					
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 金5/Fri.5			4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数: 1単位					
その他属性:					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
【到達目標】			7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
講義の到達目標は、以下である。			8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。			10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			11	プレゼンテーション準備と確認	12、13回の講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			12	プレゼンテーション1	テーマに沿って各自が書き上げた原稿をもとに、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			13	プレゼンテーション2	クラス全体に発表する2回目。
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1			14	更なる英語学習へ総括と振り返り	秋学期に実施したトレーニング方法などを再度確認し学びを総括。各自が英語学習に対する将来的な課題を明らかにする。
【主な授業方法】					
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。					
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認			
2	Unit 11 More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。 日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion 2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% レポート課題20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違いを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 1: Language Lessons	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 1: Language Lessons	読解及び問題演習
第4回	Unit 2: US Consumers Waste Food	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 2: US Consumers Waste Food	読解及び問題演習
第6回	Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game	リスニング及び内容理解

第7回	Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game	読解及び問題演習
第8回	Unit 4: Adulting Classes for Millennials	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 4: Adulting Classes for Millennials	読解及び問題演習
第10回	Unit 5: Is Your Bottled Water Safe?	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 5: Is Your Bottled Water Safe?	読解及び問題演習
第12回	Unit 6: Sleepless in Japan	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 6: Sleepless in Japan	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやってほしい内容を示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 5 (CBS ニュースブレイク 5)

熊井信弘他著 成美堂 2021年 2400円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業では、英語の聞き取りに時間を多く割くことを意識しておこないました。今年度も、授業の進度の許す限り、できるだけ時間を割きながら授業を進めていきたいと思っています。授業の中ではなかなか受講生一人一人に合わせ時間を取ることは難しいので、授業外で聞き取りの練習に取り組むように促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 7: Alarming New Climate Report	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 7: Alarming New Climate Report	読解及び問題演習
第4回	Unit 8: Cracking the Dress Code: #Ku Too Movement	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 8: Cracking the Dress Code: #Ku Too Movement	読解及び問題演習

第6回	Unit 9: Grammar Table Lady Offers Advice	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 9: Grammar Table Lady Offers Advice	読解及び問題演習
第8回	Unit 10: Halloween Treats For Kids with Disabilities	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 10: Halloween Treats For Kids with Disabilities	読解及び問題演習
第10回	Unit 11: A Tax on Tourism?	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 11: A Tax on Tourism?	読解及び問題演習
第12回	Unit 12: Japan Really Loves Kit Kat Bars	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 12: Japan Really Loves Kit Kat Bars	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやってほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 5 (CBSニュースブレイク 5)

熊井信弘他著 成美堂 2021年 2400円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

感染症などの蔓延により、状況によってはオンライン授業を行なう場合があります。オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業では、英語の聞き取りに時間を多く割くことを意識しておこないました。今年度も、授業の進度の許す限り、できるだけ時間を割きながら授業を進めていきたいと思っています。授業の中ではなかなか受講生一人一人に合わせて時間を取ることは難しいので、授業外で聞き取りの練習に取り組むように促したいと思っています。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Politics and Current Events

A L E C M R O S E N B L I T

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

In this class, students will explore current events from across the globe, beginning in Asia and eventually expanding out to various countries. Students will be expected to exchange ideas and opinions while building their communication skills in all four skills: reading, writing, listening and speaking.

【到達目標】

The course will expand on previous classes by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on the changing political landscape in different countries as well as reactions to this. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In each class, reading and listening materials will be the starting point for discussion and sharing opinions. In alternate weeks, a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

Approximately three times during the semester, students will engage in debates with each other in teams of two or three. These debates will be a part of the final assessment. These debates take approximately 10 minutes each, so students will be assigned different debate groups. With the "A" group going first, then the "B" group, etc. Students will always work with the same partner(s) but will face different opponents throughout the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Do you consider yourself political or apolitical? Is it possible to live life outside of politics?
2	Flashpoints	Where is the next potential crisis globally? Why is it the most dangerous right now?
3	East Asia	What are some current issues in China, Korea, Japan, and other countries in east Asia?

4	Debate 1 Group A and South Asia	What are some current issues in India, Thailand, Vietnam, and so on?
5	Debate 1 Group B and North Africa	What are some current issues in Egypt, Morocco, Sudan, and so on?
6	Debate 1 Group C and Sub-Saharan Africa	What are some current issues in South Africa, Kenya, Nigeria, and so on?
7	Debate 2 Group A and Europe	What are the current issues in the UK, France, Germany, and so on?
8	Debate 2 Group B and South America	What are the current issues in Brazil, Argentina, Peru, and so on?
9	Debate 2 Group C and North America	What are the current issues in America, Canada, Mexico, and so on?
10	Debate 3 Group A and student choice 1	Students choose their own topics to explore.
11	Debate 3 Group B and student choice 2	Students choose their own topics to explore
12	Debate 3 Group C and the polarization of politics	Why are political disagreements becoming more charged?
13	Final Review	Preparation for Final
14	Final Group Presentations	Groups will present for about 5 minutes each.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required as current events will be discussed. Students will be expected to read articles or listen to news/podcasts from sources such as The Guardian, The New York Times, YouTube, and so on.

【参考書】

The Critical Thinker—15 Essential Skills for Critical Thinking
James Elwood and Michael Hood

【成績評価の方法と基準】

20% in-class participation

30% Homework: includes writing, worksheets, and assignments from the readings/listening activities

30% in-class debates (10% each): assessment is made based on individual contributions and group cohesion/teamwork. Even if your side "loses" the debate, you may still get a good grade if your side argued effectively. Debates will take approximately 10 minutes each.

20% Final speaking activity: a group presentation for about 5 minutes each. Each participant should have a speaking role. The presentation should include a visual aid which may be Canva, Power Point, Google Slides, and so on. There should be between 5-15 slides, total, featuring a variety of visual aids: images, graphs, tables, and charts. Topics TBD.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【Outline (in English)】

See above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Politics and Current Events

ALEC M ROSENBLIT

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金3/Fri.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

In this class, students will explore current events from across the globe, beginning in Asia and eventually expanding out to various countries. Students will be expected to exchange ideas and opinions while building their communication skills in all four skills: reading, writing, listening and speaking.

【到達目標】

The course will expand on previous classes by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on the changing political landscape in different countries as well as reactions to this. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In each class, reading and listening materials will be the starting point for discussion and sharing opinions. In alternate weeks, a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

Approximately three times during the semester, students will engage in debates with each other in teams of two or three. These debates will be a part of the final assessment. These debates take approximately 10 minutes each, so students will be assigned different debate groups. With the "A" group going first, then the "B" group, etc. Students will always work with the same partner(s) but will face different opponents throughout the term.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction & Review	Why are voters in democratic countries apathetic? Should voting be legally mandated?
2	Reactions and protests to government	Do the people have a right to revolution? If so, what form may it take?
3	Business and economic influence on politics	Should politicians be publicly funded? Debate Group A

4	The importance of political parties	Are political parties important in modern politics? Debate Group B
5	Political terms and term limits	Should politicians be term-limited? Debate Group C
6	Political appointments vs. elected positions	Should all political positions be voted on by the people? Debate Group A
7	Corruption, bribery, and scandals	What is the best way for countries to handle scandals in government? Debate Group B
8	The rise of autocracies	Why are some countries becoming more autocratic? Debate Group C
9	Power sharing in democratic-style governments	Do checks and balances work? Debate Group A
10	Large or small central governments	Should the federal government be small or large? Debate Group B
11	Strong or weak governmental heads	Is it better for governments to have a strong or weak executive? Debate Group C
12	Class Choice	Students will vote on the most important events of the day to share and discuss
13	Final Review	Prepare for final
14	Final Test	Group Presentations

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No textbook is required as current events will be discussed. Students will be expected to read articles or listen to news/podcasts from sources such as The Guardian, The New York Times, YouTube, and so on.

【参考書】

The Critical Thinker—15 Essential Skills for Critical Thinking
James Elwood and Michael Hood

【成績評価の方法と基準】

20% in-class participation

30% Homework: includes writing, worksheets, and assignments from the readings/listening activities

30% in-class debates (10% each): assessment is made based on individual contributions and group cohesion/teamwork. Even if your side "loses" the debate, you may still get a good grade if your side argued effectively. Debates will take approximately 10 minutes each.

20% Final speaking activity: a group presentation for about 5 minutes each. Each participant should have a speaking role. The presentation should include a visual aid which may be Canva, Power Point, Google Slides, and so on. There should be between 5-15 slides, total, featuring a variety of visual aids: images, graphs, tables, and charts. Topics TBD.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Pen and paper will be required during any days with an in-class writing reaction paper.

【Outline (in English)】

As above

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Politics and Current Events

A L E C M R O S E N B L I T

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

In this class, students will explore current events from across the globe, beginning in Asia and eventually expanding out to various countries. Students will be expected to exchange ideas and opinions while building their communication skills in all four skills: reading, writing, listening and speaking.

【到達目標】

The course will expand on previous classes by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on the changing political landscape in different countries as well as reactions to this. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In each class, reading and listening materials will be the starting point for discussion and sharing opinions. In alternate weeks, a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

Approximately three times during the semester, students will engage in debates with each other in teams of two or three. These debates will be a part of the final assessments. These debates will take approximately 10 minutes each, so students will be assigned different debate groups. With the "A" group going first, then the "B" group, etc. Students will always work with the same partner(s) but will face different opponents throughout the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Do you consider yourself political or apolitical? Is it possible to live life outside of politics?
2	Flashpoints	Where is the next potential crisis globally? Why is it the most dangerous right now?
3	East Asia	What are some current issues in China, Korea, Japan, and other countries in east Asia?

4	Debate 1 Group A and South Asia	What are some current issues in India, Thailand, Vietnam, and so on?
5	Debate 1 Group B and North Africa	What are some current issues in Egypt, Morocco, Sudan, and so on?
6	Debate 1 Group C and Sub-Saharan Africa	What are some current issues in South Africa, Kenya, Nigeria, and so on?
7	Debate 2 Group A and Europe	What are the current issues in the UK, France, Germany, and so on?
8	Debate 2 Group B and South America	What are the current issues in Brazil, Argentina, Peru, and so on?
9	Debate 2 Group C and North America	What are the current issues in America, Canada, Mexico, and so on?
10	Debate 3 Group A and student choice 1	Students choose their own topics to explore.
11	Debate 3 Group B and student choice 2	Students choose their own topics to explore
12	Debate 3 Group C and the polarization of politics	Why are political disagreements becoming more charged?
13	Final Review	Preparation for Final
14	Final Group Presentations	Groups will present for about 5 minutes each.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required as current events will be discussed. Students will be expected to read articles or listen to news/podcasts from sources such as The Guardian, The New York Times, YouTube, and so on.

【参考書】

The Critical Thinker—15 Essential Skills for Critical Thinking
James Elwood and Michael Hood

【成績評価の方法と基準】

20% in-class participation

30% Homework: includes writing, worksheets, and assignments from the readings/listening activities

30% in-class debates (10% each): assessment is made based on individual contributions and group cohesion/teamwork. Even if your side "loses" the debate, you may still get a good grade if your side argued effectively. Debates will take approximately 10 minutes each.

20% Final speaking activity: a group presentation for about 5 minutes each. Each participant should have a speaking role. The presentation should include a visual aid which may be Canva, Power Point, Google Slides, and so on. There should be between 5-15 slides, total, featuring a variety of visual aids: images, graphs, tables, and charts. Topics TBD.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【Outline (in English)】

See above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Politics and Current Events

ALEC M ROSENBLIT

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

In this class, students will explore current events from across the globe, beginning in Asia and eventually expanding out to various countries. Students will be expected to exchange ideas and opinions while building their communication skills in all four skills: reading, writing, listening and speaking.

【到達目標】

The course will expand on previous classes by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on the changing political landscape in different countries as well as reactions to this. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In each class, reading and listening materials will be the starting point for discussion and sharing opinions. In alternate weeks, a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

Approximately three times during the semester, students will engage in debates with each other in teams of two or three. These debates will be a part of the final assessment. These debates take approximately 10 minutes each, so students will be assigned different debate groups. With the "A" group going first, then the "B" group, etc. Students will always work with the same partner(s) but will face different opponents throughout the term.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction & Review	Why are voters in democratic countries apathetic? Should voting be legally mandated?
2	Reactions and protests to government	Do the people have a right to revolution? If so, what form may it take?
3	Business and economic influence on politics	Should politicians be publicly funded? Debate Group A

4	The importance of political parties	Are political parties important in modern politics? Debate Group B
5	Political terms and term limits	Should politicians be term-limited? Debate Group C
6	Political appointments vs. elected positions	Should all political positions be voted on by the people? Debate Group A
7	Corruption, bribery, and scandals	What is the best way for countries to handle scandals in government? Debate Group B
8	The rise of autocracies	Why are some countries becoming more autocratic? Debate Group C
9	Power sharing in democratic-style governments	Do checks and balances work? Debate Group A
10	Large or small central governments	Should the federal government be small or large? Debate Group B
11	Strong or weak governmental heads	Is it better for governments to have a strong or weak executive? Debate Group C
12	Class Choice	Students will vote on the most important events of the day to share and discuss
13	Final Review	Prepare for final
14	Final Test	Group Presentations

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

No textbook is required as current events will be discussed. Students will be expected to read articles or listen to news/podcasts from sources such as The Guardian, The New York Times, YouTube, and so on.

【参考書】

The Critical Thinker—15 Essential Skills for Critical Thinking
James Elwood and Michael Hood

【成績評価の方法と基準】

20% in-class participation

30% Homework: includes writing, worksheets, and assignments from the readings/listening activities

30% in-class debates (10% each): assessment is made based on individual contributions and group cohesion/teamwork. Even if your side "loses" the debate, you may still get a good grade if your side argued effectively. Debates will take approximately 10 minutes each.

20% Final speaking activity: a group presentation for about 5 minutes each. Each participant should have a speaking role. The presentation should include a visual aid which may be Canva, Power Point, Google Slides, and so on. There should be between 5-15 slides, total, featuring a variety of visual aids: images, graphs, tables, and charts. Topics TBD.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Pen and paper will be required during any days with an in-class writing reaction paper.

【Outline (in English)】

As above

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 7

2017年度以降入学者

北 文美子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA先での授業についていくことができるよう、読解力ならびに語彙力を身につけます。さまざまな分野の文章を読み視野を広げるとともに、それぞれの内容について英語で自分の意見を述べることができるよう、語学力に加えて思考力ならびに批判力を養います。

【到達目標】

速読による多読を基本とし、大意を捉え咀嚼する力を養います。また、多岐にわたるテーマの文章を読むことで、さまざまな分野の語彙・表現を身につけることをめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業では、内容の精読に加えて、大意を把握する速読を組み合わせます。テキスト内の単語・慣用表現などの類義語・類似表現を解説し、語彙力ならびに表現力の向上をはかります。また、リーディングに加えて、読んだ内容の理解を深めるため、それぞれのテーマについて英語で意見を表現してもらいます。そのため、ライティングを組み合わせ、毎回各自にフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の解説
2	報告書のまとめ方	世論調査の事例
3	報告書の書き方	児童労働の事例
4	言語と文化（1）	民族差別
5	言語と文化（2）	国際紛争
6	言語と文化（3）	難民問題
7	中間試験	これまでの学習内容をもとにした試験
8	中間試験フィードバック	英語論文の書き方の解説
9	技術と人間（1）	インターネット依存
10	技術と人間（2）	環境問題
11	社会と制度（1）	セイフティ・ネット
12	社会と制度（2）	能力主義
13	社会と制度（3）	エネルギー問題
14	学期末試験、まとめ	学期末試験、まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に配布するプリントを授業前に必ず読んでおいてください。わからない単語・表現がある場合には、必ず辞書で確認しておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

授業内で適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点・課題 25%

試験 75%

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を

合格とする。尚、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は国内研究で授業を担当しておりませんでした。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course aims to improve reading and writing skills in English, and to prepare students to develop critical thinking skills through widely ranged texts.

(Learning Objectives)

By the end of the semester, students are expected to deepen their understanding about the command of the English language.

(Learning activities outside of classroom)

Students must read the course material before each class, and spend more than one hour preparing for each lesson.

(Grading Criteria/Policy)

Assignments 25 % Mid-term and Final Exams 75

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 7

2017年度以降入学者

須藤 祐二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA前に「英語を読むこと」を中心にした最後の授業になるので、移民や多文化主義について書かれた論説文の講読を行う。これらの教材は英語学習者用に書かれたものではないが、専門的な内容を扱う割には平易に書かれている。この授業によって、専門的な内容のものでも読めるという自信をSA前に身につけてもらいたい。また、読み取った内容を英語で表現する練習も取り入れる。英語圏SA先の社会は多様な人種背景をもった人々で成り立っている、異文化体験を意義あるものにするためにも、こうした社会について、きちんとした基礎知識を身につけてほしい。

【到達目標】

学生は、簡単な英語で書かれたものであれば、専門的な内容でも読めるようにする。

専門的見地から書かれた論点を批判的にくみ取り、自分の意見を英語で表現できるようにする。英語運用能力の強化はもちろんとして、SA前の学生が身につけるべき国際社会についての基礎知識の獲得も目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

段落ごとに内容を日本語で要約する。難しい内容や表現の箇所については訳読も取り入れて理解を促す。また、読み取った内容を基に自分の意見を英語で表現するための演習も取り入れる。

提出された課題のフィードバックは授業中だけでなく、学習支援システム(Hoppii)を通じて行う。

授業方法の変更はHoppiiで周知する。そのため、受講生は授業日の朝にHoppiiを確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業テーマの確認をする。
第2回	移民の歴史	移民の歴史について書かれた論説文を読む。
第3回	移民と現代社会	移民と現代社会の多様なかわりを考える。
第4回	強制移住とは	強制移住の定義と歴史を考える。
第5回	自発的な移民とは	自発的な移民の特徴を考える。
第6回	グローバルゼーションと移民	移民とグローバルゼーションの関係を考える。
第7回	グローバルゼーション下の移民と多様性	グローバルゼーションと多様性の関係を考える。
第8回	移民と経済発展	移住先の国の開発・経済発展と移民の関係を考える。
第9回	移民と開発支援	移民の出身国の開発支援と移民の関係を考える。
第10回	欧州と移民	欧州における非合法移民を考える。
第11回	アメリカと移民	アメリカにおける非合法移民を考える。
第12回	難民とは	難民の現状と定義を考える。

第13回 難民と統合

亡命先社会への難民の統合と課題を考える。

第14回 学期のまとめ

学習した内容の復習とまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の復習を重視する。

有用と思われる資料を紹介した場合には、その読解や視聴を行ってから授業に出席すること。

リスニング・ハンドブックに掲載のサイトを指定するので、各自でリスニングの練習をすること。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布する。

必ず英和・和英辞書を持参して、授業に参加すること。

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験を70%、授業内に課した課題を含む平常評価を30%とする。4回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

授業中にパソコン、タブレット、スマートフォンを使用することは固く禁じる。違反した場合には大きく減点する。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の英語力に配慮しながら、進む速度を調整することがある。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 Since English 7 is the final course focused on developing reading skills before students embark on their Study Abroad programs, emphasis will be placed on reading articles related to immigration and multiculturalism. The selected materials are academically written but appropriate for students' proficiency level. Reading academic texts will help students build confidence in their reading skills. Additionally, students will practice summarizing articles to enhance their comprehension and analytical abilities.

As students will be studying abroad in multiethnic countries, this course also aims to equip them with knowledge of key cultural and social aspects of their host countries, ensuring a more enriching Study Abroad experience.

【Learning Objectives】

Students will be able to read academic content on immigration and multiculturalism, provided it is written in clear and accessible English.

Students will develop the ability to critically assess arguments presented from a professional perspective and express their own opinions in English.

In addition to improving their English language skills, students will acquire fundamental knowledge of international society, which is essential for pre-Study Abroad preparation.

【Learning Activities Outside the Classroom】

Before each class, students are expected to read the assigned articles. A minimum of one hour of preparation is required for each session.

【Grading Criteria】

Term-End Examination: 70%, In-Class Participation: 30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)			11	Unit 11	Intercultural Communication in Higher Education
英語 7			12	Unit 12	Study Abroad and Intercultural Adaptation
中和 彩子					※ワークシートをもとにした授業
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火2/Tue.2			13	復習・復習試験(2)	前半：復習、補足。後半：復習試験 (Unit 8～11)
単位数：1単位			14	Unit 13、補足	前半：Intercultural Competence for the Future / 後半：SAに向けての補足
その他属性：			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			準備学習は必須である。最低限、		
異文化コミュニケーションに関わるさまざまな知識や考え方を学びながら、SAに必要な英語力、とくに「読む力」をつける。			(1)本文を読み、不明点を洗い出す		
【到達目標】			(2)本文の音声（教科書に付属のCD）を用いて、聴解・朗読ができるようにする		
1. 英文を、一語ごとに立ち止まることなく、意味のかたまり（句や節）を意識しながら一定の速度で読むことができる。（フレーズ・リーディングの習得。）			(3)練習問題を解くことが必要。		
2. パラグラフの構造・構成を意識して長文を正確に読み、内容を的確につかむことができる。（パラグラフ・リーディングの習得。）			付属のCDのナレーションは、アメリカ (Unit 1,5,9,13)、イギリス (Unit 2,6,10)、カナダ (Unit3, 7, 11)、オーストラリア (Unit 4, 8, 12) の4か国のネイティブスピーカーが担当している。予習の際に活用し、各SA先で使われる英語の違いに親しんだり、自分のSA先の英語に耳を慣らしたりしてほしい。		
3. 読んで理解できる英文を、聴解できる。			本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。		
4. 読んで理解できた英文を、日本語・英語の両方で要約できる。			【テキスト（教科書）】		
5. 異文化コミュニケーションへの理解を深めることを通じて、SA先でコミュニケーションを円滑に行うための心構えができる。			Troy McConachy, 古家聡、櫻井千佳子共著、『Intercultural Communication for English Language Learners in Japan（英語学習者のための異文化コミュニケーション）』南雲堂。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			【参考書】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1			大学～一般向けの英和および英英辞書、各1点以上。		
【主な授業方法】			いずれも各自の好みで選んで構わないが、用例を豊富に載せているものを1点は使用すること。		
L 講義 /Lecture			毎回の授業にも持参のこと。		
【授業の進め方と方法】			【成績評価の方法と基準】		
教科書本文の内容の理解を深め、本文に出てきた英語表現を身につけることを目的として、本文・練習問題に関するグループワークや質疑応答を行う。			平常点（ワークシートなど）20%、および復習試験（2回）80%の総合評価。		
予習課題としてワークシートを2回程度課し、授業内および翌週にフィードバックを行う。			4回以上欠席の場合、単位を与えない。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			遅刻や授業態度の不良については、頻度や程度に応じて、総合点から減点する場合がある。		
あり / Yes			【学生の意見等からの気づき】		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			・ペア／グループワークを効果的に取り入れ、学生同士で学び合えるようにすることが重要である。		
なし / No			【その他の重要事項】		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			・授業に関する情報の周知、課題の出題などに学習支援システム (Webclass) を使用します。		
回	テーマ	内容	・授業形態の急な変更については、Hoppiiの「メッセージ」機能で連絡します。		
1	イントロダクション / Unit 1	授業について。SAに向けての英語・各国文化事情などの勉強について。『英語リスニング・ハンドブック』などを利用したの日常的な自習について。	【Outline (in English)】		
		/ Intercultural Communication in Today's World	Course outline: The aim of English 7 is to further develop students' reading ability in preparation for their SA programs in English-speaking countries. Students will also be introduced to various academic approaches to intercultural communication, thereby conceiving their own ideas about how to communicate with people from different cultures.		
2	Unit 2	English for Intercultural Communication	Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to acquire the skills and attitudes mentioned above, mainly through practicing phrase reading, paragraph reading, summarizing and commenting on the reading passage of each unit.		
3	Unit 3	Important Features of Human Communication	Learning activities outside of classroom: Students are expected to prepare for each class meeting by reading the passage and working on the accompanying exercises. ※ Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and/or after each class.		
4	Unit 4	The Concept of Culture			
5	Unit 5	Language and Thought			
6	Unit 6/Unit 7	Communication Styles/ Human Psychology and Communication ※ワークシートをもとにした授業			
7	復習・復習試験(1)	前半：これまでの復習、補足。後半：復習試験 (Unit 2～5)。			
8	Unit 8	Speech Acts across Cultures			
9	Unit 9	Stereotypes and Intercultural Communication			
10	Unit 10	Cultural Accommodation in Intercultural Communication			

Grading Policies: Grading will be decided based on short reports (20%), and the mid-term and term-end exams (80%).
※ In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course.

LANe200LA（英語 / English language education 200）	
英語 7	2017年度以降入学者
鹿子嶋 由佳	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火3/Tue.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、日常生活や現代社会の様々なトピックについての英文を速く正確に読む力を養います。授業内でのリーディングの練習の他に、SA英語圏留学の際に生かせるように、情報収集と意見を述べることに必要な語彙力の向上を目指します。

【到達目標】

1. テキスト内の英文を速く正確に読解することが出来るようになる。
2. 既習事項を踏まえ、テキスト以外の様々なトピックについての英文を可能な限り速く読み、内容を正確に把握出来るようになる。
3. テキスト内の語彙や表現を理解し、情報収集や表現をする際に使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業では1回につき1つのChapterを進めていきます。1つのChapterは、「Pre-reading Preparation」「Vocabulary」「Reading Analysis」「Information Organization」「Short Summary」「Critical Thinking」で構成されています。流れとして、まずは予習範囲である「Pre-reading Preparation」と「Vocabulary」の確認を行います。次に、Appendix 1にある「Full Passage」を読み、その後、「Reading Analysis」に沿って段落ごとに理解を深めます。授業後は、授業で学習したことの確認とリーディングスキルの向上のための復習をしてください。授業中には、素早く正確に読解できるようになることを目指しますので、リーディングにかかった時間を記録していきます。学期中には学習進捗状況を確認するために、小テストを行います。また、リスニング・ハンドブックで紹介されているサイトを使った課題を出します。各課題のフィードバックは、授業中に各受講生または全体に向けて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の理解、アクティビティー
2	Chapter 1: The Birth-Order Myth	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
3	Chapter 2: My Husband, the Outsider	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
4	Chapter 3: Hop, Skip ... and Software?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
5	Chapter 4: Highs and Lows in Self-Esteem	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
6	Chapter 5: Who Lives Longer?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント

7	Chapter 6: Are Gifted Children Born or Made?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
8	Chapter 7: Students Dig into Sustainable Farming at Vermont College	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
9	Chapter 8: Wilder Places for Wild Things	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
10	Chapter 9: Antarctica: Whose Continent Is It Anyway?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
11	Chapter 10: Matters of Life and Death	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
12	Chapter 11: Switched at Birth: Women Learn the Truth 56 Years Later	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
13	Chapter 12: Saving Her Sister's Life	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイント
14	まとめ・期末テスト	リーディングや語彙に関するテストを行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。受講生は、予習として授業前に「Pre-reading Preparation」と「Vocabulary」の解答を行います。授業後には、既習Chapterの語彙、文法、読み方のポイントを復習し、音読も行いましょう。

【テキスト (教科書)】

テキスト名: Reading Dynamics – Skills for Academic Success
編著者: 山科美和子/横山三鶴/沖野泰子
出版社: Cengage Learning
出版年: 2016年
価格: 2200円+税
ISBN: 9784863122871

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

1. 平常点30% (授業中の活動・小テスト)
2. 課題20% (リーディング、「リスニング・ハンドブック」)
3. 期末試験50%
 - ・欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位取得資格を失います。
 - ・3回の遅刻 (授業開始時刻から10分を超える場合) で1回の欠席とします。
 - ・遅刻や欠席に関して、証明できるもの (交通機関の遅延証明書等) がある場合は必ず担当者に渡してください。
 - ・授業に関係のない私語、携帯電話の使用、居眠り、教科書・辞書の不携帯は減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の学習状況をみながら、基礎的な事項から応用的な事項まで確認していきます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・授業に関する連絡は授業支援システムを使用します。
- ・テキストの音声はダウンロード形式 (無料) です。テキストの7ページに案内がありますので、テキスト購入後にダウンロードをしてください。
- ・「リスニング・ハンドブック」をいつでも参照できるようにしておきましょう。

【その他の重要事項】

授業に関する質問がある場合、授業前後に教室にて、または授業支援システムを通して受け付けます。

【Outline (in English)】

< Course outline >

The aim of this course is to help students acquire skills for reading accurately and fluently based on several daily and modern social topics in English. It also enhances students' vocabulary knowledge needed to gather information and express their ideas. It will help students prepare for assignments when studying abroad.

< Learning Objectives >

1. Students will be able to read passages quickly and accurately in the textbook.
2. Based on what students learned, they will be able to read and understand passages on several topics at an advanced level outside of the textbook.
3. Students will be able to understand all the vocabulary and expressions in the textbook, and use them when they gather information or express their ideas.

< Learning activities outside of classroom >

In this course, students should prepare for class and review what they have learned in one hour. Before class, students have to answer “Pre-reading Preparation” and “Vocabulary” in the textbook. After class, students have to review the vocabulary, grammar, and reading tips they learned, and practice reading the passage they read in the classroom out loud.

< Grading Criteria/Policy >

1. Class activities, including quizzes 30%
2. Assignments (Reading and “Listening Handbook”) 20%
3. Final test 50%
 - ・ Students will fail the course if they are absent four times or more during the entire unit.
 - ・ If a student is late three times, it is counted as one absence.
 - ・ Students should show proof of their delay and absence.
 - ・ Students who talk in class, use a phone, doze/sleep, or come to class without the textbook will get a black mark.

LANe200LA（英語 / English language education 200）	
英語 7	2017年度以降入学者
衣笠 正晃	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火2/Tue.2	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語圏SA留学での授業履修に求められるレベルの英語力を「読む力」を中心に身につけることを目的として、現代社会の諸問題を取り上げた英文（論説文）を読み進めます。

【到達目標】

- 1) まとまった量の英文を限られた時間のなかで読み、構成を踏まえつつ内容情報を正確に整理・把握する力を身につける。
- 2) 多様な話題についての英文を通じて、英語圏をはじめとする世界の情勢を理解するとともに、日本について語るために必要な知識や視点を身につける。
- 3) 情報収集や意見表明、議論のために必要な、大学生にふさわしいレベルの英語語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業では、英文を逐語的に日本語に置き換えるのではなく、英語のままでその論旨・内容を把握することに重点を置きます。毎回の授業の主な構成は以下の通りです。

- 1) 前回の復習とその回の予習の確認（小テスト／口頭）。
- 2) テキストの段落ごとの内容、重要表現の確認（担当者はアトランダムに指名します）。
- 3) 授業内容の理解の確認・練習問題（小テスト／口頭）、書き取り。
- 4) 授業内容についての討議、リアクションシートへの（感想・質問の）記入。

なお必要に応じてテキストを補完するためのプリントを配付・使用することがあります。またリアクションシートのコメント・質問には授業や学習支援システムでフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業計画の説明+ Art Therapy (Unit 1)前半の講読
2	癒しとしての芸術	Art Therapy (Unit 1)後半の講読
3	フィクションと科学技術	From Sci-Fi to Reality (Unit 2)の講読
4	労働力の流出と流入	Exporting Labor (Unit 3)の講読
5	地球環境の諸問題	Celebrating the Earth (Unit 4)の講読
6	人格の成長と成熟	Kidults (Unit 6)の講読
7	中間試験+食糧と遺伝子工学	筆記による試験+ Genetically Modified Foods (Unit 7)の講読
8	有名人によるマーケティング	Empires of the Stars (Unit 8)の講読
9	異文化と対人関係	Cross-Cultural Friendship (Unit 10)の講読
10	国際犯罪への対策	Maritime Piracy (Unit 12)の講読

11	アイデンティティと恋愛	The Science of Love (Unit 13)の講読
12	経済格差が生む困窮	The Homeless (Unit 14)の講読
13	グローバル化と通貨	A World Currency? (Unit 15)の講読
14	学期末試験とまとめ	筆記による試験+学期授業内容の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回とも次のとおり。

1) 指定された箇所の予習。まず導入問題を解き、Reading Passageの文章全体を時間を測って読み、大意を把握する。つぎに内容確認問題を解く。再度テキストを読み、理解できなかった語句・表現を調べ、発展問題に答える。最後にもう一度確認のため通読する。（大意把握、細部確認、再確認と、都合最低3回はテキストを読む）。また内容理解に必要な情報を自主的に収集する。

2) 発音・イントネーションの確認。テキストの音声ファイルを利用して音読練習をおこない、語句のアクセントなどを確認する。またニュースサイト等を利用したリスニング練習をおこなう。

3) 授業を終えた箇所の復習。テキストを再度読み、内容と理解度を確認する。

4) 課題（パラグラフライティングなどを含む）については、期日までに作成・提出する。

なお本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Andrew E. Bennett（著）*Reading Fusion 2* (2nd Edition)（リーディング・フュージョン【改訂新版】）（南雲堂、2024年）本体2,400円 ※このほか必要に応じてプリントを配付・使用します。

【参考書】

参考書・辞書については、随時授業中に紹介します。英英辞典が必要となります。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加度、課題、小テストなどによる。50％）、試験（中間および期末。50％）をあわせて評価します。評価にあたっては下記の各点に注目します。

- 1) 英文をスピーディーに読むなかで、その構造・論旨を正確に把握できているか。
- 2) 現代の国際社会における諸問題とその背景についての知識・関心を深めているか。
- 3) 情報収集や意見表明、議論に欠かせない、一定レベルの語彙が習得できているか。

欠席が学期中4回以上となった場合は原則として単位修得の資格を失います。なお遅刻3回を欠席1回としてカウントします。

【学生の意見等からの気づき】

履修者が自主的に課題に取り組めるよう、予習についての指導や、質問を受けての問題共有や解説を一層充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配付や提出物の回収、授業に関する連絡など、学期を通じて学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】

- ・初回授業までに教科書を購入し、持参してください。
- ・出席者の状況に合わせて、進度や読むユニットの順序を変えたり、文章を差し替えたりすることがあります。
- ・初回授業で授業履修にあたって守るべき事柄を説明しますので、かならず遵守してください。

【Outline (in English)】

This course is intended to provide students with the minimal academic English (especially reading) skills needed during their study abroad, through reading articles written on various topics in today's world. The goals are to attain a high-intermediate to high level of reading comprehension, to obtain basic knowledge on global social issues, and to acquire university-level vocabulary. Students are expected to come to each class meeting well prepared by completing the required assignments; the required study time is at least one hour per class. The overall grade will be decided based on class participation (50%) and regular examinations (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 7

2017年度以降入学者

宇治谷 義英

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

最新の英米の新聞記事・論説から、英語圏で起きていること、そして英語圏から見た日本を含むアジアを読み解く。

【到達目標】

(1)ただ事実を報じた記事ではなく、論説などの英文を正確に読み、筆者の意見を把握すること、(2)それに対して自分で論評を加えられるようになること、(3)英語圏のメディアがアジアをどのように見ているかを知っておくこと。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英語作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	ウォームアップを含めて授業の内容説明。ニュース英語のリスニング。
2	"The Guardian view on lifting lockdown: we need cohesion, not division" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
3	"Brewers furious at 'nanny state' plan to put calorie count on beer in pubs" (<i>The Times</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
4	"The Guardian view on football's failed super league: hit back hard" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	プレゼン、英語ニュースのリスニング。

6	"Church to consider removing or altering slavery monuments" (<i>The Observer</i>) (1) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
7	これまでの確認、議論	議論と確認テスト
8	"The Guardian view on declining birthrates: there may be trouble ahead" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	プレゼン。英語ニュースのリスニング。
10	"The Guardian view on inflation: the revival that's nothing like the 1970s" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
11	"The Guardian view on the super-rich: a billion reasons for a wealthy tax" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
12	"Being the Queen sure has its ups and downs..." (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読。ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	プレゼン。英語ニュースのリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用する記事は新しいものをその都度指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社，1999），および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。また、課題提出もしくは授業出席のいずれかでも欠けた回数が3回を超えた場合も不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生が英語および記事内容を身近に感じられるよう丁寧な説明を心がけます。

【Outline (in English)】

In this course, students will learn what is happening outside Japan and how Japan is regarded from the outside through the latest articles of UK or US news media.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be at least one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA（英語 / English language education 200）

英語 7

2017年度以降入学者

田中 邦佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々なテーマの英文記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容をコンパクトにまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容をコンパクトにして説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として毎回の授業で1つの記事というペースで進めることを目標とします。記事毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方と評価の方法の説明をします。
第2回	Is it in your blood?	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第3回	An unpunished crime	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第4回	Extensive reading Q & A with Julian Bamford	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第5回	Money matters	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第6回	Is netspeak harming the English language?	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第7回	試験・まとめと解説（中間）	試験・まとめと解説
第8回	Language and the world	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第9回	Population crisis	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第10回	The greatest show on earth	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。

第11回	Consumer beware: advertising techniques	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第12回	For an effective interview	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第13回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第14回	試験・まとめと解説（期末）	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでおく必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】

・Essential Reading Second Edition Level 3, ゴフ クリス/マカボイ ジャッキー/マイルズ スコット, マクミラン ランゲージハウス. (¥2,600円＋税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

試験(70%)

平常点および課題 (30%)

欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達するごとに1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 30%, Exam 70%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

JAMES O ESSEX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

学生は6ヶ月以内に英語圏での留学プログラムを開始するため、自身の考えや意見を容易かつ正確に、理解しやすい形で表現できるよう、コミュニケーション能力をさらに向上させる必要がある。テーマは現代の生活や文化に密接に関連するトピックから選択される。段落構成の書き方を模範例を示しながら練習する。コース終了時には、複数段落から成るエッセイを執筆できることが求められます。加えて、それらのテーマに関連するプレゼンテーションやスピーチも練習すべきです。

【到達目標】

By the end of this course, students will be better able to share their views and opinions (in English) in small group discussions, and to write logical and coherent multi-paragraph essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、Z その他 /Other

【授業の進め方と方法】

Lectures, PBL, discussion, writing.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	First Things First	The teacher will introduce the course, making explicit the expectations, goals, objectives, grading criteria and so on.
第2回	Introduction: What are Essays?	Metalanguage What are essays?
第3回	Writing about Work	Planning your essay: Outlines
第4回	Writing about School	How to write an introduction
第5回	Writing about Education	How to write the body paragraphs
第6回	Writing about Free Time	How to write conclusions
第7回	Writing Instructions	How to write instructions
第8回	Writing about Experiences	How to write narratives
第9回	Writing Descriptions	How to write descriptions
第10回	Writing about People	How to write opinions and descriptions
第11回	Capstone Project	By the end of class, students should have submitted their capstone projects, formatted according to the guidelines.

第12回 Impromptu Speeches

Rather than rehearsed speeches, which often appear contrived, a better demonstration of language use/ability is impromptu speeches. Students will have one minute thinking time after being told the theme of their speech, and then a further 90-120 to deliver it.

第13回 Presentations (Group A)

Group A will give their presentations.

第14回 Presentations (Group B)

Group B will give their presentations.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

There will be nine homework assignments during the semester. Students are expected to spend about an hour/week on homework and preparation. In weeks when no homework is assigned, this suggested timeframe remains for preparation (which can also include "review").

【テキスト（教科書）】

Title: EFL Writer's Workbook: Essays

Publisher: Abax

ISBN: 9781785470608

【参考書】

References and/or additional materials/resources will be provided as and when necessary.

【成績評価の方法と基準】

Homework (strand 1) writing assignments: 10% (basically, 1% for each of the 9 homework assignments throughout the semester, with a bonus point for complete submission of all. Late submissions will be checked, with feedback provided), but will score 0.

Homework (strand 2) LMS completion 10% - details will be given in the first class.

Participation: 15% (Basically 1% for each class actively participated in, with a bonus point for 100% participation. Please see below for attendance policy).

Speech: 5% - this will be an "impromptu speech". Experience shows that speeches which are rehearsed over and over again are often contrived and unnatural. Guidance will be provided in advance.

Presentation:10% - the teacher has strict ideals about what a presentation in English should entail. Guidance will be provided in advance, as will a grading rubric to ensure objectivity.

Capstone Project: 50% (a rubric will be provided to ensure objective grading).

Please note that if you are absent 4+ times for ANY reason (including sickness), you will not be able to pass this class. Some students mistakenly believe that being absent due to sickness is not included in the number of allowed absences. It is: if you are absent for ANY reason, absent =absent. Notifying the teacher about it either in advance or retrospectively, doesn't excuse it, it merely explains it. In addition, 2xlate (including delayed trains) =1 absence. Arriving late disrupts the class; please try to avoid it. While three absences are permitted, this is not a target!

Finally, you have paid for your tuition. You have not paid for a grade. I will certainly teach you, but I request you meet me half way by wanting to learn.

【学生の意見等からの気づき】

In the last few years, I have shied away from using textbooks in preference for my own material. From this year, I will be using a textbook that I feel better helps students share opinions orally, and to better write cohesive, well-organized paragraphs/essays.

【学生が準備すべき機器他】

Notebook

Pen (preferable to pencil)

While dictionary apps are OK, it is hoped that students will keep phone use to a minimum.

【Prerequisite】

There is no prerequisite.

【Room request】

Projector

If possible, please arrange the same classroom in Fujimi for all classes I teach on the same day.

Thank you

【Outline (in English)】

Students will start their study abroad programs in English-speaking countries within 6 months, and so need to further develop their communication skills to easily and accurately express their ideas and opinions in a comprehensible way. Themes will be chosen from topics closely relating to modern life and culture. The writing of paragraphs will be modelled and practiced. By the end of the course, students will be expected to be able to write multi-paragraph essays. In addition, presentations and speeches related to those themes should also be practiced.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

JAMES D SHORT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is for second year students who have strong motivation to improve their speaking and writing skills in preparation for studying abroad in an English-speaking country in the subsequent semester. Through extensive discussion and writing practice it will enhance students' abilities to function effectively in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】

Building upon English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become responsible international students who are capable of unsupervised independent learning in an all-English environment.

As a result of studying this course students will gain enhanced abilities to:

1. Approach issues systematically in order to understand them clearly.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding.
3. Produce appropriate and considered oral and written responses in English in relation to these issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for successful completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the term.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are very important and will be evaluated.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class Orientation	Explanation of the course and required study methods
2	Discussion Book Two Unit 1: Technology	Describing the ways that new technology affects our lives

3	Unit 1: Communication, education, medicine, transportation, entertainment	Presentations about technological advancements in particular areas
4	Unit 2: Travel	Describing personal experiences about foreign and domestic travel
5	Unit 2: Traveling on guided tours	Role-play debate: Guided tours vs. traveling independently
6	Unit 3: Culture	Investigating aspects of the culture of an unknown country
7	Written Assignment 1	Write a 1 page essay about aspects of the culture of an unknown country that interests you
8	Unit 4: Volunteering	Discussion about the advantages and disadvantages of volunteering
9	Unit 4: Japanese volunteerism	Presentations about the activities of a Japanese volunteer organization
10	Unit 5: Beliefs	Discussion about things that people believe in strongly
11	Unit 5: Mysterious phenomena	Presentations about a mysterious phenomenon
12	Unit 6: Ads and Commercials	Discussion about the ways that commercials affect our lives
13	Unit 7: The News	Discussion about sources of information about the world
14	Written Assignment 2	Write a 2 page essay describing a recent news event and your opinions about it

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around 1 hour a week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.
2. Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and materials from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト（教科書）】

“The English Course Discussion Book Two”, Gary Ireland and Max Woolerton, Kabushikigaisha The English Company, 2019. ISBN: 978-4-9902962-6-1; price 2999 yen.

【参考書】

Students are recommended to have an electronic English-Japanese dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of classroom participation (40%), group presentations (30%), and 2 written assignments (30%).

**Class attendance is a course requirement.

Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】

In consideration of student responses in the class evaluation, in pair and group discussions students will be given more opportunities to work with different partners.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus should it become necessary.

【Outline (in English)】

In order to prepare second year students for their extended period of study in an English-speaking country in the subsequent semester, this course aims to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and form sophisticated opinions around them which are expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, from time to time facilitated by the students themselves. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, in relation to which students will have discussions and then produce considered oral and written responses in the target language of English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

CHIA-WEI KANG

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course prepares students for academic and social communication in English during future study-abroad experiences. Through structured reading, summarizing, discussion, reflective journal writing, and presentation training, students will develop the skills necessary to participate confidently in an international learning environment. Emphasis is placed on critical thinking, clarity of expression, awareness of audience, and the ability to organize ideas logically in both spoken and written English.

【到達目標】

By the end of the course, students will be able to:

1. Participate actively in discussions using appropriate small talk and academic communication strategies.
2. Read texts critically and produce clear, concise summaries.
3. Express opinions using logical support (e.g., OREO structure).
4. Reflect on intercultural and global issues related to study abroad.
5. Improve diction, sentence clarity, and accuracy in written communication.
6. Deliver an organized final presentation.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

Classes are conducted face-to-face and are highly interactive. Students will engage in:

- Pair and group discussions
- Guided reading and summarizing
- Journal writing
- Peer feedback
- Presentation practice

Regular attendance, preparation, and active participation are essential.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Orientation / Vision of Study Abroad / Goal Setting	Course introduction, expectations, academic mindset, personal goal planning.
Lesson 2	Small Talk / OREO / Introduction to Journal Writing	Building communication confidence, opinion structure, how journals will be evaluated.
Lesson 3	Reading / Summarizing / Discussion	Developing academic reading strategies, identifying key ideas, leading discussions.

Lesson 4	Reading / Summarizing / Discussion	Developing academic reading strategies, identifying key ideas, leading discussions.
Lesson 5	Reading / Summarizing / Discussion	Developing academic reading strategies, identifying key ideas, leading discussions.
Lesson 6	Reading / Summarizing / Discussion	Developing academic reading strategies, identifying key ideas, leading discussions.
Lesson 7	PEST Analysis Task	Understanding political, economic, social, and technological perspectives; preparation for global awareness.
Lesson 8	Storytelling	Organizing experiences, audience engagement, narrative techniques.
Lesson 9	Organizing experiences, audience engagement, narrative techniques.	Clarity, conciseness, paraphrasing, common sentence problems, tone awareness.
Lesson 10	Organizing experiences, audience engagement, narrative techniques.	Clarity, conciseness, paraphrasing, common sentence problems, tone awareness.
Lesson 11	Reading / Summarizing / Discussion	Developing academic reading strategies, identifying key ideas, leading discussions.
Lesson 12	Reading / Summarizing / Discussion	Developing academic reading strategies, identifying key ideas, leading discussions.
Lesson 13	Reading / Summarizing / Discussion	Developing academic reading strategies, identifying key ideas, leading discussions.
Lesson 14	Final Presentation	Final Presentation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students should spend time each week:

- reviewing vocabulary and notes
- preparing opinions before discussion
- revising journal entries
- reading assigned materials

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook to purchase.

All readings and learning materials will be provided by the instructor as digital files or printed handouts.

【参考書】

Bring your dictionary to class. (Either paper or electronic dictionary is acceptable.)

【成績評価の方法と基準】

Participation &Engagement20%

Journal Writing50%

PEST Task15%

Final Presentation15%

Regular attendance is expected. Absences may influence participation grades and the ability to complete in-class tasks.

【学生の意見等からの気づき】

The course has not received any comments from the previous term.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use presentation software (e.g., PowerPoint or Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word or Google Docs). Important course information will be distributed via HOPPIL.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

【Outline (in English)】

This course prepares students for academic and social communication in English during future study-abroad experiences. Through structured reading, summarizing, discussion, reflective journal writing, and presentation training, students will develop the skills necessary to participate confidently in an international learning environment. Emphasis is placed on critical thinking, clarity of expression, awareness of audience, and the ability to organize ideas logically in both spoken and written English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

JAMES D SHORT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is for second year students who have strong motivation to improve their speaking and writing skills in preparation for studying abroad in an English-speaking country in the subsequent semester. Through extensive discussion and writing practice it will enhance students' abilities to function effectively in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】

Building upon English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become responsible international students who are capable of unsupervised independent learning in an all-English environment.

As a result of studying this course students will gain enhanced abilities to:

1. Approach issues systematically in order to understand them clearly.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding.
3. Produce appropriate and considered oral and written responses in English in relation to these issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for successful completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the term.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are very important and will be evaluated.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class Orientation	Explanation of the course and required study methods
2	Discussion Book Two Unit 1: Technology	Describing the ways that new technology affects our lives

3	Unit 1: Communication, education, medicine, transportation, entertainment	Presentations about technological advancements in particular areas
4	Unit 2: Travel	Describing personal experiences about foreign and domestic travel
5	Unit 2: Traveling on guided tours	Role-play debate: Guided tours vs. traveling independently
6	Unit 3: Culture	Investigating aspects of the culture of an unknown country
7	Written Assignment 1	Write a 1 page essay about aspects of the culture of an unknown country that interests you
8	Unit 4: Volunteering	Discussion about the advantages and disadvantages of volunteering
9	Unit 4: Japanese volunteerism	Presentations about the activities of a Japanese volunteer organization
10	Unit 5: Beliefs	Discussion about things that people believe in strongly
11	Unit 5: Mysterious phenomena	Presentations about a mysterious phenomenon
12	Unit 6: Ads and Commercials	Discussion about the ways that commercials affect our lives
13	Unit 7: The News	Discussion about sources of information about the world
14	Written Assignment 2	Write a 2 page essay describing a recent news event and your opinions about it

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around 1 hour a week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.
2. Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and materials from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト（教科書）】

“The English Course Discussion Book Two”, Gary Ireland and Max Woolerton, Kabushikigaisha The English Company, 2019. ISBN: 978-4-9902962-6-1; price 2999 yen.

【参考書】

Students are recommended to have an electronic English-Japanese dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of classroom participation (40%), group presentations (30%), and 2 written assignments (30%).

**Class attendance is a course requirement.

Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】

In consideration of student responses in the class evaluation, in pair and group discussions students will be given more opportunities to work with different partners.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus should it become necessary.

【Outline (in English)】

In order to prepare second year students for their extended period of study in an English-speaking country in the subsequent semester, this course aims to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and form sophisticated opinions around them which are expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, from time to time facilitated by the students themselves. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, in relation to which students will have discussions and then produce considered oral and written responses in the target language of English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

JUSTIN FALKUS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term. Feedback will be given individually and to the whole class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	- Introduction. - Pre-Writing.	Introducing the course. Gathering and organising ideas.
2	- Formatting. - The structure of a paragraph.	How to format paragraphs and essays. Using pre-writing skills to structure a paragraph.
3	Consolidating sentence-level grammar	Reviewing and expanding students' grammatical foundations.
4	Descriptive paragraphs.	- Writing descriptive paragraphs. - Focus on nominal groups and verbal groups
5	Opinion paragraphs.	- Expressing opinion and arguments - Focus on Obligation

6	Problem/Solution paragraphs. 2-paragraph papers	- Discussing a problem, and offering solutions. - Focus on Probability
7	Comparison/Contrast Paragraphs. 2-Paragraph papers	- Writing about advantages and disadvantages of a topic. - Focus on taxis
8	Structuring an essay.	Looking at the structure of essays
9	Outlining an essay.	Writing an outline.
10	The first draft	Writing the first draft
11	Editing	Editing the first draft
12	The second draft	Writing the second draft
13	Final essay submission	Students submit their final essays
14	Final essay feedback	The teacher will provide feedback on final essays

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

For this course, students are expected to check notes and review previous exercises, as well as complete writing assignments.

【テキスト（教科書）】

The teacher will provide his own materials

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on class participation and assignments (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

none in particular

【学生が準備すべき機器他】

It is best to have PCs with Microsoft Word

【Outline (in English)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

Students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

DANIEL G DUSZA

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木3/Thu.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is for second-year students who are highly motivated to improve their speaking and writing skills in preparation for studying abroad in an English-speaking country in the subsequent semester. Through extensive discussion and writing practice, students' abilities to function effectively in an all-English-speaking academic and social environment will be enhanced.

【到達目標】

Building on English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become responsible international students capable of independent, unsupervised learning in an all-English environment.

As a result of studying this course, students will enhance their abilities in the following areas.

1. Discuss various issues systematically with peers in order to gather a variety of perspectives and understand them with more clarity.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding using various means of communication (i.e., Human, ICT, and AI).
3. Produce both spoken and written artifacts for social and academic purposes.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for successful completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the term.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are important and will be evaluated.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Week-1	Class Orientation Discussion	Explanation of the course and required study methods Homework: Discuss and Describe 3 People

Week-2	Unit 1: Summarizing Discussion Skills-1: News	Summarize a Breaking News English stories
Week-3	Unit 1: Summarizing Discussion Skills-2: News	Summarize a Breaking News English stories
Week-4	Unit 1: Summarizing Discussion Skills-3: News	SUMMARISING TEST Summarize a Breaking News English stories
Week-5	Unit 2: Collecting Opinions Presentation Skills-1: Debate Topics	Team reading and discussion about global topics Homework: Make a presentation from Q&A
Week-6	Unit 2: Collecting Opinions Presentation Skills-2: Debate Topics	Same as above and Making a strong start
Week-7	Unit 2: Collecting Opinions Presentation Skills-3: Debate Topics	Same as above and Managing the Q&A like a pro.
Week-8	Unit 2: Collecting Opinions Presentation Skills-4: Debate Topics	WRITING TEST Same as above and Nailing the closure
Week-9	Unit 3: Communicating Information Writing from Discourse-1	Prepare two processes (directive & descriptive) Homework: Write both Essays
Week-10	Unit 3: Communicating Information Writing from Discourse-2	Using a rubric to review peers essays and offer feedback
Week-11	Unit 4: Communicating Collected Knowledge Topic Based Opinion Essay/Presentation - Introduction	Discuss the topic of interest with peers Get their opinions Start writing
Week-12	Unit 4: Communicating Collected Knowledge Topic Based Opinion Essay/Presentation - Support	Discussion about the ways that commercials affect our lives
Week-13	Unit 4: Communicating Collected Knowledge Topic Based Opinion Essay/Presentation - Counter Arguments	Discussion about sources of information about the world

Week-14 Unit 4:
Communicating
Collected
Knowledge
Topic Based
Opinion
Essay/Presentation
- Nailing the
Summary/
Conclusion/
Recommendation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest that preparation and review are about 4 hours per week for a two-credit course and about 1 hour per week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.
2. Each week, students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and materials from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required to be purchased. Readings will be provided in the syllabus.

【参考書】

Qureshi, B. (2019). Progressive Debate Active 1. Korea. Crbooks.

ISBN 978-89-5972-667-7 93740

Qureshi, B. (2019). Progressive Debate Active 2. Korea. Crbooks.

ISBN 978-89-5972-668-4 93740

Qureshi, B. (2019). Progressive Debate Active 3. Korea. Crbooks.

ISBN 978-89-5972-669-1 93740

【成績評価の方法と基準】

Grades are determined as follows.

Class preparation, participation, and presentation for the following.

1. Breaking News English discussion and summaries (30%)
 2. Progressive Debate discussion and summaries (30%)
- Communication skills in social and academic settings based on a rubric of achievements for the following.
3. Descriptive Essay from interviews and research (10%)
 4. Process Essay for international presentations (10%)
 5. Topic-Based Essay/Presentation (20%)

In principle, up to three(3) absences per semester are permitted. Students should ensure that absences do not impact collaboration or participation. Late assignments will be penalized by 10% per day.

You can expect a satisfactory grade if you complete all the classwork, homework, and essays on time.

Passing Grade Thresholds (Credit is awarded)

S(100% - 90%)

A(89 - 80%)

B(79 - 70%)

C(69 - 60%)

Non-passing Grades (no credit awarded)

D(59% and below)

E(Incomplete)

【学生の意見等からの気づき】

In consideration of student responses in the class evaluation, more emphasis will be placed upon the preparation and creation of the first written assignment in class 7.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

To prepare second-year students for their extended study in an English-speaking country in the subsequent semester, this course aims to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and to form sophisticated opinions about them, expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, with the students themselves facilitating it from time to time. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, on which students will discuss and then produce considered oral and written responses in English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

ウォルター・カズマー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will learn to process readings to know the main points, suitable contrasts to discuss relevant issues related to the reading, and how to look for additional resources to help them better understand any hidden cultural elements that may influence interpretation of the text. Students then will improve writing summaries and related essays for the readings.

【到達目標】

The primary aim is to prepare students for functioning abroad in a primarily English only environment. Students will be prepped on using useful strategies for opening conversations as well as assessing what professors expect from the international students in their classes.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Face to face

Reading/writing in pairs

Reading for details and writing with details

Summarizing for groups

Mixed discussion

Mixed debate

Quick writing

Feedback will be provided through graded essay drafts (written with comments) and oral suggestions during quick free writing sessions.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Galapagos	Examining the theory	looking at reasons for cultural failures
	multi-faceted cultural dividedness	
Culture and race	What are ethnic markers?- why they matter	What distinguishes people in multi-cultural societies
Learning in a vacuum	How education systems differ and what that means for those societies	Why educational differences color our views
Bargains	Negotiating for better terms- when and how	When should you negotiate
Heading to Mars	Why space is suddenly important^new horizons and new materials race	Why does other planets matter
Midterm Exam	Written questions	Exam

AI with us	Managing AI at work	How chat gpt and other AI affect us
Training	Why companies want certain workers	What are good worker qualities
Social media-beats or ally?	Is Tik Tok dangerous?	What does social media do when it's not social
Getting lost	Navigating cities worldwide- street smarts	Why street smart is important
Cultural mishaps	Why cultures sometimes collide?	What causes cultural conflicts and how to resolve them
Culture disap- pearing	Why are some cultures flourishing better than others?	Why some cultures die and others flourish
Odd hobbies	Is it okay to be an otaku?	What is extreme- fan vs fanatic
Final exam	Written exam questions	Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should preview google classroom activities and preview vocabulary listed.

【テキスト（教科書）】

Not applicable, handouts will be given.

【参考書】

Websites will be provided.

【成績評価の方法と基準】

Tests 25% (12.5% midterm, 12.5% final)

Class participation - 50%

Homework - 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A- teaching first time.

【学生が準備すべき機器他】

Pen and paper and binder for handouts

【その他の重要事項】

N/A

【Outline (in English)】

This course will allow students to obtain a strong base in intermediate to upper intermediate writing and discussion skills. Students will need these skills at their disposal when studying abroad: skimming, scanning, writing with details, summarizing, highlighting pros and cons of suitable alternative solutions, using word clusters, and paraphrasing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語3

2017年度以降入学者

北 文美子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

最近の時事問題に関するニュース、資料、論文などを講読し、当該分野の視野を広めるとともに、テキストを批判的に読むスキルを学びます。また、各回の問題について各自英語で意見をまとめることのできる力を身につけます。

【到達目標】

英語で書かれた専門性の高いテキストを正確に読み、自分の意見を英語でまとめることができるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

最近の時事問題に関連した資料を読み、語彙の整理を行い、語彙・表現の拡充をはかります。また、英文を書く上で必要なスキルを、各自が実際に英文を書き、フィードバックすることで定着させます。毎回提出された課題は次回授業のときにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方について解説
2	報告書のまとめ方	世論調査の事例
3	報告書の書き方	児童労働の報告
4	社会と環境（1）	民族差別
5	社会と環境（2）	国際紛争
6	社会と環境（3）	難民問題
7	中間試験	学習したテキストから出題
8	中間試験のフィードバック	英語論文の書き方について解説
9	技術と人間（1）	インターネット依存
10	技術と人間（2）	環境問題
11	社会と福祉（1）	セイフティ・ネット
12	社会と福祉（2）	能力主義
13	技術と人間（3）	エネルギー問題
14	学期末試験、まとめ	これまで学習した範囲から出題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回授業前に英文テキストを読んでおいてください。授業の予習・復習に一時間以上必要になります。

【テキスト（教科書）】

適宜、資料を事前に配布します。

【参考書】

授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点、課題の提出 25%

試験 75%

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を

合格とする。尚、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

今回初めて担当する授業になります。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course aims to improve reading and writing skills in English, and to prepare students to develop critical thinking skills through widely ranged texts.

(Learning Objectives)

By the end of the semester, students are expected to deepen their understanding about the command of the English language.

(Learning activities outside of classroom)

Students must read the course material before each class, and spend more than one hour preparing for each lesson.

(Grading Criteria/Policy)

Assignments 25% Mid-term and Final Exams 75%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語3

2017年度以降入学者

北 文美子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

最近の時事問題に関するニュース、資料、論文などを講読し、当該分野の視野を広めるとともに、テキストを批判的に読むスキルを学びます。また、各回の問題について各自英語で意見をまとめることのできる力を身につけます。

【到達目標】

英語で書かれた専門性の高いテキストを正確に読み、自分の意見を英語でまとめることができるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

最近の時事問題に関連した資料を読み、語彙の整理を行い、語彙・表現の拡充をはかります。また、英文を書く上で必要なスキルを、各自が実際に英文を書き、フィードバックすることで定着させます。毎回提出された課題は次回授業のときにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方について解説
2	報告書のまとめ方	世論調査の事例
3	報告書の書き方	児童労働の報告
4	社会と環境（1）	民族差別
5	社会と環境（2）	国際紛争
6	社会と環境（3）	難民問題
7	中間試験	学習したテキストから出題
8	中間試験のフィードバック	英語論文の書き方について解説
9	技術と人間（1）	インターネット依存
10	技術と人間（2）	環境問題
11	社会と福祉（1）	セイフティ・ネット
12	社会と福祉（2）	能力主義
13	技術と人間（3）	エネルギー問題
14	学期末試験、まとめ	これまで学習した範囲から出題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回授業前に英文テキストを読んでおいてください。授業の予習・復習に一時間以上必要になります。

【テキスト（教科書）】

適宜、資料を事前に配布します。

【参考書】

授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点、課題の提出 25%

試験 75%

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を

合格とする。尚、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

今回初めて担当する授業になります。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course aims to improve reading and writing skills in English, and to prepare students to develop critical thinking skills through widely ranged texts.

(Learning Objectives)

By the end of the semester, students are expected to deepen their understanding about the command of the English language.

(Learning activities outside of classroom)

Students must read the course material before each class, and spend more than one hour preparing for each lesson.

(Grading Criteria/Policy)

Assignments 25% Mid-term and Final Exams 75%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語3

2017年度以降入学者

北 文美子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

最近の時事問題に関するニュース、資料、論文などを講読し、当該分野の視野を広めるとともに、テキストを批判的に読むスキルを学びます。また、各回の問題について各自英語で意見をまとめることのできる力を身につけます。

【到達目標】

英語で書かれた専門性の高いテキストを正確に読み、自分の意見を英語でまとめることができるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

最近の時事問題に関連した資料を読み、語彙の整理を行い、語彙・表現の拡充をはかります。また、英文を書く上で必要なスキルを、各自が実際に英文を書き、フィードバックすることで定着させます。毎回提出された課題は次回授業のときにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方について解説
2	報告書のまとめ方	世論調査の事例
3	報告書の書き方	児童労働の報告
4	社会と環境（1）	民族差別
5	社会と環境（2）	国際紛争
6	社会と環境（3）	難民問題
7	中間試験	学習したテキストから出題
8	中間試験のフィードバック	英語論文の書き方について解説
9	技術と人間（1）	インターネット依存
10	技術と人間（2）	環境問題
11	社会と福祉（1）	セイフティ・ネット
12	社会と福祉（2）	能力主義
13	技術と人間（3）	エネルギー問題
14	学期末試験、まとめ	これまで学習した範囲から出題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回授業前に英文テキストを読んでおいてください。授業の予習・復習に一時間以上必要になります。

【テキスト（教科書）】

適宜、資料を事前に配布します。

【参考書】

授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点、課題の提出 25%

試験 75%

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を

合格とする。尚、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

今回初めて担当する授業になります。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course aims to improve reading and writing skills in English, and to prepare students to develop critical thinking skills through widely ranged texts.

(Learning Objectives)

By the end of the semester, students are expected to deepen their understanding about the command of the English language.

(Learning activities outside of classroom)

Students must read the course material before each class, and spend more than one hour preparing for each lesson.

(Grading Criteria/Policy)

Assignments 25% Mid-term and Final Exams 75%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語3

2017年度以降入学者

北 文美子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

最近の時事問題に関するニュース、資料、論文などを講読し、当該分野の視野を広めるとともに、テキストを批判的に読むスキルを学びます。また、各回の問題について各自英語で意見をまとめることのできる力を身につけます。

【到達目標】

英語で書かれた専門性の高いテキストを正確に読み、自分の意見を英語でまとめることができるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

最近の時事問題に関連した資料を読み、語彙の整理を行い、語彙・表現の拡充をはかります。また、英文を書く上で必要なスキルを、各自が実際に英文を書き、フィードバックすることで定着させます。毎回提出された課題は次回授業のときにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方について解説
2	報告書のまとめ方	世論調査の事例
3	報告書の書き方	児童労働の報告
4	社会と環境（1）	民族差別
5	社会と環境（2）	国際紛争
6	社会と環境（3）	難民問題
7	中間試験	学習したテキストから出題
8	中間試験のフィードバック	英語論文の書き方について解説
9	技術と人間（1）	インターネット依存
10	技術と人間（2）	環境問題
11	社会と福祉（1）	セイフティ・ネット
12	社会と福祉（2）	能力主義
13	技術と人間（3）	エネルギー問題
14	学期末試験、まとめ	これまで学習した範囲から出題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回授業前に英文テキストを読んでおいてください。授業の予習・復習に一時間以上必要になります。

【テキスト（教科書）】

適宜、資料を事前に配布します。

【参考書】

授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点、課題の提出 25%

試験 75%

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を

合格とする。尚、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

今回初めて担当する授業になります。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course aims to improve reading and writing skills in English, and to prepare students to develop critical thinking skills through widely ranged texts.

(Learning Objectives)

By the end of the semester, students are expected to deepen their understanding about the command of the English language.

(Learning activities outside of classroom)

Students must read the course material before each class, and spend more than one hour preparing for each lesson.

(Grading Criteria/Policy)

Assignments 25% Mid-term and Final Exams 75%

LANe200LA（英語 / English language education 200）

英語 3

2017年度以降入学者

竹内 晶子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語で書かれた膨大な情報に直接アクセスする際に基礎となるのが、高校までに学んだ英語です。この授業では、文法・語彙・構文をしっかりおさえながら、実際の英語新聞記事を読んでいきます。読んだ内容を口頭で、あるいは書いて要約する作業や、リスニングテストも、定期的に行います。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルになれ、記事概要を容易に把握できるようになる。
- ・複雑な内容の長文を的確に理解できるようになる。
- ・政治・経済・文化などのさまざまな分野の記事に頻出する基本単語を習得する。
- ・複雑な内容を簡潔に口頭でまとめ、書いて伝えることができるようになる。
- ・リスニング自習の習慣をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書を持ちて、世界に発信された様々な英文新聞記事を読みます。全訳をノートに書いてくることが必須の予習です。授業内ではアトランダムに訳をあて、内容理解とともに構文把握を確認していきます。

内容把握や、教科書に出てきた重要単語・表現の定着をはかるため、毎週小テストを行います。翌週にテストのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業紹介
2	unit 1	Reading and listening
3	unit 1	Reading and writing
4	unit 2	Reading and listening
5	unit 2	Reading and writing
6	unit 8	Reading and listening
7	Midterm Exam	Review
8	Unit 7	Reading and listening
9	unit 7	Reading and writing
10	unit 8	Reading and writing
11	unit 11	Reading and listening
12	unit 11	Reading and writing
13	unit 14	Reading and listening
14	Final exam	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次週までの課題は授業内で発表します。

テキスト全訳をノートに書いてくることが必須の予習です。あてられたその場で訳をつくる場合は、予習をしてこなかったものとみなします。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『15章版 ニュースメディアの英語―演習と解説 2026年度版― English through the News Media 2026 Edition』朝日出版社、2026年。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

小テスト：30%

中間テスト：30%

期末テスト：30%

積極的な授業参加：10%

原則として欠席が4回以上の場合は単位修得の権利を失います。

【学生の意見等からの気づき】

構文把握を丁寧に行います。

【学生が準備すべき機器他】

PCあるいはスマホ（ただし授業内では指示されたときのみ用いること）

【Outline (in English)】

The aim of this course is to foster students' ability to read English newspaper articles on various topics efficiently, orally present a concise summary, and write it down. Students' study time will be one hour for a class. The overall grade in the class will be decided based on the following:

Weekly review exam : 30%

Midterm exam : 30%

Final exam : 30

Inclass contribution : 10%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 3

2017年度以降入学者

野田 知子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、英語を通して世界の文化や社会問題について理解を深め、それらを自国や身の回りの事象と結びつけながら、多様な生き方や働き方について考えることを目的とする。また、英語の文章や映像を用いた学習を通して、読解力および聴解力の向上を図るとともに、要約や意見を表現する活動を通して、英語で発信する力を養い、4技能の総合的な向上を目指す。

【到達目標】

- ・複数のパラグラフからなる英語の文章を正確に理解できる
- ・目的に応じた速度で効果的に英文を読むことができる
- ・英文の論旨を正確に把握し、必要な知識・情報を把握できる
- ・英語で書かれた・話された内容を、日本語や英語で要約・説明できる
- ・世界で使用されている様々な英語を効果的に聞き取り、内容を理解することができる
- ・英語辞書を効果的に使うことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

本授業は、基本的に教科書に沿って進め、英文およびビデオの内容を確認しながら理解を深めていきます。授業ではペアワークやグループワークを積極的に取り入れ、教科書の英文やビデオ、さらにそれらに関連するテーマについて理解を深めるとともに、意見や感想を共有する活動を行います。これらの活動を通して、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指します。

ペアワークやグループワークで話し合った内容はクラス全体で共有し、適宜フィードバックを行います。また、自分の意見や考えを文章で表現する活動も取り入れ、表現力の向上を図ります。

各チャプター終了後には、授業での学びや気づき、感想などをReflectionとしてまとめてもらい、個別にフィードバックを行います。さらに、次週の授業でその一部を共有しながら、全体へのフィードバックも行います。あわせて、次週には小テスト（Quiz）を実施し、内容理解の定着を図ります。加えて、授業で取り扱った国をテーマに、グループによるプレゼンテーションを授業内で実施します。自己評価やピアフィードバックを通してプレゼンテーションの技術を振り返り、改善点を明確にします。さらに、個人課題（final assignment）としてプレゼンテーションビデオの作成を課す予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業概要説明
2	Unit 1 Malaysia	英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約
3	Unit 2 Egypt	小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約
4	Unit 3 Italy	小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約

5	Unit 4 The DRC	小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約
6	Unit 5 Sweden	小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約
7	Unit 6 The UAE	小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約、発表準備
8	Unit 7 Estonia	小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約、小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約、
9	Unit 8 Peru	小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約、小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約、
10	Unit 10 Australia	小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約、小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約、
11	Unit 11 Rwanda	小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約、小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約、
12	Unit 12 Denmark	小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約、小テスト、英文読解・映像内容理解、アクティビティ、要約、
13	グループプレゼンテーション準備	準備・リハーサル
14	グループプレゼンテーション	グループプレゼンテーション発表、リフレクション、まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

・準備学習（予習）：次の授業で取り扱うチャプター内の英文を読み、わからない語彙等を調べて内容理解をしておくこと。

・復習：語彙・文法事項・本文やビデオの内容を復習し小テストに備えるとともに、振り返りを記載すること。

【テキスト（教科書）】

Uraguchi, R., Takeoka, Y., & Dillon, T. (2026). World Travelers: A Learning Journey with Videos from BBC's The Travel Show. KINSEIDO.

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 1) 授業内の小テスト 25%
- 2) 振り返り 15%
- 3) グループプレゼンテーション 30% (15% × 2)
- 4) プレゼンテーションビデオ 20%
- 5) 学修に主体的に取り組む態度等 10%

授業への積極的参加が重要です。欠席が4回以上の場合は原則として単位修得を認めません。(30分を超えた遅刻は1回の欠席とみなします。) 遅刻・早退は減点の対象となります。また、課題不提出・発表不実施の場合、評価・単位修得に大きく影響します。

【学生の意見等からの気づき】

今年度初めて担当のため、特になし。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配布・課題提出などには、学習支援システム、Google Classroom等を使用します。状況に応じてlaptop computer等を持参してください。

英和辞書（紙媒体または電子）を持参してください。

【その他の重要事項】

- ・授業へ積極的に取り組む態度が求められます。
- ・授業中の発言や課題の記述に人権侵害・差別的発言などの著しく公正性を欠いた言動、剽窃等が見られる場合には、減点や厳重注意の対象とします。

【Outline (in English)】

This course aims to deepen students' understanding of cultures and social issues around the world while encouraging them to reflect on diverse lifestyles and working styles. Through reading texts, viewing authentic videos, and participating in activities such as summary writing and presentations, students will develop their four foundational English skills: reading, listening, speaking, and writing. By the end of the course, students will be able to comprehend written and spoken materials and explain their content clearly and concisely in both written and oral forms using plain English.

Students are expected to engage in independent learning outside the classroom. As pre-class preparation, they must watch assigned online videos, read the designated texts, and prepare responses to discussion questions in the textbook. After each class session, students are required to write reflective journals and study for quizzes as part of their post-class learning.

Assessment will be based on the following components: in-class quizzes (25%), reflective journals (15%), in-class presentation (25%), presentation video (25%), and proactive engagement in class (10%).

LANe200LA（英語 / English language education 200）

英語 3

2017年度以降入学者

本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカを中心に現代社会とその直面する問題について学びます。

英語 3では、英語 1と英語 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、日本社会との同質性と異質性に対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。教科書の奇数番号の章を扱うので、授業の進行には注意してください。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	News Story 1: MLB's Dugout Mugs: A Home Run Idea	リスニング及び内容理解
第3回	News Story 1: MLB's Dugout Mugs: A Home Run Idea	読解及び問題演習
第4回	News Story 3: Lung Donation	リスニング及び内容理解
第5回	News Story 3: Lung Donation	読解及び問題演習
第6回	News Story 5: New Dinosaur Discovery	リスニング及び内容理解

第7回	News Story 5: New Dinosaur Discovery	読解及び問題演習
第8回	News Story 7: Extinct Dire Wolf Returns	リスニング及び内容理解
第9回	News Story 7: Extinct Dire Wolf Returns	読解及び問題演習
第10回	News Story 9: Mary's Irish Scones Go Viral	リスニング及び内容理解
第11回	News Story 9: Mary's Irish Scones Go Viral	読解及び問題演習
第12回	News Story 11: Security Tight for Super Bowl LIX	リスニング及び内容理解
第13回	News Story 11: Security Tight for Super Bowl LIX	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

ABC Newsroom 4（映像で学ぶABC放送のニュース英語 4）
山根繁他著 金星堂 2026年 3200円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through ABC news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But ABC news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 3

2017年度以降入学者

本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカを中心に現代社会とその直面する問題について学びます。

英語 3では、英語 1と英語 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、日本社会との同質性と異質性に対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。教科書の偶数番号の章を扱うので、授業の進行には注意してください。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	News Story 2: Meta Ends	リスニング及び内容理解
	Fact-Checking	
第3回	News Story 2: Meta Ends	読解及び問題演習
	Fact-Checking	
第4回	News Story 4: A Return From Russian Prison	リスニング及び内容理解
第5回	News Story 4: A Return From Russian Prison	読解及び問題演習
第6回	News Story 6: Protecting Ecuador's Amazon	リスニング及び内容理解

第7回	News Story 6: Protecting Ecuador's Amazon	読解及び問題演習
第8回	News Story 8: Alcohol Cancer Warning	リスニング及び内容理解
第9回	News Story 8: Alcohol Cancer Warning	読解及び問題演習
第10回	News Story 10: Thousands in Need	リスニング及び内容理解
第11回	News Story 10: Thousands in Need	読解及び問題演習
第12回	News Story 12: Egg Shortages	リスニング及び内容理解
第13回	News Story 12: Egg Shortages	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやってほしい内容を示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

ABC Newsroom 4 (映像で学ぶABC放送のニュース英語 4)
山根繁他著 金星堂 2026年 3200円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through ABC news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But ABC news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society. (Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 3

2017年度以降入学者

杉 亜希子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスは、一年次に身に付けた英語の4技能を用いて、コミュニケーションのツールとして英語を使いこなせるようになるための訓練をする。インプットで与えられた文を英訳するだけに終わらず、徹底して声に出す習慣をつけ表現力を強化する。そして英語の文章構成力を磨き、意見を論理的にまとめ、ミニスピーチで自分の言いたいことを英語で人に伝えられることを最終目的とする。

【到達目標】

Pre-activityとinputを通して

- ・語彙力を強化しその使い方を身に付ける
- ・学んだフレーズが自然と口から出てくる習慣をつける

Outputを通して

- ・言いたいことを英語のセンテンスにできる
- ・事実を述べるのみではなく、自分の考え・感情をまとめた形で表現できる
- ・いかに相手に伝えられるかを考え、英語で論理的な説明や説得ができる
- ・「自分にしかできない」スピーチをすることができる
- ・人前で、まとめた英語を話すことができる
- ・英語のスピーチを聞いて理解することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・Pre-activity: 日常的に使われる便利な英語表現を学ぶ
- ・Input: 模範となる事例を学び、発音と表現のインプットを徹底して行う
- ・Output: 学んだ形式や表現を利用し自分のmini speechをすることで、英語で「自分を表現し人に説明する力」をつける
- ・注意：トピックは状況に応じて変更されることがある
- ・フィードバックは、課題提出後に授業内又は「学習支援システム」やメール（akiko.sugi.4i@hosei.ac.jp）を通じて行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Guidance	ガイダンス
第2回	My Personality (1)	模範ケースを学ぶ
第3回	My Personality (2)	復習
第4回	Talk about Hobbies	模範ケースを学ぶ
第5回	Talk about Hobbies (2)	復習
第6回	Preparation for your First Speech (1)	Draft作成
第7回	Preparation for your First Speech (2)	Draft修正・練習
第8回	First Speech	発表
第9回	Vacation in Tokyo (1)	模範ケースを学ぶ

第10回	Vacation in Tokyo (2)	復習
第11回	Preparation for your Final Speech (1)	Topic選択、スピーチ構成を学ぶ
第12回	Preparation for your Final Speech (2)	Draft作成
第13回	Preparation for your Final Speech (3)	Draft修正・練習
第14回	Final Speech	発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・Model casesやpre-activityで習った表現は、声に出して徹底した復唱を心がけ、小テストなどを通して英語表現を自分のものにする
- ・スピーチの流れを明確にするためにアウトラインを考え、Draftを作成し、校正にもしっかりと時間をかけることで「自分にしかできない」スピーチを完成させる
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする

【テキスト（教科書）】

プリント配布

【参考書】

Use of an English-English dictionary is strongly recommended.

英英辞書を使用して使われ方を再確認する癖をつける

<http://dictionary.cambridge.org/>
<http://www.merriam-webster.com/>
 Thesaurus: <http://thesaurus.com/>
 Britannica: www.britannica.com

【成績評価の方法と基準】

発表50%、平常点50%（小テストの結果、授業中の積極性、特にスピーチ作成の過程におけるプロセスを重視し、総合的に評価）

注意1：各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

注意2：

- ・このクラスで特に重要視するのは英語習得に対する「積極性」。学んだ表現がすぐに使えないこともあるものの、新しい表現をInputで確実に自分のものにして、vocabularyを豊富にしておく必要がある
- ・またスピーチ作りでは、ただ与えられた長さの話が出来れば良いのではなく、一度書き出してみたスピーチが本当にロジカルで人に伝わるものなのか再検証して練り上げていく作業の努力を惜しまないことが「成長」する鍵となり、ここが評価のポイントとなる

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目

【学生が準備すべき機器他】

英語の辞書
 携帯電話やスマホの辞書アプリの使用や必要に応じた検索機能の使用を認める

【その他の重要事項】

- ・生成AIや翻訳機能の許可しない使用は認められず、評価にも影響する
- ・欠席や遅延をメールで連絡する場合（akiko.sugi.4i@hosei.ac.jp）には、理由説明と「根拠となる書類・証拠」の提示が必須。「体調不良」という説明だけでは考慮対象にならない
- ・適切な理由と証拠の提出が認められた場合には代替措置を要求できるので要相談

【Outline (in English)】

This course is designed to provide opportunities to express yourselves in English and engage in an English speaking environment. Our goal is help you build confidence in sharing your stories with a logical structure and effectively communicating with others.

< Learning Objectives >

- Through pre-activity and input, you will be able to
- improve and expand your vocabulary and useful expressions
- Through output activities, you will be able to
- activate and develop existing English language skills
 - acquire a habit of thinking logically
 - get used to speaking in front of others in English

-develop communicative competence and fluency in English

< Learning activities outside of classroom >

You are expected to review out loud the relevant section from the input exercises. Your required study time is at least one hour for a class.

< Grading Criteria /Policy>

Mini-speech 50%; active class participation 50%

In principle, students who are absent four times or more in a semester will not receive credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語3

2017年度以降入学者

杉 亜希子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスは、一年次に身に付けた英語の4技能を用いて、コミュニケーションのツールとして英語を使いこなせるようになるための訓練をする。インプットで与えられた文を英訳するだけに終わらず、徹底して声に出す習慣をつけ表現力を強化する。そして英語の文章構成力を磨き、意見を論理的にまとめ、ミニスピーチで自分の言いたいことを英語で人に伝えられることを最終目的とする。

【到達目標】

Pre-activityとinputを通して

- ・語彙力を強化しその使い方を身に付ける
- ・学んだフレーズが自然と口から出てくる習慣をつける

Outputを通して

- ・言いたいことを英語のセンテンスにできる
- ・事実を述べるのみではなく、自分の考え・感情をまとめた形で表現できる
- ・いかに相手に伝えられるかを考え、英語で論理的な説明や説得ができる
- ・「自分にしかできない」スピーチをすることができる
- ・人前で、まとめた英語を話すことができる
- ・英語のスピーチを聞いて理解することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・Pre-activity: 日常的に使われる便利な英語表現を学ぶ
- ・Input: 模範となる事例を学び、発音と表現のインプットを徹底して行う
- ・Output: 学んだ形式や表現を利用し自分のmini speechをすることで、英語で「自分を表現し人に説明する力」をつける
- ・注意：トピックは状況に応じて変更されることがある
- ・フィードバックは、課題提出後に授業内又は「学習支援システム」やメール（akiko.sugi.4i@hosei.ac.jp）を通じて行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Guidance	ガイダンス
第2回	My Favourite Countries (1)	模範ケースを学ぶ
第3回	My Favourite Countries (2)	復習
第4回	Preparation for your First Speech (1)	Topic選択、スピーチ構成を学ぶ
第5回	Preparation for your First Speech (2)	Draft作成
第6回	Preparation for your First Speech (3)	Draft修正・練習
第7回	First Speech	発表
第8回	My Values (1)	模範ケースを学ぶ

第9回	My Values (2)	復習
第10回	My Opinion (1)	模範ケースを学ぶ
第11回	My Opinion (2)	復習
第12回	Preparation for your Final Speech (1)	Topic選択、Draft作成
第13回	Preparation for your Final Speech (2)	Draft修正・練習
第14回	Final Speech	発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・Model casesやpre-activityで習った表現は、声に出して徹底した復唱を心がけ、小テストなどを通して英語表現を自分のものにする
- ・スピーチの流れを明確にするためにアウトラインを考え、Draftを作成し、校正にもしっかりと時間をかけることで「自分にしかできない」スピーチを完成させる
- ・本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とする

【テキスト（教科書）】

プリント配布

【参考書】

Use of an English-English dictionary is strongly recommended.

英英辞書を使用して使われ方を再確認する癖をつける

<http://dictionary.cambridge.org/><http://www.merriam-webster.com/>Thesaurus: <http://thesaurus.com/>Britannica: www.britannica.com

【成績評価の方法と基準】

発表50%、平常点50%（小テストの結果、授業中の積極性、特にスピーチ作成の過程におけるプロセスを重視し、総合的に評価）
注意1：各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

注意2：

- ・このクラスで特に重要視するのは英語習得に対する「積極性」。学んだ表現がすぐに使えないこともあるものの、新しい表現をInputで確実に自分のものにして、vocabularyを豊富にしておく必要がある
- ・またスピーチ作りでは、ただ与えられた長さの話が出来れば良いのではなく、一度書き出してみたスピーチが本当にロジカルで人に伝わるものなのか再検証して練り上げていく作業の努力を惜しまないことが「成長」する鍵となり、ここが評価のポイントとなる

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目

【学生が準備すべき機器他】

英語の辞書

携帯電話やスマホの辞書アプリの使用や必要に応じた検索機能の使用を認める

【その他の重要事項】

- ・生成AIや翻訳機能の許可なく使用は認められず、評価にも影響する
- ・欠席や遅延をメールで連絡する場合（akiko.sugi.4i@hosei.ac.jp）には、理由説明と「根拠となる書類・証拠」の提示が必須。「体調不良」という説明だけでは考慮対象にならない
- ・適切な理由と証拠の提出が認められた場合には代替措置を要求できるので要相談

【Outline (in English)】

This course is designed to provide opportunities to express yourselves in English and engage in an English speaking environment. Our goal is help you build confidence in sharing your stories with a logical structure and effectively communicating with others.

< Learning Objectives >

Through pre-activity and input, you will be able to

-improve and expand your vocabulary and useful expressions

Through output activities, you will be able to

-activate and develop existing English language skills

-acquire a habit of thinking logically

-get used to speaking in front of others in English

-develop communicative competence and fluency in English

< Learning activities outside of classroom >

You are expected to review out loud the relevant section from the input exercises. Your required study time is at least one hour for a class.

< Grading Criteria /Policy>

Mini-speech 50%; active class participation 50%

In principle, students who are absent four times or more in a semester will not receive credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 3

2017年度以降入学者

深谷 公宣

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際的な視点で社会問題を考えるスキルや批判的思考力を伸ばします。内容理解、プレゼンテーション、その他のタスクをおこない、英語による情報収集・発信力を充実させます。

【到達目標】

- ・主題、細部、文脈を意識しながら、多様な形式で書かれた英文を読む力を身につける。
- ・社会的なトピックについて、批判的に考察する力を身につける。
- ・幅広い話題について、英語で発信する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・毎回、教科書に沿って進みます。
- ・授業で課した課題は必ず回収し、添削やコメントを施したうえで返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction Unit 1	授業の進め方の説明 Culinary Journeys and Ethnic Diversity
2	Unit 2	Languages in the World
3	Unit 3	Ethical Consumption
4	Unit 4	Future Career
5	Unit 5	Gender Roles, Stereotypes, and Society
6	Unit 6	Education (出張中のため、録画した解説動画を提供する予定)
7	Unit 7	Art
8	Unit 8	Conflicting Narratives: Learning About the Israeli-Palestinian Conflict
9	Unit 9	Ancient Artifacts and Modern Science
10	Unit 10	Biotechnology: The Future of Food
11	Unit 11	Business and Ethics in Engineering
12	Unit 12	Racism
13	Unit 13	World Religions
14	Unit 14	Media Literacy
	Review	授業のまとめと復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・教科書の予習をしたうえで授業に臨んでください。
 - ・授業内で示された演習課題に取り組んでください。
 - ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
- /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『Exploring International Liberal Arts through CLIL (CLILで学ぶ：国際教養)』白井龍馬 /川上光太 /鯉淵健太郎 /矢崎真紀 編著、朝日出版社、2400円（税抜）。

【参考書】

授業の中で指示します。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点：60%
- ・持ち帰り試験：40%
- ・4回以上欠席した受講者は単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【Outline (in English)】

・ Course outline: This course is designed to help students improve basic English and critical thinking skills to address social issues from an international perspective. Comprehension, presentation, and other tasks are assigned to develop their capacity to gather information and express their thoughts in English.

・ Learning Objectives: By the end of this course, students will be able to critically read various passages, graphs, and other English information, enabling them to read articles about social subjects. They will improve their skills to argue about a wide range of topics in English.

・ Learning activities outside of the classroom: Preparation for exercises in the textbook. Additional tasks will be assigned.

・ Grading Criteria/Policy: In-class activity 60%, Take-Home Examination 40%. In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 3

2017年度以降入学者

深谷 公宣

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際的な視点で社会問題を考えるスキルや批判的思考力を伸ばします。内容理解、プレゼンテーション、その他のタスクをおこない、英語による情報収集・発信力を充実させます。

【到達目標】

- ・主題、細部、文脈を意識しながら、多様な形式で書かれた英文を読むことができる。
- ・社会的なトピックについて書かれた英文を批判的に読むことができる。
- ・幅広い話題について、英語で発信する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・毎回、教科書に沿って進みます。
- ・授業で課した課題は必ず回収し、添削やコメントを施したうえで返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction Unit 1	授業の進め方の説明 Culinary Journeys and Ethnic Diversity
2	Unit 2	Languages in the World
3	Unit 3	Ethical Consumption
4	Unit 4	Future Career
5	Unit 5	Gender Roles, Stereotypes, and Society
6	Unit 6	Education
7	Unit 7	Art
8	Unit 8	Conflicting Narratives: Learning About the Israeli-Palestinian Conflict
9	Unit 9	Ancient Artifacts and Modern Science
10	Unit 10	Biotechnology: The Future of Food
11	Unit 11	Business and Ethics in Engineering
12	Unit 12	Racism
13	Unit 13	World Religions
14	Unit 14	Media Literacy
	Review	授業のまとめと復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・教科書の予習をしたうえで授業に臨んでください。
 - ・授業内で示された演習課題に取り組んでください。
 - ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
- /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『Exploring International Liberal Arts through CLIL (CLILで学ぶ：国際教養)』白井龍馬 /川上光太 /鯉渕健太郎 /矢崎真紀 編著、朝日出版社、2400円（税抜）。

【参考書】

授業の中で指示します。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点：60%
- ・持ち帰り試験：40%
- ・4回以上欠席した受講者は単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【Outline (in English)】

・ Course outline: This course is designed to help students improve basic English and critical thinking skills to address social issues from an international perspective. Comprehension, presentation, and other tasks are assigned to develop their capacity to gather information and express their thoughts in English.

・ Learning Objectives: By the end of this course, students will be able to critically read various passages, graphs, and other English information, enabling them to read articles about social subjects. They will improve their skills to argue about a wide range of topics in English.

・ Learning activities outside of the classroom: Preparation for exercises in the textbook. Additional tasks will be assigned.

・ Grading Criteria/Policy: In-class activity 60%, Take-Home Examination 40%. In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション 2017年度以降入学者

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

定員制(24)

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their English oral communication skills. Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and societal trends. Additional activities will include pair practice of daily English communication skills.

【到達目標】

The goal of this Spring course is to get students to speak, listen, read, write, & COMMUNICATE in smooth, modern English, using 21st Century 'EQ' skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students will be introduced to a variety of English-listening activities, English video activities, and English 'conversation' activities. Students will then be asked to practice giving their opinions in English, with the teacher and with classmates. Feedback about student answers will be given by the teacher, DURING classes. If students would like additional feedback: please ASK the teacher, during class time.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	[All SCHEDULE items are tentative...&might change, depending on class level(s); student abilities; and recent world events.] Introducing yourself, in smoothly, natural, friendly English.	Introduction vocabulary; &'EQ' responses thereto.
2	Introducing yourself, part 2...using fictional identities & occupations.	Speaking pairwork, using introduction vocabulary; &'EQ' responses thereto.
3	"What are your plans for Golden Week?" [Future tense practice, in polite 'EQ' English.]	Speaking pairwork: explaining plans for Golden Week, using polite English.
4	"How was your Golden Week?"	Many adjectives will be introduced & practiced in pairs, to describe vacations/ events/ etc.

5	"How are you?" "How are you doing?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?"
6	Further practice, re: "How goes it?"	More spoken English pairwork practice, re: "How are you doing?"
7	Video documentary or News clips or TED Talk, with questions about it.	Students will learn how to express opinions in English, about a video Current Affairs topic.
8	"How often do you ___?"	Pair practice in spoken English, to explain FREQUENCY of doing things such as eating some kinds of food; buying certain items; exercising; and so on.
9	Asking & giving street directions, in spoken English.	Pair practice about how to get from one place to another in a city, in smooth, natural English.
10	Further practice, re: asking for/giving street directions.	Pair practice, part 2: how to ask/tell about how to get from one place to another in a city, in smooth, natural English.
11	Video/ News/ TED Talk activity, with questions about that video clip. Also, "What are your hobbies?"	Students may watch a News/ TED Talk/ documentary video clip...and may be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English. Students will write down, and then pair-practice, culturally-acceptable answers about their hobbies, in smooth spoken English.
12	Review & practice of all topics studied and practiced during the semester.	Review & practice for the Spring Speaking Exam.
13	Speaking EXAM about all of the topics we studied during the semester.	Speaking EXAM, re: all of the topics studied during the semester.
14	"What are your plans for the Summer Break?"	Pairwork, to ask & answer about students' plans, re: Summer Break.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazuke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don't work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen. 本授業の準備学習・復習時間は各1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour or two hours a week, for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts may be distributed to students.

【参考書】

-

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 35%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); class participation/motivation (20%); and homework (20%). *IMPORTANT: A MAXIMUM OF 3.0 ABSENCES IS ALLOWED...&ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN A CREDIT(S) FOR THIS CLASS.*

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

Please make sure to bring a binder & binder paper, every class; pens; & a black marker pen.

{ + Up to 7 out of 14 classes MIGHT be conducted online, depending on Health Issues & Virus problems. Therefore, Students MIGHT need 'Online Learning' equipment: a computer; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; computer microphone; AND headphones/ earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/ speed.] } So, please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/ FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/ have a fever/ coughing/ sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/ Influenza/ Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/ sneezes: that person should fully cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF 3.0 ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

Up to 7 out of 14 classes MIGHT be conducted online, depending on Health Issues & Virus problems. Therefore, please prepare EARLY: a fully-working computer AND microphone; fast Wi-Fi; and a fully-working microphone.

【Outline (in English)】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their English oral communication skills. Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and societal trends. Additional activities will include pair practice of daily English communication skills.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション 2017年度以降入学者 II

Robert Durham

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

定員制(24)

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板的掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性: <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course provides students with the opportunity to develop their English oral communication skills. Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and societal trends. Additional activities will include pair practice of daily English communication skills.

【到達目標】

The goal of this Autumn course is to get students to speak, listen, read, write, & COMMUNICATE in smooth, modern English, using 21st Century 'EQ' skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students will be introduced to a variety of English-listening activities, English video activities, and English 'conversation' activities. Students will then be asked to practice giving their opinions in English, with the teacher and with classmates. Feedback about student answers will be given by the teacher, DURING classes. If students would like additional feedback: please ASK the teacher, during class time.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	*[All SCHEDULE items are tentative...&might change, depending on class level(s); student abilities; and recent world events.]* "How was your Summer Break?"	Pair-practice, re: a range of adjectives about students' five Summer Break activities/ Past Tense, in smooth, spoken English.
2	"How much does that cost?"	Students will be asked about prices of common items, in English; and will be asked to verbally answer such questions in spoken English.
3	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
4	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated?	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English.

5	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will', re: Hallowe'en costumes & activities.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
6	"The Seven W's": (Who...?/ What...?/ When...?/ Where...?/ Why...?/ Which...?/ How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the 7 W's".
7	"What would you do, if _____?"	Students will learn how to reply verbally to questions about what they would do, in a variety of situations, in spoken English.
8	"What time is it?", & "Could you please tell me what time it is...?"	Students will practice how to verbally use polite ways of asking, in English; AND about telling time(s).
9	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S./ Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs...&to explain them in spoken English.
10	"What are five things that YOU are thankful for?"	Students will be asked to write down, and then to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
11	Christmas customs & video/listening exercises, in English.	Students will watch/listen to an English video/ song about Christmas; and will be asked to answer questions in written/spoken English.
12	"What are your plans for Christmas/ OhShoGatsu?"	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.
13	Speaking EXAM, re: all topics that students learned and practiced during the Fall semester.	Speaking EXAM: students will be asked to reply, in detail (& in smooth, spoken English) about a variety of topics which were learned in the Fall semester.
14	"How was your Christmas/ OhShoGatsu Break?"	Students will be asked to write down (and practice with classmates) adjectives and explanations about their five OhShoGatsu/ Christmas activities.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazuke!"; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don't work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen. 本授業の準備学習・復習時間は各1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour or two hours a week, for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts may be distributed to students.

【参考書】

-

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 35%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); class participation/motivation (20%); and homework (20%).

*IMPORTANT: A MAXIMUM OF 3.0 ABSENCES IS ALLOWED...&ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

Please make sure to bring a binder & binder paper, every class; pens; & a black marker pen.

{ + Up to 7 out of 14 classes MIGHT be conducted online, depending on Health Issues & Virus problems. Therefore, Students MIGHT need 'Online Learning' equipment: a computer; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; computer microphone; AND headphones/ earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/ speed.] } So, please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/ FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/ have a fever/ coughing/ sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/ Influenza/ Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/ sneezes: that person should fully cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF 3.0 ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

Up to 7 out of 14 classes MIGHT be conducted online, depending on Health Issues & Virus problems. Therefore, please prepare EARLY: a fully-working computer AND microphone; fast Wi-Fi; and a fully-working microphone.

【Outline (in English)】

This course provides students with the opportunity to develop their English oral communication skills. Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and societal trends. Additional activities will include pair practice of daily English communication skills.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション 2017年度以降入学者
|

CHRISTOPHER MASCHIO

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制(24)

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Effective communication opens up a lot of possibilities for anyone

wanting to work in an international environment. This course is

for students who wish to practice and develop their oral communication skills.

【到達目標】

1. Students will demonstrate improved speaking, listening, and reading fluency.

2. Students will become more capable of participating in discussions, debates, and making presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連)】各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国
際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部
：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The teacher will act as a facilitator, providing oral and written
feedback on assignments, unit tests, and speaking tasks to help
students successfully achieve the course goals.【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
One.	Class orientation	Introduction to the
	Unit 1 First	course, students and
	Impressions	teacher.
2	Unit 1 First	Features you look
	Impressions	for when you meet
		someone.
3	Unit 2 Big or	Sharing ideas about
	small?	living in a big
		city or a small
		town.
4	Unit Quiz.	Units 1 & 2 quiz
	Unit 3 - The Good	The pros and cons
	Language Learner	of living in
		another country.
5	Unit 6 What are	Things close
	friends for?	friends do for each
		other.
6	Unit 7 What's for	Deciding which
	lunch?	foods are healthy.
7	Unit Quiz.	Units 3, 6 & 7 quiz.
	Mid-semester task	
	preparation.	

8	Mid-semester speaking task	Mid-semester speaking task.
9	Unit 8 Your Online Past	Your digital literacy skills.
10	Unit 9 Taking Care of Father	Living with an older parent.
11	Quiz	Units 8 & 9 quiz.
	Unit 10 My Student Life	Important reasons to go to university.
12	Unit 11 International Relationships	Good and bad things about international relationships.
13	Quiz	Units 10 & 11 quiz
	Final speaking task preparation	Final speaking task preparation
14	Final speaking task	Final speaking task

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to complete homework assignments from the textbook and worksheets that will be provided by the teacher. University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Impact Issues 2 (3rd Edition)

ISBN 9789813134386

Pearson

【参考書】

Worksheets

Handouts

【成績評価の方法と基準】

Evaluation of in-class participation (14%)

Mid-semester task (16%)

Homework completion / quizzes (45%)

Final task (25%)

【学生の意見等からの気づき】

The teacher always welcomes feedback and encourages students to suggest changes to improve the course at any time during the semester.

【学生が準備すべき機器他】

The Hosei University learning management platform will be used throughout the semester.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus are subject to change according to the needs of the class. Class attendance is a course requirement. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【Outline (in English)】

This course will provide students with speaking, listening, and reading practice. It will also use activities and tasks to expand their vocabulary and grammatical knowledge.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション II 2017年度以降入学者

CHRISTOPHER MASCHIO

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制(24)

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Effective communication opens up a lot of possibilities for anyone wanting to work in an international environment. This course is for students who wish to practice and develop their oral communication skills.

【到達目標】

1. Students will demonstrate improved speaking, listening, and reading fluency.
2. Students will become more capable of participating in discussions, debates, and making presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The teacher will act as a facilitator, providing oral and written feedback on assignments, unit tests, and speaking tasks to help students successfully achieve the course goals.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
One.	Class orientation Speaking task	Introduction to the semester. Speaking and writing task: your summer vacation.
2	Unit 12 Create another future	Ways to save the environment.
3	Unit 13 Ben and Mike	How to deal with rumors.
4	Unit 14 Government Control	How much control do you want in your life?
5	Quiz Unit 15 Ask Annie	Units 12 &13 quiz Getting support for a big decision.
6	Unit 16 What makes you happy?	What makes a person happy?
7	Unit Quiz. Mid-semester task preparation.	Units 14, 15 &16 quiz.
8	Mid-semester speaking task	Mid-semester speaking task.
9	Unit 17 Who will help them?	Who needs help in your country, city or neighborhood?

10	Unit 18 Finding the Right One	Your ideal partner.
11	Quiz Unit 19 Dress for Success	Units 17 &18 quiz. What makes someone a good teacher?
12	Unit 20 A Mother's Story	Is capital punishment the right punishment?
13	Quiz Final speaking task preparation	Units 19 &20 quiz Final speaking task preparation
14	Final speaking task	Final speaking task

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to complete homework assignments from the textbook and worksheets that will be provided by the teacher. University guidelines suggest preparation and review should be around one hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Impact Issues 2 (3rd Edition)

ISBN 9789813134386

Pearson

【参考書】

Worksheets

Handouts

【成績評価の方法と基準】

Evaluation of in-class participation (14%)

Mid-semester task (16%)

Homework completion / quizzes (45%)

Final task (25%)

【学生の意見等からの気づき】

The teacher always welcomes feedback and encourages students to suggest changes to improve the course at any time during the semester.

【学生が準備すべき機器他】

The Hosei University learning management platform will be used throughout the semester.

【その他の重要事項】

The contents and timing of the syllabus are subject to change according to the needs of the class. Class attendance is a course requirement. In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【Outline (in English)】

This course will provide students with speaking, listening, and reading practice. It will also use activities and tasks to expand their vocabulary and grammatical knowledge.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ビジネス・イングリッシュ I 2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制(24)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

【到達目標】

Students will gain confidence to share information in English while conducting business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Class activities will include pair work, group work and discussions. Some written homework will be assigned. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course	Review syllabus and textbook Introduction
2	Unit 1: Pleased to meet you (1-6)	Introducing people Pages 7-10
3	Unit 1: Pleased to meet you (7-12)	Introducing people Pages 10-13
4	Unit 2: Who do you work for? (1-6)	Describing companies Pages 15-18
5	Unit 2: Who do you work for? (7-12)	Describing companies Pages 18-21
6	Unit 3: What do you do? (1-6)	Describing occupations Pages 23-25
7	Unit 3: What do you do? (7-12)	Describing occupations Pages 26-29
8	Unit 4: Can I leave a message (1-6)	Phone conversations Pages 31-34
9	Unit 4: Can I leave a message (7-12)	Phone conversations Pages 35-36
10	Unit 5: It's tough managing my time (1-6)	Describing time and schedules Pages 39-42

11	Unit 5: It's tough managing my time (7-12)	Describing time and schedules Pages 43-46
12	Unit 6 What do you call that thing? (1-6)	Talking about difficult words Pages 49-51
13	Unit 6 What do you call that thing? (7-12)	Talking about difficult words Pages 52-55
14	Pair Speaking Exams	Final Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Communication Spotlight: Business 2 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

【参考書】

Students will be given supplemental material from time to time to increase their knowledge.

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on a pair-speaking exam (75%) and class participation (25%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student feedback on class activities is encouraged.

【Outline (in English)】

This course will help students improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ビジネス・イングリッシュⅡ 2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制(24)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate

clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

【到達目標】

Student will gain confidence to share information in English while conducting business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Class activities will include pair work, group work and discussions. Some written homework will be assigned. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook
2	Unit 7: How much is that in Korean Won? (1-6)	Talking about money Pages 57-59
3	Unit 7: How much is that in Korean Won? (7-12)	Talking about money Pages 59-62
4	Unit 8: You need to download a form (1-6)	Giving instructions Pages 65-67
5	Unit 8: You need to download a form (7-12)	Giving instructions Pages 68-72
6	Unit 9: Do you like Indonesian food? (1-6)	Describing food Pages 75-77
7	Unit 9: Do you like Indonesian food?(7-12)	Describing food Pages 78-81

8	Unit 10: Do you have the sales figures? (1-6)	Working with large numbers Pages 83-86
9	Unit 10: Do you have the sales figures? (7-12)	Working with large numbers Pages 87-91
10	Unit 11: Make sure you keep all receipts (1-6)	Giving advice / Business trips Pages 93-95
11	Unit 11: Make sure you keep all receipts (7-12)	Giving advice / Business trips Pages 96-99
12	Unit 12 When's the trade fair? (1-6)	Describing future plans Pages 101-103
13	Unit 12 When's the trade fair? (7-12)	Describing future plans Pages 104-108
14	Student Pair Speaking Examinations	Final Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Communication Spotlight: Business 2 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

【参考書】

Students will be given supplemental material from time to time to increase their knowledge of business topics.

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on a pair-speaking exam (75%) and class participation (25%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student feedback on class activities is encouraged.

【Outline (in English)】

This course will help students to improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ビジネス・イングリッシュ I 2017年度以降入学者

L A S S E G A R D J A M E S

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火2/Tue.2

単位数: 1単位

定員制(24)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性: <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To learn English (all four skills) for use in a professional (corporate) setting

【到達目標】

This is an intermediate to advanced (level 3-4) business English course that focuses on improving oral and written communication skills in a business setting (listening & speaking, writing practice). Reading short essays and writing memos and business correspondence will also be emphasized in this course, as well as vocabulary development.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The class will be conducted entirely in English and in person. Students are expected to actively participate in classroom activities and discussions, and to give short presentations on business-related topics. Students should be prepared for class by doing the assigned reading and homework. Regular feedback will be given in class and by means of written assignments.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Self Introductions; explanation of course guidelines.
2	Living Abroad part 1	Reading and vocabulary practice—describe a local festival.
3	Living Abroad part 2	Small Talk: listening and conversation practice.
4	Living Abroad part 3	Case study: Global recruit. First writing assignment due.
5	Unit 2 Dealing with Customers	Reading and discussion: The shopping experience.
6	Dealing with Customers part 2: Using Polite Language	Listening and role play telephone customer service. Reading advertisements.
7	Dealing with Customers part 3—Business Correspondence	Handling e-mail complaints and making apologies.
8	Units 1 & 2 Review:	Midterm test
	Midterm test	

9	Unit 3: Operations— Lean Manufacturing	Reading and discussion: The Toyota Production System.
10	Unit 3 part 2: Trends and Planning	Company performance: reading and group assignment.
11	Unit 3 Part 3: Describing Company Performance	Student presentations
12	Unit 4: Case Study	Reading and discussion case study on the low cost air carrier (LCC) industry.
13	Unit 4 Review and Final Test	Unit review and final test,
14	Final Class: Wrap-up	Return tests. Feedback and discussion activities.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Homework is assigned every week and should take approximately 60 to 90 minutes. Students are expected to do the readings prior to the beginning of class and look up any unfamiliar vocabulary terms. Students will also do preparation for presentations outside of class.

【テキスト (教科書)】

Business Result Pre-intermediate: Student Book, 2nd edition, Grant/Hudson/Hughes; Oxford University Press.

【参考書】

Students should have a Japanese-English dictionary available (paper or electronic) for use in class.

【成績評価の方法と基準】

20% Attendance & Class Participation

40% Presentations

30% Quizzes

10% Writing Assignments

【学生の意見等からの気づき】

The course will utilize more current issues and topics pertaining to the business world. Students are also encouraged to read business news and bring current topics into the classroom.

【学生が準備すべき機器他】

Students should have access to a computer to prepare for presentations.

【その他の重要事項】

Students are allowed up to 3 unexcused absences per semester. Coming late to class twice = one absence. Students who are absent more than 3 times without good reason will not receive credit for the course. Students should inform the instructor by e-mail if they are absent due to illness or an emergency.

【Outline (in English)】

Students will learn about English used in international corporate settings. Special emphasis will be on speaking (presentations) and writing e-mails and short reports in formal English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ビジネス・イングリッシュⅡ 2017年度以降入学者

L A S S E G A R D J A M E S

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制(24)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The course emphasizes the learning and development of advanced English skills (reading, writing, speaking, listening) for use in a global professional (corporate) setting.

【到達目標】

This is an intermediate to advanced (level 3-4) business English course that focuses on improving oral and writing communication skills in a business setting (listening & speaking). Reading short passages and writing memos and business correspondence will also be emphasized in this course, as well as vocabulary development.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The class is conducted entirely in English and in person. Students are expected to actively participate in classroom activities and discussions, and to give periodic presentations on business-related topics. Students should be prepared for class by doing the assigned readings and exercises in the textbook. Regular feedback is provided orally during class and through written assignments.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 4: Success Stories	Reading and discussion: Business leaders.
2	Unit 4: Success Stories Part 2	Vocabulary practice. First Writing assignment.
3	Unit 4: Success Stories Part 3	Speaking activity: Evaluating strengths and weaknesses.
4	Unit 5: Selling & Promotion	Reading and discussion: Advertising Spaces.
5	Unit 5: Selling Part 2	Student Presentations: developing an effective advertising campaign.
6	Unit 5: Selling Part 3	Speaking practice: Role play and Negotiating
7	Units 4 & 5 Review	Units 4 & 5 Review and Midterm Test
8	Unit 6 The Organization	Reading and discussion: Entrepreneurs
9	Unit 6 The Organization Part 2	Vocabulary and writing practice: types of companies; business meeting agendas.

10	Unit 6 The Organization Part 3	Writing Assignment #2 due: Business Plans
11	Unit 8: Going Global	Reading & Discussion: International Franchises
12	Going Global Part 2	Vocabulary and speaking practice. Opening a franchise.
13	Going Global Part 3	Final Student Presentations
14	Units 6 & 8 Review & Assessment	Presentation feedback. Final test and course wrap-up.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to come to class prepared, having read the assigned readings and studied any unfamiliar vocabulary terms. The University recommends students spend approximately 60 minutes on preparation each week for a one credit class. Students will need to spend additional time outside of class to do research and prepare for presentations twice each semester.

【テキスト (教科書)】

Business Result Pre-intermediate: Student's Book, 2nd edition, Grant/Hudson/Hughes. Oxford University Press.

【参考書】

Students should have a good Japanese-English dictionary (paper or electronic) that they bring to class every week.

【成績評価の方法と基準】

20% Attendance & Class Participation

40% Presentations

30% Quizzes

10% Writing assignments

【学生の意見等からの気づき】

The course will utilize more issues and topics pertaining to the world of business.

【学生が準備すべき機器他】

Audio-visual equipment will be used as appropriate.

【その他の重要事項】

Students are allowed up to three unexcused absences. Students who are late to class twice = one absence. Students should inform the instructor by e-mail if they are absent due to illness or an emergency.

【Outline (in English)】

This class will teach students English skills used in international corporate settings. Students will have the opportunity to practice expressing themselves in spoken and written English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Reading and Vocabulary 2017年度以降入学者
I

ウォルター・カズマー

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火3/Tue.3

単位数: 1単位

定員制(36)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性: <グ> <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

【到達目標】

Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.

Students will also acquire ability to handle discussions about some text topics related to economic, political, and current events related issues

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension, taking dictations with cloze exercises, and role-plays based on new vocabulary.

Feedback will be given in Google classroom comments, via email or in feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Intro- duction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Sus- tainable commu- nities I	Keeping the social peace	Examining social goals for societies. Exploring cultural bonds.
Sus- tainable commu- nities II	Social peace	Deepening understanding of social boundaries and possible conflicts.
Dilemmas for a respon- sible tourist I	Tourists and value they bring to societies	How tourism affects our lives in both positive and negative ways.

DilemmasNew trends of
for a tourism
respon-
sible
tourist
II

ProtectingProtecting our
world cultural artifacts
heritage

I
ProtectingLooking at
world historical buildings
heritage and the events they
II show

No more Engineered food
Bananas and possible
I consequences

No more Scientists develop
Bananas strains and their
II goals

Blowing Corruption and its
whistles problems

I
Blowing Witness to
whistles government waste

II
Breaking Bad laws
the law I

Breaking Well meaning laws
the law I

Summary Taking at look at
useful words
learned

Ponder tourism negatives and
positive outcomes

How buildings are preserved
and design shows our history

Why are these buildings
important for remembering
history?

Quiz 1
Researching food sources and
why variety is important
Science and its end goals and
how they might ruin our
health

Looking at corporate
problems and how difficult
they are to solve
Trying to eliminate waste

Examining when do you have
an obligation to protest

Quiz 2
Researching laws that don't
cover all circumstances
Reviewing useful vocabulary
and its parameters

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Some reading and vocabulary review.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Issues that matter - Kinseido
ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】

N/A

【成績評価の方法と基準】

Class participation 70%

Homework 30%

For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

English to English dictionary or web dictionary, paper, smartphone or PC

【その他の重要事項】

Contact email
walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Reading and Vocabulary II 2017年度以降入学者

ウォルター・カズマー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制(36)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/> Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.

【到達目標】

Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.

Students will acquire discussion skills to handle discussions about economic, political, and current events topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension, taking dictations with cloze exercises, and role-plays based on new vocabulary.

Feedback will be given in Google classroom comments, via email or feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Intro- duction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Food politics	Food politics	How do we get our food?
Food politics II	Sourcing our food	Positives and negatives of climate change on food sourcing
Food in- equality I	Food and its effects on society	Look at how inequalities affect our food
Recycling	recycling and government regulation	Show and discuss government regulations that try to reduce waste
Recycling II	Covering aspects of structure and use of waste	Looking at waste usage
Blowing whistles	Whistle blowing vs leaking	How whistle blowing affects us

Blowing
whistles

II II

ProtestingProtesting

ProtestingHandling protests
II

Fake
news

Fake
news II

review
of unit
ques-
tions

I

review
of unit
issues
and
Sum-
mary

review
of unit
themes

I

review

of unit

issues

and

Sum-

mary

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

review

of unit

themes

I

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Reading and Vocabulary 2017年度以降入学者
I

ERIC J RITTER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制(36)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

【到達目標】

1. Students will understand and utilize the writing process of planning, writing, and re-writing.
2. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
3. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students will learn new vocabulary from the textbook and reinforce it via discussions and readings. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 2	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 3	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 4	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.

5	Unit 5	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.
6	Unit 6	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion Feedback
7	Midterm	
8	Unit 7	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
9	Unit 8	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 9	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 10	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 11	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
13	Unit 12	Learn new vocabulary. Reading story. Homework: prepare for final exam.
14	Final exam	feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will study vocabulary on Quizlet and read articles.

【テキスト（教科書）】

Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition).
Isbn # 9781640151369

【参考書】

Book and Quizlet should be studied.

【成績評価の方法と基準】

50% quizzes and exams
25% writing exercises using new words
25% effort and participation
No more than 3 absences or you may fail this class.

【学生の意見等からの気づき】

No feedback

【学生が準備すべき機器他】

Students should also be familiar with Google classroom and Hoppii.

【Outline (in English)】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Reading and Vocabulary 2017年度以降入学者 II

ERIC J RITTER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制(36)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

【到達目標】

1. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
2. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students will learn new vocabulary from the textbook and reinforce it via discussions and readings. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 13	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 14	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 15	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 16	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion

5	Unit 17	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
6	Unit 18	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
7	Unit 19	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
8	Midterm Exam	Feedback
9	Unit 20	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 21	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 22	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 23	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
13	Unit 24	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
14	Final Exam	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hour a week for a two-credit class for a 2 hour class and 1 hour a week for a 1 hour class. Students will study vocabulary on Quizlet and read articles for homework before class.

【テキスト（教科書）】

Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition).
 Isbn # 9781640151369

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

50% quizzes and exams
 25% writing exercises using new words
 25% effort and participation
 In principle, no more than 3 absences are allowed.
 Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing I 2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制(24)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is an academic writing course focused on writing skills to improve scores on the IELTS Writing Task 1 (WT1) and to learn how to write and structure short essays with excellent structure, including an introduction, analytical content, using data sources, and conclusion.

WT1 involves writing short essays of at least 150 words, focusing on describing and analyzing visual data presented in a graph, table, chart, or diagram, requiring candidates to identify key trends and patterns and present them in a concise report format, to be written in 20 minutes.

【到達目標】

Students are expected to advance their practical writing skills (1) to improve their WTS1 scores and (2) to learn how to write and structure short essays with excellent structure, including an introduction, analytical content, using data sources, and conclusion.

Students are expected to

1. Improve their basic grammar
2. Develop the ability to write clear but relatively complex sentences
3. Understand and improve their ability to write paragraphs
4. Understand how to interpret, analyse, and present data to reach reasonable conclusions
5. Write clearly and logically under time pressure without access to dictionaries

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In the main part of the course, each week students will be given guidance and objectives on how to write a particular type of WT1 topic, and then either in class or for homework practice writing their own WT1.

In the following class, the student work will be given feedback and compared to model answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction and general outline of the course	Guide to IELTS academic and general WT1

Class 2	Informal and Formal Letters	How to write an informal letter and a formal letter in IELTS General
Class 3	Formal Letter Practice	Feedback on last week's work How to write a formal letter job application How to ask for time off
Class 4	Informal letter Practice	Feedback on last week's work How to write an informal letter to a friend How to write an informal letter selling a laptop
Class 5	Grammar and Vocabulary for WT1	Feedback on last week's work Writing task: Numbers, amounts, figures, totals
Class 6	Trends	Feedback on last week's work Writing task: Trends
Class 7	Statistics	Feedback on last week's work Writing task: Statistics
Class 8	Maps	Feedback on last week's work Writing task: Maps
Class 9	Process Diagrams	Feedback on last week's work Writing task: Process Diagrams
Class 10	Bar Charts	Skills: The pronouns it and then: writing about a favorite drink.
Class 11	Line Graphs	Feedback on last week's work Writing task: Line Graphs
Class 12	Pie Charts	Feedback on last week's work Writing task: Pie Charts
Class 13	Tables	Feedback on last week's work Writing task: Tables
Class 14	Student Choice of Task	Feedback on last week's work Writing task: Student Choice

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to review feedback and grammar corrections each week from the instructor and apply lessons learned to the next writing task.

Students are expected to assimilate new vocabulary, grammar, and descriptive/ analytical/ interpretative skills on a weekly basis.

In particular, students are to review their writing assignments on a weekly basis so that their grammar, syntax, and narrative structure improve so as to raise their IELTS WT1 core.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course." Thank you for your co-operation.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. The instructor will provide all materials.

【参考書】

Supplied by the Instructor

【成績評価の方法と基準】

Weekly writing examples: 80%

In-class participation: 20%

***Students please note: No more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

1. Please address me as Mr. Kallender
2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (Writing)(7)A

I could not attend today / cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

【Outline (in English)】

This course contains instruction, study and regular writing practice on a series of example topics taken from real exams, providing real practice, followed up by editing and feedback.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing II 2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制(24)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.
 GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is an academic writing course focused on writing skills to improve scores on the IELTS Writing Task 2 (WT2) and to learn how to write and structure short essays with excellent structure, including an introduction, analytical content, using data sources, and conclusion.

WT2 Involves writing a full essay in which/ for which students need to respond to a given question or argument, demonstrating an ability to construct a well-structured opinion and argument with supporting evidence and clear opinions.

【到達目標】

Students are expected to advance their practical writing skills (1) to improve their WT2 scores and (2) to learn how to write and structure short essays with excellent structure, including an introduction, analytical content, using data sources, and conclusion.

Students are expected to

1. Improve their basic grammar
2. Develop the ability to write clear but relatively complex sentences
3. Understand and improve their ability to write paragraphs
4. Understand how to improve their ability to structure an argument/ opinion
5. Write clearly and logically under time pressure without access to dictionaries

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In the main part of the course, each week students will be given guidance and objectives on how to write a particular type of WT2 topic, and then either in class or for homework practice writing their own WT2

In the following class, the student work will be given feedback and compared to model answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction and general outline of the course	Guide to IELTS WT2: Writing an essay introduction without paraphrasing

Class 2	IELTS Opinion Essay on shorter work weeks	Time Management Issues Practice Essay
Class 3	IELTS Discussion Essay on the utility of a university education	Feedback on last week's work 7-step guide to writing examples in main body paragraphs Practice Essay
Class 4	IELTS Discussion Essay on the topic of migration	Feedback on last week's work Realistic Expectations when preparing for IELTS Practice Essay
Class 5	IELTS Discussion Essay on the utility of a particular course	Feedback on last week's work Discussion essay language Practice Essay
Class 6	IELTS Two-Part Question Essay about home ownership	Feedback on last week's work Complex sentences Practice Essay
Class 7	IELTS Two-Part Question Essay on owning versus renting homes	Feedback on last week's work Words and phrases to avoid Practice Essay
Class 8	IELTS Opinion Essay on the role of newspapers and books in the future	Feedback on last week's work Balancing your opinion Practice Essay
Class 9	IELTS Opinion Essay on the topic of wealth	Feedback on last week's work Crime and Punishment vocabulary Practice Essay
Class 10	IELTS Opinion Essay on endangered animals	Feedback on last week's work Writing effective body paragraphs Practice Essay
Class 11	IELTS Opinion Essay on global warming	Feedback on last week's work Keeping your writing simple and concise Practice Essay
Class 12	IELTS Causes Solutions Essay on poverty	Feedback on last week's work Differences between problem solution and causes solutions essays Practice Essay
Class 13	IELTS Causes Solutions Essay on bullying	Feedback on last week's work Three types of advantage and disadvantage essays Practice Essay
Class 14	Student Choice of Task	Feedback on last week's work Practice Essay

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students are expected to review feedback and grammar corrections each week from the instructor and apply lessons learned to the next writing task.

Students are expected to assimilate new vocabulary, grammar, and descriptive/ analytical/ interpretative skills on a weekly basis.

In particular, students are to review their writing assignments on a weekly basis writing so that their grammar, syntax, and narrative structure improve so as to raise their IELTS WT1 core

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. The instructor will provide all materials.

【参考書】

Supplied by the Instructor

【成績評価の方法と基準】

Weekly writing examples: 80%

In-class participation: 20%

***Students please note: No more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

1. Please address me as Mr. Kallender

2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (Writing)(7)A

I could not attend today / cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

【Outline (in English)】

Such essays are usually at least 250 words and are to be written within 40 minutes.

This course contains instruction, study and regular writing practice on a series of example topics taken from real exams, providing real practice, followed up by editing and feedback.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing I 2017年度以降入学者

JUSTIN FALKUS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

定員制(24)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/> Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing one's work with class members in small groups. The focus this semester will be on the Rhetorical Paragraph

【到達目標】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This course will enable the student to communicate his/her thoughts, in written format, to a given audience. The course will cover paragraph structure, and a variety of grammatical and cohesive skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction Course Overview Assessment Classroom Management
2.	Formatting	How to format academic written work
3.	Descriptive paragraphs	Focus on the nominal group
4.	Descriptive Paragraphs: Feedback and revision	Peer correction, and paragraph rewriting
5.	Narrative paragraphs	Focus on the verbal group
6.	Narrative Paragraphs: Feedback and revision	Peer correction, and paragraph rewriting
7.	Problem / Solution Paragraphs 1	Focus on Modal Assessment - Obligation
8.	Problem / Solution paragraphs 2	Focus on Modal Assessment - Probability

9.	Problem / Solution paragraphs: Feedback and revision	Peer correction, and paragraph rewriting
10.	Persuasive Paragraphs 1	Focus on combining clauses: parataxis and hypotaxis
11.	Persuasive Paragraphs 2	Focus on cohesion
12.	Persuasive paragraphs: Feedback and revision	Peer correction, and paragraph rewriting
13.	Portfolio Submission and Final Test	Students write two paragraphs and submit their portfolios
14.	Feedback and overview	The teacher will give feedback on final paragraphs and portfolios

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Short Homework assignments will be set

【テキスト（教科書）】

The teacher will provide his own materials

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Portfolio: 40%

Final Paragraphs: 40%

Group Participation: 20%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

PCs with Microsoft Word are strongly recommended

【Outline (in English)】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing one's work with class members in small groups. The focus this semester will be on the Rhetorical Paragraph

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing II 2017年度以降入学者

JUSTIN FALKUS

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1単位

定員制(24)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性: <グ> <優>

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course will enable the student to continue to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing one's work with class members in small groups.

【到達目標】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This course will enable the student to communicate his/her thoughts, in written format, to a given audience. This semester, the course will cover the academic essay

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction Course Overview Assessment Classroom Management
2.	Introducing IELTS Task 1	Becoming familiar with the IELTS Task 1 essay
3.	Describing charts and graphs 1	Using adverbial groups and nominal groups effectively
4.	Describing charts and graphs 2	Using verbal groups effectively
5.	Essay Structure and Cohesion	Mastering the structure of IELTS Task 1
6.	Preparing for the mid-semester essay	Targeted Review
7.	Mid-Semester Essay	Students will write an essay under exam conditions
8.	- Mid-Semester Essay Feedback - Introducing the IELTS Task 2 / TOEFL Essay	Becoming familiar with the IELTS Task 2 / TOEFL essay
9.	From Paragraph to Essay	Mastering the structure of a short academic essay

10.	Giving opinions in essays	Mastering modal verbs 1
11.	Looking at both sides of an argument	Mastering modal verbs 3
12.	The Cohesive Essay	Mastering cohesive strategies
13.	Final Essay	Students will write an academic essay under exam conditions
14.	Final Essay: Feedback	The teacher will provide feedback on the final essay

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Short Homework assignments will be set.

【テキスト（教科書）】

The teacher will provide his own materials

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Essays: 80%

Group Participation: 20%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

PCs with Microsoft Word are recommended

【Outline (in English)】

This course will enable the student to continue to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing one's work with class members in small groups.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅰ 2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

田中 邦佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制(36)

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- 一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- 様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として2～3回の授業で1章分というペースで進めることを目標とします。1章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。各適宜、グループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明します。
第2回	A Life Without Plastic	記事を読みます。
第3回	A Life Without Plastic	記事を読みます。
第4回	Rwanda Is Winning War on Plastic Bags	記事を読みます。

第5回	Rwanda Is Winning War on Plastic Bags ルワンダ発：ビニール袋は使えません（後半）	記事を講読します。
第6回	An Epidemic of Overweight Africans ケニア発：食糧難の国で肥満率が急上昇（前半）	記事を講読します。
第7回	An Epidemic of Overweight Africans ケニア発：食糧難の国で肥満率が急上昇（後半）	記事を講読します。
第8回	West's Toxic E-Waste Despoils Thai Countryside タイ発：危険なりサイクル（前半）	試験・まとめと解説（中間）
第9回	West's Toxic E-Waste Despoils Thai Countryside タイ発：危険なりサイクル（後半）	記事を講読します。
第10回	College Cheating, A Global Business 宿題はゴーストライターにお任せ（前半）	記事を講読します。
第11回	College Cheating, A Global Business 宿題はゴーストライターにお任せ（後半）	記事を講読します。
第12回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第13回	試験・まとめと解説（期末）	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】

・ニューヨークタイムズ世界見聞, 喜多留女/Keith Wesley ADAMS 編注, 英宝社。(2,100円＋税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

試験(80%)

平常点および課題(20%)

欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達するごとに1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【その他の重要事項】

受講希望者が多数の場合、初回の授業時に選抜を行う可能性があります。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 20%, Exam 80%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

田中 邦佳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制(36)

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板的掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- 一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- 様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として2～3回の授業で1章分というペースで進めることを目標とします。1章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明します。
第2回	In China, Daydreaming Students Are Caught on Camera 中国発：教室の映像、全国に生配信（前半）	記事を講読します。
第3回	In China, Daydreaming Students Are Caught on Camera 中国発：教室の映像、全国に生配信（後半）	記事を講読します。

第4回	Last Chance Travel' As the World Changes 失われゆく土地を指す旅（前半）	記事を講読します。
第5回	Last Chance Travel' As the World Changes 失われゆく土地を指す旅（後半）	記事を講読します。
第6回	Chinese Babies, Born Into Canadian Citizenship カナダ発：出生地主義の土地に妊婦殺到（前半）	記事を講読します。
第7回	Chinese Babies, Born Into Canadian Citizenship カナダ発：出生地主義の土地に妊婦殺到（後半）	記事を講読します。
第8回	試験・まとめと解説（中間）	試験・まとめと解説
第9回	Human Contact Is Now a Luxury Good タブレットの中で猫を飼う（前半）	記事を講読します。
第10回	Human Contact Is Now a Luxury Good タブレットの中で猫を飼う（後半）	記事を講読します。
第11回	With Cloning, Pet Owners in China Need Never Say Goodbye 中国発：あなたのペット、クローンで蘇ります（前半）	記事を講読します。
第12回	With Cloning, Pet Owners in China Need Never Say Goodbye 中国発：あなたのペット、クローンで蘇ります（後半）	記事を講読します。
第13回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第14回	試験・まとめと解説（期末）	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】

・ニューヨークタイムズ世界見聞、喜多留女／Keith Wesley ADAMS 編注、英宝社。（2,100円＋税）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

試験(80%)

平常点および課題（20%）

欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達するごとに1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 60%, Final Assignment (exam) 40%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制(36)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「メディア」・「自然環境」・「テクノロジー」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力を高めることを目指す。
2. テキストの練習問題を通して、文法力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapterが3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。適宜授業内でもフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第2回	Chapter 1	Going Viral
第3回	Chapter 2	Tourist Traps
第4回	Chapter 3	Deal Me In
第5回	Chapter 1 ~ Chapter 3 のまとめ	Chapter 1 ~ Chapter 3 の中のいずれかについて、ライティング
第6回	Chapter 4	Full Contact
第7回	Chapter 5	Fake News
第8回	Chapter 6	Dead as a Dodo
第9回	Chapter 7	It's a Dry Heat
第10回	Chapter 4 ~ Chapter 7 のまとめ	Chapter 4 ~ Chapter 7 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表

第11回	Chapter 8	Man's Best Friend
第12回	Chapter 9	The Wild West
第13回	Chapter 10	Man versus Beast
第14回	学期末課題	期末課題の提出と期末のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Chapterの英文について、必ず予習をすること。
適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Getting Ready to Change the World (『グローバル時代を生き抜く変革への視点』) (François de Soete 他著、成美堂、2,000円(税別))

配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末課題（50%）、授業態度・授業内に課した課題（ライティング課題の提出を重視）や小テストと各回のコメントを含む平常点（50%）によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内で出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。課題における、生成AIなどからの引用禁止を注意喚起する。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。オンライン授業を取り入れている分、自分で計画的に予習や復習、課題を行う必要があります。各Chapterの本文は900words程で、それを基本的に自力で読み解きます。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。その点を考慮した上で受講を決めてください。受講者数に応じて選抜を行う可能性があります。受講を希望する場合は、必ず初回の授業の指示に従い、「学習支援システム」の「課題」ページから必要な課題を提出してください。初回の授業時に所定の課題が提出されない場合は、原則受講できません。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

根本 怜奈

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制(36)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「メディア」・「自然環境」・「テクノロジー」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力を高めることを目指す。
2. テキストの練習問題を通して、文法力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapterが3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。適宜授業内でもフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第2回	Chapter 11	A Perfect World
第3回	Chapter 12	Modern Frankenstein
第4回	Chapter 13	Tinted Lenses
第5回	Chapter 11 ~ Chapter 13 のまとめ	Chapter 11 ~ Chapter 13 の中のいずれかについて、ライティング
第6回	Chapter 14	Get Well Soon
第7回	Chapter 15	The Need for Speed
第8回	Chapter 16	Time Travel
第9回	Chapter 17	The Great Unknown
第10回	Chapter 14 ~ Chapter 17 のまとめ	Chapter 14 ~ Chapter 17 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表

第11回	Chapter 18	The Endgame
第12回	Chapter 19	Heads Up
第13回	Chapter 20	Destination Mars
第14回	学期末課題	期末課題の提出と期末のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各Chapterの英文について、必ず予習をすること。
適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Getting Ready to Change the World (『グローバル時代を生き抜く変革への視点』) (François de Soete 他著、成美堂、2,000円(税別))

配布プリントで授業を行うことがある。

英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末課題（50%）、授業態度・授業内に課した課題（ライティング課題の提出を重視）や小テストと各回のコメントを含む平常点（50%）によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内で出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるように促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。課題における、生成AIなどからの引用禁止を注意喚起する。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。オンライン授業を取り入れている分、自分で計画的に予習や復習、課題を行う必要があります。各Chapterの本文は900words程で、それを基本的に自力で読み解きます。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。その点を考慮した上で受講を決めてください。受講者数に応じて選抜を行う可能性があります。受講を希望する場合は、必ず初回の授業の指示に従い、「学習支援システム」の「課題」ページから必要な課題を提出してください。春学期の初回の授業時に所定の課題が提出されない場合は、原則受講できません。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)			第2回	Chapter 1 What is the United Kingdom?	「英国」「イギリス」とはなにか、についての基礎知識を学ぶ。Vocabulary Focus Part 1: Mirror images, Part 2: 4 nations について精読後、各パートの読解問題に答える。UK の nations の理解を深め、アイルランドについての基礎知識を得るため、映像教材で学ぶ。「英国」「イギリス」とはなにか、についての基礎知識を学ぶ。(つづき) Part 3 UK and GB ~ Structure Practice と Listening 問題。Going Further のなかのトピックをディスカッション。
英語で学ぶ社会と文化 I			第3回	Chapter 1 What is the United Kingdom? (つづき)	「英国」「イギリス」の多様性について学ぶ。Chapter 1 の小テスト。Vocabulary Focus Part 1: Diversity in looks and sounds, Part 2: Foreign-born winners を精読後、各パートの読解問題に答える。「英国」「イギリス」の多様性について学ぶ。(つづき) Part 3: Not only English Structure Practice と Listening 問題。Going Further のなかのトピックをディスカッション。
サブタイトル：社会と文化の諸相を知る			第4回	Chapter 2 Multicultural Britain	英国人にとってのお茶とはなにかについて学ぶ。Chapter 2 の小テスト。Vocabulary Focus Part 1: Comfort and fuel & Part 2: Three noble women を精読後、各パートの読解問題に答える。
舟橋 美香			第5回	Chapter 2 Multicultural Britain (つづき)	英国人にとってのお茶とはなにかについて学ぶ。(つづき) Part 3: Also a meal Structure Practice と Listening 問題。Going Further のなかのトピックをディスカッション。
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月5/Mon.5			第6回	Chapter 3 The Meaning of Tea	Chapter 3 の小テスト。「英国」の階級について学ぶ。Vocabulary Focus Part 1: Class-consciousness & Part 2: Social and cultural capital を精読後、各パートの読解問題に答える。
単位数：1単位			第7回	Chapter 3 The Meaning of Tea (つづき)	「英国」の階級について学ぶ。Part 3: Posh or common ~ Structure Practice と Listening 問題。Going Further のなかのトピックをディスカッション。
定員制(36)			第8回	Chapter 4 The Future of Social Class	Chapter 4 の小テスト。「英国」の教育制度について学ぶ。Vocabulary Focus Part 1: Types of school & Part 2: From school to university を精読後、各パートの読解問題に答える。
レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)			第9回	Chapter 4 The Future of Social Class (つづき)	「英国」の教育制度について学ぶ。(つづき) Part 3: Universities ~ Structure Practice と Listening 問題。Going Further のなかのトピックをディスカッション。
確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)			第10回	Chapter 5 Education	
その他属性：〈優〉			第11回	Chapter 5 Education (つづき)	
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】					
イギリスの真実の姿を知るための15章からなるテキストを使い、「イギリス」「英国」と日本語で呼んでいる国について、大学生として必要な知識をきちんと学び、英語の読解力、リスニング力のアップを目指す。Chapter によって、取り上げられているトピックに関連する映像を見て、理解を深め、各Chapterの最後に置かれているGoing Further をきっかけに、ディスカッションをおこなったり、課題として、リサーチをしてもらい、その結果を「ミニレポート」として提出してもらう（半期で2回を予定）。各Chapter終了後には、確認のための小テストを行い、答え合わせと解説をしてから回収し、成績に算入し、シートは次回に返却する。（授業の時間の都合で、返却時に解説をする場合もある。）					
【到達目標】					
学生が教科書の英文を、正しい発音で読み、把握して、読解問題を解けるようになること。また、英文の難しい箇所については、わかりやすい日本語で訳せることを目指す。テキストのリスニングの問題を容易に答えられるようになること。そして、最大の目標は、じつは、正しい知識のないひとが多い、「イギリス」「英国」について、正しい基礎知識を身につけ、現状について説明できるようになることである。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1					
【主な授業方法】					
S 演習/ゼミ /Seminar					
【授業の進め方と方法】					
各授業で予習をしてきたことを確認するため、CDを使用して、文を正しく声を出して読みます。春学期の授業では、精読をし、きちんとした日本語に訳せることを目指します。順不同に学生を差して、読解や問題を答えてもらい、その後、必要な情報の説明を加えていきます。各Chapter終了後にする「小テスト」は、授業中におこない、答え合わせと解説のあと、回収し、次回の授業で返却する。課題を課す場合は、「学習支援システム（Webclass）」から提出してもらい、採点あるいは、コメントをつけて、フィードバックする。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
第1回	イントロダクション	授業、および、テキストの進め方、予習の仕方などの説明。必要な場合は、受講者の選抜をする。映像から、「英国」について学ぶ。			

第12回	Chapter 6 Challenges for the UK	Chapter 5 の小テスト。「英国」 が抱える問題について学ぶ。 Vocabulary Focus Part 1: Debt and inequality & Part 2: Divisions in the nations を精 読後、各パートの読解問題に答 える。
第13回	Chapter 6 Challenges for the UK (つづき)	「英国」が抱える問題について学 ぶ。(つづき) Part 3: Strains on society ~ Structure Practice と Listening 問題。 Chapter 6 の小テスト。試験に ついての説明。
第14回	試験・まとめと解説	試験に備えて、Chapter 6 まで の復習をしておく。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Vocabulary Focus, 3 parts の Reading、Structure Practice を辞書を活用して予習しておく。Part 1 3 の Reading 部分は、辞書を活用して読み、かつ、訳せるように予習し、その後の読解問題で本文理解の質問に答えておく。また、2回を予定している「ミニレポート」は、締め切りまでに、「学習支援システム（Webclass）」から提出すること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tim Knight 『This is Britain（本当の英国を知るための15章）』
鶴見書店（2026年3月初版発行）

【参考書】

参考書がある場合は、授業中に知らせる。また、テキスト以外に授業で読む資料がある場合は、「学習支援システム（Webclass）」に置く。

【成績評価の方法と基準】

平常点を20%+各Chapter終了後におこなう「小テスト」を10%+学期の途中で提出してもらった課題を20%+最後のテストを50%で計算する。学期末テスト未受験、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

回答してくれた履修生は、役に立ったとのことでした。

【学生が準備すべき機器他】

辞書と赤ペン。

予習、復習、課題のために、検索用に使用するスマホ、コンピュータあるいはタブレット。

【Outline (in English)】

Through reading a textbook called *This is Britain*, the object of this class is to get the correct knowledge about the UK, or Britain, through developing English reading skills, which includes the ability to pronounce correctly and listening properly. Study textbook, especially each reading section, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 30% (including each Chapter's mini test), occasional assignments 20%, and the end-of-the term exam 50%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

舟橋 美香

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

定員制(36)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

イギリスの真実の姿を知るための15章からなるテキストの後半をつかい、「イギリス」「英国」と日本語で呼んでいる国について、大学生として必要な知識をきちんと学び、英語の読解力、リスニング力のアップを目指す。Chapter 1によって、取り上げられているトピックに関連する映像を見て、理解を深め、各Chapterの最後に置かれているGoing Further をきっかけに、ディスカッションをおこなったり、課題として、リサーチをしてもらい、その結果を「ミニレポート」として提出してもらう（半期で2回を予定）。各Chapter 終了後には、確認のための小テストを行い、答え合わせと解説をしてから回収し、平常点の成績に算入し、シートは次回に返却する。（授業の時間の都合で、返却時に解説をする場合もある。）

【到達目標】

学生が教科書の英文を、正しい発音で読み、把握して、読解問題を解けるようになること。また、英文の難しい箇所については、わかりやすい日本語で訳せることを目指す。テキストのリスニングの問題を容易に答えられるようになること。そして、最大の目標は、じつは、正しい知識のないひとが多い、「イギリス」「英国」について、正しい基礎知識を身につけ、現状について説明できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

各授業で予習をしてきたことを確認するため、CDを使用して、文を正しく声を出して読みます。まず、Chapter 1を速読し、英国についての基礎知識を得てから、Chapter 8からの「英国」のさまざまな側面について学びます。きちんと日本語に訳す精読からはじめ、大意をつかむ速読を目指します。Chapter 9 および、Chapter 11以降は、各 Chapter wo

1回の授業で終了を目指し、CDでテキストのReadingを聞いたあと、読解問題を解き、難しい部分のみを日本語に訳すという速読をします。順不同に学生を差して、読解や問題を答えてもらい、その後、必要な情報の説明を加えていきます。各Chapter 終了後にする「小テスト」は、授業中におこない、答え合わせと解説のあと、回収し、次回の授業で返却する。課題を課す場合は、「学習支援システム(Webclass)」から提出してもらい、採点あるいは、コメントをつけて、フィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	インTRODクショ ン+ Chapter 1: What is the United Kingdom?	授業、および、テキストの進め方、予習の仕方などの説明。 Chapter 1 の Part 2: 4 nations と、Part 3: UK and GB のCDを聞いてから、読解問題を解き、「英国」「イギリス」についての基礎知識を身につける。 (テキストがまだ手に入らない学生は、「学習支援システム(Webclass)」の資料を使うこと。
第2回	Chapter 7: Women in Society	前回の「英国」についての基礎知識についての理解度確認のため、Chapter 1の「小テスト」を行い、答え合わせと解説。 Chapter 7 に入る。英国の女性たちについて学ぶ。 Vocabulary Focus Part 1: Making their mark, Part 2: Labour-saving devices について精読後、各パートの読解問題に答える。
第3回	Chapter 7: Women in Society (つづき)	英国の女性たちについて学ぶ。(つづき) Part 3 Wealthy women ~ Structure Practice と Listening 問題。Going Further のなかのトピックをディスカッション。
第4回	Chapter 8 Government and Politics	Chapter 7 の小テスト。 Chapter 8に入る。英国の政府と政治について学ぶ。 Vocabulary Focus Part 1: Voting for one house, Part 2: First past the post を精読後、各パートの読解問題に答える。
第5回	Chapter 8 Government and Politics (つづき)	英国の政府と政治について学ぶ。(つづき) Part 3: Power-seeking parties Structure Practice と Listening 問題。Going Further のなかのトピックをディスカッション。Chapter 8 の小テスト (予定)。
第6回	Chapter 9 Science, Inventions and Business (1回で終了)	英国の科学者と発明、その光と影、産業革命後の経済について学ぶ。Vocabulary Focus Part 1 ~ Part 3 をそれぞれ速読後、各パートの読解問題に答える。
第7回	Chapter 10 The Home of English < 精読する>	Chapter 9 の小テスト。 Chapter 10 に入る。(英語についての基礎知識、歴史について学ぶ。Vocabulary Focus Part 1: Vocabulary and pronunciation, Part 2: Words in puzzles and social class を精読後、各パートの読解問題に答える。
第8回	Chapter 10 The Home of English (つづき)	英語についての基礎知識、歴史について学ぶ。Part 3: Inventive slang Structure Practice と Listening 問題。Going Further のなかのトピックをディスカッション。 Chapter 10 の小テスト (予定)。

第9回	Chapter 11 Crime Fiction and Fantasy Literature	探偵小説、英国と日本との関わり、また、英国が生み出したファンタジーの古典的作品について学ぶ。Vocabulary Focus Part 1～Part 3 をそれぞれ速読後、各パートの読解問題に答える。Structure Practice と Listening 問題。Going Further のなかのトピックをディスカッション。
第10回	Chapter 12 Pop Music and Fashion	Chapter 11 の小テスト。 Chapter 12に入る。英国とポップ音楽とファッションとの関わりについて学ぶ。Vocabulary Focus Part 1～Part 3 をそれぞれ速読後、各パートの読解問題に答える。Structure Practice と Listening 問題。Going Further のなかのトピックをディスカッション。
第11回	Chapter 13 Arts and Artists	Chapter 12 の小テスト。 Chapter 13 に入る。英国の文学・美術・演劇、アーティストについて学ぶ。Vocabulary Focus Part 1～Part 3 をそれぞれ速読後、各パートの読解問題に答える。Structure Practice と Listening 問題。Going Further のなかのトピックをディスカッション。
第12回	Chapter 14 Food Matters	Chapter 13 の小テスト。 Chapter 14 に入る。英国の食について学ぶ。Vocabulary Focus Part 1～Part 3 をそれぞれ速読後、各パートの読解問題に答える。Structure Practice と Listening 問題。Going Further のなかのトピックをディスカッション。
第13回	Chapter 15 Homes, Gardens and the Countryside	Chapter 14 の小テスト。 Chapter 15 に入る。英国の家、庭と'Countryside'について学ぶ。Vocabulary Focus Part 1～Part 3 をそれぞれ速読後、各パートの読解問題に答える。Structure Practice と Listening 問題。試験についての説明。
第14回	試験・まとめと解説	試験に備えて、Chapter 1+ Chapters 7-15 までの復習をしておく。試験後、答え合わせをして解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各ChapterのVocabulary Focus, Part 1 3のReading, Structure Practiceを辞書を活用して予習しておく。Part 1 3のReading部分は、辞書を活用して読み、かつ、訳せるように予習し、その後の読解問題で本文理解の質問に答えておく。また、Going Furtherについては、予習後、考えておく。2回を予定している「ミニレポート」は、締め切りまでに、「学習支援システム（Webclass）」から提出すること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tim Knight『This is Britain（本当の英国を知るための15章）』
鶴見書店（2026年3月初版発行）

なお、「英語で学ぶ社会と文化I」を履修した学生は、同じテキストを使用するので、購入の必要はない。

【参考書】

参考書がある場合は、授業中に知らせる。また、テキスト以外に授業で読む資料がある場合は、「学習支援システム（Webclass）」に置く。

【成績評価の方法と基準】

各Chapter終了後におこなう「小テスト」の成績を含む平常点を30%+ 学期の途中で提出してもらう課題（「ミニレポート」）を20%+ 最後のテストを50%で計算する。学期末テスト未受験、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

授業を履修生も楽しんでいるようでした。

【学生が準備すべき機器他】

辞書と赤ペン。

予習、復習、課題のために、検索用に使用するスマホ、コンピュータあるいはタブレット。

【Outline (in English)】

Through reading a textbook called *This is Britain*, the object of this class is to get the correct knowledge about the UK, or Britain, through developing English reading skills, which includes the ability to pronounce correctly and listening properly. Study textbook, especially each reading section, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 30% (including each Chapter's mini test), occasional assignments 20%, and the end-of-the term exam 50%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

鈴木 博雄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制(36)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

マスメディアで世界情勢を読むことを主眼とし、次の3点を目標とする。①国際問題を歴史や民族の問題を含めてルーツから見て行く。②必要な専門用語と基礎知識を身につけて、英字新聞や国際放送、インターネット情報にアクセスする力をつける。③簡単な構文を使ってニュースを英語で要約する力を身につける。

【到達目標】

マスメディアで国際情勢を読む英語能力獲得する。国際的な時事問題を扱った英文を読みながら、基礎語彙を増やし、行間を読む力や要約力を高める。その過程で英文内容についての質疑応答も行い、英語を深く、正確に、批判的に読む力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は、対面授業を基本とする。
- ・国際問題を扱った時事英語の文章の構造を踏まえながら、精読の演習を行う。
- ・英文内容についての質疑応答を行い、予習や復習の状況を確認し、個々の応答に対し、口頭で助言、学習方法等についてのフィードバックを与える。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	テキストUnit 1 前半	Ukraine: The Russian invasion of Ukraine ①
2	テキストUnit 1 後半	Ukraine: The Russian invasion of Ukraine ②
3	テキストUnit 2 前半	Ireland: "the troubles" in Northern Ireland ①
4	テキストUnit 2 後半	Ireland: "the troubles" in Northern Ireland ②
5	テキストUnit 3 前半	Brexit: Why did the UK leave the EU? ①
6	テキストUnit 3 後半	Brexit: Why did the UK leave the EU? ②
7	テキストUnit 4 前半	The second cold war?: US vs China ①
8	テキストUnit 4 後半	The second cold war?: US vs China ②
9	テキストUnit 5 前半	The Israeli-Palestinian conflict: The most difficult global issue to resolve ①

10	テキストUnit 5 後半	The Israeli-Palestinian conflict: The most difficult global issue to resolve ②
11	テキストUnit 6 前半	Rohingya: A troubled minority in Myanmar ①
12	テキストUnit 6 後半	Rohingya: A troubled minority in Myanmar ②
13	テキストUnit 7 前半	Busques: The oldest European people ①
14	テキストUnit 7 後半	Busques: The oldest European people ②

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・辞書を活用しながら、テキストを精読し、内容理解を深めておく。不明な点にマークし、質問事項をまとめておく。その他、必要に応じて前時に指示します。

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
“University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.”

【テキスト (教科書)】

石谷由美子 著、『Exploring the Roots of 15 Current Global Issues 国際問題のルーツを探る』(南雲堂)
ISBN：9784523179634

【参考書】

適宜、指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (受講姿勢、予習、復習の状況、小テストなど) (60%)、期末試験点 (40%) を総合的に判断して評価する。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

・時事英語を積極的に読み、世界情勢を知ることの重要性を実感しながら、時事英語読解力の効果的な養成を図りたい。
・個々の学生の語学力を伸ばす工夫を凝らしたい。

【Outline (in English)】

- (1) To obtain the ability to read about world affairs in the mass media.
- (2) By the ability in (1), we mean the basic practical skill of reading mass media English which is required when students get out into the world after they graduate to live everyday life with an accurate understanding of international current events.
- (3) Students should intensively read the textbook in the preparatory reading range for at least 60 minutes outside of class time.
- (4) Evaluation will be based on a comprehensive evaluation of the student's normal points (attitude toward class, preparation, review, quizzes, etc.) (60%) and the final examination (40%). In principle, students who are absent more than 3 times per semester will not be allowed to earn credits.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

鈴木 博雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制(36)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、マスメディアで読む世界情勢マスメディアで世界情勢を読むことを主眼とし、次の3点を目標とする。①国際問題を歴史や民族の問題を含めてルーツから見て行く。②必要な専門用語と基礎知識を身につけて、英字新聞や国際放送、インターネット情報にアクセスする力をつける。③簡単な構文を使ってニュースを英語で要約する力を身につける。

【到達目標】

春学期に養成した学力を踏まえ、マスメディアで国際情勢を読む英語能力獲得する。国際的な時事問題を扱った英文を読みながら、基礎語彙を増やし、行間を読む力や要約力を高める。その過程で英文内容についての質疑応答も行い、英語を深く、正確に、批判的に読む力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ/Seminar

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は、対面授業を基本とする。
- ・国際問題を扱った時事英語の文章の構造を踏まえながら、精読の演習を行う。
- ・英文内容についての質疑応答を行い、予習や復習の状況を確認し、個々の応答に対し、口頭で助言、学習方法等についてのフィードバックを与える。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 8 前半	Korea: The division of Korea ①
2	Unit 8 後半	Korea: The division of Korea ②
3	Unit 9 前半	Romani: Romani's great journey ①
4	Unit 9 後半	Romani: Romani's great journey ②
5	Unit 10 前半	Switzerland: Armed neutrality ①
6	Unit 10 後半	Switzerland: Armed neutrality ②
7	Unit 11 前半	Hong Kong: One country, two systems ①
8	Unit 11 後半	Hong Kong: One country, two systems ②

9	Unit 12 前半	The Pope and the Vatican City State: The smallest country in the world ①
10	Unit 12 後半	The Pope and the Vatican City State: The smallest country in the world ②
11	Unit 13 前半	Kurds: A stateless people ①
12	Unit 13 後半	Kurds: A stateless people ②
13	Unit 14 前半	Urughurs: How can Muslims survive in China? ①
14	Unit 14 後半	Urughurs: How can Muslims survive in China? ②

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・辞書を活用しながら予習反意を精読し、内容理解を深めておく。不明な点にマークし、質問事項をまとめておく。その他、必要に応じて前時に指示します。

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
“University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.”

【テキスト（教科書）】

石谷由美子 著、『Exploring the Roots of 15 Current Global Issues 国際問題のルーツを探る』（南雲堂）
ISBN：9784523179634

【参考書】

適宜、指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（受講姿勢、予習、復習の状況、小テストなど）（60%）、期末試験点（40%）を総合的に判断して評価する。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

- ・時事英語を積極的に読み、世界情勢を知ることの重要性を実感しながら、時事英語読解力の効果的な養成を図りたい。
- ・個々の学生の語学力を伸ばす工夫を凝らしたい。

【Outline (in English)】

- (1)To obtain the ability to read about world affairs in the mass media.
- (2)By the ability in (1), we mean the basic practical skill of reading mass media English which is required when students get out into the world after they graduate to live everyday life with an accurate understanding of international current events.
- (3)Students should intensively read the textbook in the preparatory reading range for at least 60 minutes outside of class time.
- (4)Evaluation will be based on a comprehensive evaluation of the student's normal points (attitude toward class, preparation, review, quizzes, etc.) (60%) and the final examination (40%). In principle, students who are absent more than 3 times per semester will not be allowed to earn credits.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制(36)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして文化、また人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会、そして文化について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部: Lesson Aでは、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部: Lesson Bでは、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部として、第1部、第2部で学習した事柄をまとめ、更にリサーチを進め、TED talkに関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、Unit終了毎に提出し、フィードバックを受けます。また、授業資料は、学習支援システムを通じて配布します。

【第1部】

第2週 Topic: Interdisciplinary

第5週 Topic: Business/ Leadership

第8週 Topic: Life Science

第11週 Topic: Sociology/ Fashion

【第2部】

第3週 : TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第6週 : TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第9週 : TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第12週 : TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New

https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【第3部】

第4週 : TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第7週 : TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第10週 : TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第13週 : TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New

https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	Introduction	What is TED?
第2週	Unit 1: Life Changes	Lesson A Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc. TED TALK by Matt Cutts Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第3週	Unit 1: Life Changes	Check sheet summarizing and stating opinions Lesson A Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc. TED TALK by Tom Wujec Lesson B Academic Skills: Understanding stages in a process, ...ets.
第4週	Unit 1: Life Changes	Check sheet summarizing and stating opinions
第5週	Unit 2: Team Power	Lesson A Topic:Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents TED TALK by David Gallo Lesson B Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第6週	Unit 2: Team Power	
第7週	Unit 2: Team Power	
第8週	Unit 3: Ocean Wonders	
第9週	Unit 3: Ocean Wonders	

第10週	Unit 3: Ocean Wonders	Check sheet summarizing and stating opinions	・ clarify the structure of a paragraph ・ develop global and cross-cultural awareness
第11週	Unit 4: What We Wear	Lesson A Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process	・ develop creative and critical thinking skills ・ effectively express their opinions on current issues [Learning activities outside of classroom] Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.
第12週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Lesson B Academic Skills: Recognizing point of view	University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. [Grading Criteria /Policy] Grading criteria for this course will be based on the following: Class participation 40% (class activities + unit quizzes) / assignment 20 % / final test 40%
第13週	Unit 4: What We Wear	Check sheet summarizing and stating opinions	In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.
第14週	final test	final test	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED talkについての予備知識を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、**checksheet**に記入しておく。

復習：扱ったTED talkの要約をし、**checksheet**に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED talk関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。以下が授業で扱うTED talkです。予習復習する際に聴いて下さい。

TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、配布資料

【参考書】

<https://www.ted.com>

その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および unit quiz）40%、課題30%、期末テスト30%

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Ims2025.

【Overall Objectives】

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand English sentences without translating into Japanese
- ・ identify main ideas

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制(36)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期同様本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、セメスター終盤には、第3部として、学習したトピックをひとつ選び、更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、Unit終了毎に提出し、フィードバックを受けます。また、授業資料は、学習支援システムを通じて配布します。

[第1部]

第2週 Topic: Architecture and Design

第5週 Topic: Communication/ Sociology

第8週 Topic: Visual Arts/ Sociology

[第2部]

第3週 : TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places

https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja

第6週 : TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral

https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja

第9週 : TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ...

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

[第3部]

第4週 : TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places

https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja

第7週 : TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral

https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja

第10週 : TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ...

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

第11週 13週 : Your favorite TED Talk

https://www.ted.com/

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	Introduction	授業の進め方についての説明 目標の確認
第2週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Topic:Architecture and Design Lesson A Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第3週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Lesson B: Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第4週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Expressing ideas on the topic
第5週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Topic:Communication/ Sociology Lesson A Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第6週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第7週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Expressing ideas on the topic
第8週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson A Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第9週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson B Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose

第10週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Expressing ideas on the topic
第11週	Your favorite TED talk	Finding your favorite TED talk.
第12週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第13週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第14週	試験・まとめと解説	final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED talkについての予備知識（テキストに記載）を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheetに記入しておく。

復習：扱ったTED talkの要約をし、checksheetに記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱った TED talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。以下が授業で扱う TED talk です。予習復習する際に聴いて下さい。

TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places

https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja

TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral

https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja

TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ...

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、資料配布

【参考書】

<https://www.ted.com>

その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および unit quiz）40%、課題30%、期末テスト30%

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく多く英語を使う場を設けます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Ims2025.

[Overall Objectives]

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand English sentences without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a paragraph
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation 40% (class activities + unit quizzes)
/ assignment 20 % / final test 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
英語で学ぶ社会と文化Ⅰ		
2017年度以降入学者		
サブタイトル：社会と文化の諸相を知る		
大曲 陽子		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月3/Mon.3		
単位数：1単位		
定員制(36)		
レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)		
その他属性：〈優〉		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
複数のパラグラフから成る記事を題材として、パラグラフの構造や、構文や文法などの知識を強化することを目的とする。それと同時に、今社会を取り巻くメディアと娯楽、環境保護問題や文化、などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。		
6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。		
【到達目標】		
様々な内容の興味深いトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要とする情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力を身に付けていく。高い英語力だけでなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方及び歴史や教養などを身に付けることも目指す。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1		
【主な授業方法】		
L 講義 /Lecture		
【授業の進め方と方法】		
本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。		
ほぼ2回の授業で1つのChapterを学習する。1回目の授業（授業動画配信オンデマンド型）では先ず宿題として授業当該日前までに各自記事を読んでTF内容問題に取り組み準備する。その後、授業動画を配信するオンデマンド授業を視聴して、指定の締め切り日までにHoppiiを通して課題を提出する。2回目の授業（対面）では、全員が内容に目を通していることを前提に問題演習を行い、教員が配布するプリント学習を行い、自分の考えをまとめる。		
Chapter 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。		
授業で取り上げるChapterは以下の6つとする		
Chapter 1,2, 4, 6, 9, 10		
前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業ではexerciseを解きながら精読する。		
適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。		
課題等に対するフィードバック方法		
毎週課題の提出があるので、授業動画配信オンデマンド型の時はOpen LMS を通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMS を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。		
小テストは採点返却される。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
あり / Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし / No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	ガイダンス 履修者の決定	ここで履修者を決定するので、履修希望者は必ず初回アンケートに回答してLMSを通して提出すること。
2	Chapter1 Not Just a Pretty Picture The Importance of Art	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Questions for Understanding
3	Chapter1 Not Just a Pretty Picture The Importance of Art	本文内容の確認 テキスト後半 Summary Think about It, Over to You プリント教材、主にグループワークで行う。
4	Chapter 2 A Feather in Your cap The History of Our Favorite Clothes	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Questions for Understanding
5	Chapter 2 A Feather in Your cap The History of Our Favorite Clothes	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter1 語彙テスト Summary Think about It, Over to You プリント教材、主にグループワークで行う。
6	Chapter 4 What's in a Phrase? Interesting Saying and Idioms	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Questions for Understanding
7	Chapter 4 What's in a Phrase? Interesting Saying and Idioms	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter2 語彙テスト Summary Think about It, Over to You プリント教材、主にグループワークで行う。
8	Chapter 6 It's Jungle Out There How We Can Share the World with Wildlife	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Questions for Understanding
9	Chapter 6 It's Jungle Out There How We Can Share the World with Wildlife	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 4 語彙テスト Summary Think about It, Over to You プリント教材、主にグループワークで行う。
10	Chapter 9 Who are You ? The Risks and Rewards of Genetic Profiling	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Questions for Understanding
11	Chapter 9 Who are You ? The Risks and Rewards of Genetic Profiling	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter6 語彙テスト Summary Think about It, Over to You プリント教材、主にグループワークで行う。
12	Chapter 10 Getting it Right by Getting it Wrong How Accidents Lead to Innovation	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Questions for Understanding

13	Chapter 10 Getting it Right by Getting it Wrong How Accidents Lead to Innovation	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter9 語彙テスト Summary Think about It, Over to You プリント教材、 主にグループワークで行う。	submission assignments 10% class contribution 10% classroom quiz 30% term-end examination 50%
14	これまでのまとめと 期末試験	これまでのまとめ 期末試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

各Unitのvocabulary, Useful wordsを必ず学習し、語彙の確認を徹底する。授業配信オンデマンド授業では本文を各自読み込み内容理解をして対面授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】

Grand Tour Future Paths 「新たな時代への飛翔」

成美堂（2,310円税込）

学内書店で購入すること。

【参考書】

特になし。

辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Key Vocabulary 及び True or False は採点する。1点×10問＝10点（Answer Sheetの空欄が全て解答されていることを条件とする）

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回Answer Sheetの回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

トピックに関連したプリントを配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMSの質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through the essays.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

LAnE200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ 2017年度以降入学者

サブタイトル: 社会と文化の諸相を知る

大曲 陽子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月3/Mon.3

単位数: 1単位

定員制(36)

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性: <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

複数のパラグラフから成る記事を題材として、パラグラフの構造や、構文や文法などの知識を強化することを目的とする。それと同時に、今社会を取り巻くメディアと娯楽、環境保護問題や文化、などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。

6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

様々な内容の興味深いトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要とする情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力を身に付けていく。高い英語力だけでなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方及び歴史や教養などを身に付けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業 (授業動画を配信するオンデマンド型) とする。

ほぼ2回の授業で1つのChapterを学習する。1回目の授業 (授業動画配信オンデマンド型) では先ず宿題として授業当該日前までに各自記事を読んでTF内容問題に取り組み準備する。その後、授業動画を配信するオンデマンド 授業を視聴して、指定の締め切り日までにOpen LMSを通して課題を提出する。2回目の授業 (対面) では、全員が内容に目を通していることを前提に問題演習を行い、教員が配布するプリント教材を学習し自分の考えをまとめる。

Chapter 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

授業で取り上げるChapterは以下の6つとする

Chapter 11, 13, 14, 16, 17, 20

前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業ではexerciseを解きながら精読する。適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、授業動画配信オンデマンド型の時はOpen LMS を通して指定の締め切り日までに提出し、それはOpen LMS を通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。

小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Warming Up	ここで履修者を決定する時事問題プリント教材
2	Chapter 11 Betting the World The Impact of Gambling on Society	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Questions for Understanding
3	Chapter 11 Betting the World The Impact of Gambling on Society	本文内容の確認 テキスト後半 Summary Think about It, Over to You プリント教材、 主にグループワークで行う。 授業動画配信オンデマンド型
4	Chapter 13 Counterfeits and Copies Industrial Imitation	Useful Words Questions for Understanding
5	Chapter 13 Counterfeits and Copies Industrial Imitation	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter11 語彙テスト Summary Think about It, Over to You プリント教材、 主にグループワークで行う。 授業動画配信オンデマンド型
6	Chapter 14 Can I See the Manager How Companies can Benefit from Complaints	Useful Words Questions for Understanding
7	Chapter 14 Can I See the Manager How Companies can Benefit from Complaints	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter13 語彙テスト Summary Think about It, Over to You プリント教材、 主にグループワークで行う。
8	Chapter 16 My Country , Right or Wrong How do We Deal with Our Culture 's Bad Behavior?	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Questions for Understanding
9	Chapter 16 My Country , Right or Wrong How do We Deal with Our Culture 's Bad Behavior?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter14 語彙テスト Summary Think about It, Over to You プリント教材、 主にグループワークで行う。
10	Chapter 17 My Country , Right or Wrong How do We Deal with Our Culture 's Bad Behavior?	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Questions for Understanding
11	Chapter 17 My Country , Right or Wrong How do We Deal with Our Culture 's Bad Behavior?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter16 語彙テスト Summary Think about It, Over to You プリント教材、 主にグループワークで行う。
12	Chapter 20 The Way to Your Heart is Through Your Stomach Gastro diplomacy	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Questions for Understanding

13	Chapter 20 The Way to Your Heart is Through Your Stomach Gastro diplomacy	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter17 語彙テスト Summary Think about It, Over to You プリント教材、 主にグループワークで行う。
14	これまでのまとめと 期末試験	Unit 20 語彙小テスト これまでのまとめ 期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画配信オンデマンド授業時には各自本文テキストを十分に読み込む。各Unitのvocabulary, Useful wordsを必ず学習し、語彙の確認を徹底する。本文内容に沿ったTF問題に真剣に取り組む。本文を読み込む際、未知の語彙があれば調べておく。対面授業時では、内容を大まかにわかっていることを前提として授業を行い、内容理解に関しての課題をこなすので、オンライン授業の学習時間をきちんと確保した上で対面授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】

Grand Tour Future Paths 「新たな時代への飛翔」
成美堂（2,310円税込）

【参考書】

特になし。
辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Key Vocabulary 及び True or False は採点する。1点×10問＝10点（Answer Sheetの空欄が全て解答されていることを条件とする）

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回Answer Sheetの回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

トピックに関連したプリントを配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMSの質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through the essays.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation I

2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水3/Wed.3

単位数: 1単位

定員制(24)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上 (各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性: <グ> <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, business and cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】

You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising, collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement. You will have many opportunities to express your thoughts in a concise and logical manner. You will try various ways to make your opinions more persuasive.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Please come to class ready to participate actively and positively. You may sometimes record your presentations using easy editing software on your phone or PC to share with the class. Teacher feedback will be given in the class and online as necessary.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	An explanation of the class requirements. We will get to know each other.
2	First presentation: "How to..."	Teach us how to do something better. Look at examples. Generate ideas and select topics.
3	Developing your work	Show your ideas and make an outline. Basic presentation structure.
4	Developing your work	Revise and practise. Body language and gestures -examples and practise.
5	Final practise	Combine all the elements and review your speech. Make changes after feedback from classmates and teacher.
6	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
7	Second presentation: SWOT analysis	A SWOT analysis. What is it? Look at examples. Generate ideas and select topics
8	Developing your work:	A SWOT analysis. Show your first research and organise. Voicework - how to vary your voice to make your words have more impact.
9	Developing your work:	Show us your presentation draft and practise. Turn your draft into notecards. Asking and answering questions during a presentation.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates.
11	Third Presentation: Pechakucha	What is a pechakucha presentation? Explanation and examples. Topic planning.
12	Developing your work:	Practise. Speaking to time limits and on the spot transitions.
13	Final practise	Review and practise.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. Students will be asked to watch some speeches and share their impressions in class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト (教科書)】

The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities. There is no textbook.

【参考書】

Recommended places to watch presentation examples are; the Pechakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 25%

Presentations 45%

Self evaluation 10%

Outside class preparation 20%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students enjoyed pair presentations.

【学生が準備すべき機器他】

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

We will use Google Classroom for all class information, assignments and so on. You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to access your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

【その他の重要事項】

Please come to class ready to participate actively and positively.

【Outline (in English)】

Make your speeches and presentations better.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation II

2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水3/Wed.3

単位数: 1単位

定員制(24)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上 (各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.

GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性: <グ> <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, business and cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】

You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising, collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Teacher feedback will be given in the class and online as necessary. Please come to class ready to participate actively and positively. You may sometimes record your presentation using easy editing software on your phone or PC to share with the class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation and a review of the Spring Semester. First presentation: "Inspired by a movie"	A cultural or social theme picked from a movie For example. "The Lego Movie" - a comparison of the education systems of Denmark and Japan. The role of propaganda in Vietnam War movies "The Devil wears Prada" - Karoshi - is work /life balance really possible? Discussing ideas and topic selection.
2	Developing your work	Sharing research. Making outlines and considering some rhetorical techniques such as the rule of 3 and repetition.
3	Developing your work	Sharing research. Using rhetorical techniques. Review of voice techniques.
4	Final practise	Making discussion questions. Practise and make changes after feedback from classmates and teacher.
5	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
6	Second presentation: Something I've learned that you should know	What knowledge have you gained in your university life that you think other people would benefit from knowing? generating ideas
7	Developing your work	Considering different narratives styles. Sharing ideas.
8	Developing your work	Sharing your ideas and using props in a speech.
9	Final practise	Practise your speech using a prop.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
11	Third Presentation: A persuasive speech	A speech about something you feel strongly about. Make us believe how correct and important your opinion is.
12	Developing your work:	Adding passion and emotion to your words. Speaking with your whole body - examples and practise.
13	Final practise	Looking again at body language and voice.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials, including Keynote or PowerPoint slides. Students will be asked to watch some speeches and share their impressions in class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト (教科書)】

The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities. There is no textbook.

【参考書】

Recommended places to watch presentation examples are; the peckakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 25%

Presentations 45%

Self evaluation 10%

Outside class preparation 20%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested more time to prepare in class.

【学生が準備すべき機器他】

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

We will use Google Classroom for all class information, assignments and so on. You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to access your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

【その他の重要事項】

Please come to class ready to participate actively and positively.

【Outline (in English)】

Make your speeches and presentations better.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation I 2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火3/Tue.3

単位数: 1単位

定員制(24)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上 (各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.
 GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性: <グ> <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course teaches presentation skills through watching presentations, learning presentation techniques and making presentations on different topics.

【到達目標】

Students will be able to prepare and make effective presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Active learning class activities will include individual work, pair work, group work and group discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook.
2	Getting ready (Pages 2-7)	Give self introduction presentation.
3	Unit 1 A good friend (Pages 8-11)	- Exploring the topic - Focusing on language
4	Unit 1 A good friend (Pages 12-15)	- Organizing ideas - Adding impact techniques
5	Unit 1 A good friend (Pages 16-17)	- Developing presentation techniques
6	Unit 1 A good friend (Pages 18-19)	Presentation "A good friend"
7	Unit 2 A favorite place (Pages 20-23)	- Exploring the topic - Focusing on language
8	Unit 2 A favorite place (Pages 24-27)	- Organizing ideas - Adding impact
9	Unit 2 A favorite place (Pages 28-29)	- Developing presentation techniques

10	Unit 2 A favorite place (Pages 30-31)	Presentation - "My Favorite Place"
11	Unit 3 A prized Possession (Pages 32-35)	- Exploring the topic - Focusing on language
12	Unit 3 A prized Possession (Pages 36-41)	- Organizing ideas - Adding impact
13	Unit 3 A prized Possession (Pages 40-41)	- Developing presentation techniques
14	Unit 3 A prized possession (Pages 42-43)	Presentation - "My Prized Possession"

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

【テキスト (教科書)】

Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon, Cambridge University)

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on two components:

- ・ Presentations - 75% (Unit 1, 2 and 3 presentations are required.)
- ・ Class participation - 25% (In principle, no more than 3 absences per term are allowed.)

【学生の意見等からの気づき】

Student input and feedback is encouraged.

【Outline (in English)】

Students will develop confidence in their public speaking abilities.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation II

2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制(24)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/> Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.
 GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course teaches presentation skills through watching presentations, learning presentation techniques and making presentations on different topics.

【到達目標】

Students will be able to prepare and make effective presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook.
2	Getting ready (Pages 2-7)	Give self introduction presentation.
3	Unit 4 A memorable experience (Pages 44-47)	- Exploring the topic - Focusing on language
4	Unit 4 A memorable experience (Pages 48-51)	- Organizing ideas - Adding impact
5	Unit 4 A memorable experience (Pages 52-53)	- Developing presentation techniques
6	Unit 4 A memorable experience (Pages 54-55)	Presentation: "My Memorable Experience"
7	Unit 5 I'll show you how (Pages 56-59)	- Exploring the topic - Focusing on language

8	Unit 5 I'll show you how (Pages 60-63)	- Organizing ideas - Adding impact
9	Unit 5 I'll show you how (Pages 64-65)	- Developing presentation techniques
10	Unit 5 I'll show you how (Pages 66-67)	Presentation: "How to ____"
11	Unit 6 Screen magic (Pages 68-71)	- Exploring the topic - Focusing on language
12	Unit 6 Screen magic (Pages 72-75)	- Organizing ideas - Adding impact
13	Unit 6 Screen magic (Pages 76-77)	- Developing presentation techniques
14	Unit 6 Screen magic (Pages 78-79)	Presentation: "Movie or TV Show Review"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

【テキスト（教科書）】

Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon, Cambridge University Press)

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

- Presentations - 75% (Unit 4, 5 and 6 presentations are required.)
- Class participation - 25% (In principle, no more than 3 absences per term are allowed.)

【学生の意見等からの気づき】

Student input and feedback is encouraged.

【Outline (in English)】

Students will develop confidence in their public speaking abilities.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation I 2017年度以降入学者

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制(24)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上（各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.
 GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【到達目標】

This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. Student assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor for evaluation by email. Instructor will provide feedback during class or by email

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions	Talk about spring break. HW/text pgs. 4-12 Getting started.

2	2. Text pgs. 13-14, 15-17, 18-22 HW/informative speech (pg. 17) with visuals, posture, eye contact, gestures	Watch sample presentation DVD.
3	3. Performance of informative speech HW/text pgs. 23-24, 28-29	Speech performance and feedback.
4	4. Text pgs. 30-38 HW/demonstration speech (pg. 38) with visuals, posture, eye contact, gestures, voice inflection	Demonstration speech.
5	5. Performance of demonstration speech HW/text pgs. 39-46	Student speech performances.
6	6. Text pgs. 47-48, pgs. 51-55 HW/country comparison (pgs. 49 & 56)	Prepare for country comparison speech.
7	7. Performance of country comparison HW/pgs. 57-59	Student speeches.
8	8. Text pgs. 60-67 HW/speech introduction (pg. 67)	Focus on speech introduction.
9	9. Performance of speech introduction HW/text pgs. 68-72	Speech introduction performances.
10	10. Text pgs. 73-85 HW/speech body (pg. 86)	Focus on speech body.
11	11. Performance of speech body HW/text pgs. 87-94 conclusion (pg. 95)	Student performances of speech body.
12	12. Presentation of conclusion HW/final presentation (pg. 99 steps 1,2,3)	Focus on speech conclusion.
13	Final presentations HW/None	Prepare and perform final presentations
14	Final presentations	End of term evaluation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will research and prepare their presentations before scheduled classes.

【テキスト（教科書）】

Speaking of Speech Level 2 Charles LeBeau MacMillan Education ISBN978-4-7773-6515-9 C3082

【参考書】

Students will use online resources to research and prepare their presentations.

【成績評価の方法と基準】

Presentations (50%)
Class participation (40%)
Final presentation (10%)

*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.

Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason—serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

None.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will prepare and deliver presentations during class time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation II

2017年度以降入学者

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月3/Mon.3

単位数: 1単位

定員制(24)

レベル 3~4、TOEFL iBT® 44 以上 (各レベルの目安スコアは ILAC 掲示板の掲載資料から確認可能です。
<https://gakububbs.hosei.ac.jp/ilac/gaikokugo/>) Levels 3-4, TOEFL iBT® 44 or equivalent is required.
 GBP・SCOPE 生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性: <グ> <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to make effective presentations on a variety of topics. Students will learn to confidently deliver multimedia informative/descriptive speeches, as well as comparative, demonstrative and argumentative/persuasive presentations. Students will also learn to evaluate the quality and content of others' presentations, to take notes on presentation content, and to provide detailed feedback to help presenters to improve their presentation technique.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. The fall semester of this course will concentrate on the preparation and delivery of persuasive, argumentative and rhetorical speeches. Student assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor for evaluation by email. Instructor will provide feedback during class or by email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation HW/prepare speech on summer vacation	Warm up presentation.

2	2. Presentations on summer vacation HW/read handout parts 1&2	Students deliver their summer vacation presentations.
3	3. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 1	Read background information and answer questions.
4	4. Presentations on topic 1 and discussion HW/read handout parts 1&2	Delivery of speeches.
5	5. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 2	Read background information and answer questions.
6	6. Presentations on topic 2 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
7	7. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 3	Read background information and answer questions.
8	8. Presentations on topic 3 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
9	9. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 4	Read background information and answer questions.
10	10. Presentations on topic 4 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
11	11. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 5	Read background information and answer questions.
12	12. Presentations on topic 5 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
13	13. Complete handout reading HW/prepare final presentations	Prepare for final presentations.
14	14. Final presentation	Final performance, summary and evaluation.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will research and prepare their presentations before scheduled classes.

【テキスト (教科書)】

Speaking of Speech Level 2 Charles LeBeau MacMillan Education ISBN978-4-7773-6515-9 C3082

【参考書】

Students will make use of a variety of online resources in the research and preparation of their speeches.

【成績評価の方法と基準】

Presentations (50%)
Class participation (40%)
Final presentation (10%)

*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.

Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason—serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

None.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will prepare and deliver presentations during class time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
英語アカデミック・リーディング 2017年度以降入学者		
岩崎 博		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金3/Fri.3		
単位数：1単位		
定員制(36)		
レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)		
その他属性：〈優〉		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論理的な英文を読む喜びを感じることを目指します。その目標達成のために、パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、英文を正確に読みこなす能力を養います。授業では、トピックセンテンスを中心に、パラグラフの内容を理解する読みを実践します。美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱う興味深いエッセイを読み解くことによって、新しい視点、刺激的な世界観に触れてください。

【到達目標】

パラグラフリーディングの技術を習得する。
パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。
パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。
コンテキストを正しく捉える力を養う。
抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。
辞書が活用できるようになる。
英語の論文を効率的に読み解くことができるようになる。
クリティカル・リーディングの重要性を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

演習を中心に授業を行います。各パラグラフの内容を詳細に考察しますので、授業はかなりゆっくりと進んでいきます。一回の授業で扱うのはテキスト1ページほどです。授業では、学生がパラグラフの和訳、要約、または内容の説明を行い、それについてみんなで話し合います。不明な点や問題点があれば、全員で話し合い、できるだけ自分たちの力で解決していきます。また、各論文を読み終わった後、それに関する意見を発表しクラス全体で議論します。フィードバックに関しては、学生が発表するたびに教師がコメントを出し、さらにそのコメントについてクラスで話し合います。学期末試験の答案に解説・コメントをつけて返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業に関する説明の後、パラグラフの構造について理解します。
2	Session 1 What a Painting Can Tell Us 本エッセイの展望	筆者は絵画に隠された物語を読み解いていきます。筆者は絵の中にどんな物語を読み込むのでしょうか？ このセッションでは、学生は各パラグラフの内容を自分の言葉で説明していきます。

3	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラフを理解し、トピックセンテンスを見つける	パラグラフが主題文、指示文、結論文から成ることを理解し、実際の英文の中でその構造を確認します。これを理解した上で、トピックセンテンスを見つけ、それが何故トピックセンテンスなのか、自分の言葉で説明します。
4	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラフリーディングの実践	トピックセンテンスと支持文の関連性を考え、それを自分の言葉で表現します。 What a Painting Can Tell Us に関して自分の意見を発表し、クラスで話し合います。
5	Session 2 Split-Brain Research 本エッセイの展望	右脳・左脳の機能の違いを世に知らしめた、有名な事例を紹介する論文を読みます。右脳と左脳の機能の違いに、言語がどのように関わっているのでしょうか？ このエッセイでは、学生はパラグラフのトピックに留意しつつ英文和訳を行います。実験の模様を図解するイラストを参照しながら、実験の手順を記述する文章を正確に読む練習をします。
6	Session 2 Split-Brain Research イラストを頼りに実験の記述を読む	図と英語の記述を対応させることによって、視覚情報が左右の脳にどのように伝わるのかを理解します。
7	Session 2 Split-Brain Research イラストと記述を照応させる	実験の結果に関する記述が、具体的に実験の何を指し示すのかを理解します。抽象的な記述を具体的に理解し説明する読みを実践します。
8	Session 2 Split-Brain Research 記述内容を具体的に読む	ある文が意味をなすということは、文脈を理解することに他ならないことを学習します。また、言語が左右の脳の機能の違いにどんな影響を及ぼしているのか理解します。
9	Session 2 Split-Brain Research 文脈をたどる	Split-Brain Research に関する意見を発表し、クラスで話し合います。 Session 9では、言語の変化生成に関する仮説を扱う論文を読みます。言語は原初の形を痕跡として残しつつ絶えず変化し続けること、人間には言語を生み出す普遍的能力があることを学びます。子供は言語の生成・変化にどんな形で関わってきたのでしょうか？ このセッションでは、学生は各パラグラフの内容を自分の言葉で説明していきます。
10	Session 9 On Speaking on Speaking 本エッセイの展望	言語が絶えず変化していることを学びます。パラグラフにおける旧情報と新情報を識別し、パラグラフ間のつながりを考察します。
11	Session 9 On Speaking on Speaking 言語の生成変化	

12	Session 9 On Speaking on Speaking 言語の生成変化(様態・担い手)	言語はどのように変化するのか、また誰がそれを担うのかを学びます。 トピックセンテンスの言い換えの文から、パラグラフ全体の主張をより具体的に理解できることを学びます。 itの指示内容を識別する方法を学習します。
13	Session 9 On Speaking on Speakingのまとめ 春学期学習内容の総括	On Speaking on Speakingについて各自の意見を発表します。 春学期に学習した内容で重要な箇所を振り返り、教師が学生からの質問に答えます。
14	学期末試験・解答	学期末試験を行います。試験後、解答・解説を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 予習は、テキストの指定箇所（1ページほど）を読み、パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにします。特にトピックセンテンスと論証部分の関係を自分の言葉で説明できるように準備します。
 復習は、授業で扱った内容を確認し理解した上で、最低5回は読み返します。各エッセイを読み終えた後、自分の意見を発表できるように準備します。

【テキスト（教科書）】

『The Universe of English』東京大学英語教室編（東京大学出版会）

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、試験60パーセントの比率で評価します。
 授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まります。
 一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていきます。
 4回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めません。
 オンライン授業では、課題の提出を持って出席とします。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ学生の発表を中心にして、授業を進行していきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を持っている人は電子辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Students will learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and describe what they have understood about it. The goal of this course is for students to be able to read and understand academic articles correctly, and also to be able to express their critical views on them. Students are expected to spend one hour reading assigned paragraphs of an article before the class and reviewing what they have learned after the class. The final grade will be decided based on class-participation 40 % and term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)			3	Session 17 Ecology	エコロジーという概念の定義を行うパラグラフを読み、エコロジーとは何なのかを考察します。
英語アカデミック・リーディング II			4	Session 17 Ecology	エコロジーという概念（抽象）とそれが示す具体像の間を行き来しつつ、エコロジーに対する理解を深めます。
岩崎 博			5	Session 17 Ecology	生態系・食物連鎖・生物濃縮・生体遷移とは何か、具体例を通して学びます。
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金3/Fri.3			6	Session 11	ディズニーランドの人気の理由を論じるエッセイを読みます。
単位数：1単位				America's Sacred Land	混沌とするアメリカ社会においてディズニーランドがどんな価値観を体現し、どんな役割を果たしているのか考察します。
定員制(36)			7	Session 11	ディズニーランドの人気の理由を論じるエッセイを読みます。
レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)			8	Session 11	ディズニーランドが単なるテーマ・パークにとどまらず、旧約聖書に登場する「約束の土地」であるという筆者の主張を考察します。
その他属性：〈優〉			9	Session 18	コロンブスが歴史上の偉人から、アメリカを侵略し破壊した悪人に評価が変わった理由を考察する論文を読みます。どうしてコロンブスは英雄から世紀の大悪人になってしまったのか、果たしてコロンブスを糾弾する者たちの真の意図とは何か？ 歴史とは何かを考えさせる実スリリングなエッセイです。
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			10	Session 18	このセッションでは、学生は各パラグラフの内容を自分の言葉で説明していきます。
論理的な英文を読む喜びを感じることを目指します。その目標達成のために、パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、英文を正確に読みこなす能力を養います。				Columbus: From Hero to Fall Guy	歴史的記述における視点の重要性を考えます。
授業では、トピックセンテンスを中心に、パラグラフの内容を理解する読みを実践します。美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱う興味深いエッセイを読み解くことによって、新しい視点、刺激的な世界観に触れてください。			11	Session 18	主格関係と目的格関係を表す前置詞ofの用法を学び、名詞句の中に主語＋述部動詞、あるいは主語＋述部動詞＋目的語と似た構造が存在することを学習します。
【到達目標】			12	Session 18	コロンブスの評価が英雄から人類最悪の男に凋落した理由として筆者が援用する歴史観について考察します。筆者が提示した理論を「アメリカ発見」の歴史に当てはめると何が読みとれるのか考えます。
パラグラフフリーディングの技術を習得する。				Columbus: From Hero to Fall Guy	コロンブス以前のアメリカが理想郷として描き出されている現状の背後に隠された意図を考えます。
パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。					
パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。					
コンテキストを正しく捉える力を養う。					
抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。					
辞書が活用できるようになる。					
英語の論文を効率的に読み解くことができるようになる。					
クリティカル・リーディングの重要性を理解する。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1					
【主な授業方法】					
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】					
演習を中心に授業を行います。各パラグラフの内容を詳細に考察しますので、授業はかなりゆっくりと進んでいきます。一回の授業で扱うのはテキスト1ページほどです。授業では、学生がパラグラフの和訳、要約、または内容の説明を行い、それについてみんなで話し合います。不明な点や問題点があれば、全員で話し合い、できるだけ自分たちの力で解決していきます。また、各論文を読み終わった後、それに関する意見を発表しクラス全体で議論します。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					
あり / Yes					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	授業の説明	パラグラフの構造を理解します。			
2	Session 17 Ecology	エコロジーの入門書のエッセイを読みます。コンパクトながら、エコロジーの定義から始まり、生物圏の区分、食物連鎖、生物濃縮、生態遷移などに言及し、エコロジーの最も重要な分野をわかりやすく解説しています。			
	本エッセイの展望	また、生態学的知識を吸収することによって、現在我々を取り巻く環境問題を考えたいと思っています。			

13	SSession 18 Columbus: From Hero to Fall Guy コロンブスとは何な のか	コロンブスが「歴史的コマ」として、現代の政治ゲームの中でどのように利用されているか、具体的記述の中で理解します。「発見」された側がコロンブスを世紀の大悪人だと糾弾する本当の理由が明かされます。クラス全体でエッセイの問題点を指摘し、その内容を批判的に論じます。
14	試験日	秋学期試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習は、テキストの指定箇所（1ページほど）を読み、パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにします。特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備します。復習は、授業で扱った内容を確認し理解した上で、最低5回は読み返します。各エッセイを読み終えた後、自分の意見を発表できるよう準備します。

【テキスト（教科書）】

東京大学英語教室編『The Universe of English』（東京大学出版会）

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、試験60パーセントの比率で評価します。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まります。

一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていきます。

4回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めません。

オンライン授業では、課題の提出を持って出席とします。

【学生の意見等からの気づき】

学生が話し合って問題を解決する機会を増やします。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を持っている人は電子辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

できるだけ教師と学生の対話を通して、知的に楽しくて為になる、双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Students will learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and describe what they have understood about it.

The goal of this course is for students to be able to read and understand academic articles correctly, and also to be able to express their critical views on them.

Students are expected to spend one hour reading assigned paragraphs of an article before the class and reviewing what they have learned after the class.

The final grade will be decided based on class-participation 40 % and term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅰ

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

定員制(36)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

TOEICの頻出テーマを扱ったテキストを使用し、語彙、英語表現、文法を学びながら総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語（Englishes）の発音に慣れます
- ・英語の文章を速く正確に読む力をつけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストの各unitはlisteningとreadingの二つのパートから成り立っています。一回の授業で一つのパートを扱います。前半はlisteningです。語彙の確認をしてからlistening問題に取り組みます。ペアあるいはグループで答え合わせをし、その後クラス全体で間違えた箇所を確認しながら、英語表現、文法の確認をします。後半はreadingです。問題にチャレンジした後、ペアあるいはグループで答え合わせをし、クラス全体で内容の確認を行います。小テストに対するフィードバックは授業当日に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 1 Eating Out (listening)	Vocabulary, Useful Expression
3	Unit 1 Eating Out (reading)	Grammar
4	Unit 2 Travel (listening)	Vocabulary, Useful Expression
5	Unit 2 Travel (reading)	Grammar
6	Unit 3 Amusement (listening)	Vocabulary, Useful Expression
7	Unit 3 Amusement (reading)	Grammar
8	Unit 4 Meetings (listening)	Vocabulary, Useful Expression
9	Unit 4 Meetings (reading)	Grammar
10	Unit 5 Personnel (listening)	Vocabulary, Useful Expression
11	Unit 5 Personnel (reading)	Grammar
12	Unit 6 Shopping (listening)	Vocabulary, Useful Expression

13 Unit 6 Shopping Grammar (reading)

14 学期末試験 試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後にテキスト・演習問題の復習をし、質問がある場合は次回授業にお願いします。本授業の復習時間は1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『一歩上を目指す TOEIC LISTENING AND READING TEST: Level 4』（朝日出版社）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト35%、小テスト35%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

基礎的な英語力がつくように、文法事項の説明を丁寧にするように心がけました。

【学生が準備すべき機器他】

- ・Hoppiiを使用します
- ・辞書を使用します

【Outline (in English)】

Course Outline

The purpose of this class is to help students develop their listening and reading skills for TOEIC.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies such as skimming and scanning.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to review what was covered in the previous lesson. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 35%
2. Reports 35%
3. Classroom Participation 30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

定員制(36)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

TOEICの頻出テーマを扱ったテキストを使用し、語彙、英語表現、文法を学びながら総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語（Englishes）の発音に慣れます
- ・英語の文章を速く正確に読む力をつけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストの各unitはlisteningとreadingの二つのパートから成り立っています。一回の授業で一つのパートを扱います。前半はlisteningです。語彙の確認をしてからlistening問題に取り組みます。ペアあるいはグループで答え合わせをし、その後クラス全体で間違えた箇所を確認しながら、英語表現、文法の確認をします。後半はreadingです。問題にチャレンジした後、ペアあるいはグループで答え合わせをし、クラス全体で内容の確認を行います。小テストに対するフィードバックは授業当日に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 7 Advertisement (listening)	Vocabulary, Useful Expression
3	Unit 7 Advertisement (reading)	Grammar
4	Unit 8 Daily Life (listening)	Vocabulary, Useful Expression
5	Unit 8 Daily Life (reading)	Grammar
6	Unit 9 Office Work (listening)	Vocabulary, Useful Expression
7	Unit 9 Office Work (reading)	Grammar
8	Unit 10 Business (listening)	Vocabulary, Useful Expression
9	Unit 10 Business (reading)	Grammar
10	Unit 11 Traffic (listening)	Vocabulary, Useful Expression
11	Unit 11 Traffic (reading)	Grammar

12	Unit 12 Finance and Banking (listening)	Vocabulary, Useful Expression
13	Unit 12 Finance and Banking (reading)	Grammar
14	学期末試験	試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後にテキスト・演習問題の復習をし、質問がある場合は次回授業にお願いします。本授業の復習時間は1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『一歩上を目指す TOEIC LISTENING AND READING TEST: Level 4』（朝日出版社）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト35%、小テスト35%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

基礎的な英語力がつくように、文法事項の説明を丁寧にするように心がけました。

【学生が準備すべき機器他】

- ・Hoppiiを使用します
- ・辞書を使用します

【Outline (in English)】

Course Outline

The purpose of this class is to help students develop their listening and reading skills for TOEIC.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies such as skimming and scanning.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to review what was covered in the previous lesson. Study time will be an hour for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 35%
2. Reports 35%
3. Classroom Participation 30%

LAnE200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅰ

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制(36)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは英検（準1級/1級）とTOEFLの演習を行いながら「リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング」の4つの能力強化を目指します。

【到達目標】

- 1.Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2.Be able to understand main points of interview and lectures
- 3.Be able to talk about basic topics
- 4.Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing.(授業は演習形式で行います)

- 1.Clarifying objectives and goals (なぜ英語力強化を目指すのかを明確にする)
- 2.Explaining basic formats of two certificate tests and practicing (英検とTOEFL テストの紹介と演習)
- 3.Feedback for assignments and reaction papers (課題やアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Orientation	1.Explanation of the course 2.Clarifying objectives and goals
2回	Introduction to Eiken	1.Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2.Reading &Listening practice to identify your strong and weak points (強みと弱点を知る)
3回	Eiken: Reading and Listening Practice	1.Reading practice 2.Listening practice
4回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1.Reviewing home assignment 2.Learning Paragraph Structure 3.Paragraph reading practice 4.Listening practice

5回	Eiken: Intensive Listening Training	1.Listening practice 2.Shadowing and overlapping 3.Dictation to improve accuracy
6回	Eiken: Reading and Listening Practice	1.Listening practice 2.Shadowing and overlapping 3.Paragraph reading practice
7回	Eiken: Essay Writing	1.Learning academic writing structures and analyzing model essays 2.Writing an essay 3.Peer Editing
8回	Eiken: Essay Writing and Feedback	1.Rewriting your draft 2.Feedback
9回	Introduction to TOEFL Test	1.Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL について) 2.Reading practice 3.Listening practice
10回	TOEFL: Intensive Reading Training	1.Paragraph reading practice 2.Summarizing passages
11回	TOEFL:Reading and Listening Practice	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
12回	TOEFL: Intensive Listening Training	1.Shadowing and overlapping practice 2.Listening exercises 3.Preparation for presentation
13回	TOEFL: Listening and speaking Training	1.Shadowing and overlapping practice 2.Presentation
14回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

- 1.Weekly reading and listening home assignments
- 2.Writing home assignments

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Homework, including writing assignment (30%)

In-class contribution, including mini-presentation (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make this course exciting. みなさんの熱心な参加により授業の質が高まっていくのを実感しました。本年度もよい授業と一緒に作り上げていきましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken and TOEFL tests. Students will practice paragraph reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the contribution made in class (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水3/Wed.3

単位数: 1単位

定員制(36)

レベル3,4 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性: <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは英検 (準1級/1級) と IELTS の演習を行いながら「リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング」の4つの能力強化を目指します。

【到達目標】

- 1.Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2.Be able to understand main points of interview and lectures
- 3.Be able to give a mini-presentation on a given topic
- 4.Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing.(授業は演習形式で行います)

- 1.Clarifying objectives and goals (なぜ英語力強化を目指すのか、ゴールをどこに設定するかを明確にする)
- 2.Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検と IELTS テストの紹介と演習)
- 3.Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Orientation	1.Explanation of the course 2.Clarifying objectives and goals
2回	Introduction to Eiken	1.Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2.Reading & Listening practice to identify your strong and weak points (強みと弱点を知る)
3回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
4回	Eiken: Reading and Listening Practice	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
5回	Eiken: Intensive Listening Training #1	1.Listening practice 2.Shadowing and overlapping 3.Dictation to improve accuracy

6回	Introduction to IELTS	1.Explanation of the basic format of IELTS (IELTS について) 2.Reading practice 3.Listening practice
7回	IELTS: Reading and Listening Practice	1.Reading practice 2.Listening practice
8回	IELTS: Intensive Listening Practice #1	1.Shadowing and overlapping 2.Dictation 3.Summarizing
9回	IELTS: Intensive Listening Practice #2	1.Shadowing and overlapping 2.Strategies for listening Part 4
10回	IELTS Writing: Writing an Essay for Task 2 #1	1.Learning academic writing structures and analyzing model essays 2.Strategies for Task 2 3.Writing an essay
11回	IELTS Writing: Writing an Essay for Task 2 #2	1.Peer editing 2.Feedback 3.Rewriting your draft
12回	IELTS: IELTS speaking practice #1	1.Making notes 2.Talking about yourself
13回	IELTS: IELTS speaking practice #2	1.Talking about the topic
14回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)

2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Homework, including writing assignment (30%)

In-class contribution, including mini-presentation (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make this course exciting. みなさんの熱心な参加により授業の質が高まっていくのを実感しました。本年度もよい授業を一緒に作り上げていきましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken and IELTS tests. Students will practice paragraph reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the contribution made in class (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅰ

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制(36)

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、TOEIC Listening & Reading Test 600点以上を目指し、主にリーディングとリスニングの解答テクニックの習得を目標とします。また、600点の取得に必要な語彙力と文法の基礎知識を学び、実践力を養うことを目標とします。この授業では予習よりも復習が大切です。反復学習を行う中で自分のミス进行分析し、解決のアプローチを探す訓練をします。

【到達目標】

- ・TOEIC Listening & Reading Testを受験し、600点以上をとる。
- ・TOEIC受験に向けた学習の中で自分の苦手进行分析することができ。
- ・苦手に対して、解決のアプローチを考え実行することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

第2回から第13回授業において単語テストを行います。テキストに沿って、リスニング問題や長文読解問題などを解き、解説を行います。各自、解説・フィードバックを受けてテキストの復習をし、単語の暗記を行ってください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/Goal Setting	授業の進め方の紹介を行う。自己目標を定める。
2	Unit 1	Vocabulary quiz < Listening part> Restaurant
3	Unit 1 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Restaurant
4	Unit 2	Vocabulary quiz < Listening part> Department Store
5	Unit 2 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Department Store
6	Unit 3	Vocabulary quiz < Listening part> Train Station
7	Unit 3 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Train Station
8	Unit 4	Vocabulary quiz < Listening part> Transportation

9	Unit 4 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Transportation
10	Unit 5	Vocabulary quiz < Listening part> Post Office
11	Unit 5 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Post Office
12	Unit 6	< Listening part> Bank
13	Unit 6 cont.	< Reading part> Bank
14	Final	期末試験を実施する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第2回から第11回授業で単語クイズを行います。予習をして授業に参加してください。授業で間違った箇所を分析し、復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

教科書：『ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R Test』（石井隆之他著）成美堂

【参考書】

辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (30%), 単語テスト (20%), 期末試験 (50%)

原則として、学期期間中に4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。

毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

授業では単に答え合わせをするだけでなく、各問題の内容や背景を理解しながら授業を進めたいと思います。

学生の皆さんもできるだけ予習をして授業に臨んでください。

また、TOEIC試験の形式に慣れていたかのように、復習もしっかりと行って下さい。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】 This course is for students who aim to achieve 600+ points on TOEIC Listening & Reading Test. The course provides students the vocabulary and grammatical lessons. Students are expected to review their mistakes and improve their weaknesses.

【到達目標 (Learning Objectives)】 There are three goals for this course. 1) Achieve 600+ points at TOEIC Listening & Reading Test. 2) Analyze your own mistakes and weaknesses. 3) Come up with a solution to improve your weaknesses.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of the classroom)】 University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria / Policy)】

Class Participation (30%), Weekly Vocabulary Quiz (20%), Final Exam (50%)

In principle, no more than four absences per semester are allowed.

Late arrivals are considered up to 30 minutes after the class starts, and late arrivals of 30 minutes or more are considered absent.

Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制(36)

レベル2,3 (各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、TOEIC Listening & Reading Test 600点以上を目指すし、主にリーディングとリスニングの解答テクニックの習得を目標とします。また、600点の取得に必要な語彙力と文法の基礎知識を学び、実践力を養うことを目標とします。この授業では予習よりも復習が大切です。反復学習を行う中で自分のミスを分析し、解決のアプローチを探す訓練をします。春学期の「英語検定試験対策Ⅰ」受講による自身の到達度を確認し、より効果的な学習プランを立てましょう。

【到達目標】

- ・ TOEIC Listening & Reading Testを受験し、600点以上をとる。
- ・ TOEIC受験に向けた学習の中で自分の苦手を分析することができる。
- ・ 苦手に対して、解決のアプローチを考え実行することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

第2回から第13回授業において単語テストを行います。テキストに沿って、リスニング問題や読解問題などを解き、解説を行います。各自、解説・フィードバックを受けてテキストの復習をし、単語の暗記を行ってください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/Goal Setting	授業の進め方の紹介を行う。受講者は自分の前期到達度を確認し、後期の自己目標を立てる。
2	Unit 7	Vocabulary quiz < Listening part> Airport
3	Unit 7 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Airport
4	Unit 8	Vocabulary quiz < Listening part> Hotel
5	Unit 8 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Hotel Unit 7 & 8 Test
6	Unit 9	Vocabulary quiz < Listening part> Hospital
7	Unit 9 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Hospital
8	Unit 10	Vocabulary quiz < Listening part> Events and Performances

9	Unit 10 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Events and Performances Unit 9 & 10 Test
10	Unit 11	Vocabulary quiz < Listening part> College
11	Unit 11 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> College < Listening part> Office
12	Unit 12	< Reading part> Office
13	Unit 12 cont.	Unit 11 & 12 Test
14	Final	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第2回から第13回までは毎回授業で単語テストを行います。予習をして授業に参加すること。授業で間違った箇所を分析し、復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

教科書：『ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R Test』（石井隆之他著）成美堂

【参考書】

辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (30%), Weekly Vocabulary Quiz (20%), 期末試験 (50%)
原則として、学期期間中に4回以上欠席すると単位は与えられませんので注意してください。
毎回授業のはじめに出席カードを配りますので、その時に教室にいない学生は欠席とみなします。また、公共交通機関の遅延等を除いた遅刻も欠席とします。公共交通機関の遅延等の場合は遅延証明証を持参してください。

【学生の意見等からの気づき】

授業では単に答え合わせをするだけでなく、各問題の内容や背景を理解しながら授業を進めたいと思います。
学生の皆さんもできるだけ予習をして授業に臨んでください。
また、TOEIC試験の形式に慣れていただくように、復習もしっかりと行って下さい。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】 This course is for students who aim to achieve 600+ points on TOEIC Listening & Reading Test. The course provides students the vocabulary and grammatical lessons. Students are expected to review their mistakes and improve their weaknesses.

【到達目標 (Learning Objectives)】 There are three goals for this course. 1) Archive 600+ points at TOEIC Listening & Reading Test. 2) Analyze your own mistakes and weaknesses. 3) Come up with a solution to improve your weaknesses.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of the classroom)】 University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria / Policy)】 Class Participation (30%), Weekly Vocabulary Quiz (20%), Final Exam (50%)

In principle, no more than four absences per semester are allowed.

Late arrivals are considered up to 30 minutes after the class starts, and late arrivals of 30 minutes or more are considered absent.

Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA（英語 / English language education 200）	
英語検定試験対策Ⅰ	2017年度以降入学者
高橋 佳江	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木3/Thu.3	
単位数：1単位	
定員制(36)	
レベル2,3（各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/）	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

TOEIC(R)650点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低1回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。
この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。

【到達目標】

英語の文法力・読解力・聴解力を鍛え、TOEIC650点を目標にしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノート必ず持ってくる。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。
対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方を詳しく説明していく 初回のみ受講者数が不確定であるため対面授業ですがオンラインでも出席可
2	文法説明 第1課 Entertainment 1	TOEIC(R)で必要とする基礎的文法の説明
3	第1課 Entertainment 2	リスニング 疑問詞で始まる疑問文 1 設問の先読み 大会アナウンス
4	第1課 Entertainment 3	リーディング ウェブサイト広告 広告

5	第2課 Eating Out 1	第1課小テスト リスニング 疑問詞で始まる疑問文 2 電話メッセージ リーディング 品詞問題 広告 ウェブサイト 第2課小テスト リスニング 疑問詞で始まる疑問文 3 セミナー公演 リーディング 社内文書 Eメール
6	第2課 Eating Out 2	
7	第3課 Office Supplies 1	第3課小テスト リスニング 疑問詞で始まる疑問文 4 学会アナウンス リーディング 告知 オンラインチャット 第4課小テスト リスニング 一般疑問文(現在形) 交通情報 リーディング 接続詞・前置詞問題 パンフレット オンラインチャット
8	第3課 Office Supplies 2	
9	第4課 Hospital1	第5課小テスト リスニング 一般疑問文(過去形) 図表問題 ニュース放送 授業で学んだことを試験する。 まとめと解説
10	第4課 Hospital1 2	
11	第5課 Transportation 1	
12	第5課 Transportation 2	
13	第6課 Technology 1	
14	授業時試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
リスニング（教科書付属のCDその他）
NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェックなど行ってください。

【テキスト（教科書）】

語彙で高めるTOEIC® L&R TESTスコアアップ600点
GETTING THE EDGE FOR THE TOEIC® L&R TEST
松本 恵美子 / 浜田 英夫 / Sam Little / 穂 寛美 / 福井 美奈子 共著
2026年 成美堂
2,530円（本体2,300円+税）
ISBN 9784791973415

【参考書】

学校語彙で学ぶTOEIC(R)テスト[単語集]
成美堂（1700円）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60 %
小テスト 10 %
レポート課題・発言点 20 %
平常点 10 %
欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。
遅刻は3回で欠席1回に換算される。
各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【Outline (in English)】

Course outline

The aim of this course is to acquire the reading and listening skills for the TOEIC(R) L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC TEST.

Learning Objectives

This course will focus on grammar and listening skills with the goal of achieving a TOEIC(R) score of 650. Therefore, students are expected to prepare for the course, but are also expected to place emphasis on reviewing. In particular, students are expected to study listening at home every day. Students are expected to make their own study plans and take at least one exam to see the results and revise their study plans. Also, write a report on the results. For this purpose, it is desirable to take this class throughout the year if possible.

Students who take this class must attend the first class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Three tardies will count as one absence.

LANe200LA（英語 / English language education 200）		
英語検定試験対策Ⅱ		2017年度以降入学者
高橋 佳江		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木3/Thu.3		
単位数：1単位		
定員制(36)		
レベル2,3（各レベルの目安スコアはILAC掲示板の掲載資料から確認可能です。 https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo/ ）		
その他属性：〈優〉		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

TOEIC(R)650点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低1回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。
この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。

【到達目標】

英語の文法力・読解力・聴解力を鍛え、TOEIC650点台の英単語を目標にしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノート必ず持ってくる。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。
対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	TOEIC(R)に関する説明・情報、関連分野について
2	第6課 Technology 2	リーディング 語彙・語法問題 記事
3	第7課 Personnel1	第6課小テスト リスニング be動詞の疑問文(現在形) 研修案内
4	第7課 Personnel2	リーディング 求人広告 ダブルパッセージ (Web記事+Eメール)
5	第8課 Purchases 1	第7課小テスト リスニング be動詞の疑問文(過去形) 行動や予定 店内放送

6	第8課 Purchases 2	リーディング 代名詞 記事 ダブルパッセージ (Eメール+レビュー)
7	第9課 Architecture 1	第8課単語テスト リスニング 提案・勧誘の文 行事や予定 紗内告知
8	第9課 Architecture 2	リーディング 動詞問題 Eメール ダブルパッセージ (規則+Eメール)
9	第10課 Service 1	第9課単語テスト リスニング 依頼・許可を求める文 ホテル案内
10	第10課 Service 2	リーディング 広告 ダブルパッセージ (社内メモ+レビュー)
11	第11課 Vocabulary & Expression [Travel] 1	第10課小テスト リスニング 否定疑問文 図表問題 機内アナウンス
12	第11課 Vocabulary & Expression [Travel] 2	リーディング 関係詞 記事 ダブルパッセージ (旅程表とEメール)
13	第12課 Climate 1	第11課小テスト リスニング 選択疑問文 イベント案内
14	授業時試験	授業で学んだことを試験する。 まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
リスニング（教科書付属のCDその他）
NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト（教科書）】

語彙で高めるTOEIC® L&R TESTスコアアップ600点
GETTING THE EDGE FOR THE TOEIC® L&R TEST
松本 恵美子 / 浜田 英夫 / Sam Little / 菰 寛美 / 福井 美奈子 共著
2026年 成美堂
2,530円（本体2,300円+税）
ISBN 9784791973415

【参考書】

学校語彙で学ぶTOEIC(R)テスト[単語集]
成美堂（1700円）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60％
小テスト 10％
レポート課題・発言点 20％
平常点 10％
欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。
遅刻は3回で欠席1回に換算される。
各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【その他の重要事項】

秋学期のみ登録予定の学生も、教科書は春学期に購入すること

【Outline (in English)】**Course outline**

The aim of this course is to acquire the reading and listening skills for the TOEIC(R) L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC(R) TEST.

Learning Objectives

This course will focus on grammar and listening skills with the goal of achieving a TOEIC(R) score of 650. Therefore, students are expected to prepare for the course, but are also expected to place emphasis on reviewing. In particular, students are expected to study listening at home every day. Students are expected to make their own study plans and take at least one exam to see the results and revise their study plans. Also, write a report on the results. For this purpose, it is desirable to take this class throughout the year if possible.

Students who take this class must attend the first class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Three tardies will count as one absence.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Oral Communication I

2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

Intermediate

定員制(20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is an introductory course comprised of 32 units and two review classes that is designed to enable students to learn, practice and improve their practical abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form.

This is a communicative course with a strong focus on speaking and listening, but within these, we will focus on getting pronunciation of basic, simple, necessary words and phrases correct.

- In speaking, students will interact in practiced and free communicative exercises designed to enable them to speak simple, effective English covering a range of topics.

- Students will be asked to change partners frequently

【到達目標】

This course is designed to improve student conversational ability on wide range of everyday familiar topics. As well as fostering skills in speaking and listening the main goals are:

1. Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience orally
2. Through constant practice and reinforcement, students will be able to gain confidence and fluency to be able to mount simple conversations about daily topics with confidence.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Each of the classes will contain three units with

1. A warm-up exercise
2. A listening exercise
3. A structured conversation exercise
4. A grammar practice
5. A more complicated structured conversation exercise
6. A less structured/ free conversation exercise.

Speaking exercises will be conducted in pairs who are swapped frequently, and in groups of three or four students.

The instructor will give verbal feedback and make corrections to student work during each class. If the students have any difficulties, they may contact the instructor via the email address provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction and general outline of the course	Unit Topic: How are you Speaking content: Greeting people, saying goodbye

Class 2	Units 2, 3 &4 Unit Topics: Nice to meet you / Can you say that again? / Nice weather isn't it?	Speaking content: Introducing myself and others, asking for personal information, asking for repetition, making small talk
Class 3	Units 5, 6 &7 Unit Topics: I love hip hop! / My favorite movie is.../ What time is it?	Speaking content: Expressing likes and dislikes, asking about favorites, returning questions, asking about and telling the time
Class 4	Units 8, 9 &10 Unit Topics: Would you like to try kayaking? / Do you have any brothers? / She's pretty smart.	Units 8, 9 &10 Unit Topics: Would you like to try kayaking? / Do you have any brothers? / She's pretty smart.
Class 5	Units 11, 12 &13 Unit Topics: I love your shirt! / What is she wearing? / When do you get up?	Speaking content: Giving and responding to compliments, asking and describing what people are wearing, asking and describing routines
Class 6	Units 14, 15 &16 Unit Topics: When do you get there? / What do you do first? / What are you doing?	Speaking content: Asking follow-up questions, asking about &describing a sequence, asking about & describing ongoing activities
Class 7	Review Units 1-16	Go through review practices on key grammar points. Swap partners
Class 8	Units 17, 18, &19 Unit Topics: What's your place like? / Where can I get a lamp? / Where is the mall?	Speaking content: Asking about &describing a place, asking for &giving suggestions, asking about & describing locations
Class 9	Units 20, 21, &22 Unit Topics: Take a left / How much is the coffee? / Will you take \$20?	Speaking content: Asking & giving directions, asking about &giving prices, bargaining for prices
Class 10	Units 23, 24, &25 Unit Topics: Do you ever buy books? / Your phone is so cool / Do you eat much fruit?	Speaking content: Asking about &describing frequency, describing features, asking & talking about quantities
Class 11	Units 26, 27, &28 Unit Topics: We need onions / Do you eat a big lunch? / How does it taste?	Speaking content: Asking about &describing needs, describing what you eat, eating habits, asking about & describing food.
Class 12	Units 29, 30, &31 Unit Topics: I had a great weekend/ What time did you call?/ You won't believe this!	Speaking content: Talking and asking about past events, introducing news
Class 13	Unit 32: What are your plans?	Speaking content: Asking about &describing future plans

Class 14	Achievement Check Individual oral speaking tests with pairs facing the instructor	Individual oral speaking tests with pairs facing the instructor

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Required Textbook:

Jack C. Richards and David Bohlke, "Speak Now, Level 1",
Oxford University Press
ISBN 978-0-19-403015-1

【参考書】

The instructor will provide these.

In addition to the work in the textbook, the instructor will provide supplementary materials as needed/ necessary.

【成績評価の方法と基準】

Student evaluation will be based on the following criteria

1. Positive participation in speaking practice: (70%)
2. Short speaking tests (30%)

* Students missing more than three classes without adequate explanation cannot pass the course.

* Each non-explained absence will result in a 7% grade deduction

* Lateness (more than 5 minutes late, more than two occurrences) without adequate reason will negatively impact grades.

* Chatting in Japanese, non-attention will severely impact grades

【学生の意見等からの気づき】

This is the first time I have taught this course.

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

Addressing and Contacting the Instructor

1. Please address the instructor as Mr. Kallender
2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in Oral Communication I

I could not attend today / cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

Yours sincerely,

Taro Suzuki

【Outline (in English)】

In the units covered, students will practice listening and speaking writing exercises orally in an effective manner and practice in effectively expressing opinions, knowledge and experiences

While the focus is on speaking, students will develop their skills further through listening exercises.

In-class (immediate) feedback will be given as well as written feedback when necessary on writing tasks

- Students will be asked to change partners frequently

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Oral Communication II

2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

Intermediate

定員制(20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a follow-on course from Oral Communication comprised of 32 units and two review classes that is designed to enable students to learn, practice and improve their practical abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in the written form.

This is a communicative course with a strong focus on speaking and listening, but within these, we will focus on getting pronunciation of basic, simple, necessary words and phrases correct.

- In speaking, students will interact in practiced and free communicative exercises designed to enable them to speak simple, effective English covering a range of topics.

- Students will be asked to change partners frequently

【到達目標】

This course is designed to improve student conversational ability on wide range of everyday familiar topics. As well as fostering skills in speaking and listening the main goals are:

1. Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience orally
2. Through constant practice and reinforcement, students will be able to gain confidence and fluency to be able to mount simple conversations about daily topics with confidence.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、Z その他 /Other

【授業の進め方と方法】

Each of the classes will contain three units with

1. A warm-up exercise
2. A listening exercise
3. A structured conversation exercise
4. A grammar practice
5. A more complicated structured conversation exercise
6. A less structured/ free conversation exercise.

Speaking exercises will be conducted in pairs who are swapped frequently, and in groups of three or four students.

The instructor will give verbal feedback and make corrections to student work during each class. If the students have any difficulties, they may contact the instructor via the email address provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction and general outline of the course: Unit Topic: Where are you from?	Speaking content: Contractions/ starting and closing a conversation

Class 2	Units 2, 3 &4 Unit Topics: I'm tall and thin/ Alice is more serious/ All my friends text	Speaking content: Asking about &describing appearances, asking about & describing personalities, talking about quantities
Class 3	Units 5, 6 &7 Unit Topics: I've never had Thai food/ First grill the bread/ The service is great	Speaking content: Asking about &describing experiences, giving a series of instructions, reminding someone of something/ describing restaurants
Class 4	Units 8, 9 &10 Unit Topics: Are you ready to order? / I have a sore throat/ What should I do?	Units 8, 9 &10 Unit Topics: Are you ready to order? / I have a sore throat/ What should I do?
Class 5	Units 11, 12 &13 Unit Topics: I'd love to try that!/ Soccer is more exciting!/ I can write pretty well	Speaking content: Expressing wants and intentions, giving reasons, asking for comparisons, making comparisons, describing abilities, making comparisons, describing abilities, making recommendations.
Class 6	Units 14, 15 &16 Unit Topics: I'd have to have / I travel for free/ Is the manager there?	Speaking content: Expressing necessity/ lack of necessity, describing pros and cons, asking for someone on the phone, asking about a job
Class 7	Review Units 1-16	Go through review practices on key grammar points. Swap partners
Class 8	Units 17, 18, &19 Unit Topics: That sounds fun! / I'd love to go / I'm sorry but I can't	Speaking content: Talking about free time activities, showing interest, inviting someone, responding to an invitation, declining an invitation, giving an excuse
Class 9	Units 20, 21, &22 Unit Topics: Sorry I'm late / Did you go alone?/ Which do you prefer?	Speaking content: Apologizing, responding to an apology, asking double questions, describing past events, asking about preferences, describing preferences Video study and Q&A
Class 10	Units 23, 24, &25 Unit Topics: You must get a visa/ When is the next train?/ I usually wear	Speaking content: Expressing prohibitions and obligations, asking &describing prices and schedules, asking & describing general behavior
Class 11	Units 26, 27, &28 Unit Topics: What do you think? Can you do me a favor? What is it used for?	Speaking content: Asking for and offering ideas/ making and agreeing to requests, asking about and describing uses
Class 12	Units 29, 30, &31 Unit Topics: I think it's fun / I feel the same way / What would you do?	Speaking content: Asking for &giving, agreeing and disagreeing with opinions, asking about &discussing an imaginary situation.
Class 13	Unit 32: Then what happened	Speaking content: Describing a series of events Review exercises Units 17-32 swapping partners

Class 14 Achievement Check Individual oral speaking tests with pairs facing the instructor

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Required Textbook:

Jack C. Richards and David Bohlke, "Speak Now, Level 2",
Oxford University Press
ISBN 978-0-19-403016-8

【参考書】

The instructor will provide these.

In addition to the work in the textbook, the instructor will provide supplementary materials as needed/ necessary.

【成績評価の方法と基準】

Student evaluation will be based on the following criteria

1. Positive participation in speaking practice: (70%)
2. Short speaking tests (30%)

* Students missing more than three classes without adequate explanation cannot pass the course.

* Each non-explained absence will result in a 7% grade deduction

* Lateness (more than 5 minutes late, more than two occurrences) without adequate reason will negatively impact grades.

* Chatting in Japanese, non-attention will severely impact grades

【学生の意見等からの気づき】

This is the first time I have taught this course

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

Addressing and Contacting the Instructor

1. Please address the instructor as Mr. Kallender
2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in Oral Communication 2

I could not attend today / cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

Yours sincerely,

Taro Suzuki

【Outline (in English)】

In the units covered, students will practice listening and speaking writing exercises orally in an effective manner and practice in effectively expressing opinions, knowledge and experiences

While the focus is on speaking, students will develop their skills further through listening exercises.

In-class (immediate) feedback will be given as well as written feedback when necessary on writing tasks

- Students will be asked to change partners frequently

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Oral Communication I

2017年度以降入学者

TIMOTHY B BETJEMAN

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水3/Wed.3

単位数: 1単位

Intermediate

定員制(20)

その他属性: <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This elective course is designed to help students further develop their spoken English skills from a pre-intermediate starting point.

Through guided discussion, students will explore modern issues connected to world affairs and future changes in technology and society. The course also incorporates targeted activities that emphasize pronunciation, rhythm, and intonation in order to improve overall oral fluency and clarity.

【到達目標】

Students will practice techniques that allow them to use their voices more effectively, leading to smoother and more natural communication. Emphasis will be placed on expressing complete ideas rather than focusing on individual words.

The course will incorporate TED Talks, BBC video content, online English-learning platforms, and current news articles to help students become more confident, effective, and proficient users of English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students will develop and practice speaking skills using A++, BOOST, and Yes/No/Key/Or questioning techniques. Listening skills will be reinforced through shadowing exercises. Speaking practice will also include the preparation and delivery of in-class and/or online presentations.

Assignments will be issued and received using Google Classroom. Written work done in class will receive oral feedback, and assignments will receive written feedback where required.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Overview of the course, grading system, and classroom policies. Accessing Google Classroom.
2	Unit 1: Technology	Introduction to technology-related generative applications; practice using A++ to encourage extended spoken responses.
3	Technology	Discussion of technology topics with a focus on expanding original statements using BOOST.

4	Technology: Reading	BBC articles on transportation systems; practice forming Yes/No/Key/Or questions.
5	Technology: Presentation skills	TED Talk viewing with presentation analysis and discussion; focus on presentation techniques.
6	Unit 3: Culture	Introduction to culture-related vocabulary; oral practice using A++.
7	Culture	Theme-based discussions with emphasis on building upon original statements. Introduction of the skit/play activity.
8	Culture: Research a country	Research-based exploration of a theme-related topic. Practice negative and tag questions. Preparation of a short presentation on key cultural elements.
9	Culture: Presentation Skills	Delivering presentations on another culture using visual or presentation aids.
10	Unit 5: Beliefs	Introduction of key vocabulary related to belief systems; discussion of beliefs and cultural perspectives. Pronunciation practice.
11	Beliefs	Listening practice and shadowing exercises. Preparation of a short presentation. Discussion of skit/play group project for week 13.
12	Beliefs	Delivery of a short presentation on beliefs.
13	Presentation	Small-group skit/play presentations.
14	Review and Analysis	Continuation of small-group skit/play presentations. Viewing and evaluating a TED presentation for academic or social speaking style.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students will be expected to write a short summary of a News Article each week, and be prepared to discuss it at the beginning of each class.

Students will also work in small groups to prepare a short skit/play which includes vocabulary/grammar concepts from the class. These will be presented in class in weeks 13 and 14.

【テキスト (教科書)】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 3,000 to access The Study Centre.

【参考書】

Materials provided as necessary through Google Classroom, or by the instructor in class.

【成績評価の方法と基準】

Class Participation/Mini-presentations: 25%

Unit Tests: 30%

Assignments: 30%

Small Group Presentation: 15%

In principle, students may not exceed three absences per semester in order to receive academic credit for the course.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring a notebook and pencil or pen to class, and have access to a laptop, and the ability to download English apps (for example, through a smartphone).

【Outline (in English)】

This is an elective course which focuses on building English oral communication skills. Students will develop and practice confident and natural speech habits through exploration and discussion of globally significant themes such as emerging technologies, contrasting cultures, and diverse belief systems. Video and audio segments, TED Talks, BBC Videos, and other electronic resources will be used to familiarize students with clear expression and pronunciation skills, and to help develop listening skills.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Oral Communication II 2017年度以降入学者

TIMOTHY B BETJEMAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

Intermediate

定員制(20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This elective course provides students with the opportunity to further develop their oral communication abilities. The course focuses on strengthening both person-to-person communication skills and presentation skills.

TED Talks and academic presentations will be used to examine and compare different presentation styles. Students will be required to give short presentations on a range of globally significant topics including technology, politics, and the environment.

【到達目標】

The aim of this course is to further strengthen students' oral communication skills. Student will gain experience preparing and delivering a variety of presentations and unaided speeches. They will also practice emphasis, eye contact, rhythm, and body gestures to help make their oral communication more powerful and dynamic.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

Students will develop and practice speaking skills using A++, BOOST, and Yes/No/Key/Or questioning techniques. Listening skills will be reinforced through shadowing exercises. Speaking practice will also include the preparation and delivery of in-class and/or online presentations.

Assignments will be issued and received using Google Classroom. Written work done in class will receive oral feedback, and assignments will receive written feedback where required.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction & Review	Self-introductions. Review of Semester 1, goals and expectations, grading policy, Study Centre and Google Classroom overview.
2	Unit 7: The News	Introduction of theme-related vocabulary; oral practice using A++ and BOOST.
3	The News	Shadowing practice. Preparation of a TV news-style presentation.
4	TED Talk – How to Speak So That People Want to Listen	Small-group presentations based on the Week 3 task. Analysis and discussion of presentation skills.

5	The News	TED Talk: How to captivate audiences. Worksheet activities.
6	Unit 9: Ecotourism	Introduction of theme-related vocabulary; oral practice using A++ and BOOST.
7	Ecotourism	Shadowing with text. Preparation of a famous speech.
8	Ecotourism	Presentation or debate on eco-tourism. Continued preparation of a famous speech.
9	Academic style	Video presentation. Analysis and discussion; focus on presentation techniques.
10	Presentation using AI tools	Introduction of theme-related vocabulary; oral practice using A++ and BOOST.
11	Unit 11: Environment	Discussion of environmental issues and shadowing practice.
12	Environment	BBC articles on soil and water. Video analysis and worksheet activities.
13	Famous speech	Delivery of famous speech presentations.
14	Presentation	Video presentation analysis and discussion; focus on presentation skills.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Class preparation will include logging English language activities for the week, and preparing a short summary of a News item, which students should be prepared to discuss at the start of each class.

Students will work in small groups to prepare a short news-style presentation. They will also work independently to prepare an excerpt from a famous historical speech.

【テキスト（教科書）】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like it to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 3,000 to access The Study Centre.

【参考書】

References will be given by the instructor during class, or added to Google Classroom as Materials where necessary.

【成績評価の方法と基準】

Class Participation/Mini-presentations: 25%

Unit Tests: 30%

Assignments: 30%

Famous Speech Presentation: 15%

In principle, students may not exceed three absences per semester in order to receive academic credit for the course.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring a notebook and pencil or pen to class, and have access to a laptop, and the ability to download English apps (for example, through a smartphone).

【Outline (in English)】

This elective course provides students with the opportunity to further develop their oral communication abilities. The course focuses on strengthening both person-to-person communication skills and presentation skills.

TED Talks and academic presentations will be used to examine and compare different presentation styles. Students will be required to give short presentations on a range of globally significant topics including technology, politics, and the environment.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English through Movies and Drama I 2017年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火4/Tue.4

単位数: 1単位

定員制(20)

その他属性: <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

テキスト *Integrated Skills Through Movies* により、映画について書かれたエッセイを精読し、映画に出てくる口語表現が身につくよう練習します。

【到達目標】

1. 楽しみながら英語を読む習慣を身につけます。
2. 映画の内容について理解を深めます。
3. エッセイに出てくる語句や文法の知識を正確に身につけます。
4. 映画に出てくる口語表現を身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1. 映画の中で注目すべき英語表現を理解します。
 2. 単語や文法を確認しながら各課のエッセイを精読します。
 3. 映画の見どころを解説します。
 4. エッセイ理解のための練習問題と、1で学んだ表現をより深く理解するための練習問題に取り組みます。
- 授業内で随時フィードバックを行います。期末試験は返却して詳しく解説します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要を説明します。(受講を希望する人は、必ず初回授業に出席してください。初回授業にはテキスト不要です。オリエンテーションを受けてから購入してください。)
第2回	Chapter 1: Finding Mr. Right	<i>Bridget Jones's Diary</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第3回	Chapter 2: Email: A Communication Revolution	<i>You've Got M@il</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第4回	Chapter 3: Love and Courage	<i>Titanic</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第5回	Chapter 4: Working Women and The American Dream	<i>Working Girl</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第6回	Chapter 6: Over the Rainbow	<i>The Majestic</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第7回	Chapter 7: Figuring Life Out	<i>Cast Away</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。

第8回	Chapter 8: Who am I?	<i>Bicentennial Man</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第9回	Chapter 9: Thrills and Chills	<i>Speed</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第10回	Chapter 10: The Price of Fame	<i>The Bodyguard</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第11回	Chapter 11: Hollywood Laughs at Hollywood	<i>America's Sweethearts</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第12回	Chapter 12: Getting Rid of the Politicians	<i>Dave</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第13回	復習と春学期末テスト	春学期に学んだエッセイと映画の中のフレーズについて復習と筆記試験を行います。
第14回	筆記試験のフィードバックと秋学期授業 (English through Movies & Drama II) の予告	筆記試験を返却して徹底解説し個別のフィードバックも行います。秋学期の課題映画 <i>Notting Hill</i> について解説します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストのエッセイ読解と各練習問題は、予習を前提として授業を進めます。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。その他に各映画を自主的に鑑賞することが望ましいです。

【テキスト (教科書)】

Integrated Skills Through Movies (『映画英語ワークショップ』) 朝日出版社

【参考書】

特に指定しません。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。合計4回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

「映画を楽しみながら英語を学べてよかった」、「知っているはずの文法項目でも、抜けていたところに気づけてよかった」などと、好評でした。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309)教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoomでも動画共有を行うので、使用機器 (PC利用のこと) とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoomではお顔出しと静かな環境からの参加をお願いしています。その他、教材・資料の配布や課題提出のため、学習支援システムも利用します。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

You will be expected to read intensively essays in *Integrated Skills Through Movies* and to practice key phrases in movies. Before/after each class, you will be expected to spend one hour to learn the class materials. Grading will be decided based on active participation(50%) and final exam(50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English through Movies and Drama II 2017年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火4/Tue.4

単位数: 1単位

定員制(20)

その他属性: <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

*Notting Hill*により口語表現を学びます。この作品はいわゆるロマンティックコメディですが、日常会話に応用しやすい比較的平易な表現を豊富に含んでいます。また、登場人物の台詞からイギリス英語とアメリカ英語の違いも学びます。

【到達目標】

1. 口語表現に親しみ、応用できるよう習得する。
2. Authenticな英語に対するリスニング力を向上させる。
3. イギリス英語とアメリカ英語の違いを学ぶ。
4. シナリオを読むことに慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

このテキストの各ユニットは、プレタスク (語句や表現の予備知識を習得する)、聴き取り、表現練習、イギリス英語とアメリカ英語の比較、映画本編の SCRIPT 等から構成されています。プレタスク、聴き取り、表現練習などのタスクから取り組み、英米語の比較を経て、SCRIPTの一部を読みます。授業内で随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要を説明します。履修を希望する人は必ず参加してください。(初回授業にテキストは不要です。オリエンテーションを受けてから、購入して下さい。)
第2回	Unit 1: William's Notting Hill & She'	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第3回	Unit 2: Surreal, But Nice	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第4回	Unit 3: A Goddess Is A Movie Star	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第5回	Unit 4: Birthday Party	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義

第6回	Unit 5: A Date With Anna	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第7回	Unit 1 ~ Unit 5 の復習	Unit 1 ~ Unit 5 で学んだ口語表現を復習します。
第8回	Unit 6: She's Gone	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第9回	Unit 7: She's Back	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第10回	Unit 8: Rude Awakening -Ain't No Sunshine	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第11回	Unit 9: Like Me Again	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第12回	Unit 10: The Right Decision -The Meaning of My Life Is She	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第13回	復習と秋学期末試験	<i>Notting Hill</i> で学んだ英語表現について復習と筆記試験を行います。
第14回	筆記試験のフィードバックと学習アドバイス	筆記試験を返却して徹底解説し個別のフィードバックも行います。英語学習に適した映画についての講義を行います。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキスト前半の練習問題は予習を前提に進めます。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Notting Hill ー映画総合教材『ノッティング・ヒルの恋人』新装版 (松柏社)

【参考書】

特に指定しません。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。合計4回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

テキストのタスクのバランスが良いので、取り組みやすいようです。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309)教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoomでも動画共有を行うので、使用機器 (PC利用のこと) とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoomではお顔出しと静かな環境からの参加をお願いしています。その他、教材・資料の配布や課題提出のため、学習支援システムも利用します。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

You will be expected to learn and practice vocabularies and phrases in the movie *Notting Hill*, understanding the content. Before/after each class, you will be expected to spend one hour to learn the class materials. Grading will be decided based on active participation(50%) and final exam(50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)		
English through Movies and Drama I		
2017年度以降入学者		
舟橋 美香		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月4/Mon.4		
単位数：1単位		
定員制(20)		
その他属性：〈優〉		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ヒュー・グラント主演のイギリスのコメディ映画『アバウト・ア・ボーイ』を英語字幕付きで見て、そのスクリプト（映画脚本）と、さまざまな種類の **Exercises** の載ったテキストを使い、日常的な英語を理解し、学ぶ。映画を見る前に、単語の確認をしてから、映画を見て、読解問題を解き、CDで、一部の聞き取り問題を行ってから、コメディ映画特有の比喩的な表現と **British English** の問題を解く。これらの作業から、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。映画が扱う、さまざまな現代の問題について、そして、イギリス事情についても理解を深める。また、各 **Unit** 終了後に、'Extra Questions' に回答してもらい、その後、答え合わせとディスカッションを行う。

【到達目標】

映画を見て、英語特有の表現（特に、イギリスの口語）を学び、スクリプトの音源のCDを聞き、リスニング能力を向上させ、内容については、テキストで問題を解き、スクリプトを読むことで、理解を深めることができる。映画で使用された語彙を理解し、会話でつかえる表現を使えるように身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

予習を前提として授業を行います。教科書のスクリプトの英文を読んでから答えたはずの、各エクササイズに答えてもらいます。授業では、映画を見る前のエクササイズの答え合わせをしてから、映画を見てから答える問題を解いて、理解を深めます。適宜、スクリプト（映画脚本）の部分を読むことで、理解を深める。各 **Unit** 終了後に、'Extra Questions' のシートを配布し、授業中に書き入れてもらう。その場で答え合わせをし、解説後に回収。次回の授業で返却する。学期末のレポートは、Word フォーマットで、「学習支援システム（Webclass）」から提出してもらい、採点に、コメントをつけて、フィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション。	テキストの説明と、どこを予習すべきかなどを説明。また、「学習支援システム（Webclass）」の教材のところに、Youtube の予告編を見て、どんな映画が想像して、ディスカッションする。テキストを手配しておく。

2	Unit 1 A Boy and a Man (万が一、テキストがまだない学生は、学習支援システム (Webclass) の教材に置いてある Unit 1 の Exercises と Script を予習して授業に臨むように。) 次週以降は、テキストがあるという前提で授業する。	ふたりの男子。 映画の脚本の読み方を学び、Unit 1 の脚本を読んでから、Exercises を答える。テキストの予習復習をする。
3	Unit 1 A Boy and a Man (続き)	ふたりの男子。(続き) Extra Questions の Unit 1 に取り組み、答え合わせをしてから、ディスカッション。
4	Unit 2 Will joins SPAT	ウィルSPATに入会。テキストの予習復習をする。
5	Unit 3 You Need a Backup	支えが要るんだ。テキストの予習復習をする。
6	Unit 4 Will and Marcus Become Mates	ウィルとマーカスの奇妙な友情。テキストの予習復習をする。
7	Unit 5 Marcus's Fashion Makeover	マーカスを変身させよう。テキストの予習復習をする。
8	Unit 6 Will's First Real Christmas	初めての本物のクリスマス。テキストの予習復習をする。
9	Unit 7 The Boys Get Crushes	ふたりが同時に恋をした。テキストの予習復習をする。
10	Unit 8 Lies, Half-truths & Honesty	「ウソ」と「半端なホント」と「ホントのホント」。
11	Unit 9 Marcus's Gift to Mum	テキストの予習復習をする。お母さんへの贈り物。テキストの予習復習をする。
12	Unit 10 No Man Is an Island	人は孤島ではない。テキストの予習復習をする。
13	Unit 1-10 復習 (Unit 9 までしか見られない可能性があります。) Unit 10(?) & Unit 1-5	日本語字幕で、Unit 1 から、最後まで、一気に見て復習する。時間的に Unit 10 まで行かない場合は、翌週に、Unit 10 だけ日本語字幕で見る。
14	復習と学期末レポートの説明	要望に応じて、難しいと思った場面を、英語字幕で、復習する。テキストの巻末の「チャック」を学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習としては、かならず、テキストの後半に置かれた映画脚本 (script) を辞書を引きながら、読んでから、テキストの問題を解くように。その際、注(Notes) に重要な情報があるので、見落とさないようにしてほしい。

【テキスト（教科書）】

Peter Hedges/ Chris Weitz & Paul Weitz, 神谷久美子、Kim R.Kanel 『About a Boy』松柏社

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

各時間の発表、授業への貢献度を含めた平常点を30%、授業で回収する書き込みシートを20%、学期末のレポートを50%で採点する。各授業中に、シートを回収するので、予習して、毎回出席すること、を、つよく勧める。欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

学生は楽しんでいましたようです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

赤ペン

【Outline (in English)】

Develop English skills through watching a film called About a Boy, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

Study textbook, through reading each script and solving questions for each week, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 50% and the final paper 50%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	
English through Movies and Drama II	2017年度以降入学者
舟橋 美香	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：月4/Mon.4
単位数：1単位	
定員制(20)	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

リチャード・カーティスが脚本・監督し、ヒュー・グラント、リーアム・ニーソン、コリン・ファース、キーラ・ナイトレイ、ビル・ナイなど、イギリス出身の俳優が綺羅星の如く登場し、さまざまな恋模様を描かれる映画 *Love Actually* を、英語字幕付きで見て、そのスクリプトと問題の載ったテキストを使い、映画を見てから、テキストでスクリプトを読み、問題を解くことで、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上ばかりでなく、英作文能力アップを目指す。また、英語力アップだけでなく、イギリスを構成する様々な登場人物たちが話す英語から、階級や立場によって異なるイギリスで話されている英語についても学ぶ。

【到達目標】

映画を見て、英語特有の表現を学び、リスニング能力を向上させ、内容については、スクリプトを読み、テキストで問題を解くことで、理解を深めることができる。また、映画には、さまざまな英語が話されるので、実際に話される英語の聞き取り能力もアップさせる。映画で使用されている頻出単語をつかった英文作成問題によって、正しい英文を書く力も養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

予習を前提にした授業を行う。各章のスクリプト（映画脚本）と問題をあらかじめ予習している状態で、映画を見る前にやる教科書のエクササイズを解いてから、CDで映画のスクリプトを聴きながら、テキストのスクリプトの部分を読む。その後、各週の映画を見て、テキストの問題を解いて理解を深める。各Unitのテキストを終えてから、小テストを行い、答え合わせをしてから回収します。また、予習用に「単語テスト（Vocabulary Test）」を配布しますので、書き入れて、次週持ってきてください。学期末のレポートは、「学習支援システム（Webclass）」に提出してもらい、採点し、コメントをつけて、フィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	テキストのどこを予習すべきかを含めた授業の説明。テキストを手配しておく。映画の脚本 (script) の読み方について、解説。

2	Unit 1 Love Actually Is All Around クリスマス5週間前のロンドン。様々な人物登場。	Vocabulary Quiz を行ってから、テキストのPreviewing 問題。その後、映画を英語字幕で見てから、First Viewing 問題。ふたたび、映画の脚本 (script) の読み方について解説してから Previewing の答え合わせをしてから、映画を見て、問題に答える。登場人物が多く、難しいため、Unit 1 をゆっくり取り組む。
3	Unit 1 Love Actually Is All Around (続き)	Second Viewing 以降の問題。Daniel たちの物語。(以降の週も同じ流れ。)
4	Unit 2 Agony of Being in Love	復習のため、Unit 1 の Unit Quiz をおこない、答え合わせをしてから回収。その後、Unit 2 に入る。Daniel たちの物語。(以降の週も同じ流れ。)
5	Unit 2 の問題の残りをしてから、Unit 3 に入る。	授業の進行によって、Unit 2 の続きになるか、Unit 3 に入る。
6	Unit 3 Feel Uncomfortable?	6組の人物たちの想い。
7	Unit 4 Have You Gone Completely Insane?	新たな恋の展開？。
8	Unit 5 It's for you	Daniel の奮闘。他の登場人物の中には、自分の恋心に気づくものもいて、、、。
9	Unit 6 You're Beautiful	クリスマスプレゼント問題発生。
10	Unit 7 Merry Christmas	アメリカに到着する Colin。プレゼント問題がまたまた発生。
11	Unit 8 The Time to Be with the People You Love	ついにクリスマス。様々な想いが交錯。
12	Unit 9 All I want for Christmas is You	すべての恋がクライマックスに。
13	日本語字幕で映画の冒頭から、なるべく最後の方まで、復習。Unit 1-9 復習。	日本語字幕で、なるべく映画の最後まで見て、復習する。12回目の授業で見られなかった映画の最後までを日本語字幕で復習。
14	Unit 10 Let's Review! 復習と学期末レポートの説明。	テキストの最初から最後まで復習しておく。授業では、テキストの Unit 10 の A B を答え合わせ。(レポートは学習支援システム (Webclass) で、Word ファイルで提出してもらうので、その説明。)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。テキストの予習復習をする。辞書を引きながら、テキストのスクリプトに目を通してから、テキストの前半に置かれている各Unitの問題を解いておく。とくに、英作文は、口頭で発表してもらうので、テキストでの使われ方だけでなく、辞書や用例を参考にしながら、予習で書いておく。Script を読むときは、注 (Notes) もしっかり予習しておく。予習の際は、英作文問題もきちんと書いてくるように。

【テキスト（教科書）】

仁科恭徳監修、藤原康弘／鎌倉義士／吉川祐介 編著『Love Actually』松柏社

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

各時間に答え合わせの後に回収する「Vocabulary Test」&「Unit Quiz」をそれぞれ10%、合計で20%。各授業におけるリアクションを含めた平常点を30%、学期末のレポートを50%で採点する。

各課題未提出あるいは欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

登場人物が多く、各ユニットを終えるのに、最初の頃は、かなり時間がかかったが、かなり力がついてように見られる。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

赤ペン

【Outline (in English)】

Develop English skills through watching a film called *Love Actually*, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

Study textbook, through reading each script and solving questions for each week, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 50% and the final paper 50%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

TOEIC(R) I 2017年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火5/Tue.5

単位数: 1単位

Intermediate

定員制(20)

その他属性: <優>

【授業の概要と目的(何を学ぶか)】

「TOEIC® って何?」という入門レベルの話題から出発しますが、秋学期授業終了時には、TOEIC® で問われる分野知識・言語スキルを一通り網羅できるよう、春学期から出題内容・言語スキルを系統的に学んでいきます。目標スコアは、600点~630点(テキストの目標スコアは600点)です。

【到達目標】

TOEIC® の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

主として、後述のcore textに沿った授業ですが、単なるTOEIC® 形式の問題演習だけでなく、言語知識・スキルが定着しやすいよう、身近な英語リソースの紹介を行いながら、クラス授業を展開します。進捗を見計らって、e-learning等の個別問題演習も行います。授業内で随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	春学期・秋学期の概要とレベルの説明。(受講を希望する人は必ず参加してください。初回授業にテキストは不要です。オリエンテーションを受けてから、購入してください。)
第2回	Unit 1: Travel (名詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第3回	Unit 2: Dining Out (形容詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第4回	Unit 3: Media (副詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第5回	Unit 4: Entertainment (時制を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第6回	Unit 1~4	復習のためのポイント講義と問題演習
第7回	Unit 5: Purchasing (主語と動詞の一致を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第8回	Unit 6: Clients (能動態・受動態を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。

第9回	Unit 7: Recruiting (動名詞・不定詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第10回	Unit 8: Personnel (現在分詞・過去分詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第11回	Unit 5~8	復習のためのポイント講義と問題演習
第12回	Interview	個別の面接試験で、テキスト学習の定着度を確認しアドバイスを行います。
第13回	復習と春学期末テスト	春学期に学んだ単語・フレーズについて復習と筆記試験を行います。
第14回	春学期の総括	期末テストを返却して解説します。秋学期授業の予告、夏季休暇中の勉強のしかたなどを説明し、個別指導を行います。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

下記Core textや関連配布プリントの予習を前提として授業を進めます。秋学期12月のTOEIC® 本試に向けて、各自自分の学習計画を立てるよう心掛けてください。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

Score Booster for the TOEIC® L&R Test Intermediate (金星堂)
そのほか、プリント教材

【参考書】

URL (例)

<http://heathrow.com/><https://www.expedia.co.uk/>

【成績評価の方法と基準】

平常点(40%)、Interview(20%)、期末テスト(40%)から総合的に評価します。合計4回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

通年履修者の多くが、目標スコアを達成できたようです。また、さらなるスコア向上を目指して履修後もTOEIC® を受ける人が多く、少人数クラスならではのコミュニケーションが学習意欲を維持する上で効果的だったのではと考えています。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309)教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoom授業では、使用機器(PC利用のこと)とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoom授業ではお顔出しと静かな環境からの参加をお願いしています。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

We will start with the introductory topic, 'What it is like the TOEIC® test?' Our final goal for a series of 'TOEIC(R)I・II' is to acquire knowledge and skills required for improving TOEIC® scores. We will learn such knowledge and skills systematically from the spring semester. By the end of the course, students should get familiar with the testing types. Before/after each class, you will be expected to spend one hour to learn the core material. Grading will be decided based on active participations(30%), interview(30%)and final exams(40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

TOEIC(R) II

2017年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火5/Tue.5

単位数: 1単位

Intermediate

定員制(20)

その他属性: <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期の学習を踏まえて、秋学期はとくにビジネスシーンを意識した内容に取り組みます。秋学期終了時には、TOEIC® で問われる分野知識・言語スキルを一通り網羅できるよう、系統的に学んでいきます。目標スコアは、600点～630点(テキストの目標スコアは600点)です。

【到達目標】

TOEIC® の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。12月のTOEIC® 本試は全員に受験していただく予定です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

主として、後述のcore textに沿った授業ですが、単なるTOEIC® 形式の問題演習だけでなく、言語知識・スキルが定着しやすいよう、身近な英語リソースの紹介を行いながら、クラス授業を展開します。進捗を見計らって、実践力を養う一斉小テストも行います。授業内で随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし / No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	春学期の学習内容の復習、秋学期の学習計画の説明などを行います。(受講を希望する人は必ず参加してください。秋学期からの受講を検討している人は、初回授業にテキストは不要です。オリエンテーションを受けてから、購入してください。)
第2回	Unit 9: Advertising (代名詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第3回	Unit 10: Meetings (比較を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第4回	Unit 11: Finance (前置詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第5回	Unit 8～11	復習のためのポイント講義と問題演習
第6回	Unit 12: Offices (接続詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第7回	問題演習 (1)	パート別に制限時間を設けての問題演習

第8回	問題演習 (2)	パート別に制限時間を設けての問題演習
第9回	Unit 13: Daily Life (前置詞と接続詞の違いを学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第10回	Unit 14: Sales & Marketing (関係代名詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第11回	Unit 15: Events (語彙の結びつきを学ぶ)	テキストによるTOEIC® 形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第12回	Interview	個別の面接試験で、テキスト学習の定着度を確認しアドバイスをを行います。
第13回	復習と秋学期末テスト	秋学期に学んだ単語・フレーズについて復習と筆記試験を行います。
第14回	秋学期の総括	期末テストを返却して解説します。
		12月のTOEIC® スコアレポート提出後、学生本人の希望に応じて個別指導を行います。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

下記Core textや関連配布プリントの予習を前提として授業を進めます。12月のTOEIC® 本試に向けて、各自自分の学習計画を立てるよう心掛けてください。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

Score Booster for the TOEIC® L&R Test Intermediate (金星堂)
そのほか、プリント教材

【参考書】

『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 12』(Educational Testing Service)

URL (例)

<http://heathrow.com/><https://www.expedia.co.uk/>

【成績評価の方法と基準】

平常点 (30%)、Interview (20%)、期末テスト(30%)、12月TOEIC® 本試のスコア (20%)から総合的に評価します。合計4回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

通年履修者の多くが、目標スコアを達成できたようです。また、さらなるスコア向上を目指して履修後もTOEIC® を受ける人が多く、少人数クラスならではのコミュニケーションが学習意欲を維持する上で効果的だったのではと考えています。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309)教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoom授業では、使用機器(PC利用のこと)とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoom授業ではお顔出し参加と静かな環境からの参加をお願いしています。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

Our final goal for a series of "TOEIC(R)I・II" is to acquire knowledge and skills required for improving TOEIC® scores. We will continue to learn such knowledge and skills systematically. Especially in the fall semester, we will focus on a variety of business situations. By the end of the course, students should reach their target score in the TOEIC® testing. Before/after each class, you will be expected to spend one hour to learn the core material. Grading will be decided based on active participations(30%), interview(20%), final exam(30%) and TOEIC® score(20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

TOEIC(R) I

2017年度以降入学者

八代 華子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

Intermediate

定員制(20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、TOEICの対策を重点的に行うことによって、TOEICのスコアアップを図ることを目的とします。具体的にはTOEIC600点以上を目指します。

【到達目標】

以下の3点を到達目標とします。

- 日常生活やビジネスの様々な場面で使われる単語や表現を聞き取れること
- TOEICに頻出する文法の知識を習得すること
- 限られた時間内に英文の大意を把握すること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業ごとに、各UnitのListening SectionとReading Sectionを交互に行います。テキストの問題を解いてもらったのち、授業内で解説を行います。また毎回の授業でTOEICに頻出する単語の小テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	Unit1を例に、授業の概要を説明します。
第2回	Unit2 Offices	(Listening)
第3回	Unit2 Offices	(Reading)
第4回	Unit3 General Business	(Listening)
第5回	Unit3 General Business	(Reading)
第6回	Unit4 Manufacturing	(Listening)
第7回	Unit4 Manufacturing	(Reading)
第8回	Unit5 Communication	(Listening)
第9回	Unit5 Communication	(Reading)
第10回	Unit6 Health	(Listening)
第11回	Unit6 Health	(Reading)
第12回	Unit7 Finance and Budgeting	(Listening)
第13回	Unit7 Finance and Budgeting	(Reading)
第14回	試験・まとめと解説	試験実施後、解説と授業のまとめを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

各UnitのKey Vocabularyの単語は、事前に意味や発音をよく調べておいてください。授業後にはテキストの設問を再度解いてみてください。

【テキスト（教科書）】

吉塚弘/Graham Skerrett, BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST-ADVANCED- TOEIC L&R TESTへの総合アプローチ-ADVANCED-, 2023年. 2,750円（税込）

【参考書】

授業内で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 50%（前述の到達目標の達成度を評価）

小テスト 30%（単語の意味と綴りの理解度を評価）

平常点 20%（予習を含む授業への参加を評価）

- ・欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得は不可となります。
- ・遅刻は授業開始時間30分までとし、3回の遅刻で欠席1回と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【その他の重要事項】

初回はオンデマンド形式での実施とします。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to improve students' TOEIC scores by focusing on TOEIC preparation.

Specifically, students are expected to aim for a TOEIC score of 600 or higher.

【Learning Objectives】

The following are the learning objectives of this course:

- ・ To understand words and expressions used in everyday and business situations through listening.
- ・ To learn basic grammatical rules.
- ・ To understand the main ideas of English texts in a limited time.

【Learning activities outside of classroom】

・ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

・ Students are required to check the meanings and pronunciations of the key vocabulary in each unit in advance. After class, they should try answering the questions in the textbook again.

【Grading Criteria/Policy】

・ Final Examination: 50%

Assesses the extent to which the learning objectives stated above have been achieved.

・ Quizzes: 30%

Assess students' understanding of vocabulary meanings and spelling.

・ Class Participation: 20%

Assesses participation in class, including preparation for lessons.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

TOEIC(R) II

2017年度以降入学者

八代 華子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

Intermediate

定員制(20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、TOEICの対策を重点的に行うことによって、TOEICのスコアアップを図ることを目的とします。具体的にはTOEIC600点以上を目指します。

【到達目標】

以下の3点を到達目標とします。

- 日常生活やビジネスの様々な場面で使われる単語や表現を聞き取れること
- TOEICに頻出する文法の知識を習得すること
- 限られた時間内に英文の大意を把握すること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業ごとに、各UnitのListening SectionとReading Sectionを交互に行います。テキストの問題を解いてもらったのち、授業内で解説を行います。また毎回の授業でTOEICに頻出する単語の小テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	Unit8を例に、授業の概要を説明します。
第2回	Unit9 Purchasing	(Listening)
第3回	Unit9 Purchasing	(Reading)
第4回	Unit10 Corporate Development	(Listening)
第5回	Unit10 Corporate Development	(Reading)
第6回	Unit11 Technical Areas	(Listening)
第7回	Unit11 Technical Areas	(Reading)
第8回	Unit12 Travel	(Listening)
第9回	Unit12 Travel	(Reading)
第10回	Unit13 Housing /Corporate Property	(Listening)
第11回	Unit13 Housing /Corporate Property	(Reading)
第12回	Unit14 Personnel	(Listening)
第13回	Unit14 Personnel	(Reading)
第14回	試験・まとめと解説	試験実施後、解説と授業のまとめを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

各UnitのKey Vocabularyの単語は、事前に意味や発音をよく調べておいてください。授業後にはテキストの設問を再度解いてみてください。

【テキスト（教科書）】

吉塚弘/Graham Skerritt, BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST-ADVANCED- TOEIC L&R TESTへの総合アプローチ-ADVANCED-, 2023年. 2,750円（税込）

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

【成績評価の方法・基準】

期末試験 50%（前述の到達目標の達成度を評価）

小テスト 30%（単語の意味と綴りの理解度を評価）

平常点 20%（予習を含む授業への参加を評価）

- ・欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得は不可となります。
- ・遅刻は授業開始時間30分までとし、3回の遅刻で欠席1回と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【その他の重要事項】

初回はオンデマンド形式での実施とします。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to improve students' TOEIC scores by focusing on TOEIC preparation.

Specifically, students are expected to aim for a TOEIC score of 600 or higher.

【Learning Objectives】

The following are the learning objectives of this course:

- ・ To understand words and expressions used in everyday and business situations through listening.
- ・ To learn basic grammatical rules.
- ・ To understand the main ideas of English texts in a limited time.

【Learning activities outside of classroom】

・ University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

・ Students are required to check the meanings and pronunciations of the key vocabulary in each unit in advance. After class, they should try answering the questions in the textbook again.

【Grading Criteria/Policy】

・ Final Examination: 50%

Assesses the extent to which the learning objectives stated above have been achieved.

・ Quizzes: 30%

Assess students' understanding of vocabulary meanings and spelling.

・ Class Participation: 20%

Assesses participation in class, including preparation for lessons.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅰ

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制(20)

2018年度までに「英検準備Ⅰ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは英検・IELTS・TOEFLの演習を行いながら「リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング」の4つの能力強化を目指します。英語検定試験（英検準1級/1級、IELTS、TOEFLなど）の受験予定者に加え、英語の継続学習希望者の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1.Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2.Be able to understand main points of interviews and lectures
- 3.Be able to talk about basic topics
- 4.Be able to write a multi-paragraph essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing. Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (授業は演習形式で行います)

- 1.Clarifying objectives and goals (なぜ英語力強化を目指すのかを明確にする)
- 2.Explaining basic formats of two certificate tests and practicing (英検・IELTS・TOEFL テストの紹介と演習)
- 3.Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Orientation	1. Explanation of the course 2. Clarifying objectives and goals
2回	Introduction to Eiken	1. Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2. Reading & Listening practice to identify your strong and weak points(強みと弱点を知る)
3回	Eiken: Paragraph Reading Training	1. Reading practice 2. Learning paragraph and supporting sentences
4回	Eiken: Listening Training	1. Listening practice 2. Practicing shadowing and overlapping 3. Dictation to improve accuracy

5回	Eiken: Essay Writing	1. Learning basic writing structures and analyzing model essays 2. Writing an essay 3. Peer editing
6回	Eiken: Essay Writing and Feedback	1. Writing your draft 2. Feedback
7回	Introduction to IELTS TEST	1. Explanation of the basic format of IELTS (IELTS Test について) 2. Listening practice 3. Reading practice
8回	IELTS: Reading and Listening practice	1. Paragraph reading practice 2. Listening practice
9回	IELTS: Intensive Listening Training	1. Listening exercises 2. Shadowing and overlapping practice
10回	IELTS: Intensive Reading Training	1. Understanding structure 2. Summarizing paragraphs
11回	Introduction to TOEFL Test	1. Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL Test について) 2. Listening practice
12回	TOEFL: Intensive Listening Training	1. Listening exercises 2. Shadowing and overlapping practice
13回	TOEFL: Listening and speaking Training	1. Shadowing and overlapping practice 2. Preparation for presentation
14回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

1. Weekly reading or listening home assignments
2. Writing home assignments

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Homework, including writing assignment (30%)

In-class contribution, including mini-presentation (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' encouragement will keep you motivated. 語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスするためのデバイス

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken, IELTS and TOEFL tests. The goal of this course is to develop skills in paragraph reading, effective listening and speaking, and well-structured writing. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the contribution made in class (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制(20)

2018年度までに「英検準備Ⅱ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは英検・IELTS・TOEFLの演習を行いながら「リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング」の4つの能力強化を目指します。英語検定試験（英検準1級/1級、IELTS、TOEFLなど）の受験予定者に加え、英語の継続学習希望者の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1.Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2.Be able to understand main points of interview and lectures
- 3.Be able to give a mini-presentation on a given topic
- 4.Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing. Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (授業は演習形式で行います)

- 1.Clarifying objectives and goals (なぜ英語力強化を目指すのかを明確にする)
- 2.Explaining basic formats of two certificate tests and practicing (英検・IELTS・TOEFL テストの紹介と演習)
- 3.Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Orientation	1.Explanation of the course 2.Clarifying objectives and goals
2回	Introduction to Eiken	1.Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2.Reading &Listening practice to identify your strong and weak points(強みと弱点を知る)
3回	Eiken: Paragraph Reading Training	1. Reading practice 2. Learning paragraph 3. Learning topic sentence and supporting sentences
4回	Eiken: Listning Training	1. Listening practice 2. Practicing shadowing and overlapping 3. Dictation to improve accuracy

5回	Eiken: Essay Writing	1. Learning basic writing structures and analyzing model essays 2. Writing an essay 3.Peer editing
6回	Eiken: Essay Writing and Feedback	1.Writing your draft 2.Feedback
7回	Introduction to IELTS TEST	1. Explanation of the basic format of IELTS (IELTS Test について) 2. Listening practice 3. Reading practice
8回	IELTS: Reading and Listening practice	1. Paragraph reading practice 2. Listening practice
9回	IELTS: Intensive Listening Training	1.Listening exercises 2.Shadowing and overlapping practice
10回	IELTS: Intensive Reading Training	1.Understanding structure 2.Summarizing paragraphs
11回	Introduction to TOEFL Test	1. Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL Test について) 2. Listening practice
12回	TOEFL: Intensive Listening Training	1.Listening exercises 2.Shadowing and overlapping practice
13回	TOEFL: Listening and speaking Training	1.Shadowing and overlapping practice 2.Preparation for presentation
14回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

- 1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)
- 2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Homework, including writing assignment (30%)

In-class contribution, including mini-presentation (20%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' encouragement will keep you motivated. 語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスするためのデバイス

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken, IELTS and TOEFL tests. The goal of this course is to develop skills in paragraph reading, effective listening and speaking, and well-structured writing. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (30%) and the contribution made in class (20%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Business Communication I

2017年度以降入学者

B . 富士川 美紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制(20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、ビジネスシーンにおける英語コミュニケーションのスキルを実践的に学びます。学生は、実際のビジネス環境でよく遭遇するシチュエーションを題材に、適切な英語表現や会話の流れを学びます。授業では、ビジネスメール、電話対応、会議、プレゼンテーション、交渉など、さまざまな場面で求められる英語表現を身につけ、実務に即したスキルを高めます。さらに、実際のビジネス環境をシミュレーションすることで、リアルな状況での対応力を向上させ、迅速かつ効果的に意思疎通できる力を養います。ロールプレイやグループディスカッションを通じて、英語で自信を持ってコミュニケーションできる実践的なスキルを習得することができます。

【到達目標】

Through this course, students will aim to effectively use English in various business situations, such as business emails, telephone communication, meetings, presentations, and negotiations, selecting appropriate expressions and communicating smoothly. They will also develop the ability to write professional business documents in English, creating clear, concise, and polite emails and other written communications. Additionally, students will acquire the skills to deliver persuasive and logically structured presentations in English, and enhance their ability to propose effective solutions to business challenges during negotiations and meetings.

この授業を通じて、学生はビジネスシーンで英語を効果的に使いこなせるようになり、ビジネスメールや電話対応、会議、プレゼンテーション、交渉などのシチュエーションで適切な表現を選び、スムーズにコミュニケーションを取れるようになることを目指します。また、プロフェッショナルなビジネス文書を英語で作成できるようになり、明確で礼儀正しいメールや文書を作成する力を身につけます。さらに、英語でのプレゼンテーションを通じて、アイデアや提案を論理的かつ説得力を持って伝える技術を習得し、交渉や会議の中で、ビジネス課題に対する効果的な解決策を提案する力を高めることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

1. Watching and Understanding Videos

Each unit begins with watching a video that portrays real business situations. Through these videos, students will learn common English expressions and communication flows used in the workplace, gaining a visual understanding of how communication happens in various business contexts.

2. Vocabulary and Expression Learning

After watching the videos, students will focus on learning key vocabulary and expressions. They will study appropriate business language and phrases, practicing how to use them effectively in different scenarios.

3. Role Plays and Practical Exercises

Students will practice the expressions learned through role-playing activities. By engaging in group discussions and pair work, students will simulate real-life business interactions, improving their communication skills in practical business settings.

4. Active Learning

Active learning sessions will be incorporated where students take the lead in their learning. Students will present their opinions and proposals in English, and engage in group discussions, helping to further develop their practical communication skills.

5. Review and Assessment

At the end of each unit, time will be dedicated to reviewing the content learned. Small quizzes and tests will be administered to check understanding and reinforce key concepts.

6. Utilizing Online Resources

Students will be encouraged to use the accompanying online learning system (Lingua Porta) to support their studies outside of class. Through video replays and additional practice exercises, students can reinforce and solidify their understanding of the material.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	Orientation and Ice-breaking	The course overview, objectives, and evaluation methods will be introduced. Students will learn about the course structure and materials, followed by an ice-breaking activity to promote communication and create a comfortable learning environment.
第2回目	UNIT 1 - Meeting for the First Time Topic: Greetings for First Meetings	Practice self-introduction and basic greetings. Students will engage in pair work to practice introducing themselves.
第3回目	UNIT 1 - Meeting for the First Time Topic: Conversation for First Meetings	Practice common questions and responses during first meetings. Students will role-play conversations and receive feedback.
第4回目	UNIT 2 - Welcoming a Newcomer Topic: Welcoming a Newcomer	Learn expressions for welcoming newcomers. Students will role-play welcoming scenarios.
第5回目	UNIT 2 - Welcoming a Newcomer Topic: Interacting with a Newcomer	Practice specific expressions for interacting with newcomers. Students will engage in group practice.
第6回目	UNIT 3 - Telephone Communication Topic: Telephone Etiquette	Learn basic telephone expressions. Students will practice telephone conversations in pairs.
第7回目	UNIT 3 - Telephone Communication Topic: Taking and Leaving Messages	Practice leaving and taking messages. Students will role-play message-taking scenarios.
第8回目	UNIT 4 - Office Issues Topic: Problem Solving in the Workplace	Learn expressions for problem-solving. Students will role-play resolving workplace issues.
第9回目	UNIT 4 - Office Issues Topic: Making Suggestions in the Workplace	Practice making suggestions in the workplace. Students will present suggestions in group work.

第10回目	UNIT 5 - Arranging a Meeting Topic: Scheduling a Meeting	Learn expressions for scheduling meetings. Students will role-play arranging meetings.
第11回目	UNIT 5 - Arranging a Meeting Topic: Confirming a Meeting	Practice confirming meeting details. Students will role-play confirming meeting arrangements.
第12回目	UNIT 6 - Video Conferencing Topic: Conducting a Video Conference	Learn basic expressions for video conferencing. Students will practice video conference scenarios.
第13回目	UNIT 6 - Video Conferencing Topic: Video Conference Etiquette	Learn video conferencing etiquette. Students will simulate a video conference in groups.
第14回目	Presentation Topic: Final Presentations	Each student will give a presentation based on a chosen topic. Feedback will be provided after the presentations.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

The standard preparation and review time for this course is about one hour per week. Students are expected to:

- ・ Read assigned texts and preview upcoming lessons.
- ・ Review previous material and practice exercises.
- ・ Complete assignments such as reports and exercises.
- ・ Prepare for presentations, including research and practice.
- ・ Provide peer feedback during group activities.

【テキスト（教科書）】

教科書：映像で学ぶ場面別ビジネス英語 English for the Global Workplace

著者：塩見 佳代子 / Matthew Coomber / LiveABC editors 共著

出版社：成美堂

出版年：2025年

価格：2,860円（本体2,600円+税）

ISBN：9784791973125

【参考書】

Additional reference materials will be provided during the course.

【成績評価の方法と基準】

- ・ 平常点: 30%

授業への参加状況や学習態度を評価します。積極的な発言やディスカッションへの参加が重視されます。

- ・ レポート課題: 30%

各テーマに基づいたレポート課題を通じて、学んだ内容を実践的にまとめます。

- ・ プレゼンテーション: 40%

プレゼンテーションでは、授業で学んだビジネス英語を用いた発表を行い、内容、構成、表現力に加えて、発音や発表時の明瞭さも評価されます。

重要事項

単位修得には課題提出やプレゼンテーションが必須

欠席4回以上は原則として単位を修得できません

積極的なグループ活動やClassworkへの参加も成績に反映されます。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規担当科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

<この授業の実施形態> 基本は対面授業で行います。ただし、何かやも得ない状況があった場合にはライブ配信型のGoogle Meetでオンライン授業を行う場合もあるかもしれません。また、課題提出、先生からのお知らせなどオンラインの学習支援システムを使う予定ですので、毎回必ず確認するようにして下さい。詳細は4月の第一回目の授業で説明します。

【その他の重要事項】

この科目は、ビジネス英語、ビジネスコミュニケーション、TOEIC講座、リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング、時事英語などの分野で実務経験を有する教員が担当します。教員は、英語教育、TESOL、ESL実践授業研修などの経験を活かし、授業では、学生がビジネスシーンに必要な英語表現や文章作成、プレゼンテーション、ディスカッションを実践的に学べる活動を提供します。授業を通して、学生は英語での意見交換やプレゼンテーションを行いながら、実践的な英語力とビジネスコミュニケーション能力を養うと同時に、異文化理解や社会的背景への理解を深めます。

【Outline (in English)】

This course focuses on developing practical English communication skills in business settings. Students will learn essential English expressions and conversation flows commonly encountered in various business scenarios. The course covers a range of topics, including business emails, telephone communication, meetings, presentations, and negotiations. Through this course, students will not only master the key phrases and structures used in these contexts but also enhance their practical skills to handle real-life business situations. By simulating actual business environments, students will improve their ability to respond quickly and effectively, gaining confidence in communicating in English. Through role-plays and group discussions, students will acquire hands-on communication skills that are directly applicable to their future careers.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Business Communication II

2017年度以降入学者

B . 富士川 美紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制(20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、ビジネスシーンにおける英語コミュニケーションのスキルを実践的に学びます。学生は、実際のビジネス環境でよく遭遇するシチュエーションを題材に、適切な英語表現や会話の流れを学びます。授業では、ビジネスメール、電話対応、会議、プレゼンテーション、交渉など、さまざまな場面で求められる英語表現を身につけ、実務に即したスキルを高めます。さらに、実際のビジネス環境をシミュレーションすることで、リアルな状況での対応力を向上させ、迅速かつ効果的に意思疎通できる力を養います。ロールプレイやグループディスカッションを通じて、英語で自信を持ってコミュニケーションできる実践的なスキルを習得することができます。

【到達目標】

Through this course, students will aim to effectively use English in various business situations, such as business emails, telephone communication, meetings, presentations, and negotiations, selecting appropriate expressions and communicating smoothly. They will also develop the ability to write professional business documents in English, creating clear, concise, and polite emails and other written communications. Additionally, students will acquire the skills to deliver persuasive and logically structured presentations in English, and enhance their ability to propose effective solutions to business challenges during negotiations and meetings.

この授業を通じて、学生はビジネスシーンで英語を効果的に使いこなせるようになり、ビジネスメールや電話対応、会議、プレゼンテーション、交渉などのシチュエーションで適切な表現を選び、スムーズにコミュニケーションを取れるようになることを目指します。また、プロフェッショナルなビジネス文書を英語で作成できるようになり、明確で礼儀正しいメールや文書を作成する力を身につけます。さらに、英語でのプレゼンテーションを通じて、アイデアや提案を論理的かつ説得力を持って伝える技術を習得し、交渉や会議の中で、ビジネス課題に対する効果的な解決策を提案する力を高めることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

1. Watching and Understanding Videos

Each unit begins with watching a video that portrays real business situations. Through these videos, students will learn common English expressions and communication flows used in the workplace, gaining a visual understanding of how communication happens in various business contexts.

2. Vocabulary and Expression Learning

After watching the videos, students will focus on learning key vocabulary and expressions. They will study appropriate business language and phrases, practicing how to use them effectively in different scenarios.

3. Role Plays and Practical Exercises

Students will practice the expressions learned through role-playing activities. By engaging in group discussions and pair work, students will simulate real-life business interactions, improving their communication skills in practical business settings.

4. Active Learning

Active learning sessions will be incorporated where students take the lead in their learning. Students will present their opinions and proposals in English, and engage in group discussions, helping to further develop their practical communication skills.

5. Review and Assessment

At the end of each unit, time will be dedicated to reviewing the content learned. Small quizzes and tests will be administered to check understanding and reinforce key concepts.

6. Utilizing Online Resources

Students will be encouraged to use the accompanying online learning system (Lingua Porta) to support their studies outside of class. Through video replays and additional practice exercises, students can reinforce and solidify their understanding of the material.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	Guidance and Group Discussion Topic: Course Introduction and Group Discussion	Overview of course objectives, methods, and evaluation. Small group discussion on a business topic (e.g., "What business trends interest you?"). Groups share insights with the class. Introduction of Peer Feedback Guidelines: Focus on providing positive feedback to support classmates' confidence. (Improvement suggestions will be kindly provided by the teacher as needed.)
第2回目	UNIT 7 - Review 1 Topic: Review of Key Business Expressions	Review essential business expressions. Role-play office scenarios (e.g., phone calls, emails).
第3回目	UNIT 8 - Job Interviews Topic: Job Interview Basics	Key expressions for job interviews. Role-play interview questions and responses.
第4回目	UNIT 8 - Job Interviews (Continued) Topic: Interview Simulation	Full job interview simulation. Feedback on performance.
第5回目	UNIT 9 - Traveling on Business Topic: Business Trip Essentials	Expressions for booking flights, hotels, and travel. Role-play travel-related conversations.
第6回目	UNIT 9 - Traveling on Business (Continued) Topic: Business Trip Scenarios	Practice business trip interactions (e.g., meetings, networking). Role-play hotel check-ins and taxi rides.
第7回目	UNIT 10 - Receiving Overseas Visitors Topic: Welcoming Foreign Visitors	Learn phrases for welcoming international visitors. Role-play airport pickups and office greetings.

第8回目	UNIT 10 - Receiving Overseas Visitors (Continued) Topic: Managing Visitor Interactions	Simulate managing visits and conversations with international guests. Discuss cultural differences.
第9回目	UNIT 11 - Meeting with Clients Topic: Client Meetings	Key expressions for client meetings. Role-play managing agendas and discussions.
第10回目	UNIT 11 - Meeting with Clients (Continued) Topic: Handling Client Requests	Practice addressing client needs and feedback. Role-play follow-up communication.
第11回目	UNIT 12 - Negotiations Topic: Negotiation Techniques	Learn phrases for negotiating terms (e.g., prices, deadlines). Role-play negotiation scenarios.
第12回目	UNIT 12 - Negotiations (Continued) Topic: Closing the Deal	Focus on closing deals. Practice phrases for finalizing agreements.
第13回目	UNIT 13 - Giving Presentations (1st Round) Topic: Final Presentations (Part 1)	Selected students deliver their final presentations on a business topic. Emphasis on clarity, structure, and engagement techniques. Collaborative Learning through structured peer feedback. Note: Presentations are split into two sessions due to class size, ensuring everyone has sufficient time to present.
第14回目	UNIT 13 - Giving Presentations (2nd Round) Topic: Final Presentations (Part 2)	Remaining students deliver their final presentations. Focus on applying peer feedback and improving presentation delivery. Collaborative Learning through group reflection and sharing best practices. Note: Second session allows students to observe peers and consolidate learning from feedback.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

The standard preparation and review time for this course is about one hour per week. Students are expected to:

- ・ Read assigned texts and preview upcoming lessons.
- ・ Review previous material and practice exercises.
- ・ Complete assignments such as reports and exercises.
- ・ Prepare for presentations, including research and practice.
- ・ Provide peer feedback during group activities.

【テキスト（教科書）】

教科書：映像で学ぶ場面別ビジネス英語 English for the Global Workplace

著者：塩見 佳代子 / Matthew Coomber / LiveABC editors 共著

出版社：成美堂

出版年：2025年

価格：2,860円（本体2,600円+税）

ISBN：9784791973125

【参考書】

Additional reference materials will be provided during the course.

【成績評価の方法と基準】

- ・ 平常点: 30%

授業への参加状況や学習態度を評価します。積極的な発言やディスカッションへの参加が重視されます。

- ・ レポート課題: 30%

各テーマに基づいたレポート課題を通じて、学んだ内容を実践的にまとめます。

- ・ プレゼンテーション: 40%

プレゼンテーションでは、授業で学んだビジネス英語を用いた発表を行い、内容、構成、表現力に加えて、発音や発表時の明瞭さも評価されます。

重要事項

単位修得には課題提出やプレゼンテーションが必須

欠席4回以上は原則として単位を修得できません

積極的なグループ活動やClassworkへの参加も成績に反映されます。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規担当科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

＜この授業の実施形態＞ 基本は対面授業で行います。ただし、何かやも得ない状況があった場合にはライブ配信型の Google Meet でオンライン授業を行う場合もあるかもしれません。また、課題提出、先生からのお知らせなどオンラインの学習支援システムを使う予定ですので、毎回必ず確認するようにして下さい。詳細は4月の第一回目の授業で説明します。

【その他の重要事項】

この科目は、ビジネス英語、ビジネスコミュニケーション、TOEIC講座、リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング、時事英語などの分野で実務経験を有する教員が担当します。教員は、英語教育、TESOL、ESL実践授業研修などの経験を活かし、授業では、学生がビジネスシーンで必要な英語表現や文章作成、プレゼンテーション、ディスカッションを実践的に学べる活動を提供します。授業を通して、学生は英語での意見交換やプレゼンテーションを行いながら、実践的な英語力とビジネスコミュニケーション能力を養うと同時に、異文化理解や社会的背景への理解を深めます。

【Outline (in English)】

This course focuses on developing practical English communication skills in business settings. Students will learn essential English expressions and conversation flows commonly encountered in various business scenarios. The course covers a range of topics, including business emails, telephone communication, meetings, presentations, and negotiations. Through this course, students will not only master the key phrases and structures used in these contexts but also enhance their practical skills to handle real-life business situations. By simulating actual business environments, students will improve their ability to respond quickly and effectively, gaining confidence in communicating in English. Through role-plays and group discussions, students will acquire hands-on communication skills that are directly applicable to their future careers.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ニュース英語Ⅰ 2017年度以降入学者

小田井 勝彦

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金2/Fri.2

単位数: 1単位

定員制(20)

その他属性: <優>

【授業の概要と目的(何を学ぶか)】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、英米高級紙の文章を読解することで、ニュース英語に親しみ、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まずは各章の話題に即した動画を視聴、そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、ハンドアウトを使用して読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。

授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方、教科書、評価方法などについて説明。
2	Unit 1 No Phones, No Apps, No Likes < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 1の本文の前半を読解します。
3	Unit 1 No Phones, No Apps, No Likes < 読解と Exercises>	Unit 1の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
4	Unit 2 Disappearing Languages < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 2の本文の前半を読解します。
5	Unit 2 Disappearing Languages < 読解と Exercises>	Unit 2の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
6	Unit 3 Can We Communicate with Animals? < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 3の本文の前半を読解します。
7	Unit 3 Can We Communicate with Animals? < 読解と Exercises>	Unit 3の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。

8	中間テストと解説	Unit 1~3を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
9	Unit 4 Escape From Burnout < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 4の本文の前半を読解します。
10	Unit 4 Escape From Burnout < 読解と Exercises>	Unit 4の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
11	Unit 5 Bringing Middle Eastern Beer to New York < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 5の本文の前半を読解します。
12	Chapter 5 Bringing Middle Eastern Beer to New York < 読解と Exercises>	Unit 5の本文後半と Exercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
13	総復習	これまでの総復習をします
14	期末テストと解説	Unit 4~5を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読んでハンドアウトの各問題に解答する。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト(教科書)】

Kyoko Horie ほか 『Stories of the World We Live In』(金星堂、2024)

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい(電子辞書も可)

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。(遅刻は欠席0.5回として扱います)

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in English. In order to attain the goal, students read short essays about modern society. Listening practice and grammar exercise will also be conducted.

[Learning Objectives]

1. Students can listen to English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for listening to English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about modern society.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria / Policy]

- ・ mid-term test 40%
- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ニュース英語Ⅱ

2017年度以降入学者

小田井 勝彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制(20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、英米高級紙の文章を読解することで、ニュース英語に親しみ、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まずは各章の話題に即した動画を視聴、そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、ハンドアウトを使用して読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 6 The Runner Who Took a Stand < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 6の本文の前半を読解します。
2	Unit 6 The Runner Who Took a Stand < 読解とExercises>	Unit 6の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
3	Unit 7 Reshaping the Values of Beauty < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 7の本文の前半を読解します。
4	Unit 7 Reshaping the Values of Beauty < 読解とExercises>	Unit 7の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
5	Unit 8 A Social Media Minefield < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 8の本文の前半を読解します。
6	Unit 8 A Social Media Minefield < 読解とExercises>	Unit 8の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
7	中間テストと解説	Unit 6～8を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

8	Unit 9 A Boy's Selfless Wish < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 9の本文の前半を読解します。
9	Unit 9 A Boy's Selfless Wish < 読解とExercises>	Unit 9の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
10	Unit 10 In Search of Freedom < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 10の本文の前半を読解します。
11	Unit 10 In Search of Freedom < 読解とExercises>	Unit 10の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
12	Unit 11 Global Warming Solutions from the Past < 動画視聴と読解>	Warm-upとして動画を使ったリスニング、Unit 11の本文の前半を読解します。
13	Unit 11 Global Warming Solutions from the Past < 読解とExercises>	Unit 11の本文後半とExercises、自分の意見を書く練習を行ないます。
14	期末テストと解説	Unit 9～11を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読みハンドアウトの各問題に解答する。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Kyoko Horieほか『Stories of the World We Live In』（金星堂、2024）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【その他の重要事項】

4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。（遅刻は欠席0.5回として扱います）

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving comprehensive communication skills in English. In order to attain the goal, students read short essays about modern society. Listening practice and grammar exercise will also be conducted.

[Learning Objectives]

1. Students can listen to English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for listening to English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about modern society.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria / Policy]

- ・ mid-term test 40%
- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English for Study Abroad I 2017年度以降入学者

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制(25)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は英語圏への留学のための準備講座です。学生は本授業で、海外留学の準備から帰国後の対応に至る一連の流れを理解し、さまざまなシチュエーションで求められる語彙や英語表現を習得します。本授業では、特にアウトプットの練習に力を入れ、学生が実践的に使える英語力を獲得することを目指します。授業はリスニングとスピーキング中心で、シャドーイングやリピーティング、ロールプレイングなど実際に口を動かして英語を喋る様々なアクティヴィティを行います。これらの学習を通じて学生は留学生活求められる英語コミュニケーションに必要な知識とスキルを身に付けることを目指します。

【到達目標】

本授業を通じて学生は以下の能力を身に付けます。

- ①海外留学の場面で必要とされる必須Vocabulary。
- ②海外留学における様々な場面で必要になる基本的な会話表現
- ③シャドーイングを通して、英語のリズムや抑揚を身に付ける。
- ④ロールプレイを通して、フレーズを暗記する。
- ⑤上記で習った表現を、様々な場面に相応しい表現に応用する応用力。
- ⑥細かい間違いを気にせずに、自分の伝えたいことを表願しようとする意欲。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行います。リスニングを中心にして、ロールプレイングやシャドーイングなどのアクティヴィティを数多く取り入れます。これらアクティヴィティの参加は、平常点として大きく評価されます。フィードバックはすべて授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の方針説明
第2回	Unit 1: Applying for an Exchange Program	交換留学制度に申し込む
第3回	Unit 2: Requesting a Letter of Recommendation	推薦状を依頼する
第4回	Unit 3: Taking an English Proficiency Test	英語能力試験を受ける
第5回	Unit 4: Being an International Passenger	ひとりで国際線に乗る
第6回	Unit 5: Going through Immigration Inspection	入国審査を通る
第7回	Unit 6: Arriving and Settling in at the Residence Hall	寮生活を始める

第8回 Unit 7: Registering and Getting Your Student ID 登録して学生証をもらう

第9回 Unit 8: Taking a Campus Tour キャンパスを歩く

第10回 Unit 9: Going to Medical Center 医療センターへ行く

第11回 Unit 10: Eating at a School Cafeteria with a Meal Plan カフェテリアで食事をする

第12回 Unit 11: Using the University Library 図書館を利用する

第13回 Unit 12: Knowing about Campus Sustainability and Recycling キャンパスのサステナビリティとリサイクルについて知る

第14回 Unit 13: Writing Your Research Paper リサーチ・ペーパーを書く

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習としては、シラバスに記載されている授業計画に沿って、授業で扱うテキストのユニットの語彙や表現に目を通しておいください。

復習としては、本文全体にもう一度目を通して学習内容を定着させてください。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】My First Study-Abroad Journey

【著者名】宮田学、鹿野緑

【出版社】三修社

【出版年】2026年

【価格】2200円

【参考書】

特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の内訳は以下の通りです。

平常点（授業内アクティヴィティにおける貢献度）:40%

授業内小テスト：30%

レポート：30%

成績評価は100点満点とし、60点以上で合格です。

本授業は、理由のない欠席が4回を超えた場合、成績評価の対象外となります。

部活動での公欠や、病気による欠席の場合、その証明を提出してください。部活動の場合は大学を通じて出される公欠届、病欠の場合は病院の受診証明や、大学を通じて出される感染症罹患証明などを出してください。これらの証明がない欠席の場合は、公欠とは認められません。

その他、教育実習や就職活動等の欠席も公欠扱いになりますので、証明を出してください。

また、授業開始15分以上過ぎて教室に来た場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。交通の遅延がある場合は考慮しますので、遅延証明を提出してください。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の授業を通してインプットとアウトプットをバランスよく学習する必要があると感じたため、ロールプレイやスピーキングだけではなく、小テストやレポートを通じて学生の知識の定着を図りたい。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業はオンライン授業（Zoom授業）を行います。それ以外は基本的に対面授業を行います。感染症の蔓延や災害、事故発生等、必要に応じてオンライン授業に変更することがあります。また、課題やレポートのやり取りは、授業支援システムを通じて行います。

パソコンとインターネット環境を準備してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire essential skills in English for studying abroad. Using the textbook designed to support Japanese EFL students who are looking for an opportunity to study abroad, this course introduces useful English vocabulary and expressions required in various situations of the overall process of studying abroad. This course focuses especially on output practice and aims to develop students' ability to use English effectively in practical context. The course emphasizes listening and speaking through hands-on activities such as shadowing, repeating, and role-playing, in which students actively produce spoken English. By the end of the course, students should be able to acquire the knowledge and skills necessary for English communication required in study abroad life.

Before each class meeting, students will be expected to have looked through words and expressions of each unit. After each class meeting, students will be expected to read through the whole chapter again to reinforce learning. Your required study time is at least one hour for each class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Short quizzes: 30%、Term-end report: 30%、in class contribution: 40%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English for Study Abroad II 2017年度以降入学者

TIMOTHY B BETJEMAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制(25)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course will require the use of English reading, writing, listening and speaking skills. Through written exercises, video and audio segments, role playing and discussion activities, students will investigate themes and develop communication skills related to travel and interaction with other cultures. An emphasis will be placed on useful language for both formal and informal situations that students may encounter when studying abroad.

【到達目標】

Students will develop their abilities across the four communication skills: reading, writing, speaking, and listening. Students will gain experience and language skills which will be especially useful – in academic, business, and informal environments – when traveling abroad.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

This class will make use of in-class writing activities, discussion and debate activities, role playing, and online resources to aid memory and engagement. Students will be required to give a short presentation or skit/play on a chosen topic at the end of the semester.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview of syllabus, expectations, and self-introductions. Joining Google Classroom, and grading policy.
2	UNIT 5: Follow Your Passion	Vocabulary and Discussion
3	UNIT 5: Follow Your Passion	Listening/Note-taking exercises Reading and Speaking exercises
4	UNIT 5: Follow Your Passion	Reading and Speaking exercises. Group Activity: My Strengths
5	UNIT 6: Culture and Commerce	Vocabulary and Discussion
6	UNIT 6: Culture and Commerce	Listening/Note-taking exercises Reading and Speaking exercises
7	UNIT 6: Culture and Commerce	Reading and Speaking exercises. Group Activity: Design and Present a Poster
8	UNIT 7: Restorative Justice	Vocabulary and Discussion

9	UNIT 7: Restorative Justice	Listening/Note-taking exercises
10	UNIT 7: Restorative Justice	Reading and Speaking. Group Activity: Team Debate
11	UNIT 8: Reducing Your Carbon Footprint	Vocabulary and Discussion
12	UNIT 8: Reducing Your Carbon Footprint	Listening/Note-taking exercises
13	UNIT 8: Reducing Your Carbon Footprint	Reading and Speaking exercises. Group Activity: Preparing for final group presentation.
14	Group Presentations and Wrap-Up	Presentation of short play/skit or speech on chosen topic. Presentations are given in small groups. Feedback and Discussions.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students will be required to write a brief summary of a news article from an English news source each week and write a reflection on its content. The weekly assignments will constitute 35% of the final grade for the course. Some preparation for the final group presentation will be done outside of class.

【テキスト（教科書）】

NorthStar Listening and Speaking 5th Edition 3 (Pearson)
ISBN: 978-0-13-522703-9

【参考書】

To be handed out by instructor during class, or provided through Google Classroom as Materials.

【成績評価の方法と基準】

Assignments: 35%

Unit Tests: 30%

Group Presentation: 20%

Participation: 15%

ILAC Policy on attendance is as follows: “In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course”.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

Please bring a notebook and pencil or pen. A laptop will also be useful for some activities. Further materials will be announced during the course as necessary.

【その他の重要事項】

This class will use Google Classroom. The code for the class will be shared via Hoppii before the first week of class.

【Outline (in English)】

This course will require the use of English reading, writing, listening and speaking skills. Through written exercises, video and audio segments, role playing, and discussion activities, students will investigate themes and develop communication skills related to travel and interaction with other cultures. An emphasis will be placed on useful language for both formal and informal situations that students may encounter when studying abroad.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I 2017年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ミュンヒハウゼン男爵の物語や映像を題材に、文法構造や語順の的確に把握し、正確に理解できる能力を養います。明瞭な発音での朗読や映像視聴を通じ、生きたドイツ語に慣れ親しみます。基礎文法を終えた学生が対象です。

【到達目標】

。原文の文構造を的確に把握し、論理的で明晰な日本語へと再構築できる。
。クラス全員が正確に理解できるような、明瞭な発音と声量でドイツ語の文章を朗読できる。
。試験範囲だけに捉われず、映像作品などを通じてドイツの社会や文化に対する関心と教養を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

Z その他 /Other

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキストを「読む・聞く・話す（音読）」の多角的な視点から学びます。映画のシーンや音声教材を「視覚的・聴覚的な文法」として活用し、教科書上の知識を生きた言葉へとつなげます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 作者と文化的背景	シラバスを読み、授業内容を確 認する。 G.A. ビュルガーの生涯と「ほら 吹き話」の伝統について
2	Kapitel 1: Das Pferd auf dem Kirchdach (1)	「教会の塔の上の馬」を読み、和 訳する。
3	Das Pferd auf dem Kirchdach (2)	第1章の文法と音声教材による 朗読練習。
4	Kapitel 2: Die merkwürdige Schädeldecke des Generals (1)	「將軍の奇妙な頭蓋骨」を読み、 ストーリーを把握する。
5	Die merkwürdige Schädeldecke des Generals (2)	第2章の文法と映画の場面を題 材に、聞き取りと朗読のトレー ニング。
6	Kapitel 3: Erlebnisse bei der Entenjagd (1)	「アヒル狩り体験」を読み、内容 を正確に理解する。
7	Erlebnisse bei der Entenjagd (2)	第3章の文法と音声教材による 朗読練習。
8	Kapitel 4: Der Ritt auf der Kanonenkugel (1)	「大砲の弾に乗って」を読み、和 訳する。
9	Der Ritt auf der Kanonenkugel (2)	第4章の文法と映画の場面を題 材に、聞き取りと朗読のトレー ニング。

10	Kapitel 5: Zieht sich an seinem Zopf selbst aus dem Sumpf (1)	「自らの髪をつかんで沼から抜け 出す」を読み、ストーリーを把 握する。
11	Zieht sich an seinem Zopf selbst aus dem Sumpf (2)	第5章の文法と音声教材による 朗読練習。
12	Kapitel 6: Die Wette um eine Flasche Tokajer (1)	「トカイワイン一本をかけた賭 け」内容を正確に理解する。
13	Die Wette um eine Flasche Tokajer (2)	第6章の文法と映画の場面を題 材に、聞き取りと朗読のトレー ニング。
14	試験・まとめ	秋学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週アップロードされるテキストの和訳を準備し、練習問題の解答例を身につけてください。

本授業の予習および復習にかかる標準的な時間は、合わせて1時間です。

【テキスト（教科書）】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

出席及び授業への参加態度：30%、

学期末試験：70%

欠席が全体の3分の1を超えた場合は成績評価対象外となる。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム（HOPPII）から資料をダウンロードするためにPC・タブレットが必要ですが、授業内でのルールは以下の2点に集約されます：

資料の準備と持参：翻訳の対象となるテキストは、事前に各自でプリントアウトして必ず持参してください。

授業中のルール：デジタル機器は鞆にしまい、授業内では和独辞典を使用してください。前期の教科書や資料も必要に応じて持参・活用してください。

【Outline (in English)】

Course Outline and Objectives

Using the tales and films of Baron von Münchhausen as study material, this course aims to develop students' ability to accurately analyze grammatical structures and word order (Satzbau). Through reading aloud with clear pronunciation and viewing video clips, students will become familiar with authentic, "living" German.

Learning Objectives

。Analyze original sentence structures and reconstruct them into clear, logical Japanese.
。Read German texts aloud with sufficient volume and clarity for the entire class to understand.

。Deepen interest in German society and culture through various media, extending beyond the scope of examinations.

Learning Activities Outside of Classroom

Students are required to prepare a translation of the weekly text before each lesson. The standard time for preparation and review is one hour per week.

Grading Criteria / Policy

Class Participation: 30%

Final Examination: 70%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 II

2017年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

諺、寓話、メルヘン、物語詩の「オリジナル・テキスト」を題材にします。夏学期で学んだ文法分析を基礎に、冬学期では特に言葉のニュアンスや文化的・歴史的背景、そして修辞（レトリック）の理解に重点を置きます。リライトされていない本来のドイツ語に触れ、より深い読解力と解釈力を養います。基礎文法を終えた学生が対象です。

【到達目標】

- ・ オリジナル・テキスト特有の複雑な構造や修辞を分析し、的確な日本語に再構築できる。
- ・ テキストの裏にある思想や教訓を読み解き、言葉の細かなニュアンスを理解できる。
- ・ 諺や寓話の背景にあるドイツの文化的・歴史的な伝統に対する関心と教養を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

Z その他 /Other

【授業の進め方と方法】

自宅で予習（和訳）してきた内容をもとに、原文の複雑な文法構造や語順を教室で詳しく検討します。演習や映像資料の視聴を通じ、言葉の細かなニュアンスやレトリック、文化的・歴史的な背景への理解を深めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを確認し、オリジナル・テキスト読解の目標を共有する。
2	諺（1）	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
3	諺（2）	「ドイツ語の諺」を精読し、文法構造がどのように応用されているか分析する。
4	諺（3）	和独辞典を用いて表現の細かなニュアンスを検討し、適切な訳語を選択する。
5	寓話（1）	ドイツ語の寓話（教訓を含んだ短い文章）を読み、修辞や思想を探る。
6	寓話（2）	テキストに使用されている修辞（レトリック）を分析し、語彙力の定着を図る。
7	寓話（3）	物語に込められた教訓や思想を読み解き、文脈に応じた総合的な解釈を行う。
8	メルヘン（1）	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いつながり全体の展開を把握する。
9	メルヘン（2）	「メルヘンの原文」を読み、物語の構造と時制（過去形など）の機能を把握する。

10	メルヘン（3）	映像資料を併用し、テキストの描写と視覚的なイメージを統合して理解する。
11	物語詩（1）	ドイツ語の物語詩（バラード）を読み、和訳する。
12	物語詩（2）	ドイツ語の物語詩（バラード）を読み、内容を正確に理解する。
13	物語詩（3）	ドイツ語の物語詩（バラード）のアニメと曲を視聴し、ドイツ語特有の音声変換やリズムに慣れ親しむ。
14	試験・まとめ	秋学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週アップロードされるテキストの和訳を準備し、練習問題の解答例を身につけてください。

本授業の予習および復習にかかる標準的な時間は、合わせて1時間です。

【テキスト（教科書）】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

出席及び授業への参加態度：30%、

学期末試験：70%

欠席が全体の3分の1を超えた場合は成績評価対象外となる。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム（HOPPII）から資料をダウンロードするためにPC・タブレットが必要ですが、授業内でのルールは以下の2点に集約されます：

資料の準備と持参：翻訳の対象となるテキストは、事前に各自でプリントアウトして必ず持参してください。

授業中のルール：デジタル機器は鞆にしまい、授業内では和独辞典を使用してください。前期の教科書や資料も必要に応じて持参・活用してください。

【Outline (in English)】

Course Outline and Objectives

This course focuses on "original German texts" such as proverbs, fables, fairy tales, and ballads. Building on the grammatical analysis skills acquired in the summer semester, the winter semester shifts its focus toward linguistic nuances, cultural and historical backgrounds, and rhetorical devices. By engaging with authentic, unsimplified German, students will develop deeper reading and interpretation skills. This course is designed for students who have completed basic grammar.

Learning Objectives (Goals)

- ・ Analyze complex structures and rhetoric specific to original German texts and reconstruct them into precise Japanese.
- ・ Decipher the underlying thoughts and moral lessons of the texts while understanding fine linguistic nuances.

Deepen interest and general education (Kyōyō) regarding German cultural and historical traditions through the study of proverbs, fables, and ballads.

Work to be done outside of class

Students are required to prepare a translation of the weekly original texts. The standard time for preparation and review is one hour per week.

Grading Criteria / Policy

Class Participation: 30%

Final Examination: 70%

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

丸山 達也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法を復習しながらドイツ語の文章に触れ、辞書を使いながら読解すること、ドイツ語圏に関する知識を深めることを目指します。

【到達目標】

辞書を使いながらドイツ語の平易な文章を自力で読むことができるようになります。

音読を通じて、発音および読解力を向上させることができます。読解や文法事項の復習を通じて、自分でもドイツ語で表現ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

Z その他 /Other

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解を中心に、適宜文法事項を復習しながら進めます。読解にあたっては、毎回当該の文章を順番に音読してもらい、文の読解（文構造の解説と日本語訳）する担当を割り振ります。ですので受講するためには、予習が必須となります。内容に関する文化的・歴史的知識を深めるために、教科書以外のテキストや映像資料等を用いることもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方 ドイツ語の復習
2	Lektion 1	地理と気候
3	Lektion 2	食生活
4	Lektion 2	食生活
5	Lektion 3	ドイツ語という言語
6	Lektion 4	ドイツの大学
7	Lektion 4	ドイツの大学
8	Lektion 5	祝日と休暇
9	Lektion 5	祝日と休暇
10	Lektion 6	ドイツの治安事情
11	Lektion 6	ドイツの治安事情
12	Lektion 7	教育制度
13	Lektion 7	教育制度
14	学期末試験	春学期に学んだ内容

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Lektion 毎に、各自で学習ノート（語彙や表現、文法事項など）を作成してもらいます。各Lektionが終わった段階で提出してもらいます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Siegfried Kohlhammer・斎藤太郎『Deutsch und deutschsprachiger Raum（知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～）』朝日出版社、2018年。（2300円＋税）

【参考書】

・1年次に使用した教科書

・独和辞典（紙辞書・電子辞書・辞書アプリのいずれかは問わない。ただし、Web上の無料辞書の使用は認めない。適切な辞書の種類については授業内で案内する。）

・中島悠爾ほか：『改訂版 必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点：30%

提出課題：20%

期末テスト：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

・独和辞典（電子辞書やアプリ版の辞書でもOK）を必ず持参してください。Google翻訳やDeepLなどのオンライン無料辞書では対応できないので原則使用しないこと。

・1年次に使用したドイツ語の教科書も持参してください。他の文法書でも可。

・（オンライン形式で授業を行う場合）Zoom および Zoomに接続できるPCと接続可能な環境（ファイル配布の観点からスマートフォンは推奨しません）

【その他の重要事項】

正しく理解することも大事ですが、同時に「楽しむ」ことも重要です。そのためには、自分にとって未知の世界や遠い存在に関心を抱く、自分から歩み寄る姿勢が大切なので、そのような意識を心がけましょう。

また、分からないことを分からないまま放置せずに積極的に質問してください。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。

履修者の理解度や実際の進み具体に応じて、授業計画の内容は変更される場合があります。

【Outline (in English)】

German course for the intermediate levels. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language, especially ability of reading and comprehension for general topics to talk about.

Students will be able to read and understand German texts based on basic grammar and vocabulary.

They will be able to read texts not only in their superficial meaning, but also in relation to a variety of historical and cultural contexts.

The total time required for preparation and revision for the class is one hour.

Participants should read the text aloud repeatedly.

Students are expected to have read the text in advance before reading it in class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

in class contribution: 30%, submission assignment: 20%, term-end examination: 50%

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語3 II

2017年度以降入学者

丸山 達也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法を復習しながらドイツ語の文章に触れ、辞書を使いながら読解すること、ドイツ語圏に関する知識を深めることを目指します。

【到達目標】

辞書を使いながらドイツ語の平易な文章を自力で読むことができるようになります。

音読を通じて、発音および読解力を向上させることができます。読解や文法事項の復習を通じて、自分でもドイツ語で表現ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

Z その他 /Other

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解を中心に、適宜文法事項を復習しながら進めます。読解にあたっては、毎回当該の文章を順番に音読してもらい、文の読解（文構造の解説と日本語訳）する担当を割り振ります。ですので受講するためには、予習が必須となります。内容に関する文化的・歴史的知識を深めるために、教科書以外のテキストや映像資料等を用いることもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の復習
2	Lektion 8	政治制度
3	Lektion 8	政治制度
4	Lektion 9	ドイツの歴史概観
5	Lektion 9	ドイツの歴史概観
6	Lektion 10	音楽の国ドイツ
7	Lektion 10	音楽の国ドイツ
8	Lektion 12	二つのドイツ
9	Lektion 12	二つのドイツ
10	Lektion 13	EUとドイツ
11	Lektion 13	EUとドイツ
12	Lektion 14	ドイツの外国人、難民、移民
13	Lektion 14	ドイツの外国人、難民、移民
14	学期末試験	秋学期に学んだ内容

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Lektion 毎に、各自で学習ノート（語彙や表現、文法事項など）を作成してもらいます。各Lektionが終わった段階で提出してもらいます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Siegfried Kohlhammer・斎藤太郎『Deutsch und deutschsprachiger Raum（知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～）』朝日出版社、2018年。（2300円＋税）

【参考書】

・1年次に使用した教科書

・独和辞典（紙辞書・電子辞書・辞書アプリのいずれかは問わない。ただし、Web上の無料辞書の使用は認めない。適切な辞書の種類については授業内で案内する。）

・中島悠爾ほか：『改訂版 必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点：30%

提出課題：20%

期末テスト：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

・独和辞典（電子辞書やアプリ版の辞書でもOK）を必ず持参してください。Google翻訳やDeepLなどのオンライン無料辞書では対応できないので原則使用しないこと。

・1年次に使用したドイツ語の教科書も持参してください。他の文法書でも可。

・（オンライン形式で授業を行う場合）Zoom および Zoomに接続できるPCと接続可能な環境（ファイル配布の観点からスマートフォンは推奨しません）

【その他の重要事項】

正しく理解することも大事ですが、同時に「楽しむ」ことも重要です。そのためには、自分にとって未知の世界や遠い存在に関心を抱く、自分から歩み寄る姿勢が大切なので、そのような意識を心がけましょう。

また、分からないことを分からないまま放置せずに積極的に質問してください。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。

履修者の理解度や実際の進み具体に応じて、授業計画の内容は変更される場合があります。

【Outline (in English)】

German course for the intermediate levels. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language, especially ability of reading and comprehension for general topics to talk about.

Students will be able to read and understand German texts based on basic grammar and vocabulary.

They will be able to read texts not only in their superficial meaning, but also in relation to a variety of historical and cultural contexts.

The total time required for preparation and revision for the class is one hour.

Participants should read the text aloud repeatedly.

Students are expected to have read the text in advance before reading it in class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

in class contribution: 30%, submission assignment: 20%, term-end examination: 50%

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語3Ⅰ 2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解力と文法の強化

ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】

文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション
第2回	文法・語彙復習	一年生の時に学んだドイツ語の復習
第3回	復習：簡単な会話	挨拶など・簡単な会話の復習・練習
第4回	簡単な自己紹介	簡単な自己紹介を言えるように。疑問文の練習
第5回	自己紹介	自己紹介を言える、書ける、読めるように。疑問文の練習
第6回	買い物	チラシを読む、買い物に必要な会話を習得する
第7回	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物についての読書
第8回	旅行のドイツ語Ⅰ レストラン	メニューとレストランでの小会話
第9回	旅行のドイツ語Ⅱ ホテル	ホテルについての情報、予約 Webページを読む
第10回	旅行のドイツ語Ⅲ 道を尋ねる	道を尋ねる会話
第11回	旅行のドイツ語Ⅳ 交通機関	航空券、切符の購入など
第12回	旅行のドイツ語Ⅴ 観光案内	観光案内 簡単な会話、情報を読む
第13回	復習	語彙・文法・読解方法の復習
第14回	期末テスト	期末テスト 学期の締め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する

小テスト 70%

平常点（授業参加度、宿題） 30%

【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合にはZoomで接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】

学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (vocabulary expansion and grammar review, readings and conversation)

Learning Objectives:

Students will strengthen their grammar and reading comprehension skills and deepen their overall understanding of German culture and society.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 II

2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解力と文法の強化

ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】

文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習	今まで学んだドイツ語の復習
第2回	環境問題 テーマ1	環境問題についての資料を読む
第3回	環境問題 テーマ2	環境問題についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第4回	広告のスローガン I	スローガンを読み解く
第5回	広告のスローガン II	スローガンを読み解く スローガン・宣伝のドイツ語の特徴を見る
第6回	童話 I	グリム童話を読む
第7回	童話 II	文法の解説
第8回	ドイツの詩	ゲーテ、国歌など、受講生の興味に合わせてドイツの詩・歌を読む
第9回	ドイツの歌	ゲーテ、国歌など、受講生の興味に合わせてドイツの詩・歌を読む
第10回	ドイツ憲法について	ドイツ憲法についての簡単な文を読む
第11回	ドイツ憲法	ドイツ憲法を部分的に読み解く
第12回	復習：語彙・文法	語彙・文法の復習・練習
第13回	復習：読解方法	復習：文を読み解く方法
第14回	期末テスト	期末テスト 纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する

小テスト 70%

平常点（授業参加度、宿題） 30%

【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合にはZoomで接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】

学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (vocabulary expansion and grammar review, readings and conversation)

Learning Objectives:

Students will strengthen their grammar and reading comprehension skills and deepen their overall understanding of German culture and society.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I 2017年度以降入学者

伊東 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の発展練習を行います。ドイツ語の発音、会話、さらにはドイツの歴史、文化に対する理解を深めます。

【到達目標】

この授業では、1年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化します。これにより、より難しいドイツ語の文章を読んだり聞きとったりできるようになることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

文法の基礎事項を再確認しつつ、さらに発展的に文法を学んでいきます。応用練習として、ドイツ語圏の文学作品を読んだり、音声や映像の教材を用いた発音・聞き取りの練習をおこないます。参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして授業にのぞんで下さい。確認テストと期末テストをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	1年時に学習した文法事項の確認
第2回	Lektion1	動詞の現在形
第3回	Lektion2-1	人称代名詞1
第4回	Lektion2-2	冠詞
第5回	Lektion3-1	1格と4格
第6回	Lektion3-2	疑問文
第7回	Lektion4-1	不規則動詞
第8回	Lektion4-2	不定冠詞
第9回	Lektion5-1	分詞構文
第10回	Lektion5-2	前置詞
第11回	Lektion6	助動詞
第12回	Lektion7-1	人称代名詞2
第13回	Lektion7-2	全体的な復習
第14回	期末テスト	テストを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。文法の復習のプリントを配布します。

【テキスト（教科書）】

葉谷郁美 /Andreas Meyer /太田達也『モドゥーレ 1 Module 1 Deutsch für Studierende in Japan』、朝日出版社

【参考書】

書名：『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社

ISBN：978-4-560-00492-0

【成績評価の方法と基準】

授業への参加(30%)、確認テスト(30%)、期末テスト(40%)

【学生の意見等からの気づき】

1年次に学んだことを踏まえて、聞き取る、話しことに重点を置きます。ペアワークなど、積極的に授業に参加してほしいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくることを。

【Outline (in English)】

The class is appropriate for intermediate learners.

In this class we will learn the pronunciation and actual conversations. The purpose of this class is to learn about German culture and history as well as language, to stimulate interest in German-speaking countries and to deepen their understanding. The standard preparation and revision time for this class is one hour in total. Evaluation will be based on participation in class(30%), mid-term exam (30%), final exam (40%)

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 II

2017年度以降入学者

伊東 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の発展練習を行います。ドイツ語の発音、会話に加えて、ドイツの文化、歴史に対する理解を深めます。

【到達目標】

この授業では、1年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化します。これにより、より難しいドイツ語の文章を読んだり聞いたりできるようになることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

文法の基礎事項を再確認しつつ、さらに発展的に文法を学んでいきます。応用練習として、ドイツ語圏の文学作品を読んだり、音声や映像の教材を用いた発音・聞き取りの練習をおこないます。参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして授業にのぞんで下さい。確認テストと期末テストをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	文法の復習	学習した文法事項の確認
第2回	Lektion8-1	指示、依頼の表現
第3回	Lektion8-2	勧めの表現
第4回	Lektion9-1	前置詞1
第5回	Lektion9-2	前置詞2
第6回	Lektion10-1	完了形1
第7回	Lektion10-2	完了形2
第8回	Lektion11	目的語を含む文構造
第9回	Lektion12	形容詞の語尾変化
第10回	Lektion13	比較級
第11回	Lektion14-1	最上級
第12回	Lektion14-2	合成語
第13回	文法事項の確認	全体的な復習
第14回	期末テスト	テストを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。文法の復習のプリントを配布します。

【テキスト（教科書）】

葉谷郁美 /Andreas Meyer /太田達也『モドゥーレ 1 Module 1 Deutsch für Studierende in Japan』、朝日出版社

【参考書】

書名：『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社

ISBN：978-4-560-00492-0

【成績評価の方法と基準】

授業への参加(30%)、確認テスト(30%)、期末テスト(40%)

【学生の意見等からの気づき】

1年次に学んだことを踏まえて、聞き取る、話しことに重点を置きます。ペアワークなど、積極的に授業に参加してほしいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくることを。

【Outline (in English)】

The class is appropriate for intermediate learners.

In this class we will learn the pronunciation and actual conversations. The purpose of this class is to learn about German culture and history as well as language, to stimulate interest in German-speaking countries and to deepen their understanding. The standard preparation and revision time for this class is one hour in total. Evaluation will be based on participation in class(30%), mid-term exam (30%), final exam (40%)

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語3Ⅰ

2017年度以降入学者

保科 泰

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ発音や文法事項の復習および中級レベルの文法知識を学ぶとともに、ドイツ語圏の文化に関する様々な文章を読むことで、他文化圏に関する理解を深める。

【到達目標】

学んだ文法知識を単に暗記するのではなく、それを作文や読解作業の際に運用できるようになる。例えば、ドイツ語で書かれた文の構文を文法的に正確に自分で説明できるようになること等がこの授業での到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は対面形式で行う。文法の復習を行う回と、約200ワード程度の文章を精読する回とを交互に分けて授業を進めていく予定である。フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についての説明 発音のチェック
第2回	Lektion 1(文法)	人称代名詞と動詞の人称変化
第3回	Lektion 1(文法)	Thema 1 自己紹介の仕方
第4回	Lektion 2(文法)	名詞の性、数、格 定冠詞、不定冠詞、冠詞の格変化
第5回	Lektion 2(読解)	Thema 2 ドイツ語圏の地理
第6回	Lektion 3(文法)	不規則変化動詞、命令形、人称代名詞の格変化
第7回	Lektion 3(読解)	Thema 3 食べ物・スイーツ
第8回	Lektion 4(文法)	定冠詞類、不定冠詞類
第9回	Lektion 4(文法)	前置詞
第10回	Lektion 4(読解)	Thema 4 産業
第11回	Lektion 5(文法)	話法の助動詞、接続詞
第12回	Lektion 5(読解)	Thema 5 旅行
第13回	Lektion1～5の復習	テスト前の最終確認
第14回	最終試験	テストと春学期の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。準備学習は主に音読の練習や長文読解時に必要となる構文の把握等をしてもらう予定である。復習・宿題では各回ごとの学習内容が身についているかどうかを判断するための独作文等を課すことを予定している。

【テキスト（教科書）】

『ミニマムドイツ語・レーゼン』熊谷哲哉・大喜祐太著、朝日出版社、2023年

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社）
独和辞書

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、和訳、音読のチェックなどを含む平常点50%と最終試験50%を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度に合わせて授業を進めていく予定である。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞書と1年次に使った教科書を持参してくること。

【その他の重要事項】

授業の進度は、クラスの状況によって一部変更する可能性もある。

【Outline (in English)】

In addition to reviewing the pronunciation and grammar learned in the first year and learning intermediate level grammar, students will develop their understanding of other cultures by reading a variety of texts about German cultures. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 II

2017年度以降入学者

保科 泰

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ発音や文法事項の復習および中級レベルの文法知識を学ぶとともに、ドイツ語圏の文化に関する様々な文章を読むことで、他文化圏に関する理解を深める。

【到達目標】

学んだ文法知識を単に暗記するのではなく、それを作文や読解作業の際に運用できるようになる。例えば、ドイツ語で書かれた文の構文を文法的に正確に自分で説明できるようになること等がこの授業での到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は対面形式で行う。文法の復習を行う回と、約200ワード程度の文章を精読する回とを交互に分けて授業を進めていく予定である。フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	春学期の復習
第2回	Lektion6(文法)	授業の進め方に関する説明 分離動詞・非分離動詞、zu 不定詞、再帰代名詞
第3回	Lektion6(読解)	Thema 6 教育制度
第4回	Lektion7(文法)	過去形、現在完了形
第5回	Lektion7(読解)	Thema 7 歴史
第6回	Lektion8(文法)	形容詞、序数
第7回	Lektion8(読解)	Thema 8 哲学
第8回	Lektion9(文法)	受動態
第9回	Lektion9(文法)	関係代名詞
第10回	Lektion9(読解)	Thema 9 サッカー
第11回	Lektion10(文法)	接続法 I・II 式
第12回	Lektion10(読解)	Thema 10 文学
第13回	Lektion6～10の復習	テスト前の最終確認
第14回	最終試験	テストと一年間の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。準備学習は主に音読の練習や長文読解時に必要となる構文の把握等をしてもらう予定である。復習・宿題では各回ごとの学習内容が身につけているかどうかを判断するための独作文等を課す予定である。

【テキスト（教科書）】

『ミニマムドイツ語・レーゼン』熊谷哲哉・大喜祐太著、朝日出版社、2023年

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社）
独和辞書

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、和訳、音読のチェックなどを含む平常点50%と最終試験50%を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度に合わせて授業を進めていく予定である。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞書と1年次に使った教科書を持参してくること。

【その他の重要事項】

授業の進度は、クラスの状況によって一部変更する可能性がある。

【Outline (in English)】

In addition to reviewing the pronunciation and grammar learned in the first year and learning intermediate level grammar, students will develop their understanding of other cultures by reading a variety of texts about German cultures. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語3Ⅰ

2017年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的はふたつあります。ひとつには、ドイツ語初級文法を復習し、「知っている」段階から「使える」段階へのレベルアップを目指します。もうひとつの目的は、文法の知識を用いてドイツ語のテキストを読めるようになることです。

【到達目標】

・ドイツ語の発音と文法について正確な知識とスキルを獲得し、適切かつ正確に用いることができる。

・ドイツ語のテキストを文法的に分析することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

Z その他 /Other

【授業の進め方と方法】

- 1) 授業は教科書にそって行います。原則として、文法の復習とテキストの読解を交互に行います。
- 2) 文法の復習では、授業前に提出した課題の答え合わせと解説を行います。定着を図るため、授業中にも問題を解いていきます。また、授業後には指定箇所の音読ファイルを提出していただきます。
- 3) テキスト読解では、授業前に提出した課題の答え合わせをしながら、各文の構造、文同士および段落同士のつながりを文法的に分析します。またテキスト各文のアクセントと発音をチェックし、音読の練習をします。
- 4) 時折、会話練習を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進め方と辞書について／ドイツ語の発音
第2回	第1課（前半）	文法：動詞の現在人称変化（I）
第3回	第1課（後半）	テキスト読解：自己紹介
第4回	第2課（前半）	文法：動詞の現在人称変化（II）・並列の接続詞
第5回	第2課（後半）	テキスト読解：ドイツ語圏の国々／職業を尋ねる
第6回	第3課（前半）	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化
第7回	第3課（後半）	テキスト読解：広告文を読む
第8回	第4課（前半）	文法：名詞の複数形・人称代名詞
第9回	第4課（後半）	テキスト読解：レシピを読む
第10回	第5課（前半）	文法：不定冠詞類・定冠詞類
第11回	第5課（後半）	テキスト読解：仕事を探す／電話をする
第12回	第6課（前半）	文法：動詞の現在人称変化（III）・命令形
第13回	第6課（後半）	テキスト読解：Heidiを読む／趣味を尋ねる
第14回	まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：事前に指定された課題に取り組み、指定期日までに提出する。
復習：授業中に指定された課題に取り組み、指定期日までに提出する。
※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

新倉真矢子・亀ヶ谷 昌秀・正木晶子・中野有希子『ゲナウ！ レーゼン ノイ』郁文堂、2022年。

【参考書】

独和辞典（できれば紙のもの）を購入すること。くわしくは初回授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト：60%

平常点（授業への積極的な参加・提出課題）：40%

※ 以上を踏まえて総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

履修者からの意見や要望に耳を傾けます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course has two primary objectives: to review and reinforce elementary German grammar, and to apply this grammatical knowledge to reading German texts as well as to develop analytical reading skills.

(Course objectives)

By the end of this course, students will be able to:

- accurately identify and explain basic grammatical structures in German texts;
- apply elementary German grammar to the reading and comprehension of short German texts.

(Learning activities outside of the classroom)

Students are expected to complete and submit the required assignments before and after each class meeting. Study time for this course will be more than an hour per class.

(Grading Criteria /Policy)

Final grades will be calculated based on the following components: term-end examination (60%), and in-class participation, including assignments submitted during the semester (40%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 II

2017年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的はふたつあります。ひとつには、ドイツ語初級文法を復習し、「知っている」段階から「使える」段階へのレベルアップを目指します。もうひとつの目的は、文法の知識を用いてドイツ語のテキストを読めるようになることです。

【到達目標】

- ・ドイツ語の発音と文法について正確な知識とスキルを獲得し、適切かつ正確に用いることができる。
- ・ドイツ語のテキストを文法的に分析することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

Z その他 /Other

【授業の進め方と方法】

- 1) 授業は教科書にそって行います。原則として、文法の復習とテキストの読解を交互に行います。
- 2) 文法の復習では、授業前に提出した課題の答え合わせと解説を行います。定着を図るため、授業中にも問題を解いていきます。また、授業後には指定箇所の音読ファイルを提出していただきます。
- 3) テキスト読解では、授業前に提出した課題の答え合わせをしながら、各文の構造、文同士および段落同士のつながりを文法的に分析します。またテキスト各文のアクセントと発音をチェックし、音読の練習をします。
- 4) 時折、会話練習を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進め方と辞書について
第2回	第7課（前半）	文法：話法の助動詞
第3回	第7課（後半）	テキスト読解：『アンネの日記』
第4回	第8課（前半）	文法：前置詞・再帰動詞
第5回	第8課（後半）	テキスト読解：ドイツの祝祭日についての文章を読む
第6回	第9課（前半）	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞句・従属の接続詞
第7回	第9課（後半）	テキスト読解：インタビューを読む
第8回	第10課（前半）	文法：動詞の3基本形（I）・過去形・現在完了形
第9回	第10課（後半）	テキスト読解：童話『小さな魔女』を読む
第10回	第11課（前半）	文法：動詞の3基本形（II）・受動態
第11回	第11課（後半）	テキスト読解：ハリボーについての説明文を読む
第12回	第12課（前半）	文法：形容詞の変化・比較・関係代名詞
第13回	第12課（後半）	テキスト読解：童話『イソップ物語』を読む
第14回	まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：事前に指定された課題に取り組み、指定期日までに提出する。
 復習：授業中に指定された課題に取り組み、指定期日までに提出する。
 ※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

新倉真矢子・亀ヶ谷 昌秀・正木晶子・中野有希子『ゲナウ！ レーゼン ノイ』郁文堂、2022年。

【参考書】

独和辞典（できれば紙のもの）を購入すること。くわしくは初回授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト：60%

平常点（授業への積極的な参加・提出課題）：40%

※ 以上を踏まえて総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

履修者からの意見や要望に耳を傾けます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course has two primary objectives: to review and reinforce elementary German grammar, and to apply this grammatical knowledge to reading German texts as well as to develop analytical reading skills.

(Course objectives)

By the end of this course, students will be able to:

- accurately identify and explain basic grammatical structures in German texts;
- apply elementary German grammar to the reading and comprehension of short German texts.

(Learning activities outside of the classroom)

Students are expected to complete and submit the required assignments before and after each class meeting. Study time for this course will be more than an hour per class.

(Grading Criteria /Policy)

Final grades will be calculated based on the following components: term-end examination (60%), and in-class participation, including assignments submitted during the semester (40%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I 2017年度以降入学者

大杉 千尋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で習った初級文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけましょう。また、ドイツについて書かれたまとまった文章を読むことで、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めましょう。

【到達目標】

・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の読解力を身につける。

・ドイツ文化についての知識を得て、日本と比較しながら考える視点を身につける。

-To acquire an intermediate level of German grammar and develop intermediate-level reading proficiency in German.

-To gain knowledge of German culture and cultivate the ability to reflect on it in comparison with Japan.

The standard time for preparation and review for this course is one hour in total.

Preparation: Analyze the text according to the assigned tasks and practice reading it aloud.

Review: Practice reading aloud and review the content.

Active participation in class and submission of assignments: 40%

Final examination: 60%

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

・授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。

(1) 本文のアクセントと発音をチェックし、音読の練習をします。

(2) 文同士、段落同士のつながりを文法的に分析し、文法構造を理解します。

(3) テキストの内容について検討します。

・一文ずつ、ランダムに指名して(1)(2)(3)を説明してもらいます。

・授業中に課題をこなす場合には、必要に応じてグループワークやペアワークを取り入れます。

・教科書中の課題は授業中に答え合わせをします。また前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・Lektion 0.	授業の進め方について／自己紹介のテキストを読む
2	Lektion 1(地理と気候)	アクセントと発音・文構造の理解、練習問題
3	Lektion 1(地理と気候)	内容把握と日本語訳
4	Lektion 2 (食生活)	アクセントと発音・文構造の理解、練習問題
5	Lektion 2 (食生活)	内容把握と日本語訳

6	Lektion 3 (ドイツ語という言語)	アクセントと発音・文構造の理解、練習問題
7	Lektion 3 (ドイツ語という言語)	内容把握と日本語訳
8	Lektion 4 (ドイツの大学)	アクセントと発音・文構造の理解、練習問題
9	Lektion 4 (ドイツの大学)	内容把握と日本語訳
10	Lektion 5 (祝日と休暇)	アクセントと発音・文構造の理解、練習問題
11	Lektion 5 (祝日と休暇)	内容把握と日本語訳
12	Lektion 6 (ドイツの治安事情)	アクセントと発音・文構造の理解、練習問題
13	Lektion 6 (ドイツの治安事情)	内容把握と日本語訳
14	前期のまとめ	試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

予習：課題に従ってテキストを分析する。音読の練習。

復習：音読の練習。内容の復習。

【テキスト（教科書）】

斎藤太郎 /Siegfried Kohlhammer『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』2018年、朝日出版社。

【参考書】

授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくる。

独和辞典は紙の辞書を推奨します。

辞書は以下のものがおすすめです。

『アクセス独和辞典』（三修社）、『クラウン独和辞典』（三省堂）、『独和大辞典 コンパクト版 第二版』（小学館）、『プログレッシブ独和辞典』（小学館）、『アポロン独和辞典』（同学社）

文法書としては以下のものがおすすめです。

中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』、2003年、白水社。

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加、課題提出：40%

期末テスト：60%

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を確認しながら授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

感染症拡大などの際に備えて、通信機器（PCまたはタブレットがのぞましい）へのZoomのインストールをお願いします。

【その他の重要事項】

感染症拡大など不測の事態に際してはZoomによるオンライン授業も実施する可能性があります。

【Outline (in English)】

While reviewing the basic grammar learned in the first year, we will study intermediate grammar and aim to acquire intermediate level proficiency in German. In addition, by reading substantial texts about Germany, we will develop our reading comprehension skills in German and deepen our understanding of German culture.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 II

2017年度以降入学者

大杉 千尋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で習った初級文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけましょう。また、ドイツについて書かれたまとまった文章を読むことで、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めましょう。

【到達目標】

- ・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の読解力を身につける。
- ・ドイツ文化についての知識を得て、日本と比較しながら考える視点を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

- ・授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。
- (1) 本文のアクセントと発音をチェックし、音読の練習をします。
- (2) 文同士、段落同士のつながりを文法的に分析し、文法構造を理解します。
- (3) テキストの内容について検討します。
- ・一文ずつ、ランダムに指名して(1)(2)(3)を説明してもらいます。
- ・授業中に課題をこなす場合には、必要に応じてグループワークやペアワークを取り入れます。
- ・教科書中の課題は授業中に答え合わせをします。また前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	前期の復習
2	Lektion 7 (教育制度)	アクセントと発音・文構造の理解、練習問題
3	Lektion 7 (教育制度)	内容把握と日本語訳
4	Lektion 8 (政治制度)	アクセントと発音・文構造の理解、練習問題
5	Lektion 8 (政治制度)	内容把握と日本語訳
6	Lektion 9 (ドイツの歴史概観)	アクセントと発音・文構造の理解、練習問題
7	Lektion 9 (ドイツの歴史概観)	内容把握と日本語訳
8	Lektion 10 (音楽の国ドイツ)	アクセントと発音・文構造の理解、練習問題
9	Lektion 10 (音楽の国ドイツ)	内容把握と日本語訳
10	Lektion 11 (ドイツの宗教事情)	アクセントと発音・文構造の理解、練習問題
11	Lektion 11 (ドイツの宗教事情)	内容把握と日本語訳

12	Lektion 12 (二つのドイツ)	アクセントと発音・文構造の理解、練習問題
13	Lektion 12 (二つのドイツ)	内容把握と日本語訳
14	後期のまとめ	試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
予習：課題に従ってテキストを分析する。音読の練習。
復習：音読の練習。内容の復習。

【テキスト（教科書）】

斎藤太郎 /Siegfried Kohlhammer『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』2018年、朝日出版社。

【参考書】

授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくる。

独和辞典は紙の辞書を推奨します。

辞書は以下のものがおすすめです。

『アクセス独和辞典』（三修社）、『クラウン独和辞典』（三省堂）、『独和大辞典 コンパクト版 第二版』（小学館）、『プログレッシブ独和辞典』（小学館）、『アポロン独和辞典』（同学社）

文法書としては以下のものがおすすめです。

中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』、2003年、白水社。

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加、課題提出：40%

期末テスト：60%

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を確認しながら授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

感染症拡大などの際に備えて、通信機器（PCまたはタブレットがのぞましい）へのZoomのインストールをお願いします。

【その他の重要事項】

感染症拡大など不測の事態に際してはZoomによるオンライン授業も実施する可能性があります。

【Outline (in English)】

While reviewing the basic grammar learned in the first year, we will study intermediate grammar and aim to acquire intermediate level proficiency in German. In addition, by reading substantial texts about Germany, we will develop our reading comprehension skills in German and deepen our understanding of German culture.

-To acquire an intermediate level of German grammar and develop intermediate-level reading proficiency in German.

-To gain knowledge of German culture and develop a comparative perspective by reflecting on it in relation to Japan. The standard time for preparation and review for this course is one hour in total.

Preparation: Analyze the text in accordance with the assigned tasks and practice reading it aloud.

Review: Practice reading aloud and review the content.

Active participation in class and submission of assignments: 40%

Final examination: 60%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I 2017年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ミュンヒハウゼン男爵の物語や映像を題材に、文法構造や語順の的確に把握し、正確に理解できる能力を養います。明瞭な発音での朗読や映像視聴を通じ、生きたドイツ語に慣れ親しみます。基礎文法を終えた学生が対象です。

【到達目標】

。原文の文構造を的確に把握し、論理的で明晰な日本語へと再構築できる。
。クラス全員が正確に理解できるような、明瞭な発音と声量でドイツ語の文章を朗読できる。
。試験範囲だけに捉われず、映像作品などを通じてドイツの社会や文化に対する関心と教養を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

Z その他 /Other

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキストを「読む・聞く・話す（音読）」の多角的な視点から学びます。映画のシーンや音声教材を「視覚的・聴覚的な文法」として活用し、教科書上の知識を生きた言葉へとつなげます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 作者と文化的背景	シラバスを読み、授業内容を確認する。 G.A. ビュルガーの生涯と「ほら吹き話」の伝統について
2	Kapitel 1: Das Pferd auf dem Kirchdach (1)	「教会の塔の上の馬」を読み、和訳する。
3	Das Pferd auf dem Kirchdach (2)	第1章の文法と音声教材による朗読練習。
4	Kapitel 2: Die merkwürdige Schädeldecke des Generals (1)	「將軍の奇妙な頭蓋骨」を読み、ストーリーを把握する。
5	Die merkwürdige Schädeldecke des Generals (2)	第2章の文法と映画の場面を題材に、聞き取りと朗読のトレーニング。
6	Kapitel 3: Erlebnisse bei der Entenjagd (1)	「アヒル狩り体験」を読み、内容を正確に理解する。
7	Erlebnisse bei der Entenjagd (2)	第3章の文法と音声教材による朗読練習。
8	Kapitel 4: Der Ritt auf der Kanonenkugel (1)	「大砲の弾に乗って」を読み、和訳する。
9	Der Ritt auf der Kanonenkugel (2)	第4章の文法と映画の場面を題材に、聞き取りと朗読のトレーニング。

10	Kapitel 5: Zieht sich an seinem Zopf selbst aus dem Sumpf (1)	「自らの髪をつかんで沼から抜け出す」を読み、ストーリーを把握する。
11	Zieht sich an seinem Zopf selbst aus dem Sumpf (2)	第5章の文法と音声教材による朗読練習。
12	Kapitel 6: Die Wette um eine Flasche Tokajer (1)	「トカイワイン一本をかけた賭け」内容を正確に理解する。
13	Die Wette um eine Flasche Tokajer (2)	第6章の文法と映画の場面を題材に、聞き取りと朗読のトレーニング。
14	試験・まとめ	秋学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週アップロードされるテキストの和訳を準備し、練習問題の解答例を身につけてください。

本授業の予習および復習にかかる標準的な時間は、合わせて1時間です。

【テキスト（教科書）】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

出席及び授業への参加態度：30%、

学期末試験：70%

欠席が全体の3分の1を超えた場合は成績評価対象外となる。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム（HOPPII）から資料をダウンロードするためにPC・タブレットが必要ですが、授業内でのルールは以下の2点に集約されます：

資料の準備と持参：翻訳の対象となるテキストは、事前に各自でプリントアウトして必ず持参してください。

授業中のルール：デジタル機器は鞆にしまい、授業内では和独辞典を使用してください。前期の教科書や資料も必要に応じて持参・活用してください。

【Outline (in English)】

Course Outline and Objectives

Using the tales and films of Baron von Münchhausen as study material, this course aims to develop students' ability to accurately analyze grammatical structures and word order (Satzbau). Through reading aloud with clear pronunciation and viewing video clips, students will become familiar with authentic, "living" German.

Learning Objectives

。Analyze original sentence structures and reconstruct them into clear, logical Japanese.

。Read German texts aloud with sufficient volume and clarity for the entire class to understand.

。Deepen interest in German society and culture through various media, extending beyond the scope of examinations.

Learning Activities Outside of Classroom

Students are required to prepare a translation of the weekly text before each lesson. The standard time for preparation and review is one hour per week.

Grading Criteria / Policy

Class Participation: 30%

Final Examination: 70%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 II

2017年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

諺、寓話、メルヘン、物語詩の「オリジナル・テキスト」を題材にします。夏学期で学んだ文法分析を基礎に、冬学期では特に言葉のニュアンスや文化的・歴史的背景、そして修辞（レトリック）の理解に重点を置きます。リライトされていない本来のドイツ語に触れ、より深い読解力と解釈力を養います。基礎文法を終えた学生が対象です。

【到達目標】

- ・ オリジナル・テキスト特有の複雑な構造や修辞を分析し、的確な日本語に再構築できる。
- ・ テキストの裏にある思想や教訓を読み解き、言葉の細かなニュアンスを理解できる。
- ・ 諺や寓話の背景にあるドイツの文化的・歴史的な伝統に対する関心と教養を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

自宅で予習（和訳）してきた内容をもとに、原文の複雑な文法構造や語順を教室で詳しく検討します。演習や映像資料の視聴を通じ、言葉の細かなニュアンスやレトリック、文化的・歴史的な背景への理解を深めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを確認し、オリジナル・テキスト読解の目標を共有する。
2	諺（1）	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
3	諺（2）	「ドイツ語の諺」を精読し、文法構造がどのように応用されているか分析する。
4	諺（3）	和独辞典を用いて表現の細かなニュアンスを検討し、適切な訳語を選択する。
5	寓話（1）	ドイツ語の寓話（教訓を含んだ短い文章）を読み、修辞や思想を探る。
6	寓話（2）	テキストに使用されている修辞（レトリック）を分析し、語彙力の定着を図る。
7	寓話（3）	物語に込められた教訓や思想を読み解き、文脈に応じた総合的な解釈を行う。
8	メルヘン（1）	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いつながり全体の展開を把握する。
9	メルヘン（2）	「メルヘンの原文」を読み、物語の構造と時制（過去形など）の機能を把握する。

10	メルヘン（3）	映像資料を併用し、テキストの描写と視覚的なイメージを統合して理解する。
11	物語詩（1）	ドイツ語の物語詩（バラード）を読み、和訳する。
12	物語詩（2）	ドイツ語の物語詩（バラード）を読み、内容を正確に理解する。
13	物語詩（3）	ドイツ語の物語詩（バラード）のアニメと曲を視聴し、ドイツ語特有の音声変換やリズムに慣れ親しむ。
14	試験・まとめ	秋学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週アップロードされるテキストの和訳を準備し、練習問題の解答例を身につけてください。

本授業の予習および復習にかかる標準的な時間は、合わせて1時間です。

【テキスト（教科書）】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

出席及び授業への参加態度：30%、

学期末試験：70%

欠席が全体の3分の1を超えた場合は成績評価対象外となる。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム（HOPPII）から資料をダウンロードするためにPC・タブレットが必要ですが、授業内でのルールは以下の2点に集約されます：

資料の準備と持参：翻訳の対象となるテキストは、事前に各自でプリントアウトして必ず持参してください。

授業中のルール：デジタル機器は鞆にしまい、授業内では和独辞典を使用してください。前期の教科書や資料も必要に応じて持参・活用してください。

【Outline (in English)】

Course Outline and Objectives

This course focuses on "original German texts" such as proverbs, fables, fairy tales, and ballads. Building on the grammatical analysis skills acquired in the summer semester, the winter semester shifts its focus toward linguistic nuances, cultural and historical backgrounds, and rhetorical devices. By engaging with authentic, unsimplified German, students will develop deeper reading and interpretation skills. This course is designed for students who have completed basic grammar.

Learning Objectives (Goals)

- ・ Analyze complex structures and rhetoric specific to original German texts and reconstruct them into precise Japanese.
- ・ Decipher the underlying thoughts and moral lessons of the texts while understanding fine linguistic nuances.

Deepen interest and general education (Kyōyō) regarding German cultural and historical traditions through the study of proverbs, fables, and ballads.

Work to be done outside of class

Students are required to prepare a translation of the weekly original texts. The standard time for preparation and review is one hour per week.

Grading Criteria / Policy

Class Participation: 30%

Final Examination: 70%

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

丸山 達也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法を復習しながらドイツ語の文章に触れ、辞書を使いながら読解すること、ドイツ語圏に関する知識を深めることを目指します。

【到達目標】

辞書を使いながらドイツ語の平易な文章を自力で読むことができるようになります。

音読を通じて、発音および読解力を向上させることができます。読解や文法事項の復習を通じて、自分でもドイツ語で表現ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

Z その他 /Other

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解を中心に、適宜文法事項を復習しながら進めます。読解にあたっては、毎回当該の文章を順番に音読してもらい、文の読解（文構造の解説と日本語訳）する担当を割り振ります。ですので受講するためには、予習が必須となります。内容に関する文化的・歴史的知識を深めるために、教科書以外のテキストや映像資料等を用いることもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方 ドイツ語の復習
2	Lektion 1	地理と気候
3	Lektion 2	食生活
4	Lektion 2	食生活
5	Lektion 3	ドイツ語という言語
6	Lektion 4	ドイツの大学
7	Lektion 4	ドイツの大学
8	Lektion 5	祝日と休暇
9	Lektion 5	祝日と休暇
10	Lektion 6	ドイツの治安事情
11	Lektion 6	ドイツの治安事情
12	Lektion 7	教育制度
13	Lektion 7	教育制度
14	学期末試験	春学期に学んだ内容

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Lektion 毎に、各自で学習ノート（語彙や表現、文法事項など）を作成してもらいます。各Lektionが終わった段階で提出してもらいます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Siegfried Kohlhammer・斎藤太郎『Deutsch und deutschsprachiger Raum（知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～）』朝日出版社、2018年。（2300円＋税）

【参考書】

・1年次に使用した教科書

・独和辞典（紙辞書・電子辞書・辞書アプリのいずれかは問わない。ただし、Web上の無料辞書の使用は認めない。適切な辞書の種類については授業内で案内する。）

・中島悠爾ほか：『改訂版 必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点：30%

提出課題：20%

期末テスト：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

・独和辞典（電子辞書やアプリ版の辞書でもOK）を必ず持参してください。Google翻訳やDeepLなどのオンライン無料辞書では対応できないので原則使用しないこと。

・1年次に使用したドイツ語の教科書も持参してください。他の文法書でも可。

・（オンライン形式で授業を行う場合）Zoom および Zoomに接続できるPCと接続可能な環境（ファイル配布の観点からスマートフォンは推奨しません）

【その他の重要事項】

正しく理解することも大事ですが、同時に「楽しむ」ことも重要です。そのためには、自分にとって未知の世界や遠い存在に関心を抱く、自分から歩み寄る姿勢が大切なので、そのような意識を心がけましょう。

また、分からないことを分からないまま放置せずに積極的に質問してください。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。

履修者の理解度や実際の進み具体に応じて、授業計画の内容は変更される場合があります。

【Outline (in English)】

German course for the intermediate levels. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language, especially ability of reading and comprehension for general topics to talk about.

Students will be able to read and understand German texts based on basic grammar and vocabulary.

They will be able to read texts not only in their superficial meaning, but also in relation to a variety of historical and cultural contexts.

The total time required for preparation and revision for the class is one hour.

Participants should read the text aloud repeatedly.

Students are expected to have read the text in advance before reading it in class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

in class contribution: 30%, submission assignment: 20%, term-end examination: 50%

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語3 II

2017年度以降入学者

丸山 達也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法を復習しながらドイツ語の文章に触れ、辞書を使いながら読解すること、ドイツ語圏に関する知識を深めることを目指します。

【到達目標】

辞書を使いながらドイツ語の平易な文章を自力で読むことができるようになります。

音読を通じて、発音および読解力を向上させることができます。読解や文法事項の復習を通じて、自分でもドイツ語で表現ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

Z その他 /Other

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解を中心に、適宜文法事項を復習しながら進めます。読解にあたっては、毎回当該の文章を順番に音読してもらい、文の読解（文構造の解説と日本語訳）する担当を割り振ります。ですので受講するためには、予習が必須となります。内容に関する文化的・歴史的知識を深めるために、教科書以外のテキストや映像資料等を用いることもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の復習
2	Lektion 8	政治制度
3	Lektion 8	政治制度
4	Lektion 9	ドイツの歴史概観
5	Lektion 9	ドイツの歴史概観
6	Lektion 10	音楽の国ドイツ
7	Lektion 10	音楽の国ドイツ
8	Lektion 12	二つのドイツ
9	Lektion 12	二つのドイツ
10	Lektion 13	EUとドイツ
11	Lektion 13	EUとドイツ
12	Lektion 14	ドイツの外国人、難民、移民
13	Lektion 14	ドイツの外国人、難民、移民
14	学期末試験	秋学期に学んだ内容

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Lektion 毎に、各自で学習ノート（語彙や表現、文法事項など）を作成してもらいます。各Lektionが終わった段階で提出してもらいます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Siegfried Kohlhammer・斎藤太郎『Deutsch und deutschsprachiger Raum（知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～）』朝日出版社、2018年。（2300円＋税）

【参考書】

・1年次に使用した教科書

・独和辞典（紙辞書・電子辞書・辞書アプリのいずれかは問わない。ただし、Web上の無料辞書の使用は認めない。適切な辞書の種類については授業内で案内する。）

・中島悠爾ほか：『改訂版 必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点：30%

提出課題：20%

期末テスト：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

・独和辞典（電子辞書やアプリ版の辞書でもOK）を必ず持参してください。Google翻訳やDeepLなどのオンライン無料辞書では対応できないので原則使用しないこと。

・1年次に使用したドイツ語の教科書も持参してください。他の文法書でも可。

・（オンライン形式で授業を行う場合）Zoom および Zoomに接続できるPCと接続可能な環境（ファイル配布の観点からスマートフォンは推奨しません）

【その他の重要事項】

正しく理解することも大事ですが、同時に「楽しむ」ことも重要です。そのためには、自分にとって未知の世界や遠い存在に関心を抱く、自分から歩み寄る姿勢が大切なので、そのような意識を心がけましょう。

また、分からないことを分からないまま放置せずに積極的に質問してください。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。

履修者の理解度や実際の進み具体に応じて、授業計画の内容は変更される場合があります。

【Outline (in English)】

German course for the intermediate levels. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language, especially ability of reading and comprehension for general topics to talk about.

Students will be able to read and understand German texts based on basic grammar and vocabulary.

They will be able to read texts not only in their superficial meaning, but also in relation to a variety of historical and cultural contexts.

The total time required for preparation and revision for the class is one hour.

Participants should read the text aloud repeatedly.

Students are expected to have read the text in advance before reading it in class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

in class contribution: 30%, submission assignment: 20%, term-end examination: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 4 I

2017年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は2つあります。ひとつはドイツについて書かれた文章を読み、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めます。もうひとつは1年生で習った基礎文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけます。

【到達目標】

- ・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の文章を読むための読解力を身につける。
- ・ドイツの文化を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

- ・授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。
- 1) テキスト各文のアクセントと発音をチェックし、音読の練習をします。
- 2) 授業前に提出していただいた課題の答え合わせをしながら、各文の構造、文同士および段落同士のつながりを文法的に分析します。
- 3) 各課の終わりに、テキストを音読したファイルを提出していただきます。
- ・授業中に課題をこなす場合には、必要に応じてグループワークやペアワークを取り入れます。
- ・課題は授業中に答え合わせをします。また前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション ／ Lektion 0.	授業の進め方について／自己紹介のテキストを読む
第2回	Lektion 1(地理と気候)	アクセントと発音／文構造の理解
第3回	Lektion 1(地理と気候)	内容把握と日本語訳
第4回	Lektion 2（食生活）	アクセントと発音／文構造の理解
第5回	Lektion 2（食生活）	内容把握と日本語訳
第6回	Lektion 3（ドイツ語という言語）	アクセントと発音／文構造の理解
第7回	Lektion 3（ドイツ語という言語）	内容把握と日本語訳
第8回	Lektion 4（ドイツの大学）	アクセントと発音／文構造の理解
第9回	Lektion 4（ドイツの大学）	内容把握と日本語訳
第10回	Lektion 5（祝日と休暇）	アクセントと発音／文構造の理解

第11回 Lektion 5（祝日と休暇） 内容把握と日本語訳

第12回 Lektion 6（ドイツの治安事情） アクセントと発音／文構造の理解

第13回 Lektion 6（ドイツの治安事情） 内容把握と日本語訳

第14回 前期のまとめ 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：事前に指定された課題に取り組み、指定期日までに提出する。
復習：授業中に指定された課題に取り組み、指定期日までに提出する。
※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

斎藤太郎 /Siegfried Kohlhammer (2018年)『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』朝日出版社。

【参考書】

授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくる。

独和辞典は紙の辞書を推奨します。くわしくは初回授業でお話します。

また、文法の教科書の代わりに以下の本を勧めます。

中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧 (2003)『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

授業への積極的な貢献・提出課題：40%

以上を踏まえ、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を確認しながら授業を進めます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course has two goals. The first is to consolidate German language skills acquired during the first year and to develop an understanding of German culture. The second is to review elementary grammar and learn intermediate grammar.

(Course Objectives)

By the end of this course, students will be able to:

- accurately identify and explain basic grammatical structures in German texts;
- apply elementary German grammar to the reading and comprehension of short German texts.

(Learning activities outside of the classroom)

Students are expected to complete and submit the required assignments before and after each class meeting. Study time for this course will be more than an hour per class.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be calculated as follows: term-end examination (60%) and in-class participation, including assignments submitted during the semester (40%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 4 II

2017年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は2つあります。ひとつはドイツについて書かれた文章を読み、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めます。もうひとつは1年生で習った基礎文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけます。

【到達目標】

- ・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の文章を読むための読解力を身につける。
- ・ドイツの文化を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

- ・授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。
- 1) テキスト各文のアクセントと発音をチェックし、音読の練習をします。
- 2) 授業前に提出していただいた課題の答え合わせをしながら、各文の構造、文同士および段落同士のつながりを文法的に分析します。
- 3) 各課の終わりに、テキストを音読したファイルを提出していただきます。
- ・授業中に課題をこなす場合には、必要に応じてグループワークやペアワークを取り入れます。
- ・課題は授業中に答え合わせをします。また前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	前期の復習
第2回	Lektion 7 (教育制度)	アクセントと発音／文構造の理解
第3回	Lektion 7 (教育制度)	内容把握と日本語訳
第4回	Lektion 8 (政治制度)	アクセントと発音／文構造の理解
第5回	Lektion 8 (政治制度)	内容把握と日本語訳
第6回	Lektion 9 (ドイツの歴史概観)	アクセントと発音／文構造の理解
第7回	Lektion 9 (ドイツの歴史概観)	内容把握と日本語訳
第8回	Lektion 10 (音楽の国ドイツ)	アクセントと発音／文構造の理解
第9回	Lektion 10 (音楽の国ドイツ)	内容把握と日本語訳
第10回	Lektion 11 (ドイツの宗教事情)	アクセントと発音／文構造の理解

第11回 Lektion 11 (ドイツの宗教事情) 内容把握と日本語訳

第12回 Lektion 12 (二つのドイツ) アクセントと発音／文構造の理解

第13回 Lektion 12 (二つのドイツ) 内容把握と日本語訳

第14回 後期のまとめ 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：事前に指定された課題に取り組み、指定期日までに提出する。
復習：授業中に指定された課題に取り組み、指定期日までに提出する。
※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

斎藤太郎 / Siegfried Kohlhammer (2018年)『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』朝日出版社。

【参考書】

授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくる。

独和辞典は紙の辞書を推奨します。くわしくは初回授業でお話します。

また、文法の教科書の代わりに以下の本を勧めます。

中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧 (2003)『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

授業への積極的な貢献・提出課題：40%

以上を踏まえ、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を確認しながら授業を進めます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course has two goals. The first is to consolidate German language skills acquired during the first year and to develop an understanding of German culture. The second is to review elementary grammar and learn intermediate grammar.

(Course Objectives)

By the end of this course, students will be able to:

- accurately identify and explain basic grammatical structures in German texts;
- apply elementary German grammar to the reading and comprehension of short German texts.

(Learning activities outside of the classroom)

Students are expected to complete and submit the required assignments before and after each class meeting. Study time for this course will be more than an hour per class.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be calculated as follows: term-end examination (60%) and in-class participation, including assignments submitted during the semester (40%).

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語 4 I 2017年度以降入学者

三ツ石 祐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、秋学期の「ドイツ語4-II」と併せて、ドイツ公共放送Deutsche Welle（DW）がドイツ語学習者向けに無料で配信しているショートビデオDeutschland Laborから数本のビデオを観ながら、中級レベルのドイツ語文法および表現を着実に身に付けることを目指します。

ドイツ人がドイツの文化や社会について紹介するショートビデオを観ることで、ドイツ人にとってのドイツらしさを知り、ドイツ語圏の社会や文化、そこに住む人々の考え方や日常生活などに関する知識と理解を深めることが目的です。そしてドイツで実際に日常的に話されているドイツ語を聞き、リアルなドイツ語を体験してみましよう。

【到達目標】

- ・自然なスピードのドイツ語による短い映像を、全体理解および要点把握のレベルで聞き取れるようになる。
- ・日常生活や社会に関する基本的な語彙・表現を増やす。
- ・インタビュー形式のやり取りを通して、学習した語彙や表現を実際のコミュニケーションで活用できるようになる。
- ・ディクテーションを通して、音と綴りの対応関係を定着させる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

ショートビデオを観ながら、重要単語の確認をし、全体を理解する。ビデオ番組に付随しているドイツ語の聴き取り問題を解いて、細部の理解を深める。その際、必要に応じて問題のドイツ語文を文法的に確認する。ショートビデオのインタビューを参考にし、学習した語彙や表現を用いて簡単なインタビューシーンを構成・実演する。定期的にディクテーションの練習をする。提出物などのフィードバックは適宜全体と、必要に応じて各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	Schule	ディクテーション、単語を確認しながらビデオを観る
02	Schule	聞き取り問題を解く、解説、インタビューへの自分の回答を考える
03	Schule Mode	インタビューシーンを演じる ディクテーション、単語を確認しながらビデオを観る
04	Mode	聞き取り問題を解く、解説、インタビューへの自分の回答を考える
05	Mode Wandern	インタビューシーンを演じる ディクテーション、単語を確認しながらビデオを観る

06	Wandern	聞き取り問題を解く、解説、インタビューへの自分の回答を考える
07	Wandern Organisation	インタビューシーンを演じる ディクテーション、単語を確認しながらビデオを観る
08	Organisation	聞き取り問題を解く、解説、インタビューへの自分の回答を考える
09	Organisation Autos und Mobilität	インタビューシーンを演じる ディクテーション、単語を確認しながらビデオを観る
10	Autos und Mobilität	聞き取り問題を解く、解説、インタビューへの自分の回答を考える
11	Autos und Mobilität Migration	インタビューシーンを演じる ディクテーション、単語を確認しながらビデオを観る
12	Migration	聞き取り問題を解く、解説、インタビューへの自分の回答を考える
13	Migration	インタビューシーンを演じる
14	春学期の振り返り	総括、試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱った単語やフレーズ等は、毎回必ず覚えてください。習得に要する時間には個人差があるが、目安として最低1時間程度を想定しています。

これとは別に、必要に応じて授業時間外の課題を課す場合があります。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布（人数分しか用意しないので、失くさず、忘れず毎回持参すること）

【参考書】

授業中に必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席状況、授業態度、課題提出、ディクテーション等を含む）50点満点中30点以上、かつ期末筆記試験50点満点中30点以上を取得し、合計60点以上を評価対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。

【その他の重要事項】

この授業は全て対面で行います。

学期中3回以上の無断欠席は履修放棄とみなします。病欠や一時的なけがによる欠席の場合はご連絡ください。

Hopiiに授業で扱ったショートビデオのURLをアップするので、ご活用ください。

また教室で使用できる辞書は原則として、インターネット接続不能なものとしします。

スマートフォンやタブレット等は、指示した時のみ使用可とします。授業計画は予定であり、クラス状況によって変更する可能性があります。

質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。

メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x アット hosei.ac.jp <アット=@>

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course, in conjunction with German 4-II, uses selected short videos from Deutschland Labor, a free German-learning video series provided by Deutsche Welle (DW). Students aim to develop intermediate-level German grammar and expressions while gaining insight into German society, culture, and everyday life through authentic spoken German.

【Learning Objectives】

Students will be able to:

- ・ Understand short German videos spoken at a natural speed at the level of general and key-point comprehension.

- Expand basic vocabulary and expressions related to daily life and society.
- Apply learned expressions in simple interview-style communication.
- Improve sound– spelling recognition through dictation.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to study vocabulary and expressions from each class for at least one hour. Additional assignments may be given as needed.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is based on continuous assessment (50%) and a final written examination(50%). Students must earn at least 30/50 points in each, with a total score of 60 points or higher.

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語 4 II 2017年度以降入学者

三ツ石 祐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期の「ドイツ語4-I」の後続授業という位置づけです。春学期に学習したことを踏まえ、引き続き中級レベルのドイツ語文法および表現を着実に身に付けることを目指します。ドイツ語とドイツ語圏の文化に関する知識と理解を更に深めて行きます。

【到達目標】

- ・自然なスピードのドイツ語による短い映像を、全体理解および要点把握のレベルで聞き取れるようになる。
- ・日常生活や社会に関する基本的な語彙・表現を増やす。
- ・インタビュー形式のやり取りを通して、学習した語彙や表現を実際のコミュニケーションで活用できるようになる。
- ・ディクテーションを通して、音と綴りの対応関係を定着させる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

ショートビデオを観ながら、重要単語の確認をし、全体を理解する。ビデオ番組に付随しているドイツ語の聴き取り問題を解いて、細部の理解を深める。その際、必要に応じて問題のドイツ語文を文法的に確認する。ショートビデオのインタビューを参考にし、学習した語彙や表現を用いて簡単なインタビューシーンを構成・実演する。定期的にディクテーションの練習をする。提出物などのフィードバックは適宜全体と、必要に応じて各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	Müll	ディクテーション、単語を確認しながらビデオを観る
02	Müll	聞き取り問題を解く、解説、インタビューへの自分の回答を考える
03	Müll Kuscheltiere	インタビューシーンを演じる ディクテーション、単語を確認しながらビデオを観る
04	Kuscheltiere	聞き取り問題を解く、解説、インタビューへの自分の回答を考える
05	Kuscheltiere Bio	インタビューシーンを演じる ディクテーション、単語を確認しながらビデオを観る
06	Bio	聞き取り問題を解く、解説、インタビューへの自分の回答を考える
07	Bio Mentalität	インタビューシーンを演じる ディクテーション、単語を確認しながらビデオを観る

08	Mentalität	聞き取り問題を解く、解説、インタビューへの自分の回答を考える
09	Mentalität Kälte	インタビューシーンを演じる ディクテーション、単語を確認しながらビデオを観る
10	Kälte	聞き取り問題を解く、解説、インタビューへの自分の回答を考える
11	Kälte Wurst	インタビューシーンを演じる ディクテーション、単語を確認しながらビデオを観る
12	Wurst	聞き取り問題を解く、解説、インタビューへの自分の回答を考える
13	Wurst	インタビューシーンを演じる
14	秋学期の振り返り	総括、試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱った単語やフレーズ等は、毎回必ず覚えてください。習得に要する時間には個人差があるが、目安として最低1時間程度を想定しています。

これとは別に、必要に応じて授業時間外の課題を課す場合があります。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布（人数分しか用意しないので、失くさず、忘れず毎回持参すること）

【参考書】

必要に応じて授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席状況、授業態度、課題提出、ディクテーション等を含む）50点満点中30点以上、かつ期末筆記試験50点満点中30点以上を取得し、合計60点以上を評価対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。

【その他の重要事項】

この授業は全て対面で行います。学期中3回以上の無断欠席は履修放棄とみなします。病欠や一時的なけがによる欠席の場合はご連絡ください。

Hopiiに授業で扱ったショートビデオのURLをアップするので、ご活用ください。

また教室で利用できる辞書は原則として、インターネット接続不能なものとなります。

スマートフォンやタブレット等は、指示した時のみ使用可とします。授業計画は予定であり、クラス状況によって変更する可能性があります。

質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。

メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x@hosei.ac.jp <アット=@>

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course is a continuation of German 4-I offered in the spring semester. Building on the content learned in the spring term, students will continue to acquire intermediate-level German grammar and expressions, while further deepening their knowledge and understanding of the German language and the cultures of German-speaking countries.

【Learning Objectives】

Students will be able to:

- ・ Understand short German videos spoken at a natural speed at the level of general and key-point comprehension.
- ・ Expand basic vocabulary and expressions related to daily life and society.
- ・ Apply learned expressions in simple interview-style communication.
- ・ Improve sound-spelling recognition through dictation.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to study vocabulary and expressions from each class for at least one hour. Additional assignments may be given as needed.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is based on continuous assessment (50%) and a final written examination (50%). Students must earn at least 30/50 points in each, with a total score of 60 points or higher.

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語 4 | 2017年度以降入学者

保科 泰

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

200ワード程度のドイツ語の文章を精読しながら、1年次に学習した文法事項の確認と中級レベルのドイツ語に必要な読解力や語彙力の向上を目指す。

【到達目標】

一つ目は、授業で学んだ文法知識や辞書などを手掛かりに、ドイツ語で書かれた文章の構文を正確に把握する精読のスキルを身につける。二つ目は、構文を意識しながら正確な発音で音読をするスキルを身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は対面形式で行う。

ドイツ語のテキストの読解が授業の中心になる。読解にあたっては、毎回担当者を決めて、事前に訳文を準備してもらう。自分で作成した訳文については文法事項や構文などを簡単に説明できるような準備をしておくこと。また、音読のチェックも毎回行うので、音声ファイルなどを使って予習をするようにしておくこと。フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方 自己紹介 初級文法の復習
第2回	Lektion 1 東ドイツを思い出しながら	文法の復習：過去形、完了形
第3回	Lektion 1 東ドイツを思い出しながら	テキストの精読および音読
第4回	Lektion 2 「壁」の向こう側には西ベルリンがあった	文法の復習：分離動詞
第5回	Lektion 2 「壁」の向こう側には西ベルリンがあった	テキストの精読および音読
第6回	Lektion 3 そのとき「壁」が開いた	文法の復習：前置詞
第7回	Lektion 3 そのとき「壁」が開いた	テキストの精読および音読
第8回	Lektion 4 欧州の和解と平和	文法の復習：関係代名詞
第9回	Lektion 4 欧州の和解と平和	テキストの精読および音読
第10回	Lektion 5 戦後の経済復興	文法の復習：不定関係代名詞
第11回	Lektion 5 戦後の経済復興	テキストの精読および音読

第12回	Lektion 6 未来への課題	文法の復習: zu 不定詞
第13回	Lektion 6 未来への課題	テキストの精読および音読
第14回	最終試験	テストと春学期学んだことの総復習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とする。準備学習では、課題テキストの独文和訳および音読の練習を行ってもらう予定である。復習では、授業内での解説をもとに、提出した和訳の直しを行ってもらう予定である。

【テキスト（教科書）】

『「壁」を壊す メルケル独首相スピーチ』、村瀬民子著、白水社、2022年

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社）
独和辞典

【成績評価の方法と基準】

授業への参加態度、和訳課題、音読のチェックなどを含む平常点50%と期末テスト50%を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典を持参すること。

【その他の重要事項】

授業の内容や順序は、クラスの状態によって一部変更する可能性がある。

【Outline (in English)】

Through close reading of German texts of approximately 200 words, the course aims to confirm the grammatical points learned in the first year and to review reading comprehension and vocabulary skills necessary for intermediate level German. The objective of this course is to develop the skill of carefully reading German texts by accurately understanding their sentence structures with the help of grammatical knowledge learned in class and dictionaries. It also aims to develop the skill of reading aloud with accurate pronunciation while being conscious of sentence structure. Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, In class contribution: 50%

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語 4 II

2017年度以降入学者

保科 泰

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

200ワード程度のドイツ語の文章を精読しながら、1年次に学習した文法事項の確認と中級レベルのドイツ語に必要な読解力や語彙力の向上を目指す。

【到達目標】

一つ目は、授業で学んだ文法知識や辞書などを手掛かりに、ドイツ語で書かれた文章の構文を正確に把握する精読のスキルを身につける。二つ目は、構文を意識しながら正確な発音で音読をするスキルを身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は対面形式で行う。

ドイツ語のテキストの読解が授業の中心になる。読解にあたっては、毎回担当者を決めて、事前に訳文を準備してもらう。自分で作成した訳文については文法事項や構文などを簡単に説明できるような準備をしておくこと。また、音読のチェックも毎回行うので、音声ファイルなどを使って予習をするようにしておくこと。フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	春学期の振り返り 授業の進め方の確認
第2回	Lektion 7 グローバルに行動する	文法の復習：形容詞の日格変化
第3回	Lektion 7 グローバルに行動する	テキストの精読および音読
第4回	Lektion 8 AIの可能性	文法の復習：接続法Ⅱ式
第5回	Lektion 8 AIの可能性	テキストの精読および音読
第6回	Lektion 9 ゆっくり考え、正しい選択をしよう	文法の復習：受動態、形容詞の名詞化
第7回	Lektion 9 ゆっくり考え、正しい選択をしよう	テキストの精読および音読
第8回	Lektion 10 心の中に ある「壁」	文法の復習：現在分詞
第9回	Lektion 10 心の中に ある「壁」	テキストの精読および音読
第10回	Lektion 11 「壁」の 向こう側にあるもの	文法の復習：語の省略
第11回	Lektion 11 「壁」の 向こう側にあるもの	テキストの精読および音読
第12回	Lektion 12 終わりに くして始まりはない	文法の復習：動詞の名詞化、二重否定

第13回 Lektion 12 終わりに テキストの精読および音読
くして始まりはない

第14回 最終試験 テストと春学期学んだことの総
復習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とする。準備学習では、課題テキストの独文和訳および音読の練習を行ってもらう予定である。復習では、授業内での解説をもとに、提出した和訳の直しを行ってもらう予定である。

【テキスト（教科書）】

『「壁」を壊す メルケル独首相スピーチ』、村瀬民子著、白水社、2022年

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社）
独和辞典

【成績評価の方法と基準】

授業への参加態度、和訳課題、音読のチェックなどを含む平常点50%と期末テスト50%を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典を持参すること。

【その他の重要事項】

授業の内容や順序は、クラス状況によって一部変更する可能性がある。

【Outline (in English)】

Through close reading of German texts of approximately 200 words, the course aims to confirm the grammatical points learned in the first year and to review reading comprehension and vocabulary skills necessary for intermediate level German. The objective of this course is to develop the skill of carefully reading German texts by accurately understanding their sentence structures with the help of grammatical knowledge learned in class and dictionaries. It also aims to develop the skill of reading aloud with accurate pronunciation while being conscious of sentence structure. Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, In class contribution: 50%

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語(3) I

2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解力と文法の強化

ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】

文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション
第2回	文法・語彙復習	一年生の時に学んだドイツ語の復習
第3回	復習：簡単な会話	挨拶など・簡単な会話の復習・練習
第4回	簡単な自己紹介	簡単な自己紹介を言えるように。疑問文の練習
第5回	自己紹介	自己紹介を言える、書ける、読めるように。疑問文の練習
第6回	買い物	チラシを読む、買い物で必要な会話を習得する
第7回	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物についての読書
第8回	旅行のドイツ語I レストラン	メニューとレストランでの小会話
第9回	旅行のドイツ語II ホテル	ホテルについての情報、予約 Webページを読む
第10回	旅行のドイツ語III 道を尋ねる	道を尋ねる会話
第11回	旅行のドイツ語IV 交通機関	航空券、切符の購入など
第12回	旅行のドイツ語V 観光案内	観光案内 簡単な会話、情報を読む
第13回	復習	語彙・文法・読解方法の復習
第14回	纏め・総復習および 予備日	学期の纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する

小テスト 70%

平常点（授業参加度、宿題） 30%

【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合にはZoomで接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】

学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (vocabulary expansion and grammar review, readings and conversation)

Learning Objectives:

Students will strengthen their grammar and reading comprehension skills and deepen their overall understanding of German culture and society.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語(3) II

2017年度以降入学者

J E N S O S T W A L D

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

読解力と文法の強化

ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】

文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習	今まで学んだドイツ語の復習
第2回	童話 I	グリム童話を読む
第3回	童話 II	文法の解説
第4回	環境問題 テーマ1	環境問題についての資料を読む
第5回	環境問題 テーマ2	環境問題についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第6回	ドイツの政治・社会 について I	ドイツの政治・社会についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第7回	ドイツの政治・社会 について II	ドイツの政治・社会についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第8回	ドイツの政治・社会 について III	ドイツの政治・社会についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第9回	ドイツの政治・社会 について IV	ドイツの政治・社会についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第10回	ドイツ憲法について	ドイツ憲法についての簡単な文を読む
第11回	ドイツ憲法	ドイツ憲法を部分的に読み解く
第12回	復習：語彙・文法	語彙・文法の復習・練習
第13回	復習：読解方法	復習：文を読み解く方法
第14回	纏め・総復習および 予備日	2年間のドイツ語の勉強の纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する

小テスト 70%

平常点（授業参加度、宿題） 30%

【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合にはZoomで接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】

学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (vocabulary expansion and grammar review, readings and conversation)

Learning Objectives:

Students will strengthen their grammar and reading comprehension skills and deepen their overall understanding of German culture and society.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語7

2017年度以降入学者

林 志津江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前年度の「ドイツ語1（SA）」～「ドイツ語4（SA）」の後続授業という位置付けです。SAドイツ語圏での留学に対する事前準備として、ドイツ語とドイツ語圏の多様性に触れながら、ドイツ語圏の滞在に必要なドイツ語運用能力の獲得とさらなる向上を目指します。

【到達目標】

1) ドイツ語の文章を文法に即し分析的に読む能力の向上：これが一定のレベルに達しないうちはSA先大学のドイツ語での授業についていけず、楽しいはずの日常も苦痛となってしまうかもしれません。
2) 抽象的なトピックに関する語彙の獲得：大学生の知的な会話・話題にふさわしいコメントをドイツ語で発するには、相応の語彙と表現を知っている必要があります。
3) 地域ごと異なる社会制度や文化慣習を言語の特性と関連づけて理解できる：SA先であるドイツ・リュネブルクとそれにつながるの文化や社会に関する言説を知的に理解し楽しめれば、SAはより充実した体験になりえます。
以上を通じて、留学地での生活に適応するために必要な能力と心構えをしっかりと身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解と、そのテキストに即した問いと答えをドイツ語で作文する作業を軸に進めます。並行して前年度「ドイツ語1」「ドイツ語3」で使用した教科書を使い、ドイツ語の初級文法の基礎固めを行います。初級文法の知識を固めドイツ語圏とヨーロッパについての知識を増やしながら、SA先大学での授業の準備と積極的なドイツ語での発信を目指すとともに、活気ある授業とより良い理解にも配慮します。

・LMSとして、主にGoogle Classroomを使用します。法政Gメールも随時チェックしてください。

・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。提出物のフィードバックは適宜全体と各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業全般について、1年次の復習をまじえ教科書と既習事項の確認
2	ヨーロッパの真ん中で（1）	（文法の補足）定関係代名詞①：副文と定関係代名詞
3	ヨーロッパの真ん中で（2）	（文法の補足）定関係代名詞②：不定関係代名詞と関係副詞
4	ドイツ語を話す（1）	ドイツ語を話す地域・様々な方言と多様な表現 （文法の補足）接続法①：法（Mode）の考え方、直説法・命令法・接続法の違い、接続法の作り方と構文

5	ドイツ語を話す（2）	「ドイツ語」の成立の背景にあったもの （文法の補足）接続法②：接続法第I式の用法
6	教会と信仰（1） — クリスマスを祝う	「クリスマスマーケット」に必ずあるもの・「アドヴェント」と「聖夜」 （文法の補足）接続法③：接続法第II式の用法
7	教会と信仰（2） — さまざまな習慣・さ	ドイツ語圏各地の信仰分布と祝日について
8	教会と信仰（3） — お祭りと余暇	大晦日には何を？ イースターと謝肉祭
9	教育と学校制度（1）	義務教育で何が身につくのか
10	教育と学校制度（2）	「自分で選択する」という自覚・「選択できる」ための条件
11	"Bildung"という価値	職業教育という選択・大学は何のため？
12	働き方と住まい	働くのは何のため？ 人間関係と住まいの関係、くつろいだ気持ちを表すドイツ語
13	働き方・休み方	自由な時間を謳歌する権利・有給休暇を消化する義務
14	まとめ	学期末最終試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
・毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。ドイツ語の文・テキストはどれも必ず音読をし、授業外でも積極的にドイツ語に触れられるようチャレンジして下さい。

【テキスト（教科書）】

・"Dreimal Deutsch" (Klett, 2000/2005/2009/2021/2022/2023)
・1年次（2025年度）に使用したドイツ語文法の教科書（『ゲナウ Grammatik neu』）

【参考書】

・中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003年）
・清野智昭『ドイツ語のしくみ＜新版＞』（白水社、2014年）

【成績評価の方法と基準】

・授業への積極的な参加（外部試験の受験結果含）および提出課題（50%）
・学期末試験（50%）

以上の成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・学生からは逐次ヒアリングを行い、相互の意志の疎通につとめます。

【学生が準備すべき機器他】

・独和辞典は必携です（紙媒体ないし電子辞書）。自宅での学習では紙媒体の辞書を使用することを強く薦めます。
・学期末最終試験には、紙媒体の辞書が必ず必要です。

【その他の重要事項】

・授業の順序や内容の一部は変更されることがあります。
・随時、法政Gメールと所定のLMS（lms 2025 および Google Classroom）を確認してください。
・受講者には「ドイツ語技能検定試験（公益財団法人ドイツ語学文学振興会主催）」や「ドイツ政府公認ドイツ語能力検定試験（Goethe Zertifikat）」あるいは「オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験（ÖSD）」の受験を強く推奨します。特に「ドイツ語技能検定試験」の3級には積極的にチャレンジしてください。Goethe Zertifikatについては割引料金適応が適用されるので、受験希望者はぜひ担当者に知らせて下さい。受験結果は上記「成績評価の方法と基準」のうち「授業への積極的な参加」に加算されます（2026年7月下旬までに担当者に通知されたものに限る）。

【Outline (in English)】

German course for the intermediate levels (nearly A1. completed), exclusively for Participants of SA-Program in Germany (Leuphana Universität-Lüneburg) in the next semester held by the faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language and german speaking world, especially ability of reading and composition for general topics to talk about.

【Learning Objectives】

- ・To develop an understanding of a wide range of topics relating to life, culture and society in German-speaking countries and to express and explain these in German.
- ・Able to express their own opinions and take part in discussions on abstract topics in German.
- ・Able to write texts of a certain length in German.

【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

- ・The standard preparation and revision time for this course is at least one hour each.
- ・There are prescribed preparation and review tasks.
- ・Assignments outside of class time will be given on a case-by-case basis.
- ・In addition to the above, please read the newspaper (daily) or listen to the news as much as possible. It is advisable to make effective use of the internet and social networking sites for German-speaking media.

【Grading criteria】

The course will be judged on the basis of a combination of 50% of ordinary marks (active participation and contribution to the class, presentations, submitted assignments) and 50% of end-of-term assignments (tests).

On the basis of this grading system, students who have achieved at least 60% of the objectives of this course will be considered to have passed the course.

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語8

2017年度以降入学者

小川 敦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

授業では、まず1年次で扱った文法事項や語彙・表現を復習しながら、文法の未習事項を扱います。それが終わり次第、ドイツ語の表現をさらに実際に使うことで、これまでに習得したドイツ語初級文法を復習します。ビデオ撮影を用いてグループや個人での発表練習や会話練習を行います。

【到達目標】

秋学期のSAに向け、これまでに学んだ文法の知識を生かしながら、自らドイツ語で表現できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

文法を学び、また復習をします。学んだ文法や表現を実際に活用（作文）し、スクリプトを作成、発音の練習を行い、動画等の成果を作成・発表します。

提出物や動画の課題、試験などについては、授業中やLMS等でそのたびにコメント、フィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクションと第10課①	授業内容の説明、若干の復習をした後、動詞の三基本形、過去形、現在完了形を昨年度に続き復習します。
第2回	第10課②	前回の授業で習ったことを応用します。
第3回	第11課①	分離動詞や非分離動詞の三基本形、受動態を習います。
第4回	第11課②	前回の授業で習ったことを応用します。
第5回	第12課①	形容詞の変化、比較表現、関係代名詞を学びます。
第6回	第12課②	前回の授業で習ったことを応用します。
第7回	接続法第2式	接続法第2式を扱い、応用します。
第8回	これまでのまとめ 好きな本や映画、または場所について語る①	これまでのまとめ（中間試験）を行います。 文法の復習や表現の確認をしながら、テーマにあわせた作文と、会話の練習を行います。
第9回	好きな本や映画、または場所について語る②	前週の文法項目とテーマに沿って、ビデオ撮影のためのスクリプトを作成します。
第10回	好きな本や映画、または場所について語る③	完成したスクリプトから発音練習し、動画を作成します。

第11回	グループプロジェクト・学内または近所を紹介①	前回の動画のスクリプトの定着度テストを行います。 その後、グループを作ります。 文法の復習や表現の確認をしながら、テーマにあわせた作文と、会話の練習を行います。
第12回	グループプロジェクト・学内または近所を紹介②	前週の文法項目とテーマに沿って、ビデオ撮影のためのスクリプトをグループで作成します。
第13回	グループプロジェクト・学内または近所を紹介③	完成したスクリプトから発音練習し、また題材を集めます。
第14回	グループプロジェクト・学内または近所を紹介④および授業のまとめ	グループで動画を作成します。 その後、授業のまとめを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間とします。ただし、動画作成のためのコンテンツ準備や動画編集で授業時間外でさらに時間を要することもあります。

【テキスト（教科書）】

新しい教科書は使用しません。昨年度のドイツ語2・4で用いた教科書『ゲナウ！レーゼンノイ』（第三書房・郁文堂）を用います。また、昨年度に引き続き、『ドイツ重要単語4000』（白水社）も用います。その他授業資料はLMS等でその都度配布します。

【参考書】

- ・1回生で用いたドイツ語の教科書
- ・中島・平尾・朝倉（2003年）『必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加、成果物、単語テストや小テスト等40%、10～12課の中間試験30%、動画撮影30%とします。

動画撮影課題は全て提出することを必須とします。

動詞の三基本形試験を行います。9割以上の得点で合格です。試験を受けるチャンスは2度です。この試験に合格しない場合にはD評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

受講者が自ら発言しやすい授業運営とするように努めます。

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンだけでなく、PCをご持参ください。ない場合にはこちらでiPadなどの機器を用意します。

【その他の重要事項】

未定ですが、ドイツで日本語を学ぶ学生との交流を考えています。詳細は授業でお知らせします。

教室外でコンテンツを集めることも想定されるため、フィールドワークを「あり」にしています。

SAに向けてハードな内容となりますが、がんばりましょう。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

Students will review the German grammar they have learned so far by using German expressions in practice. Practice group and individual presentations and conversations using video recordings.

【到達目標（Learning Objectives）】

Students will be able to express themselves in German using the grammatical knowledge they have acquired so far.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria / Policy）】

Active participation 40%

Examination 30%

Video shootings 30%

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語3-1

2017年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級よりワンランク上の読解の技術を身につけると同時に、さまざまなドイツ事情について学習することを目的とする。

【到達目標】

初級で学んだ文法を復習しながら、より複雑な文章表現に慣れることによって、読解力を伸ばすことが、この授業の到達目標である。また、さまざまなドイツ事情に関する文章を読むことによって、ドイツやドイツ語圏の国々に興味を持つきっかけとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は15課からなり、各課とも文法、会話文、練習問題、読章から構成されている。文法をもう一度確認しながら、練習問題に取り組むと同時に、会話文やドイツ事情に関する文章を読む。なおフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	あいさつ表現
2	Lektion 1 自己紹介	動詞の位置
3	読章	Deutschland（ドイツ）
4	Lektion 2 私の家族	所有冠詞
5	読章	Familienbild（家族像）
6	Lektion 3 私の趣味	不規則動詞
7	読章	Deutsch（ドイツ語）
8	Lektion 4 キーモゼーへ	前置詞
9	Lektion 4 読章	Souvenirs aus Deutschland（ドイツのお土産）
10	Lektion 5 健康	人称代名詞、分離・非分離動詞
11	読章	Das Gesundheitswesen in Deutschland（ドイツの健康保険制度）
12	Lektion 6 買い物	話法の助動詞、命令形
13	読章	Einkaufen in Deutschland（ドイツの買い物）
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

清野智昭、時田伊津子、牛山さおり『ドイツ語の時間くときめきコミュニケーションへん』 コミュニカティブ版－マルチメディア－』（朝日出版社）ISBN9784255253909 ￥2600

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を70%、平常点を30%の合計で評価する。平常点は、授業中に練習問題や和訳等にしっかり取り組むこと、あるいは、与えられた課題について予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】

授業がオンラインに転換になった場合、Zoomで接続可能なデバイス。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on reading and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

At the end of the course, students are expected to improve reading comprehension while reviewing grammar.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%, Usual performance score: 30%

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

ドイツ語3-II

2017年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、初級よりワンランク上の読解の技術を身につけると同時に、さまざまなドイツ事情について学習することを目的とする。

【到達目標】

初級で学んだ文法を復習しながら、より複雑な文章表現に慣れることによって、読解力を伸ばすことが、この授業の到達目標である。また、さまざまなドイツ事情に関する文章を読むことによって、ドイツやドイツ語圏の国々に興味を持つきっかけとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。文法をもう一度確認しながら、練習問題に取り組むと同時に、会話文やドイツ事情に関する文章を読む。なおフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 7 ミュンヘン	前置詞
2	読章	München（ミュンヘン）
3	Lektion 8 休暇の後	現在完了形、過去形
4	読章	Urlaubstage in Deutschland und Japan（ドイツと日本の有給休暇）
5	資料配付	アットマークについて
6	Lektion 9 食事	定冠詞類、副文
7	読章	Knigge im Alltag in Deutschland（ドイツの日常のマナー）
8	Lektion 10 クリスマス	比較級と最上級、再帰表現
9	読章	Weihnachten in Deutschland（ドイツのクリスマス）
10	Lektion 11 ファッション	形容詞の格変化
11	読章	Mode in Deutschland?（ドイツのファッション?）
12	Lektion 12 私の夢	接続法第2式、zu不定詞句
13	読章	Studium in Deutschland（ドイツの大学での勉強）
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

清野智昭、時田伊津子、牛山さおり『ドイツ語の時間〈ときめきミュンヘン〉 コミュニカティブ版－マルチメディア－』（朝日出版社）ISBN9784255253909 ￥2600

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を70%、平常点を30%の合計で評価する。平常点は、授業中に練習問題や和訳等にしっかり取り組むこと、あるいは、与えられた課題について予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】

授業がオンラインに転換になった場合、Zoomで接続可能なデバイス。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on reading and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

At the end of the course, students are expected to improve reading comprehension while reviewing grammar.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%, Usual performance score: 30%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語コミュニケーションⅠ 2017年度以降入学者

J E N S O S T W A L D

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制(20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】

ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション 自己紹介 (簡単な表現・会話)	Einführung Zur Person (einfache Redemittel, Übungen)
②	自己紹介 (ほかの表現・練習)	Zur Person (weitere Redemittel, Übungen)
③	趣味 (簡単な表現・会話)	Hobbys (einfache Redemittel, Übungen)
④	趣味 (ほかの表現・練習)	Hobbys (weitere Redemittel, Übungen)
⑤	家族	Familie
⑥	食べ物・飲み物 (簡単な表現・会話)	Essen & Trinken (einfache Redemittel, Übungen)
⑦	食べ物・飲み物 (ほかの表現・練習)	Essen & Trinken (weitere Redemittel, Übungen)
⑧	総復習	Wiederholung (Wortschatz, Grammatik, Redemittel)
⑨	住居	Wohnung
⑩	時刻と日付 (簡単な表現・会話)	Uhrzeit und Datum (einfache Redemittel, Übungen)

⑪	時刻と日付 (ほかの表現・練習)	Uhrzeit und Datum (weitere Redemittel, Übungen)
⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen
⑬	練習	Übungen zur Wiederholung
⑭	全体のまとめとテスト	Zusammenfassung Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法・語彙などの復習 & 課題（ワークブック・プリント・インターネット上の練習問題）
本授業の準備・復習時間は、計1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

テスト/レポート 50%

平常点 50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合にはZoomで接続可能な機器が必要です。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture and society)

Learning Objectives:

The purpose of this course is to acquire practical German language skills and cross-cultural understanding.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy: Term-end examination/report: 50%, in-class contribution 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語コミュニケーションⅡ 2017年度以降入学者

J E N S O S T W A L D

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制(20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。

単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】

ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	Einführung
②	春学期の復習	Wiederholung
③	旅行のためのドイツ語 1 道を尋ねる (簡単な表現)	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - einfache Redemittel)
④	旅行のためのドイツ語 2 道を尋ねる (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - weitere Redemittel, Übungen)
⑤	旅行のためのドイツ語 3 ホテルで (簡単な表現)	Reisedeutsch (Im Hotel - einfache Redemittel)
⑥	旅行のためのドイツ語 4 ホテルで (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Im Hotel - weitere Redemittel, Übungen)
⑦	旅行のためのドイツ語 5 レストランで (簡単な表現)	Reisedeutsch (Im Restaurant - einfache Redemittel)

⑧	旅行のためのドイツ語 6 レストランで (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Im Restaurant - weitere Redemittel, Übungen)
⑨	旅行のためのドイツ語 7 駅にて (簡単な表現)	Reisedeutsch (Verkehr - einfache Redemittel)
⑩	旅行のためのドイツ語 8 駅にて (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Verkehr - weitere Redemittel, Übungen)
⑪	旅行のためのドイツ語 9	Reisedeutsch (Reiseziele)
⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen Übungen zur Wiederholung
⑬	復習	Übungen zur Wiederholung
⑭	全体のまとめとテスト	Zusammenfassung Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

文法・語彙などの復習 & 課題（ワークブック・プリント・インターネット上の練習問題）

本授業の準備・復習時間は、計 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

配布資料

【参考書】

独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】

テスト/レポート 50%

平常点 50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture and society)

Learning Objectives:

The purpose of this course is to acquire practical German language skills and cross-cultural understanding.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy: Term-end examination/report: 50%, in-class contribution 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語表現法 I

2017年度以降入学者

Schmidt Ute

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制(20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまったテキストまで。

基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。会話は苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うなら是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

【到達目標】

受講者は以下のことができるようになります。

- 1) 発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
- 2) 基本的な文法事項を習得する。
- 3) 辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
- 4) 自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べるができる。
- 5) 自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書く。
- 6) 想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
- 7) 想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともありますが、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。

作文は必ず添削して返却されます。課題等の提出・フィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Erste Schritte: Persönliche Angaben machen Sich selbst vorstellen	自己紹介を書く I 辞書の使い方 I
2.	Sich vorstellen du oder Sie Zahlen bis 20 W-Fragen	自分の出身を紹介する 人を紹介する
3.	Meine Stadt beschreiben	方位と場所

4.	Mein Alltag	日常 時間を表す
5.	Tagesablauf	助動詞
6.	Hobby und Freizeit	分離動詞
7.	Freizeitangebote in der Stadt	場所と時間を表す
8.	Lieblingsdinge beschreiben	好きな「もの」を紹介する 冠詞と代名詞
9.	作文作成 2	発表
10.	Essen und Trinken	食生活についてと好み
11.	Im Restaurant	レストランのメニューと注文
12.	Süßigkeiten in Deutschland und Japan	日本のお菓子について書く
13.	Vor den Ferien I	不規則動詞 話法の助動詞
14.	Vor den Ferien II	休暇中の予定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とします。予習はテキストを事前に読む、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。宿題としては家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。

【テキスト（教科書）】

初回授業で案内します。

【参考書】

『ドイツ語を書いてみよう！』清野智明

白水社

ISBN：9784560064177

【成績評価の方法と基準】

授業中の課題に取り組む態度（50%）

提出してもらうドイツ語の作文（50%）

を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

和独辞典が必要です。電子辞書可。

【その他の重要事項】

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

In this course students will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They will also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be about one hour for a class.

Grading will be decided based on class participation (50%) and written homework (50%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語表現法Ⅱ 2017年度以降入学者

Schmidt Ute

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制(20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまったテキストまで基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。会話は苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うなら是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

【到達目標】

受講者は以下のことができるようになります。

- 1) 発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
- 2) 基本的な文法事項を習得する。
- 3) 辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
- 4) 自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べるができる。
- 5) 自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書く。
- 6) 想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
- 7) 想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともあります、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。

作文は必ず添削して返却されます。課題等の提出・フィードバックは授業内または「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Nach den Ferien	現在完了形
2.	Postkarte	Postkarte schreiben 手紙を書く
3.	Wohnen	前置詞
4.	Mein Traumhaus	住まいについて書く
5.	Wohnen in der Stadt oder auf dem Land ?	理由を表す
6.	Jahreskalender Datum und Monate Feiertage	年間行事 招待状を書く
7.	Feste feiern	複文
8.	An der Universität	大学について書く

9.	Meine Universität 1	グループワーク：大学紹介を書く
10.	Meine Universität 2	グループワーク発表
11.	Eine Reise planen	旅行計画
12.	Sehenswürdigkeiten vorstellen	観光名所の紹介文を書く
13.	Erlebnisse und Erfahrungen 1	過去形 私の人生
14.	Erlebnisse und Erfahrungen 2	プレゼンテーション発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とします。

予習は事前にテキストを読む、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。宿題としては家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。

【テキスト（教科書）】

初回授業で案内します。

【参考書】

『ドイツ語を書いてみよう！』清野智明

白水社

ISBN：9784560064177

【成績評価の方法と基準】

授業中の課題に取り組む態度（50%）

提出してもらうドイツ語の作文（50%）

を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

和独辞典が必要。電子辞書可。

【その他の重要事項】

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

In this class we will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be about one hour for a class.

Grading will be decided based on class participation (50 %) and written homework (50 %)

LANd200LA（ドイツ語 / German language education 200）

SDGsで学ぶドイツ語Ⅰ 2017年度以降入学者

上田 知夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2
 単位数：1単位
 定員制(30)
 2021年度までに「時事ドイツ語Ⅰ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では
 ・近年の（まだ教科書にはならない）ドイツ語についての文章と例文を検討することを通じて
 ・言語に文法的に埋め込まれた性意識について考えることを目的とします。

【到達目標】

この授業では
 ・アクチュアルなドイツ語について、簡単なドイツ語の文章を読むことができる
 ・言語が社会に埋め込まれていることを考えることができることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

内容としては、ドイツ語の名詞の性とジェンダーの問題の関係について議論した文章をドイツ語で精読します。
 担当者は決めず、ランダムに文章ごとに担当者を指名しますので、指名された者は、その文章に関係する文法事項を述べることを求められます。参加者のレベルに合わせて質問は調節しますので、初學者でも問題なくついてこられるように努力します。少人数授業ですので毎回授業中に予習時の疑問点などについては解説していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	今学期の授業のテーマの解説
第2回	文法性と生物性について	教科書の文章と例文を精読しながら議論する
第3回	文法性と生物性について（続き）	教科書の文章と例文を精読しながら議論する
第4回	文法性と生物性について（続き）	教科書の文章と例文を精読しながら議論する
第5回	男性代表形について	教科書の文章と例文を精読しながら議論する
第6回	男性代表形について（続き）	教科書の文章と例文を精読しながら議論する
第7回	男性代表形について（続き）	教科書の文章と例文を精読しながら議論する
第8回	ジェンダーの星について	教科書の文章と例文を精読しながら議論する
第9回	ジェンダーの星について（続き）	教科書の文章と例文を精読しながら議論する
第10回	ジェンダーの星について（続き）	教科書の文章と例文を精読しながら議論する
第11回	どのようにフェアに言葉を使うか	教科書の文章と例文を精読しながら議論する
第12回	どのようにフェアに言葉を使うか（続き）	教科書の文章と例文を精読しながら議論する
第13回	どのようにフェアに言葉を使うか（続き）	教科書の文章と例文を精読しながら議論する
第14回	まとめ	今学期の議論のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習を中心に学習してください。
 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Christine Olderdissen, Genderleicht: Wie Sprache für alle elegant gelingt (Berlin: Duden, 2021).

読む箇所のテキストはコピーして配布します。

【参考書】

ドイツ語の文法の授業で使った教科書および独和辞典を1冊持ってきてください。
 独和辞典を所有していない方は、
 『アクセス独和辞典』（三修社）
 『大独和辞典』（小学館）
 などを入手してください。
 文法書を所有していない人は、
 中島他『必携ドイツ語文法総まとめ』（白水社）
 などを持参してください。
 その他は、授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

予習を重視し、平常点により採点します(100%)。予習に基づいて分かることと分からないことの区別をつけられる学生や、教室で積極的に発言をする学生を歓迎します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

ネットワーク接続ができ、Zoomが使えるPCまたはタブレット、および、オンライン会議に使えるカメラとマイク

【その他の重要事項】

ドイツ語の初級文法のクラスを履修していることをおすすめしますが、意欲のある学生は初級文法を履修せずにこの科目を履修することを認めます。
 オンラインで開講します。カメラをオンにして参加すること、および、指名された場合に口頭で回答することを出席の条件（平常点採点の対象）とします。

【Outline (in English)】

【Course outline】

In this course, students will consider how the German language is embedded in society by reading recent texts on the language.

【Learning Objectives】

The goal of this course will be to read actual and easy texts on the German language in German, as well as to think/discuss the societal issues surrounding the language.

【Learning activities outside of the classroom】

This course requires 1 hour of preparation.

【Grading Criteria /Policy】

Preparation of class materials and active participation in the classroom: 100%

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ドイツ語の世界 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

Schmidt Ute

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制(60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。（履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。）

【到達目標】

- ・ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
- ・各時代の思想的・文化的背景を理解する。
- ・映画の解釈方法を身につける。
- ・異文化理解能力を高める。
- ・テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
- ・プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	オリエンテーション	授業の概説 ドイツ語圏クイズ
2.	ドイツ語圏の世界 1	地理,言語,文化～政治、経済まで
3.	ドイツ語圏の世界 2	ドイツ語圏の映画史入門
4.	文学	ドイツ文学と言えばゲーテ？ 映画：ゲーテの恋 ～君に捧ぐ「若きウェルテルの悩み」 Goethe! (2010) ディスカッション
5.	音楽	クラシック音楽の世界 Amadeusからクララ・シューマンまで
6.	オーストリア	Sissiとミュージカル「エリザベート」 サウンド・オブ・ミュージック
7.	スイスと日本	映画：ハイジ アルプスの物語 Heidi (2015) ハイジ in Japan
8.	映画鑑賞	作品未定

9.	戦争映画I 第一次世界大戦	西部戦線異状なし(1930) 戦場のアリア (2005) ディスカッション
10.	ドイツと日本	ベートーヴェンの「第九」 プレゼンテーション 映画：バルトの楽園 (2006)
11.	映画の中のヒトラー I	ヒトラーと女性 ドキュメンタリー映画 レニ Die Macht der Bilder: Leni Riefenstahl (1993)
12.	映画の中のヒトラー II	ヒトラーに対する抵抗 映画：白バラの祈り ゴッティン・ショル、最期の日々(2004)
13.	映画鑑賞	作品未定
14.	まとめ	ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・文献を事前に読む。（資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語）
 - ・映画鑑賞
 - ・自分担当のプレゼンテーションの準備とレジュメ作成
- 本授業の準備学習・復習時間は、計2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストを配布

【参考書】

- ・森井 裕一 (著, 編) 『ドイツの歴史を知るための50章』(エリア・スタディーズ151)
- ・宮田真治・島山寛・濱中春 (編著) 『ドイツ文化55のキーワード』
- ・新野守広・飯田道子・梅田紅子 (編) 『知ってほしい国 ドイツ』
- ・スイス文学研究会 (編) 『スイスを知るための60章』(エリア・スタディーズ128)
- ・広瀬 佳一編著, 今井 顕編著他 ウィーン・オーストリアを知るための57章【第2版】(エリア・スタディーズ19)

【成績評価の方法と基準】

プレゼンテーションとレジュメ：50%

授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【その他の重要事項】

ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません
「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。
質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先をお願いします。
ute.schmidt.yw@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society. The goals of the course are getting a deeper understanding of daily life, culture, society, and history in German-speaking countries. Besides students will learn how to interpret movies, how to collect and read materials and improve presentation skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting (watching movies, research and read reference material etc.). Your study time will be about four hours for a class.

The Students' final grades will be based on presentation (50%) and active participation in class (50%)

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ドイツ語の世界 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

Schmidt Ute

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制(60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。(履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。)

【到達目標】

- ・ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
- ・各時代の思想的・文化的背景を理解する。
- ・映画の解釈方法を身につける。
- ・異文化理解能力を高める。
- ・テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
- ・プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	戦後の東西ドイツ	サッカーを通してみる戦後ドイツ： 『ベルンの奇跡』(2003) 『僕たちは希望という名の列車に乗った』(2018)
2.	60年代の東西ドイツ	ベルリンの壁ができるまで 『トンネル』 Der Tunnel (2001)
3.	70年代の西ドイツ	極左のテロリズム 『バーダー・マインホフ/理想の果てに』 Der Baader Meinhof Komplex (2008)
4.	東ドイツ	東ドイツの秘密警察 (Stasi) 『善き人のためのソナタ』 Das Leben der Anderen (2006) 『グンダーマン 優しき裏切り者の歌』 Gundermann (2018) 『東ベルリンから来た女』(2012)

5.	ドイツ統一	ベルリンの壁崩壊 『グッバイ、レーニン!』 Good Bye Lenin (2003) プレゼンテーション ディスカッション
6.	芸術	『Pina/ピナ・バウシュ』 踊り続けるいのち
7.	青春	児童文学の映画化 映画： 『飛ぶ教室』『2003 『50年後のボクたちは』 Tschick (2016) プレゼンテーション ディスカッション
8.	ヒトラーについて 笑っているのか？	ヒトラーについて笑っているのか？ 『帰ってきたヒトラー』 Er ist wieder da! (2015) プレゼンテーション ディスカッション
9.	ドイツ極右組織	ドイツ極右組織 NSU 『女は二度決断する』 Aus dem Nichts (2017) プレゼンテーション ディスカッション
10.	ドイツ極右組織	映画鑑賞
11.	ドイツ以外のドイツ 語圏の映画	スイス映画・オーストリア映画 と映画祭
12.	移民国ドイツ	難民問題
13.	移民国ドイツ	映画：初めてのおもてなし Willkommen bei Hartmanns (2016) プレゼンテーション ディスカッション
14.	まとめ	プレゼンテーション ディスカッション 映画鑑賞

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・文献を事前に読む (資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語)

・映画鑑賞

本授業の準備学習・復習時間は、計2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

テキストを配布

【参考書】

- ・森井裕一 (著, 編集) 『ドイツの歴史を知るための 50 章』 (エリア・スタディーズ 151)
- ・宮田真治・畠山寛・濱中春 (編著) 『ドイツ文化 55 のキーワード』
- ・新野守広・飯田道子・梅田紅子 (編) 『知ってほしい国 ドイツ』
- ・スイス文学研究会 (編) 『スイスを知るための 60 章』 (エリア・スタディーズ 128)
- ・広瀬 佳一編著, 今井 顕編著他 ウィーン・オーストリアを知るための 57 章【第2版】 (エリア・スタディーズ 19)

【成績評価の方法と基準】

プレゼンテーションとレジュメ：50%

授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー：50%

【学生の意見等からの気づき】

特にありません

【その他の重要事項】

ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません。
「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。
質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先をお願いします。
ute.schmidt.yw@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society.

The goals of the course are getting a deeper understanding of daily life, culture, society, and history in German-speaking countries. Besides students will learn how to interpret movies, how to collect and read materials and improve presentation skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting (watching movies, research and read material etc.). Your study time will be about four hours for a class.

The Students' final grades will be based on presentation (50%) and active participation in class (50%)

ARSA200LA（地域研究（ヨーロッパ） / Area studies(Europe) 200）

ドイツの文化と社会 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

小川 敦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

定員制(30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「ドイツ」や「ドイツ語圏」と聞いて、みなさんは何を思い浮かべるでしょうか？

本授業ではドイツやドイツ語圏についてトピックをとりあげ、少し深く考えてみたいと思います。

ドイツ語の学習は前提としません。

【到達目標】

ドイツ語圏に関する様々なテーマを見ることで、社会や歴史について理解し、今後探求していく糸口を見つけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。授業の最初に、前回の授業で提出されたリアクションペーパーに反応したいと思います。また、授業中に受講生のみなさんにこちらから問いかけたり、受講生同士で話し合ってもらったこともありますが、積極的な参加を期待します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ドイツとドイツ語圏について。
第2回	ドイツ語の歴史と多様性	ドイツ語が成立した歴史や地域的な違いを見ます。英語の知識が役に立つかもしれません。
第3回	ビール	ビールの歴史と現状について。
第4回	ドイツの環境政策	ドイツの環境政策について。
第5回	ドイツの交通政策	トラムや電気自動車、アウトバーンなど交通政策について。
第6回	ドイツの鉄道	ドイツの鉄道の歴史と現在について。
第7回	自動車産業から見るドイツ経済	ドイツ経済について、自動車産業から。
第8回	ドイツの教育制度	マイスター制度など、日本とは異なる教育制度について。
第9回	東ドイツ	かつて存在した東ドイツ（ドイツ民主共和国）やベルリンの壁について。
第10回	ドイツの歴史教育	過去をどう扱うのかについて。
第11回	多様化するドイツ	移民の歴史と現在、統合政策について。
第12回	オーストリアとウィーン	カフェ文化など独自の文化を形成するオーストリアの首都ウィーンについて。

第13回	日本の中のドイツ、ドイツの中の日本	ハリボー、バウムクーヘン、アニメ文化等、日本にあるドイツ語やドイツ語圏の文化、ドイツ（語圏）にある日本の文化について。
第14回	まとめ	これまでの話題について補足しながら振り返ります。期末レポートの書き方について確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

予習：次回のテーマについて、思いつくことをいくつかメモしておいてください。こちらから尋ねることもあります。

復習：ハンドアウトとノートを読み直し、気になるテーマについては図書館で本を探して調べてください。

【テキスト（教科書）】

教科書は指定しません。

【参考書】

授業ごとに提示します。

【成績評価の方法と基準】

リアクションペーパーを含めた授業への積極的な参加50%、期末レポート50%

【学生の意見等からの気づき】

受講生が意見を述べやすいようにつとめます。

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォン以外にPCやタブレットなどがあると便利です。

【その他の重要事項】

授業中は話を聞き、ノートをとるようにしてください。

春学期と秋学期は独立して履修できます。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

This course introduces and explores topics about Germany and the German-speaking world.

Students do not need to learn German to take this course.

【到達目標（Learning Objectives）】

Students will develop an understanding of the society, culture and history of the German-speaking world.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】

Active participation 50%

Final report 50%

ARSa200LA（地域研究（ヨーロッパ） / Area studies(Europe) 200）

ドイツの文化と社会 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

小川 敦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

定員制(30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、現在のドイツ以外で、ドイツ語が／ドイツ語も使われる／使われた地域の歴史や文化について扱います。言語の話も出ますが、ドイツ語の知識は不要です。

【到達目標】

ドイツ語圏の文化や社会、人々の多様性について理解を深めます。日本社会への気づきにもつながります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。授業の最初に、前回の授業で提出されたリアクションペーパーに反応したいと思います。また、授業中に受講生のみなさんにこちらから問いかけたり、受講生同士で話し合っているだけでもあることもあるかと思っています。積極的な参加を期待します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業で扱うテーマについて概観します。
第2回	オーストリアの歴史	オーストリアの現代史を中心に扱います。ハプスブルク帝国に遡ることもあります。
第3回	オーストリアの現代史と現在	オーストリアの現代史と現在のオーストリアの社会や文化を扱います。
第4回	スイスの歴史	多言語国家であり永世中立国であるスイスがどのように成立したのかを見ます。
第5回	スイスの現代史と現在	スイスの現代史と現在のスイス社会を考えます。
第6回	ベルギーの歴史	ベルギーの歴史を扱います（ベルギーには小さなドイツ語共同体があります）。
第7回	ベルギーの現代史と現在	ベルギーの現代史を扱いながら、EUの中心地でありながら今日でも言語問題でゆれるベルギーの今を考えます。
第8回	ルクセンブルクの歴史	GDPが世界トップクラスである小国ルクセンブルクの歴史を扱います。
第9回	多様化するルクセンブルク	多言語社会・移民社会となった今日のルクセンブルクについて考えます。

第10回	アルザス・ロレーヌの歴史	ドイツなのかフランスなのか、帰属をめぐってゆれたフランス東部のアルザス地方・ロレーヌ地方の歴史について扱います。
第11回	アルザス・ロレーヌ（言語）	アルザス・ロレーヌについて、特に言語問題に焦点を当てます。
第12回	ドイツ騎士団と東プロイセン	かつて東に移住したドイツ系住民の歴史を扱います。
第13回	アメリカ合衆国のドイツ系住民	かつて、ドイツ語圏からは多くの人々がアメリカに移住しました。今日にも残る移民の歴史を扱います。
第14回	まとめ	これまでの話題について補足しながら振り返ります。期末レポートの書き方について確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
予習：次の回のテーマについて、思いつくことをいくつかメモしたり、インターネット等で検索してください。授業中にこちらから尋ねることもあります。
復習：ノートを読み直し、気になるテーマについては図書館で本を探してみてください。

【テキスト（教科書）】

特定の教科書は指定しません。

【参考書】

授業ごとに提示します。

【成績評価の方法と基準】

リアクションペーパーを含めた授業への積極的な参加50%、期末レポート50%

【学生の意見等からの気づき】

受講生が意見を述べやすいようにつとめます。

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンだけでなくPCやタブレットなどがあると便利です。

【その他の重要事項】

授業中は話をよく聞き、ノートをとるようにしてください。
春学期と秋学期は独立して履修できます。春学期に履修した人も履修しなかった人も積極的な参加を期待します。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

This course focuses on the history and culture of the regions where German is also used or where it was used.

【到達目標（Learning Objectives）】

In this course, students deepen their understanding of the diversity of cultures, societies and people in German-speaking areas.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】

Active participation 50%

Final report 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I 2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエンヌ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。
自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合うことができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiなどを活用する場合もある。

このテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	LEÇONS 1	Révision du Passé Composé et de l'Imparfait 複合過去と半過去の復習（使い分け）
第2回	LEÇONS 2	Le Plus-que-parfait 大過去
第3回	LEÇONS 3	Le Futur Simple 単純未来
第4回	LEÇONS 4	Le Conditionnel Présent (Souhait et Politesse)条件法現在（願望・語調の緩和）
第5回	LEÇONS 5	Les Pronoms Personnels Compléments (COD et COI) 補語人称代名詞（直接・間接目的語）
第6回	LEÇONS 6	Les Pronoms "Y" et "EN" 代名詞「y」と「en」
第7回	LEÇONS 7	Les Pronoms Relatifs Simples (Qui, Que, Où) 関係代名詞（qui, que, où）
第8回	LEÇONS 8	Le Pronom Relatif "Dont" et les formes composées 関係代名詞「dont」と複合形
第9回	LEÇONS 9	Le Subjonctif Présent (Formation et Volonté) 接続法現在（作り方と意志・願望）

第10回	LEÇONS 10	Le Subjonctif Présent (Émotion et Nécessité) 接続法現在（感情・必要）
第11回	LEÇONS 11	Le Gérondif et le Participe Présent ジェロンディフと現在分詞
第12回	LEÇONS 12	Le Discours Rapporté au Présent 間接話法（現在）
第13回	レッスン1～12の復習	レッスン1～12の復習
第14回	まとめ / 試験 その他：課題 / 補講	まとめ / 試験 その他：課題 / 補講

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト（教科書）】

Maestro 2

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35320-3

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【Outline (in English)】

This course is designed for false beginners and intermediate levels. In this class, you will learn mainly simple conversation. GOAL :

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorise new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA :

Normal score: 40% (presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 II 2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合えるようになる。

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

のテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiiなどを活用する場合もある。

毎週の宿題です。宿題は授業の始めに添削します。授業中や「Hoppii」での質問も可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Leçon 13	Révision des leçons 1 à 12 12課までの復習
第2回	Leçon 14	Le subjonctif présent (1) 接続法現在 1
第3回	Leçon 15	Le subjonctif présent (2) 接続法現在 2
第4回	Leçon 16	Le gérondif, les pronoms possessifs et les adjectifs indéfinis ジェロンディフ、所有代名詞、不定形容詞
第5回	Leçon 17	Les expressions de négation et les pronoms démonstratifs 否定表現、指示代名詞
第6回	Leçon 18	(Leçon culturelle : Festivals et événements) (フランスのお祭り、イベント)
第7回	Leçon 19	La voix passive 受動態
第8回	Leçon 20	Le plus-que-parfait et l'impératif (être, avoir, verbes pronominaux) 大過去、命令形 (être, avoir, 代名動詞)
第9回	Leçon 21	Le discours rapporté 間接話法

第10回	Leçon 22	Le causatif (faire faire), comparatifs et superlatifs particuliers, et "ne... que" 使役、特殊な比較級、最上級、ne ... que
第11回	Leçon 23	(L'ordre des pronoms 代名詞の語順
第12回	Leçon 24	(Leçon culturelle : Le cinéma français) (フランスの映画)
第13回	レッスン13～24の復習	レッスン13～24の復習
第14回	まとめ / 試験 その他 ：課題 / 補講	まとめ / 試験 その他：課題 / 補講

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト（教科書）】

Maestro 2

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35320-3

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【Outline (in English)】

This course is designed for false beginners and intermediate levels. In this class, you will learn mainly simple conversation. GOAL:

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION:

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorize new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA:

Normal score: 40% (presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I 2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年間学習した事項が具体的に使われている文を読みながら、文法の復習をしつつ辞書さえあればフランス語の文章の内容を把握できる力を身につける講読の授業です。

【到達目標】

辞書を使って簡易なフランス語の内容を把握できるようになる。フランス語初級文法を復習して仏検3級程度のレベルを身につける。情報発信のための語彙と簡単なフランス語のフレーズが作れるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

昨年度の教科書『基礎フランス語』を最後まで終えたあと、時事講読テキスト『12テーマでわかるフランス事情』では2回の授業で1レッスン程度進む予定です。1回目の授業では音読(初見のテキストでも正しく発音できる)、使われている文法の復習、日本語訳と内容を把握できているかの確認をします。2回目の授業では復習した文法の確認のための練習問題を解いて答え合わせをしたあと、グループでレッスンのテーマに沿って検索と話し合いを行い発表、さらにそれをフランス語で発信できるように簡単なフランス語のフレーズを練習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Leçon13「代名動詞」	代名動詞の種類と使い方、練習問題プリント
2回目	Leçon14「代名動詞の複合過去」	代名動詞の過去分詞の一致、他のケースでの過去分詞の一致、練習問題プリント
3回目	Leçon14「所有代名詞、疑問代名詞」	中性代名詞、補語人称代名詞と比較しながらプリントで復習、グループ分け、Zoom等インストール、発表の方法を説明
4回目	Leçon1「制服への回帰」	自動詞と他動詞、命令法、疑問文、練習問題プリント
5回目	Leçon1「制服への回帰」 日本でも制服の見直しが行われているか？	資料検索とまとめ、発表、ディスカッション
6回目	Leçon2「バカロレア改革と大学入試改革」	複合過去、半過去、過去分詞、練習問題プリント
7回目	Leçon2「バカロレア改革と大学入試改革」	資料検索とまとめ、発表、ディスカッション 日本の入試制度について
8回目	Leçon3「仕事と情熱：城の修復」	単純未来、前未来、受動態、練習問題プリント

9回目	Leçon3「仕事と情熱：城の修復」 日本ではどのようなものが修復されているか？	資料検索とまとめ、発表、ディスカッション
10回目	Leçon4「フランスはスタートアップの国」	関係代名詞、指示代名詞、練習問題プリント
11回目	Leçon4「フランスはスタートアップの国」	資料検索とまとめ、発表、ディスカッション
12回目	Leçon5「移民とフランスの文化」	直接目的語・間接目的語、練習問題プリント
13回目	Leçon5「移民とフランスの文化」 日本の移民問題	資料検索とまとめ、発表、ディスカッション
14回目	春学期の文法まとめ、	筆記試験、まとめと解説試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。1回目で理解したテキストの内容について補足する資料を2回目の授業までにあらかじめグループ内で協力して調べておく。2回目の検索・発表が終わった資料をクラスウェブにアップする。

【テキスト（教科書）】

『12テーマでわかるフランス事情』（三訂版）岡見さえ、ミカエル・デブレ 著（白水社）

【参考書】

書籍は特にありませんが、検索・発表ができるスマホ・PC等が必要です。

【成績評価の方法と基準】

最終授業回に行う文法と翻訳の試験60%、授業内の発表40%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

音読、口頭表現の時間をもう少し長めに確保します。

【学生が準備すべき機器他】

検索や発表を行うために、スマホ・タブレット・PC等Zoomに接続できる機器が必要です。仏和・和仏に訳すための辞書があればより便利です。

【Outline (in English)】

【Course outline】This is a reading class where you can read sentences that specifically use the things you have learned over the past year, reviewing French basic grammar, and acquire the ability to understand the content of French texts with just a dictionary.

【Learning Objectives】Aptitude of DAPF Grade 3

【Learning activities outside of classroom】After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】Term-end examination: 60%, in-class contribution: 40%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 II 2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年間学習した事項が具体的に使われている文を読みながら、文法の復習をしつつ辞書さえあればフランス語の文章の内容を把握できる力を身につける講読の授業です。

【到達目標】

辞書を使って簡易なフランス語の内容を把握できるようになる。フランス語初級文法を復習して仏検3級程度のレベルを身につける。情報発信のための語彙と簡単なフランス語のフレーズが作れるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

2回の授業で1レッスン程度進む予定です。1回目の授業では音読(所見のテキストでも正しく発音できる)、使われている文法の復習、日本語訳と内容を把握できているかの確認をします。2回目の授業では復習した文法の確認のための練習問題を解いて答え合わせをしたあと、グループでレッスンのテーマに沿って主に日本の事情と比較しながら検索と話し合いを行い発表、さらにそれをフランス語で発信できるように簡単なフランス語のフレーズを練習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Leçon6「フランスのManga ブーム」	代名動詞、前置詞つき関係代名詞、練習問題プリント
2回目	Leçon6「フランスのManga ブーム」日本国内のマンガとフランスのマンガの違い	資料検索とまとめ、発表、ディスカッション
3回目	Leçon7「国立パリ・オペラ座バレエ団」	比較級・最上級、練習問題プリント
4回目	Leçon7「国立パリ・オペラ座バレエ団」バレエの歴史と日本も含む世界のバレエの現在	資料検索とまとめ、発表、ディスカッション
5回目	Leçon8「ファッションとメセナの伝統」	現在分詞・ジェロンディフ、練習問題プリント
6回目	Leçon8「ファッションとメセナの伝統」日本にもメセナの存在はあるか？	資料検索とまとめ、発表、ディスカッション
7回目	Leçon9「2050年、フランス語話者7億人!？」	中性代名詞、練習問題プリント
8回目	Leçon9「2050年、フランス語話者7億人!？」日本語話者の分布との比較、第二外国語の問題	資料検索とまとめ、発表、ディスカッション

9回目	Leçon10「テレワーク、理想の働き方？」	条件法現在、条件法過去、練習問題プリント
10回目	Leçon10「テレワーク、理想の働き方？」未来の理想の働き方について	資料検索とまとめ、発表、ディスカッション
11回目	Leçon11「文学大国・フランス」	接続法現在、接続法過去、練習問題プリント
12回目	Leçon11「文学大国・フランス」アカデミーフランセーズ、言語と論理的思考の関係	資料検索とまとめ、発表、ディスカッション
13回目	Leçon12「パリテの現状と課題」	動詞時制のまとめ、練習問題プリント
14回目	秋学期の文法まとめ、試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。1回目で理解したテキストの内容について補足する資料を2回目の授業までにあらかじめグループ内で協力して調べておく。2回目の検索・発表が終わった資料をクラスウェブにアップする。

【テキスト（教科書）】

『12テーマでわかるフランス事情』（三訂版）岡見さえ、ミカエル・デプレ 著（白水社）

【参考書】

書籍は特にありませんが、検索・発表ができるスマホ・PC等が必要です。

【成績評価の方法と基準】

最終授業回に行う文法と翻訳の試験60%、授業内の発表40%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

音読、口頭表現の時間をもう少し長めに確保します。

【学生が準備すべき機器他】

検索や発表を行うために、スマホ・タブレット・PC等Zoomに接続できる機器が必要です。仏和・和仏に訳すための辞書があればより便利です。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This is a reading class where you can read sentences that specifically use the things you have learned over the past year, reviewing French basic grammar, and acquire the ability to understand the content of French texts with just a dictionary.

【Learning Objectives】 Aptitude of DAPF Grade 3

【Learning activities outside of classroom】 After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】 Term-end examination: 60%, in-class contribution: 40%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しつつ、フランス語で書かれた簡単な文章を講読します。特に辞書の有効な使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身に着けることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね二回の授業で一課進みます。
小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第1課(講読)	ルイーズ＝ルネ・ルデュック
第2回	第1課(文法)	受動態 直接木提起後と過去分詞の性数一致
第3回	第2課(講読)	ジョルジュ・サンド
第4回	第2課(文法)	関係代名詞(1)
第5回	第3課(講読)	ルイーズ・ミシェル
第6回	まとめ	第一回小テスト(予定)
第7回	第3課(文法)	複合形の疑問代名詞 関係代名詞(2)
第8回	第4課(講読)	ユベルティース・オークレール
第9回	第4課(文法)	非人称構文 強調構文
第10回	第5課(講読)	マドレーヌ・ペルチエ
第11回	第5課(文法)	接続法
第12回	まとめ	第二回小テスト(予定)
第13回	復習	模擬試験
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要は特にありません。簡単な宿題が毎回出ます。必ずやって来てください。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『フランス史のなかの「異人」たち2』（朝日出版社）

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、二回的小テストが各25点、合計150点満点でつけます。この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加算します。そしてなぜか本年度は、100点満点に換算するように言われたので、その煩雑な計算をして最終の評価を下します。詳細は第1回の授業で説明します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回指摘しているが、「気づき」という日本語は正確とは言えないし、何よりも美しくないと思います。せめて「気づいたこと」とすべきだと強く訴えます。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞典は毎回必ず持参してください。

【Outline (in English)】

Course outline: review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary.

Learning objectives; understanding of French texts.

Learning activity outside of classroom; homework (1hour)

Grading Criteria; 2 mini-tests(25/150x2), final teste (100/150)

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語 3 II

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しつつ、簡単なフランス語のテキストを訳読していきます。特に自署の使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身につけることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね二回の授業で一課進みます。
小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習1	春学期のまとめ
	第6課（講読）	ココ・シャネル
第2回	第6課（文法）	比較級と最上級
第3回	第7課（講読）	ジョセフィン・ベイカー
第4回	第7課（文法）	現在分詞 ジェロンディフ
第5回	第8課（講読）	シモーヌ・ド・ボヴォワール
第6回	復習2	第一回小テスト（予定）
第7回	第8課（文法）	条件法
第8回	第9課（講読）	シモーヌ・ベユ
第9回	第9課（文法）	直説法単純未来 直説法前未来
第10回	第10課（講読）	ブリジット・バルドー
第11回	第10課（文法）	代名動詞
第12回	復習3	第二回小テスト（予定）
第13回	復習4	模擬試験
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は特に必要ありません。簡単な宿題が毎回です。必ずやってきて下さい。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『フランス史のなかの「異人」たち2』（朝日出版社）

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、二回的小テストが各25点、合計150点でつけます。この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加味します。換算の煩雑な計算をして最終評価を下します。

【学生の意見等からの気づき】

「気づき」ではなく「気づいたこと」と表記してほしい。

【Outline (in English)】

Course outline: review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary.

Learning objectives; understanding of French texts.

Learning activity outside of classroom; homework(1hour)

Grading Criteria; 2 mini-tests (25/150x2), final test (100/150)

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 木2/Thu.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、フランス語1に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力(会話力)、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくのです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVDやCDも活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようになる
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話(発話)などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし / No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	今後の授業の進め方 1年次に終了した文法事項等の確認
第2回	1課 写真学校に入る	会話文の音読と和訳 文法の復習 受動態
第3回	1課 フランスと写真術	文法の練習問題 文章読解
第4回	2課 エッフェル等と自由の女神を見に行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 最上級 関係代名詞qui, que

第5回	2課 エッフェル等と自由の女神	文法の練習問題 文章読解
第6回	3課 ベルシー・ヴィラー ジュを訪れる	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 関係代名詞dont, où
第7回	3課 ベルシー・ヴィラー ジュ	文法の練習問題 文章読解
第8回	4課 ルイ・ヴィトン財団 美術館を訪れる	会話文の音読と和訳 文法の復習 疑問代名詞
第9回	4課 ルイ・ヴィトン財団 美術館	文法の練習問題 文章読解
第10回	5課 電話をかける	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 条件法
第11回	5課 フランスの電話事情	文法の練習問題 文章読解
第12回	仏検4級をめざして1	会話実践 文章読解
第13回	仏検4級をめざして2	仏検4級の練習問題を解く
第14回	試験と総括	まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト(教科書)】

パリ・ブルゴーニュ(朝日出版社、2500円)

副教材として用いるプリントは教員が配布いたします。

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワール仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」(旺文社)他

文法事項の確認の為に、一年次にフランス語1で使用した教科書を参考にしてください。

また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践40%

期末試験の成績(60%)により、評価します。

期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったため、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。

疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。

連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jpです。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 II

2017年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語1に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVDやCDも活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようになる
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解説したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを活用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第6課 ディジョンに到着する	会話文の音読と和訳 文法の復習 代名動詞の複合過去
第2回	第6課 電車に乗る	文法の練習問題 文章読解
第3回	第7課 デジョンの街を散歩する	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 半過去
第4回	第7課 世界文化遺産の街 ディジョン	文法の練習問題 文章読解

第5回	第8課 ブルゴーニュの名物 料理を食べる	会話文の音読と和訳 文法の復習 接続法現在 文法の練習問題
第6回	第8課 ブルゴーニュの名物 料理	文章読解
第7回	第9課 ボースに行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 勧誘表現 文法の練習問題
第8回	第9課 世界文化遺産の街 ボース	文章読解
第9回	第10課 ワインを試飲する	文法の練習問題 文章読解
第10回	第10課 ワインの試飲	文法の練習問題 文章読解
第11回	4級の過去問を解く	文章読解 会話実践 文章読解
第12回	4級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第13回	4級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第14回	試験と総括	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学習としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】

パリ・ブルゴーニュ(朝日出版社、2500円)(フランス語3Iの教科書を継続使用)

副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」(旺文社)他

文法事項の確認の為に、一年次にフランス語1で使用した教科書を参考にしてください。

また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践40%

期末試験の成績(60%)により、評価します。

期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったため、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。

疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。

連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jpです。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語3 I 2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しつつ、フランス語で書かれた簡単な文章を講読します。特に辞書の有効な使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身に着けることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね二回の授業で一課進みます。
小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	第1課（講読）	La passion du sport
第2回	第1課（文法）	直説法複合過去と半過去
第3回	第2課（講読）	La lutte contre le gaspillage
第4回	第2課（文法）	人称代名詞、強勢形
第5回	第3課（講読）	L'égalité femmes-hommes
第6回	まとめ	第一回小テスト（予定）
第7回	第3課（文法）	代名動詞
第8回	第4課（講読）	Pour ou contre les devoirs
第9回	第4課（文法）	中性代名詞
第10回	第5課（講読）	Les bonnes manières à table
第11回	第5課（文法）	関係代名詞
第12回	まとめ	第二回小テスト（予定）
第13回	復習	模擬試験
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習の必要は特にありません。簡単な宿題が毎回出ます。必ずやって来てください。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ヴレマン？』[第2版]（三修社）

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、二回の小テストが各25点、合計150点満点でつけます。この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加算します。そして、どうやら100点満点に換算しなければいけないので、その煩雑な計算をして最終の評価を下します。詳細は第1回の授業で説明します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回指摘しているが、「気づき」という日本語は正確とは言えないし、何よりも美しくないと思います。せめて「気づいたこと」とすべきだと強く訴えます。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞典は毎回必ず持参してください。

【Outline (in English)】

Course outline: review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary.

Learning objectives; understanding of French texts.

Learning activity outside of classroom; homework (1hour)

Grading Criteria; 2 mini-tests(25/150x2), final teste (100/150)

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語 3 II

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しつつ、簡単なフランス語のテキストを訳読していきます。特に辞書の使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身につけることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね二回の授業で一課進みます。

小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習1	春学期のまとめ
	第6課（講読）	Vivement les vacances !
第2回	第6課（文法）	直説法単純未来 命令法
第3回	第7課（講読）	Les petits noms amoureux
第4回	第7課（文法）	大過去、条件法
第5回	第8課（講読）	La philosophie pour tous
第6回	復習2	第一回小テスト（予定）
第7回	第8課（文法）	疑問詞
第8回	第9課（講読）	Les nouvelles familles
第9回	第9課（文法）	現在分詞、ジェロンディフ
第10回	第10課（講読）	La politique environnementale
第11回	第10課（文法）	接続法
第12回	復習3	第二回小テスト（予定）
第13回	復習4	模擬試験
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は特に必要ありません。簡単な宿題が毎回です。必ずやってきて下さい。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ヴレマン？』『第2版』（三修社）

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、二回の小テストが各25点、合計150点でつけます。この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加味します。そしてなぜかそれを100点満点に換算するように言われたのでその煩雑な計算をして最終の評価を下します。

【学生の意見等からの気づき】

「気づき」ではなく「気づいたこと」と表記してほしい。

【Outline (in English)】

Course outline; review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary

Learning objectives; understanding of french texts

Learning activity outside of classroom; homework(1hour)

Grading Criteria; 2 minitests (25/150x2), finaltest(100/150)

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 | 2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語2に引き続き、自分の生活について話せることを目指しています。日常会話でよく使う題材を中心に学習を進めていきます。聞く・話す・書く・読むを勉強し、実践的な能力を強化する授業です。

【到達目標】

このクラスの目標は日常生活に必要な表現と会話力を身につけることです。また、フランス文化なども紹介し、その知識を養うことも目指します。

資格は筆記試験（フランス語検定4～5級）と口頭試験（DELFI* A1レベル）に対応しています。*フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1. 発音の説明 2. 構文を確認した後、学生はペア練習する 3. 学生は日本語からフランス語に訳す練習問題をする 4. 学習したフランス語を使用して、クラスメイトとコミュニケーションをとる 5. リスニング練習 6. 対話文作成 7. 復習学習

フランスの文化の紹介の練習は 1. ビデオを見ながら聞き取れた単語を書く 2. 理解したことを授業で共有する・感想を言う 3. 文章を書く・ロールプレイを行う。

基本的に授業時間内にフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation Leçon 1 Éléments de base	授業の紹介 フランス語の発音、数字など
		フランス語の基礎
2	Leçon 2 Premières présentations	自己紹介 s'appeler動詞、国籍、学年
3	Leçon 3 Dire Où on habite	habiter 動詞、être de+出身地 今住んでいるところ について話す
4	Leçon 4. Parler des transports	交通手段について話す venir動詞、疑問詞 (comment, où...)
5	Leçon 5 Parler des petits boulots	バイトについて話す travailler動詞、"J'aimerais+不定詞"
6	Leçon 6 Panorama 1 総復習 1	名前、国籍、学部、学年、出身地、住んでいるところ、交通手段、アルバイト
7	Leçon 7 Parler de ses animaux	ペット avoir動詞、不定冠詞、 「Qu'est-ce que」疑問詞 について話す

8	Leçon 8 Parler de sa famille	家族について話す 所有形容詞、数字60まで、性格を表す形容詞
9	Leçon 9 Parler des tâches ménagères	家事について話す faire動詞、aimer beaucoupなど「好き」好きの程度を言う
10	Leçon 10 Parler de ce qu'on mange	食べ物について話す 不定冠詞/部分冠詞、manger動詞
11	Leçon 11 Sortir à Paris	パリで遊ぶ 時間を表す単語、「deから...àまで...」の表現、Tu aimerais...誘う表現
12	Leçon 12 Panorama 2 総復習 2 (1)	avoir, faire, aimer, manger動詞
13	Leçon 12 Panorama 2 総復習 2 (2)	文法の復習、リスニングなど
14	Leçon 13 Parler des matières et des profs	科目・先生について話す aimer, préférer, trouver動詞

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題（復習のために家でリスニングと書く練習する）本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

題名 Moi, je ... コミュニケーションA1

筆者 Bruno Vannieuwenhyuse他

出版社 Alma Publishing/アルマ出版

ISBN 978-4-905343-33-2

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

口述小テスト34%、筆記小テスト33%、平常点（授業中の発言、学習態度等）33%で評価します。5回以上欠席する者は評価の対象としないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランスの文化やフランス人の生活について詳しく話します。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン・スマートフォンで音声ダウンロードができます。

【Outline (in English)】

In this class, we study French conversation at a beginner level. This class prepares to the conversation part of DELF A1. The goal of this course is to learn French conversation. Before and after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Short oral tests 33%, short written tests 34%, in-class participation 33%. To receive a credit, you must not be absent more than 4 times.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 II

2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、フランス語2に引き続き、自分の生活について話せることを目指しています。日常会話でよく使う題材を中心に学習を進めていきます。聞く・話す・書く・読むを勉強し、実践的な能力を強化する授業です。

【到達目標】

このクラスの目標は日常生活に必要な表現と会話力を身につけることです。また、フランス文化なども紹介し、その知識を養うことも目指します。

資格は筆記試験（フランス語検定4～5級）と口頭試験（DELFI* A1レベル）に対応しています。*フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1. 発音の説明 2. 構文を確認した後、学生はペア練習する 3. 学生は日本語からフランス語に訳す練習問題をする 4. 学習したフランス語を使用して、クラスメイトとコミュニケーションをとる 5. リスニング練習 6. 対話文作成 7. 復習学習

フランスの文化の紹介の練習は 1. ビデオを見ながら聞き取れた単語を書く 2. 理解したことを授業で共有する・感想を言う 3. 文章を書く・ロールプレイを行う。

基本的に授業時間内にフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 13 Parler des matières et des profs	aimer, préférer, trouver 動詞、定冠詞 科目・先生について話す
2	Leçon 14 Parler des loisirs	faire+部分冠詞、"être membre du club de"の表現 クラブ活動について話す
3	Leçon 15 Parler du quotidien	時間を言う、代名動詞
4	Leçon 16 Parler du week-end	aller 動詞、近接未来 週末の過ごし方について話す
5	Leçon 17 Parler de ses goûts	頻度に関する質問と答え、代名詞 y と en の使い方 好みについて話す
6	Leçon 18 Panorama 3	13～17課までの文法の復習 総復習3
7	Leçon 19 Parler des vacances	複合過去、半過去 休暇中の活動について話す

8	Leçon 20 Parler de ses expériences	複合過去+déjà/jamais quand+複合過去形／半過去形 経験について話す
9	Leçon 21 Parler de la géographie et de la gastronomie	都市の位置を説明する、地方の名物 地理と食文化について話す
10	Leçon 22 Parler du temps	天気を表す語彙、疑問形容詞 quel, quelle 天気について話す
11	Leçon 23 Planifier un voyage en France	il y a (英語 There is) フランスへの旅を計画する
12	Leçon 23 Planifier un voyage en France	形容詞前置修飾、形容詞後置修飾 フランスへの旅を計画する
13	Leçon 24 Panorama 4 総復習 4 (1)	19-23課までの文法の復習
14	Leçon 24 Panorama 4 総復習 4 (2)	既習事項を使った対話文

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

題名 Moi, je... コミュニケーション A1

筆者 Bruno Vannieuwenhuysen 他

出版社 Alma Publishing/アルマ出版

ISBN 978-4-905343-33-2

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

口述小テスト34% 筆記小テスト33%、平常点（授業中の発言など）33%で評価します。5回以上欠席する者は評価の対象としないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランスの文化やフランス人の生活について詳しく話します。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンで音声をダウンロードができます。

【Outline (in English)】

In this class, we study French conversation at a beginner level. This class prepares to DELF A1 or Futsuken level 5 or 4. The goal of this course is to learn French conversation. Before and after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: short oral tests 33%, short written tests 34%, in-class participation 33%. To receive a credit, you must not be absent more than 4 times.

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）			10回	テキスト第4課	4課のフランス語の文章を正しく日本語になおすことで内容と用いられている表現や語彙を理解する
フランス語3Ⅰ			11回	テキスト第5課	5課のフランス語の文章を正しく日本語になおすことで内容と用いられている表現や語彙を理解する
寺家村 博			12回	テキスト第6課	6課のフランス語の文章を正しく日本語にすることで内容と用いられている表現や語彙を理解する
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木5/Thu.5			13回	1～6課のまとめ	6課までのフランス語の文章の中で用いられた重要な文法事項や表現を見直し、確認する
単位数：1単位			14回	前期のまとめ	前期のまとめのペーパーを書いてもらうとともに、終了後解説をおこなう
その他属性：			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 このクラスはフランス語の初級文法の復習と完成からスタートします。次に学習した文法事項をもとに初級あるいは中級程度のフランス語の文章を正しく理解できるようにしていきます。その過程でフランス社会の諸様相に関しても適宜説明を加えていきます。合わせてフランス語の文書の正しい発音も練習していきます。			【テキスト（教科書）】 『時事フランス語2026年度版』（朝日出版社、ISBN978-4-255-35390-6 C1085） 石井洋二郎他著 2090円		
【到達目標】 このクラスの最終的な到達目標は、実用フランス語検定4級以上に合格できる総合的なフランス運用能力をつけていくことをめざします。			【参考書】 授業時に説明します		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1			【成績評価の方法と基準】 このクラスは講義形式と演習形式の2つのスタイルで行っていきます。課題及び授業内の発表（50％）、学期末のテスト（50％）		
【主な授業方法】 S 演習/ゼミ /Seminar			【学生の意見等からの気づき】 授業進度に関して、少しペースを落として今年度はのぞんでいく。また理解が深まっていない文法事項に関して適宜プリント等で課題をだし、理解度の向上をめざしていく		
【授業の進め方と方法】 教員が文法説明をおこない、その後受講者の理解度を文法問題にてチェックしていきます。また初級、中級程度のフランス語の文章を正しく日本語にしていきます。その際、受講生それぞれに日本語訳を担当していただきます。			【Outline (in English)】 The purpose of this class is completion of the French grammar and precise understanding of the simple French sentence. 【Learning Objectives】Aptitude of DAPF Grade 4 【Learning activities outside of classroom】After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. 【Grading Criteria /Policy】Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes			【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1回	フランスの概要を知る	フランスの簡単な歴史、地理、社会の成り立ち、現代フランスの問題点などを理解していく			
2回	フランス語文法の復習 (形容詞と時制)	1年次にすでに学習したフランス語文法を復習する			
3回	フランス語文法の復習 (代名詞等)	1年次にすでに学習したフランス語文法を復習する			
4回	フランス語文法の完成 (条件法、接続法等)	1年次にまだ学習していないフランス語文法をプリントを使用しながら理解していく			
5回	フランス語文法の完成 (その他未習の文法事項)	1年次にまだ学習していない文法をプリントを使用しながら理解していく			
6回	フランス語文法のまとめ	総合的にフランス語文法の理解度をチェックしていく			
7回	テキスト第1課の内容理解	1課のフランス語の文章を正しく日本語になおすことで内容と使われている表現を理解する			
8回	テキスト第2課	2課のフランス語の文章を正しく日本語になおすことで内容と使われている表現を理解する			
9回	テキスト第3課	3課のフランス語の文章を正しく日本語になおすことで内容と使われている表現を理解する			

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 II

2017年度以降入学者

寺家村 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスでは前期（春学期）に引き続いてフランス語文法理解のさらなる深化及び基本的な語彙や表現の獲得をめざしていきます。同時に実用フランス語検定4級を視野に入れていきます。テキストは前期と同じテキストを用いて、簡単なフランス語の文章に触れていきます。

DAPF Grande4

【到達目標】

フランス語の初級、中級文法の完成、簡単なフランス語の文章の意味を理解し、適切な日本語に置き換えることが出来るようにする。また同時に実用フランス語検定4級、3級に合格するために必要なフランス語運用能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義ではあるものの、使用テキストがフランスの社会、文化を扱ったものであるので適宜テキストのテーマに沿った内容の解説、あるいはテーマに関するディスカッションを実施する場合もある。また課題を求めることもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	前期（春学期）の振り返り	前期で学習した文法事項や語彙、表現の理解が定着しているのか確認していく
2回目	テキスト第7課	7課の文章を正しく日本語にすることで、文章の内容と用いられている語彙や表現を理解していく。
3回目	テキスト第8課	8課の文章を正しく日本語に置き換えることで、文章の内容と用いられている語彙や表現を理解していく
4回目	テキスト第9課	9課の文章を正しく日本語に直すことで、文章の内容の把握と用いられている語彙や表現を理解していく
5回目	テキスト第10課	10課の文章を正しく日本語になおしていくことで、文章の内容の把握と用いられている語彙や表現を理解していく
6回目	テキスト第11課	11課のフランス語の文章を日本語になおしていくことで、文章の全体把握と用いられている語彙や表現を理解していく
7回目	テキスト第12課	12課のフランス語の文章を日本語に置き換えていくことで、文章の内容を把握し、用いられている語彙や表現を理解していく

8回目	テキスト第13課	13課のフランス語の文章を日本語になおしていくことで、文章の内容をつかみ、用いられている語彙や表現を理解していく
9回目	テキスト第14課	14課のフランス語の文章を日本語に置き換えることで、文章の内容をつかみ、用いられている語彙や表現を理解していく
10回目	テキスト第15課	15課のフランス語の文章を日本語にすることで、内容を把握し、用いられている語彙や表現を理解していく
11回目	「DIORとモード」に関するプリントをフランス語で読む	プリントのフランス語の文章を日本語になおすことで、内容を把握し、用いられている語彙や表現を理解していく
12回目	「新しいバカロレア」に関するプリントをフランス語で読む	プリントのフランス語の文章を日本語に置き換えることで内容を把握し、用いられている語彙や表現を理解していく
13回目	「ケイジャン」に関するプリントをフランス語で読み、フランコフォニーへの理解を深めていく	プリントのフランス語の文章を日本語に置き換えることで内容をつかみ、用いられている語彙や表現を理解していく
14回目	後期（秋学期）の振り返り まとめのテスト	後期で学習した内容を振り返ることで、獲得した文法の知識や語彙、表現を見直していく。テストも実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

前期のテキストを継続使用する

【参考書】

開講時に適宜指示する

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加（40％）そして期末テスト（60％）

【学生の意見等からの気づき】

板書の仕方をもっと工夫する。より深い文法理解のために、補足のプリント等の使用していく。

【その他の重要事項】

1回目の授業から必ず来てください

【Outline (in English)】

The purpose of this class is completion of the French grammar and precise understanding of the simple French sentence, secondary to the first half year.

【Learning Objectives】Aptitude of DAPF Grade 4

【Learning activities outside of classroom】After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語3 | 2017年度以降入学者

石川 典子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語文法を1年間学習した学生が、文法の基礎を固め、フランス語の読解、音読、聴解の力を向上させる授業です。運用練習を通じて、フランス語を身近に感じ、フランス文化への理解を深めることを目指します。

【到達目標】

さまざまな時制を組み合わせて、フランス語で場面を描写できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

春学期はまず、前年度使用した教科書（『一人でも学べるフランス語』）を用いて、フランス語文法の解説を引き続き行います。同時に、これまで学んだ文法事項を復習しながら、フランス語を運用する演習に取り組みます。

学生からの質問には、授業時間内または授業支援システムを通じてフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文法（1）	直接・間接目的語の人称代名詞
2	表現（1）	現在形での直接補語代名詞と間接補語代名詞の使い方
3	表現（2）	コミュニケーションに関する動詞の確認とその運用練習
4	文法（2）	非人称構文 数字（1～100）
5	表現（3）	天気・時間の表現
6	表現（4）	禁止と許可の表現 義務と権利について話す
7	中間試験	これまでの確認と演習問題
8	文法（3）	代名動詞
9	表現（5）	一日にすることを話す（現在形）
10	文法（4）	直説法複合過去（助動詞avoir）
11	文法（5）	直説法複合過去（助動詞être）
12	表現（6）	一日にしたことを話す（過去形）
13	表現（7）	日常生活に関してフランス語で述べる応用練習
14	期末試験	これまでの確認と演習問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。特に文法事項の確認に力を入れてください。授業で学んだことを未消化のまま次週に持ち越さないようにしましょう。自宅でも声を出して練習することが大切です。その際は、付属の音声ファイルや教科書専用ウェブサイトを活用してください。

【テキスト（教科書）】

【前年度使用教科書】『ひとりでも学べるフランス語』中村敦子著、白水社、2020年、2100円＋税

【今年度新教科書】『フランス語の方法2』ヴァンサン・デュランベルジェ／ロイック・ログス／ロマン・ボキヨン著、駿河台出版社、2017年、2300円＋税

【参考書】

参考書は指定しませんが、授業中に必要に応じて紹介します。また、語学学習ツール「Duolingo」の利用を推奨します。

【成績評価の方法と基準】

授業内での毎回の取り組み25%、中間試験25%、期末試験50%で総合的に評価します。

4回以上の無断欠席は評価の対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】

ロールプレイングやグループワークなどの授業内アクティビティを中心に、生きたフランス語の運用を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書については、電子辞書、紙の辞書のいずれでも構いませんが、手元に用意しておくとう便利です。授業の復習にぜひ活用してください。学習支援システム「Hoppii」を通じて音声録音ファイルを提出していただく場合があります。スマートフォン、タブレット、パソコンなどで対応可能ですが、授業外でもその機器に接続できるよう準備しておいてください。

【その他の重要事項】

期末試験のやむを得ない事情による未受験については、学内の規定に従い、申告された場合のみ対応します。

授業中に生成AIや機械翻訳を使用した場合は、減点の対象となります。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who have already studied French for one year. Students will learn more advanced expressions and vocabulary, enabling them to speak, listen, and discuss French culture in French by the end of the course.

After each class, students are expected to dedicate two hours to reviewing the material. Repeating sentences from the text aloud is an effective practice method.

Grading will be based on in-class contribution (25%), a mid-term examination (25%), and a term-end examination (50%).

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語3 II

2017年度以降入学者

石川 典子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語文法を1年間学習した学生が、文法の基礎を固め、フランス語の読解、音読、聴解の力を向上させる授業です。運用練習を通じて、フランス語を身近に感じ、フランス文化への理解を深めることを目指します。

【到達目標】

さまざまな時制を組み合わせて、フランス語で場面を描写できるようになる。

実用フランス語技能検定試験では、4級レベルへの到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

春学期に引き続き、前年度に使用した教科書『一人でも学べるフランス語』を用いてフランス語文法の解説を行います。その後、これまでに学習した文法事項を復習しながら、フランス語を運用するための演習に取り組みます。

学生からの質問には、授業時間内または授業支援システムを通じて、適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文法 (1)	関係代名詞
2	表現 (1)	自己紹介をする
3	表現 (2)	暮らしている場所について話す
4	文法 (2)	直説法半過去
5	表現 (3)	子どもの頃の話をする
6	表現 (4)	複合過去と半過去の使い分け
7	表現 (5)	過去における出来事話す 過去の状況を描写する
8	中間試験	これまでの確認と演習問題
9	文法 (3)	中性代名詞
10	表現 (6)	現在と過去における習慣について話す
11	表現 (7)	経験済み・未経験の事柄について話す
12	文法 (4)	直説法単純未来
13	表現 (8)	計画、予定について話す
14	期末試験	これまでの確認と演習問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。特に文法事項の確認に力を入れてください。授業で学んだことを未消化のまま次週に持ち越さないようにしましょう。自宅でも声を出して練習することが大切です。その際は、付属の音声ファイルや教科書専用ウェブサイトを活用してください。

【テキスト（教科書）】

【前年度使用教科書】『ひとりでも学べるフランス語』中村敦子著、白水社、2020年、2100円＋税

【今年度新教科書】『フランス語の方法2』ヴァンサン・デュランベルジェ／ロイック・ログス／ロマン・ボキヨン著、駿河台出版社、2017年、2300円＋税

【参考書】

参考書は指定しませんが、授業中に必要に応じて紹介します。また、語学学習ツール「Duolingo」の利用を推奨します。

【成績評価の方法と基準】

授業内での毎回の取り組み25%、中間試験25%、期末試験50%で総合的に評価します。

4回以上の無断欠席は評価の対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】

ロールプレイングやグループワークなどの授業内アクティビティを中心に、生きたフランス語の運用を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書については、電子辞書、紙の辞書のいずれでも構いませんが、手元に用意しておくとう便利です。授業の復習にぜひ活用してください。学習支援システム「Hoppii」を通じて音声録音ファイルを提出していただく場合があります。スマートフォン、タブレット、パソコンなどで対応可能ですが、授業外でもその機器に接続できるよう準備しておいてください。

【その他の重要事項】

期末試験のやむを得ない事情による未受験については、学内の規定に従い、申告された場合のみ対応します。

授業中に生成AIや機械翻訳を使用した場合は、減点の対象となります。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who have already studied French for one year. Students will learn more advanced expressions and vocabulary, enabling them to speak, listen, and discuss French culture in French by the end of the course.

After each class, students are expected to dedicate two hours to reviewing the material. Repeating sentences from the text aloud is an effective practice method.

Grading will be based on in-class contribution (25%), a mid-term examination (25%), and a term-end examination (50%).

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語3 I

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生時に引き続き、フランス語の四技能（読解・作文・会話・聞き取り）の基礎を確立することを目指す。

【到達目標】

1. 日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
2. 簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
3. 簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う。

教科書に沿って進める。必要に応じて随時プリントを配布予定。客観的に学生が実力を把握できるように中間テストに加えて小テストを適宜行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 一年生の復習	・ 授業方針の説明 ・ 基本的なフランス語の決まり事を確認 ・ フランス語での自己紹介
第2回	『フランス語の方法』 第9課	・ 買い物表現を覚える。 ・ 数字の復習 ・ レストランで注文できるようになる。
第3回	第9課続き	・ 代名詞 en ・ 市場やパン屋で買い物できるようになる。
第4回	第10課	・ 部分冠詞 ・ 量の表現
第5回	第10課続き	・ 動詞 prendre の用法
第6回	第13課	・ 時刻の表現の復習
第7回	第13課続き	・ 電車の切符を買えるようになる。
第8回	中間テスト	・ ここまでの学習内容の定着をはかるため、中間テストを行う。
第9回	第14課	・ 日常の動作を表現できるようになる。 ・ 代名動詞
第10回	第14課続き	動詞 vouloir・devoir・pouvoir
第11回	第15課	・ 過去の出来事を表現できるようになる。 ・ 直接法複合過去
第12回	『プチ・マエストロ 2』 第3課	・ 直接法複合過去の練習

第13回 総復習

ここまで学習した内容について質問を受け付け、総復習を行う。期末試験を行う。

第14回 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の予習として、各課の対話文をわからない単語を辞書で調べながら読み、CDも聞いておくこと。復習として、授業中に示された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『フランス語の方法—コミュニケーションと文法の基礎—（三訂版）』 Vincent Durrenberger 著、駿河台出版社、2024年（1年生時に使用した教科書）

『プチ・マエストロ 2』北村亜矢子・Vincent Durrenberger 著・朝日出版社

【参考書】

仏和辞典を持っていることが望ましい。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト50%・中間テスト30%・授業貢献度20%、学期末に授業時期末試験、学期の中間地点で中間テストを行います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書のwebページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川（junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp）までお願いします。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%、Examinations in class : 30%、contribution in class: 20%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 II

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期と同様に、フランス語の四技能を高めて今後のフランス語学習の基礎となる礎を完成させる。

【到達目標】

1. 日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
2. 簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
3. 簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進めます。必要に応じてプリントを配布します。中間テストを行い、期間内に受講者が理解度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	『プチ・マエストロ 2』 第1課	・直接補語人称代名詞 ・命令形
第2回	『プチ・マエストロ 2』 第2課	・代名動詞の復習
第3回	『プチ・マエストロ 2』 第4課	・主語人称代名詞 on ・関節目的補語人称代名詞 ・直接目的補語人称代名詞と中性代名詞 en と y の復習
第4回	『プチ・マエストロ 2』 第4課続き	・進行形 ・近接過去
第5回	『プチ・マエストロ 2』 第5課	・複合過去の復習 ・代名動詞の複合過去
第6回	『プチ・マエストロ 2』 第6課	・比較級と最上級 ・不定詞構文 ・疑問形容詞
第7回	中間テスト	・中間テスト
第8回	『プチ・マエストロ 2』 第7課	・直接法半過去
第9回	『プチ・マエストロ 2』 第8課	・スポーツや楽器の演奏に関連する表現を学ぶ。
第10回	『プチ・マエストロ 2』 第9課	・身体の状態を表現できるようになる。 ・アドバイスを言えるようになる。

第11回	『プチ・マエストロ 2』 第10課	・誘えるようになる。 ・中性代名詞 y の復習。
第12回	『プチ・マエストロ 2』 第11課	・願望を言うことができるようになる。 ・予約できるようになる。 ・交通手段を表現できるようになる。
第13回	『プチ・マエストロ 2』 第12課	・直説法単純未来 ・仮定の表現
第14回	授業内期末試験	期末試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも24時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『フランス語の方法—コミュニケーションと文法の基礎—（三訂版）』 Vincent Durrenberger 著、駿河台出版社、2024年（1年生時に使用した教科書）

『プチ・マエストロ 2』北村亜矢子・Vincent Durrenberger 著・朝日出版社

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト50%。中間テスト30%・授業貢献度20%、学期末に授業時期末試験、学期の中間地点で中間テストを行います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の弱点を補えるよう、理解が徹底していない箇所を繰り返して学習するようにします。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン等の電子機器を用意していることが望ましい。

【その他の重要事項】

質問等があれば、西川 (junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp) までメールをください。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 50%、Examinations in class: 30%、in-class contribution: 20%.

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語3 | 2017年度以降入学者

石川 典子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語文法を1年間学習した学生が、文法の基礎を固め、フランス語の読解、音読、聴解の力を向上させる授業です。運用練習を通じて、フランス語を身近に感じ、フランス文化への理解を深めることを目指します。

【到達目標】

さまざまな時制を組み合わせ、フランス語で場面を描写できるようになる。

フランスの現代社会について、フランス語で読み、聞き、理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1年次に学んだ文法事項を復習しながら、フランス語を運用する演習に取り組みます。

学生からの質問には、授業時間内または授業支援システムを通じてフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス・イントロダクション	1年次の復習
2	Leçon 0	人物の紹介をする
3	Leçon 1	暮らしている場所について話す
4	Leçon 2	物の原産地について話す
5	Leçon 2	venir / aller / être en train de の使い方
6	Leçon 2	フランスの歌曲の紹介
7	Leçon 3	現在形での直接補語代名詞と間接補語代名詞の使い方
8	Leçon 3	コミュニケーションに関する動詞
9	Leçon 4	子どもの頃の話をする
10	Leçon 4	過去における理由を話す
11	Leçon 4	La francophone の読解
12	Leçon 5	過去における出来事話す
13	Leçon 5	過去の状況を描写する
14	期末試験	これまでの確認と演習問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。特に文法事項の確認に力を入れてください。授業で学んだことを未消化のまま次週に持ち越さないようにしましょう。自宅でも声を出して練習することが大切です。その際は、付属の音声ファイルや教科書専用ウェブサイトを活用してください。

【テキスト（教科書）】

『フランス語の方法2』ヴァンサン・デュランベルジェ／ロイック・ログス／ロマン・ボキヨン著、駿河台出版社、2017年、2300円＋税

【参考書】

参考書は指定しませんが、授業中に必要に応じて紹介します。また、語学学習ツール「Duolingo」の利用を推奨します。

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭表現および課題への取り組み（30%）、数回実施予定のディクテ小テスト（20%）、ならびに期末試験（50%）の結果を総合して成績評価を行います。

4回以上の無断欠席は評価の対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】

ロールプレイングやグループワークなどの授業内アクティビティを中心に、生きたフランス語の運用を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書については、電子辞書、紙の辞書のいずれでも構いませんが、手元に用意しておくとう便利です。授業の復習にぜひ活用してください。学習支援システム「Hoppii」を通じて音声録音ファイルを提出していただく場合があります。スマートフォン、タブレット、パソコンなどで対応可能ですが、授業外でもその機器に接続できるよう準備しておいてください。

【その他の重要事項】

期末試験のやむを得ない事情による未受験については、学内の規定に従い、申告された場合のみ対応します。

授業中に生成AIや機械翻訳を使用した場合は、減点の対象となります。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who have already studied French for one year. Students will learn more advanced expressions and vocabulary, enabling them to speak, listen, and discuss French culture in French by the end of the course.

After each class, students are expected to dedicate two hours to reviewing the material. Repeating sentences from the text aloud is an effective practice method.

Grading will be based on in-class oral participation and engagement with assignments (30%), several short dictation quizzes (20%), and a term-end examination (50%).

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語3 II

2017年度以降入学者

石川 典子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語文法を1年間学習した学生が、文法の基礎を固め、フランス語の読解、音読、聴解の力を向上させる授業です。運用練習を通じて、フランス語を身近に感じ、フランス文化への理解を深めることを目指します。

【到達目標】

さまざまな時制を組み合わせ、フランス語で場面を描写できるようになる。

実用フランス語技能検定試験では、3級レベルへの到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

春学期に引き続き、1年次に学んだ文法事項を復習しながら、フランス語を運用する演習に取り組みます。

学生からの質問には、授業時間内または授業支援システムを通じてフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 6	買い物をする時の表現
2	Leçon 6	物や人についての意見を言う (1)
3	Leçon 6	助言や命令をする
4	Leçon 7	物や人についての意見を言う (2)
5	Leçon 8	現在と過去における習慣について話す
6	Leçon 8	経験済み・未経験の事柄について話す
7	Leçon 8	フランスの映画の紹介
8	Leçon 9	計画、予定について話す
9	Leçon 9	出張の予定を立てる
10	Leçon 9	Le marché de Noël の読解
11	Leçon 10	禁止と許可の表現 義務と権利について話す
12	Leçon 11	欲求を伝える アドバイスをする
13	Leçon 11	現在における仮定
14	期末試験	これまでの確認と演習問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。特に文法事項の確認に力を入れてください。授業で学んだことを未消化のまま次週に持ち越さないようにしましょう。自宅でも声を出して練習することが大切です。その際は、付属の音声ファイルや教科書専用ウェブサイトを活用してください。

【テキスト（教科書）】

『フランス語の方法2』ヴァンサン・デュランベルジュ／ロイック・ロゲス／ロマン・ボキヨン著、駿河台出版社、2017年、2300円＋税

【参考書】

参考書は指定しませんが、授業中に必要に応じて紹介します。また、語学学習ツール「Duolingo」の利用を推奨します。

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭表現および課題への取り組み（30%）、数回実施予定のディクテ小テスト（20%）、ならびに期末試験（50%）の結果を総合して成績評価を行います。

4回以上の無断欠席は評価の対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】

ロールプレイングやグループワークなどの授業内アクティビティを中心に、生きたフランス語の運用を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書については、電子辞書、紙の辞書のいずれでも構いませんが、手元に用意しておくとう便利です。授業の復習にぜひ活用してください。学習支援システム「Hoppii」を通じて音声録音ファイルを提出していただく場合があります。スマートフォン、タブレット、パソコンなどで対応可能ですが、授業外でもその機器に接続できるよう準備しておいてください。

【その他の重要事項】

期末試験のやむを得ない事情による未受験については、学内の規定に従い、申告された場合のみ対応します。

授業中に生成AIや機械翻訳を使用した場合は、減点の対象となります。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who have already studied French for one year. Students will learn more advanced expressions and vocabulary, enabling them to speak, listen, and discuss French culture in French by the end of the course.

After each class, students are expected to dedicate two hours to reviewing the material. Repeating sentences from the text aloud is an effective practice method.

Grading will be based on in-class oral participation and engagement with assignments (30%), several short dictation quizzes (20%), and a term-end examination (50%).

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）
フランス語3Ⅰ（インテンシブ） 2017年度以降入学者
近江屋 志穂
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月2/Mon.2
単位数：1単位
その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・初級文法の知識を固めること。
- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を伸ばすこと。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験（仏検）3級レベル、DELFI A1～A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・テキストの各課は、2種類の会話文、内容の確認、並べかえ作文や聞き取り問題、文法説明で構成されています。文法の復習をしながら、会話文を読み、練習問題に取り組みます。
- ・課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 1	授業概要説明 倒置疑問文 前置詞と定冠詞の縮約
2	Leçon 1	TEXTE 1 読解 近接未来・近接過去 代名動詞①
3	Leçon 1 Leçon 2	TEXTE 2 読解 命令文
4	Leçon 2	TEXTE 1 読解 比較級
5	Leçon 2	TEXTE 2 読解 練習問題
6	Leçon 3	非人称構文① 中性代名詞①
7	Leçon 3	TEXTE 1 読解 関係代名詞①
8	Leçon 3 Leçon 4	TEXTE 2 読解 指示代名詞①
9	Leçon 4	TEXTE 1 読解 中性代名詞②
10	Leçon 4	TEXTE 2 読解 条件法現在
11	Leçon 5	代名動詞②
12	Leçon 5	TEXTE 1 読解 代名動詞③

13	Leçon 5	TEXTE 2 読解 半過去 筆記試験・まとめと解説
14	期末試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習と宿題を怠らないようにしてください。
- ・どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。
- ・本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・折方のぞみ・南玲子『あなたの国では？－フランス語で文化交流 C'est comment chez vous?』三修社、2026年（2,800円＋税）

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

文法の復習に傾きすぎないようにします。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

- ・「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が（「フランス語3 インテンシブ」の方が）進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。
- ・進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context. The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR. Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text. The overall grade in the class will be decided based on the following:
term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語3Ⅱ（インテンシブ） 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・初級文法の知識を固めること。
- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を伸ばすこと。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験（仏検）3級レベル、DELTA A1～A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・テキストの各課は、2種類の会話文、内容の確認、並べかえ作文や聞き取り問題、文法説明で構成されています。文法の復習をしながら、会話文を読み、練習問題に取り組みます。
- ・課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 6	疑問形容詞 補語人称代名詞
2	Leçon 6	TEXTE 1 読解 使役動詞
3	Leçon 6 Leçon 7	TEXTE 2 読解 非人称構文②
4	Leçon 7	受動態 TEXTE 1 読解
5	Leçon 7	TEXTE 2 読解 代名動詞④
6	Leçon 8	現在分詞① TEXTE 1 読解
7	Leçon 8	ジェロンディフ、数量表現
8	Leçon 8 Leçon 9	TEXTE 2 読解 指示代名詞②
9	Leçon 9	TEXTE 1 読解 強調構文
10	Leçon 9	時制の一致 TEXTE 2 読解
11	Leçon 10	部分冠詞 中性代名詞③
12	Leçon 10	TEXTE 1 読解 最上級
13	Leçon 10	TEXTE 2 読解
14	期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習と宿題を怠らないようにしてください。
- ・どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声を聞き、発音練習をするようにしてください。
- ・本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

近江屋志穂・折方のぞみ・南玲子『あなたの国では？ーフランス語で文化交流 C'est comment chez vous?』三修社、2026年（2,800円＋税）

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

検定試験を意識して練習問題を行います。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

- ・「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が（「フランス語3 インテンシブ」の方が）進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。
- ・進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 | 2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本に詳しくなり、それを簡単なフランス語で説明できるようになるための授業です。1年間学習した文法事項が具体的に使われているフランス語の文章を読みながら、フランス語の復習もできます。外から目線で語られる日本はどんなでしょうか、日本の中から発信できることはどんなことでしょうか。さらに新しい情報をつけ足して、それをフランス語で表現し教科書に補足していきます。

【到達目標】

辞書さえあれば簡易なフランス語の文章の内容を把握できるようになる。日本のことを正しく伝えられ質問にも答えられる知識を獲得する。情報発信のための語彙と簡単なフランス語のフレーズを身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業は1つのテーマ(1つの章)を2回で進みます。1回目は本文の内容把握と使用されている文法事項の復習です。2回目は関連事項を検索して補足情報をまとめ、それをフランス語に移しながら教科書のサブテキストを日本人目線で作ります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	1課「日本の首都概説」	比較級と最上級、練習問題プリント
2回目	1課「日本の首都概説」他国の首都と比較して日本の首都の特徴を補足	資料検索、発表、フランス語に訳してみる
3回目	2課「江戸から東京へ」	複合過去と半過去、練習問題プリント
4回目	2課「江戸から東京へ」時間経過と移り変わりをテーマにして補足	資料検索、発表、フランス語に訳してみる
5回目	3課「東京オリンピック」	単純未来、練習問題プリント
6回目	3課「東京オリンピック」世界に通用する未来の予想を立てる	資料検索、発表、フランス語に訳してみる
7回目	4課「日本の高等教育」	代名動詞、練習問題プリント
8回目	4課「日本の高等教育」他国の高等教育と比較しながら日本の特徴を捉え長所と短所を考える	資料検索、発表、フランス語に訳してみる
9回目	5課「日本の経済と政治」	関係代名詞(1)、練習問題プリント

10回目	5課「日本の経済と政治」日本経済の現状を他国と比較しながら把握し政策について考える	資料検索、発表、フランス語に訳してみる
11回目	6課「日本人の信仰」	関係代名詞(2)、練習問題プリント
12回目	6課「日本人の信仰」世界の信仰分布と日本の傾向を比較し日本の特徴をあげてみる	資料検索、発表、フランス語に訳してみる
13回目	7課「日本人の日常生活」	現在分詞とジェロンディフ、練習問題プリント
14回目	春学期のまとめ、試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。1回目で理解したテキストの内容について補足する資料を2回目の授業までに準備しておく。それをフランス語にするために必要な語彙も調べておく。

【テキスト（教科書）】

『日本再発見!』ジェローム・ルボワ、井上櫻子 著(白水社)

【参考書】

書籍は特にありませんが、検索・発表ができるスマホ・PC等が必要です。

【成績評価の方法と基準】

最終授業回に行う文法と翻訳の試験60%、授業内の発表と作文40%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

音読、口頭表現の時間をもう少し長めに確保します。

【学生が準備すべき機器他】

検索や発表を行うために、スマホ・タブレット・PC等Zoomに接続できる機器が必要です。日本語からフランス語に訳するための辞書があればより便利です。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This class will help you become familiar with Japan and be able to explain it in simple French. You can also review your French while reading French sentences that specifically use the grammar points you have learned over the past year. What is Japan like from an outside perspective, and what can we communicate from within Japan? You will also add new information and express it in French to supplement the textbook.

【Learning Objectives】 With the help of a dictionary, students will be able to grasp the main idea of simple French texts. They will acquire the knowledge needed to explain Japan accurately and to answer related questions. They will also learn vocabulary and basic French phrases for sharing information.

【Learning activities outside of classroom】 After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】 Term-end examination: 60%, in-class contribution: 40%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 II

2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本に詳しくなり、それを簡単なフランス語で説明できるようになるための授業です。1年間学習した文法事項が具体的に使われているフランス語の文章を読みながら、フランス語の復習もできます。外から目線で語られる日本はどんなのでしょうか、日本の中から発信できることはどんなことでしょうか。さらに新しい情報をつけ足して、それをフランス語で表現し教科書に補足していきます。

【到達目標】

辞書さえあれば簡易なフランス語の文章の内容を把握できるようになる。日本のことを正しく伝えられ質問にも答えられる知識を獲得する。情報発信のための語彙と簡単なフランス語のフレーズを身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業は1つのテーマ(1つの章)を2回で進みます。1回目は本文の内容把握と使用されている文法事項の復習です。2回目は関連事項を検索して補足情報をまとめ、それをフランス語に移しながら教科書のサブテキストを日本人目線で作ります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	8課「四季と年中行事」	接続法、練習問題プリント
2回目	8課「四季と年中行事」一般論や自分の意見をつけ足す補足	資料検索、発表、フランス語に訳してみる
3回目	9課「日本語」	受動態、練習問題プリント
4回目	9課「日本語」世界から見た日本語の特徴と難しさについて補足	資料検索、発表、フランス語に訳してみる
5回目	10課「昔ながらの東京」	条件法、練習問題プリント
6回目	10課「昔ながらの東京」そうじゃなかったらの仮定をして現代の日本がどう変わっていたかを予測	資料検索、発表、フランス語に訳してみる
7回目	11課「現代的な日本」	直説法大過去、練習問題プリント
8回目	11課「現代的な日本」過去の事象を振り返り因果関係を補足	資料検索、発表、フランス語に訳してみる
9回目	12課「関東地方の名所(1)」	中性代名詞、補語人称代名詞、練習問題プリント

10回目	12課「関東地方の名所(1)」 「そこ」や「それ」を使って他の名所の紹介	資料検索、発表、フランス語に訳してみる
11回目	13課「関東地方の名所(2)」	時制の使い分け、練習問題プリント
12回目	13課「関東地方の名所(2)」 各名所の变迁とこの先のニューカマーを予測	資料検索、発表、フランス語に訳してみる
13回目	14課「浮世絵」	単純過去、練習問題プリント
14回目	秋学期のまとめ、試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。1回目で理解したテキストの内容について補足する資料を2回目の授業までに準備しておく。それをフランス語にするために必要な語彙も調べておく。

【テキスト（教科書）】

『日本再発見!』ジェローム・ルボワ、井上櫻子 著(白水社)

【参考書】

書籍は特にありませんが、検索・発表ができるスマホ・PC等が必要です。

【成績評価の方法と基準】

最終授業回に行う文法と翻訳の試験60%、授業内の発表と作文40%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

音読、口頭表現の時間をもう少し長めに確保します。

【学生が準備すべき機器他】

検索や発表を行うために、スマホ・タブレット・PC等Zoomに接続できる機器が必要です。日本語からフランス語に訳すための辞書があればより便利です。

【Outline (in English)】

【Course outline】 This class will help you become familiar with Japan and be able to explain it in simple French. You can also review your French while reading French sentences that specifically use the grammar points you have learned over the past year. What is Japan like from an outside perspective, and what can we communicate from within Japan? You will also add new information and express it in French to supplement the textbook.

【Learning Objectives】 With the help of a dictionary, students will be able to grasp the main idea of simple French texts. They will acquire the knowledge needed to explain Japan accurately and to answer related questions. They will also learn vocabulary and basic French phrases for sharing information.

【Learning activities outside of classroom】 After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】 Term-end examination: 60%, in-class contribution: 40%

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語 4 | 2017年度以降入学者

鈴木 正道

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、2年生以上の学生を対象とします。1年生の時に学んだ事項を復習しつつ、学びきれなかった重要項目（半過去や単純未来など）を学び、4技能を身に着けることを目指します。

【到達目標】

1年生で学んだ知識を定着させ、さらにまだ学んでいない基本事項を勉強して、フランス語の基本的な運用能力を身に付けます。フランス語の検定試験4級以上、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）でA1以上の力を身に付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書は『なびふらんせ2(改訂版)』とあるように、『改訂版なびふらんせ1』という教科書の続編となっていて、2年生から始めるのに都合よくできています。フランスにある世界遺産をめぐりながら、あまり定着していない文法事項や、新しい文法事項を学び、読む、書く、聞く、話す練習を行います。取り上げられている世界遺産に関する様々な映像資料も観る予定です。

皆さんは学期中に数回課題を出すことになります。私はそれを添削してお返しします。

学期末には試験を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	題0課 授業の説明	フランスの世界遺産 フランスの鉄道
2	フランスの世界遺産 第1課その1 ル・アーヴルとルーアン	直説法複合過去 直説法複合過去 代名動詞の直説法複合過去 語彙と発話 読解
3	第1課その2 ル・アーヴルとルーアン	直説法複合過去 代名動詞の直説法複合過去 文法の練習 聞き取り
4	第2課その1 モン・サン・ミ歇尔	直説法半過去と直説法大過去 語彙と発話 読解
5	第2課その2 モン・サン・ミ歇尔	直説法半過去と直説法大過去 文法の練習 聞き取り
6	第3課その1 ルワール河流域の城	単純未来と前未来 語彙と発話 読解
7	第3課その2 ルワール河流域の城	単純未来と前未来 文法の練習 聞き取り

8	第4課その1 ボルドー地方とワイン	受動態と強調構文 不規則動詞connaîtreとsavoir 語彙と発話 読解
9	第4課その2 ボルドー地方とワイン	受動態と強調構文 文法の練習 聞き取り
10	第5課その1 中世の城塞が残るカルカソンヌ	現在分詞とジェロンディフ 使役動詞と知覚動詞 語彙と発話 読解
11	第5課その2 中世の城塞が残るカルカソンヌ	現在分詞とジェロンディフ 使役動詞と知覚動詞 文法の練習 聞き取り
12	第6課その1 紺碧海岸コート・ダジュール	比較級と最上級 語彙と発話 読解
13	授業内試験 第6課その2 紺碧海岸コート・ダジュール	授業内試験 比較級と最上級 文法の練習
14	試験の復習 第6課その3 紺碧海岸コート・ダジュール	試験の復習 比較級と最上級 聞き取り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

出版社のHPより音声ダウンロードして対話文や例文を聞いてください。

教科書の例文は声を出して読んで予習復習してください。

1, 2, 3：複合過去の練習をする。特に代名動詞の使い方に慣れるようにする。

4, 5：半過去と大過去の練習をする。

6, 7：単純未来と前未来の練習をする。

7, 8：受動態と強調構文の練習をする。新出の不規則動詞の練習をする。

9, 10：現在分詞や使役動詞、知覚動詞の練習をする。

11, 12：比較表現の練習をする。まとめの試験のための総復習をする。

13：比較表現の練習をする

14：試験の復習をする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。課題があるときは30分ほど上乗せになります。

【テキスト（教科書）】

『改訂版なびふらんせ2－フランス世界遺産をめぐる－』
有富智世、安藤博文、内田智秀、喜久川功、服部悦子 著
朝日出版社
間違って1巻目を買わないように。

【参考書】

『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健 著、朝日出版社

【成績評価の方法と基準】

課題の提出と授業に対する積極性（問いへの答え、発話、質問）が平常点になります。（40％）

また期末試験を行います（60％）

【学生の意見等からの気づき】

口頭練習がもっとスムーズに進む手立てを考えます。

【学生が準備すべき機器他】

1年生の時に使った文法の本、もしくは上に挙げた文法の参考書を持ってきてください。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who have studied French for at least one year. Reviewing what they have already learned, they will get new knowledge (among others future tense, past tense) in order to enhance their abilities in reading, speaking, listening and writing.

At the end of this course, the students are expected to reach at least the fourth-grade level of the APEF or A1 level of CEFR.

The students must prepare the classes, and they also need to submit occasionally an assignment; these tasks will require one hour for each class.

The final grade will be calculated according to the total score of assignments (40%) and terminal examination (60%).

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語 4 II

2017年度以降入学者

鈴木 正道

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、2年生以上の学生を対象とします。春学期のフランス語4 Iを引き継いで1年生の時に学んだ事項を復習しつつ、学びきれなかった重要項目（中性代名詞、関係代名詞、条件法、接続法など）を学んで、4技能を身に付けることを目指します。

【到達目標】

1年生で学んだ知識を定着させ、さらにまだ学んでいない基本事項を勉強して、フランス語の基本的な運用能力を身に付けます。フランス語の検定試験3級程度、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）でA2程度の力を身に付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

春学期に続いて『なびふらんせ2(改訂版)』を用いて、フランスにある世界遺産をめぐるながら、あまり定着していない文法事項や、新しい文法事項を学び、読む、書く、聞く、話す練習を行います。取り上げられている世界遺産に関する様々な映像資料も観る予定です。皆さんは学期中に数回課題を出すことになります。私はそれを添削してお返しします。

学期末には試験を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明 第7課その1 プロヴァンス	中性代名詞 代名詞の語順 語彙と発話 読解
2	第7課その2 プロヴァンス	中性代名詞 代名詞の語順 文法の練習 聞き取り
3	第8課その1 リヨン	関係代名詞（1） 過去分詞の性・数一致 toutの用法 語彙と発話 読解
4	第8課その2 リヨン	過去分詞の性・数一致 toutの用法 文法の練習 聞き取り
5	第9課その1 ディジョン	疑問代名詞 関係代名詞（2） 所有代名詞 語彙と発話 読解

6	第9課その2 ディジョン	疑問代名詞 関係代名詞（2） 所有代名詞 文法の練習 聞き取り
7	第10課その1 ストラスブール	条件法現在 条件法過去 仮定の用法 語彙と発話 読解
8	第10課その2 ストラスブール	条件法現在 条件法過去 仮定の用法 文法の練習 聞き取り
9	第11課その1 ナンシー	話法 時制の一致 語彙と発話 読解
10	第11課その2 ナンシー	話法 時制の一致 文法の練習 聞き取り
11	第12課その1 ヴェルサイユ	接続法現在 接続法過去 語彙と発話 読解
12	第12課その2 ヴェルサイユ	接続法現在 接続法過去 文法の練習 聞き取り
13	授業内試験 第12課その3 文法のまとめと補足	授業内試験 フランス語の過去時制 単純過去
14	試験の復習 文法の補足	試験の復習 単純過去と前過去

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

出版社のHPより音声ダウンロードして対話文や例文を聞いてください。

教科書の例文は声を出して読んで予習復習してください。

1-2：中性代名詞や他の代名詞の使い方の練習をする。

3-4：関係代名詞やtoutの使い方の練習をする。

5-6：疑問代名詞、関係代名詞、所有代名詞の使い方の練習をする。

7-8：条件法やその他の過程表現の練習をする。

9-10：話法や時制の一致の練習をする。

11-12：接続法の練習をする。試験のためのまとめの復習をする。

13：接続法の練習をする。

14：試験の復習をする。単純過去の復習をする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。課題があるときは、30分ほど上乗せになります。

【テキスト（教科書）】

春学期で用いた教科書を引き続き使います：

『改訂版なびふらんせ2－フランス世界遺産をめぐる－』

有富智世、安藤博文、内田智秀、喜久川功、服部悦子 著

朝日出版社

間違って1巻目を買わないように。

【参考書】

『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健 著、朝日出版社

【成績評価の方法と基準】

課題の提出と授業に対する積極性（問いへの答え、発話、質問など）が平常点になります。（40％）

また期末試験を行います（60％）

【学生の意見等からの気づき】

口頭練習がもっとスムーズに進む手立てを考えます。

【学生が準備すべき機器他】

1年生の時に使った文法の本、もしくは上に挙げた文法の参考書を持ってきてください。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who have studied French for at least one year. It is the continuation of the French 4 I (spring semester). Reviewing what they have already learned, the students will get new knowledge (neuter pronouns, relative pronouns, conditional, subjunctive etc.) in order to enhance their abilities in reading, speaking, listening and writing.

During this course, the students are expected to try to reach the third-grade level of the APEF or A2 level of CEFR.

The students must prepare the classes, and they also need to submit occasionally an assignment; these tasks will require one hour for each class.

The final grade will be calculated according to the total score of assignments (40%) and terminal examination (60%).

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語(3) I 2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合うことができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiなどを活用する場合もある。

このテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	LEÇONS 1	Révision du Passé Composé et de l'Imparfait 複合過去と半過去の復習（使い分け）
第2回	LEÇONS 2	Le Plus-que-parfait 大過去
第3回	LEÇONS 3	Le Futur Simple 単純未来
第4回	LEÇONS 4	Le Conditionnel Présent (Souhait et Politesse)条件法現在（願望・語調の緩和）
第5回	LEÇONS 5	Les Pronoms Personnels Compléments (COD et COI) 補語人称代名詞（直接・間接目的語）
第6回	LEÇONS 6	Les Pronoms "Y" et "EN" 代名詞「y」と「en」
第7回	LEÇONS 7	Les Pronoms Relatifs Simples (Qui, Que, Où) 関係代名詞（qui, que, où）
第8回	LEÇONS 8	Le Pronom Relatif "Dont" et les formes composées 関係代名詞「dont」と複合形
第9回	LEÇONS 9	Le Subjonctif Présent (Formation et Volonté) 接続法現在（作り方と意志・願望）

第10回	LEÇONS 10	Le Subjonctif Présent (Émotion et Nécessité) 接続法現在（感情・必要）
第11回	LEÇONS 11	Le Gérondif et le Participe Présent ジェロンディフと現在分詞
第12回	LEÇONS 12	Le Discours Rapporté au Présent 間接話法（現在）
第13回	レッスン1～12の復習	レッスン1～12の復習
第14回	まとめ / 試験 その他：課題 / 補講	まとめ / 試験 その他：課題 / 補講

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト（教科書）】

Maestro 2

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35320-3

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【Outline (in English)】

This course is designed for false beginners and intermediate levels. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL :

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorise new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA :

Normal score: 40% (presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語(3) II

2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合えるようになる。

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

のテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiiなどを活用する場合もある。

毎週の宿題です。宿題は授業の始めに添削します。授業中や「Hoppii」での質問も可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Leçon 13	Révision des leçons 1 à 12 課までの復習
第2回	Leçon 14	Le subjonctif présent (1) 接続法現在 1
第3回	Leçon 15	Le subjonctif présent (2) 接続法現在 2
第4回	Leçon 16	Le gérondif, les pronoms possessifs et les adjectifs indéfinis ジェロンディフ、所有代名詞、不定形容詞
第5回	Leçon 17	Les expressions de négation et les pronoms démonstratifs 否定表現、指示代名詞
第6回	Leçon 18	(Leçon culturelle : Festivals et événements) (フランスのお祭り、イベント)
第7回	Leçon 19	La voix passive 受動態
第8回	Leçon 20	Le plus-que-parfait et l'impératif (être, avoir, verbes pronominaux) 大過去、命令形 (être, avoir, 代名動詞)
第9回	Leçon 21	Le discours rapporté 間接話法

第10回	Leçon 22	Le causatif (faire faire), comparatifs et superlatifs particuliers, et "ne... que" 使役、特殊な比較級、最上級、ne ... que
第11回	Leçon 23	(L'ordre des pronoms 代名詞の語順
第12回	Leçon 24	(Leçon culturelle : Le cinéma français) (フランスの映画)
第13回	レッスン13～24の復習	レッスン13～24の復習
第14回	まとめ / 試験 その他 : 課題 / 補講	まとめ / 試験 その他 : 課題 / 補講

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト（教科書）】

Maestro 2

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35320-3

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【Outline (in English)】

This course is designed for false beginners and intermediate levels. In this class, you will learn mainly simple conversation. GOAL:

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION:

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorize new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA:

Normal score: 40% (presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語 7

2017年度以降入学者

岡村 民夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業の目的は、フランス語3を引き継ぎ、社会・文化・歴史の教養を身につけながら、中級文法や語彙を学習することです。フランス語8 SA、フランス語コミュニケーションII,IIIと連携しながら実践的なフランス語習得を目指します。

【到達目標】

フランス語の論理的で簡単な文章が理解できるようになります。確かな文法力（特に動詞の諸活用）が身につきます。フランス語検定3級レベル程度に達成することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に『文法と文化で学ぶ基礎フランス語』に沿って講義しますが、必要に応じて別の語学書や時事的文章を配布して学習します。頻繁に小テストを実施します。フィードバックは講義や hoppii を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Leçon 13	代名動詞の直接法現在の復習。
第2回	Leçon 13	代名動詞の否定形、疑問形、命令形の復習。
第3回	Leçon 14	代名動詞の複合過去の復習。
第4回	Leçon 14	所有代名詞の復習。 疑問代名詞。
第5回	Leçon 15	半過去。
第6回	Leçon 15	単純未来。
第7回	Appendice 1	大過去。
第8回	Appendice 1	前未来。 前置詞＋関係代名詞。
第9回	Appendice 2	条件法現在。
第10回	Appendice 2	条件法過去。
第11回	Appendice 3	接続法現在。
第12回	Appendice 3	接続法過去。
第13回	期末テスト	期末テストの実施。
第14回	まとめ	試験の返却と答えあわせ。 補習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

音声学習を自主的にすること。復習をし、小テストに備えること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『文化と文法で学ぶ基礎フランス語（Apprenons les bases du français）』（朝日出版社、2023年／1年次のフランス語で使用した教科書です）

【参考書】

『3段階チェック式フランス語トレーニング・コース』（白水社）

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題や小テストも含む）50％＋期末試験50％

【学生の意見等からの気づき】

授業内で答え合わせをしなかった宿題に関しては、hoppiiを通じて正答を示すようにします。

【Outline (in English)】

【Course outline】As a continuation of French 3, The student will be asked to learn intermediate French grammar and the society, culture and history of French-speaking countries.

【Learning Objectives】By the end of the course, students should be able to do the followings:

-A.Reading abilities

-B.Increase of vocabulary

-C.Review of the elementary grammar

-D.Acquisition of the intermediate grammar

【Learning activities outside of classroom】Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語 8

2017年度以降入学者

ル ルー 清野 プレندان

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

秋学期からの留学を控えた学生を対象とするこの授業は「ヨーロッパ共通参照枠組み」に準拠したA2レベルの達成を目指すための総合的フランス語入門コースの続きです。「フランス語コミュニケーションⅢ」（フランス人教員）とセットの科目で、同じ教科書を使うことでフランス語の総合力を強化します。特にフランス語を実践的に応用する、ライティング・コミュニケーション重視の授業です。

【到達目標】

SAフランス（西部カトリック大学）に備え、自分自身の日常生活や身近なテーマについて、簡単なフランス語で、相互に働きかけ合うことを目標とします。4つの能力を総合的に練習し、「ヨーロッパ共通参照枠組み」で定められているA2レベルを目指します。つまり、最低限必要なことを行うための、よく使われる日常的表現やごく簡単な言い回しを理解し、用いることができるようになることを目指します。自分や他人を紹介することができ、個人的な事柄(住んでいる場所、知り合い、持ち物など)について質問をしたり、答えたりできるようにになります。相手がゆっくり、はっきり話し、協力的であれば、簡単なやりとりができるようになります。留学への出発までにはフランス語実用技能検定試験（仏検）3級、DELF A1合格に相当する語学力の習得をめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

E 実験/実習/実技 /Experiment

【授業の進め方と方法】

フランス語母語話者の教員や他の学生との対話等を通じて、フランス語を自発的かつ気軽に使えるように、ライティングを支柱とする授業です。特に、自分の言いたいことを簡略化すること、つまり情報に優先順位をつけて話を整理すること、あるいは自然な会話・作文に必要な表現を学習します。言語というものは、他の科目と違い、教科書や他人のメモを見るだけで覚えられるものではなく、自分で聞いて理解し、自分で口・ペンにし、はじめて身に付くものなので、毎回授業に積極的に参加し、質問をしたり質問に答えたり、作文・会話を作ったりすることは最も重要なことで成功への鍵です。

この授業では、作文やリーディングマラソン（フランス語多読）のような課題も課せられますので、そのつもりでいて下さい。宿題や小テストに関するフィードバックは基本的に授業時間内に行いますが、Hoppiiを通じて行う場合も考えられます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	"Moi, je..." A1 L16	地理や食文化について話す／ Parler de la géographie et de la gastronomie
②	L18	Parler de ses goûts／好みについて話す
③	L22	Faire des courses／買い物をする
④	L24	Demander son chemin／道を尋ねる

⑤	"Moi, je..." A2 L3. Explique-moi ce mot !	知らない単語を説明できる
⑥	L7. Décris-moi cette personne !	人の特徴を説明できる
⑦	L9. Fais-moi deviner cet objet !	物について手短かに説明できる
⑧	L11. Décris-moi ce tableau !	絵画の特徴を説明できる
⑨	L13. Parle-moi des fêtes de ton pays !	自分の国の祝祭について紹介することができる
⑩	L15. Raconte-moi un conte !	短い物語を書くことができる
⑪	L17. Invente une pub !	商品の広告文を書くことができる
⑫	L19. Tu as raison !	フランス語で意見を書ける
⑬	L21. Ouais !	くだけた調子で話すことができる
⑭	L23. Discutons ensemble !	自分の会話を面白くすることができる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

当然ながら、授業の内容を次の授業までに復習すること。復習・語彙・書き取り（Dictée）・仏訳の小テストを毎週行います。本授業の準備・復習時間は、2時間を標準とします。「Furago, フランス語の練習帳」というサイトも利用しますので、定期的に目標を達成しないと成績が上がらない仕組みになります。また、耳をできるだけ早くフランス語の音に慣れさせるために教科書についている音源等を各自聴くこと。音源をスマホなどに入れ、（長い）通学時間を賢く利用しましょう！

【テキスト（教科書）】

『Moi, je... コミュニケーション A2』, Simon Serverin, 他, アルマ出版

ISBN: 978-4-905343-44-8（2025年）

【参考書】

留学の際、仏和・和仏辞典が必携のアイテムになりますので、できるだけ早く入手しましょう。紙のものでも、電子辞書でも大丈夫ですが、翻訳ソフト（Google translate 等）はNG：クラスではスマホの使用を認めません。

【成績評価の方法と基準】

- ・書き取り(Dictée), 語彙テスト, 仏訳, その他の課題: 約20 %
- ・「Furago, フランス語の練習帳」: 約20 %
- ・リーディングマラソン（フランス語多読）: 約20 %
- ・作文: 約20 %
- ・平常点（授業への参加状況）: 約20%。尚、平常点に関しては減点方式をとり、4回目の欠席で不合格となります。10分以上の遅刻は2回で欠席扱いとなり、遅延証明は2回まで認めます。

【学生の意見等からの気づき】

学生の意見等を読み、工夫する必要がある点は特に記載されていないように思いました。しかし改善は常に試みます！

【学生が準備すべき機器他】

※「Furago, フランス語の練習帳」というサイトへの登録が必須です。スマートフォン、タブレット、パソコンからアクセスできます。有料ですが、学生にとって異常な負担になる金額ではありませんし、定額制ですので、安心して利用できます。登録費が6ヶ月につき990円になる予定です。

【Outline (in English)】

French for beginners (3rd semester). This course focuses on developing mainly basic written communication skills in French. Its main target is students motivated/selected for the Study Abroad program in France. It also prepares to the A1-A2 level of French proficiency tests.

Depending on the tasks, revision and/or homework will require from one to three hours.

The grading criteria are as follows:

Homework, short tests, etc.: 20 % / Furago (exercises on line): 20 % / Reading marathon (Extensive reading): 20 % / Short essays: 20 % / Class participation: 20%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3-I 2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生時に引き続き、フランス語の四技能（読解・作文・会話・聞き取り）の基礎を確立することを目指す。

【到達目標】

1. 日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
2. 簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
3. 簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う。

教科書に沿って進める。必要に応じて随時プリントを配布予定。客観的に学生が実力を把握できるように中間テストに加えて小テストを適宜行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 1年生の復習	・授業方針の説明 ・基本的なフランス語の決まり事を確認 ・フランス語での自己紹介
第2回	『基礎フランス語』第10課 『プチ・マエストロ2』第3課	複合過去の復習
第3回	『基礎フランス語』第11課 『プチ・マエストロ2』第9課	関係代名詞 強調構文
第4回	『基礎フランス語』第11課	指示代名詞
第5回	『基礎フランス語』第12課	現在分詞とジェロンディフ
第6回	『基礎フランス語』第12課	受動態
第7回	中間テスト	中間テストを行う。
第8回	『基礎フランス語』第13課 『プチ・マエストロ2』第2課 『フランス語の方法』第14課	代名動詞
第9回	『基礎フランス語』第14課 『プチ・マエストロ2』第5課	代名動詞の複合過去

第10回 『基礎フランス語』第15課

『プチ・マエストロ2』第7課

第11回 『基礎フランス語』第15課

『プチ・マエストロ2』第12課

第12回 『プチ・マエストロ』第1課

『基礎フランス語』第8課と第3課

第13回 総復習

ここまでの学習内容について質問を受け付け、総復習を行う。

第14回 授業内期末テスト

期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『基礎フランス語』近江屋志穂・竹本研史著、朝日出版社（1年生時に使用した教科書と同一）

『フランス語の方法ーコミュニケーションと文法の基礎（三訂版）』Durrenberger Vincent 著、駿河台出版社（1年生時に使用した教科書と同一）

『プチ・マエストロ2』北村亜矢子・Durrenberger Vincent 著、朝日出版社

【参考書】

特に指定はありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト50%。中間テスト30%・授業貢献度20%、学期末に授業時期末試験、学期の中間地点で中間テストを行います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書のwebページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】

質問があれば担当教員までメールをください。

junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%、Examinations in class : 30%、in class contribution in class: 20%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3-II

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水5/Wed.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期と同様に、フランス語の四技能を高めて今後のフランス語学習の基礎となる礎を完成させる。

【到達目標】

- 1.日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
- 2.簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
- 3.簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う。

教科書に沿って進める。必要に応じて随時プリントを配布予定。客観的に学生が実力を把握できるように中間テストに加えて小テストを適宜行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	『プチ・マエストロ 2』第4課 『基礎フランス語』第8課	・主語人称代名詞 on ・間接目的補語人称代名詞
第2回	『プチ・マエストロ 2』第4課 『基礎フランス語』第6課	・進行形 ・近接過去
第3回	『プチ・マエストロ 2』第6課 『基礎フランス語』第7課	・比較級 ・最上級
第4回	『プチ・マエストロ 2』第6課 『基礎フランス語』第7課	・不定詞構文
第5回	『基礎フランス語』第2・3課	・疑問文の復習
第6回	『プチ・マエストロ 2』第6課 『基礎フランス語』第7課	・疑問形容詞
第7回	総復習	質問を受け付け、ここまでの学習項目で重要な項目を重点的に復習する。
第8回	中間テスト	・中間テストを行う。
第9回	『プチ・マエストロ 2』第8課	・動詞 faire ・動詞 jouer

第10回	『プチ・マエストロ 2』第9課 『基礎フランス語』Appendice 第9課	・条件法現在を使った婉曲用法 (1)
第11回	『プチ・マエストロ 2』第10課 『基礎フランス語』Appendice 第9課	・条件法現在を使った勧誘の表現 ・中性代名詞 y
第12回	『プチ・マエストロ 2』第11課 『基礎フランス語』Appendice 第9課	・条件法現在を使った婉曲用法 (2)
第13回	総復習	質問を受け付け、ここまでの学習項目で重要な項目を重点的に復習する。
第14回	授業内期末テスト	期末テストを行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『基礎フランス語』近江屋志穂・竹本研史著、朝日出版社 (1年生時に使用した教科書と同一)

『フランス語の方法ーコミュニケーションと文法の基礎 (三訂版)』Durrenberger Vincent 著、駿河台出版社 (1年生時に使用した教科書と同一)

『プチ・マエストロ 2』北村亜矢子・Durrenberger Vincent 著、朝日出版社

【参考書】

特になし。必要が生じた場合、適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト50%。中間テスト30%・授業貢献度20%、学期末に授業時期末試験、学期の中間地点で中間テストを行います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の弱点を補えるよう、理解が徹底していない箇所を繰り返して学習するようにします。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書のwebページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】

質問等があれば担当教員までメールをください。

junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%、Examinations in class: 30%、in-class contribution: 20%.

ARSa200LA（地域研究（ヨーロッパ） / Area studies(Europe) 200）

フランス語の世界 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

廣松 勲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

定員制(40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、世界に広がる「フランス語圏（フランコフォニー）」を知ることを主たる目的とします。そのような（フランス共和国を含めた）広い地域をも対象としつつ、各地域にどのような地理・歴史的背景、社会状況、各種の文化（言語、芸術、習慣、食生活など）が存在するのかについて検討する。

「フランス的なもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。

なお、春学期は主にフランス共和国本土にある「地域圏」を中心として、それぞれの地域の特性について紹介・解説する。

【到達目標】

- 1) フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
- 2) フランコフォニー（フランス語圏）の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
- 3) 「フランス的なもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。

授業ではコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてももらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。

提出されたコメントシートについて、できるだけ次回以降の授業に反映させる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション： 国内の歴史、県・地域圏などの成立経緯	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国及びフランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	① Île-de-France	・イル＝ド＝フランス地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
3	② Bretagne	・ブルターニュ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など

4	③ Normandie	・ノルマンディー地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
5	④ Hauts-de-France	・オー＝ド＝フランス地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
6	⑤ Grand-Est	・グラン＝テスト地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
7	⑥ Pays de la Loire	・ペイ＝ド＝ラ＝ロワール地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
8	⑦ Centre-Val de Loire	・サントル＝ヴァル＝ド＝ロワール地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
9	⑧ Bourgogne-Franche Comté	・ブルゴーニュ＝フランシュ＝コンテ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
10	⑨ Nouvelle-Aquitaine	・ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
11	⑩ Auvergne-Rhône-Alpes	・オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
12	⑪ Occitanie	・オクシタニー地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
13	⑫ Provence-Alpes-Côte d'Azur (PACA)	・プロヴァンス＝アルプ＝コート＝ダジュール地域圏 (PACA) に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
14	⑬ Corse まとめ	・コルス地方公共団体に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など ・春学期授業のまとめ ・秋学期授業の予告：世界のフランコフォニー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1) 各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文（場合によっては各地域圏サイト）を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
 - 2) 映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができないわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
 - 3) 期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい（或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため。）
 - 4) 期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点（特に引用の仕方、参考文献の書き方）について確りと学習しておいて欲しい。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合計4時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

- ・教科書は、特になし
- ・原則、各回において資料を配布する予定

【参考書】

- I. 以下の4冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。
- 1) 剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房、2018年。本体2600円＋税
- 2) ジャック・レヴィ編（土居佳代子訳）『地図で見るフランスハンドブック』原書房、2018年。本体2800円＋税
- 3) ジャン＝ブノワ・ナドー、ジュリー・バーロウ著（立花英裕監修・中尾ゆかり訳）『フランス語のはなし：もうひとつの国際共通語』大修館書店、2008年。本体2400円＋税
- 4) 鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語：フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会、2012年。本体3400円＋税
- II. 以下の2冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみたい。
- 5) Fabienne Guillemin 著『Tour de France（フランス、地方を巡る旅）』駿河台出版社、2017年。本体1900円＋税

6) 小松祐子, Gilles Delmaire 著『Destination francophoneie: nouvelle édition (フランコフォニーへの旅：改訂版)』駿河台出版社, 2019年. 本体2300円＋税

【成績評価の方法と基準】

・平常点と期末レポートに基づき、総合的に評価する。

①平常点（コメントシートなど）：30%

②期末レポート：70%

【学生の意見等からの気づき】

・歴史的要素の説明が多くなりがちであるため、もう少し他の社会文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

【その他の重要事項】

・受講に当たって、フランス語に関する予備知識は必要ない。

【Outline (in English)】

This course introduces the foundations of the French speaking world (la Francophonie) including the French republic. Students taking this course become able to understand in summary the situations of geography, history, (regional) languages and various cultures in each region or country.

The goals of this course are to understanding and explaining the socio-cultural situation of each French regions.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (discussion, reaction paper, etc.): 30%,
term-end report: 70%.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランス語の世界 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

廣松 勲

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

定員制(40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、世界に広がる「フランス語圏（フランコフォニー）」を知ることを主たる目的とします。そのような（フランス共和国を含めた）広い地域をも対象としつつ、各地域にどのような地理・歴史的背景、社会状況、各種の文化（言語、芸術、習慣、食生活など）が存在するのかについて検討する。

「フランス的なもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。

なお、秋学期はフランス共和国本土以外の「地域圏」、そしてフランス共和国以外の「フランコフォニー」について扱い、それぞれの地域の特性について紹介・解説する。

【到達目標】

- 1) フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
- 2) フランコフォニー（フランス語圏）の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
- 3) 「フランス的なもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。

毎回の授業において学生にはコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてもらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。

毎回の授業においてコメントシートを執筆・提出してもらい、できるだけ次回以降の授業に反映させる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション： フランス共和国外にある地域圏、フランコフォニーの成立経緯	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国外にある地域圏について簡単に紹介 ・フランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	カリブ海域の地域圏 Martinique et Guadeloupe	・カリブ海域の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など

3	南米大陸の地域圏 Guyane française	・南米大陸の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
4	インド洋の地域圏 Réunion et Mayotte	・インド洋の地域研に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
5	太平洋の海外領土 Nouvelle-Calédonie	・太平洋の海外領土に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
6	北米大陸のフランス語圏① Québec (Canada)	・北米大陸カナダにおけるフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
7	北米大陸のフランス語圏② Louisiane	・北米大陸アメリカ合衆国におけるフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
8	北アフリカのフランス語圏① Algérie	・マグリブ中央部のフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
9	北アフリカのフランス語圏② Maroc et Tunisie	・マグリブ西部および東部のフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
10	サハラ以南のフランス語圏① Sénégal	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー（旧仏領）に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
11	サハラ以南のフランス語圏② Congo-Kinshasa et Congo-Brazzaville	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー（旧仏領およびベルギー領）に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
12	サハラ以南のフランス語圏③ Rwanda	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー（旧ベルギー領）に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
13	ヨーロッパのフランス語圏① Belgique	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
14	ヨーロッパのフランス語圏② Suisse まとめ	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など ・秋学期授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1) 各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文（場合によっては各地域圏サイト）を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
- 2) 映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができないわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
- 3) 期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい（或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため。）
- 4) 期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点（特に引用の仕方、参考文献の書き方）について確りと学習しておいて欲しい。

本授業の準備学習・復習時間は、合計4時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

- ・教科書は、特になし
- ・原則、各回において資料を配布する予定

【参考書】

- I. 以下の4冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。
- 1) 剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房、2018年。本体2600円＋税
- 2) ジャック・レヴィ編（土居佳代子訳）『地図で見るフランスハンドブック』原書房、2018年。本体2800円＋税
- 3) ジャン＝ブノワ・ナドー、ジュリー・バーロウ著（立花英裕監修・中尾ゆかり訳）『フランス語のはなし：もうひとつの国際共通語』大修館書店、2008年。本体2400円＋税
- 4) 鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語：フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会、2012年。本体3400円＋税

II. 以下の2冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみて欲しい。

5) Fabienne Guillemin 著『Tour de France (フランス, 地方を巡る旅)』駿河台出版社, 2017年. 本体1900円+税

6) 小松祐子, Gilles Delmaire 著『Destination francophonie: nouvelle édition (フランコフォニーへの旅: 改訂版)』駿河台出版社, 2019年. 本体2300円+税

【成績評価の方法と基準】

・平常点と期末レポートに基づき、総合的に評価する。

①平常点（コメントシート等）：30%

②期末レポート：70%

【学生の意見等からの気づき】

・歴史的要素の説明が多くなりがちであるため、もう少し他の社会的・文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

【その他の重要事項】

・受講に当たって、フランス語に関する予備知識は必要ない。

【Outline (in English)】

This course introduces the foundations of the French speaking world (la Francophonie) including the French republic. Students taking this course become able to understand in summary the situations of geography, history, (regional) languages and various cultures in each region or country.

The goals of this course are to understanding and explaining the socio-cultural situation of each French regions.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (discussion, reaction paper, etc.): 30%,
term-end report: 70%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語コミュニケーション(初級) | 2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。

【到達目標】

この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。ヨーロッパ言語共通参照枠のDELF A1と仏検5級と4級の準備に役に立ちます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書の各単元は、簡単な会話の聞き取り練習から始まります。その後、コミュニケーションを重視した語彙や文法の練習を行います。そして、教科書で学習した内容を活用して会話を作成します。練習問題は、個人、ペア、またはグループで行います。教科書に加えてビデオ教材を取り入れ、フランス文化を紹介します。ビデオに関連した短文を音読し、発音などの練習も行います。また、時々ボードゲームなどを用いて、フランス語を使いながら楽しく学習します。

授業には、積極的に参加することが求められる。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMSなどを活用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 1 Saluer, se présenter	アルファベット、不定冠詞、自己紹介
2	Leçon 1 Saluer, se présenter	être 動詞、第三者を紹介する
3	Leçon 2 Dire sa nationalité, dire sa profession	国籍を言う、職業を言う
4	Leçon 2 Dire sa nationalité, dire sa profession	女性形の作り方, 数字10まで
5	Leçon 3 "Je parle anglais.", "J'étudie les maths."	定冠詞 le, la, les, 名前の複数形
6	Leçon 3 "Je parle anglais.", "J'étudie les maths."	言語を言う、専攻について話す
7	Leçon 4 Dire où on habite	住んでいる国や都市を言う
8	Leçon 4 Dire où on habite	否定形 ne...pas、数字11～20

9	Leçon 5 "J'ai une moto.", "J'ai 18 ans."	持ち物を言う、年齢を言う
10	Leçon 5 "J'ai une moto.", "J'ai 18 ans."	il y a, 不定冠詞, 数字20～60
11	Leçon 6 "Je vais au cinéma.", Parlez des tâches ménagères	faire, aller 動詞
12	Leçon 6 "Je vais au cinéma.", Parlez des tâches ménagères	前置詞àと定冠詞の縮約
13	総復習、文化の紹介	フランスの世界遺産を簡単なフランス語の動画での紹介など
14	文化の紹介	人気フランス映画、最近の人気歌手など

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の授業の勉強したことを生かし会話を書いて提出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

ブチ・マエストロ 1

北村亜矢子 /ヴァンサン・デュランベルジェ

朝日出版社

ISBN: 978-4-255-35372-2

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

平常点100%。この授業は5回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランス人の生活の話をもっとします。

【Outline (in English)】

This course introduces French conversation and culture to students taking this course at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills. The goal of this course is to practice French conversation at beginner level and help students have a better knowledge of everyday life in France. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

- In-class contribution and participation: 100%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語コミュニケーション(初級) II 2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。

【到達目標】

この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。ヨーロッパ言語共通参照枠のDELF A1と仏検5級と4級の準備に役に立ちます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書の各単元は、簡単な会話の聞き取り練習から始まります。その後、コミュニケーションを重視した語彙や文法の練習を行います。そして、教科書で学習した内容を活用して会話を作成します。練習問題は、個人、ペア、またはグループで行います。教科書に加えてビデオ教材を取り入れ、フランス文化を紹介します。ビデオに関連した短文を音読し、発音などの練習も行います。また、時々ボードゲームなどを用いて、フランス語を使いながら楽しく学習します。

授業には、積極的に参加することが求められる。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMSなどを活用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 7 Décrire quelqu'un ou quelque chose	人や物を描写する、位置を言う
2	Leçon 7 Décrire quelqu'un ou quelque chose	色、体型、性格を表す形容詞、数字 60 99
3	Leçon 8 Acheter des vêtements	衣服の名称、指示形容詞 ce, cette, ces
4	Leçon 8 Acheter des vêtements	時刻、動詞 vouloir, prendre
5	Leçon 9 Au marché : acheter des fruits et légumesParler de sa chambre	食べ物について話す、数量を表す表現
6	Leçon 9 Au marché : acheter des fruits et légumesParler de sa chambre	部分監視 du, de la 中性代名詞 en

7	Leçon 10 Où est ... ? La localisation, parler du temps qu'il fait	位置関係を表す表現
8	Leçon 10 Où est ... ? La localisation, parler du temps qu'il fait	天気を表す表現 数字 1000-10 000
9	Leçon 11 Poser des questions et parler des son emploi du temps	質問の作り方、近接未来
10	Leçon 11 Poser des questions et parler des son emploi du temps	動詞 partir、月
11	Leçon 12 Parler d'événements passés	過去の行為や出来事を語る
12	Leçon 12 Parler d'événements passés	過去分子の作りから、複合過去形の作り方
13	総復習	すごろく、ボードゲームなどで楽しくフランス語を使う。
14	文化の紹介	フランスの歴史的な人物：簡単なフランス語の動画

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の授業の勉強したことを生かし会話を書いて、提出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プチ・マエストロ 1

北村亜矢子 /ヴァンサン・デュランベルジェ

朝日出版社

ISBN: 978-4-255-35372-2

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (100%)。この授業は5回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランス人の生活をもっと話します。

【Outline (in English)】

This course introduces French conversation and culture to students taking this course at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills. The goal of this course is to practice French conversation at beginner level and help students have a better knowledge of everyday life in France. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

- In class contribution and participation:100%

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）	
フランス語視聴覚(初・中級) I 2017年度以降入学者	
廣松 勲	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木2/Thu.2	
単位数：1単位	
定員制(30)	
本科目は2026年度の開講をもって、2027年度以降閉講します。	
その他属性：〈他〉〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語のインタビュー映像を主題にした教科書『Quoi de Neuf?』を用いて、主にフランス語の聞く力・読む力・書く力をつけることを目的とします。受講者はフランス語既習者であり、また仏検4級～3級程度、またはDELF A1～A2程度の知識を持っている学生を想定しています。既習事項の基礎を確りと固めると同時に、運用能力を高めて、フランス語力を向上することを目指します。

なお、春学期の授業では、教科書の第1課～第5課までを扱い、1課につき2回の授業で終わります。残りの3回の授業は教員が準備した資料に基づいて学習を行います。最終回には期末テストを行います。

【到達目標】

フランス人に対するインタビュー映像を見聞きした上で、その内容を理解することができるようになる。加えて、関連する文章を読み解く・理解した上で、フランス語の文法事項を修得するだけでなく、文章構成の方法（接続表現など）を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

春学期の授業では、教科書の第1課～第5課までを扱い、1課につき2回の授業で終わります。残りの3回の授業は教員が準備した資料に基づいて学習を行います。最終回には期末テストを行います。

なお、課題はHoppii上での提出をしてもらいます。ただし、時には実際に手で記載したものを提出してもらうことがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Les Nombres Leçon 1: Quels réseaux sociaux utilisez-vous ?①	・自己紹介、教科書・副教材の紹介 ・数の数え方 ・第1課の前半（疑問文、代名動詞）
2	Leçon 1: Quels réseaux sociaux utilisez-vous ?②	・第1課の後半
3	Leçon 2: Où habitez-vous en ce moment ?①	・第2課の前半（関係代名詞）
4	Leçon 2: Où habitez-vous en ce moment ?②	・第2課の後半
5	Leçon 3: Que faites-vous au quotidien pour la planète ?①	・第3課の前半（比較級、最上級）

6	Leçon 3: Que faites-vous au quotidien pour la planète ?②	・第3課の後半
7	Leçon 4: Que regardez-vous et qu'écoutez-vous en ce moment ?①	・第4課の前半（直接・間接目的代名詞と代名詞en, y）
8	Leçon 4: Que regardez-vous et qu'écoutez-vous en ce moment ?②	・第4課の後半
9	Leçon 5: Quel est votre budget mensuel ?①	・第5課の前半（複合過去、半過去）
10	Leçon 5: Quel est votre budget mensuel ?②	・第5課の後半
11	追加教材①：音楽	・楽曲を聞き、特徴的なフランス語表現を理解する。
12	追加教材②：映画	・映像作品を見て、特徴的なフランス語表現を理解する。
13	追加教材③：文学	・文学作品を読み、特徴的なフランス語表現を理解する。
14	期末テスト	・授業内テストを実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
・授業で扱う範囲のテキストを1回は音読し、文章の主語・動詞に下線を引いてから参加することを心がけましょう。

【テキスト（教科書）】

レナ・ジュンタ他著『Quoi de neuf? / クワ・ドゥ・ヌフ? Z世代のリアル・フランス』白水社、2023年 (<https://www.hakusuisha.co.jp/book/b613785.html>)。

※上記サイトではサンプルページを閲覧でき、また音声資料を聞くことができます。

【参考書】

副教材として、以下の2点を挙げます。

- ①斎藤昌三著『3段階チェック式フランス語トレーニング・コース』白水社、2003年 (<https://www.hakusuisha.co.jp/book/b203078.html>)。
- ②モーリス・ジャケ他著『映像+Interviewで学ぶフランス語』駿河台出版社、2024年 (<https://www.e-surugadai.com/books/isbn978-4-411-00580-9>)。

【成績評価の方法と基準】

平常点（参加度、課題など）：40%

期末テスト：60%

【学生の意見等からの気づき】

初回担当であるため、特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

できるだけ「仏和辞書」を持参してほしいです。

【Outline (in English)】

OUTLINE AND GOALS :

Using the textbook "Quoi de Neuf?" (which features French interview videos as its main content), this course aims primarily to develop students' French listening, reading, and writing skills. The course is intended for students who have previously studied French and who possess knowledge equivalent to Level 4-3 of the French Proficiency Test (Futsuken) or DELF A1-A2. While reinforcing the fundamentals of previously learned material, students will also work to strengthen their communicative competence and improve their overall French proficiency.

In the spring semester, the course will cover Lessons 1 through 5 of the textbook, completing each lesson in two class sessions. The remaining three sessions will be based on materials prepared by the instructor. A final exam will be administered in the last class.

PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorise new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA :

Normal score: 30% (presence, participation and homework),
final exam: 70%

LANF200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語視聴覚(初・中級) II

2017年度以降入学者

南 玲子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制(30)

本科目は2026年度の開講をもって、2027年度以降閉講します。

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語のインタビュー映像を主題にした教科書『Quoi de Neuf?』を用いて、主にフランス語の聞く力・読む力・書く力をつけることを目的とします。受講者はフランス語既習者であり、また仏検3～4級程度、またはDELF A1～A2程度の知識を持っている学生を想定しています。既習事項の基礎を確りと固めると同時に、運用能力を高めて、フランス語力を向上することを目指します。

なお、秋学期の授業では、教科書の第6課～第10課までを扱い、原則として1課につき2回の授業で終えます。残りの3回の授業は教員が準備した資料に基づいて学習を行います。最終回には期末テストを行います。

【到達目標】

フランス人に対するインタビュー映像を見聞きした上で、その内容を理解することができるようになる。加えて、関連する文章を読解・理解した上で、フランス語の文法事項を修得するだけでなく、文章構成の方法（接続表現など）を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

秋学期の授業では、教科書の第6課～第10課までを扱い、原則として1課につき2回の授業で終えます。残りの3回の授業は教員が準備した資料に基づいて学習を行います。最終回には期末テストを行います。

なお、課題はHoppii上での提出をしてもらいます。ただし、時には実際に手で記載したものを提出してもらうことがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 6: Ressentez-vous de la discrimination dans la vie quotidienne ? ①	・受動態
2	Leçon 6: Ressentez-vous de la discrimination dans la vie quotidienne ? ②	・第6課の後半
3	Leçon 7: Que faites-vous de votre temps libre ? ①	・第7課の前半（現在分詞・ジェロンディフ）
4	Leçon 7: Que faites-vous de votre temps libre ? ②	・第7課の後半

5	Leçon 8: Quel est le dernier article de mode que vous avez acheté ? ①	・第8課の前半（単純未来形・強調構文）
6	Leçon 8: Quel est le dernier article de mode que vous avez acheté ? ②	・第8課の後半
7	Leçon 9: Qu'est-ce qui est le plus important chez un partenaire ? ①	・第9課の前半（条件法現在・中性代名詞）
8	Leçon 9: Qu'est-ce qui est le plus important chez un partenaire ? ②	・第9課の後半
9	Leçon 10: Quel est le travail idéal pour vous ? ①	・第10課の前半（指示代名詞・接続法現在）
10	Leçon 10: Quel est le travail idéal pour vous ? ②	・第10課の後半
11	追加教材①：音楽	・楽曲を聞き、特徴的なフランス語表現を理解する。
12	追加教材②：映画	・映像作品を見て、特徴的なフランス語表現を理解する。
13	追加教材③：文学	・文学作品を読み、特徴的なフランス語表現を理解する。
14	期末テスト	・授業内テストを実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業で扱う範囲のテキストを1回は音読し、文章の主語・動詞に下線を引いてから参加することを心がけましょう。

【テキスト（教科書）】

レナ・ジュンタ他著『Quoi de neuf? / クワ・ドゥ・ヌフ? Z世代のリアル・フランス』白水社、2023年 (<https://www.hakusuisha.co.jp/book/b613785.html>)。

※上記サイトではサンプルページを閲覧でき、また音声資料を聞くことができます。

【参考書】

副教材として、以下の2点を挙げます。

- ①斎藤昌三著『3段階チェック式フランス語トレーニング・コース』白水社、2003年 (<https://www.hakusuisha.co.jp/book/b203078.html>)。
- ②モーリス・ジャケ他著『映像＋Interviewで学ぶフランス語』駿河台出版社、2024年 (<https://www.e-surugadai.com/books/isbn978-4-411-00580-9>)。

【成績評価の方法と基準】

平常点（参加度、課題など）：40％

期末テスト：60％

を基本とします。

（公欠・感染症・大学による配慮願がある場合を除き、遅刻・欠席による教室不在時間が400分を超えた場合は、学期末試験を受けたとしても原則として単位を出すことはできません。）

【学生の意見等からの気づき】

初回担当であるため、特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

できるだけ「仏和辞書」を持参しましょう。

【Outline (in English)】

OUTLINE AND GOALS :

Using the textbook "Quoi de Neuf?" (which features French interview videos as its main content), this course aims primarily to develop students' French listening, reading, and writing skills. The course is intended for students who have previously studied French and who possess knowledge equivalent to Level 3-4 of the French Proficiency Test (Futsuken) or DELF A1-A2. While reinforcing the fundamentals of previously learned material, students will also work to strengthen their communicative competence and improve their overall French proficiency.

In the fall semester, the course will cover Lessons 6 through 10 of the textbook, completing each lesson in two class sessions. The remaining three sessions will be based on materials prepared by the instructor. A final exam will be administered in the last class.

PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorise new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA :

Normal score: 40% (presence, participation and homework),
final exam: 60%

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

時事フランス語Ⅰ 2017年度以降入学者

大中 一彌

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉〈ダ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この科目「時事フランス語Ⅰ」を紹介するヴィジュアル資料です
<https://x.gd/JEXrY>（PDFスライド、学内者のみ閲覧できます）
 この科目「時事フランス語Ⅰ」の目的は、あなたのフランス語を、
 できる限り専門的な学びに近づけ、就職など実社会で役立てていく
 ための、いわば基礎体力を作ることにあります。毎週、フランス
 語圏の公共放送のニュースサイト（TV5Monde や Radio France
 Internationale）で提供されている無料の教材に、皆で取り組み
 ます。やさしい内容から始まりますので、1年生でも心配はいりませ
 せん。この授業のテーマを紹介するショート動画をご覧ください
<https://youtube.com/shorts/0NmZ4iyyvSQ?feature=shared>

【到達目標】

リスニング力や語彙（ごい）力を増すことが「時事フランス語」科
 目の全体としての目標です。ただし、スタート地点が、人により異
 なりますので、ゴールとして目指すべき到達目標も人により異なり
 ます。次のA～Dのカテゴリー分けを参考に、あなた自身の到達目
 標を設定しましょう。

・カテゴリーA（大学で初めてフランス語を学び始めた1年生や、第
 3外国語としてフランス語を勉強し始めた学生、千代田コンソから
 の履修者を主に想定）：「時事フランス語Ⅰ」「時事フランス語Ⅱ」
 の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベ
 ルA1.1、「実用フランス語技能検定試験」5級にあたるリスニン
 グ力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事
 問題の内容に関し、第1言語（日本で主に学校教育を受けた人なら
 日本語）であれば、内容に関する前提知識をあまり持たない人とし
 て、簡単な質問や意見を述べるができる。

・カテゴリーB（大学入学後フランス語を学び始め、1年以上が経
 過した2年生を主に想定）：「時事フランス語Ⅰ」「時事フランス語
 Ⅱ」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠の
 レベルA1.1、「実用フランス語技能検定試験」4級にあたるリスニン
 グ力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事
 問題の内容に関し、第1言語（日本で主に学校教育を受けた人なら
 日本語）であれば、ある程度関心をもって質問や意見を述べること
 ができる

・カテゴリーC（フランス語を2年以上、ある程度は続けて勉強して
 きた学生を主に想定）：「時事フランス語Ⅰ」「時事フランス語Ⅱ」
 の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベ
 ルA2～B1.1、「実用フランス語技能検定試験」3級～準2級にあた
 るリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげ
 られた時事問題の内容に関し、フランス語で、キーワードを使った
 簡単な質問や意見を述べるができる。

・カテゴリーD（日本語が第1言語＝いわゆる「母語」＝ではない人。
 外国人留学生を主に想定）：「時事フランス語Ⅰ」「時事フランス語
 Ⅱ」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠の
 レベルA1.1.1、「実用フランス語技能検定試験」5級にあたるリス
 ニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた
 時事問題の内容に関し、第1言語（日本語を除く）の情報源も使い、
 日本語または英語で、簡単な質問や意見を述べるができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示され
 たどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
 に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
 部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国
 際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部
 ：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

E 実験/実習/実技 /Experiment、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】で示した2つのニュースサイ
 トに掲載されている教材に、皆で取り組みます。外国人向けに「やさ
 しいフランス語 français facile」で制作された番組にもとづく、実
 践的な教材が多いです。聞き取り（リスニング）やシャドーイング、
 内容面の理解（時事問題に関する知識）を確認しながら、授業は進
 みます。この授業では、わからない、知らないからという理由で怒
 られたり、馬鹿にされたりすることはありません。質問するのが恥
 ずかしいという受け身の学校文化から、フランス語で分からないこ
 と、できないことを1つずつ減らしていこうという積極的な方向に
 意識を変えるのが、この授業の狙いです。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
 あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
 なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Séance 1	世界を知るためのも う1つの視点	パリ18区に住む小学3年 (CE2) 生たちのなぞなぞから見 える世界
Séance 2	現代フランスの生活 風景	結婚のプロポーズ（同性婚）や スクワット（空き住居の不法占 拠）など
Séance 3	フランスという国の かたち	国歌ラ・マルセイエーズが歌え るのは、フランスではポイント 高いです。
Séance 4	グローバル化 (mondialisation) に対するフランス的 見方＝ものづくりの 大切さ	フランスの伝統的な産品をあな たはなにか知っていますか。
Séance 5	グアドループ：中南 米のカリブ海に浮か ぶフランスの海外県	クレオール語に代表される文化 の混淆で有名。1980年代には 「ワールド・ミュージック」とし てグアドループ発信のズークが 流行
Séance 6	デモやストライキ	ストライキになると色々不便だ と怒る人もいる一方、ストライ キは労働者の重要な権利とみな されてもいます。
Séance 7	フランス語で炎暑は canicule といいます	毎夏、山火事や40度を超える高 温が南ヨーロッパを中心に伝え られるようになりました。
Séance 8	カンヌ映画祭	この季節に毎年開かれる有名文 化イベント。娯楽作よりも芸術 性の高い作品が受賞する傾向が あり、日本人の活躍が目立ちま す。
Séance 9	ラップとユーチュー バー	さまざまな国や地域の出身者が、 フランス語ラップのYouTube動 画を制作
Séance 10	男女平等の理想と現 実	女性の就業率が比較的高いフラ ンスだが、男女の賃金格差など 課題も残る。女性の権利への関 心は高い。
Séance 11	ツール・ド・フラン ス	この季節に毎年開かれる有名ス ポーツイベント。7月の3週間、 フランスや隣接国の路上を自転 車レースが駆け抜ける。
Séance 12	格差社会アメリカの 批判	大企業の経営者たちとその従業 員の給与格差が大きすぎるとい うのも、フランス語圏のメディ アではありがちな話題
Séance 13	環境問題の語彙（ご い）・表現①	絶滅危惧種を守ることをめぐる 外交。「フカヒレ」や「象牙」が 登場します。

Séance 環境問題の語彙（ご コンゴ民主共和国（RDC）はフ
14 い）・表現② ランス語圏ニュースではよく登
場する国です。内戦などの要因
で安全を脅かされる国立公園職
員たちの話題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・「時事フランス語Ⅰ」のような科目では、1回の授業につき、1時間以上、授業時間外に学習をおこなうことが、法政大学では標準になっています。
・「毎回授業内容表 Tableau de bord / Dashboard」等に教材へのリンクが置いてあります。
・（ア）音声ファイルの内容でシャドーイングできる範囲を、1単語→1文→複数の文、のように広げていくことや、（イ）番組内でひんぱんに使われる語彙（ごい）を分野ごとに整理して覚えるといったことに取り組むと、実践的な語学力が向上します。
・「毎回授業内容表」は次のリンクから閲覧してください <https://x.gd/RkJnE>

【テキスト（教科書）】

1. Radio France Internationale - RFI Savoirs <https://savoirs.rfi.fr/fr>
2. TV5Monde - Apprendre le français <https://apprendre.tv5monde.com/fr>
※フランス語圏の公共放送が提供し、無料、かつ全世界のフランス語学習者が用いている教材です。

【参考書】

仏和辞典。小学館ロベール仏和辞典が法政大学図書館のオンラインデータベースに入っています。「JapanKnowledge」からご覧になってください。ただし、学外からの閲覧にはVPN接続が必要です。

【成績評価の方法と基準】

- 1. 期末試験、期末レポートはありません（0%）
- 2. 授業への毎週の参加（①）
- 3. 授業時間内の活動の積極性（②）※フランス語の学習歴に応じて、カテゴリーA、B、C、Dの3つに学生を分けており、カテゴリーごとに努力していただきたい方向性を下↓の数字（%）に示しています。
- 4. 到達目標の達成に向けた取り組み（③）時事フランス語関連の話題を提供したり、授業の内容を復習するための、かんたんな理解度チェックに解答したりした場合、加点されます。こうした取り組みをつうじて、少しずつ実力がついていきます。
- 5. その他（100%の枠外で5~20%程度の加点をします）
（ア）授業運営への協力（教員の説明の不備や設定ミスなどを指摘してくれた学生に加点します）
（イ）実用フランス語技能検定試験（仏検）やDEL FやTCFを受検したか、また合格したか（これらの検定試験を受検したり合格したりスコアを取得したりした場合、ぜひ教員まで申し出てください）
カテゴリーA ①50%,②30%,③20%
カテゴリーB ①40%,②30%,③30%
カテゴリーC ①33%,②33%,③34%
カテゴリーD ①50%,②30%,③20%

※なんらかの障がいや疾患、メンタルな面を含むハンディキャップなど、諸事情により対面授業に参加することが困難な方は、法政大学障がい学生支援室に「就学上の配慮」をできるだけ早い時期に求めてください。「就学上の配慮」が認められた場合は、障がい学生支援室から担当教員に連絡が来ますので、代わりとなる課題に取り組んでいただきます。

※この科目が開講されている期間中に「学校保健安全法に定める感染症」に感染した方は、所属する学部連絡し「感染症等に係る授業欠席等配慮願」を受け取ってください。そして、所属する学部が発行する「配慮願」を担当教員にご提出ください。学生側の都合による欠席とは異なる、感染拡大防止のための出席停止として扱います。

【学生の意見等からの気づき】

・フランスに留学して、リスニング力や語彙（ごい）の不足を痛感したという声をよく耳にします。その一方で、リスニング力や語彙力を伸ばす目的で、TV5Monde や Radio France Internationale (RFI) を留学先で自習したという経験談も聞きます。TV5Monde や RFI は、日本でも視聴できますが、フランス語圏に詳しくない人が独りで学ぼうとしても、ニュースの内容がよく理解できない場合があります。この「時事フランス語Ⅰ」を履修すれば、ニュースや表現の解説を、あなたのフランス語発音に対する指導とともに、日本の環境で学ぶことができます。
・努力を続けるにはモチベーションが必要です。モチベーションを高めるには、じっさいに手の届きそうな目標をもつとよいでしょう。下記のリンク先にある資料が、目標やモチベーションについて考えるための、参考となればさいわいです <https://x.gd/4WEFD>

【学生が準備すべき機器他】

資料の共有や課題の提出などに、Google ClassroomやWebClass、Boxを使いますので、タブレットやノートパソコンのような情報端末が必要です。

【その他の重要事項】

「時事フランス語」って怖いのかな、自分に向いているのかどうか…と迷っている方は、次のリンク先にあるプレースメント・テストをお試し受験してみてください。問題文は英語とフランス語で書かれています。「Commencer」と書かれたボタンをクリックすると問題が表示されます。<https://savoirs.rfi.fr/fr/apprendre-enseigner/langue-francaise/test-de-placement-a1/1>
もし半分ぐらい正答できるようなら、この授業を履修するのにちょうど良いレベルではないかと思います。

【Outline (in English)】

【Outline and objectives】

This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized vocabulary. By participating in proposed activities, students will become familiar with French-speaking news websites.

【Goal】

The goals to be achieved differ according to the starting level of the student.

* Learning objective for false beginners and intermediate learners: the student will be able to acquire, at the end of the two semesters of "Jiji-Furansugo", a linguistic ability equivalent to level A2 of the European Framework of Reference for Languages or to Futsuken jun 2 kyū.

** Pedagogical goal for those who already have a more or less good command of the French language (learners at the higher level as well as French-speaking international students): the student will be able to formulate relevant comments that demonstrate a solid understanding of local and global issues covered by the French-speaking media.

【Method(s)】

In each class session, the teacher will suggest materials available on the Internet. Learners will be asked to identify the essential elements. To do so, they are allowed to consult books and dictionaries written in their respective first language (the "mother tongue"). However, all participants are expected to express themselves in French, and to contribute to the discussion on what is said in the material.

The language of instruction in the classroom is primarily French, while administrative information will be provided in Japanese via LMS and e-mail.

【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

1) Try to make use of the learning materials yourself. The URLs for these materials are already listed in the Dashboard for Jiji-Furansugo.

2) According to the Standards for the Establishment of Universities, the minimum time of preparation and review required to earn two credits for a lecture or seminar is four hours per session.

【References】

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)

2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge »)

Note: Off-campus access to these databases requires a connection through a Virtual Private Network ("VPN"). See the Hosei Network System Service website for information on how to connect to the university VPN. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/> [Grading criteria]

Your final grade in this seminar will be decided on the following:

1. Quantity and quality of "summary comments" =50%
2. In-class activity participation and various contributions to the class =50%

[Equipment student needs to prepare]

A stable and unlimited internet connection as well as a personalized IT device such as a computer, tablet or smartphone are required. Two LMS platforms are used, of which (1) Google Classroom is mainly used to share documents and (2) learners can consult some notes on the Hoppii website. In case of remote courses, video conferencing systems such as Zoom or Google Meet will be used to ensure the educational continuity.

[Others]

- 1) If you are uncertain of your language level, try taking a "placement test" at the A1 level on the RFI website <https://savoirs.rfi.fr/en/apprendre-enseigner/langue-fran%C3%A7aise/test-de-placement-a1/1> Enroll in this course if you can answer more than half of the questions correctly.
- 2) The above schedule is still subject to change.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

時事フランス語Ⅱ

2017年度以降入学者

大中 一彌

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉〈ダ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この科目「時事フランス語Ⅱ」を紹介する動画です <https://x.gd/KrAUW> (約7分12秒)

この科目「時事フランス語Ⅱ」の目的は、あなたのフランス語を、できる限り専門的な学びに近づけ、就職など実社会で役立てていくための、いわば基礎体力を作ることにあります。毎週、フランス語圏の公共放送のニュースサイト（TV5Monde や Radio France Internationale）で提供されている無料の教材に、皆で取り組みます。やさしい内容から始まりますので、1年生でも心配はいりません。この授業のテーマを紹介するショート動画をご覧ください <https://youtube.com/shorts/RQtay4cmhW8?feature=shared>

【到達目標】

リスニング力や語彙（ごい）力を増すことが「時事フランス語」科目の全体としての目標です。ただし、スタート地点が、人により異なりますので、ゴールとして目指すべき到達目標も人により異なります。次のA～Dのカテゴリー分けを参考に、あなた自身の到達目標を設定しましょう。

・カテゴリーA（大学で初めてフランス語を学び始めた1年生や、第3外国語としてフランス語を勉強し始めた学生、千代田コンソからの履修者を主に想定）：「時事フランス語Ⅰ」「時事フランス語Ⅱ」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA1.1、「実用フランス語技能検定試験」5級にあたるリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、第1言語（日本で主に学校教育を受けた人なら日本語）であれば、内容に関する前提知識をあまり持たない人として、簡単な質問や意見を述べるができる。

・カテゴリーB（大学入学後フランス語を学び始め、1年以上が経過した2年生を主に想定）：「時事フランス語Ⅰ」「時事フランス語Ⅱ」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA1.1、「実用フランス語技能検定試験」4級にあたるリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、第1言語（日本で主に学校教育を受けた人なら日本語）であれば、ある程度関心をもって質問や意見を述べるができる。

・カテゴリーC（フランス語を2年以上、ある程度は続けて勉強してきた学生を主に想定）：「時事フランス語Ⅰ」「時事フランス語Ⅱ」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA2～B1.1、「実用フランス語技能検定試験」3級～準2級にあたるリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、フランス語で、キーワードを使った簡単な質問や意見を述べるができる。

・カテゴリーD（日本語が第1言語＝いわゆる「母語」＝ではない人。外国人留学生を主に想定）：「時事フランス語Ⅰ」「時事フランス語Ⅱ」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA1.1.1、「実用フランス語技能検定試験」5級にあたるリスニング力や語彙（ごい）力を、もっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、第1言語（日本語を除く）の情報源も使い、日本語または英語で、簡単な質問や意見を述べるができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】で示した2つのニュースサイトに掲載されている教材に、皆で取り組みます。外国人向けに「やさしいフランス語 français facile」で制作された番組にもとづく、実践的な教材が多いです。聞き取り（リスニング）やシャドーイング、内容面の理解（時事問題に関する知識）を確認しながら、授業は進みます。この授業では、わからない、知らないからという理由で怒られたり、馬鹿にされたりすることはありません。質問するのが恥ずかしいという受け身の学校文化から、フランス語で分からないこと、できないことを1つずつ減らしていこうという積極的な方向に意識を変えるのが、この授業の狙いです。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Séance 1	多様性と出会うためのもう1つの入り口	フレキシタリアン・ダイエットとフランスの駄菓子（食文化から近づいてみる）
Séance 2	気が早いですがクリスマス話	宗教を信じる・信じない、家族のあり方、消費社会について考えます。
Séance 3	移民の気持ちを（教員の補助付きで）疑似体験してみる。	移民を念頭にいったフランス語検定試験の例題に取り組む。
Séance 4	職業と平等	職業名の女性形を認めさせるというフェミニズムのかたち
Séance 5	第4回の続き	仕事探しのフランス語→履歴書につながるライティング (Production écrite)
Séance 6	フランスの「サラメシ」	フランスの会社員たちは昼食に何をどんな風に食べているのか？
Séance 7	第6回の続き	昼食を権利として考えたことがありますか？
Séance 8	ある日のニュースのヘッドライン	フランス語によるニュースのヘッドライン（実物）によいよ挑戦です。
Séance 9	少子化問題	2010年を越えたあたりから出生率が低下傾向のフランス。その原因は？
Séance 10	コートジボワールから見た世界	起業家の女性が訪れたいと夢見る国は？
Séance 11	ブルキナファソから見た世界	外からの支援ではなく、地元根差した住宅の改善とは？
Séance 12	アフリカやアジアからヨーロッパを目指す多くの避難民を渡航させる業者たち	どんな国にでも行けるパスポートは、世界の握りの人しかもっていない。
Séance 13	ボーヴォワール	« On ne naît pas femme, on le devient. » という文を知っておきましょう。
Séance 14	エメ・セゼール	ネグリチュードとは？

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・「時事フランス語Ⅱ」のような科目では、1回の授業につき、1時間以上、授業時間外に学習をおこなうことが、法政大学では標準になっています。

・「毎回授業内容表 Tableau de bord / Dashboard」等に教材へのリンクが置いてあります。

・(ア) 音声ファイルの内容でシャドーイングできる範囲を、1単語→1文→複数の文、のように広げていくことや、(イ) 番組内でひんぱんに使われる語彙（ごい）を分野ごとに整理して覚えるといったことに取り組むと、実践的な語学力が向上します。

・「毎回授業内容表」は次のリンクから閲覧してください <https://x.gd/RO06q>

【テキスト（教科書）】

1. Radio France Internationale - RFI Savoirs <https://savoirs.rfi.fr/fr>
 2. TV5Monde - Apprendre le français <https://apprendre.tv5monde.com/fr>
- ※フランス語圏の公共放送が提供し、無料、かつ全世界のフランス語学習者が用いている教材です。

【参考書】

仏和辞典。小学館ロベール仏和辞典が法政大学図書館のオンラインデータベースに入っています。「JapanKnowledge」からご覧になってください。ただし、学外からの閲覧にはVPN接続が必要です。

【成績評価の方法と基準】

- 1. 期末試験、期末レポートはありません（0%）
- 2. 授業への毎週の参加（①）
- 3. 授業時間内の活動の積極性（②）※フランス語の学習歴に応じて、カテゴリA、B、C、Dの3つに学生を分けており、カテゴリごとに努力していただきたい方向性を下↓の数字（%）に示しています。
- 4. 到達目標の達成に向けた取り組み（③）時事フランス語関連の話題を提供したり、授業の内容を復習するための、かんたんな理解度チェックに解答したりした場合、加点されます。こうした取り組みをつうじて、少しずつ実力がついていきます。
- 5. その他（100%の枠外で5～20%程度の加点をします）
（ア）授業運営への協力（教員の説明の不備や設定ミスなどを指摘してくれた学生に加点しています）
（イ）実用フランス語技能検定試験（仏検）やDELFLやTCFを受検したか、また合格したか（これらの検定試験を受検したり合格したりスコアを取得したりした場合、ぜひ教員まで申し出てください）
カテゴリA ①50%, ②30%, ③20%
カテゴリB ①40%, ②30%, ③30%
カテゴリC ①33%, ②33%, ③34%
カテゴリD ①50%, ②30%, ③20%

※なんらかの障がいや疾患、メンタルな面を含むハンディキャップなど、諸事情により対面授業に参加することが困難な方は、法政大学障がい学生支援室に「就学上の配慮」をできるだけ早い時期に求めてください。「就学上の配慮」が認められた場合は、障がい学生支援室から担当教員に連絡が来ますので、代わりとなる課題に取り組んでいただきます。

※この科目が開講されている期間中に「学校保健安全法に定める感染症」に感染した方は、所属する学部と連絡し「感染症等に係る授業欠席等配慮願」を受け取ってください。そして、所属する学部が発行する「配慮願」を担当教員にご提出ください。学生側の都合による欠席とは異なる、感染拡大防止のための出席停止として扱います。

【学生の意見等からの気づき】

- ・フランスに留学して、リスニング力や語彙（ごい）の不足を痛感したという声をよく耳にします。その一方で、リスニング力や語彙力を伸ばす目的で、TV5MondeやRadio France Internationale (RFI)を留学先で自習したという経験談も聞きます。TV5MondeやRFIは、日本でも視聴できますが、フランス語圏に詳しくない人が独りで学ぼうとしても、ニュースの内容がよく理解できない場合があります。この「時事フランス語II」を履修すれば、ニュースや表現の解説を、あなたのフランス語発音に対する指導とともに、日本の環境で学ぶことができます。
- ・努力を続けるにはモチベーションが必要です。モチベーションを高めるには、じっさいに手の届きそうな目標をもつとよいでしょう。下記のリンク先にある資料が、目標やモチベーションについて考えるための、参考となればさいわいです <https://x.gd/kTKoR>

【学生が準備すべき機器他】

音声ファイルやストリーミング動画をWifiのある環境で視聴したり、学習支援システム-HoppiiやGoogle Classroomを閲覧するために、タブレットやノートパソコン等の情報端末が必要です。

【その他の重要事項】

「時事フランス語」って怖いのかな、自分に向いているのかどうか…と迷っている方は、次のリンク先にあるプレイズメント・テストをお試し受験してみてください。問題文は英語とフランス語で書かれています。「Commencer」と書かれたボタンをクリックすると問題が表示されます。<https://savoirs.rfi.fr/fr/apprendre-enseigner/langue-francaise/test-de-placement-a1/1>
もし半分ぐらい正答できるようなら、この授業を履修するのにちょうど良いレベルではないかと思います。

【Outline (in English)】

【Outline and objectives】

This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized vocabulary. By participating in proposed activities, students will become familiar with French-speaking news websites.

【Goal】

The goals to be achieved differ according to the starting level of the student.

* Learning objective for false beginners and intermediate learners: the student will be able to acquire, at the end of the two semesters of "Jiji-Furansugo", a linguistic ability equivalent to level A2 of the European Framework of Reference for Languages or to Futsuken jun 2 kyū.

** Pedagogical goal for those who already have a more or less good command of the French language (learners at the higher level as well as French-speaking international students): the student will be able to formulate relevant comments that demonstrate a solid understanding of local and global issues covered by the French-speaking media.

【Method(s)】

In each class session, the teacher will suggest materials available on the Internet. Learners will be asked to identify the essential elements. To do so, they are allowed to consult books and dictionaries written in their respective first language (the "mother tongue"). However, all participants are expected to express themselves in French, and to contribute to the discussion on what is said in the material.

The language of instruction in the classroom is primarily French, while administrative information will be provided in Japanese via LMS and e-mail.

【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

- 1) Try to make use of the learning materials yourself. The URLs for these materials are already listed in the Dashboard for Jiji-Furansugo.
- 2) According to the Standards for the Establishment of Universities, the minimum time of preparation and review required to earn two credits for a lecture or seminar is four hours per session.

【References】

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge »)

Note: Off-campus access to these databases requires a connection through a Virtual Private Network ("VPN"). See the Hosei Network System Service website for information on how to connect to the university VPN. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>
【Grading criteria】

Your final grade in this seminar will be decided on the following:

1. Quantity and quality of "summary comments" =50%

2. In-class activity participation and various contributions to the class =50%

[Equipment student needs to prepare]

A stable and unlimited internet connection as well as a personalized IT device such as a computer, tablet or smartphone are required. Two LMS platforms are used, of which (1) Google Classroom is mainly used to share documents and (2) learners can consult some notes on the Hoppii website. In case of remote courses, video conferencing systems such as Zoom or Google Meet will be used to ensure the educational continuity.

[Others]

1) If you are uncertain of your language level, try taking a "placement test" at the A1 level on the RFI website <https://savoirs.rfi.fr/en/apprendre-enseigner/langue-fran%C3%A7aise/test-de-placement-a1/1> Enroll in this course if you can answer more than half of the questions correctly.

2) The above schedule is still subject to change.

LANf200LA（フランス語 / French language education 200）

フランス語の発音レッスンⅠ 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の発音が難しいと感じる人にとって、その主な理由は、つづりと発音の規則が難しい、母語に存在しない母音や子音の発音が難しい、もしくはその両方、ということだと考えられます。

しかし規則は無限に存在するわけではなく、いくつかの基本的な事柄を覚えれば、知らない単語でも発音できるようになります。また、母語には存在しない音であっても、口のかたちや舌の位置に気をつけ、繰り返し練習することで、ネイティブに近い発音を身につけることができます。

本授業では、フランス語のつづりと発音の規則を身につけるとともに、フランス語の母音と子音の発音のしかたを学び、フランス語らしく発音できるようになることを目的とします。その過程で、発音記号に慣れるようにします。

【到達目標】

- ・つづりと発音の主な規則を覚えること。
- ・ネイティブに近い発音でフランス語の単語や文を発音できるようになること。
- ・発音記号を理解すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

- ・まず個々の母音と子音の発音の仕組みと発音のしかたを理解します。
- ・次に、どのつづりがそれらの母音や子音に相当するのかを確認します。
- ・それから聞取り練習と発音練習を行います。
- ・さらに、学んだ音が含まれる短い文の発音練習を行います。
発音練習では一人一人にアドバイスをします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション (1)	・授業概要 ・フランス語の母音と子音について
2	母音 [i] [y] [u]	説明と練習
3	2種類の「エ」	説明と練習
4	母音 [ø] [œ]	説明と練習
5	2種類の「オ」	説明と練習
6	3つの鼻母音	説明と練習
7	3つの半母音	説明と練習
8	子音 [R] [l]	説明と練習
9	子音 [b] [v] [f]	説明と練習
10	後部歯茎摩擦音	説明と練習
11	子音 [t] [s] [z]	説明と練習
12	脱落性の e	説明と練習
13	リエゾン、エリジョン、アンシェヌマン	説明と練習
14	期末試験	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業で学んだ通りに繰り返し発音練習を行うこと。
 - ・つづりと発音の規則を覚えていない人は、早めに覚えるよう復習すること。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

- ・プリントを使用します。

【参考書】

- ・久松健一『発音の基本:30分あればフランス語はだいたい読める』Kindle インタラクティブ版、HK-publisher、2016年、700円
＊つづりと発音の規則がなかなか覚えられないという人におすすめです。
- ・小島慶一『音声とイラストで楽しく学ぶ やさしいフランス語の発音 新装版』語研、2026年2月、2200円
＊基本的な事柄から応用まで、分かりやすく解説しています。
より専門的な参考書を読みたい人には授業内に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点70%、期末試験30%

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書（紙の辞書、電子辞書のどちらでも可）。『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『ロベール・クレ』（駿河台出版社）などがおすすめです。

【その他の重要事項】

- ・「授業計画」と「成績評価の方法と基準」は状況により変更する可能性があります。
- ・現在フランス語を学んでいる人、もしくはフランス語を学んだことがある人を対象とします。

【Outline (in English)】

In this course, we will learn how to pronounce French vowels and consonants. The goal of this course is to achieve authentic French pronunciation. After each class, students will be expected to spend one hour to practice pronouncing words and phrases learned in class.

The overall grade in the class will be decided based on the following:Term-end examination : 30%,in-class contribution:70%

ARSA200LA（地域研究（ヨーロッパ） / Area studies(Europe) 200)

フランスの文化と社会 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 正道

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、映画を通して、フランスの社会の様々な面について考えます。フランスは世界有数の映画大国です。特に国家は映画製作に多額の補助を出しています。こうした映画を通して、フランスの人々の生活の様々な面、問題、喜びや悲しみ、苦しみが見えてきます。この授業では、フランス映画の特徴や歴史とともに、これらフランス社会の様々な面について考えます。フランスに関心のある学生を対象としています。フランス語を履修している必要はありません。

【到達目標】

フランスの映画に関する知識を増やし、アメリカや日本の映画、他のヨーロッパ映画やほかの地域の映画との違いに関して考えることを目標とします。さらに映画作品から見て取れる、フランスで暮らす人々（フランス国籍を持つとは限りません）の生活、諸問題に関して考えることを目指します。そこから、日本さらには他の国との違いや共通点について考え、なぜそのような違いがあるのか、なぜ同じようなことになるのかを考えます。

「文化論」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」、「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、「文化大国」であるフランスに関する知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

誰でもが知っている大ヒット作、今では古典となったフランス映画の代表的作品、映画の歴史を創った作品、知る人ぞ知る映画などを扱います。テーマとなっている作品を鑑賞し、監督や製作者がそこに込めた意図、もしくは意識していないが見て取れる問題について考えます。また自分が製作者になった立場で場面の演出を考えてみましょう。

皆さんは学習支援システムを通して課題を数回出すことになります。私はやはり学習支援システムを通してお返しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	『アメリ』1 2001年の大ヒット作 パリという空間： モンマルトルからあ ちこちへ	空想に駆られる主人公： 他人の幸せのために
2	『アメリ』2 なぜヒットしたか	空想から現実へ モンマルトルは理想郷？

3	『アメリ』3 オードリー・トトゥ とマティユー・カソ ヴィッツ	刑事とシャネル／監督と俳優
4	『太陽がいっぱい』1 名優アラン・ドロ ン主演のフランス・イ タリア合作映画	このタイトルはどういう意味か。 誤訳かわざとか。外国映画の邦 題について。
5	『太陽がいっぱい』2 格差と犯罪	金持ちの傲慢青年と貧しき悪の 天才青年。
6	『太陽がいっぱい』3 犯罪は「太陽の せい」？ 映画音楽	地中海の熱い太陽と哀愁の音楽。 映画を知らずとも音楽は聴いた ことがある。
7	映画の始まり	世界初の映画上映：リュミエー ル兄弟。 初期の映画：『月世界探検旅行』 『ファントマス』
8	ヌーヴェル・ヴァー グ 『勝手にしやがれ』1 ゴダールの代表作： 原題は「息切れ」	映画の「新しい波」 「外国映画の邦題について」その 2
9	『勝手にしやがれ』2 おかしなカップル： ジャン＝ポール・ペ ルモンドとジーン・ セバーグ	これは犯罪映画か？
10	『勝手にしやがれ』3 モンパルナス	右岸のモンマルトルと左岸のモ ンパルナス シャンソンとジャズ
11	ヌーヴェル・ヴァー グその2： トリュフォー	アントワヌ・ドゥワネルのシ リーズ：成長する主人公を成長 する同じ俳優が演じる
12	『女優マルキーズ』1 旅役者	ソフィー・マルソー演じる17世 紀の実在の女優はアクロバット もこなす旅役者
13	『女優マルキーズ』2 ルイ14世の時代	太陽王の古典主義時代： モリエールとジャン・ラシーヌ ；宮廷の豪華絢爛と場末の狼狽 さ
14	『女優マルキーズ』3 舞台上に死す	謎多き女優の生涯 ソフィー・マルソーとベルナ ール・ジロドー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

取り上げる映画作品は授業内ではさわりの部分しか紹介できないので、興味のある人はAVライブラリなどで借りて全体を観ておくといいかと思います。

- 1：モンマルトルについて調べる。
 - 2：アメリの行く様々な地域について調べる。
 - 3：出演者の他の作品について調べる。
 - 4：フランス人にとっての地中海はどのようなものかを考える。
 - 5：「完全犯罪」は可能かを考える。
 - 6：フランス人および他の国の人々にとってアラン・ドロンとはどのような俳優かを考える。
 - 7：創世期の映画について調べる。
 - 8：外国映画の邦題について考える。
 - 9：『勝手にしやがれ』のどこが新しいのか考える。
 - 10：モンパルナスとモンマルトルの共通点と違いについて調べる。
 - 11：トリュフォーやその他のヌーヴェル・ヴァーグの監督について調べる。
 - 12：17世紀の俳優について調べる。
 - 13：17世紀の古典主義作家について調べる。
 - 14：出演者たちの他の作品について調べる。
- 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定した教科書はありません。学習支援システムに資料を載せます。

【参考書】

『フランス映画史の誘惑』中条省平、集英社新書0179

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書1603.

『論文レポートの文章作法』古郡延治、有斐閣新書C164

『悪文の構造』千早耿一郎 ちくま学芸文庫 C0180

『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書0924A

その他随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

テーマごとの作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

広い教室でまばらに座るために、「議論」が成り立ちにくいので、学習支援システムをもう少し有効に使う工夫をしようと考えています。

【Outline (in English)】

This course is to analyse various aspects of life in France with the aid of movies. France is one of the most movie-loving countries. The French government gives a large sum of subsidies to moviemakers. Through films we see people's different problems, joys, sorrows, and pains. In this course, the students not only learn characteristics and history of French movies but reflect on these subjects, which we can find in films. The goals of this course are to get knowledge about French films and to analyze differences between them and films of other countries, as well as to reflect on various problems in French society.

The students are expected to see the whole of each film, which we can see only partially during the class, and to do some research on subjects concerning social or historical backgrounds of the film. After each film, the students must submit an assignment. This work will require two hours for each class.

The final grade will be calculated according to the total score of assignments (100%).

All students who are interested in France are welcome; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSA200LA（地域研究（ヨーロッパ） / Area studies(Europe) 200）

フランスの文化と社会 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 正道

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続いて、この授業では、映画を通して、フランスの社会の様々な面について考えます。フランスは世界有数の映画大国です。特に国家は映画製作に多額の補助を出しています。こうした映画を通して、フランスの人々の生活の様々な面、問題、喜びや悲しみ、苦しみが見えてきます。この授業では、フランス映画の特徴や歴史とともに、これら社会の様々な面について考えます。フランスに関心のある学生を対象としています。フランス語を履修している必要はありません。

【到達目標】

フランスの映画に関する知識を増やし、アメリカや日本の映画、他のヨーロッパ映画やほかの地域の映画との違いに関して考えることを目標とします。さらに映画作品から見て取れる、フランスで暮らす人々（フランス国籍を持つとは限りません）の生活、諸問題に関して考えることを目指します。そこから、日本さらには他の国との違いや共通点について考え、なぜそのような違いがあるのか、なぜ同じようなことになるのかを考えます。

「文化論」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、「文化大国」であるフランスに関する知識を身に着けることで、今後の職業生活に必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

21世紀に入って大ヒットした、いかにもフランスらしい？映画、アメリカのミュージカルのアンチテーゼのようなミュージカル映画、そして戦時中に創られた不朽の名作、さらに演劇の人気ナンバーワンのヒーローの映画化作品などを扱います。テーマとなっている作品を鑑賞し、監督や製作者がそこに込めた意図、もしくは意識していないが見て取れる問題について考えます。また自分が製作者になった立場で場面の演出を考えてみましょう。皆さんは学習支援システムを通して課題を数回出すことになります。私はやはり学習支援システムを通してお返しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『最強のふたり』1： 2011年のヒット作	「ふたり」とはどんな人たちか？
2	『最強のふたり』2： 格差社会と移民	パリの郊外とは？ 富裕層の多い区域は？
3	『最強のふたり』3： 『介護者』と「パートナー」：助 北の海岸での出会い	ける人とお膳立てする人

4	『シェルブールの雨傘』1 フランスのミュージカル； 原題そのままの邦題は何を意味しているのか	誰もが聞いたことのあるミシェル・ルグランの音楽； 1960年代のフランスの地方都市：やはり北の港町
5	『シェルブールの雨傘』2 フランスにとつての1960年代はじめ	アルジェリア戦争：様々な分断
6	『シェルブールの雨傘』3 Westside Storyの向こうを張った？	「曖昧な」結末：雪のクリスマスでの再会と別れ
7	『天井桟敷の人々』1 1945年の大作 19世紀のパリの下町という空間	伝説的名優勢ぞろい「犯罪大通り」
8	『天井桟敷の人々』2 庶民にとっての劇場	「言葉」の俳優とパントマイム役者
9	『天井桟敷の人々』3 カーニバルという空間	またしても「曖昧な」結末：追いかけても追いつけない悪夢
10	『おかしなおかしな訪問者』1 中世からのタイムスリップ。 ジャン・レノとクリスチャン・クラヴィエ共演	フランスのお笑い映画：フランス北部の中世と現代。名優たちの一人二役が見所
11	『おかしなおかしな訪問者』2 めでたしめでたしの結末？	お笑い映画の定番的な演出と筋書。続編を予想させる、終わつたようで終わらない結末？
12	『シラノ・ド・ベルジュラック』1： 17世紀の実在の人物をモデルにした19世紀末の芝居	フランスのヒーロー人気ナンバーワン：剣にすぐれて弁もたつが、コンプレックスが恋を妨げる
13	『シラノ・ド・ベルジュラック』2： 17世紀の宮廷と社会状況	過剰な繊細華麗（préciosité）と過酷な戦争（30年戦争とアラスの包囲）
14	『シラノ・ド・ベルジュラック』3： 普遍的な価値	「型破り」と自己犠牲、「身を引く」美学

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

取り上げる映画作品は授業内ではさわりの部分しか紹介できないので、興味のある人はAVライブラリなどで借りて全体を観ておくといいかと思います。

- 1：フランス映画に関する一般的なイメージについてまとめる。
 - 2：フランスの社会階層について調べる。
 - 3：なぜ『最強のふたり』がヒットしたのか考える。
 - 4：「ミュージカル」とは何であるかまとめる。
 - 5：アルジェリア戦争について調べる。
 - 6：『シェルブールの雨傘』の結末を他の作品の結末と比べて、その意味合いについて考える。
 - 7：『天井桟敷の人々』が公開された1945年ごろのフランスの状況について調べる。
 - 8-9：19世紀前半のパリについて調べる。
 - 10：『おかしな訪問者』で紹介されるフランスの中世と現代の生活について調べる。
 - 11：主人公を演じた俳優たちの経歴について調べる。
 - 12：『シラノ・ド・ベルジュラック』の主人公のモデルとなった17世紀の人物について調べる。
 - 13：17世紀当時のフランスの宮廷や社会の状況について調べる。
 - 14：なぜシラノという人物が時代と国を超えて人々を惹き付けるのかを考える。
- 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定した教科書はありません。学習支援システムに資料を載せます。

【参考書】

『フランス映画史の誘惑』中条省平、集英社新書 0179

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.

『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書C164

『悪文の構造』千早耿一郎 ちくま学芸文庫 C0180

『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書0924A

その他随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

テーマごとの作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、400字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

広い教室でまばらに座るために、「議論」が成り立ちにくいので、学習支援システムをもう少し有効に使う工夫をしようと考えています。

【Outline (in English)】

This course is to analyse various aspects of life in France with the aid of movies. France is one of the most movie-loving countries. The French government gives a large sum of subsidies to moviemakers. Through films we see people's different problems, joys, sorrows, and pains. In this course, the students not only learn characteristics and history of French movies but reflect on these subjects, which we can find in films. The goals of this course are to get knowledge about French films and to analyze differences between them and films of other countries, as well as to reflect on various problems in French society.

The students are expected to see the whole of each film, which we can see only partially during the class, and to do some research on subjects concerning social or historical backgrounds of the film. After each film, the students must submit an assignment. This work will require two hours for each class.

The final grade will be calculated according to the total score of assignments (100%).

All students who are interested in France are welcome; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSA200LA（地域研究（ヨーロッパ） / Area studies(Europe) 200)

フランス生活文化論 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：近代フランスの食文化史

梶谷 彩子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制(40)

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

【本授業は定員制です。履修希望者は必ず最後までシラバスを読んでください】

この授業では、19世紀～20世紀フランスの食文化を中心に、そのあり方を学びます。「フランスの食文化」という表現から、どのようなことをイメージするでしょうか。「華やか・おしゃれ」、あるいは「特別な日の料理」など様々な印象があると思いますが、実は、現代の私たちがフランス料理に対して持つイメージのルーツの多くは、近代のフランスにあります。空腹を満たす以上の価値を自国の食に見出していったフランス。なぜそうなったのか？ その背景を知って、フランス文化への理解を深めていきましょう。

【到達目標】

フランスの食文化について、歴史の流れとともに理解できるようになること。また、意見の記述や発表を通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

講義形式。イメージを描きやすいようにできるだけ図像を用意して進めていきます。映像資料も見ると予定です。

原著の資料を見ることもあります。解説をしますのでフランス語の知識はなくても大丈夫です。

毎回授業の最後にコメントカードを提出していただき、そこで出た質問には次回の授業でできる限りフィードバックします。質問をきっかけに時に食文化の話を超えて、フランスの他の文化や歴史に触れることもあります。

また、受講する皆さんのフランスの食や文化に関する興味関心を共有していただく発表の機会も設けます。授業とは異なる視点に触れることも目的としていますので、大枠のテーマを逸脱していなければ広く様々なテーマを歓迎します。最終課題は、期末レポートの作成です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介。日本においてフランスの食文化はどのように紹介されているかについても解説。
第2回	テーブルに「映える」料理	テーブルに「映える」料理はなぜ必要だったか？／宮廷料理について
第3回	「華やかな食卓」の特徴の変遷	「映える」料理から「味で魅せる」料理へ／18世紀までの価値観と、19世紀からの価値観

第4回	美食を支える背景	パリの美食を支えた市場／給仕の変化
第5回	「美食」は誰のものか：レストラン	「おいしい」が皆のものになる時代：レストラン興隆史
第6回	「美食」は誰のものか：「おいしい」の基準の誕生	「おいしい」を評価するということ：ガストロノミー(前編)
第7回	「美食」は誰のものか：情報が生み出す「美食」	「おいしい」の評価の変遷：ガストロノミー(後編)
第8回	資料で見るフランスの美食	フランスの美食についての映像資料を視聴します。コメントカードを通して、感想や考察をまとめてください。
第9回	高級料理の変遷	ヌーヴェル・キュイジーヌの誕生と、その後
第10回	文化としての「郷土料理」	フランスにおける郷土料理の位置／郷土料理＝文化的遺産という視点の原点
第11回	報告会①	フランスの食や文化にまつわる興味関心を発表しあいましょう。授業とは異なる視点に触れることが目的です。
第12回	報告会②	報告会は、履修者の人数により2回から3回に渡る可能性があります。
第13回	報告会③(予備日) 郷土料理でめぐるフランス 映像資料視聴	フランスの代表的な地方の位置の確認・その土地に根差した郷土料理を網羅的に見ていきます。ほか、一部となりますが第8回とは異なる映像資料を視聴します。
第14回	まとめ・レポート作成の手引き	現代から見た、近代フランスの食文化の重要性／レポートの書き方案内 (映像資料視聴予備日)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。教科書として指定した書籍は学期中に読み切ること。

【テキスト（教科書）】

①オリジナルの授業資料

この資料はすべて学習支援システムを通じての配信となります。授業中に使いますので、各自手元に用意の上出席してください。

②『「美食の国」フランスの誕生 ガストロノミーが作ったおいしい歴史』梶谷彩子著、慶應義塾大学出版会、2025年、本体2,700円＋税

【参考書】

①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013年。

②ジャン・ピエール＝ブーラン、エドモン・ネランク『フランス料理の歴史』、山内秀文訳・解説、角川ソフィア文庫、2017年。

③北山晴一『世界の食文化⑩ フランス』、農村漁村文化協会、2008年。

【成績評価の方法と基準】

平常点(コメントカードの提出・発表を含む受講態度全般)60%、期末レポート40%の総合評価。

特に、平常点評価に含まれる授業期間内の「報告会での発表」、授業期間終了後の「期末レポートの提出」は必須です。

【学生の意見等からの気づき】

テーマを十分にお伝えするため、授業中は講義形式を採用しています。しかしその分、可能な限り皆さんからのご質問にお答えすることを心掛けてきました。フィードバックコーナーが長くなってしまうこともあるのですが、テーマを深める機会であると考えているので、今年度も継続していききたいと思います(質問多数の場合、調整することはあります)。コメントカードは、ぜひ存分に活用してください。

【学生が準備すべき機器他】

資料は配信による事前配布が主となりますので、授業開始までに各自対応してください。印刷した資料か、資料をダウンロードしたPC、タブレット端末等を持参すること。原則として教室内での紙媒体配布はいたしません。

【その他の重要事項】

履修申請者が41人を超えてしまった場合、定員が40人の授業であるため、【初回選抜】を実施します。選抜方法は教室で案内しますので、履修希望者は【必ず初回授業に出席】してください。

開講前にメッセージ機能やタイムライン機能を通じて連絡する場合がありますので、授業支援システムへは開講前に登録してください。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to study the gastronomic culture of modern France. The goals of this course are to understand this culture and have own view through studying and discussion.

Students will be expected to read the references as below. Your study time will be more than 2 hours for a class.

Final grade will be calculated according to the following process:

in-class contribution (60%) and term-end report (40%).

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランス生活文化論 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：フランスの食文化史(古代から現代まで)

梶谷 彩子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制(40)

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

【本授業は定員制です。履修希望者は必ず最後までシラバスを読んでください】

この授業では、フランスの食文化史を学びます。「美食の国」として名高いフランスはどのようにその食生活を営んできたのでしょうか。古代からの料理術の変遷を中心に、歴史の動きと連動させながら学びます。後半には、日本がフランスの食に与えた影響についても触れてゆきます。

【到達目標】

フランスの食文化について理解を深めること。また、意見の記述やディスカッションを通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

講義形式。イメージを描きやすいようできるだけ図像を用意して進めていきます。

原著の資料を見ることもありますが、解説をしますのでフランス語の知識はなくても大丈夫です。

毎回授業の最後にコメントカードを提出していただき、そこで出た質問には次回の授業でできる限りフィードバックします。小さなことだと思っても、気づきはぜひ言葉にして表現してみましょう。最終回の前には、簡単な発表の機会も設けます。授業とは異なる視点に触れることも目的としていますので、大枠のテーマを逸脱していなければ広く様々なテーマを歓迎します。

最終課題は、期末レポートの作成です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介／現在のフランス食文化の最前線についての解説
第2回	古代から中世まで	何をどのように食べてきたのか／香辛料について
第3回	中世とルネサンス	マナーの確立／イタリアとの関わり
第4回	17世紀	グランド・キュイジーヌの誕生／「過剰」からの脱却と洗練
第5回	18世紀	宮廷料理の最盛期／「豪華な料理」とは？
第6回	フランス革命～19世紀初頭	「レストラン」とは何か／「ガストロノミー」の誕生／「スターシェフ」の出現

第7回	19世紀後半～19世紀末	19世紀後半～世紀末のレストラン／現代フランス料理の基礎の時代
第8回	20世紀初頭	第一次世界大戦とフランスの食文化／新しい「ガストロノミー」
第9回	20世紀半ば	全国的美食を求めてーガストロノミーとツーリズム／「美食ガイドブック」の誕生
第10回	20世紀半ば～20世紀末	ヌーヴェル・キュイジーヌー健康と美食
第11回	日本食文化のフランス食文化への影響	美しさを求めるということ／日本的味覚の広がり
第12回	フランス食文化の日本食文化への影響	「洋食」誕生物語
第13回	発表会①	レポートの構想、授業を通しての自分なりのまとめなど、いくつかのトピックの中から1つ選び、発表しましょう。
第14回	発表会② まとめ・レポート作成の手引き	発表会の予備日です。主に「美食の国 フランス」のイメージはいかにして形成されたか、授業全体のまとめを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。参考書のうち②を授業期間中に読み切ること。授業中にも、おすすめの図書を紹介します。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しませんが、適宜、資料を主に学習支援システムを通じて配信します。授業開始までに、各自手元に用意してください。

【参考書】

- ①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013年。
- ②ジャン・ビエール＝プーラン、エドモン・ネランク『フランス料理の歴史』、山内秀文訳・解説、角川ソフィア文庫、2017年。
- ③北山晴一『世界の食文化⑩ フランス』、農村漁村文化協会、2008年。
- ④梶谷彩子『「美食の国」フランスの誕生 ガストロノミーが作ったおいしい歴史』慶應義塾大学出版会、2025年。

【成績評価の方法と基準】

平常点(コメントカード提出・発表参加を含む受講態度全般)60%、期末レポート40%の総合評価

特に、平常点評価に含まれる授業期間内の「報告会での発表」、授業期間終了後の「期末レポートの提出」は必須です。

【学生の意見等からの気づき】

テーマを十分にお伝えするため、授業中は講義形式を採用しています。しかしその分、可能な限り皆さんからのご質問にお答えすることを心掛けてきました。フィードバックコーナーが長くなってしまうこともあるのですが、テーマを深める機会であると考えているので、今年度も継続していきたいと思います(質問多数の場合、調整することはあります)。コメントカードは、ぜひ存分に活用してください。

【学生が準備すべき機器他】

資料は配信による事前配布が主となりますので、授業開始までに各自対応してください。印刷した資料か、資料をダウンロードしたPC、タブレット等を持参すること。原則として教室での紙媒体配布はいたしません。

【その他の重要事項】

履修申請者が41名を超えてしまった場合、定員が40人の授業であるため、【初回選抜】を実施します。選抜方法は教室で案内しますので、履修希望者は【必ず初回授業に出席】してください。開講前にメッセージ機能やタイムライン機能を通じて連絡する場合がありますので、授業支援システムへは開講前に登録してください。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to learn the historical background of the gastronomic culture of France. The goals of this course are to understand this culture and have own view through studying and discussion.

Students will be expected to read the references as below. Your study time will be more than 2 hours for a class.

Final grade will be calculated according to the following process:

in-class contribution (60%) and term-end report (40%).

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語3 I

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法の学習を継続する（具体的には、動詞の完了体と完了体、関係代名詞および関係副詞）。その上で、標準的なロシア語の文章を読解する基礎を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

文法学習のポイントとなるのは、動詞の「体」（完了体と完了体）、関係代名詞と関係副詞です。

文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	名詞の性・数・格、動詞の時制、運動の動詞など
2	第12課：動詞の体のペア	ペア（完了体と完了体）の3パターン
3	第12課：動詞の体の意味	完了体の意味（動作の事実、継続・進行、反復、同時性など）／完了体の意味（動作の完了・結果、一回性・具体性、連続性など）
4	第12課：動詞の体と時制	完了体の過去形・現在形・未来形／完了体の過去形・未来形（非過去形）
5	第12課：動詞の体のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳（翻訳）
6	第12課：動詞の体の会話	会話文の音読・読解・暗唱
7	第12課：動詞の体のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
8	第13課：関係代名詞の変化（性・数・格変化）	関係代名詞の変化＝形容詞の硬変化A
9	第13課：関係代名詞の用法	二つの文の結合の仕方（主節と従属節の形成）
10	第13課：関係副詞	疑問詞から派生する関係副詞、二つの文の結合の仕方（守拙と従属節の形成）

11	第13課：関係代名詞・関係副詞のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳
12	第13課：関係代名詞・関係副詞の会話	会話文の音読・読解・暗唱
13	第13課：関係代名詞・関係副詞のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
14	期末試験	文法問題、ロシア語文の日本語訳、日本語文のロシア語訳、それらの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は2時間を標準とします。

ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語 法政大学ロシア語担当教員編』（2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可）。辞書を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題、小テスト）20%、期末試験80%。適宜、既習の内容を復習するための課題の提示や小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。

ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です（1年次に学習した名詞の性・数・格を理解していないと、関係代名詞が分からない、あるいは、動詞の現在形・過去形・未来形を理解していないと、動詞の「体」が分からない等）。一步一步確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳（翻訳）の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 3 (Part1).

【Course Outline】 This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The purpose of this course is to learn the rest of the introductory grammar (perfective and imperfective verbs, relative pronoun and relative adverb), and also to develop the basics to read standard Russian texts.

【Learning Objectives】 At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts.

【Learnig activities outside of Classroom】 Befor/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

【Grading Criteria/Policy】 Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語3Ⅱ 2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法を一通り終える（具体的には、数詞の用法、比較級と最上級、仮定法）。その上で、標準的なロシア語の文章を読解する基礎を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

文法学習のポイントとなるのは、数詞の表現（個数・時間・年月日・年齢・値段）、形容詞・副詞の比較級と最上級、仮定法（過去・現在・未来）です。

文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「ロシア語3Ⅱ」（春学期）の復習	動詞の完了体・完了体、関係代名詞・関係副詞
2	第14課：個数詞と名詞の結合	個数詞一覧、個数詞（主格）と名詞の結合（1＋単数主格／2～4＋単数生格／5～＋複数生格）
3	第14課：時間の表現、年月日の表現	「何時（に）？」・「どのくらいの時間？」、「何日（に）？」・「何月（に）？」・「何年（に）？」・「何年何月何日（に）？」
4	第14課：年齢の表現、値段の表現	「何歳？」、「いくら？」
5	第14課：数詞のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳（翻訳）
6	第14課：数詞の会話	会話文の音読・読解・暗唱
7	第14課：数詞のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
8	第15課：形容詞・副詞の比較級	合成比較級、単一比較級、比較の対象の表わし方
9	第15課：形容詞・副詞の最上級	合成最上級、単一最上級、比較級を利用した最上級
10	第15課：仮定法	仮定法＝過去形＋бы
11	第15課：形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳（翻訳）

12	第15課：形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法の会話	会話文の音読・読解・暗唱
13	第15課：形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
14	期末試験	文法問題、ロシア語文の日本語訳、日本語文のロシア語訳、それらの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は2時間を標準とします。
ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語 法政大学ロシア語担当教員編』（2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可）。辞書を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点（課題、小テスト）20%、期末試験80%。適宜、既習の内容を復習するための課題の提示や小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。

ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です（名詞や形容詞の性・数・格を覚えていないと、数詞の表現や比較級・最上級が理解できない）。一步一步確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳（翻訳）の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 3 (Part2).

【Course Outline】This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The purpose of this course is to finish learning the elementary grammar (use of numerals, the comparative and the superlative, subjunctive mood), and also to develop the basics to read standard Russian texts.

【Learning Objectives】At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts.

【Learning Activities outside of Classroom】Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

【Grading Criteria/Policy】Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語3Ⅰ

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次にロシア語を学んだ学生を対象とする授業です。ロシア語1と2で学んだ文法事項を復習してから、教科書にそって未習の文法事項を学びます。基礎文法をひとつおろし学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。

【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また知識の定着や習熟度の確認のために、適宜小テストを実施し、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	既習文法の確認と復習
2	動詞の体の用法①	動詞の完了体、完了体の練習
3	動詞の体の用法②	動詞の体を意識したテキストの読解
4	関係代名詞	関係代名詞の説明と練習
5	関係副詞	関係代名詞、関係副詞が含まれるテキストの読解
6	数詞を含む表現①	数詞と名詞の結びつきの説明、時間の表現
7	数詞を含む表現②	年齢と年月日の表現の練習
8	数詞を含む表現③	数詞が含まれるテキストの読解
9	形容詞、副詞の比較級	形容詞、副詞の比較級の用法
10	形容詞、副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級の用法
11	仮定法	仮定法の説明と用法
12	形容詞・副詞のまとめ	形容詞、副詞関連の総復習
13	まとめと練習	既習事項のまとめと練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は予習・復習が大切です。事前に新出単語を調べ、授業で学んだことを復習しましょう。格変化形は格変化表を繰り返し見て覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）40%、期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is more than one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%、in class contribution: 40% the foundations for reading and understanding Russian texts.

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語3Ⅱ 2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。ロシア語の文章を構文を把握しながらじっくりと読んでいきます。その過程で、これまでに学んだ文法事項を確認し、さらに未習の文法事項を学びます。語彙を増やし読解力を身につけることによって、自分の力でロシア語の情報を得られるようになることを目指します。

【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明や練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。また知識の定着や習熟度の確認のために、適宜小テストを実施し、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期に学んだことの復習
2	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（格変化の復習）
3	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（関係代名詞の復習）
4	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（時間表現の復習）
5	運動の動詞の復習	文法解説と練習
6	運動の動詞と接頭辞	文法説明と練習
7	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（運動の動詞と接頭辞の復習）
8	副動詞、動詞の体の用法の復習	文法解説と練習
9	能動形動詞	文法解説と練習
10	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（能動形動詞の復習）
11	能動形動詞	文法解説と練習
12	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（能動形動詞の復習）
13	総復習	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくる。格変化の形は何度も復習して定着させましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語教員編）を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社

露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）40％、期末試験60％の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to increase vocabulary and reading skills in order to get information in Russian by ourselves.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is more than one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60％、in class contribution: 40％

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語3 I 2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語の基本的な文法の学習を終え、かんたんなロシア語テキストの講読を行う。

【到達目標】

新聞やネットなどのロシア語短文にも挑戦できる力をつける。辞書を用いて読解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストを通じロシア語を読み、書き、そして簡単な会話ができるように、音読に力を入れます。適宜小テストを行い、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習1	これまでの復習（運動の動詞、名詞の前置格、対格、生格）
2	復習2	これまでの復習（名詞の与格と造格）
3	第12課 動詞の完了体、不完了体	完了体と不完了体の文法説明
4	第12課 動詞の体と時制	第12課の「体と時制」、テキストの読解と文法説明
5	第12課	会話の読解と練習問題の答え合わせ、文法の復習
6	第13課 関係代名詞、関係副詞	関係代名詞と関係副詞の文法説明
7	第13課	テキストと会話の読解
8	第14課 数詞と時間	文法：数詞と名詞の結びつき、個数詞と順序数詞を覚える
9	第14課 数詞と時間（年月日の表現、年齢の表現など）	年月日の表現、年齢の表現などの文法説明、テキストの読解
10	第14課 会話と練習問題	会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
11	第15課 比較級、最上級、仮定法	比較級、最上級、仮定法の文法説明
12	第15課 テキスト、会話、練習問題	テキスト、会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
13	春期の総復習	春期に学んだ範囲の総復習
14	春学期試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ネットなどを用いてロシア語に関する新聞・雑誌等の記事を読み、ロシア語だけでなく、ロシアのことに関心を持ちましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40%、学期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire the basics of Russian grammar.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook, and to read simple Russian texts.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is more than one hour for each class meeting.

Grading Criteria / Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語3Ⅱ 2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基本的な文法を終えたので、配布するテキストの講読に入ります。今まで学んだ文法を復習しつつ、より高度な文法事項を学びます。

【到達目標】

新しい単語や文法の学習。会話にも慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

辞書を用いてテキストの読みと訳を確実にできるようにするため、多くのテキストを精読していきます。適宜小テストを行い、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習1	春学期の復習（12課～13課）数詞と順序数詞の復習
2	復習2	春学期の復習（14課～15課）数詞と順序数詞の復習・暗記
3	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法のまとめ
4	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。形容詞短語尾形について
5	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。形動詞について
6	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。能動形動詞現在と過去
7	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。被動形動詞の現在と過去
8	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。被動形動詞過去単語尾形について
9	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。副動詞について
10	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法の総まとめ
11	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法の確認
12	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法の練習
13	秋学期の総復習	もう一度困難な文章などを復習する
14	秋学期試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ロシア語に関する新聞・雑誌等の記事に慣れ親しむ。ロシアのニュースや文化に関心を持つ。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。『初級ロシア語』（法政大学ロシア語教員編）を持参すること。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40%、学期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire advanced Russian grammar.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook, and to read various Russian texts.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is more than one hour for each class meeting.

Grading Criteria / Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語 4 I

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月3/Mon.3

単位数: 1単位

その他属性: <他> <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

既習の初級文法を全面的に復習し、加えて未習の文法事項を学習する。格変化をただ頭で分かっているだけでは、それを実際に(読み書き・会話の際に)運用するには不十分である。そのため、名詞・形容詞・所有代名詞の単数形および複数形の(まずは)前置格・対格・生格を自由に作り出し、即座に見分けることができるよう反復練習を行う(例えば、новый журнал, моя машина, русское словоの単数形および複数形の前置格・対格・生格を反射的に言えるようにする)。また、この練習を踏まえて、特に読む力、すなわち生きた現実で出会われる標準的なロシア語の文章(書籍・新聞・雑誌・ネット上のテキスト等)を読解する能力を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

文法事項を解説し練習問題で理解を定着させ、またテキストを読解し翻訳する、実習型の授業となります。学習支援システムで課題を提示したり、授業時間内に小テストを実施したりします。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	動詞の現在形、名詞の複数形、形容詞の性・数変化	動詞の現在形(第1変化)、男性名詞・女性名詞・中性名詞の規則的な複数形と不規則的な複数形、形容詞の性・数変化の6パターン(硬変化A・硬変化B・軟変化/混合変化A・混合変化B・混合変化C)
2	名詞の前置格	名詞の前置格のパターン(単数形・複数形)、名詞の前置格の用法
3	形容詞・所有代名詞の前置格	形容詞・所有代名詞の前置格のパターン(単数形・複数形)
4	名詞・形容詞・所有代名詞の前置格	様々な形容詞・所有代名詞の前置格と様々な名詞の前置格の結合
5	動詞の現在形、名詞の対格	動詞の現在形(第2変化)、名詞の対格のパターン(単数形・複数形)、名詞の対格の用法
6	形容詞・所有代名詞の対格	形容詞・所有代名詞の対格のパターン(単数形・複数形)
7	名詞・形容詞・所有代名詞の対格	様々な形容詞・所有代名詞の対格と様々な名詞の対格の結合

8	名詞の生格	名詞の生格のパターン(単数形・複数形)、名詞の生格の用法
9	形容詞・所有代名詞の生格	形容詞・所有代名詞の生格のパターン(単数形・複数形)
10	名詞・形容詞・所有代名詞の生格	様々な形容詞・所有代名詞の生格と様々な名詞の生格の結合
11	с я 動詞、動詞の過去形、形容詞の短語尾形	с я 動詞の現在形、動詞(с я 動詞も含む)の過去形、形容詞の短語尾形の作り方と用法
12	形容詞と名詞の格変化	形容詞と名詞(単数形・主格)の(単数形・複数形)前置格・対格・生格への変化
13	所有代名詞と名詞の格変化	所有代名詞と名詞(単数形・主格)の(単数形・複数形)前置格・対格・生格への変化
14	期末試験	文法問題、ロシア語テキストの日本語訳、それらの解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、1回につき2時間を標準とする。練習問題については、授業前に解答を用意し、授業中に答えなければならない。また、授業後に復習し、小テストに備えなければならない。

テキスト読解に関しては、自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に理解し、日本語訳(翻訳)を各自で提出しなければならない。

【テキスト(教科書)】

『ロシア語初級』法政大学ロシア語教員編(2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可)。
また、格変化の反復練習用等、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、文法の知識と読解力を問う期末テスト80%。
平常点は課題の提出、小テストの評価。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。
日本語訳(翻訳)の作成を課する。
授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 4 (Extra lesson) (Part1).

【Course Outline】The aim of this course is to review, in a short term, the elementary grammar totally, and to learn the unlearned grammar (especially, repetitive practice to be able to freely produce the prepositional, accusative, and genitive cases of singular and plural nouns, adjectives, and possessive pronouns) and also to develop further ability to read standard Russian texts.

【Learning Objectives】At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts.

【Learning Activities outside of Classroom】Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

【Grading Criteria/Policy】Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語 4 II

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

既習の初級文法の復習を継続し、加えて未習の文法事項を学習する。「ロシア語4 I」の続きとして、名詞・形容詞・所有代名詞の単数形および複数形の与格・造格を作り出し、見分けることができるよう反復練習を行う（例えば、новый журнал, моя машина, русское словоの単数形および複数形の与格・造格を反射的に言えるようにする）この練習を踏まえ、生きた現実の、標準的なレベルのロシア語の文章を読解する能力をさらに養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。書籍、新聞や雑誌、ネット上の文章から、最低限の情報を得ることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

文法事項を解説し練習問題で定着させ、またテキストを読解し翻訳する、実習型の授業になります。学習支援システムで課題を提示したり、授業時間内に小テストを実施したりします。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	形容詞と名詞の格変化（復習）	形容詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化
2	所有代名詞と名詞の格変化（復習）	所有代名詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格への変化
3	名詞の与格	名詞の与格のパターン（単数形・複数形）、名詞の与格の用法
4	形容詞・所有代名詞の与格	形容詞・所有代名詞の与格のパターン（単数形・複数形）
5	名詞・形容詞・所有代名詞の与格	様々な形容詞・所有代名詞の与格と様々な名詞の与格の結合
6	動詞の未来形、無人称文	動詞の合成未来形の作り方、無人称文の特徴、無人称文の現在形・過去形・未来形
7	動詞の命令形、否定の表現	動詞の命令形の3パターン、否定生格、「何も～ない」
8	名詞の造格	名詞の造格のパターン（単数形・複数形）、名詞の造格の用法
9	形容詞・所有代名詞の造格	形容詞・所有代名詞の造格のパターン（単数形・複数形）
10	名詞・形容詞・所有代名詞の造格	様々な形容詞・所有代名詞の造格と様々な名詞の造格の結合

11	形容詞と名詞の格変化	形容詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）与格・造格への変化
12	所有代名詞と名詞の変化	所有代名詞と名詞（単数形・複数形）の（単数形・複数形）与格・造格への変化
13	形容詞・所有代名詞と名詞の格変化	形容詞・所有代名詞と名詞（単数形・主格）の（単数形・複数形）前置格・対格・生格・与格・造格への変化
14	期末試験	文法問題、ロシア語テキストの日本語訳、それらの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は2時間を標準とする。練習問題については、授業前に解答を用意し、授業中に答えなければならない、また、授業後に復習し、小テストに備えなければならない。テキスト読解に関しては、自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に理解し、日本語訳（翻訳）を各自で提出しなければならない。

【テキスト（教科書）】

『ロシア語初級』法政大学ロシア語教員編（2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可）。また、格変化の反復練習用等、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、文法の知識と読解力を問う期末テスト80%。平常点は課題の提出、小テストの評価。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。日本語訳（翻訳）の作成を課する。授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 4 (Extra lesson) (Part2).

【Course Outline】The aim of this course is to review the elementary grammar totally, and to learn the unlearned grammar (especially, repetitive practice to be able to freely produce the dative and instrumental cases of singular and plural nouns, adjectives, and possessive pronouns) and also to develop further ability to read standard Russian texts.

【Learning Objectives】At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts.

【Learning Activities outside of Classroom】Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

【Grading Criteria/Policy】Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語 4 I

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次のロシア語学習を終えた学生を対象とする授業です。既習の文法事項を復習してから、教科書やプリント教材を用いて、未習の文法事項を学びます。基礎文法をひととおり学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。要望があれば、ロシア語能力検定試験に対応する勉強も行います。

【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書やプリント教材を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、適宜、課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習 (1)	格変化の復習（主格、生格）
2	既習文法の復習 (2)	格変化の復習（与格、対格）
3	既習文法の復習 (3)	格変化の復習（造格、前置格）
4	既習文法の復習 (4)	格変化の復習（人称代名詞）
5	動詞 (1)	動詞関連の文法事項の復習
6	動詞 (2)	動詞の完了体、不完了体の用法の説明と練習
7	動詞 (3)	テキストの音読と読解
8	関係代名詞 (1)	関係代名詞の説明と練習
9	関係代名詞 (2)	関係副詞、接続詞 что бы の説明と練習
10	関係代名詞 (3)	テキストの音読と読解
11	数詞、時間 (1)	数詞と名詞の結合の説明と練習
12	数詞、時間 (2)	時間表現の説明と練習
13	数詞、時間 (3)	テキストの音読と読解
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語は事前に辞書で意味を確認し、授業で学んだことは復習しましょう。格変化形や動詞の活用は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可]
その他、適宜プリント教材を配布します。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is more than one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語 4 II 2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。さまざまなテーマのテキストの読解を通して、既習の文法事項を復習しながら、未習の文法事項を学びます。ロシア語の文章に慣れ親しみ、基礎文法の応用レベルでの定着を目指します。また、視聴覚教材を用いて、生のロシア語に触れる機会を作ります。要望があれば、ロシア語能力検定試験に対応する勉強も行います。

【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また、語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書やプリント教材を用いて、未習の文法事項について学んだ上で、テキストを講読します。テキストは構文を把握しながら、じっくりと読み進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、適宜、課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期に学んだことの復習	格変化、動詞、関係代名詞、体の用法の復習
2	数詞、時間 (4)	数詞と名詞の結合、時間表現の復習
3	数詞、時間 (5)	年月日の表現の説明と練習
4	数詞、時間 (6)	年齢の表現、値段の表現の説明と練習
5	数詞、時間 (7)	テキストの音読と読解
6	形容詞の短語尾形、比較級、最上級	形容詞の短語尾形、比較級、最上級の説明と練習
7	仮定法	仮定法の説明と練習
8	運動の動詞と接頭辞 (1)	接頭辞の種類と対応する前置格の説明と練習
9	運動の動詞と接頭辞 (2)	テキストの音読と読解
10	運動の動詞と接頭辞 (3)	スキットのセリフを聞き取る
11	文章読解 (1)	ロシアの民話を読む
12	文章読解 (2)	ロシアの文化に関するテキストを読む
13	文章読解 (3)	ロシアの歴史に関するテキストを読む
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳の準備等）は必ずやってくる。格変化や動詞の活用、数詞は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可] を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to get used to Russian texts with various themes and master Russian basic grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is more than one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、in class contribution: 50%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語5 I

2017年度以降入学者

エレナ 三神

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常的に使われるロシア語を場面ごとに学び、ロシア語のコミュニケーション能力を高める授業です。ロシア語の文法知識を口頭表現、聴解、作文などの練習をとおして実践的な能力として定着させます。

【到達目標】

日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

一年に通じて日常的なコミュニケーションに使う文型・語彙・表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。

宿題提出や単語学習などのために学習支援システムと各オンライン学習アプリケーションを使います。課題などに対する教員のフィードバックは、授業時や学習支援システム経由で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	紹介：名前、出身、職業	リスニング、会話練習
2	家族の話	リスニング、会話練習
3	趣味	リスニング、会話練習
4	一日の流れ	リスニング、会話練習
5	一日の流れ（続き）	リスニング、会話練習
6	時間、スケジュール	リスニング、会話練習
7	国、言語、国籍	リスニング、会話練習
8	天気、季節	リスニング、会話練習
9	行ったことがある所	リスニング、会話練習
10	休暇の過ごし方	リスニング、会話練習
11	週の予定	リスニング、会話練習
12	好きな事、好きなものの	リスニング、会話練習
13	春学期の復習	リスニング、会話練習
14	春学期末テスト	聴解・筆記と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習・復習時間は合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

学習支援システムにてプリント教材を配布します。

【参考書】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）2018/2019年度版

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト 50%、複数小テスト 30%、宿題 20%

【学生の意見等からの気づき】

ロシア語のみの教材に和文解説をつけるようになりました。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる端末（PCやタブレットなど）、Zoom授業になる場合には、Wi-Fi通信環境が必要になります。

【その他の重要事項】

実際の授業状況や履修者の能力に応じて授業のペースやスケジュールは変更することがあります。ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

(Learning Objectives)

At the end of the course, students are expected to be able to carry out simple conversations in Russian in everyday situations or when traveling in Russia.

(Learning activities outside of classroom)

The standard expectation for combined preparatory and review time is one hour or more.

(Grading Criteria /Policy)

Term-end examination 50%、Word tests 30%、Homework 20%

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語5Ⅱ 2017年度以降入学者

エレナ 三神

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日常的に使われるロシア語を場面ごとに学び、ロシア語のコミュニケーション能力を高める授業です。ロシア語の文法知識を口頭表現、聴解、作文などの練習をとおして実践的な能力として定着させます。

【到達目標】

日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとれることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

一年に通じて日常的なコミュニケーションに使う文型・語彙・表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。

宿題提出や単語学習などのために学習支援システムと各オンライン学習アプリケーションを使います。課題などに対する教員のフィードバックは、課題内容によって授業時や学習支援システム経由や提出した課題につけたコメントのリンク送信などの方法で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	モスクワを歩く	リスニング、会話練習
2	私の街	リスニング、会話練習
3	お買い物	リスニング、会話練習
4	食べ物、お食事	リスニング、会話練習
5	家と部屋	リスニング、会話練習
6	映画	リスニング、会話練習
7	いつも通うところ	リスニング、会話練習
8	乗り物で行く	リスニング、会話練習
9	空港で	リスニング、会話練習
10	ロシアの年行事	リスニング、会話練習
11	ToDo リスト	リスニング、会話練習
12	電話、メール	リスニング、会話練習
13	秋学期の復習	リスニング、会話練習
14	秋学期末テスト	聴解・筆記と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習・復習時間は合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時および学習支援システムにてプリントを配布します。

【参考書】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）2018/2019年度版

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト 50%、複数小テスト 30%、宿題 20%

【学生の意見等からの気づき】

ロシア語のみの教材に和文解説をつけるようになりました。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる端末（PCやタブレットなど）、Zoom授業になる場合には、Wi-Fi通信環境が必要になります。

【その他の重要事項】

実際の授業状況や履修者の能力に応じて授業のペースやスケジュールは変更することがあります。ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

(Learning Objectives)

At the end of the course, students are expected to be able to carry out simple conversations in Russian in everyday situations or when traveling in Russia.

(Learning activities outside of classroom)

The standard expectation for combined preparatory and review time is one hour or more.

(Grading Criteria /Policy)

Term-end examination 50%, Word tests 30%, Homework 20%

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語7

2017年度以降入学者

佐藤 千登勢

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだロシア語文法を復習しながら、新たな文法事項（数詞、比較級・最上級、形動詞・副動詞）を学んでいき、ロシア語文法の基礎をひとつおりの完成させることになります。

【到達目標】

辞書があればロシア語の文章を読めるようになるレベルを目指し、文法の基礎力の充実と語彙力の増大に努めます。コミュニケーションの上でも、文法力と語彙力は不可欠です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

まだ学習していないロシア語文法のいくつかの事項（数詞、比較級、最上級、仮定法、副動詞、形動詞）を練習問題を重ねつつ、学んでいきます。課題と小テストのフィードバックは翌週の授業で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスとロシア語文法の復習	既習文法の復習を練習問題を通して行う。
第2回	数詞を使った表現	時間の表現、年月日の表現など数詞の使い方を学ぶ。練習問題とテキスト読解。
第3回	数詞、比較級	数詞の表現の復習。比較級の暗記、比較級を使った表現について。練習問題。
第4回	最上級、仮定法	比較級の復習。最上級と仮定法の概説。テキスト読解と練習問題。
第5回	副動詞	副動詞（完了体・完了体）の説明。練習問題。
第6回	副動詞と形動詞	副動詞の復習。形動詞（能動形動詞・現在、過去）の説明。
第7回	形動詞（受動形動詞現在）	能動形動詞（現在、過去）の復習。受動形動詞（現在）の説明。
第8回	形動詞（受動形動詞過去）	受動形動詞現在の練習問題と復習。受動形動詞過去の説明。
第9回	形動詞のまとめ	受動形動詞過去の確認と練習問題。
第10回	長文読解：エストニアについて（1）	エストニアの国旗の由来について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第11回	長文読解：エストニアについて（2）	エストニアの独立記念日と独立回復記念日について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第12回	長文読解：エストニアについて（3）	エストニアの独立記念日と独立回復記念日について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。

第13回 長文読解：エストニアについて（4） エストニアの独立記念日と独立回復記念日について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。

第14回 学期末試験 ロシア語文法の総復習をかねて、試験を行う。まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配付プリントの予習。適宜、課題も出すので必ず提出してください。また、長文読解に際しては、辞書を引く労を惜まずに「自分の単語帳」を作って語彙力の増大に励んで下さい。本授業の予習・復習時間は、1回につき1.5時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語教員 編）

その他、教場で配付、もしくは学習支援システムを介してプリントを配付します。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50％）、期末試験（25％）、小テスト（25％）。この成績評価をもとに本授業の到達目標の60％以上を達成した学生を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

習得に困難な文法事項を学び、文法の総仕上げをする授業となりますが、平易に教えるよう努めます。

【Outline (in English)】

●Cours outline

This course proceeds in close contact with course: Russian 8.

In this course, we will acquire basics of Russian grammar: numbers, comparatives, superb, and participles.

●Learning objectives

With a dictionary, you will be able to read some level of Russian text. Improve the basics of grammar and increase vocabulary.

●Learning activities outside of classroom

Preparation for the next lesson takes about 1.5 hours.

●Grading Criteria/ Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance (50 %), term-end exam(25 %) and quizzes(25 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語 8

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシア語の基礎文法の学習を終えた人を対象にした授業です。さまざまなテーマのテキストの読解を通して、既習の文法事項を復習しながら、未習の文法事項を学びます。ロシア語の文章に慣れ親しみ、基礎文法の応用レベルでの定着を目指します。また、視聴覚教材を用いて、生のロシア語に触れる機会を作ります。

【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また、語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書やプリント教材を用いて、未習の文法事項について学んだ上で、テキストを講読します。テキストは構文を把握しながら、じっくりと読み進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、適宜、課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数詞、時間 (1)	数詞と名詞の結合の復習
2	数詞、時間 (2)	時間表現の復習
3	数詞、時間 (3)	年月日の表現の説明と練習
4	数詞、時間 (4)	年齢の表現、値段の表現の説明と練習
5	比較級、最上級	比較級、最上級の説明と練習
6	仮定法	仮定法の説明と練習
7	副動詞	動詞の体の用法の復習、副動詞の説明と練習
8	能動形動詞	能動形動詞の説明と練習
9	被動形動詞	被動形動詞の説明と練習
10	文章読解 (1)	ロシアの文化に関するテキストを読む
11	文章読解 (2)	ロシアの歴史に関するテキストを読む
12	文章読解 (3)	ロシアの民話を読む
13	文章読解 (4)	ロシアの文学作品を読む
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳の準備等）は必ずやってくる。格変化や動詞の活用、数詞は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可] を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to get used to Russian texts with various themes and master Russian basic grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is more than one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語3-1

2017年度以降入学者

小澤 裕之

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次にロシア語を学んだ学生を対象とする授業です。ロシアのアニメーションやミュージックビデオ（MV）のほか、『葬送のフリーレン』など日本のさまざまなアニメーションのロシア語版トレーラーや主題歌を視聴しながら、ロシア語の初歩を学習します。

【到達目標】

ロシア語の基本的な文法事項を学び、いろいろなテキストや映像に触れることで、日常生活で使われるロシア語の簡単な文章を読めるようになることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めます。また随時、ロシアのアニメーションやMV、ロシアに関連する日本の映像作品を視聴します。なお知識の定着および習熟度の確認のため、定期的に単語テストや小テストを実施します。予習や質問、小テストや期末テストへのフィードバックは教室で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	1年次に学んだことの復習
2	第12課 動詞の完了体、不完了体①	動詞の不完了体、完了体
3	第12課 動詞の完了体、不完了体②	読解、練習問題
4	第13課 関係代名詞、関係副詞①	関係代名詞
5	第13課 関係代名詞、関係副詞②	関係副詞、練習問題
6	第14課 数詞、時間①	個数詞と名詞の結合
7	第14課 数詞、時間②	読解、練習問題
8	第15課 比較級、最上級、仮定法①	比較級と最上級
9	第15課 比較級、最上級、仮定法②	仮定法、練習問題
10	運動の動詞と接頭辞	文法解説、練習問題
11	副動詞	文法解説、練習問題
12	形動詞①	能動形動詞、練習問題
13	形動詞②	受動形動詞、練習問題
14	期末試験	試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

新出単語を予習し、教科書の文章を10回音読しましょう。予復習の目安は1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編、2018/2019年度版）

【参考書】

露和辞典（『博友社ロシア語辞典』が初級者用の定番です）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、単語テスト、小テストなど）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

私は今年初めてこの授業を担当しますが、受講生の皆さんが気軽に意見を述べたり質問したりしやすい環境を作るよう心がけます。

【その他の重要事項】

受講生の理解度によって、授業進度や授業計画を変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course is designed for students who studied Russian in their first year. Through watching Russian animation and music videos, as well as Russian dubbed trailers and theme songs of various Japanese animation, students will continue learning the basics of the Russian language.

(Learning Objectives)

The goal of this course is to help students understand simple everyday sentences in Russian by learning basic Russian grammar and by exploring a variety of texts and videos.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class, students are expected to review new vocabulary and go over what they have learned.

(Grading Criteria /Policy)

Your overall grade will be based on the following components:

Class participation and coursework (including vocabulary quizzes and short tests): 50%

Final examination: 50%

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

ロシア語3-II

2017年度以降入学者

小澤 裕之

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法を終えた人を対象とした授業です。これまで学んだ文法知識を活かし、簡単なロシア語で書かれたユーモラスな短篇小説を皆で精読しながら、ロシア語の基本的な文法事項を定着させます。

【到達目標】

皆でロシア語の小説を読み、日本語に翻訳する作業を通し、ロシアの文学作品をみずから読める力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

ロシアの有名な作家によるユーモラスな小説を中心に、簡単なロシア語で書かれた短篇を皆で精読していきます。予習や質問、期末テストへのフィードバックは教室で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期に学んだことの復習
2	トルストイ「3びきのくま」(1)	音読と精読
3	トルストイ「3びきのくま」(2)	音読と精読
4	ロシアの小話(1)	音読と精読
5	ロシアの小話(2)	音読と精読
6	チェーホフ「喜び」(1)	音読と精読
7	チェーホフ「喜び」(2)	音読と精読
8	チェーホフ「太った人とやせた人」(1)	音読と精読
9	チェーホフ「太った人とやせた人」(2)	音読と精読
10	チェーホフ「太った人とやせた人」(3)	音読と精読
11	チェーホフ「別荘で」(1)	音読と精読
12	チェーホフ「別荘で」(2)	音読と精読
13	チェーホフ「別荘で」(3)	音読と精読
14	期末試験	試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

配布するテキストを音読し、訳してきてください。目安は1時間半程度です。なお期末試験では、授業で講読したテキストの文法・語彙の理解度を確認します。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

露和辞典（『博友社ロシア語辞典』が初級者用の定番です）

【成績評価の方法と基準】

授業への参加50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

私は今年初めてこの授業を担当しますが、受講生の皆さんが気軽に意見を述べたり質問したりしやすい環境を作るよう心がけます。

【その他の重要事項】

受講生の理解度によって、授業進度や授業計画を変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course is designed for students who have completed elementary Russian grammar. Students will reinforce basic Russian grammar by close reading of short stories written in simple Russian.

(Learning Objectives)

The goal of this course is to help students develop the ability to read Russian literary works on their own by reading Russian short stories together and translating them into Japanese.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class, students will be expected to read the distributed texts aloud and prepare written translations. The final exam will assess students' understanding of the grammar and vocabulary in the texts read during the course.

(Grading Criteria /Policy)

Your overall grade will be based on the following components:

Class participation and coursework: 50%

Final examination: 50%

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ロシア語の世界 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

定員制(60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ロシアの歴史や文化を概観し、ロシアという国がどのような国なのか、その特質(「ロシアという国のかたち」)を理解する。それによって、ロシア語の背景をなす「レアリア」の基本を獲得する。ロシア語を履修していなくても受講可能。

【到達目標】

一般の日本人にとっては理解しにくいロシアという国について、明確なイメージを持つことができる。
また、そうしたロシアの歴史や文化に関する理解を背景知識として利用することで、ロシア語の学習をより効果的に進めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義型の授業となる。

毎回授業に関する感想や質問を提出してもらい、それらに対しては学習支援システムを通じて回答したり、授業中にテーマとして取り上げたりする。

学期末に、授業で取り上げたテーマに関するレポートを作成する。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	9世紀半ばから13世紀の歴史	建国伝説、「キエフ・ルーシ」
第2回	13世紀から16世紀の歴史	「タタールの軼」、モスクワ大公国から「ロシア」へ(イヴァン3世とイヴァン4世)
第3回	17世紀の歴史	「動乱」、ロマノフ朝の成立
第4回	18世紀前半の歴史	ピョートル1世、「ロシア帝国」
第5回	18世紀後半の歴史	エカチェリーナ2世、ポーランド分割、「新ロシア」とクリミア半島、ウクライナ
第6回	19世紀初めの歴史	アレクサンドル1世、ナポレオン戦争、デカブリストの乱
第7回	19世紀半ばの歴史	ニコライ1世、クリミア戦争、アレクサンドル2世、農奴解放
第8回	19世紀終わりの歴史	アレクサンドル3世、産業革命
第9回	20世紀初めの歴史(0年代～20年代)	ニコライ2世、第1革命、第1次世界大戦、ロシア革命、「ソ連」、レーニン
第10回	20世紀半ばの歴史(30年代～40年代)	スターリン、第2次世界大戦
第11回	20世紀半ばの歴史(50年代～60年代)	冷戦、フルシチョフ
第12回	20世紀終わりの歴史(70年代～80年代)	停滞からペレストロイカへ、ゴルバチョフ

第13回 20世紀末の歴史(90年代) ソ連崩壊、「ロシア連邦」、エリツィン

第14回 21世紀初めの歴史 ブーチン、ウクライナ戦争

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
参考文献を事前に読む。授業後数日以内に感想や質問を書く。
学期末には、授業で取り上げたテーマに関するレポートを準備する。

【テキスト(教科書)】

プリントを配布する。

【参考書】

『新版世界各国史22 ロシア史』山川出版社、2002年。

『新版ロシアを知る事典』平凡社、2004年。

『ロシア文化事典』丸善出版、2019年。

【成績評価の方法と基準】

平常点(感想や質問の提出)40%、期末レポート60%。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発言や発表の機会をより増やす。

毎授業の途中や最後に、授業内容に関する復習問題に取り組む。

【Outline (in English)】

【Course Outline】The aim of this course is to survey history and culture of Russia, as a background to the Russian language.

【Learning Objectives】We will understand what kind of country Russia is and its special characteristics.

【Learning activities outside of Classroom】Students will be expected to have written a short report after every class work. Your study time will be more than two hours for a class.

【Grading Criteria/Policy】Your final grade will be decided based on the following. Term-end report(40%), Short reports(40%), and in-class contribution(20%).

ARSa200LA（地域研究（ヨーロッパ） / Area studies(Europe) 200）
ロシア語の世界 L B 2017年度以降入学者
サブタイトル：
木部 敬
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水3/Wed.3
単位数：2単位
定員制(60)
その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシアの周辺国、すなわち、北欧、中・東欧、旧ソ連圏の国々、さらには中東や南アジアなどの歴史や文化を概観することによって、ロシア語の背景をなす「レアリア」を獲得する。より広い視野においてロシアという国を理解する。
ロシア語を履修していなくても受講可能。

【到達目標】

一般の日本人にとってなじみのないロシアの周辺国、およびこれらの国々とロシアとの関係について明確なイメージを持ち、ロシアやこれらの国や地域の持つ世界史的な意義を理解できる。
また、そうした理解を背景知識として利用することで、ロシア語の学習をより効果的に進めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義型の授業となる。

毎回授業に関する感想や質問を提出してもらい、それらに対しては学習支援システムを通じて回答したり、授業中にテーマとして取り上げたりする。

学期末に、授業で取り上げたテーマに関するレポートを作成する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ロシアの周辺国（現在の国境、スラヴ諸族と現在の国家を含めて）、20世紀までのロシアの歩み、問題の設定（これからの世界とロシア）
第2回	ロシアの周辺国の歴史（その1）	北欧の歴史—デンマーク・スウェーデン・ノルウェー・フィンランド（前半：16世紀まで；ヴァイキングの遠征、デンマークによるカルマル同盟、同盟からのスウェーデンの独立）
第3回	ロシアの周辺国の歴史（その2）	北欧の歴史—デンマーク・スウェーデン・ノルウェー・フィンランド（後半：16世紀以降；デンマークの興隆と衰退と復興、スウェーデンの興隆と衰退と復興、ノルウェーの独立、フィンランドとアイスランドの独立）

第4回	ロシアの周辺国の歴史（その3）	バルト三国の歴史—エストニア・ラトヴィア・リトアニア（リヴォニアとドイツ騎士団、リトアニアの発展、ポーランドによるリトアニアの吸収、ロシア帝国によるリヴォニア・ポーランド・リトアニアの全面的支配、バルト三国の独立）
第5回	ロシアの周辺国の歴史（その4）	ポーランドの歴史（前半：17世紀半ばまで；成長期、最盛期、衰退期）
第6回	ロシアの周辺国の歴史（その5）	ポーランドの歴史（後半：17世紀半ば以降；独立喪失期、独立の回復）
第7回	ロシアの周辺国の歴史（その6）	ウクライナの歴史（前半：13世紀まで；キエフ・ルーシ、タタールの軛）
第8回	ロシアの周辺国の歴史（その7）	ウクライナの歴史（後半：13世紀以降；ポーランド・リトアニア時代、ロシア帝国時代、ソ連時代）
第9回	ロシアの周辺国の歴史（その8）	中央アジア五国の歴史—カザフスタン・ウズベキスタン・トルクメニスタン・キルギスタン・タジキスタン（前半：9世紀まで；イラン系の興隆、トルコ系の侵入）
第10回	ロシアの周辺国の歴史（その9）	中央アジア五国の歴史—カザフスタン・ウズベキスタン・トルクメニスタン・キルギスタン・タジキスタン（後半：9世紀以降；イスラムの興隆、モンゴルの侵攻、トルコ化とイスラム化、ロシア帝国・ソ連と清・中国の支配）
第11回	ロシアの周辺国の歴史（その10）	コーカサス三国の歴史—ジョージア・アルメニア・アゼルバイジャン（東西南北の諸勢力の交差点としての北コーカサスと南コーカサス、前6世紀以来のジョージア、前6世紀以来のアルメニア、3世紀以来のアゼルバイジャン）
第12回	ロシアの周辺国の歴史（その11）	トルコ（オスマン帝国）の歴史（前半：16世紀まで；封建的帝国期、集権的帝国期）
第13回	ロシアの周辺国の歴史（その12）	トルコ（オスマン帝国）の歴史（後半：16世紀以降；分権的帝国期、近代的帝国期）
第14回	コンクルージョン	グローバリゼーション、グローバル・サウスの台頭、これからの世界とロシア

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
参考文献を事前に読む。授業後数日以内に感想や質問を書く。
学期末には、授業で取り上げたテーマに関するレポートを準備する。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布する。

【参考書】

山川出版社「世界各国史」シリーズ。
明石書店「～を知るための〇章」シリーズ。
『民族の世界史10 スラヴ民族と東欧ロシア』山川出版社。
森安達也『ビザンツとロシア・東欧』講談社。

【成績評価の方法と基準】

平常点（感想や質問の提出）40%、期末レポート60%。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発言や発表の機会をより増やす。
毎授業の途中や最後に、授業内容に関する復習問題に取り組む。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 The aim of this course is to provide an overview of the history and culture of Northern, Central, and Eastern Europe, as well as other countries and regions surrounding Russia (including former Soviet states, the Middle East, South Asia, etc.), as a background to the Russian language.

【Learning Objectives】 We will understand the specifics of Russia from a broader perspective.

【Learning activities outside of Classroom】 Students will be expected to have written a short report after every class work. Your study time will be more than two hours for a class.

【Grading Criteria/Policy】 Your final grade will be decided based on the following. Term-end report(40%), Short reports(40%), and in-class contribution(20%).

ARSa200LA（地域研究（ヨーロッパ） / Area studies(Europe) 200）		
ロシアの文化と社会 L A		2017年度以降入学者
サブタイトル：		
佐藤 千登勢		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金4/Fri.4		
単位数：2単位		
定員制		
その他属性：〈他〉〈優〉		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 ロシアに興味をもつ学生であれば、ロシア語を学習していなくとも履修できます。なお、SAエストニア（SAロシア代替）の事前学習も兼ねるので、SAエストニアの1年生もしくは2年生は必ず履修してください。 ロシアは、峻厳で美しい自然、深く豊かな芸術（文学、音楽、美術、映画、アニメ、演劇、バレエ、建築など）に満ちた国、また、繊細で優美、神秘的でありながら素朴でパワフルという両極端な感覚に引き裂かれた、なんとも魅力溢れる国です。また、アジアとヨーロッパの文化的融合、社会主義から資本主義へのイデオロギー的・体制的移行、多民族の共生など、複雑で多面的な様相も興味深いものです。こうしたロシアのさまざまな側面を映像・レジュメ資料・概説を通して紹介していくのがこの授業ですが、これら多様な側面を統合して、ロシアの像を結んでいく作業を行うのはみなさん一人ひとりです。 【到達目標】 この授業は、受動的に講義を聴いたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導くこと、そして教員が提起した問題に対して自身の意見を適切な文章でまとめる力を養うことを目的としています（コメントシートを通して）。つねに問題意識や批判的観点を抱きながら、授業に臨んでほしいと思います。 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1 【主な授業方法】 L 講義 /Lecture 【授業の進め方と方法】 教場で資料を配付し、随時、映像資料を共有しながら講義を行います。コメントシートについては、興味深い視点を示したものを選択して次週の授業でみなさんと共有し、教員からコメントを加えるかたちでフィードバックを行います。 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし / No 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No 【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
第1回	テーマ ガイダンス：ロシアについて	内容 ガイダンス。今日のロシア社会、地理的環境、歴史的キーワード、ソ連・ロシアの国歌を通してロシアの概略を示す。
第2回	モスクワ観光スポット（美術館、博物館、教会、劇場、世界遺産）	ロシアの首都モスクワ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、地下鉄、美術館、建築、観光スポットを紹介。
第3回	サンクト・ペテルブルクの名所（美術館、劇場、博物館、教会）	ロシア第2の都市サンクト・ペテルブルグ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、美術館、観光スポットを紹介。
第4回	民俗文化とロシア正教、国民の祝日	ロシア正教を国教とするロシア。その影響力は政治と結びついて大きなものとなっているが、キリスト教受容以前の異教との習合現象としての二重信仰の伝統もロシアに独特の文化を育んできた。異教、正教、社会主義というイデオロギーなど常に信仰の対象を抱き続ける信心深いロシア人の民俗文化やこれに基づく祝祭、宗教的行事、祝日について紹介。
第5回	ロシア・バレエの世界1	バレエ・リュスからソ連時代のバレエ史に名を残すダンサー、そして現代の国際的ダンサーまで、ロシア・バレエの粋を紹介すると同時に、政治的に抑圧を受けたバレエ界の事象、亡命したダンサーについて概観。
第6回	ロシア・バレエの世界2	前回の授業を踏まえて、政治とバレエの問題を考える。
第7回	ロシアの音楽1：格林カ、チャイコフスキー、ムソルグスキー	ロシア・クラシック音楽の歴史を概観。格林カからムソルグスキーまでの音楽を、指揮者ゲルギエフ、現代ロシアのソリストのパフォーマンスを通して紹介。
第8回	ロシアの音楽2：政治と音楽（ショスタコーヴィチ、ラフマニノフ）	19世紀末からロシア革命時の音楽を概観。また、ショスタコーヴィチ、ストラヴィンスキー、ラフマニノフを通して音楽と政治の問題を考える。
第9回	ロシアの音楽3：政治と音楽（テルミン、肋骨レコード）	反体制派と呼ばれたソリスト、抑圧された音楽について。
第10回	ロシア文学1：イーゴリ軍記から19世紀前半	『イーゴリ軍記』における異教性、カラムジンの感傷主義、プーシキン、ドストエフスキーのロマン主義とリアリズムの融合について。『余計者』の確立。
第11回	ロシア文学2：19世紀半ば～（ゴーゴリ、ドストエフスキー）	ゴーゴリのグロテスクな手法、《小さな人間》について、ドストエフスキーの超人思想、神人について。
第12回	ロシア文学3：19世紀後半～20世紀（トルストイ、チェーホフ、アヴァンギャルド、フォルマリズム）	トルストイの「性愛・肉欲の否定」と聖愚者の賞揚。チェーホフの創作方法について。《異化》の概念について。政治と文学について。
第13回	ロシア文学4：亡命作家から現代（ソルジェニツィン、プロツキー、ペレーヴィン）／日本文学との影響関係	亡命作家を通してみる政治と文学の問題。検閲から自由になった現代作家の営みを概観。ロシア文学と日本文学との影響関係について。
第14回	民族問題とナショナリズムの歴史と現代の民族問題	ロシアの領土拡大とオリエンタリズムについて。ソ連時代の民族統合が現代に残した問題。チェチェン紛争、グルジア紛争、現代ロシアのナショナリズム。
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べましょう。ソ連・ロシア映画の鑑賞に際しては、ボアソナードタワー3階にあるAVライブラリーの活用を勧めます。本授業の復習には4時間以上、期末レポートの作成には1週間程度の時間が必要となります。 【テキスト（教科書）】 教科書は使用しません。教員が作成する資料を教場で配付します。 【参考書】 参考文献については教場で、適宜、紹介します。		

【成績評価の方法と基準】

平常点（25%）、コメントシート（25%）、期末レポート（50%）として総合的に判断します。本授業の到達目標の60%以上を達成した学生は合格となります。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんとロシアの多様な側面を新たに発見するような気持ちで、時事的な話題も含めながら講義を進めたいと思います。

【Outline (in English)】**● Course outline**

In this course, students will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Tourist spots Moscow and Saint Peter's burg, Russian ballet, music and literature.

● Learning Objectives

While watching videos about Russia and Eastern Europe, students will be expected to develop the ability to put together appropriate sentences in a short time on the problems raised by the teacher. Students should attend classes with an awareness of problems and a critical perspective.

● Learning activities outside of classroom

Find out about the themes covered in class through the internet, literature, video materials, and movies. When watching Soviet / Russian movies, we recommend using the AV library. Students should spend a week preparing the term-end report.

● Grading Criteria /Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance score(25 %),Short reports(25 %) and term-end reports(50 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)
ロシアの文化と社会 L B 2017年度以降入学者
サブタイトル：
佐藤 千登勢
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金4/Fri.4
単位数：2単位
定員制
その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ロシアの歴史、映画、アニメ、美術の領域からロシアの文化の多様性を見ていきます。本講義では映像資料を多用して概説を行います。多くの情報を統合してロシアの像をまとめていく作業は学生のみならず一人ひとりが行うことになります。この授業は、SAエストニア（SAロシア代替）の事前学習に位置付けられているので、SAエストニア1年の学生は必ず履修してください。

【到達目標】

この授業は、受動的に講義を受けたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導き、教員が提起した問題に対して能動的に意見や主張をまとめる力を養うことを目標としています（コメントシートを通して）。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教場で資料を配付し、随時、映像資料を共有しながら講義を行います。コメントシートについては、興味深い視点を示したものを選択して次週の授業でみなさんと共有し、教員からコメントを加えるかたちでフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダース／ロシアの歴史1：キエフルーシ、タタールの	ロシアの歴史：キエフルーシ、タタールの軋、イワン雷帝の世について。
第2回	ロシアの歴史2	ピョートル大帝、エカテリーナ女帝、大黒屋光太夫、祖国戦争について映像資料を交えて概観。
第3回	ロシアの歴史3	農奴解放、近代化、テロリズム、日露戦争について映像資料を交えて概観。
第4回	ロシアの歴史4	ロマノフ王朝の崩壊、ロシア革命、スターリニズムについて映像資料を交えて概観。
第5回	ロシアの歴史5	雪解けから停滞へ、ペレストロイカ、チェルノブイリ原発事故、ソ連邦崩壊、新生ロシアまでを映像資料を交えて概観。
第6回	ソ連映画1	映画黎明期からモンタージュ派（エイゼンシュテイン、ヴェルトフ）、文芸映画を鑑賞しつつ、とりわけ政治的背景と映画の手法について着目する。

第7回 ソ連映画2

第8回 ソ連映画3

第9回 ロシア映画4

第10回 ロシア映画5

第11回 ロシア映画6

第12回 ロシア・アニメ

第13回 ロシア美術1

第14回 ロシア美術2

雪解け期から停滞の時代までに制作された文芸映画を、社会的背景、政治的体制、手法の観点から見ていく。

反体制の烙印を押された監督の作家性、手法、映像美を堪能する。また、SF映画を概観するとともに、ペレストロイカ期に多く制作された不条理作品、諷刺コメディを通して、政治と映画の問題を確認する。

検閲から自由になった映画として、芸術性と映像実験を重ねるソクーロフの作品、また、大国ロシアを再び謳い上げる戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状を概観する。

前回に引き続き、戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状と傾向を概観する。

2020年代にロシア国内外で制作されたロシア人監督による作品を概観し、ウクライナ侵攻と映画の関係を見る。

黎明期からプロバガンダ・アニメ、児童アニメ（アタマノフ、ヒトルーク、カチャーノフ）、アート・アニメ（ノルシュテイン、ペトロフらの作品）の概説と作品鑑賞。

イコン（聖像画）の機能について、移動派の活動、パトロンの役割について。

マレーヴィチ、カンディンスキー、シャガールの絵画について。ロシア・アヴァンギャルド期の建築について紹介。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べましょう。ソ連・ロシア映画の視聴には、AVライブラリーコーナーの利用を勧めます。本授業の復習には4時間以上、期末レポートの作成には1週間程度の時間を要することになります。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。教員が作成した資料を教場で配付します。

【参考書】

教場で適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（25%）、コメントシート（25%）、期末レポート（50%）として、総合的に判断します。本授業の到達目標の60%以上を達成した学生が合格となります。

【学生の意見等からの気づき】

今学期はロシアの歴史、映画が中心となりますが、時事的な話題もとりこみながら講義をおこないます。

【Outline (in English)】

●Course outline

In this course, students will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Russian history, and films, pictures and animations.

●Learning Objectives

While watching videos about Russia and Eastern Europe, students will be expected to develop the ability to put together appropriate sentences in a short time on the problems raised by the teacher. Students should to attend classes with an awareness of problems and a critical perspective.

●Learning activities outside of classroom

Find out about the themes covered in class through the internet, literature, video materials, and movies. When watching Soviet / Russian movies, we recommend using the AV library. Students should spend a week preparing the term-end report.

●Grading Criteria /Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance score(25 %),Short reports(25 %) and term-end reports(50 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

検定のロシア語A

2017年度以降入学者

佐藤 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級ロシア語の履修を終え中級以上を目指す学生が、ロシア語学習の到達度を外部試験で「見える形」に確かめ、次の学習につなげるための授業です。資格として履歴書にも記載できるロシア語能力検定試験4級・3級の合格を目標にします（3級はCEFR A2相当：文法・読解・聴解・会話・作文）。検定形式の演習を通して、必修で学んだ文法を総復習し、「得点できる力」へと整理・定着させます。過去問に取り組みながら、文法・語形変化・語彙を体系化し、読解・聴解に加えて、和訳・露訳などの基礎的な運用力も高めていきます。

【到達目標】

毎年5月・10月に実施されるロシア語能力検定試験に合格するため、以下を達成する。1) 基礎文法を習得し、確実に運用できる。2) テキスト内容を的確に把握し、検定形式の問題を解ける。3) 様々な短文・文章を和訳できる。4) 検定レベルのリスニング問題を解ける。5) 文章を正確に、一定の速度で音読できる。6) 基礎的な表現を用いて簡単な実践会話ができる。7) 語彙を増やし、和訳・露訳の精度を向上させる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

ロシア語能力検定試験4級3級の合格を目標に、基礎文法を総復習して確実に運用できる力を固めます。授業は対策問題・過去問演習を中心に進め、必須文法の習得、検定形式の読解・演習問題への対応力を養います。あわせて和訳・露訳に取り組み、語彙力の強化を行いながら訳の精度を高めます。リスニング演習と発音を意識した音読練習も実施します。課題へのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション、基礎文法の復習	オリエンテーション、既習の教科書での基礎文法の復習
第2回	名詞と人称代名詞	名詞の性別と複数形、人称代名詞、名詞の格変化
第3回	形容詞、所有代名詞と指示代名詞	形容詞、所有代名詞と指示代名詞、その格変化
第4回	動詞（時制の表現）	動詞（現在人称変化、過去形、未来形、完了体）
第5回	副詞、無人称文、テキスト読解	副詞、無人称文、テキスト読解
第6回	時制を表す表現、疑問詞	時制を表す表現、疑問詞とその返答
第7回	運動の動詞	1) 運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）2) 「(歩いて・乗り物で) 運ぶ」「連れて行く」
第8回	動詞の命令形	3 パターンの命令形（完了体・不完了体含む）
第9回	比較級	主に単一比較級

第10回	関係代名詞	関係代名詞、関係副詞、接続詞
第11回	数詞（主格・対格）	数詞（数詞と名詞の変化）
第12回	テキストの音読練習	スピーキング力、リーディング力強化（音読はアクセント記号の付いていないテキスト）
第13回	リスニング	リスニング（過去問を時間内で解く練習）
第14回	和文露訳	和文露訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

基礎文法の復習、過去問題と対策問題の予習復習、単語の暗記、音読練習、ラジオ講座やロシア関連のネット音声の聴解など、検定試験合格を目指した準備を進めて下さい。本科目は毎回2時間の予習・復習を目安とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは、適時プリントを配布します。

露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995年、¥6291）が望ましい）

【参考書】

佐藤純一『NHK 新ロシア語入門』NHK出版、2001年

『大学のロシア語1』沼野恭子著、東京外国語大学出版会、2013年、¥3520

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への参加度、予習復習などの学習への取り組み、単語ミニテストなど）70%、提出物の評価（課題や宿題等の提出）30%で評価します。課題は、文法の練習問題、和訳、露訳などです。また、記憶を定着させるための暗唱や音読などの音声を提出してもらい、その評価も加味する予定です。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんからのご意見や要望に真摯に耳を傾け、より良い授業ができるように努めて参ります。

【その他の重要事項】

ロシア語既習者が対象です。「検定」は、東京ロシア語学院主催のロシア語能力検定試験4級3級（毎年5月10月実施）を想定しております（ロシア連邦教育科学省認定ロシア語検定試験（ТРКИ）受験の希望者は要相談）。検定試験を受験し、合格を目指してください。なお、受講生の習熟度や社会情勢等により授業計画およびその進度は変更される可能性があります。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course is for students who have completed Elementary Russian and aim to move toward intermediate study. Students prepare for the Russian Language Proficiency Test (Levels 4- 3) to make their progress visible and strengthen core skills through exam-style practice and past papers.

【Learning Objectives】By the end of the course, students will be able to: Apply core grammar and basic inflection patterns accurately. Solve reading and listening tasks in the exam format. Expand essential vocabulary for comprehension and translation. Translate short texts (Russian - Japanese / Japanese - Russian). Read short texts aloud accurately and at an appropriate pace.

【Learning activities outside of classroom】Students review grammar/vocabulary and complete assigned practice (past papers/model questions) before and/or after each class.

【Grading Criteria / Policy】Ongoing performance 70% (participation, preparation/review, vocabulary mini-quizzes); assignments/submissions 30% (grammar exercises, translation tasks, and, when assigned, audio submissions such as recitation/read-aloud).

LANr200LA（ロシア語 / Russian language education 200）

検定のロシア語B

2017年度以降入学者

佐藤 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級ロシア語の履修を終え中級以上を目指す学生が、ロシア語学習の到達度を外部試験で「見える形」に確かめ、次の学習につなげるための授業です。資格として履歴書にも記載できるロシア語能力検定試験4級・3級の合格を目標にします（3級はCEFR A2相当：文法・読解・聴解・会話・作文）。検定形式の演習を通して、必修で学んだ文法を総復習し、「得点できる力」へと整理・定着させます。過去問に取り組みながら、文法・語形変化・語彙を体系化し、読解・聴解に加えて、和訳・露訳などの基礎的な運用力も高めていきます。

【到達目標】

毎年5月・10月に実施されるロシア語能力検定試験に合格するため、以下を達成する。1) 基礎文法を習得し、確実に運用できる。2) テキスト内容を的確に把握し、検定形式の問題を解ける。3) 様々な短文・文章を和訳できる。4) 検定レベルのリスニング問題を解ける。5) 文章を正確に、一定の速度で音読できる。6) 基礎的な表現を用いて簡単な実践会話ができる。7) 語彙を増やし、和訳・露訳の精度を向上させる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

ロシア語能力検定試験4級3級の合格を目標に、基礎文法を総復習して確実に運用できる力を固めます。授業は対策問題・過去問演習を中心に進め、必須文法の習得、検定形式の読解・演習問題への対応力を養います。あわせて和訳・露訳に取り組み、語彙力の強化を行いながら訳の精度を高めます。リスニング演習と発音を意識した音読練習も実施します。課題へのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション、基礎文法の復習	オリエンテーション、既習の教科書での基礎文法の復習
第2回	名詞と人称代名詞	名詞の性別と複数形、人称代名詞、名詞の格変化
第3回	形容詞、所有代名詞と指示代名詞	形容詞、所有代名詞と指示代名詞、その格変化
第4回	動詞（時制の表現）	動詞（現在人称変化、過去形、未来形、完了体）
第5回	副詞、無人称文、テキスト読解	副詞、無人称文、テキスト読解
第6回	時制を表す表現、疑問詞	時制を表す表現、疑問詞とその返答
第7回	運動の動詞	1) 運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）2) 「(歩いて・乗り物で) 運ぶ」「連れて行く」
第8回	動詞の命令形	3 パターンの命令形（完了体・不完了体含む）
第9回	比較級	主に単一比較級

第10回	関係代名詞	関係代名詞、関係副詞、接続詞
第11回	数詞（主格・対格）	数詞（数詞と名詞の変化）
第12回	テキストの音読練習	スピーキング力、リーディング力強化（音読はアクセント記号の付いていないテキスト）
第13回	リスニング	リスニング（過去問を時間内で解く練習）
第14回	和文露訳	和文露訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

基礎文法の復習、過去問題と対策問題の予習復習、単語の暗記、音読練習、ラジオ講座やロシア関連のネット音声の聴解など、検定試験合格を目指した準備を進めて下さい。本科目は毎回2時間の予習・復習を目安とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは、適時プリントを配布します。

露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995年、¥6291）が望ましい）

【参考書】

佐藤純一『NHK 新ロシア語入門』NHK出版、2001年

『大学のロシア語1』沼野恭子著、東京外国語大学出版会、2013年、¥3520

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への参加度、予習復習などの学習への取り組み、単語ミニテストなど）70%、提出物の評価（課題や宿題等の提出）30%で評価します。課題は、文法の練習問題、和訳、露訳などです。また、記憶を定着させるための暗唱や音読などの音声を提出してもらい、その評価も加味する予定です。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんからのご意見や要望に真摯に耳を傾け、より良い授業ができるように努めて参ります。

【その他の重要事項】

ロシア語既習者が対象です。「検定」は、東京ロシア語学院主催のロシア語能力検定試験4級3級（毎年5月10月実施）を想定しております（ロシア連邦教育科学省認定ロシア語検定試験（ТРКИ）受験の希望者は要相談）。検定試験を受験し、合格を目指してください。なお、受講生の習熟度や社会情勢等により授業計画およびその進度は変更される可能性があります。

【Outline (in English)】

【Course outline】This course is for students who have completed Elementary Russian and aim to move toward intermediate study. Students prepare for the Russian Language Proficiency Test (Levels 4- 3) to make their progress visible and strengthen core skills through exam-style practice and past papers.

【Learning Objectives】By the end of the course, students will be able to: Apply core grammar and basic inflection patterns accurately. Solve reading and listening tasks in the exam format. Expand essential vocabulary for comprehension and translation. Translate short texts (Russian - Japanese / Japanese - Russian). Read short texts aloud accurately and at an appropriate pace.

【Learning activities outside of classroom】Students review grammar/vocabulary and complete assigned practice (past papers/model questions) before and/or after each class.

【Grading Criteria / Policy】Ongoing performance 70% (participation, preparation/review, vocabulary mini-quizzes); assignments/submissions 30% (grammar exercises, translation tasks, and, when assigned, audio submissions such as recitation/read-aloud).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 I	2017年度以降入学者
陳 瀟瀟	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：木4/Thu.4
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を基礎に、中級レベルの語彙・文法・表現を学ぶとともに、中国文化や中国の事情、そして中国人の考え方を理解しながら、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語1と中国語2）で学んだ内容を確実に定着させる。
- ・ピンインに頼らず、中国語を読む習慣を身につける。
- ・中国語を聴く・話す・読む能力を向上させる。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できるようにする。
- ・中国の文化や風習への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で学習を進む。

グループでの会話練習・ディスカッションを行う。

課題等へのフィードバックは、授業時間中または学習支援システムを通じて行う。

※本授業は対面で実施する。授業形態に変更が生じる場合は、大学の方針が確定次第、学習支援システム「Hoppii」を通じて随時連絡する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業計画および進め方、成績評価の方法・基準についての説明 ・中国語発音の練習 ・早口言葉
第2回	第一課 自我介绍	・単語・文法の説明 ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞＋動詞」の活用
第3回	第一課 自我介绍	・本文 ・練習 ・実践会話：自我介绍
第4回	第二課 李军有很多爱好	・単語・文法の説明 ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第5回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第6回	第三課 赵大妈的一天	・小テスト① ・単語・文法の説明 ・動作の前後関係の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語＋動詞＋得＋形容詞」

第7回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过？
第8回	第四課 许芳的苦恼	・単語・文法の説明 ・復習：動詞＋方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第9回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・練習 ・実践会話：你有苦恼吗？
第10回	第五課 我们是去年认识的	・小テスト② ・「是……的」構文 ・「因为……所以……」 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第11回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・練習
第12回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・小テスト③ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第13回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・本文 ・練習 ・質疑応答
第14回	期末試験	・復習及び試験 ・授業内容の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業では、1回の授業につき、標準として2時間程度の予習・復習・課題時間を想定する。

- ・予習：ウォーミングアップ、語彙および本文の確認
- ・復習：単語・文型の復習、構文練習、読解練習、翻訳練習
- ・課題：翻訳課題、読解課題、練習問題

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社 (ISBN: 978-4-255-45215-9)

*授業には必ず教科書を持参すること。

【参考書】

- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社、2016年
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社、2010年
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年
- ・中国語辞書（電子辞書可）

* 必要に応じて授業内で補足資料を提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%及び平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価を行う。

成績評価は100点満点とし、60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生から、レジュメがわかりやすく、語彙・文法だけでなく、中国文化などの解説も興味深いとの評価を得た。今後は授業内でのコミュニケーションやディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力向上を図る。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出及び授業時間外の予習・復習のため、学習支援システムを利用可能なパソコンまたはタブレットを準備すること。
また、音声教材を再生可能な機器も必要である。

【その他の重要事項】

授業には必ず教科書及び授業関連資料を持参すること。
授業内容や課題等について不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまで問い合わせてください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The goal of this course is to help learners improve their listening, speaking, reading, and writing skills in Chinese, as well as their overall communication abilities in the language.

【Learning Objectives】

- ・ Help students reach an intermediate level in Chinese.
- ・ Enable students to express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Develop a deeper understanding of Chinese culture, society and ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to spend approximately 2 hours previewing, reviewing and practicing.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class Participation/Contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 II	2017年度以降入学者
陳 瀟瀟	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木4/Thu.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語中級レベルの語彙、文法、表現を習得するとともに、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解し、実践的な中国語運用能力の向上を図ることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国語1～中国語3 I で習得した内容を確実に定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴解・会話・読解能力を高める。
- ・日常的事柄を中国語で積極的に表現できるようにする。
- ・中国語で日常会話を円滑に行えるようにする。
- ・中国の文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で学習を進める。

グループでの会話練習・ディスカッションを行う。

課題等へのフィードバックは、授業時間中または学習支援システムを通じて行う。

※本授業は対面で実施する。授業形態に変更が生じる場合は、学習支援システム「Hoppii」を通じて随時連絡する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・単語と文法の説明 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第2回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・練習 ・日本語と中国語の外来語
第3回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国の大学の寮生活
第4回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・練習 ・実践会話：我的大学生活
第5回	第九課 年轻人追求时尚	・小テスト① ・単語と文法の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第6回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・練習 ・中国の若者文化
第7回	第十課 日本动漫的影响力	・実践会話：你喜欢什么？ ・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」

第8回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・練習 ・「动漫」について ・小テスト② ・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現
第9回	第十一課 北京欢迎你	・本文 ・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受身表現「被」
第10回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・実践会話：日本の美食 ・小テスト③ ・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方
第11回	第十二課 饮食与中国	・本文
第12回	第十三課 中国的民族	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節 ・質疑応答
第13回	第十四課 过春节	・復習および試験 ・授業内容の総括
第14回	期末試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業では、1回の授業につき、標準として2時間程度の予習・復習・課題時間を想定する。

- ・予習：ウォーミングアップ、語彙および本文の確認
- ・復習：単語・文型の復習、構文練習、読解練習、翻訳練習
- ・課題：翻訳課題、読解課題、練習問題

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社 (ISBN: 978-4-255-45215-9)

*授業には必ず教科書を持参すること。

【参考書】

- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社、2016年
 - ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年
 - ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年
 - ・中国語辞書（電子辞書可）
- *必要に応じて授業内で補足資料を提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%及び平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価する。
成績評価は100点満点とし、60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生から、レジュメがわかりやすく、語彙・文法だけでなく、中国文化などの解説も興味深いとの評価を得た。今後は授業内でのコミュニケーションやディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力向上を図る。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出及び授業時間外の予習・復習のため、学習支援システムを利用可能なパソコンまたはタブレットを準備すること。

【その他の重要事項】

授業には必ず教科書および授業関連資料を持参すること。
授業内容や課題等について不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまで問い合わせてください。

【Outline (in English)】

This is an intermediate-level Chinese course. Its objectives are to develop learners' listening, reading, speaking, and writing skills in Chinese and to enhance their ability to communicate effectively in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students reach an intermediate level in Chinese.
- ・ Enable students to express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Foster a better understanding of Chinese culture, society, and ways of thinking through the course.

【Learning activities outside of classroom】

students are expected to spend approximately 2 hours per lesson on preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class Participation/Contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 | 2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出ている語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。Hoppiiにてフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業内容など諸事情の説明と自己紹介
2	第1課	発音と復習
3	第2課	人称代名詞と指示代名詞
4	第3課	述語
5	第4課	受け答え
6	第5課	場所と方位・方角
7	第6課	数量詞と連体修飾語
8	第7課	ものの尋ね方
9	第8課	副詞と時間詞
10	第9課	了 のさまざま
11	第10課	助動詞と前置詞構造
12	第11課	三量補語
13	第12課	持続態と進行形
14	授業の総まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室にて配布する

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末テストを60%、小テスト・課題及び授業の参加度を40%にしたうえで、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいと考えます。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), Short tests(20%), in-class contribution(10%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 II

2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

比較的平易な文章を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的な能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的なレベルアップを図る。

【到達目標】

- ・中国語の発音と聞き取りの能力を向上させる。
- ・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
- ・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1、文法の確認
- 2、聞き取りの練習
- 3、発音練習

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の復習と「私の夏休み」
2	第13課 程度補語	程度補語（様態補語）
3	第14課 比較と連動	比較文と連動文
4	第15課 構文分析	構文と助動詞の補説
5	第16課 強調と重複	強調構文と重複表現
6	第17課 方向補語	方向補語の用法
7	第18課 複合方向補語	複合方向補語の派生的用法
8	第19課 結果補語	結果補語の説明
9	第20課 可能補語	可能補語の説明
10	第21課 使役と受身	使役と受身を確認し、比較する
11	第22課 処置と倒置	処置文と倒置文
12	第23課 複文一	複文について勉強する
13	第24課 複文二	接続詞を確認する
14	まとめ	第13～24課の筆記テスト・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週1時間を用途に予習・復習する。

【テキスト（教科書）】

教室にて教材を配布する

【参考書】

日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

小テスト：40%

term-end test:60%

presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

日常会話もたくさん覚える。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese.

We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

We should prepare and review about one hour a week.

term-end test:60%

little test:40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第1課	文法・本文
3	第1課	応用練習
4	第2課	文法・本文
5	第2課	応用練習
6	第3課	文法・本文
7	第3課	応用練習
8	第4課	文法・本文
9	第4課	応用練習
10	第5課	文法・本文
11	第5課	応用練習
12	第6課	文法・本文
13	第6課	応用練習
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

課題提出 授業への参加度 30 % 期末試験 70 %

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC等を準備して下さい。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 II

2017年度以降入学者

劉 渴水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第7課	文法・本文
3	第7課	応用練習
4	第8課	文法・本文
5	第8課	応用練習
6	第9課	文法・本文
7	第9課	応用練習
8	第10課	文法・本文
9	第10課	応用練習
10	第11課	文法・本文
11	第11課	応用練習
12	第12課	文法・本文
13	第12課	応用練習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉渴水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

課題、授業への参加度30%、試験70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ひととおりの基礎を学んだ上で一歩進んだ準中級の会話のテキストの読解・練習を通して、中国語の日常生活の基本語彙や基本文法を学習します。また、テキストの内容を通して、ことばの文化背景についても知識を深めます。

【到達目標】

中国語の基本語彙と基本文法を確実に理解し、準中級から中級レベルの中国語の表現能力を身につけることを目標とします。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語と要点（「除了～以外…」など5項目）の説明
2	第1課	「好」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語と要点（「可不是嘛」など5項目）の説明
4	第2課	「季」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語と要点（「使役文-」など5項目）の説明
6	第3課	「道歉」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語と要点（「会～的」など5項目）の説明
9	第4課	「客」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語と要点（「～都/也」など5項目）の説明
11	第5課	「物」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語と要点（「既～也(又)…」など5項目）の説明
13	第6課	「交友」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

王慧琴・植村麻紀子『中国語口語コンプリート ―中級レベル―』、朝日出版社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40%、中間試験30%、期末試験30%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ひととおりの基礎を学んだ上で一歩進んだ準中級の会話のテキストの読解・練習を通して、中国語の日常生活の基本語彙や基本文法を学習します。また、テキストの内容を通して、ことばの文化背景についても知識を深めます。

【到達目標】

中国語の基本語彙と基本文法を確実に理解し、準中級から中級レベルの中国語の表現能力を身につけることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語と要点（「如果～就…」など5項目）の説明
2	第7課	「 ☐ ☐ ☐ 」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語と要点（「一点儿～都/也+否定形」など5項目）の説明
4	第8課	「看病」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語と要点（「差点儿～」など5項目）の説明
6	第9課	「看比 ☐ 」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語と要点（「有的～有的～」など5項目）の説明
9	第10課	「健身」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語と要点（「趁着～」など5項目）の説明
11	第11課	「交流」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語と要点（「非～不可」など5項目）の説明
13	第12課	「旅游 ☐ 划」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

王慧琴・植村麻紀子『中国語口語コンプリート ——中級レベル——』、朝日出版社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40%、中間試験30%、期末試験30%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中級中国語を学びます。教科書を使って、会話、読解、作文などを学び、「自分のことを語れるレベル」を目指します。また教科書の本文を通じて、現代中国の理解も深めていただきたいと思います。

【到達目標】

- 1, 中級中国語の文法をマスターする。
- 2, 中国語の文章の精読、翻訳、要約の力を高める。
- 3, 自分のことを中国語で話せるようになる。
- 4, 中国語を書く力を高める。
- 5, HSK 3級から4級合格を目指せるレベルになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書を使って、文法を学び、本文を読み、翻訳し、作文練習をします。單元ごとに小テストを実施します。教科書の本文を通じて中国文化の話もします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 1年生の復習	授業の紹介をします。メンバーのレベルをチェックします。
2	1年生の復習	必要な文法事項を復習します。
3	教科書第1課	結果補語 動詞句+的+名詞 不但 而且
4	第1課	練習問題 小テスト
5	第2課	除了 疑問詞の不定用法 二重目的語
6	第2課	練習問題 小テスト
7	第3課	要是 好像 方向補語
8	第3課	練習問題 小テスト
9	第4課	結果補語 持続態
10	第4課	練習問題 小テスト
11	第5課	准☑ 被 会
12	第5課	練習問題 小テスト
13	春学期の復習	復習

14 期末テスト

期末テスト（筆記）

春学期の学習内容のまとめと期末テストの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『中国語への旅立ちⅡ中級編』王振宇・李小捷（朝日出版社）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末テスト70点、小テスト30点で評価します。

欠席5回以上は原則不合格にします。また授業態度が悪い学生は減点し、良い学生は加点します。

【学生の意見等からの気づき】

評価基準をわかりやすく示します。

楽しく学べる授業を目指します。

【Outline (in English)】

We will study intermediate Chinese. Through conversation, reading comprehension, writing, and other activities, you will advance to a level where you can speak about yourself. We also aim to deepen your understanding of modern China.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期で学んだことをさらに発展させ、中級レベル相応の中国語力を身につけることが目的です。

【到達目標】

教科書を使って中級中国語を学び、中国語で自分のことが語れて書けるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書を使って授業をします。單元ごとに小テストをします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第6課	越来越 ☐☐ 可能補語
2	第6課 第7課	小テスト 一☐ 一☐ 因☐ 虽然 但是
3	第7課 第8課	小テスト 把 只要 就 了
4	第8課 第9課	小テスト ☐ 的☐候 一 就
5	第9課 第10課	小テスト ☐ ☐了 ☐☐
6	第10課	小テスト 練習問題
7	第11課	着 一点儿都
8	第11課	小テスト 練習問題
9	第12課	所以 ☐ 又 又
10	第12課	小テスト 練習問題
11	総復習	総復習
12	総復習	総復習
13	期末テスト	期末テスト（筆記）
14	期末テストと復習	秋学期の学習内容のまとめと試験及びその解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

春学期と同じです。

『中国語への旅立ちII中級編』朝日出版社

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末テスト70点、小テスト30点で評価します。

欠席5回以上は原則不合格とします。

授業態度の悪い学生は減点し、良い学生は加点します。

【学生の意見等からの気づき】

評価基準をわかりやすく示します。

楽しく学べる授業を目指します。

【Outline (in English)】

The goal is to further develop what was learned in the spring semester and acquire intermediate Chinese language skills.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

劉 渴水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第1課	文法・本文
3	第1課	応用練習
4	第2課	文法・本文
5	第2課	応用練習
6	第3課	文法・本文
7	第3課	応用練習
8	第4課	文法・本文
9	第4課	応用練習
10	第5課	文法・本文
11	第5課	応用練習
12	第6課	文法・本文
13	第6課	応用練習
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉渴水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

課題提出 授業への参加度 30 % 期末試験 70 %

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC等を準備して下さい。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 II

2017年度以降入学者

劉 渴水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第7課	文法・本文
3	第7課	応用練習
4	第8課	文法・本文
5	第8課	応用練習
6	第9課	文法・本文
7	第9課	応用練習
8	第10課	文法・本文
9	第10課	応用練習
10	第11課	文法・本文
11	第11課	応用練習
12	第12課	文法・本文
13	第12課	応用練習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉渴水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

課題、授業への参加度30%、試験70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅰ 2017年度以降入学者

桑島 道夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中級の文法事項を押さえながら、中国語の日常会話や常用表現を身につけます。それに加えて、中級レベルの読解力と現代中国への理解を深めます。

【到達目標】

- ・中国語中級の文法事項の理解
- ・中国語の日常会話や常用表現の習得
- ・中国語中級の読解力

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・発音練習
- ・新出単語の確認
- ・文法事項の確認
- ・教科書に載っている日常会話・常用表現を使った応答練習
- ・教科書の表現を使った応用練習
- ・授業時の課題は、皆さんから課題提出のあった次の授業でご返答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方ほか
第2回	第一課 大学生活	動詞＋“在”ほかポイント
第3回	第一課 大学生活	前回の続き・復習とドリル
第4回	第二課 大学生のタイムスケジュール	アスペクト助詞の“了”ほかポイント
第5回	第二課 大学生のタイムスケジュール	前回の続き・復習とドリル
第6回	第三課 朝食	文末に置く語気助詞“了”ほかポイント
第7回	第三課 朝食	前回の続き・復習とドリル
第8回	第四課 お茶のさまざま	“以…”ほかポイント
第9回	第四課 お茶のさまざま	前回の続き・復習とドリル
第10回	第五課 食（習慣）	“越来越…”ほかポイント
第11回	第五課 食（習慣）	前回の続き・復習とドリル
第12回	第六課 生活習慣	前置詞“把”ほかポイント
第13回	第六課 生活習慣	前回の続き・復習とドリル
第14回	第七課 交通（予定より速く進んだ場合は期末試験）	“不是…而是…”ほかポイント

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

陳淑梅ほか著『ことばと文化“一挙兩得”中級中国語』、朝日出版社、2,695円

ISBN: 978-4-255-45289-0

【参考書】

守屋宏則ほか著『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』、東方書店、2,640円

小学館『中日辞典』第3版、8,250円

スマホの辞書アプリなら、日中辞典も合わせて4,100円

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%＋平常点（小テスト）40%

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は空いた時間にはビデオをお見せするなど、できるだけ中国事情・文化に関わるお話もしました。好評だったので、今年も続けるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありませんが、ガイダンス時にご説明します。

【Outline (in English)】

This course focuses on developing Chinese conversation skills.

Learning Objectives

The course aims to help students master intermediate-level grammar while building practical skills in everyday Chinese conversation and commonly used expressions.

Learning Activities Outside the Classroom

Students are expected to spend at least one hour on self-study for each class session.

Grading Criteria / Policies

Final grades will be determined based on the following:

- ・ Term-end examination: 60%
- ・ Class participation: 40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

桑島 道夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中級の文法事項を押さえながら、中国語の日常会話や常用表現を身につけます。加えて、中級レベルの読解力と現代中国への理解を深めます。

【到達目標】

- ・中国語中級の文法事項の理解
- ・中国語の日常会話や常用表現の習得
- ・中国語中級の読解力

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・発音練習
- ・新出単語の確認
- ・文法事項の確認
- ・教科書に載っている日常会話・常用表現を使った応答練習
- ・教科書の表現を使った応用練習
- ・授業時の課題は、皆さんから課題提出のあった次の授業でご返答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第八課 学園祭	“是～的”構文ほかポイント
第2回	第八課 学園祭	前回の続き・復習とドリル
第3回	第九課 伝統的なスポーツ	受身文ほかポイント
第4回	第九課 伝統的なスポーツ	前回の続き・復習とドリル
第5回	第十課 歌舞伎と京劇	可能補語ほかポイント
第6回	第十課 歌舞伎と京劇	前回の続き・復習とドリル
第7回	第十一課 方言	“只要～就…”ほかポイント
第8回	第十一課 方言	前回の続き・復習とドリル
第9回	第十二課 会食時の習慣	動詞+回数ほかポイント
第10回	第十二課 会食時の習慣	前回の続き・復習とドリル
第11回	第十三課 年越し	“哪怕～也…”ほかポイント
第12回	第十三課 年越し	前回の続き・復習とドリル
第13回	第十四課 若者たちの結婚事情	“有”連動文ほかポイント
第14回	第十四課 若者たちの結婚事情（予定より速く進んだ場合は期末試験）	前回の続き・復習とドリル

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

陳淑梅ほか編『ことばと文化“一挙兩得”中級中国語』、朝日出版社、2,695円

ISBN: 978-4-255-45289-0

【参考書】

守屋宏則ほか著『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』東方書店、2,640円

小学館中日辞典第3版、8,250円

スマホの辞書アプリなら、日中辞典も合わせて4,100円

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%＋平常点（小テスト）40%

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は空いた時間にビデオをお見せするなど、できるだけ中国事情・文化に関わるお話もしました。好評だったので、今年も続けるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありませんが、ガイダンス時にご説明します。

【Outline (in English)】

Course Description

This course focuses on developing Chinese conversation skills through practical use of the language.

Learning Objectives

Students will learn intermediate-level Chinese grammar and acquire the ability to use common expressions in everyday conversations.

Learning Activities Outside the Classroom

Students are expected to spend at least one hour on independent study for each class session.

Grading Criteria / Policies

Final grades will be based on the following:

- ・ Term-end examination: 60%
- ・ In-class participation: 40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)		
中国語3Ⅰ		2017年度以降入学者
張 玉萍		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月3/Mon.3		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を終えた学習者を対象に、1年間学んだ中国語を復習しながら、徐々にレベルアップしていく。学んだことを実践的に使えるようになるため、「読む」「聞く」「話す」「書く」という四技能を総合的に訓練する。それにより中国語コミュニケーション能力を向上させ、日常レベルのことを表現して中国語話者と交流できるようにする。

【到達目標】

現在の中国や日本での生活に密着した実用的な題材や表現を学習し、身近な話題や日常的な会話を練習して、自分の考えを中国語でスムーズに表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

三段階に分ける。

- ①教科書各課の新出単語、ポイント、会話本文を学習し、練習問題で確認作業を行なう。
- ②ペアやグループで表現練習・応用練習をし、その課のポイントを生かしてスピーチ原稿を作成してもらう。
- ③そのスピーチ原稿を皆の前で発表してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、成績評価の基準、履修上の注意事項などについての説明。中国語レベルの確認
2	第1課 初次见面	①名詞の前の“的” ②前置詞“在” ③“多”+動詞の重ね型 ◆練習問題を完成・確認する。
3	新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習 会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
4	第2課 家庭	①比較用法 ②“每～都…” ③動詞・形容詞の前の“地” ◆練習問題を完成・確認する。
5	新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習 会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
6	第3課 互相	①“除了…以外…” ②疑問詞の呼応表現 ③“一点儿也不/没…” ◆練習問題を完成・確認する。
	新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	

7	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
8	第4課 逛街 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習 ◆総合練習1 会話練習、表現練習	①使役同士“给” ②助詞“着” ③複合方向補語 ◆練習問題を完成・確認する。 ◆総合練習1を完成・確認する。 質疑応答
9	第5課 温泉旅行 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習 会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①“是…的” ②“因…所以…” ③結果補語 ◆練習問題を完成・確認する。 ①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
10	第6課 我的爱好 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“什么的” ②“一…就…” ③可能補語(1) ④“只要…就…” ◆練習問題を完成・確認する。
11	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
12	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
13	まとめ、到達度 チェック ＊授業の進行具合によって、授業の内容や進度が多少変更となる場合がある。	スピーチ発表などにより判定
14		

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

劉穎・柴森・杉野元子・小澤正人著『2冊めの中国語 会話クラス』白水社、2024年。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点(各課の表現練習、スピーチ発表など)50%＋期末試験(スピーチ発表)50%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【その他の重要事項】

授業中の私語は禁止する。教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

The course is designed for learners who have completed the basics of Chinese and will review the Chinese they have learned over the past year, gradually improving their level of Chinese. To be able to use what they have learned practically, students will be comprehensively trained in the four skills of reading, listening, speaking, and writing. This will improve their Chinese communication skills and enable them to express and interact with Chinese speakers on an everyday level. Students will learn practical subjects and expressions closely related to current life in China and Japan, practice familiar topics and daily conversation, and achieve the goal of being able to express their thoughts smoothly in Chinese. The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

Class participation (including expression practice, speech presentation, etc.) 50% + final exam (speech presentation) 50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 II

2017年度以降入学者

張 玉萍

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を終えた学習者を対象に、1年間学んだ中国語を復習しながら、徐々にレベルアップしていく。学んだことを実践的に使えるようになるため、「読む」「聞く」「話す」「書く」という四技能を総合的に訓練する。それにより中国語コミュニケーション能力を向上させ、日常レベルのことを表現して中国語話者と交流できるようにする。

【到達目標】

現在の中国や日本での生活に密着した実用的な題材や表現を学習し、身近な話題や日常的な会話を練習して、自分の考えを中国語でスムーズに表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

三段階に分ける。

- ①教科書各課の新出単語、ポイント、会話本文を学習し、練習問題で確認作業を行なう。
- ②ペアやグループで表現練習・応用練習をし、その課のポイントを生かしてスピーチ原稿を作成してもらう。
- ③そのスピーチ原稿を皆の前で発表してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課 交朋友 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①数量補語 ②副詞“才” ③様態補語 ◆練習問題を完成・確認する。
2	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
3	第8課 聚餐 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①疑問詞の不定用法 ②“无☐～都…” ③“☐～都…” ④可能補語(2) ◆練習問題を完成・確認する。
4	◆総合練習2 会話練習、表現練習	◆総合練習2を完成・確認する。 質疑応答
5	第9課 ☐☐ 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“不是～就是…” ②反語文“不是～☐” ③“再也不～了” ④助動詞“会” ◆練習問題を完成・確認する。
6	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。

7	第10課 打工 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“虽然～但是…” ②“不但～而且…” ③離合詞 ④“有”の兼語文 ◆練習問題を完成・確認する。
8	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	◆総合練習1 ①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
9	第11課 寒假 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“就要～了” ②副詞“就” ③副詞“都” ◆練習問題を完成・確認する。
10	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
11	第12課 留学 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①助動詞“要” ②“把”構文 ③“☐～来☐” ④“有”の連動文 ◆練習問題を完成・確認する。
12	◆総合練習3 会話練習、表現練習	◆総合練習3を完成・確認する。 質疑応答
13	質疑応答、まとめ、 到達度チェック	スピーチ発表などにより判定
14	まとめ、到達度 チェック ＊授業の進行具合によって、授業の内容や進度が多少変更となる場合がある。	スピーチ発表などにより判定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

劉穎・柴森・杉野元子・小澤正人著『2冊めの中国語 会話クラス』白水社、2024年。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点(各課の表現練習、スピーチ発表など)50%＋期末試験(スピーチ発表)50%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【その他の重要事項】

授業中の私語は禁止する。教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

The course is designed for learners who have completed the basics of Chinese and will review the Chinese they have learned over the past year, gradually improving their level of Chinese. To be able to use what they have learned practically, students will be comprehensively trained in the four skills of reading, listening, speaking, and writing. This will improve their Chinese communication skills and enable them to express and interact with Chinese speakers on an everyday level. Students will learn practical subjects and expressions closely related to current life in China and Japan, practice familiar topics and daily conversation, and achieve the goal of being able to express their thoughts smoothly in Chinese. The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

Class participation (including expression practice, speech presentation, etc.) 50% + final exam (speech presentation) 50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 I	2017年度以降入学者
木村 佳代子	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：金5/Fri.5
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、「中国語1」「中国語2」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全12課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第1課（助動詞、主述述語文の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第2回	第1課（トレーニング1）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第3回	第2課（“的”の用法、「原因・理由」の表現、文末助詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第4回	第2課（トレーニング2）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第5回	第3課（連動文、“是…的”の文、疑問詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第6回	第3課（トレーニング3）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第7回	第1課～第3課の復習	日文中訳・中文日訳の練習。
第8回	第4課（“了”の3つの用法、副詞“就”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第9回	第4課（トレーニング4）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第10回	第5課（様態補語、推量の表現、「假定」の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第11回	第5課（トレーニング5）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第12回	総合練習（第1課～第3課）	期末試験に向けた復習と練習。
第13回	総合練習（第4課、第5課）	期末試験に向けた復習と練習。

第14回 試験・まとめと解説 朗読試験、ヒヤリング・筆記試験およびまとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属のCDを活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、授業への参加度60%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化し到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

中国語コミュニケーション中級A・B／第三外国語としての中国語中級A・B／中国語視聴覚中級A・B／中国語作文中級A・B／中国語講読A・B

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

- ・ To review important point of Chinese grammar.
- ・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.
- ・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.
- ・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、引き続き、「中国語1」「中国語2」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全12課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。

課題等へのフィードバックは授業中またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第6課（結果補語（1）、副詞“有点”の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第2回	第6課（トレーニング6）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第3回	第7課（存現文、主述句の主語、二つの了”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第4回	第7課（トレーニング7）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第5回	第8課（状態の持続を表す“着”、副詞“再”、疑問詞の不定用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第6回	第8課（トレーニング8）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第7回	第6課～第8課の復習	日文中訳、中文日訳を中心とした練習
第8回	第9課（方向補語、使役表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第9回	第9課（トレーニング9）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第10回	第10課（可能補語、強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第11回	第10課（トレーニング10）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第12回	総合練習（第6課～第8課）	期末試験に向けた復習と練習。

第13回 総合練習（第9課、 期末試験に向けた復習と練習。第10課）

第14回 試験・まとめと解説 朗読試験、ヒヤリング・筆記試験およびまとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属のCDを活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一步』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一步』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度60%、期末試験40%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

中国語コミュニケーション中級A・B／第三外国語としての中国語中級A・B／中国語視聴覚中級A・B／中国語作文中級A・B／中国語講読A・B

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

This course is continued from Spring semester.

- To review important point of Chinese grammar.
- Improve reading, speaking, writing, and translating skills.
- Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.
- Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
- Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 I	2017年度以降入学者
陳 瀟瀟	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：金4/Fri.4
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を基礎に、中級レベルの語彙・文法・表現を学ぶとともに、中国文化や中国の事情、そして中国人の考え方を理解しながら、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語1と中国語2）で学んだ内容を確実に定着させる。
- ・ピンインに頼らず、中国語を読む習慣を身につける。
- ・中国語を聴く・話す・読む能力を向上させる。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できるようにする。
- ・中国の文化や風習への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で学習を進む。

グループでの会話練習・ディスカッションを行う。

課題等へのフィードバックは、授業時間中または学習支援システムを通じて行う。

※本授業は対面で実施する。授業形態に変更が生じる場合は、大学の方針が確定次第、学習支援システム「Hoppii」を通じて随時連絡する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業計画および進め方、成績評価の方法・基準についての説明 ・中国語発音の練習 ・早口言葉
第2回	第一課 自我介绍	・単語・文法の説明 ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞＋動詞」の活用
第3回	第一課 自我介绍	・本文 ・練習 ・実践会話：自我介绍
第4回	第二課 李军有很多爱好	・単語・文法の説明 ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第5回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第6回	第三課 赵大妈的一天	・小テスト① ・単語・文法の説明 ・動作の前後関係の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語＋動詞＋得＋形容詞」

第7回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过？
第8回	第四課 许芳的苦恼	・単語・文法の説明 ・復習：動詞＋方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第9回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・練習 ・実践会話：你有苦恼吗？ ・小テスト②
第10回	第五課 我们是去年认识的	・「是……的」構文 ・「因为……所以……」 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第11回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・練習
第12回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・小テスト③ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第13回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・本文 ・練習 ・質疑応答
第14回	期末試験	・復習及び試験 ・授業内容の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業では、1回の授業につき、標準として2時間程度の予習・復習・課題時間を想定する。

- ・予習：ウォーミングアップ、語彙および本文の確認
- ・復習：単語・文型の復習、構文練習、読解練習、翻訳練習
- ・課題：翻訳課題、読解課題、練習問題

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社 (ISBN: 978-4-255-45215-9)

*授業には必ず教科書を持参すること。

【参考書】

- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社、2016年
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年
- ・中国語辞書（電子辞書可）

* 必要に応じて授業内で補足資料を提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%及び平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価を行う。

成績評価は100点満点とし、60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生から、レジュメがわかりやすく、語彙・文法だけでなく、中国文化などの解説も興味深いとの評価を得た。今後は授業内でのコミュニケーションやディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力向上を図る。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出及び授業時間外の予習・復習のため、学習支援システムを利用可能なパソコンまたはタブレットを準備すること。
また、音声教材を再生可能な機器も必要である。

【その他の重要事項】

授業には必ず教科書及び授業関連資料を持参すること。
授業内容や課題等について不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp まで問い合わせてください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The goal of this course is to help learners improve their listening, speaking, reading, and writing skills in Chinese, as well as their overall communication abilities in the language.

【Learning Objectives】

- ・ Help students reach an intermediate level in Chinese.
- ・ Enable students to express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Develop a deeper understanding of Chinese culture, society and ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to spend approximately 2 hours previewing, reviewing and practicing.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class Participation/Contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 II	2017年度以降入学者
陳 瀟瀟	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金 4/Fri.4	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語中級レベルの語彙、文法、表現を習得するとともに、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解し、実践的な中国語運用能力の向上を図ることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国語 1～中国語 3 I で習得した内容を確実に定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴解・会話・読解能力を高める。
- ・日常的事柄を中国語で積極的に表現できるようにする。
- ・中国語で日常会話を円滑に行えるようにする。
- ・中国の文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で学習を進める。

グループでの会話練習・ディスカッションを行う。

課題等へのフィードバックは、授業時間中または学習支援システムを通じて行う。

※本授業は対面で実施する。授業形態に変更が生じる場合は、学習支援システム「Hoppii」を通じて随時連絡する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・単語と文法の説明 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第2回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・練習 ・日本語と中国語の外来語
第3回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国の大学の寮生活
第4回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・練習 ・実践会話：我的大学生活
第5回	第九課 年轻人追求时尚	・小テスト① ・単語と文法の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第6回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・練習 ・中国の若者文化
第7回	第十課 日本动漫的影响力	・実践会話：你喜欢什么？ ・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」

第8回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・練習 ・「动漫」について ・小テスト② ・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現
第9回	第十一課 北京欢迎你	・本文 ・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受身表現「被」
第10回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・実践会話：日本の美食 ・小テスト③ ・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方
第11回	第十二課 饮食与中国	・本文
第12回	第十三課 中国的民族	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節 ・質疑応答
第13回	第十四課 过春节	・復習および試験 ・授業内容の総括
第14回	期末試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業では、1回の授業につき、標準として2時間程度の予習・復習・課題時間を想定する。

- ・予習：ウォーミングアップ、語彙および本文の確認
- ・復習：単語・文型の復習、構文練習、読解練習、翻訳練習
- ・課題：翻訳課題、読解課題、練習問題

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社 (ISBN: 978-4-255-45215-9)

*授業には必ず教科書を持参すること。

【参考書】

- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社、2016年
 - ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年
 - ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年
 - ・中国語辞書（電子辞書可）
- *必要に応じて授業内で補足資料を提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%及び平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価する。
成績評価は100点満点とし、60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生から、レジュメがわかりやすく、語彙・文法だけでなく、中国文化などの解説も興味深いとの評価を得た。今後は授業内でのコミュニケーションやディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力向上を図る。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出及び授業時間外の予習・復習のため、学習支援システムを利用可能なパソコンまたはタブレットを準備すること。

【その他の重要事項】

授業には必ず教科書および授業関連資料を持参すること。
授業内容や課題等について不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまで問い合わせてください。

【Outline (in English)】

This is an intermediate-level Chinese course. Its objectives are to develop learners' listening, reading, speaking, and writing skills in Chinese and to enhance their ability to communicate effectively in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students reach an intermediate level in Chinese.
- ・ Enable students to express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Foster a better understanding of Chinese culture, society, and ways of thinking through the course.

【Learning activities outside of classroom】

students are expected to spend approximately 2 hours per lesson on preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class Participation/Contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅰ 2017年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、「中国語1」「中国語2」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全12課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第1課（助動詞、主述述語文の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第2回	第1課（トレーニング1）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第3回	第2課（“的”の用法、「原因・理由」の表現、文末助詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第4回	第2課（トレーニング2）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第5回	第3課（連動文、“是…的”の文、疑問詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第6回	第3課（トレーニング3）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第7回	第1課～第3課の復習	日文中訳・中文日訳の練習。
第8回	第4課（“了”の3つの用法、副詞“就”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第9回	第4課（トレーニング4）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第10回	第5課（様態補語、推量の表現、「假定」の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第11回	第5課（トレーニング5）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第12回	総合練習（第1課～第3課）	期末試験に向けた復習と練習。
第13回	総合練習（第4課、第5課）	期末試験に向けた復習と練習。

第14回 試験・まとめと解説 朗読試験、ヒヤリング・筆記試験およびまとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属のCDを活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、授業への参加度60%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化し到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

中国語コミュニケーション中級A・B／第三外国語としての中国語中級A・B／中国語視聴覚中級A・B／中国語作文中級A・B／中国語講読A・B

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

- ・ To review important point of Chinese grammar.
- ・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.
- ・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.
- ・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、引き続き、「中国語1」「中国語2」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全12課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。

課題等へのフィードバックは授業中またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第6課（結果補語（1）、副詞“有点”の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第2回	第6課（トレーニング6）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第3回	第7課（存現文、主述句の主語、二つの了”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第4回	第7課（トレーニング7）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第5回	第8課（状態の持続を表す“着”、副詞“再”、疑問詞の不定用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第6回	第8課（トレーニング8）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第7回	第6課～第8課の復習	日文中訳、中文日訳を中心とした練習
第8回	第9課（方向補語、使役表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第9回	第9課（トレーニング9）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第10回	第10課（可能補語、強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第11回	第10課（トレーニング10）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第12回	総合練習（第6課～第8課）	期末試験に向けた復習と練習。

第13回 総合練習（第9課、 期末試験に向けた復習と練習。第10課）

第14回 試験・まとめと解説 朗読試験、ヒヤリング・筆記試験およびまとめ・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属のCDを活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一步』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一步』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度60%、期末試験40%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

中国語コミュニケーション中級A・B／第三外国語としての中国語中級A・B／中国語視聴覚中級A・B／中国語作文中級A・B／中国語講読A・B

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

This course is continued from Spring semester.

- To review important point of Chinese grammar.
- Improve reading, speaking, writing, and translating skills.
- Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.
- Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
- Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 I	2017年度以降入学者
陳 瀟瀟	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：木1/Thu.1
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を基礎に、中級レベルの語彙・文法・表現を学ぶとともに、中国文化や中国の事情、そして中国人の考え方を理解しながら、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語1と中国語2）で学んだ内容を確実に定着させる。
- ・ピンインに頼らず、中国語を読む習慣を身につける。
- ・中国語を聴く・話す・読む能力を向上させる。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できるようにする。
- ・中国の文化や風習への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で学習を進む。

グループでの会話練習・ディスカッションを行う。

課題等へのフィードバックは、授業時間中または学習支援システムを通じて行う。

※本授業は対面で実施する。授業形態に変更が生じる場合は、大学の方針が確定次第、学習支援システム「Hoppii」を通じて随時連絡する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業計画および進め方、成績評価の方法・基準についての説明 ・中国語発音の練習 ・早口言葉
第2回	第一課 自我介绍	・単語・文法の説明 ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞＋動詞」の活用
第3回	第一課 自我介绍	・本文 ・練習 ・実践会話：自我介绍
第4回	第二課 李军有很多爱好	・単語・文法の説明 ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第5回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第6回	第三課 赵大妈的一天	・小テスト① ・単語・文法の説明 ・動作の前後関係の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語＋動詞＋得＋形容詞」

第7回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过？
第8回	第四課 许芳的苦恼	・単語・文法の説明 ・復習：動詞＋方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第9回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・練習 ・実践会話：你有苦恼吗？
第10回	第五課 我们是去年认识的	・小テスト② ・「是……的」構文 ・「因为……所以……」 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第11回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・練習
第12回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・小テスト③ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第13回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・本文 ・練習 ・質疑応答
第14回	期末試験	・復習及び試験 ・授業内容の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業では、1回の授業につき、標準として2時間程度の予習・復習・課題時間を想定する。

- ・予習：ウォーミングアップ、語彙および本文の確認
- ・復習：単語・文型の復習、構文練習、読解練習、翻訳練習
- ・課題：翻訳課題、読解課題、練習問題

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社 (ISBN: 978-4-255-45215-9)

*授業には必ず教科書を持参すること。

【参考書】

- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社、2016年
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社、2010年
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年
- ・中国語辞書（電子辞書可）

* 必要に応じて授業内で補足資料を提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%及び平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価を行う。

成績評価は100点満点とし、60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生から、レジュメがわかりやすく、語彙・文法だけでなく、中国文化などの解説も興味深いとの評価を得た。今後は授業内でのコミュニケーションやディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力向上を図る。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出及び授業時間外の予習・復習のため、学習支援システムを利用可能なパソコンまたはタブレットを準備すること。
また、音声教材を再生可能な機器も必要である。

【その他の重要事項】

授業には必ず教科書及び授業関連資料を持参すること。
授業内容や課題等について不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp まで問い合わせてください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The goal of this course is to help learners improve their listening, speaking, reading, and writing skills in Chinese, as well as their overall communication abilities in the language.

【Learning Objectives】

- ・ Help students reach an intermediate level in Chinese.
- ・ Enable students to express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Develop a deeper understanding of Chinese culture, society and ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to spend approximately 2 hours previewing, reviewing and practicing.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class Participation/Contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 II	2017年度以降入学者
陳 瀟瀟	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木1/Thu.1	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語中級レベルの語彙、文法、表現を習得するとともに、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解し、実践的な中国語運用能力の向上を図ることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国語 1～中国語 3 I で習得した内容を確実に定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴解・会話・読解能力を高める。
- ・日常的事柄を中国語で積極的に表現できるようにする。
- ・中国語で日常会話を円滑に行えるようにする。
- ・中国の文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で学習を進める。

グループでの会話練習・ディスカッションを行う。

課題等へのフィードバックは、授業時間中または学習支援システムを通じて行う。

※本授業は対面で実施する。授業形態に変更が生じる場合は、学習支援システム「Hoppii」を通じて随時連絡する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・単語と文法の説明 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第2回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・練習 ・日本語と中国語の外来語
第3回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国の大学の寮生活
第4回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・練習 ・実践会話：我的大学生活
第5回	第九課 年轻人追求时尚	・小テスト① ・単語と文法の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第6回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・練習 ・中国の若者文化
第7回	第十課 日本动漫的影响力	・実践会話：你喜欢什么？ ・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」

第8回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・練習 ・「动漫」について ・小テスト② ・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現
第9回	第十一課 北京欢迎你	・本文 ・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受身表現「被」
第10回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・実践会話：日本の美食 ・小テスト③ ・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方
第11回	第十二課 饮食与中国	・本文
第12回	第十三課 中国的民族	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節 ・質疑応答
第13回	第十四課 过春节	・復習および試験 ・授業内容の総括
第14回	期末試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業では、1回の授業につき、標準として2時間程度の予習・復習・課題時間を想定する。

- ・予習：ウォーミングアップ、語彙および本文の確認
- ・復習：単語・文型の復習、構文練習、読解練習、翻訳練習
- ・課題：翻訳課題、読解課題、練習問題

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社 (ISBN: 978-4-255-45215-9)

*授業には必ず教科書を持参すること。

【参考書】

- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社、2016年
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年
- ・中国語辞書（電子辞書可）
- *必要に応じて授業内で補足資料を提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%及び平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価する。
成績評価は100点満点とし、60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生から、レジュメがわかりやすく、語彙・文法だけでなく、中国文化などの解説も興味深いとの評価を得た。今後は授業内でのコミュニケーションやディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力向上を図る。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出及び授業時間外の予習・復習のため、学習支援システムを利用可能なパソコンまたはタブレットを準備すること。

【その他の重要事項】

授業には必ず教科書および授業関連資料を持参すること。
授業内容や課題等について不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまで問い合わせてください。

【Outline (in English)】

This is an intermediate-level Chinese course. Its objectives are to develop learners' listening, reading, speaking, and writing skills in Chinese and to enhance their ability to communicate effectively in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students reach an intermediate level in Chinese.
- ・ Enable students to express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Foster a better understanding of Chinese culture, society, and ways of thinking through the course.

【Learning activities outside of classroom】

students are expected to spend approximately 2 hours per lesson on preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class Participation/Contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

耿 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出ている語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	発音と基礎文法の復習
2	第1課	新出語句・文法・本文・一部ドリル
3	第2課	会話・文法・本文・一部ドリル
4	第3課	会話・新出語句・文法・本文・一部ドリル
5	第4課	会話・新出語句・文法・本文・一部ドリル
6	第5課	会話・新出語句・文法・本文・一部ドリル
7	中間復習	中間テスト・会話の発表等
8	第6課	文法・本文・一部ドリル・会話
9	第7課	文法・本文・一部ドリル・会話
10	第8課	文法・本文・一部ドリル・会話
11	第9課	文法・本文・一部ドリル・会話
12	第10課	文法・本文・一部ドリル・会話
13	第6課～第10課の復習	会話の発表・補充ドリル
14	授業の総まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「大学生のための中級中国語20回」杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019年 2400円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末テストを50%、中間テストを20%、会話の発表やドリル等の課題及び授業の参加度を30%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいと考えます。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC等を準備してください。

【その他の重要事項】

テキストは大学の生協で購入してほしいですが、インターネット等ほかの場所で購入する場合は必ず「補充ドリル」がついているテキストを購入してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), Short tests(20%), in-class contribution(10%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 II

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出ている語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期末試験の総括と第11課	新出語句・文法・本文・一部ドリル
2	第12課	会話・新出語句・文法・本文・一部ドリル
3	第13課	会話・新出語句・文法・本文・一部ドリル
4	第14課	会話・新出語句・文法・本文・一部ドリル
5	第15課	会話・新出語句・文法・本文
6	第11課～第15課の復習	会話・補充ドリル
7	中間試験	筆記試験
8	第16課	新出語句・文法・本文・一部ドリル
9	第17課	新出語句・文法・本文・一部ドリル・会話
10	第18課	新出語句・文法・本文・一部ドリル・会話
11	第19課	新出語句・文法・本文・一部ドリル・会話
12	第20課	新出語句・文法・本文・会話
13	第16課～第20課の復習	補充ドリル
14	授業の総まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「大学生のための中級中国語20回」杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019年 2400円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

中間テストと期末テストを50%、会話の発表やドリル等の課題及び授業の参加度を50%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいと考えます。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC等を準備してください。

【その他の重要事項】

テキストは大学の生協で購入してほしいですが、インターネット等ほかの場所で購入する場合は、必ず「補充ドリル」がついたテキストを購入してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), Short tests(20%), in-class contribution(10%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

比較的平易な文章で書かれた中国語を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的な能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的にレベルアップを図る。

【到達目標】

- ・中国語の発音と聞き取りの能力を高める。
- ・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
- ・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1、文法の確認
- 2、聞き取りの練習
- 3、発音練習

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	諸事情の確認	シラバスの配布、注意事項の伝達、及び簡単な自己紹介
2	第1課 発音	ピンインの復習
3	日常用語	あいさつなどの日常用語を練習する
4	第2課 人称代名詞と指示代名詞	人称代名詞と指示代名詞を確認する
5	第3課 述語	動詞と形容詞
6	第4課 受け答え	「是」その他
7	第5課 場所と方位	在と有
8	第6課 数量詞と連体修飾語	数量詞と連体修飾語について勉強する
9	第7課 疑問文	ものの尋ね方
10	第8課 連用修飾語	副詞と時間詞
11	第9課 完了と変化	「了」の様々を知る
12	第10課 助動詞と前置詞構造	助動詞と前置詞構造
13	第11課 三量補語	数量、時量、動量補語
14	まとめ	第1～11課の筆記テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週1時間を用途に予習・復習をする。

【テキスト（教科書）】

教室にて配布する

【参考書】

日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験：60%

小テスト：40%

term-end test:60%

presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

日常会話も増やす。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese.

We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

We should prepare and review about one hour a week.

term-end test:60%

little test:40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 II

2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

比較的平易な文章を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的な能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的なレベルアップを図る。

【到達目標】

- ・中国語の発音と聞き取りの能力を向上させる。
- ・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
- ・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1、文法の確認
- 2、聞き取りの練習
- 3、発音練習

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1 2 課 持続態と進行形	持続態と進行形について勉強する
2	第1 3 課 程度補語	程度補語（様態補語）
3	第1 4 課 比較と連動	比較文と連動文
4	第1 5 課 構文分析	構文と助動詞の補説
5	第1 6 課 強調と重複	強調構文と重複表現
6	第1 7 課 方向補語	方向補語の用法
7	第1 8 課 複合方向補語	複合方向補語の派生的用法
8	第1 9 課 結果補語	結果補語の説明
9	第2 0 課 可能補語	可能補語の説明
10	第2 1 課 使役と受身	使役と受身を確認し、比較する
11	第2 2 課 処置と倒置	処置文と倒置文
12	第2 3 課 複文一	複文について勉強する
13	第2 4 課 複文二	接続詞を確認する
14	まとめ	第1 2～2 4 課の筆記テスト・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週1時間を用途に予習・復習する。

【テキスト（教科書）】

教室にて教材を配布する

【参考書】

日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

小テスト：40%

term-end test:60%

presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

日常会話もたくさん覚える。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese.

We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

We should prepare and review about one hour a week.

term-end test:60%

little test:40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)		
中国語 3 I		2017年度以降入学者
張 玉萍		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月4/Mon.4		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を終えた学習者を対象に、1年間学んだ中国語を復習しながら、徐々にレベルアップしていく。学んだことを実践的に使えるようになるため、「読む」「聞く」「話す」「書く」という四技能を総合的に訓練する。それにより中国語コミュニケーション能力を向上させ、日常レベルのことを表現して中国語話者と交流できるようにする。

【到達目標】

現在の中国や日本での生活に密着した実用的な題材や表現を学習し、身近な話題や日常的な会話を練習して、自分の考えを中国語でスムーズに表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

三段階に分ける。

- ①教科書各課の新出単語、ポイント、会話本文を学習し、練習問題で確認作業を行なう。
 - ②ペアやグループで表現練習・応用練習をし、その課のポイントを生かしてスピーチ原稿を作成してもらう。
 - ③そのスピーチ原稿を皆の前で発表してもらう。
- 各種のフィードバックや質問の受け付けは毎回の授業時に行う。授業時以外にも、必要に応じてメールや学習支援システムで随時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、成績評価の基準、履修上の注意事項などについての説明。中国語レベルの確認
2	第1課 初次见面 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①名詞の前の“的” ②前置詞“在” ③“多”+動詞の重ね型 ◆練習問題を完成・確認する。
3	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
4	第2課 家庭 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①比較用法 ②“每～都…” ③動詞・形容詞の前の“地” ◆練習問題を完成・確認する。
5	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。

6	第3課 互联网 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“除了～以外，…” ②疑問詞の呼応表現 ③“一点儿也不／没～” ◆練習問題を完成・確認する。
7	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
8	第4課 逛街 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①使役同士“让” ②助詞“着” ③複合方向補語 ◆練習問題を完成・確認する。
9	◆総合練習1 会話練習、表現練習	◆総合練習1を完成・確認する。 質疑応答
10	第5課 温泉旅行 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“是～的” ②“因～所以…” ③結果補語 ◆練習問題を完成・確認する。
11	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
12	第6課 我的爱好 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“什么的” ②“一～就…” ③可能補語(1) ④“只要～就…” ◆練習問題を完成・確認する。
13	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
14	まとめ、到達度 チェック ＊授業の進行具合によって、授業の内容や進度が多少変更となる場合がある。	スピーチ発表などにより判定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

劉穎・柴森・杉野元子・小澤正人著『2冊めの中国語 会話クラス』白水社、2024年。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点(各課の表現練習、スピーチ発表など)50%＋期末試験(スピーチ発表)50%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【その他の重要事項】

授業中の私語は禁止する。教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

The course is designed for learners who have completed the basics of Chinese and will review the Chinese they have learned over the past year, gradually improving their level of Chinese. To be able to use what they have learned practically, students will be comprehensively trained in the four skills of reading, listening, speaking, and writing. This will improve their Chinese communication skills and enable them to express and interact with Chinese speakers on an everyday level. Students will learn practical subjects and expressions closely related to current life in China and Japan, practice familiar topics and daily conversation, and achieve the goal of being able to express their thoughts smoothly in Chinese. The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

Class participation (including expression practice, speech presentation, etc.) 50% + final exam (speech presentation) 50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)		
中国語 3 II		2017年度以降入学者
張 玉萍		
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月4/Mon.4		
単位数：1単位		
その他属性：		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を終えた学習者を対象に、1年間学んだ中国語を復習しながら、徐々にレベルアップしていく。学んだことを実践的に使えるようになるため、「読む」「聞く」「話す」「書く」という四技能を総合的に訓練する。それにより中国語コミュニケーション能力を向上させ、日常レベルのことを表現して中国語話者と交流できるようにする。

【到達目標】

現在の中国や日本での生活に密着した実用的な題材や表現を学習し、身近な話題や日常的な会話を練習して、自分の考えを中国語でスムーズに表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

三段階に分ける。

- ①教科書各課の新出単語、ポイント、会話本文を学習し、練習問題で確認作業を行なう。
 - ②ペアやグループで表現練習・応用練習をし、その課のポイントを生かしてスピーチ原稿を作成してもらう。
 - ③そのスピーチ原稿を皆の前で発表してもらう。
- 各種のフィードバックや質問の受け付けは毎回の授業時に行う。授業時以外にも、必要に応じてメールや学習支援システムで随時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課 交朋友 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①数量補語 ②副詞“才” ③様態補語 ◆練習問題を完成・確認する。
2	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
3	第8課 聚餐 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①疑問詞の不定用法 ②“无…都…” ③“…都…” ④可能補語(2) ◆練習問題を完成・確認する。
4	◆総合練習2 会話練習、表現練習	◆総合練習2を完成・確認する。 質疑応答
5	第9課 问路 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“不是…就是…” ②反語文“不是…?” ③“再也不…了” ④助動詞“会” ◆練習問題を完成・確認する。

6	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
7	第10課 打工 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“虽然…但是…” ②“不但…而且…” ③離合詞 ④“有”の兼語文 ◆練習問題を完成・確認する。
8	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	◆総合練習1 ①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
9	第11課 寒假 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“就要…了” ②副詞“就” ③副詞“都” ◆練習問題を完成・確認する。
10	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
11	第12課 留学 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①助動詞“要” ②“把”構文 ③“…来…” ④“有”の連動文 ◆練習問題を完成・確認する。
12	◆総合練習3 会話練習、表現練習	◆総合練習3を完成・確認する。
13	質疑応答、まとめ、 到達度チェック	質疑応答 スピーチ発表などにより判定
14	まとめ、到達度 チェック ＊授業の進行具合によって、授業の内容や進度が多少変更となる場合がある。	スピーチ発表などにより判定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

劉穎・柴森・杉野元子・小澤正人著『2冊めの中国語 会話クラス』白水社、2024年。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】

平常点(各課の表現練習、スピーチ発表など)50%＋期末試験(スピーチ発表)50%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【その他の重要事項】

授業中の私語は禁止する。教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

The course is designed for learners who have completed the basics of Chinese and will review the Chinese they have learned over the past year, gradually improving their level of Chinese. To be able to use what they have learned practically, students will be comprehensively trained in the four skills of reading, listening, speaking, and writing. This will improve their Chinese communication skills and enable them to express and interact with Chinese speakers on an everyday level. Students will learn practical subjects and expressions closely related to current life in China and Japan, practice familiar topics and daily conversation, and achieve the goal of being able to express their thoughts smoothly in Chinese. The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

Class participation (including expression practice, speech presentation, etc.) 50% + final exam (speech presentation) 50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ひととおりの基礎を学んだ上で一歩進んだ準中級の会話のテキストの読解・練習を通して、中国語の日常生活の基本語彙や基本文法を学習します。また、テキストの内容を通して、ことばの文化背景についても知識を深めます。

【到達目標】

中国語の基本語彙と基本文法を確実に理解し、準中級から中級レベルの中国語の表現能力を身につけることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語と要点（「除了～以外…」など5項目）の説明
2	第1課	「好」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語と要点（「可不是嘛」など5項目）の説明
4	第2課	「季」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語と要点（「使役文-」など5項目）の説明
6	第3課	「道歉」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語と要点（「会～的」など5項目）の説明
9	第4課	「客」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語と要点（「～都/也」など5項目）の説明
11	第5課	「物」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語と要点（「既～也(又)…」など5項目）の説明
13	第6課	「交友」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

王慧琴・植村麻紀子『中国語口語コンプリート ―中級レベル―』、朝日出版社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40%、中間試験30%、期末試験30%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ひととおりの基礎を学んだ上で一歩進んだ準中級の会話のテキストの読解・練習を通して、中国語の日常生活の基本語彙や基本文法を学習します。また、テキストの内容を通して、ことばの文化背景についても知識を深めます。

【到達目標】

中国語の基本語彙と基本文法を確実に理解し、準中級から中級レベルの中国語の表現能力を身につけることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語と要点（「如果～就…」など5項目）の説明
2	第7課	「 ☐ ☐ ☐ 」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語と要点（「一点儿～都/也+否定形」など5項目）の説明
4	第8課	「看病」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語と要点（「差点儿～」など5項目）の説明
6	第9課	「 ☐ 比 ☐ 」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語と要点（「有的～有的～」など5項目）の説明
9	第10課	「健身」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語と要点（「趁着～」など5項目）の説明
11	第11課	「交流」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語と要点（「非～不可」など5項目）の説明
13	第12課	「 ☐ 划」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

王慧琴・植村麻紀子『中国語口語コンプリート ——中級レベル——』、朝日出版社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40%、中間試験30%、期末試験30%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

猿渡 留理

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

発音や基礎文法など初級の既習事項を確認しながら、新たな語彙や表現方法を学び、中級レベルの中国語の運用能力を養います。

【到達目標】

- ①中国語の正しい発音と基礎文法を定着させる。
- ②中国語の初歩的な短い文を聴き取り、簡単な意思疎通ができる。
- ③習得した語句や構文を用いて簡単な文を作り、中国語で表現できる。
- ④中国語と中国の文化に対する理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業では以下の通り、2回の授業で1課を進めます。

・授業1：文法事項を解説し、それらを活用した会話文を学ぶとともに、異文化理解を深める。

・授業2：既習事項の確認をして、言い換えや会話練習をする。またリスニング問題にも取り組む。

また原則1課が終わるごとに小テストを実施します。課題等へのフィードバックは、授業時間または学習支援システムで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方や受講上の注意点などの説明
2	第1課 入学式の日	第1課の文法・本文
3	第1課 入学式の日	前回の復習・応用練習
4	第2課 食事に誘う	第1課の小テスト、第2課の文法・本文
5	第2課 食事に誘う	前回の復習・応用練習
6	第3課 ラーメン屋さんの前で	第2課の小テスト、第3課の文法・本文
7	第3課 ラーメン屋さんの前で	前回の復習・応用練習
8	中間試験、第4課 何を食べようか？	第1課～第3課の定着度確認、第4課の文法・本文
9	第4課 何を食べようか？	前回の復習・応用練習
10	第5課 中国語の何が難しい？	第4課の小テスト、第5課の文法・本文
11	第5課 中国語の何が難しい？	前回の復習・応用練習
12	第6課 夏休みはどうする？	第5課の小テスト、第6課の文法・本文
13	第6課 夏休みはどうする？	前回の復習・応用練習
14	期末試験	第4課～第6課の理解度と定着度の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。まずは中国語の音に慣れるため、授業の前後ともに繰り返し音声を聴いて音読してください。その上で準備学習では最低限、分からない単語を調べて例文の意味を確認しましょう。復習では、学んだ内容を確認しながら課題に取り組み、例文を覚えましょう。

【テキスト（教科書）】

陳淑梅・胡興智・劉渴氷『もっと話そう！ 異文化おもしろ体験 中級中国語』朝日出版社（ISBN: 978-4-255-45343-9）

【参考書】

授業時に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%（予習や課題等を含む授業態度および発音の習熟度）、小テスト30%、試験50%（中間試験25%、期末試験25%）で評価します。

授業回数の3分の1以上欠席した場合は評価の対象から外します。

遅刻した場合はその回の平常点を減点し、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

【学生の意見等からの気づき】

今年度担当者変更につき特になし。

【学生が準備すべき機器他】

教科書の音声を聴ける機器（スマートフォンやパソコン等）が必要です。

課題や授業に関する連絡に授業支援システムを利用するので、適宜確認するようにしてください。

【Outline (in English)】

This course is designed for intermediate learners of Chinese. It aims to bridge the gap between beginner and intermediate levels by reviewing foundational content while introducing new vocabulary and expressions. By the end of the course, students will be able to demonstrate accurate pronunciation, a solid grasp of basic grammar, and the ability to engage in basic everyday conversations. Learners are expected to spend approximately one hour on preparation and review for each lesson. Grades will be based on 20% class participation, 30% quizzes, and 50% examinations.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

猿渡 留理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

発音や基礎文法など初級で学んだ内容を確認しながら、新しい語彙や表現を学び、中級レベルの中国語運用能力を養います。

【到達目標】

- ①中国語の正しい発音と基礎文法を定着させる。
- ②中国語の初歩的な短い文を聴き取り、簡単な意思疎通ができる。
- ③習得した語句や構文を用いて簡単な文を作り、中国語で表現できる。
- ④中国語と中国の文化に対する理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業では以下の通り、2回の授業で1課を進めます。

・授業1：文法事項を解説し、それらを活用した会話文を学ぶとともに、異文化理解を深める。

・授業2：既習事項の確認をして、言い換えや会話練習をする。またリスニング問題にも取り組む。

また原則1課が終わるごとに小テストを実施します。課題等へのフィードバックは、授業時間または学習支援システムで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の内容の総復習
2	第7課 このワンピース・似合う？	第7課の文法・本文
3	第7課 このワンピース・似合う？	前回の復習・応用練習
4	第8課 具合が悪いの？	第7課の小テスト、第8課の文法・本文
5	第8課 具合が悪いの？	前回の復習・応用練習
6	第9課 日本の電車はほんとうに静か	第8課の小テスト、第9課の文法・本文
7	第9課 日本の電車はほんとうに静か	前回の復習・応用練習
8	中間試験、第10課 ちょっと休みましょう	第7課～第9課の定着度確認、第10課の文法・本文
9	第10課 ちょっと休みましょう	前回の復習・応用練習
10	第11課 メリー・クリスマス！	第10課の小テスト、第11課の文法・本文
11	第11課 メリー・クリスマス！	前回の復習・応用練習
12	第12課 ますます日本が好きになった	第11課の小テスト、第12課の文法・本文
13	第12課 ますます日本が好きになった	前回の復習・応用練習
14	期末試験	第10課～第12課の理解度と定着度の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。まずは中国語の音に慣れるため、授業の前後ともに繰り返し音声を聴いて音読してください。その上で準備学習では最低限、分からない単語を調べて例文の意味を確認しましょう。復習では、学んだ内容を確認しながら課題に取り組み、例文を覚えましょう。

【テキスト（教科書）】

陳淑梅・胡興智・劉渴氷『もっと話そう！ 異文化おもしろ体験 中級中国語』朝日出版社（ISBN: 978-4-255-45343-9）

【参考書】

授業時に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%（予習や課題等を含む授業態度および発音の習熟度）、小テスト30%、試験50%（中間試験25%、期末試験25%）で評価します。

授業回数の3分の1以上欠席した場合は評価の対象から外します。遅刻した場合はその回の平常点を減点し、遅刻時間が30分以上になった場合は欠席とみなします。

【学生の意見等からの気づき】

今年度担当者変更につき特になし。

【学生が準備すべき機器他】

教科書の音声を聴ける機器（スマートフォンやパソコン等）が必要です。

課題や授業に関する連絡に授業支援システムを利用するので、適宜確認するようにしてください。

【Outline (in English)】

This course is designed for intermediate learners of Chinese. It aims to bridge the gap between beginner and intermediate levels by reviewing foundational content while introducing new vocabulary and expressions. By the end of the course, students will be able to demonstrate accurate pronunciation, a solid grasp of basic grammar, and the ability to engage in basic everyday conversations. Learners are expected to spend approximately one hour on preparation and review for each lesson. Grades will be based on 20% class participation, 30% quizzes, and 50% examinations.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語のヒアリング能力を高める。
- ・ピンインに頼らずに中国語を読む習慣を身につけ、文章読解能力を高める。
- ・中国の文化について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方・方針・約束事などを説明、併せて初級事項の定着度テストを行う。
2	第12課 你是什么□ 候回来的？ Step1	強調構文・程度補語・疑問詞の不定詞用法など
3	第12課 你是什么□ 候回来的？ Step2	リスニングと解釈
4	第12課 你是什么□ 候回来的？ Step3	その他の疑問詞の不定詞用法など
5	第12課 你是什么□ 候回来的？ Step4	本文の読解と解説
6	第12課 你是什么□ 候回来的？ 練習問題	第12課全体の練習問題「After Dig」の解説
7	第13課 我正在写□ 告呢 Step1	結果補語・動作の進行・連勝修飾語「地」など
8	第13課 我正在写□ 告呢 Step2	リスニングと解釈
9	第13課 我正在写□ 告呢 Step3	その他の結果補語など
10	第13課 我正在写□ 告呢 Step4	本文の読解と解説
11	第14課 下雨了 Step1	持続形「着」・複合方向補語など
12	第14課 下雨了 Step2	リスニングと解釈
13	第14課 下雨了 Step3	「不能不～」・「除了～以外……」など

14 授業の総まとめと期 授業の総まとめと筆記試験
末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は付属CDを何度も聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社、2018、2700円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20%

期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Preparation is required. Before each lesson, check the meaning of the words, sentences, and example sentences that appear in each lesson. Also, listen to the attached CD many times and do the practice problems assigned as homework in advance. If you come across an unlearned word, be sure to look up the pinyin for each kanji and write it down. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours in total. The method and criteria for grade evaluation are 20% for normal scores (mini tests) and 80% for final exams.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 II

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語のヒアリング能力を高める。
- ・ピンインに頼らずに中国語を読む習慣を身につけ、文章読解能力を高める。
- ・中国の文化について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第14課 下雨了	本文の読解と解説
	Step4	
2	第15課 我☐☐来得及看☐	使役文・可能補語など
	Step1	
3	第15課 我☐☐来得及看☐	リスニングと解釈
	Step2	
4	第15課 我☐☐来得及看☐	その他の可能補語・本文の読解と解説など
	Step3・4	
5	第16課 把以前的考☐做一做	形容詞の重ね型・「把」を用いた処置文など
	Step1	
6	第16課 把以前的考☐做一做	リスニングと解釈
	Step2	
7	第16課 把以前的考☐做一做	「越～越……」・「不管～」・本文の読解と解説など
	Step3・4	
8	第17課 小心！后面来了一☐☐	存現文・疑問詞の呼応など
	Step1	
9	第17課 小心！后面来了一☐☐	リスニングと解釈
	Step2	
10	第17課 小心！后面来了一☐☐	「差(一)点儿」・積極性を示す「来」と「去」・本文の読解と解説など
	Step3・4	
11	第18課 他的自行车被人撞坏了	受身文・リスニングと解釈など
	Step1・2	
12	第18課 他的自行车被人撞坏了	"比"と様態補語・本文の読解と解説など
	Step3・4	

13 第19課 "☐☐"和"打工"的性☐不同

Step1・2

14 授業の総まとめと期 授業の総まとめと筆記試験
末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は付属CDを何度も聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社、2018、2700円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20%

期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Preparation is required. Before each lesson, check the meaning of the words, sentences, and example sentences that appear in each lesson. Also, listen to the attached CD many times and do the practice problems assigned as homework in advance. If you come across an unlearned word, be sure to look up the pinyin for each kanji and write it down. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours in total.

The method and criteria for grade evaluation are 20% for normal scores (mini tests) and 80% for final exams.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 I	2017年度以降入学者
三田村 圭子	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水3/Wed.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習し、より複雑な表現を理解する。その上で中級以上の中国語に取り組む際に必要な構文や新しい語彙を習得する。

【到達目標】

春学期終了時には、文法・ヒアリングにおいてHSK 3級、中国語検定4級程度の能力を確実に習得し運用できること、少し複雑な構文を正確な文法を用いて表現できることを到達目標とする。また、新語の検索をピンイン入力などで実際に行い、実践的な中国語運用の方法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で進みます。進行や課題は学習支援システムでも告知します。毎回の授業は担当者が講義スタイルで内容を解説したのち、中国語による表現をクラス全体で反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙の理解、トピックのことばの文化背景などについて、各自が中国語で表現する実践練習を行います。

【課題へのフィードバック】

文法に関しては数回に一度個別の回答を回収し授業時間に例に挙げて解説する。各自が自由に書く課題については添削した後、返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	基礎で学習したことの復習①特に4文型	自己紹介。特に発音の確認と練習。
第2回	基礎で学習したことの復習②特に補語表現	基礎文法事項の練習。学んだ常用表現を使い、実際に口頭練習する。
第3回	第1課(1)“中国的早餐”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①方向補語②連動文③変化を示す「了」④掃
第4回	第1課(2)“中国的早餐”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	食事にまつわる表現とヒアリング・練習問題を行う。
第5回	第2課(1)“坐出租车”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①結果補語②仮定の表現③助動詞まとめ④修飾語を構成する語
第6回	第2課(2)“坐出租车”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	新しく学習した文例を用い、実際の交通状況について簡単な作文を作成する。

第7回	第3課(1)“昂貴的咖啡”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①兼語文②越来越～③可能補語の特殊な否定形④対～來說
第8回	第3課(2)“昂貴的咖啡”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第1～第3課の補足と復習・ヒアリング問題
第9回	第1～3課までの習得度の確認。第4課(1)“AA制和AB制”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①受け身・使役表現のまとめ②語気助詞③禁止の表現④不但～還～
第10回	第4課(2)“AA制和AB制”短文の理解と表現練習、練習問題。第5課(1)“拉肚子”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	第4課、第5課の内容復習し、練習問題を行う。
第11回	第5課短文の理解と表現練習、練習問題。第6課(1)“网购”の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①不定の表現②不是～而是～③等～再～④把構文の練習
第12回	学習した中級構文についてのまとめ	第5課、第6課のヒアリングと作文を行う。
第13回	第4から第6課までのヒアリングと発音の復習と暗誦	第4課から第6課の造句部分の復習。
第14回	春学期の到達度の確認・文法事項全体の復習	春学期進行分の到達度の確認と復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。本授業の準備・復習時間は各1時間を標準とする。【予習】授業時に分担して回答してもらうので発展練習には各自でピンインを付け音読できるようにしておくこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材のヒアリングの問題や進行状況に合わせた問題を行う。

【テキスト（教科書）】

『中国語への道一浅きから遠きへー』改訂新版 準中級編 内田慶市・奥村佳世子・塩山正純・張軼欧 KINSEIDO 2024年 ¥2400＋税 978-4-7647-0724-5 C1087

【参考書】

進度に合わせて適宜、辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、平常点30%（課題提出や暗誦、教科書準拠のネットでの練習20%・授業への参加度10%）を総合して評価する。また、春学期においてはHSK 3・4級、中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をする。点数や合格級数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】

個別の発音チェックが十分にとれなかった点が改善点です。会話の実践練習や造句の多くの機会が得られるように進行了ましたが、補充で行った練習問題に関する解説などが不十分でした。この点に関して工夫した進行が必要と考えています。中国語検定4級問題を復習を兼ねてできたことは良かった点です。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材をダウンロードできる機器

【その他の重要事項】

大学で改訂新版を購入しましょう。最新版でない場合、教科書準拠のネット上での教材が使用できません。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%). Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）	
中国語 3 II	2017年度以降入学者
三田村 圭子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水3/Wed.3	
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法に関しては中級レベルで書かれた文章の正確な読解を助ける、やや難しい構文を中心に学習する。また造句の練習を通じ、より難度の高い実践的な中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、**HSK**や中国語検定試験に対応する能力と上級に進む上で必要な基礎力を養成する。

【到達目標】

基礎に基づき聴く能力・話す能力および読解力を高め、正しい中国語の発音、日常生活の基本語彙と基本文法を確実に理解し、基礎的な表現能力を身につけることを目標とする。具体的には、身のまわりの様々な場面を表現した中級レベルの語彙・文法で書かれた会話と短文、例文の学習によって、中国語の語彙を増やすとともに文法のしくみを理解し、様々な場面に相応しい表現できる能力を培う。また、テキストの内容を通し文化背景についても客観的な知識を持つことを目標とする。文法に関しては**HSK** 3級から4級レベル、中国語検定3級程度の能力を習得することを最終的な到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

春学期よりも授業進行が若干速めになる。基本的には春学期の授業進行と同様の順番だが、途中で応用問題を行う時間をとる。また、複雑な文法事項についてはプリントを使用しながら学習する。【課題へのフィードバック】造句は授業内で回収し添削し特に文法に関しては授業時間に回答で誤りが多かった問題から解説する。発音に関しては各回の授業開始時に頻度の高いフレーズを練習する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期までの復習と発音練習	本文の発音練習をしながら、前半学習した文法事項を総復習する。
第2回	第7課(1)“剩男、剩女”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①才の表現②怎么のまとめ③持续と進行のまとめ④即使⑤□/□了の用法
第3回	第7課(2)“剩男、剩女”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第7課の内容を理解し、ヒアリング・造句・練習問題を行う。
第4回	第8課(1)“大学生應該少打工，多學習”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①一～就～②離合詞③有を使っ た兼語文④後置される介詞①
第5回	第8課(2)“大学生應該少打工，多學習”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第1回から4回までの練習の確認と自分の生活についての簡単な作文を書く。

第6回	第9課(1)“表示感謝的習慣”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①「また」に関する表現のまとめ②二重目的語と把構文③只有～才～④時量・動量補語の整理
第7回	第9課(2)“表示感謝的習慣”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第9課で学んだ例文を参考に造句してみる。
第8回	第7課から第9課までの全体的な復習と到達度の確認	検定試験問題や小テストを行う。
第9回	第10課(1)“年輕人的就職觀”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①考②存現文まとめ③数字の表現④却と接続詞の整理
第10回	第10課(2)“年輕人的就職觀”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第10課の内容を踏まえてのヒアリングと造句
第11回	第11課(1)“月光族”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説と学習	①補語表現②会の用法の整理③只要～就～④疑問詞の呼応表現
第12回	第11課まで学習した構文を使った表現練習。第12課会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①後置される介詞②介詞まとめ③フレーズが目的語になる表現④竟然
第13回	第12課(2)“海外的漢語奇遇”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第10～12課までの総合復習
第14回	秋学期の学習到達度の確認。応用表現の総合復習	期末テスト。 第7課から第12課までを中心に。日常よく使われる表現の復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は各1時間半を標準とする。秋学期は内容も難しくなるので、音声教材を授業以外の時間にもよく聴くこと。また授業以外でも大学所蔵のDVDを観るなど、幅広く興味を持ってほしい。【予習】授業時に分担して回答してもらうので発展練習は各自でピンインを付け音読できるようにしておくこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材のヒアリングの問題や進行状況に合わせた外部試験問題を行う。

【テキスト（教科書）】

『中国語への道一浅きから遠きへ』改訂新版 準中級編
内田慶市・奥村佳世子・塩山正純・張軼欧著 KINSEIDO 2024年
¥2400＋税 978-4-7647-0724-5 C1087

【参考書】

授業の進行に合わせて再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40％、小テスト30％、平常点30％（課題や教科書準拠の練習問題20％・授業への参加度10％）を総合して評価する。また**HSK** 3・4級・中国語検定試験4級合格者には10％を上限として加点をする。中国語検定試験3級・**HSK**4級以上の合格者は期末試験を免除し評価をSとする。

【学生の意見等からの気づき】

進行が順調な学生には若干物足りない内容だったかと思います。問題を追加できるよう補充練習が付属しているので、当初オンライン上で全て練習できるようにする予定であったのがPDFで問題を配付、回収という従来の方法で実施したことが多かった点が改善すべき点だと考えます。**Google**のドキュメントを共有の黒板として使用し事前に練習問題を担当してもらったのは回答を解説する上で良かったようです。昨年度は学習到達度も大変良好でしたので、授業内での実践的な練習の機会をもっと増やせるよう進行したいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】

音声ダウンロードできる機器

【その他の重要事項】

大学で改訂新版を購入しましょう。最新版でないとネット上での教科書準拠の練習問題ができません。

【Outline (in English)】**【Course outline/Learning Objectives】**

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one and a half hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process
term-end examination (40%), mid-term examination (30%),
and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 I	2017年度以降入学者
陳 瀟瀟	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：木3/Thu.3
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を基礎に、中級レベルの語彙・文法・表現を学ぶとともに、中国文化や中国の事情、そして中国人の考え方を理解しながら、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語1と中国語2）で学んだ内容を確実に定着させる。
- ・ピンインに頼らず、中国語を読む習慣を身につける。
- ・中国語を聴く・話す・読む能力を向上させる。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できるようにする。
- ・中国の文化や風習への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で学習を進む。

グループでの会話練習・ディスカッションを行う。

課題等へのフィードバックは、授業時間中または学習支援システムを通じて行う。

※本授業は対面で実施する。授業形態に変更が生じる場合は、大学の方針が確定次第、学習支援システム「Hoppii」を通じて随時連絡する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業計画および進め方、成績評価の方法・基準についての説明 ・中国語発音の練習 ・早口言葉
第2回	第一課 自我介绍	・単語・文法の説明 ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞＋動詞」の活用
第3回	第一課 自我介绍	・本文 ・練習 ・実践会話：自我介绍
第4回	第二課 李军有很多爱好	・単語・文法の説明 ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第5回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第6回	第三課 赵大妈的一天	・小テスト① ・単語・文法の説明 ・動作の前後関係の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語＋動詞＋得＋形容詞」

第7回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过？
第8回	第四課 许芳的苦恼	・単語・文法の説明 ・復習：動詞＋方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第9回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・練習 ・実践会話：你有苦恼吗？
第10回	第五課 我们是去年认识的	・小テスト② ・「是……的」構文 ・「因为……所以……」 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第11回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・練習
第12回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・小テスト③ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第13回	第六課 你知道“汉语桥”吗？	・本文 ・練習 ・質疑応答
第14回	期末試験	・復習及び試験 ・授業内容の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業では、1回の授業につき、標準として2時間程度の予習・復習・課題時間を想定する。

- ・予習：ウォーミングアップ、語彙および本文の確認
- ・復習：単語・文型の復習、構文練習、読解練習、翻訳練習
- ・課題：翻訳課題、読解課題、練習問題

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社 (ISBN: 978-4-255-45215-9)

*授業には必ず教科書を持参すること。

【参考書】

- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社、2016年
- ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社、2010年
- ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年
- ・中国語辞書（電子辞書可）

* 必要に応じて授業内で補足資料を提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%及び平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価を行う。

成績評価は100点満点とし、60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生から、レジュメがわかりやすく、語彙・文法だけでなく、中国文化などの解説も興味深いとの評価を得た。今後は授業内でのコミュニケーションやディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力向上を図る。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出及び授業時間外の予習・復習のため、学習支援システムを利用可能なパソコンまたはタブレットを準備すること。
また、音声教材を再生可能な機器も必要である。

【その他の重要事項】

授業には必ず教科書及び授業関連資料を持参すること。
授業内容や課題等について不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp まで問い合わせてください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The goal of this course is to help learners improve their listening, speaking, reading, and writing skills in Chinese, as well as their overall communication abilities in the language.

【Learning Objectives】

- ・ Help students reach an intermediate level in Chinese.
- ・ Enable students to express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Develop a deeper understanding of Chinese culture, society and ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to spend approximately 2 hours previewing, reviewing and practicing.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class Participation/Contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 II	2017年度以降入学者
陳 瀟瀟	

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語中級レベルの語彙、文法、表現を習得するとともに、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解し、実践的な中国語運用能力の向上を図ることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国語 1～中国語 3 I で習得した内容を確実に定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴解・会話・読解能力を高める。
- ・日常的事柄を中国語で積極的に表現できるようにする。
- ・中国語で日常会話を円滑に行えるようにする。
- ・中国の文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で学習を進める。

グループでの会話練習・ディスカッションを行う。

課題等へのフィードバックは、授業時間中または学習支援システムを通じて行う。

※本授業は対面で実施する。授業形態に変更が生じる場合は、学習支援システム「Hoppii」を通じて随時連絡する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・単語と文法の説明 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第2回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・練習 ・日本語と中国語の外来語
第3回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国の大学の寮生活
第4回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・練習 ・実践会話：我的大学生活
第5回	第九課 年轻人追求时尚	・小テスト① ・単語と文法の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第6回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・練習 ・中国の若者文化
第7回	第十課 日本动漫的影响力	・実践会話：你喜欢什么？ ・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」

第8回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・練習 ・「动漫」について ・小テスト② ・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現
第9回	第十一課 北京欢迎你	・本文 ・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受身表現「被」
第10回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・実践会話：日本の美食 ・小テスト③ ・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方
第11回	第十二課 饮食与中国	・本文
第12回	第十三課 中国的民族	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節 ・質疑応答
第13回	第十四課 过春节	・復習および試験 ・授業内容の総括
第14回	期末試験	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業では、1回の授業につき、標準として2時間程度の予習・復習・課題時間を想定する。

- ・予習：ウォーミングアップ、語彙および本文の確認
- ・復習：単語・文型の復習、構文練習、読解練習、翻訳練習
- ・課題：翻訳課題、読解課題、練習問題

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社 (ISBN: 978-4-255-45215-9)

*授業には必ず教科書を持参すること。

【参考書】

- ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同社、2016年
 - ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一步』白水社、2010年
 - ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店、2010年
 - ・中国語辞書（電子辞書可）
- *必要に応じて授業内で補足資料を提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%及び平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価する。
成績評価は100点満点とし、60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

学生から、レジュメがわかりやすく、語彙・文法だけでなく、中国文化などの解説も興味深いとの評価を得た。今後は授業内でのコミュニケーションやディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力向上を図る。

【学生が準備すべき機器他】

課題提出及び授業時間外の予習・復習のため、学習支援システムを利用可能なパソコンまたはタブレットを準備すること。

【その他の重要事項】

授業には必ず教科書および授業関連資料を持参すること。
授業内容や課題等について不明な点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまで問い合わせてください。

【Outline (in English)】

This is an intermediate-level Chinese course. Its objectives are to develop learners' listening, reading, speaking, and writing skills in Chinese and to enhance their ability to communicate effectively in Chinese.

【Learning Objectives】

- ・ Help students reach an intermediate level in Chinese.
- ・ Enable students to express their opinions and experiences in Chinese.
- ・ Foster a better understanding of Chinese culture, society, and ways of thinking through the course.

【Learning activities outside of classroom】

students are expected to spend approximately 2 hours per lesson on preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class Participation/Contribution:50%

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）

中国語3 I

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めていきます。

※状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」のwebclassを利用して提示し、周知する。
具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習Ⅰ コミュニケーション活動（1）	①初級基礎知識点検・復習・練習Ⅰ ②活動(1)私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習Ⅱ コミュニケーション活動（2）	①チェックテスト[初級復習Ⅰ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅱ ③活動(2)私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習Ⅲ コミュニケーション活動（3）	①チェックテスト[初級復習Ⅱ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅲ ③活動(3)趣味について ④語彙導入[1課]
第5回	声をかける・挨拶をする（1）基本語彙と表現	①チェックテスト[初級復習Ⅲ・1課語彙] ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする（2）応用活動	①チェックテスト[1課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入[2課]
第7回	初対面の自己表現（1）基本語彙と表現	①チェックテスト[2課語彙] ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現（2）応用活動	①チェックテスト[2課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4)声をかける・自己紹介する ④語彙導入[3課]
第9回	伝聞による話題について話す（1）基本語彙と表現	①チェックテスト[3課語彙] ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す（2）応用活動	①チェックテスト[3課文法] ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5)伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入[4課]
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト[4課語彙] ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト[4課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6)買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験[筆記]	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2023年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、APPの何れも可。電子辞書を推奨する]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同
学社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業進度とスケジュールによって課題に切り替えることがある。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。
また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

※小テストとコミュニケーション活動が行われる授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、対応しない。

※欠席した授業日の配布資料などは、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末のまとめでの一括請求は対応しない。

※授業中、学習用具類以外、机の上に置かないこと。

※携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

※教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書(tabletPCを含む)、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。

「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

※状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」のwebclassを利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	・チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事を する ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ること。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、Appの何れも可。電子辞書を奨める]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同出版社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業進度やスケジュールなどにより、課題に切り替わることがある。

※評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

※小テストやコミュニケーション活動のメイクアップについて

小テストやコミュニケーション活動が行われた授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、メイクアップや対応はしない。

※欠席した授業日の配布資料について

欠席した授業日の配布資料は、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末の一括請求は対応しない。

※授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

※携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

※教材[教科書、授業関連資料]を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくこと。

【Outline (in English)】**■【Outline and objectives】**

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I 2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語1、中国語2で学習した内容を基礎とし中国語1、次のステップへ進む。

Based on what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, proceed to the next step in Chinese 1.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業をも行う。進度として1課を2回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。1) 小テストと復習（約25分） 2) テキストの学習（約40分） 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など（約35分）。外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせる展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明及び発音の復習
2	第一課 『北京に到着』	1 原因、結果の表現 2 動詞句主語
	連動文	3 数字に関して
3	第一課 『北京に到着』	文法問題の演習
	本文暗唱	

4	第二課 『道を尋ねる』	1 動詞の完了表現 2 反復疑問文
	疑問文の使い方	
5	第二課 『道を尋ねる』	文法問題の演習/会話
	本文暗唱	
6	第三課 『買い物』	形容詞と比較の表現に関して
	数量補語	
7	第三課 『買い物』	文法問題の演習/会話
	本文の暗唱	
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容の復習、確認
9	第四課 『バスに乗る』	1 結果補語 2 人民元に関して
	1 名詞の修飾語	
	2 副詞に関して	
10	第四課 『バスに乗る』	文法問題の演習/会話
	本文の暗唱	
11	第五課 『新しい友達』	1 完了の「了」に関して
	状態補語	2 変化の「了」に関して
12	第五課 『新しい友達』	文法問題の演習/会話
	本文の暗唱	
13	第六課 『外食』	1 主述述語文
	1 経験に関する助詞	2 能願動詞
	2 依頼に関する動詞	
14	第六課 『外食』	第一課～第六課勉強した内容の復習、文法問題の演習、確認
	本文暗唱	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト（教科書）】

『2年生のコミュニケーション中国語』

塚本慶一 劉穎 著

白水社

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること（電子辞書可）

『ポイント学習中国語初級』 東方書店

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の60%とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass.

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応をとること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 II

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語1、中国語2で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。
Based on what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, proceed to the next step.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.
- ・You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・Foster interest in Chinese history and culture. 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業をも行う。進度として1課を2回の授業で進めていく。単語などの小テストを行う。新出単語・文法事項を確認しながら、本文の和訳、中訳、発音練習などを行う。毎回会話練習をする。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課 『約束』	「可～了」に関して 伝聞に関する動詞 能願動詞：打算
3	第七課 『約束』	文法、表現、語彙に関する練習 本文の暗唱 /会話
4	第八課 『友達に電話する』	使役文、兼語 方向補語
5	第八課 『友達に電話する』	文法、表現、語彙に関する練習 本文の暗唱 /会話

6	第九課 『郵便局』	方向補語の「到」 慣用句： 「如果～」
7	第九課 『郵便局』	文法、表現、語彙に関する練習 本文の暗唱 /会話
8	まとめ、復習	第七課～第九課の復習、勉強した内容の確認
9	第十課 『医者に行く』	1 能願動詞の「要」 2 一～就 1 「有一点」に関して
10	第十課 『医者に行く』	文法、表現、語彙に関する練習 本文の暗唱 /会話
11	第十一課 『家庭訪問』	「就是」の使い方 1 助動詞「用」 2 進行形
12	第十一課 『家庭訪問』	文法、表現、語彙に関する練習 本文の暗唱 /会話
13	第十二課 『謝恩会』	1 変化を表す「了」 可能補語 2 「就要～了」
14	第十二課 『謝恩会』	第七課～第十二課の復習、勉強した内容の確認 本文の暗唱

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・付属のCDを繰り返して聴く。
- ・単語の意味を必ず事前に調べる。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト（教科書）】

『2年生のコミュニケーション中国語』

塚本慶一 劉穎 著

白水社

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること（電子辞書可）

『ポイント学習中国語初級』 東方書店

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の60%とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるため、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応をとること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めていきます。

※状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」のwebclassを利用して提示し、周知する。
具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習Ⅰ コミュニケーション活動（1）	①初級基礎知識点検・復習・練習Ⅰ ②活動(1)私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習Ⅱ コミュニケーション活動（2）	①チェックテスト【初級復習Ⅰ】 ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅱ ③活動(2)私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習Ⅲ コミュニケーション活動（3）	①チェックテスト【初級復習Ⅱ】 ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅲ ③活動(3)趣味について ④語彙導入【1課】
第5回	声をかける・挨拶をする（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習Ⅲ・1課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする（2）応用活動	①チェックテスト【1課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2課】
第7回	初対面の自己表現（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【2課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現（2）応用活動	①チェックテスト【2課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4)声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3課】
第9回	伝聞による話題について話す（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【3課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す（2）応用活動	①チェックテスト【3課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5)伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6)買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2023年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、APPの何れも可。電子辞書を推奨する]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同
学社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業進度とスケジュールによって課題に切り替えることがある。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。
また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

※小テストとコミュニケーション活動が行われる授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、対応しない。

※欠席した授業日の配布資料などは、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末のまとめでの一括請求は対応しない。

※授業中、学習用具類以外、机の上に置かないこと。

※携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

※教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書(tabletPCを含む)、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 II

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。

「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めていきます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」のwebclassを利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	・チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事を する ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ること。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、Appの何れも可。電子辞書を奨める]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同出版社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業進度やスケジュールなどにより、課題に切り替わることがある。

※評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

※小テストやコミュニケーション活動のメイクアップについて

小テストやコミュニケーション活動が行われた授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、メイクアップや対応はしない。

※欠席した授業日の配布資料について

欠席した授業日の配布資料は、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末の一括請求は対応しない。

※授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

※携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

※教材[教科書、授業関連資料]を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくこと。

【Outline (in English)】**■ 【Outline and objectives】**

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めていきます。

※状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」のwebclassを利用して提示し、周知する。
具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習Ⅰ コミュニケーション活動（1）	①初級基礎知識点検・復習・練習Ⅰ ②活動(1)私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習Ⅱ コミュニケーション活動（2）	①チェックテスト[初級復習Ⅰ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅱ ③活動(2)私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習Ⅲ コミュニケーション活動（3）	①チェックテスト[初級復習Ⅱ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅲ ③活動(3)趣味について ④語彙導入[1課]
第5回	声をかける・挨拶をする（1）基本語彙と表現	①チェックテスト[初級復習Ⅲ・1課語彙] ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする（2）応用活動	①チェックテスト[1課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入[2課]
第7回	初対面の自己表現（1）基本語彙と表現	①チェックテスト[2課語彙] ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現（2）応用活動	①チェックテスト[2課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4)声をかける・自己紹介する ④語彙導入[3課]
第9回	伝聞による話題について話す（1）基本語彙と表現	①チェックテスト[3課語彙] ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す（2）応用活動	①チェックテスト[3課文法] ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5)伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入[4課]
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト[4課語彙] ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト[4課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6)買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験[筆記]	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2023年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、APPの何れも可。電子辞書を推奨する]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同
学社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業進度とスケジュールによって課題に切り替えることがある。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。
また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

※小テストとコミュニケーション活動が行われる授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、対応しない。

※欠席した授業日の配布資料などは、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末のまとめでの一括請求は対応しない。

※授業中、学習用具類以外、机の上に置かないこと。

※携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

※教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書(tabletPCを含む)、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくること。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 II

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。
＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」のwebclassを利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。
基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。
課毎に、語彙・文法テストを行う。
予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	・チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事を する ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ること。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、Appの何れも可。電子辞書を奨める]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同出版社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業進度やスケジュールなどにより、課題に切り替わることがある。

※評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

※小テストやコミュニケーション活動のメイクアップについて

小テストやコミュニケーション活動が行われた授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、メイクアップや対応はしない。

※欠席した授業日の配布資料について

欠席した授業日の配布資料は、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末の一括請求は対応しない。

※授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

※携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

※教材[教科書、授業関連資料]を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくこと。

【Outline (in English)】**■ 【Outline and objectives】**

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 4 I	2017年度以降入学者
三田村 圭子	
開講時期：春学期授業/Spring	曜日・時限：水4/Wed.4
単位数：1単位	
定員制(30)	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期は東京の観光に関する映像教材を利用しながら基礎文法の復習と新しい語彙と表現を獲得し理解する。また中国語検定試験4級・HSK2/3級の余裕を持った合格程度に照準をあてて「話す」・「読解できる」・「聴き取れる」中国語の中級への基礎事項の習得を目指す。また難易度の高い補語表現を獲得する。

【到達目標】

春学期は中国語検定試験4級合格同程度、3級の基礎文法（6割程度）の運用能力の習得を到達目標とする。終了時には新たに学習した中級の文法を踏まえながら、異文化の違いについて読解でき、東京観光に関する事項や日本の習慣・文化などについて具体的に表現できる能力を有することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

学べき例文と文法の解説後、読解、発音練習を行う。毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえでその後、学習した文法を使いながら本文に関した表現を反復練習する。最後に中心となる文法を使用して簡潔な作文を作成する。【課題へのフィードバック】文法に関しては授業時間に回答を例に挙げて解説する。各自が自由に書く課題については添削する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	基礎と発音の復習と練習問題の進行のガイド。	ピンインの復習と自己紹介。基礎文法事項の確認。
第2回	第1課 千鳥淵賞桜 常用表現「要不要～?」「好像～」などの会話練習。	第1課文法解説①動詞+的②方向補語のまとめ③而且～
第3回	第1課の文法をふまえての練習。第2課 浅草寺 常用表現「動詞+个+名詞」「等一会儿+動詞」などの会話練習。	第1課ヒアリングと読解。第2課文法解説①結果補語のまとめ②辺～辺～③疑問詞の呼応用法
第4回	第2課の文法をふまえての練習。第3課 忍者体験 常用表現「拿手/擅長」「挺～的」などの会話練習。	第2課ヒアリングと読解。第3課文法解説①伝聞の表現②早就～了③動詞+于
第5回	第3課の文法をふまえての練習。	やり残した動画視聴問題を行い、会話文の発音練習をする。
第6回	第1/2/3課の総合復習。	3課分の巻末練習問題を行う。

第7回	小テスト。 補充で行った中国語検定4級問題の解説。	呼応関係にある副詞のまとめと、補語に関しての総合練習。
第8回	第4課 水上巴士・人力車 常用表現 基本的な構文を用いた会話練習。	第4課文法解説①不僅～還～②而～則～③会～的
第9回	第4課の文法をふまえての練習。第5課 茶道 常用表現「講究」「以為～沒想到～」などの会話練習。	第4課ヒアリングと読解。第5課文法解説①地・的・得のまとめ②从～起③使役
第10回	第5課の文法をふまえての練習。第6課 屋形船 常用表現「～是用来～的」「～起来」などの会話練習。	第5課ヒアリングと読解。第6課文法解説①動詞のテンスのまとめ②除了～都/還～③受け身まとめ
第11回	第6課の文法をふまえての練習。特に動詞のテンスに関する問題を行う。	やり残した動画視聴問題を行い、会話文の発音練習をする。
第12回	第4/5/6課の総合復習。	3課分の巻末練習問題を行う。
第13回	学習した部分までのヒアリングの補充練習	質問文を書き取り、それに対する答えを書く、或いは口頭で返答する練習。また動画視聴の問題でやり残した問題を行う。
第14回	春学期の到達度の確認と総合復習。	中級の前半に学習する構文のまとめと最終到達度の確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本文は分担して翻訳してもらうので、担当分について調べてくること。各授業終了後、必要な課題を行うこと。各授業前に1時間程度の学習時間が必要である。ラジオ・テレビ講座、動画なども参考にしながら積極的に中国語に触れて欲しい。また、本文の内容を十分に理解するために辞典を利用することが望ましい。

【テキスト（教科書）】

『中級中国語 映像と歩く 東京散策』謝辰・南雲大悟著 KINSEIDO 2500円+税
ISBN978-4-7647-0749-8 C1087

【参考書】

中日辞典を利用することが望ましいが、授業開始時に詳しく紹介するので辞典に関しての対応は説明の後からで構わない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、課題・平常点30%を総合して評価する。中国語検定試験4級・HSK3・4級合格者は点数に鑑みて加点する。また、暗誦や各課にある練習問題の提出も総合評価に含む。中国語外部試験の点数によっては、期末試験を免除とする。

【学生の意見等からの気づき】

このクラスは基礎を習得した学生が履修するが各学生の習得度はさまざまである。進捗が順調な学生には春学期始めの1ヶ月半ほどは復習が多く物足りない内容だったようである。昨年度はグループでの会話練習が少なかったため、発音練習を待機している学生には練習問題を増やすなど、「話す」「書く」をバランス良く習得できるように進捗したい。今年度は特に東京をテーマとした身近で実践的な例文・会話・読解とバランス良く学習できる教科書にした。相互の会話練習を充実させることと中国語での造句の時間を十分に取りたい。また、作文に時間が取られる傾向にあるので、数回に一度は課題にするなどの効率よくできる方法を工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を日常的にヒアリングできる機器を準備して欲しい。

【その他の重要事項】

第1回の開講時に春秋学期の履修者を決めることになるので、秋学期のみ履修希望であっても初回は必ず参加するように。履修者決定の後、教科書を購入すること。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 4 II	2017年度以降入学者
三田村 圭子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水4/Wed.4	
単位数：1単位	
定員制(30)	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中級文法の習得と応用練習を行う。中国語検定試験3級/HSK3～4級に照準をあてて春学期よりも長めの文章を読解し、そのテーマに関する会話文を聴き取り、簡単な質疑応答ができる能力を養成する。また東京観光に関連して日常に関する比較的短い閱讀も並行して行う。

【到達目標】

秋学期終了時には中国語検定試験3級の合格（11月末）あるいはHSK4級の6割程度の文法を習得し、学習した句型を使い自分の考えを表現することができる。また、テーマに関するヒアリング問題を理解でき、より複雑な時制の表現や構文、補語の習得を到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

こちらの科目は春学期開講時に秋学期のみ履修する学生についても確定しますので、春学期開講時の授業には必ず参加してください。

始めに発音の練習をし学習した例文を確認する。その後、各課の文法を解説し会話文・閱讀・実践問題と進行する。併せて検定問題の一部などを使用しながら実践練習を行う。【課題へのフィードバック】造句や読解問題などは授業内で回収し、添削後返却する。文法は各自担当してもらった回答を一覧にし、授業時に解説を行う。発音に関しても音声ファイルの提出などでチェックした不明瞭な部分を授業時に確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の復習とまとめ	春学期の文法事項の復習と中検4級程度の練習問題を行う。
第2回	第7課武士道・日本刀 常用表現「值得+動詞」「総（是）+動詞」などの会話練習。	文法解説①仮定法②把構文のまとめ③才と就
第3回	第7課の文法をふまえての練習。第8課晴空塔 常用表現「一下子」「好」の用法などの会話練習。	第7課ヒアリングと読解。第8課文法解説①幫+人+動詞②畢竟～③既～又～
第4回	第8課の文法をふまえての練習。第9課学習穿和服 常用表現「否則」「怪不得」などの会話練習。	第8課ヒアリングと読解。第9課文法解説①より複雑な比較表現②有構文③多+形容詞の疑問文まとめ
第5回	第9課の文法をふまえての練習。	やり残した動画視聴問題を行い、会話文の発音練習をする
第6回	第7/8/9課の総合復習。	3課分の巻末練習問題を行う。

第7回	小テストと暗誦。 HSK・中国語検定のヒアリング	前半で学習した構文の確認と指定の文章の暗誦を行う。
第8回	第10課江戸前寿司 常用表現「現+動詞」「再好」などの会話練習。	第10課文法解説①疑問詞の不定用法②只要～就～③持続態と進行態まとめ
第9回	第10課の文法をふまえての練習。第11課原宿竹下通 常用表現「也太～了」「对了」の用法などの会話練習。	第10課ヒアリングと読解。第11課文法解説①有構文②整整～③動詞+之前、之後
第10回	第11課の文法をふまえての練習。第12課高尾山 常用表現「再～不過（了）」「正是～的時候」の会話練習。	第11課ヒアリングと読解。第12課文法解説①像～一樣②一点兒也～③近未來表現のまとめ
第11回	第12課の文法をふまえての練習。	動画視聴問題を行い、会話文の発音練習をする
第12回	第10/11/12課の総合復習。	3課分の巻末練習問題を行う。
第13回	全体の復習	特に構文と補語表現に関するより複雑な表現を整理し練習する。
第14回	最終到達度の確認	秋学期に学習した文法事項の復習と聴き取り。時間があれば部分的にHSKや中国検定の問題を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

基礎段階を終了しての応用練習なので、夏休みを利用して既習の内容を把握していることが望ましい。本授業の準備・復習時間は各1時間を標準とする。

【予習】授業では翻訳の確認を行うので各自で日訳を作成すること。作文も担当者を決めることがあるので、その場合は回答を準備すること。【復習】練習で行った疑問・問題を確認すること。音声教材・またはHSK模擬試験を行う。

【課題】教科書の練習問題。

【テキスト（教科書）】

『中級中国語 映像と歩く東京散策』謝辰・南雲大悟著 KINSEIDO 2500円+税
ISBN978-4-7647-0749-8 C1087

【参考書】

開講後、解説を聞いてから参考書や辞典は用意すること。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、平常点30%（課題提出20%・参加度10%）を総合して評価する。またHSK3級・中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をし、合格級数（中国語検定3級/HSK4級）が極めて良好な場合は期末試験を免除する。

【学生の意見等からの気づき】

秋学期は発音練習が不十分だった。昨年度は教科書の練習問題が多く最後の課まで終了できなかったので今年度は教科書全体を終了することができる分量のものに変更し、会話練習の時間を確保する予定である。また十分な予習をしてくれている学生が、回答待ちの時間が長くなる傾向があったので、Googleのドキュメントを共有の黒板として使用し、事前に担当者が回答を打ち込むようにした。こちらは今年度も引き続いて行う予定である。このクラスには様々な目的を持って履修をしている学生がいる。外部試験に挑戦し好成績を修めた学生が数名いたことも良かったことである。

【学生が準備すべき機器他】

毎年、HSKや中国語検定の外部試験を受験する学生がいるので、過去の履修生から好評だった参考書を授業内で紹介する。

【その他の重要事項】

秋学期のみの履修者も早い段階で教科書を購入しておくこと。各自が一番便利な方法で辞典を参照できるように。また、教科書の音声教材が一番便利に聴くことができる機器を準備すること。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one half hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4Ⅰ 2017年度以降入学者

集 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

『ポイント学習中国語』で学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。発音の矯正（自己紹介と単語）・唐詩暗誦・日常用語の暗記・文法理解（翻訳練習）・聞き取りテストなどを授業内容とします。毎回の授業では映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【到達目標】

『ポイント学習中国語』で学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」・「話せる」・「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

『ポイント学習中国語』対応の自作プリント「中国語4Ⅰ①～⑤」を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表、唐詩暗誦、聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	自己紹介①・プリント①	「中国語4Ⅰ①」：唐詩・ピンイン発音（20語）・日常用語10語・翻訳練習
第2回	自己紹介②・プリント①	「中国語4Ⅰ①」：唐詩・ピンイン発音（20語）・日常用語10語・翻訳練習・『ポイント学習』の復習
第3回	自己紹介③・プリント①	プリント「中国語4Ⅰ①」：唐詩・ピンイン発音（20語）・日常用語10語・翻訳練習・『ポイント学習』の復習
第4回	自己紹介④・プリント②	「中国語4Ⅰ②」：唐詩・ピンイン発音（20語）・日常用語20語・翻訳練習・『ポイント学習』の復習
第5回	自己紹介⑤・プリント②	「中国語4Ⅰ②」：唐詩・ピンイン発音（20語）・日常用語20語・翻訳練習・『ポイント学習』の復習
第6回	自己紹介⑥・プリント②	「中国語4Ⅰ②」：唐詩・ピンイン発音（20語）・日常用語20語・翻訳練習・『ポイント学習』の復習
第7回	復習とテスト	「中国語4Ⅰ①」と「中国語4Ⅰ②」の復習とテスト
第8回	自己紹介⑦・プリント③	「中国語4Ⅰ③」：唐詩3首・ピンイン発音20語・日常用語25語・翻訳練習・『ポイント学習』の復習。

第9回	自己紹介⑧・プリント③	「中国語4Ⅰ③」：唐詩3首・ピンイン発音20語・日常用語25語・翻訳練習・『ポイント学習』の復習。
第10回	自己紹介⑨・プリント③	「中国語4Ⅰ③」：唐詩3首・ピンイン発音20語・日常用語25語・翻訳練習・『ポイント学習』の復習。
第11回	自己紹介⑩・プリント④	「中国語4Ⅰ④」：唐詩4首・ピンイン発音20語・日常用語30語・翻訳練習・『ポイント学習』の復習。
第12回	自己紹介⑪・プリント④	「中国語4Ⅰ④」：唐詩4首・ピンイン発音20語・日常用語30語・翻訳練習・『ポイント学習』の復習。
第13回	総合復習	唐詩4首・日常用語30語・聞き取り50問・翻訳練習50問。
第14回	期末試験	試験（口頭試験：自己紹介・唐詩／筆記試験：聞き取り50問・翻訳25問）および全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

自作プリントをテキストとして使用します。

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

自己紹介（15%）と小テストの平常点（15%）、期末試験の成績（70%）などを総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 II

2017年度以降入学者

薬 会

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

これまで学んできた基本語彙や文法を繰り返し復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。発音の矯正（スピーチ）・唐詩暗誦・日常用語の暗記・文法理解（複文の翻訳）・聞き取りテストなどを授業内容とします。毎回の授業では映像と解説を交えて中国の関連ニュースやエンタメ事情などを紹介したりして今日の中国を理解してもらいたい。

【到達目標】

これまで学んできた中国語の基礎を固めた上、さらに自由自在に「聞ける」「話せる」「読める」中国語の習得を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

自作プリント「中国語4 II①～⑤」を使用します。毎回の授業では、複文中心の自己紹介の発表、唐詩暗誦、聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行ないます。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	自己紹介①	春学期の復習
第2回	自己紹介②・プリント①	「中国語4 II①」：唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習 複文理解：累加関係・逆接関係
第3回	自己紹介③・プリント①	「中国語4 II①」：唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習 複文理解：仮定関係
第4回	自己紹介④・プリント①	「中国語4 II①」：唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習 複文理解：仮定関係
第5回	自己紹介⑤・プリント①	「中国語4 II①」：唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習 複文理解：譲歩関係
第6回	復習とテスト	「中国語4 II①」の復習とテスト。
第7回	自己紹介⑥・プリント②	「中国語4 II②」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習 複文理解：譲歩関係
第8回	自己紹介⑦・プリント②	「中国語4 II②」：唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習 複文理解：因果関係

第9回	自己紹介⑧・プリント②	「中国語4 II②」：唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習 複文理解：因果関係
第10回	自己紹介⑨・プリント③	中国語4 II③」：三字経・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解：色々の表現
第11回	自己紹介⑩・プリント③	「中国語4 II③」：三字経・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解：色々の表現
第12回	総合復習	唐詩4首・三字経・日常用語25語・複文表現20パターン
第13回	総合復習	唐詩4首・三字経・日常用語25語・複文表現20パターン
第14回	期末試験	試験（口頭試験：唐詩・俗語／筆記試験：複文表現20パターン）および全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

オリジナルプリントをテキストとして使用します。

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

スピーチテスト（15%）と小テストの平常点（15%）、期末試験の成績（70%）などを総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 | 2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント（「一…就…」など6項目）の説明
2	第1課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント（「每…都…」など6項目）の説明
4	第2課	「食」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント（「多/少」＋動詞）など6項目の説明
6	第3課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント（「兼語“有”」など6項目）の説明
9	第4課	「数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など6項目）の説明
11	第5課	「大学生的打工状」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント（「无…都/也…」など6項目）の説明
13	第6課	「集体生活的好」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（三訂版）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40％、中間試験30％、期末試験30％。

※中検準4級・4級とHSK 2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 II

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「只要…就～」など6項目）の説明
2	第7課	「网上☒物」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など6項目）の説明
4	第8課	「送礼的☒究」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「☒…了」など6項目）の説明
6	第9課	「中国式☒婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「好在」など6項目）の説明
9	第10課	「双☒工家庭」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など6項目）の説明
11	第11課	「中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「随着～」など6項目）の説明
13	第12課	「理想☒☒」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でペンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（三訂版）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40%、中間試験30%、期末試験30%。

※中検準4級・4級とHSK 2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)		5回	第5課	会話を学習する 文法を学習する ＜是＞の文 電話番号の言い方
中国語4 I		6回	第6課	会話を学習する 文法を学習する 指示代名詞 疑問詞＜なに＞ 会話を学習する 文法を学習する 選択疑問文 連動文 前置詞＜～で＞ 会話を学習する 文法を学習する ＜～が好きだ＞ ＜この～＞の言い方
余 瀾		7回	第7課	会話を学習する 文法を学習する 形容詞述語文 前置詞＜～に＞ 会話を学習する 文法を学習する 比較文 ＜少しも～しない＞の言い方
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水3/Wed.3 単位数：1単位 定員制(30) その他属性：		8回	第8課	会話を学習する 文法を学習する 省略疑問文 ＜来+数量＞の言い方
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 1年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。 毎回、2～3個の基本的な文法を学習し、それが含まれている4行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。		9回	第9課	会話を学習する 文法を学習する 主述述語文 第1課～12課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
【到達目標】 学生の到達目標は次の4点とする。 ①中国語の常用表現が聞き取れる力を身につけます。 ②中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につけます。 ③反応速度を上げる訓練を通し、既習項目に関して、中国語で聞かれたら、すぐに中国語で答えられるようにします。 ④簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。		10回	第10課	会話を学習する 文法を学習する 主述述語文 第1課～12課を範囲に口頭テスト・まとめと解説
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2		11回	第11課	
【主な授業方法】 L 講義 /Lecture		12回	第12課	
【授業の進め方と方法】 演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレと寸劇などにより、楽しく会話を身につけていく。 課題等へのフィードバックは授業内で行います。		13回	授業内期末筆記テスト	
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes		14回	授業内期末口頭テスト	
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No		【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 本授業の準備・復習時間は、1時間を標準とする。授業の前と後は必ずCDを繰り返し聞き、まねして発音を練習すること。		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		【テキスト（教科書）】 『あなたが主役 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社 2019年 2300円		
回	テーマ	【参考書】 参考書は授業中に適宜指示する。		
1回	第1課	【成績評価の方法と基準】 成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。 配分は、毎行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など）が30%、期末口頭テストが20%、筆記テストが50%です。		
2回	第2課	【学生の意見等からの気づき】 特にありません。		
3回	第3課	【Outline (in English)】 This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end written exam(50%), Term-end oral exam(20%), in-class contribution(30%).		
4回	第4課			

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 II

2017年度以降入学者

余 瀾

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年間で学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。「中国語 4 I」より少し難度の高い会話文を学ぶ。

授業の流れは「中国語 4 I」と同様で、基本的な文法、4行会話、置き換え練習、聴き取り練習…と学習を進めていく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。中国人との簡単な会話において、相手の言っていることを正確に聴き取り、的確に言葉が返せるレベルにまで到達できるよう指導していく。

【到達目標】

[到達目標]

学生の到達目標は次の4点とする。

- ①中国語の常用表現が聞き取れる力を身につけます。
- ②中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につけます。
- ③反応速度を上げる訓練を通し、既習項目に関して、中国語で聞かれたら、すぐに中国語で答えられるようにします。
- ④簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレイと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。

課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	第13課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞<～したい> 存在を現す<有>
2回	第14課	会話を学習する 文法を学習する 存在を現す<在> <有>と<在>の区別
3回	第15課	会話を学習する 文法を学習する 所有を現す<有> 疑問詞<どうですか>
4回	第16課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞<どうやって> <好+動詞>

5回	第17課	会話を学習する 文法を学習する 進行を現す言い方 禁止する言い方
6回	第18課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞<なぜ> 結果補語
7回	第19課	会話を学習する 文法を学習する 完了を現す言い方 前置詞<～から>
8回	第20課	会話を学習する 文法を学習する経験 を現す言い方 <ちょっと>の言い方
9回	第21課	会話を学習する 文法を学習する 方向補語 使役を現す言い方
10回	第22課	会話を学習する 文法を学習する 連体修飾語 助動詞<できる>
11回	第23課	会話を学習する 文法を学習する 様態補語
12回	第24課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞<できる> 時量補語 <～するつもりだ>
13回	授業内期末筆記テスト	第13課～24課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
14回	授業内期末口頭テスト	試第13課～24課を範囲に口頭テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とする。授業の前と後は必ずCDを繰り返し聞き、まねして発音を練習すること。

【テキスト（教科書）】

『あなたが主役 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社

【参考書】

授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

毎回行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など）が30%、期末口頭テスト20%、筆記テストが50%。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end written exam(50%), Term-end oral exam(20%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 I 2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

発音を固める。
読解力を培う。
日常会話ができる。
簡単な文章を書ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルを確認の上、内容への理解をチェックしながら、効果的に授業を進めていく。

課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習	一年次に習った文法を復習する
第2回	第1課	名詞の前に置く“的”、動詞の前に置く“地”、助動詞“要”、連動文
第3回	第1課	第1課のチャレンジ・スキット
第4回	第2課	動態助詞の“了”、語気助詞の“了”、語気助詞の“吗”と“吧”
第5回	第2課	第2課のチャレンジ・スキット
第6回	第3課	経験・経過を表わす“过”、“怎么”の2つの用法、副詞“才”の用法
第7回	第3課	第3課のチャレンジ・スキット
第8回	第4課	動作の進行、動作・状態の持続を表わす“着”、動作を行う時間の長さ・動作の回数、“因为～所以…”
第9回	第4課	第4課のチャレンジ・スキット
第10回	第5課	近い未来“要～了”・“快～了”、反語の表現、副詞“就”の用法、“要是～就…”
第11回	第5課	第5課のチャレンジ・スキット
第12回	第6課	結果補語、感嘆文、副詞“还”の用法、“虽然～但是…”
第13回	第6課	第6課のチャレンジ・スキット
第14回	復習、試験、まとめ	ここまで習った内容を復習、確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。

毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかどうかを必ず自己チェックをすること。

毎日最低20分テキストのCDを聞きながら、発音練習を行うこと。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

本間史・孟広学『2年めの中国語ポイント45』白水社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%と平常点(学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など)50%に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

よりよい授業を目指すため、前年度の学生のご意見やご要望が反映されるようさらなる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

The standard preparatory study / review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 II

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

読解力や、表現力などのさらなるスキルアップを目指す。
日常の中国語のコミュニケーションが取れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、
経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルに合わせて、内容への理解をチェッ
クしながら、授業を進める。

課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	解説と復習	春学期の学習内容の復習
第2回	第7課	様態補語、比較の表現、形容詞 の重ね型、“不但～而且…”
第3回	第7課	第7課のチャレンジ・スキット
第4回	第8課	方向補語、複合方向補語、強調 表現“连～也…”、“一～就…”
第5回	第8課	第8課のチャレンジ・スキット
第6回	第9課	“把”構文、受身の表現、副詞“再” と“又”、“只要～就…”
第7回	第9課	第9課のチャレンジ・スキット
第8回	第10課	可能補語、“是～的”の構文、“只 有～才…”
第9回	第10課	第10課のチャレンジ・スキット
第10回	第11課	“～得了”/“～不了”の可能補語、 兼語文、“不是～而是…”
第11回	第11課	第11課のチャレンジ・スキット
第12回	第12課	存現文、同じ疑問詞の呼応、“不 管～都…”
第13回	第12課	第12課のチャレンジ・スキット
第14回	復習、まとめ、試験	第7～12課の復習と試験、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。

毎課の新出単語と文法をしっかりと記憶し、理解したかどうかを必ず
自己チェックをすること。

毎日最低20分テキストのCDを聞きながら、発音練習を行うこと。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

本間史・孟広学『2年めの中国語ポイント45』白水社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%と平常点(学習態度、学習意欲、課題や小テストの
提出及び完成度など)50%に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

よりよい授業を目指すため、前年度の学生のご意見やご要望が反映
されるようさらなる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The
aim of this course is to acquire the upper intermediate level
communication skills of Chinese. We will improve the skills
of listening, speaking, reading and writing through studying
pronunciation, grammar, conversation and composition.

The standard preparatory study / review time for this class is
1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and
50% of normal points (learning attitude, learning motivation,
submission of assignments and quizzes, completeness, etc.).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 | 2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語1、中国語2で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

Based on what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, proceed to the next step in Chinese 1.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業をも行う。進度として、1課を2回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。1) 小テスト(約25分) 2) テキストの学習(約40分) 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など(約35分)。外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせで展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明
2	第一課 『換銭』	1 慣用句：挺+形容詞+的 2 助動詞：「要」 3 副詞：「点儿」 文法問題の演習/会話
	結果補語： 「看到，吃到」	
3	第一課 『換銭』	1 「太+形容詞」 2 「就是」 文法問題の演習
	慣用句： 「除了 不用」	

4	第二課 『小学校 門前』 存図文： 図所+図図+出図/存在	1 「什么的」 2 「等等」 文法問題の演習/会話
5	第二課 『小学校 門前』 家族の称呼に関して： 「図図」「姥図」 「奶奶」「姥姥」	1 「着」：場所+動詞+着 2 「在」：在+動詞 文法問題の演習/会話
6	第三課 『早上的公 園』 感嘆文： 「多～啊」	健康についての諺を紹介、説明 文法問題の演習/会話
7	第三課 『早上的公 園』 1 「動詞+的」の名 詞化 2 「多+形容詞」	1 「数詞+多」 2 「怎么」 文法問題の演習/会話
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容 の復習、確認
9	第四課 『年図人的就 図図』 1 「了」：変化を表す 2 「又」：状況、動 作の累加	「図図」/「図得」： 人や事物に対する見方 文法問題の演習/会話
10	第四課 『年図人的就 図図』 仮定を表す表現： 「如果」	部分的な否定を表す慣用句 「不都是」
11	第五課 『相図』 1 解釈、説明する語 彙：「就是」 2 体験を表す：「図」	1 能願動詞： 「図図」 2 推測の表現： 「听図」
12	第五課 『相図』 慣用句： 「无図是～図是」	1 「就」の使い方 2 「很」の使い方 文法問題の演習/会話
13	第六課 『外甥的 婚房』 1 副詞： 「図竟」 2 慣用句：「就要～ 了」	1 「図」の使い方 2 「本」の使い方 3 「支」の使い方 文法問題の演習/会話
14	第六課 『外甥的婚房』 復習	第一課～第六課勉強した内容の 復習、文法問題の演習、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト（教科書）】

『日中いぶこみ12景』相原茂・蘇明 朝日出版社

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること（電子辞書可）

『ポイント学習中国語初級』東方書店

康玉華 『漢語301句』北京言語大学出版社

佐藤富士雄 『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の60%とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with a T a Tverage score of 60 or more are considered to pass.

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 II

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

Based on what you learned in the spring, proceed to the next step.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語で自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業も行う。進度として、1課を2回の授業で進めていく。毎回の授業を概ねに次のように進める。1) 小テスト（約25分） 2) テキストの学習（約40分） 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など（約35分）。外国語を身につけるためには、継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を合わせて展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課 『婆媳关系』	口語的な表現：『照』 不特定の表現：書面的な表現：『按照』 「哪儿～哪儿？」
3	第七課 『婆媳关系』	前置詞： 気持ちを表す語彙： 1 「从」 1 「幸福」 2 「到」 2 「愉快」 3 「心」

4	第八課 『川菜』	1 連詞：「就是」 慣用句：2 複合方向補語： 1 「既～又」 「出来」と「去」 2 「是……啊」
5	第八課 『川菜』	語彙の説明： 量詞：「排出去」の使い方 「家」の使う場合
6	第九課 『中医』	1 比較と選択の表現： 慣用句：「是……是」 「在～之中」 2 否定の表現： 「没有」
7	第九課 『中医』	解釈： 仮定の表現：1 「只是」 「～的」 2 「是」
8	文法のまとめ	第七課～第九課の復習、勉強した内容の確認
9	第十課 『九九重阳』	副詞： 1 「将」の使い方 1 前置詞「在」の使い方 2 慣用句「跟～一起」
10	第十課 『九九重阳』	常用副詞のまとめ 1 「或者」 1 「三世同堂」の意味 2 「早就」 2 「孝」の語彙に 3 「尽快」 に内在する意味
11	第十一課 『旅游』	仮定の表現： 1 副詞の「在」につ 「如果～的」の使い方 いて 2 慣用句の「……都」 について
12	第十一課 『旅游』	パソコン関係の語彙 1 動詞の重ね「看看」 1 「……」 2 慣用句「是……的」 2 「网址」 3 「短信」
13	第十二課 『除夕夜』	1 疑問詞の「怎么」 お祝いの言葉に関する 2 前置詞としての「在」 紹介、説明
14	第十二課 『除夕夜』	「年夜」に関する説明 1 副詞「才」 第七課～第十二課の復習、勉強 2 慣用句としての した内容の確認 「有的」 文法に関するまとめ、 演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を開いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト（教科書）】

『日中いぶこみ12景』相原茂・蘇明 朝日出版社

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること（電子辞書可）

『ポイント学習中国語初級』東方書店

康玉華 『漢語301句』北京言語大学出版社

佐藤富士雄 『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の60%とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with a T average score of 60 or more are considered to pass.

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント（「一…就…」など6項目）の説明
2	第1課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント（「每…都…」など6項目）の説明
4	第2課	「食」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント（「多/少」＋動詞）など6項目の説明
6	第3課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント（「兼語“有”」など6項目）の説明
9	第4課	「数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など6項目）の説明
11	第5課	「大学生的打工状」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント（「无…都/也…」など6項目）の説明
13	第6課	「集体生活的好」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でペンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（三訂版）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40％、中間試験30％、期末試験30％。

※中検準4級・4級とHSK 2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 II

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても紹介します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。小テストや定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「只要…就～」など6項目）の説明
2	第7課	「网上☒物」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など6項目）の説明
4	第8課	「送礼的☒究」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「☒…了」など6項目）の説明
6	第9課	「中国式☒婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「好在」など6項目）の説明
9	第10課	「双☒工家庭」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など6項目）の説明
11	第11課	「中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「随着～」など6項目）の説明
13	第12課	「理想☒☒」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でペンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（三訂版）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）40％、中間試験30％、期末試験30％。

※中検準4級・4級とHSK 2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語(3) I

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするることにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・復習	授業の進め方・課題の取り組 方・評価の仕方・受講における 決まり事などの説明、一年次に 学んだ発音・文法の復習
2	第1課	新出語句・文法・本文・一部ド リル
3	第2課	会話・新出語句・文法・本文・ 一部ドリル
4	第3課	会話・新出語句・文法・本文・ 一部ドリル
5	第4課	会話・新出語句・文法・本文・ 一部ドリル
6	第5課	会話・新出語句・文法・本文・ 一部ドリル
7	中間まとめ	第1課～第5課のテスト
8	第6課	新出語句・文法・本文・一部ド リル
9	第7課	会話・新出語句・文法・本文・ 一部ドリル
10	第8課	会話・新出語句・文法・本文・ 一部ドリル
11	第9課	会話・新出語句・文法・本文・ 一部ドリル
12	第10課	会話・新出語句・文法・本文・ 一部ドリル
13	授業の総まとめ（1）	第6課～第10課の復習
14	授業の総まとめ（2）	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語20回』杉野元子・黄漢青著、白帝社。

【参考書】

『中国語文法の基礎』守屋宏則著 東方書店

【成績評価の方法と基準】

期末テストを50%、中間テストを20%、会話の発表やドリルの宿題等の課題や授業の参加度を30%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, quiz: 20%, homework: 20%, in class contribution: 10%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語(3) II

2017年度以降入学者

耿 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第11課	新出語句・文法・本文・一部ドリル
2	第12課	新出語句・文法・本文・一部ドリル
3	第13課	新出語句・文法・本文・一部ドリル
4	第14課	新出語句・文法・本文・一部ドリル
5	第15課	新出語句・文法・本文・一部ドリル
6	中間まとめ（1）	第11課～15課復習・補充ドリル
7	中間まとめ（2）	第11課～第15課テスト
8	第16課	新出語句・文法・本文・一部ドリル
9	第17課	会話・新出語句・文法・本文・一部ドリル
10	第18課	会話・新出語句・文法・本文・一部ドリル
11	第19課	会話・新出語句・文法・本文・一部ドリル
12	第20課	会話・新出語句・文法・本文
13	授業の総まとめ（1）	第16課～第20課の復習
14	授業の総まとめ（2）	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語20回』杉野元子・黄漢青著、白帝社。

【参考書】

『中国語文法の基礎』守屋宏則著 東方書店

【成績評価の方法と基準】

中間・期末試験を50%、会話の発表やドリルの宿題等課題と授業の参加度を30%にし、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, quiz: 20%, homework: 20%, in class contribution: 10%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語(3) I

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的の下記通りの行い方で進めて行きます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」のwebclassを利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習Ⅰ コミュニケーション活動（1）	①初級基礎知識点検・復習・練習Ⅰ ②活動(1)私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習Ⅱ コミュニケーション活動（2）	①チェックテスト[初級復習Ⅰ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅱ ③活動(2)私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習Ⅲ コミュニケーション活動（3）	①チェックテスト[初級復習Ⅱ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅲ ③活動(3)趣味について ④語彙導入[1課]
第5回	声をかける・挨拶をする（1）基本語彙と表現	①チェックテスト[初級復習Ⅲ・1課語彙] ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする（2）応用活動	①チェックテスト[1課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入[2課]
第7回	初対面の自己表現（1）基本語彙と表現	①チェックテスト[2課語彙] ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現（2）応用活動	①チェックテスト[2課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4)声をかける・自己紹介する ④語彙導入[3課]
第9回	伝聞による話題について話す（1）基本語彙と表現	①チェックテスト[3課語彙] ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す（2）応用活動	①チェックテスト[3課文法] ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5)伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入[4課]
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト[4課語彙] ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト[4課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6)買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験[筆記]	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2023年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、APPの何れも可。電子辞書を推奨する]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同
学社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業進度とスケジュールによって課題に切り替えることがある。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

※小テストとコミュニケーション活動が行われる授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、対応しない。

※欠席した授業日の配布資料などは、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末のまとめでの一括請求は対応しない。

※授業中、学習用具類以外、机の上に置かないこと。

※携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

※教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書(tabletPCを含む)、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語(3) II

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。

「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

S 演習/ゼミ /Seminar

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的下記通りの行い方で進めて行きます。

＊状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」のwebclassを利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半] ・チェックテストを返却・FB ④春学期学習内容を総括・復習 ⑤活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ⑥語彙導入[5課]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み ③課題(1)課題作文について説明 ④チェックテスト[5課文法] ⑤既習文型を復習・応用・練習 ⑥活動(2):天気について話す ⑦語彙導入[6課] ⑧チェックテスト[6課語彙] ⑨■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ⑩課題(1)課題作文について説明 ⑪チェックテスト[6課文法] ⑫既習文型を復習・応用・練習 ⑬活動(3)カフェでおしゃべり ⑭語彙導入[7課] ⑮チェックテスト[7課語彙] ⑯■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ⑰課題(1)提出 ⑱チェックテスト[7課文法] ⑲既習文型を復習・応用・練習 ⑳課題(1)を返却・FB ㉑課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ㉒語彙導入[8課] ㉓チェックテスト[8課語彙] ㉔■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件 ㉕チェックテスト[8課文法] ㉖能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習 ㉗活動(4):食事の誘い、食事をする ㉘語彙導入[9課] ㉙課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ ㉚チェックテスト[9課語彙] ㉛■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ㉜課題(3)ピア活動
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み ③課題(1)課題作文について説明 ④チェックテスト[5課文法] ⑤既習文型を復習・応用・練習 ⑥活動(2):天気について話す ⑦語彙導入[6課] ⑧チェックテスト[6課語彙] ⑨■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ⑩課題(1)課題作文について説明 ⑪チェックテスト[6課文法] ⑫既習文型を復習・応用・練習 ⑬活動(3)カフェでおしゃべり ⑭語彙導入[7課] ⑮チェックテスト[7課語彙] ⑯■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ⑰課題(1)提出 ⑱チェックテスト[7課文法] ⑲既習文型を復習・応用・練習 ⑳課題(1)を返却・FB ㉑課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ㉒語彙導入[8課] ㉓チェックテスト[8課語彙] ㉔■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件 ㉕チェックテスト[8課文法] ㉖能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習 ㉗活動(4):食事の誘い、食事をする ㉘語彙導入[9課] ㉙課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ ㉚チェックテスト[9課語彙] ㉛■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ㉜課題(3)ピア活動
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み ③課題(1)課題作文について説明 ④チェックテスト[5課文法] ⑤既習文型を復習・応用・練習 ⑥活動(2):天気について話す ⑦語彙導入[6課] ⑧チェックテスト[6課語彙] ⑨■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ⑩課題(1)課題作文について説明 ⑪チェックテスト[6課文法] ⑫既習文型を復習・応用・練習 ⑬活動(3)カフェでおしゃべり ⑭語彙導入[7課] ⑮チェックテスト[7課語彙] ⑯■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ⑰課題(1)提出 ⑱チェックテスト[7課文法] ⑲既習文型を復習・応用・練習 ⑳課題(1)を返却・FB ㉑課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ㉒語彙導入[8課] ㉓チェックテスト[8課語彙] ㉔■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件 ㉕チェックテスト[8課文法] ㉖能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習 ㉗活動(4):食事の誘い、食事をする ㉘語彙導入[9課] ㉙課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ ㉚チェックテスト[9課語彙] ㉛■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ㉜課題(3)ピア活動
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み ③課題(1)課題作文について説明 ④チェックテスト[5課文法] ⑤既習文型を復習・応用・練習 ⑥活動(2):天気について話す ⑦語彙導入[6課] ⑧チェックテスト[6課語彙] ⑨■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ⑩課題(1)課題作文について説明 ⑪チェックテスト[6課文法] ⑫既習文型を復習・応用・練習 ⑬活動(3)カフェでおしゃべり ⑭語彙導入[7課] ⑮チェックテスト[7課語彙] ⑯■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ⑰課題(1)提出 ⑱チェックテスト[7課文法] ⑲既習文型を復習・応用・練習 ⑳課題(1)を返却・FB ㉑課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ㉒語彙導入[8課] ㉓チェックテスト[8課語彙] ㉔■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件 ㉕チェックテスト[8課文法] ㉖能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習 ㉗活動(4):食事の誘い、食事をする ㉘語彙導入[9課] ㉙課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ ㉚チェックテスト[9課語彙] ㉛■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ㉜課題(3)ピア活動
第6回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み ③課題(1)課題作文について説明 ④チェックテスト[5課文法] ⑤既習文型を復習・応用・練習 ⑥活動(2):天気について話す ⑦語彙導入[6課] ⑧チェックテスト[6課語彙] ⑨■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ⑩課題(1)課題作文について説明 ⑪チェックテスト[6課文法] ⑫既習文型を復習・応用・練習 ⑬活動(3)カフェでおしゃべり ⑭語彙導入[7課] ⑮チェックテスト[7課語彙] ⑯■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ⑰課題(1)提出 ⑱チェックテスト[7課文法] ⑲既習文型を復習・応用・練習 ⑳課題(1)を返却・FB ㉑課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ㉒語彙導入[8課] ㉓チェックテスト[8課語彙] ㉔■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件 ㉕チェックテスト[8課文法] ㉖能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習 ㉗活動(4):食事の誘い、食事をする ㉘語彙導入[9課] ㉙課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ ㉚チェックテスト[9課語彙] ㉛■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ㉜課題(3)ピア活動
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み ③課題(1)課題作文について説明 ④チェックテスト[5課文法] ⑤既習文型を復習・応用・練習 ⑥活動(2):天気について話す ⑦語彙導入[6課] ⑧チェックテスト[6課語彙] ⑨■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ⑩課題(1)課題作文について説明 ⑪チェックテスト[6課文法] ⑫既習文型を復習・応用・練習 ⑬活動(3)カフェでおしゃべり ⑭語彙導入[7課] ⑮チェックテスト[7課語彙] ⑯■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ⑰課題(1)提出 ⑱チェックテスト[7課文法] ⑲既習文型を復習・応用・練習 ⑳課題(1)を返却・FB ㉑課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ㉒語彙導入[8課] ㉓チェックテスト[8課語彙] ㉔■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件 ㉕チェックテスト[8課文法] ㉖能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習 ㉗活動(4):食事の誘い、食事をする ㉘語彙導入[9課] ㉙課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ ㉚チェックテスト[9課語彙] ㉛■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ㉜課題(3)ピア活動
第8回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み ③課題(1)課題作文について説明 ④チェックテスト[5課文法] ⑤既習文型を復習・応用・練習 ⑥活動(2):天気について話す ⑦語彙導入[6課] ⑧チェックテスト[6課語彙] ⑨■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ⑩課題(1)課題作文について説明 ⑪チェックテスト[6課文法] ⑫既習文型を復習・応用・練習 ⑬活動(3)カフェでおしゃべり ⑭語彙導入[7課] ⑮チェックテスト[7課語彙] ⑯■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ⑰課題(1)提出 ⑱チェックテスト[7課文法] ⑲既習文型を復習・応用・練習 ⑳課題(1)を返却・FB ㉑課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ㉒語彙導入[8課] ㉓チェックテスト[8課語彙] ㉔■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件 ㉕チェックテスト[8課文法] ㉖能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習 ㉗活動(4):食事の誘い、食事をする ㉘語彙導入[9課] ㉙課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ ㉚チェックテスト[9課語彙] ㉛■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ㉜課題(3)ピア活動
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み ③課題(1)課題作文について説明 ④チェックテスト[5課文法] ⑤既習文型を復習・応用・練習 ⑥活動(2):天気について話す ⑦語彙導入[6課] ⑧チェックテスト[6課語彙] ⑨■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ⑩課題(1)課題作文について説明 ⑪チェックテスト[6課文法] ⑫既習文型を復習・応用・練習 ⑬活動(3)カフェでおしゃべり ⑭語彙導入[7課] ⑮チェックテスト[7課語彙] ⑯■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ⑰課題(1)提出 ⑱チェックテスト[7課文法] ⑲既習文型を復習・応用・練習 ⑳課題(1)を返却・FB ㉑課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ㉒語彙導入[8課] ㉓チェックテスト[8課語彙] ㉔■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件 ㉕チェックテスト[8課文法] ㉖能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習 ㉗活動(4):食事の誘い、食事をする ㉘語彙導入[9課] ㉙課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ ㉚チェックテスト[9課語彙] ㉛■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ㉜課題(3)ピア活動
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み ③課題(1)課題作文について説明 ④チェックテスト[5課文法] ⑤既習文型を復習・応用・練習 ⑥活動(2):天気について話す ⑦語彙導入[6課] ⑧チェックテスト[6課語彙] ⑨■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ⑩課題(1)課題作文について説明 ⑪チェックテスト[6課文法] ⑫既習文型を復習・応用・練習 ⑬活動(3)カフェでおしゃべり ⑭語彙導入[7課] ⑮チェックテスト[7課語彙] ⑯■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ⑰課題(1)提出 ⑱チェックテスト[7課文法] ⑲既習文型を復習・応用・練習 ⑳課題(1)を返却・FB ㉑課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ㉒語彙導入[8課] ㉓チェックテスト[8課語彙] ㉔■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件 ㉕チェックテスト[8課文法] ㉖能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習 ㉗活動(4):食事の誘い、食事をする ㉘語彙導入[9課] ㉙課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ ㉚チェックテスト[9課語彙] ㉛■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ㉜課題(3)ピア活動
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み ③課題(1)課題作文について説明 ④チェックテスト[5課文法] ⑤既習文型を復習・応用・練習 ⑥活動(2):天気について話す ⑦語彙導入[6課] ⑧チェックテスト[6課語彙] ⑨■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ⑩課題(1)課題作文について説明 ⑪チェックテスト[6課文法] ⑫既習文型を復習・応用・練習 ⑬活動(3)カフェでおしゃべり ⑭語彙導入[7課] ⑮チェックテスト[7課語彙] ⑯■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ⑰課題(1)提出 ⑱チェックテスト[7課文法] ⑲既習文型を復習・応用・練習 ⑳課題(1)を返却・FB ㉑課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ㉒語彙導入[8課] ㉓チェックテスト[8課語彙] ㉔■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件 ㉕チェックテスト[8課文法] ㉖能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習 ㉗活動(4):食事の誘い、食事をする ㉘語彙導入[9課] ㉙課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ ㉚チェックテスト[9課語彙] ㉛■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ㉜課題(3)ピア活動
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み ③課題(1)課題作文について説明 ④チェックテスト[5課文法] ⑤既習文型を復習・応用・練習 ⑥活動(2):天気について話す ⑦語彙導入[6課] ⑧チェックテスト[6課語彙] ⑨■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ⑩課題(1)課題作文について説明 ⑪チェックテスト[6課文法] ⑫既習文型を復習・応用・練習 ⑬活動(3)カフェでおしゃべり ⑭語彙導入[7課] ⑮チェックテスト[7課語彙] ⑯■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ⑰課題(1)提出 ⑱チェックテスト[7課文法] ⑲既習文型を復習・応用・練習 ⑳課題(1)を返却・FB ㉑課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ㉒語彙導入[8課] ㉓チェックテスト[8課語彙] ㉔■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件 ㉕チェックテスト[8課文法] ㉖能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習 ㉗活動(4):食事の誘い、食事をする ㉘語彙導入[9課] ㉙課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ ㉚チェックテスト[9課語彙] ㉛■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ㉜課題(3)ピア活動
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み ③課題(1)課題作文について説明 ④チェックテスト[5課文法] ⑤既習文型を復習・応用・練習 ⑥活動(2):天気について話す ⑦語彙導入[6課] ⑧チェックテスト[6課語彙] ⑨■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ⑩課題(1)課題作文について説明 ⑪チェックテスト[6課文法] ⑫既習文型を復習・応用・練習 ⑬活動(3)カフェでおしゃべり ⑭語彙導入[7課] ⑮チェックテスト[7課語彙] ⑯■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」 ⑰課題(1)提出 ⑱チェックテスト[7課文法] ⑲既習文型を復習・応用・練習 ⑳課題(1)を返却・FB ㉑課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ㉒語彙導入[8課] ㉓チェックテスト[8課語彙] ㉔■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件 ㉕チェックテスト[8課文法] ㉖能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習 ㉗活動(4):食事の誘い、食事をする ㉘語彙導入[9課] ㉙課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ ㉚チェックテスト[9課語彙] ㉛■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ㉜課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることを。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

・中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、Appの何れも可。電子辞書を奨める]

・『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同
学社

・『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 30%

期末テスト[筆記+口述] 30%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業進度やスケジュールなどにより、課題に切り替わることがある。

※評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。
また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

※小テストやコミュニケーション活動のメイクアップについて

小テストやコミュニケーション活動が行われた授業日の欠席は、公欠と認められるケース以外は、メイクアップや対応はしない。

※欠席した授業日の配布資料について

欠席した授業日の配布資料は、次の授業日に出席した際に、教員に声をかけてもらってください。期末期の一括請求は対応しない。

※授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

※携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

※教材[教科書、授業関連資料]を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の三 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくることを。

【Outline (in English)】

■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)		
中国語 7		2017年度以降入学者
張 勝蘭		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水3/Wed.3		
単位数：1単位		
その他属性：		
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】		
本講義は、SAでの授業を念頭に置き、中国語1～6で習得した基礎的な語彙・文法・表現を土台として、中国語の読解力および聴解力を総合的に高めることを目的とする。		
中国社会・文化・歴史・風俗習慣・故事来歴など多様な題材を扱い、中国語を通して中国の社会や文化への理解を深めるとともに、実際の中国語運用能力の向上を目指す。		
【到達目標】		
① 中国語の音声を取り、内容を整理した上で、日本語で適切に理解・説明できるようになる。		
② 中国社会・文化に関する内容を扱った中国語教材を通じて、説明的な中国語表現に慣れる。		
③ SA先である上海外国語大学の授業を念頭に置き、講義内容を理解するために必要な読解力および聴解力を身につける。		
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】		
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1		
【主な授業方法】		
L 講義 /Lecture		
【授業の進め方と方法】		
授業では、対話文や長文に加え、解説部分も含め、すべて中国語による音声教材を使用する。教材の内容は、中国の社会・文化・歴史・風俗習慣・故事来歴など多岐にわたる。		
各回の授業では、中国語の音読練習を行い、語句や表現の使い方について説明と練習を行った上で、日本語への翻訳を通じて理解を確認する。		
授業の進め方や学習上の留意点については、初回の授業で具体的に説明する。課題等へのフィードバックは、授業内のほか、学習支援システムおよびメールを通じて行う。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		
あり / Yes		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】		
なし / No		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方と準備学習の説明、WEB版教材を紹介する。
第2回	教材1 (1)	「上海的小吃」を用いる。3日前までに51行目まで聞き取りを行う。授業で字幕の音読および翻訳を練習する。
第3回	教材1 (2)	「上海的小吃」の52行目から101行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。
第4回	教材1 (3)	「上海的小吃」の102行目から157行目事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。最後に全文を最初から再度聞き取りを行う。
第5回	教材2 (1)	「高考」を用いる。授業までに59行目まで聞き取りを行う。授業で字幕を日本語に翻訳する。
第6回	教材2 (2)	「高考」の60行目から117行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。
第7回	教材2 (3)	「高考」の118行目から163行目までの内容を事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。最後に全文を最初から再度聞き取りを行う。
第8回	教材3 (1)	「中秋的月饼」を用いる。授業までに54行目まで聞き取りを行う。授業で字幕を日本語に翻訳する。
第9回	教材3 (2)	「中秋的月饼」の55行目から97行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。
第10回	教材3 (3)	「中秋的月饼」の98行目から142行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。最後に全文を最初から再度聞き取りを行う。
第11回	教材4 (1)	「不怕慢，就怕站」を用いる。授業までに41行目まで聞き取りを行う。授業で字幕を日本語に翻訳する。
第12回	教材4 (2)	「不怕慢，就怕站」の42行目から79行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。最後に全文を最初から再度聞き取りを行う。
第13回	期末テスト	読解力テスト（中文日訳）を実施する。範囲は既習の4つのテキストである。詳細は事前に説明する。
第14回	テストの解説	期末テストを返却し、解説を行う。
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
受講者は、各回につき準備学習および復習に要する時間として、合わせて2～3時間を標準とする。		
その際、教材の音声・テキストを用いて内容を確認し、疑問点を整理した上で、自らまとめることが求められる。		
【テキスト（教科書）】		
愛漢語播客2010年集（iMandarin Pod.com）からセレクトした音声教材		
【参考書】		
各自が使い慣れている中国語辞書および文法書を適宜活用する。		
【成績評価の方法と基準】		
準備学習および授業での発言（40％）ならびに期末に実施する翻訳テスト（60％）により、総合的に評価を行う。		
本授業の成績評価は、上記の評価方法に基づき、到達目標の60％以上を達成した者を合格とする。		
なお、出席は成績評価の大前提とする。		
【学生の意見等からの気づき】		
特になし。		
【Outline (in English)】		
【Course Outline】		
The aim of this course is to help participants improve both reading and listening skills in Chinese, based on what you learned in Chinese 1-6.		
【Learning Objectives】		
At the end of the course, participants should be able to enhance the development of Chinese skill in reading and listening.		
【Learning activities outside of classroom】		
Before each class meeting, participants will be expected to make audio materials into text and translate it to Japanese. After each class meeting, participants will be expected to check the text created by myself based on the translation example presented by the teacher. Your study time will be two or three hours.		
【Grading Criteria/Policy】		

Final grade will be calculated according to the following process: Learning activities outside of classroom (40%) and reading comprehension test conducted at the end of the semester (60%) .

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 8

2017年度以降入学者

鈴木 靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

HSKのリスニング問題のディクテーションと過去問の練習を通じて、4級合格に必要な1200語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につけていく。

また、過去問のシミュレーターによる模擬試験によって、HSKの問題形式に慣れ、確実な合格をめざす。

【到達目標】

HSK4級の合格に必要な1200語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は、自宅でのe-Learningによる予習と教室での授業を組み合わせたブレンド型学習によって行う。具体的な授業の進め方は次のとおり。

〔授業前の事前学習〕

授業前にパソコンまたはスマートフォンを使い、HSKのリスニング問題のディクテーションを行う

〔授業の進め方と方法〕

- ①小テスト（前回の学習内容の復習テスト）
- ②リスニング問題と読解問題の解説
- ③過去問を使った模擬試験（期間中2回実施）

課題等に対するフィードバックの方法としては、受講生全員が参加するLINEのグループを用意し、これを通じて全員または個別に指導を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の目標と学習方法の解説
第2回	HSK3級リスニング対策①	HSK3級リスニング問題の第一部分の解説と過去問の練習
第3回	HSK3級リスニング対策②	HSK3級リスニング問題の第二部分の解説と過去問の練習
第4回	HSK3級リスニング対策③	HSK3級リスニング問題の第三部分の解説と過去問の練習
第5回	HSK3級リスニング対策④	HSK3級リスニング問題の第四部分（前半）の解説と過去問の練習
第6回	HSK3級リスニング対策⑤	HSK3級リスニング問題の第四部分（後半）の解説と過去問の練習
第7回	HSK3級リスニング対策⑥	HSK3級模擬試験
第8回	HSK4級リスニング対策①	HSK4級リスニング問題の第一部分（前半）の解説と過去問の練習
第9回	HSK4級リスニング対策②	HSK4級リスニング問題の第一部分（後半）の解説と過去問の練習

第10回	HSK4級リスニング対策③	HSK4級リスニング問題の第二部分（前半）の解説と過去問の練習
第11回	HSK4級リスニング対策④	HSK4級リスニング問題の第二部分（後半）の解説と過去問の練習
第12回	HSK4級リスニング対策⑤	HSK4級リスニング問題の第三部分（前半）の解説と過去問の練習
第13回	HSK4級リスニング対策⑥	HSK4級リスニング問題の第三部分（後半）の解説と過去問の練習
第14回	HSK4級リスニング対策⑦	HSK4級模擬テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前に下記の事前学習を行うこと。

パソコンまたはスマートフォンを使い、HSKリスニング問題のディクテーションを行う。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

文部科学省平成24年度グローバル人材育成推進事業の補助を受け開発したe-Learning教材とHSK（漢語水平考試）の過去問データを使用する。

【参考書】

・劉月華ほか『実用現代漢語語法』（外語教学与研究出版社）

【成績評価の方法と基準】

①ディクテーション教材による宿題の実施状況と小テストの成績（60％）

②3級および4級の模擬試験の成績（40％）

【学生の意見等からの気づき】

自宅にパソコンがない学生のため、スマートフォンでも利用できるよう教材を修正した。

HSKの必修単語を覚えるのが難しいという声が多く寄せられたため、単語とフレーズを記憶するためのe-Learningを新たに開発した。

【Outline (in English)】

〔Course outline〕

Chinese 8 is a Chinese course designed specifically for the students who are going to study abroad in China in the next semester.

In this course, students will develop their language abilities in the following:

Vocabulary: We will learn 1200 words required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 4.

Grammar: We will learn the elementary grammar required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 4.

Students will improve their language skills by:

Expanding their vocabulary and improving their listening skills through the use of e-Learning and past exams.

〔Learning Objectives〕

The goal of this course is to develop the students' ability to understand and use the Chinese language at the level of HSK4.

〔Learning activities outside of the classroom〕

Students will be expected to have completed the required assignments before each class. These assignments are expected to require an hour or more for students to complete.

〔Grading Criteria /Policy〕

Grading will be decided based on short class examinations(60%) and class assignments(40%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-I

2017年度以降入学者

日原 傳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を固めつつ、中国語能力を中級レベルに向上させる。中国語の時事資料を読み、現代中国に対する理解を深める。

【到達目標】

- ・初級中国語の基礎をしっかりと定着させる。
- ・少し長めの中国語の文章に慣れる。
- ・中国語の書面語（文語）の表現に慣れる。
- ・中国語の文章を独力で読みこなす力をつける。
- ・時事資料の読解を通して、現代中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って授業を進める。各課ごとに、新出単語の確認・発音練習→学習ポイント（文法の確認）→課文（音読・訳）→練習問題の順で進めてゆく。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション・ガイダンス	授業の進め方の説明。 テキスト・辞書の説明。
	第一課 時代とともに変わる呼称	第一課(語句・文法・課文)
第2回	第一課 時代とともに変わる呼称	第一課(課文・練習問題)
第3回	第二課 大学生の恋愛事情	第二課(語句・文法・課文)
第4回	第二課 大学生の恋愛事情	第二課(課文・練習問題)
第5回	第三課 食の変化	第三課(語句・文法・課文)
第6回	第三課 食の変化	第三課(課文・練習問題)
第7回	第四課 剩女（結婚適齢期を過ぎた女性）	第四課(語句・文法・課文)
第8回	第四課 剩女（結婚適齢期を過ぎた女性）	第四課(課文・練習問題)
第9回	第五課 一人っ子政策から第二子政策へ	第五課(語句・文法・課文)
第10回	第五課 一人っ子政策から第二子政策へ	第五課(課文・練習問題)
第11回	第六課 中国の住居問題	第六課(語句・文法・課文)
第12回	第六課 中国の住居問題	第六課(課文・練習問題)
第13回	中国の最新事情	プリント教材

第14回 授業の総まとめと期 筆記・ヒアリング試験 まと
末試験 めと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習は必須です。分からない単語は辞書で調べ、テキストの本文と文法の例文を訳してから授業に臨んでください。
- ・テキストの「リスニング・トレーナー」アプリを使って各課の音声を繰り返し聴く。
- ・テキストの本文をスラスラ読めるまで音読の練習を繰り返す。
- ・本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『知ってる？ 今の中国 ～衣食住遊～』（山下輝彦・路元著、朝日出版社、2450円＋税）。

※一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（電子辞書も可）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・発音チェックテスト）30％
期末試験 70％

【学生の意見等からの気づき】

発音チェックテストを6～7月に行ない、成績評価の基礎点に加えることにした。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-II

2017年度以降入学者

日原 傳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を固めつつ、中国語能力を中級レベルに向上させる。中国語の時事資料を読み、現代中国に対する理解を深める。

【到達目標】

- ・初級中国語の基礎をしっかりと定着させる。
- ・少し長めの中国語の文章に慣れる。
- ・中国語の書面語（文語）の表現に慣れる。
- ・中国語の文章を独力で読みこなす力をつける。
- ・時事資料の読解を通して、現代中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って授業を進める。各課ごとに、新出単語の確認・発音練習→学習ポイント（文法の確認）→課文（音読・訳）→練習問題の順で進めてゆく。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにもなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第七課 現代の結婚観	第七課(語句・文法・課文)
第2回	第七課 現代の結婚観	第七課(課文・練習問題)
第3回	第八課 海外旅行	第八課(語句・文法・課文)
第4回	第八課 海外旅行	第八課(課文・練習問題)
第5回	第九課 微信(We Chat)	第九課(語句・文法・課文)
第6回	第九課 微信(We Chat)	第九課(課文・練習問題)
第7回	第十課 服装の変革(ジーンズとチャイナ服)	第十課(語句・文法・課文)
第8回	第十課 服装の変革(ジーンズとチャイナ服)	第十課(課文・練習問題)
第9回	第十一課 移民	第十一課(語句・文法・課文)
第10回	第十一課 移民	第十一課(課文・練習問題)
第11回	第十二課 春節(旧正月)の趣は何処へ?	第十二課(語句・文法・課文)
第12回	第十二課 春節(旧正月)の趣は何処へ?	第十二課(課文・練習問題)
第13回	中国の最新事情	プリント教材

第14回 授業の総まとめと期 筆記・ヒアリング試験 まと
末試験 めと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習は必須です。分からない単語は辞書で調べ、テキストの本文と文法の例文を訳してから授業に臨んでください。
- ・テキストの「リスニング・トレーナー」アプリを使って各課の音声を繰り返し聴く。
- ・テキストの本文をスラスラ読めるまで音読の練習を繰り返す。
- ・本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『知ってる？ 今の中国 ～衣食住遊～』（山下輝彦・路元著、朝日出版社、2450円＋税）。

※一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（電子辞書も可）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・暗誦テスト）30%

期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】

発音チェックテストを11～12月に行ない、成績評価の基礎点に加えることにした。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 - I

2017年度以降入学者

大江 千晶

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語1と中国語2を一通り終えた学生を対象にする授業です。

中国のことわざを中心とした処世術やものの考え方を学びながら、中国語の技能を総合的に伸ばし、中国語でのコミュニケーションに必要な基礎力をつけます。

教科書だけでなく、中国語の時事ニュース等を教材にしながら語彙力・表現力を伸ばします。

【到達目標】

発音に重点を置き、基礎的文法を使った会話練習を行います。毎回の授業でテキストの音読を行い、正しい発音を繰り返し練習し身につけます。ペアワーク・グループワークを通じて自分の意見を表現する力を養います。

Focus on pronunciation and practice speaking using basic grammar. To acquire correct pronunciation, students will repeatedly practice reading aloud the text in each class. Develop ability to express one's opinion through pair work and group work.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業の進め方：

1. 中国語の時事ニュースを見ながら日本語訳をする初見翻訳練習
2. 教科書の会話を音読
3. 文法項目の確認・応用練習
4. 授業当日にテーマを決め、簡単な作文・発音練習

課題へのフィードバック：

- ・作文は授業時間内に個別に添削します。
- ・音声課題はHoppiiのコメント欄を通じて、または授業時間内に個別に指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	オリエンテーション レベルチェック	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。
2回目	第1課	「五百年前是一家（五百年前は同じ先祖だ）」（会話、文法、閲読）
3回目	第2課	「不怕慢，就怕站（遅くても止まるよりはましだ）」（会話、文法、閲読）
4回目	第3課	「笑一笑，少一少（笑えばその分若くなる）」（会話、文法、閲読）
5回目	第4課	「君子口不手（君子たる者、論は戦わずが手は出さない）」（会話、文法、閲読）
6回目	第5課	「天生我材必有用（天が与えた我が才能は、必ず世の役に立つ）」（会話、文法、閲読）

7回目 第6課

8回目 第7課

9回目 第8課

10回目 第9課

11回目 第10課

12回目 第11課

13回目 第12課

14回目 試験・まとめと解説

「磨磨，不快也光（戦いの直前に槍を磨けば、鋭くなくても光はする）」（会話、文法、閲読）

「在家靠父母，出门靠朋友（家にいる時は親を頼りにし、家を離れてからは友達を頼りにする）」（会話、文法、閲読）

「病从口入，祸从口出（病は口から入り、禍は口から出る）」（会話、文法、閲読）

「台上一分，台下十年功（舞台上の1分間の演技でも、舞台裏では10年もの下積みが必要である）」（会話、文法、閲読）

「人有隔夜之智（一晩寝て、頭を冷やして考えてみる）」（会話、文法、閲読）

「旧的不去，新的不来（古いものが去らなければ、新しいものはやって来ない）」（会話、文法、閲読）

「好借好还，再借不难（借りたものを約束通りに返せば、また借りられる）」（会話、文法、閲読）

授業のまとめと授業内筆記・口述試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。

特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

【テキスト（教科書）】

『中国の智慧 ことわざで学ぶ初中級中国語』相原茂・蘇紅著 朝日出版社

【参考書】

授業時に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。

平常点60%、期末試験40%。

平常点には、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。

期末試験の40%内訳は、口頭試験20%、筆記試験20%。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 60% and final exam share 40% of the grade. Participation points include class attendance in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 40% includes oral examinations 20% and paper examination 20%.

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォン、タブレット、パソコン等の通信機器

【その他の重要事項】

「中国語1」及び「中国語2」が履修済であること。

中国語母語話者は履修してはならない。

2/3以上出席をしていない場合は、成績評価の対象としない。

【Outline (in English)】

This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. Comprehensively improve Chinese language skills and acquire the basic skills necessary for communication in Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-II

2017年度以降入学者

大江 千晶

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語3 I の続きです。
中国のことわざを中心とした処世術やものの考え方を学びながら、中国語の技能を総合的に伸ばし、中国語でのコミュニケーションに必要な基礎力をつけます。
教科書だけでなく、中国語の時事ニュース等を教材にしながら語彙力・表現力を伸ばします。

【到達目標】

発音に重点を置き、基礎的文法を使った会話練習を行います。毎回の授業でテキストの音読を行い、正しい発音を繰り返し練習し身につけます。ペアワーク・グループワークを通じて自分の意見を表現する力を養います。

Focus on pronunciation and practice speaking using basic grammar. To acquire correct pronunciation, students will repeatedly practice reading aloud the text in each class. Develop ability to express one's opinion through pair work and group work.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業の進め方：

1. 中国語の時事ニュースを見ながら日本語訳をする初見翻訳練習
2. 教科書の会話を音読
3. 文法項目の確認・応用練習
4. 授業当日にテーマを決め、簡単な作文・発音練習

課題へのフィードバック：

- ・作文は授業時間内に個別に添削します。
- ・音声課題はHoppiiのコメント欄を通じて、または授業時間内に個別に指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	オリエンテーション レベルチェック	秋学期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。
2回目	第13課	「大凶不死，必有后福（大変な災難に遭っても生き延びたのだから、将来必ず幸せが待っている）」（会話、文法、閲読）
3回目	第14課	「凶ト白菜，各有所凶（夢食う虫も好き好き）」（会話、文法、閲読）
4回目	第15課	「春捂秋凶（春には厚着に、秋には薄着に）」（会話、文法、閲読）
5回目	第16課	「年凶不凶人（年齢は人を許さない）」（会話、文法、閲読）
6回目	第17課	「一分凶，一分凶（値段相応）」（会話、文法、閲読）

7回目	第18課	「好花不常开，好景不常在（好調な時期は長く続くものではない）」（会話、文法、閲読）
8回目	第19課	「塞翁失凶，焉知非福？（人間万事塞翁が馬）」（会話、文法、閲読）
9回目	第20課	「凶划赶不上凶化（計画は変化に追いつけない）」（会話、文法、閲読）
10回目	第21課	「人怕出名猪怕壮（出る杭は打たれる）」（会話、文法、閲読）
11回目	第22課	「女大不由娘（娘は大きくなると母親の言うことを聞かなくなる）」（会話、文法、閲読）
12回目	第23課	「多一事不如少一事（触らぬ神にたたり無し）」（会話、文法、閲読）
13回目	第24課	「好死不如凶活着（死んで花実が咲くものか）」（会話、文法、閲読）
14回目	試験・まとめと解説	授業のまとめと授業内筆記・口述試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

【テキスト（教科書）】

『中国の智慧 ことわざで学ぶ初中級中国語』相原茂・蘇紅著 朝日出版社

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。
平常点60%、期末試験40%。
平常点には、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。
期末試験40%の内訳は、口頭試験20%、筆記試験20%。
Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 60% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 40% includes oral examinations 20% and paper examination 20%.

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォン、タブレット、パソコン等の通信機器

【その他の重要事項】

「中国語1」及び「中国語2」が履修済であること。
中国語母語話者は履修してはならない。
2/3以上出席をしていない場合は、成績評価の対象としない。

【Outline (in English)】

This course is Chinese 1 of III which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of "Friendly Business Chinese. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)	
中国語 3 - I	2017年度以降入学者
三田村 圭子	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水5/Wed.5 単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習し、より複雑な表現を理解する。その上で中級以上の中国語に取り組む際に必要な構文や新しい語彙を習得する。

【到達目標】

春学期終了時には、文法・ヒアリングにおいてHSK 3級、中国語検定4級程度の能力を確実に習得し運用できること、少し複雑な構文を正確な文法を用いて表現できることを到達目標とする。また、新語の検索をピンイン入力などで実際に行い、実践的な中国語運用の方法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で進みます。進行や課題は学習支援システムでも告知します。毎回の授業は担当者が講義スタイルで内容を解説したのち、中国語による表現をクラス全体で反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙の理解、トピックのことばの文化背景などについて、各自が中国語で表現する実践練習を行います。

【課題へのフィードバック】

文法に関しては数回に一度個別の回答を回収し授業内で誤りの多かった問題に関して解説する。各自が自由に質問に回答する分については添削後、返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	基礎で学習したことの復習①特に4文型	自己紹介。特に発音の確認と練習。
第2回	基礎で学習したことの復習②特に補語表現	基礎文法事項の練習。学んだ常用表現を使い、実際に口頭練習する。
第3回	第1課(1)“中国的早餐”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①方向補語②連動文③変化を示す「了」④掃
第4回	第1課(2)“中国的早餐”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	食事にまつわる表現とヒアリング・練習問題を行う。
第5回	第2課(1)“坐出租车”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①結果補語②仮定の表現③助動詞まとめ④修飾語を構成する語
第6回	第2課(2)“坐出租车”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	新しく学習した文例を用い、実際の交通状況について簡単な作文を作成する。

第7回	第3課(1)“昂貴的咖啡”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①兼語文②越来越～③可能補語の特殊な否定形④対～來說
第8回	第3課(2)“昂貴的咖啡”短文の理解と表現練習、練習問題を通した理解	第1～第3課の補足と復習・ヒアリング問題
第9回	第1～3課までの習得度の確認。第4課(1)“AA 制和AB 制”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①受け身・使役表現のまとめ②語気助詞③禁止の表現④不但～還～
第10回	第4課(2)“AA 制和AB 制”短文の理解と表現練習、練習問題。第5課(1)“拉肚子”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	第4課、第5課の内容復習し、練習問題を行う。
第11回	第5課短文の理解と表現練習、練習問題。第6課(1)“网购”の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①不定の表現②不是～而是～③等～再～④把構文の練習
第12回	学習した中級構文についてのまとめ	第5課、第6課のヒアリングと作文を行う。
第13回	第4から第6課までのヒアリングと発音の復習と暗誦	第4課から第6課の造句部分の復習。
第14回	春学期の到達度の確認・文法事項全体の復習	春学期進行分の到達度の確認と復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくこと。本授業の準備・復習時間は各1時間を標準とする。【予習】授業時に分担して回答してもらうので発展練習には各自でピンインを付け音読できるようにしておくこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材のヒアリングの問題や進行状況に合わせた問題を行う。

【テキスト（教科書）】

『中国語への道一浅きから遠きへー』改訂新版 準中級編 内田慶市・奥村佳世子・塩山正純・張軼欧 KINSEIDO 2024年 ¥2400＋税 978-4-7647-0724-5 C1087

【参考書】

進度に合わせて適宜、辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40％、小テスト30％、平常点30％（課題提出や暗誦、教科書準拠のネットでの練習20％・授業への参加度10％）を総合して評価する。また、春学期においてはHSK 3・4級、中国語検定試験4級合格者には10％を上限として加点をする。点数や合格級数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】

個々の練習すべき点が明瞭になるという点で、中国語検定などの外部試験問題を部分的に行い、復習を兼ねて練習できたのは良かったことです。個別の発音チェックの時間と造句に関する解説の時間が十分にとれなかったこと、また小テストについての要望があったので出題形式・範囲を変更するなどして習得度の確認ができる機会を増やすことが改善点と考えています。多くの会話練習や造句の機会が得られるように進行する予定です。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材をダウンロードできる機器

【その他の重要事項】

大学で改訂新版を購入しましょう。最新版でない場合、教科書準拠のネット上での教材が使用できません。

【Outline (in English)】**【Course outline/Learning Objectives】**

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%). Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）	
中国語3-II	2017年度以降入学者
三田村 圭子	
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水5/Wed.5 単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法に関しては中級レベルで書かれた文章の正確な読解を助ける、やや難しい構文を中心に学習する。また造句の練習を通じ、より難度の高い実践的な中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、**HSK**や中国語検定試験に対応する能力と上級に進む上で必要な基礎力を養成する。

【到達目標】

基礎に基づき聴く能力・話す能力および読解力を高め、正しい中国語の発音、日常生活の基本語彙と基本文法を確実に理解し、基礎的な表現能力を身につけることを目標とする。具体的には、身のまわりの様々な場面を表現した中級レベルの語彙・文法で書かれた会話と短文、例文の学習によって、中国語の語彙を増やすとともに文法のしくみを理解し、様々な場面に相応しい表現できる能力を培う。また、テキストの内容を通し文化背景についても客観的な知識を持つことを目標とする。文法に関しては**HSK**3級から4級レベル、中国語検定3級程度の能力を習得することを最終的な到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

春学期よりも授業進行が若干速めになる。基本的には春学期の授業進行と同様の順番だが、途中で応用問題を行う時間をとる。また、複雑な文法事項についてはプリントを使用しながら学習する。【課題へのフィードバック】造句は授業内で回収し添削し特に文法に関しては授業時間に回答で誤りが多かった問題から解説する。発音に関しては各回の授業開始時に頻度の高いフレーズを練習する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期までの復習と発音練習	本文の発音練習をしながら、前半学習した文法事項を総復習する。
第2回	第7課(1)“剩男、剩女”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①才の表現②怎么のまとめ③持続と進行のまとめ④即使⑤☒/☒了の用法
第3回	第7課(2)“剩男、剩女”短文の理解と表現練習、練習問題を通じた理解	第7課の内容を理解し、ヒアリング・造句・練習問題を行う。
第4回	第8課(1)“大学生應該少打工，多學習”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説・学習	①一～就～②離合詞③有を使った兼語文④後置される介詞①
第5回	第8課(2)“大学生應該少打工，多學習”短文の理解と表現練習、練習問題を通じた理解	第1回から4回までの練習の確認と自分の生活についての簡単な作文を書く。

第6回	第9課(1)“表示感謝的習慣”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①「また」に関する表現のまとめ②二重目的語と把構文③只有～才～④時量・動量補語の整理
第7回	第9課(2)“表示感謝的習慣”短文の理解と表現練習、練習問題を通じた理解	第9課で学んだ例文を参考に造句してみる。
第8回	第7課から第9課までの全体的な復習と到達度の確認	検定試験問題や小テストを行う。
第9回	第10課(1)“年輕人的就職觀”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①考②存現文まとめ③数字の表現④却と接統詞の整理
第10回	第10課(2)“年輕人的就職觀”短文の理解と表現練習、練習問題を通じた理解	第10課の内容を踏まえてのヒアリングと造句
第11回	第11課(1)“月光族”会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説と学習	①補語表現②会の用法の整理③只要～就～④疑問詞の呼応表現
第12回	第11課まで学習した構文を使った表現練習。第12課会話の内容理解と表現練習、文法ポイントの解説	①後置される介詞②介詞まとめ③フレーズが目的語になる表現④竟然
第13回	第12課(2)“海外的漢語奇遇”短文の理解と表現練習、練習問題を通じた理解	第10～12課までの総合復習
第14回	秋学期の学習到達度の確認。応用表現の総合復習	期末テスト。 第7課から第12課までを中心に。日常よく使われる表現の復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

秋学期は内容も難しくなるので準備・復習時間は各1時間半を標準とする。音声教材を授業以外の時間にもよく聴くこと。また授業以外でも大学所蔵のDVDを観るなど、幅広く興味を持ってほしい。

【予習】授業時に分担して回答してもらうので発展練習は各自でピンインを付け音読できるようにしておくこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材のヒアリングの問題や進行状況に合わせた外部試験問題を行う。

【テキスト（教科書）】

『中国語への道一浅きから遠きへ』改訂新版 準中級編
内田慶市・奥村佳世子・塩山正純・張軼欧著 KINSEIDO 2024年
¥2400＋税 978-4-7647-0724-5 C1087

【参考書】

授業の進行に合わせて再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40％、小テスト30％、平常点30％（課題や教科書準拠の練習問題20％・授業への参加度10％）を総合して評価する。また**HSK**3・4級・中国語検定試験4級合格者には10％を上限として加点をする。中国語検定試験3級・**HSK**4級以上の合格者は期末試験を免除し評価をSとする。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は発展練習を追加でオンライン上で行えるようにしましたが、PDFを配布回収という従来の方法で、ほとんどを実施したことが改善点です。事前に担当者を決め、**Google**のドキュメントの共有の黒板に回答する方法は良かったのですが、口頭の実践練習での待機時間により効率的に練習問題ができるよう改善できる余地があったと考えています。秋学期には外部試験に挑戦した学生が複数いたことも良かった点です。

【学生が準備すべき機器他】

音声ダウンロードできる機器

【その他の重要事項】

大学で改訂新版を購入しましょう。最新版でないとネット上での教科書準拠の練習問題ができません。

【Outline (in English)】**【Course outline/Learning Objectives】**

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one and a half hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process
term-end examination (40%), mid-term examination (30%),
and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 - I

2017年度以降入学者

薬 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の3級合格可能な程度である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けて回答します。
- (3) 個別相談等はshin.yaku.56@hosei.ac.jpで随時受け付けて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	第一課	初級の復習 (1)
2回	第一課	初級の復習 (2)
3回	第二課	初級の復習 (1)
4回	第二課	初級の復習 (2)
5回	第三課	ある動作を行う目的や方法を説明する表現
6回	第四課	好き嫌い・心配の表現
7回	復習	第一課～第四課の復習
8回	第五課	動作の程度・状態を説明する表現
9回	第六課	能力と可能性の表現
10回	第七課	動作の結果を説明する表現
11回	第八課	動作の方向を説明する表現
12回	第九課	動作の結果と方向の可能性を表す表現
13回	第十課	使役の表現
14回	復習	I期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属のCDとDVDを活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF版無償提供。

各授業日に使用される文字、音声、映像資料は『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。

あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常評価（中間のまとめ25%と口語テスト10%）35%、最終課題65%とする。

無断欠席・遅刻は回数分に依りて減点される。

検定試験4級合格者：I期終了時合格は15点プラス。

検定試験3級合格者：I期終了時合格は100点プラス。

【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

PDF版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属CD・DVDも授業支援システムにて提供されます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 40% for normal points and 60% for final assignments.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-II

2017年度以降入学者

葉 進

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の3級合格可能な程度である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けて回答します。
- (3) 個別相談等はshin.yaku.56@hosei.ac.jpで随時受け付けて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	総括	I 期期末試験の解説
2回	復習	春学期の復習
3回	第十一課	受身の表現
4回	第十二課	存在と出現を説明する表現
5回	第十三課	対象への処理・処分を表す表現
6回	第十四課	二つの動作の前後順・時間順の表現
7回	復習	第十一課～第十四課の復習
8回	第十五課	仮定の表現
9回	第十六課	因果関係を表す表現
10回	第十七課	逆接関係を表す表現
11回	第十八課	付け加えの表現
12回	第十九課	除外の表現
13回	第二十課	何でもどこでも誰でも
14回	復習	II期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属のCDとDVDを活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF版無償提供

各授業日に使用されるテキストは『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常評価（中間のまとめ25%と口語テスト10%）35%、最終課題65%とする。
無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

PDF版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属CD・DVDも授業支援システムにて提供されます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 40% for normal points and 60% for final assignments.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

LANc200LA（中国語 / Chinese language education 200）
中国語コミュニケーション基礎Ⅰ 2017年度以降入学者
楊 心苗
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木4/Thu.4
単位数：1単位
定員制(20)
その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語による基礎的なコミュニケーション能力の育成を目的とし、発音・語彙・基本文法を土台として、「聞く」「話す」を中心とした実践的な言語活動を行う。日常生活に身近な場面を想定した練習を通して、中国語でやり取りするための基礎力を身につける。本授業を通して、中国語の基礎知識を用いて簡単な中国語で自分の考えを伝える力を身につける。また、対話活動を通して外国語によるコミュニケーションへの理解と自信を深め、今後の中国語学習や異文化理解の基礎を築くことを目的とする。

【到達目標】

1. 中国語の基礎的な発音・語彙・文法を理解し、日常生活に身近な場面において簡単な中国語によるやり取りができる。
2. 基本的な聞く・話す活動を通して、相手の発話の要点を理解し、自分の考えや意図を簡単な中国語で伝えることができる。
3. 中国語による対話活動に積極的に参加し、外国語でコミュニケーションを行うことへの理解と自信を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は、講義形式と演習形式を組み合わせで行う。発音・語彙・基本文法の確認を行ったうえで、指定テキストを用いた聞く・話す活動、ペアワークやグループワークなどの対話練習に取り組む。また、日常生活に身近な場面を想定したロールプレイや簡単な発表活動を取り入れ、実際のコミュニケーションを重視した授業を行う。教員は活動の進行に応じて適宜フィードバックを行い、理解の定着を図る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを確認し、本授業の目的および意義を共有するとともに、授業の進め方や成績評価方法について説明を行う。また、受講生の中国語学習歴や習熟度を確認する。
2	レッスン1	ウォームアップ
3	レッスン2	第一課 挨拶する・自分の身分、出身地などを言う、相手に尋ねる
4	レッスン3	会話練習
5	レッスン4	第二課 名前を言う、尋ねる・大学での所属・専攻を言う
6	レッスン5	会話練習
7	レッスン6	第三課 レストランで食べたいものを尋ねる、言う
8	レッスン7	会話練習
9	レッスン8	第四課 感想を尋ねる、言う

10	レッスン9	会話練習
11	レッスン10	第五課 年月日・曜日・時刻を尋ねる、言う
12	レッスン11	会話練習
13	レッスン12	総括
14	期末テスト	第一課から第五課までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習として、指定テキストの該当箇所を読み、語彙・表現・文型を確認するとともに、発音練習や会話例の音読を行う。必要に応じて、授業内で指示された練習問題や課題に事前に取り組む。復習としては、授業で扱った表現や文法事項の整理、聞く・話す活動で使用した表現の反復練習を行い、理解の定着を図る。また、授業内で提示される宿題（練習問題等）にも取り組む。本授業の準備学習および復習に要する時間は、それぞれ1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

綾部武彦ほか『晴れ晴れ中国語』（朝日出版社）2024年 ISBN 978-4-255-45385-9

【参考書】

必要に応じて適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点を50%（授業への積極的な参加、対話活動への取り組み、課題の達成状況など）、期末課題を50%とし、合計100点満点で評価する。本成績評価方法に基づき、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度より新規開講のため、フィードバックできません。

【その他の重要事項】

- ・事前学習は必須である。事前学習していることを前提に授業を進める。
- ・本授業は、全回の出席が評価の前提である。即ち、欠席は原則的に認めない。教育実習等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応を取ること。

【Outline (in English)】

This course aims to develop students' basic communicative competence in Chinese through practical language activities focused primarily on listening and speaking, based on pronunciation, vocabulary, and basic grammar. Through practice in everyday, familiar situations, students will acquire the foundational skills needed to communicate in Chinese. Through this course, students will develop the ability to express their own ideas in simple Chinese using basic language knowledge. In addition, through dialog-based activities, students will deepen their understanding of foreign-language communication, build confidence, and establish a foundation for further Chinese language study and intercultural understanding.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語コミュニケーション基礎Ⅱ 2017年度以降入学者

楊 心苗

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

定員制(20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語による基礎的なコミュニケーション能力の育成を目的とし、発音・語彙・基本文法を土台として、「聞く」「話す」を中心とした実践的な言語活動を行う。日常生活に身近な場面を想定した練習を通して、中国語でやり取りするための基礎力を身につける。本授業を通して、中国語の基礎知識を用いて簡単な中国語で自分の考えを伝える力を身につける。また、対話活動を通して外国語によるコミュニケーションへの理解と自信を深め、今後の中国語学習や異文化理解の基礎を築くことを目的とする。

【到達目標】

1. 中国語の基礎的な発音・語彙・文法を理解し、日常生活に身近な場面において簡単な中国語によるやり取りができる。
2. 基本的な聞く・話す活動を通して、相手の発話の要点を理解し、自分の考えや意図を簡単な中国語で伝えることができる。
3. 中国語による対話活動に積極的に参加し、外国語でコミュニケーションを行うことへの理解と自信を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業は、講義形式と演習形式を組み合わせで行う。発音・語彙・基本文法の確認を行ったうえで、指定テキストを用いた聞く・話す活動、ペアワークやグループワークなどの対話練習に取り組む。また、日常生活に身近な場面を想定したロールプレイや簡単な発表活動を取り入れ、実際のコミュニケーションを重視した授業を行う。教員は活動の進行に応じて適宜フィードバックを行い、理解の定着を図る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	レッスン1	第六課 趣味について尋ねる、言う
2	レッスン2	会話練習
3	レッスン3	第七課 約束を交わす
4	レッスン4	会話練習
5	レッスン5	第八課 所在を言う、尋ねる・道案内をする
6	レッスン6	会話練習
7	レッスン7	第九課 買いたいものを伝える・値段を尋ねる、言う
8	レッスン8	会話練習
9	レッスン9	第十課 電話でのやり取り・体調について尋ねる、言う
10	レッスン10	会話練習
11	レッスン11	第十一課 経験を述べる・したことについて説明する
12	レッスン12	会話練習
13	レッスン13	総括

14 期末テスト

第六課から第十二課までの試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習として、指定テキストの該当箇所を読み、語彙・表現・文型を確認するとともに、発音練習や会話例の音読を行う。必要に応じて、授業内で指示された練習問題や課題に事前に取り組む。復習としては、授業で扱った表現や文法事項の整理、聞く・話す活動で使用した表現の反復練習を行い、理解の定着を図る。また、授業内で提示される宿題（練習問題等）にも取り組む。本授業の準備学習および復習に要する時間は、それぞれ1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

綾部武彦ほか『晴れ晴れ中国語』（朝日出版社）2024年 ISBN 978-4-255-45385-9

【参考書】

必要に応じて適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点を50%（授業への積極的な参加、対話活動への取り組み、課題の達成状況など）、期末課題を50%とし、合計100点満点で評価する。本成績評価方法に基づき、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度より新規開講のため、フィードバックできません。

【その他の重要事項】

- ・事前学習は必須である。事前学習していることを前提に授業を進める。
- ・本授業は、全回の出席が評価の前提である。即ち、欠席は原則的に認めない。教育実習等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応を取ること。

【Outline (in English)】

This course aims to develop students' basic communicative competence in Chinese through practical language activities focused primarily on listening and speaking, based on pronunciation, vocabulary, and basic grammar. Through practice in everyday, familiar situations, students will acquire the foundational skills needed to communicate in Chinese.

Through this course, students will develop the ability to express their own ideas in simple Chinese using basic language knowledge. In addition, through dialog-based activities, students will deepen their understanding of foreign-language communication, build confidence, and establish a foundation for further Chinese language study and intercultural understanding.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語コミュニケーション初級Ⅰ 2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

構文をしっかりと覚える。

発音を正確にする。

日常会話ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

履修者のレベルを確認した上、様々な会話パターンを作って練習していく。

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	シラバスの配布と説明
第2回	発音	ピンインの復習
第3回	あいさつ	あいさつなどの日常用語の練習をする
第4回	人称代名詞と指示代名詞	文法を確認したのち、自己紹介の練習をする
第5回	会話（1）	
第6回	述語	文法を確認したのち、自己紹介を発表する
第7回	授業内発表（1）	「是」その他
第8回	受け答え	在と有
第9回	場所と方位	数量詞と連体修飾語を学ぶ
第10回	疑問文	ものの尋ね方
第11回	会話（2）	レストランでの会話を作成する
第12回	連用修飾語	副詞と時間詞を学ぶ
第13回	授業内発表（2）	講師と一対一またはグループでレストランでの会話をする
第14回	完了と変化	「了」の様々な使い方を知る
第15回	会話（3）	買い物する時の会話パターンを作成する
第16回	助動詞と前置詞構造	文法を確認したのち、講師と一対一またはグループで買い物のシミュレーションをする
第17回	授業内発表（3）	三量補語と離合詞
第18回	三量補語	三量補語と離合詞
第19回	まとめ及び期末テスト	文法をまとめ、会話の口頭テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題や発表の準備など、毎回1時間ほどの予習・復習をする。

また、HSKや中国語検定の受験も推奨される。

【テキスト（教科書）】

教員による教材配布

【参考書】

日中・中日辞書（電子機器も可）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

発表：40%

term-end test:60%

presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

受講者それぞれのレベルの差に配慮をする。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

We should talk the Chinese language by accurate pronunciation,

and talk the Chinese daily conversation well.

We should prepare and review about one hour a week.

It is better to take the test of HSK.

Term-end test:60%

Presentation:40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語コミュニケーション初級Ⅱ 2017年度以降入学者**周 重雷**

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

「読む、書く、聞く、話す」を全体的にスキルアップを図る。
日常の中国語のコミュニケーションが取れるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国
際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部
：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

履修者のレベルに合わせ、文法を復習しつつ、会話の練習を強化し
ていく。

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	持続態と進行形 作文	持続態と進行形を確認したのち、 「私の夏休み」を作成する
第2回	程度補語 作文の添削	程度補語を確認したのち、作文 の添削をする
第3回	比較と連動	比較文と連動文
第4回	構文分析	構文分析と助動詞の補説
第5回	強調と重複 会話（1）	強調文と重複表現 待ち合わせの会話を作る
第6回	方向補語 授業内発表（1）	方向補語の用法 待ち合わせの会話の発表
第7回	複合方向補語の用法	複合方向補語の派生的用法
第8回	結果補語	結果補語の説明
第9回	可能補語 会話（2）	可能補語の説明 道を尋ねる・教える会話の作成
第10回	使役と受身 授業内発表（2）	使役と受身の確認と比較 道を尋ねる・教える会話の発表
第11回	処置と倒置	処置文と倒置文
第12回	複文一	複文の様々な知る
第13回	複文二	複文の後半
第14回	まとめ	口頭による試験を行う まとめ と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週1時間を目途に予習・復習する。
単語を調べて、オリジナルの長文及び会話文を作る。
また、HSKや中国語検定の受験も推奨される。

【テキスト（教科書）】

教員による教材配布

【参考書】

日中・中日辞書（電子機器も可）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

発表：40%

term-end test:60%

presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

受講者それぞれのレベルの差に配慮する。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

We should do the exercise of reading, writing, listening and talking.

We should talk the chinese daily conversation well.

We should prepare and review about one hour a week.

It is better to take the test of HSK.

Term-end test:60%

presentation:40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語作文初級Ⅰ

2017年度以降入学者

渡辺 昭太

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

定員制(15)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、1年次の学習項目を復習しつつ、中国語の作文力の向上を図ることを目的とした授業である。本授業では、テキストに記載されたポイントを教員が解説するとともに、受講生は日文中訳や並べ替え問題等に取り組むことで、既習の文法事項の定着及び作文力の向上を図る。尚、受講に当たっては、本シラバス末尾に記載の【その他の重要事項】も確認しておくこと。

【到達目標】

本授業の到達目標は以下の通りである。

- (1) テキストに提示されている説明を精読し、中国語の基本的な文法項目を正確に理解する。
- (2) 日文中訳や並べ替え問題等の練習を通じて、基本的な中国語文を適切に作ることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は、授業方法分類上は「講義」であるが、講義形式と演習形式を適宜組み合わせで行う。
- ・受講生は、各回で扱う内容を予習しておくこと（予習箇所は授業内で指示する）。授業時に適宜指名し、自分の解答を発表してもらう。
- ・教員は、文法ポイントを説明した後に、学生による練習問題の回答を確認し、適宜解説を行う。
- ・各種のフィードバックや質問の受け付けは毎回の授業時に行う。授業時以外にも、必要に応じてメールや学習支援システムで随時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバス及び授業概要の確認 (本授業の意義と目的、授業概要、授業計画、成績評価方法など)
2	第1課	一語文・一句文
3	第2課	基本構文と主題化
4	第3課	時間< 時点と時間量>
5	第4課	場所と存在・移動
6	第5課	疑問・否定
7	復習1	第1課～第5課までの復習
8	第6課	願望・必要
9	第7課	命令・依頼・可能
10	第8課	推定・伝聞
11	第9課	数量表現
12	第10課	修飾語
13	復習2	第6課～第10課までの復習
14	総括	試験とその解説、学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業開始後は、テキストの復習を十分に行い、学習内容の定着を図ること。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

- ・遠藤光暁、董燕『書く中国語』朝日出版社（2,200円＋税）

【参考書】

- ・劉月華（他）2019『実用現代漢語語法（第三版）』北京：商務印書館
- ・相原茂（他）2016『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』東京：同学社
- ・木村英樹2017『中国語はじめての一步〔新版〕』（ちくま学芸文庫）東京：筑摩書房
- ・三宅登之2012『中級中国語 読みとく文法』東京：白水社
- ・守屋宏則（他）2019『やさしくくわしい中国語文法の基礎〔改訂新版〕』東京：東方書店

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（予習の実施状況、授業内で指名された時の回答状況等）を50%、期末試験を50%として合計100点満点とする。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

今年度より授業担当者変更のため特になし。受講生の中国語の習熟度を適宜確認しつつ授業を進めたい。

【学生が準備すべき機器他】

PC等を利用する可能性があるが、講師が必要に応じて準備する。

【その他の重要事項】

- ・授業に関する連絡はすべて学習支援システムを通じて行うため、必ず確認すること。
- ・本授業は、全回の出席が評価の前提である。即ち、欠席は原則的に認めない。体調不良等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応を取ること。
- ・適宜、補足資料を配付する可能性もあるが、指定したテキストは必ず購入の上、毎回持参すること。

【Outline (in English)】

【Outline】

In this course, students will mainly improve their writing skills in Chinese. We use the textbook which shows various Chinese grammatical rules and do a lot of composition exercises.

【Goal】

The goals of this course are as follows:

- (1) To understand the Chinese grammar through reading explanations shown in the textbook.
- (2) To be able to appropriately compose basic Chinese sentences through exercises such as Japanese-Chinese translation, word order, etc.

【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

- ・After every class, students are required to review the textbook.
- ・Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading criteria】

- ・Grading will be decided based on in-class contribution (50%) and term-end test (50%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語作文初級Ⅱ

2017年度以降入学者

渡辺 昭太

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

定員制(15)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、1年次の学習項目を復習しつつ、中国語の作文力の向上を図ることを目的とした授業である。本授業では、テキストに記載されたポイントを教員が解説するとともに、受講生は日文中訳や並べ替え問題等に取り組むことで、既習の文法事項の定着及び作文力の向上を図る。尚、受講に当たっては、本シラバス末尾に記載の【その他の重要事項】も確認しておくこと。

【到達目標】

本授業の到達目標は以下の通りである。

- (1) テキストに提示されている説明を精読し、中国語の基本的な文法項目を正確に理解する。
- (2) 日文中訳や並べ替え問題等の練習を通じて、基本的な中国語文を適切に作ることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・本授業は、授業方法分類上は「講義」であるが、講義形式と演習形式を適宜組み合わせで行う。
- ・受講生は、各回で扱う内容を予習しておくこと（予習箇所は授業内で指示する）。授業時に適宜指名し、自分の解答を発表してもらう。
- ・教員は、文法ポイントを説明した後に、学生による練習問題の回答を確認し、適宜解説を行う。
- ・各種のフィードバックや質問の受け付けは毎回の授業時に行う。授業時以外にも、必要に応じてメールや学習支援システムで随時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバス及び授業概要の確認 (本授業の意義と目的、授業概要、授業計画、成績評価方法など)
2	第11課	形容詞の程度と動詞の様態
3	第12課	比較・類似
4	第13課	時制とアスペクト
5	第14課	結果・方向・可能
6	第15課	二重目的語と対象を表わす前置詞
7	復習1	第11課～第15課までの復習
8	第16課	使役・受け身・“把”
9	第17課	仮定・条件
10	第18課	順序・全称
11	第19課	原因・目的・逆接
12	第20課	並列・累加
13	復習2	第16課～第20課までの復習
14	総括	試験とその解説、学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業開始後は、テキストの復習を十分に行い、学習内容の定着を図ること。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

- ・遠藤光暁、董燕『書く中国語』朝日出版社（2,200円＋税）

【参考書】

- ・劉月華（他）2019『実用現代漢語語法（第三版）』北京：商務印書館
- ・相原茂（他）2016『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』東京：同学社
- ・木村英樹2017『中国語はじめての一步〔新版〕』（ちくま学芸文庫）東京：筑摩書房
- ・三宅登之2012『中級中国語 読みとく文法』東京：白水社
- ・守屋宏則（他）2019『やさしくくわしい中国語文法の基礎〔改訂新版〕』東京：東方書店

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（予習の実施状況、授業内で指名された時の回答状況等）を50%、期末試験を50%として合計100点満点とする。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

今年度より授業担当者変更のため特になし。受講生の中国語の習熟度を適宜確認しつつ授業を進めたい。

【学生が準備すべき機器他】

PC等を利用する可能性があるが、講師が必要に応じて準備する。

【その他の重要事項】

- ・授業に関する連絡はすべて学習支援システムを通じて行うため、必ず確認すること。
- ・本授業は、全回の出席が評価の前提である。即ち、欠席は原則的に認めない。体調不良等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応を取ること。
- ・適宜、補足資料を配付する可能性もあるが、指定したテキストは必ず購入の上、毎回持参すること。

【Outline (in English)】

【Outline】

In this course, students will mainly improve their writing skills in Chinese. We use the textbook which shows various Chinese grammatical rules and do a lot of composition exercises.

【Goal】

The goals of this course are as follows:

- (1) To understand the Chinese grammar through reading explanations shown in the textbook.
- (2) To be able to appropriately compose basic Chinese sentences through exercises such as Japanese-Chinese translation, word order, etc.

【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

- ・After every class, students are required to review the textbook.
- ・Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading criteria】

- ・Grading will be decided based on in-class contribution (50%) and term-end test (50%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語視聴覚初級Ⅰ

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制(35)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。この授業は水曜日3限の中国語視聴覚中級A・Bと同じ教科書を使います。中国語視聴覚初級は1課～6課を勉強します、中国語視聴覚中級は6課～12課を勉強します。

【到達目標】

1年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

単語を習得し、文法を理解する。

DVD教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。

簡単な中国語作文・会話練習を行う。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容に関するガイダンス
2	第1課	文法理解と応用
3	第1課	会話と応用
4	第1課	読解文の理解と応用
5	第1課	課外練習と作文
6	第2課	文法理解と応用
7	第2課	会話と応用
8	第2課	読解文の理解と応用
9	第2課	課外練習と作文
10	第3課	文法理解と応用
11	第3課	会話と応用
12	第3課	読解文の理解と応用
13	第3課	課外練習と作文
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー～DVDで学ぶ中国文化～』金星堂

【参考書】

授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、課題30%、試験70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC等を準備して下さい。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

This class uses the same textbook as Wednesday 3rd period Chinese Audiovisual Intermediate A/B. Beginner Chinese audiovisual students will study lessons 1 to 6, and intermediate Chinese audiovisual students will study lessons 6 to 12.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語視聴覚初級Ⅱ

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制(35)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。中国語視聴覚初級は1課～6課を勉強します、中国語視聴覚中級は6課～12課を勉強します。

【到達目標】

1年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

単語を習得し、文法を理解する。

DVD教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。

簡単な中国語作文・会話練習を行う。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス復習	授業内容に関するガイダンスと復習
2	第4課	文法理解と応用
3	第4課	会話と応用
4	第4課	読解文の理解と応用
5	第4課	課外練習と作文
6	第5課	文法理解と応用
7	第5課	会話と応用
8	第5課	読解文の理解と応用
9	第5課	課外練習と作文
10	第6課	文法理解と応用
11	第6課	会話と応用
12	第6課	読解文の理解と応用
13	第6課	課外練習と作文
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー～DVDで学ぶ中国文化～』金星堂

【参考書】

授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、課題30%、試験70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

This class uses the same textbook as Wednesday 3rd period Chinese Audiovisual Intermediate A/B. Beginner Chinese audiovisual students will study lessons 1 to 6, and intermediate Chinese audiovisual students will study lessons 6 to 12.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

資格中国語初級 I

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制(40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

HSK (図々水平考図) 1級～3級合格レベルの中国語を身につけることが、この授業の目的ですが、例年レベルが高い学生が多いため、春学期中に2～3級、秋学期中に3～4級に合格できるよう指導します。HSKのリスニングは難しいので、中国検定準4級程度からトレーニングを始めていきます。向上心のある学生の参加を歓迎します。単位のためだけの履修は向きません。中国語を1年以上履修した学生に限ります。中国語が好きな人が集まりますので、気軽に情報交換できる楽しいクラスを目指します。毎年全員が高得点で合格しています。

【到達目標】

春学期はHSK 2～3級に合格できるリスニング力と読解力を身につけてもらいます。秋学期はHSK3～4級合格を目指します。昨年の3級合格者は7名でした。平均点は247点で、内訳は、聴力78点、閱讀86点、写作83点でした。日本人が苦手な聴力の得点も良好で、閱讀では4人が100点（満点）でした。また4級には4人合格しました。履修者は2年生が多いですが、就活を終えた4年生もいます。1年生のとき使用した教科書ポイント学習を復習しながら、初級中国語の基礎文法のしくみを解説します。必ずレベルアップを感じていただけたと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

HSKの過去問プリントを使って学習します。必要な単語と文法を学び、実際の過去問を解いて実践力を養います。単語帳のテキストを使って、単語テストを行い、語彙力を高めます。ポイント学習の教科書を使って初級中国語の文法の構造を把握し理解します。フィードバックは授業内とメールで行います。メールは、qingm@live.jp

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	レベルチェックテスト	メンバーのレベルをチェックします。
2	HSK 1 級過去問①	HSK 1 過去問①を解き解説します。
3	HSK 1 過去問②	HSK 1 過去問②を解いて解説します。
4	HSK 2 過去問①	HSK 2 過去問①を解いて解説します。
5	HSK 2 過去問②	HSK 2 過去問②を解いて解説します。
6	HSK 2 級過去問③	HSK 2 級過去問③を解いて解説します。
7	HSK 2 級過去問④	HSK 2 級過去問④を解いて解説します。
8	HSK 3 級過去問①	HSK 3 級過去問①を解いて解説します。

9	HSK 3 級過去問②	HSK 3 級過去問②を解いて解説します。
10	HSK 3 級過去問③	HSK 3 級過去問③を解いて解説します。
11	HSK 3 級過去問④	HSK 3 級過去問④を解いて解説します。
12	HSK 3 級過去問⑤	HSK 3 級過去問⑤を解いて解説します。
13	HSK 3 級過去問⑥	HSK 3 級過去問⑥を解いて解説します。
14	春学期復習と学習のまとめ	復習テストと学習のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

良く復習すること。覚えた単語は忘れないようにすること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

過去問はプリントを配布します。法政大学のHSK合格講座のサイトも活用します。次のテキストを使用します。履修を決めてから購入してください。HSK/中検対応『中国語基本単語帳』 早稲田大学商学部中国語教室（編著）朝日出版社。ポイント学習中国語を毎回持参してください。

【参考書】

HSK過去問、HSK公式アプリ単語、法政大学HSK合格講座

【成績評価の方法と基準】

出席状況80%と期末テスト20%で評価します。HSK合格者は、S評価とします。

【学生の意見等からの気づき】

単語帳テキストを使って、単語テストを実施し、語彙力を高めます。同時にリスニングのトレーニングを多く行います。文法がもっとわかるようになりたいという要望が多いので、ポイント学習中国語を使って解説します。文法の基礎と構造を理解していただけるように工夫します。プリント教材の質を向上させて、復習しやすいように心がけます。また欠席者が困らないように、授業内容は、hoppiにアップするようにします。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマホ

【Outline (in English)】

The aim of this course is to pass 1st 2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

資格中国語初級Ⅱ

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制(40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

HSK 3－4級合格レベルの中国語を身につけることが目的です。この授業は春学期から継続しています。秋学期からの参加も歓迎しますが、春学期のシラバスを読んで、初回の授業に出てから履修を決めてください。中国語が好きで意欲的な学生の参加を歓迎します。

【到達目標】

HSK 3－4級合格以上を目指します。昨年は4級は4人合格しました。詳細は春学期のシラバスをご覧ください。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

プリント教材を使って、HSK 3－4級の単語と文法を学びます。リスニング練習を重視します。そのほか単語帳とポイント学習中国語の教科書で初級文法の構造を解説します。フィードバックは授業内とメールで行います。qingm@live.jp

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	HSK 3級昨年度の過去問を使ったレベルチェックテスト	HSK 3級昨年度の過去問を使って皆さんのレベルをチェックします。
2	HSK 3級過去問①	HSK 3級過去問①を解いて解説します。
3	HSK 4級単語解説	HSK 4級に出る単語を解説します。
4	HSK 4級過去問リスニングチェックテスト①	HSK 4級過去問リスニングを解いてリスニング力をチェックします。
5	HSK 4級過去問リスニング②	HSK 4級過去問リスニング②を解いて解説します。
6	HSK 4級過去問リスニング③	HSK 4級過去問リスニング③を解いて解説します。
7	HSK 4級過去問リスニング④	HS 4級過去問④を解いて解説します。
8	HS 4級過去問閱讀①	HSK 4級過去問閱讀①を解いて解説します。
9	HSK 4級過去問閱讀②	HSK 4級過去問閱讀②を解いて解説します。
10	HSK 4級過去問閱讀③	HSK 4級過去問③を解いて閱讀の解説します。
11	HSK 4級過去問閱讀④	HSK 4級過去問閱讀④を解いて、閱讀の解説をします。
12	HSK 4級過去問作文①	HSK 4級過去問の2作文練習をします。
13	HSK 4級過去問	HSK 4級過去問の作文②を学習します。

14 授業の総まとめ期末テスト実施 期末テスト実施、解説をしながら学習の総まとめをします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で学んだことを忘れないように、よく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を配布します。プリント以外に、次の単語帳テキストを使用します。

『中国語基本単語帳』 早稲田大学商学部中国語教室（編著）朝日出版社。またポイント学習中国語を持参することが望ましいです。

【参考書】

HSK－4 3級過去問、単語集。法政大学HSK合格講座

【成績評価の方法と基準】

出席状況80%、期末テスト20%で評価します。HSK 3級以上合格者はSランクで評価します。

【学生の意見等からの気づき】

欠席者が困らないように、授業内容はhoppiにアップするようにします。

【学生が準備すべき機器他】

スマホ、PC。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to pass 1st 2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See“Grading criteria”by instructor’s syllabus.

ARSe200LA（地域研究（東アジア） / Area studies(East Asia) 200)

中国語の世界 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

高柳 浩平

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制(60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ことばは一般に「コミュニケーションのための手段」と見なされることが多いですが、ことばが使われる時、その背後には整然としたしくみが存在しています。本授業は、何かの手段としての中国語を学ぶのではなく、中国語を中国語たらしめているしくみがどのように形成されたのか、どのように運用されているのかを、言語学的見地から「文字」「語彙」「音韻」「文法」といった分野に分けて学んでいきます。つまり、ことばとして中国語そのものを深く理解するところが本授業の目的です。

【到達目標】

中国語のしくみを分析・探求する学問を「中国語学」と呼びますが、本授業の到達目標は、中国語学の根幹をなす「文字」「語彙」「音韻」「文法」といった各分野における基礎知識を習得すること、いくつか取り上げる個別の事例について自力で分析が出来るようになることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教員が作成して配布した資料をもとに講義をおこない、各回の終わりにはリアクションペーパーを提出してもらいます。質疑応答、課題等へのフィードバックは授業時におこなうほか、随時大学の学修支援システムやメールも利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ガイダンス	授業に関する留意点の説明等
②	中国語の文字（１）	漢字の起源と変遷
③	中国語の文字（２）	漢字の簡略化及び文字改革と簡体字
④	中国語の音韻（１）	古代の音とその表記法
⑤	中国語の音韻（２）	古代の音から現代の音へ
⑥	中国語の音韻（３）	ピンインの成立とその表記法
⑦	中国語の語彙（１）	古代の語彙とその分類
⑧	中国語の語彙（２）	古代の語彙から現代の語彙へ
⑨	中国語の語彙（３）	日中語彙交流と外来語・新語・流行語
⑩	中国語の文法（１）	中国語の文構造と品詞分類
⑪	中国語の文法（２）	中国語文法研究の変遷
⑫	共通語と方言（１）	共通語の成立と広がり
⑬	共通語と方言（２）	共通語と諸方言の比較
⑭	まとめと試験	講義のまとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書はありません。教員が作成した教材を印刷して授業時に配布します。

【参考書】

参考書は授業内にて適宜お知らせします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（30％）、期末試験（70％）とします。

※平常点には、毎回提出するリアクションペーパーや、小レポート等が含まれます。

※期末試験は一切参照不可にて実施しますので、基本事項は早めに覚えておきましょう。

※リアクションペーパーと期末試験は日本語で回答することが必須となります。

【学生の意見等からの気づき】

前年度よりもベースを落として、じっくり進めていくつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

中日辞典を毎回持参することが望ましい。

【その他の重要事項】

授業計画は変更する可能性がありますので、参考程度に考えてください。

なお、本授業は中国語を全く学んだことのない方でも履修可能です。中国語や言語学に触れたことのない方にとっても、面白いと思ってもらえる授業を心がけます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with the Chinese Linguistics. The purpose of this course is to gain a deep understanding of the Chinese language itself.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire basic knowledge of Chinese Linguistics .

【Learning activities outside of classroom】

4 hours for preparation and review for each class.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end examination: 70%、Short reports and in class contribution: 30%

ARSe200LA（地域研究（東アジア） / Area studies(East Asia) 200)

中国語の世界 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

高柳 浩平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制(60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

前期に引き続いて本授業では、何かの手段としての中国語を学ぶのではなく、中国語を中国語たらしめているしくみがどのように形成されたのか、どのように運用されているのかを、言語学的見地から学んでいきます。つまり、ことばとして中国語そのものを深く理解することこそが本授業の目的です。

【到達目標】

中国語のしくみを分析・探求する学問を「中国語学」と呼びますが、本授業の到達目標は、中国語学の根幹をなす「文字」「語彙」「音韻」「文法」といった各分野における基礎知識を習得すること、いくつか取り上げる個別の事例について自力で分析が出来るようになることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教員が作成して配布した資料をもとに講義をおこない、各回の終わりにはリアクションペーパーを提出してもらいます。質疑応答、課題等へのフィードバックは授業時におこなうほか、随時大学の学修支援システムやメールも利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	ガイダンス	授業に関する留意点の説明等
②	類型論からみる中国語（１）	形態的類型論における中国語
③	類型論からみる中国語（２）	語順類型論における中国語
④	中国語文法の分析（１）	中国語と西洋文法の受容
⑤	中国語文法の分析（２）	中国語とアスペクト
⑥	中国語文法の分析（３）	中国語と補語
⑦	中国語文法の分析（４）	中国語と類像性
⑧	中国語史（０）	中国語史における時代区分
⑨	中国語史（１）	上古中国語の特徴
⑩	中国語史（２）	中古早期中国語の特徴
⑪	中国語史（３）	中古中国語の特徴
⑫	中国語史（４）	近代中国語の特徴
⑬	応用演習	中国語と能格性
⑭	まとめと試験	講義のまとめと筆記試験をおこないません。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書はありません。教員が作成した教材を印刷して授業時に配布します。

【参考書】

参考書は授業内にて適宜お知らせします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（30％）、期末試験（70％）とします。

※平常点には、毎回提出するリアクションペーパーや、小レポート等が含まれます。

※期末試験は一切参照不可にて実施しますので、基本事項は早めに覚えておきましょう。

※リアクションペーパーと期末試験は日本語で回答することが必須となります。

【学生の意見等からの気づき】

前年度よりもペースを落として、じっくり進めていくつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

中日辞典を毎回持参することが望ましい。

【その他の重要事項】

授業計画は変更する可能性がありますので、参考程度に考えてください。

なお、本授業は中国語を全く学んだことのない方でも履修可能です。中国語や言語学に触れたことのない方にとっても、面白いと思ってもらえる授業を心がけます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with the Chinese Linguistics. The purpose of this course is to gain a deep understanding of the Chinese language itself.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to acquire basic knowledge of Chinese Linguistics .

【Learning activities outside of classroom】

4 hours for preparation and review for each class.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end examination: 70%, Short reports and in class contribution: 30%

ARSe200LA（地域研究（東アジア） / Area studies(East Asia) 200)

中国の文化と社会 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

山本 律

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制(60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近年、台湾は日本人の旅行先として人気となっています。

日本と台湾は長い歴史の中で深いかかわりを持っています。

本授業では映像資料を用いて日本と台湾の文化的関係についてみていきます。

【到達目標】

日本と台湾との文化的関係についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を行います。

毎回コメントペーパーを出してもらいます。

その次の回の授業でコメントペーパーの内容や質問についてフィードバックします。

最終回には教場レポートを提出してもらいます。

出席や遅刻など毎回の授業態度と教場レポートが主な成績判定となります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進め方について
第2回	映画で学ぶ中国の文化と社会1	映画『あの頃、君を追いかけた』(第1回) 教員による解説・講義
第3回	映画で学ぶ中国の文化と社会1	映画『あの頃、君を追いかけた』(第2回) 教員による解説・講義
第4回	映画で学ぶ中国の文化と社会1	映画『あの頃、君を追いかけた』(第3回) 教員による解説・講義
第5回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『私の少女時代』(第1回) 教員による解説・講義
第6回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『私の少女時代』(第2回) 教員による解説・講義
第7回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『私の少女時代』(第3回) 教員による解説・講義
第8回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『海角七号』(第1回) 教員による解説・講義
第9回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『海角七号』(第2回) 教員による解説・講義
第10回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『海角七号』(第3回) 教員による解説・講義

第11回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『KANO』(第1回) 教員による解説・講義
第12回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『KANO』(第2回) 教員による解説・講義
第13回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『KANO』(第3回) 教員による解説・講義
第14回	授業の総まとめとレポート	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて4時間を標準とします。
映画は各自で観てください。

【テキスト（教科書）】

使用しない。

必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席、授業態度、コメントペーパー）60%、レポート40%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

In this course, we will learn about Chinese culture and society by using various materials such as movies.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Report(40%), in-class contribution(60%).

ARSe200LA（地域研究（東アジア）/Area studies(East Asia) 200)

中国の文化と社会 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

山本 律

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制(60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の文化と社会について、中国映画や中国の映像資料を用い学んでいきます。

映画は、その国の文化と社会を映し出します。

今期では、2008年に公開されて以降、人気を博しシリーズ化されたカンフーアクション映画を軸として香港の社会と文化についてみていきます。

【到達目標】

中国香港の文化と社会についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で授業を行います。

毎回コメントペーパーを出してもらいます。

その次の回の授業でコメントペーパーの内容や質問についてフィードバックします。

最終回には教場レポートを提出してもらいます。

出席や遅刻など毎回の授業態度と教場レポートが主な成績判定となります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進め方について
第2回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 序章』（第1回） 教員による解説・講義
第3回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 序章』（第2回） 教員による解説・講義
第4回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 序章』（第3回） 教員による解説・講義
第5回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 葉問』（第1回） 教員による解説・講義
第6回	レポート映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 葉問』（第2回） 教員による解説・講義
第7回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 葉問』（第3回） 教員による解説・講義
第8回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『イップマン 継承』（第1回） 教員による解説・講義

第9回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『イップマン 継承』（第2回） 教員による解説・講義
第10回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『イップマン 継承』（第3回） 教員による解説・講義
第11回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『イップマン 外伝』（第1回） 教員による解説・講義
第12回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『イップマン 外伝』（第2回） 教員による解説・講義
第13回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『イップマン 外伝』（第3回） 教員による解説・講義
第14回	授業の総まとめと試験	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて4時間を標準とします。映画は各自で観てきてください。

【テキスト（教科書）】

使用しない。

必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席、毎回のコメントペーパー）60%、レポート40%。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

In this course, we will learn about Chinese society and culture by using various materials such as movies.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Report(40%), in-class contribution(60%).

ARSe200LA（地域研究（東アジア） / Area studies(East Asia) 200)		
中国の文化と社会 L C		2017年度以降入学者
サブタイトル：		
陳 瀟瀟		
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金3/Fri.3		
単位数：2単位		
定員制(60)		
その他属性：〈他〉〈優〉		

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、中国の文化および社会に関する基礎知識を体系的に学ぶ。中国の食文化、民俗行事、芸術工芸、文化遺産などの伝統文化を概観するとともに、現代中国社会における学校教育、社会構造、生活様式、流行文化などについても取り上げ、具体的な事例を交えながら理解を深める。これらの学習を通じて、中国文化の多様性と現代中国社会の実態を多角的に捉える視点を養い、異文化に対する理解力および国際社会における異文化交流能力の向上を目的とする。

【到達目標】

- ・中国の文化および社会に関する基礎的な知識を習得する。
- ・中国社会における諸事象を理解し、その背景を踏まえて分析・考察する力を養う。
- ・中国のマナー、文化習慣、商習慣に対する理解を深める。
- ・現代中国社会の事象や流行を、客観的かつ多角的な視点で捉える力を養う。
- ・異文化理解力および異文化交流能力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テーマごとに講義を行う。また、受講生が練習問題の解答や自分の考えを発表する機会も設ける。グループディスカッションも行う。課題とリアクションペーパーへのフィードバックは授業内及び学習支援システムを通じて行う。
※授業は対面で実施する。授業形態に変更がある場合は、大学の方針が確定次第、学習支援システムにて随時通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	・シラバスおよび授業内容の説明 ・授業計画、進め方および成績評価の基準の説明
第2回	行政区画・地理	・中国の東西南北と地理の概念 ・地域ごとの特徴と差
第3回	漢民族と少数民族	・漢民族 ・少数民族
第4回	中国語という言葉	・漢字の歴史と発展 ・普通話と方言
第5回	食文化	・中華料理の特徴 ・「南北」の食文化の違い ・円卓文化の理解 ・デリバリー文化の流行
第6回	コミュニケーション文化1	・茶文化 ・酒文化
第7回	コミュニケーション文化2	・中国におけるビジネスマナー ・「面子（メンツ）」の概念と理解
第8回	祝祭日と民俗行事	・二十四節気と祝祭日 ・民俗行事

第9回	芸術：音楽、絵画と戯曲	・音楽：燕楽、琴楽、民謡 ・絵画：花鳥画、山水画 ・戯曲：昆劇、京劇、川劇
第10回	学校教育	・「科挙」と「高考」 ・現代中国の教育制度 ・都市と農村における教育格差
第11回	「巻」と「躺平」	・「巻」の概念 ・「躺平」の意味と背景 ・若者世代の現状と特徴
第12回	「二次元文化」と「国潮」	・急成長する二次元文化 ・新しいカルチャー「国潮」
第13回	異文化コミュニケーション	・異文化コミュニケーションのギャップ ・異文化コミュニケーションスキル ・プレゼンテーション・ディスカッション ・プレゼンテーション・ディスカッション
第14回	授業内容のまとめレポートの提出	・まとめと質疑応答 ・期末レポートの提出と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間（計4時間）を標準とする。
・授業前に、学習支援システムにアップロードされた講義資料を必ず読んでおくこと。
・授業後は、関連知識を振り返り、疑問点や感想を整理してまとめること。
・授業内で提示される課題やディスカッションの内容に対応すること。

【テキスト（教科書）】

本授業では特定の教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布するほか、講義資料は事前に学習支援システムにアップロードされる場合があり、その際は同システムで通知する。

【参考書】

中国研究所編『中国年鑑』（2024年版）明石書店、2024年
許倬雲『中国文化的精神』九州出版社、2024年
楼宇烈『中国文化十五講』東方出版中心、2024年
程愛民『中国概況（修訂版）』上海外語教育出版社、2024年
藤野彰編著『現代中国を知るための54章（第7版）』明石書店、2024年
藤野彰編著『現代中国を知るための52章（第6版）』明石書店、2018年
王力編『中国古代文化常識』北京聯合出版公司、2014年
毛里和子・園田茂人編『中国問題キーワードで読み解く』東京大学出版会、2012年
並木頼壽・杉山文彦編著『中国の歴史を知るための60章』明石書店、2011年
※その他の参考文献は授業中に必要に応じて適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（課題・リアクションペーパー・授業への参加度）を60％、期末レポートを40％として合計100点満点とする。
- ・上記の成績評価に基づき、本授業の到達目標の60％以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解を深めるため、音声・映像などのマルチメディアを積極的に活用する。
私語を控え、授業に集中しやすい学習環境を整える。
学生が学んだ知識を今後の仕事や日常生活に活かせるように、本授業では中国の文化と社会に加え、異文化交流や国際社会における礼儀・マナーも一取り上げる。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセス可能なパソコンまたはタブレット。

【その他の重要事項】

学習支援システムにて本授業の連絡事項を必ず確認すること。
質問や不明点がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jp までご連絡ください。

【Outline (in English)】

This course aims to provide a systematic introduction to Chinese culture and society. It covers key aspects of traditional culture, including food culture, folk customs, arts and crafts, and cultural heritage, while also examining contemporary Chinese society through topics including education, social structure, lifestyles, and popular culture. Through these explorations, the course aims to deepen students' understanding of cultural diversity and contemporary social realities in China, and to enhance their intercultural awareness and cross-cultural communication skills in a global context.

【Learning Objectives】

- Acquire fundamental knowledge of Chinese culture and society.
- Analyze and interpret various aspects of Chinese society in context.
- Develop an understanding of Chinese manners, cultural practices, and business customs.
- Develop the ability to view contemporary Chinese society phenomena and trends from an objective and multifaceted perspectives.
- Enhance intercultural understanding and cross-cultural communication skills.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to spend approximately two hours on preparation and two hours on review for each class session, for a total of four hours per session.

【Grading Criteria /Policies】

Grading will be based on in-class participation (60%) and term-end report (40%). A total score of 60% or higher is required to pass the course.

ARSe200LA（地域研究（東アジア） / Area studies(East Asia) 200)

中国の文化と社会LD

2017年度以降入学者

サブタイトル：

陳瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall

|

曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制(60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、中国の文化および社会に関する基礎知識を体系的に学ぶ。まず、中国の宗教、文学、美術工芸、世界遺産、冠婚葬祭などを概観し、歴史的・文化的背景を理解する。次に、現代中国社会に焦点を当て、情報化やグローバル化に伴う価値観の変化、消費行動の変化、ジェンダー構造の変容について考察する。これらの学習を通じて、中国の文化と社会の特徴を理解し、その変遷を多角的に捉える力を養うことを目指す。また、異文化理解と異文化交流の視点を深めるとともに、自らの考えを発展させるとともに、国際社会での異文化交流能力の向上を目的とする。

【到達目標】

- ・中国の文化および社会に関する基礎的な知識を習得する。
- ・中国社会の諸事象を理解し、その背景を踏まえて分析・考察する力を養う。
- ・中国の冠婚葬祭に関するマナーや文化習慣への理解を深める。
- ・現代中国社会の事象や流行を、客観的かつ多角的な視点から捉え、自らの考えを発展させる。
- ・異文化理解および異文化交流能力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テーマごとに講義を行う。また、受講生が練習問題の解答や自分の考えを発表する機会も設ける。グループディスカッションも行う。課題とリアクションペーパーへのフィードバックは授業内及び学習支援システムにて行う。
※授業は対面で実施する。授業形態に変更がある場合は、大学の方針が確定次第、学習支援システムに随時通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	宗教	・民間信仰と祖先崇拜 ・道教と仏教
第2回	文学	・古代文学 ・唐詩と宋詞 ・近現代文学
第3回	美術工芸	・ガラス工芸 ・陶器、磁器、景泰藍 ・刺繍
第4回	中国の世界遺産 1	・故宮 ・万里の長城 ・始皇帝陵と兵馬俑
第5回	中国の世界遺産 2	・パンダ保護区群 ・莫高窟、龍門石窟、雲岡石窟、大足石刻 ・九寨溝、黃龍、黃山、桂林
第6回	冠婚葬祭	・結婚式 ・葬儀

第7回	SNSとショート動画	・SNSと「自媒体」 ・ショート動画の急成長 ・娯楽性と実用性
第8回	消費行動の変化	・店頭購入とネットショッピング ・爆買いから理性消費へ ・モノ消費からコト消費へ
第9回	ジェンダー構造の変容とフェミニズム	・男尊女卑と男女平等 ・フェミニズム ・ジェンダー構造の変容
第10回	異文化コミュニケーション 1	・カルチャーショック ・異文化受容と異文化適応 ・自文化の変容
第11回	プレゼンテーション・ディスカッション 1	・カルチャーショック ・異文化理解・自文化理解 ・ディスカッション
第12回	異文化コミュニケーション 2	・多文化社会とは ・多文化共生へ ・マイノリティへの理解
第13回	プレゼンテーション・ディスカッション 2	・プレゼンテーション ・ディスカッション
第14回	授業内容のまとめレポートの提出	・まとめと質疑応答 ・期末レポートの提出と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間（計4時間）を標準とする。
・授業前に、学習支援システムにアップロードされた講義資料を必ず読んでおくこと。
・授業後は、関連知識を振り返り、疑問点や感想を整理してまとめること。
・授業内で提示される課題やディスカッションの内容に対応すること。

【テキスト（教科書）】

特定の教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布するほか、講義資料は事前に学習支援システムにアップロードされる場合があり、その際は同システムで通知する。

【参考書】

中国研究所編『中国年鑑』（2024年版）明石書店、2024年
許倬雲『中国文化的精神』九州出版社、2024年
楼宇烈『中国文化十五講』東方出版中心、2024年
程愛民『中国概況（修訂版）』上海外語教育出版社、2024年
藤野彰編著『現代中国を知るための54章（第7版）』明石書店、2024年
藤野彰編著『現代中国を知るための52章（第6版）』明石書店、2018年
王力編『中国古代文化常識』北京聯合出版公司、2014年
毛里和子・園田茂人編『中国問題キーワードで読み解く』東京大学出版会、2012年
並木頼壽・杉山文彦編著『中国の歴史を知るための60章』明石書店、2011年
※その他の参考文献は授業中に必要に応じて適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（課題・リアクションペーパー・授業への参加度）を60％、期末レポートを40％として合計100点満点とする。
- ・上記の成績評価に基づき、本授業の到達目標の60％以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解を深めるため、音声・映像などのマルチメディアを積極的活用する。
私語を控え、授業に集中しやすい学習環境を整える。
学生が学んだ知識を今後の仕事や日常生活に活かせるように、本授業では中国の文化と社会に加え、異文化交流や国際社会における礼儀・マナーも取り上げる。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセス可能なパソコンまたはタブレット。

【その他の重要事項】

学習支援システム上の本授業の連絡事項を必ず確認すること。
不明な点がある場合、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまでご連絡ください。

【Outline (in English)】

This course provides a systematic introduction to Chinese culture and society. It covers traditional culture, including religion, literature, arts and crafts, World Heritage sites, and life-cycle rituals, with a focus on their historical and cultural contexts. The course also explores contemporary society, examining changes in values, consumer behavior, and gender structures. Through these studies, students will develop a multifaceted understanding of Chinese culture and society, foster critical thinking, and enhance intercultural understanding and communication skills.

【Learning Obejectives】

- ・ Acquire fundamental knowledge of Chinese culture and society.
- ・ Understand various aspects of Chinese society and develop the ability to analyze them in context.
- ・ Gain a deeper understanding of etiquette and cultural practices related to Chinese life-cycle rituals.
- ・ Critically analyze contemporary Chinese society and trends and develop personal perspectives.
- ・ Develop intercultural understanding and cross-cultural communication skills.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to spend approximately four hours per session on preparation and review.

【Grading Criteria /Policies】

Grading will be based on in-class participation(60%) and term-end report (40%). A total score of 60% or higher is required to pass the course.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 | 2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までに、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在語幹母音 変化動詞 動詞tener, ir, ver, hacer, poner, salir	授業の形態、進め方、評価方法 の説明 直説法現在語幹母音変化動詞の 活用、及び動詞tener, ir, ver, hacer, poner, salirの活用と 用法復習 (テキスト: 第1課)
2	再帰動詞	再帰動詞の復習 (テキスト: 第1課)
3	動詞oír, venir, saber, conocer 不定詞表現	動詞oír, venir, saber, conocerの活用と用法、及び不 定詞表現の復習 (テキスト: 第2課)
4	動詞gustar gustar型動詞	gustarをはじめとするgustar 型動詞の復習 (テキスト: 第2課)
5	比較級 最上級	比較表現の復習 (テキスト: 第3課)
6	現在分詞	現在分詞の復習 (テキスト: 第3課)
7	所有形容詞（前置形 と後置形） 関係代名詞que	所有形容詞、及び関係代名詞 queの用法復習 (テキスト: 第3課)
8	中間試験 直説法点過去規則動 詞	中間試験の実施 直説法点過去規則活用の復習 (テキスト: 第4課)

9	直説法点過去不規則 動詞 数（1～2000）	直説法点過去不規則活用、及び 2000までの数の復習 (テキスト: 第4課)
10	直説法線過去 点過去と線過去	直説法線過去の復習 点過去と線過去の使い分け復習 (テキスト: 第5課)
11	過去分詞	過去分詞の復習 (テキスト: 第6課)
12	直説法現在完了 直説法過去完了	直説法現在完了及び直説法過去 完了の復習 (テキスト: 第6課)
13	春学期の復習	期末試験に備えた春学期の学習 内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『新スペイン語のリズム2 (Nuevo Español con ritmo 2)』(同学社)、2,400円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
- Preterite past tense
- Past perfect tense

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の接続法過去形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来	授業の形態、進め方、評価方法 の説明 直説法未来の活用と用法 (テキスト: 第7課)
2	直説法過去未来	直説法過去未来の活用と用法 (テキスト: 第7課)
3	接続法現在規則動詞	接続法の概念 接続法現在規則活用 (テキスト: 第8課)
4	接続法現在不規則動詞	接続法現在不規則活用 (テキスト: 第8課)
5	名詞節における接続法	名詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第9課)
6	関係節における接続法	関係節（形容詞節）での接続法 現在の使い方 (テキスト: 第10課)
7	副詞節における接続法	副詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第10課)
8	中間試験 独立文における接続法	中間試験の実施 独立文での接続法現在の使い方 (テキスト: 第8課)
9	序数	序数の用法 (テキスト: 第9課)
10	命令表現	命令文の作り方 (テキスト: 第11課)

11	命令表現での代名詞の位置	命令文における目的格代名詞・再帰代名詞の位置 (テキスト: 第11課)
12	接続法現在完了	接続法現在完了の活用と用法 (テキスト: 第12課)
13	接続法過去 秋学期の復習	接続法過去の活用と用法 (テキスト: 第12課) 期末試験に備えた秋学期の学習 内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『新スペイン語のリズムで2 (Nuevo Español con ritmo 2)』(同学社)、2,400円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。

その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞、er/ir 動詞のそれぞれの用法にうちて学ぶ
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類について把握する
3	線過去形	線過去形の文法の紹介、用法について学ぶ
4	点過去・線過去の違い	これまでやってきた点過去、線過去について、比較をしながら復習する
5	未来形	未来形(英語の will, may に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
6	過去未来形	未来形(英語の would, might に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了 などそれぞれの文法を学ぶ
8	練習問題	17 まとめを兼ねた練習問題を実施する
9	命令形	肯定文 (tu/vosotros) に対しての命令形
10	疑問詞	疑問詞の作り方、使い方
11	関係詞	関係詞の作り方、使い方
12	仮定法 si	仮定法の基本的な作り方、使い方
13	テスト前確認・質疑応答	春学期講義の復習に充てる

14 試験・まとめと解説 試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使える表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、
経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	接続法現在	「接続法」という日本語にはない 新たな文法の紹介、用法につ て学ぶ
2	接続法現在規則活用	接続法現在の規則活用の文法の 紹介、用法について学ぶ
3	接続法現在不規則活 用	接続法現在の不規則活用の文法 の紹介、用法について学ぶ
4	接続法現在完了	接続法現在完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	接続法過去の文法の紹介、用法 について学ぶ
7	接続法過去完了	接続法過去完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
8	仮定法 si(2) 接続法 使用	仮定法の文法、用法について学 ぶ
9	接続法文法 応用	接続法について、実際の文章の 中での使われ方について学ぶ
10	練習問題（接続法過 去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュース サイト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNSで見られるスペイン語の紹 介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-
intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill
is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。

その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞、er/ir 動詞のそれぞれの用法にうちて学ぶ
2	点過去形不規則活用	不規則活用の種類について把握する
3	線過去形	線過去形の文法の紹介、用法について学ぶ
4	点過去・線過去の違い	これまでやってきた点過去、線過去について、比較をしながら復習する
5	未来形	未来形(英語の will, may に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
6	過去未来形	未来形(英語の would, might に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了 などそれぞれの文法を学ぶ
8	練習問題	17まとめで兼ねた練習問題を実施する
9	命令形	肯定文(tu/vosotros)に対しての命令形
10	疑問詞	疑問詞の作り方、使い方
11	関係詞	関係詞の作り方、使い方
12	仮定法 si	仮定法の基本的な作り方、使い方
13	テスト前確認・質疑応答	春学期講義の復習に充てる

14 試験・まとめと解説 試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使える表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、
経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	接続法現在	「接続法」という日本語にはない 新たな文法の紹介、用法につ て学ぶ
2	接続法現在規則活用	接続法現在の規則活用の文法の 紹介、用法について学ぶ
3	接続法現在不規則活 用	接続法現在の不規則活用の文法 の紹介、用法について学ぶ
4	接続法現在完了	接続法現在完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	接続法過去の文法の紹介、用法 について学ぶ
7	接続法過去完了	接続法過去完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
8	仮定法 si(2) 接続法 使用	仮定法の文法、用法について学 ぶ
9	接続法文法 応用	接続法について、実際の文章の 中での使われ方について学ぶ
10	練習問題（接続法過 去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュース サイト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNSで見られるスペイン語の紹 介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-
intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill
is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】
初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】
L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】
スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。
また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。
授業では、辞書を必ず持参すること。
＜課題に対するフィードバックの方法＞
リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う
本授業は原則として対面で行うが、大学の行動方針レベルが2となった場合、オンラインで行う。詳細は学習支援システムで周知する。
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	イントロダクション 発音とアクセント	アルファベット、母音、子音、 発音、アクセント、名詞、定冠 詞・不定冠詞
2	動詞（規則活用）	主格人称代名詞、動詞（規則活 用）現在形
3	動詞（不規則活用）	動詞（不規則活用）、否定文
4	動詞ser,estar,hay 現 在形	ser,estar,hay の使い方
5	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終 わる形容詞の語形変化、語尾が 脱落する形容詞の語形変化など
6	形容詞の応用	所有詞、指示詞
7	疑問文と疑問詞	疑問文の基本と様々な疑問詞
8	動詞（不規則活用2）	基本動詞に多い不規則活用動詞 と1人称単数が不規則な形
9	目的格人称代名詞	直接目的格および間接目的格人 称代名詞の使い方
10	動詞（不規則活用） 3、時刻表現	複合型不規則動詞と時刻の表現
11	過去分詞、現在完了	現在完了の作り方とその用法
12	gustar 構文、前置詞 格人称代名詞	gustar 型動詞の使い方とその種 類
13	再帰動詞	再帰動詞の基本的な考え方とそ の使い方

14 試験・まとめと解説 筆記試験とその解説を実施し、
今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『これでわかる！ スペイン語の初級』 長谷川信弥他著、朝日出版社、2000円（+税）、ISBN: 978-4-255-55078-7

【参考書】
『西和中辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』 西川喬（同学社）
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】
学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.
【Learning Objectives】
By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present,past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.
【Learning activities outside of classroom】
Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.
【Grading Criteria /Policy】
Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金 1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】

初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

<課題に対するフィードバックの方法>

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

本授業は原則として対面で行うが、大学の行動方針レベルが2となった場合、オンラインで行う。詳細は学習支援システムで周知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法点過去	直説法点過去の活用と用法
2	直説法線過去	直説法線過去の活用と用法
3	不定語・否定語、現在分詞	点過去と線過去の違いと使い方 現在分詞の形と使い方、分詞構文および、否定語・不定語を用いた文の構造
4	直説法未来形	直説法未来形の活用と使い方
5	関係詞	関係代名詞の種類と使い方
6	接続法現在形	接続法の考え方と動詞の活用、名詞節における使い方
7	接続法現在形2	接続法現在形のその他の種類、形容詞節と副詞節
8	命令形、感嘆文	命令形における接続法現在形の応用
9	直説法過去完了形	直説法過去完了形の活用と、その使い方
10	比較表現	比較形の作り方と使い方
11	関係詞2	関係形容詞、関係副詞の種類と使い方
12	直説法過去未来形	直説法過去未来形の活用とその使い方
13	接続法過去形	接続法過去形の活用とその使い方

14 試験・まとめと解説 筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『これでわかる！ スペイン語の初級』 長谷川信弥他著、朝日出版社、2000円（+税）、ISBN: 978-4-255-55078-7

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』 西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 | 2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現ができる様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。
6回	私の地区	過去の習慣について話す。
7回	私の地区	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
8回	休みの時	過去の習慣について話す。
9回	休みの過ごし方	過去に行った事柄について話す、質問する。
10回	前の旅行。	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
11回	昔の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
12回	食物	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。
13回	飲み物	旅行に関して人に何かを進める。
14回	復習と口頭試験	食習慣について話す。
		近い過去の経験や行為について質問する、話す。
		料理の材料について話すそして人に勧める。
		復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。

- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
- ・努めて語彙を増やしていくこと。
- ・スペイン語圏のニュースに注意している。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語2 第2版 朝日出版社

ISBN 978-4-255-55156-2

¥2600

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15%+学期末口頭試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, assignments and 70% of oral final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたかについて話す。
2回	大学を卒業後、新生活をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスを求める。
4回	パーティーに来ませんか。	パーティーで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7回	海外旅行	スペイン語圏から来たばかりの留学生のためのガイドブックを作る。
8回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9回	イスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12回	学年が終わる。	学期中に行ったことについて、質問する、話す。

13回 大学が終わる。 クラスメートに別れの挨拶の

メッセージを書く。

14回 復習と口頭試験 復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。

・単語の意味調べを行い、授業に出る。

・授業中に出る宿題を必ず行うこと。

・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。

・努めて語彙を増やしていくこと。

・スペイン語圏のニュースに注意している。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語2第2版 朝日出版社

ISBN 978-4-255-55156-2

¥2600

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15%+学期末口頭試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation + assignments and 70% of oral final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

岸下 卓史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の中級文法の習得を目指す。また、発展的な文法事項の知識を活かしながら、数行におよぶ文章の読解ができるようになることを目指す。基礎となる単語の知識を増やし、リスニングの練習も実施する。

【到達目標】

前年度の復習として、これまでに学んだ現在形の動詞を自在に活用できるようにする。ユニークな動詞 *gustar* や再帰動詞を読んだり、書いたり、リスニングすることで、スペイン語の理解を深める。その後、過去時制での動詞活用を学び、「～した」、「～だった」のスペイン語表現を駆使できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、基本的な文法事項について学んでいく。随時小テストを実施し、受講生の理解度を確認しながら進める。小テストの答案については、採点済みのものを受講生に返却し、答え合わせを通じて内容のさらなる理解に努めてもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期授業の案内(a)	前年度の復習(1) 目的格人称代名詞
第2回	前期授業の案内(b)	前年度の復習(2) 再帰代名詞、再帰動詞
第3回	動詞 <i>gustar</i> 関連(a)	前置詞格人称代名詞、動詞 <i>gustar</i>
第4回	動詞 <i>gustar</i> 関連(b)	<i>gustar</i> 型動詞、所有形容詞後置形
第5回	比較級と最上級	<i>más</i> ～ <i>que</i> 、 <i>menos</i> ～ <i>que</i> 、 <i>tan</i> ～ <i>como</i> など
第6回	不定語・否定語、感嘆文	<i>algo</i> 、 <i>alguien</i> 、 <i>alguno</i> など
第7回	文法事項のまとめ(a)	動詞 <i>gustar</i> 、比較級、不定語などの振り返り
第8回	過去時制(a)	直説法点過去(規則動詞)
第9回	過去時制(b)	直説法点過去(不規則動詞)、数100～2000
第10回	過去時制(c)	点過去の振り返り、直接法線過去(規則動詞)
第11回	過去時制(d)	直接法線過去(不規則動詞)、点過去と線過去の使い分け
第12回	直接話法と間接話法	<i> digo</i> ”～”と <i> dice que</i> ～の違い
第13回	文法事項のまとめ(b)	点過去、線過去、話法の振り返り
第14回	試験とまとめ	前期の振り返りと最終テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。授業で用いる教科書に基づいて準備学習と復習を励行すること。

【テキスト（教科書）】

イメージ・スペイン語 / 斎藤華子ほか / 朝日出版社 / 9784255551029

【参考書】

授業時に何度かに分けて指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点(20%)、小テスト(40%)、期末試験(40%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。必要な場合はその都度指示する。

【その他の重要事項】

辞書は必ず毎回持参すること。通信による電子機能の利用は認めない。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of intermediate Spanish and a knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish intermediate grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing Spanish text. Students will also increase their knowledge of basic vocabulary and practice listening comprehension.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Usual performance score (20%), quizzes (40%), and term-end examination (40%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

岸下 卓史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の中級文法の習得を目指す。また、発展的な文法事項の知識を活かしながら、数行におよぶ文章の読解ができるようになることを目指す。基礎となる単語の知識を増やし、リスニングの練習も実施する。

【到達目標】

前学期に学んだ点過去と線過去の動詞を自在に活用できるよう再確認する。完了形と未来形を含むスペイン語の時制で実際にどのようなことが表現されているか、理解を深める。その後、接続法における動詞活用を学び、「未来」、「不確かさ」、「主観」を含んだスペイン語固有の接続法について、感覚的に理解できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、基本的な文法事項について学んでいく。随時小テストを実施し、受講生の理解度を確認しながら進める。小テストの答案については、採点済みのものを受講生に返却し、答え合わせを通じて内容のさらなる理解に努めてもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期授業の案内	前学期の復習 点過去と線過去
第2回	数の復習とさらに大きな数	数10,000、序数
第3回	完了形(a)	過去分詞、直説法現在完了
第4回	完了形(b)	直説法過去完了
第5回	現在分詞	現在分詞、現在進行形、現在分詞のその他の用法
第6回	関係詞	関係代名詞(que)、関係副詞 donde
第7回	文法事項のまとめ(a)	現在完了、過去完了、現在分詞、関係詞の振り返り
第8回	未来を含む時制(a)	直接法未来形(規則動詞、不規則動詞)とその用法
第9回	未来を含む時制(b)	直接法過去未来形(規則動詞、不規則動詞)とその用法
第10回	接続法(a)	接続法現在(規則動詞、不規則動詞)とその用法
第11回	接続法(b)	命令表現、命令表現での代名詞の位置
第12回	文法事項のまとめ(b)	未来形、過去未来形、接続法現在の振り返り(a)
第13回	文法事項のまとめ(c)	未来形、過去未来形、接続法現在の振り返り(b)
第14回	試験とまとめ	後期の振り返りと最終テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。授業で用いる教科書に基づいて準備学習と復習を励行すること。

【テキスト（教科書）】

イメージ・スペイン語 / 斎藤華子ほか / 朝日出版社 / 9784255551029

【参考書】

授業時に何度かに分けて指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点(20%)、小テスト(40%)、期末試験(40%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。必要な場合はその都度指示する。

【その他の重要事項】

辞書は必ず毎回持参すること。通信による電子機能の利用は認めない。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course is designed to provide you with an understanding of intermediate Spanish and a knowledge of the histories, societies and cultures of the Spanish-speaking world.

《Learning Objectives》

Students will gain the knowledge of Spanish intermediate grammar. In addition, you will be able to enjoy reading and writing Spanish text. Students will also increase their knowledge of basic vocabulary and practice listening comprehension.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Usual performance score (20%), quizzes (40%), and term-end examination (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 | 2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までに、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在語幹母音 変化動詞 動詞tener, ir, ver, hacer, poner, salir	授業の形態、進め方、評価方法 の説明 直説法現在語幹母音変化動詞の 活用、及び動詞tener, ir, ver, hacer, poner, salirの活用と 用法復習 (テキスト: 第1課)
2	再帰動詞	再帰動詞の復習 (テキスト: 第1課)
3	動詞oír, venir, saber, conocer 不定詞表現	動詞oír, venir, saber, conocerの活用と用法、及び不 定詞表現の復習 (テキスト: 第2課)
4	動詞gustar gustar型動詞	gustarをはじめとするgustar 型動詞の復習 (テキスト: 第2課)
5	比較級 最上級	比較表現の復習 (テキスト: 第3課)
6	現在分詞	現在分詞の復習 (テキスト: 第3課)
7	所有形容詞（前置形 と後置形） 関係代名詞que	所有形容詞、及び関係代名詞 queの用法復習 (テキスト: 第3課)
8	中間試験 直説法点過去規則動 詞	中間試験の実施 直説法点過去規則活用の復習 (テキスト: 第4課)

9	直説法点過去不規則 動詞 数（1～2000）	直説法点過去不規則活用、及び 2000までの数の復習 (テキスト: 第4課)
10	直説法線過去 点過去と線過去	直説法線過去の復習 点過去と線過去の使い分け復習 (テキスト: 第5課)
11	過去分詞	過去分詞の復習 (テキスト: 第6課)
12	直説法現在完了 直説法過去完了	直説法現在完了及び直説法過去 完了の復習 (テキスト: 第6課)
13	春学期の復習	期末試験に備えた春学期の学習 内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『新スペイン語のリズム2 (Nuevo Español con ritmo 2)』(同学社)、2,400円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
- Preterite past tense
- Past perfect tense

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の接続法過去形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来	授業の形態、進め方、評価方法 の説明 直説法未来の活用と用法 (テキスト: 第7課)
2	直説法過去未来	直説法過去未来の活用と用法 (テキスト: 第7課)
3	接続法現在規則動詞	接続法の概念 接続法現在規則活用 (テキスト: 第8課)
4	接続法現在不規則動詞	接続法現在不規則活用 (テキスト: 第8課)
5	名詞節における接続法	名詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第9課)
6	関係節における接続法	関係節（形容詞節）での接続法 現在の使い方 (テキスト: 第10課)
7	副詞節における接続法	副詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第10課)
8	中間試験 独立文における接続法	中間試験の実施 独立文での接続法現在の使い方 (テキスト: 第8課)
9	序数	序数の用法 (テキスト: 第9課)
10	命令表現	命令文の作り方 (テキスト: 第11課)

11	命令表現での代名詞の位置	命令文における目的格代名詞・再帰代名詞の位置 (テキスト: 第11課)
12	接続法現在完了	接続法現在完了の活用と用法 (テキスト: 第12課)
13	接続法過去 秋学期の復習	接続法過去の活用と用法 (テキスト: 第12課) 期末試験に備えた秋学期の学習 内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『新スペイン語のリズムで2 (Nuevo Español con ritmo 2)』(同学社)、2,400円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

なお授業への出席は単位修得の前提条件であることから、学期中の出席が3分の2に満たない場合は、一律単位を付与しない。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。

その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞、er/ir 動詞のそれぞれの用法にうちて学ぶ
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類について把握する
3	線過去形	線過去形の文法の紹介、用法について学ぶ
4	点過去・線過去の違い	これまでやってきた点過去、線過去について、比較をしながら復習する
5	未来形	未来形(英語の will, may に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
6	過去未来形	未来形(英語の would, might に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了 などそれぞれの文法を学ぶ
8	練習問題	17 まとめを兼ねた練習問題を実施する
9	命令形	肯定文 (tu/vosotros) に対しての命令形
10	疑問詞	疑問詞の作り方、使い方
11	関係詞	関係詞の作り方、使い方
12	仮定法 si	仮定法の基本的な作り方、使い方
13	テスト前確認・質疑応答	春学期講義の復習に充てる

14 試験・まとめと解説 試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使える表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、
経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	接続法現在	「接続法」という日本語にはない 新たな文法の紹介、用法につ て学ぶ
2	接続法現在規則活用	接続法現在の規則活用の文法の 紹介、用法について学ぶ
3	接続法現在不規則活 用	接続法現在の不規則活用の文法 の紹介、用法について学ぶ
4	接続法現在完了	接続法現在完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	接続法過去の文法の紹介、用法 について学ぶ
7	接続法過去完了	接続法過去完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
8	仮定法 si(2) 接続法 使用	仮定法の文法、用法について学 ぶ
9	接続法文法 応用	接続法について、実際の文章の 中での使われ方について学ぶ
10	練習問題（接続法過 去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュース サイト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNSで見られるスペイン語の紹 介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-
intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill
is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

敦賀 公子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語世界を理解するための中級文法と表現を習得しよう。

【到達目標】

スペイン語世界の社会や文化に関するやさしい長文テキストが理解できることを目標とします。そのために、1年次で学習したスペイン語文法と表現を復習し、辞書で語彙を確認しながら、長文読解を進めます。実践的なテキスト読解を通じて、より発展した文法項目を学ぶとともに、語彙力、読解力、表現力を習得できることをめざします。

言語の学習だけでなく、スペイン語圏の社会や文化についての理解と興味を深めていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は、原則的に講義・演習方式で進めます。授業で習得した知識の定着のために、テキストの長文読解、文法説明、練習問題をこなしながら進めます。それらのフィードバックは授業内もしくは翌週の授業で理解度を確認しながら行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスと1年次の文法復習	簡単な日常表現を使って1年次の復習を行う。
2	Lección1 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
3	Lección1 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
4	Lección2 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
5	Lección2 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
6	Lección3 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
7	Lección3 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
8	中間試験	知識の確認
9	Lección4 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
10	Lección4 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
11	Lección5 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
12	Lección5 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
13	Lección5 までのまとめ	文法復習・練習問題
14	期末試験	期末試験・今学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題や課題、毎回の授業の予習は必須です。
授業の準備・復習時間は各回1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『愛でる！ スペイン語』福嶋教隆 著、朝日出版社、2022年、2750円（税込み）

【参考書】

西和辞書、1年次の文法テキスト

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題や予習、授業への積極参加など）25%、
中間・期末試験、小テストなど 75%
＊全授業の2/3以上の出席をもって成績評価対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

1年次で習得した知識をもとにより発展したスペイン語を学びますが、なるべく身近な話題を取り上げて、スペイン語やスペイン語世界により興味をもてるような授業をめざします。

【Outline (in English)】

Course outline : This course introduces the intermediate grammar and expressions to understand the Spanish World for students taking this course. It also enhances understanding and interest in the diverse cultures of the world.

Learning Objectives: The goals of this course are to become familiar with more vocabulary and sentences used in daily life by utilizing basic and intermediate grammar and also be able to understand longer sentences.

Learning activities outside of classroom: : Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies: Examinations: 75%, in class contribution: 25%

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

敦賀 公子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語世界を理解するための中級文法と表現を習得しよう。

【到達目標】

今学期も引き続きスペイン語世界の社会や文化に関する長文テキストが理解できることを目標とします。より実践的な長文読解のため、接続法などの発展的文法を学び、さらに語彙力、表現力を高めることをめざします。

言語の学習だけでなく、スペイン語世界の社会や文化についての理解と興味を深めていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は原則的に講義・演習方式で行います。知識の確認・定着のために、長文読解、文法説明、練習問題などをこなしながら進めます。それらのフィードバックは授業終了前もしくは翌週の授業で理解度を確認しながら行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスと文法復習	春学期の復習と確認
2	Lección7 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
3	Lección7 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
4	Lección10 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
5	Lección10 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
6	Lección11 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
7	Lección11 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
8	中間試験	知識の確認
9	Lección12 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
10	Lección12 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
11	Lección13 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
12	Lección13 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
13	Lección15 文法と長文読解	こ文法復習・練習問題 長文読解と表現
14	期末試験	期末試験・今学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題や課題、毎回の授業の予習は必須です。

授業の準備・復習時間は各回1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『愛でる！ スペイン語』福嶋教隆 著、朝日出版社、2022年、2750円（税込み）

【参考書】

西和辞書、1年次の文法テキスト

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題や予習、授業への積極参加など）25％、

中間・期末試験、小テストなど 75％

＊全授業の2/3以上の出席を持って評価対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

より発展したスペイン語を学びますが、なるべく身近な話題を取り上げて、スペイン語やスペイン語世界により興味をもてるような授業をめざします。

【Outline (in English)】

Course outline : This course introduces the intermediate grammar and expressions to understand the Spanish World for students taking this course. It also enhances understanding and interest in the diverse cultures of the world.

Learning Objectives: The goals of this course are to become familiar with more practical vocabulary and sentences by utilizing basic and intermediate grammar and also be able to understand longer sentences.

Learning activities outside of classroom: : Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies: Examinations: 75%, in class contribution: 25%

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、直説法現在形から始めて、再起動詞、Gustar型動詞、点過去形、線過去形、現在完了形などの初級で学習した文法事項の復習を行う。その上で、未来形、過去未来形、過去完了形を学習して、直説法のほとんどの時制を学ぶ。学習した文法事項と語彙を用いて、読み、書き、聞き、話す、スペイン語でのコミュニケーションスキルの向上を目指す。

【到達目標】

再起動詞も用いて、自分の生活習慣について述べることができる。点過去形、線過去形を用いて過去の出来事や経験について、具体的に述べるができる。SER、ESTAR、HABER、TENERという最重要な動詞の用い方に熟達する。友人を余暇活動に誘う表現、誘われたときに応じる表現、断る表現ができるようになる。未来形を用いて、予定、推測を述べるができる。過去未来形を用いて、過去から見た未来や過去のことについての推測を述べるができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は教科書に沿って進める。教員が文法解説を行い、受講生を指名して例文の音読・訳読や練習問題への回答を行ってもらう。ペアワーク、グループワークでの会話練習を行う。聞き取り練習を行う。また、毎回 Webclass を通じて課題の提出を求める。課題の内容は、その日の授業で学んだことの要約と、授業に関する質問や感想である。課題の提出は任意ではなく必須とする。提出された質問については、原則として次の授業でフィードバックを行う。なお、授業中に口頭で質問することも歓迎する。

本授業は、初回は教室での対面授業とし、全員が教室に出席すること。第2回以降は、教室での対面形式とリアルタイムのオンライン形式を併用する。オンラインでの受講は最大4回まで可能とし、どの回をオンラインで受講するかは各自で決めてよい。オンライン授業のためのZoom ミーティングの招待は、授業直前にWebclass で配信する。なお、オンライン授業への参加には、法政大学から与えられたZoom アカウントを用いること。それ以外アカウントではミーティングに入れないことがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス Unidad 1	本シラバスを用いた授業の説明。 直説法現在、目的人称代名詞、再帰代名詞、現在進行形
2	Unidad 1	学生生活、生活習慣。
3	Unidad 2	直説法点過去、関係代名詞。
4	Unidad 2	過去を表す副詞句、人生、家族。
5	Unidad 3	SER、ESTAR、HABER、TENER、直説法線過去の活用と用法。
6	Unidad 3	-mente 副詞、町で、品質形容詞、昔と今。
7	理解度確認	中間試験、まとめと解説。

8	Unidad 4	点過去と線過去、いろいろな副詞節、間接話法。
9	Unidad 4	旅行：活動と携行品、天候、旅行報告。
10	Unidad 5	過去分詞、現在完了、過去分詞のその他の用法。
11	Unidad 5	余暇活動、勧誘表現、買い物、ファッション。
12	Unidad 6	未来形、未来完了形の活用と用法。
13	Unidad 6	未来を表す副詞句、推測、確実性を示す表現。
14	理解度確認	期末試験、まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。音声サイトやCDの音源を聴き、スペイン語のリズムと音に慣れる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

スペイン語教材研究会(2026)『総合スペイン語コース中級 三訂版』朝日出版社。
978-4-255-55177-7

【参考書】

西和辞書は必携。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%。中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。

平常点を得るためには、毎回の授業での課題の提出が必要である。授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説を心がける。受講生と双方向のコミュニケーションを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

オンラインで授業に参加する場合は、パソコンなどの機材と通信環境を万全にしておくこと。オンライン参加で授業中に音声による応答が確認できないと、欠席扱いになることがある。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的でスマートフォンなどの電子機器を使用する(授業中のスマートフォンに使用は原則的に禁止する)。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。
etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This course is designed to consolidate and expand students' foundational knowledge of Spanish grammar while systematically developing communicative competence. It begins with a comprehensive review of key introductory topics, including the present indicative, reflexive verbs, gustar-type constructions, the preterite, the imperfect, and the present perfect. After reinforcing these core structures, the course introduces the future tense, the conditional (future-in-the-past), and the pluperfect, enabling students to master most of the indicative tenses. Through the integrated use of newly acquired grammar and vocabulary, students will strengthen their skills in reading, writing, listening, and speaking, with an emphasis on practical communication.

By the end of the course, students will be able to describe their daily routines using reflexive verbs, narrate past events and experiences clearly using both the preterite and imperfect, and accurately apply the essential verbs SER, ESTAR, HABER, and TENER. They will also gain the ability to invite others to leisure activities, respond appropriately to invitations, and express plans or conjectures using the future tense. In addition, they will learn to use the conditional to express the future from a past perspective and to speculate about past situations.

Students are expected to engage in regular preparation and review, including reading grammar explanations, completing exercises, checking unfamiliar vocabulary, and listening to audio materials to develop familiarity with Spanish pronunciation and rhythm. Approximately one hour per week is recommended for combined preparation and review. Assessment is based on class performance and participation (30%), a midterm examination (30%), and a final examination (40%), with active participation rewarded and absences, tardiness, or disruptive behavior subject to point deductions.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II 2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、接続法現在形、接続法過去形、接続法現在完了形、接続法過去完了形、直説法過去完了形、直説法過去未来完了形を学ぶ。接続法の活用に習熟して、その用法を知ることにより、表現の幅を広げる。学習した文法事項と語彙を用いて、読み、書き、聞き、話す、スペイン語でのコミュニケーションスキルの向上を目指す。

【到達目標】

過去完了形を用いて、過去からさらにさかのぼる過去や過去のある時点までの経験について述べるができる。命令形、接続法を用いて、命令、指示、依頼、願望、期待を表現できるようになる。現在の実事、過去の事実に対する仮定を含め、さまざまな条件文を作ることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は教科書に沿って進める。教員が文法解説を行い、受講生を指名して例文の音読・訳読や練習問題への回答を行ってもらう。ペアワーク、グループワークでの会話練習を行う。聞き取り練習を行う。また、毎回 Webclass を通じて課題の提出を求める。課題の内容は、その日の授業で学んだことの要約と、授業に関する質問や感想である。課題の提出は任意ではなく必須とする。提出された質問については、原則として次回の授業でフィードバックを行う。なお、授業中に口頭で質問することも歓迎する。本授業は、教室での対面形式とリアルタイムのオンライン形式を併用する。オンラインでの受講は最大4回まで可能とし、どの回をオンラインで受講するかは各自で決めてよい。オンライン授業のための Zoom ミーティングの招待は、授業直前に Webclass で配信する。なお、オンライン授業への参加には、法政大学から与えられた Zoom アカウントを用いること。それ以外アカウントではミーティングに入れないことがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス Unidad 7	本シラバスを用いた授業の説明。 過去完了、関係詞。
2	Unidad 7	家具と調度品、10年前の我が家。
3	Unidad 8	命令形、行為者をはっきりさせない表現、過去未来形。
4	Unidad 8	食べ物、体の動き。
5	Unidad 9	接続法現在の活用、命令形。
6	Unidad 9	命令、意見、願望、依頼。
7	理解度確認	中間試験、まとめと解説。
8	Unidad 10	接続法現在、接続法現在完了の活用と用法。
9	Unidad 10	大きな数、地理、環境問題、対応策。
10	Unidad 11	接続法過去の活用と用法、条件文。

11	Unidad 11	事実と異なる仮定、抽象名詞、願望表現。
12	Unidad 12	接続法過去完了の活用と用法、直説法過去未来完了の活用と用法、条件文。
13	Unidad 12	会話で用いられる表現、後悔、丁寧な依頼。
14	理解度確認	期末試験、まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。音声サイトやCDの音源を聴き、スペイン語のリズムと音に慣れる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

スペイン語教材研究会(2026)『総合スペイン語コース中級 三訂版』朝日出版社。

978-4-255-55177-7

【参考書】

西和辞書は必携。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業での学習状況や参加度)を30%。中間試験の点数を30%、期末試験の点数を40%として総合的に評価する。

平常点を得るためには、毎回の授業での課題の提出が必要である。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説を心がける。受講生と双方向のコミュニケーションを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

オンラインで授業に参加する場合は、パソコンなどの機材と通信環境を万全にしておくこと。オンライン参加で授業中に音声による応答が確認できないと、欠席扱いになることがある。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を繰り返して行くと、成績評価に際して減点の材料となるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的でスマートフォンなどの電子機器を使用する(授業中のスマートフォンに使用は原則的に禁止する)。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

This course develops advanced grammatical competence in Spanish, with a particular focus on the subjunctive mood and perfect tenses. Students will study the present, past, present perfect, and past perfect forms of the subjunctive, as well as the pluperfect and conditional perfect in the indicative. Through systematic practice of conjugation and usage, the course aims to broaden students' expressive range and deepen their understanding of nuanced meanings. Grammar study is integrated with communicative practice in reading, writing, listening, and speaking.

By the end of the course, students will be able to use the pluperfect to describe events preceding a past reference point and to discuss prior experiences. They will express commands, requests, wishes, and expectations accurately using the imperative and the subjunctive. In addition, they will construct a wide range of conditional sentences, including counterfactual statements about present and past situations.

Students are expected to engage in regular preparation and review, including reading grammar explanations, completing exercises, checking unfamiliar vocabulary, and listening to audio materials to develop familiarity with Spanish pronunciation and rhythm. Approximately one hour per week is recommended for combined preparation and review. Assessment is based on participation and class performance (30%), a midterm examination (30%), and a final examination (40%), with active engagement rewarded and absences, tardiness, or disruptive behavior subject to deduction.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	スペイン語	自己紹介。 南米にスペイン語を話す国々
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞
3	生活習慣、スペイン語圏の家族	現在進行形 / 現在分詞のその他の用法
4	人一生 / 家族	復習:直説法点過去。過去を表す副詞句。
5	中南米諸国への日本人移民	関係詞I：関係詞代名詞
6	町で	SER. ESTAR. HABER. TENER 直説法線過去:活用 / -menteで終わる副詞
7	昔と今	直説法線過去の用法 / 品質形容詞
8	旅行	直説法点過去と線過去 / 旅行：活動と携行品
9	天候	色々な副詞節
10	余暇活動	過去分詞 / 直説法現在完了：活用 / 余暇生活 / 勧誘表現
11	社会生活	直説法現在完了の用法 / 過去分詞のその他用法
12	未来を表す副詞	直説法未来：活用 / 直説法未来の用法
13	推測	直説法未来完了：活用と用法
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre amigos 2, 3a. edición. 総合スペイン語コース中級 - 改訂版- Editorial Asahi

【参考書】

辞書(電子辞書可) / SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	家具	家具と調度品 / 直説法過去完了：活用と用法
2	調度品	直説法の時制：まとめ/関係詞 II
3	命令形	命令形 I: tu / vosotros に対する肯定命令 / 命令形の用法 命令形と目的人称代名詞 / 再帰代名詞
4	食べ物/スポーツ	無人称表現 / 直説法過去未来の用法 II
5	意見	接続法現在：活用 / 接続法の用法 I: 名詞節過去形 II: usted/ustedes に対する肯定命令
6	命令	否定命令 / 願望、依頼、命令表す表現
7	数	接続法の用法 II: 副詞節
8	環境問題	接続法の用法 III: 形容詞節/
9	自然と人間	接続法現在完了: 活用と用法
10	願望表現	接続法の用法 IV: 独立文 / 接続法過去: 活用
11	スペイン語国々の映画	接続法過去/ 条件文 I
12	会話で用いられる表現	接続法過去完了: 活用 / 接続法過去完了の用法 / 直説法過去未来完了: 活用と用法
13	後悔	条件文 II
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre amigos 2, 3a. edición. 総合スペイン語コース中級 - 改訂版- Editorial Asahi

【参考書】

辞書(電子辞書可) / SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験 50%

小テスト 20%、期末試験の結果 30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】
初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】
L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】
スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。
また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。
授業では、辞書を必ず持参すること。
＜課題に対するフィードバックの方法＞
リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う
本授業は原則として対面で行うが、大学の行動方針レベルが2となった場合、オンラインで行う。詳細は学習支援システムで周知する。
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	イントロダクション 発音とアクセント	アルファベット、母音、子音、 発音、アクセント、名詞、定冠 詞・不定冠詞
2	動詞（規則活用）	主格人称代名詞、動詞（規則活 用）現在形
3	動詞（不規則活用）	動詞（不規則活用）、否定文
4	動詞ser,estar,hay 現 在形	ser,estar,hay の使い方
5	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終 わる形容詞の語形変化、語尾が 脱落する形容詞の語形変化など
6	形容詞の応用	所有詞、指示詞
7	疑問文と疑問詞	疑問文の基本と様々な疑問詞
8	動詞（不規則活用2）	基本動詞に多い不規則活用動詞 と1人称単数が不規則な形
9	目的格人称代名詞	直接目的格および間接目的格人 称代名詞の使い方
10	動詞（不規則活用） 3、時刻表現	複合型不規則動詞と時刻の表現
11	過去分詞、現在完了	現在完了の作り方とその用法
12	gustar 構文、前置詞 格人称代名詞	gustar 型動詞の使い方とその種 類
13	再帰動詞	再帰動詞の基本的な考え方とそ の使い方

14 試験・まとめと解説 筆記試験とその解説を実施し、
今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『これでわかる！ スペイン語の初級』 長谷川信弥他著、朝日出版社、2000円（+税）、ISBN: 978-4-255-55078-7

【参考書】
『西和中辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』 西川喬（同学社）
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。
また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】
学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.
【Learning Objectives】
By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present,past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.
【Learning activities outside of classroom】
Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.
【Grading Criteria /Policy】
Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】

初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

<課題に対するフィードバックの方法>

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

本授業は原則として対面で行うが、大学の行動方針レベルが2となった場合、オンラインで行う。詳細は学習支援システムで周知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法点過去	直説法点過去の活用と用法
2	直説法線過去	直説法線過去の活用と用法
3	不定語・否定語、現在分詞	点過去と線過去の違いと使い方 現在分詞の形と使い方、分詞構文および、否定語・不定語を用いた文の構造
4	直説法未来形	直説法未来形の活用と使い方
5	関係詞	関係代名詞の種類と使い方
6	接続法現在形	接続法の考え方と動詞の活用、名詞節における使い方
7	接続法現在形2	接続法現在形のその他の種類、形容詞節と副詞節
8	命令形、感嘆文	命令形における接続法現在形の応用
9	直説法過去完了形	直説法過去完了形の活用と、その使い方
10	比較表現	比較形の作り方と使い方
11	関係詞2	関係形容詞、関係副詞の種類と使い方
12	直説法過去未来形	直説法過去未来形の活用とその使い方
13	接続法過去形	接続法過去形の活用とその使い方

14 試験・まとめと解説 筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『これでわかる！ スペイン語の初級』 長谷川信弥他著、朝日出版社、2000円（+税）、ISBN: 978-4-255-55078-7

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』 西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I 2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現ができる様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。
6回	私の地区	過去の習慣について話す。
7回	私の地区	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
8回	休みの時	過去の習慣について話す。
9回	休みの過ごし方	過去に行った事柄について話す、質問する。
10回	前の旅行。	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
11回	昔の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
12回	食物	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。
13回	飲み物	旅行に関して人に何かを進める。
14回	復習と口頭試験	食習慣について話す。
		近い過去の経験や行為について質問する、話す。
		料理の材料について話すそして人に勧める。
		復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。

- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
- ・努めて語彙を増やしていくこと。
- ・スペイン語圏のニュースに注意している。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語2 第2版 朝日出版社

ISBN 978-4-255-55156-2

¥2600

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15%+学期末口頭試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, assignments and 70% of oral final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたいかについて話す。
2回	大学を卒業後、新生活をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4回	パーティーに来ませんか。	パーティで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7回	海外旅行	スペイン語圏から来たばかりの留学生のためのガイドブックを作る。
8回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9回	イスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12回	学年が終わる。	学期中に行ったことについて、質問する、話す。

13回 大学が終わる。 クラスメートに別れの挨拶の

メッセージを書く。

14回 復習と口頭試験 復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。

・単語の意味調べを行い、授業に出る。

・授業中に出る宿題を必ず行うこと。

・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。

・努めて語彙を増やしていくこと。

・スペイン語圏のニュースに注意している。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語2第2版 朝日出版社

ISBN 978-4-255-55156-2

¥2600

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15%+学期末口頭試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation + assignments and 70% of oral final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】
初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】
L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】
スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。
また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。
授業では、辞書を必ず持参すること。
<課題に対するフィードバックの方法>
リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う
本授業は原則として対面で行うが、大学の行動方針レベルが2となった場合、オンラインで行う。詳細は学習支援システムで周知する。
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face		
回	テーマ	内容
1	イントロダクション 発音とアクセント	アルファベット、母音、子音、 発音、アクセント、名詞、定冠 詞・不定冠詞
2	動詞（規則活用）	主格人称代名詞、動詞（規則活 用）現在形
3	動詞（不規則活用）	動詞（不規則活用）、否定文
4	動詞ser,estar,hay現在形	ser,estar,hayの使い方
5	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終 わる形容詞の語形変化、語尾が 脱落する形容詞の語形変化など
6	形容詞の応用	所有詞、指示詞
7	疑問文と疑問詞	疑問文の基本と様々な疑問詞
8	動詞（不規則活用2）	基本動詞に多い不規則活用動詞 と1人称単数が不規則な形
9	目的格人称代名詞	直接目的格および間接目的格人 称代名詞の使い方
10	動詞（不規則活用） 3、時刻表現	複合型不規則動詞と時刻の表現
11	過去分詞、現在完了	現在完了の作り方とその用法
12	gustar構文、前置詞 格人称代名詞	gustar型動詞の使い方とその種 類
13	再帰動詞	再帰動詞の基本的な考え方とそ の使い方

14 試験・まとめと解説 筆記試験とその解説を実施し、
今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『これでわかる！ スペイン語の初級』 長谷川信弥他著、朝日出版社、2000円（+税）、ISBN: 978-4-255-55078-7

【参考書】
『西和中辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』 西川喬（同学社）
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。
また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】
学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.
【Learning Objectives】
By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present,past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.
【Learning activities outside of classroom】
Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.
【Grading Criteria /Policy】
Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 II

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】

初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

<課題に対するフィードバックの方法>

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

本授業は原則として対面で行うが、大学の行動方針レベルが2となった場合、オンラインで行う。詳細は学習支援システムで周知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法点過去	直説法点過去の活用と用法
2	直説法線過去	直説法線過去の活用と用法
3	不定語・否定語、現在分詞	点過去と線過去の違いと使い方 現在分詞の形と使い方、分詞構文および、否定語・不定語を用いた文の構造
4	直説法未来形	直説法未来形の活用と使い方
5	関係詞	関係代名詞の種類と使い方
6	接続法現在形	接続法の考え方と動詞の活用、名詞節における使い方
7	接続法現在形2	接続法現在形のその他の種類、形容詞節と副詞節
8	命令形、感嘆文	命令形における接続法現在形の応用
9	直説法過去完了形	直説法過去完了形の活用と、その使い方
10	比較表現	比較形の作り方と使い方
11	関係詞2	関係形容詞、関係副詞の種類と使い方
12	直説法過去未来形	直説法過去未来形の活用とその使い方
13	接続法過去形	接続法過去形の活用とその使い方

14 試験・まとめと解説 筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『これでわかる！ スペイン語の初級』 長谷川信弥他著、朝日出版社、2000円（+税）、ISBN: 978-4-255-55078-7

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』 西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 | 2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Planteamiento del curso	イントロダクション/授業の説明 /自己紹介 南米にスペイン語を話す国々
2	Lectura: El día a día de mi vida en Madrid	復習:直接法現在
3	Lectura: El día a día de mi vida en Madrid	規則動詞/不規則動詞
4	Diálogo: Presentarse	動詞 conocer, saber, poner, venir 不定詞表現 Las perífrasis
5	Diálogo: Hablar de sí mismo	現在分詞 現在分詞の用法 関係詞 que, donde
6	Diálogo: en una zapatería	目的格人称代名詞 動詞 gustar, otros verbos del grupo de gustar
7	Diálogo: En una farmacia	所有形容詞
8	Lectura: Mi vida en Madrid	比較級/最上級 直説法点過去
9	Lectura: Mi vida en Madrid	直説法点過去と直説法線過去
10	Diálogo: en una terraza	過去分詞/ 過去分詞の用法
11	Diálogo: en una terraza	直説法現在完了 直説法過去完了
12	Lectura: Nuestra vida en el futuro	直説法未来 直説法過去未来

13	Lectura: Nuestra vida en el futuro	命令表現（1）/命令表現での代名詞位置
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Español en imágenes2, Eugenio del Prado, Hanako Saito y Shinji Nakamichi / イメージ・スペイン語2
Editorial Asahi /朝日出版社

【参考書】

辞書(電子辞書可) / SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 II

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Diálogo: La fiesta de Año nuevo	接続法現在：規則動詞/不規則動詞
2	Diálogo: La fiesta de Año nuevo	名詞節における接続法
3	Diálogo: ¡ A los tiempos!	独立文における接続法
4	Diálogo: ¡ A los tiempos!	名詞節における接続法と直説法
5	Diálogo: Nuestros sueños	関係節における接続法
6	Diálogo: Nuestros sueños	副詞節における接続法
7	Lectura: Visita a Madrid y sus alrededores	接続法現在完了
8	Lectura: Visita a Madrid y sus alrededores	接続法過去
9	Lectura: Consejos para ser feliz	命令表現（2）
10	Lectura: Consejos para ser feliz	命令表現での代名詞の位置
11	Proyección de una película hispanoamericana	スペイン語圏の映画
12	Lectura: Visita al norte de España	現在の非現実的条件文（1）
13	Lectura: Visita al norte de España	直説法未来完了
14	試験・まとめと解説	期末試験実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Español en imágenes2, Eugenio del Prado, Hanako Saito y Shinji Nakamichi /
イメージ・スペイン語2

Editorial Asahi /朝日出版社

【参考書】

辞書(電子辞書可) / SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 | 2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいきます。

【到達目標】

基礎スペイン語から一歩進んだ文法を習得し、話すだけでなく読むことも視野に入れた学習をしていく。また、受講生にはスペイン語文法だけでなく、スペイン語圏の文学・歴史についても興味を深めるようになってもらいたいと考える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎文法を終えた受講生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進めていく。さらには、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	動詞・現在形・現在完了・過去1年次の復習
2	比較級・最上級について	形について 形容詞・副詞の比較級・最上級
3	動詞・未来形について①	未来形の規則活用形・その用法
4	動詞・未来形について②	未来形の不規則型・その用法
5	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終わる形容詞の語形変化、語尾が脱落する形容詞の語形変化など
6	関係代名詞について	que, quien, el cualなどの用法
7	疑問文と疑問詞	疑問文の基本と様々な疑問詞
8	前置詞格人称代名詞について	英語には存在しない品詞・前置詞格人称代名詞の働きと用法
9	目的格人称代名詞の復習	直接目的格および間接目的格人称代名詞の使い方
10	再帰動詞について	再帰動詞の働きと用法
11	過去分詞と現在完了形の復習	現在完了の作り方とその用法
12	gustar構文、前置詞格人称代名詞	gustar型動詞の使い方とその種類
13	動詞・過去未来形について	過去未来形の働きと用法
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習をすること。復習を兼ねて宿題を確実にやり、わからないところを明確にする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『スペイン語2 4課』（山村ひろみ著、白水社）

テキストは学期初めにテキスト販売所で購入すること。

【参考書】

本授業には辞書も必要。

辞書をもっていない者は本授業には登録できません。

本授業を選択受講したかったら、辞書を購入して準備すること。

辞書をもっていない者へのお薦めの辞書は、『現代スペイン語辞典』（白水社）

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点20%、試験80%とし、総合的に評価する。

また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となる。

授業中のスマートフォンの使用は大幅な減点の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【学生が準備すべき機器他】

本授業には辞書も必要。

辞書をもっていない者は本授業には登録できません。

本授業を選択受講したかったら、辞書を購入して準備すること。

辞書をもっていない者へのお薦めの辞書は、『現代スペイン語辞典』（白水社）

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (20%) and the final exam (80%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 II

2017年度以降入学者

鈴木 正士

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んだあと、簡単な読み物を読んでいく。

【到達目標】

初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、文法事項などを説明したあと、簡単な読み物を読んでいく。

また、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	直説法の動詞のまとめ
2	感嘆文について	感嘆文の働きと用法
3	接続法現在形について	接続法現在の働きと用法
4	接続法現在形・規則形	接続法現在形・規則形を理解し、覚えていく
5	接続法現在形・不規則型	接続法現在形・不規則形を理解し、覚えていく
6	命令形	肯定命令形と否定命令形を理解し、覚えていく
7	簡単な読み物の訳読①	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
8	簡単な読み物の訳読②	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
9	簡単な読み物の訳読③	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
10	簡単な読み物の訳読④	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
11	簡単な読み物の訳読⑤	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
12	簡単な読み物の訳読⑥	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
13	簡単な読み物の訳読⑦	読み物の文法を押さえながら、訳読していく。
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず予習してくること。そして、復習のときには、音読すること。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『スペイン語2 4課』山村ひろみ著、白水社

テキストは学期初めに必ず購入すること。

【参考書】

本授業には辞書も必要。

辞書をもっていない者は本授業には登録できません。

本授業を選択受講したかったら、辞書を購入して準備すること。

辞書をもっていない者へのお薦めの辞書は、『現代スペイン語辞典』（白水社）

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点20%、試験80%とし、総合的に評価する。

また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となる。

授業中のスマートフォンの使用は大幅な減点の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】

とくになし。

【学生が準備すべき機器他】

本授業には辞書も必要。

辞書をもっていない者は本授業には登録できません。

本授業を選択受講したかったら、辞書を購入して準備すること。

辞書をもっていない者へのお薦めの辞書は、『現代スペイン語辞典』（白水社）

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (20%) and the final exam (80%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 | 2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	2課	1年で学んだ文法の復習。定冠詞・不定冠詞、hayの使い方の説明と練習問題（1課はアルファベットの読み方なので割愛）
3	3課前半	長文翻訳、"Ciudades" 一年で培った文法を用いて長文を翻訳する。
4	3課後半	主格人称代名詞・形容詞動詞ser/estarについての復習と練習問題。
5	4課前半	長文翻訳、"Barcelona"。直説法現在の動詞を用いた長文を翻訳。
6	4課後半	直説法現在の規則活用、所有形容詞、指示形容詞、指示代名詞および練習問題。
7	5課前半	長文翻訳、hacer, conocer,darなどの動詞を含んだ長文の翻訳。"Vacaciones de Verano"
8	5課後半	hacer,conocer,dar,saber,不規則動詞irの活用と練習問題。
9	6課前半	長文翻訳"Compras y Viajes"。Querer,poder,pedirなどの語幹母音変化を含む。
10	6課後半	直説法現在のなかの語幹母音変化動詞の活用の復習および練習問題。

11	7課前半	長文翻訳"Comidas"。tener,decir,oirなどの動詞を用いた文章。
12	7課後半	直説法現在tener,decir,oir,従属節、時刻の表現の復習と練習問題。
13	前期復習	前期に復習した文法を中心に練習問題を全体で行い、期末試験の備えとする。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを実施し、解説と春学期のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・スペイン語圏への旅 El viaje al mundo hispánico』大原志麻・花方寿行著 同社 定価2500
ISBN978-4-8102-0445-2

【参考書】

『クラウン西和辞典』（小学館）
『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』（同社）

【成績評価の方法と基準】

試験（60%）平常点（40%）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は2回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。いつまでもテキストを購入しない、または既に回答の記載のある中古のテキストを用いて授業に臨む学生は単位が取得できない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【その他の重要事項】

初回よりテキストを使用するので、必ず前もって購入しておくこと

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediary Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 II 2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的は対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	8課	目的格人称代名詞、不定語と否定語の文法説明と練習問題。
2	9課	疑問文で用いられる疑問詞、曜日、月、日付の言い方、接続詞の文法説明と練習問題。
3	11課・13課	再帰動詞の文法説明と練習問題。（不規則動詞を含む）
4	12課	点過去、関係代名詞についての文法説明と練習問題。
5	14課	線過去についての文法説明と練習問題。
6	15.16課	現在完了・直説法過去完了および比較級についての文法説明と練習問題。
7	17課	直説法未来、直説法過去未来についての文法説明と練習問題。
8	18課前半	長文翻訳"Obras y autores"。接続法現在を含む長文理解。
9	18課後半	接続法現在の活用（語幹母音変化動詞、不規則変化動詞）についての文法説明と練習問題。
10	19課前半	接続法現在の用法（2）形容詞節・副詞節・疑惑と願望を表す独立文についての文法説明と練習問題。
11	20課前半	直説法未来完了、過去未来完了、接続法過去についての文法説明
12	20課後半	接続法現在完了、過去完了、非現実的条件文についての文法説明と練習問題。

13	復習	秋学期で学んだ文法および作文理解についての復習。特に接続法を中心に復習する。
14	期末試験	秋学期に学んだことの確認として期末テストを実施し、解説と秋学期のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・スペイン語圏への旅 El viaje al mundo hispánico』大原志麻・花方寿行著 同友社 定価2500
ISBN978-4-8102-0445-2

【参考書】

『中級スペイン語文法』山田善郎著 白水社
『プログレッシブスペイン語辞典』小学館
『クラウン西和辞典』三省堂
『プエルタ新スペイン語辞典』研究社
紙媒体の辞書必携

【成績評価の方法と基準】

試験60%、平常点40%。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は3回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。
いつまでもテキストを購入しない、または既に回答の記載のある中古のテキストを用いて授業に臨む学生は単位が取得できない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【その他の重要事項】

初回より必ずテキストを持参すること。

【Outline (in English)】

1.Learn intermediary grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語(3) I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞、er/ir 動詞のそれぞれの用法にうちて学ぶ
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類について把握する
3	線過去形	線過去形の文法の紹介、用法について学ぶ
4	点過去・線過去の違い	これまでやってきた点過去、線過去について、比較をしながら復習する
5	未来形	未来形(英語の will, may に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
6	過去未来形	未来形(英語の would, might に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了 などそれぞれの文法を学ぶ
8	練習問題	17まとめを兼ねた練習問題を実施する
9	命令形	肯定文(tu/vosotros)に対しての命令形
10	疑問詞	疑問詞の作り方、使い方
11	関係詞	関係詞の作り方、使い方
12	仮定法 si	仮定法の基本的な作り方、使い方
13	テスト前確認・質疑応答	春学期講義の復習に充てる
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使える表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語(3) II

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	接続法現在	「接続法」という日本語にはない 新たな文法の紹介、用法につ いて学ぶ
2	接続法現在規則活用	接続法現在の規則活用の文法の 紹介、用法について学ぶ
3	接続法現在不規則活 用	接続法現在の不規則活用の文法 の紹介、用法について学ぶ
4	接続法現在完了	接続法現在完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	接続法過去の文法の紹介、用法 について学ぶ
7	接続法過去完了	接続法過去完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
8	仮定法 si(2) 接続法 使用	仮定法の文法、用法について学 ぶ
9	接続法文法 応用	接続法について、実際の文章の 中での使われ方について学ぶ
10	練習問題（接続法過 去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュース サイト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNSで見られるスペイン語の紹 介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-
intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill
is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語(3) I 2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	2課	1年で学んだ文法の復習。定冠詞・不定冠詞、hayの使い方の説明と練習問題（1課はアルファベットの読み方なので割愛）
3	3課前半	長文翻訳、"Ciudades" 一年で培った文法を用いて長文を翻訳する。
4	3課後半	主格人称代名詞・形容詞動詞ser/estarについての復習と練習問題。
5	4課前半	長文翻訳、"Barcelona"。直説法現在の動詞を用いた長文を翻訳。
6	4課後半	直説法現在の規則活用、所有形容詞、指示形容詞、指示代名詞および練習問題。
7	5課前半	長文翻訳、hacer, conocer,darなどの動詞を含んだ長文の翻訳。"Vacaciones de Verano"
8	5課後半	hacer,conocer,dar,saber,不規則動詞irの活用と練習問題。
9	6課前半	長文翻訳"Compras y Viajes"。Querer,poder,pedirなどの語幹母音変化を含む。
10	6課後半	直説法現在のなかの語幹母音変化動詞の活用の復習および練習問題。

11	7課前半	長文翻訳"Comidas"。tener,decir,oirなどの動詞を用いた文章。
12	7課後半	直説法現在tener,decir,oir,従属節、時刻の表現の復習と練習問題。
13	前期復習	前期に復習した文法を中心に練習問題を全体で行い、期末試験の備えとする。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを実施し、解説と春学期のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・スペイン語圏への旅 El viaje al mundo hispánico』大原志麻・花方寿行著 同社 定価2500
ISBN978-4-8102-0445-2

【参考書】

『クラウン西和辞典』（小学館）
『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』（同社）

【成績評価の方法と基準】

試験（60%）平常点（40%）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は2回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。いつまでもテキストを購入しない、または既に回答の記載のある中古のテキストを用いて授業に臨む学生は単位が取得できない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【その他の重要事項】

初回よりテキストを使用するので、必ず前もって購入しておくこと

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediary Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語(3) II

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得となら
んで、スペイン語圏の文化について学ぶ。初級、中級の文法を使っ
て、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学
部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的は対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替
わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用し
て文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語
を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。
リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想
などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	8課	目的格人称代名詞、不定語と否 定語の文法説明と練習問題。
2	9課	疑問文で使われる疑問詞、曜 日、月、日付の言い方、接続詞 の文法説明と練習問題。
3	11課・13課	再帰動詞の文法説明と練習問題。 (不規則動詞を含む)
4	12課	点過去、関係代名詞についての 文法説明と練習問題。
5	14課	線過去についての文法説明と練 習問題。
6	15.16課	現在完了・直説法過去完了およ び比較級についての文法説明と 練習問題。
7	17課	直説法未来、直説法過去未来に ついての文法説明と練習問題。
8	18課前半	長文翻訳"Obras y autores"。接 続法現在を含む長文理解。
9	18課後半	接続法現在の活用（語幹母音変 化動詞、不規則変化動詞）につ いての文法説明と練習問題。
10	19課前半	接続法現在の用法（2）形容詞 節・副詞節・疑惑と願望を表す 独立文についての文法説明と練 習問題。
11	20課前半	直説法未来完了、過去未来完了、 接続法過去についての文法説明
12	20課後半	接続法現在完了、過去完了、非 現実的条件文についての文法説 明と練習問題。

13	復習	秋学期で学んだ文法および作文 理解についての復習。特に接続 法を中心に復習する。
14	期末試験	秋学期に学んだことの確認とし て期末テストを実施し、解説と 秋学期のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・スペイン語圏への旅 El viaje al mundo hispánico』大原志
麻・花方寿行著 同友社 定価2500
ISBN978-4-8102-0445-2

【参考書】

『中級スペイン語文法』 山田善郎著 白水社
『プログレッシブスペイン語辞典』 小学館
『クラウン西和辞典』 三省堂
『プエルタ新スペイン語辞典』 研究社
紙媒体の辞書必携

【成績評価の方法と基準】

試験60%、平常点40%。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は3回まで。3回欠席し
た学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは6
0%取得しないと単位は取れない。
いつまでもテキストを購入しない、または既に回答の記載のある中
古のテキストを用いて授業に臨む学生は単位が取得できない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対
応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。
授業内で復習するなど対応します。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書必携

【Outline (in English)】

1.Learn intermediary grammars and carry on practices which
are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish,
it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning
activities outside of classroom aiming to restudy what is
learned in the class is required. Your required study time is at
least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40%
is presence and participation, attitude during class and 60% is
the exam points. In the exams, more than 60 points is required
to obtain the credit.

LANs200LA（スペイン語 / Spanish language education 200）

スペイン語Ⅶ

2017年度以降入学者

大西 亮

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、SAに参加する2年生を対象とする授業である。1年次に学んだスペイン語文法の知識を生かしながら、長文読解や作文、リスニング、スピーキングなどの技能の習得をめざす。また、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。

【到達目標】

長文読解では、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。そのほか、複雑な時制を含む文西訳や、視聴覚教材を用いたリスニングなどにも取り組む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

あらかじめ配布された講読資料をもとに、内容について詳しく見ていく。指名された学生は、スペイン語の文章の和訳を行なう。それについて、討議などを通じて全員で議論し、内容理解に努める。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法現在形	直説法現在形を用いた文章の読解を行なう。
2	直説法現在形（不規則）	直説法現在形（不規則）を用いた文章の読解を行なう。
3	直説法点過去	直説法点過去を用いた文章の読解を行なう。
4	直説法線過去	直説法線過去を用いた文章の読解を行なう。
5	直説法現在完了	直説法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
6	直説法未来形	直説法未来形を用いた文章の読解を行なう。
7	直説法過去未来形	直説法過去未来形を用いた文章の読解を行なう。
8	直説法過去完了	直説法過去完了形を用いた文章の読解を行なう。
9	接続法現在	接続法現在形を用いた文章の読解を行なう。
10	接続法現在完了	接続法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
11	接続法過去	接続法過去形を用いた文章の読解を行なう。
12	仮定法	仮定法を用いた文章の読解を行なう。
13	接続法独立用法	接続法（独立用法）を用いた文章の読解を行なう。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いる教材について予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

初回授業時に指示する。

【参考書】

初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点(40%)、期末試験(60%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【Outline (in English)】

This course is intended for second-year students to participate in SA program. We will aim to improve students' reading, writing, listening and speaking skills in Spanish, by making the most of grammar they learned in their previous year. A further goal is to increase students' awareness and understanding of Spanish vocabulary and sentence-patterns, by reading newspaper-accounts, novels and other sundry books of all kinds.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 60%

in class contribution:40%

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 8

2017年度以降入学者

佐々木 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

SA スペイン出発へ向けて、スペイン語基礎文法の基礎固めと応用力を身につける授業である。

1年次で学習したスペイン語の基礎文法を使って、スペインでの日常生活や留学先の授業に戸惑いなく参加するためのスペイン語力を養うことを目的とする。

【到達目標】

この授業では、1年次に学習したスペイン語基礎文法の復習をしながら、それらを実践的に活用する練習を行う。

身近な話題について過去・現在・未来時制を使いながら表現したり、理解することができるようになることを目指す。

ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）におけるA1-A2に対応した教科書を使用し、SA参加前にA2レベルに到達することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

学生が積極的に発言する機会をもつ、演習型の授業である。教科書にそって、各回のテーマについて、グループワーク（ペアワーク）を基本としながら、スペイン語を実践的に使用し、必要に応じて教員が解説を行う。

また、授業期間内に一人1回はスペイン語でのプレゼンテーションをすることが必須となる。

課題へのフィードバックや質問は基本的に授業内で行うが、適宜授業支援システムも活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業方法についての説明と1年次の復習
2	自己紹介	ser, tener, llamarse の直説法現在
3	予定や頻度について話す	自分の情報や週間を伝える動詞
4	家族や人との関係性を話す	形容詞、動詞 estar
5	電話の表現	不定冠詞、動詞 ir, venir, llevar, traer
6	好みについて表現する	動詞 gustar, querer, preferir
7	提案したり、提案を受け入れたり、拒否したりする	estar + 現在分詞 提案の表現
8	スーパーでの買い物	量や程度の表現
9	精神状態や体調の表現	肯定命令と否定命令
10	ニュースやストーリーを語る	点過去
11	過去の習慣	線過去

12	過去において進行中だった事柄について話す	現在完了
13	意見を述べるための動詞	未来形
14	期末試験・まとめと解説	期末試験を実施し、まとめと解説を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

つぎの回の授業にむけて、毎回宿題を課す。必ず、出された宿題を準備して授業に臨むこと。留学先で早くから充実した学びを得られるように、本授業での各回の授業について1時間の予習と1時間の復習を強く奨励する。

【テキスト（教科書）】

『エレボA1-A2』ファン・フェリペ・ガルシア・サントス他
朝日出版社、2020年、2,700＋税

【参考書】

『レベル別スペイン語文法ドリル』
（1年次から使用している問題集）

【成績評価の方法と基準】

授業内課題や授業への貢献度などの平常点50%と期末課題50%によって評価します。授業中1回はスペイン語によるプレゼンテーションが必須となる。

3回以上の欠席または5回以上の遅刻は評価「不可」とする。

【学生の意見等からの気づき】

視聴覚資料を積極的に用いる。

【Outline (in English)】

We will finish learning basic Spanish grammar. As preparations for participating in the SA program, practice reading and do discussion in Spanish.

< Learning Objectives >

By the end of the course, students should be able to do the followings:

Understand the Subjunctive Mood in Spanish.

Express your opinions about familiar topics in Spanish.

< Learning outside of classroom >

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least two hours for each class meeting.

< Grading Criteria/ Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、in class contribution: 50%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3-I

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	スペイン語の紹介	自己紹介。南米にスペイン語を話す国々
2	LLevo un año estudiando español	直説法現在：目的人称代名詞、再帰動詞
3	LLevo un año estudiando español	現在進行形、現在分詞
4	¿ Dónde naciste?	直接法点過去
5	¿ Dónde naciste?	関係詞I、関係詞代名詞 que
6	¿ Y cómo era?	直説法線過去、活用
7	¿ Y cómo era?	ser, estar, haber, tener 動詞
8	Aunque hacía frío, subimos a la montaña	直説法点過去と線過去
9	Aunque hacía frío, subimos a la montaña	色々な副詞節
10	Ha sido una experiencia inolvidable	直説法現在完了：活用と用法
11	Ha sido una experiencia inolvidable	過去分詞
12	Todo irá sobre ruedas	直説法未来：活用と用法
13	Todo irá sobre ruedas	直説法過去未来：活用と用法
14	まとめ	期末試験と解説・まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre amigos 2,3a. edición. 総合スペイン語コース中級 - 改訂版- Editorial Asahi

【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3-II

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	¡ Qué lío de tiempos !	直説法過去完了：活用と用法
2	¡ Qué lío de tiempos !	直接法の時制
3	¡ Qué lío de tiempos !	関係詞II
4	Sal y diviértete	命令形I: tú/vosotrosに対する肯定命令
5	Sal y diviértete	命令形と目的人称代名詞・再帰動詞 直説法過去未来の用法II
6	Problemas y más problemas	接続法現在I：活用と用法
7	Problemas y más problemas	命令形II: usted/ustedesに対する肯定命令 命令形III: 否定命令
8	Cuidemos el medio ambiente	接続法現在の用法II: 副詞節
9	Cuidemos el medio ambiente	接続法現在完了: 活用と用法III
10	¿ Sueño realidad?	接続法の用法IV: 独立文
11	¿ Sueño realidad?	接続法過去: 用法と活用
12	Si no hubiera estudiado español	接続法過去完了: 用法と活用 I
13	Si no hubiera estudiado español	接続法過去完了: 用法と活用 II
14	まとめ	期末試験と解説・まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の宿題・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Entre amigos 2,3a. edición. 総合スペイン語コース中級 - 改訂版- Editorial Asahi

【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3-I 2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	2課	1年で学んだ文法の復習。定冠詞・不定冠詞、hayの使い方の説明と練習問題（1課はアルファベットの読み方なので割愛）
3	3課前半	長文翻訳、"Ciudades" 一年で培った文法を用いて長文を翻訳する。
4	3課後半	主格人称代名詞・形容詞動詞ser/estarについての復習と練習問題。
5	4課前半	長文翻訳、"Barcelona"。直説法現在の動詞を用いた長文を翻訳。
6	4課後半	直説法現在の規則活用、所有形容詞、指示形容詞、指示代名詞および練習問題。
7	5課前半	長文翻訳、hacer, conocer,darなどの動詞を含んだ長文の翻訳。"Vacaciones de Verano"
8	5課後半	hacer,conocer,dar,saber,不規則動詞irの活用と練習問題。
9	6課前半	長文翻訳"Compras y Viajes"。Querer,poder,pedirなどの語幹母音変化を含む。
10	6課後半	直説法現在のなかの語幹母音変化動詞の活用の復習および練習問題。

11	7課前半	長文翻訳"Comidas"。tener,decir,oirなどの動詞を用いた文章。
12	7課後半	直説法現在tener,decir,oir,従属節、時刻の表現の復習と練習問題。
13	前期復習	前期に復習した文法を中心に練習問題を全体で行い、期末試験の備えとする。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを実施し、解説と春学期のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・スペイン語圏への旅 El viaje al mundo hispánico』大原志麻・花方寿行著 同社 定価2500
ISBN978-4-8102-0445-2

【参考書】

『クラウン西和辞典』（小学館）
『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
『わかるスペイン語』（同社）

【成績評価の方法と基準】

試験（60%）平常点（40%）。携帯電話の使用は減点の対象とする。

欠席は2回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

また、テキストをいつまでも購入しなかったり、中古のテキストを購入し既に答えが書いてあるものを持ってくる学生は単位が取得できません。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習したり補助教材を作成したりして質問に対する対応を行います。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【その他の重要事項】

初回よりテキストを使用するので、必ず前もって購入しておくこと

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediary Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3-II 2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的は対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	8課	目的格人称代名詞、不定語と否定語の文法説明と練習問題。
2	9課	疑問文で使われる疑問詞、曜日、月、日付の言い方、接続詞の文法説明と練習問題。
3	11課・13課	再帰動詞の文法説明と練習問題。（不規則動詞を含む）
4	12課	点過去、関係代名詞についての文法説明と練習問題。
5	14課	線過去についての文法説明と練習問題。
6	15.16課	現在完了・直説法過去完了および比較級についての文法説明と練習問題。
7	17課	直説法未来、直説法過去未来についての文法説明と練習問題。
8	18課前半	長文翻訳"Obras y autores"。接続法現在を含む長文理解。
9	18課後半	接続法現在の活用（語幹母音変化動詞、不規則変化動詞）についての文法説明と練習問題。
10	19課前半	接続法現在の用法（2）形容詞節・副詞節・疑惑と願望を表す独立文についての文法説明と練習問題。
11	20課前半	直説法未来完了、過去未来完了、接続法過去についての文法説明
12	20課後半	接続法現在完了、過去完了、非現実的条件文についての文法説明と練習問題。

13	復習	秋学期で学んだ文法および作文理解についての復習。特に接続法を中心に復習する。
14	期末試験	秋学期に学んだことの確認として期末テストを実施し、解説と秋学期のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『新・スペイン語圏への旅 El viaje al mundo hispánico』大原志麻・花方寿行著 同友社 定価2500
ISBN978-4-8102-0445-2

【参考書】

『中級スペイン語文法』山田善郎著 白水社
『プログレッシブスペイン語辞典』小学館
『クラウン西和辞典』三省堂
『プエルタ新スペイン語辞典』研究社
紙媒体の辞書必携

【成績評価の方法と基準】

試験60%、平常点40%。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は3回まで。
3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。
テキストをいつまでも購入しなかったり、中古のテキストを購入して既に答えが記載されているものを用いる学生は単位が取得できません。

【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【Outline (in English)】

1.Learn intermediary grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3-I

2017年度以降入学者

CARMEN GARCIA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級レベルの授業で習得した基礎的な知識を基に、学習者は総合的なコミュニケーション能力をさらに発展させていきます。中級レベルの文法、語彙、表現は、個別学習およびペアでのコミュニケーション活動を通して学習されます。

文法に関しては、過去形を復習し、生徒が自分の経験を表現したり、クラスメートの経験について質問したりできるようなアクティビティが用意されています。効果的なコミュニケーションに不可欠な語彙は、段階的に学習していきます。また、学習戦略およびスペイン語圏の社会文化的側面にも配慮し、これらは教科書全体を通して統合的に扱われています。

【到達目標】

本レベルの目的は、初級段階よりも一層効果的なコミュニケーション能力を育成することである。学生は、過去の経験について語ったり、感情を表現したりするなど、より深い個人的なやり取りを行えるようになる。また、スペイン語圏の諸国における習慣や伝統について理解を深め、それらを自らの文化や価値観と比較することで、多角的な視点を養う。将来的にスペイン語および他の外国語を自律的に学び続けるための学習戦略を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は対面式です。

授業中、教師が文法のポイントを説明し、生徒は対応する演習を、オーディオ活動やペアワークを交えながら行います。

積極的な授業への参加姿勢、教科書と辞書の必携。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 第1課	自己紹介できる。クラスメートについて知る。
2	第1課	直説法現在、疑問詞 点過去1、世界のスペイン語
3	第2課	線過去1、動詞ser, tener, llevar、子供のころ
4	第2課	点過去2、関係詞1、友人
5	第3課	線過去2、頻度表現、以前の生活と今の生活
6	第3課	点過去3、線過去と点過去1、私の町
7	中間テスト	春学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	第4課	時を表す表現1、点過去4
9	第4課	自由時間、線過去と点過去2
10	第5課	点過去5、バルセロナ旅行をした、
11	第5課	線過去と点過去3、最後の休暇
12	第6課	現在完了、時を表す表現2、バーベキューで

13	第6課	過去完了 復習
14	期末試験 ふりかえり	春学期の学習事項に関する試験 とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。

予習が必要な場合は、授業中に指示する。予習の指示がない場合は、次の授業で扱う内容にざっと目を通しておく。

復習について、

○ 新たに学んだ文法事項など授業で扱った内容が完全に理解できたかを確認する。理解できていない内容がある場合は、次の授業で質問できるようにメモしておく。

○ 新出、既習にかかわらず覚えていない語彙や表現の使い方を再確認し、すべて暗記する。

○ 授業で扱ったオーディオを教科書を見なくても理解できるよう復習する。

○ その他教員が指示した学習を行う。

【テキスト（教科書）】

ファン・カルロス・モヤノ・ロペス/カルロス・ガルシア・ルイス・カスティージョ/廣康好美「いいね！ スペイン語2 コンパクト版」朝日出版社、2023年

【参考書】

高垣敏博編『ポケットプログレッシブ西和辞典』小学館
「西和中辞典」（小学館）「現代語辞典」（白水社）
プログレッシブ スペイン語辞典〈第2版〉カレッジエディション
小学館

松本 旬子、アリシア サン マテオ バルデिता 「ボカブラリオ：アクティビティで身につくスペイン語基本語彙」三修社、2026年

【成績評価の方法と基準】

平常点（40％）、試験（60％）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム（LMS）を使用して、資料の配布や課題の提出を行う場合があります。

【その他の重要事項】

自動翻訳機や生成AIの使用は厳禁です。機械翻訳などを使用し、丸写したとみられるものは評価対象外とする。

フィードバックは授業中に行われます。

【Outline (in English)】

Building upon the fundamental knowledge acquired in beginner-level classes, learners further develop their comprehensive communication skills. Intermediate-level grammar, vocabulary, and expressions are studied through individual learning activities and pair communication exercises.

Regarding grammar, activities are provided to revise the past tense, enabling students to express their own experiences and ask questions about their classmates' experiences. Vocabulary essential for effective communication is learned progressively. Furthermore, learning strategies and sociocultural aspects of Spanish-speaking societies are also considered and integrated throughout the textbook.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading criteria: 40%in-class contribution, 60% exams

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3-II

2017年度以降入学者

CARMEN GARCIA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級クラスで習得した基礎知識を土台に、学習者は総合的なコミュニケーション能力をさらに発展させます。中級レベルの文法、語彙、表現を、個人学習活動とペアコミュニケーション演習を通じて学びます。

文法に関しては、未来形、条件法、接続法を学ぶ活動が用意されており、生徒は自身の経験を表現したり、助言や提案をしたり、クラスメートの経験について質問したりできるようになります。効果的なコミュニケーションに不可欠な語彙は段階的に習得します。さらに、学習戦略やスペイン語圏社会の社会文化的側面も考慮され、教科書全体に統合されています。

【到達目標】

このレベルの目標は、初級段階よりも効果的なコミュニケーション能力を育成することです。生徒たちは、より深い個人的な会話の続け、感情を表現し、提案やアドバイスができるようになります。また、スペイン語圏の習慣や伝統に対する理解を深め、自国の文化や価値観と比較しながら多面的な視点を持つことを学びます。生徒たちが将来、スペイン語やその他の外国語を独学で学び続けることができる学習戦略を身につけることも目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業は対面式です。

授業中、教師が文法のポイントを説明し、生徒は対応する演習を、オーディオ活動やペアワークを交えながら行います。積極的な授業への参加姿勢、教科書と辞書の必携。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 第7課	将来何をしたいか、時を表す表現3
2	第7課	未来、予定
3	第7課	条件節 si, 仕事、接続法現在1
4	第8課	未来形、忠告と希望
5	第8課	接続法現在 2 esperar que
6	第8課	接続法現在 3 es mejor que, 家族付き合い
7	中間テスト	秋学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	第9課	接続法現在 4 (no)creer que, (no) es verdad que, 意見
9	第9課	接続法現在 5 recomendar que, querer que, gustar que,
10	第9課	日本人学生のスペイン生活、無人称se、私達の大学によるこそう
11	第10課	接続法現在 6 para que,
12	第10課	大きな数字、派生語、関係詞 lo que, 昔と今スペインの変化I

13	第10課	昔と今スペインの変化II, よりよい社会へ
14	期末受験	秋学期の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習が必要な場合は、授業中に指示する。予習の指示がない場合は、次の授業で扱う内容にざっと目を通しておく。

復習について、

○新たに学んだ文法事項など授業で扱った内容が完全に理解できたかを確認する。理解できていない内容がある場合は、次の授業で質問できるようにメモをしておく。○新出、既習にかかわらず覚えていない語彙や表現の使い方を再確認し、すべて暗記する。○授業で扱ったオーディオを教科書を見ないでも理解できるよう復習する。○その他教員が指示した学習を行う。

【テキスト（教科書）】

ファン・カルロス・モヤノ・ロペス/カルロス・ガルシア・ルイス・カスティージョ/廣康好美「いいね！ スペイン語2 コンパクト版」朝日出版社、2023年

【参考書】

高垣敏博編『ポケットプログレッシブ西和和西辞典』小学館
「西和中辞典」（小学館）「現代語辞典」（白水社）
プログレッシブスペイン語辞典〈第2版〉カレッジエディション小学館
松本 句子、アリシア サン マテオ バルデタ 「ボカブラリオ：アクティビティで身につくスペイン語基本語彙」三修社、2026年

【成績評価の方法と基準】

平常点（40 %）、試験（60 %）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム（LMS）を使用して、資料の配布や課題の提出を行う場合があります。

【その他の重要事項】

自動翻訳機や生成AIの使用は厳禁です。機械翻訳などを使用し、丸写したとみられるものは評価対象外とする。フィードバックは授業中に行われます。

【Outline (in English)】

Building upon the fundamental knowledge acquired in beginner-level classes, learners further develop their comprehensive communication skills. Intermediate-level grammar, vocabulary, and expressions are studied through individual learning activities and pair communication exercises.

Regarding grammar, activities are provided to learn the future tense, the conditional and the subjunctive, enabling students to express their own experiences and ask questions about their classmates' experiences. Vocabulary essential for effective communication is learned progressively.

Furthermore, learning strategies and sociocultural aspects of Spanish-speaking societies are also considered and integrated throughout the textbook.

Before/after each class, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Grading criteria: 40% in-class contribution, 60% exams

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語コミュニケーションⅠ 2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身近な話題を相手に伝える練習をする。モデル文章を作って重要な表現解説と作文練習も行う。モデル文章を元に表現を置き換えて、自分の文章を書けるようになるのが目標である。

【到達目標】

身近な話題について文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この講座では身近な話題を相手に伝える練習を行う。モデル文章を作って重要な表現解説と作文練習も行う。その後、学んだ表現を暗記し、仲間と練習する。次に暗記した表現をベースにしてモデル文章を書き換えて発表する。学習した内容は次週の講義の最初に何人かに聞いて確認を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Presentación personal y del curso	自己紹介の方法を学ぶ。 授業概要
2	El patio cordobés 1	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
3	El patio cordobés 2	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
4	La Alhambra 1	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
5	La Alhambra 2	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
6	Las universidades de Hispanoamérica 1	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
7	Las universidades de Hispanoamérica 2	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
8	Encuentro culinario en Perú 1	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
9	Restaurantes peruanos en Tokio	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習

10	El Gaucho 1	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
11	El Gaucho 2	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
12	El maíz	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
13	El origen del maíz	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の週の復習から始まる。履修者はペアで練習を行うので、予習をしっかりと行い、積極的に授業に参加することが求められる。事前学習として毎回送られてくるモデル文章とその日本語訳をよく理解しておくこと。事後学習は講義で暗記した8個程度の短文を次回の講義までに確認し、完璧に暗記すること。次回の授業で確認を行う。学習の目安は毎回 60 分程度である。

【テキスト（教科書）】

23 lecturas de español con CD-ROM

N. Iziri, M. Hayashi, Y. Tajiri

Editorial Asahi

【参考書】

辞書(電子辞書可)

【成績評価の方法と基準】

-Exams (50%)

-The active class participation of students (50%)

【学生の意見等からの気づき】

教師が用意した教材を改善し、生徒間でより良いコミュニケーションを実現するために生徒間で信頼できる環境を作ります。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

In this course students will practice communicating familiar topics to others. Model sentences will be created to explain important expressions and practice replacing them. The goal is to be able to write your own sentences by replacing expressions based on the model sentences.

Grading criteria

Students will be judged on the basis of regular scores, assignments and final examination.

Regular point evaluation: 50%.

A score based on the student's response when pointed out in class. Also, your attitude and active participation in class. Regular points will be accumulated, so if a student is absent, the regular points for that day will be zero.

Midterm exam: 20%.

Final oral exam: 30%.

In this course, students will practice communicating familiar topics to others. After replacing model sentences and memorize the expressions you have learned, you will practice them with your pairs. Next, rewrite the model sentences using the memorized expressions and present them. I will confirm what you have learned by asking some of you at the beginning of the next week's lecture.

Every week begins with a review of the previous week. Students will practice in pair, so they are expected to prepare well and actively participate in class. The estimated study time is about 60 minutes for each class.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語コミュニケーションⅡ 2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

身近な話題を相手に伝える練習をする。モデル文章を作って重要な表現解説と作文練習も行う。モデル文章を元に表現を置き換えて、自分の文章を書けるようになるのが目標である。

【到達目標】

身近な話題について文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この講座では身近な話題を相手に伝える練習を行う。モデル文章を作って重要な表現解説と作文練習も行う。その後、学んだ表現を暗記し、仲間と練習する。次に暗記した表現をベースにしてモデル文章を書き換えて発表する。学習した内容は次週の講義の最初に何人かに聞いて確認を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Presentación del curso.	授業の説明。
2	Historia de Madrid I	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
3	Los primeros pobladores de América I	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
4	Los primeros pobladores de América II	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
5	La Pampa - Argentina I	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
6	La Pampa - Argentina II	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
7	Perú antes de los incas I	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
8	Perú antes de los incas II	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
9	El lago Titicaca I	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
10	El lago Titicaca II	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習

11	Mi mejor regalo	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
12	La Navidad Intercambio de regalo	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
13	Año Nuevo. Eventos del año nuevo en Sudamérica	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
14	試験・まとめと解説	期末試験を実施し、今学期のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前の週の復習から始まる。履修者はペアで練習を行うので、予習をしっかりと行い、積極的に授業に参加することが求められる。事前学習として毎回送られてくるモデル文章とその日本語訳をよく理解しておくこと。事後学習は講義で暗記した8個程度の短文を次回の講義までに確認し、完璧に暗記すること。次回の授業で確認を行う。学習の目安は毎回 60 分程度である。

【テキスト（教科書）】

23 lecturas de español con CD-ROM
N. IZIRI, M. HAYASHI, Y. TAJIRI
Editorial ASAHI

【参考書】

辞書(電子辞書可)

【成績評価の方法と基準】

-Exams (50%)

-The active class participation of students (50%)

【学生の意見等からの気づき】

教師が用意した教材を改善し、生徒間でより良いコミュニケーションを実現するために生徒間で信頼できる環境を作ります。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

In this course students will practice communicating familiar topics to others. Model sentences will be created to explain important expressions and practice replacing them. The goal is to be able to write your own sentences by replacing expressions based on the model sentences.

Grading criteria

Students will be judged on the basis of regular scores, assignments and final examination.

Regular point evaluation: 50%.

A score based on the student's response when pointed out in class. Also, your attitude and active participation in class. Regular points will be accumulated, so if a student is absent, the regular points for that day will be zero.

Midterm exam: 20%.

Final oral exam: 30%.

In this course, students will practice communicating familiar topics to others. After replacing model sentences and memorize the expressions you have learned, you will practice them with your pairs. Next, rewrite the model sentences using the memorized expressions and present them. I will confirm what you have learned by asking some of you at the beginning of the next week's lecture.

Every week begins with a review of the previous week. Students will practice in pair, so they are expected to prepare well and actively participate in class. The estimated study time is about 60 minutes for each class.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

現代のスペイン語Ⅰ

2017年度以降入学者

大西 亮

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

定員制(30)

2021年度までに「時事スペイン語Ⅰ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級の授業で習ったスペイン語文法の知識を生かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を身につけることを目的とする。随時、初級文法の復習をおこなっていき、また、この授業では、スペイン語圏の文化や社会にも光をあてつつ、その歴史と現状について学んでゆく。スペイン語初級をすでに受講したことのある学生が対象となる。

【到達目標】

スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、文法事項の復習を中心に見ていく。随時小テストを行なうことによって、学生の理解度の把握に努める。採点済みの答案用紙は返却し、答え合わせをしながら基本的な文法事項のふりかえりに努める。質問や提出された課題に関するフィードバックは次回授業のなかで行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	初級文法の復習	過年度までにスペイン語初級の各クラスで学んだ文法事項の復習を行う。
3	直説法現在	直説法現在を使った文章を読解する。
4	再帰動詞	再帰動詞を使った文章を読解する。
5	現在分詞および進行形	現在分詞と進行形を使った文章を読解する。
6	過去分詞および点過去	過去分詞と点過去を使った文章を読解する。
7	線過去	線過去を使った文章を読解する。
8	直説法現在完了および過去完了	直説法現在完了と直説法過去完了を使ったペルーの古代遺跡マチュ・ピチュに関する文章を読解する。
9	指示詞と所有詞の復習	指示詞と所有詞を使った文章を読解する。
10	受動表現の復習	受動表現を使った文章を読解する。
11	比較表現の復習	比較表現を使った文章を読解する。

12	無人称表現の復習	無人称表現を使った文章を読解する。
13	春学期のまとめ	春学期に学んだ文法事項の復習を行う。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いるテキストの予習と復習は必須である。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『フィエスタ！ フィエスタ！』（朝日出版社）

【参考書】

初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点40%、期末試験60%

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【Outline (in English)】

A further goal is for students to improve their reading-ability, by enjoying rather long books through the use of their grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class. The learning objective of this course is to enable students to read and comprehend texts about Spanish-speaking cultures and societies with the aid of a dictionary. The standard time for preparation and review for this class is one hour total. The grading criteria are 40% for regular assignments and 60% for the final exam.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

現代のスペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

結城 健太郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

定員制(30)

2021年度までに「時事スペイン語Ⅱ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の基礎的な文法・語彙に関する知識を持つ学生に対して、スペイン語の文章を理解する力を培います。これとともに、中級レベルの文法を学び、現代のスペイン語圏の諸相とその背後にある文化や歴史について学びます。

【到達目標】

スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできる力を身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教員が文章の背景等に関する説明を行った後、学生が音読、訳読し、教員が解説する。その後、関係する語彙、文法事項に関する説明を行う。課題等に対するフィードバックは授業中、またはLMSにて適宜行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の進め方、復習	授業の進め方を確認し、これまでの学習内容を復習する。
第2回	El Día de la Raza	「民族の日」に関する文章を読む。
第3回	点過去、線過去、過去完了	点過去、線過去、過去完了について学ぶ。
第4回	El Día de Muertos	「死者の日」に関する文章を読む。
第5回	定冠詞+関係代名詞que、過去分詞の形容詞用法	定冠詞+関係代名詞que、過去分詞の形容詞用法について学ぶ
第6回	La Navidad	クリスマスに関する文章を読む。
第7回	比較級と最上級	比較級と最上級について学ぶ。
第8回	El Día de Reyes	「主の御公現の祝日」に関する文章を読む。
第9回	受動文と不定人称文	受動文と不定人称文について学ぶ。
第10回	El Carnaval de Oruro	「オルロのカーニバル」に関する文章を読む。
第11回	推量と未来を表す時制、主格補語と目的格補語	推量と未来を表す時制、主格補語と目的格補語について学ぶ。
第12回	La Fiesta Nacional de la Vendemia	「ブドウ収穫祭」に関する文章を読む。
第13回	過去未来	過去未来の用法について学ぶ。
第14回	テストとまとめ	期末テストを実施し、この授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いるテキストの予習と復習は必ず行ってください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

村上陽子他『フィエスタ！ フィエスタ！ ―解きながら読むスペイン語圏の12ヶ月―』朝日出版社、2017年、2,530円

【参考書】

指定しませんが、必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、課題と期末テスト50%とします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規に授業を担当するためフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

必要に応じて学習支援システムを使用します。

【その他の重要事項】

準備学習、授業、各種テスト、課題実施時に生成AIを使用することはできません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course aims to develop students' ability to comprehend Spanish texts, building on their foundational knowledge of Spanish grammar and vocabulary. At the same time, students will study intermediate-level grammar and explore various aspects of contemporary Spanish-speaking societies, as well as the cultural and historical backgrounds that shape them.

【Learning objectives】

This course aims to develop students' ability to read and understand texts related to the culture and society of the Spanish-speaking world with the aid of a dictionary.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to complete both preparation and review of the textbook materials used in class. The standard time allocated for preparation and review combined is approximately one hour per class session.

【Grading criteria】

Grading will be based on the following components:

50% class participation and in-class performance, and 50% assignments and the final examination.

ARSA200LA（地域研究（ヨーロッパ） / Area studies(Europe) 200）

スペイン語の世界 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐々木 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

定員制(40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語圏で製作された映画を通じて、スペイン語圏の文化や社会、歴史について学びます。映画の中に出てくるスペイン語の台詞解説によって、スペイン語学習者にとっては、スペイン語による表現のさらなる理解につながります。また、スペイン語を学んでいない方にとっては、スペイン語の発音や文法に触れる絶好の機会となり、いずれにしても本授業は異文化理解の糸口となります。

【到達目標】

*日本で公開されたスペイン語圏の代表的な映画について、それぞれの内容と社会・文化・歴史的背景を踏まえて理解できるようになる。

*映画の内容について、自国とスペイン語圏の比較も交えた意見交換や議論ができるようになる。

*スペイン語圏の映画について、その魅力を他者に伝えることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture、Z その他 /Other

【授業の進め方と方法】

取り上げる映画についての講義授業の回と学生が演習・発表する授業の回を交互に行います。各回で取り上げる映画はすべて、大学の視聴覚ライブラリーに所蔵しているため、受講生は予習・復習のために各自で視聴することができます。映画はすべて日本語字幕が付いているものを活用し、スペイン語の台詞については丁寧な解説を行うため、スペイン語学習経験がなくても、受講に問題はありませぬ。スペイン語圏に関心がある方なら大歓迎です。

演習・発表の回では、受講生によるプレゼンテーションとグループ（ペア）ワークを行うことで、取り上げる映画作品とテーマについてさらに理解を深めたり、他人の意見によって新たな気づきを得ることができます。

リアクションペーパーへのコメントや質問には、授業内でフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の解説とオリエンテーション
2	ピクトル・エリセ監督作品（講義）	『ミツバチのささやき』『エル・スール』の中のスペイン語
3	ピクトル・エリセ監督作品（演習）	ピクトル・エリセ監督作品について学生による発表
4	ディズニーが描くメキシコ（講義）	『リメンバー・ミー』の台詞とスペイン語
5	ディズニーが描くメキシコ（演習）	『リメンバー・ミー』について学生による発表

6	カルロス・サウラ監督1（講義）	『カラスの飼育』『ゴヤ』の台詞とスペイン語
7	カルロス・サウラ監督2（演習）	『ゴヤ』とカルロス・サウラ監督について学生による発表
8	ペドロ・アルモドバル監督1（講義）	『ボルベール』の台詞とスペイン語
9	ペドロ・アルモドバル監督2（演習）	『ボルベール』とペドロ・アルモドバル監督について学生による発表
10	ギジェルモ・デル・トロ監督（講義）	『パンズ・ラビリンズ』の台詞とスペイン語
11	ギジェルモ・デル・トロ監督（演習）	『パンズ・ラビリンズ』とギジェルモ・デル・トロ監督について学生の発表
12	トマス・グティエレス監督（講義）	『低開発の記憶』『苺とチョコレート』の台詞とスペイン語
13	トマス・グティエレス監督（演習）	『苺とチョコレート』とトマス・グティエレス監督についての学生の発表
14	今学期の総括	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、計4時間を標準とします。授業で取り上げる映画作品は、AVライブラリーに所蔵しているため、授業時間外に各自でも視聴する事を強く勧めます。また、発表を担当する作品については映像資料だけでなく、文献を調べて十分な時間をかけて準備することが必要です。

【テキスト（教科書）】

教科書はとくに指定しません。必要に応じて資料を配付します。

【参考書】

柳原孝敦『映画に学ぶスペイン語』教育評論社、2021年、2,200円（税込）

【成績評価の方法と基準】

コメントシート・授業貢献度による平常点（60％）と発表（40％）をめやすに、総合的に評価します。3回以上の欠席は成績「不可」となります。なお、15分以上の遅刻は2回で1回分の欠席とみなします。

【学生の意見等からの気づき】

取り上げる映画について、最新情報も踏まえながら再検討します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

Learn about the culture, society, and history of Spanish-speaking countries through movies produced in them.

It also explains the Spanish lines that appear in the movies, which will help those who are learning Spanish to better understand Spanish expressions, and for those who have not learned Spanish, it will be a great opportunity to learn it.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policies)

Final grade will be calculated according to the following process reports (60%), and in-class contribution (40%).

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

スペイン語の世界 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐々木 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

定員制(40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語圏で製作された映画を通じて、スペイン語圏の文化や社会、歴史について学びます。映画の中に出てくるスペイン語の台詞解説によって、スペイン語学習者にとっては、スペイン語による表現のさらなる理解につながります。また、スペイン語を学んでいない方にとっては、スペイン語の発音や文法に触れる絶好の機会となり、いずれにしても本授業は異文化理解の糸口となります。

【到達目標】

*日本で公開されたスペイン語圏の代表的な映画について、それぞれの内容と社会・文化・歴史的背景を踏まえて理解できるようになる。
*映画の内容について、自国とスペイン語圏の比較も交えた意見交換や議論ができるようになる。

*スペイン語圏の映画について、その魅力を他者に伝えることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

取り上げる映画についての講義授業の回と学生が演習・発表する授業の回を交互に行います。 各回で取り上げる映画はすべて、大学の視聴覚ライブラリーに所蔵しているため、受講生は予習・復習のために各自で視聴することができます。映画はすべて日本語字幕が付いているものを活用し、スペイン語の台詞については丁寧な解説を行うため、スペイン語学習経験がなくても、受講に問題はありません。スペイン語圏に関心がある方なら大歓迎です。

演習・発表の回では、受講生によるプレゼンテーションとグループ（ペア）ワークを行うことで、取り上げる映画作品とテーマについてさらに理解を深めたり、他人の意見によって新たな気づきを得ることができます。

リアクションペーパーへのコメントや質問には、授業内でフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の解説とオリエンテーション
2	スペイン内戦1（講義）	『ペーパー・バード』の台詞とスペイン語
3	スペイン内戦2（演習）	『ペーパー・バード』についての学生による発表
4	スペイン内戦3（講義）	『キャロルの初恋』の台詞とスペイン語
5	スペイン・内戦（演習）	『キャロルの初恋』『蝶の舌』に関する学生による発表

6	チェ・ゲバラとキューバ革命1（講義）	『ゲバラとカストロ』『モーターサイクル・ダイアリーズ』の台詞とスペイン語
7	チェ・ゲバラとキューバ革命2（演習）	チェ・ゲバラとキューバ革命に関する学生による発表
8	ペドロ・アルモドバル監督作品（講義）	『オール・アバウト・マイ・マザー』の台詞とスペイン語
9	ペドロ・アルモドバル監督作品	アルモドバル監督作品についての学生による発表
10	新大陸とキリスト教（講義）	『ミッション』の解説
11	新大陸とキリスト教（演習）	『ミッション』について学生による発表
12	パブロ・ネルーダ（講義）	『イル・ポスティエノ』とネルーダの詩に関する解説
13	パブロ・ネルーダ（演習）	パブロ・ネルーダに関する学生による発表
14	今学期の総括	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、計4時間を標準とします。授業で取り上げる映画作品は、AVライブラリーに所蔵しているため、授業時間外に各自でも視聴する事を強く勧めます。また、発表を担当する作品については、映像資料だけでなく、文献を調べて十分な時間をかけて準備することが必要です。

【テキスト（教科書）】

指定のテキストはありません。必要に応じて授業内で資料を配付します。

【参考書】

柳原孝敦『映画に学ぶスペイン語』教育評論社、2021年、2,200円（税込）。

【成績評価の方法と基準】

コメントシートや授業への貢献度による平常点（60%）と発表（40%）をめやすに、総合的に評価します。3回以上の欠席は成績「不可」となります。なお、15分以上の遅刻は2回で1回分の欠席とみなします。

【学生の意見等からの気づき】

取り上げる映画について、受講生からの要望も取り入れます。

【その他の重要事項】

取り上げる映画の順番については、初回の授業内で受講生と相談して調整する場合があります。

【Outline (in English)】

(Course outline)

Learn about the culture, society, and history of Spanish-speaking countries through movies produced in them.

It also explains the Spanish lines that appear in the movies, which will help those who are learning Spanish to better understand Spanish expressions, and for those who have not learned Spanish, it will be a great opportunity to learn it.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policies)

Final grade will be calculated according to the following process reports (60%), and in-class contribution (40%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)			7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾
朝鮮語3 A I					
2017年度以降入学者					
梁 禮先					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月1/Mon.1					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつもの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入
・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に, 「読む, 書く, 聞く, 話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。					
【到達目標】			9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形（大過去形）, 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, へヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1
・授業で学んだ文の読み書きができ, 声に出して言えるほか, 自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
【主な授業方法】			11	第7課	指定詞の第III語基のまとめ, 指定詞の第III語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】			12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」か, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が, 後者は日本語を母語とする教員が, それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行ってきてもらい, 授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			13	第8課	間接話法（引用形）・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
なし /No					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			14	テスト	テスト
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
回	テーマ	内容	・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも, 恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが, ことばを覚えることにもなり, 「話す」第一歩となるのです。		
1	第1課	語基の復習, 話しことばと書きことば, 接続形「～するから」, こそあどことばの用法	・本授業の準備・復習時間は, 合計1時間以上を標準とします。		
2	第1課	ピウプ不規則用言, 「くださる」と「さしあげる」, 「～してくださる」と「～してさしあげる」, よく用いられる謙讓形, 「なる」の用法・その1	【テキスト（教科書）】		
3	第2課	動作終了後の「～している」, 禁止形（勧誘と命令の否定形）, 長い不可能形	・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社		
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」, 勧誘, 命令をあらわすていねいな形, 漢数字の粒読み, 選択をあらわす助詞「～に」, 「なる」の用法・その2	【参考書】		
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か, ～（の）か」, 強調の表現「～のだ」, 接続形「～するように」, 存在詞と語尾の組み合わせ	・教科書によって文法の説明方式が異なるので, 指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。		
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形, 方向をあらわす動詞, 意思, 推量をあらわす「～するつもりだから, ～するはずだから」, 助詞「～で, ～に」			

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行いますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）			7	第12課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
朝鮮語3 A II			8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
梁 禮先			9	第13課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～を通して」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月1/Mon.1			10	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか
単位数：1単位			11	第14課	動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形
その他属性：			12	第15課	用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第III語基の書きことば、年月日と週の言い方
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			13	第15課	テスト
・春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。			14	テスト	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【到達目標】					・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずするようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。					・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】					【テキスト（教科書）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社
【主な授業方法】					【参考書】
L 講義 /Lecture					・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。
【授業の進め方と方法】					【成績評価の方法と基準】
・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行ってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。					・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】					【学生の意見等からの気づき】
なし /No					・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて今回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】					・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その2、第III語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」			
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略			
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第III語基			
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思ふ」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2			
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2			
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」			

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)			7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾
朝鮮語3 A I					
2017年度以降入学者					
梁 禮先					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火1/Tue.1					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつもの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入
・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に, 「読む, 書く, 聞く, 話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。					
【到達目標】			9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったたりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形（大過去形）, 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, へヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1
・授業で学んだ文の読み書きができ, 声に出して言えるほか, 自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1					
【主な授業方法】			11	第7課	指定詞の第III語基のまとめ, 指定詞の第III語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】			12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」か, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が, 後者は日本語を母語とする教員が, それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行ってきてもらい, 授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			13	第8課	間接話法（引用形）・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
なし /No					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			14	テスト	テスト
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
回	テーマ	内容	・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。		
1	第1課	語基の復習, 話しことばと書きことば, 接続形「～するから」, こそあどことばの用法	・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。		
2	第1課	ピウプ不規則用言, 「くださる」と「さしあげる」, 「～してくださる」と「～してさしあげる」, よく用いられる謙讓形, 「なる」の用法・その1	【テキスト（教科書）】		
3	第2課	動作終了後の「～している」, 禁止形（勧誘と命令の否定形）, 長い不可能形	・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社		
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」, 勧誘, 命令をあらわすていねいな形, 漢数字の粒読み, 選択をあらわす助詞「～に」, 「なる」の用法・その2	【参考書】		
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か, ～（の）か」, 強調の表現「～のだ」, 接続形「～するように」, 存在詞と語尾の組み合わせ	・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。		
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形, 方向をあらわす動詞, 意思, 推量をあらわす「～するつもりだから, ～するはずだから」, 助詞「～で, ～に」			

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行いますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）			7	第12課	「～する考え、～するつもり」、 「～と考える、～と思う」、 「～のため」、婉曲をあらわす形のその ほかの意味・その1、「～して」 の話しことば、親族名称とその 尊敬形、助詞の尊敬形、「くれ る、～してくれる」の間接話法、 間接話法の話しことばと省略形、 ハンダ体平叙形の用法、遠回し な希望の表現、「～とおりに、～ するとおりに」
朝鮮語3 A II			8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、 「～わけだ、～ようなものだ」
梁 禮先			9	第13課	漢字の音読みと訓読み、形容詞 から動詞をつくる・その2、疑 問詞につく「～か」、もう1つの 過去連体形・その2、助詞「～か ら」、接続形「～するやいなや」 「～することになる」、副詞形を 作る「～して」、「～通って」、 他動詞に用いられる「～して」、 動作の経過をあらわす「～して いく、～してくる」、「～のあい だ、～するあいだ」
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火1/Tue.1 単位数：1単位 その他属性：			10	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの 意味・その2、単位とともに用 いられる漢数字と固有数字、「～ にあたいする」、体験をあらわす 形・その1、否定の表現いくつか 動作の完了を強調する形、「～し ようかと思う」、体験をあらわす 形・その2、「～だけだ」、「～し なければならない」の短縮形 用言の体言形・その2、選択を あらわす「～するか～する、～ したり～する」、合成動詞と接続 形の「～して」をともに用いる 動詞、「する」の第III語基の書き ことば、年月日と週の言い方 テスト
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 ・春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的 に向上させることを目的とします。			11	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの 意味・その2、単位とともに用 いられる漢数字と固有数字、「～ にあたいする」、体験をあらわす 形・その1、否定の表現いくつか 動作の完了を強調する形、「～し ようかと思う」、体験をあらわす 形・その2、「～だけだ」、「～し なければならない」の短縮形 用言の体言形・その2、選択を あらわす「～するか～する、～ したり～する」、合成動詞と接続 形の「～して」をともに用いる 動詞、「する」の第III語基の書き ことば、年月日と週の言い方 テスト
【到達目標】 ・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で 文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につ けていくことが目標です。			12	第15課	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 ・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずあ るようになしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがら ずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、 「話す」第一歩となるのです。 ・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学 部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、 経営学部：DP1			13	第15課	【テキスト（教科書）】 ・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社
【主な授業方法】 L 講義 /Lecture			14	テスト	【参考書】 ・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに 集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお 薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。
【授業の進め方と方法】 ・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行 ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語 とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課 の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行ってきてもいい、授 業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要 に応じて独自の教材も併用します。			【成績評価の方法と基準】 ・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。な お、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわら ず不合格とすることがあります。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし / No			【学生の意見等からの気づき】 ・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習につ いては触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて て次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語 を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにし てください。 ・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサ イトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答 をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分 で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取り の力も上達するはずです。		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その2、第III語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」			
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略			
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第III語基			
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思 う」、「～について、～に関し て」、もう1つの過去連体形・そ の1、用言の体言形を用いた表 現・その2			
5	第11課	手段、状況をあらわす「～し て」、「～そうにみえる」、「～ のため、～のせい」、合成語の濃音 化・その2			
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、 意向をたずねる話しことば、タ メグチ疑問形の話しことば、「～ してから」			

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)			7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾
朝鮮語3 A I					
2017年度以降入学者					
梁 禮先					
開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 火2/Tue.2					
単位数: 1単位					
その他属性:					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】			8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつもの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入
・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に, 「読む, 書く, 聞く, 話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。					
【到達目標】			9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形 (大過去形), 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, へヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1
・授業で学んだ文の読み書きができ, 声に出して言えるほか, 自分で文を作り出す力 (= 言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1					
【主な授業方法】			11	第7課	指定詞の第III語基のまとめ, 指定詞の第III語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】			12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」か, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が, 後者は日本語を母語とする教員が, それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行って来てもらい, 授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。					
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】			13	第8課	間接話法 (引用形)・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
なし /No					
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】			14	テスト	テスト
なし /No					
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face			【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】		
回	テーマ	内容	・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも, 恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが, ことばを覚えることにもなり, 「話す」第一歩となるのです。		
1	第1課	語基の復習, 話しことばと書きことば, 接続形「～するから」, こそあどことばの用法	・本授業の準備・復習時間は, 合計1時間以上を標準とします。		
2	第1課	ピウブ不規則用言, 「くださる」と「さしあげる」, 「～してくださる」と「～してさしあげる」, よく用いられる謙讓形, 「なる」の用法・その1	【テキスト (教科書)】		
3	第2課	動作終了後の「～している」, 禁止形 (勧誘と命令の否定形), 長い不可能形	・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社		
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」, 勧誘, 命令をあらわすていねいな形, 漢数字の粒読み, 選択をあらわす助詞「～に」, 「なる」の用法・その2	【参考書】		
5	第3課	文中の疑問形「～する (の) か, ～ (の) か」, 強調の表現「～のだ」, 接続形「～するように」, 存在詞と語尾の組み合わせ	・教科書によって文法の説明方式が異なるので, 指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。		
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形, 方向をあらわす動詞, 意思, 推量をあらわす「～するつもりだから, ～するはずだから」, 助詞「～で, ～に」			

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行いますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）			7	第12課	「～する考え、～するつもり」、 「～と考える、～と思う」、 「～のため」、婉曲をあらわす形のその ほかの意味・その1、「～して」 の話しことば、親族名称とその 尊敬形、助詞の尊敬形、「くれ る、～してくれる」の間接話法、 間接話法の話しことばと省略形、 ハンダ体平叙形の用法、遠回し な希望の表現、「～とおりに、～ するとおりに」
朝鮮語3 A II			8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、 「～わけだ、～ようなものだ」
梁 禮先			9	第13課	漢字の音読みと訓読み、形容詞 から動詞をつくる・その2、疑 問詞につく「～か」、もう1つの 過去連体形・その2、助詞「～か ら」、接続形「～するやいなや」 「～することになる」、副詞形を 作る「～して」、「～通って」、 他動詞に用いられる「～して」、 動作の経過をあらわす「～して いく、～してくる」、「～のあい だ、～するあいだ」
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火2/Tue.2			10	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの 意味・その2、単位とともに用 いられる漢数字と固有数字、「～ にあたいする」、体験をあらわす 形・その1、否定の表現いくつか 動作の完了を強調する形、「～し ようかと思う」、体験をあらわす 形・その2、「～だけだ」、「～し なければならない」の短縮形 用言の体言形・その2、選択を あらわす「～するか～する、～ したり～する」、合成動詞と接続 形の「～して」をともに用いる 動詞、「する」の第III語基の書き ことば、年月日と週の言い方
単位数：1単位			11	第14課	テスト
その他属性：			12	第15課	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 ・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずあ るようになしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがら ずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、 「話す」第一歩となるのです。 ・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 ・春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的 に向上させることを目的とします。			13	第15課	【テキスト（教科書）】 ・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社
【到達目標】 ・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で 文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につ けていくことが目標です。			14	テスト	【参考書】 ・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに 集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお 薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学 部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、 経営学部：DP1					【成績評価の方法と基準】 ・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。な お、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわら ず不合格とすることがあります。
【主な授業方法】 L 講義 /Lecture					【学生の意見等からの気づき】 ・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習につ いては触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて て次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語 を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにし てください。 ・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサ イトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答 をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分 で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取り の力も上達するはずです。
【授業の進め方と方法】 ・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行 ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語 とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課 の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行ってきてもいい、授 業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要 に応じて独自の教材も併用します。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし / No					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・ その2、第III語基と合成動詞、 「～しはじめる」、書きことばで の接続形「～し」			
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し 手の主張をあらわす形、母音 「エ」の省略			
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわ す助詞、「～してから」、間接話 法と第III語基			
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、 疑問詞と「～も」、「～だと思 う」、「～について、～に関し て」、もう1つの過去連体形・そ の1、用言の体言形を用いた表 現・その2			
5	第11課	手段、状況をあらわす「～し て」、「～そうにみえる」、「～の ため、～のせい」、合成語の濃音 化・その2			
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、 意向をたずねる話しことば、タ メグチ疑問形の話しことば、「～ してから」			

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker（韓国留学生）と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第1課	自己紹介
	文型・会話練習	
2	第1課	ましょうか・てください
	文型・会話練習	
3	第1・2課	ましょう・たい、たがる・から、
	歌	てくて
4	第2課	ウ不規則活用・できない
	文型・会話練習	
5	第2課	ことにする・電話番号
	文型・会話練習	
6	第3課	ば、たら、と
	文型・会話練習	
7	第3課	てみる・ますね、ですね
	文型・会話練習	
8	第3・4課	連体形
	文型・会話練習	
9	小試験 第4課	小試験1- 3課
	文型・会話練習	
10	第4課	ようと・ばいい
	文型・会話練習	でしょうか、ましょうか・んで
	文型・会話練習	すよ
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	第4課	たあと・ますよ、ますからね
	文型・会話練習	
13	第5課	ビウップ不規則活用・んですが
	文型・会話練習	
14	期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくる。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は合計2時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト70%（小試験、会話、期末試験）、課題10%、平常点20%（参加度、積極性など）

期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。

欠席4回以上で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので、留学生の協力を得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。

正しい発音ができるようになる。

native speakerと簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1 単語と文型を予習する。

2 文型練習をする。

3 会話練習をする。

4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。

5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第5課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シロッ不規則活用
2	第5課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第6課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第6課 文型・会話練習	ながら・まだしていな・にくい
5	第6課・7課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第7課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第7課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	小試験 第8課 読解 文型・会話練習	小試験5- 7課 仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第8課 文型・会話練習	するから(意思)・ばいいと思う
10	第8課・9課 文型・会話練習	ていて、する途中で なければならない 会話
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	第9課 文型・会話練習	てはいけない ので
13	第9課 文型・会話練習	ている、とてもいい、ますが

14 期末試験

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。

辞書を使って読解プリントを訳してこること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

本授業の準備・復習時間は2時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト70%（小試験、会話、期末試験）、課題10%、平常点20%

期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。

欠席4回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅠ 2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに出てくる約1200語の単語をもとに、初級後半から中級レベルの基礎文法を着実に学び、「話す、聞く、読む、書く」能力の総合的な実力向上を目指します。

【到達目標】

学んだ内容を使って簡単な会話ができるようになること、作文が書けるようになること、読む力をつけること、聞き取り能力の向上を図ることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語は調べて授業にのぞんでください。習った表現を使って会話練習をしたり、作文練習や翻訳する練習をしたりします。テキストの練習問題等は課題とし、授業内で答え合わせと解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課 文法の説明、練習 問題 読解、会話	逆接「～けれど」、並列、順序 「～して」、慣用句
2	第2課 文法の説明、練習 問題 読解、会話	理由・前提動作「～ので、～のために」、自己紹介「～といいます」、副詞
3	第3課 文法の説明、練習問題	聞き返し「～ですって？」
4	第3課 読解、会話	感嘆・発見「～ですね、～ますね」、助詞「～しか」
5	第4課 文法の説明、練習問題	不可能「～できない」
6	第4課 読解、会話	前提・根拠「～なんですよ」
7	第5課 文法の説明、練習問題	仮定「～ならば」、慣用表現
8	第5課 読解、会話	勧誘・命令「～しましょう」、「～しなさい」
9	第6課 文法の説明、練習問題	連用形、連用形を含む慣用表現
10	第6課 読解、会話	ティグツ変則
11	第7課 文法の説明、練習問題	連体形①動詞の現在・過去・未来連体形

12	第7課 読解、会話	助詞「～でも」
13	第8課 文法の説明、練習問題	動詞の過去連体形を含む慣用表現
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

金子子著『三訂版 バランセ韓国語 中級 -ハングル能力検定試験4級完全準拠-』朝日出版社

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

テキストの音読練習を繰り返し行うことで言葉のリズムやイントネーションに慣れましょう。そうした練習を積み重ねつつ、話す・聞く・読む・書く能力をつけていきます。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

Based on approximately 1,200 words in the text, students will steadily learn basic grammar at the late beginner to intermediate level, aiming to improve their overall ability in speaking, listening, reading, and writing.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to be able to speak simple conversational Korean using acquired knowledge and contents, to write compositions, to equip for reading ability, and listening comprehension.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに出てくる約1200語の単語をもとに、初級後半から中級レベルの基礎文法を着実に学び、「話す、聞く、読む、書く」能力の総合的な実力向上を目指します。

【到達目標】

春学期に使用したテキストの後半部分を進めていきます。学んだ内容を使って簡単な会話ができるようになること、作文が書けるようになること、読む力をつけること、聞き取り能力の向上を図ることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語は調べて授業にのぞんでください。習った表現を使って会話練習をしたり、作文練習をしたりします。テキストの練習問題等は課題とし、授業内で答え合わせと解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課 文法の説明、練習問題 読解、会話	連体形②形容詞、指定詞の現在・過去・未来連体形、許可「～してもよい」
2	第10課 文法の説明、練習問題 読解、会話	未来連体形のつく語尾、シオッ変則
3	第11課 文法の説明、練習問題	未来連体形を含む慣用表現
4	第11課 読解、会話	助詞「～や」、当然・義務「～しなければならない」
5	第12課 文法の説明、練習問題	命令「～してください」
6	第12課 読解、会話	ル変則
7	第13課 文法の説明、練習問題	理由「～なので、だから」
8	第13課 読解、会話	ビウッ変則
9	第14課 文法の説明、練習問題	ハンダ体の平叙形、引用文
10	第14課 読解、会話	禁止「～してはいけない」

11	第15課 文法の説明、練習問題	へ体（バンマル）、勧誘形の引用文
12	第15課 読解、会話	端折り文「～でしてね」
13	第16課 文法の説明、練習問題 読解、会話	経験「～したことがある、ない」、可能・不可能「～できる、できない」
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

金京子著『三訂版 パランセ韓国語 中級-ハングル能力検定試験4級完全準備-』朝日出版社

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

テキストの音読練習を繰り返す行うことで言葉のリズムやイントネーションに慣れましょう。そうした練習を積み重ねつつ、話す・聞く・読む・書く能力をつけていきます。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

Based on approximately 1,200 words in the text, students will steadily learn basic grammar at the late beginner to intermediate level, aiming to improve their overall ability in speaking, listening, reading, and writing.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to be able to speak simple conversational Korean using acquired knowledge and contents, to write compositions, to equip for reading ability, and listening comprehension.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker（韓国留学生）と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第1課	自己紹介
	文型・会話練習	
2	第1課	ましょうか・てください
	文型・会話練習	
3	第1・2課	ましょう・たい、たがる・から、
	歌	てくて
4	第2課	ウ不規則活用・できない
	文型・会話練習	
5	第2課	ことにする・電話番号
	文型・会話練習	
6	第3課	ば、たら、と
	文型・会話練習	
7	第3課	てみる・ますね、ですね
	文型・会話練習	
8	第3・4課	連体形
	文型・会話練習	
9	小試験 第4課	小試験1- 3課
	文型・会話練習	
10	第4課	ようと・ばいい
	文型・会話練習	でしょうか、ましょうか・んで
	文型・会話練習	すよ
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	第4課	たあと・ますよ、ますからね
	文型・会話練習	
13	第5課	ビウップ不規則活用・んですが
	文型・会話練習	
14	期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくる。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は合計2時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト70%（小試験、会話、期末試験）、課題10%、平常点20%（参加度、積極性など）

期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。

欠席4回以上で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので、留学生の協力を得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。

正しい発音ができるようになる。

native speakerと簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1 単語と文型を予習する。

2 文型練習をする。

3 会話練習をする。

4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。

5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第5課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シロッ不規則活用
2	第5課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第6課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第6課 文型・会話練習	ながら・まだしていな・にくい
5	第6課・7課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第7課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第7課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	小試験 第8課 読解 文型・会話練習	小試験5- 7課 仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第8課 文型・会話練習	するから(意思)・ばいと思う
10	第8課・9課 文型・会話練習	ていて、する途中で なければならない 会話
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	第9課 文型・会話練習	てはいけない ので
13	第9課 文型・会話練習	ている、とてもいい、ますが

14 期末試験

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。

辞書を使って読解プリントを訳してくること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

本授業の準備・復習時間は2時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト70%（小試験、会話、期末試験）、課題10%、平常点20%

期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。

欠席4回以上で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

朝鮮語 3 B I

2017年度以降入学者

李 薰臣

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

单位数：1 单位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は朝鮮語ⅠとⅡで学んだ内容を踏まえながら、初中級レベルの文法・句型を学習する。日常会話に使える豊富な表現を学び、より実践的なコミュニケーション能力を向上させる。

- ・様々な語尾や表現を用いてより幅広い朝鮮語が話せるようになる。
 - ・読む・書く・聞く・話す練習を通じて朝鮮語を総合的に学習する。
- 韓国文化の理解にも繋がる。
- ・TOPIK(韓国語能力試験)2級および3級レベルの実力を身につけることを目指す。

【到達目標】

- ・朝鮮語の初中級の文法の仕組みを理解し、辞書を活用して簡単な文章を読み、書くことができる運用力と知識を身につける。
- ・韓国の言語や文化に対する関心を高め、コミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- 連音や激音、濃音など基本的な発音の変化と違いを理解している。
- ・辞書を用いて初中級レベルの平易な文章を読むことができる。
- ・学習した文法と語句を活用して短い文を構成し、自分の考えを表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
 などの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
 に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・語彙の予習：新出語彙の意味と発音を事前に確認しておくこと。
- ・目標表現の学習：各回の主要な文法・表現について解説し、定着のための練習を行う。
- ・コミュニケーション練習：学んだ表現を用い、ペアワークやリアクションペーパーを通じて実践的な会話練習を行う。
- ・本文（スキット）の音読：会話文の解説後、音読練習を通じて正しい発音規則を習得する。
- ・確認テスト：各課の終了時に単語テストを実施し、理解度を確認する。
- ・課題提出：教科書の練習問題を宿題として課し、提出を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	※ 初回のガイダンス 第1課 何年度入学ですか？ (☐ ☐☐☐ ☐☐?)	・「☐☐☐体」のおさらい、「☐☐☐体」 学習
2	第1課 何年度入学ですか？ (☐ ☐☐☐ ☐☐?)	・「☐☐☐☐体」 練習 ・指定詞の活用 (5ページ) 学習 ・その他の文法学習 ・1課の復習 び練習問題
3	第2課 韓国語を一生懸命勉強するつもりです。(☐☐☐☐☐ ☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐)	・-(☐)☐ ☐☐☐☐ ・-☐

4	第2課 韓国語を一生懸命勉強するつもりです。(○○○○ ○○○ ○○○○.)	・ -(으)ㄴ : 学習・会話練習 ・ 2課の復習
5	第3課 あの靴、ちょっと見てください。(○○○○ ○○○○.)	・ -ㄴ ・ (으)ㄴ (形容詞の連体形の練習)
6	第3課 あの靴、ちょっと見てください。(○○○○ ○○○○.)	・ -ㄴ/으 ㄴ ・ 3課の復習
7	第4課 よく行く韓国料理のお店があれば紹介してください。(○○○○ ○○○○ ○○○○.)	・ -(으)ㄴ (条件) ・ -ㄴ (動詞・存在詞の現在連体形) ・ -ㄴ ㄴ (否定形)
8	第4課 よく行く韓国料理のお店があれば紹介してください。(○○○○ ○○○○ ○○○○.)	・ 4課の復習 《付録》 「ㄴ」語幹の用言活用、・ 【読解練習】 ㄴ
9	第5課一緒に撮った写真を添付しました。(○○○○ ○○○○ ○○○○.)	・ -(으)ㄴ (動詞の過去連体形) 学習 ・ -ㄴ
10	第5課一緒に撮った写真を添付しました。(○○○○ ○○○○ ○○○○.)	・ ㄴ変則用言の活用の学習 ・ 5課の復習
11	第6課 発表の時間に遅れてすみません。(○○○○ ○○○○ ○○○○.)	・ -ㄴ, -(으)ㄴ 尊敬の接尾辞 ・ -ㄴ/으/ㄴ 理由・原因
12	第6課 発表の時間に遅れてすみません。(○○○○ ○○○○ ○○○○.)	・ -(으)ㄴ (動詞の未来連体形) ・ -ㄴ ㄴ (否定形) ・ 6課の復習 《付録》 【聞いてみよう2】、【読解練習】 ㄴ ㄴ ㄴ ㄴ ㄴ ㄴ
13	まとめ	第1課から第6課まで総おさいを実施する。
14	期末試験	筆記試験と会話試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

- ・準備学習：各課の新出語彙を調べておく。
- ・復習・宿題：各課の練習問題を解く。単語テストを準備する。

【テキスト（教科書）】

『改訂版・韓国語の世界へ（初中級編）ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー』

李潤玉の他4人

朝日出版 ISBN(13桁) 978-4-255-55644-4

第1回目から授業が開始されるので、必ずテキストを購入して予習しておくこと。

【参考書】

韓国語能力試験 (TOPIK) ウェブサイト <https://www.kref.or.jp/topik/>

【成績評価の方法と基準】

平常点・単語テスト・課題など40%、期末試験60%。60点以上を合格点とする。

※5回以上の欠席の場合は単位取得できない。時刻・早退3回は欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

特にない。

【Outline (in English)】

Course Description: Building upon the foundations laid in Korean I and II, this course focuses on intermediate-level vocabulary and expressions. Students will learn a rich variety of practical phrases used in daily life to enhance their communicative competence in real-world situations.

Learning Objectives:

Expand Linguistic Range: Master various sentence endings and expressions to communicate more fluently and naturally in Korean.

Comprehensive Skill Development: Improve overall proficiency through integrated practice in reading, writing, listening, and speaking.

Test Preparation: Aim to achieve proficiency equivalent to TOPIK (Test of Proficiency in Korean) Levels 2 and 3.

朝鮮語 3 B II

2017年度以降入学者

李 蕙臣

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

单位数：1 单位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は朝鮮語ⅠとⅡで学んだ内容を踏まえながら、初中級レベルの表現や語彙を学習する。日常会話に使える豊富な表現を学び、より実践的なコミュニケーション能力を向上させる。

- ・様々な語尾や表現を用いてより幅広い朝鮮語が話せるようになる。
- ・読む・書く・聞く・話す練習を通じて朝鮮語を総合的に学習する。
- ・TOPIK(韓国語能力試験)2級および3級レベルの実力を身につけることを目指す。

【到達目標】

- ・朝鮮語の初中級の文法の仕組みを理解し、辞書を活用して簡単な文章を読み、書くことができる運用力と知識を身につける。
- ・韓国の言語や文化に対する関心を高め、コミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- ・連音や激音、濃音など基本的な発音の変化と違いを理解している。
- ・辞書を用いて初中級レベルの平易な文章を読むことができる。
- ・学習した文法と語句を活用して短い文を構成し、自分の考えを表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
などの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 / Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・語彙の予習：新出語彙の意味と発音を事前に確認しておくこと。
- ・目標表現の学習：各回の主要な文法・表現について解説し、定着のための練習を行う。
- ・コミュニケーション練習：学んだ表現を用い、ペアワークやリアクションペーパーを通じて実践的な会話練習を行う。
- ・本文（スキット）の音読：会話文の解説後、音読練習を通じて正しい発音規則を習得する。
- ・確認テスト：各課の終了時に単語テストを実施し、理解度を確認する。
- ・課題提出：教科書の練習問題を宿題として課し、提出を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課 暑い夏にサムゲタンを食べます。 (☐ ☒ ☒ ☒ ☒ ☐ ☒ .	※ 前期のおさらい ・(☒) ☒ ☒ ☒ (経験の有無) ・- ☒ ☒ (進行)
2	第7課 暑い夏にサムゲタンを食べます。 (☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☐ ☒ .	・「 ☒ 」変則活用の練習 ・7課の復習 ・単語テスト
3	第8課 重くないので一人です。よ。 (☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ .	・- ☒ (☒ ☒ (状態) ・-(☒) ☒ (理由)
4	第8課 重くないので一人です。よ。 (☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ .	・-(☒) ☒ ☒ (意志) ・8課の復習 ・単語テスト 【読解練習】 ☒ ☒ ☒ ☒

5	第9課 パソコン ちょっと借りていい ですか? (☒☒☒ ☒ ☒ ☒☒☒ ☒☒?)	・-☒☒, (☒)☒ ☒ (前置き、 理由、逆説) ・-☒☒/☒☒ ☒☒ (許可、譲歩)
6	第9課 パソコン ちょっと借りていい ですか? (☒☒☒ ☒ ☒ ☒☒☒ ☒☒?)	・「☒」変則活用の学習・練習 ・9課の復習 ・単語テスト
7	第10課 リムジンバ スの方がいいでしょ うね。(☒☒☒ ☒☒ ☒ ☒☒☒☒?)	・-☒ (意志・推量) ・-☒☒☒(理由、前置き)
8	第10課 リムジンバ スの方がいいでしょ うね。(☒☒☒ ☒☒ ☒ ☒☒☒☒?)	・-☒☒/☒☒ ☒☒ (義務・必要) ・10課の復習 ・単語テスト 【読解練習】 ☒☒☒ ☒☒
9	第11課 陶磁器も 作ってみましたか? (☒☒☒ ☒☒☒ ☒☒ ☒?)	・-(☒) ☒☒☒? (意向、問い合 わせ) ・-☒/☒ ☒☒ (試み、経験)
10	第11課 陶磁器も 作ってみましたか? (☒☒☒ ☒☒☒ ☒☒ ☒?)	・-(☒)☒ ☒☒☒/ ☒☒ (可能・ 不可能) ・11課の復習 ・単語テスト
11	第12課 韓国の会社 に就職しようと思っ ています。(☒☒ ☒☒ ☒ ☒☒☒☒☒ ☒☒.)	・(連体形・現在・過去・未来) ☒ ☒☒ (するようだ、したよ うだ、しそうだ) ・-(☒)☒☒ ☒☒ (意図)
12	第12課 韓国の会社 に就職しようと思っ ています。(☒☒ ☒☒ ☒ ☒☒☒☒☒ ☒☒.)	・-☒ ☒☒ (禁止) ・12課の復習 ・単語テスト 【読解練習】 ☒☒☒☒
13	まとめ	第7課から第12課まで総おさら いを実施する。
14	期末試験	筆記試験と会話試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『改訂版・韓国語の世界へ(初中級編)ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー』
李潤玉の他4人

朝日出版 ISBN(13桁) 978-4-255-55644-4

【参考書】

韓国語能力試験 (TOPIK) ウェブサイト <https://www.kref.or.jp/topik/>

【成績評価の方法と基準】

平常点・単語テスト・課題など40%、期末試験60%。60点以上を合格点とする。

※5回以上の欠席の場合は単位取得できない。時刻・早退3回は欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

Course Description: Building upon the foundations laid in Korean I and II, this course focuses on intermediate-level vocabulary and expressions. Students will learn a rich variety of practical phrases used in daily life to enhance their communicative competence in real-world situations.

Learning Objectives:

Expand Linguistic Range: Master various sentence endings and expressions to communicate more fluently and naturally in Korean.

Comprehensive Skill Development: Improve overall proficiency through integrated practice in reading, writing, listening, and speaking.

Test Preparation: Aim to achieve proficiency equivalent to TOPIK (Test of Proficiency in Korean) Levels 2 and 3.

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）

朝鮮語3BⅠ

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ朝鮮語の文の構造と基本的語彙の定着を深め、応用力を高めます。

【到達目標】

初級で学習した文章より長く難解な文章を読めるようになることが目標です。初級で学んだ文法に加えて読解に必要な文型・文法を学び、その中で語彙の使い方や機能を理解して読解力をつけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書を中心に進めます。パワーポイントで文法を説明します。例文を通して用言の法則を理解し、すぐに練習問題をやってみます。「読んでみよう」の文章を読んで、長い文章を読解します。類似した問題をワークブックの中でもやってみます。学んだ内容は次回の授業で小テストを課します。範囲は授業内で予告し、Hoppiiでもお知らせします。全文朝鮮語で書く形式です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	同調表現・許可用言・用言四品詞の連体形全般
2	第2課	動詞の現在連体形・～て行く/て来る・いろいろな助詞
3	第3課	動詞の過去連体形・指定詞の連体形・経験表現
4	第4課	動詞の未来連体形・「することに」決心の表現
5	第5課	形容詞の連体形・ヒウッ不規則活用・連体形のまとめ
6	第6課	未来表現・推量表現（一・二・三人称）
7	第7課	一人称の意思表現・「～く」形容詞の副詞化・「～ように」動詞の副詞化転換
8	第8課	動作と状態の完了持続表現
9	第9課	敬語表現・名詞の敬語
10	第10課	前提・婉曲法の終止形・感嘆表現
11	第11課	推測・印象・婉曲表現
12	まとめと総括その1	連体形・意思未来の総括と解説
13	まとめと総括その2	敬語・推量・婉曲表現の総括と解説
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

声を出して何度も繰り返し読みましょう。各ページにQRコードの音声がついています。何度も聴いて同じように発音してみましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

郭 喜碩・河合紀子『文型で学ぶ韓国語初級Ⅱ』Nida出版社、2025年、2,200円

『文型で学ぶ韓国語初級Ⅱワークブック』Nida出版社、2025年、1,540円 ウェブ書店ではなく、大学生協で購入することを強くお勧めします。初回授業から使用しますので、第一回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください。

【参考書】

指定した教材に集中してください。一年次の教材を参考にしてください。

【成績評価の方法と基準】

毎回の小テストを12回(初回と最終回は実施されません)を20点に換算して、期末試験を80点とします。合計点数100点が満点で、60点以上で合格になります。小テストの範囲は授業後にHoppiiでお知らせします。授業の全回数の3分の1以上の欠席（5回以上）で試験を受けられなくなります。公欠（感染症・忌引き・その他公的理由）は学校で決められた書式の用紙を提出した場合のみ認めます。20分以上の遅刻は欠席とみなします。授業態度に問題がある場合は出席回数が足りていても不合格になる場合があります。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の授業進度と小テストの範囲はHoppiiでお知らせしますので、よく確認してください。

【その他の重要事項】

授業を欠席しないように心がけてください。毎回の授業に積極的に取り組んでほしいと思います。授業に出席しても座っているだけで教科書を広げない、イヤホンをつけてスマホの動画を視聴しているなどの行為は出席していると見なされません。毎時間の授業の後でよく復習して、理解できていないところがあったら次回授業で質問してください。分からないことを溜めないように少しずつでも着実な学習を積み上げていってください。

【Outline (in English)】

Students will deepen their knowledge of the Korean sentence structure and basic vocabulary learned in the beginner's class, and improve their application skills.

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次と春学期までに学んだ朝鮮語の文の構造と基本的語彙の定着を深め、応用力を高めます。

【到達目標】

これまで学習した文章より長く難解な文章を読めるようになることが目標です。初級で学んだ文法に加えて読解に必要な文型・文法を学び、その中で語彙の使い方や機能を理解して読解力をつけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

教科書を中心に進めます。パワーポイントで文法を説明します。例文を通して用言の法則を理解し、すぐに練習問題をやってみます。「読んでみよう」の文章を読んで、長い文章を読解します。類似した問題をワークブックの中でもやってみます。学んだ内容は次の授業で小テストを課します。範囲は授業内で予告し、Hoppiiでもお知らせします。全文朝鮮語で書く形式です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の例文・文法項目の確認、本文読み合わせ
2	第12課	意思・推測表現
3	第13課	当為表現
4	第14課	ハンダ体（下称体）
5	第14課	間接話法－平叙文－
6	第14課	間接話法を含む文章講読
7	第15課	間接話法－疑問文－
8	第15課	間接話法を含む文章講読
9	第16課	間接話法－命令文－
10	第16課	間接話法を含む文章講読
11	第17課	間接話法－勧誘文－
12	第17課	間接話法を含む文章講読
13	各課のまとめ	間接話法全般のまとめと解説
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

声を出して何度も繰り返し読みましょう。各ページにQRコードの音声がついています。何度も聴いて同じように発音してみましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

郭喜碩・河合紀子『文型で学ぶ韓国語初級Ⅱ』Nida出版社、2025年、2,200円『文型で学ぶ韓国語初級Ⅱワークブック』Nida出版社、2025年、1,540円 ウェブ書店ではなく、大学生協で購入することを強くお勧めします。初回授業から使用しますので、第一回の授業までに必ず教科書を準備しておいてください。

【参考書】

指定した教材に集中してください。一年次の教材を参考にしてください。

【成績評価の方法と基準】

毎回の小テストを12回（初回と最終回は実施されません）を20点に換算して、期末試験を80点とします。合計点数100点が満点で、60点以上で合格になります。小テストの範囲は授業後にHoppiiでお知らせします。授業の全回数の3分の1以上の欠席（5回以上）で試験を受けられなくなります。公欠（感染症・忌引き・その他公的理由）は学校で決められた書式の用紙を提出した場合のみ認めます。20分以上の遅刻は欠席とみなします。授業態度に問題がある場合は出席回数が足りていても不合格になる場合があります。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の授業進度と小テストの範囲はHoppiiでお知らせしますので、よく確認してください。

【その他の重要事項】

授業を欠席しないように心がけてください。毎回の授業に積極的に取り組んでほしいと思います。授業に出席しても座っているだけで教科書を広げない、イヤホンをつけてスマホの動画を視聴しているなどの行為は出席していると見なされません。毎時間の授業の後でよく復習して、理解できていないところがあったら次回授業で質問してください。分からないことを溜めないように少しずつでも着実な学習を積み上げていってください。

【Outline (in English)】

Students will deepen their knowledge of the Korean sentence structure and basic vocabulary learned in the beginner's class, and improve their application skills.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅠ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙を土台にして、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	第3課	文中の疑問形、強調表現
7	中間試験	中間試験
8	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課(1/2)	用言の名詞形、「～することはする」、「～しようと思う」
12	作文練習解説	作文練習解説
13	期末試験	期末試験
14	復習	復習
	期末試験未受験者の追試	期末試験未受験者の追試

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には毎回標準30分以上は必要です。その他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』, 内山政春著, 白水社.

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』, 内山政春著, 白水社.

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

この授業は1年生で学んだ文法や語彙を理解した上で進みますので、1年生の知識が不確かだと授業が早く感じられるかもしれません。わからない所があったら1年生で使用した教科書で確認し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験、期末試験の案内はHoppiiに掲示しますので必ずHoppiiを確認してください。小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・12回目の授業は作文練習の解説動画を配信します。

但し授業の進度によっては他の回で実施されることがありますので、予定についてもHoppiiのお知らせを確認してください。

・授業中のスマホ、タブレットの使用は禁止します。単語を調べるときは初級の教科書を参照してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (=the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課(2/2)	「～という」の短縮形他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～ながら」、指定詞の第Ⅲ語基他
6	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」他
7	中間試験	中間試験
8	第8課	間接話法・その1他
9	第9課	ハンダ体他
10	第9課	態と受身形他
11	第9課	話し手の主張をあらわす形他
12	作文練習解説	作文練習解説
13	期末試験	期末試験
14	復習	復習
	期末試験未受験者の追試	期末試験未受験者の追試

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』, 内山政春著, 白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』, 内山政春著, 白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

1年生で学んだ文法と語彙が理解できている前提で授業を行いますので、1年生の知識が不確かな学生は授業の進みが早く感じられるかもしれません。

わからないところがあったら必ず1年生で使用した教科書で復習し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験・期末試験の詳細はHoppiiに掲示します。また小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・12回の授業は作文練習の解説動画を配信します。但し授業の進捗によって12回目ではなく他の回で実施する可能性がありますので、この予定についてもHoppiiで確認してください。

・授業中のスマホ、タブレットの使用は禁止します。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (=the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅠ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙を土台にして、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	第3課	文中の疑問形、強調表現
7	中間試験	中間試験
8	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課(1/2)	用言の名詞形、「～することはする」、「～しようと思う」
12	作文練習解説	作文練習解説
13	期末試験	期末試験
14	復習	復習
	期末試験未受験者の追試	期末試験未受験者の追試

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には毎回標準30分以上は必要です。その他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』, 内山政春著, 白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』, 内山政春著, 白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

この授業は1年生で学んだ文法や語彙を理解した上で進みますので、1年生の知識が不確かだと授業が早く感じられるかもしれません。わからない所があったら1年生で使用した教科書で確認し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験、期末試験の案内はHoppiiに掲示しますので必ずHoppiiを確認してください。小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・12回目の授業は作文練習の解説動画を配信します。

但し授業の進度によっては他の回で実施されることがありますので、予定についてもHoppiiのお知らせを確認してください。

・授業中のスマホ、タブレットの使用は禁止します。単語を調べるときは初級の教科書を参照してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (=the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課(2/2)	「～という」の短縮形他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～ながら」、指定詞の第Ⅲ語基他
6	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」他
7	中間試験	中間試験
8	第8課	間接語法・その1他
9	第9課	ハンダ体他
10	第9課	態と受身形他
11	第9課	話し手の主張をあらわす形他
12	作文練習解説	作文練習解説
13	期末試験	期末試験
14	復習	復習
	期末試験未受験者の追試	期末試験未受験者の追試

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

1年生で学んだ文法と語彙が理解できている前提で授業を行いますので、1年生の知識が不確かな学生は授業の進みが早く感じられるかもしれません。

わからないところがあつたら必ず1年生で使用した教科書で復習し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験・期末試験の詳細はHoppiiに掲示します。また小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・12回の授業は作文練習の解説動画を配信します。但し授業の進捗によって12回目ではなく他の回で実施する可能性がありますので、この予定についてもHoppiiで確認してください。

・授業中のスマホ、タブレットの使用は禁止します。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (=the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅠ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙を土台にして、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	第3課	文中の疑問形、強調表現
7	中間試験	中間試験
8	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課(1/2)	用言の名詞形、「～することはする」、「～しようと思う」
12	作文練習解説	作文練習解説
13	期末試験	期末試験
14	復習	復習
	期末試験未受験者の追試	期末試験未受験者の追試

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には毎回標準30分以上は必要です。その他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』, 内山政春著, 白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』, 内山政春著, 白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

この授業は1年生で学んだ文法や語彙を理解した上で進みますので、1年生の知識が不確かだと授業が早く感じられるかもしれません。わからない所があったら1年生で使用した教科書で確認し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験、期末試験の案内はHoppiiに掲示しますので必ずHoppiiを確認してください。小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・12回目の授業は作文練習の解説動画を配信します。

但し授業の進度によっては他の回で実施されることがありますので、予定についてもHoppiiのお知らせを確認してください。

・授業中のスマホ、タブレットの使用は禁止します。単語を調べるときは初級の教科書を参照してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (=the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課(2/2)	「～という」の短縮形他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～ながら」、指定詞の第Ⅲ語基他
6	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」他
7	中間試験	中間試験
8	第8課	間接語法・その1他
9	第9課	ハンダ体他
10	第9課	態と受身形他
11	第9課	話し手の主張をあらわす形他
12	作文練習解説	作文練習解説
13	期末試験	期末試験
14	復習	復習
	期末試験未受験者の追試	期末試験未受験者の追試

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

1年生で学んだ文法と語彙が理解できている前提で授業を行いますので、1年生の知識が不確かな学生は授業の進みが早く感じられるかもしれません。

わからないところがあつたら必ず1年生で使用した教科書で復習し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験・期末試験の詳細はHoppiiに掲示します。また小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・12回の授業は作文練習の解説動画を配信します。但し授業の進捗によって12回目ではなく他の回で実施する可能性がありますので、この予定についてもHoppiiで確認してください。

・授業中のスマホ、タブレットの使用は禁止します。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (=the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅠ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙を土台にして、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	第3課	文中の疑問形、強調表現
7	中間試験	中間試験
8	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課(1/2)	用言の名詞形、「～することはする」、「～しようと思う」
12	作文練習解説	作文練習解説
13	期末試験	期末試験
14	復習	復習
	期末試験未受験者の追試	期末試験未受験者の追試

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には毎回標準30分以上は必要です。その他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』, 内山政春著, 白水社.

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』, 内山政春著, 白水社.

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

この授業は1年生で学んだ文法や語彙を理解した上で進みますので、1年生の知識が不確かだと授業が早く感じられるかもしれません。わからない所があったら1年生で使用した教科書で確認し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験、期末試験の案内はHoppiiに掲示しますので必ずHoppiiを確認してください。小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・12回目の授業は作文練習の解説動画を配信します。

但し授業の進度によっては他の回で実施されることがありますので、予定についてもHoppiiのお知らせを確認してください。

・授業中のスマホ、タブレットの使用は禁止します。単語を調べるときは初級の教科書を参照してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (=the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課(2/2)	「～という」の短縮形他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～ながら」、指定詞の第Ⅲ語基他
6	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」他
7	中間試験	中間試験
8	第8課	間接語法・その1他
9	第9課	ハンダ体他
10	第9課	態と受身形他
11	第9課	話し手の主張をあらわす形他
12	作文練習解説	作文練習解説
13	期末試験	期末試験
14	復習	復習
	期末試験未受験者の追試	期末試験未受験者の追試

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』, 内山政春著, 白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』, 内山政春著, 白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

1年生で学んだ文法と語彙が理解できている前提で授業を行いますので、1年生の知識が不確かな学生は授業の進みが早く感じられるかもしれません。

わからないところがあったら必ず1年生で使用した教科書で復習し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験・期末試験の詳細はHoppiiに掲示します。また小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・12回の授業は作文練習の解説動画を配信します。但し授業の進捗によって12回目ではなく他の回で実施する可能性がありますので、この予定についてもHoppiiで確認してください。

・授業中のスマホ、タブレットの使用は禁止します。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (=the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

朝鮮語 3 B I

2017年度以降入学者

李 蕙臣

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

单位数：1 单位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は朝鮮語ⅠとⅡで学んだ内容を踏まえながら、初中級レベルの文法・文型を学習する。日常会話に使える豊富な表現を学び、より実践的なコミュニケーション能力を向上させる。

- ・様々な語尾や表現を用いてより幅広い朝鮮語が話せるようになる。
 - ・読む・書く・聞く・話す練習を通じて朝鮮語を総合的に学習する。
- 韓国文化の理解にも繋がる。
- ・**TOPIK(韓国語能力試験)2級および3級レベルの実力を身につける**ことを目指す。

【到達目標】

- ・朝鮮語の初中級の文法の仕組みを理解し、辞書を活用して簡単な文章を読み、書くことができる運用力と知識を身につける。
 - ・韓国の言語や文化に対する関心を高め、コミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- 連音や激音、濃音など基本的な発音の変化と違いを理解している。
- ・辞書を用いて初中級レベルの平易な文章を読むことができる。
 - ・学習した文法と語句を活用して短い文を構成し、自分の考えを表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
などの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・語彙の予習：新出語彙の意味と発音を事前に確認しておくこと。
- ・目標表現の学習：各回の主要な文法・表現について解説し、定着のための練習を行う。
- ・コミュニケーション練習：学んだ表現を用い、ペアワークやリアクションペーパーを通じて実践的な会話練習を行う。
- ・本文（スキット）の音読：会話文の解説後、音読練習を通じて正しい発音規則を習得する。
- ・確認テスト：各課の終了時に単語テストを実施し、理解度を確認する。
- ・課題提出：教科書の練習問題を宿題として課し、提出を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	※ 初回のガイダンス 第1課 何年度入学ですか？ (☐ ☐☐☐ ☐☐?)	・「☐☐☐体」のおさらい、「☐☐☐体」 学習
2	第1課 何年度入学ですか？ (☐ ☐☐☐ ☐☐?)	・「☐☐☐体」 練習 ・指定詞の活用 (5ページ) 学習 ・その他の文法学習 ・1課の復習 び練習問題
3	第2課 韓国語を一生懸命勉強するつもりです。(☐☐☐☐ ☐☐ ☐☐☐☐ ☐☐☐☐.)	・-(☐)☐ ☐☐☐☐ ・-☐

4	第2課 韓国語を一生懸命勉強するつもりです。(○○○○ ○○○ ○○○ ○○○.)	・ -○○(○) : 学習・会話練習 ・ 2課の復習 《付録》 【聞いてみよう1】 【読解練習】 ○○○
5	第3課 あの靴、ちょっと見てください。(○○○○ ○○○ ○○○.)	・ -○○ ・ (○)○ (形容詞の連体形の練習)
6	第3課 あの靴、ちょっと見てください。(○ ○○○ ○○○ ○○○.)	・ -○/○ ○○ ・ 3課の復習
7	第4課 よく行く韓国料理のお店があれば紹介してください。(○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○.)	・ -(○)○ (条件) ・ -○ (動詞・存在詞の現在連体形) ・ -○ ○○ (否定形)
8	第4課 よく行く韓国料理のお店があれば紹介してください。(○○ ○○○ ○○○ ○○○.)	・ 4課の復習 《付録》 「○」語幹の用言活用、・ 【読解練習】 ○
9	第5課一緒に撮った写真を添付しました。(○○ ○○○ ○○○ ○○○.)	・ -(○)○ (動詞の過去連体形) 学習 ・ -○○
10	第5課一緒に撮った写真を添付しました。(○○ ○○○ ○○○ ○○○.)	・ ○変則用言の活用学習 ・ 5課の復習
11	第6課 発表の時間に遅れてすみません。(○○ ○○○ ○○○ ○○○.)	・ -○, -(○)○ 尊敬の接尾辞 ・ -○○/○○ 理由・原因
12	第6課 発表の時間に遅れてすみません。(○○ ○○○ ○○○ ○○○.)	・ -(○)○ (動詞の未来連体形) ・ -○ ○○○ (否定形) ・ 6課の復習 《付録》 【聞いてみよう2】、【読解練習】 ○○○ ○○○ ○○
13	まとめ	第1課から第6課まで総おさいを実施する。
14	期末試験	筆記試験と会話試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

- ・準備学習：各課の新出語彙を調べておく。
- ・復習・宿題：各課の練習問題を解く。単語テストを準備する。

【テキスト（教科書）】

『改訂版・韓国語の世界へ（初中級編）ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー』

李潤玉の他4人

朝日出版 ISBN(13桁) 978-4-255-55644-4

第1回目から授業が開始されるので、必ずテキストを購入して予習しておくこと。

【参考書】

韓国語能力試験 (TOPIK) ウェブサイト <https://www.kref.or.jp/topik/>

【成績評価の方法と基準】

平常点・単語テスト・課題など40%、期末試験60%。60点以上を合格点とする。

※5回以上の欠席の場合は単位取得できない。時刻・早退3回は欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

特にない。

【Outline (in English)】

Course Description: Building upon the foundations laid in Korean I and II, this course focuses on intermediate-level vocabulary and expressions. Students will learn a rich variety of practical phrases used in daily life to enhance their communicative competence in real-world situations.

Learning Objectives:

Expand Linguistic Range: Master various sentence endings and expressions to communicate more fluently and naturally in Korean.

Comprehensive Skill Development: Improve overall proficiency through integrated practice in reading, writing, listening, and speaking.

Test Preparation: Aim to achieve proficiency equivalent to TOPIK (Test of Proficiency in Korean) Levels 2 and 3.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

李 蕙臣

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は朝鮮語ⅠとⅡで学んだ内容を踏まえながら、初中級レベルの表現や語彙を学習する。日常会話に使える豊富な表現を学び、より実践的なコミュニケーション能力を向上させる。

- ・様々な語尾や表現を用いてより幅広い朝鮮語が話せるようになる。
- ・読む・書く・聞く・話す練習を通じて朝鮮語を総合的に学習する。
- ・TOPIK(韓国語能力試験)2級および3級レベルの実力を身につけることを目指す。

【到達目標】

- ・朝鮮語の初中級の文法の仕組みを理解し、辞書を活用して簡単な文章を読み、書くことができる運用力と知識を身につける。
- ・韓国の言語や文化に対する関心を高め、コミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- ・連音や激音、濃音など基本的な発音の変化と違いを理解している。
- ・辞書を用いて初中級レベルの平易な文章を読むことができる。
- ・学習した文法と語句を活用して短い文を構成し、自分の考えを表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- ・語彙の予習：新出語彙の意味と発音を事前に確認しておくこと。
- ・目標表現の学習：各回の主要な文法・表現について解説し、定着のための練習を行う。
- ・コミュニケーション練習：学んだ表現を用い、ペアワークやリアクションペーパーを通じて実践的な会話練習を行う。
- ・本文（スキット）の音読：会話文の解説後、音読練習を通じて正しい発音規則を習得する。
- ・確認テスト：各課の終了時に単語テストを実施し、理解度を確認する。
- ・課題提出：教科書の練習問題を宿題として課し、提出を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課 暑い夏にサムゲタンを食べます。(○○○○○○○○○○)	※ 前期のおさらい ・(○○)○○○○○○○○ (経験の有無) ・-○○○○ (進行) ○○○○○○○○
2	第7課 暑い夏にサムゲタンを食べます。(○○○○○○○○○○)	・「○○」変則活用の練習 ・7課の復習 ・単語テスト ○○○○○○○○
3	第8課 重くないので一人でしますよ。(○○○○○○○○○○)	・-○○/○○○○ (状態) ・-(○○)○○ (理由) ○○○○○○○○○○
4	第8課 重くないので一人でしますよ。(○○○○○○○○○○)	・-(○○)○○○○ (意志) ・8課の復習 ・単語テスト ○○○○○○○○

【読解練習】○○○○○○○○

5	第9課 パソコン ちょっと借りていいですか？(○○○○○○○○○○)	・-○○○○, (○○)○○○○ (前置き、理由、逆説) ・-○○○○○○○○○○ (許可、譲歩) ○○○○○○○○○○
6	第9課 パソコン ちょっと借りていいですか？(○○○○○○○○○○)	・「○○」変則活用の学習・練習 ・9課の復習 ・単語テスト
7	第10課 リムジンバスの方がいいでしょうね。(○○○○○○○○○○)	・-○○ (意志・推量) ・-○○○○(理由、前置き) ○○○○○○○○○○
8	第10課 リムジンバスの方がいいでしょうね。(○○○○○○○○○○)	・-○○○○/○○○○○○○○ (義務・必要) ・10課の復習 ・単語テスト 【読解練習】○○○○○○○○
9	第11課 陶磁器も作ってましたか？(○○○○○○○○○○)	・-(○○)○○○○○○○○? (意向、問い合わせ) ・-○○/○○○○○○○○ (試み、経験) ○○○○○○○○○○
10	第11課 陶磁器も作ってましたか？(○○○○○○○○○○)	・-(○○)○○○○○○○○/○○○○ (可能・不可能) ・11課の復習 ・単語テスト
11	第12課 韓国の会社に就職しようと思っています。(○○○○○○○○○○)	・(連体形・現在・過去・未来)○○○○○○○○ (するようだ、したよ)うだ、しそうだ) ・-(○○)○○○○○○○○ (意図) ○○○○○○○○○○
12	第12課 韓国の会社に就職しようと思っています。(○○○○○○○○○○)	・-○○○○ (禁止) ・12課の復習 ・単語テスト 【読解練習】○○○○○○○○
13	まとめ	第7課から第12課まで総おさらいを実施する。
14	期末試験	筆記試験と会話試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『改訂版・韓国語の世界へ（初中級編）ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー』
李潤玉の他4人
朝日出版 ISBN(13桁) 978-4-255-55644-4

【参考書】

韓国語能力試験 (TOPIK) ウェブサイト <https://www.kref.or.jp/topik/>

【成績評価の方法と基準】

平常点・単語テスト・課題など40%、期末試験60%。60点以上を合格点とする。

※5回以上の欠席の場合は単位取得できない。時刻・早退3回は欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

Course Description: Building upon the foundations laid in Korean I and II, this course focuses on intermediate-level vocabulary and expressions. Students will learn a rich variety of practical phrases used in daily life to enhance their communicative competence in real-world situations.

Learning Objectives:

Expand Linguistic Range: Master various sentence endings and expressions to communicate more fluently and naturally in Korean.

Comprehensive Skill Development: Improve overall proficiency through integrated practice in reading, writing, listening, and speaking.

Test Preparation: Aim to achieve proficiency equivalent to TOPIK (Test of Proficiency in Korean) Levels 2 and 3.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)			7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾
朝鮮語 4 A I					
2017年度以降入学者					
内山 政春					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木5/Thu.5					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつもの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入
・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に, 「読む, 書く, 聞く, 話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。					
【到達目標】			9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったたりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形（大過去形）, 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, へヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1
・授業で学んだ文の読み書きができ, 声に出して言えるほか, 自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2					
【主な授業方法】			11	第7課	指定詞の第III語基のまとめ, 指定詞の第III語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】			12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」か, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が, 後者は日本語を母語とする教員が, それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行ってきてもらい, 授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			13	第8課	間接話法（引用形）・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
なし /No					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			14	テスト	テスト
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】		
回	テーマ	内容	・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。		
1	第1課	語基の復習, 話しことばと書きことば, 接続形「～するから」, こそあどことばの用法	・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。		
2	第1課	ピウブ不規則用言, 「くださる」と「さしあげる」, 「～してくださる」と「～してさしあげる」, よく用いられる謙讓形, 「なる」の用法・その1	【テキスト（教科書）】		
3	第2課	動作終了後の「～している」, 禁止形（勧誘と命令の否定形）, 長い不可能形	・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社		
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」, 勧誘, 命令をあらわすていねいな形, 漢数字の粒読み, 選択をあらわす助詞「～に」, 「なる」の用法・その2	【参考書】		
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か, ～（の）か」, 強調の表現「～のだ」, 接続形「～するように」, 存在詞と語尾の組み合わせ	・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。		
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形, 方向をあらわす動詞, 意思, 推量をあらわす「～するつもりだから, ～するはずだから」, 助詞「～で, ～に」			

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行いますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）			7	第12課	「～する考え、～するつもり」、 「～と考える、～と思う」、 「～のため」、婉曲をあらわす形のその ほかの意味・その1、「～して」 の話しことば、親族名称とその 尊敬形、助詞の尊敬形、「くれ る、～してくれる」の間接話法、 間接話法の話しことばと省略形、 ハンダ体平叙形の用法、遠回し な希望の表現、「～とおりに、～ するとおりに」
朝鮮語 4 A II			8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、 「～わけだ、～ようなものだ」
内山 政春			9	第13課	漢字の音読みと訓読み、形容詞 から動詞をつくる・その2、疑 問詞につく「～か」、もう1つの 過去連体形・その2、助詞「～か ら」、接続形「～するやいなや」 「～することになる」、副詞形を 作る「～して」、「～を通して」、 他動詞に用いられる「～して」、 動作の経過をあらわす「～して いく、～してくる」、「～のあい だ、～するあいだ」
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：木5/Thu.5 単位数：1単位 その他属性：			10	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの 意味・その2、単位とともに用 いられる漢数字と固有数字、「～ にあたいする」、体験をあらわす 形・その1、否定の表現いくつか 動作の完了を強調する形、「～し ようかと思う」、体験をあらわす 形・その2、「～だけだ」、「～し なければならない」の短縮形 用言の体言形・その2、選択を あらわす「～するか～する、～ したり～する」、合成動詞と接続 形の「～して」をともに用いる 動詞、「する」の第III語基の書き ことば、年月日と週の言い方 テスト
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 ・春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的 に向上させることを目的とします。			11	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの 意味・その2、単位とともに用 いられる漢数字と固有数字、「～ にあたいする」、体験をあらわす 形・その1、否定の表現いくつか 動作の完了を強調する形、「～し ようかと思う」、体験をあらわす 形・その2、「～だけだ」、「～し なければならない」の短縮形 用言の体言形・その2、選択を あらわす「～するか～する、～ したり～する」、合成動詞と接続 形の「～して」をともに用いる 動詞、「する」の第III語基の書き ことば、年月日と週の言い方 テスト
【到達目標】 ・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で 文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につ けていくことが目標です。			12	第15課	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 ・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずあ るようになしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがら ずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、 「話す」第一歩となるのです。 ・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学 部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、 経営学部：DP1、人間環境学部：DP2			13	第15課	【テキスト（教科書）】 ・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社
【主な授業方法】 L 講義 /Lecture			14	テスト	【参考書】 ・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに 集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお 薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。
【授業の進め方と方法】 ・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行 ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語 とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課 の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行ってきてもいい、授 業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要 に応じて独自の教材も併用します。			【成績評価の方法と基準】 ・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。な お、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわら ず不合格とすることがあります。		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし / No			【学生の意見等からの気づき】 ・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習につ いては触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて て次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語 を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにし てください。 ・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサ イトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答 をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分 で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取り の力も上達するはずです。		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その2、第III語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」			
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略			
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第III語基			
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思 う」、「～について、～に関し て」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表 現・その2			
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、 「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2			
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、 意向をたずねる話しことば、タ メグチ疑問形の話しことば、「～してから」			

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）			7	第4課	意思、推量をあらわすもう1つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾
朝鮮語 4 A I					
2017年度以降入学者					
内山 政春					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金5/Fri.5					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			8	第5課	用言の体言形・その1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」、「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつもの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入
・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。					
【到達目標】			9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形（大過去形）、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その1
・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			10	第7課	もう1つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす2つの形・その1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2					
【主な授業方法】			11	第7課	指定詞の第III語基のまとめ、指定詞の第III語基のもう1つの形、用言の体言形を用いた表現・その1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】			12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するのかわ」、命令形「～しろ、～せよ」、平叙形「～する、～である」
・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行って来てもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			13	第8課	間接話法（引用形）・その1、否定形の反語的用法、「～しそうだ」、「～でたまらない」
なし /No					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			14	テスト	テスト
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
回	テーマ	内容			・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
1	第1課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法			・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。
2	第1課	ピウプ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、「～してくださる」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙讓形、「なる」の用法・その1			【テキスト（教科書）】
3	第2課	動作終了後の「～している」、禁止形（勧誘と命令の否定形）、長い不可能形			・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その2			【参考書】
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か、～（の）か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ			・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」			

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行いますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）	
朝鮮語 4 A II	2017年度以降入学者
内山 政春	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：金 5/Fri.5
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その2、第III語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第III語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思ふ」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7	第12課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第13課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
10	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか
11	第14課	動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形
12	第15課	用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をともに用いる動詞、「する」の第III語基の書きことば、年月日と週の言い方
13	第15課	テスト
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずするようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)			7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾
朝鮮語 4 A I					
2017年度以降入学者					
内山 政春					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木4/Thu.4					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】			8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつもの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入
・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に, 「読む, 書く, 聞く, 話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。					
【到達目標】			9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形（大過去形）, 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, へヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1
・授業で学んだ文の読み書きができ, 声に出して言えるほか, 自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2					
【主な授業方法】			11	第7課	指定詞の第III語基のまとめ, 指定詞の第III語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」
L 講義 /Lecture					
【授業の進め方と方法】			12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」か, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が, 後者は日本語を母語とする教員が, それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で行ってきてもらい, 授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。					
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】			13	第8課	間接話法（引用形）・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
なし /No					
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			14	テスト	テスト
なし /No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face					
回	テーマ	内容			
1	第1課	語基の復習, 話しことばと書きことば, 接続形「～するから」, こそあどことばの用法	12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」か, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
2	第1課	ピウプ不規則用言, 「くださる」と「さしあげる」, 「～してくださる」と「～してさしあげる」, よく用いられる謙讓形, 「なる」の用法・その1	13	第8課	間接話法（引用形）・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
3	第2課	動作終了後の「～している」, 禁止形（勧誘と命令の否定形）, 長い不可能形			
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」, 勧誘, 命令をあらわすていねいな形, 漢数字の粒読み, 選択をあらわす助詞「～に」, 「なる」の用法・その2			
5	第3課	文中の疑問形「～する（の）か, ～（の）か」, 強調の表現「～のだ」, 接続形「～するように」, 存在詞と語尾の組み合わせ			
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形, 方向をあらわす動詞, 意思, 推量をあらわす「～するつもりだから, ～するはずだから」, 助詞「～で, ～に」			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
- ・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

- ・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

- ・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行いますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）	
朝鮮語 4 A II	2017年度以降入学者
内山 政春	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：木4/Thu.4
単位数：1単位	
その他属性：	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

・春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

・授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

・「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・その2、第III語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第III語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思ふ」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7	第12課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第13課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」、「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
10	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか
11	第14課	動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形
12	第15課	用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をともに用いる動詞、「する」の第III語基の書きことば、年月日と週の言い方
13	第15課	テスト
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずするようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。
・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】では予習については触れませんでした。進捗が早いと思う受講者は必要に応じて今回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進捗に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

・「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。またクラスによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）

朝鮮語(3)Ⅰ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙を土台にして、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法文学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	第3課	文中の疑問形、強調表現
7	中間試験	中間試験
8	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課(1/2)	用言の名詞形、「～することはする」、「～しようと思う」
12	作文練習解説	作文練習解説
13	期末試験	期末試験
14	復習	復習
	期末試験未受験者の追試	期末試験未受験者の追試

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には毎回標準30分以上は必要です。その他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト 20%

中間試験 40%

期末試験 40%

【学生の意見等からの気づき】

この授業は1年生で学んだ文法や語彙を理解した上で進みますので、1年生の知識が不確かだと授業が早く感じられるかもしれません。わからない所があったら1年生で使用した教科書で確認し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

- ・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。
- ・授業開始前にHoppiiに登録してください。
- ・中間試験、期末試験の案内はHoppiiに掲示しますので必ずHoppiiを確認してください。小テストの範囲もHoppiiに掲示します。
- ・12回目の授業は作文練習の解説動画を配信します。但し授業の進度によっては他の回で実施されることがありますので、予定についてもHoppiiのお知らせを確認してください。
- ・授業中のスマホ、タブレットの使用は禁止します。
- ・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (=the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語(3) II

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法文学部・国際政治学科：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課(2/2)	「～という」の短縮形他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～ながら」、指定詞の第Ⅲ語基他
6	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」他
7	中間試験	中間試験
8	第8課	間接話法・その1他
9	第9課	ハンダ体他
10	第9課	態と受身形他
11	第9課	話し手の主張をあらわす形他
12	作文練習解説	作文練習解説
13	期末試験	期末試験
14	復習	復習
	期末試験未受験者の追試	期末試験未受験者の追試

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。その他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』, 内山政春著, 白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』, 内山政春著, 白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

1年生で学んだ文法と語彙が理解できている前提で授業を行いますので、1年生の知識が不確かな学生は授業の進みが早く感じられるかもしれません。

わからないところがあったら必ず1年生で使用した教科書で復習し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験・期末試験の詳細はHoppiiに掲示します。また小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・12回の授業は作文練習の解説動画を配信します。但し授業の進捗によって12回目ではなく他の回で実施する可能性がありますので、この予定についてもHoppiiで確認してください。

・授業中のスマホ、タブレットの使用は禁止します。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (=the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）		6	第12課	「～する考え、～するつもり」、 「～と考える、～と思う」、「～の ため」、婉曲をあらわす形のその ほかの意味・その1、「～して」 の話しことば、親族名称とその 尊敬形、助詞の尊敬形、「くれ る、～してくれる」の間接話法、 間接話法の話しことばと省略形、 ハンダ体平叙形の用法、遠回し な希望の表現、「～とおりに、～ するとおりに」
朝鮮語 7		7	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ない ます。
内山 政春		8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、 「～わけだ、～ようなものだ」、 漢字の音読みと訓読み、形容詞 から動詞をつくる・その2、疑 問詞につく「～か」、もう1つの 過去連体形・その2、助詞「～か ら」、接続形「～するやいなや」 「～することになる」、副詞形を 作る「～して」、「～通って」、 他動詞に用いられる「～して」、 動作の経過をあらわす「～して いく、～してくる」、「～のあい だ、～するあいだ」、婉曲をあら わす形のそのほかの意味・その 2、単位とともに用いられる漢 数字と固有数字、「～にあたいす る」、体験をあらわす形・その 1、否定の表現いくつか
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水1/Wed.1 単位数：1単位		9	第14課	復習を兼ねた口頭練習を行ない ます。
その他属性：		10	口頭練習	動作の完了を強調する形、「～し ようかと思う」、体験をあらわす 形・その2、「～だけだ」、「～し なければならない」の短縮形、 用言の体言形・その2、選択を あらわす「～するか～する、～ したり～する」、合成動詞と接続 形の「～して」をともに用いる 動詞、「する」の第Ⅲ語基の書き ことば、年月日と週の言い方
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 ・1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話 す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。 ・2年次秋学期のSAに備えます。		11	第15課	復習を兼ねた口頭練習を行ない ます。
【到達目標】 ・SAに通用する語学力の習得、具体的には韓国外国語大「韓国語文 化教育センター」の「3級」に編入できることを目標とします。		12	口頭練習	既習の文法・語彙知識を用いて ある程度の長さの文章を読む練 習を行ないます。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際 文化学部：DP1		13	よみもの	テスト
【主な授業方法】 L 講義 /Lecture		14	テスト	【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 ・ボアソナードタワー20階の国際文化学部資料室には検定試験の問 題集や韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り 揃えていますので活用してみましょう。 ・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。
【授業の進め方と方法】 ・「朝鮮語7」と「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸に リレー方式で行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習 は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則としま す。それぞれの授業で必要に応じ独自の教材も併用します。		【テキスト（教科書）】 ・共通テキスト：内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社		
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 なし / No		【参考書】 ・教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集 中してください。昨年春学期に用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も参考書として活用してください。辞書は中辞典として小 学館の『韓日辞典（旧：朝鮮語辞典）』、語彙数は少ないが文法・発 音説明が充実しているものとして白水社の『コスモス朝和辞典』を お勧めします。後者は版元品切ですが、アマゾンで中古品を購入す ることができます。ただし悪徳業者に注意！ 評価が90パーセント に満たないところ（たとえばHave fun Japanなど）はすべて詐欺 と断定してかまいません。在庫がないのに注文を受け、安いところ から買って転売する、それができない場合向こうからキャンセルし てくるという手口です。 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。		
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の 説明をします。		
2	第9課	ハンダ体、間接話法（引用形）・ その2、第Ⅲ語基と合成動詞、 「～しはじめる」、書きことばで の接続形「～し」、態と受身形、 助詞「～の」、話し手の主張をあら わす形、母音「エ」の省略		
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわ す助詞、「～してから」、間接話 法と第Ⅲ語基、特別な否定形を もつ用言の反語、疑問詞と「～ も」、「～だと思う」、「～につい て、～に関して」、もう1つの過 去連体形・その1、用言の体言 形を用いた表現・その2		
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ない ます。		
5	第11課	手段、状況をあらわす「～し て」、「～そうにみえる」、「～の ため、～のせい」、合成語の濃音 化・その2、漢字語の濃音化、 「～ようだ」、意向をたずねる話 しことば、タメグチ疑問形の話し ことば、「～してから」		

【成績評価の方法と基準】

・期末テストの成績によります（100%）。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、この成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

- ・語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません。日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか？」ということを考える習慣をつけましょう。
- ・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはしません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。
- ・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar and vocabulary in detail on the premise what you learned in the spring semester have been mastered enough.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be able to learn complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hours to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination(100%)

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）

朝鮮語 8

2017年度以降入学者

高柳 俊男

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・1年次で学んだ朝鮮語の文法と語彙の基礎の上に、とくに「読む」「聞く」の能力を向上させることを目的とします。
- ・2年次秋学期のSAに備え、語学力の養成とともに、その背景にある朝鮮半島の文化、社会、歴史等への関心を高めます。

【到達目標】

- ・SAに通用する語学力の習得、具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「3級」に編入できることを目標とします。
- ・同時に、意義あるSAの実施に向けて、語学面以外の準備も着実に進められるよう、自らの意識を高めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は、内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を使ったリレー方式には加わらず、2種類の独自教材により進行します。

- ・講読教材

独自にまとめたテキストを配付します。

就学前の幼児を対象にしたドリルから、絵本、児童書、なぞなぞ、笑い話、小学生用の各種辞典、新聞などの広告、本の書名、最後はセンター入試（当時）の試験問題など、易しいものから難しいものまで、いろいろな形式の文章により構成されています。

それらの講読を通して、文章を読むことの楽しさを味わうとともに、辞書を引く作業にも慣れるようにします。

- ・リスニング教材

1年次秋学期に使ったリスニング教材の続きを継続します。

いずれの教材も、未習の文法事項が出てきた場合には、2セメと同様、内山先生のテキストの該当頁を参照するようにします。

また、家で予習してることが必須です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の期末試験の返却と、間違った個所の訂正 今学期の授業方針の説明と、使用するテキストの配付
2	講読：第1課 リスニング：第23課・24課	就学前の幼児を対象にしたドリル
3	講読：第2課 リスニング：第25課・26課	絵本
4	講読：第3課 リスニング：第27課・28課	児童書
5	講読：第4課 リスニング：第29課・30課	韓国の語学教材から
6	講読：第5課 リスニング：第31課・32課	なぞなぞ

7	講読：第6課 リスニング：第33課・34課	笑い話
8	講読：第7課 リスニング：第35課・36課	小学生用の各種辞典①
9	講読：第8課 リスニング：第37課・38課	小学生用の各種辞典②
10	講読：第9課 リスニング：第39課・40課	新聞などの広告、本の書名
11	講読：第10課 リスニング：第41課・42課	過去のセンター入試問題
12	期末試験の準備	次週に実施する期末試験の予行演習
13	期末試験	期末試験の実施
14	学習のまとめ	期末試験の返却と、間違った個所の訂正 SA前の学習の総まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・ボアソナードタワー20階の国際文化学部資料室には、過去の検定試験の問題集や韓国の各大学の語学テキスト、韓国で有名な絵本とその訳書などを多数取り揃えていますので、適宜活用してみることをお勧めします。
- ・本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】

- ・高柳が用意する「講読テキスト」と「リスニングテキスト」

【参考書】

- ・既習の文法事項を忘れたら、内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語』『しくみで学ぶ中級朝鮮語』を参照してください。
- ・冊子体の辞書として、中辞典として小学館の『韓日辞典（旧：朝鮮語辞典）』、語彙数は少ないが語基文法に則り、また発音説明も充実している『コスモス朝和辞典』をお勧めします。後者は、私のところで格安の550円で取り扱っています。

【成績評価の方法と基準】

- ・期末テストの点数により成績をつけます（100%）。基本的に、60点以上が合格です。

【学生の意見等からの気づき】

- ・独自教材を副教材として使った授業について、過去5年間の授業改善アンケートで、以下のような評価をいただいています。今回もそうなるよう、最大限に努力します。
- ・副教材が面白く、いろいろな話をしてくださったので、語彙以外の知識も学べた。
- ・プラスαテキストで、広告や絵本などを読む機会があり、実生活への応用力を身につけられた。
- ・プリントの翻訳を通じて、単語や表現だけではなく、歴史的な知識なども身につけることができた。
- ・様々な内容のテキストを通して、とても楽しみながら学ぶことができた。また朝鮮語だけでなく、歴史に関しての知識が深まりとても興味深い授業だった。

【Outline (in English)】

This class aims to improve students' Korean reading and listening skills in preparation for Study Abroad. At the same time, it also seeks to deepen their interest in the culture, society, and history of the Korean Peninsula. The texts are divided into two types: reading and listening. Grades will be determined based on the final exam (100%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 - I

2017年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。

メールやSNSなど短い文章を読んで、韓国の書き言葉であるハンダ体とハングル能力検定4、3級に相当する文型を学びます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールやSNSなどを読み、発信できるようになります。

1年で学んだことの実践として、書き言葉を読み、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。講師の体調などによりオンラインになる可能性があります。

授業の進め方は以下の通りです。

新しい内容は授業で導入して復習型で進みますが、内容が難しいと感じる学生には予習を勧めます。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方
	第1課 学生生活	逆説と並列
2	第1課 学生生活	～んです ～しようと
3	第2課 アルバイト	～ので／～くて ～のせいで
4	第2課 アルバイト	～することにする ～できない
5	1, 2課確認テスト	1, 2課確認テスト
	第3課 私の一日	～すれば ～しに（行く／来る）
6	第3課 私の一日	～してあげる／くれる ～や、～でも
7	第4課 プレゼント	～でしょ？ ～じゃないですか／～でしょう？
8	第4課 プレゼント	パンマル ～ですね／ますね
9	3, 4課確認テスト	3, 4課確認テスト
	第5課 風邪	～く／～くように ～する？／～しますか？
10	第5課 風邪	～しない／～するのをやめる ～だったらいいな
11	第6課 休日	～している／～してい しゃる ～しますから

12	第6課 休日 ☒☒体	～してみる ～しよう ☒☒体を学ぶ
13	5,6課確認テスト	～しなければ／～しよう
	第7課 夏休み	～しても
14	第7課 夏休み 第7課復習	～することができる ～してこそ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

名簿からリンクを送るので、指定されたグーグルクラスルームに登録してください。

毎回授業で扱う本文とその日本語訳をノートに書いてグーグルクラスルームで提出してください。手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。

締め切り後の提出は2／3回分として算出します。

課題は次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写してくることを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』

金京子著、白水社、2018

この教科書は書き込み式です。

購入ルートは問いませんが、書き込みがないことを確認して購入してください。

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。

遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は低めに換算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

ハングルキーボードで入力できることが望ましい。

【その他の重要事項】

座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。

授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

Students should send the task every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 20% of the class attendance and participation, and 20% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3-II

2017年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。

メールやSNSなど短い文章を読んで、韓国の書き言葉であるハンダ体とハンゲル能力検定4、3級に相当する文型を学びます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を活かして実際のメールやSNSなどを読み、発信できるようになります。

1年で学んだことの実践として、自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。講師の体調などによりオンラインの可能性もあります。

授業の進め方は以下の通りです。

新しい内容は授業で導入して復習型で進みますが、内容が難しいと感じる学生には予習を勧めます。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	☐☐ 体復習 第8課 趣味	～（だ）と ～そうだ 動詞の現在連体形
2	第8課 趣味	形容詞の連体形 ～のだ
3	第9課 大学祭	動詞の過去連体形 ～したことがある／ない
4	第9課 大学祭	～した後で ～していた（十名詞）
5	8,9課確認テスト 第10課 仕事	8,9課確認テスト 動詞の未来連体形 ～だろう／～つもりだ
6	第10課 仕事	形容詞の過去連体形 ～すると
7	第11課 日記	～だが／のに ～く／になる
8	第11課 プレゼント	～したら／～すると ～ようだ
9	10, 11課確認テスト 第12課 外国語の勉強	10, 11課確認テスト 意志、推量 ～でも
10	第12課 外国語の勉強	～（するかの）ように ～（する）のに
11	第13課 天気	～しないで／～せずに ～する前に

12	第13課 休日	～するために／～するゆえに ～しそうだ
13	12.13課確認テスト 第14課 人生相談	～してから ～したほうがいい
14	第14課 人生相談 14課 復習	～だから／～ので ～するには／したければ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

名簿からリンクを送るので、指定されたグーグルクラスルームに登録してください。

毎回授業で扱う本文とその日本語訳をノートに書いてグーグルクラスルームで提出してください。手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。

締め切り後の提出は2／3回分として算出します。

課題は次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写してくることを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』

金子子著（白水社、2018）

この教科書は書き込み式です。

購入ルートは問いませんが、書き込みがないことを確認して購入してください。

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は低めに換算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

【その他の重要事項】

座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

課題は手書きを基本としますが、ハンゲルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。

授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

Students should send the task every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 20% of the class attendance and participation, and 20% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）

朝鮮語3-I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker（韓国留学生）と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第1課	自己紹介
	文型・会話練習	
2	第1課	ましょうか・てください
	文型・会話練習	
3	第1・2課	ましょう・たい、たがる・から、
	歌	てくて
4	第2課	ウ不規則活用・できない
	文型・会話練習	
5	第2課	ことにする・電話番号
	文型・会話練習	
6	第3課	ば、たら、と
	文型・会話練習	
7	第3課	てみる・ますね、ですね
	文型・会話練習	
8	第3・4課	連体形
	文型・会話練習	
9	小試験 第4課	小試験1- 3課
	文型・会話練習	
10	第4課	ようと・ばいい
	文型・会話練習	でしょうか、ましょうか・んで
	文型・会話練習	すよ
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	第4課	たあと・ますよ、ますからね
	文型・会話練習	
13	第5課	ピウップ不規則活用・んですが
	文型・会話練習	
14	期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。

辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は合計2時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト70%（小試験、会話、期末試験）、課題10%、平常点20%（参加度、積極性など）
期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。
欠席4回以上で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので、留学生の協力を得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3-II

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speakerと簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第5課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第5課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第6課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第6課 文型・会話練習	ながら・まだしていな・にくい
5	第6課・7課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第7課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第7課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	小試験 第8課 読解 文型・会話練習	小試験5- 7課 仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第8課 文型・会話練習	するから(意思)・ばいと思う
10	第8課・9課 文型・会話練習	ていて、する途中で なければならない 会話
11	韓国人留学生との会話 第9課 文型・会話練習	ネイティブと会話 てはいけない ので
12	第9課 文型・会話練習	ている、てもいい、ますが
13	第9課 文型・会話練習	
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくる。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は2時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト70%（小試験、会話、期末試験）、課題10%、平常点20%
期末試験が50点以下の場合単位が出ない。
欠席4回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語4BⅠ (視聴覚)

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国人留学生との会話も行う予定。

【到達目標】

- 1 韓国の小説・ドラマ・歌・アナウンスなどの聞き取りを通し、音から朝鮮語を理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
 どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
 に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1 小説・ドラマの一場面を聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 語彙、文型を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
 あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
 なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 サランバンのお客さんとおモニ ①②	自己紹介・会話 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	サランバンのお客さんとおモニ ③④ シークレットガーデン1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	サランバンのお客さんとおモニ ⑤⑥ 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	サランバンのお客さんとおモニ ⑦⑧ シークレットガーデン2	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	サランバンのお客さんとおモニ ⑨⑩ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	サランバンのお客さんとおモニ ⑪⑫	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	サランバンのお客さんとおモニ ⑬⑭ シークレットガーデン3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	中間試験	単語 暗誦

9	サランバンのお客さんとおモニ ⑮⑯ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	サランバンのお客さんとおモニ ⑰⑱ 会話	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習 会話練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	サランバンのお客さんとおモニ ⑲⑳ シークレットガーデン4	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	サランバンのお客さんとおモニ 最終回 シークレットガーデン5	スクリプト聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験 フィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週、聞き取り・読解・暗記等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は各3時間を要する。

【テキスト（教科書）】

プリント配布

【参考書】

川口義一監修『耳から入る韓国語1』学研
 シークレットガーデン DVD

【成績評価の方法と基準】

平常点（参加度、積極性、課題）40%、テスト（単語・暗誦・会話）60%
 単語テストが50点以下の場合単位が出ない。
 4回以上の欠席で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が大変有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られればネイティブとの会話の時間を設けます。

【その他の重要事項】

課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 2年生～4年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語3より受講生のレベルが高くなる傾向があります。聞き取りとスクリプト翻訳がメインになるため朝鮮語の一定のレベルが要求されます。
 定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。
 この科目は「法（法律学科・政治学科）文営」でパターンB（朝鮮語週2コマ）を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定します。
 初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 3hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 B II (視聴覚) 2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国人留学生との会話も行う予定。

【到達目標】

- 1 韓国のドラマ・歌・アナウンス・スピーチなどの聞き取りを通じ、音から理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・音読を行うことで自然で美しい発音をめざす。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
 どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
 に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

- 1 ドラマ・ニュースなどを聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 文型・表現を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
 あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
 なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 自己紹介 華麗なる遺産 1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	華麗なる遺産 2 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	華麗なる遺産 3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	スピーチなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	華麗なる遺産 4	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	アナウンスなど	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	華麗なる遺産 5	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	中間試験	単語 暗唱

10	華麗なる遺産 6 会話	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習 会話練習
11	留学生との会話	ネイティブと会話
12	華麗なる遺産 7	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	華麗なる遺産 8	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験 フィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

スクリプト翻訳・単語暗記・音読・暗唱等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は合計3時間を要する。

【テキスト（教科書）】

プリント配布

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点（参加度、積極性、課題）40%、テスト（単語・暗誦・会話）60%

単語テストが50点以下の場合は、単位が出ない。

4回欠席の場合、単位が出ない。

【学生の意見等からの気づき】

留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も会話の時間を設ける予定です。

【その他の重要事項】

課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 2年生～4年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語3より受講生のレベルが高くなる傾向があります。聞き取りとスクリプト翻訳がメインになるため朝鮮語の一定のレベルが要求されます。
 定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。
 この科目は「法（法律学科・政治学科）文営」でパターンB（朝鮮語週2コマ）を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定します。
 初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】**[Course outline and learning objectives]**

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 3 hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation, Assignments 40%, Exam 60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 A I (講読)

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新聞記事やエッセイ、小説などを読み、韓国の文化や社会への理解を深めていくとともに読解力のさらなる向上をはかります。

【到達目標】

様々なジャンルの文章を読むことによって、さらなる語彙力の向上と読解力の強化を図ります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語等は調べて授業にのぞんでください。授業ではテキストの内容について翻訳・発表をしてもらい、文法事項の補足や参考訳、内容についての説明をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方 ・レベルチェック ・自己紹介
2	説明文を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
3	説明文を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
4	説明文を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
5	説明文を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
6	随筆を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
7	随筆を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
8	随筆を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説

9	随筆を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
10	小説を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
11	小説を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
12	小説を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
13	小説を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

ある程度長い文章を読んでいながら語感を磨き、原語で文章を味わう楽しさを感じてほしいと思います。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて内容を若干変更する場合があります。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

By reading newspaper articles, essays, novels, etc., this class aims to deepen students' understanding of Korean culture and society and to improve their further reading comprehension.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to improve students' further vocabulary and reading comprehension by reading texts in a variety of genres.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)	
朝鮮語 5 A II (講読)	2017年度以降入学者
荻野 優子	
開講時期：秋学期授業/Fall	曜日・時限：月4/Mon.4
単位数：1単位	
定員制(30)	
その他属性：〈優〉	

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新聞記事やエッセイ、小説などを読み、韓国の文化や社会への理解を深めていくとともに読解力のさらなる向上をはかります。

【到達目標】

様々なジャンルの文章を読むことによって、さらなる語彙力の向上と読解力の強化を図ります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語等は調べて授業にのぞんでください。授業ではテキストの内容について翻訳・発表をしてもらい、文法事項の補足や参考訳、内容についての説明をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方 ・自己紹介など
2	新聞記事を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
3	新聞記事を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
4	新聞記事を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
5	詩を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
6	詩を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
7	随筆を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
8	随筆を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説

9	随筆を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
10	小説を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
11	小説を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
12	小説を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
13	小説を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

ある程度長い文章を読んでいながら語感を磨き、原語で文章を味わう楽しさを感じてほしいと思います。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて内容を若干変更する場合があります。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

By reading newspaper articles, essays, novels, etc., this class aims to deepen students' understanding of Korean culture and society and to improve their further reading comprehension.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to improve students' further vocabulary and reading comprehension by reading texts in a variety of genres.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語5BⅠ (表現法) 2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。

韓国の時事ニュースに触れ、時事単語、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。学生のレベルに合わせ、導入用に朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読み、伝統文化への理解も深めたりする。中級向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

本授業の基本的な流れは、以下の通りである。毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をすることで、話すことに慣れていく。慣れてきたら、PPTを作成してプレゼンテーションの練習も随時していきたい。後半は昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつながっていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「おひさまおつきさま」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「トラと干し柿」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』BTS、KPOP再燃するか。	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	『時事韓国語』韓国映画1000万人、	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	『時事韓国語』正月番組特集	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	『時事韓国語』南北合同チーム初登場	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』「シェアハウス人気」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』「無人化加速」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

10	『時事韓国語』「小1保護者10時出勤」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』「二つの母国語」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』「高齢者10人に1人認知症」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』「変わる採用試験場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、読み物課題を予習・復習すること。知らない単語を確認しておく。毎回、身近な話題について韓国語で話しますので、話題を準備すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点80%、プレゼンテーション20%。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80 %.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語5BⅡ (表現法) 2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制(30)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解を深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をする。言葉がすぐ出てくるよう、とにかく話すことに慣れること。その後は、時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつながっていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 『時事韓国語』 11「政府、原発新設 白紙化問題」	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	『時事韓国語』 12「はじめて呼ぶお 父さん、お母さん」、 13「国政の安定化、 協力と統合」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	『時事韓国語』 14「南北65年ぶり終 戦宣言」 15「気候変動とウミ ガメ」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』 16「日本の公衆ト イレ」 17「米朝70年の対立 に終止符」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	18「監視カメラ」 19「5G先取り競争」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

6	20「気象ニュース」 21「ヨイドの桜」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	22「珍道犬」 23「仮想通貨」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』 24「変わる採用試験 現場」 25「不動産事情、ソ ウル、地方」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』 26「経済成長と就業 者の増加」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』 31「ワールドカップ 韓国サッカー旋風」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』 32「野球ニュース ロッテ5連勝中」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』 33「ニュース解説、 巨大な壁を打ち破っ た英雄」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』 34「ドラマの名所ソ ウル桂洞」 35「蚊を追ひ払う方 法、ご存知？」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	36「そば粉パスタ、 干しだらのカルグ クス」 ●学習のまとめ	内容理解、プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、身近な話題について、簡単な会話をしますので、話題を準備をしておくこと。毎回、課題の復習を十分すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点80%、プレゼンテーション20%。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80%.

ARSe200LA (地域研究 (東アジア) / Area studies(East Asia) 200)

朝鮮の文化と社会 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制(30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では韓国の映画をとおして朝鮮・韓国の文化と社会について学びます。

韓国の映画に描かれている韓国社会の特徴や変化を通じて、韓国の文化と社会に対する理解を深めることが授業の目的であります。

【到達目標】

様々なテーマを扱った韓国映画を通して、韓国・朝鮮の文化と社会について様々は視点から読み取り、未来とつなげる力を養う授業になることがこの授業の目標であります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的には「授業計画」の順に沿って進めます。
ひとつのテーマについて2週連続で講義と映像の鑑賞という形で進めます。課題等に対するフィードバック方法は、リアクションペーパー提出や学習支援システムを利用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の目標と進め方の説明	授業の目的と進め方について説明し、テキストや参考書の使い方について説明する。
第2回	解説と映画鑑賞①ー朝鮮半島の南北分断について	南北対立から理解へー南北分断のリアルDMZ
第3回	解説と映画鑑賞②ー朝鮮半島の南北分断について	新しい観点から南北分断を想像するー南北兵士の心理描写
第4回	韓国映画史ー時代区分と特徴	韓国映画史について、全体的な流れと時代別の特徴を概観する。
第5回	解説と映画鑑賞③ー激動の韓国現代史を生きる	激動の韓国現代史を個人史で綴るー「最も平凡な父の最も偉大な話」
第6回	解説と映画鑑賞④ー激動の韓国現代史を生きる	「産業化世代」ー朝鮮戦争後の韓国再建の主役であった家族愛の父親
第7回	韓国近現代史と映画ー日本統治下の韓国・朝鮮	韓国近現代史における日本統治時代を抜きにして韓国映画史を語ることはできない。韓国映画の創成期に当たる当時について解説する。
第8回	解説と映画鑑賞⑤ー日本統治下の韓国・朝鮮	上海、京城 (現ソウル) を舞台にした朝鮮人の朝鮮人暗殺を描写ー親日派暗殺作戦

第9回	解説と映画鑑賞⑥ー日本統治下の韓国・朝鮮	当時の街並み、ファッション、経済活動、居住空間、社交場など「モダン」の再現
第10回	最近の韓国の若者の恋愛観・結婚観と映画	時代の変化を反映する若者の恋愛観・結婚観を垣間見て、日本の若者との間の比較をとおして、韓国社会と日本社会の比較を試みる。
第11回	解説と映画鑑賞⑦ー青春の思い出	初恋のロマンス、青春の思い出
第12回	解説と映画鑑賞⑧ー青春の思い出	青春の多様な感情の描写、現代韓国社会の中で大人に成長していく過程を描写
第13回	映画と講義について	映画は学習手段のひとつとして有効かー韓国の文化、社会、歴史上の事象、特に抽象的な事柄を、より明確に理解可能なものにしてくれる。
第14回	春学期のまとめと期末レポートの提示	期末レポートの提示

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

指定されたテキストと参考書を事前に読んでおくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

韓国映画100選、韓国映像資料院・編、桑畑優香・訳、CUON、2019年、3500円

【参考書】

韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史、秋月望、キネマ旬報ムック、2015年、3680円

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業に対する態度、リアクションペーパー、感想文など) 50%、期末レポート50%をもって総合的に評価する。
※成績に関わらず30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

必ず課題はやっておくこと。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

諸事情により、授業進行形式と内容が少々変わることがあります。やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【Outline (in English)】

【授業概要 (Course outline)】

This course introduces Korean culture, Korean society and Korean films to students taking this course.

【到達目標 (Learning Objectives)】

At the end of the course, students are expected to develop insight and understanding of the characteristics and process of changes of Korean society and culture.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)】

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term report (50%), term-end report (50%), and in-class contribution.

ARSe200LA（地域研究（東アジア） / Area studies(East Asia) 200)

朝鮮の文化と社会 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制(30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では韓国の映画をとおして朝鮮・韓国の文化と社会全般について学びます。

韓国の映画に描かれている韓国社会の特徴や変化を通じて、韓国の文化と社会に対する理解を深めることが授業の目的であります。

【到達目標】

様々なテーマを扱った韓国映画を通して、韓国・朝鮮の文化と社会について多様な視点から読み取り、未来とつなげる力を養う授業になることがこの授業の目標であります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

基本的には「授業計画」の順に沿って進めます。ひとつのテーマについて2週連続で講義と映像の鑑賞という形で進めます。課題等に対するフィードバック方法は、リアクションペーパー提出や学習支援システムを利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の進め方に関する説明、テキストや参考書の使い方に関する説明。	授業の目的と進め方に関する説明、テキストや参考書の使い方について説明。
第2回	解説と映画鑑賞①ー外国原作の小説・漫画の韓国映画化	映画の中の人物を韓国人から人類へ一究極な状態に置かれた人々の動き
第3回	解説と映画鑑賞②ー外国原作の小説・漫画の韓国映画化	映画の中の人類における各差と不平等、階級化をとおして韓国社会をみる
第4回	現代韓国社会と映画ー高齢化	現代韓国社会の特徴のひとつである高齢化社会をどのように描くか
第5回	解説と映画鑑賞③ー老いに対する考え方	現代韓国社会の諸特徴ー老いをどのように受け入れるか、どのように生きるか
第6回	解説と映画鑑賞④ー老いに対する考え方	現代韓国社会の諸特徴ー家族の愛情と世代間の価値観のギャップ
第7回	現代韓国社会と映画ー犯罪被害者を描く	神に罪を告白し、許しを得た殺人犯についてー被害者の家族は救われない。宗教、法、人間の関係を映画に投影する。
第8回	解説と映画鑑賞⑤ー最高の価値は人間愛	人間愛は最高の価値ー人間は人間を救うことができる。子供殺人被害者の母親。

第9回	解説と映画鑑賞⑥ー宗教とは	宗教とは何か、人間とは何かー人間を救えない残酷な神の姿。神の許しとは。
第10回	映画に移る国家像	国家の危機管理能力についてー2010年代韓国政府を実例に
第11回	解説と映画鑑賞⑦ードキュメンタリー映画	国家とは何か。国家の存在理由ー国民の生命・財産の保護。
第12回	解説と映画鑑賞⑧ードキュメンタリー映画	真実究明と記者・言論の役割と力
第13回	韓国映画史を振り返るー100年史	創成期〜ルネサンス期まで
第14回	秋学期のまとめとレポートの提示	レポートの提示

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指定されたテキストと参考書を事前に読んでおくこと。本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

韓国映画100選、韓国映像資料院・編、桑畑優香・訳、CUON、2019年、3500円

【参考書】

韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史、秋月望、キネマ旬報ムック、2015年、3680円

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業に対する態度、リアクションペーパー、感想文など）50%、期末レポート50%をもって総合的に評価する。※成績に関わらず30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

事前課題をやってから授業に参加してください。授業には積極的に参加してください。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

諸事情により、授業進行形式と内容が少々変わることがあります。やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【Outline (in English)】

【授業概要（Course outline）】

This course introduces Korean culture, Korean society and Korean films to students taking this course.

【到達目標（Learning Objectives）】

At the end of the course, students are expected to develop insight and understanding of the characteristics and process of changes of Korean society and culture.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policies）】

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term report (50%), term-end report (50%), and in-class contribution.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 C I (コミュニケーション) 2017年度以降入学者
ン)

吉良 佳奈江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

定員制(30)

2022年度までに「朝鮮語 3 C I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、ハングル能力検定4級・3級の文法と語彙を取り入れ、身近な話題について繰り返し音読すること、正確な発音とコミュニケーション能力を伸ばしていきます。

【到達目標】

1年で学んだことの実践として、簡単なフレーズをパッと口に出せるように練習します。

身近な話題についての語彙を増やして文型を取り入れ、自分が話したい内容を伝えられるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。講師の体調などによりオンラインになる可能性があります。

授業の進め方は以下の通りです。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・ペアの学生と音読練習をして、授業内で発音のチェックをします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 第1課 自己紹介	授業の進め方など ～することになる ～して ～しようと思う
2	第1課 自己紹介	～けれど ～ですよ ～しようと思って
3	第2課 知人を紹介 する	～しましょうか ～しますよ ～じゃないですか
4	第2課 知人を紹介 する	～存在詞・動詞の現在連体形 ～動詞の過去連体形 ～したことがある、ない
5	1, 2課確認テスト 第3課 道案内	1,2課確認テスト ～すれば ～（する）からです ～すればいい／ してはいけない
6	第3課 道案内	～だろう ～が／のに ～してから

7	第4課 休日	～した後に ～しに行きませんか ～しようと思って ～しなければならない ～（する）ことにする ～なので
8	第4課 休日	3, 4課確認テスト 第5課 大学生活 ～ですか ～ます ～だからです （まだ）～していない ～（する）ことができる／できない ～してもいい／構わない
9	3, 4課確認テスト 第5課 大学生活	～ですね ～（する）ことができそう ～してみたい
10	第5課 大学生活	～しようかと思う ～したらいいな ～ではないかと思う
11	第6課 アルバイト	5,6課確認テスト 第7課 ショッピング ～ようだ ～だそうだ ～しなければならない ～しそうだ ～してみてもいい ～だから
12	第6課 アルバイト	
13	5,6課確認テスト 第7課 ショッピング グ	
14	第7課 ショッピング グ	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

名簿からリンクを送るので、指定されたグーグルクラスルームに登録してください。

毎回授業で扱う本文／会話文とその日本語訳をノートに書いてグーグルクラスルームで提出してください。手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。締め切り後の提出は2／3回分として算出します。

課題は次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写して書くことを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『話してみよう韓国語 中級会話コース』

金京子著（白水社、2024）

購入ルートは問いませんが、書き込みがないことを確認して購入してください。

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。公欠の学生は書類を提出してください。

授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は低めに換算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。
ハングルキーボードで入力できることが望ましい。

【その他の重要事項】

定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。この科目は「法（法律学科・政治学科）文営」でパターンB（朝鮮語週2コマ）を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定します。初回の授業には必ず出席してください。

座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。

授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

【Outline (in English)】

Outline

While reviewing what we learned in the first year, you will build up much vocabulary and grammar.

By reading aloud on familiar topics repeatedly, you will develop your communication skills.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to communicate what you want to talk about using fixed phrases and rich vocabulary on familiar topics.

Work to be done outside of class :

Students should send the task every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 20% of the class attendance and participation, and 20% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 C II (コミュニケーション) 2017年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

定員制(30)

2022年度までに「朝鮮語 3 C II」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、ハングル能力検定4級・3級の文法と語彙を取り入れ、身近な話題について繰り返し音読すること、正確な発音とコミュニケーション能力を伸ばしていきます。

【到達目標】

1年で学んだことの実践として、簡単なフレーズをパッと口に出せるように練習します。

身近な話題についての語彙を増やして文型を取り入れ、自分が話したい内容を伝えられるようになります

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。講師の体調などによりオンラインの可能性もあります。

授業の進め方は以下の通りです。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・ペアの学生と音読練習をして、授業内で発音のチェックをします。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課 旅行計画	～する前田 ～したほうがいい ～したらどうですか
2	第8課 旅行計画	～だからそうなのか ～しないでください ～してもいいでしょうか
3	第9課 一人暮らし	～したりする ～（する）のに ～ようだ
4	第9課 一人暮らし	～するつもりだ ～してくれませんか ～してみたら
5	8,9課確認テスト 第10課 風邪	8,9課確認テスト ～したようだ ～したら～でした ～してはいけない
6	第10課 風邪	～しましょう ～ですね ～しはしたけど
7	第11課 食事	～しない？ ～しよう ～でなくてもいいよ

8	第11課 食事	～よ、～ちゃん ～ではなく～にする ～にしてもよさそうだ
9	10, 11課確認テスト 第12課 大学祭	10, 11課確認テスト ～られそうになり ～（する）ことができる／できない ～しているところだ ～お～ください ～しなくちゃ ～しなければならなかったのに
10	第12課 大学祭	～く／になる ～（する）には ～（する）しかない
11	第13課 韓国語学習	～していただけますか ～しながら ～したり
12	第13課 韓国語学習	～だと言う／そうだ ～するのをやめる ～（する）かもしれない
13	12,13課確認テスト 第14課 天気予報	～しようと言う ～するのではなく
14	第14課 天気予報	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

名簿からリンクを送るので、指定されたグーグルクラスルームに登録してください。

毎回授業で扱う本文／会話文とその日本語訳をノートに書いてグーグルクラスルームで提出してください。手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。締め切り後の提出は2／3回分として算出します。

課題は次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写してくることを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『話してみよう韓国語 中級会話コース』

金京子著（白水社、2024）

購入ルートは問いませんが、書き込みがないことを確認して購入してください。

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。公欠の学生は書類を提出してください。

授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は低めに換算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

【その他の重要事項】

定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。この科目は「法（法律学科・政治学科）文営」でパターンB（朝鮮語週2コマ）を選択した学生の「選択必修」科目なので、定員を超えた場合は、該当する学生に優先的に履修してもらい、定員に余裕がある場合に他学部他学科の学生を抽選して履修者を決定します。初回の授業には必ず出席してください。

座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。

授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

【Outline (in English)】

Outline

While reviewing what we learned in the first year, you will build up much vocabulary and grammar.

By reading aloud on familiar topics repeatedly, you will develop your communication skills.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to communicate what you want to talk about using fixed phrases and rich vocabulary on familiar topics.

Work to be done outside of class :

Students should send the task every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 20% of the class attendance and participation, and 20% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。

メールやSNSなど短い文章を読んで、韓国の書き言葉であるハンダ体とハングル能力検定4、3級に相当する文型を学びます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールやSNSなどを読み、発信できるようになります。

1年で学んだことの実践として、書き言葉を読み、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。講師の体調などによりオンラインの可能性もあります。

授業の進め方は以下の通りです。

新しい内容は授業で導入して復習型に進みますが、内容が難しいと感じる学生には予習を勧めます。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方
	第1課 学生生活	逆説と並列
2	第1課 学生生活	～んです ～しようと
3	第2課 アルバイト	～ので／～くて ～のせいで
4	第2課 アルバイト	～することにする ～できない
5	1, 2課確認テスト	1, 2課確認テスト
	第3課 私の一日	～すれば ～しに（行く／来る）
6	第3課 私の一日	～してあげる／くれる ～や、～でも
7	第4課 プレゼント	～でしょ？ ～じゃないですか／～でしょ？
8	第4課 プレゼント	パンマル ～ですね／ますね
9	3, 4課確認テスト	3, 4課確認テスト
	第5課 風邪	～く／～くように ～する？／～しますか？
10	第5課 風邪	～しない／～するのをやめる ～だったらいいな

11	第6課 休日	～している／～していらっしゃる ～しますから
12	第6課 休日 ☒☒体	～してみる ～しよう ☒☒体を学ぶ
13	5,6課確認テスト	～しなければ／～しよう
	第7課 夏休み	～しても
14	第7課 夏休み 第7課復習	～することができる ～してこそ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

名簿からリンクを送るので、指定されたグーグルクラスルームに登録してください。

毎回授業で扱う本文とその日本語訳をノートに書いてグーグルクラスルームで提出してください。手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。

締め切り後の提出は2／3回分として算出します。

課題は次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写してくることを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』

金京子著（白水社、2018）

この教科書は書き込み式です。

購入ルートは問いませんが、書き込みがないことを確認して購入してください。

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は低めに換算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

ハングルキーボードで入力できることが望ましい。

【その他の重要事項】

座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。

授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

Students should send the task every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 20% of the class attendance and participation, and 20% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。

メールやSNSなど短い文章を読んで、韓国の書き言葉であるハンダ体とハンゲル能力検定4、3級に相当する文型を学びます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を活かして実際のメールやSNSなどを読み、発信できるようになります。

1年で学んだことの実践として、自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。講師の体調などによりオンラインの可能性もあります。

授業の進め方は以下の通りです。

新しい内容は授業で導入して復習型に進みますが、内容が難しいと感じる学生には予習を勧めます。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	☑☑ 体復習 第8課 趣味	～（だ）と ～そうだ 動詞の現在連体形
2	第8課 趣味	形容詞の連体形 ～のだ
3	第9課 大学祭	動詞の過去連体形 ～したことがある／ない
4	第9課 大学祭	～した後で ～していた（＋名詞）
5	8,9課確認テスト 第10課 仕事	8,9課確認テスト 動詞の未来連体形 ～だろう／～つもりだ
6	第10課 仕事	形容詞の過去連体形 ～すると
7	第11課 日記	～だが／のに ～く／になる
8	第11課 プレゼント	～したら／～すると ～ようだ
9	10, 11課確認テスト 第12課 外国語の勉強	10, 11課確認テスト 意志、推量 ～でも
10	第12課 外国語の勉強	～（するかの）ように ～（する）のに
11	第13課 天気	～しないで／～せずに ～する前に

12	第13課 休日	～するために／～するゆえに ～しそうだ
13	12.13課確認テスト 第14課 人生相談	～してから ～したほうがいい
14	第14課 人生相談 14課 復習	～だから／～ので ～するには／したければ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

名簿からリンクを送るので、指定されたグーグルクラスルームに登録してください。

毎回授業で扱う本文とその日本語訳をノートに書いてグーグルクラスルームで提出してください。手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。

締め切り後の提出は2／3回分として算出します。

課題は次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写してくることを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』

金子子著（白水社、2018）

この教科書は書き込み式です。

購入ルートは問いませんが、書き込みがないことを確認して購入してください。

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は低めに換算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

【その他の重要事項】

座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

課題は手書きを基本としますが、ハンゲルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。

授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

Students should send the task every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 20% of the class attendance and participation, and 20% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA（朝鮮語 / Korean language education 200）

朝鮮語3BⅠ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙を土台にして、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	第3課	文中の疑問形、強調表現
7	中間試験	中間試験
8	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課(1/2)	用言の名詞形、「～することはする」、「～しようと思う」
12	作文練習解説	作文練習解説
13	期末試験	期末試験
14	復習	復習
	期末試験未受験者の追試	期末試験未受験者の追試

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には毎回標準30分以上は必要です。その他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』, 内山政春著, 白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』, 内山政春著, 白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

この授業は1年生で学んだ文法や語彙を理解した上で進みますので、1年生の知識が不確かだと授業が早く感じられるかもしれません。わからない所があったら1年生で使用した教科書で確認し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験、期末試験の案内はHoppiiに掲示しますので必ずHoppiiを確認してください。小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・12回目の授業は作文練習の解説動画を配信します。

但し授業の進度によっては他の回で実施されることがありますので、予定についてもHoppiiのお知らせを確認してください。

・授業中のスマホ、タブレットの使用は禁止します。単語を調べるときは初級の教科書を参照してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (=the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を身につけるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第5課(2/2)	「～という」の短縮形他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～ながら」、指定詞の第Ⅲ語基他
6	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」他
7	中間試験	中間試験
8	第8課	間接話法・その1他
9	第9課	ハンダ体他
10	第9課	態と受身形他
11	第9課	話し手の主張をあらわす形他
12	作文練習解説	作文練習解説
13	期末試験	期末試験
14	復習	復習
	期末試験未受験者の追試	期末試験未受験者の追試

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。その他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』, 内山政春著, 白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』, 内山政春著, 白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

1年生で学んだ文法と語彙が理解できている前提で授業を行いますので、1年生の知識が不確かな学生は授業の進みが早く感じられるかもしれません。

わからないところがあったら必ず1年生で使用した教科書で復習し、私に質問してください。

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・中間試験・期末試験の詳細はHoppiiに掲示します。また小テストの範囲もHoppiiに掲示します。

・12回の授業は作文練習の解説動画を配信します。但し授業の進捗によって12回目ではなく他の回で実施する可能性がありますので、この予定についてもHoppiiで確認してください。

・授業中のスマホ、タブレットの使用は禁止します。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (=the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。

メールやSNSなど短い文章を読んで、韓国の書き言葉であるハンダ体とハングル能力検定4、3級に相当する文型を学びます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールやSNSなどを読み、発信できるようになります。

1年で学んだことの実践として、書き言葉を読み、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。講師の体調などによりオンラインの可能性もあります。

授業の進め方は以下の通りです。

新しい内容は授業で導入して復習型に進みますが、内容が難しいと感じる学生には予習を勧めます。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方
第1課	学生生活	逆説と並列
2	第1課 学生生活	～んです ～しようと
3	第2課 アルバイト	～ので／～くて ～のせいで
4	第2課 アルバイト	～することにする ～できない
5	1, 2課確認テスト	1, 2課確認テスト
第3課	私の一日	～すれば ～しに（行く／来る）
6	第3課 私の一日	～してあげる／くれる ～や、～でも
7	第4課 プレゼント	～でしょ？ ～じゃないですか／～でしょ？
8	第4課 プレゼント	パンマル ～ですね／ますね
9	3, 4課確認テスト	3, 4課確認テスト
第5課	風邪	～く／～くように ～する？／～しますか？
10	第5課 風邪	～しない／～するのをやめる ～だったらいいな

11	第6課 休日	～している／～していращやる ～しますから
12	第6課 休日 ☒☒体	～してみる ～しよう ☒☒体を学ぶ
13	5,6課確認テスト	～しなければ／～しよう
第7課	夏休み	～しても
14	第7課 夏休み 第7課復習	～することができる ～してこそ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

名簿からリンクを送るので、指定されたグーグルクラスルームに登録してください。

毎回授業で扱う本文とその日本語訳をノートに書いてグーグルクラスルームで提出してください。手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。

締め切り後の提出は2／3回分として算出します。

課題は次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写してくることを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』

金京子著（白水社、2018）

この教科書は書き込み式です。

購入ルートは問いませんが、書き込みがないことを確認して購入してください。

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は低めに換算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

ハングルキーボードで入力できることが望ましい。

【その他の重要事項】

座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

課題は手書きを基本としますが、ハングルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。

授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

Students should send the task every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 20% of the class attendance and participation, and 20% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

吉良 佳奈江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。

メールやSNSなど短い文章を読んで、韓国の書き言葉であるハンダ体とハンゲル能力検定4、3級相当する文型を学びます。

【到達目標】

テキストで学んだ内容を活かして実際のメールやSNSなどを読み、発信できるようになります。

1年で学んだことの実践として、自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で行います。講師の体調などによりオンラインの可能性もあります。

授業の進め方は以下の通りです。

新しい内容は授業で導入して復習型で進みますが、内容が難しいと感じる学生には予習を勧めます。

- ・語彙と文法を学び、新しい表現を使って例文を作ります。
- ・本文の内容について、内容理解をチェックします。
- ・2課につき1度の確認テストを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	☑☑ 体復習 第8課 趣味	～（だ）と ～そうだ 動詞の現在連体形
2	第8課 趣味	形容詞の連体形 ～のだ
3	第9課 大学祭	動詞の過去連体形 ～したことがある／ない
4	第9課 大学祭	～した後で ～していた（＋名詞）
5	8,9課確認テスト 第10課 仕事	8,9課確認テスト 動詞の未来連体形 ～だろう／～つもりだ
6	第10課 仕事	形容詞の過去連体形 ～すると
7	第11課 日記	～だが／のに ～く／になる
8	第11課 プレゼント	～したら／～すると ～ようだ
9	10, 11課確認テスト 第12課 外国語の勉強	10, 11課確認テスト 意志、推量 ～でも
10	第12課 外国語の勉強	～（するかの）ように ～（する）のに
11	第13課 天気	～しないで／～せずに ～する前に

12	第13課 休日	～するために／～するゆえに ～しそうだ
13	12.13課確認テスト 第14課 人生相談	～してから ～したほうがいい
14	第14課 人生相談 14課 復習	～だから／～ので ～するには／したければ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

名簿からリンクを送るので、指定されたグーグルクラスルームに登録してください。

毎回授業で扱う本文とその日本語訳をノートに書いてグーグルクラスルームで提出してください。手書きのノート、あるいはwordファイルのみ受け付けます。

締め切り後の提出は2／3回分として算出します。

課題は次の授業までの復習型ですが、授業が難しいと感じる学生には、予習として筆写してくることを勧めます。

テキストで2課（授業4回）ごとに、確認テストを行うので、必ず復習してください。

この授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『読んでみよう韓国語 中級読解コース』

金子子著（白水社、2018）

この教科書は書き込み式です。

購入ルートは問いませんが、書き込みがないことを確認して購入してください。

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 第2版新装版』小学館など

【成績評価の方法と基準】

欠席が4回以上の学生は評価対象外とします。授業への参加意欲が見られない場合は出席にカウントしません。遅刻は3回で欠席1回にカウントします。遅延証明は不要ですが、電車の路線名を伝えてください。

確認テスト60%、授業の出席・参加度、課題提出40%を目安に総合的に評価します。

確認テストの当日に欠席した学生は、次の出席時に受験ができますが点数は低めに換算します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声ダウンロードしておくこと。

【その他の重要事項】

座席はくじ引きで毎回の座席を指定します。

課題は手書きを基本としますが、ハンゲルのキーボード入力ができる学生はwordで提出することができます。

授業内のスマホとタブレットの使用を禁止します。

【Outline (in English)】

While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.

And read short sentences such as emails and social media.

You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

Goal :

You will be able to read and send actual e-mails, SNS, etc. using what you have learned in the text messages.

The goal is to read the written language and write a simple sentence by yourself.

Work to be done outside of class :

Students should send the task by hoppii every week.

The preparatory study and review time for this class will be one hour in total.

Grading criteria :

Students with more than four unauthorized absences are excluded from the evaluation.

Based on 60% of the confirmation test, 20% of the class attendance and participation, and 20% of the assignment submission, we will evaluate it comprehensively.

